金星教育

一册在手 知识全有

YICEZAISHOU ZHISHIQUANYOU

语文

基础知识手册

高中

主 编 薛金星

第十七次修订

本书出版于1993年，
20年精雕细刻，畅销中华大地！

北京出版集团公司 北京教育出版社



一册在手 知识全有

YICEZAISHOU ZHISHIQUANYOU

语文

基础知识手册

（高中）

一旦拥有 爱不释手

主　　编　薛金星
本册主编　薛金星
本册副主编　丁宝泉　张晓慧
　　高玉凯　高玉梅
本册编委　越国旗　刘钟鸣
　　毛秀霞　邢爱芳
　　付志鹏　孙清良
　　郭能全　杨俊萍
　　刘海燕　吴爱兵

北京出版集团公司　北京教育出版社

图书在版编目(CIP)数据

高中语文基础知识手册 / 薛金星主编. —北京：北京教育出版社，2006

ISBN 978-7-5303-2949-8

Ⅰ.高… Ⅱ.薛… Ⅲ.语文课-高中-教学参考资料 Ⅳ.G634.303

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2006)第 056353 号

语文基础知识手册

YUWEN JICHU ZHISHI SHOUCE

主　编　薛金星

*

北京出版集团公司
北京教育出版社 出版
(北京北三环中路 6 号)
邮政编码：100120
网址：www.bph.com.cn
北京出版集团公司总发行
各地书店经销
北京泽宇印刷有限公司

*

890×1240　32 开本　17.5 印张　720 000 字
2006 年 1 月第 1 版　2012 年 3 月第 6 次修订　2012 年 3 月第 5 次印刷
ISBN 978-7-5303-2949-8/G·2884
定价：32.80 元
质量监督电话：010-61743009　010-58572750　010-58572393

再版前言

《高中语文基础知识手册》自1993年问世，至今畅销，经久不衰，已成为全国高中学生学习、教师备课的必备工具书，成为教辅图书中的知名品牌。

为不负广大读者对《高中语文基础知识手册》的厚望，我们再次特邀全国各省市部分一线特高级专家型教师，对其进行了全新修订。在编修过程中，专家们全面、深入地研究了《普通高中语文课程标准》，各版本必修、选修教材和老大纲教材以及高中语文《考试大纲》，吸纳了相关的权威著作和报纸、杂志的知识精华，力求使本书成为一本更权威、更实用、更全面的工具书。

全书根据语文高考的考查范围，划分成四大板块，系统介绍相关知识和学习方法。

语言知识和语言表达 按新课标考纲分“字音”“汉字”“标点符号”“词语”“句子”“修辞格”等基础知识及“扩展语句，压缩语段”“选用、仿用、变换句式”“语言简明、连贯、得体”“语言表达创新题型”等语言运用能力部分。

文学常识和名句名篇 包括“作家作品”“文学体裁”“诗文名句”“古代文化常识”四部分。

古代诗文阅读 文言文部分包括“文字”“文言实词”“文言虚词”“文言句式”等古汉语基础知识及“文言文断句及翻译”“文言文文意理解”等文言文能力部分。“古诗词鉴赏”着重介绍鉴赏方法，意在帮助学生突破这一高考难点。

现代文阅读 包括“阅读基本知识”“现代文阅读考点分析”“文学类文本阅读”“实用类文本阅读”“论述类文本阅读”，对应新课标考纲，以有序地培养学生的阅读、鉴赏、探究能力。

本丛书成立答疑解惑工作委员会，如有疑难问题，可通过以下方式与我们联系：

图书邮购热线：010-61743009　010-61767818

图书邮购地址：北京市天通苑邮局6503信箱　电子商务（收）　邮政编码：102218

第一教育书店：http://www.firstedubook.com

第一教育书店—淘宝店：http://shop58402493.taobao.com

电子邮箱：book@jxedue.net

质量监督热线：0536-2223237

集团网站：http://www.jxedue.net

金星教育中学网：http://www.jxzx.cc



薛金星

目录 CONTENTS

第一编　语言知识和语言表达

语文科《考试大纲》对"语言知识和语言表达"部分的要求 ……（1）
第一部分　字　音 ……（2）
一、现代汉语的一般知识 ……（2）
（一）语言文字 ……（2）
（二）现代汉语 ……（2）
（三）现代汉语的三要素 ……（2）
（四）普通话 ……（2）
（五）方言概况 ……（2）
（六）语音 ……（2）
（七）音节 ……（2）
（八）音素 ……（2）
（九）元音 ……（2）
（十）辅音 ……（2）
二、汉语拼音方案 ……（2）
（一）《汉语拼音方案》的组成、用途 ……（2）
（二）《汉语拼音方案》的内容 ……（3）
（三）有关知识 ……（4）
1. 声母 ……（4）
2. 韵母 ……（4）
3. 零声母 ……（4）
4. 韵头、韵腹、韵尾 ……（4）
5. 韵母和韵的区别 ……（4）
6. 声调符号的标写 ……（4）
7. 隔音符号 ……（4）
8. 反切 ……（4）
三、拼写知识 ……（4）
（一）大写 ……（4）
（二）连写和分写 ……（5）
四、朗读知识 ……（5）
（一）停顿 ……（5）
（二）重音 ……（6）
（三）句调 ……（7）
（四）音变 ……（8）
五、汉字读音应注意的问题 ……（10）
六、多音字读音的辨析方法 ……（11）
附录一　多音字辨析 ……（11）
附录二　容易读错的字集录 ……（20）
附录三　成语中容易读错的字 ……（22）
附录四　姓氏、地名、山河名中容易读错的字 ……（24）
附录五　《普通话异读词审音表》新变及特殊字音 ……（25）
第二部分　汉　字 ……（26）
一、汉字的特点及演变 ……（26）
二、汉字的造字法（六书） ……（26）
三、汉字笔画名称 ……（27）
四、汉字笔顺规则 ……（28）
五、汉字的结构 ……（28）
六、汉字的有关知识 ……（28）
（一）偏旁与部首 ……（28）
（二）独体字与合体字 ……（28）
（三）繁体字与简化字 ……（28）
（四）同音字与多音字 ……（28）
（五）多义字与形似字 ……（29）
七、纠正错别字 ……（29）
八、字典（工具书） ……（30）
（一）常用工具书简介 ……（30）
1.《尔雅》 ……（30）
2.《说文解字》 ……（30）
3.《方言》 ……（30）
4.《释名》 ……（30）
5.《广韵》 ……（30）
6.《康熙字典》 ……（30）
7.《中华大字典》 ……（30）

8.《辞海》……（30）
9.《辞源》……（30）
10.《新华字典》……（31）
（二）检字法……（31）
1.部首检字法……（31）
2.音序检字法……（31）
3.笔画检字法……（31）
4.四角号码检字法……（31）
（三）字典中几种符号的含义……（31）
附录一　中学生易写错的字集录……（32）
附录二　易混字辨析……（35）
附录三　常见的别字集录……（40）
附录四　常见两字词语与四字词语中的易混字集录……（43）
附录五　当代汉语出版物中最常见的100个别字……（44）
附录六　常见异形词整理表……（45）
第三部分　标点符号……（47）
一、标点符号的种类……（47）
二、标点符号的作用及用法……（47）
（一）作用……（47）
（二）用法……（47）
Ⅰ.句末点号……（47）
1.句号……（47）
2.问号……（48）
3.叹号……（50）
Ⅱ.句内点号……（51）
1.逗号……（51）
2.顿号……（52）
3.分号……（54）
4.冒号……（55）
Ⅲ.标号……（57）
1.引号……（57）
2.括号……（58）
3.破折号……（60）
4.省略号……（63）
5.着重号……（65）
6.连接号……（66）
7.间隔号……（66）
8.书名号……（67）
9.专名号……（68）
三、表示次序的词语、数字、字母之后如何用标点符号……（68）
附录一　16种标点符号的书写位置……（68）
附录二　标点符号歌……（70）
附录三　标点符号的位置歌诀……（70）
第四部分　词　语……（71）
一、语素……（71）
二、词和词汇……（71）
（一）词的概念……（71）
（二）词的构成……（72）
（三）词汇……（74）
三、词义……（74）
（一）词的性质……（74）
（二）词义的分类……（74）
（三）词的本义、引申义、比喻义……（74）
（四）词义的古今发展变化……（75）
四、汉语中的新词语……（77）
五、怎样解释词……（78）
六、熟语……（78）
（一）成语……（78）
（二）惯用语……（79）
（三）谚语……（79）
（四）格言……（79）
（五）歇后语……（79）
七、正确使用词语的方法……（79）
（一）实词……（80）
（二）虚词……（80）
（三）成语……（81）
附录一　易混实词辨析……（82）
附录二　易混虚词辨析……（110）
附录三　褒贬两用成语集释……（112）
附录四　贬义与自谦共用的成语……（113）
附录五　多义成语集释……（113）
附录六　容易错解错用的成语集释……（116）
附录七　常见近义成语辨析……（123）
附录八　常见熟语集释……（127）
附录九　最新流行词语集释……（145）
第五部分　句　子……（157）
一、词的分类……（157）
二、短语……（160）
（一）短语的种类……（160）
（二）结构特殊的短语……（161）
（三）短语层次的划分……（162）
三、句子……（162）
（一）句子的分类……（162）
（二）句子成分……（162）
（三）单句……（164）
1.单句的种类……（164）
2.几种特殊的单句……（164）
（1）把字句……（164）

(2)被字句 …… (164)
(3)连动句 …… (164)
(4)兼语句 …… (164)
(5)是字句 …… (165)
(6)存现句 …… (165)
(7)双宾句 …… (165)
3.单句的附属成分 …… (165)
(1)插入语 …… (165)
(2)呼应语 …… (166)
(3)拟声语 …… (166)
4.复杂单句分析 …… (166)
(四)复句 …… (167)
1.复句类型 …… (167)
2.紧缩句 …… (168)
3.多重复句 …… (169)
(五)句群 …… (169)
1.句群的特点 …… (169)
2.句群的类型 …… (170)
3.句群和段 …… (170)
4.句群的分析 …… (171)
四、辨析并修改病句 …… (171)
(一)辨析病句的方法 …… (171)
(二)检查病句应注意的问题 …… (173)
(三)常见病句类型 …… (173)
Ⅰ.语法错误 …… (173)
1.词语用错 …… (173)
2.搭配不当 …… (178)
3.成分残缺 …… (179)
4.成分赘余 …… (179)
5.语序失调 …… (181)
6.句式杂糅 …… (182)
7.几种特殊句式的语病 …… (183)
Ⅱ.语意错误 …… (184)
1.歧义(表意不明) …… (184)
2.逻辑错误(不合事理) …… (185)
(四)辨析病句的十八个注意点 …… (186)
(五)修改病句的原则 …… (189)
1.真实性原则 …… (189)
2.针对性原则 …… (189)
3.经济性原则 …… (189)
(六)修改病句的难点和方法 …… (189)
附录一 出版物上数字用法的一般原则 …… (190)
附录二 数字用法常见错误举隅 …… (192)
附录三 关联词语搭配形式一览表 …… (193)
附录四 逻辑基本知识简介 …… (196)
第六部分 扩展语句,压缩语段 …… (197)
一、扩展语句 …… (197)
(一)扩展语句的题型 …… (197)
(二)扩展语句的解题方法 …… (198)
(三)几种常用的扩展方法 …… (199)
二、压缩语段 …… (201)
(一)压缩语段的题型 …… (201)
(二)压缩语段解题方法 …… (203)
第七部分 选用、仿用、变换句式 …… (205)
一、选用句式 …… (205)
二、仿用句式 …… (205)
(一)仿用的基本形式 …… (205)
(二)仿用的原则 …… (206)
(三)仿用的步骤及方法 …… (207)
三、变换句式 …… (207)
(一)长句与短句的变换 …… (207)
(二)主动句与被动句的变换 …… (210)
(三)肯定句与否定句的变换 …… (210)
(四)陈述句与反问句的变换 …… (211)
(五)常式句与变式句的变换 …… (211)
(六)整句与散句的变换 …… (212)
(七)口语句式与书面语句式的变换 …… (212)
(八)意思相同而语气不同的各种句式的变换 …… (212)
第八部分 修辞格 …… (213)
一、《考试大纲》中规定的必须掌握的修辞格(9种) …… (213)
(一)比喻 …… (213)
(二)比拟 …… (213)
(三)借代 …… (214)
(四)夸张 …… (214)
(五)对偶 …… (215)
(六)排比 …… (215)
(七)反复(重现) …… (216)
(八)设问 …… (216)
(九)反问 …… (217)
二、其他修辞格(27种) …… (217)
(一)双关 …… (217)
(二)反语 …… (217)
(三)引用 …… (217)
(四)对比 …… (218)
(五)映衬(衬托) …… (218)

(六)顶真(顶针、联珠) …… (218)
(七)移用(移就) …… (218)
(八)通感(移觉) …… (218)
(九)婉曲(委婉) …… (218)
(十)回环(回文) …… (219)
(十一)呼告 …… (219)
(十二)互文 …… (219)
(十三)歇后语 …… (219)
(十四)摹状 …… (219)
(十五)倒装 …… (220)
(十六)警策 …… (220)
(十七)示现 …… (220)
(十八)仿词 …… (220)
(十九)转品 …… (220)
(二十)飞白 …… (220)
(二十一)跳脱 …… (221)
(二十二)镶嵌 …… (221)
(二十三)复叠 …… (221)
(二十四)层递 …… (221)
(二十五)节缩 …… (221)
(二十六)析字 …… (221)
(二十七)空符 …… (221)
三、修辞格的综合运用 …… (221)
(一)套用 …… (221)
(二)连用 …… (222)
(三)兼用 …… (222)
附录 对联 …… (222)
第九部分 语言简明、连贯、得体 …… (224)
一、语言简明 …… (224)
(一)不说多余的话 …… (224)
(二)易理解 …… (224)
二、语言连贯 …… (225)
(一)话题统一 …… (225)
(二)表述合乎事理、语境 …… (225)
(三)语句前后照应 …… (226)
(四)成分完整,音节和谐 …… (226)
附录一 语序排列的方法 …… (227)
附录二 梳理语句的方法 …… (228)
三、语言得体 …… (228)
(一)用语要看对象 …… (228)
(二)用语要注意场合 …… (229)
(三)用语要注意表达方式 …… (229)
(四)用语要考虑目的 …… (230)
附录一 常用谦辞与敬辞补充 …… (231)
附录二 成语中的谦辞和敬辞集锦 …… (231)
第十部分 语言表达创新题型 …… (233)
一、短信 …… (233)
二、公益广告词 …… (233)
三、节目串台词 …… (235)
四、新闻衔接词 …… (236)
五、解说词 …… (236)
六、图(表)文转换 …… (237)
七、编写宣传标语 …… (238)
八、编写题解 …… (239)
九、编写贺卡词 …… (239)
十、拟写推荐语 …… (239)
十一、应用短文写作 …… (240)
十二、写读后感 …… (240)
十三、拟写颁奖词 …… (240)
十四、论坛留言和贴吧回复 …… (241)
十五、时事评论 …… (241)
十六、新闻点评 …… (241)

第二编 文学常识和名句名篇

语文科《考试大纲》对"文学常识和名句名篇"部分的要求 …… (242)
第一部分 作家作品 …… (243)
一、中国古代作家 …… (243)
1. 先秦作家 …… (243)
2. 汉代作家 …… (243)
3. 魏晋作家 …… (244)
4. 南北朝作家 …… (244)
5. 隋唐五代作家 …… (245)
6. 宋代作家 …… (247)
7. 元明作家 …… (249)
8. 清代近代作家 …… (251)
二、中国古代名著 …… (252)
三、中国现代、当代作家 …… (260)
四、中国现代、当代重要作品 …… (273)
五、外国作家·欧美部分 …… (278)
六、外国作家·亚非拉部分 …… (285)
七、外国作品·欧美部分 …… (286)

1. 古希腊、古罗马文学 …… (286)
2. 英国文学 …… (287)
3. 法国文学 …… (289)
4. 德国文学 …… (291)
5. 俄罗斯、苏联文学 …… (292)
6. 欧洲其他国家文学 …… (294)
7. 美国文学 …… (295)
八、外国作品·亚非拉部分 …… (296)
九、作品并称 …… (297)
十、作家并称 …… (301)
附录 文学现象、文学流派、文学社团、文学思潮 …… (304)
第二部分 文学体裁 …… (314)
一、散文 …… (314)
1. 古代散文 …… (314)
2. 我国古代散文的发展历程 …… (314)
3. 现代散文 …… (314)
4. 现代散文的分类 …… (314)
5. 散文中的特殊样式 …… (315)
二、传记 …… (316)
三、小说 …… (316)
1. 小说的概念 …… (316)
2. 我国古代小说的发展历程 …… (316)
3. 小说的分类 …… (317)
4. 古典小说的几种形式 …… (319)
四、戏剧 …… (320)
1. 戏剧的特点 …… (320)
2. 我国古典戏剧的发展历程 …… (320)
3. 戏剧的分类 …… (321)
附录 明清传奇和元杂剧的比较 …… (323)
五、诗歌 …… (323)
1. 诗歌的概念 …… (323)
2. 诗歌的特点 …… (323)
3. 我国古代诗歌的发展历程 …… (324)
4. 诗歌的分类 …… (324)
5. 我国古代诗歌的几种样式 …… (327)
六、其他集释 …… (331)
1. 赋 …… (331)
2. 骈文 …… (331)
3. 原 …… (332)
4. 辨 …… (332)
5. 说 …… (332)
6. 论 …… (332)
7. 奏议 …… (332)
8. 序跋 …… (332)
9. 赠序 …… (332)
10. 铭 …… (332)
11. 祭文 …… (332)
12. 八股文 …… (332)
13. 杂记 …… (332)
14. 游记 …… (333)
15. 碑记 …… (333)
16. 童话 …… (333)
17. 民间故事 …… (333)
18. 寓言 …… (333)
19. 神话 …… (333)
20. 传说 …… (333)
七、史书体例 …… (333)
第三部分 诗文名句 …… (334)
一、先秦名句 …… (334)
二、两汉魏晋南北朝名句 …… (339)
三、唐五代名句 …… (341)
四、宋金名句 …… (347)
五、元明清名句 …… (350)
六、近现代名句 …… (353)
第四部分 古代文化常识 …… (354)
一、姓名和称谓 …… (354)
(一)人称姓名 …… (354)
(二)谦称、敬称、贱称 …… (354)
(三)名、字、号 …… (358)
(四)谥号、庙号、年号、改元、尊号、徽号 …… (358)
(五)年龄称谓 …… (358)
(六)作品命名 …… (359)
二、官职和科举 …… (360)
(一)官职 …… (360)
1. 中央官职 …… (360)
2. 地方官职 …… (360)
附录 官职变动词语集释 …… (360)
(二)科举 …… (362)
1. 汉代实行征辟和察举制 …… (362)
2. 隋唐以后实行科举制 …… (362)
3. 与科举相关的内容 …… (363)
4. 学校与教师 …… (363)
三、地理常识 …… (364)
(一)地区名 …… (364)
(二)政区名 …… (364)
(三)山川关隘名 …… (365)

(四)城市村镇名 …… (365)
(五)其他 …… (365)
四、宗法和礼俗 …… (366)
(一)宗法 …… (366)
(二)礼俗 …… (367)
(三)尊卑 …… (371)
(四)忌讳 …… (371)
(五)避讳 …… (371)
五、服饰和器物 …… (372)
(一)服饰 …… (372)
1. 头衣 …… (372)
2. 体衣 …… (372)
3. 胫衣、足衣及其他 …… (372)
4. 官员的服饰 …… (372)
5. 佩饰 …… (372)
(二)器物 …… (373)
1. 食器 …… (373)
2. 酒器 …… (373)
3. 其他器物 …… (373)
六、历法和刑罚 …… (373)
(一)历法 …… (373)
1. 纪年法 …… (373)
2. 纪月法 …… (374)
3. 纪日法 …… (374)
4. 纪时法 …… (375)
(二)刑罚 …… (377)
1. 髡、黥、劓、笞、杖、刖、膑、宫 …… (377)
2. 大辟、炮烙、汤镬、车裂、凌迟、腰斩、弃市、枭首、菹醢、极刑 …… (377)
七、古代音乐 …… (377)
(一)音乐知识 …… (377)
1. 五音、六律 …… (377)
2. 十二律 …… (378)
3. 宫调 …… (378)
4. 八音 …… (378)
5. 雅乐 …… (378)
6. 俗乐 …… (378)
(二)古代名曲 …… (378)
1. 经首 …… (378)
2. 六幺 …… (378)
3. 霓裳 …… (378)
4. 桑林 …… (378)
5. 无射 …… (378)
6. 阳春白雪 …… (378)
7. 下里巴人 …… (378)
8. 中国十大古曲 …… (378)
八、古籍注释体例 …… (379)
(一)传 …… (379)
(二)注 …… (379)
(三)笺 …… (379)
(四)疏、正义 …… (379)
(五)诠 …… (379)
(六)义疏 …… (379)
(七)义训 …… (379)

第三编 古代诗文阅读

语文科《考试大纲》对"古代诗文阅读"部分的要求 …… (380)
第一部分 文 字 …… (381)
一、文言读音 …… (381)
(一)多音字 …… (381)
附录 文言文中常见多音字集录 …… (381)
(二)异读字 …… (384)
1. 破音异读 …… (384)
附录 文言文中常见破音异读字集录 … (384)
2. 通假异读 …… (385)
3. 古音异读 …… (385)
附录 文言文中常见古音异读字集录 … (385)
二、通假字 …… (385)
附录 中学课本常见通假字集录 …… (386)
三、古今字、异体字 …… (390)
(一)古今字 …… (390)
(二)异体字 …… (391)
第二部分 文言实词 …… (392)
一、古今异义 …… (392)
(一)词义扩大 …… (392)
(二)词义缩小 …… (392)
(三)词义转移 …… (393)
(四)词义感情色彩的变化 …… (393)
(五)名称说法改变 …… (394)
(六)单音词变为复音词 …… (394)
(七)偏义复词 …… (394)
附录 中学课本常见偏义复词例释 …… (394)

二、一词多义 …… (395)
(一)本义、引申义和通假义 …… (395)
(二)词义的引申方式 …… (395)
(三)一词多义演变的联想方法 … (396)
三、词类活用 …… (396)
(一)名词活用为动词 …… (396)
(二)形容词活用为动词 …… (396)
(三)动词、形容词活用为名词 …… (397)
(四)名词作状语 …… (397)
(五)使动用法 …… (397)
(六)意动用法 …… (398)
(七)为动用法 …… (398)
四、推断文言实词词义的方法 …… (398)
1. 形训推断法 …… (398)
2. 结构推断法 …… (398)
3. 语法推断法 …… (398)
4. 语境推断法 …… (399)
5. 成语推断法 …… (399)
附录一 古今异义的单音节词集录 …… (399)
附录二 古今异义的双音节词集录 …… (400)
附录三 高中生必须掌握的文言实词 …… (405)
附录四 古文中兼表身份和礼敬动作的词 …… (447)
附录五 古代汉语中数的表达 …… (448)
第三部分 文言虚词 …… (450)
一、代词 …… (450)
(一)人称代词 …… (450)
(二)指示代词 …… (451)
(三)疑问代词 …… (451)
二、副词 …… (451)
(一)程度副词 …… (451)
(二)范围副词 …… (452)
(三)时间副词 …… (452)
(四)语气副词 …… (453)
(五)频率副词 …… (453)
(六)谦敬副词 …… (453)
三、介词 …… (453)
四、连词 …… (454)
五、助词 …… (455)
(一)结构助词 …… (455)
(二)语气助词 …… (456)
六、叹词 …… (457)
七、兼词 …… (457)
八、推断文言虚词词义的方法 …… (457)
附录一 常见文言虚词集录 …… (459)
附录二 由文言虚词组成的文言固定结构 …… (467)
第四部分 文言句式 …… (469)
一、判断句 …… (469)
二、被动句 …… (469)
三、省略句 …… (470)
四、谓语前置 …… (471)
五、宾语前置 …… (471)
六、定语后置 …… (472)
七、介词结构后置 …… (473)
八、固定句式 …… (473)
第五部分 文言文断句及翻译 …… (475)
一、文言文断句 …… (475)
(一)根据词性、语序断句 …… (475)
(二)根据特殊句式、固定格式断句 …… (476)
(三)根据修辞技巧断句 …… (478)
(四)根据其他条件断句 …… (478)
附录 文言断句歌 …… (479)
二、文言文翻译 …… (479)
(一)文言文翻译的原则 …… (479)
(二)文言文翻译八字法 …… (479)
(三)难句翻译 …… (480)
(四)文言文翻译常见的失误 …… (480)
(五)文言句式翻译举例 …… (482)
附录 文言文翻译歌诀 …… (484)
第六部分 文言文文意理解 …… (485)
一、筛选文中信息的方法 …… (485)
二、归纳内容要点的方法 …… (485)
三、分析概括作者观点态度的方法 …… (486)
1. 文中筛选法 …… (486)
2. 概括评价法 …… (486)
3. 抓住关键语句 …… (486)
四、文言文文意理解指要 …… (487)
第七部分 古诗词鉴赏 …… (488)
一、古诗词鉴赏的步骤、方法 …… (488)
(一)从内容方面理解 …… (488)
(二)从艺术角度欣赏 …… (491)
二、不同题材的古典诗词的鉴赏 …… (500)
附录一 古诗词曲中常见意象 …… (506)
附录二 古诗文常用典故集锦 …… (511)

第四编 现代文阅读

语文科《考试大纲》对"现代文阅读"部分的要求 …… (514)
第一部分 阅读基本知识 …… (516)
一、现代文阅读的含义 …… (516)
二、阅读的本质、程序和规律 …… (516)
三、不同文体的阅读方法 …… (516)
四、几种常用的阅读方法 …… (517)
五、提高阅读能力的途径 …… (520)
(一)学好基础知识,掌握基本技能 …… (520)
(二)树立整体意识,防止肢解文句 …… (520)
(三)提高阅读速度,掌握阅读技巧 …… (520)
(四)建立相关的知识和能力系统 …… (520)
第二部分 现代文阅读考点分析 …… (521)
一、理解文中重要概念的含义和方法 …… (521)
二、理解文中重要句子的含意和方法 …… (522)
1. 理解文中重要句子的含意 …… (522)
2. 句子含意的种类 …… (523)
3. 理解文中重要句子的方法 …… (523)
三、把握文意 …… (524)
(一)筛选并整合文中的信息 …… (524)
(二)归纳内容要点,概括中心意思 …… (526)
四、分析与推断 …… (527)
(一)分析文章结构,把握文章思路 …… (527)
(二)分析概括作者在文中的观点态度 …… (529)
(三)根据文章内容进行推断和想象 …… (529)
五、评价与鉴赏 …… (531)
(一)文章的思想内容和表达技巧的含义 …… (531)
(二)评价和鉴赏思想内容和表达技巧的方法 …… (531)
(三)文学类文本与实用类文本的不同要求 …… (531)
第三部分 文学类文本阅读 …… (532)
一、散文阅读 …… (532)
(一)散文阅读的一般方法 …… (532)
(二)散文阅读的解题方略 …… (532)
二、小说阅读 …… (533)
(一)小说阅读的主要内容 …… (533)
(二)小说阅读的解题方略 …… (537)
三、剧本阅读 …… (538)
剧本阅读的一般方法 …… (538)
附录一 戏剧冲突的特征、形态和类型 …… (539)
附录二 现代诗歌的鉴赏 …… (540)
第四部分 实用类文本阅读 …… (542)
一、新闻访谈类文本的阅读 …… (542)
(一)新闻访谈类文本的种类 …… (542)
1. 消息 …… (542)
2. 通讯 …… (542)
3. 特写 …… (543)
4. 时评 …… (543)
5. 访谈 …… (543)
(二)新闻访谈类文本的阅读方法 …… (544)
1. 新闻特写的阅读 …… (544)
2. 新闻时评的阅读 …… (544)
3. 新闻访谈的阅读 …… (545)
(三)新闻访谈类文本阅读的解题方略 …… (546)
二、传记阅读 …… (546)
(一)传记阅读的一般方法 …… (546)
(二)传记阅读的解题方略 …… (547)
三、一般实用类文本的阅读技巧 …… (547)
第五部分 论述类文本阅读 …… (548)
一、论述类文本的概念及特点 …… (548)
二、论述类文本的三要素 …… (548)
三、高考论述类文本材料的特点 …… (549)
四、论述类文本的阅读方法 …… (549)
五、论述类文本的解题步骤 …… (550)

第一编　语言知识和语言表达

语文科《考试大纲》*对"语言知识和语言表达"部分的要求：

能识记基本的语言知识，掌握常见的语言表达技能

1. 识记　A

(1)识记现代汉语普通话的字音

(2)识记现代汉字的字形

2. 表达应用　E

(1)正确使用标点符号

(2)正确使用词语(包括熟语)

(3)辨析并修改病句

(病句类型：语序不当、搭配不当、成分残缺或赘余、结构混乱、表意不明、不合逻辑)

(4)扩展语句，压缩语段

(5)选用、仿用、变换句式

(6)正确运用常见的修辞手法

(常见修辞手法：比喻、比拟、借代、夸张、对偶、排比、反复、设问、反问)

(7)语言表达准确、鲜明、生动，简明、连贯、得体

* 这里所说的《考试大纲》的要求包含《2011年普通高等学校招生全国统一考试语文大纲》及《2011年普通高等学校招生语文考试大纲(新课标)》两方面的内容。以后各编同。

第一部分 字 音

一、现代汉语的一般知识

(一)语言文字

从语言的功能看,语言是人类最重要的交际工具;从语言本身分析,语言是以语音为物质外壳、以词汇为建筑材料、以语法为结构规律而构成的一种符号系统。

语言是一种音义结合的符号系统,文字则是记录语言的音、形、义统一的书写符号系统,是人类重要的辅助性交际工具。文字是在已经存在的语言的基础上产生和发展起来的,是从属于语言的。语言是和人类社会相始终的,它是社会存在的必要条件;没有语言,社会不能存在;而没有文字,社会仍可以存在。所以文字只是人们交际的辅助工具。

(二)现代汉语

现代汉语有广义和狭义之分。广义的现代汉语包括现代汉民族共同语及其地方变体(即方言)、社会变体、功能变体、个人变体等。狭义的现代汉语则专指现代汉民族共同语,即以北京语音为标准音,以北方话为基础方言,以典范的现代白话文著作为语法规范的普通话。

(三)现代汉语的三要素

语音、词汇、语法。

(四)普通话

以北京语音为标准音,以北方话为基础方言,以典范的现代白话文著作为语法规范的汉民族共同语。

(五)方言概况

方言可分为七种:①北方方言;②吴方言;③湘方言;④赣方言;⑤客家方言;⑥闽方言;⑦粤方言。

(六)语音

语言是声音和意义的结合体,人类所要表达的意义通常要借助声音体现出来,这种语言的声音叫语音。

(七)音节

一般来说,汉语一个汉字的读音就是一个音节。如"精神文明"四个汉字的读音"jīngshén wénmíng"就是四个音节。

(八)音素

音素是构成音节的最小单位或最小的语音片段。如从"jīngshén wénmíng"这四个音节中,可以分析出j、i、ng、sh、e、n、w、m等音素。《汉语拼音方案》一般用一个字母表示一个音素,也有用双字母表示一个音素的,如er、zh、ch、sh、ng。普通话语音的音素共有32个,其中元音有10个,辅音有22个。

(九)元音

元音又叫"母音"。发音时,气流在口腔、咽头都不受阻碍,声音响亮。普通话中的元音有a、o、e、i、u、ü、ê、er、-i(zi)、-i(zhi)。

(十)辅音

辅音又叫"子音"。发音时,气流受到一定阻碍,声音不响亮。普通话中的辅音有b、p、m、f、d、t、n、l、g、k、h、j、q、x、zh、ch、sh、r、z、c、s、ng。

二、汉语拼音方案

(一)《汉语拼音方案》的组成、用途

《汉语拼音方案》是1958年2月11日由第一届全国人民代表大会第五次会议批准实行的。它包括字母表、声母表、韵母表、声调符号、隔音符号五项内容。用途:给汉字注音,是推广普通话的工

具，作为我国各少数民族创制和改革文字的共同基础，用来帮助外国人学汉语，用来音译人名、地名、和科学术语，以及用来编制索引和代号等等。

（二）《汉语拼音方案》的内容

1. 字母表

Aa Bb Cc Dd Ee Ff Gg Hh Ii Jj Kk
Ll Mm Nn Oo Pp Qq Rr Ss Tt Uu
Vv Ww Xx Yy Zz

v只用来拼写外来语、少数民族语言和方言。字母的手写体依照拉丁字母的一般书写习惯。

2. 声母表

b p m f d t n l
g k h j q x
zh ch sh r z c s

3. 韵母表

a o e ai ei ao ou an en ang eng ong
i ia ie iao iou ian in iang ing iong
u ua uo uai uei uan uen uang ueng
ü üe üan ün

注意

拼写规则：

（1）“知、蚩、诗、日、资、雌、思”等七个音节的韵母用 i，即：知、蚩、诗、日、资、雌、思等字拼作 zhi、chi、shi、ri、zi、ci、si。

（2）韵母儿写成 er，用作韵尾的时候写成 r。例如：“儿童”拼作 ertong，“花儿”拼作 huar。

（3）韵母世单用的时候写成 ê。

（4）i 行的韵母，前面没有声母的时候，写成 yi（衣），ya（呀），ye（耶），yao（腰），you（忧），yan（烟），yin（因），yang（央），ying（英），yong（雍）。

u 行的韵母，前面没有声母的时候，写成 wu（乌），wa（娃），wo（窝），wai（歪），wei（威），wan（弯），wen（温），wang（汪），weng（翁）。

ü 行的韵母，前面没有声母的时候，写成 yu（迂），yue（约），yuan（冤），yun（晕），ü 上两点省略。

ü 行的韵母跟声母 j，q，x 拼的时候，写成 ju（居），qu（区），xu（虚），ü 上两点也省略；但是跟声母 n，l 拼的时候，仍然写成 nü（女），lü（吕）。

（5）iou，uei，uen 前面加声母的时候，写成 iu，ui，un。例如 niu（牛），gui（归），lun（论）。

（6）在给汉字注音的时候，为了使拼式简短，ng 可以省作 ŋ。

4. 声调符号

阴平	阳平	上声	去声
−	/	V	\

声调符号标在音节的主要母音上。轻声不标。例如：

妈 mā　麻 má　马 mǎ　骂 mà　吗 ma
（阴平）（阳平）（上声）（去声）（轻声）

5. 隔音符号

a，o，e 开头的音节连接在其他音节后面的时候，如果音节的界限发生混淆，用隔音符号（’）隔开，例如：pi’ao（皮袄）。

(三)有关知识

1.声母 一个汉字音节开头的辅音叫声母。《汉语拼音方案》中共有声母21个。声母都是辅音,但辅音不一定都是声母,如"ng"是辅音,但它在普通话中不作声母用,只作韵尾。

2.韵母 韵母是音节中声母后面的部分或没有声母的音节。元音全是韵母或韵母的组成部分,但韵母不全是元音。如"花"的韵母是元音u,a;而"山"的韵母是an,元音a只是这一韵母的组成部分。"an"这一韵母中不仅有元音a,还有辅音n。

3.零声母 有些音节没有声母,即声母个数是"零",因此就叫"零声母"。如安(an)、恩(en)。

4.韵头、韵腹、韵尾 韵头指主要元音前的介音。如jia、guang这两个音节中的i和u就叫韵头。韵腹指主要元音。如guang中的a就叫韵腹。韵尾指韵腹后面的部分。韵尾有两种:一种是元音韵尾,如音节dai中的i;另一种是辅音韵尾,如音节guang中的ng。

5.韵母和韵的区别 韵母是指一个音节中声母后面的部分或没有声母的音节,如dang、ti,其中ang、i就是韵母。韵所指的范围比韵母大。如an、ian、uan、üan是四个韵母,但同属一个韵。韵的区分着重在主要元音(韵腹)和韵尾是否相同,而不管韵母是否相同。因此,一个韵下面往往包含几个韵母,如a、ia、ua、ao、iao。

6.声调符号的标写 调号标在音节的主要元音(a、o、e、i、u、ü)上。轻声不标。口诀是:a母出现莫放过,没有a母找e、o。iu、ui两韵标在后,"i"上标调把点抹。

7.隔音符号 《汉语拼音方案》规定,a、o、e开头的音节连接在其他音节后面的时候,如果音节的界限发生混淆,用隔音符号(')隔开。例如:

西安 xī'ān　方案 fāng'àn　命案 mìng'àn　企鹅 qǐ'é　恩爱 ēn'ài　木偶 mù'ǒu
煎熬 jiān'áo　傲岸 ào'àn　酷爱 kù'ài　名额 míng'é　激昂 jī'áng　答案 dá'àn

但是,如果第二个音节的开头是辅音时,则不必用隔音符号。例如:气恼 qìnǎo,西南 xīnán。

8.反切 反切是一种传统的注音方法,即用两个字拼合成另一个字的音。反切上字与所切之字声母相同,反切下字与所切之字韵母和声调相同,即上字取声,下字取韵和调,如"练,朗甸切",取"朗"字的声母(l)、"甸"字的韵母和声调(iàn)拼写成"练"的字音(liàn)。

三、拼写知识

(一)大写

拼音在以下情况下应该大写:

1.句子开头的第一个字母和诗歌每行开头的第一个字母要大写。如:

我们要刻苦学习——Wǒmen yào kèkǔ xuéxí
红军不怕远征难——Hóngjūn bú pà yuǎn zhēng nán

2.汉语人名的姓和名开头的第一个字母要大写。如:

毛泽东——Máo Zédōng　周恩来——Zhōu Ēnlái

3.专用名词和专用短语中的每个词开头的第一个字母要大写。如:

新华书店——Xīnhuá Shūdiàn　中国共产党——Zhōngguó Gòngchǎndǎng

4.文章标题可以全部大写,每个词开头的字母也可以大写,有时为了美观,可以省略声调符号。如:

FANGXIA	BAOFU	KAIDONG	JIQI
Fangxia	Baofu	Kaidong	Jiqi
放下	包袱	开动	机器

5.以"老、小、大、阿"等称呼开头的第一个字母要大写。如:

大刘 Dà Liú　老李 Lǎo Lǐ

6.地名和行政区划单位的词,第一个字母要大写。如:

沈阳——Shěnyáng　本溪市——Běnxī Shì

(二)连写和分写

汉语拼音在拼写时基本上以词为书写单位,词要连在一起写,词与词分开写。类型如下:

1. 同一词的音节要连写,词与词一般分写。如:

团结起来,为实现四个现代化而奋斗!

Tuánjié qǐlái,wèi shíxiàn sì gè xiàndàihuà ér fèndòu!

2. 表示一个整体概念的双音节和三音节结构连写。如:

国家——guójiā 植树节——zhíshùjié

3. 四音节以上表示一个整体概念的名称,按词分开写,不能按词划分的全部连写。如:

中学生日常行为规范——zhōngxuéshēng rìcháng xíngwéi guīfàn

4. 单音词重叠要连写,双音词重叠要分写。如:

天天——tiāntiān 讨论讨论——tǎolùn tǎolùn

5. 名词与单音节前加成分(如副、总、非、反、超、老、阿、可、无等)和单音节后加成分(子、儿、头、们等)连写。如:

副局长——fùjúzhǎng 反坦克雷——fǎntǎnkèléi 同志们——tóngzhìmen 盒子——hézi

6. 名词和后面的方位词分写。如:

山坡上——shānpō shang 长江以南——Chángjiāng yǐnán

7. 汉语人名的姓和名分写,笔名、别名按姓名写法处理。如:

徐洪刚——Xú Hónggāng 鲁迅——Lǔ Xùn

8. 姓名和职务、称呼等分开写,职务、称呼开头的第一个字母小写。如:

刘校长——Liú xiàozhǎng 于书记——Yú shūjì

9. 已经专名化的称呼连写。如:

孟子——Mèngzǐ 秦始皇——Qínshǐhuáng

10. 地名和行政区划单位的词分写。如:

辽宁省——Liáoníng Shěng

11. 动词和时态助词"着、了、过"连写。如:

看着——kànzhe 看了——kànle 看过——kànguo

12. 单音节形容词和重叠的形容词前加成分或后加成分连写。如:

蒙蒙亮——mēngmēngliàng 亮晶晶——liàngjīngjīng

13. 表示复数的"们"和前面的代词连写。如:

我们——wǒmen

14. "这、那、哪"和"些、么、样、般、里、边、会儿、个"连写。如:

这么样——zhèmeyàng 这个——zhège

15. 介词、连词、结构助词、语气助词、叹词、拟声词与其他词分写。如:

很好——hěn hǎo 在后边——zài hòu bian 我的书——wǒ de shū

四、朗读知识

(一)停顿

说话或朗读时,常常在句子前后和中间作或长或短的停顿。这一方面是出于人的生理或句子结构的需要,停下来换口气或使句子层次分明;另一方面也是为了充分表达思想感情,并让听者有时间领会说话或朗读的内容。

1. 停顿的分类

(1)语法停顿

①较显著的停顿书面上一般都用标点符号表示出来。

a. 句中的点号表示停顿,时间长短不一,顿号最短,逗号较长,分号又较逗号为长。

b. 句中的省略号和破折号也表示一定的停顿。

c. 句末点号(包括句号、问号、感叹号)表示的停顿要较分号为长,章节段落之间的停顿还要更长一点。

d. 冒号是一种运用比较灵活的点号,它所表示的停顿一般较分号为长,较句号为短。一般地说,根据标点符号采取不同的停顿,就能够使说话顿挫有度,语意层次分明。

②有一些长句子内部没有标点,我们可以根据语法关系决定如何停顿。这种停顿多在主语、谓语之间,定语、状语之后,宾语、补语之后。例如:

每星期一次采购,我也学会了/推着购货车/逡巡在超级市场的/琳琅满目的商品食物之中。(王蒙《别衣阿华》)

(2)逻辑停顿

为了突出某一事物,强调某一观点,表达某种感情,而在句中没有标点符号的地方作适当的停顿,这种停顿通常叫做逻辑停顿。例如:

点心/有十样锦、菜/有十碗,音乐/有十番,阎罗/有十殿,药/有十全大补……(鲁迅《再论雪峰塔的倒掉》)

(3)节拍停顿

为了显示韵文的节奏而采用的停顿。节奏停顿可以是短暂休止,也可以采用拖腔。格律诗大都是七言四拍、五言三拍。例如:

国破/山河/在,城春/草木/深。(杜甫《春望》)

宜将/剩勇/追/穷寇,不可/沽名/学/霸王。(毛泽东《七律·人民解放军占领南京》)

新诗的节奏有的比较严整,有的比较自由。在划分节拍时,一要考虑结构均匀,二要适当照顾语意。每句的节拍数可以相同,也可以相近。例如:

我为少男少女们/歌唱。

我歌唱/早晨,

我歌唱/希望,

我歌唱那些/属于未来的/事物,

我歌唱/正在生长的/力量。

(何其芳《我为少男少女们歌唱》)

2. 恰当确定朗读中的停顿

朗读的停顿与所读作品的文体及其所表达的思想感情有关。不同文体的作品所表达的思想感情的不同决定了朗读速度的不同。

一般来说,议论文和说明文以中速为宜,根据需要适当停顿。记叙文则依据情节的进展和感情表达的需要来安排。如果内容表达的是激动、欢快、紧张的情绪,语言慷慨激昂、豪迈奔放,语速要相对快一些,停顿的次数要减少,停顿的时间也要短一些;如果内容表达的是痛苦、悲伤、低沉、抒情的情绪,语速就要慢一些,停顿次数要多一些,停顿时间也要长一些。

朗读诗歌要注意节奏停顿,根据诗体的不同,停顿也要不同。

古诗四字句一般是两拍"二二式"。如:硕鼠/硕鼠,无食/我黍。

古诗五字句一般是三拍"二二一式"。如:欲穷/千里/目,更上/一层/楼。

古诗七字句一般是四拍"二二二一式"。如:无边/落木/萧萧/下,不尽/长江/滚滚/来。

现代诗歌的停顿,一般也是两个音节或三个音节为一拍。如:手抓/黄土/我不放,紧紧儿/贴在/心窝上。 树梢/树枝/树根根,亲山/亲水/有亲人。

(二)重音

1. 词重音

词重音指词语里重读的音节(字下加"·"表重音)。

木头 孩子 棉花 衣服 制服 无限 未来

2. 语句重音

说话和朗读时，把句子中某些词语读得较重的现象，叫语句重音。

语句重音就语句中重读的词语而言，可分为语法重音和逻辑重音。

(1)语法重音

句子里某些语法成分需要重读。

①谓语中的主要动词或形容词要重读。如：中国人民从此站起来了！　小草绿了。

②表示性状和程度的状语常常要重读。如：你不要慌，慢慢地说。　大家要特别小心！

③表示性状和强调的定语要重读。如：这是多么感人的场面哪！　伟大的祖国在前进。

④表示结果或程度的补语要重读。如：这件衣服漂亮极了！　他跳得真高。

⑤疑问代词和指示代词要重读。如：谁来了？　那可不行！

⑥句子中用作比喻的词常常要重读。如：五彩缤纷的野花，像天边的彩霞那么耀眼。

(2)逻辑重音

句子中某些需要突出或强调的词语常需重读，这是为了表示特殊的思想感情而改变句中原来重读的词语。不同的环境、不同的思想感情需要强调不同的词语，所以句子中因强调而重读的地方也是不固定的。例如：

我知道你会弹钢琴。(别人不知道你会弹。)

我知道你会弹钢琴。(你不要瞒着我了。)

我知道你会弹钢琴。(别人会不会我不知道。)

我知道你会弹钢琴。(你怎么说不会呢?)

我知道你会弹钢琴。(会不会别的乐器我不知道。)

(三)句调

句调是指整句话的音高升降的变化。它与声调都是音高的变化形式，但声调只指一个音节(字)的音高变化，所以又叫"字调"。句调在句末音节上表现得特别明显，但是它是贯串在整个句子中的，所以它属于超音段成分，不同于音素、音节等音段成分。

1. 句调的四种形式

(1)升调　调子由平升高，常用来表示反问、疑问、惊异、号召等语气。例如：

①难道我是个小孩？(反问)　②王小萌来了吗？(疑问)

③这件事，是他办的？(惊异)

(2)降调　调子先平后降，常用来表示陈述、感叹、请求等语气。例如：

①我们一定要实现四个现代化。(陈述)　②天安门多雄伟啊！(感叹)

③王老师，您再给我们讲个故事吧。(请求)

(3)平调　调子始终保持同样的高低，常用来表示严肃、冷淡、叙述等语气。例如：

①烈士们的英名和业绩将永垂不朽！(严肃)　②少说闲话，随你处理吧。(冷淡)

③大伙儿都说张老头儿是个厚道人。(叙述)

(4)曲调　调子升高再降，或降低再升，常用来表示含蓄、讽刺、意在言外等语气。例如：

哎呀呀，你这么大的力气，山都会被你推倒呢。(讽刺)

2. 句调对字调的影响

这里，我们还要谈谈句调的高低升降跟声调(字调)的高低升降的关系。句调往往影响字调，比较突出地表现在句末音节上，大体情形如下：

(1)句调上升时

①字调后部为上升，则使其升得更高一点。

阳平＋升调：你去济南？　上声＋升调：你姓李？

②字调是平的，则使字调后部上升。

阴平＋升调：你喜欢小说？

③字调是降的，则变为降升。

去声＋升调：你想去重庆？

(2)句调下降时

①字调后部为上升，则变为升降调。

阳平＋降调：我去桂林。　　上声＋降调：你快走。

②字调是平的，则使字调变为平降调。

阴平＋降调：我们今天去北京。

③字调是降的，则降得更低。

去声＋降调：她姓杜。

(四)音变

普通话中音变有三种情况：轻声、儿化、变调。

1. 轻声

普通话的每个音节都有固定的声调，但有的音节在词和句子里常常改变了原来的声调，读成了一种又轻又短的调子，这就是轻声。

注意

(1)常见的情况有：

①重叠词的后面一个字一般读轻声。如“妈妈”“哥哥”“说说”。

②语气助词“吧、吗、呢、啊、嘛、哩、呀、哇”等读轻声。

③时态助词“着、了、过”和结构助词“的、地、得”读轻声。

④构成名词的虚语素“子、儿”等读轻声。

⑤代词中的“们、么”等读轻声。

⑥名词后面的方位词读轻声。如“村里”“教室里”。

⑦动词后面的趋向动词读轻声。如“快上来”“走出去”。

⑧部分双音节单纯词，第二个音节读轻声。如“萝卜”。

⑨部分双音节合成词，第二个音节习惯上读轻声。如“打算”“买卖”。

(2)轻声的作用。在很多情况下轻声音节具有区别意义和区分词性的作用。如“粗心大意”“段落大意”。

2. 儿化

普通话中，韵母 er 除了自成音节外，不能同声母相拼，但它可以同其他韵母合成一个音节，使这个韵母变为卷舌韵母，这就叫做“儿化”。“儿化”了的韵叫“儿化韵”。拼写儿化音节，就是在原来的音节之后加上“r”(表示卷舌作用)就可以了。带儿化韵的音节，用两个汉字来表示。如：

花儿：huā er ⟶ huār　馅儿：xiàn er ⟶ xiànr

儿化的作用：区别词义，区分词性，表示细小、亲切、轻松或喜爱的感情色彩。

(1)区别词义

①一些词儿化后具有比喻义。如：头(脑袋)——头儿(领头的)

②一些词儿化后词义会缩小或转移。如：鼻(五官之一)——鼻儿(不指五官的鼻)

(2)区分词性

一些词儿化后可以改变词性。如：盖(动词)——盖儿(名词)　画(动词)——画儿(名词)

(3)表示细小、亲切、轻松或喜爱的感情。如：小猫儿　小孩儿　小球儿　金鱼儿

3. 变调

两个音节相连而影响声调的变化叫做变调。变调也是一种音变。常见的变调有下列几种：

(1)上声的变调

单念或在词语末尾时，上声字声调不变。如：大海　很好

在下列情况下，变成阳平或半上声。

①两个上声相连，前一个变阳平。如：洗脸——近似“席脸” 友好——近似“由好”

②上声字在非上声字前变半上声。如：普通(在阴平前) 语言(在阳平前)

③三个上声相连，一种是第一个音节调值变为半上声，第二个音节变阳平；一种是前两个变阳平。如：你有/理 很勇/敢 展览/馆

(2)去声的变调

两个去声相连，第一个变半去声，即去声的一半。如：会务 变异

(3)“一、不”的变调

①单念或在词句末尾读本调。如：

一(yī) 统一(yī) 不(bù) 偏不(bù)

②在去声前一律读阳平。如：

一样(yí) 一向(yí) 不怕(bú) 不够(bú)

③在阴平、阳平、上声前，“一”变去声，“不”仍读去声。如：

一般、一年、一尺(yì)变读去声，不同、不好(bù)仍读去声。

④“一、不”嵌在相同的动词中间或肯定否定连用时，变轻声。如：

想一想 瞧一瞧 说不说 要不要

(4)“七、八”的变读

“七、八”单念或在阴平、阳平、上声前读原调。如：

七 八 九(单念) 七天 八天(阴平前)

“七、八”在去声前变阳平，也可不变。如：

七岁 七件 七次(qí或qī) 八岁 八件 八次(bá或bā)

(5)“啊”的变读

①前一个音节末尾音素是a、o、e、ê、i、ü(不包括ao、iao，因为这种“o”接近“u”)时变读为ya，也可写作“呀”。如：

a 这几个学生的雄心壮志真大啊！

o 我们都有义务建设自己的祖国啊！

e 有出息的作者要创出自己的特色啊！

ê 我们在扫街啊！

i 李明可真有骨气啊！

ü 是修养让他有这样奇妙的志趣啊！

②前一个音节末尾的音素是u(包括ao、iao)时，“啊”变读为wa，也可以写作“哇”。如：

u 这是多好的思路啊！

ao 一生得经历几场风暴啊！

iao 一本好书会蕴涵着多少奥妙啊！

③前一个音节末尾音素是n时，“啊”变读为na，也可写作“哪”。如：

我们克服了多少困难啊！

善学善问才会有学问啊！

④前一个音节末尾音素是ng时，“啊”变读为nga，仍写作“啊”。如：

善于创造的人是多么富于想象啊！

⑤前一个音节末尾音素是舌尖前韵母－i[ɿ](zi、ci、si的韵母)，变读为[zA]，[z]是与s相对的浊音，仍写作“啊”。如：

他这个人总是振振有词啊！

⑥前一个音节末尾音素是舌尖后韵母－i[ʅ](zhi、chi、shi的韵母)或er时，“啊”变读为ra[ʐA]，仍写作“啊”。如：

人生就是一首优美的哲理诗啊！

⑦“啊”在句前单用时，有四种声调变化。如：

啊(ā)！灿烂的人类文化！　　啊(á)！你还没准备好吗？

啊(ǎ)！你就是辛教授吗？　　啊(à)！你已经考虑成熟了。

(6)形容词重叠的变调

①单音节形容词重叠儿化后，第二个音节往往读成阴平。如：好好儿的。

②单音节形容词的叠音后缀，往往读阴平。如：沉甸甸。

③双音节形容词重叠后，第二个音节一般变为轻声。如：老老实实。

五、汉字读音应注意的问题

(一)以《新华字典》为正音依据

汉字的读音，要以《新华字典》(2011年修订重排本)为依据正音。如“嗟”，读 jiē，取消 juē；“寻”，读 xún，取消 xín。

(二)注意易错字读音

1. 形声字的错读

这一类的错读有三种情况：

(1)声旁的声母变化了。例如：“挠”不读 ráo，而读 náo；“济”不读 qí，而读 jì 或 jǐ。

(2)声旁的韵母变化了。例如：“幄”不读 wū，而读 wò；“掰”不读 bēi，而读 bāi。

(3)声旁中声母和韵母都发生变化了。例如：“崛”不读 qū，而读 jué；“嵩”不读 gāo，而读 sōng。

2. 形近字的错读

例如：因“谄”与“馅”“陷”相近，将“谄”(chǎn)错读成 xiàn；“掣”与“擎”相近，将“掣”(chè)错读成 qíng。

3. 多义多音字的错读

有些字的字义不同，字音也不同，但人们往往不加区别地将其错读成一个音。

例如：“耙”(bà)是一种弄碎土块的农具。使用这种工具碎土平地叫“耙地”。如果读 pá 就是另一种农具，有钉耙子、竹耙子等。

对多义、多音字的辨音，常常要在组成词后的语境中解决，甚至要在句子的语境中解决。

例如：“澄清”，它可以是形容词，形容水的清亮；也可以是动词，是搞清楚、弄明确或让液体中的混浊物沉下去的意思。如果说“这个问题需要澄清”，就要读 chéng；如果说“把药澄清了再喝”，就要读 dèng。

4. 同义多音字的错读

有些字在不同的词里，字义并没有显著的不同，字音却不同了，主要有三种情况：

(1)这个字单用(单音词)时和用这个字构成双音词或多音词时读法不同。例如：“削”在短语“削苹果皮”“削铅笔”中读 xiāo，在复合词“剥削”“削减”“削弱”中读 xuē。

(2)这个字在个别词语中的读音与一般读音不同。例如：“秘”在“秘诀”“秘书”“秘密”中都读 mì，可用在南美洲的一个国家名“秘鲁”中时却读 Bì。

(3)这个字在口语常用词与书面语常用词中的读音不同。例如：“血”在口语常用词“血糊糊”“血淋淋”中读 xiě，而在书面语常用词“血管”“血海深仇”中则读 xuè。

5. 难读字的错读

有些字的字义，根据上下文的意思可以了解，但字音却让读者觉得不好把握。例如：霾 mái，魑 chī。有的字虽有声旁，但声旁也难以认识。例如：鬣 liè，鳢 lǐ。有的字的声旁虽然熟悉，却不敢贸然按声旁来读。例如：黠 xiá，髫 tiáo，酌 zhuó。这样的字不好归类，可算作难读字。

6. 习惯读音错读

在日常生活中，人们对汉字的读音不会有严格的要求，久而久之便会习惯性地读错某些字。例如：汤匙(chí)有时人们会读成 chī，火钳(qián)有时人们会读成 qiàn 等。

六、多音字读音的辨析方法

字音考查的难点主要是多音字的读音辨析。很多时候，考生因为对多音字把握不准，造成误读。造成不同读音的原因主要是以下几个方面：一是字义、词性的不同；二是书面语与口语的不同；三是一般词语与专用词语的不同。学习时为了防止错误的发生，要注意从以下几方面入手：

1. 从字的意义和词性入手辨析

多音字往往就是多义词，在具体的组词和使用环境中，其义项是相对固定的，体现在词性上就更单纯，因此，可以从字义、词性的角度去分辨。如“兴”字有两个读音，作名词时，读“xìng”，如“兴致”“兴高采烈”“兴味盎然”等；作动词时，读“xīng”，如“兴亡”“兴风作浪”“兴师动众”。类似的还有“曲”“横”“泊”“泥”“笼”“宁”“弹”“炮”“省”“丧”“藏”“乘”“处”等。

2. 从词义的使用习惯入手辨析

有些多音多义字，其多个词义有的习惯用于人，有的习惯用于物；有的习惯作前词根，有的习惯作后词根。其使用习惯不同，也决定了其读音的不同。如“角”，当其意义与物有关时读 jiǎo，如“角落”“勾心斗角”等；当其意义与人的活动有关时，读“jué”，如“角色”“角斗”等。类似的还有“量”“供”“塞”等。

3. 从词义的特殊性入手辨析

有些多音字，其多种读音中，有一个或两个意义是非常稀有或特殊的。对这部分多音字的掌握，可采取记少不记多的办法识记。如“艾”，有两个读音，当读 yì 时，其意义为“治理、改正”，如“自怨自艾”“惩艾”。其余大部分词语中的读音为 ài。类似的还有“巷”“称”“度”“藉”“暴”“扁”“蛇”“殷”“否”等。

4. 从口语与书面语入手辨析

有些多音字的读音，分别运用于口语和书面语。口语环境与日常生活有关，通俗平易；书面语庄重典雅，多在复音词和成语中出现。如“露”，书面语中读 lù，如“露骨”“显露头角”等；口语中读 lòu，如“露脸”“露马脚”“露富”等。类似的还有“给”“落”“血”“剥”“差”“壳”等。

5. 从一般词语与专用词语入手辨析

有些多音字的读音，分别运用于一般词语和专用词语中。这些专用词语，主要指的是姓氏和地名，如“单”，当读 Shàn 时，作姓氏用，如“单四嫂子”；当读 chán 时，作专用名词，如“单于”；当读 dān 时，作一般词语，如“单纯”“单打”“药单”等。类似的还有“番”“区”“解”“缪”等。

附录一

多音字辨析

阿 ā 当前缀或译音，如“阿哥”“阿拉伯”。
ē 迎合，偏袒，如“阿谀”“阿其所好”“刚直不阿”。

挨 āi 用于“挨个”（逐一）、“挨近”等。
ái 用于“挨打”“挨时间”等。

艾 ài①多年生草本植物，也叫艾蒿；②停止，如“方兴未艾”。
yì 惩治，如“惩艾”“自怨自艾”（本义是悔恨自己的错误，自己改正，现在只指悔恨）。

拗 ǎo 弄弯使断，如“把钢丝拗断”。
ào 不顺，不顺从，如“违拗”（违背，有意不依从）、“拗口”等。
niù 固执，不驯服，如“执拗”“脾气拗”等。

扒 bā 抓，拆，脱，剥削，如“扒车”“扒屋”“扒衣服”“扒皮”。
pá 用工具使东西聚拢或散开，偷，如“扒草”“扒窃”。

柏 bǎi①柏树，常绿乔木；②姓氏。
bó 德国首都柏林。
bò 黄柏，一种树木。

薄 báo（口语）①不厚，如“底子薄”；②（感情）冷淡，不深，如“情分薄”；③（味道）淡，不浓，如“酒味很薄”；④（土地）不肥沃，如“这儿地薄，产量不高”。
bó（书面语）①轻微，少，如“薄技”；②不强健，不壮实，如“单薄”；③不厚道，如“刻薄”；④看不起，如“鄙薄”“菲薄”；⑤迫近，如“日薄西山”；⑥不肥沃，如“薄田”。
bò 用于“薄荷”。

剥 bāo（口语）去掉外面的皮或壳，如“剥花生”“剥皮”。
bō（书面语）用于合成词或成语，如“剥削”

"剥夺""剥落""盘剥""生吞活剥"。

刨 bào ①刨子或刨床，如"槽刨""刨刃儿"等；②用刨子或刨床刮平木料或钢材等，如"刨木头"。

páo ①挖掘，如"刨土""刨坑"；②刨除，如"十天刨去五天"。

暴 bào 突然而猛烈，如"暴力""暴饮""自暴自弃"。

pù 同"曝"。

曝 bào 用于"曝光"。

pù 晒，如"曝露""一曝十寒"。

背 bēi 用于"背负""背债""背包"等。

bèi 用于"背风""背约""背信弃义""背道而驰"等。

臂 bei 用于"胳臂"。

bì 用于"臂膀""臂助"(帮助，助手)等。

奔 bēn 用于"奔波""奔驰""奔放""奔流"等词语。

bèn 用于"奔命""奔头儿"。

绷 bēng ①拉紧，如"绷紧绳子"；②粗粗地缝，如"绷被头"。

běng ①绷着，如"绷着脸"；②强忍住，如"他绷不住笑了"。

辟 bì ①君主，如"复辟"；②君主召见并授予官职，如"辟举"(征召和荐举)。

pì ①开辟；②排除或驳斥，如"辟谣""辟邪说"；③透彻，如"精辟"。

裨 bì 益处，如"裨益""无裨于事"。

pí 辅佐的，副，如"偏裨""裨将"。

骠 biāo 用于"黄骠马"(一种黄毛夹杂着白点子的马)。

piào 用于"骠骑"(古代将军的名号)、"骠勇"(勇猛)。

扁 biǎn 一种形状，如"扁平""扁圆"。

piān 用于"扁舟"(小船)。

便 biàn ①方便，便利；②方便的时候或顺便的机会，如"得便""便车"等。

pián ①便便，形容肥胖；②便宜(piányi) a. 价钱低；b. 不应得的好处。

瘪 biē 用于"瘪三"(上海人称城市中无正当职业而以乞讨或偷窃为生的游民)。

biě 物体表面凹下去，不饱满，如"干瘪""瘪谷"。

别 bié 用于"别离""鉴别""别致""别出心裁"等。

biè 用于"别扭"。

屏 bǐng ①抑止呼吸，如"屏气"；②排除，除去，如"屏弃"。

píng ①屏风，如"画屏"；②遮挡，如"屏障"。

伯 bó 用于"伯父""伯仲""伯爵"等。

bǎi 大伯子(丈夫的哥哥)。

泊 bó (动词) ①船靠岸，如"停泊"等；②停留，如"漂泊"等。

pō (名词) ①湖，如"湖泊""梁山泊"；②血泊。

采 cǎi 用于"采纳""兴高采烈"等。

cài 用于"采地(采邑)"[古代诸侯分封给卿大夫的田地(包括耕种土地的奴隶)]。

参 cān ①加入，如"参军"；②参考，如"参阅"；③进见，如"参谒"。

cēn 用于"参差"(长短、高低、大小不齐，不一致)。

shēn ①多指人参；②参和商，不同时在天空中出现的两颗星，比喻亲友不能会面，也比喻感情不和睦。

藏 cáng 用于"躲藏""藏匿""藏拙""收藏""冷藏""藏踪"等词语。

zàng 用于"宝藏""西藏""藏药""藏族"等词语。

曾 céng 用于"曾经""曾几何时"(时间没过多久)等。

zēng 用于"曾祖""曾孙"(孙子的儿子)等。

差 chā ①甲数减乙数所余；②稍微，还，如"差强人意""差可告慰"；③不相同，不相合，如"差异""差别"。

chà ①不相同，不相合，如"差得远"；②缺欠，如"差个人"；③不好，如"质量差"；④错误，如"说差了"。

chāi ①派遣，差遣；②被派遣去做的事，如"出差"；③差役，当差的人。

cī 用于"参差"。

禅 chán 有关佛教的，如"坐禅""禅杖""禅师"等。

shàn 禅让(指古代帝王让位给他人)。

孱 chán 瘦弱，软弱，如"孱弱""孱羸"。

càn 意义同 chán，用于"孱头"。

颤 chàn (动)发抖，颤动，如"颤抖""颤巍巍""颤悠"等。

zhàn 用于"颤栗"。

场 chǎng 用于"场地""场合""场面""冷场""捧场""上场""一场戏"等。

cháng 用于"场院""圩场""一场大雨"等。

绰 chāo 抓取，如"绰起一根木棍"。

chuò ①宽裕，如"绰绰有余"；②绰号；③绰

约(形容女子姿态柔美的样子)。

朝cháo 用于"朝代""朝奉""朝见""朝纲""朝政"等词语。

zhāo 用于"朝阳""朝晖""朝气""朝夕""朝霞"等。

称chèn①适合,如"称身""称心""称职";②相当,如"匀称"。

chēng① 叫做,如"自称";② 名称,如"俗称";③说,如"称好";④测定重量,如"把这袋米称一称"。

chèng 同"秤"。

伧chen 用于"寒伧"(丑陋,不体面,讥笑)。

cāng 粗野,如"伧俗"(粗俗鄙陋)。

乘chéng 用于"乘势""乘便""乘机""乘凉""乘兴""乘坐"等词语。

shèng 古代称四匹马拉的车一辆为一乘。如"千乘之国"。

澄chéng 水清,澄清,使清明,如"江澄如练""澄清事实"。

dèng 使水清,如"把浑水澄清"。

冲chōng 用于"要冲"(重要地方)、"首当其冲"(比喻首先受到冲击或遭遇灾难)、"冲撞""冲突""冲犯"(冒犯)、"冲洗""冲销"(抵消)等。

chòng 用于"冲床""冲压""冲劲"等。

臭chòu①跟"香"相对;②恶,坏,如"臭名";③狠狠地,如"臭骂"。

xiù 气味,如"无色无臭""乳臭未干"。

处chǔ①居住,如"穴居野处";②跟别人交往;③用于"处心积虑";④处置,处罚;⑤用于"处女作""处女地"等。

chù①地方,处所,如"住处";②机关,部门,如"公证处"。

畜chù(名词)禽兽,多指家畜,如"六畜""牲畜"等。

xù(动词)饲养牲畜,如"畜牧""畜养""畜产"等。

揣chuāi 藏在衣服里,如"揣手""揣在怀里"。

chuǎi 估量,如"揣测""揣摩"。

chuài 挣揣(挣扎)。

创chuāng 用于"创伤""重创"(使受严重损伤)等。

chuàng 用于"首创""创举"等。

幢chuáng 用于"经幢(石幢)"(刻有佛的名字或经咒的石柱子)、"幢幢"(影子摇晃)等。

zhuàng 量词,座,如"一幢房子"。

椎chuí 敲打东西的器具,敲打,如"椎心泣血"。

zhuī 椎骨,如"脊椎"。

刺cī 拟声词,如"刺刺地冒火星"。

cì 用于"刺激""刺探""刺刺不休"(说话没完没了)等。

伺cì 伺候,听人使唤,照料别人。

sì 观察,守候,如"窥伺""伺机""伺隙"等。

攒cuán 聚,凑集,如"万头攒动""攒击""攒钱"(凑钱)。

zǎn 积聚,积蓄,如"积攒""攒钱"(存钱)。

撮cuō 聚起,摘取,量词,如"撮土""撮要""一撮米"。

zuǒ 量词,用于成丛的毛发,如"一撮儿头发"。

答dā 专用于"答应""答言""答腔"等。

dá①回答,如"答非所问";②还报,如"答谢""报答"。

大dà 用于"大夫"(古官名)、"大王"(君主)、"石油大王"等。

dài 用于"大夫"(医生)、"山大王"(强盗首领)等。

待dāi 停留,如"待一会儿"。

dài 用于"对待""等待""自不待言"(自然无须说)。

逮dǎi 捉,如"猫逮老鼠"。

dài①到,及。如"力有未逮";②义同"逮"(dǎi),只用于"逮捕"。

弹dàn 用于"子弹""导弹"等。

tán 用于"弹性""弹劾""弹压"(镇压)、"弹指"(比喻极短暂的时间)等。

当dāng 用于"当地""当代""当年"(指过去)、"螳臂当车""门当户对"等。

dàng 用于"恰当""当真""当做""当年"(这一年)、"安步当车"等。

叨dāo 用于"叨登""叨念"等词语。

dáo 用于"叨咕"[(方言)小声絮叨]。

tāo"受到好处"之意。如"叨教""叨扰""叨光"。

倒dǎo 用于"跌倒""倒台""倒戈""倒车"(中途换车)、"倒手"等。

dào 用于"倒影""倒悬""倒彩"(倒好儿)、"倒车"(使车后退)等。

提dī 用于"提防"(防备)、"提溜"。

tí 用于"提纲""提醒""提取"。

的dí 真实,实在,如"的确""的当"(恰当,非常合适)、"的证"(确凿的证据)。

dì 箭靶的中心,如"目的""无的放矢""众矢之的"。

调diào 用于"调动""调查""调度""调干""调集"等词语。

tiáo 用于“调和”“调剂”“调教”“调解”“调侃”“调控”等词语。

斗 dǒu 用于“斗升”“斗胆”(大胆,多作谦辞)、“斗室”(比喻极小的屋子)等。

dòu 用于“搏斗”“斗智”等。

度 dù 用于“度假”“度命”“度量”“度量衡”“度曲”(作曲)等。

duó 用于“揣度”“测度”“度德量力”等。

囤 dùn 名词,用竹篾等编成的或用席箔等围成的装粮食的器具。

tún 动词,储存,如“囤积居奇”。

恶 ě 恶心,要呕吐或令人厌恶的感觉。

è①与“善”相对;②凶狠,如“恶骂”“恶战”;③恶劣,坏,如“恶习”。

wū①叹词,表示惊讶:“恶,是何言也!”②疑问代词,同“乌”,何、哪里(多用于反问)。

wù 憎恨,讨厌,如“可恶”“深恶痛绝”。

发 fā(动词)用于“发落”“发生”“发挥”等。

fà(名词)用于“理发”“脱发”“令人发指”(形容愤怒到极点)等。

坊 fāng 用于“坊间”(街市上)、“牌坊”等。

fáng(名词)用于“磨坊”等。

菲 fēi 形容花草美、香味浓,如“芳菲”。

fěi 菲薄(多用作谦辞),如“菲仪”(菲薄的礼物)。

分 fēn 与分开有关的,如“分裂”“分配”“区分”“百分之一”。

fèn 成分,职责,料想,格外,如“养分”“过分”“自分”(料想)、“分外”。

缝 féng 用于动词,如“缝补”“缝纫”。

fèng 用于名词,如“门缝”“缝隙”。

否 fǒu 用于“否定”“否决”“是否”“否认”“否则”等词语。

pǐ①坏、恶;②贬斥。如“否极泰来”“臧否人物”。

轧 gá(方言)“轧朋友”“轧账”。

zhá 用于“轧钢”(压钢坯)、“轧机”(轧钢用的机器)、“轧辊(gǔn)”(轧机上的主要装置)等词语。

yà 用于“轧棉花”(碾、滚压棉花之意)、“倾轧”(排挤)、“轧马路”(比喻在街道上闲逛)等词语。

干 gān 用于“干犯”(冒犯)、“干涉”“干扰”“干柴烈火”等。

gàn 用于“才干”“骨干”“干将”等。

扛 gāng 两手举重物,如“力能扛鼎”“扛鼎之作”(力作)。

káng 用肩承担,如“扛枪”。

搁 gē 用于“耽搁”“搁浅”(多比喻事情遭到阻碍,不能进行)等。

gé 禁受,如“搁不住”。

给 gěi ①表示交付,使对方得到什么;②作介词,表目的或对象等。

jǐ①供应,如“给水”“自给自足”;②富裕充足,如“家给人足”。

更 gēng 改变,改换,经历,时段,如“更动”“更新”“不更事”“五更”。

gèng 再,更加,如“更上一层楼”“更好”。

颈 gěng(口语)“脖颈儿”。

jǐng 用于“颈项”“颈联”“颈椎”等词语。

供 gōng 用于“供给”“供应”“供求”“供养”(赡养)等。

gòng 用于“供品”“供奉”“供养”(祭祀)、“供职”“供状”“口供”等。

勾 gōu 用于“勾勒”(勾画)、“勾结”“勾兑”“一笔勾销”等。

gòu 用于“勾当”(多指坏事情)。

鹄 gǔ 箭靶子,如“中鹄”“鹄的”(箭靶的中心;目的)。

hú 天鹅,如“鹄立”(直立)、“鹄望”(形容盼望等待)。

呱 gū 用于“呱呱坠地”等。

guā 用于“呱呱叫”等。

guǎ 用于“拉呱”等。

观 guān 看,认识,如“走马观花”“观念”。

guàn 道教的庙宇,如“道观”。

冠 guān 帽子或帽状物,如“王冠”“弹冠相庆”“树冠”。

guàn 在前面加上某种名号或文字,冠军,如“未冠”“冠名”“夺冠”。

行 háng 用于“行列”“行当”“行款”(书写或排印文字的行列款式)等。

héng 用于“道行”(多比喻技能本领)。

xíng 用于“行径”“行云流水”(比喻诗文、书法等自然流畅、不受拘束)等。

吭 háng 喉咙,如“引吭高歌”。

kēng①吭声,吭气;②吭哧,形容说话时吞吞吐吐。

巷 hàng 巷道,在地下挖掘的坑道。

xiàng 较窄的街道,如“街头巷尾”“巷战”。

号 háo ①拖长声音大声叫喊,如“呼号”“号叫”;②大声哭,如“号啕”“哀号”“号丧”。

hào ①号令,如“发号施令”;②用号吹出的表示一定意义的声音,如“集合号”等。

好hǎo 用于“好坏”“好说歹说”“好自为之”(自己妥善处理,好好干)等。
hào 用于“好强”“好恶(wù)”“好大喜功”“好高骛远”“乐善好施”等。

喝hē 用于“喝水”“喝西北风”(挨饿)等。
hè 用于“喝问”(大声地问)、“喝令”(大声命令)、“喝彩”(大声叫好)等。

和hé 用于“和睦”“和好”“和棋”“和衣而卧”“和盘托出”(比喻毫无保留)等。
hè①跟别人应唱,如“曲高和寡”;②和诗(依别人的题材和形式写诗)。
huó 在粉状物中加液体搅拌揉弄,使之有黏性,如“和面”“和泥”。
huò①掺和粉状物或加水拌成较稀的东西,如“和药”“和稀泥”;②量词,如“衣服洗了三和”“药喝了两和”。
hú 打麻将或斗纸牌时取得胜利,如“和牌”。

荷hé 荷花。
hè 承载,如“负荷”“荷载”“荷枪实弹”。

横héng 用于“横竖”“纵横”“横向”“横加阻拦”等。
hèng①凶暴,如“蛮横”;②意外的,如“横死”。

哄hōng 用于“哄传”“哄抬”“哄堂大笑”“乱哄哄”等。
hǒng①哄骗;②用言语或行动引人高兴,如“哄小孩儿”。
hòng 吵闹,开玩笑,如“起哄”“一哄而散”。

红hóng 用于“红色”“红利”等。
gōng 用于“女红(工)”(旧时指女子从事的缝纫、刺绣等工作)。

划huá 用于“划船”“划算”(盘算,合算)、“划火柴”等。
huà 用于“划分”“划拨”“策划”等。

晃huǎng 用于“晃眼”(光线刺眼)等。
huàng 用于“晃动”等。

混hún 用于“混蛋”“混球儿”“混(浑)水摸鱼”等词语。
hùn 用于“混充”“混沌”“混合”“混迹”“混乱”等词语。

几jī①小桌子,如“茶几”“窗明几净”;②近乎,几乎。
jǐ①询问数目,如“几人”;②表示大于一而小于十的不定的数目,如“十几”。

期jī 一周年,一整月,如“期年”“期月”。
qī 用于“期限”“期望”“期期艾艾”等。

缉jī 搜捕,捉拿,如“缉私”“通缉”。
qī 缝,如“缉鞋口”。

稽jī 查考,计较,拖延,如“稽查”“有案可稽”“稽延”。
qǐ 用于“稽首”(叩头)。

诘jí 用于“诘(佶)屈聱牙”(文章读起来不顺口。诘屈,曲折;聱牙,拗口)。
jié 诘问,如“反诘”“盘诘”。

亟jí 急切,如“亟待解决”。
qì 屡次,如“亟来问讯”。

藉jí 用于“狼藉”。
jiè 衬垫,安慰,含蓄,如“枕藉”“慰藉”“蕴藉”。

济jǐ 用于“济济”(形容人多)。
jì①渡,如“同舟共济”;②救济;③(对事情)有益,如“无济于事”“假公济私”。

假jiǎ 用于“虚假”“假定”“假如”“久假不归”(久借不还)、“不假思索”等。
jià 按规定或经批准暂不工作或不学习的时间。

间jiān 用于“间距”(两者间距离)、“间不容发”(喻距灾害极近,情势极危急)等。
jiàn 用于“间苗”“间或”“离间”“间断”“间谍”“亲密无间”等。

监jiān 督察,牢狱,拘禁,如“监督”“监狱”“监禁”。
jiàn 帝王时代的官府名,如“钦天监”“国子监”;又用于“监生”“太监”等。

渐jiàn①逐渐,如“渐入佳境”;②事物发展的开始,如“防微杜渐”。
jiān①流入,如“东渐于海”;②沾湿,浸渍,如“渐染”。

槛jiàn 栏杆,栅栏,如“直栏横槛”“槛车”(古代的囚车)。
kǎn 门槛。

强jiàng 强硬不屈,固执,如“强嘴”。
qiáng①力量大;②要强,坚强;③使用强力,如“强占”“强渡”;④比其他更好,如“比上不足强”;⑤有余,如“十分之一强”。
qiǎng①勉强,如“强颜”“强人所难”“强词夺理”“强不知以为知”;②施加压力使服从,如“强迫”“强使”“强求”。

教jiāo 把知识或技能传给人,如“教书”“教小孩儿识字”。
jiào①教导,教育,如“因材施教”“请教”等;②宗教。

嚼jiáo 用于“细嚼慢咽”“咬文嚼字”“味同嚼蜡”等。
jué 用于某些复合词和某些成语,如“咀嚼”

“过屠门而大嚼”。

jiào 用于“倒嚼”等。

角jiǎo①羊角、牛角等；②号角；③物体两边相交的地方；④我国货币单位；⑤嘴边，如“口角”。

jué①角色，如“主角”；②演员，如“名角”；③竞赛，争吵，如“角斗”“口角”；④古代五音[宫、商、角、徵(zhǐ)、羽]之一。

觉jiào 睡眠。

jué 用于“视觉”“自觉”等。

校jiào①订正，如“校对”“校样”；②比较，较量，如“犯而不校”“校场”。

xiào①从事教学的地方，如“校舍”；②校官，如“少校”。

结jiē 用于“结果”(长出果实)、“结实”(坚固耐用；强壮)等。

jié 用于“结果”“结网”“打结”“结伙”“结案”“张灯结彩”等。

解jiě 用于“解嘲”(用言语或行动来掩饰被别人嘲笑的事情)、“解禁”(解除禁令)、“解聘”“解颐”(开颜而笑)等。

jiè①押送，如“解送”(押送财物或犯人)；②解元(明、清时乡试第一名)。

xiè①明白，如“解理”；②旧时马术，如“跑马卖解”；③解数(手段、本事)。

矜jīn 用于“矜持”(拘谨)、“矜夸”(骄傲自夸)等。

qín 矛柄，如“锄耰棘矜”(《过秦论》)。

禁jīn①禁受，如“弱不禁风”；②忍住，如“忍俊不禁”。

jìn 用于“禁止”“监禁”“禁忌”“宫禁”(旧时称皇帝居住的地方)等。

尽jǐn 用于“尽管”“尽快”“尽早”等。

jìn 用于“尽情”“尽力”“尽职”“尽善尽美”等。

劲jìn 用于名词，如“劲头”“干劲”。

jìng 用于形容词，如“劲旅”“秋风劲吹”。

靓jìng 妆饰，打扮，如“靓妆丽服”。

liàng 漂亮，好看，如“靓丽”“靓女”(方言)、“靓仔”(方言)。

据jū 用于“拮据”(缺钱，境况窘迫)。

jù 用于“据守”“据点”“凭据”“据理力争”等。

卷juǎn 用于“行李卷”“卷烟”“卷人”等。

juàn 用于“案卷”“卷帙浩繁”(书籍很多)等。

隽juàn 用于“隽永”(言论、文章意味深长)、“隽语”(隽永的话语)等。

jùn 同“俊”(才智出众)，用于“隽杰”“隽士”等。

龟jūn 用于“龟裂”。

guī 乌龟。

卡kǎ 用于有关音译词，如“卡车”“卡片”“卡宾枪”。

qiǎ 用于“卡脖子”“卡具”(夹具)、“卡壳”“关卡”等。

看kān 守护，看押，如“看门”“看管”“看守”。

kàn 看，访问，照料，如“看板”“看望”“照看”。

空kōng 多用于形容词，如“空洞”“空想”“空泛”“空谷足音”。

kòng 用于“空格”“空地”“空白”“空额”“抽空”“空闲”等。

烙lào 用于“烙印”“烙花”等。

luò 用于“炮(páo)烙”(古代一种酷刑)。

勒lè 用于“勒令”“勒索”“悬崖勒马”等。

lēi 用绳子等捆住或套住，如“勒紧点儿”。

累léi 用于“累赘”“果实累累”等。

lěi 用于“积累”“连累”“积年累月”“危如累卵”“罪行累累”等。

lèi 用于“劳累”等。

擂léi 打，如“擂拳”。

lèi 用于“擂台”“摆擂”(比喻向人挑战)、“打擂”(比喻应战)等。

俩liǎ①两个，如“咱俩”；②不多，如“就这俩钱儿”。

liǎng 用于“伎俩”(不正当的手段)。

量liáng 用于“量具”“量度”(长度、重量等量的测定)、“测量”“衡量”等。

liàng 用于“容量”“数量”“量刑”“量力而行”“量入为出”“量体裁衣”“比权量力”“量才录用”等。

踉liáng 用于“跳踉”(跳跃)。

liàng 用于“踉跄”(形容走路不稳)。

燎liáo 用于“燎原烈火”等。

liǎo 用于“火烧火燎”等。

笼lóng 用作名词，如“牢笼”。

lǒng 用作动词，如“笼罩”“笼络”“烟笼雾锁”。

弄lòng 小巷，胡同，如“里弄”“弄堂”。

nòng 用于“弄权”(滥用权力)、“弄潮儿”(多比喻敢于在风险中拼搏的人)、“弄虚作假”“舞文弄墨”等。

绿lǜ 用于“绿林”“绿营”(清代一种由汉人组成的地方武装)、“鸭绿江”。

lǜ 用于“绿地”“绿茵”“绿茶”等。

露lù 用于“露天”“露宿”“原形毕露”“崭露头角”等。

lòu 口语，用于“露头”“露脸”“露相”“露富”“露马脚”等。

偻lǚ 用于“伛(yǔ)偻”(脊背弯曲)。

lóu 用于“佝(gōu)偻”(脊背弯曲)、“佝偻病”(软骨病)。

率lǜ 相关数目的比值，如“效率”“功率”“出勤率”。

shuài①率领；②顺着，随着，如“率性”；③不慎重，粗疏，如“率尔”“轻率”；④坦率；⑤大概，如“率皆如此”。

纶lún 用于“垂纶”(钓鱼用的丝线)、“锦纶”“涤纶”等。

guān 用于“纶巾”(古代一种头巾)。

落luò 用于“落后”“涨落”“落魄”等。

lào 用于“落架”(比喻家业败落)、“落枕”“落子”(曲艺名)。

luō 用于“大大落落”。

là 用于“丢三落四”“落在后面”等。

抹mā 用于“抹布”“抹下脸来”等。

mǒ 用于“抹煞(杀)”“抹黑”(比喻丑化)等。

mò 用于“抹墙”“拐弯抹角”等。

埋mái 用于“掩埋”“埋没”等。

mán 用于“埋怨”。

谩mán 欺骗，蒙蔽。

màn 轻慢，没礼貌，如“谩骂”。

蔓màn 用于“蔓草”“蔓延”“不枝不蔓”(文字简洁)等。

wàn 用于“瓜蔓”“爬蔓”等。

没méi 用于“没精打采”“没辙”(没办法)等。

mò 用于“没落”“没世”(一辈子)、“没齿不忘”(终生不忘)等。

蒙mēng 用于“蒙骗”“瞎蒙”“蒙人”等。

méng 用于“蒙蔽”“蒙哄”“蒙昧”“蒙味”“蒙难”“启蒙”等。

měng 与“蒙古族”有关的词语。如“蒙古包”“蒙古人”“蒙古剧”等。

靡mí 浪费，如“奢靡”。

mǐ①顺风倒下，如“风靡”；②靡靡[低级趣味的(乐曲)]；③无，如“靡日不思”。

模mó①法式，规范，标准，如“模范”“楷模”；②仿效，如“模拟”。

mú①模子，模型，如“铜模”“铅模”“模具”；②模样。

难nán①做起来费事的，如“难办”；②不容易，不大可能，如“难保”；③不好，如“难听”；④难得，如“难兄难弟”(今多用贬义)。

nàn①灾难；②质问，如“问难”“非难”等；③共患难，如“难兄难弟”。

泥ní①土和水合成的东西；②像泥的东西，如“枣泥”。

nì①涂抹，如“泥墙”；②固执，如“拘泥”“泥古”。

粘nián(形容词)同“黏”。

zhān(动词)用于“粘连”“粘贴”。

宁níng 安宁，使安宁，如“宁静”“坐卧不宁”“息事宁人”。

nìng 宁可，如“宁死不屈”“宁缺毋滥”。

胖pàng 肥胖。

pán 用于“心宽体胖”(心情舒畅，身体健壮)。

炮páo 用于“炮烙”(古代一种酷刑)、“如法炮制”(比喻照着样子做)等。

pào 用于“炮火”“鞭炮”等。

漂piāo①停留在液体表面不下沉。如“树叶漂在水面上”；②顺着液体流动的方向移动。如“漂移”“漂游”“漂荡”“漂流”。

piǎo 用于“漂白”“漂染”“漂洗”(用水冲洗)等词语。

piào(事情、账目等)落空；用于“漂亮”。

迫pò 用于“迫害”“迫不及待”“迫在眉睫”等。

pǎi 用于“迫击炮”。

魄pò 精神，如“气魄”“魄力”“落魄”(潦倒失意；豪迈不羁)。

bó“落魄”同“落泊”。①潦倒失意，如“家贫落魄”；②豪迈，不拘束。

tuò“落魄”的“魄”(pò)的又音。

仆pū 向前跌倒，如“前仆后继”。

pú①仆人，如“仆从”“仆役”；②古时男子谦称自己，如“仆不敏”。

脯pú 胸脯。

fǔ 肉干，果干，如“肉脯”“果脯”。

蹊qī 用于“蹊跷”(奇怪)。

xī 用于“蹊径”(途径)等。

纤qiàn 用于“纤夫”等。

xiān 用于“纤细”“纤长”“纤弱”“纤毫毕见”(比喻非常细微的事物都很清晰可见)等。

悄qiāo 用于叠音词，如“悄悄”“悄悄话”。

qiǎo 用于“悄寂”“悄然”“悄声”“东船西舫悄无言”“悄怆”(忧伤)等。

壳qiào 用于“地壳”“甲壳”“躯壳”“金蝉脱壳”等。

ké 用于“子弹壳儿”“外壳儿”“乌龟壳儿”“脑壳”等。

翘qiào 口语，用于“翘尾巴”“翘辫子”（指死，含讥笑或诙谐意）。
qiáo 用于“翘首”“翘楚”（比喻杰出的人才）等。

切qiē 用于“切除”“切磋”“切片”“切削（xiāo）”等。
qiè 用于“切齿”（形容非常愤怒）、“切题”（符合题意）、“切要”（十分必要）、“切中”（言论或办法正好击中某种弊病）等。

亲qīn 用于“亲属”“亲疏”等。
qìng 用于“亲家”“亲家公”“亲家母”。

曲qū①弯曲，如“弯腰曲背”“曲径通幽”；②使弯曲，如“曲突徙薪”（比喻防患于未然）；③不公正，不合理，如“是非曲直”“曲解”；④委婉，如“曲笔”。
qǔ 用于“曲调”“曲高和寡”（喻言论或作品不通俗，欣赏者少）、“散曲”等。

撒sā①放开，张开，如“撒手”；②尽力施展或表现出来（贬义），如“撒娇”。
sǎ①散播，散布，如“撒种”；②散落，洒，如“撒了一地”。

散sǎn①没有约束，不集中，如“散漫”“松散”；②零碎的，如“散装”；③药末。
sàn 用于动词义，如“散布”“发散”“散心”“散步”“烟消云散”。

丧sāng 跟死了人有关的事，如“丧事”“治丧”“丧家”“丧礼”。
sàng 丧失，失去，如“丧胆”“丧命”“丧偶”“丧气”“丧权辱国”等。

塞sāi①把东西放进有空隙的地方，如“塞车”；②塞子，如“活塞”“瓶塞”。
sài 边境之外，如“边塞”“要塞”“塞翁失马”“塞外”。
sè 用于某些合成词，如“闭塞”“敷衍塞责”“充塞”“堵塞”。

刹shā 止住，如“刹车”。
chà 用于“刹那”（极短的时间）。

煞shā 结束，勒紧，如“煞账”“煞车”。
shà 凶神，很，如“凶神恶煞”“煞费苦心”。

扇shān（动词）摇动扇子之类，加速空气流动，如“扇扇（shàn）子”“扇动”。
shàn（名词）①扇子；②指板状或片状的东西；③量词，如“一扇门”。

裳shang 用于“衣裳”。
cháng 古代指裙子。

稍shāo 略微，如“稍微”“稍有不同”。
shào 用于“稍息”。

折shé①断（多指长条形东西），如“树枝折了”；②亏损，如“折本”“折耗”。
zhē①翻转，如“折跟头”；②倒过来倒过去，如“折腾”。
zhé①断，弄断，如“骨折”；②损失，如“损兵折将”；③曲折；④转折；⑤折服，如“心折”；⑥折合；⑦折扣；⑧折叠；⑨奏折。

舍shě①舍弃，如“舍生取义”“舍本逐末”；②施舍。
shè①房舍；②谦称自己的家，如“舍间”“寒舍”；③用于对别人称自己的辈分低的或同辈年纪小的亲属。如“舍弟”“舍侄”；④古代行军三十里为一舍，如“退避三舍”。

什shén 用于“什么”。
shí 用于“什一”（十分之一）、“什锦”（多种原料等制成的，多指食品）、“家什”“什物”。

省shěng①节省；②免除，如“省一道工序”；③省写；④行政区划单位。
xǐng①检查自己的思想行为，如“内省”；②探望，如“省亲”；③醒悟，明白，如“不省人事”。

拾shí 用于“拾掇”“拾遗”（拾取旁人遗失的东西据为己有；补充旁人遗漏的事物）、“拾人牙慧”（拾取人家的只言片语当做自己的话）等。
shè 用于“拾级”（逐步登阶）。

食shí 用于“食品”“废寝忘食”“日食”等。
sì 拿东西给人吃，如“箪食壶浆”。

数shǔ①查点（数目），逐个说出（数目），如“数九寒冬”“数典忘祖”（比喻忘本或对祖国历史无知）；②列举（罪状），责备，如“数其罪”；③计算起来、比较起来（最突出），如“数一数二”。
shù①数目；②数学；③天数，命运；④几，如“数十种”；⑤一种语法范畴。
shuò 屡次，如“数见不鲜”。

刷shuā 用于“牙刷”“刷新”“刷刷作响”等。
shuà 用于“刷白”（色白而略微发青）。

衰shuāi 用于“衰败”“衰亡”等。
cuī 用于“等衰”（等次）。

说shuō 用于“说服”“说项”（为人说好话，替人讲情）、“学说”等。
shuì 劝说，如“游说”。

似sì 用于动词。如“相似”“近似”“一年强似一年”。
shì 用于助词“似的”。如“雪片似的”“飞也似的”。

忪sōng 用于“惺忪”（刚睡醒尚未清醒）。

zhōng 用于“征忪”(惊惧)。

宿 sù①夜里睡觉,如“露宿”;②旧有的,一向有的,如“宿愿”;③年老的,长期从事某事的,如“宿将”。

xiǔ 量词,用来计算夜,如“三天两宿”。

xiù 星宿,如“二十八宿”。

遂 suí 用于“半身不遂”。

suì①如意,如“遂心”;②成功,如“抢劫未遂”;③就,如“服药后腹痛遂止”。

拓 tà 用于“拓片”“碑拓”等。

tuò 用于“开拓”“拓展”等。

沓 tà 多而重复,如“杂沓”“纷至沓来”。

dá 量词,如“一沓纸”。

帖 tiē 服从,妥当,如“服帖”“俯首帖耳”“妥帖”“熨(yù)帖”。

tiě 用于“请帖”“换帖弟兄”(把兄弟)、“帖子”“一帖药”等。

tiè 用于“字帖”“碑帖”等。

为 wéi① 动词,如“事在人为”“化为乌有”;②介词,表被动,如“为群众所喜闻乐见”;③副词,表程度、范围、语气等,如“大为高兴”“极为重要”。

wèi 介词中除表被动的。①表行为对象,如“为人民服务”;②表目的,为了;③表原因,因为。

系 xì 用于“世系”“干系”(牵扯到责任或能引起纠纷的关系)、“系念”(牵挂)、“系马”(拴马)等。

jì 结,扣,如“系鞋带”“系扣子”。

吓 xià 用于“吓唬”“吓人”等。

hè 用于“恐吓”“恫吓”等。

鲜 xiān 鲜明,鲜美,如“鲜艳”“新鲜”“数见不鲜”。

xiǎn 少,如“鲜为人知”“寡廉鲜耻”“鲜有其匹”(少有能与之相当的)。

削 xiāo 口语,如“削梨”“削铅笔”。

xuē 用于某些复合词及成语,如“剥削”“削减”“瘦削”“日削月割”。

兴 xīng 用于“兴工”“兴利除弊”“夙兴夜寐”(形容勤劳)、“兴奋”“时兴”等。

xìng 用于“高兴”“兴高采烈”等。

旋 xuán①旋转,如“盘旋”“回旋”;②返回,如“凯旋”;③旋涡;④不久,如“旋即”。

xuàn①旋转的,如“旋风”;②用车床切削,如“旋一根车轴”;③旋子。

血 xuè 用于“贫血”“心血”“喋血”(血流遍地)、“呕心沥血”“狗血喷头”等。

xiě 口语,如“鸡血”“血淋淋”“一摊血”。

咽 yān 咽喉,咽头。

yàn 吞进去,如“狼吞虎咽”“细嚼慢咽”。

yè 哽咽,呜咽,形容哭时不能痛快出声。

殷 yān 黑红色,如“殷红”“朱殷”。

yīn①深厚、富裕,如“殷切”“殷实”;②殷勤;③殷朝。

yǐn 拟声词,“殷殷其雷”。

要 yāo 用于“要求”“要约”等。

yào 用于“索要”“要害”“要塞”“要言不烦”等。

钥 yào 用于“钥匙”。

yuè 用于“锁钥”(比喻做好一件事的关键,也比喻军事要地)。

耶 yē 用于译音,如“耶稣”“耶和华”“耶路撒冷”。

yé 疑问助词,如“是耶非耶”。

衣 yī 用于“衣衫”“衣冠禽兽”(指行为卑劣,如同禽兽的人)等。

yì 穿(衣服),拿衣服给人穿,如“解衣(yī)衣我”。

荑 yí 芟(shān)荑(除去田里的野草)。

tí 草木初生的芽,如“自牧归荑,洵美且异”(《诗经·邶风·静女》)。

遗 yí① 遗失;②遗失的东西;③遗漏,如“补遗”;④留下,如“遗憾”“不遗余力”;⑤去世的人留下来的,如“遗书”。

wèi 赠送,赠与,如“遗之千金”。

饮 yǐn 用于“饮恨”(含恨)、“饮誉”(享有盛名)、“饮水思源”“饮鸩(zhèn)止渴”(用毒酒解渴,比喻只求解决目前困难而不顾严重后果)等。

yìn 给牲畜水喝,如“饮马”。

应 yīng①该,当,如“应有尽有”;②答应,允许,如“应允”“应许”;③应届。

yìng①回答,如“答应”“响应”“里应外合”;②满足要求,允许,如“有求必应”“应邀”“应聘”“应募”;③顺应,适应,如“应时”“得心应手”;④应付,如“应变”“应酬”“应接不暇”。

语 yǔ 用于“语言”“默默不语”等。

yù 告诉,如“不以语人”。

晕 yūn 用于“晕倒”“头晕”“晕头转向”等。

yùn 用于“晕车”“眼晕”(因视觉关系而发晕)、“月晕”等。

熨 yùn 用于“熨斗”“熨衣服”等。

yù 用于“熨帖”(①用词贴切;妥帖。②心里平静)。

扎 zā 捆,束,如“捆扎”“扎裤脚”“一扎线”。

zhā①刺,如“扎针”;②驻扎,扎营;③钻进

去，如“扎进水里”。

zhá 挣扎。

咋 zǎ 怎么，如“咋办”。

zé 咬住，如“令人咋舌”（形容因吃惊或害怕而说不出话）。

zhā 用于“咋呼”。

载 zǎi ①年，如“一年半载”；②记在书报上，如“记载”“刊载”等。

zài 用于“载重”“怨声载道”“载歌载舞”“下载”等。

藏 zàng ①储存大量东西的地方，如“宝藏”；②佛教、道教经典的总称，如《大藏经》；③西藏、藏族。

cáng ①隐蔽，如“藏身”；②收存，如“藏书”。

着 zháo 如“着凉”“着忙”“着急”“着迷”“着火”“猜着了”。

zhuó 如“穿着”“着落”“着陆”“着手”“不着边际”。

zhe 助词，“走着”“开着会”。

zhāo 手段，计策，如“着数”（也作“招数”）、“高着”“花着”“骗着”。

挣 zhēng 用于“挣扎”。

zhèng 用于“挣开”“挣命”（为保全性命而挣扎）、“挣揣”（挣扎）、“挣钱”等。

症 zhēng 用于“症结”（腹腔内结块的病，比喻事情难处理的关键问题）。

zhèng 用于“病症”“症状”“对症下药”等。

识 zhì 记，记号，如“博闻强识”。

shí 如“识别”“见识”。

中 zhōng 用于“中坚”（骨干）、“中饱”（经手钱财，以欺诈手段从中取利）、“中看”（好看）、“中流砥柱”（比喻能起支柱作用的人或集体）等。

zhòng 用于“击中”“中毒”“中标”（投标得中）、“中伤”（诬蔑他人使受害）、“中肯”（切中要害）等。

转 zhuǎn 改换方向，传递，如“转身”“转发”“转嫁”“转弯抹角”。

zhuàn 旋转，围绕，如“转动”“转圈”“转速”“转弯子”。

琢 zhuó 用于“琢磨（mó）”（加工玉石，加工文章）、“如琢如磨”等。

zuó 用于“琢磨（mo）”（思索，考虑）。

钻 zuān 动词义，如“钻探”“钻心”“钻研”“钻营”。

zuàn 名词义，如“钻石”“钻床”“钻具”。

作 zuō 用于“作坊”。

zuò 用于“振作”“佳作”“作践”（糟蹋）、“装腔作势”“作威作福”等。

附录二

容易读错的字集录

说明：本表多指形声字，不含多音字。

A

皑 ái 白雪～～
隘 ài 关～　狭～
谙 ān～熟　～练
翱 áo～翔
鏖 áo～战

B

稗 bài～官野史
痹 bì 麻～大意
愎 bì 刚～自用
髀 bì 抚～长叹
砭 biān 针～
飙 biāo 狂～
濒 bīn～危　～临
摈 bìn～除　～斥　～弃
钵 bō 衣～　～盂
擘 bò 巨～　～画
哺 bǔ～乳　～育

C

粲 càn～然　云轻星～
糙 cāo 粗～
侪 chái～辈　同～
伥 chāng 为虎作～
怅 chàng 惆～　～惘
偿 cháng 如愿以～
掣 chè～肘　风驰电～
坼 chè～裂　天寒地～
嗔 chēn～怒
抻 chēn～面　～脖子
瞠 chēng～目结舌
笞 chī 鞭～
踟 chí～蹰（躇）（chú）
褫 chǐ～夺　～职
饬 chì 整～
憧 chōng～憬
淙 cóng 流水～～
簇 cù～拥　花团锦～
蹙 cù～额　穷～
蹴 cù 一～而就
瘁 cuì 心力交～
篡 cuàn～改　～夺
忖 cǔn～度（duó）　～量

D

骀 dài～荡
邸 dǐ 官～
玷 diàn～污　～辱
恫 dòng～吓（hè）
蠹 dù～虫　户枢不～
蠹 duō～～逼人

E

讹 é～传　～诈
匾 è～耗

F

讣 fù～闻　～告

G

尴 gān～尬(gà)
舸 gě 百～争流
觥 gōng～筹交错
肱 gōng 股～　曲～而枕
梏 gù 桎～
盥 guàn～洗
犷 guǎng～悍　粗～
晷 guǐ 日～　荧膏继～

H

薅 hāo～苗
昊 hào～天
貉 hé 一丘之～
涸 hé 干～　～辙之鲋
劾 hé 弹～　参～
豢 huàn～养
麾 huī～下　～军前进
讳 huì～言　忌～
喙 huì 不容置～
诨 hùn～号　打～

J

畸 jī～形　～轻～重
箕 jī～斗　～踞(jù)
觊 jì～觎(yú)
歼 jiān～灭　围～
笺 jiān～注　信～
缄 jiān～默　～口不语
菅 jiān 草～人命
渐 jiān～染
僭 jiàn～越　～号
嗟 jiē～悔　～来之食
菁 jīng～华　草木～～
粳 jīng～米　～稻
儆 jǐng～戒　以～效尤
痉 jìng～挛(luán)
迥 jiǒng～然不同
啾 jiū 啁(zhōu)～
咎 jiù 既往不～
疽 jū 痈～
狙 jū～击
咀 jǔ～嚼　含英～华
龃 jǔ～龉(yǔ)
矩 jǔ～形
沮 jǔ～丧
腒 jù 织席贩～
镌 juān～刻　～石

K

忾 kài 同仇敌～
瞰 kàn 鸟～　俯～
伉 kàng～俪(lì)
窠 kē～臼
缂 kè～丝
恪 kè～守　～尽职守
铿 kēng～锵(qiāng)
脍 kuài～炙人口
岿 kuī～然不动　～巍
揆 kuí～度(duó)
傀 kuǐ～儡
喟 kuì～然长叹
聩 kuì 振聋发～
愦 kuì 昏～
匮 kuì～乏

L

剌 là 乖～
稂 láng 不～不莠(yǒu)
酪 lào 奶～
羸 léi～弱
莅 lì～临
唳 lì 风声鹤～
遴 lín～选
囹 líng～圄(yǔ)
泠 líng～～作响
戮 lù 诛～

M

霾 mái 阴～
耄 mào～耋(dié)之年
袂 mèi 分～　联～
懑 mèn 愤～
弭 mǐ～患　消～
谧 mì 静～
泯 mǐn～灭　～没
蓦 mò～地

N

捺 nà 按～　～着性子
赧 nǎn～然　～颜汗下
淖 nào 泥～
呶 náo～～不休
讷 nè 木～　口～
拈 niān～轻怕重

P

葩 pā 奇～异草
庖 páo 越俎代～
抨 pēng～击
毗 pí～连　～邻
罴 pí 熊～
癖 pǐ～好　嗜酒成～
媲 pì～美
骈 pián～文　～俪(lì)
剽 piāo～窃　～悍
殍 piǎo 饿～
嫔 pín 妃～
抔 póu 一～土

Q

祇 qí 神～
萁 qí 修～
迄 qì～今　～未见效
悭 qiān～吝　缘～一面
愆 qiān～尤　～期
掮 qián～客
钤 qián～记
倩 qiàn～影　～装
堑 qiàn 天～　吃一～,长一智
蜷 quán～缩　～伏
券 quàn 证～
樵 qiáo 砍～　渔～
锲 qiè～而不舍
挈 qiè 提纲～领
惬 qiè～意
箧 qiè 书～　行～
擎 qíng 引～　众～易举
綮 qìng 肯～
茕 qióng～～孑立
觑 qù 小～　面面相～
龋 qǔ～齿
阕 què 乐～　填一～词

R

茸 róng 鹿～　浅草～～
冗 rǒng～员　事务繁～
枘 ruì 方～圆凿

S

歃 shà～血为盟
苫 shàn～布
赡 shàn～养
韶 sháo～光　～华
莘 shēn～～学子
蜃 shèn 海市～楼
恃 shì 仗～　～才傲物
舐 shì～犊情深
嗜 shì～好

谥 shì～号
墅 shù 别～
涮 shuàn～洗　～羊肉
吮 shǔn～吸
朔 shuò～风　～望
铄 shuò 众口～金
悚 sǒng 毛骨～然
嗾 sǒu～使
溯 sù 回～　追本～源
祟 suì 鬼鬼～～
隼 sǔn 鹰～
娑 suō 树影婆～
唆 suō～使　调～

T

挞 tà～伐　鞭～
饕 tāo～餮(tiè)
倜 tì～傥(tǎng)
悌 tì 孝～
恬 tián 安～　～不知耻
腆 tiǎn 腼～
殄 tiǎn 暴～天物
佻 tiāo 轻～
迢 tiáo 千里～～　～远
汀 tīng 岸芷～兰
彤 tóng～云密布
荼 tú～毒生灵
湍 tuān～急　～流
臀 tún～部

W

绾 wǎn～结　～起头发
逶 wēi～迤
猥 wěi～亵(xiè)　～杂
韪 wěi 冒天下之大不～
附录三

斡 wò～旋

X

撷 xí～文
纤 xiān～细　～弱
跹 xiān 翩(piān)～
痫 xián 癫～
涎 xián 垂～三尺
霰 xiàn～雪　～弹
枭 xiāo～雄　～将
骁 xiāo～将　～勇
撷 xié 采～
胁 xiè 不～　琐～
馨 xīn～香　温～
饧 xíng 眼～口涩
酗 xù～酒
恤 xù 抚～　体～
泫 xuàn～然泪下
眩 xuàn～于名利
谑 xuè 戏～　～而不虐

Y

揠 yà～苗助长
魇 yǎn 梦～
赝 yàn～品　～币
靥 yè 笑～　酒～
迤 yǐ～逦(lǐ)
弋 yì 游～
肄 yì～业
翌 yì～日
裔 yì 后～
诣 yì 造～　苦心孤～
莠 yǒu 良～不齐
宥 yòu 原～　宽～
迂 yū～腐　～回
圄 yǔ 图～
瘐 yǔ～毙
妪 yù 老～
蜮 yù 鬼～
垣 yuán 城～
陨 yǔn～落　～石
殒 yǔn～命　香消玉～

Z

谮 zèn～言
咤 zhà 叱～风云
湛 zhàn 精～　学识～深
瘴 zhàng～疠　乌烟～气
臻 zhēn 渐～佳境
箴 zhēn～言　～规
帧 zhēn 装～　一～照片
拯 zhěng～救
诤 zhèng～友　～谏
胝 zhī 胼(pián)～
栉 zhì～比　～风沐雨
帙 zhì 卷～浩繁
峙 zhì 对～
滞 zhì 停～　～碍
馔 zhuàn 肴～
谆 zhūn～～告诫
斫 zhuó～伤
擢 zhuó～升　～发难数
濯 zhuó～足
趄 zī～趄(jū)
訾 zǐ～议　～毁
滓 zǐ 渣～
梓 zǐ 付～　桑～
眦 zì 睚(yá)～必报
纂 zuǎn 编～

成语中容易读错的字

A

舂意盎然 àng
佶屈聱牙 áo

B

飞扬跋扈 bá
纵横捭阖 bǎi
稗官野史 bài
鹬蚌相争 bàng
并行不悖 bèi
各奔前程 bèn
奴颜婢膝 bì
麻痹大意 bì
刚愎自用 bì
法家拂士 bì
针砭时弊 biān
便宜行事 biàn
分道扬镳 biāo
日薄西山 bó
捕风捉影 bǔ
嗷嗷待哺 bǔ

C

参差不齐 cēn cī
差强人意 chā
差可告慰 chā
豺狼成性 chái
谄上媚下 chǎn
为虎作伥 chāng
如愿以偿 cháng
怅然若失 chàng
风驰电掣 chè
称心如意 chèn
瞠目结舌 chēng
魑魅魍魉 chī
忧心忡忡 chōng
大笔如椽 chuán
处心积虑 chǔ
处之泰然 chǔ
命途多舛 chuǎn
创巨痛深 chuāng
相形见绌 chù

绰绰有余 chuò
绰约多姿 chuò
吹毛求疵 cī
一蹴而就 cù
蹉跎岁月 cuō
万头攒动 cuán

D

殚精竭虑 dān
箪食壶浆 dān
谠不可当 dāng
安步当车 dàng
有的放矢 dì
穷兵黩武 dú
户枢不蠹 dù
咄咄逼人 duō
度德量力 duó
审时度势 duó
揆情度理 duó

E

阿谀逢迎 ē
十恶不赦 è

F

千钧一发 fà
令人发指 fà
缠绵悱恻 fěi

G

言简意赅 gāi
宵衣旰食 gàn
残羹冷炙 gēng
供不应求 gōng
股肱之臣 gōng
觥筹交错 gōng
待价而沽 gū
呱呱坠地 gū
蛊惑人心 gǔ
直言贾祸 gǔ
勇冠三军 guàn
焚膏继晷 guǐ

H

引吭高歌 háng
沆瀣一气 hàng
明眸皓齿 hào
好大喜功 hào
洁身自好 hào
一丘之貉 hé
荷枪实弹 hè
当头棒喝 hè
曲高和寡 hè
一唱百和 hè
飞来横祸 hèng
怙恶不悛 hù
春华秋实 huá
病入膏肓 huāng
不容置喙 huì
讳疾忌医 huì

J

放荡不羁 jī
佶屈聱牙 jí
杯盘狼藉 jí
目不暇给 jǐ
掎角之势 jǐ
济济一堂 jǐ
自给自足 jǐ
老骥伏枥 jì
光风霁月 jì
汗流浃背 jiā
戛然而止 jiá
间不容发 jiān
草菅人命 jiān
三缄其口 jiān
时乖命蹇 jiǎn
挑拨离间 jiàn
咬文嚼字 jiáo
犯而不校 jiào
弱不禁风 jīn
噤若寒蝉 jìn
战战兢兢 jīng
不胫而走 jìng
既往不咎 jiù
咎由自取 jiù
含英咀华 jǔ
踽踽独行 jǔ

K

同仇敌忾 kài
不落窠臼 kē
铿锵有力 kēng
戎马倥偬 kǒng
脍炙人口 kuài
功亏一篑 kuì
喟然长叹 kuì
振聋发聩 kuì

L

丢三落四 là
明眸善睐 lài
不稂不莠 láng
悬崖勒马 lè
模棱两可 léng
暴戾恣睢 lì
风声鹤唳 lì
等量齐观 liàng
一了百了 liǎo
烟熏火燎 liáo
大义凛然 lǐn
身陷囹圄 líng
高屋建瓴 líng
绿林好汉 lù
筚路蓝缕 lǚ

M

一脉相承 mài
素昧平生 mèi
靡靡之音 mǐ
所向披靡 mǐ
温情脉脉 mò
未雨绸缪 móu
大模大样 mú

N

艰涩苟活 nán
质疑问难 nàn
呶呶不休 náo
拈轻怕重 niān
宁缺毋滥 nìng
腾挪跌宕 nuó
东挪西借 nuó

P

心广体胖 pán
步履蹒跚 pán
如法炮制 páo
蚍蜉撼树 pí
臧否人物 pǐ
否极泰来 pǐ
鞭辟入里 pì
一叶扁舟 piān
大腹便便 pián
牝鸡司晨 pìn
暴虎冯河 píng
心怀叵测 pǒ
一曝十寒 pù

Q

杞人忧天 qǐ
呼天抢地 qiāng
博闻强识 qiáng
强词夺理 qiǎng
翘首而待 qiáo
金蝉脱壳 qiào
切磋琢磨 qiē
切肤之痛 qiè
提纲挈领 qiè
废寝忘食 qǐn
罄竹难书 qìng
茕茕孑立 qióng
面面相觑 qù
怙恶不悛 quān
稳操胜券 quàn

R

相濡以沫 rú
繁文缛节 rù
方枘圆凿 ruì

S

塞翁失马 sài
垂头丧气 sàng
顿开茅塞 sè
闭目塞听 sè
敷衍塞责 sè
歃血为盟 shà

莘莘学子 shēn
海市蜃楼 shèn
舐犊情深 shì
数典忘祖 shǔ
寥寥可数 shǔ
众口铄金 shuò
数见不鲜 shuò
箪食壶浆 sì
追本溯源 sù
暴戾恣睢 suī
半身不遂 suí
鬼鬼祟祟 suì

T

大张挞伐 tà
忐忑不安 tǎn tè
醍醐灌顶 tí
风流倜傥 tì tǎng
恬不知耻 tián
暴殄天物 tiǎn
千里迢迢 tiáo
如火如荼 tú
蜕化变质 tuì
唾手可得 tuò
抱关击柝 tuò

W

剜肉补疮 wān
虚与委蛇 wēiyí
为虎添翼 wèi
请君入瓮 wèng
卑鄙龌龊 wò
运筹帷幄 wò
心无旁骛 wù

X

畏葸不前 xǐ
瑕不掩瑜 xiá
垂涎三尺 xián
寒廉鲜耻 xiǎn
图穷匕见 xiàn
相机行事 xiàng
枵腹从公 xiāo
不肖子孙 xiào
惟妙惟肖 xiào
浑身解数 xiè
反躬自省 xǐng
乳臭未干 xiù
长吁短叹 xū
栩栩如生 xǔ
绚丽多彩 xuàn
谑而不虐 xuè
徇私舞弊 xùn

Y

睚眦必报 yázì
揠苗助长 yà
奄奄一息 yǎn
怏怏不乐 yàng
良莠不齐 yǒu
雍容揖让 yī
风光旖旎 yǐnǐ
苦心孤诣 yì
自怨自艾 yì
万马齐喑 yīn
封妻荫子 yìn
罪有应得 yīng
负隅顽抗 yú
生杀予夺 yǔ
身陷囹圄 yǔ
老妪能解 yù
鹬蚌相争 yù
卖官鬻爵 yù
断壁残垣 yuán

Z

千载难逢 zǎi
载歌载舞 zài
穿凿附会 záo
草长莺飞 zhǎng
乌烟瘴气 zhàng
动辄得咎 zhé
饮鸩止渴 zhèn
洞见症结 zhēng
炙手可热 zhì
鳞次栉比 zhì
卷帙浩繁 zhì
暴风骤雨 zhòu
比肩接踵 zhǒng
安土重迁 zhòng
恶言中伤 zhòng
刀耕火种 zhòng
积重难返 zhòng
别出机杼 zhù
穿红着绿 zhuó
惴惴不安 zhuì
无可訾议 zǐ
暴戾恣睢 zì
戎马倥偬 zǒng
越俎代庖 zǔ

附录四

姓氏、地名、山河名中容易读错的字

姓氏

卜	Bǔ	蹇	Jiǎn	仇	Qiú	燕	Yān
车	Chē	俊	Jùn	曲	Qū	幺	Yāo
乘	Chéng	令狐	Línghú	任	Rén	要	Yāo
种	Chóng	宓	Mì	单	Shàn	於	Yū
都	Dū	缪	Miào	召	Shào	尉迟	Yùchí
盖	Gě	万俟	Mòqí	莘	Shēn	乐	Yuè(Lè)
葛	Gě	那	Nā	盛	Shèng	员	Yùn
过	Guō	佴	Nài	眭	Suī	曾	Zēng
哈	Hǎ	宁	Níng	睢	Suī	查	Zhā
华	Huà	区	Ōu	冼	Xiǎn	翟	Zhái
稽	Jī	朴	Piáo	相	Xiāng	祭	Zhài
纪	Jǐ	繁	Pó	解	Xiè	正	Zhèng
贾	Jiǎ	覃	Qín(Tán)				

地名

蚌埠 Bèngbù　　珲春 Hún　　浑池 Miǎn　　盱眙 Xūyí
亳州 Bó　　济南 Jǐ　　邛崃 Qiónglái　　铅山 Yán
岑溪 Cén　　蓟县 Jì　　歙县 Shè　　兖州 Yǎn
郴州 Chēn　　天津 jīn　　嵊州 Shèng　　弋阳 Yì
东阿 ē　　莒县 Jǔ　　睢县 Suī　　鄞州 Yín
什邡 fāng　　鄄城 Juàn　　郯城 Tán　　邕宁 Yōng
涪陵 Fú　　喀什 Kā　　潼关 Tóng　　郓城 Yùn
藁城 Gǎo　　蠡县 Lǐ　　厦门 Xià　　涿州 Zhuō
东莞 guǎn　　勐海 Měng　　井陉 xíng　　枞阳 Zōng
涡阳 Guō

山河名

滹沱河 Hūtuó　　浐河 Pì　　马嵬坡 wéi　　大庾岭 yǔ
骊山 Lí　　嵩山 Sōng　　峄山 Yì　　柞水 Zhà
漯河 Luò

附录五

《普通话异读词审音表》新变及特殊字音

统读(53个)

凹(āo)　　框(kuàng)　　跄(qiàng)　　荫(yìn)
柄(bǐng)　　傀(kuǐ)　　蜷(quán)　　咱(zán)
厕(cè)　　括(kuò)　　绕(rào)　　凿(záo)
橙(chéng)　　掠(lüè)　　胜(shèng)　　召(zhào)
闯(chuǎng)　　芒(máng)　　往(wǎng)　　指(zhǐ)
从(cóng)　　盟(méng)　　忘(wàng)　　掷(zhì)
呆(dāi)　　娩(miǎn)　　唯(wéi)　　筑(zhù)
堆(duī)　　摸(mō)　　萎(wěi)　　迹(jì)
妨(fáng)　　酿(niàng)　　溪(xī)　　绩(jì)
幅(fú)　　呕(ǒu)　　挟(xié)　　啥(shá)
徊(huái)　　澎(péng)　　寻(xún)　　驯(xùn)
脊(jǐ)　　期(qī)　　崖(yá)　　帧(zhēn)
嗟(jiē)　　嵌(qiàn)　　沿(yán)　　卓(zhuó)
俱(jù)

特殊词语中的字音

饥荒(huang)　　绰绰有余(chuò)　　瓜葛(gé)　　便秘(mì)
逻辑(jí)　　宽绰(chuo)　　潦草(liáo)　　作坊(zuō)
规矩(ju)　　掺和(huo)　　秘鲁(Bì)　　作为(zuò)
排揎(xuan)　　零散(sǎn)

第二部分 汉 字

一、汉字的特点及演变

汉字是表意文字，是用表意体系的符号来表示汉语的词或语素的。一个汉字通常表示汉语里的一个词或一个语素，这就形成了汉字是音、形、义的统一体的特点。汉字是由笔画构成的方块状字，所以又叫方块字。如“车”“上”“明”“问”等，“车”“上”“明”用字的形体来直接表达语言里的词义；“问”既能表意又能表音，“门”表音，“口”表意。

汉字经过了几千年的变化发展，其演变过程是：

甲骨文（商）→金文（周）→篆书（秦）→ 隶书（汉）→ 草书→ 楷书 / 行书（魏晋）

以上的“甲金篆隶草楷行”七种字体称为“汉字七体”。

二、汉字的造字法（六书）

六书是古代人分析汉字而归纳出来的六种条例，即象形、指事、会意、形声、转注和假借。六书中，象形、指事、会意、形声是造字法，转注和假借是用字法。

许慎《说文解字·叙》中说：“周礼八岁入小学，保氏教国子，先以六书。一曰指事。指事者，视而可识，察而见意，上下是也。二曰象形。象形者，画成其物，随体诘诎，日月是也。三曰形声。形声者，以事为名，取譬相成，江河是也。四曰会意。会意者，比类合谊，以见指撝，武信是也。五曰转注。转注者，建类一首，同意相受，考老是也。六曰假借。假借者，本无其字，依声托事，令长是也。”

（一）象形

指用线条来描画实物形状的造字方法。如“日（）”“月（）”“人（）”“目（）”这几个字，就是画的太阳、月亮、人和眼睛。象形字是独体字，无论笔画多少，如“马”“鸟”“鱼”都是囫囵一个字，不能再加分析。

常见的象形字举例：

（1）人体类：人、女、天、夫、文、心、手、爪、牙、毛、目、自、耳、舌、身、页、首、面、鬼、舞、大、子、尸、口、欠。

（2）动物类：犬、牛、羊、虫、肉、羽、贝、角、虎、兔、马、鸟、鱼、鹿、象、飞、鼠、燕、龙、龟。

（3）植物类：木、禾、米、竹、瓜、来、韭、桑、齐。

（4）服饰、器物类：刀、匕、丁、力、几、巾、弓、户、片、瓦、斤、戈、玉、册、矛、矢、衣、曲、舟、网、豆、车、朋、其、门、鼎、壶。

（5）天文、地理类：夕、山、川、小、土、日、月、云、气、井、水、火、申、丘、田、永、行、雨、京、高。

（6）其他：卜、示。

（二）指事

指用象征符号来表示意义的造字方法。指事字可分为两类：一类是纯符号性的，另一类是在独体象形字的基础上添加提示符号的。

常见的指事字举例：

（1）纯符号类：上、下、兮、乎、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、廿、卅。

（2）象形字加符号类：刃、寸、元、丹、曰、尺、甘、本、末、朱、亦、血、中。

（三）会意

用两个或两个以上的独体字会合起来表示一个新的意义的造字方法。会意字是合体字，多由象形字或指事字合起来组成，因此有较浓厚的象形色彩，是用象形的方法达到表意的目的。会意字分为两类：一类是同体会意，即由两个相同的字组成，如“从”“比”。一类是异体会意，即由不同的字组

成。如“看”“休”。

常见的会意字举例：

从、比、友、北、出、旦、并、休、伐、好、冰、劣、尖、坐、见、初、删、谷、灾、男、武、取、牧、采、明、林、炙、炎、拜、看、相、美、兼、扇、祭、甜、闭、贯、牵、众、驭、闲、间、晶、森、焚、解、尘、鸣、磊、奋、双、兀、丈、及、仄、仁、化、毋、父、支、之、分、公、歹、立、囚、母、孕、召、付、印、皮、幼、生、半、占、石、伏、戍、戎、安、守、先、年、死、光、夙、灰、共、旨、名、向、合、缶、至、卉、何、位、即、邑、吹、君、尾、足、步、走、系、弄、戒、兵、折、利、别、束、困、沈、赤、彤、社、里、牢、吠、育、卧、直、降、叔、秉、承、典、具、争、受、命、昏、杳、宗、素、析、果、苗、要、保、冠、负、既、祝、陟、前、为、则、畏、泉、食、香、屋、宫、穿、突、军、孙、逐、讨、息、骨、班、涉、益、臭、料、库、仓、素、队、执、启、败、顷、麻、斩、章、饮、报、盗、弃、莫、须、葬、丧、寒、开、绝、棘、枣、集、黑、买、鼓、晕、监、夺、尽、实、驳、暴、乐、卖、县、兴、临、粪、断、罗、继、宝、轰、矗。

（四）形声

由表意符号和表音符号组合成字的造字法。如“秧”，表意从“禾”，表音从“央”，组成一个具有新的意义（植物幼苗）的字。

形旁与声旁的结构方式：

左形右声：材、辐、秧、缄；　　右形左声：颈、攻、欣、戮；

上形下声：管、崖、晨、晋；　　下形上声：毙、膏、慕、想；

外形内声：闸、阁、闺、衷；　　内形外声：闻、闷、问、辨；

形占一角：载、腾、佞、颖；　　声占一角：旗、葩、病、座。

常见的形声字举例：

江、河、松、柏、杨、柳、桃、梨、财、货、资、贷、赏、赠、贱、推、拉、控、按、摸、拔、提、辉、理、笨、娶、星、芸、劳、竿、爸、晨、骂、寞、岗、翁、笃、盆、盲、垄、态、炎、幕、常、赁、烈、犁、种、铜、眠、沐、矿、祥、肌、殊、村、纺、瑕、烟、炮、聆、欺、战、彩、功、郊、闸、街、裹、园、翅、载、哉、氧、庭、岸、厦。

（五）转注

是同一词根分化出来的同义的字，用来互相训释的。如“老”字的解释是“考”，“考”字的解释是“老”。

（六）假借

是指语言中某些词有音无字，借用已有的同音字来表示。如借当皮衣讲的“求”（即“裘”字）作请求的“求”，等等。

三、汉字笔画名称

（一）基本笔画

一（横）　丨（竖）　丿（撇）　丶（点）　乛（折）

（二）变形笔画

笔形	名称	例字	笔形	名称	例字	笔形	名称	例字
𠂉	提	刁 红	乚	捺	又 进	𠃌	横折	尺 马
𠃍	横折斜钩	飞 气	𠄎	横撇	又 水	𠃎	横折弯钩	几
𠃌	横钩	予 买	𠃋	横折撇弯钩	阵 都	𠃊	横折折	凹
𠃏	横折折折	凸	𠃐	横折弯	朵 没	𠃋	横折折折撇	建 及
𠃊	横折提	计	𠃑	横折折折钩	乃 场	𠃌	横折钩	幻 有
亅	竖提	长 以	亅	竖钩	丁 小	𠃌	竖折折钩	与 弓
乚	竖折	山 母	𠂉	撇折	台 么	丨	竖弯	西 四
丶	撇点	女 巡	乚	竖弯钩	礼 已	乚	斜弯钩	戏 式
𠃌	竖折折撇	专	𠃌	弯钩	狂 家	𠃌	竖折折	鼎

四、汉字笔顺规则

(一)基本规则

1. 从左到右　礼：礻　礼 / 谢：讠讲谢
2. 从上到下　三：一二三 / 竟：立音竟
3. 先横后竖　十：一十 / 王：三干王
4. 先撇后捺　八：丿八 / 文：亠方文
5. 先外后里　同：冂同 / 司：冂司
6. 先外后里再封口　国：冂国国 / 回：冂回回

(二)补充规则

1. 当中间部分长或宽时，先写中间后写两边。如：水 亅 水 水 / 办 力 办
2. 正上、左上的点，必须先写。如：立 丶 亠 立 / 头 丶 头
3. 右上、里边的点，必须后写。如：戈 一七戈戈 / 瓦 一 厂 瓦 瓦
4. "走之儿""建之旁"最后写。如：迟 尺 迟 / 延 正 延
5. "匠字框"的字，先写上边一横，然后写里边，最后写竖折。如：匾 一 扁 匾
6. "区字框"的字，先里后外。如：函 了 承 函

五、汉字的结构

汉字结构指汉字构件(笔画、偏旁)的组合方式。主要有：

上下结构：昌、思、恋　　左右结构：从、相、林　　上中下结构：草、慧
左中右结构：树、辩　　全包围结构：因、国　　半包围结构：这、凶
品字形结构：轰、晶　　单一结构：大、月

六、汉字的有关知识

(一)偏旁与部首

偏旁是汉字形体的基本结构单位，它是合体字的组成部分。古代合体字左边的组成部分为"偏"，右边的组成部分为"旁"，合为"偏旁"。后来把一个字的上下左右能各自独立的部分，统称为偏旁。如形声字的形旁和声旁，其中形旁表意，声旁表声。例如："柏"字，"木"表意，是形旁；"白"表声，是声旁。部首是字典、词典等根据汉字形体偏旁所分的门类

部首和偏旁的关系是：部首也是偏旁，但偏旁不一定是部首。原因在于部首表示同部的字所表示的词义类别，而偏旁则除了一部分表示词义分类外，更多的是字的表音成分。例如："江""河"两个字中的"氵""工""可"都是偏旁，"氵"是这两个字所属的部首，而"工""可"只是表音的偏旁而不是部首，因此偏旁的数目比部首多，不可把二者等同起来。

(二)独体字与合体字

独体字是古代提出的汉字结构的概念，指不能分解为两个独立部分的字，也不是单纯的书写符号。一般都是象形字和指事字，例如："日""月""本"等。合体字是由两个或两个以上的部件(偏旁)组成的字。合体字中大部分是形声字，例如："沐""磷""租"等；有一小部分是会意字，例如："休""相""信"等。

(三)繁体字与简化字

简化字是中华人民共和国成立以后，国家公布的笔画较简的汉字。原来通行的笔画较繁的汉字就叫繁体字。简化汉字公布以后，繁体字就不允许使用了。现行的《新华字典》的字头右面的括号内的字多为繁体字。

(四)同音字与多音字

读音相同的一组字叫同音字。同音字又分为两类：一类是读音相同，字形也相似。例如："仓""苍""沧""舱"。一类是读音相同，字形不同。例如："池""持""匙""迟"。汉字中这两种类型的同音字很多，但

它们表达的意思却不相同。同音字在使用时很容易混淆，尤其是汉字中表音偏旁相同的字很多，大多是同音字，但也应注意特殊情况。比如"涸"读 hé，而不读 gù；"隘"读 ài，而不读 yì；等等。汉字中有的字有两个或两个以上的读音，这样的字叫多音字。那么如何辨别多音字的读音呢？因为多音字一般都是多义字，所以最主要的方法是看它用在什么样的语言环境中、组成什么样的词语，从而决定它的读音。

（五）多义字与形似字

字形相同，字音、字义不相同的字叫多义字，也叫多音多义字。例如："参"（cān、cēn、shēn）；"和"（hé、hè、huó、huò、hú）等。汉语中有很多字的形体相近，差别细微，但意义不同，这类字叫形似字。例如："已""己""巳"，"掉""悼"，"茶""荼"等都是形似字。因此，必须细心辨别，透彻地了解字义，同时也可以从以下四个方面来辨别形似字。

（1）笔画不同，如"天"与"夭"。

（2）笔画相同而结构安排不同，如"未"与"末"。

（3）笔画数不同，如"候"与"侯"。

（4）部首、偏旁不同，如"冠"与"寇"，"垣"与"恒"，等等。

多义字是指一个字有多种意思，形似字则是字形相似，意义多没有联系。二者的区别是一个重在字义，一个重在字形。

七、纠正错别字

纠正错别字必须从主观上认真对待，不要认为写字是小事，因为有时错别字也会造成误解，影响工作。一般说来，错别字有以下几种情况（括号内为正确字）：

（1）笔画致误：步伐（步）　武装（武）　（2）偏旁致误：狭溢（隘）　跋涉（涉）

（3）形近致误：宽敝（敞）　肆业（肄）　（4）音近致误：题纲（提）　供献（贡）

（5）义近致误：串插（穿）　略夺（掠）　（6）音、形、义都相近而致误：急燥（躁）　泻密（泄）

针对错别字产生的原因，针对梳理出来的容易写错的字，可采用以下方法识记：

（一）归类析异法。有些字的字形十分相像，只是一笔之差，或是某一笔、几笔的长短曲直略有不同。如果把这些字集中起来加以比较，找出各自笔画的特点，是可以帮助记忆的。例如："戊""戌""戊"，笔画特点是中间一笔有所不同，可以概括为"点戍，横戌，戊中空"。再如"己""已""巳"，笔画的特点是左边竖笔的长短上有所不同，可以概括为"开口己，半口已，闭口巳"。

（二）形旁辨析法。汉字中的绝大多数是形声字，许多音同音近的形声字，都有共同的声旁，区别只在形旁。所以抓住形旁加以辨析，就可以避免用错字。例如："掂""惦"，形旁为"手"，就有"掂量"；形旁为"心"，就有"惦记"。再如"澡""噪""燥""躁"，形旁为"水"，就有"澡盆""洗澡"；形旁为"口"，就有"噪音""鼓噪"；形旁为"火"，就有"干燥""燥热"；形旁为"足"，就有"急躁""暴躁"。

（三）据义定形法。汉字的基本特点是音、形、义的统一，要正字，就应从三者关系入手，以义为纲，据义定形。如"重（叠、迭）"，"叠"为"一层加上一层"之意，"迭"为"一次又一次"之意，所以写成"重迭"是错误的，写成"重叠"才正确。再如："插科打（浑、诨）"，"浑"为"水不清"之意，"诨"为"戏谑，开玩笑"之意，所以写成"插科打诨"是正确的，而写成"插科打浑"则是错误的。

（四）结构推断法。对词语（包括成语）结构的分析，可以帮助我们准确而迅速地推断出字形的正误。如"脉搏"这个词是主谓结构，意思是"动脉跳动"，把"搏"换成"膊"，动词变成名词，其语法结构就被破坏了，由此可推断，写成"膊"是错误的。再如"仗义执言"，这个成语是由两个动宾结构组成的并列短语，把"执"换成"直"，其中一个动词变成形容词，其语法结构就被破坏了，由此可推断，写成"直"是错误的。

（五）语境辨析法。有些汉字，应根据词（或熟语）的组合情况甚至根据语句的意思来确定用字。如"变换"与"变幻莫测"，"旁证"与"旁征博引"，"留恋"与"流连忘返"，"厉害"与"利害得失"，辨析这些词语如果没有语境意识就很容易判断错误。

(六)造字分析法。东汉许慎在《说文解字》中将汉字造字法归为六种,即象形、指事、会意、转注、假借和形声。懂得一点汉字造字法知识,可以帮助我们准确识记汉字字形。如:"残羹冷炙"的"炙"不能写成"灸","炙"是会意字,是把肉放在火上烤,本义为烤肉,可组成相关的词语"炙手可热""炙热"等,这个字与"针灸"的"灸"容易混淆,"灸"是由"久"和"火"构成的一个形声字,针灸是一种中医治疗方法。

(七)历史文化常识分析法。汉字的文化内涵非常丰富,很多字形可以从历史文化常识的角度加以赏析。如:不刊之论——古代把字刻在龟甲、兽骨或写在竹简上,有错误就得用刀一类的工具将错误笔迹刮掉,所以现代汉语还有"刊刻"的说法。发展到现在,"刊"就有了"更改、修改"之意了。"不刊之论"用来形容不能改动或不可磨灭的言论。所以"刊"不能写成"堪"。

(八)典故分析法。典故是指有来历的、有出处的语句或故事,很多词语特别是成语中都包含着典故,弄清这些典故的来历和出处,对于识记字形特别重要。如:世外桃源——词语出自陶渊明的《桃花源记》,讲的是晋太元中,武陵人捕鱼时发现长满桃树、盛开桃花的一处水源的故事,所以,是"桃花源"而非"桃花园",是"世外桃源"而非"世外桃园"。

(九)生活经验分析法。语文学科是人文学科,语文与生活的关系非常密切。很多词语反映了实际生活,是对实际生活的总结,识记字形,应调动生活经验。如:书声琅琅——在我们的生活经验中,玉发出的声音美妙动听,"琅琅"指玉石相击发出的清脆的声音,比喻响亮的读书声是很恰当的,包含着对读书的一种肯定,所以"琅琅"不能写成"朗朗"。

(十)民族情感认同分析法。任何民族的人们,对现实生活中的一些事物总会有褒贬好恶的情感态度,这些也会体现在语言中,我们可以据此识记字形。如:鸠占鹊巢——字面意思是斑鸠占了喜鹊的巢,用来比喻坐享其成或窃据应属他人的位置,这个成语所含的贬义是十分明显的,这里的"鹊"不能写成"雀"。在我们心目中,"喜鹊叫,好事到";而雀一类叫起来则让人心烦,且体型小,有"猥琐、丑恶、不大气"等意思,而且斑鸠性拙,人们未赋予它美好的情感,喜鹊则指那些美好的事物,从这个成语的通行意义来看,当然是"鹊"而非"雀"了。

八、字典(工具书)

(一)常用工具书简介

1.《尔雅》 是我国最早解释词义的专著,由汉初学者缀辑周、汉诸书旧文,递相增益而成,今本19篇。后世经学家常用以解说儒家经义,至唐宋时,为"十三经"之一。注释《尔雅》的,有晋郭璞注的《尔雅注》(后收入清代《十三经注疏》),此外清邵晋涵的《尔雅正义》注释得较为详密。

2.《说文解字》 简称《说文》,文字学书,东汉许慎撰,是我国第一部系统地分析字形和考究字源的字书。共收字9 353个,首创部首排检法。本书按文字形体和偏旁结构,分为514部,用六书的理论解释文字,确定了六书的体系。《说文》的注本以清代段玉裁的《说文解字注》最为有名。《说文解字》是世界最古老的字书之一。

3.《方言》 语言和训诂书,西汉扬雄撰,是一部反映汉代汉语方面成果的著作。今存13卷,仿《尔雅》的体例,收11 900余字。主要注本有东晋郭璞撰《方言注》、清戴震撰《方言疏证》和钱绎撰《方言笺疏》。

4.《释名》 训诂书,东汉刘熙撰,共27篇,分8卷。体例仿《尔雅》,而专用音训,以音同、音近的字解释意义,推究事物命名的由来。

5.《广韵》 全称《大宋重修广韵》,韵书,5卷,宋陈彭年等修。本书共收26 194字,共206韵,是我国现存较早的一部韵书兼字书。

6.《康熙字典》 清张玉书、陈廷敬等编,收字47 035个,是在《中华大字典》出版之前我国最大的一部字典。本书用子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥标分为12集,每集分上、中、下三卷,按214个部首编排。是查找汉字的古音、古义和生僻怪字不可缺少的工具书。

7.《中华大字典》 陆费逵、欧阳溥存等编。1915年出版,共收单字48 000多个,按214个部首排列,是截止至民国时期我国收字最多的一部字典。

8.《辞海》 陆费逵、舒新城等编。上海中华书局1936年出版,是我国影响较大的一部综合性词典。

9.《辞源》 陆尔奎、方毅、傅运森等编,商务印书馆1939年出版合订本。收单字13 000个,是一

部规模较大的综合性词典。

10.《新华字典》 新华辞书社编，是我国目前较通行的一部小型普通字典。现行2005年重排本较为适用。

(二)检字法

检字法是字典或其他工具书里文字排列次序的检查方法。检查汉字常用的方法有：部首检字法、音序检字法、笔画检字法和四角号码检字法。

1. 部首检字法

部首检字法一般采用字的上下左右等部位作为部首，其次是中坐和右上角。部首检字法应首先找准部首，确定部首有以下规定：

(1)先从"上、下、左、右、外"部找，如：

上	下	左	右	外
垂	盎	殆	战	圉
(天部)	(皿部)	(歹部)	(戈部)	(口部)

(2)独体字可查中坐。如："夹""夫"(大部)。

(3)上部分左右都有的，一般查左上。如："嗣"(口部)，但"肇"查"聿"部。

(4)左边分上下，右边是整体构件的，不查左上，查右边。如："肆"查"聿"部。

(5)左右都有偏旁的，一般取形旁。如："河""鸿""澡"取左边"水"部(氵)；"歉""歙"取右边"欠"部。

(6)内外都有的取外不取内，如"旬"取"勹"部，不取"日"部。

(7)中坐、左上都有的取中坐，如"坐"取"土"部，不取左上"人"部。

2. 音序检字法

以字音作为检索标准的一种检字法。现在通行的现代汉语拼音字母音序检字法，以英语的26个字母的先后顺序排列。

不同字母打头的按音序，如：ā(啊)、bá(跋)、cā(擦)、dà(大)。

同一个字母打头的先看第二个字母的顺序，第二个字母又相同的再看第三个字母。如：ā(啊)、āi(唉)、ān(安)、àng(盎)。

3. 笔画检字法

由笔画和笔形相结合构成的一种排检方法。

把所有汉字先按笔画多少排列，笔画少的在前，多的在后，相同笔画按起笔类型排列：

横(一)竖(丨)撇(丿)点(丶)折(乛)

4. 四角号码检字法

四角号码检字法，先将笔形列为10种，用0～9代表，查字口诀是：

横1(一、乛、𠃌、乚)垂2(丨、丿、亅)点捺3(丶、乀)

叉4(十、扌、七、メ、犭)串5(丰、扌、戈、丰)方框6(口、冂、冖)

角7(𠃌、乛、乚、𠂉、「、厂、亅)八8(八、人、入、丷、𠂆)小是9(小、忄、木、灬、𰀁、灬)

点下加横(一)变"0"头。

查法取四角顺序：①左上；②右上；③左下；④右下。如："级"2714。

外围是"口""门"的，左右两下角改取里面的。如："园"6021、"闭"3724。

缺角和前面用过的笔画作"0"。如："亏"1002。

(三)字典中几种符号的含义

1.〈引〉表示引申义。　2.〈喻〉表示比喻义。　3.〈转〉表示转化义。

4.〈连〉表示组词不另注。　5.〈口〉表示口语。　6.〈方〉表示方言。

7.〈书〉书面上的文言词语。　8.〈古〉古代用法。　9.〈图〉表示现代不常用的字。

附录一

中学生易写错的字集录

一、读音相同、相近，字形相像的字

历 经～
厉 再接再～
励 激～

暗 ～示
黯 ～淡

冈 ～峦
岗 站～

记 ～账
纪 ～律

札 ～记
扎 挣～

训 教～
驯 ～服

扑 ～朔迷离
朴 ～素
仆 前～后继

召 感～
招 不打自～

驰 奔～
弛 ～缓

灰 心～意懒
恢 天网～～

妄 狂～
忘 没齿不～

刑 ～罚
形 如影随～
型 模～

壮 理直气～
状 不可名～

至 自始～终
致 专心～志

仿 ～造
妨 ～害
防 提～

夸 ～奖
垮 ～台
挎 ～包
跨 ～越

抒 各～己见
纾 毁家～难

杆 笔～
竿 揭～而起
秆 高粱～

坂 如丸走～
板 呆～
版 排～ ～画

抄 ～写
钞 ～票

园 果～ 动物～
圆 自～其说
员 复～ 幅～

坐 ～享其成 ～落
座 ～位 ～右铭

译 翻～
绎 演～

低 眼高手～
抵 ～抗 ～命
底 刨根问～

性 ～质 个～
姓 ～名 老百～

侧 ～面 ～重
测 ～量 观～

采 ～茶 风～
彩 ～云 剪～

泡 血～ ～饭
炮 鞭～ ～弹

练 熟～ 干～
炼 锻～ 提～

详 不厌其～
祥 吉～ ～瑞

郎 新～ 令～
朗 ～读 开～
琅 琳～满目

拈 ～轻怕重
粘 ～贴
沾 ～～自喜

卷 手不释～
券 证～ 票～

受 ～贿 ～灾
授 教～ ～权

垦 开～ ～荒
恳 诚～ ～求

拴 ～住
栓 ～塞 门～

殃 祸国～民
秧 ～苗 插～

尝 ～试 何～
偿 得不～失
赏 ～心悦目

途 路～ 前～
涂 糊～ ～改

贻 ～笑大方
怡 心旷神～

恍 ～如隔世
晃 ～动 摇～
幌 ～子

恨 仇～ 怨～
狠 凶～ ～毒

侯 诸～
候 时～ 问～
后 前～ 皇～

俏 ～皮 俊～
悄 ～然 静～～

消 ～失 ～化
削 ～弱 ～减
销 ～声匿迹

捎 ～带 ～脚
梢 树～ 眉～
稍 ～微 ～息

骄 ～傲 ～阳
娇 ～生惯养
矫 ～健 ～情

奖 嘉～ ～章
桨 豆～
桨 船～

兹 今～ ～日
孳 ～生 ～乳

晏 ～起
宴 欢～ ～请

竞 ～争 ～技
竟 毕～ 究～

悍 短小精～
捍 ～卫
焊 电～ ～接

膺 义愤填～
鹰 ～犬 雄～

凌 欺～ ～晨
陵 丘～ ～园

班 ～级 ～师
斑 ～驳陆离
般 ～配 一～

根 草～ ～源
跟 ～随 脚～

换 交～ 更～
焕 ～然一新
涣 ～然冰释

维 ～系 ～护
唯 ～～诺诺

琐 ～碎 繁～
锁 铁～ 封～

梁 屋～ 桥～
粱 一枕黄～

毫 明察秋～
豪 ～言壮语

密 ～切 亲～
蜜 ～蜂 甜～

滑 ～稽 ～溜
猾 狡～ 奸～

搔 ～头 ～痒
骚 ～扰 牢～

博 ～览 广～
搏 ～斗 脉～

提 ～心吊胆
题 命～

番 ～邦 三～五次
翻 推～ ～山越岭
蕃 ～茂 ～息

尊 ～敬 令～
遵 ～循 ～守

蓬 朝气～勃
篷 帐～ 斗～

鹜 好高～远
骛 趋之若～

幅 ～员辽阔
辐 ～射

概 ～括 气～
慨 慷～ 愤～

曲 委～求全
屈 首～一指

幕 ～布 烟～
墓 坟～ 公～
慕 羡～ 仰～
暮 ～气 ～春

蓝 蔚～ 青出于～
篮 ～球 菜～

摸 起早～黑
模 ～范 ～型

塌 倒～ 一～糊涂
榻 竹～ 床～

裨 ～益 无～于事
稗 ～草 ～官野史

剽 ～窃 ～悍
缥 ～住 ～劲儿

摧 ～毁 无坚不～
催 ～促 ～眠

慢 快～ 缓～
漫 ～谈 ～山遍野

蔑 轻～ 污～
篾 竹～ ～席

叠 重～ 重峦～嶂
迭 更～ 忙不～

摩 观～ ～拳擦掌
磨 ～刀 消～

嘻 ～皮笑脸
嬉 ～闹 ～笑

儒 ～生 ～将
懦 妇～ ～子可教

辨 ～别 明～是非
辩 ～护 ～论
辫 ～子

篡 ～权 ～改
纂 编～ ～辑

燥 干～ ～热
躁 暴～ 不骄不～

鳞 遍体～伤 ～片
麟 凤毛～角 麒～
粼 碧波～～

二、读音不同、字形相像的字

已 赞叹不～
巳 ～时
己 克～奉公

仓 ～库 ～皇
仑 昆～山

幻 ～想 ～灯
幼 ～年 ～虫

纤 ～细
歼 ～灭 围～

轨 铁～ ～道
轧 ～钢 倾～

坑 泥～ ～道
炕 暖～ ～席

免 避～ ～职
兔 ～死狐悲

冶 ～金 ～炼
治 ～理 统～

育 病入膏～
育 教～ 培～
盲 ～人 ～目

折 ～断 挫～
拆 ～开 ～散
析 分崩离～
柝 击～

炙 脍～人口
灸 针～

贩 摊～ ～卖
败 失～ 腐～

服 ～务 ～药
股 ～份
般 ～配 百～

孤 ～假虎威
孤 ～单 ～儿

贫 ～困 ～血
贪 ～得无厌

屈 ～指可数
届 ～时 历～

刺 讽～ ～激
刺 乖～

货 ～物 ～真价实
贷 责无旁～ ～款

勿 请～吸烟
匆 ～忙 ～促

未 ～来 ～必
末 本～倒置

场 打～ 会～
扬 表～ 发～

戎 ～装 兵～
戌 戊～
成 ～守 卫～
戒 警～ ～骄～躁

侍 服～ ～候
待 等～ ～遇

钓 沽名～誉
钧 千～一发
钩 ～心斗角

杳 ～无音信
沓 纷至～来

要 ～求 ～挟
耍 玩～ ～赖

冒 ～险 ～充
胃 肠～ ～口
肖 甲～ 贵～

挠 百折不～
绕 ～道 缠～
跷 蹊～ ～腿

哀 悲～ ～悼
衰 ～老 ～退
衷 言不由～ ～情

挂 悬～ ～念
桂 ～冠 ～花

怒 发～ ～火
恕 ～不接待

窃 偷～ ～听
穷 鬼迷心～

侵 ～占 ～犯
浸 ～湿 ～透

洒 ～水 潇～
晒 晾～ ～台

响 ～亮 影～
晌 ～午 半～

冠 怒发冲～
寇 敌～ 贼～

恬 ～不知耻
括 概～ ～号

逐 ～步 驱～
遂 半身不～

倍 事半功～
陪 ～伴 ～村

准 ～备 标～
淮 ～河

畔 河～ 桥～
衅 挑～ 寻～

祟 鬼鬼～～
崇 ～山峻岭

粟 ～子
票 钞～ 邮～
粟 沧海一～

裁 移～ ～倒
裁 ～缝 ～判
载 怨声～道
戴 披星～月

膺 义愤填～
膺 ～品 ～本

营 经～ ～养
菅 草～人命
管 ～理 钢～

绿 ～色 ～化
缘 ～故 边～

隐 ～蔽 ～瞒
稳 ～重 ～妥

添 增～ ～补
漆 油～ ～黑

遗 ～失 ～忘
遣 派～ ～送

级 连～ ～合
掇 拾～ ～弄
辍 ～学
啜 ～泣
惙 气息～然

喝 ～茶 吆～
渴 口～ ～望

销 ～售 撤～
锁 铁～ 封～

晴 ～朗 ～空
睛 目不转～

辈 英雄～出
靠 ～拢 可～

碰 ～壁 ～巧
砰 ～锅卖铁

慰 安～ ～劳
熨 ～斗

激 ～动 感～
缴 ～费 ～获

薄 单～ 刻～
簿 账～ ～册

措 ～手不及
猎 打～ ～狗
腊 ～月 ～肉
蜡 味同嚼～

三、读音相同、相近，字形不相像的字

已 赞赏不～
以 ～身作则

滔 ～天罪行
涛 惊～骇浪

功 ～亏一篑
供 ～应 ～认
贡 进～ ～生

义 ～愤 正～
意 ～思 ～识

叉 劈～ 鱼～
岔 ～路 ～气

子 父～ ～孙
滓 渣～ ～浊

长 ～年累月
常 ～年积雪

仇 ～恨 报～
酬 应～ ～金

仅 绝无～有
尽 ～量 ～管

汇 ～报 ～款
会 ～客 ～见

代 世世～～
待 优～ ～遇
带 携～ 领～
戴 披星～月

由 身不～己
尤 ～其 ～物

付 支～ 交～
副 名～其实

兰 ～花
栏 栅～ 羊～
蓝 ～天 ～色

正 ～常 ～月
整 ～齐 调～

式 样～ 程～
势 ～均力敌

决 坚～ ～定
绝 断～ ～地

曲 歌～ 委～求全
屈 宁死不～

合 ～家团聚
和 ～盘托出

象 ～棋 ～牙
像 ～素 ～样
相 ～机 ～声

成 ～本 ～分
承 ～认 继～
程 计日～功

邪 改～归正
斜 歪～ 倾～

扩 ～大 ～建
阔 宽～ ～气

巡 ～逻 ～捕
循 ～序渐进

妆 化～ 嫁～
装 ～饰 服～

休 ～会 ～养
修 ～饰 ～理

划 ～分 ～船
画 油～ ～笔

轨 铁～ 越～
规 ～则 ～劝

导 引～ 传～
道 能说会～

坚 无～不摧
艰 ～巨 ～辛

克 ～勤～俭
刻 ～字 深～

应 响～ 供～
映 反～ 放～

连 相～ ～队
联 ～系 ～欢

坠 摇摇欲～
堕 腐化～落

闷 愁～ 窒～
懑 愤～

治 ～理 ～病
制 ～造 ～定

事 ～情 ～实
是 自以为～

奋 ～斗 ～发
愤 发～图强

贯 籍～ ～穿
灌 ～木 ～溉

卓 ～尔不群
灼 真知～见

定 心神不～
订 预～ 修～

泻 一～千里
泄 水～不通

肤 皮～ ～浅
浮 人～于事

祛 ～除 ～疑
驱 长～直入

迹 古～ ～象
绩 业～ 功～

须 必～ 胡～
需 ～要 ～求

景 光～ ～色
境 环～ 边～

幽 ～静 ～会
优 ～美 ～裕
悠 ～久 ～闲

洪 ～水 ～亮
宏 宽～ ～图

鬼 ～～祟祟
诡 ～计

茵 绿草如～
阴 ～险 树～
荫 ～蔽 ～翳

烂 腐～ ～漫
滥 ～竽充数 ～调
澜 推波助～

剑 ～拔弩张
箭 弓～ 射～

残 ～缺 ～冬
惨 ～无人道

调 ～动 ～查
掉 尾大不～

顽 冥～不灵
玩 ～世不恭

振 ～笔疾书
震 ～动 ～惊

晒 ～太阳
筛 ～选 ～糠

乘 千～之国
趁 ～热打铁

掠 抢～ ～取
略 攻城～地

符 ～合 ～号
敷 ～衍 ～药

善 ～良 友～
擅 ～自 ～长

附录二

易混字辨析

说明：本表易混字指或形似，或音同音近，而字义又相关的字。

暗 黯 “暗”，指光线不足、暗地隐蔽或糊 扒 趴 “扒”，用于靠手的动作，如“扒涂不明白。“黯”，阴暗，多用于形容忧郁伤感的样子。 车”“扒皮”(bā)、“扒窃”“扒手”(pá)。“趴”，趴

下，卧倒。“扒墙头儿”中的“扒”不写作“趴”。

傍 旁 “傍”，指靠近，如“依山傍水”“傍晚”。“旁”，指旁边、其他，如“旁观”“旁人”。

报 抱 “报”，用于告诉、答谢、报复，如“报告”“报答”“报仇”。“抱”，用于用手臂围住或心里存着（想法、意见等），如“抱膝”“抱怨”。

暴 瀑 爆 曝 “暴”，①突然而猛烈，如“暴涨”“暴风雨”；②凶狠，残酷，如“暴君”“暴行”；③急躁，如“脾气暴”；④糟蹋，如“自暴自弃”。“瀑”，瀑布。“爆”，①猛然破裂或迸出，如“爆炸”；②一种烹调方法，如“爆肚儿”。“曝”，晒，如“一曝十寒”。

弊 毙 敝 “弊”，指欺诈蒙骗行为或毛病、害处，如“作弊”“舞弊”“弊端”“兴利除弊”。“毙”，指死，贬义，如“毙命”“作法自毙”。“敝”，指谨慎小心，如“惩前毖后”。

辨 辩 辫 瓣 “辨”，分清，如“分辨”“辨别”“明辨是非”。“辩”，用理由和根据说明真伪是非，如“辩论”“辩护”“答辩”。“辫”，如“小辫儿”。“瓣”，如“花瓣”“橘子瓣”“瓣膜”“蒜瓣儿”。

遍 片 “遍”，①普遍，全面，如“遍体”“漫山遍野”；②量词，如“一遍”。“片”，①薄片，如“布片儿”“纸片儿”；②零星的，不全的，如“片断”；③量词，用于成片的东西，如“一片儿药”。

博 搏 膊 “博”用于“渊博”“博古通今”“博取”“赌博”等。“搏”用于“搏斗”“搏动”“脉搏”等。“膊”用于“胳膊”。

部 布 步 “部”，安排、布置（人力、任务），如“部署”；门类，如“按部就班”。“布”，布置。“部署”“按部就班”不写作“布署”“按步就班”。“步”，如“步骤”。

惨 残 “惨”，指悲惨、程度严重、凶恶，如“惨不忍睹”“惨重”“惨无人道”。“残”，指残缺、将尽的、伤害、凶恶，如“残品”“残冬”“残忍”“残酷”。

采 彩 “采”，①用于表示动作，如“采集”“采用”“采访”等；②用于指精神状态，如“风采”“神采奕奕”“兴高采烈”等。“彩”，用于表示物体的颜色花样，如“丰富多彩”“光彩照人”等；用于赌博，如“博彩”。

才 材 “才”，指才能，如“德才兼备”“才华横溢”“人尽其才”。“材”，指材料，如“就地取材”“大材小用”。“大材小用”说的还是材料使用，仍要写作“材”。

尝 赏 偿 “尝”，尝试。“赏”，常用词有“奖赏”“赏识”“观赏”。“偿”，用于“偿还”“赔偿”“如愿以偿”等。

长 常 “长”，指距离、长度或是时间长久，如“长年累月”“长治久安”“长此以往”。“常”，指经常、时常、常常、不变的，如“常备不懈”“常胜将军”“冬夏常青”。

憧 幢 疃 “憧”（chōng），用于“人影憧憧”（往来不定）和“憧憬”。“幢”（zhuàng），是量词，如“一幢房屋”。“疃”（tuǎn），村庄（多用于地名）。

崇 祟 “崇”，是形声字，声旁是“宗”，意思是高大如山。“祟”，是会意字，“示”指鬼神。所以“作祟”“鬼鬼祟祟”等都写作“祟”。

斥 叱 “斥”，指责备、使离开，如“斥责”“排斥”“斥退”；指多，如“充斥”。“叱”，指大声责骂，如“叱责”“叱骂”。

词 辞 两字多有相通处。“词典”“词令”“词讼”“词章”“言词”，也可写成“辞”。而“诗词”“词牌”“词曲”“词谱”“词话”，不可写成“辞”；“修辞”“楚辞”“《木兰辞》”不可写成“词”。

篡 纂 “篡”，指夺取，如“篡权”“篡位”“篡改”。“纂”，编辑，如“编纂”。

驰 弛 “驰”，指车马跑得快，如“飞驰”。引申义：①传播，如“驰名”；②向往，如“心驰神往”。“弛”，指松开，松懈，如“松弛”“一张一弛”。

粹 萃 瘁 悴 “粹”，①纯粹，如“粹而不杂”；②精华，如“精粹”。“萃”，①聚集，如“荟萃”；②聚在一起的人或物，如“出类拔萃”。“瘁”，过度劳累，如“鞠躬尽瘁”“心力交瘁”。“悴”，只用于“憔悴”。

带 戴 “带”，指具体动作时，专指随身拿着，如“携带”“夹带”。“戴”，指具体动作时，专指把某种东西放在头、面、颈、胸、臂等处，如“佩戴”“戴帽子”。

掂 拈 捻 “掂”，指估量轻重，如“掂量”“掂对”“掂掇”等。“拈”，用于夹取，如“拈闻儿”“拈轻怕重”。“捻”，用于“捻线”等。

雕 凋 “雕”，①雕刻，刻画；②有彩画装饰的，如“雕梁画栋”。“凋”，凋零，凋谢。

叠 迭 “叠”，指重叠或折叠。“层见叠出”“叠床架屋”“叠放整齐”。“迭”，指更迭或迭次（屡次）。如“迭有新发现”“迭挫强敌”，不能写作“叠”。

定　订　都指约定。前者偏重决定、规定，后者侧重商定、预定。"订(定)购"，可以通用。"预定"(预先规定或约定)和"预订"(预先订购)不能混淆。

度　渡　"度"用于过时间，如"欢度春节""度假""度日"等。"渡"用于由这一岸到那一岸，通过江河等，如"渡船""渡口""渡轮"。

繁　烦　"繁"，繁多，复杂，如"繁星""繁忙"。"烦"，①烦闷，厌烦；②多而乱，如"烦杂"(此义项也作"繁")。

翻　番　"翻"，动词，如"翻地""翻供""翻两番"。"番"，量词，如"几番周折""另有一番天地"。

反　返　"反"与"正"相对，如"适得其反"。"返"与"往"相对，如"返还""返校"。

防　妨　"防"，表示防备、防守，如"防旱""边防""防患未然"。"妨"，表示不利于，如"妨害""妨碍"。

废　费　"废"，指不再使用或没有用的，如"废除""废话""半途而废"。"费"，指花费、耗费或耗费得多，如"消费""费心""费油"。

奋　愤　忿　"奋"，指振作昂扬，是自发的，如"奋勇""奋发图强"。"愤"，指因不满而发怒或激动，是外界因素所致，如"悲愤""群情激愤"。"忿"与"愤"基本同义，"忿怒""忿恨"，其中"忿"都可以用"愤"，"不忿"(不服气)除外。

分　份　"分"，①成分，如"水分"；②职权的限度，如"本分""非分"；③情分。"份"，①整体里的一部分，如"股份"；②量词，如"一份报纸"。注："身分"同"身份"。

扶　抚　"扶"，①搀扶，如"扶老携幼"；②扶助，如"救死扶伤"。"抚"，①慰问，如"抚慰"；②保护，如"抚养"；③轻轻地按着，如"抚摩"。

幅　副　"幅"，用于布帛、呢绒、图画等，作量词，如"一幅画""一幅被面"。"副"，用于成套的东西，"一副手套""一副象棋"。

复　覆　"复"和"覆"都有"转过去或转回来"和"回答，答复"意。"复"，①重复，如"复查""复制"；②恢复；③报复，如"复仇"；④又，如"旧病复发"。"覆"，①盖住，如"覆盖"；②倾覆，如"颠覆""全军覆没"。

冈　岗　"冈""岗"都指低平的山脊，但"山冈"现已不写作"山岗"。山名"景阳冈""井冈山"不能写作"景阳岗""井岗山"。"岗"还指岗位，如"门岗""下岗"。

函　涵　"函"，①信件，如"函件""信函"；②封套，如"石函"。"涵"，①包容、"涵养""海涵"；②涵洞，如"桥涵"。

和　合　阖　"和"，连带，如"和衣而卧"。"合"，①全，如"合家"；②契合，如"貌合神离"。"阖"，①全，如"阖家"；②关闭，如"阖门"。

宏　弘　都用于"宏(弘)扬"等。"宏"还用于"宏观""宏伟""宏丽"(宏伟壮丽)、"宏赡"(学识等丰富)等。

鸿　洪　"鸿"用于"鸿沟""鸿蒙""鸿儒"等。"洪"用于"洪流""洪炉""洪水猛兽"(比喻极大的祸害)等。

划　画　"划"huà，①划分，如"划界""划出一部分"；②拨给，如"划款""划拨"；③计划，如"谋划""策划"。huá，①"划船"；②合算，如"划不来"；③划火柴。"画"，如"作画""油画""笔画"。

慌　惶　"慌"，不沉着，如"慌忙""惊慌失措"。"惶"，害怕，如"惶恐""惊惶"。

慧　惠　"慧"用于"聪慧""秀外慧中"(多形容女性外貌秀美，内心聪明)等。"惠"用于"恩惠""惠临"(敬辞，指对方到自己这里来)等。

混　浑　做"浑浊""糊涂"讲，"混"同"浑"。如"混蛋"和"浑蛋"。但其他意义不能混同，如"鱼目混珠""鱼龙混杂""混世魔王""浑浑噩噩""浑然不觉""浑然一体"。

迹　绩　"迹"，指痕迹或前人留下的事物，如"足迹""事迹""古迹""遗迹"。"绩"，功业、成果，如"成绩""业绩""功绩"。

籍　藉　"籍"多用于书籍、册子及有关的词语，如"籍贯"。"藉"意为践踏、侮辱。

及　即　"及"，达到，如"波及""及格""由表及里"。"即"，靠近，如"若即若离"。

积　集　"积"，①积累，如"积少成多"；②积久的，如"积习""积弊"。"集"，集合，聚集，如"集腋成裘"。

即　既　"即"用于"即使"。"既"用于"既然"。

佳　嘉　"佳"，指美，好，如"佳节""佳作""佳音"。"嘉"，①美好，如"嘉宾"；②夸奖，如"嘉奖""嘉勉"。

交　缴　"交纳""交卷""交费""交税"等，也可用"缴"，有强调履行义务的意思。"缴

获”“缴械”“缴枪不杀”，都有强迫或被迫交出的意思，用“缴”。

僭 谮 “僭”(jiàn)，指超越本分，如“僭越”。“谮”(zèn)，指诬陷，中伤，如“谮言”。

诫 戒 “诫”，指警告，劝告，如“告诫”“劝诫”。“戒”，①同“诫”；②防备，警惕，如“戒心”；③戒除，如“戒毒”；④禁做的事或戒律，如“开戒”。

竟 竟 “竟”，①完毕，如“未竟之业”；②从头到尾，如“竟日”；③终于，如“有志者事竟成”；④表示出乎意料，如“竟然”。“竟”，指竞争，竞赛，如“竞走”“竞技”。

惊 警 “惊”，①由于突然来的刺激而精神紧张，如“惊喜”；②惊动，如“惊弓之鸟”。“警”，①戒备，如“警惕”；②敏锐，如“机警”；③使人注意，如“警告”；④危情，如“火警”；⑤警察的简称，如“民警”。

纠 赳 “纠”，①缠绕，如“纠缠”“纠纷”等；②集合，如“纠合”；③纠正，如“纠偏”。“赳”，赳赳，健壮威武的样子。

灸 炙 “灸”是形声字，是中医的一种治疗方法。如“针灸”。“炙”是会意字，上面是“肉月”的变体，用火烤肉的意思。如“脍炙人口”“炙手可热”。

具 俱 “具”，用于名词，如“家具”；用于动词，如“初具规模”。“俱”，副词，“全、都”的意思，如“百废俱兴”“面面俱到”。

决 绝 “决”，①拿定主意，如“决定”“决策”；②决胜负，如“决赛”“决战”；③决口，如“决堤”；④执行死刑，如“处决”。“绝”，①断，如“绝望”“绝交”；②无路可走，如“绝境”；③独一无二的，如“绝技”；④很，如“绝妙”；⑤绝对。

克 刻 “克”，用于“克敌”“克复”“克己”“克服”“克期”“克扣”等。“刻”，用于“雕刻”“时刻”“刻薄”“刻苦”等。

颗 棵 “颗”，粒状物，如“颗粒”“一颗子弹”。“棵”，多用于植物，如“一棵树”。

滥 乱 “滥”，泛滥、过度、没有限制，如“滥用职权”“宁缺毋滥”。“乱”，没有条理，如“混乱”。

厉 利 “厉害”和“利害”，都可指难对付、难忍受，或指达到了某种异乎寻常的程度；但“利害”还指利益和损害。“变本加厉”，指变得比原来更严重，不可写成“利”。

练 炼 “练”，指练习、熟练、经验多，如“简练”“苦练”。“炼”，指使之纯净、精美，如“锤炼”“锻炼”“炼句”。“精炼”与“精练”作形容词时通用。前者还可作动词。

龄 令 “龄”与年数有关，如“年龄”“学龄”。“令”，①与时节有关，如“时令”“夏令营”；②美好或敬辞，如“令名”“令郎”。

冒 贸 都指轻率。“冒”用于“冒失”“冒味”等。“贸”用于“贸然从事”等。

磨 摩 “磨”，①摩擦，如“磨破了”；②折磨；③磨灭，如“百世不磨”。“摩”，①摩擦；②切磋，如“观摩”。

气 汽 “气”，指空气，也指自然状态下的各种气体。“汽”，指液体或固体受热而变成的气体，也指水蒸气，如“汽车”“汽船”。

弥 弭 “弥”，①满，填满，如“弥漫”“弥补”；②更加，如“欲盖弥彰”。“弭”指平息、消灭，如“消弭”“弭患”。

契 锲 “契”用于“书契”“房契”“默契”等。“锲”用于“锲而不舍”。

迷 谜 “迷”，指着迷或分辨不清，如“球迷”“迷路”。“谜”，比喻还没有弄明白的或难以理解的事物，如“猜谜”“宇宙之谜”。

歉 欠 “歉”，①收成不好，如“歉年”“以丰补歉”；②道歉。“欠”，①应还账而不还，如“赊欠”“欠情”；②不够，如“欠妥”。

曲 屈 两者都有“弯曲、使弯曲”之意，“曲”用于物，如“曲突徙薪”“曲意逢迎”，还指身体弯，如“弯腰曲背”。“屈”用于身体某部分，如“屈指”“屈膝”。指屈服用“屈”，如“屈身”“屈节”。两者都有“理亏”之意，“曲”用于“是非曲直”；“屈”用于“理屈词穷”。此外，“委曲”指弯曲，“委屈”指受冤枉。

券 卷 “券”用于票据凭证类，如“证券”“彩券”“入场券”。“卷”用于书画档案类，如“画卷”“试卷”“案卷”。

漱 嗽 “漱”，漱口。“嗽”，咳嗽。

熔 溶 融 固体受热变液体用“熔化”；固体溶解用“溶化”；冰雪变水用“融化”(或“溶化”)。

上 尚 “上”表方位。“尚”，①注重，如“崇尚”“不尚空谈”；②风尚，如“时尚”。“无上光荣”不能写作“无尚光荣”。

申 伸 “申”，指申述说明，如“申请”“申明”“申诉”“申讨”“申辩”“申谢”“引申”“重

申”等。“伸”，指伸展，如“伸缩”“伸张”“伸直”“伸手”“延伸”“能屈能伸”等。注意：作“洗雪冤屈”讲，“申冤”同“伸冤”；作“申诉冤屈”讲，写作“申冤”。

竖 树 “竖”，竖立（实物），如“竖旗杆”。“树”，树立（抽象事物），如“树雄心”。

烁 铄 “烁”意为光亮的样子，如“繁星烁烁”。“铄”意为熔化，如“铄金流石”“众口铄金”。

厮 撕 “厮”意为互相（多见于早期白话），如“厮打”“厮杀”“厮混”“厮守”。“撕”用手使东西裂开或离开附着处，如“撕扯”“撕毁”。

琐 锁 “琐”只用于形容词，如“琐屑”“烦琐”“猥琐”。“锁”只能作名词和动词。

塌 蹋 “塌”，①倒下，陷下，如“倒塌”“塌方”；②凹下，如“塌鼻子”；③安定，镇定，如“塌下心来”。“蹋”，指踏，踩，如“糟蹋”。

滔 涛 “滔”用于形容词，如“白浪滔滔”“波浪滔天”。“涛”用于名词，如“波涛”“惊涛骇浪”。

宛 惋 婉 “宛”用于副词，表示仿佛，如“宛如”“宛然”。“惋”用于动词，表示疼惜，如“惋惜”。“婉”用于形容词，表示婉转、柔顺，如“委婉”“和婉”。

帷 帏 “帷”，指帐子，如“帷幕”“运筹帷幄”。“帏”，①同“帷”；②古代佩带的香囊。

唯 惟 维 “唯”用于“唯唯诺诺”“唯物主义”等。“惟”“唯”在“惟（唯）一”“惟（唯）独”“惟（唯）命是从”“惟（唯）我独尊”等词中通用。“维”用于“维系”“维修”“思维”等。

吸 汲 “吸”是把气体或液体通过口（或鼻）抽入体内，如“吸水”“吸收”。“汲”是从下往上打水，如“汲水”“汲引”。

消 销 “消”，指消失，使消失，度过（时间），如“消耗”“消融”“消闲”。“销”，指除去，如“销售”“销假”“开销”“销声匿迹”。“撤销（消）”“销（消）魂”。

相 像 象 “相”，主要指和人外貌有关的样子，如“相貌”“相片”“站有站相”“福相”“识相（知趣）”“众生相”“穷形尽相”“皮相之谈”等。“像”，主要指比照人物制成的形象，如“画像”“佛像”“肖像”“群像”“遗像”“音像”“录像”等。“象”，形状，样子，如“现象”“景象”“气象”“表象”“意象”“印象”“迹象”“万象更新”等。有时通用，如“假象”与“假相”，“想象”与“想像”。

形 型 “形”用于“形成”“形式”“形势”“形影不离”“形容枯槁”“相形见绌”等。“型”用于“模型”“新型”等。

斜 邪 “斜”，不正，无贬义。“邪”，不正当，有贬义。“斜路”和“邪路”不应混淆。

泄 泻 “泄”，指排出，不强调迅疾，如“排泄”“发泄”“泄露”。“泻”，指很快地流，如“一泻千里”“上吐下泻”。

须 需 “须”用于助动词，表示一定要、须要，如“必须”“须知”。“需”用作动词时表示需要，用作名词时表示需用的东西，如“需求”“军需”。

赝 膺 “赝”指假的，如“赝品”。“膺”指胸、承受、承当、讨伐，如“义愤填膺”“荣膺”“膺惩”。

噎 咽 “噎”，①食物堵住食管，如“因噎废食”；②义同“咽”，如“竟无语凝噎”。“咽”指声音受阻而低沉，如“哽咽”“喇叭声咽”。

义 意 “义”，①公正的道理或行为，如“正义”“义正词严”；②意义，如“字义”“定义”。“意”表示内心的看法和想法，如“主意”“意愿”“意料”。

阴 荫 “阴”，①与“阳”相对，如“阳奉阴违”；②不见阳光处，背面，如“碑阴”；③阴险；④阴间。“荫”，①树荫，如“绿树成荫”；②保佑，如“荫庇”（比喻尊长照顾晚辈或祖宗保佑子孙）。

荧 莹 萤 “荧”指光亮微弱，如“荧光屏”“明星荧荧”。“莹”指光亮透明，用于“晶莹”等。“萤”指萤火虫。

尤 犹 “尤”，①最，甚，特异，如“尤甚”“尤其”“尤物”“无耻之尤”；②过失，如“效尤”；③怨恨，如“怨天尤人”。“犹”，①如同，如“虽死犹生”；②还，如“记忆犹新”。

渔 鱼 “渔”，指打鱼，如“渔民”“渔村”“渔业”“渔产”“渔场”“渔轮”“渔猎”“渔樵”“渔利”等。而“釜底游鱼”“鱼龙混杂”“鱼肉乡里”等，要写作“鱼”。“鱼汛”也作“渔汛”。

源 渊 “源”指水流开端的地方或根源，如“源头”“发源”。“渊”指深水、潭，如“天渊之别”。

园 圆 “园”，用于与花草树木有关的词，如“园林”“园艺”“满园春色”等。“圆圈”“圆满”“花好月圆”“外圆内方”“字正腔圆”“圆滑世

故”等，必须写作“圆”。

燥 躁 “燥”，缺少水分，如“干燥”“燥热”。“躁”，性急，如“烦躁”“戒骄戒躁”。

涨 胀 “涨”，①zhǎng，水位升高或价格提高，如“水涨船高”“涨价”；②zhàng，固体吸收液体而体积增大或头部充血，也指多出来，如“泡涨”“头昏脑涨”“涨出十块钱”。“胀”，用于“膨胀”“肚子发胀”等。

招 召 “招”，①通过一定方式使人来，如“招兵”“招领”；②引来（不好的事物），如“招灾”。“召”，召唤，如“召集”“召见”。

振 震 “振”，①摇动，如“振臂”“振翅”；②奋起，振作，如“振聋发聩”“振兴”。“震”，①震动，如“震撼”“震耳欲聋”；②情绪过分激动，如“震惊”。

妆 装 “妆”，用于“化妆”，多指妇女修饰打扮。“装”，用于“化装”，指演员扮演角色而修饰，也指装扮。

治 制 “治”用于“治理”“治乱”“治罪”“治学”“法治”（依法治理国家）等。“制”用于“制裁”“制胜”“制止”“法制”（法律制度）等。

只 支 作量词，“只”多用于动物、某些器物或成对的东西，如“一只鸭”“三只皮箱”“五只船”“两只眼睛”。“支”多用于杆状的东西或歌曲，如“三支笔”“一支新的乐曲”。

至 致 “至”，①到，如“至今”“自始至终”；②极，最，如“至少”“至高无上”。“致”，①给予，向对方表示（礼节、情意等），如“致函”“致辞”“致敬”；②集中，如“致力”“专心致志”；③达到，实现，如“致富”“学以致用”；④招致，如“致病”；⑤以致，如“致使”。

绉 皱 “绉”，有皱纹的丝织品。“皱”，①皱纹；②起皱纹，如“皱眉头”。

作 做 构成复合名词用“作”，如“作业”“协作”“作案”。“作”的宾语多是动词，如“作表演”“作斗争”。“做”的宾语多是名词或代词，如“做饭”“做工作”。

附录三

常见的别字集录

二字词语（注：括号内是别字）

A	仓(伧)促	玷(沾)污	贡(供)献	J
暮霭(蔼)	仓(怆)皇	折叠(迭)	攻(功)势	既(即)然
哀(唉)叹	沧(仓)桑	通牒(谍)	供(贡)奉	即(既)使
安(按)装	沧(苍)海	装订(钉)	挂钩(勾)	调剂(济)
谙(暗)熟	怅(伥)然	文牍(读)	姑(估)息	亟(急)待
B	岔(叉)路	E	灌(贯)输	棘(辣)手
羁绊(拌)	搀(掺)扶	偶尔(而)	惯(贯)例	伎(技)俩
抱(报)负	掣(扯)肘	F	聒(刮)噪	跻(挤)身
裨(稗)益	时辰(晨)	砝(法)码	H	急(疾)促
弊(敝)病	松弛(驰)	反(返)悔	浩瀚(翰)	嘉(加)奖
针砭(贬)	憧(幢)憬	妨(防)碍	震撼(憾)	戛(嘎)然
辨(辩)别	辍(缀)学	安分(份)	掺和(合)	娇(骄)宠
濒(频)临	篡(纂)夺	附(符)会	洪(宏)亮	皎(佼)洁
屏(摒)气	精粹(萃)	悱(绯)恻	涣(焕)散	精简(减)
博(搏)彩	荟萃(粹)	托付(咐)	焕(涣)发	经(精)典
赌博(搏)	D	俸(奉)禄	幌(晃)子	陷阱(井)
脉搏(博)	穿戴(带)	辐(幅)射	诙(恢)谐	竟(竞)然
部(布)署	砥(诋)砺	副(付)刊	聪慧(惠)	竞(竞)技
C	门第(弟)	师傅(付)	荟(会)萃	针灸(炙)
风采(彩)	落第(弟)	G	惶(徨)惑	拘谨(紧)
光彩(采)	掂(惦)量	钓竿(杆)	N	盘踞(居)
喝彩(采)	踮(掂)脚	隔膈(膜)	霓(兒)虹	具(俱)备

剧(臣)增　浏(览)览　蹂(揉)蹒　陨(殒)落
崛(掘)起　笼(拢)络　融(溶)洽　**X**　参与(予)
抉(决)择　葱茏(笼)　偌(诺)大　沿袭(习)　预(豫)定
竣(峻)工　频率(律)　**S**　白皙(晰)　授予(与)
疏浚(竣)　**M**　煞(刹)白　诬陷(陷)　挪揄(输)
K　贸(冒)然　蹒跚(瞒)　慈祥(详)　方圆(园)
磕(嗑)头　蒙(懵)人　赡(瞻)养　安详(祥)　元(原)凶
刻(克)苦　迷(谜)宫　慑(摄)服　报销(销)　原(缘)委
恪(格)守　糜(靡)烂　花哨(俏)　销(销)毁　踊(涌)跃
眼眶(框)　委靡(萎)　伸(绰)张　逍(销)遥　幽(忧)怨
匮(愧)乏　消弭(销)　闪烁(铄)　胁(协)迫　**Z**
寥廓(阔)　泯(抿)灭　卫戍(戍)　发泄(泻)　札(扎)记
　　摹(摩)仿　首(采)饰　倾泻(泄)　膨胀(涨)
L　观摩(摹)　厮(撕)杀　喧(喧)闹　震(振)惊
打蜡(腊)　寂寞(寞)　悚(耸)然　寒喧(暄)　振(震)奋
斑斓(澜)　**O**　鬼祟(崇)　渲(喧)染　缜(慎)密
蓝(兰)本　怄(呕)气　唆(嗦)使　宣(渲)泄　邻座(坐)
雷(类)同　斗殴(殴)　枷锁(梏)　炫(眩)耀　极致(至)
呆愣(楞)　**P**　**T**　炫(眩)目　导致(至)
孪(挛)生　赔(陪)偿　槽蹋(塌)　询(寻)问　对峙(持)
厉(历)害　**Q**　拖沓(踏)　潮汛(讯)　皱(绉)纹
利(俐)落　分歧(岐)　袒(坦)护　**Y**　九州(洲)
蝉联(连)　歧(岐)义　提(题)纲　腭(腐)品　锱铢(珠)
干练(炼)　修葺(葺)　朝廷(庭)　疮痍(夷)　恣(姿)意
修炼(练)　顷(倾)刻　鞭挞(鞑)　肄(肆)业　遵(尊)循
简练(炼)　痊(全)愈　蜕(脱)化　贻(殆)误　遵(尊)从
熟练(炼)　歉(欠)疚　**W**　演绎(绎)　作(做)揖
锤炼(练)　蜷(卷)缩　惋(婉)惜　赢(赢)得　操作(做)
潦(牢)草　证券(卷)　慰(蔚)藉　荧(萤)屏　坐(座)阵
菱(棱)形　**R**　旋涡(窝)　纷纭(云)　坐(座)标
伶(玲)俐　困扰(挠)　诬(污)告　殒(陨)命　坐(座)落
留(流)恋

四字词语(注:括号内是别字)

A　自暴(曝)自弃　按部(步)就班　嗤(叱)之以鼻
和蔼(霭)可亲　备(偾)受欢迎　**C**　一筹(愁)莫展
唉(哀)声叹气　关心备(偾)至　神采(彩)飞扬　忧心忡忡(冲冲)
黯(暗)然销魂　艰苦备(偾)尝　惨(残)无人道　相形见绌(拙)
B　英雄辈(偾)出　残(惨)酷无情　川(穿)流不息
飞扬跋(拔)扈　并行不悖(背)　沧(苍)海桑田　戳(戮)穿阴谋
纵横捭(俾)阖　民生凋敝(蔽)　扬长(常)而去　义不容辞(词)
稗(裨)官野史　遮天蔽(避)日　四季常(长)青　理屈词(辞)穷
甘拜(败)下风　金碧(辉)辉煌　天崩地坼(折)　吹毛求疵(疵)
斑(瘢)门弄斧　刚愎(复)自用　相辅相成(承)　窃国篡(篡)权
永葆(保)青春　明辨(辩)是非　计日程(成)功　出类拔萃(粹)

鞠躬尽瘁(悴)

D

披星戴(带)月
以逸待(伐)劳
戴(带)罪立功
责无旁贷(伐)
殚(惮)精竭虑
虎视眈眈(耽耽)
稍事耽(担)搁
独当(挡)一面
投机倒(捣)把
中流砥(抵)柱
玷(沾)污清白
层峦叠(迭)嶂
大名鼎鼎(顶顶)
横渡(度)长江
欢度(渡)春节
咄咄(哄哄)逼人

E

卓尔(而)不群

F

反(翻)复无常
翻(反)云覆雨
蜚(飞)声中外
奋(愤)发图强
破釜(斧)沉舟
自负(付)盈亏
人不敷(付)出
肺腑(腹)之言

G

立竿(杆)见影
言简意赅(骇)
卑躬(鞠)屈膝
悬梁刺股(骨)
蛊(鼓)惑人心
如雷贯(灌)耳
恶贯(惯)满盈
发扬光大(犬)
步人正轨(规)
行踪诡(鬼)秘
阴谋诡(鬼)计
食不果(裹)腹

H

悍(焊)然不顾
引吭(亢)高歌
貌合(和)神离
随声附和(合)
和(合)盘托出
和(合)衣而卧
和(合)衷共济
曲高和(合)寡
哄(轰)堂大笑
侯(候)门如海
指手画(划)脚
焕(涣)然一新
涣(焕)然冰释
惨绝人寰(环)
病人膏肓(盲)
富丽堂皇(煌)
张皇(慌)失措
仓皇(慌)逃窜
兵荒(慌)马乱
风雨如晦(海)
融会(汇)贯通
拾人牙慧(惠)
浑(混)身是胆

J

急(激)流勇退
不即(及)不离
迫不及(急)待
集(聚)腋成裘
跻(挤)身文坛
反唇相讥(击)
不计(记)其数
不假(加)思索
汗流浃(夹)背
精兵简(减)政
唇枪舌剑(箭)
草菅(管)人命
墙角(脚)春晃
直截(接)了当
目不交睫(接)
盘根错节(结)
张灯结(花)彩
加官晋(进)爵
事过境(景)迁
兢兢(竞竞)业业
不胫(径)而走
趔趄(列剋)武夫
既往不咎(究)
前倨(据)后恭
龙盘虎踞(据)
与时俱(具)进

K

不卑不亢(抗)
恪(格)守不渝
空(悉)前绝后
脍(烩)炙人口
功亏一篑(溃)

L

味同嚼蜡(腊)
心狠手辣(棘)
陈词滥(烂)调
无耻谰(滥)言
朗朗(鬯鬯)乾坤
伶牙俐(利)齿
分庭抗礼(颉)
通情达理(礼)
披肝沥(历)胆
利(厉)害得失
变本加厉(剧)
再接再厉(励)
厉(励)行节约
火中取栗(票)
鞭辟入里(理)
风声鹤唳(泪)
百炼(练)成钢
一枕黄粱(梁)
寥寥(廖廖)无几
流连(恋)忘返
惨遭屠戮(戳)
碌碌(录录)无为
戮(戳)力同心
攻城略(掠)地
语无伦(沦)次
满腹经纶(伦)

M

漫(慢)不经心
名列前茅(矛)
贸(冒)然行动
风靡(糜)一时
望风披靡(糜)
委靡(糜)不振
绵(棉)里藏针
漠(莫)不关心
墨(默)守成规

O

呕(沤)心沥血
打架斗殴(欧)
金瓯(殴)无缺

P

如法炮(泡)制
越俎代庖(疱)
蓬(篷)荜生辉
乐此不疲(披)
嗜酒成癖(僻)
平(凭)添烦恼
前仆(扑)后继
风尘仆仆(扑扑)

Q

出其(奇)不意
两全其(奇)美
不可企(岂)及
大器(气)晚成
乔(巧)装打扮
提纲挈(契)领
山清(青)水秀
青(清)山绿水
罄(磬)竹难书
曲(屈)突徙薪
屈(诎)指可数
能屈(诎)能伸
卑躬屈(诎)膝
委曲(屈)求全
权(全)宜之计
怙恶不悛(改)
声名鹊(雀)起
鸠占鹊(雀)巢
鸦雀(鹊)无声

R

当仁(义)不让
熙来攘(嚷)往
庸人自扰(忧)
矫揉(造)作
孺(竖)子可教
月光溶溶(融融)

春光融融(溶溶)

S

歃(插)血为盟
春意阑珊(姗)
姗姗(跚跚)来迟
礼尚(迓)往来
无上(崇)光荣
稍(朔)纵即逝
谈笑风生(声)
老生(声)常谈
盛(胜)气凌人
久负盛(胜)名
见风使(驶)舵
势(誓)不两立
文过饰(是)非
无事(是)生非
挑拨是(寒)非
共商国是(事)
众口铄(烁)金
各行其是(事)
爱不释(失)手
首(手)屈一指
额手(首)称庆
不辨菽(黍)麦
名作传诵(颂)
毛骨悚(耸)然
天遂(随)人愿

T

纷至沓(踏)来
趟(淌)水过河
金榜题(提)名
铤(挺)而走险
走投(头)无路
如火如荼(茶)

W

置若罔(阁)闻
枉(妄)费心机
名门望(旺)族
痴心妄(忘)想
甘冒不韪(讳)
戊(戚)戌变法

X

嬉(嘻)笑怒骂
瑕(暇)瑜互见
自顾不暇(遐)
目不暇(遐)接
若隐若现(显)
向(想)往光明
骁(绕)勇善战
销(消)声匿迹
直上云霄(宵)
通宵(霄)达旦
歪风邪(斜)气
水泄(泻)不通
别出心(新)裁
形(行)迹可疑
行(形)迹无定
不省(醒)人事
学识修(休)养
休(修)养生息
栩栩(诩诩)如生
喧(宣)宾夺主
头晕目眩(炫)
徇(循)私舞弊
循(寻)序渐进

Y

摄(慑)苗助长
偃(摇)旗息鼓
察言(颜)观色
巧言(颜)令色
和颜(言)悦色
湮(淹)没无闻
敷衍(演)塞责
喜气洋洋(扬扬)
异(兴)口同声
异(意)想天开
一劳永逸(易)
贻(遗)笑大方
万无一(遗)失
望文生义(意)
寓意(义)深刻
暴露无遗(疑)
荫(阴)庇子孙
绿草如茵(荫)
化学反应(映)
反映(应)意见
蜂拥(涌)而上
雍容(荣)华贵
优(忧)柔寡断
良莠(秀)不齐
记忆犹(尤)新
怨天尤(由)人
生死攸(悠)关
滥竽(芋)充数
向隅(偶)而泣
恪守不渝(逾)
不可理喻(谕)
逾(渝)期作废
元(原)气大伤
幅员(圆)辽阔
世外桃源(园)

缘(沿)木求鱼

Z

销赃(脏)灭迹
贪赃(脏)枉法
口干舌燥(躁)
心浮气躁(燥)
敲诈(榨)勒索
改弦更张(章)
欲盖弥彰(张)
动辄(辙)得咎
举世震(振)惊
振(震)聋发聩
震(振)耳欲聋
振振(阵阵)有词
旁征(证)博引
仗义执(直)言
出奇制(致)胜
淋漓尽致(至)
炙(炽)手可热
因地制(治)宜
法治(制)国家
法制(治)建设
推心置(至)腹
莫衷(中)一是
五洲(州)四海
梳妆(装)打扮
惴惴(揣揣)不安
缀(掇)句成文
心劳日拙(绌)
真知灼(卓)见
远见卓(灼)识
恣(姿)意妄为
故作姿(恣)态

附录四

常见两字词语与四字词语中的易混字集录

安生—安身立命　安置—安之若素　常年—长年累月　陈规—墨守成规
报酬—报仇雪恨　抱怨—以德报怨　成功—计日程功　出奇—出其不意
毕竟—毕恭毕敬　变换—风云变幻　出身—出生入死　处事—立身处世
不齿—不耻下问　不服—名实不符　传种—传宗接代　春花—春华秋实
不和—不合时宜　不及—不即不离　从容—投笔从戎　大气—大器晚成
不济—不计其数　不堪—不刊之论　淡薄—淡泊名利　大事—大是大非
不懈—不屑一顾　不休—不修边幅　大意—微言大义　代劳—以逸待劳
不宜—不遗余力　不在—光阴不再　当即—当机立断　得到—得道多助

得益—自鸣得意　地力—天时地利　旁证—旁征博引　奇谈—夸夸其谈
颠仆—颠扑不破　鼎立—鼎力相助　启程—起承转合　迁移—潜移默化
斗智—斗志昂扬　对证—对症下药　晴天—青天白日　求实—实事求是
发愤—发奋有为　翻浆—翻江倒海　权益—权宜之计　惹事—惹是生非
繁华—繁花似锦　反响—不同凡响　入画—出神入化　申明—深明大义
放晴—放情丘壑　风声—谈笑风生　生色—声色俱厉　生意—望文生义
风雨—风言风语　敷演—敷衍了事　事故—老于世故　势必—事必躬亲
俯视—俯拾即是　付出—人不敷出　是非—文过饰非　桃园—世外桃源
附加—无以复加　灌注—全神贯注　提名—金榜题名　停止—停滞不前
广大—发扬光大　涣然—焕然一新　往返—流连忘返　委屈—委曲求全
霍然—豁然开朗　犄角—掎角之势　无谓—无私无畏　无疑—暴露无遗
亟待—迫不及待　急切—言辞激切　相符—相辅相成　行迹—形迹可疑
艰苦—坚苦卓绝　简捷—简洁生动　行销—形销骨立　修养—休养生息
截流—开源节流　金币—金碧辉煌　一般—略见一斑　义气—意气风发
精心—漫不经心　经纬—泾渭分明　义气—意气用事　意气—义气凛然
具备—万事俱备　剧增—与日俱增　遗事—不可一世　音讯—杳无音信
褴褛—筚路蓝缕　礼遇—不可理喻　迎接—应接不暇　喻义—寓意深长
历经—励精图治　厉行—例行公事　渊源—源远流长　原型—原形毕露
厉行—身体力行　立意—标新立异　账目—一叶障目　直言—仗义执言
联翩—连篇累牍　留恋—流连忘返　直译—执意不肯　自立—自力更生
绿茵—绿阴蔽日　勉励—勉力为之　株连—珠联璧合
名目—明目张胆　明智—淡泊明志

附录五

当代汉语出版物中最常见的100个别字

说明：《咬文嚼字》自1995年创刊以来，组织审读了约3 000本图书、1 000种期刊、100种报纸，并请100家新闻出版单位协助调查各自的用字差错，整理出《当代汉语出版物中最常见的100个别字》。括号中的字为别字。

安(按)装　气概(慨)　不落窠(巢)臼　沉湎(缅)
甘拜(败)下风　一鼓(股)作气　脍(烩)炙人口　明(名)信片
自暴(抱)自弃　悬梁刺股(骨)　打蜡(腊)　墨(默)守成规
针砭(贬)　粗犷(旷)　死皮赖(癞)脸　大拇(姆)指
舶(泊)来品　食不果(裹)腹　蓝(岚)天白云　呕(沤)心沥血
脉搏(博)　震撼(憾)　鼎力(立)相助　平(凭)添
松弛(驰)　凑合(和)　再接再厉(励)　出其(奇)不意
一筹(愁)莫展　候(侯)车室　老两(俩)口　修葺(茸)
川(穿)流不息　迫不及(急)待　黄粱(梁)美梦　青(蜻)睐
精粹(萃)　即(既)使　瞭(仗)望　罄(磬)竹难书
重叠(迭)　一如既(继)往　水龙(笼)头　入场券(卷)
度(渡)假村　草菅(管)人命　杀戮(戮)　声名鹊(雀)起
妨(防)碍　矫(娇)揉造作　痉挛(孪)　发轫(韧)
辐(幅)射　挖墙脚(角)　美轮(仑)美奂　瘙(搔)痒病
一副(幅)对联　一诺千金(兑)　啰(罗)唆　欣赏(尝)
天翻地覆(复)　不胫(径)而走　蛛丝马(蚂)迹　谈笑风生(寅)
言简意赅(骇)　竣(峻)工　委靡(糜)不振　人情世(事)故

有恃(持)无恐　洁白无瑕(暇)　竭泽而渔(鱼)　坐镇(阵)
额手(首)称庆　九霄(宵)　滥竽(竽)充数　旁征(证)博引
追溯(朔)　宣(喧)泄　世外桃源(园)　炙(灸)手可热
鬼鬼祟祟(崇崇)　寒暄(喧)　赃(脏)款　九州(洲)
金榜题(提)名　旋(疟)律　醯(醯)水　床第 zǐ(笫)之私
走投(头)无路　赝(膺)品　蛰(蜇)伏　恣(姿)意妄为
趋之若鹜(骛)　不能自已(已)　装帧(桢)　编纂(纂)
迁徙(徙)　犹(尤)如猛虎下山　饮鸩(鸠)止渴　坐(做)月子

附录六

常见异形词整理表

A
按捺—按纳
按语—案语

B
百废俱兴—百废具兴
斑驳—班驳
保姆—保母
笔画—笔划
毕恭毕敬—必恭必敬
标志—标识
鬓角—鬓脚
秉承—禀承
补丁—补钉、补靪

C
参与—参预
惨淡—惨澹
差池—差迟
掺和—搀和[1]
掺假—搀假
掺杂—搀杂
徜徉—倘佯
成分—成份
澄澈—澄彻
侈靡—侈糜
踌躇—踌蹰
喘吁吁—喘嘘嘘
赐予—赐与
粗鲁—粗卤

D
搭档—搭当
搭讪—搭赸、答讪
戴孝—带孝
耽搁—担搁
倒霉—倒楣
低回—低徊
跌宕—跌荡
叮咛—丁宁
订单—定单
订户—定户
订婚—定婚
订货—定货
订阅—定阅
逗趣儿—斗趣儿
独角戏—独脚戏

E
二黄—二簧
二心—贰心

F
发人深省—发人深醒
分子—份子[2]
愤愤—忿忿
服侍—伏侍、服事
服输—伏输
服罪—伏罪

G
干预—干与
告诫—告戒
耿直—梗直、鲠直
恭维—恭惟
勾连—勾联
孤苦伶仃—孤苦零丁
股份—股分
关联—关连
规诫—规戒

H
蛤蟆—虾蟆
含糊—含胡
含蓄—涵蓄
寒碜—寒伧
轰动—哄动
弘扬—宏扬
宏论—弘论
宏图—弘图、鸿图
宏愿—弘愿
宏旨—弘旨
洪福—鸿福
糊涂—胡涂
花招—花着
恍惚—恍忽
浑水摸鱼—混水摸鱼

J
机灵—机伶
激愤—激忿
寄予—寄与
夹克—茄克
嘉宾—佳宾
驾驭—驾御
架势—架式
嫁妆—嫁装
脚跟—脚根
叫花子—叫化子
角色—脚色

K
克期—刻期
克日—刻日
阔佬—阔老

L
褴褛—蓝缕
烂漫—烂熳、烂熳
狼藉—狼籍
累赘—累坠
连贯—联贯

连接—联接
连绵—联绵③
连缀—联缀
联结—连结
联袂—连袂
联翩—连翩
伶仃—零丁
流连—留连
鲁莽—卤莽

M

门槛—门坎
靡费—糜费
模仿—摹仿
模拟—摹拟
摹写—模写
摩擦—磨擦
秣马厉兵—秣马砺兵

N

内讧—内哄
凝练—凝炼
牛仔裤—牛崽裤

P

盘踞—盘据
皮之不存,毛将焉附—皮之不存,毛将安傅
漂泊—飘泊
漂流—飘流
凭空—平空

Q

清澈—清彻
情愫—情素
劝诫—劝戒

R

热衷—热中
人才—人材

S

杀一儆百—杀一警百
艄公—梢公
奢靡—奢糜
申雪—伸雪
什锦—十锦
收服—收伏
书简—书柬
思维—思惟

T

踏实—塌实
推诿—推委

W

纨绔—纨袴
玩意儿—玩艺儿
诿过—委过
乌七八糟—污七八糟
无动于衷—无动于中
毋宁—无宁
毋庸—无庸

X

稀罕—希罕
稀奇—希奇
稀少—希少
稀世—希世
洗练—洗炼
贤惠—贤慧
香醇—香纯
潇洒—萧洒
秀外慧中—秀外惠中
训诫—训戒

Y

压服—压伏
要么—要末
一锤定音——一槌定音
一股脑儿——一古脑儿
义无反顾—义无返顾
盈余—赢余
余晖—余辉
渔具—鱼具
渔网—鱼网
与会—预会
驭手—御手

Z

辗转—展转
战栗—颤栗①
账本—帐本⑤
折中—折衷
直截—直捷

【注】 ①“掺”“搀”实行分工:“掺”表“混合”义,“搀”表“搀扶”义。

②“分子”(读 fènzǐ)指属于一定阶级、阶层、集团或具有某种特征的人,如“知识～”“先进～”。它与分母相对的“分子”、由原子构成的“分子”(均读 fēnzǐ)、凑份子送礼的“份子”(读 fènzi),音、义均不同,不可混淆。

③“联绵字”“联绵词”中的“联”不能写作“连”。

④“颤”有两种读音:读 zhàn,表人发抖,如“颤栗”;读 chàn,表物体轻微振动或人发抖,如“颤动”“颤巍巍”“颤音”“颤悠”“发颤”“颤抖”。

⑤“账”是“帐”的分化字。“账”用于货币、货物出入的记载、债务等,如“账本”“还账”等;“帐”专表用布、纱、绸子等做成的遮蔽用的东西,如“蚊帐”“帐篷”等。

第三部分 标点符号

一、标点符号的种类

标点符号是辅助文字记录语言的符号，是书面语的有机组成部分。标点符号可以帮助我们分清句子结构，辨明不同的语气，确切理解词语的性质和作用，是书面语言的重要辅助工具。

标点符号包括两大类：点号和标号。常用的点号有7种，标号有9种，列表如下：

点号	句末点号（使用在句末）			句内点号（使用在句中）					
	句号	问号	叹号	逗号	顿号	分号	冒号		
	。	？	！	，	、	；	：		
标号	引号	括号	破折号	省略号	着重号	书名号	间隔号	连接号	专名号
	“” ‘’	（）〔〕 〔〕【】｛｝	——	……	．	《》 〈〉	·	—	—

二、标点符号的作用及用法

（一）作用

点号	点断，表示说话时的停顿和语气。	句末点号：表示一句话说完之后一个较大的停顿。
		句内点号：表示句中的停顿和结构关系。
标号	标明语气的性质和作用。	

（二）用法

Ⅰ．句末点号

1．句号（。）

句号是个重要的点号，使用频率很高。

句号的形式为“。”。句号还有一种形式，即一个小圆点“．”，一般在科技文献中使用。

（1）陈述句（用来述说一件事情的句子）末尾，用句号。例如：

虚心使人进步，骄傲使人落后。

（2）语气舒缓的祈使句末尾，也用句号。例如：

让我说一段故事吧。

（3）句号用在复句的后面。由两个以上分句构成的复句（意思上有密切联系的几个小句子组合在一起构成一个大句子），其中的分句不再是独立的句子，末尾只能用逗号或分号，句号只能也必须用在整个复句的末尾。例如：

老骥伏枥，志在千里；烈士暮年，壮心不已。

（4）句号用在省略句的后面。有的句子依靠上下文，省略了一个或几个成分，仍能表达一个完整的意思，这叫省略句，末尾应用句号。例如：

徐国梁转身向儿子问道：“地叫什么名字？”

“冯有梅。”

（5）句号用在无主句的后面。只有谓语而无主语的句子叫无主句。它不依靠上下文也能够表达一个完整的意思。无主句末尾用句号。例如：

莫等闲，白了少年头，空悲切。

（6）感叹语气较弱的感叹句末尾，用句号。例如：

第一个，是的，总有第一个吧。

(7)疑问语气较弱的疑问句或反问句也用句号。例如：

"哪能不想家呢。"说完，她眼圈红了。

(8)"某某说"用在引语后面时，"说"字后面用句号。例如：

"天生我材必有用。"李白说。

(9)文章段首的小标题后面用句号。相当于小标题的词语，后面可以用句号或冒号，也可以不用标点符号，而在其后空一格再写这个小标题要讲的内容。例如：

据经济学家预测，未来消费将出现五大趋势：

一是儿童消费潜力无穷。到21世纪……

二是中老年保健消费不断扩大。中老年人在……

三是情趣和"贵族"消费将更加突出。到21世纪……

四是文化消费发展迅速。随着人们收入……

五是购物从"最大满足"转变为"较小遗憾"。……

(10)句号用在表示事件发生的处所或时间的独词句后面。只有一个词或一个偏正词组组成的句子叫独词句，它常出现在剧本的说明里或记叙文的开头部分，相当于一个独立的成分，末尾用句号。例如：

夜。

(11)作品、书信、文件等后面注明的时间、地点、署名等文字之后用句号。(不用标点符号也可以，现在一般都不用)

句号，说起来很简单，但用起来就不容易和分号、逗号分清了。有的人经常把该用句号的地方误用为逗号，有的就"一逗到底"；有的则把该用逗号的地方误用了句号，割断了完整的句子内容，不能准确地表达意思，歪曲了句子的原意。要掌握句号的使用方法，须结合句子多琢磨、多分析，不通过实例是不能掌握的。

2. 问号(?)

问号用在疑问句末尾。疑问句中，不论是一般询问，还是责问、反问、商量、设问自答或不需要回答而语气是疑问的句子，末尾都用问号。例如：

①你怎么不说了呢?

②难道我们不应该努力学习吗?

③把笔借给我，好吗?

④什么是路?就是从没有路的地方踏出来的，从有荆棘的地方开辟出来的。

问号的用法有：

(1)特指问句用问号。特指问句是问话人提出问题，由答话人回答的问句。特指问句中不论有没有"呢""吗"等语气助词和"什么""怎样"等疑问代词，末尾都用问号。有几个问句就用几个问号。例如：

在莫斯科街头，常有人围着我们的"奔驰"轿车问："用两辆'伏尔加'换不换?三辆呢?"我到分社工作不满一年，车上的"奔驰"徽标已被扳走四只。

疑问句一般要用"呢""吗"等语气助词。如下面例句中的疑问句"现在您不喜欢我吗?"但有的不用"呢""吗"等疑问语气助词，同样是疑问句，如下面例句中的两个"非常"，第一个"非常"后面用问号就表示疑问，第二个"非常"后面用句号就表示陈述。

"要是你能听话，我就非常喜欢你。"

"非常?"

"非常。"

"现在您不喜欢我吗?"

"喜欢。"

(2)反问句用问号。反问句是把明确的见解用反问的形式表达出来，借以强调自己的观点或结论的正确性。

反问句是一种特殊疑问句，是明知故问，不需要对方回答。它用疑问的形式表示确定的意思，形

式上是肯定的，意思就是否定的；形式上是否定的，意思就是肯定的。反问句末尾用问号。例如：

既然可以让一部分农民、个体户先富，为什么不能让一部分科技人员先富？个体户、文艺界的"明星"可以有车，为什么科技人员不能有车？歌星唱一支歌可以收入八九千元，科技人员创造那么大的财富，得点儿奖金就要受议论？办特区就是要促进观念的转变，推动珠海的科技发展。

例句中"为什么不能让一部分科技人员先富？……就要受议论？"都是反问句。

反问句的末尾一般用问号，但反问句的语气缓和，可看做陈述句，末尾可用句号；语气很重，感情强烈，末尾可用叹号。例如：

学生殴打老师，保安强行搜身……这些行为哪还有什么尊重可言！

例句中最后的反问句，感情强烈，句末不用问号，而用叹号。

(3)设问句用问号。设问句是无疑而问，自问自答，不要求别人回答，以增强文章的说服力，句终用问号。例如：

是谁创造了人类世界？是我们劳动群众。

例句采用设问句形式，突出了劳动人民创造人类世界的伟大作用，比用陈述句效果好。

(4)选择问句用问号。选择关系的问句是由两个或两个以上分句组成，问话人提出几个问题，让答话人选择其中之一的问句，中间常用"还是"或"是……还是"等关联词语，或"对不对""好不好""去不去"等词语。选择问句可以用"呢""吗"等语气助词，也可以不用。例如：

今天去呢，还是明天去呢？我实在拿不定主意。

(5)是非问句用问号。是非问句与陈述句结构相同，只是后面多了语气助词"吗""呢"等。例如：

你和小王的婚期定了吗？

(6)反复问句用问号。反复问就是肯否相加形式的问句。例如：

你有没有去？

(7)连续问用问号。连续问不同于选择问，它的几个问句独立成句，后面应分别加上问号。例如：

他是谁？从哪里来？来干什么？

(8)独词句表示疑问语气时，末尾用问号，例如：

大妈：我？……

(9)对句子里某一词语有疑问，用问号表示。例如：

中国现今文坛(?)的状况，实在不佳……

例句中的问号表示作者对"文坛"的不满。

(10)对生年、卒年不详或有疑问的，用问号表示。例如：

曹邺(816—?)，桂州(今广西壮族自治区桂林市)人。

(11)在疑问句构成的标题或小标题后面用问号。例如：

"友谊"，还是侵略？

使用问号应注意和掌握下列几点：

(1)只在末尾用问号。问号是句末点号，对先说谓语、后说主语的倒装疑问句等中间有停顿的句子，只在末尾用问号，不要在句子中间用问号，中间只能用逗号。例如：

他亲切地问："明白了吗，同学们？"

(2)由两个或两个以上的分句组成的选择关系的问句，是用一个问号，还是每个分句后面都用问号呢？有下面两种处理方法：

①选择关系的复句，一般只在最后一个分句末尾用问号。中间用逗号，不用问号，因为复句只能有一个句末点号(句号、问号、叹号)。例如：

然而他是从四叔家出去就成了乞丐的呢，还是先到卫老婆子家然后再成乞丐的呢？

②选择问句的几个部分较长，或者是为了加强语气，也可以在每个分句的末尾用问号。例如：

是站在他们的前头领导他们呢？还是站在他们的后头指手画脚地批评他们呢？还是站在他们的对面反对他们呢？

③选择问句如果选择项是单个词或比较短，选择项之间可以不用逗号。例如：

上午还是下午去学校？

(3)有的句子里虽含有疑问词"谁""什么""怎么""多少""哪里"等，但它们在全句中仅是充当一个成分，全句并不是疑问句，末尾不用问号。含疑问词的主谓短语如果做主语或宾语，往往是没有疑问的。例如：

哪里是安徒生写作的地方，哪里是他父亲的皮鞋作坊，已经无法弄清了。(含有"哪里"的主谓短语做整个句子的主语)

谁也说不清他到底是什么人。(含有"什么"的主谓短语做整个句子的宾语)

3. 叹号(！)

叹号表示一句感情强烈的话完了以后的停顿。叹号是句末点号，兼有点号和标号的作用。凡表示赞颂、欢喜、愤怒、惊讶、叹息、请求等带有强烈感情色彩的感叹句末尾都用叹号；带有强烈感情色彩的反问句和陈述句末尾也可以用叹号；要求或者希望别人做什么或不做什么的祈使句，语气重的末尾也用叹号。

叹号的用法有：

(1)表示赞颂、激动的感情。例如：

白杨树实在是不平凡的，我赞美白杨树！

表示兴奋、欢喜的感情。例如：

我们算出来了！

表示忧愁、痛苦的感情。例如：

"我没有地方搬呀！"男子愁眉苦脸地回答。

表示悔恨、惋惜的感情。例如：

唉，真不该把人家老常饿死了！

(2)用在表示命令、祈使、请求等有感情的句子的末尾。例如：

屈原：(向风及雷电)风！你咆哮吧！咆哮吧！尽力地咆哮吧！

(3)用在表示愤恨、伤悼、叹息、惊讶等感情的句子的末尾。例如：

周总理，我们的好总理，

你在哪里呵，你在哪里？

你可知道，我们想念你，

——你的人民想念你！

(4)用在表示强烈感情的陈述句末尾。例如：

居里夫人发现的放射性元素——镭，曾用来治疗癌症，医好了许多病人，她自己却死于镭的手掌！

(5)用在不需要回答而又语气强烈的反问句的末尾。例如：

我哪里比得上他呢！

(6)用于带有强烈感情的感叹词、应答词后。例如：

啊！祖国，我回来了！

"哦！"他十分吃惊。

(7)用于带有强烈感情的标语、口号后面。例如：

热烈欢迎上级领导莅临指导！

(8)用于单独成句且又有强烈感情的称呼语之后。例如：

同学们！

新年伊始，我们应抓住有限的时间，争取更大的进步！

(9)象声词构成的独词句声音强烈时用叹号。例如：

刚躺好，"轰！轰！轰！"几颗手榴弹在南面爆炸了，接着枪声就在村子里响起来，没问题，部队顺利地突围了。

(10)为了表示特别强烈的感情,可用两个或三个叹号("!!"或"!!!")。例如:

我恳求你立刻入医院医治!因为你延迟一天,便是说你的生命增加了一天的危险!!你的生命,并不是你个人的,而是属于中国和中国革命的!!!为着中国和革命的前途,你有保存、珍重你身体的必要,因为中国需要你,革命需要你!!!……我希望你不会漠视爱你的朋友们的忧虑而拒绝我们的恳求!!!祝你痊愈。

(11)语气强烈的独词句,非主谓句和带有强烈感情的感叹句,都可用叹号。例如:

①飞机!②啊呀!你走错了。

使用叹号应注意的几点:

(1)有人为了表示句子感情丰富,频繁使用叹号,不该用叹号的地方也用了。有人见到公路上有用"!"表示危险的标志,行文时就在"危险""严重"等词语后面也用了叹号,这是不对的。

(2)两个或三个叹号同时使用是可以的,但以少用为宜。表达强烈的感情主要靠句子的内容和词语,不是靠叠用的叹号。叹号不宜多用,用滥了反而起不到应有的作用。

(3)两个叹词连用,一般只在后面一个叹词后用叹号。例如:

"阿,阿!"伊又吃了惊,觉得全身的毛孔中无不有什么东西飞散,于是地上便罩满了乳白色的烟云,伊才定了神,那些小东西也住了口。

也有在两个叹词后面都用叹号的。例如:

"救命啊!救命啊!"声声凄惨的呼喊,消失在夜幕降临的响水县境的公路上。

(4)感叹句、祈使句的谓语前置时,叹号要放在末尾。例如:

多壮观呀,贵州的黄果树瀑布!

句子前有叹词,后面是个感叹句,只在末尾用叹号,前面的叹词后面用逗号不用叹号。例如:

啊,这赠品是多么丰富啊!

(5)表示强烈疑问的句子,可以把问号和叹号同时用。

问号和叹号并用时,应把问号放在前面,因为表示强烈疑问的句子,首先应是疑问句。例如:

自己能买上车,还白住我的地方?!

(6)叹号一般只用在末尾。叹号是句末点号,除了句子开头的"唉""啊"等感叹词或"各位代表""阿爹""大伯"等称呼语后用叹号外(也可以用逗号),一般都只用在末尾,而不在句子中间用叹号。下面例句中的叹号应改为逗号,把"服装"后面的句号改为叹号;如不改,这个句子出现两个句末点号,成了两个句子,语意就不同了。

另一位站在旁边的日本人插嘴说道:"令人惊叹!服装。"

(7)叹号在引语后面时,不管是完整引用还是部分引用,一般应保留。例如:

拉拉队的同学们喊着"加油!""加油!"的号子。

Ⅱ.句内点号

1.逗号(,)

比较长的句子或结构比较复杂、句式比较特殊的句子,中间常有停顿,停顿一般用逗号。表示句子内部停顿的标点还有顿号、分号和冒号,这三种符号都有专门的用途,只有逗号是一般性的,文中用得也最多。也可以说,句中停顿不适合用顿号、分号、冒号的地方就可以用逗号。逗号使用频率最高,也很重要。如抗日战争期间,汉奸写了条标语:"粮食不卖给八路军!"机灵的儿童团员晚上在"卖"字后面加了个逗号,就成了"粮食不卖,给八路军!"意思大变。

逗号主要有以下用法:

(1)句子内部主语与谓语之间需停顿的,像主语较长或为了强调主语,用逗号。例如:

我们看得见的星星,绝大多数是恒星。

(2)句子内部动词与宾语之间如需停顿,像宾语结构复杂或是主谓结构等,用逗号。例如:

应该看到,科学需要一个人贡献出毕生的精力。

(3)句子内部状语后边如需停顿,用逗号。例如:

对于这个城市，他并不陌生。

(4)倒装句成分之间的停顿，用逗号。例如：

怎么了，你？

(5)表示总分结构之间的停顿，用逗号。例如：

参加劳动的同学们，有的挖坑，有的扛苗，有的抬水，干得热火朝天。

(6)同位语之间有时为了强调，用逗号。例如：

北京大学，中国最高学府，是人人向往的地方。

(7)插入语之后一般用逗号。例如：

依你看，这事应如何处理？

(8)如句中感叹词的语气无须加强，用逗号。例如：

噢，是你。进来吧。

(9)称呼语如无强烈感情，用逗号。例如：

小崔，咱们一起努力吧。

(10)复句内各分句之间的停顿，除了有时要用分号外，都要用逗号。例如：

所谓回忆者，虽说可以使人欢欣，有时也不免使人寂寞，使精神的丝缕还牵着已逝的寂寞的时光，又有什么意味呢，而我偏苦于不能全忘却，这不能全忘的一部分，到现在便成了《呐喊》的来由。

(11)用介词"把""被"等组成的介宾短语作状语，与谓语联系紧密，一般不用逗号。例如：

这些谬论都已被我国各项建设事业的胜利驳得体无完肤了。

逗号看起来很简单，但用起来很不容易，经常出现的错误有：

(1)该用逗号的地方用了句号，或把该用句号的地方用了逗号；

(2)逗号的位置点得不对，就会改变原意；

(3)有的句子多用了逗号，把句子弄得支离破碎；

(4)该用逗号停顿的地方没有用逗号。

2. 顿号(、)

顿号表示句子内部并列词语之间很小的停顿。一般为词语的并列，合起来做同一成分，句子间并列不能用顿号。

顿号的几种主要用法如下：

(1)用在并列的词、并列的短语(短语是词和词按一定的语法规则组成的表示一定意义的语言单位)之间。从句子结构角度说，并列词语组合在一起叫并列短语。并列短语作主语、谓语、宾语、定语、状语和补语时，并列短语之间用顿号。例如：

①周恩来的品德、人格、风范、情怀为中华民族树立了一座精神丰碑。

②由于政策、法律、管理等方面的漏洞，一些人乘机偷税漏税、投机倒把、走私贩私……以牟取暴利，暴富起来。

③周恩来是民族英雄、党的领袖、开国元勋、人民公仆、世界伟人。

④中国人民在国际交往方面，应当坚决、彻底、干净、全部地消灭大国沙文主义。

⑤屋子收拾得整洁、雅致。

以上5个句子中，①句是并列短语作主语，②句是并列短语作定语和谓语，③句是并列短语作宾语，④句是并列短语作状语，⑤句是并列短语作补语。

(2)"一""二""三"……或"甲""乙""丙"……作次序语时，在它们后面用顿号。例如：

一、名著是通俗的，不是学儒式的。

二、名著是不会因时代替换而被遗忘的。

三、名著言近旨远。

四、名著是富有启发性和教育性的。

五、名著论及人类生活长期悬而未决的问题。

(3)有时为了强调表达效果,一句话中几个字后面分别用顿号。例如:

我再说一遍:我、恨、你!

(4)顿号相当于"和""以及"之类连词。并列的词语之间用了"和""与""同""及"等连词,就不要在连词前再用顿号。如果有三个以上的并列成分,连词只用在最后两个并列成分之间,前面都用顿号。例如:

各级政府、人民团体和社会各方面都要按照培养"有理想、有道德、有文化、有纪律"的社会主义新人的要求,积极加强和改进基层思想政治工作。

使用顿号容易发生错误的地方和应注意的几点:

(1)有的并列词语联系紧密又为人们熟知,读时不停顿也不会产生歧义,并列词语之间不需要用顿号。例如:

工农业　指战员　科学技术　青红皂白　师生　父母　兄弟姊妹　教职员工　男女老少　沉着勇敢

但是一些省略的并列成分之间要用顿号。例如:

中小学生要德、智、体、美、劳全面发展。

"德、智、体、美、劳"是"德育、智育、体育、美育、劳育"的缩略,应该用顿号。

(2)不定数(大约数)的两个数字中间不用顿号,因为不定数在语音上没有停顿。例如:

我刚要跨进大门,被一个十二三岁的女孩子拦住了。

不是大约数,而是相邻的两个数字,中间要用顿号,下面例句中的"二、三线"是代表"二线"和"三线",其中的顿号不能去掉。

他向退居二、三线的老同志系统地介绍了党的对外开放政策和特区建设的方针以及几年来所取得的成就。

(3)并列词语之间带有"啊""哇""啦""呀"等语气助词时,并列成分之间用逗号,不用顿号。例如:

八月的大街上摆满了水果,甜瓜啊,西瓜啊,苹果啊,葡萄啊……

(4)标题中有并列词语的,中间一般不能用顿号。例如:

小政府　大市场——海南省体制改革需要进一步完善。

例句中的"小政府"和"大市场"虽然并列,也不需用顿号,作为标题,空一个字就行了。

(5)并列的词组比较长、停顿较大的,就不用顿号,而用逗号。例如:

情况的了解,任务的确定,兵力的部署,军事和政治教育的实施,给养的筹划,装备的整理,民众条件的配合等等,都要包括在领导者们的仔细考虑、切实执行和检查执行程度的工作之中。

例句中作主语的词组"情况的了解""任务的确定""兵力的部署""军事和政治教育的实施"等并列项都较长,停顿较大,所以用逗号,不用顿号。

(6)并列成分做补语且需要强调时,并列成分之间用逗号,不用顿号。例如:

那种叫"水晶"的,长得长长的,绿绿的,晶莹透明,真像是用水晶和玉石雕刻出来的。

(7)并列成分做定语,不论结构简单还是复杂,字数多还是少,一般都用顿号表示停顿。例如:

这样的大学,应该是认识未知世界、探求客观真理、为人类解决面临的重大课题提供科学依据的前沿。

(8)并列成分做状语,如果并列成分都是单个的词或成语,它们之间用顿号(如前面所举的例子);如果并列成分是介宾结构,它们之间用逗号。例如:

他们在朦胧的夜色中,在大青树下,在纺车旁边,用传统的诗一般的语言倾吐着彼此的爱慕和理想。

(9)并列成分做谓语时,如果并列成分是主谓结构,那么并列成分之间用逗号;如果做并列谓语的几个动词共带一个宾语,那么动词之间的停顿要用顿号。例如:

①她的衣服新潮夺目,头发齐耳根长,走起路来风风火火,讲起话来大声大气。

②××科技开发有限公司全体科研人员研制、推出了世界首创的××牌"神奇诱鼠剂"和"非粮灭鼠饵料",这两项科研成果已申请了专利。同时也通过了××省科委组织的科技鉴定。

例句①中做并列谓语的都是主谓结构,故中间停顿用逗号;例句②中的"研制""推出"是两个并列的动词充当谓语,同带并列宾语,故中间的停顿用顿号。

(10)并列的词或词组做复指成分(即两个以上的词或词组用作一个句子的同一成分时,同指一种事物。复指成分有三种:称代复指、重叠复指、总分复指)时,并列成分之间用逗号,不用顿号。例如:

李有才常说:"老槐树底下的人只有两辈……一个'老'字辈,一个'小'字辈。"

但不是所有的并列结构做复指成分时中间都用逗号,对其中由单个的词或简单的词组充当并列成分的则用顿号。例如:

抗战、团结、进步,这是共产党在去年"七七"纪念时提出的三大方针。

例句中的"抗战、团结、进步"是并列的词,与"这"构成称代复指,但由于结构较简单,并列词之间用顿号。

(11)并列结构内部又包含并列词语时,为了分清层次,有的用顿号的地方就可递升为逗号。例如:

过去、现在、未来,上下、左右,中国、外国,都是互相联系、互相影响、互相制约的。

(12)互相包含的内容之间不能用顿号,也不能用逗号。例如:

这次受到沙尘暴袭击的共有三省五十六个县(市)。

(13)连词前面不能用顿号。例如:

观众长时间地等待,只为一睹她的风采或签上一个名。

"或"是连词,在表示并列关系的连词前面,无论是"或"、是"和",还是"及",都不能用顿号。可根据不同句子的情况,删去顿号或者改用逗号。

(14)并列的引语之间不用顿号。

从理论上说,并列的引语之间有停顿,应该用顿号,但是由于各引语已经加了引号,看起来很醒目,不会造成混淆,所以,不用顿号。例如:

他说话喜欢用"多""真""大""挺"等词强调语气。

同理,并列的书名之间也不用顿号。例如:

中国古典四大名著是《三国演义》《水浒传》《西游记》《红楼梦》。

3. 分号(;)

分号表示复句内部并列分句之间的停顿。所谓并列是指句子结构的并列(不是并列的词和词组),也有意思的并列。

分号的主要作用是分清比较长的、层次比较多的复句内部的层次。用分号表示的各分句,它们既是相对独立的,又有密切的关系。

分号是介于逗号和句号之间的一种符号。有的复句,用句号会把完整的意思分割,用逗号又显示不出各分句之间相对独立的意思,在这种情况下用分号比较适当。如鲁迅《记念刘和珍君》中的一句话:

惨象,已使我目不忍视了;流言,尤使我耳不忍闻。

这是两个并列分句,中间用分号隔开。要是把这句话的标点改成下面三种情况:

①惨象,已使我目不忍视了,流言,尤使我耳不忍闻。

②惨象,已使我目不忍视了。流言,尤使我耳不忍闻。

③惨象已使我目不忍视了,流言尤使我耳不忍闻。

那么例句①看不出层次,例句②割断了两个分句的联系,例句③不如用分号鲜明、有力,所以用分号是最恰当的。

分号主要用在下列几个方面:

(1)在有两个以上并列分句的复句中,各并列分句之间的停顿用分号。

(2)非并列关系(如转折关系、因果关系等)的多重复句,前后两部分之间用分号。例如:

我国年满十八周岁的公民,不分民族、种族、性别、职业、家庭出身、宗教信仰、教育程度、财产状况、居住期限,都有选举权和被选举权;但是依照法律被剥夺政治权利的人除外。

(3)分条说明一个完整的意思,在每一条里,不管是词、词组、单句,还是复句,都作为一个分句,各条末尾用分号,最后一条结束了用句号。例如:

农民对一个好的村干部的要求是:一、办事公道,一碗水端平;二、自己不要吃得太饱;三、有经济头脑。

(4)句子里用了余指代词"等等",代表未说出的并列部分,在"等等"的前边也要用分号。例如:

中国谜语具有许许多多的特点:一是结构固定,形式活泼;二是趣味性浓,引人入胜;三是文学性强,形象生动;四是内容广泛,囊括巨细;等等。

(5)并列的几个分句,不论其结构是否一致,几个并列分句之间,都应该用分号。

使用分号应注意的问题:

(1)分号主要用于分清层次。

(2)并列各条的末尾,除最后一条用句号外,其余各条末尾用的标点符号应统一,不能有的用分号,有的又用句号。

(3)有人一见到句子中有并列的成分就用分号,这是不对的。有的句子含有并列成分,但不是分句,只能用顿号或逗号,不能用分号。

(4)在分号与分号之间至少要有一个逗号,只有一重关系的复句,分句之间应该用逗号。

(5)单句的排比,要求气势贯通,一般用逗号,不用分号。

4. 冒号(:)

冒号表示提示性话语后面或总括性话语前面的停顿,起提示下文或总括上文的作用,提醒读者对下文的注意,有时表示下边是说明。

冒号属于句内点号,表示句内大的停顿,没有大的停顿不用冒号。

冒号有以下主要用法:

(1)用于提示下文,提示部分的前面用冒号。有两种情况:一是先总说后分说,在总说后面用冒号;二是先分说后总说,在分说的后面、总括语的前面用冒号。例如:

①有学者将中国建筑历史的研究分为三个阶段:第一阶段,可以称之为文献考古阶段;第二阶段,是实物考古阶段;第三阶段,是对建筑之诠释阶段。

②晴空万里,阳光普照,微风和煦:真是难得的好天气。

(2)引语在后时,冒号用在引语"××说"的后面,冒号下面的话是直接引别人的话。例如:

培根说:"知识就是力量。"

但是当"××说"在中间时,其后不用冒号,而用逗号。例如:

"这个问题,"李明说,"让我好好考虑考虑。"

(3)冒号用在"注意""指出""宣称""证明""告诉"等词语和"如下""例如"等引起下文的词语后面,使句子带有祈使、引起下文、使人注意等作用。例如:

①历史经验告诉我们:一个国家,不除腐败,无以立国;一个政党,不除腐败,无以立信。

②现实与经验表明:大众教育与英才教育难以同时兼得。

(4)冒号用在解释性的分句之前,分说部分是总说部分的分项叙述。例如:

今天的晚会上有如下节目:舞蹈、独唱、二重唱、相声和杂技。

分说部分是对总说部分的注释则应用破折号。凡是用破折号表示注释的,可以把注释删去,句子的内容与形式仍是完整的。例如:

我国的四大发明——火药、印刷术、指南针、造纸术——对世界历史的发展有巨大的贡献。

(5)冒号用于书信、讲话稿等的称呼语后边。例如:

①编辑同志:

现寄去拙作一篇，请斧正。……

②各位领导、同志们：

今天，我演讲的题目是“在人民心中找准位置”……

(6)在注明引文的出处时，作者姓名和书名之间，有的用冒号隔开。例如：(屈原：《离骚》)。

(7)有提示作用的文章标题、小标题中用冒号。例如：

我省工业生产——

今年：速度效益同步增长

明年：资金能源困难重重

(8)用于需要说明的词语后。例如：

外国图书展销会

日期：10月20日至11月10日

时间：上午8时至下午4时

地点：北京朝阳区工体东路16号

主办单位：中国图书进出口总公司

(9)用于时与分之间。例如：

19：02　连续剧：西部歌王(5)

19：55　地球特写：巴西(上)

(10)用于“是”后。当“是”后面的内容需注意或便于条分缕析时，用冒号。例如：

读书的好处是：养气，博才，明智。

使用冒号容易发生错误的地方和应注意的几点：

(1)冒号主要起提示作用，使用时要注意它的提示范围。冒号的提示范围一般要管到句子的末尾，不能只管到句子的中间。例如：

参加国庆献礼的优秀影片：《风暴》《青春之歌》《林则徐》，也将在各大城市放映。

例句中的冒号只能管几部影片，管不到“也将在各大城市放映”，所以冒号应去掉。

(2)写作中只引用别人的一部分话，引文前不用冒号。例如：

林则徐宣称：“若鸦片一日未绝，本大臣一日不回，誓与此事相始终，断无中止之理”，表示决心禁绝鸦片。

例句中，冒号只能管到引号内的话，管不到“表示决心禁绝鸦片”，所以冒号应改为逗号。

(3)一个句子内套用两个冒号的情况应该避免。例如：

按年龄“一刀切”的做法，已经产生了不容忽视的消极影响：据《中国妇女报》报道：女干部40岁以上不招聘，45岁以上不培养，50岁以上不提升重用。

例句中第一个冒号应改为句号。

(4)对话分段书写时用了冒号后，所说的话就可不用引号。例如：

记者：什么是你说的好的音乐？

傅聪：对音乐内涵有真正的理解，而且真正有个性，有创造性。这种创造性并不是随心所欲，而是有道理的，是真正懂了音乐之后的创造。

(5)提示性动词指向引文之外的内容，这样提示性的词后不用冒号。例如：

学校领导及时提出：“办精品名校”的办学新思路。

冒号应删去。

(6)在“即”“也就是”等词语前不能用冒号。例如：

我们要有两种“力”：即毅力、努力。

冒号应改为逗号。

(7)引文不独立成句而只是整个句子的一部分时，它前面不用冒号。例如：

同学们唱着：“日落西山红霞飞”离开军训场地。

冒号删去。

Ⅲ. 标号

1. 引号(“ ”)

引号标明行文中直接引用的话。

引号分双引号、单引号两种。横写时为“ ”、‘ ’,竖写时为﹃﹄、﹁﹂。引号在文中可以看到,但念时却听不出来。

引号的用法大致可分为下面10种:

(1)标明文章引用的部分。在文章中引用的别人说的话、书上的话以及人物的对话等,要用引号标出来,以便把引用的话和写文章人的话区别开来。引用可以引局部的一个字、一个词、一句话,也可以引全部。例如:

①在《社会学和社会心理学的关系》一文中,王康指出:“社会心理学是研究社会环境对人的思想、感情、态度、行为产生什么影响的学科。”

②父亲教训儿子:“老师在家长会上跟我说,你上课总爱说话,以后要改正。”儿子反驳道:“为什么要改正?上课时老师讲的话比我说的话要多好几倍呢!”

(2)对需要着重论述的对象或重要的、特定的词语要用引号。例如:

①古人对于写文章有个基本要求,叫做“有物有序”。“有物”就是要有内容,“有序”就是要有条理。

②股市有它的行话:如股票价格上涨,叫“牛市”,因牛的眼睛总朝上看;反之,叫“熊市”,因熊的眼睛总朝下看。

(3)把表示否定、反义、借用或讽刺的词语用引号引起来。例如:

在外国地摊上卖的书,到了国内摇身一变被捧成了“传世经典”,读者一再受愚弄。这种现象的蔓延是发人深思的。

(4)文章中的简称要用引号。例如:

市场经济作为发展社会生产力的一种方式和途径,本没有姓“资”姓“社”的问题。

(5)引用成语、俗语、术语、歇后语等要标引号,因为同样是引用别人的话。例如:

①人们常常称技艺高超的工人为“能工巧匠”,赞精妙的艺术品为“巧夺天工”。

②我们有些同志喜欢写长文章,但是没有什么内容,真是“懒婆娘的裹脚,又长又臭”。

(6)表示节日、纪念日的数字部分和重大历史事件用数字标示的部分要用引号。例如:

“九一八”是国耻日。

(7)象声词、音译词要用引号标示。例如:

傍晚,青蛙“呱呱”地叫起来,啄木鸟“笃笃”地啄着树干,甲虫“嗡嗡”地叫。杨科躺在河边静静地听着。

(8)文中的绰号要标引号。例如:

我孩子时候,在斜对门的豆腐店里确乎终日坐着一个杨二嫂,人都叫伊“豆腐西施”。

(9)需要强调的专有名词要用引号。例如:

党英、党群和党世也买了些“滴滴金”“地老鼠”和“神书带箭”来燃放。

例句中的“滴滴金”“地老鼠”和“神书带箭”是鞭炮的专有名词,用了引号。

(10)文章中出现的新名词用引号。例如:

“网e拍”“克隆”等新名词不断涌现。

使用引号必须弄清楚和应注意的几点:

(1)引号分双引号和单引号。只用一个引号的用双引号(“ ”),双引号里面还要用引号的就用单引号(‘ ’)。例如:

老师教导我们:“你们要学习鲁迅‘横眉冷对千夫指,俯首甘为孺子牛’的精神,认真学好功课,将来好全心全意为人民服务。”

双引号里面已用单引号,单引号里面还要用引号的则又用双引号,如此循环使用。

(2)用在引文末尾的标点有讲究。使用引号时,若引文独立而又完整,则引文末尾的标点不能改动,并要写在后引号内;若引文独立而不完整,只作为句子的一部分,则引文末尾的标点应去掉,视整个句子的需要选用标点。下面分别举例说明。

完整地引原话，而引文又单独使用，最后的点号应放在后引号内。

杜甫《夔州歌》云："白帝高为三峡镇，瞿塘险过百牢关。"

引文不独立，引用的话只作为作者自己的话的一部分时，不管它是不是完整，后引号前都不能有点号（问号、叹号除外）。至于后引号后是否要用点号，用什么点号，要根据句子的结构来定。例如：

①唐代大诗人杜甫，写下了"朱门酒肉臭，路有冻死骨"的名句，反映了当时严酷的社会现实，感人千古。

②在老张"同志们，走吧！"的招呼声中，我们这支不大的队伍便冒着雨出发了。

例②"同志们，走吧！"虽然是完整的一句话，但在引文中不独立，要是"走吧"后不是叹号、问号的话就不需要用点号。这里是叹号，则可保留，因叹号、问号是表示语气的符号。这里的叹号不要也可以，但那样就看不出语气了。

后引号前，必须用的点号不能少。下面例句中"凯"字的后面就少用了一个句号。

"将军，我是凯"我说，"今天你们不走了，我不知道你们是否想再观光一下。我愿意给你们带路。"

(3)加引范围要弄清。

耿大妈对儿子说："大成，见人该问好就问好，该行礼就行礼，别怕人笑话，俗话说'礼多人不怪嘛'。"

从此句来看，加引的应是俗话"礼多人不怪"，因此"嘛"字应放在单引号之后，因为它是说话人的语气助词。

(4)对引几段话、引诗歌、引书信的处理。

一次连续引一篇文章的几个段落时，只在引的文章的每个自然段开头用前引号，该段文章的后面不用后引号，直到引文的最后一段结束才用后引号。

对分行写的诗歌，要引数行时，在诗行开始用前引号，中间的每一行就不必用前引号、后引号，只在诗行引完了才用后引号。

引一封完整的信，只在信的开头称呼处用引号的前半部分（"），在信的最后（某年某月某日处）用引号的后半部分（"）。

(5)引文中有括号、省略号、破折号、连接号、书名号、间隔号、着重号、专名号和数码字，都要按原著处理，不能改变。

(6)转述别人的话的意思不用引号。用自己的语言说出别人的话的意思，不照原话引用，叫转述，又叫"间接引"。转述别人说的话或书上的话，文字、标点符号都可以改变，也就不能用引号了。

(7)前引号、后引号不要漏掉。有人写文章疏忽，只有前引号，没有后引号；有的只有后引号，没有前引号。书写时应特别注意。

(8)引用他人的话，如果不会与作者的话混淆，在下列情况下，也可以不用引号。

出版物上对引用的话采用不同字体，可不用引号，因为这样就能区别是引文还是作者的话了。

把引文低二格排列也可以区别引文和作者的话，也可不用引号。

(9)剧本中对白一般不用引号。

直接引用的话写明谁说的，后面用冒号，也可以不用引号。

(10)一般名词不要用引号。

(11)引用原话要精当。在引原话前要弄清原文内容，引用的话要能说明你需要说明的问题就行了，无关的话不要引进去。

2. 括号[()]

括号标明行文中的注释性的文字。为了使文章中有的语句的内容更清楚，就用括号内的注释来说明。括号只有书面语才能体现，括号里的注释在阅读时不必念出来。

括号有下面五种形式：

"（ ）"圆括号，也叫"小括号"。

"[ ]"方括号，多用于文章注释的标号或根据需要做某种标记。

"〔 〕"六角括号，多用于文章注释的标号或根据需要做某种标记。

"【 】"方头括号，也叫"黑括号"。

"｛ ｝"花括号。

竖排的括号应写为：



括号的用法有：

(1)文中语句的注释要用括号。例如：

中国猿人(全名为"中国猿人北京种"，或简称"北京人")在我国的发现，是对古人类学的一个重大贡献。

从注释的范围分，有句内括号和句外括号。

只注释或补充说明句中一部分词语的叫句内括号。句内括号须紧挨着要解释的词。例如：

猴子跳到一个十一二岁的孩子(他是船长的儿子)面前，把他的帽子摘下来……

句内括号内的文字末尾的标点符号一般要删去，但问号和叹号可以使用。例如：

①1861年以后，那拉氏(慈禧)曾经在这里搞所谓"垂帘听政"(这是那拉氏直接掌握政权的一种形式。)，指使曾国藩、李鸿章、左宗棠等，并勾结帝国主义强盗，组织"洋枪队"，疯狂地镇压了太平天国运动。

②所以难怪袁中郎见到"嘉靖间大名士"(王世贞？屠隆？)所作的《金瓶梅》抄本，便把它视为"外典"，也难怪当时士大夫文人急相求索《金瓶梅》一睹为快了。

③他先是寄希望于×女士的丈夫(那个美男子！)，后又寄希望于Q男士(那个大块头！)。

例句①中括号内的句号应删去，②③中的问号、叹号可保留。

补充和注释全句的叫句外括号。句外括号放在正文的句末点号之后。句外括号的注释，如果是一句话，末尾也可以用句号、问号或叹号。例如：

他培育了许多花草，繁殖和训练了许多小动物。(他后来还曾照顾动物园里一只没有母虎的乳虎，每天一匙匙地用牛奶喂它。)

(2)序次语用括号。例如：

①(一)(二)(三)

②(甲)(乙)(丙)

(3)表示插入的词语用括号。为了和讲话内容区分开，记述听众情绪的话和剧本里说明人物动作、情态的词语用括号括起来。例如：

周朴园：(忽然立起)你是谁？

(4)句中交代时间、地点或文章出处要用括号。例如：

①明朝的开国皇帝朱元璋登基之际(1368年)，按照传统的程序，定国号为"明"，改年号为"洪武"，颁历曰《大统历》。

②资本主义的思想体系和社会制度，已有一部分进了博物馆(在苏联)；其余部分，也已"日薄西山，气息奄奄，人命危浅，朝不虑夕"，快进博物馆了。

③不长进的民族用灭绝来吓人，最终必将走向灭绝，毫不客气(《鲁迅全集》第一卷第312页)。鲁迅80年前的警告，至今仍闪烁着真理的光辉啊！

(5)订正和补充的词语用括号。例如：

①子皋从出门，(顾广圻曰："'从'当作'后'，《说苑·至公篇》：子皋走郭门，郭门闭。"王先慎曰："'从'字不误，'出门'当作'后门'，'后门'与《说苑》'门闭'合，明'出'为'后'之误。"陈奇猷案："顾说是，'出'析字。")刖危引之而逃之门下室中，吏追不得。

②各省、市(区)农业厅(局)

(6)对生字进行注音用圆括号。例如：

九州生气恃(shì)风雷。

对多音字注音用六角括号。例如：

一打听，她就是小朱丫头的姐姐、现在是社里的会〔kuài〕计兼卫生员。

“会”是多音字，注音用的是六角括号，用圆括号也可以。

(7)在介绍剧本中的场景时，可只用六角括号的前半边。例如：

〔1938年夏末，冀区高家庄。

〔远山连绵，山峰重叠，河岸垂柳成荫，鲜花怒放。舞台右侧是三间普通农舍，院内有几棵李子树，枝叶茂密。

〔幕启：蓝天白云。远处歌声嘹亮，锣鼓喧天，书有“热烈欢迎白求恩大夫来我院检查工作”的红色标语……

(8)方头括号(【 】)用于字典、词典和教科书中词条的解释等。例如：

【脍炙人口】kuài zhì rén kǒu 美味人人都爱吃，比喻好的诗文或事物，人们都称赞。

(9)如需要时，可在圆括号外再用六角括号。例如：

〔《第七届全国人民代表大会第一次会议关于国务院机构改革方案的决定》(1988年4月9日第七届全国人民代表大会第一次会议通过)〕

(10)用于标明文字的转接起讫。

在编辑文章时，往往会遇到因篇幅的限制，到一页的末尾还不能将文章登完，为了醒目和方便读者寻找未刊完的文字，常常在未登完的一页末尾和续接一页的开头，分别用括号标明“(下转第×页)”“(上接第×页)”“(待续)”“(续完)”“(续作)”之类的话，以表示文字的转接起讫，使之能前后衔接。

不该用括号的地方就不要滥用。括号不宜用得太多，以免打断正文，分散读者的注意力。括号内注释的话也不宜过长，以免影响正文的连贯。注释的话长了，可采用脚注的办法加以说明。

3. 破折号(——)

破折号用来标明行文中解释说明的语句，或表示语意的转换、递进，或表示语言、声音的中断、停顿和延长。“破”就是语句突然被打断，“折”是把意思转到另一个方面。破折号占两个字的位置。破折号的用法有：

(1)表示注释。破折号后面的文字是对破折号前面文字的解释。例如：

滨江市第三机械厂在评选仅有的一个局级先进工作者时卡壳——会议开了三十分钟，竟然提不出一个候选人来。

(2)表示意思的转换及转折。例如：

①这是老先生最得意的作品，是老先生十多年的汗水——不，是他毕生的心血！

②“好香的干菜——听到风声了吗？”赵七爷站在七斤的后面七斤嫂的对面说。

③到河滩挖“浪柴”的记忆至今都是幸福而快乐的——尽管，那是童年十分辛苦的一种劳作。

例句中①②是转换话题，③则表示语意转折。

(3)用于标明语意的递进，破折号后面的句子比破折号前面的句子在语意上更进一层。例如：

自然是读着、读着，强记着，——而且要背出来。

(4)用于标明语句间的因果关系，破折号前面的句子表示结果，破折号后面的句子表示原因。例如：

他首先指出早恋并不可耻——这是一种十分自然、正常的现象，然后告诉学生早恋并不可怕——每一个正常发育的人都可能遇到，最后劝诫学生早恋并不可爱——早结的果不甜，早开的花早谢。

(5)表示语言、声音的中断、停顿和延长。例如：

“呜——”火车开动了。

(6)文中插说的话前后各用一个破折号，作用相当于括号。例如：

公刘曾经坦言：“假设我有一首诗——不敢奢望一首以上——能像《唐诗三百首》中的任何一首那样，为后世所认可，为子孙所传诵，我也就死而无憾了。”

(7)用在副标题前面，起解释、补充正题的作用。例如：

团结向前 繁荣文艺

——祝中国文学艺术联合会第五次代表大会开幕

(8)用于表示引起下文。例如：

北京潭柘寺弥勒宝座前楹联：

上联是——

大肚能容，容天下难容之事；

下联是——

开口便笑，笑世间可笑之人。

(9)用于总结上文。例如：

为公家干，虚晃一枪；给自己干，不遗余力——这是各行各业"走穴"好手们的共同点。

(10)用于总说与分说之间，破折号前面的句子是总说的部分，破折号后面是分说的部分。例如：

这个小伙子问过几家旅馆，住宿都要几十元——有的要五十元，有的要四十元，睡大炕也要二十元。

(11)用于歇后语前后两部分之间。歇后语由两部分组成，前一部分相当于一个"引子"，后一部分是对"引子"的解释说明。在歇后语的前后两个部分之间，用破折号起转换作用。例如：

原因是我的儿子要结婚，罗锅子上山——前(钱)紧。

(12)放在引文后面注明出处。例如：

山重水复疑无路，柳暗花明又一村。

——(宋)陆游《游山西村》

(13)表示事项的列举分承。这是破折号近几年才发展起来的一种新用法，而且很时兴，从中央领导人的工作报告到新闻报道、工作总结、论文中都普遍使用。这种分段、分行列述的用法，清楚醒目，也容易掌握使用。

下列机关、单位和场所应每日升挂国旗：

——首都天安门广场、新华门；

——外交部、国防部、公安部、文化部、教育部；

——县以上人民政府机关(不包括政府职能部门)；

——各级人大、政协的常设机构；

——县级以上人民检察院、人民法院；

——全日制各类学校(星期日和寒、暑假可以不挂)；

——民用机场、边境火车站、轮船；

——代表国家的外事机关、海关、边防检查站。

使用破折号应注意的几点：

(1)注意破折号与括号的区别

破折号与括号都是标号，都可标明解释性的语句，但在具体的运用中仍有区别。首先，破折号所引出的注释性文字，是正文不可缺少的一部分，少了这些，句意就不完整，所以必须和正文连在一起朗读；如果解释的语句插在句子中间，可在前面和后面各用一个破折号，其实相当于一个括号的作用。例如：

灯光，不管是哪个人家的灯光，都可以给行人——甚至像我这样的一个异乡人——指路。

括号里的词语是附带性的说明，少了它也不会影响句意的完整，可以不读出来。其次，破折号除了标明解释外，还兼有点号的作用，可表停顿，因此，注释性的部分在可以停顿的地方，适宜用破折号；括号不具有点号的作用，在不能停顿的地方，适宜用括号注释。试比较下面的句子：

①细细考察汉语曲折艰辛的演化历程，慢慢品味它具体而又丰富、精确而又混沌的词义和读音，似乎每个汉字都凝结着先人对已知世界的渐悟(它积淀着几经迷失的文化传统及富有民族个性的道德伦理尺度)和对未知世界的哲思。

②从这一则例子可以看出，一部影片的主题(也就是我们所说的纪录电影的"目的")可以是多义的——至少是可以作出多种解释的，而影片的情绪则往往比较单纯。

例句①括号内的注释语是对"每个汉字都凝结着先人对已知世界的渐悟"这一语句的补充说明，它只是正文的附加成分，没有它，前面语句的意思也是完整的。朗读的时候，不能连同正

文一起读出。例句②括号中引出的注释性语句放在一般不作停顿的主谓之间，破折号引出的注释性语句放在可稍加停顿的分句之后。这样，尽管一个句子掺入了两个注释语，也不显得松散、破碎。

(2)注意表示停顿的破折号与逗号的区别

表示停顿的破折号有强调的作用，表示停顿的逗号有时也有强调的作用，但破折号的强调跟逗号的强调略有不同：一是逗号强调的以前面的成分为主，破折号强调的多是后面的成分；二是破折号的强调作用比逗号强，因为破折号停顿比逗号长，且可以延长读，视觉上也比逗号明显。例如：

①我自叹不是一位多情的诗人，不能用漂亮的诗句讴歌我的事业；我感喟不是一位睿智的哲人，不能用深邃的哲理体现我的价值。我就是我——一名普通的幼儿教师。

②伦理道德不仅是文学艺术的最高层次，也是作家艺术家人格的最高层次。

大人格者——必是大道德家！

③想、总还是想的，主要是不敢说不敢做，少了两个"敢"字。

④为了你的爱人和孩子，戒烟吧！

例句①破折号置于同位语之间，以强调"幼儿教师"这一职业。例句②破折号置于主谓之间，以强调道德对于人格的重要性。例句③逗号用在本可以不作停顿的主语之后，有强调主语的作用，引起读者的注意和深思。例句④在状语和谓语之间用逗号，作用是强调状语，突出抽烟对自己的爱人和孩子都有害。

(3)注意破折号单用、双用、多用的选择

标明词语的注释或说明，有时候单用一个破折号，有时用两个破折号。什么情况下用一个？什么情况下用两个？一般来说，用一个不会引起误解时，就用一个；用一个容易发生误解时，就用两个。例如：

①大家知道，离地球最近的行星是金星，但它被炽热的气体所包裹，再远一点的火星又笼罩着一层冰冷的二氧化碳。可以这样说：在我们已知的宇宙空间，只有太阳系的这一隅——我们的地球，还活跃着生命的精灵！

②心理学教科书告诉我：记忆是人类对过去经历的事物的反映。但人脑——这块像豆腐一样白花花的物质——是怎样具备了这种神奇功能的呢？

③如《索姆战役》这部影片的制作者对死亡的渲染——或者说对死亡的带主观情绪的表现就不会像它的主题那样被"误解"。

例句①、例句②都是在语句的中间，用破折号引出注释说明的语句。例句①在注释语的后面用了一个逗号，既表示主谓之间的短暂停顿，又标明注释结束，不会引起误解，故只用了一个破折号。例句②注释语放在主语和谓语的中间，谓语前又没有必要作一个短暂停顿，如果只用一个破折号，让注释语紧跟谓语，语句的层次就不够清楚。故在注释语之后、谓语"是"之前再用一个破折号，以区别注释语和正文。例句③破折号引出的注释语是对状语"对死亡的渲染"的补充说明，属于中插式。由于只用了一个前破折号表示提示，而没有再用一个后破折号表示结束，就使得注释语和正文之间的界限不清楚，容易引起误解，故应在"表现"之后再补用一个破折号，句子层次就清楚了，也就不会产生误解。

多个破折号连用，主要表示语意的递进以及声音的延长。例如：

④……西部就是以这样的方式无限地延伸着；独行者——西部独特时空——文字以及对文字的诠释——携带文字的旅行——被放大了的西部，西部的存在是由于文字的参与。

⑤"我——们——胜——利——了！"

(4)注意破折号前面点号的使用

破折号虽然是标号，但读到它的时候，往往也要自然地停顿一下，所以破折号前边的点号一般省去不用，并不妨碍内容的表达，如前面所举的例句。但有时候为了表示话题的转换、延长停顿时间，以突出所转换的话题，或为了更清楚地表示语意的递进、话语的间歇等，也可在破折号的前面用点号。但破折号后面是不用标点的。例如：

①嘿，几十层楼的高房子，两层楼的汽车，各种各样好看好用的外国东西。老乡！人生一世，你

也得去见识一下啊！——做满三年，以后赚的钱就归你啦。……咱们是同乡，有交情。——交给我带去，有什么三差二错，我还能回家乡吗？

②我有四年多，曾经常常，——几乎是每天，出入于质铺和药店里，年纪可是忘却了，总之是药店的柜台正和我一样高，质铺的是比我高一倍，我从一倍高的柜台外送上衣服或首饰去，在侮蔑里接了钱，再到一样高的柜台上给我久病的父亲去买药。

③当骆驼队中领队驼所掌的那一杆长方形猩红大旗耀入你眼帘，而且大小铃铛的和谐的合奏充满了你耳朵，——这时间，也许你不出声，但是你的心里会涌上了这样的感想的：多么庄严、多么妩媚呀！

例句①的两个破折号都用于表示话题的转换，破折号前分别用叹号和句号，以表示强烈的语气和突出转换的话题。例句②破折号前用逗号，延长停顿时间，以便更清楚地表示语意的递进。例句③破折号前用逗号，表示上下话语之间的间歇。

(5)注意破折号与顿号的区别

顿号的主要作用是表示并列词语间的停顿，没有注释说明的作用；破折号的主要作用是标明注释说明的语句，尽管有时也表停顿，但突出的是词语间的间歇，而不表示语法关系上的并列。具体使用中不要将这两种标点符号混淆。看下面的例子：

①患者的丈夫、一位身材魁梧的男子汉"扑通"一声，跪在宋鸿钊面前恳求道："宋大夫！你治，我们还有一线希望。你不治，我们只有等死。她现在这样年轻，孩子还这样小。她死也不能闭眼哟！"

这里按原文的标点，"患者的丈夫"与"一位身材魁梧的男子汉"构成的是并列关系，指的是两个人。可从整段文章来看，"患者的丈夫"与"一位身材魁梧的男子汉"指的是同一个人，因此，顿号应改为破折号，以表示"一位身材魁梧的男子汉"是对"患者的丈夫"作的补充说明。

②载涛、载洵等都围聚到载沣身边……呼唤道："二哥，您可不能忘了大行皇帝、咱们大哥是怎样死的啊！"

这里的"大行皇帝"指光绪帝，"咱们大哥"也指光绪帝，他是载沣的亲哥哥。由于在"大行皇帝"和"咱们大哥"之间用了顿号，就使人认为是并列关系，从而误解为是两个人。而实际上为复指关系，是一个人，故应把这个顿号改为破折号。

4. 省略号(……)

省略号标明行文中省略了的话语。常见的省略号用法有两种：一种是引文的省略，一种是列举的省略。

(1)引文的省略，用省略号标明。在引用别人的话时省去不需要引述的话，省略开头、中间或结尾都可以。例如：

①李泽厚在《美的历程》一书中谈到汉代艺术的美学风格时说："……没有细节，没有修饰，没有个性表达，也没有主观抒情。"

②《通志略》说："葡萄藤，生传自西域。……张骞使西域，得其种而还，中国始有。"

③地轻轻地哼起了《摇篮曲》："月儿明，风儿静，树叶儿遮窗棂啊……"

(2)列举的省略，也用省略号标明。例如：

在广州的花市上，牡丹、吊钟、水仙、梅花、菊花、山茶、墨兰……春秋冬三季的鲜花都挤在一起啦。

(3)用于标明重复语句的省略。例如：

球场上响亮地传来"中国队——加油……中国队——加油……"的喊声。

(4)用于标明数目递增时，可以用省略号。例如：

我必须站起来，必须重新学会走路！于是，我先是在炕上挪，而后用双手扶住窗台，试着站起来。一次，两次……头被窗台碰破了一次又一次，我终于站起来了，继而又迈出了一步，两步……

(5)用于标明语意未尽、意在言外的省略。在文章中，有的语言情感深厚、意义深远，作结时，话虽未说完，然情丝不断，语意难尽，故用省略号表示，以引起读者的思考和回味。例如：

当黑夜又一次来临的时候，我将用生命点燃微笑，为我远行的孤寂灵魂唱起最后的歌……

(6)表示说话断断续续。例如：

"党……派我……到兰考……工作，我没……完成……党交给我的任务。"

(7)表示沉默或虚缺。例如：

①"你还没娶媳妇吧?"

"……"他飞红了脸，更加忸怩起来，两只手不停地数摸着皮腰带上的扣眼。半晌才低下了头，憨憨地笑了一下，摇了摇头。

②"不但……而且……"是表递进关系的关联词。

(8)用省略号表示没有说完的话。例如：

"其实你不该去信。我妈要是晓得我现在……"她只说了半句话，就连忙咽住了。

省略号使用中应该注意的几点：

(1)注意分清省略号与"等""等等"的不同用法

省略号和"等""等等"都可以用来表示列举省略，但二者具有一定的区别，并非总是可以随意替换的。一般来说，当列举的各项和省略的部分不充当某一词语的修饰限制成分时，省略号与"等""等等"可以互换；反之，当列举的各项和省略的部分共同充当某一词语的修饰限制成分时，其省略部分只能用"等""等等"表示，而不能用省略号表示。这是因为一般的修饰限制成分与被修饰限制的中心词结合紧密，其间不能用省略号隔开，一般也没有语音停顿。例如：

①由于人员少，任务重，总导演又体弱多病，我们自始至终都是分工不分家。我除了完成插播带制作外，还得参与监棚录音、排练……整天像打仗一样忙得不亦乐乎。

②在过去的一些年里，我与人民文学出版社合作，出版了多部长篇小说，有《新星》《夜与昼》《喜与荣》《大气功师》等。

③"新时期文学"以来，小说、散文、诗歌、报告文学、儿童文学等评奖活动，从国家到地方，从刊物到民间，搞过多少次？各种文学奖设过多少项？而唯有文学评论，几近空白。

④法国人莫泊桑那些短篇名作，除去《项链》，那些《羊脂球》《骑马》《我的叔叔于勒》等等的结尾，也都是采用情节突变的方式，而每每一变，他的人物便陷进难堪无奈、孤苦无助的困境里，从而唤起读者的关切，把故事推进思索的深层。

⑤这些，对于有志于文学的后来者们，除了继续关注文本语言风格幽默荒诞等等之外，也应该是大有启迪的啊！

以上例句，①中的省略号可以换为"等"，②中的"等"可以换为省略号(句末的句号去掉)，都不影响句子的结构和句意的表达。而③④⑤中的"等""等等"就不能换成省略号，因为句中列举的各项以及省略的部分分别充当"评奖活动""结尾""之外"的修饰限制成分，中间不能隔断，也就不能用省略号。

"等"除了表示省略外，有时还表示总结上文列举的诸项的数目。在这种情况下，"等"不能和省略号互换。例如：

⑥江泽民在认真听取了张德邻、蒲海清、张元铸、江从寿、向仲怀、白礼西、廖长光等七位代表的发言后说，去年八届全国人大五次会议决定设立重庆直辖市，到现在已经整整一年了。

还有一点值得注意，表示列举省略时，不能将省略号与"等""等等"同时并用。下列例句，⑦去掉省略号，⑧去掉"等等"：

⑦而武术本身，便不是单纯的搏击技能，它包含对人的生理研究(穴道、内外功)、医药(跌打、迷幻及各种解药)、伦理道德(尊师、武德)，乃至庄严庆典与通俗娱乐均宜的优美表演绝技……等等一系列文化内涵。

⑧如一位自命为"中国通"的外国教授，向他的学生讲授中文课时说："中国人将物品称做'东西'，例如桌椅、热水瓶、电视机等等，但有生命的动物不称东西，例如虫、鸟、兽、人……等等，所以你和他不是东西，我自然也不是东西。"

(2)注意省略号与破折号在表示话语中断时的区别

省略号与破折号都可以表示语音的延长或话语的停顿。一般说来，表示语音的延长，省略号与破折号没有质的区别；但表示话语停顿时，破折号表示戛然而止，省略号表示余意未尽。例如：

两个人进到了里间。

法庭负责人请女告状人坐下，还给她捧上一杯水。

“真是人民的法庭啊！……”杨艳菊感动地想。

“你很年轻嘛！”法庭负责人吴超俊不谈诉状的写法，却开始评论他的告状人，“你二十几岁了？……你生过两个孩子？不像！你很漂亮嘛。”

杨艳菊低着头，感到她的肩膀被一只手慢慢地、重重地抓了一下。

她触电似的跳了起来，满脸通红。

“你——！”她惊讶、恐怖地叫着。

“我包你胜诉，只要……”从那个扭歪了的嘴里又吐出这几个字，同时一只手伸过来又要抓她的肩膀。

“你——！”这一瞬间，弱女子变成了雄狮，“啪”地打落了那只手，然后夺门而出。

这是一篇全国优秀报告文学中的一个片段，作者正是通过人物对话中不同标点符号的使用，来体现杨艳菊惊讶、恐怖后的戛然而止，以及吴超俊余意未尽的故意停顿。在这里，不仅显现出省略号与破折号在表示话语停顿时的细微区别，而且还透射出不同人物的内心世界。

(3)注意省略号前后标点的使用

一般来说，在省略号的前面，如果句子的意思已经表达完了，说明这个句子已经是一个完整的句子了，那么应该在句子的末尾加上句末点号。例如：

①文学的思想使命是：宣扬一种道德精神，使它和我们要建立的社会经济秩序相适应。……无产阶级的文学，宣扬的是集体主义、利他精神，以此捍卫和发展公有经济和推进社会主义建设。……一个文艺工作者如果对社会没有使命感，对人民没有责任感，是断然写不出任何优秀的作品的；对他所处的时代，也是起不了什么积极作用的。

②“哦！你是哪里呀？……啊，是小王，有事儿吗？……好！……行啊，就照你说的办吧。……好，再见！”

如果省略号前面的句子不是一个完整的句子，原则上不加标点。

在省略号的后面，一般不用标点，因为连文字都被省略了，再加标点也就没有意义了。如果省略号后面还有文字，为了表示省略号前面的文字不跟下文相连，可以在省略号的后面加上句末点号。例如：

③现在创作上有一种长的趋向：短篇向中篇靠拢，中篇向长篇靠拢，长篇呢？一部，两部，三部……。当然，也有长而优、非长不可的，但大多数是不必那么长，确有“水分”可挤的。

这个例句的省略号标明了列举的省略，说长篇的部数可能有很多。作者只列举到三部，其余的就省略不举了，因为到这时，话语的意思已经完整，无须再继续列举。省略号后面的话语的意思与省略号前面的话语的意思不同，为了表示彼此的区别，需要在省略号的后面加上一个句号。

(4)注意省略号的书写格式

按照1995年“国标本”规定：省略号的形式为“……”，六个小圆点，占两个字的位置。如果是整段文章或诗行的省略，可以使用十二个圆点来表示，要单独成行，不顶格。例如：

“我们是受中央委托才来的！”《中国青年报》记者从兜里掏出一封介绍信，介绍信盖着那些人从未见过的赫赫大印。

……

相关人员软了。

不害怕真理的人，却害怕图章！

“请你们原谅……请你们原谅……”

另外，书刊目录上，标题与作者姓名、页码之间连接用的一长串小圆点（……），叫“连珠号”或“连点”，不是省略号。

5. 着重号（ ）

着重号用于标明要求读者特别注意的字、词、句。在横排的文字中，着重号放在被标示的文字的下面；在竖排的文字中，着重号放在被标示的文字的右边。例如：

事业是干出来的，不是吹出来的。

有的字、词、句从语意上看并不重要，但为了引起读者注意，也可以用着重号标示出来。

现在都不再用三角号、波浪线、旁圈和直线当着重号，一律用小圆点表示着重号(．)。

用引号把强调的词语引起来也可以起到强调的作用，但只适用于着重论述的对象，要强调的只是几个字的地方，表示重要和强调的文字多了还是要用着重号。

另外，在出版物上还可用不同的字体表示强调的地方。如正文用五号宋体或正体，强调重要的文字就用五号黑体。

在引用别人文章时，为了突出某一意思，必须加上着重号，以引起注意。作者应在括号内注明着重号是引用者加的，以免弄不清是原有的还是引用者加的。

有着重号的地方往往也是需要重读、慢读的地方，在朗读时应注意。

6. 连接号(—)

连接号的形式为"—"，占一个字的位置。连接号还有另外三种形式，即长横"——"(也叫"双连线"，占两个字的位置)、半字线"-"(占半个字的位置)和浪纹"～"(占一个字的位置)。

连接号的作用是把意义密切相关的词语连成一个整体。其具体用法是：

(1)两个相关的名词构成一个意义单位，中间用连接号。例如：

海尔—波普彗星

(2)相关的时间、地点或数目之间用连接号，表示起止。例如：

①杜牧(803—852)字牧之，京兆万年(今陕西西安)人。

②"北京——广州"直达快车。

③西北、华北东部、黄淮、江淮有4～6级偏北风。

(3)相关的字母与阿拉伯数字之间用连接号，表示产品型号。例如：

在太平洋地区，除了已建成投入使用的HAW—4和TPC—3海底光缆之外，又有TPC—4海底光缆投入运营。

(4)几个相关的项目表示递进式发展，中间用连接号。例如：

人类的发展可以分为古猿—猿人—古人—新人这四个阶段。

(5)表示人或事物的某种联系。例如：

本届ATP大师赛决赛(纳达尔—费德勒)将于明天举行。

使用连接号应注意以下几点：

(1)连接号是"连"，要连着读；破折号是"断"，有小的停顿。连接号所连接的专有名词，构成新的意义单位后仍是一个专有名词，而破折号则没有这种作用。

(2)除一字线的连接号(—)外，另三种形式的连接号分别用于：

半字线的连接号(-)用于连接相关的年月日，汉语拼音中连接复合词、成语和重叠词的两个部分等。例如：

①1998-09-03(1998年9月3日)

②变温动物 biàn wēn-dòng wù(复合词)

③水到渠成 shuǐ dào-qú chéng(成语)

④弯弯曲曲 wān wān-qū qū(重叠词)

长横的连接号(——)和一字线的连接号(—)用法一样，用长横的连接号主要是为了醒目好看，避免和汉字的"一"等混淆，不会混淆时用一字线的连接号。

波浪线式的连接号(～)用于标示数量的范围。连接两个阿拉伯数字，多见于科技类文章中。有时是为了区别表示负数的符号"—"。例如：—15 ℃～5 ℃。

用连接号表示数量范围时，在不致造成误解的情况下，按习惯用法，低限的量词或单位可以省去。

(3)不用数字，而用文字表述的不宜用连接号，可用"到"或"至"字。

7. 间隔号(·)

间隔号过去也叫分读号或音界号，在字位中间，印刷上叫中圆点，占一个字位置。间隔号用来标明某些少数民族人名或某些外国人的名字和姓氏之间的分界、书名和篇名之间的分界、词牌名称和具体题目之间的分界、月份和日期之间的分界，用作复式单位名词的居中点，以及表示标题涉及两个以上事物之间的承接、层进、并列关系。

①《史记·廉颇蔺相如列传》的作者是谁？（用在书名和篇名之间的分界）
②《水调歌头·游泳》（用在词牌和标题之间的分界）
③唐·白居易（用在朝代与作家姓名之间的分界）
④一二·九运动（用在纪念日的月、日之间的分界）
⑤一九七二·北京（用在日期和地点之间的分界）
⑥千克·米（用在复式单位名词之间的分界）
⑦江苏·扬州艺术团圆满结束访朝
⑧画蛋·练功
⑨树木·森林·气候
⑩崇高·质朴·创造
——长影的艺术追求

上面例句⑦⑧⑨⑩的间隔号表示标题涉及两个以上事物之间的承接、层进、并列关系。

标题并列词语之间也可以空一字，而不用间隔号。例如：

合力　动力　凝聚力

8. 书名号（《　》〈　〉）

书名号的形式为双书名号“《　》”和单书名号“〈　〉”。

1951 年制定的《标点符号用法》规定书名号是“　　”。1954 年后，《中国语文》《光明日报》的《文字改革》双周刊开始使用尖括弧的书名号。20 世纪 60 年代后，尖括弧的书名号在出版物上开始取得主导地位，逐步取代了波浪线式的书名号。1990 年 3 月修订的《标点符号用法》正式规定书名号用“《　》〈　〉”。

书名号的用法：

(1)书名号用来标明书名、报名、期刊名、篇章名、剧目名、歌曲名和法规文件名等，可用于各类出版物。例如：

①马克思的光辉著作《资本论》花了近 40 年时间才写成。
②《文学报》每周四在上海出版，面向海内外发行。
③我非常喜欢《麦琪的礼物》这篇小说。
④“路见不平一声吼，该出手时就出手……”这首高亢激越的《好汉歌》唱出了男儿的气魄，唱出了“好汉精神”！

(2)书名和篇名同时出现，只用一个书名号。书名写在前面，篇名写在后面，中间用间隔号隔开。例如：

①《朝花夕拾·藤野先生》
②《史记·廉颇蔺相如列传》

(3)词牌名和题目名同时出现，要用书名号。前面是词牌名，后面是题目名，中间用间隔号隔开。例如：

①《念奴娇·赤壁怀古》
②《永遇乐·京口北固亭怀古》

(4)书名里面还要用书名号时，外面用双书名号，里面用单书名号。例如：

①《新时期〈金瓶梅〉研究述评》
②辽宁××音像出版社出版的《电视连续剧〈红楼梦〉歌曲专辑》录音带侵权。

书名号的用法并不难，但误用却比较普遍。下面谈谈书名号的误用和使用书名号时应注意的几点：

(1)该用引号的误用了书名号。例如：

《敦煌艺术展》已落下了帷幕。

例句中的书名号应改为引号。展览名可用引号，不能用书名号。

(2)该用书名号的误用了引号。有的本来是书、报或文章篇名，应该用书名号，却用了引号。例如：

他爱读书，“水浒传”“红楼梦”“西游记”等书不知被他翻过了多少次。

例句中“水浒传”“红楼梦”“西游记”都是书名，不能用引号，只能用书名号。

(3)书的封面上、书脊上、书刊版权页上的书名和图画的题名一律不加书名号。

(4)书名、报名、篇名、剧名等简称时仍用书名号，不用引号。例如：

①《标点符号用法》可以简称为《用法》。

②《关于出版物上数字用法的试行规定》可简称为《规定》。

(5)“××杂志社”或“××报社”不用书名号。有“社”字就指单位了(不是指杂志或报纸的名称了)，故不能用书名号。例如：

在《人间指南杂志社》里有6位编辑。

例句中“《人间指南杂志社》”的标点应为“《人间指南》杂志社”。

(6)将要写的文章题目，不能用书名号。例如：

根据上述材料的含义，以《我的时间》为标题，写一篇不少于800字的文章。

“我的时间”是将要写的文章题目，不能用书名号，应改为引号。

9. 专名号(____)

人名、地名、朝代名等专名下面，用专名号标示。例如：

司马相如者，汉蜀郡成都人也，字长卿。

例句中“司马相如”和“长卿”是人名，“汉”是朝代名，“蜀郡”和“成都”是地名，都用了专名号。

专名号现在一般不用，只用在古籍或某些文史著作里面。为了和专名号配合，这类著作里的书名号可以用波浪线(____)。例如：

①屈原放逐，乃赋离骚；左丘失明，厥有国语。

②三国演义取材于东汉末年和魏、蜀、吴三国的历史，从东汉灵帝建宁二年(169年)黄巾起义开始，一直叙写到晋武帝太康元年(280年)吴亡为止。

专名号与称谓、职务、行政区划名称等普通名词写在一起时，普通名词不用专名号。专名号的长短视专名所占位置的长短而定。

竖排文稿的专名号和波浪线式书名号标在字的左侧，着重号标在字的右侧。

三、表示次序的词语、数字、字母之后如何用标点符号

1.“首先”“其次”“第一”“第二”等词语的后面，用逗号。

2.“一”“二”“三”等词语后面可用顿号，也可空一格，不用标点。

3.用阿拉伯数字时，后面用小圆点。

4.阿拉伯数字外面已有括号或圆圈时，后面不再加标点。

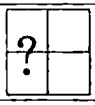
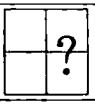
5.拉丁字母的后面用小圆点或空一格。

6.表示结构层次的序数，可以只用阿拉伯数字，中间用小圆点隔开。中间只有两层时，也可用连接号。

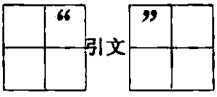
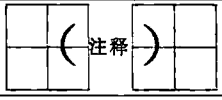
附录一

16种标点符号的书写位置

各种标点符号书写多大、多长及位置在左、在右、在中、在上、在下，都有规定，怎样书写见下表。

名　称	符号	横写位置	竖写位置	说　明
句号	。			占一格的1/4，横写在左下，竖写在右上
问号	？			占一格的一半，横写在左边，竖写在右边

续表

名　称	符号	横写位置	竖写位置	说　明
叹号	！			同上
逗号	，			占一格的 1/4，横写在左下，竖写在右上
顿号	、			同上
分号	；			同上
冒号	：			同上
引号	“ ”			横写前半边在一格的右上角，后半边在一格的左上角，分别占一格的1/4；竖写上半部在一格的右上角，下半部在一格的左下角。前半边不能出现在行尾，后半边不能出现在行首
括号	（ ）			前后、上下半边均占半格，紧靠注释。前半边不能出现在行尾，后半边不能出现在行首
破折号	——	——		在两格的中间，不可跨行使用
省略号	……	……		同上
着重号	．	怀古伤今	怀·古·伤·今·	横写在字的下边，竖写在字的右边
连接号	— ～	约里奥—居里 13～17 日	约里奥—居里 13～17日	在一格的中间
间隔号	·			在一格的中心

续表

名　称	符号	横写位置	竖写位置	说　明
书名号	《　》	《故乡》	《故乡》	半边各占一格，前半边不能出现在行尾，后半边不能出现在行首
专名号	———	中国 上海	中国 上海	横写在字的下边，竖写在字的左边

附录二

标点符号歌

标点符号真重要，各位考生莫小瞧。句子点号有七种，另有九种是标号。
句内点号表停顿，性质不同看需要。逗号顿号和分号，还有一种是冒号。
它们位置在句中，句子末尾见不到。句内主语谓语间，需要停顿用逗号。
句内动词宾语间，宾语复杂逗号断。状语太长要前提，提至句首逗隔离。
复句内部有分句，若非并列逗可以。句内并列词语间，顿号分开很明显。
转折因果多重句，关系如果非并列，首层前后两部间，习惯也用分号切。
分行列举各项间，使用分号更显然。称呼总说及解释，冒号用来表提示。
总括话语放末梢，前面也可用冒号。句末点号更需要，句号问号感叹号。
陈述句子话说完，句号画上才完全。祈使语气若舒缓，使用句号是习惯。
疑问反问句子末，十有八九问号多。感叹反问祈使句，语气强烈用叹号。
常用标号有九种，引号括号破折号，省略连接加着重，间隔书名带专名。
直引着重特殊意，需用引号来标示。引号里面套引号，外双内单莫混淆。
括号用来表注释，使用位置要注意。若注句内某词语，括注紧贴被注词。
如若注释全句子，句末点后括注释。破折号，不简单，几种用法要记全。
文中解释要说明，话题突然要改变，象声词后声音延，列举分承各项前。
省略号，六圆点，省段诗行十二点。引文省，列举省，说话断续也可省。
连接号，连相间，时间地点数目间。产品型号常运用，递进项目要相关。
间隔号是小圆点，人名分界用它连。书名较长篇章卷，间号标示易分辨。
书名号，分双单，用于书篇和报刊。书名里边套书名，外双里单才能行。
专用名，一短线，常用古籍文史间。人名地名朝代名，专名下面画横线。
以上标点十六种，经常见来经常用。读书看报与写作，正确与否须分清。

附录三

标点符号的位置歌诀

句问逗顿分冒叹，七种点号都一般。大体占位一个字，一行之首不出现。
引括书名前一半，行末不许它出现。一行之首也要紧，不许出现后一半。
破折号，省略号，俩字位置够它占。一短横，六个点，一气画成不间断。
连接号，间隔号，一字位置就够占。破省连间四种号，占的位置居中间。
着重号，专名号，根据情况定长短。行末行首不讲究，随字移行可随便。

第四部分 词 语

一、语素

1. 语素的概念

语素是语言中最小的音义结合体，是最低级的语言形式，再不能分解成更小的有意义的单位。例如："禾"是一个语素，它的语音形式是"hé"，它的意义是"禾苗"；"坦克"也是一个语素，它的语音形式是"tǎnkè"，它的意义是"装有火炮、机枪和旋转炮塔的履带式装甲战斗车辆"等等。它们都是语音和意义的结合体。

现代汉语的语素绝大部分是单音节的，如"江、河、土、越、而"；也有两个音节的，如"沙发、坦克、玻璃、芙蓉"等；还有三个或三个以上音节的，如"法西斯、乌鲁木齐、奥斯特洛夫斯基"等。双音节语素有一部分是从外语借来的，三音节和三音节以上的语素大都是从外语借来的。确定语素可以采用替代法，用已知语素替代有待确定是不是语素的语言单位。例如，"蜡烛"中的"蜡"和"烛"可以分别被别的已知语素所替代，由此可以判断"蜡"和"烛"各是一个语素。

2. 语素的分类

(1)自由语素

能够独立成词的语素叫做自由语素。许多自由语素可以和其他语素自由组合成词，所以自由语素的位置是自由的。例如：分、好、高、低、有、村。

(2)半自由语素

不能单独成词，只能和其他语素自由组合成词，在构成词语时位置不固定的语素叫做半自由语素。例如：话、习、确、逐、民、废。

(3)不自由语素

不能独立成词，而且同别的词语组合成词时位置固定的语素叫做不自由语素。例如：者、第、阿。

二、词和词汇

(一)词的概念

词是句中最小的能够独立运用的语言单位。"独立运用"是指能够单说(单独成句)或单用(单独做句法成分或单独起语法作用)。语素是构词的单位。词是由语素构成的，记录它们的书写符号则是字。例如：

他总是捣乱吗？

"他""乱"都能单说，可单独做句子成分，"总"能单独做句子成分，"吗"能单独起语法作用，均是能单用的语素，都是词。

词与词汇、短语、固定短语的区别：

1. 与词汇的区别

词汇又称语汇，是一种语言里所有(或特定范围)的词和固定短语的总和。还可以指某一个人或某一作品所用的词和固定短语的总和，如"老舍的词汇"。词汇是词的集合体，词汇和词的关系是集体和个体的关系。

2. 与短语的区别

短语是词和词的语法组合，它和词都表示一定的意义，也是造句成分，可以单说或单用，但短语不是"最小的"能够独立运用的单位。它是可以分离的，中间往往能插入别的造句成分。(即"可扩展")

3. 与固定短语的区别

固定短语是词跟词的固定组合，一般不能任意增减、改换其中的词语。与之相对的叫做自由短

语，自由短语是词跟词按表达需要的临时组合。固定短语又可分为专名(专有名称)和熟语两类。专名以企事业单位的名称占绝大多数。

(二)词的构成

根据每个词的不同内容形式，可以把汉语的词分成单纯词和合成词两类：由一个语素单独构成的词叫做单纯词，由几个语素组合构成的词叫做合成词。

1. 单纯词

由一个语素构成的词叫做单纯词。根据音节的多少，单纯词又分为单音节单纯词和多音节单纯词。由单音节语素构成的单纯词叫单音节单纯词。如：天、地、三、红、快等。由两个或两个以上的音节构成的单纯词叫多音节单纯词，主要有以下四种：

(1)联绵词，指两个音节连缀成义而不能拆开的词。有以下三种：

①双声的，指两个音节的声母相同的联绵词。如：仿佛、蜘蛛。

②叠韵的，指两个音节的韵母相同的联绵词。如：烂漫、从容。

③非双声叠韵的，如：蝴蝶、垃圾。

(2)音译词，如：沙发、咖啡、幽默。

(3)拟声词，如：扑通、哗啦、咕咚。

(4)叠音词，指由两个相同的音节相叠构成的词。如：姥姥、纷纷、猩猩。

2. 合成词

由两个或两个以上的语素构成的词，叫做合成词。汉语中，合成词不仅在数量上占绝大多数，而且有多种多样的构成方式，其中最主要的有以下几种：

(1)词根连接词缀构成的合成词。

这类词一般叫派生词。由词根和词缀构成。词缀在词根前的叫前缀，在词根后的叫后缀。可分为以下三类：

前加式(前缀＋词根)。例如：老虎、小李、第十、阿姨等。

后加式(词根＋后缀)。例如：刀子、木头、花儿、读者等。

前、后均加式(前缀＋词根＋后缀)。例如：反法西斯主义者、可靠性等。

(2)词根相互融合构成的合成词。

这类词就是一般所说的复合词，汉语的合成词绝大部分由这一形式构成。

按照这类合成词中词根结合方式的不同，可以把它分为如下几个主要类型：

①并列式(联合式)。这类词的两个词根的意义是并列的、平等的。例如：源泉、斗争、手足、矛盾、思想等。

②偏正式。这类词经常是用前一个词根来修饰、限制后一个词根。例如：红旗、火车、四季、粗心、狂欢等。

③补充式。这类词经常是用后面的词根来补充说明前一个词根。例如：认清、说明、扩大、打动、降低等。

④陈述式(主谓式)。这类词的前一个词根是陈述的对象，后一个词根则是陈述的内容。例如：头痛、心虚、胆怯、性急、年轻等。

⑤支配式(动宾式)。这类词的前一个词根表示动作或行为，后一个词根表示动作或行为所支配的对象。例如：带头、吹牛、伤心、签名等。

⑥名量式。这类词由名词和量词构成。例如：花朵、枪支、纸张、车辆、马匹等。

⑦重叠式。这类词由两个相同的词根相叠构成。例如：AA式——姐姐、仅仅、刚刚

AABB式——花花绿绿、形形色色、条条框框

词的种类及构成方式一览表：

- 词
  - 单纯词（由一个语素构成）
    - 单音词（由一个音节构成的词，如：牛、走、大）
    - 复音词（由两个或两个以上音节构成的词）
      - 联绵词
        - 双声词：澎湃、琵琶
        - 叠韵词：彷徨、踽踽
        - 其他：芙蓉、茉莉
      - 音译词：幽默、咖啡
      - 拟声词：哗啦、叮当
      - 叠音词：猩猩、蝈蝈
  - 合成词（由几个语素构成）
    - 词根连接词缀构成的合成词
      - 前加式：老虎、老师
      - 后加式：学者、职员
      - 前后均加式：可靠性
    - 词根相互融合构成的合成词
      - 并列式：劳动、买卖
      - 偏正式：足球、钢笔
      - 补充式：缩小、提高
      - 陈述式：日食、眼馋
      - 支配式：化石、管家
      - 名量式：花朵、纸张
      - 重叠式：娃娃、星星

拟声词与叠音词的区别

有时拟声词和叠音词两个音节的声母、韵母都相同，其差别在于拟声词只是摹拟声音，没有表意作用，例如“沙沙”。而叠音词则可能有表意作用，例如“蝈蝈”就有表意作用，代表一种昆虫。拟声词有双音节的，如“哗啦”；有单音节的，如“轰”；有叠音的，如“霏霏”；有多音节的，如“稀里哗啦”。叠音词有两种，一种是合成词，如“星星”；另一种是单纯词，如“瑟瑟”。两者的区别是：重叠前有意义的是合成词，重叠前无意义或重叠后与重叠前意义不一样的是单纯词。“瑟瑟”重叠前与重叠后意义不一样，所以是单纯词；而“星星”与重叠前的意思基本一致，所以是合成词。

3. 略语

为了简便，人们常把形式较长的名称或常用的短语化简，成为略语。可分为两类。

(1)简称　简称是较复杂的名称的简化形式。

①只取每一个词的前一个语素或后一个语素。例如：

家用电器——家电　　公共关系——公关　　电影明星——影星　　环境保护——环保

取前一个词的前一个语素和后一个词的后一个语素。例如：

外交部长——外长　　扫除文盲——扫盲　　保证价值——保值　　高等院校——高校

②省略并列的几个结构中相同的语素。例如：

中学、小学——中小学　　理科、工科——理工科　　军属、烈属——军烈属

陆军、海军、空军——陆海空军

③包含外来词的名称可以只取外来词的头一个音节(字)。例如：

奥林匹克运动会——奥运会　　加利福尼亚州——加州

④其他。例如：

中国人民政治协商会议——政协　　安全理事会——安理会

(2)数词略语　对一些习用的联合短语，选择其中各项的共同语素加上短语包含的项数，即构成数词略语。例如：

百花齐放、百家争鸣——双百　　秋收、秋耕、秋播——三秋

陆军、海军、空军——三军　　西北、华北、东北——三北

还有一些是根据共同的属性加上列举的项数构成的。例如：

酸、甜、苦、辣、咸——五味　　金、银、铜、铁、锡——五金

猪、牛、羊——三牲(用于祭祀)　　马、牛、羊、鸡、狗、猪——六畜

(三)词汇

词汇是语言的三要素之一,是语言的建筑材料,是一种语言里所有(或特定范围)的词和固定短语的总和。

词是词汇中的一个个的构成成分,词与词汇是个体与整体的关系。一种语言里可以有无数的词,但词汇只有一个,如汉语词汇、英语词汇等。

词汇还可以指一定范围内词的总称。如古汉语词汇、现代汉语词汇、上海话词汇、《红楼梦》词汇等。

固定短语是短语形成的词,当做词看待,所以词汇也可以叫语汇。

1. 现代汉语词汇的特点

(1)双音节词占多数。(2)构词法多种多样。(3)广泛运用复合法构词。

2. 现代汉语词汇的构成

词汇{词:古语词、方言词、外来词、行业词、隐语、新闻
熟语:成语、惯用语、谚语、格言、歇后语

[(1)词的分类是依据不同的来源。(2)隐语:个别社会集团或秘密组织中一种只有内部人懂得的特殊用语。]

三、词义

(一)词的性质

词是音和义的结合体,每个词表示一定的意义。词义包括词的词汇意义、词的语法意义和词的色彩意义(包括感情色彩和语体色彩)。词义的性质:1. 词义的客观性。词义是客观事物、现象在人们意识中的概括反映。2. 词义的概括性。3. 词义的社会性。词义总是被社会所承认和共同使用的。

(二)词义的分类

词义的分类{词义数量{单义词　一般为科学术语、专有名词、常见事物的名称
多义词　一般分为{基本义
引申义
比喻义
同音词{音同字同但意义不同
音同字不同意义也不同
意义关系{同义词{意义相同
意义相近
反义词{意义相反
意义相对

(三)词的本义、引申义、比喻义

1. 词的本义是指这个词最初的意义。比如"兵"本义指"武器"。一般来说它是这个多义词几个意义中最常用的一种意义。

2. 引申义是由词的本义引申出来的意义。如:

①他打了人。　②打掩护。　③打理公司。

①句为本义,②③句则为引申义。

3. 比喻义

比喻义是通过本词打比喻产生的固定词义。如:

"尾巴"一词本义指动物身体末端突出的部分,但在下面这两个句子中却产生了比喻义。①当天的作业要当天做完,不能留下尾巴。②他甩掉了尾巴。在①句中指残留部分。在②句中指跟踪或尾

随别人的人。

比喻义和比喻修辞的区别

比喻义是在词的范围内而言的，借用一个词的基本意义来比喻另一个事物所产生的新的意义。因此，词的比喻义已经成为词的固定成分，在使用时几乎感觉不到它是一种比喻了。而修辞学中的比喻则是临时打比方，如"蛙声如潮""月色如银"中的"潮""银"，依旧是原来的词义。

(四)词义的古今发展变化

语言是不断发展变化的，而其中的词义也就理所当然地有了很多变化，一般来讲，大致有以下几条：

1. 词义扩大

文言文中，某些词的原有意义比较狭小，后来它的意义有了发展，应用范围比原来广泛了，这种现象叫词义的扩大。词义扩大的特点是：今义大于古义，古义又包括在今义之中。词义扩大有以下几类：

(1)原单指某事物的词，扩大到兼指特征、性质或功能相似的事物。例如：

①"雏"。《说文》："鸡子也。"本义指小鸡。现在指幼小的动物或幼儿，以及未定型前的形式、形状。如"雏鸟""雏形"等。

②"皮"。《说文》："剥取兽革者谓之皮。"本义指"兽皮"。现指人或生物体表面的一层组织，以及包在或围在外面的东西。如"树皮""封皮"等。

(2)因感觉性质相通，从原意扩大到其他感情相似的意义。例如：

③"甘"。《说文》："美也。"《徐曰》："物之甘美者也。"现在常用的意义除了美味、味道甜之外，还有心里乐意的意思，如"心甘情愿"。

④"苦"。《说文》："苦，苓也。""苓"是一种苦菜，表示味苦的意思。现在的"苦"，不仅有"甘苦"之"苦"义，还衍生出"辛苦""痛苦"等义。

(3)由专名扩大为通名。例如：

⑤"江""河"。古代专指长江、黄河，后来扩大到河流的通名。

⑥"好"，古义指女子貌美，后指一切美好的事物、善良的品质等。

⑦"中国"，古义指中原地区，现在指全中国。

(4)由只表示事物某一部分的词，扩大到表示这一事物的整体。例如：

⑧"秋"。《说文》："秋，禾谷熟也。"本指一年四季中的"秋季"，后由一个季节扩大为一年的意思。如"一日不见，如隔三秋"。

2. 词义缩小

词义的缩小，是指词的古义的内容，随着时代的变化逐渐变得狭小的现象。词义缩小有以下三类：

(1)词义程度的减弱。例如：

①"饿"。古义指严重的饥饿，已达到受死亡威胁的程度。《孟子·告子下》："饿其体肤，空乏其身。"即用"饿"的古义。今义的"饿"，指一般的肚子饿，程度减弱了。

②"怨"。古义是"恨"的意思。《屈原列传》："屈平之作《离骚》，盖自怨生也。"这个"怨"即是古义。今义的"怨"，由古义"恨"减弱为"不满意，责备"的意思。如"从无怨言""任劳任怨"。

(2)词义表示范围的缩小。例如：

③"禽"。原是飞禽走兽的总称。《华佗传》："吾有一术，名五禽之戏。"这里的"禽"显然是古义。今义的"禽"，词义范围缩小为专指鸟类。如"家禽""飞禽"。

④"丈夫"。古义是男子的通称。《触龙说赵太后》："丈夫亦爱怜其少子乎？"这里指成年男子。《勾践栖会稽》："生丈夫，二壶酒，一犬。"这里指小男孩。今义"丈夫"专指"妻"的配偶。

⑤"子"。最初是孩子的总称，不分男孩、女孩都称"子"。现在"子"只指"儿子"了。

⑥"臭"。古代泛指气味。现在只指难闻的气味。

(3)词义义项的减少。例如：

⑦"劝"。古义常用义项有鼓励、劝说、规劝。《劝学》之"劝"，就是"鼓励"的意思；《赤壁之战》：

“肃劝权召瑜还。”即“劝说”之意。今义中只剩下“劝说、规劝”这一义项。如“劝人改过”。

⑧“迁”。古义常用义项有迁移、变换、调任、升职、贬谪、流放。《〈指南录〉后序》：“战、守、迁皆不及施。”(迁移)《张衡传》：“公车特征拜郎中，再迁为太史令。”(调任、升职)《屈原列传》：“顷襄王怒而迁之。”(流放)今义“迁”，只剩下“迁移、变换”这一义项。如“迁居”。

⑨“让”。文言中既可表辞让、谦让之意，又可表责备之意。现在只用前一意义。《苏武传》：“使者大喜，如惠语以让单于。”(责备)

3. 词义转移

古汉语中一些词义，随着历史的发展，由表示原来的对象，转移为表示另外一种对象，这就叫词义的转移。词义转移有以下几种情况：

(1)由表示甲事物转移到表示乙事物。例如：

①“币”。古义指礼物。《苏武传》：“置币遗单于。”今义已转移为“钱”的意思。

②“涕”。古义指眼泪。《促织》：“儿涕而去。”今义一般作“鼻涕”解。

(2)由表示甲动作转移为表示乙动作。例如：

③“走”。古义为“跑”“逃跑”。《廉颇蔺相如列传》：“窃计欲亡走燕。”今义的“走”是“步行”。

④“去”。古义指离开某地。《岳阳楼记》：“去国怀乡。”今义则指到某地去。

⑤“勤”。古义是“辛苦”，与“逸”相对。《殽之战》中“勤而无所，必生悖心”的“勤”就是“辛苦”的意思。今义“勤”已没有它的古义了，转移为“做事尽力，不偷懒”。

(3)由表示甲义的范围转移到表示乙义的范围。例如：

⑥“慢”。古义是“怠慢”。今义的“慢”是指速度缓慢，与“快”相对。词义的范围，从心理活动转移到动作方面来。

(4)由甲义转移为乙义时，词性也产生转移。例如：

⑦“牺牲”。古义指祭祀时用作祭品的牛、羊、猪等牲畜，属名词。《曹刿论战》中“牺牲玉帛，弗敢加也”的“牺牲”即用古义。今义转移为：为了正义的目的舍弃自己的生命或利益，属动词。

⑧“假”。古义指“借”，属动词。《劝学》中“假舟楫者，非能水也”的“假”，即用古义。后来“假”逐渐转移为“假期”和“真假”的“假”，不仅古义消失了，词性也由原来的动词转移为现在的名词或形容词了。

4. 词义感情色彩的变化

古今词义在演变的历史过程中，褒贬意义相互转化的现象，叫做词义感情色彩的变化。例如：“卑鄙”一词，古义表示出身低微，见识浅陋，是一个表谦虚的中性词；今义指品质恶劣。词义的感情色彩变化有以下几种：

(1)褒义词变化为贬义词。例如：

①“明哲保身”。源出《诗经》：“既明且哲，以保其身。”赞扬一个人聪明有智慧，善于适应环境。今义指不坚持原则，只顾自己的处世态度。词义由“褒”变“贬”。

②“复辟”。原指失位君主复位。《明史·王骥传》：“石亨、徐有贞等奉英宗复辟。”褒义词。今义已变成“恢复旧制度”的贬义词。

③“爪牙”。原指勇士、武将，现指帮凶、狗腿子一类的坏人。

④“衣冠禽兽”。原来是指官服上绣的禽和兽的图案，现在指穿衣服戴帽子的畜生。比喻道德败坏，行为像畜生一样的人。

(2)贬义词变化为褒义词。例如：

⑤“乖”。古义指偏执、不驯顺。《林黛玉进贾府》中“行为偏僻性乖张”即用古义。今义是“听话、安顺”。如“这孩子真乖”。

⑥“锻炼”。《汉书·路温舒传》：“上奏畏却，则锻炼而周内之。”(注：却，批驳退回。内，通“纳”。)这里的“锻炼”是指玩弄法律、陷人入狱的意思。贬义词。今义的“锻炼”完全是褒义，如“锻炼身体”。

(3)中性词变为褒义词或贬义词。例如：

⑦“谤”。古义指议论、批评他人过失。《邹忌讽齐王纳谏》中“能谤讥于市朝”即用古义，今义

"谤"为"恶意中伤"。

⑧"祥"。古义指预兆、有吉有凶。《左传·僖公十六年》:"是何祥也,吉凶焉在?"即用古义"吉凶预兆"。今义多指吉兆,如"吉祥"。

5. 名称说法改变。例如:

"目"改称"眼睛","日"改称"太阳","寡"改称"少"。

6. 单音词变为复音词。例如:

"前"变为"前面","敌"变为"敌人"。

由于语言在发展中,词义或扩大,或缩小,或转移,因此我们阅读文言文时,必须注意古今异义的词。

四、汉语中的新词语

所谓新词语,是指内容新、形式新,原来的词汇系统中没有或虽有但内容完全不同的词语。新词语是社会的一面镜子,它能直观迅速地反映社会的发展,社会发展的时期往往也是新词语产生的高峰时期。

能产性(又称"派生性")强可以说是当今汉语新词语的一个相当突出的特点,并且这一特点也体现在其他特征之中。有学者认为,当前汉语中每年产生的新词语有一千个左右,平均每天产生三个。

当前汉语中的新词语大部分是新造词。比如,手机、网民、扶贫、融资、年薪、听证会、放心肉、减肥茶。也有一部分词语的形式是旧的,在新时期产生了新义,即所谓"旧瓶装新酒",使得新生的意义一时成为使用频率很高的义项。而旧词产生新义主要通过引申和比喻两种途径,多表现为由某一专业的专用词进入其他社会生活领域,成为全民词汇。比如,"下课",新义指被解职;"内功",新义指自身的素质、实力;"变脸",新义比喻事物的面貌发生了很大的变化;"黑马",新义指在体育比赛或其他竞争中出人意料的优胜者。现代汉语词语一直以双音节词语为主,但在当前产生的新词语中多音节词语明显增多,打破了汉语词语中双音节词语占主要地位的局面。比如:打白条、蜻蜓干部、未婚妈妈、打摆子政策、青年志愿者等。

新词语的缩略最常见的是由多音节(多为四音节)缩略成双音节。如:婚姻介绍→婚介,体育彩票→体彩,维护和平→维和,物资流通→物流,研究开发→研发,中央电视台→央视,娱乐新闻记者→娱记等。也有多音节缩略成三音节的。如:奥林匹克运动会申办委员会→奥申委,世界博览会→世博会等。

随着中外交流的空前频繁,新词语中出现了大量的外来词。当前汉语中的外来词以英、美外来词为主,也有为数不少的日语外来词。外来词有音译的,如克隆、镭射、麦当劳、肯德基、摩托罗拉等;有音义兼译的,如迷你、可口可乐等;也有夹用外文字母或全部使用外文字母的,如IC卡、三K党、卡拉OK、BASIC语言等。日语外来词是指源于日本的汉字词。这些词在日语中就以汉字形式出现,但读音和意义都和汉语不同。这部分外来词一般人不易感受到。如量贩店(指零售商店)、料理(指菜肴、饮食)、人气(指名气、声望)等。

由于广东、香港等地经济发展迅猛,粤方言伴随着经济浪潮大量进入普通话。普通话吸收的港台词有:纯情、亮丽、层面、宠物、传媒、斥资、个案、转型、廉政、构想、认同、按揭、整合、互动、资深、瓶颈等。其中吸收的不少词语在普通话中已经有了同义表达的词语。由于粤方言中的词语形式比较活泼,用法比较新鲜,并多有个性,这些词语也就逐步从并存共用转到部分替代。如的士、拍拖、巴士、收银台、炒鱿鱼,在普通话中就有等义的出租汽车、谈恋爱、公共汽车、收款处、辞退。

此外,当前新词语中还有一种值得关注的现象,那就是利用某一个新兴的"准词缀"形成一批带有该词缀的新词。例如:"超"——超音速、超短波、超负荷、超现实,"零"——零距离、零首付、零风险、零事故、零缺陷,"软"——软广告、软环境、软科学、软杀伤,"迷你"——迷你裙、迷你电影、迷你花园、迷你汽车,"看"——看好、看旺、看涨、看跌、看淡,"吧"——网吧、影吧、冰吧、布吧、书吧、氧吧、玩吧。这种准词缀从形式上看和以往的词缀(如:子、头等)相似。它固定于词头或词尾,具有很强的构词能力,可以不断地创造新词。但它们的意义并未虚化,都还有明显实在的意义,是新词词义的重要组成部分。

五、怎样解释词

(一)下定义

对词语所反映的概念的本质特征作出简练而确切的说明。例如,梏(gù),古代木制的手铐:桎梏。

(二)分析释词法(又称拆合法、语素分析法)

有些合成词,构成该词的各个语素意义非常明确,可先分别解释各个语素的意思,然后再综合起来讲。例如,沉勇:沉着而勇敢。

(三)形容比喻

有些词不好下定义和分析综合,就用形容和比喻来解释。例如,褴褛:形容衣衫破烂。

(四)介绍词源,说明转义

游刃有余:《庄子·养生主》:"彼节者有间,而刀刃者无厚;以无厚入有间,恢恢乎其于游刃必有余地矣!"意思是骨节间有空隙,刀刃很薄,用薄薄的刀刃游行于骨缝中是大有回旋余地的。现多用来比喻做事熟练,轻而易举。

(五)对多义词,可先介绍本义,再说明转义

沸腾:液体达到一定温度时急剧转化为气体的现象。(本义)比喻事物蓬勃发展或情绪高涨。(转义)

(六)先讲明难点,再综合

洞察:洞,清楚,透彻。洞察,就是观察得很清楚。

(七)以同义词释词

即用同义词释义。例如:菲薄,就是微薄;自诩,即自夸。

(八)用反义词的否定式释词

龌龊:不干净。陌生:不熟悉。

以上介绍的几种释词方法,不是孤立的,为了准确揭示词语的含义,通常是几种方法结合使用。

六、熟语

熟语是定型的词组或句子,相当于一个语言单位。熟语源远流长,言简意赅,富有表现力。熟语主要包括成语、惯用语、谚语、格言、歇后语等。

(一)成语

所谓成语,是指语言中经过长期使用、锤炼而形成的固定短语(词组)。它是比词大而语法功能又相当于一个词的语言单位。成语大多由四字组成。成语大致有六个来源。1.来源于神话传说,如:夸父逐日、精卫填海。2.来源于寓言故事,如:刻舟求剑、狐假虎威。3.来源于历史故事,如:负荆请罪、破釜沉舟。4.来源于文人作品,如:老骥伏枥、青出于蓝。5.来源于外来文化,如:功德无量、火中取栗。6.来源于群众口语,如:咬文嚼字、不三不四、心直口快。

成语有如下特点:

1.结构的相对定型性。2.意义的整体性。3.时间和空间的习用性。4.形成的历史性。5.内容和形式的民族性。

成语的语法结构:

1.并列关系 例如:披坚执锐 防微杜渐 失之东隅,收之桑榆
2.承接关系 例如:见异思迁 先斩后奏 皮之不存,毛将焉附
3.目的关系 例如:削足适履 守株待兔 杀一儆百
4.因果关系 例如:水滴石穿 水落石出 失之毫厘,谬以千里
5.主谓关系 例如:毛遂自荐 杞人忧天 夜郎自大 叶公好龙
6.动宾关系 例如:不见经传 顿开茅塞 如丧考妣

7. 动补关系　例如：轻如鸿毛　退避三舍　无动于衷　荒谬绝伦
8. 动宾补关系　例如：问道于盲　贻笑大方　拒人千里
9. 连动关系　例如：画蛇添足　抱薪救火　亡羊补牢
10. 兼语关系　例如：请君入瓮　令人生畏　引狼入室　化险为夷
11. 偏正关系　例如：衣冠禽兽　扶摇直上　孜孜不倦　一丘之貉

（二）惯用语

惯用语是口头上常用的习惯用语。如“钻空子”“吹牛皮”“扣帽子”等等。

惯用语同成语有相同之处，也具有简明、生动、形象的特点。

惯用语与成语的区别：

1. 惯用语通俗易懂，具有口语色彩；成语显得文雅，含义深，具有书面语特点。

2. 惯用语大都是三个音节的动宾短语；成语大都是四个音节，结构类型较复杂。

3. 惯用语大都能拆开、在动宾之间能插进其他成分；而成语一般不能随意拆开插进别的成分。例如：打棍子——打了你一棍子；敲竹杠——敲了他的竹杠。

（三）谚语

谚语是流传在人民群众口头上的通俗而含义深刻的定型化的语句。谚语一般都能揭示一个客观规律或反映一个事理，使人从中受到启示。例如：

众人拾柴火焰高。　三百六十行，行行出状元。

只许州官放火，不许百姓点灯。

谚语通俗易懂、生动形象、结构整齐，音节匀称，音调和谐。

谚语与成语的区别：

1. 从结构上看，谚语一般是句子，成语大都是四个字的短语。

2. 从来源上看，谚语来自人民群众的口语，成语来自古代神话或历史故事等书面语言。

3. 从特点上看，谚语通俗易懂，成语文雅深刻。

（四）格言

格言是简练而含义深刻并具有教育意义的警句。例如：

学如逆水行舟，不进则退。　盛名之下，其实难副。

千里之行，始于足下。　虚心使人进步，骄傲使人落后。

谚语和格言的区别：

1. 来源不同。谚语来自人民群众；格言是名人语录，大都见于文献记载。

2. 意义色彩不同。谚语通俗，口语色彩鲜明；格言书面语色彩浓厚，有些必须加以解释才能理解其意义。

3. 格言比谚语的哲理性和教育意义更深刻，大都意味深长，促人警醒。

（五）歇后语

歇后语是由“前语”和“后语”组成，并且只要说出“前语”就能让人猜到“后语”的意思的一种口头用语。根据前后两部分的构成情况，歇后语分为两类：

1. 喻义的。“前语”是一个比喻，“后语”是对“前语”的解释。例如：

水中捞月——一场空。　万年松树，十年芭蕉——粗枝大叶。

2. 谐音的。例如：

孔夫子搬家——尽是书（输）。　上鞋不用锥子——针（真）好。

歇后语不能滥用，要注意场合。歇后语的内容要健康。

七、正确使用词语的方法

《考试大纲》对本部分的要求虽然是“正确使用词语（包括熟语）”，但“使用”一词已体现出词语处在“动态”中，所以必须结合具体语境来选择恰当的词语，而判定词语使用是否正确，也离不开整个语境。

(一)实词

1. 注意词语的附加意义

附加意义是词义中不反映事物本质特点的部分,但对于理解词、使用词也是重要的根据。附加意义主要表现在:

(1)感情色彩。即词义是褒义、贬义,还是中性。例如:谦虚(褒)、虚伪(贬)、骄傲(中)。

(2)态度色彩。如说"诞辰"比说"生日"更表敬重,说"毁斥"比说"反驳"更加严肃,说"教书匠"则带有鄙视态度。

(3)语体色彩。如同是一种物质,在科技文中称"碳酸氢钠",在中医药书中称"仲曹",在食品店里称"小苏打",百姓口语中(特别是农村)称"面起子"。使用时要分清场合、地点、对象。

2. 辨析同义词,特别是其中的近义词

可以从以下几个方面入手:

(1)从意义方面辨析

①词义程度的轻重。不少近义词,它们所表示的事物在概念上差不多,但程度上有轻重之分。如:相信、信任。"相信"是认为正确或确信而不怀疑,程度轻。"信任"指相信而敢于托付,程度较深。

②词义的着重点。如"诡辩"与"狡辩"同是无理强辩,但"诡辩"着重在"诡",即欺诈、怪异,"诡辩"就是用欺诈的手段、奇怪的言辞、似是而非的论证,来为自己的谬论辩护。"狡辩"则着重在"狡",即不老实、耍花招,"狡辩"就是歪曲事实,狡猾地为自己的错误言行辩解。

③词义的范围大小。如"开垦""开拓""开辟"都有"开发"之义,但"开垦"指把荒芜的土地开发为可耕种的土地,"开拓"指在原来开发的基础上加以扩充,两者词义范围较小。而"开辟"着重指开发、新开创,词义范围较大。

④词义适应的对象。有些词意义上的差别在于适用不同的对象和情况。如"领略"与"领会"都有理解、认识、体会的意思,但前者着重指感情上的体验、欣赏,可连接"风光""风味"等;而后者着重指理性上的了解、体会,适用于抽象事物,可连接"内容""道理"等。因此,二者是不能替换的。

(2)从色彩方面辨析

①感情色彩不同。如"鼓动""鼓舞""煽动"都有激发人的情绪使之行动起来的意思,但"鼓动"是个中性词,既可用在好的方面,也可用在坏的方面;"鼓舞"是个褒义词,指受到好的影响而积极奋发;"煽动"则是个贬义词,有挑唆、怂恿人干坏事的意思。

②语体色彩不同。语体色彩主要表现在口语和书面语的区别上,如"夫人"和"爱人"是同义词,前者适用于庄重的场合,后者适用于一般的场合。此外还表现在文体的不同方面,如"乙醇"和"酒精"其实是同一物质,但"酒精"常用于文学语体,"乙醇"则见于科技语体。

(3)从词的用法上辨析

①从词的搭配上辨析。在语言的使用实践中,不同的词往往有不同的固定搭配对象,有的适宜与这些词搭配,有的适宜和另一些词搭配。如"交流"和"交换",前者多与表示比较"虚"的事物的名词搭配,如交流思想、交流体会;后者多与表示"实"一些的事物的名词搭配,如交换礼品、交换场地等。

②从语法功能上辨析。有的同义词词性不同,如"阻碍"是动词,而"障碍"是名词;"充分"是形容词,"充满"是动词。词性不同,它们在造句时表现的功能就不同。

另外,应特别注意的是,许多同义词都含有不同的语素,而词义的差别正是由这些不同语素造成的。在辨析同义词时,要善于抓住这些语素。

(二)虚词

1. 造句法

当有些虚词在意义和用法上比较模糊时,如果用它们各造一个句子,那么意义就会一目了然。如选择关系中几个关联词的区别,可造句如下:

①不是老于户牖,就是战死沙场。

②与其老于户牖,不如战死沙场。

③宁可战死沙场，决不老于户牖。

可见，“不是……就是……”表示两者必选其一、非此即彼的意思；“与其……不如……”表示先舍后取的选择关系，立场较明确；“宁可……不……”表示的是先取后舍的选择关系，感情强烈，态度坚决。

2. 辨字法

有些虚词读音相同、字形相近，很容易混淆，像“必需”与“必须”、“径自”与“径直”等。这类词，只要辨清其中不同的那个字，就能区分出彼此的意思了。具体分析如下：第一组，“必需”（“需”义为一定要有的，不可少的，需用的东西，如“日用必需品”），“必须”（“须”表示的是事理上和情理上的必要，一定要；或表示一种命令语气），所以“必需”一般修饰较具体的东西，而“必须”后跟的是较抽象的东西，在句子“你□□去！”方框中填入的应是“必须”。第二组，“径自”（“自”强调的是主观性，含有自作主张、擅自主张的意思，含贬义），“径直”（“直”主要表示动作、行为一直进行下去，不间断、不费周折或不绕弯）。可用这种方法区别的词还有：“一起”与“一齐”，“既而”与“继而”，“不止”与“不只”，“而后”与“尔后”等。

3. 搭配法

有些虚词在使用时还有搭配上的要求，也应予以注意，大概可分为以下四种：

（1）语意要求。如副词“相继”，所在句中的主语不能为单个人或事物，因为它表示两个或两个以上的人或事物先后有相同的动作的意思。所以句子“在反贪局的调查过程中，女市长突然自杀身亡，随后公安局长也相继自杀”，可修改为“在……过程中，女市长和公安局长相继自杀”。

（2）用法要求。如“霎时”和“刹那”，都是时间极短的意思，但“霎时”是时间副词，“刹那”是时间名词，前面可加介词，而“霎时”不能；另外，“霎时”可派生出“一霎、一霎间、一霎时、霎时间”，“刹那”可派生出“一刹那、刹那间”，而不能混写成“一霎那、刹时间、霎那间”等。

（3）感情色彩要求。如“大肆”与“大事”，“大肆”（肆，放肆、放纵）是贬义词，搭配的动词本身应含贬义色彩，如“掠夺、搜刮、挥霍、鼓吹、歪曲、污蔑、攻击、屠杀、鼓噪”等；而“大事”（事，从事）是中性词，搭配的动词一般也是中性词，如“宣传、活动、宣扬、操办、渲染、介绍”等。

（4）固定搭配要求。先看一个例句：“……这也就决定了女性总要离开她所出生的那个家庭而外嫁别家。”这里的介词“所”用错了，因为在现代汉语中，“所＋动词＋的＋名词”这个结构能否成立，要看其中的动词和名词能否构成动宾关系。可以说“所读的书（读书）”“所怀念的亲人（怀念亲人）”，而不能说“所读的人（读人）”“所怀念的时间（怀念时间）”。所以例句中的“所”应删去。

（5）掌握关联词语的搭配形式及填充方法。

关联词语的搭配形式见“第五部分　句子”附录三。填充方法如下：

①所填关联词语要适应语句表达的具体内容，语句结构所表达的是怎样的意义关系，就选取与之相应的关联词语。

②在运用和填充关联词语时要注意关联词语常成套使用的特点，如果随意改变其前后呼应的词语，就会引起意义和关系上的混乱。

③如果要求填充的题是由几个复句组成的较长的文字，那么就要从两方面入手：一是综观全题，分清这段文字有几个复句、几个分句；二是在综观的基础上再推敲同一复句中各分句间的意义关系、复句与复句的层次关系，根据不同关系，选用不同的关联词。

（三）成语

1. 辨源流，切忌望文生义

成语源远流长，很多是来自神话、寓言、典故中，而且在其演变过程中不断引申新义，甚至发生转义。因此，它们的意义常常是意在“字”外，需要我们追源溯流，寻根究底，才能准确把握和理解，切忌望文生义，单凭字面感觉臆断成语的意思。如“炙手可热”一词，出自唐代杜甫的《丽人行》：“炙手可热势绝伦，慎莫近前丞相嗔！”用来比喻权势极大，气焰极盛。弄清了这些，就不会把它理解为“受欢迎的人和事物”，而望文生义导致误用了。

2. 辨色彩，切忌褒贬误用

有些成语在长期的使用过程中，已经附带着一定的感情色彩，使用时应认真辨析。如“同心同德”“从容不迫”为褒义，“鼠目寸光”“狼狈为奸”为贬义。在使用时，如果不辨褒贬，就会造成错误。如“始作俑者”常被人当做褒义词用，其实这是个贬义词，比喻恶劣先例的开创者。《孟子》记载，孔子反对用俑殉葬，曾说：“始作俑者，其无后乎？”

3. 辨对象，切忌张冠李戴

有的成语有其特定的适用范围和对象，如果弄不准确，就会出现张冠李戴的毛病。如：“到杨家溪大峡谷军事漂流绝对令人余音绕梁，这里是世界首例主题漂流项目，既惊险、刺激，又有抗战文化的内涵。若不是亲自体会，很难体会到漂流真正的魅力。”句中“余音绕梁”用于“漂流”就属于用错对象。

4. 辨句意，切忌不合语境

有些成语使用时有着特定的语言环境，如果使用不当，就会与所在的语境不协调。如：“当时暴雨如注。满路泥泞，汽车已无法行驶，抢险队员们只好安步当车，跋涉一个多小时赶到了大坝。”句中“安步当车”的意思是“慢慢地步行，就当是坐车”。使用时必须具备两个条件：一是行走速度缓慢，二是行走者不慌不忙地步行，表现出的是一种闲适平和的心情。而句中描述的是抗洪抢险时的情景，情况紧急又遇上暴雨如注。该成语与所在的语境很不协调，是不恰当的。

5. 辨尊卑，切忌谦敬错位

由于成语约定俗成，某些成语的使用有一定的场合，有的还需区别尊卑、长幼、主客、男女，这就要求我们在使用过程中，要注意场合，做到自谦敬人，得体合度。如果辨别不准，就会导致谦敬错位。如：“您刚刚乔迁新居，房间宽敞明亮，只是摆设略显单调，建议您挂幅油画，一定会使居室蓬荜生辉。”句中“蓬荜生辉”表示由于别人来到自己家里或张挂别人给自己题赠的字画等而使自己非常光荣。因此“蓬荜生辉”用作谦辞时，只能对己。这里犯了谦辞敬用的错误。

6. 辨程度，切忌轻重失度

有些成语词义较轻，有些成语词义较重，这就要求根据特定的语言环境选用词义轻重适度的，以避免大词小用或小词大用。例如：“李老师当班主任 20 年，勤勤恳恳，日理万机，积劳成疾仍坚持工作。”句中“日理万机”的意思是一天之中要处理上万件事务，形容政务繁忙（多指高级领导人）。这个成语词义很重，用在“李老师”身上就犯了“大词小用”的毛病。

7. 辨位置，切忌搭配不当

成语有较为固定的意义和用法，因此辨析时还应注意分析该成语在句中的位置，分析前后的搭配关系，担当怎样的成分，起何作用，是否具备这种语法功能。如：“谈起电脑、互联网，这个孩子竟然说得头头是道，左右逢源，使在场的专家也赞叹不已。”句中的“左右逢源”比喻做事得心应手，怎样进行都很顺利，也比喻办事圆滑，不能用来做“说”的补语。

8. 辨词义，切忌重复赘余

在辨析句中成语使用正误时，还要认真梳理语句，琢磨所用成语的“字”义，并分析整个句子的意思，查看词义是否与句意重复，或者用词赘余。如：“某些大学生的语文水平实在低劣，被人贻笑大方，影响了学校的声誉。”句中“贻笑大方”本身含有被动义，意思是让内行人见笑。因此，“被人”属多余。

附录一

易混实词辨析

本表中“易混实词”包括：因音同而易混的同音词，因意义相近而易混的近义词和同义词。

A

【哀求　恳求　央求】“哀求”侧重以可怜的样子哀怜请求。“恳求”侧重以诚恳态度请求。“央求”同“恳求”，多与“再三”搭配。

【爱护　爱惜】“爱护”侧重“护”，使不受损害。如：爱护树木。“爱惜”侧重“惜”，珍惜，不浪费。如：爱惜时间。“爱惜”还指爱护。如：爱惜国家公物。

【爱慕　倾慕　羡慕】“爱慕”强调喜爱人或某种思想意识。如：爱慕虚荣。“倾慕”强调一心向往某人。“羡慕”强调希望自己也得到别人具有的有利条件。

【安闲　安适】"安闲"侧重清闲。如：安闲自在。"安适"侧重舒适。如：生活安适。

【安置　安顿　安排】"安置"重在使有位置。如：安置转业干部。"安顿"重在使安稳。如：安顿家小。"安排"重在使有序。如：安排生活。用于人可带兼语。如：安排他当队长。

【安宁　安谧　安静】"安宁"侧重强调因没有骚扰而使人安心。多用于社会秩序，也用于人的心情。"安谧"多用于具体环境，书面语。"安静"用于形容环境、心情或人的状态。如：过了几年安静的生活。

【安慰　抚慰　安抚】"安慰"侧重使人安心适意。"抚慰"侧重对人的深切关心。"安抚"侧重使人或事物有着落，感到安稳。"安慰"的对象常常是个体。"抚慰"的对象常常是忧虑或受伤的心灵。"安抚"的对象多指群体。如：安抚伤员。

【安详　慈祥　慈爱】"安详"侧重外表平静，动作从容不迫，不受年龄限制。"慈祥"侧重外在的神态，指老人。"慈爱"指年长者对年幼者仁慈怜爱。

【按照　依照　遵照】"按照"指根据，依照。"依照"强调依原样照办，不得走样，多用于法律条文。"遵照"侧重遵从，表示尊敬。

【暗淡　黯淡】二者都指不明朗。不同的是"暗淡"指光线昏暗，不明亮；色彩不鲜艳。如：光线暗淡。还指前途不光明；没有希望。如：前途暗淡。"黯淡"，指暗淡。如：色彩黯淡。

【遨游　畅游】"遨游"指漫游，游历。如：遨游世界。"畅游"指尽情地游览。如：畅游黄山。"畅游"还指游泳。

【翱翔　飞翔　盘旋】"翱翔"指在空中回旋地飞，有赞美意味。"飞翔"指盘旋地飞，泛指飞。"盘旋"指环绕着飞或走；还指徘徊，逗留。

【傲视　雄视】"傲视"指不放在眼里。如：傲视群雄。"雄视"指称雄。如：雄视天下。

【懊悔　懊恼】"懊悔"重在"悔"，后悔，更多的是"责己"。"懊恼"重在"恼"，烦恼，更多的是"怨天尤人"。

B

【把持　操纵】"把持"指独占、独揽，往往是公开性的活动。如：把持朝政。"操纵"指支配、控制，多是幕后行为。如：操纵市场。

【把握　掌握】"把握"强调抓住。如：把握机遇。"掌握"强调支配，控制。如：掌握政权。

【摆脱　解脱　挣脱　超脱】"摆脱"侧重甩掉限制自己的人或物。"解脱"侧重从不良情况中脱身。如：诸事纷扰，使他难以解脱。"挣脱"比"摆脱"程度重，涉及对象是物。如：挣脱枷锁。"超脱"：①不拘泥传统、成规等，形容词。如：性格超脱。②超出，脱离。如：超脱尘世。③解脱。

【败落　衰败　衰落】"败落"侧重由盛而衰，多指家道。如：贾府败落。"衰败"侧重走向败坏而力量微弱，多用于势力、家业、精力等。"衰落"侧重表示走向没落而气势下降，多用于权势、国家、民族、事业、士气等。如：唐末诗风衰落。

【败坏　破坏　损坏】"败坏"的对象多是风气、传统、名誉、法纪等抽象事物。"破坏"的对象既可以是实物，也可以是名誉、友谊、团结、秩序、条约等抽象事物。"损坏"的对象一般是古迹、建筑、公物等实物。"败坏"还可以作形容词。如：道德败坏。

【拜会　拜见　拜谒】"拜会"一般用于外交场合。"拜见"指拜访会见上级、长辈或有威望的人。"拜谒"只用于拜访高级首长和著名人士，书面语。如：拜谒享誉世界的物理学家。"拜谒"还用于瞻仰陵墓、碑碣等。

【颁布　颁发】"颁布"侧重于公布，对象往往是法令、条例等。"颁发"侧重于授予、发出，对象常是奖品或命令、指示等。

【办法　方法　措施】"办法"指处理事情或解决问题的方法，小事大事皆可用。"方法"指解决问题的门路程序。"措施"指处理重大事情的方法。如：战略措施。

【包括　包罗　囊括】"包括"指包含，其范围小于"包罗"。"包罗"指包括(大范围)。如：包罗万象。"囊括"指把全部包罗在内。如：囊括金牌。

【包含　包涵】"包含"指里边含有。"包涵"指请人原谅。如：请多包涵。

【保障　保证】"保障"指有效地保护人民生命财产、劳动、科研成果等使不受侵犯和破坏。"保证"着重于用事实或行动担保做到。

【保护　庇护　袒护　维护】"保护"侧重"保"，保卫、护卫，使免受损害。"庇护"重在"庇"，包庇不好的。如：庇护罪犯。"袒护"重在"袒"，偏袒有错的一方，处事不公正。如：孩子有了错误，决不能袒护。"维护"重在"维"，使维持原样而不受损害。如：维护合法权益、维护线路。

【抱负　理想　志向】"抱负"指远大的志向。"理想"指对未来事物的想象或希望(多指切合实际的)。"志向"指关于将来要做什么事，要做什么样人的意愿和决心。"抱负""志向"只用于个人，"理想"还用于整体和组织。"理想"可以作形容词。

【抱怨　埋怨】"抱怨"表示怨恨，语义较重。

“埋怨”表示责怪，语义较轻。“埋怨”的对象可以是自己，“抱怨”无此用法。

【暴戾　暴力】“暴戾”指粗暴乖张，残酷凶恶，形容词。如：暴戾成性。“暴力”指强制的力量，武力，名词。如：使用暴力。

【暴露　揭露　显露】“暴露”指有意无意地让隐蔽的显露出来。“揭露”指有目的地公开使有意掩盖的东西显露出来。“显露”则往往是无意或不由自主地使隐蔽的事物公开。“暴露”常用于事物，也可用于人，常和思想、目标、本性、实质、身份、嘴脸等搭配。“揭露”常和本质、矛盾、阴谋、罪行等搭配。“显露”常和情绪、神色、才华、生机等搭配。

【爆发　暴发】“爆发”用于火山、力量、情绪、事变等。如：战争爆发。“暴发”用于突然发作、突然得势或发财等。如：山洪暴发。

【报到　报道】“报到”，动词，指向组织报告自己已经来到，如“新生入学报到处”。“报道”也写作“报导”，名词，指新闻稿，如“他写了一篇新闻报道”；动词，通过媒体把新闻告诉群众，如“报道消息”。

【悲凉　凄凉　悲苦】“悲凉”指悲哀凄凉，多用于形容声音、心情。“凄凉”：①凄惨。如：晚景凄凉。②寂寞冷落（多指环境或景物）。“悲苦”指悲哀痛苦，多用于形容神色、心情。

【卑鄙　卑劣】“卑鄙”指言行、心灵恶劣，不道德。“卑劣”指卑鄙恶劣，语义比“卑鄙”重，多指做法。

【奔赴　奔向】“奔赴”侧重将要走到，跑到，赶到。如：奔赴前线。“奔向”侧重朝某个方向奔。如：奔向小康。

【奔涌　奔腾】“奔涌”重在涌出。如：热泪奔涌。“奔腾”重在跳跃。如：万马奔腾。

【本领　本事　造诣】“本领”泛指技能，能力。“本事”即“本领”，多用于口语。“造诣”特指学问、艺术达到的程度，书面语。如：他在山水画方面有很深的造诣。

【本意　本义】“本意”指本来的意思或意图。“本义”指词的本来意义。

【本质　实质】“本质”指人或事物本身固有的根本属性。如：本质特点。“实质”指内在的实际属性，跟表面的或虚假的东西相对，一般指抽象事物。如：精神实质。

【崩裂　迸裂】二者都是动词，都有裂开的意思。“崩裂”指物体猛然分裂成若干部分，如“山石崩裂”；“迸裂”指破裂，裂开而往外飞溅，如“脑浆迸裂”。

【比赛　竞赛】“比赛”侧重比较本领技术的高低。“竞赛”侧重争取优胜。如：军备竞赛。“比赛”可以带宾语，“竞赛”不可以。

【鄙薄　鄙夷】都指瞧不起。“鄙薄”口语、书面语都用。“鄙夷”用于书面语。

【鄙视　蔑视】“鄙视”重在“鄙”，认为对方卑贱。“蔑视”重在“蔑”，认为对方不值得重视。

【必须　必需】“必须”是副词，侧重应当怎样。“必需”是动词，侧重不可或缺。

【毕竟　到底　终归　终究】“毕竟”侧重对某一状况的确定的认识。“到底”侧重经过较长过程，最后出现某种结果。“终归”侧重还得回到原来的结论上。“终究”侧重表示最后的结果一定如此。“毕竟”“终归”“终究”多用于书面语，多用于陈述句。“到底”多用于口语，既可用于陈述句，也可用于疑问句。

【庇护　庇佑】“庇护”重在保护。如：庇护坏人。“庇佑”重在保佑，多与神有关。

【鞭策　催促　督促】“鞭策”比喻督促。“催促”指促使抓紧时间行动。“督促”指监督催促。“鞭策”多用于自己对自己，“催促”“督促”多用于对别人。

【贬损　贬斥】“贬损”指贬低。“贬斥”指贬低并排斥。

【辨别　鉴别　甄别　鉴赏】“辨别”侧重于把事物区分开。“鉴别”侧重于审定真伪或好坏。“甄别”指审查辨别优劣真伪，多用于人。“鉴赏”指对艺术品、文物等的鉴定和欣赏。

【辩白　辩护　辩解】“辩白”着重于“白”，说明白事实，一般指在被误会或被指责的情况下进行分辩，使真相大白。“辩护”着重于“护”，用充足的理由为自己或他人申辩。“辩解”着重于“解”，分辩解释，说明见解或言行是正确的或错误不是那么严重。

【辨正　辩证】“辨正”（辩正）指辨明是非，改正错误。“辩证”：①辨析考证；又作“辨证”。②合乎辩证法的。如：辩证关系。

【变换　变幻】“变换”指事物的形式或内容的更换。能带宾语。如：变换位置。“变幻”指事物的形式或内容不规则的或奇异的变化。不能带宾语。如：风云变幻。

【变动　变通】“变动”指社会变化，也指改变。如：变动计划。“变通”指依据不同情况作非原则性的变动。如：变通处理。

【变革　变迁】“变革”指改变事物的本质，多指社会制度。“变迁”指情况或阶段的变化或转移。如：时代变迁。

【变易　变异】二者都与变化有关，但所指的对象不同。“变易”指改变、变化。如：这里的情况并无多大变易。“变异”指同种生物世代之间或同代生物不同个体之间在形态特征、生理特征等方面所表现出来的差异。如：物种变异。

【标记　标志】都指某种记号或特征。“标志”还是动词。如：标志着水平的提高。

【标榜　鼓吹】“标榜”有“提出某种好听的名义加以宣扬”之义。如：标榜自由。“鼓吹”指宣传提倡。如：鼓吹“人性论”。

【表明　表示　标明】“表明”是表示清楚。如：表明态度。“表示”多指用言语行为显出某种态度等。如：表示欢迎。“标明”指以文字、记号标出。如：标明价格。

【表扬　表彰】“表扬”多适用于对一般好人好事的赞扬。“表彰”只适用于建立了特殊功勋或作出伟大牺牲的个人或集体，用于庄严的场合。

【禀性　秉性】“禀性”指本性。如：江山易改，禀性难移。“秉性”指性格。如：秉性各异。

【病例　病历】“病例”指某种疾病的例子。如：这种病例，我们已有成熟的医案。“病历”指医疗部门记载病情、诊断和处理方法的记录，也叫病案。如：病人出院时，不要忘记带上病历。

【摒弃　抛弃】都指舍弃。“摒弃”的对象多是不良思想、观点、主张等。“抛弃”的对象不仅可以是思想、事物，也可是人。“摒弃”多用于书面语。“抛弃”口语、书面语都用。

【摒除　驱除】都指除去。都用于思想、感情等。如：摒除杂念；驱除疑虑。“驱除”还指赶走。如：驱除蚊蝇。

【剥蚀　侵蚀】“剥蚀”多指自然风化，使用范围较窄。“侵蚀”：①逐渐侵害使变坏。如：侵蚀肌体。②暗中一点一点地侵占（财物）。如：侵蚀公款。

【驳斥　反驳】“驳斥”常用于反驳错误的观点、言论等，语义较重。“反驳”侧重表示否定对方与自己对立的意见，多用于争论场合。

【补偿　补给】“补偿”指抵消（损失、消耗），补足（缺欠、差额）。如：补偿损失。“补给”指补充、供给粮草和弹药等。

【哺育　孕育】“哺育”：①喂养。②比喻培养。如：祖国和人民哺育了我们。“孕育”比喻既存的事物中酝酿着新事物。如：孕育生命。

【不力　不利】“不力”指不尽力，不得力。如：办事不力。“不利”指没有好处，不顺利。如：这个地形不利于我军而有利于敌军。

【部署　布置】二者都与安排相关事情有关。“部署”指安排、布置人力、任务等，一般指大规模地、全面地、有原则地安排配置。如：指挥员的正确部署来源于正确的决心。“布置”指在一些活动中作出安排，多指具体的安排、配置等。如：布置工作、布置任务。

【博得　赢得】都与“好感”“同情”等搭配。“赢得”还与“时间”搭配。

【不齿　不耻】“不齿”指不与同列，表示鄙视。“不耻”指不以为耻。

【不和　不合】“不和”指人际关系不好。“不合”指性情不相投。

【不愧　无愧】“不愧”指当得起，多与“为”或“是”连用。如：不愧为英雄。“无愧”指无可惭愧之处。如：当之无愧。

【步调　步伐】“步调”多比喻进行某种活动的方式、步骤和速度。如：步调一致。“步伐”多比喻速度。如：跟上时代前进的步伐。

C

【猜测　推测】“猜测”侧重于主观猜想。“推测”侧重于根据事理去推断。

【才能　才干　才华　才智】“才能”指知识和能力。如：文艺才能。“才干”指办事能力。如：指挥才干。“才华”指表现于外的才能。多指文艺方面。如：才华横溢。“才智”多指创造、发明、判断等方面的才能智慧。

【采用　采取　采纳　沿用】“采用”重在“用”，采其可用的。“采取”重在“取”，从许多可用的事物中，选择最合适的。“采纳”着重指接受意见、建议、要求等。“沿用”指继续使用过去的方法、法令、制度等。

【财物　财务】二者都与财有关，都是名词。不同的是，“财物”指钱财和物资。如：老人死后，留下了很多财物。“财务”指机关、企业、团体等单位中，有关财产的管理或经营以及现金的出纳、保管、计算等事务。如：建立健全财务制度。

【参加　参与】“参加”指加入某种组织或活动。如：参加比赛。“参与”指参加事务的计划、讨论、处理。如：参与《刑法》的制定工作。

【残局　败局】“残局”指事情失败后或社会变乱后的局面。如：维持残局。“败局”指失败的局势。如：败局已定。

【残酷　冷酷　严酷】“残酷”指凶狠冷酷，多指手段。“冷酷”指待人冷淡苛刻。“严酷”：①严厉；严格。如：严酷的教训。②残酷；冷酷。如：严酷的压迫。

【残败　惨败】二者所指对象不同。“残败”指残缺衰败，多用于物件。如：这里有一堵残败

的墙壁。“惨败”指惨重的失败，多用于事情。如：敌人遭到了惨败。

【惭愧　羞愧】“惭愧”侧重表示内心的不安，感到有愧。“羞愧”侧重表示内心的羞耻，感到不光彩。“羞愧”的语义比“惭愧”重。

【灿烂　璀璨　绚烂　烂漫】“灿烂”侧重光彩耀眼，用于各种事物。如：文化灿烂。“璀璨”侧重色泽鲜明，多用于珠玉。“绚烂”义同“灿烂”，多用于具体事物。如：彩霞绚烂。“烂漫”：①颜色鲜明而美丽。如：山花烂漫。②坦率自然，毫不做作。如：天真烂漫。

【沧桑　兴衰】“沧桑”指沧海变桑田，比喻变化极大。如：人世沧桑。“兴衰”指兴盛与衰落。如：几经兴衰。

【仓促　仓皇】“仓促”指时间匆促，行动忙乱。“仓皇”多指心里害怕，神色慌张，举止失措。

【草拟　起草】都指文章、文件的拟稿。“草拟”还指初步设计。如：草拟规划。

【侧目　刮目】“侧目”形容畏惧而又愤恨。如：侧目而视。“刮目”指另眼相看。

【策划　策动】“策划”指谋划，筹划。如：幕后策划。“策动”指策划鼓动。语义较“策划”重。如：策动政变。

【察访　查访】“察访”指通过观察和访问进行调查。如：察访民情。“查访”指调查打听，多与案情有关。如：查访人证。

【查看　察看】“查看”指检查观察事物存在的情况。如：查看货物。“察看”指为了解情况而细看。如：察看地形。

【差别　差异　差距】“差别”“差异”都指有区别。“差异”多用于书面语。“差距”侧重强调程度上有距离，多用于某种标准和要求。如：思想差距。

【刹那　霎时】都指时间极短。“刹那”是名词。如：一刹那。“霎时”是副词。

【诧异　惊奇　惊诧】“诧异”“惊奇”都指觉得十分奇怪。“诧异”常用于书面语。“惊诧”指惊讶，多用于书面语。

【铲除　根除】“铲除”对象可是抽象事物，也可是具体事物。如：铲除杂草。“根除”指彻底铲除，程度重，对象多是抽象事物。如：根除陋习。

【谗言　诏言】“谗言”指毁谤或挑拨的话。“诏言”指奉承话。

【阐明　阐释】“阐明”重在讲明。如：阐明立场。“阐释”重在解释。如：阐释精微。

【掺和　掺杂】“掺和”指不同的东西相混合。只适用于具体事物。“掺杂”指混杂；使混杂。“掺杂”可用于具体事物，也可用于抽象事物。如：号子声和机器声相掺杂。

【颤抖　颤动】“颤抖”多指人在担心、害怕、寒冷时肢体的抖动。“颤动”多指人和物体在外力的作用下发生的振动。如：雨点落在树上，树叶不停地颤动。

【场面　局面】“场面”指一定场合下的情景。如：场面热烈。“局面”指某时期内事情表现出来的状态。如：稳定的局面。“场面”又指戏剧、电影或小说中的场景。

【倡导　引导】“倡导”指带头提倡。如：倡导新风尚。“引导”指带人向目标行动。如：引导学生自学。“引导”还指带领。如：引导记者参观。

【倡议　呼吁】“倡议”指首先建议；发起（开展某项活动）。如：倡议开展“手拉手”活动。“呼吁”指请求援助或主持公道。如：呼吁各界人士捐款赈济灾区。

【猖狂　疯狂　猖獗】“猖狂”常形容敌人的进攻、反扑等行动。“疯狂”除指猖狂外，还指做事超出常理。如：疯狂购物。“猖獗”除用于敌人行动外，还用于疫情。如：病毒猖獗。

【抄袭　剽窃】“抄袭”侧重原封不动地照抄。“剽窃”侧重窃取，含有强烈的谴责意味。“抄袭”还指不顾客观情况，沿用别人的经验方法等。

【嘲笑　嘲讽　嘲弄】“嘲笑”侧重“笑”，用言辞笑话对方。“嘲讽”侧重“讽”，以尖刻言辞讥讽。“嘲弄”侧重“弄”，拿人开心。“嘲讽”“嘲弄”语义比“嘲笑”重。

【撤销　取消　撤回】“撤销”的对象常是机构、单位、职务、决议、命令、处分、制度等，多用于上级对下级。“取消”的对象除“撤销”的对象以外，还可以是办法、建议、资格、权利、权力、限制等。“撤回”指收回（发出的文件等）。如：撤回提案。

【沉淀　沉积】“沉淀”强调经过化学变化。“沉积”强调不经化学变化。如：黄河河床沉积了大量泥沙。两者都比喻凝聚、积累。如：资金沉淀；历史沉积。

【陈腐　迂腐】“陈腐”强调过时腐朽；指观念、思想、传统、学说。“迂腐”强调拘泥守旧，顽固不化，多用于人的言谈、行事。如：迂腐之见。

【沉浸　沉溺　沉湎】“沉浸”多比喻处于美好的境界或思想活动中。“沉溺”指陷入不良境地（多指生活习惯）不能自拔。如：沉溺于网络。“沉湎”即“沉溺”，书面语。

【沉默　缄默】都指由于不愿公开自己的观点而闭口不说话。“沉默”多用于口语。“缄默”，书面语。如：保持沉默（缄默）。“沉默”还

指，①因短暂思考而不说话。如：沉默片刻。②形容性情。如：沉默寡言。

【沉思　深思】"沉思"的对象一般是触动人们思想的问题或事情，可大可小。"深思"的对象一般是包含深奥道理，需要做出决定的重要问题或事情。

【尘世　尘事】"尘世"指佛教徒或道教徒所指的现实世界。如：远离尘世。"尘事"指世俗的事。如：他整天沉溺于尘事，不能自拔，哪有精力为广大群众办实事？

【惩罚　处罚　处分　惩处】"惩罚"泛指处罚。"处罚"侧重政治或经济上的惩治。"处分"侧重表示行政上的处罚，也作名词。"惩处"侧重严厉地惩治。如：惩处罪犯。

【诚恳　诚挚】"诚恳"侧重表示恳切，着眼于对人的态度。如：待人诚恳。"诚挚"侧重于感情，多用于书面语。如：诚挚的谢意。

【成绩　成就　成果】"成绩"一般指工作、学习、体育等方面的收获。"成就"：①事业上的成绩。②完成（多指事业）。如：成就大业。"成果"侧重长期辛劳所获的结果。

【嗤笑　耻笑】都指鄙视嘲笑。"嗤笑"多用于书面语。"耻笑"用于书面语、口语皆可。

【持续　继续　连续】"持续"强调延续不断，中间没有间歇。"继续"强调接着前面的，可以有间歇。"连续"强调一个接一个，中间无间断。如：连续不断。

【斥责　指责　责备】"斥责"侧重指严厉的申斥。"指责"侧重指严厉地批评。"责备"侧重指对一般过失的批评和不满。"责备"可用于对自己，"斥责""指责"则不可。

【充分　充足　充沛】"充分"多用于准备、估计、理由、信心、发展等抽象事物。"充足"多用于光线、水分、养料等具体事物，亦可用于抽象事物。如：理由充足。"充沛"侧重指旺盛，多用于精力、感情、雨水等。

【崇拜　崇敬　崇尚】"崇拜"侧重极为钦佩，含有迷信的意味；对象是人、神或事物。"崇敬"指对人十分尊敬。"崇尚"指尊重，推崇。如：崇尚正义。

【充斥　充满　充溢】"充斥"指塞满（含厌恶意）。如：假货充斥市场。"充满"指填满或充分具有。如：充满信心。"充溢"指充满，流露。如：脸上充溢着笑容。

【憧憬　向往】相同点：都表示因热爱、羡慕某种事物或境界而希望得到或达到。一般情况下，二者可以互换。不同点："憧憬"仅用于事物或境界较广大、时间较长远的对象；"向往"适用的事物或境界不如"憧憬"广大和长远，如："那里是我向往的地方"，不能说"那里是我憧憬的地方"。

【筹备　准备】"筹备"指筹划、考虑，程度比"准备"更加周到、更加全面，多指慎重而重大的事情。"准备"多指一般行动前预先安排计划。

【出生　出身】"出生"指胎儿从母体中分离出来。如：甲子年出生。"出身"指个人早期的经历或身份。如：工人出身。

【出现　涌现】"出现"使用范围比"涌现"广，它可指人或抽象事物。如：出现问题。"涌现"指大量出现，多指具体的，好的。如：涌现大批积极分子。

【处理　处置】都可指解决问题，惩治犯罪。"处理"还指减价出售。如：处理商品。习惯说"严肃处理""严厉处置"。

【处世　处事】"处世"指跟人往来。如：人心不古，处世不易。"处事"指对具体事物的处理。如：处事不力。

【除草　锄草】"除草"指除去杂草，所用的方式可以多种多样，如：王大爷承包的责任田，全靠用化学药品除草。"锄草"指用锄头松土除草，如：王大爷把锄头往孙子手里一递，说："不好好上学，就锄草去！"

【矗立　耸立　屹立】"矗立"侧重"矗"，直立。如：电视塔矗立于山顶。"耸立"侧重"耸"，高耸。如：群峰耸立。"屹立"侧重"屹"，稳固不可动摇。"矗立""耸立"只用于具体事物，"屹立"还用于抽象事物。

【揣测　揣摩】"揣测"重在测度。如：揣测别人的心思。"揣摩"重在思考研究。如：揣摩文意。

【串通　勾结】"串通"指暗中勾结。"勾结"可在暗中，也可公开。"串通"还指串联，联系，中性词。如：两家结亲的事，已由老村长串通妥当。

【传颂　传诵】"传颂"重在颂扬。如：传颂动人事迹。"传诵"重在诵读。如：传诵新诗。也指称颂。如：传诵英雄的名字。

【创造　营造】"创造"重在出新。"营造"重在有计划、有目的地造。如：营造防护林。

【锤炼　磨炼　锻炼】"锤炼""磨炼"都指在艰难困苦的环境中锻炼。"锤炼"还指刻苦钻研，反复琢磨使艺术等精练、纯熟。如：锤炼艺术表现手法。"磨炼"侧重经受艰难困苦使身心发生变化。"锻炼"侧重指通过工作和斗争等提高思想水平和工作能力；还指锻炼身体。

【戳穿　揭穿】都指说破，对象是抽象事物。如：戳穿阴谋；揭穿谎言。"戳穿"还指刺穿。

如：戳穿衣服。

【淳厚　醇厚】"淳厚"指诚实朴素，如：他为人淳厚。"醇厚"：①指气味、滋味纯正平和，如：酒香醇厚。②同"淳厚"。

【从容　沉着　冷静　镇静】"从容"侧重神态；"沉着"侧重心理；"冷静"侧重感情；"镇静"侧重情绪。"从容"还指时间、经济上宽裕。"冷静"还指人少而静。

【凑巧　恰巧　恰好】"凑巧"侧重正是时候或正遇着。"恰巧"侧重表示偶然凑巧。"恰好"着重指和主观意志一致。

【粗暴　粗鲁】"粗暴"侧重暴躁。"粗鲁"侧重莽撞。"粗鲁"多用于行为、语言等。"粗暴"多用于态度、作风等。

【粗犷　豪放】"粗犷"：①粗野；粗鲁。②形容文学、绘画、建筑外形、舞蹈等所表现的风格。"豪放"指气魄大而无拘束；既指人也指文学艺术。如：文笔豪放。

【错误　错讹】"错误"可指各种不正确的事物。"错讹"只指文字、记载错误。

【脆弱　软弱】"脆弱"侧重禁不起挫折；不坚强。"软弱"侧重胆小怕事，没有能耐。如：软弱无能。"软弱"还指身体缺乏力气。两者都指性格，"脆弱"还指感情。

【篡改　窜改】"篡改"指用作伪的手段改动或曲解经典、理论、政策等。含贬义。"窜改"用于改动成语、文件、古书等。如：他将"望洋兴叹"窜改成"望山兴叹"。

D

【代替　顶替　取代】"代替"泛指一般的替代。"顶替"强调顶名代替，或由别的人接替。如：他没来，我临时顶替一下。"取代"强调排除别的人或事而占有其位置。如：用机器取代手工生产。

【胆怯　怯懦】"胆怯"指胆小，多指态度。"怯懦"指胆小怕事，多指个性。

【担当　担负　担任　负担】"担当"指接受并负起责任。"担负"指承担责任、工作、费用等。"担任"指担当某种职务或工作。"负担"：①担负。②承受的压力或担当的责任。如：家庭负担。

【道路　途径】"道路"可指具体的路，也可指抽象的路。如：人生道路。"途径"一般指门路。如：致富途径。

【抵挡　抵抗　抵制　抵御】"抵挡"侧重挡住压力；抵抗。如：抵挡严寒。"抵抗"侧重用力量制止对方的进攻。"抵制"侧重阻止某些事物，使不能侵入或发生作用。如：抵制不正之风。"抵御"指抵挡；抵抗。

【谛听　聆听　倾听】"谛听"指仔细地听；书面语。"聆听"多用于晚辈对长辈、群众对首长；书面语。"倾听"多用于上级对下级。

【地步　境地】"地步"多指积久而成的不好境地。"境地"指处境，不计时间长短。

【典范　典型】"典范"强调其示范性，可以作为学习、仿效标准的人或事物；其程度高于"典型"；褒义词。"典型"强调其代表性；中性词。"典型"还指艺术形象。

【典雅　高雅】"典雅"多指雕刻、塑造的艺术形象或文词等雅致，优美，不粗俗。"高雅"多指人的言谈、举止动作、作风以及处世态度高尚。

【电信　电讯】"电信"指通信方式。"电讯"指用电信传播的消息或信号。

【调动　调集】"调动"重在"动"，更动（位置、用途）。如：调动军队。"调集"重在"集"，使集中。如：调集军队。

【雕刻　雕琢　镌刻】都是动词，"雕琢""镌刻"都有"雕刻"意。"雕琢"还可指过分地修饰文字，含贬义。"镌刻"是"雕刻"的书面语。

【订金　定金】都指定钱。"订金"指预付款。"定金"是法律概念，指为保证履行合同的权利和义务而支付的保险金，用于法律文书。

【订正　改正】"订正"指改正文字中的错误。"改正"的适用对象是错误、缺点以及不明确或不正确之处。

【断定　确定】"断定"指由推理判断而下结论。"确定"指毫不含糊地明确决定。"确定"还指明确而肯定；形容词。如：确定的回答。

【洞察　洞悉】"洞察"指观察得清楚。如：洞察其奸。"洞悉"指知道得清楚。如：洞悉内情。

【动员　发动　鼓动　煽动】"动员"指发动人参加某项活动。如：动员参战。"发动"：①使开始。如：发动战争。②使行动起来。如：发动群众。"鼓动"侧重激发人的情绪，使之行动起来。如：鼓动他人炒股。"煽动"只用于做坏事。如：煽动闹事。

【独立　独力】"独立"指不依靠他人。如：独立思考。还指政权、军队自主。"独力"指只依靠自己的力量。如：独力经营。（注："独立经营"指不受制于他人。）

【独裁　独断　专断】"独裁"侧重指专制统治。"独断"侧重指个人说了算。"专断"侧重指不容许别人参与意见。"独裁"语义最重，"专断"次之，"独断"较轻。

【堵塞　阻塞】都用于道路、交通。"堵塞"还用于漏洞、缺口。

【督促　敦促】"督促"指监督催促。"敦促"指催促；书面语。如：敦促尽快解决。

【度过　渡过】"度过"用于与时间推移有关的情况。如：度过假期。"渡过"专指从此岸至彼岸，也引申为"渡过难关"等。

【兑付　兑换】"兑付"指凭票据支付现款。"兑换"指用证券换取现金或用一种货币换取另一种货币。

【兑现　实现】"兑现"喻指实现诺言。"实现"泛指使成为现实。

【兑换　对换】"兑换"指用一种货币或物品换另一种。如：用10斤白面能兑换12斤大米。"对换"指对位互换。如：对换工作岗位。

【夺取　攫取】"夺取"一般用于褒义。"攫取"指掠夺，一般和物质利益有关；贬义词。如：攫取利润。

【躲避　逃避　回避　规避】"躲避"侧重于对自己不利的事物。如：躲避仇人。"逃避"侧重于不愿或不敢接触的事物。如：逃避责任。"回避"指因顾忌而躲开。如：回避要害问题。"规避"指设法躲开。如：规避风险。

【堕落　腐化　蜕化】"堕落"侧重思想行为变坏。"腐化"侧重过分贪图享乐。"腐化"还可作形容词。同时还含有腐蚀的意思。如：封建余毒腐化了一些人的灵魂。"蜕化"比喻腐化堕落。

E

【讹诈　敲诈】"讹诈"多指借某种理由使对方很被动、为难而乘机索取。"敲诈"采取的手段多是倚仗权势，或用威胁欺骗。"讹诈"还指威胁恐吓。如：政治讹诈。

【讹传　谣传　讹舛】"讹传"指错误的传说。如：纯系讹传。"谣传"指没根据的消息，还可作动词。如：谣传他被捕了。"讹舛"特指文字错误，书面语。

【恶毒　毒辣　狠毒】"恶毒"侧重指心术、语言、手段等阴险。"毒辣"侧重指心肠、手段等残酷。"狠毒"侧重指凶狠。

【恶劣　卑劣】"恶劣"用于形容人的行为、品质、态度等，也可形容环境、条件、气候等。"卑劣"着重指不道德、不光彩的行为。如：卑劣行径。

【遏止　遏制】"遏止"重在"止"，使停止；对象多是战争、暴动、洪流等来势凶猛而突然发生的重大事件。"遏制"重在"制"，压抑控制，使不发作，对象多是自己的情绪，有时也指敌人或某种力量。

【厄运　噩运】"厄运"侧重指困苦的遭遇，不幸的命运。如：想不到他中年丧妻，遭此厄运。"噩运"泛指坏的运气。

【恩情　恩惠　恩德】"恩情"侧重指深厚的情义。"恩惠"侧重指给予或得到的好处。"恩德"侧重指给予或得到的好处所体现出来的精神、思想或品格。如：您倾尽所有，来救助我这个素不相识的人，您的恩德我永生难忘。

F

【发表　公布　颁布　发布　宣布】"发表"的对象多是言论或论著。"公布"的对象多是政府的法律、命令、文告等正式的文件。"颁布"即"公布"，书面语。"发布"的对象多是指示、消息、命令等。"宣布"的对象除"发布"的对象外，还可是个人私事。

【发愤　奋发】"发愤"侧重强调下决心，立大志，努力奋斗。如：发愤读书。"奋发"侧重强调精神状态的饱满振作，努力奋斗。如：奋发向上。

【发泄　宣泄】"发泄"指尽量发出（情欲或不满情绪等）。如：发泄私愤。"宣泄"是舒散积聚心中的愤懑等。语义较"发泄"轻。

【法制　法治】"法制"指社会法律制度。如：健全法制。"法治"指依照法律治理国家。如：法治国家。

【法规　法律】"法规"指法律、法令、规则、章程等的总称。"法律"范围较小。

【藩篱　樊篱】都指篱笆。"藩篱"比喻门户或屏障。如：筑长城而守藩篱。"樊篱"比喻对事物的限制。如：冲破旧思想的樊篱。

【反应　反映】"反应"指事情所引起的意见、态度或行动，带有被动色彩。如：对他的发言，群众反应冷淡。"反映"则指主体把客观存在的情况（包括言论、意见或某种带有规律性的东西）原封不动地表现出来。如：向上级反映群众意见。

【反复　重复】"反复"：①一遍又一遍，多次重复。如：反复思考。②颠过来倒过去；反悔。如：反复无常。③重复的情况。如：斗争往往会有反复。"重复"着重指相同的事情或动作重现或重做。

【反响　回响】都指反应。"反响"多用于他人。"回响"多用于山谷、心灵。

【反省　反思】"反省"指回想自己的思想行动，检查其中的错误。"反思"指思考过去的事情，从中总结经验教训。

【繁重　沉重】"繁重"指工作、任务多而重。"沉重"指分量大，程度深。适用范围大。如：打击沉重。

【范围　范畴】"范围"指周围界限，使用的场合广泛。"范畴"：①哲学术语。②范围；类型。书面语。如：汉字属于表意文字的范畴。

【仿造　仿照　仿效】"仿造"指模仿一定的

式样制造。如：这些古瓶都是仿造的。“仿照”指按照已有的方法或式样去做。如：仿照办理。“仿效”指模仿别人的方法、式样等。多用于贬义。如：艺术贵在创新，不能一味仿效别人。

【防范　预防　防治】“防范”指防备，戒备；对象多是人为的。如：防范金融风险。“预防”指事先防备；对象是人为的或自然的。如：预防职务犯罪；预防地震。“防治”指预防和治疗疾病。

【妨碍　妨害】“妨碍”着重指造成一定障碍，程度较轻。如：妨碍交通。“妨害”着重指有损害，程度较重。如：妨害健康。

【放弃　抛弃】“放弃”指丢掉原有的权利、主张、意见等。如：放弃继承权。“抛弃”语义重，用于人或物。如：抛弃家人。

【放纵　纵容】“放纵”的对象是自己或别人好的行为或不好的行为。如：在诗中他放纵自己的感情。“纵容”的对象多是别人不好的行为。如：纵容犯罪。

【诽谤　毁谤】二者都指无中生有，说别人的坏话，但程度有所不同。“诽谤”表示的程度稍轻一些。而“毁谤”表示的程度重一些。

【废止　废置】“废止”多指法令、制度等取消，停止行使。“废置”指认为无用而搁在一边。如：材料被废置。

【废除　废黜】“废除”指废止（见上条）。“废黜”指罢免、革除官职；书面语。还指取消王位或废除特权地位。

【分辩　分辨】“分辩”重在解释清楚理由。“分辨”重在区分、辨明事物的差别。

【分别　区别　辨别】“分别”重在“分”，各归其类。如：分别轻重缓急。“区别”重在“区”，找出差异。如：区别对待。“辨别”重在“辨”，分得清楚。如：辨别是非。

【分割　分隔】二者都有使中间断开的意思。“分割”指把整体或有联系的东西分开，如：民主和集中任何时候都不能分割。“分隔”指在中间隔断，使其不相通，如：为了培养自立能力，我与弟弟分隔房间居住。

【愤怒　愤慨　愤懑】“愤怒”着重“怒”，生气、不满、激动到了极点。“愤慨”着重“气愤不平”，多指对重大事件。“愤懑”着重“懑”，抑郁不平。

【风度　风采　风姿】“风度”侧重指人自身修养所体现出来的举止气质。“风采”侧重指人的举止、外貌综合起来所表现出的气度。“风姿”侧重指人美好的仪表姿态，多形容女子。“风采”还指文采。

【风气　风尚　风俗　风范】“风尚”“风范”是褒义词。“风气”“风俗”是中性词。“风尚”着重于“尚”，指一定时期内大家共同崇尚、尊重而流行的风气，有时包括道德品质、精神等在内。“风气”着重于习气，指社会上或集体中流行的爱好或习惯。“风俗”着重于习俗，指长期形成的风尚、礼节、习惯等。“风范”指人的风度、气派。如：大家风范。

【锋利　锐利　犀利】都指言论、文笔尖锐。“锐利”“犀利”还指眼光尖锐。“犀利”，书面语。

【奉行　执行】“奉行”指遵照执行，多有庄重意味。“执行”指实施、实行。

【奉献　贡献】二者都有献出的意思，动词，褒义。“奉献”指恭恭敬敬地呈献，“贡献”指一般性地献出。“贡献”还可作名词。

【肤浅　浮浅】都指局限于表面，学识浅或理解不深。“浮浅”还指浅薄（缺乏学识和修养）。如：内容浮浅。

【扶助　辅助】“扶助”重在“扶”，帮助。如：扶助老弱。“辅助”重在“辅”，从旁帮助，是次要的。如：多加辅助。还可作形容词，如：辅助劳动。

【扶持　扶植】“扶持”侧重帮助。如：扶持乡镇企业。“扶植”侧重培植。如：扶植新生力量。

【浮躁　急躁】“浮躁”侧重指不踏实。“急躁”侧重指没耐性。

【富余　富裕】“富余”指足够而有剩余。如：富余人员。“富裕”指财物充裕。如：日子过得富裕。

【抚养　扶养　赡养】“抚养”指爱护并教养，一般指长辈对晚辈。“扶养”指养活，对长幼皆可。“赡养”指供给生活所需，特指子女对父母在物质上和生活上进行帮助。

【腐蚀　侵蚀　腐化】“腐蚀”多比喻使人在坏的思想、行为、环境等影响下逐渐变质堕落。“侵蚀”指逐渐侵害使变坏。如：病菌侵蚀人体。还指一点一点地侵占财物。“腐化”指思想行为变坏（多指过分贪图享乐）。如：生活腐化。

【敷衍　应付】都指做事的态度不恳切，不认真。“敷衍”还指勉强维持。如：敷衍度日。“应付”还指对人、对事采取措施。如：应付事儿。“敷衍”多用于书面语。

【俯视　鸟瞰】“鸟瞰”时所处的位置一般比“俯视”高，视野更开阔。“鸟瞰”还比喻对事物的概括描述（多用于文章标题）。如：世界大势鸟瞰。

【富饶　富庶　富足】“富饶”侧重指国家或地区等大范围的物产多，财富多。“富庶”侧重指某一地区的资源丰富，人口众多。“富足”侧重指人们的物质生活丰富。

【赋予　付与　给予】"赋予""付与"都指交给重大任务、命令等。使用对象较"给予"窄。"赋予""付与"只带名词性宾语。"给予"还可带动词性宾语。如：给予答复。

【伏法　服法】"伏法"指犯人被执行死刑。"服法"指认罪。

G

【改正　修正】都指改错为正。"修正"用语庄重。如：修正立场。

【改善　改进】"改善"多用于生活、关系等。"改进"多用于工作、方法等。

【干涉　干预(干与)】"干涉"意为过问或制止，多指不该管硬管，要对方服从。如：干涉他国内政。"干预(干与)"指过问别人的事。语义轻。如：事涉隐私，不便干预。

【感动　激动】"感动"侧重指思想感情受外界事物的影响而激动，引起同情或向慕。"激动"侧重指感情被激发而冲动，语义较"感动"重。

【高昂　昂扬　高亢】"高昂"可以形容情绪、声音，还可形容物价。"昂扬"只形容情绪。"高亢"只形容声音。"高昂"还可作动词。如：高昂着头。

【高尚　崇高】"高尚"侧重不庸俗，道德水平高，常用来修饰人的道德、品质、情操。"崇高"侧重不平凡，思想境界高，常用来修饰理想、精神、事业等。

【搁置　搁浅】"搁置"强调事情被放起来而不能进行。如：此议案被搁置。"搁浅"强调受到阻碍而不能进行。如：谈判搁浅。

【隔阂　隔膜】都指彼此情意不通，有距离。名词。如：消除隔阂(隔膜)。"隔膜"还指不通晓。形容词。如：我对这种技术实在隔膜。

【格局　布局】"格局"指结构格式。如：新格局。"布局"指全面安排。如：布局合理。

【格调　情调】"格调"指作品或人的风格。如：格调高雅。"情调"指思想感情的格调。如：情调健康。"情调"还指事物所具有的能引起人的各种不同感情的性质。如：异国情调。

【给以(gěiyǐ)　给予(jǐyǔ)】"给以"后面只说所给的事物(多为抽象的)，不说接受的人。如：给以奖励。"给予"既可用如"给以"，又可带双宾语。如：给予我精神的抚慰。

【更改　更正】"更改"指改动；改换。对象多是日期、航线、方案、决定、计划等。"更正"指改正已发表的谈话或文章中有关内容或字句上的错误。

【沟通　勾通】"沟通"指使双方通连。如：沟通思想。"勾通"指暗中串通、勾结。贬义词。

【勾勒　概括】"勾勒"指用文字描绘事物的大概情况，对象是具体的。如：勾勒场面。"概括"指总括事物的共同特点，对象是抽象的。如：概括要点。

【工效　功效】相同点：都表示效率。不同点："工效"主要指工作效率。如：我们上课要注意提高学习的工效。"功效"指功能、效率。如：药液注射后，很快就产生了功效。

【公敌　公害】"公敌"侧重双方对立。如：人民公敌。"公害"侧重危害。如：社会公害。

【公务　公物】"公务"指抽象事物，关于国家或集体的事务。如：近来公务缠身。"公物"指具体事物，即属于公家的东西。如：爱护公物。

【功夫　工夫】"功夫"：①技巧性或艺术性要求较高的技能。如：他的诗功夫很深。②时间。如：没功夫。"工夫"只指时间。

【功能　功用】"功能"重在作用。如：此药功能显著。"功用"重在用途。如：功用广泛。

【功劳　功绩　功勋】"功劳"指事业上的贡献。"功绩"指较大的功劳和业绩，多用于重大事业。"功勋"专指对国家、人民作出重大贡献。

【恭敬　尊敬】"恭敬"指对长辈、宾客严肃有礼貌。形容词。"尊敬"指重视而恭敬，使用范围比"恭敬"广。动词。

【供奉　贡奉】"供奉"指敬奉；供养。如：供奉祖先。"贡奉"指向朝廷进贡。

【贡品　供品】二者都指献出的东西，但献给的对象不同。"贡品"指古代臣民或属国贡献给帝王的物品。如：这是献给皇上的贡品。"供品"指供奉神佛或祖先用的瓜果、酒食等。如：摆上供品，以供鬼神享用。

【共通　共同】"共通"指通行于或适用于各方面的。如：共通的道理。"共同"指属于大家的；彼此都具有的或大家一起(做)。如：大家有了共同的奋斗目标。

【姑息　迁就】"姑息"指放纵他人。如：姑息养奸。"迁就"指让自己将就他人。

【估计　估量】都指对事物的性质、数量、变化的推测。"估量"使用范围小于"估计"。"估量"可带"着"；"估计"可作名词。

【故意　特意　蓄意】"故意"强调存心、有目的地去做。"特意"着重指心里愿意，专门去做。"蓄意"指存心或早就有这个意思。贬义词。如：蓄意破坏。

【固执　顽固】"固执"侧重坚持自己原有

的，多指性格、性情、作风等。“顽固”侧重不愿接受外界的新鲜事物，多指思想、立场、态度等。

【雇用　雇佣】“雇用”指出钱让人为自己做事。可带宾语。如：雇用司机。“雇佣”为政治经济学名词，把劳动当商品出卖。不带宾语。如：雇佣劳动者。

【观摩　观赏　欣赏】“观摩”侧重彼此交流、互相学习。“观赏”侧重赏看。“欣赏”侧重享受美好的事物，领略其中的情趣。“欣赏”还指认为好；喜欢。如：他很欣赏这个建筑的独特风格。

【贯串　贯穿】“贯串”一般用于抽象事物。如：贯串着革命精神。“贯穿”的对象可是具体事物，也可是抽象事物。如：这条公路贯穿三个省；互助精神贯穿全校。

【贯注　灌注】“贯注”指精神、精力集中。“灌注”指浇进，注入（液体）。

【怪癖　怪僻】“怪癖”指古怪的癖好。名词。“怪僻”多指性情古怪。形容词。

【关心　关怀　关切　关注】“关心”指常挂在心上，重视和爱护；可用于对人或对物。“关怀”指不仅关心，而且爱抚，多用于上对下。“关切”比“关心”语义重；可用于对人或对物。如：对局势发展表示关切。“关注”指关心重视。如：密切关注。

【广阔　宽阔　辽阔】“广阔”一般指土地面积大。如：广阔的田野。又指抽象事物，如境界、前途等。“宽阔”指土地范围广，宽敞。如：宽阔平坦的大道。还指抽象事物。如：宽阔的胸怀。“辽阔”着重指面积大而空旷。如：幅员辽阔。

【广大　光大】“广大”：①（面积、空间）宽阔。②（范围、规模）巨大。③（人数）众多。形容词。“光大”多用作动词，使显赫盛大。如：发扬光大。

【光临　光顾】都指客人来到，敬辞。“光顾”还指小偷入室行窃，含讽刺意味。

【规划　计划】“规划”侧重长远发展。如：城建规划。“计划”侧重具体步骤和内容。如：科研计划。

【诡辩　狡辩】“诡辩”指常以欺诈的言辞迷惑人，以达到为自己辩解的目的。“狡辩”指理屈词穷，以强词夺理进行辩解。

【鬼怪　诡怪】“鬼怪”比喻邪恶势力，名词。如：要扫除一切妖魔鬼怪。“诡怪”指奇异怪诞，形容词。如：这些说法实在诡怪。

【轨范　规范】都指所遵循的标准。“轨范”有文言意味。“规范”还指合乎规范，使规范。如：用法不规范。

【轨道　轨迹】“轨道”比喻行动应遵循的规则、程序等。如：生产已经走上轨道。“轨迹”比喻人生经历的或事物发展的道路。如：诗人一生的轨迹。

【国事　国是】“国事”指国家政事。“国是”指国家大计。如：共商国是。

【果断　武断】“果断”侧重处理事情做出决定不犹豫，非常坚决。褒义词。“武断”侧重处理事情只凭主观，带有片面性。贬义词。

【裹胁　裹挟】都指用胁迫手段使人跟从（做坏事）。“裹挟”还指（风、流水等）把别的东西卷入，使随着移动；（形势、潮流等）把人卷进去，迫使其采取某种态度。

【过度　过渡】“过度”指超过适当的限度。形容词。如：用脑过度。“过渡”指事物由一个阶段（状态）逐渐地转入另一个阶段（状态）。动词。如：过渡时期。

H

【含意　含义（涵义）】“含意”指诗文、说话所含意思。“含义（涵义）”特指词句所含意义。

【涵养　修养】“涵养”着重指在受到冒犯时能宽容大度，控制自己的感情。“修养”指在思想品质、道德情操方面经过一定的锻炼，达到了一定的水平。

【涵盖　囊括】“涵盖”侧重包括其中。如：新发现涵盖了整个旧石器时代。“囊括”侧重包罗，归属。如：囊括全部冠军。

【合宜　合意】“合宜”指合适。如：任职合宜。“合意”指中意。如：商品合意。

【合作　协作】都指互相配合完成某项工作。“协作”还指多方面的合作。如：密切协作。“合作”还可作形容词。如：很合作。

【和解　缓和】“和解”指双方不再争执。“缓和”指局势、气氛、关系等不再紧张。

【核对　核实】“核对”指审核查对。如：核对文字；核对事实。“核实”指审核是否符合事实。如：核实情况；核实数据。

【核查　检查】“核查”指审查核实。如：核查案情。“检查”指用心查看是否有问题。如：检查工作。

【和谐　谐调　协调】都指配合得当；都可用于乐曲、布局、色彩等。形容词。“协调”还是动词。如：协调各方；相互协调。

【后悔　懊悔】“后悔”侧重检讨过去的行为，语义轻。“懊悔”侧重自恨，语义重。

【候补　替补】“候补”侧重递补缺额。如：候补委员。“替补”侧重替代补充。如：替补队员。

【厚意　厚谊】二者都有深厚的意思。不同

的是："厚意"指深厚的情意。如：您的这份厚意我领了。"厚谊"指深厚的情谊。如：两地人民的厚谊源远流长。

【轰动　震动】"轰动"侧重同时惊动很多人，影响面大。"震动"侧重使人内心不平静，力度大。

【烘托　衬托】"烘托"是从旁渲染、陪衬。如：诗一开篇就竭力描写秋风的萧瑟，烘托出了悲凉的气氛。"衬托"强调从旁对照。如：互相衬托。

【洪大　宏大】"洪大"多形容声音。"宏大"多形容气势、规模、志向、理想等。

【洪亮　洪量】二者都与大有关系，但所指的对象不同。"洪亮"指声音大，响亮，如：他嗓音洪亮。"洪量"指量大，重在"量"，①表示大的气量，如：他为人洪量；②表示大的酒量，如：他饮酒洪量。

【呼啸　咆哮】"呼啸"侧重于声音高长，多用于形容无生命的声音。如：炮弹呼啸而过。"咆哮"侧重于声音又大又猛，多形容野兽、暴怒的人，以及水流。

【滑稽　幽默】"滑稽"指言语、动作怪异可笑，常常带有贬义。"幽默"多指言语机智而又意味深长。

【化装　化妆】"化装"本指演员修饰外貌，使变得像所扮演的角色；也指从容貌、衣着等方面假扮成另一种人，目的在于欺骗对方。"化妆"指用脂粉等使容貌美丽。

【荒诞　荒唐】"荒诞"重在不合情理。如：荒诞无稽。"荒唐"重在言行错误使人感到奇怪。如：想法荒唐。"荒唐"还指行为放荡。

【回答　答复】"回答"指对一般问题的回话，多指口头的。"答复"用于比较严肃的场合，可指口头的，也可指书面的。

【回复　恢复】"回复"：①表示回答，答复，多用于书信。如：此请当否？请回复。②表示恢复原状。如：回复常态。"恢复"：①指变成原来的样子。如：身体已恢复了健康。②使变成原来的样子，或把失去的收回来。如：恢复原状。

【会见　接见】"会见"的双方身份高低可以相同，也可以不同。"接见"只适用于主语是身份较高的一方。

【会晤　会面】"会晤"用于比较郑重的场合。"会面"用于一般见面。

【汇集(会集)　融会】"汇集(会集)"指聚合同类的人或事物。如：汇集(会集)资料。"融会"指几种不同事物合成一体。如：文化融会。

【汇合　会合】二者都有聚合的意思，都是动词。"汇合"指水流聚合，会合。如：潺潺小河汇合成湖泽。"会合"指聚集到一起，用来指除水流以外的事物。如：两军会合后继续向前挺进。

【混乱　杂乱　凌乱　紊乱】"混乱"指没条理，没秩序；多用于抽象事物。如：思想混乱。"杂乱"指多而乱；多用于具体事物。如：房间杂乱。"凌乱"既用于具体事物，又用于抽象事物。如：凌乱的脚步声。"紊乱"多用于思路、秩序等。书面语。

J

【假装　伪装】都指故意做出某种举动来掩饰真相。如：假装(伪装)进步。"伪装"还是名词。如：撕去伪装。

【加剧　急剧】"加剧"指加深严重程度。如：病势加剧。"急剧"指迅速而剧烈。如：气温急剧下降。

【监督　监视】"监督"指察看并督促，多是公开的。"监视"指从旁严密注视、观察，多是不公开的。"监督"常带动词宾语。如：监督执行。"监视"常带名词宾语。

【歼灭　消灭】"歼灭"指用强力消灭敌人。"消灭"指除掉(敌对的或有害的人或事物)。如：消灭错别字。"消灭"还指消失；灭亡。如：恐龙早已经消灭了。

【激励　鼓励】共同点：都有发动，使人振作、奋进的意思。不同点："激励"的施动者是精神而不是具体的人，如：这句话一直激励我读完了中学、大学。"鼓励"的施动者只是人。如：老师鼓励我好好学习，天天向上。

【急遽　急剧】"急遽"指急速，程度轻于"急剧"。如：溪水跳下山涧，急遽地向山脚奔去。"急剧"指急速而强烈，程度较重。如：一道蓝光闪过之后，大地急剧地震动起来。

【机遇　际遇】"机遇"指境遇，机会，多指有利的。名词。如：发展机遇。"际遇"指遭遇，多指好的。动词。书面语。

【技能　技巧　机能】"技能"指基本能力，多用于实际操作。"技巧"指熟练的技艺，多用于艺术、体育等。"机能"指细胞组织或器官等的作用和活动能力。如：人体机能。

【技巧　机巧】"技巧"见上条。"机巧"指灵活巧妙。如：应对机巧。

【激奋　激愤】"激奋"重在"奋"，振奋。可带宾语。如：激奋人心。"激愤"重在"愤"，愤怒。不能带宾语。如：群情激愤。

【激烈　剧烈　猛烈　强烈】"激烈"着重指运动紧张或双方斗争尖锐，常形容争论、搏斗等。"剧烈"指急剧变动或刺激厉害，常形容运动、药性、

疼痛等。“猛烈”着重指强而有力，用于抨击、进攻、运动等。“强烈”使用范围较广，形容光线、色彩、对比等客观事物，也能形容欲望、感情等。

【激发　激活】“激发”指刺激使奋发。如：激发积极性。“激活”指刺激而使有活力。如：激活用人机制。

【机密　秘密　奥秘】“机密”指重要而秘密，多指党政军等重大事情和企业经济情报。如：国家机密。“秘密”使用范围广，既可以用于国家大事，也可以用于个人小事。“奥秘”指深奥的尚未被认识的秘密，多用于自然科学。如：宇宙的奥秘。

【急促　急迫】“急促”着重频率快，多用于形容呼吸、声音、动作等。“急迫”着重在紧迫，多用来形容事情、情况等。

【嫉妒　嫉恨】“嫉恨”的程度比“嫉妒”深。“嫉恨”还泛指憎恨。

【积聚　积淀】“积聚”多用于财富、力量等。“积淀”多用于文化、思想、感情等。

【汲取　吸取】“汲取”的本义是汲水。“吸取”的本义是用口吸。两者引申为吸收采取，用法相同。“汲取”多用于书面语。

【忌讳　避讳】“忌讳”多指对某些言语或举动有所顾忌，积久成为禁忌。动词。“避讳”多指因某种禁忌而回避。动词。

【寂静　幽静】两者都强调十分安静。“幽静”还指环境幽雅。

【记录　记载】“记录”指如实记下，常指边听边记。“记载”一般用于事后把事情记在文章或书里。“记录”还指在一定时期一定范围以内记载下来的最高成绩。如：打破学校记录。

【坚韧　坚忍】“坚韧”指坚固有韧性。如：质地坚韧。“坚忍”指在艰难困苦之中不动摇。如：意志坚忍。

【坚强　顽强　坚毅】“坚强”指强固有力，不可动摇或摧毁。“顽强”指坚强，强硬不改变。“坚毅”指坚定有毅力，可以从外表上显示出来。如：坚毅的目光。

【坚苦　艰苦】“坚苦”指坚忍刻苦，常形容工作精神和工作作风。“艰苦”指艰难困苦，常用来描述条件较差的客观情况。

【艰难　艰辛】“艰难”侧重“难”，多指处境、生活、行为。“艰辛”侧重“苦”，多指生活。

【简朴　俭朴】“简朴”指语言、文笔、生活作风等简单朴素。如：衣着简朴。“俭朴”只指生活节俭朴素。如：生活俭朴。

【检查　检察　监察】“检查”指为了发现问题而用心查看。如：检查工作。“检察”指检举核查。如：检察机关。“监察”指监督和检举，特指对国家机关及其工作人员。

【检测　监测】“检测”指检验测定。如：质量检测。“监测”指监视检测。如：环境监测。

【见识　知识】“见识”：①扩大见闻。如：见识见识。②见闻；知识。如：长见识。“知识”指人们在社会实践中所获得的认识和经验的总和。

【鉴别　辨别　甄别　鉴赏】“鉴别”侧重辨别真假好坏，多指具体事物。“辨别”侧重从认识上加以区别，指具体事物或抽象事物。“辨别”可用于是非，“鉴别”不能。“甄别”指审查辨别，多用于人。“鉴赏”指对艺术品、文物等的鉴定和欣赏。

【建立　树立】“建立”既可以用于具体事物，又可以用于抽象事物。如：建立根据地。“树立”则主要用于抽象事物，并且有褒奖的意思。如：树立榜样。

【建议　提议】都指提出自己的主张。“建议”指向集体、领导或个人提出。“提议”常用于比较庄重的场合，指向集体或会议提出主张。

【揭发　揭露　披露】“揭发”指揭露坏人坏事。“揭露”范围广。如：揭露本质；揭露秘密。“披露”多指发表；公布。书面语。如：披露会谈内容。

【践踏　蹂躏】都比喻用暴力欺压，使之受到损害。都是动词。“践踏”侧重欺压。如：践踏乡邻。“蹂躏”还含有使之受侮辱、折磨的意思。

【简练　简单】相同点：都有不啰唆之意。不同点：“简练”指（措辞）简要、精练。如：这段文字十分简练。“简单”多指结构、头绪、经历、做事等不啰唆。如：简单从事。

【简洁　简捷】“简洁”指说话、行文等简明扼要。“简捷”：①直截了当。②简便快捷。如：算法简捷。

【讲究　讲求】“讲究”重在重视。如：讲究卫生。“讲求”重在追求。如：讲求实效。

【降低　减少　削减】“降低”侧重由高到低。如：降低利率。“减少”“削减”侧重由多到少。“削减”指从既定数目中减去。如：削减经费。

【交换　交流】“交换”重在互换。如：交换战俘。“交流”重在互通。如：交流感情。

【交待　交代】“交待”：①指完结。如：这条命就交待了。②同“交代”。“交代”：①把经手的事务移交给接替的人。②嘱咐。③把事情或意见向有关的人说明；把错误或罪行坦白出来。

【矫正　改正　纠正】"矫正"重在"矫"，使恢复正常。如：矫正视力。"改正"重在"改"，改错为正。如：改正错别字。"纠正"重在"纠"，使变正确。如：纠正不正之风。

【焦躁　焦虑】"焦躁"侧重因着急而烦躁不安。"焦虑"侧重因十分着急而担心。

【娇气　骄气】二者都指一种不好的习气，都是名词。不同的是："娇气"指脆弱、不坚强、不刻苦的作风和习气，不含贬义，如：她很娇气，动不动就哭鼻子；"骄气"指自高自大、骄傲自满、盛气凌人的作风和习气，贬义，如：由于胜利，我们的队伍滋长了一股骄气。

【截然　决然】"截然"指界线分明，如割断一般。"决然"指很坚决，必然。

【截止　截至】"截止"指到一定期限停止。如：报名已截止。"截至"指截止到某个时候。如：截至本月底。

【界限　界线】都指抽象事物的分界。如：是非界限(界线)。"界线"还指具体事物的分界线。如：两省的界线；宅基地界线。

【借口　借故】"借口"指以非真正的理由为理由。如：借口天气冷而不上学。还可作名词。如：天冷不是借口。"借故"指借口某种原因。如：借故拖延。

【揭幕　开幕】"揭幕"：①在纪念碑、雕像等落成典礼的仪式上，把蒙在上面的布揭开。②比喻重大活动的开始。如：世乒赛揭幕。"开幕"用于演出、会议、展览等开始。

【揭示　昭示】"揭示"：①公布文告等。②使人看见原来不容易看出的事物。如：揭示规律。"昭示"指明白地告诉。如：昭示后人。

【节俭　节减】"节俭"指用钱用物俭省。形容词。如：生活节俭。"节减"指节省减少。动词。如：节减开支。

【接受　接收】"接受"指对事物容纳而不拒绝。如：接受教训。"接收"：①收受。如：接收电视信号。②接纳。如：接收新党员。

【接合　结合】"接合"指连接使合在一起，多指具体事物相接。如：火花一闪，两个钢架就接合在一起了。"结合"指人或事物间发生密切联系，多指抽象联系。如：教育要与生产劳动相结合。

【截获　截留】"截获"指中途夺取到或捉到。如：截获走私汽车。"截留"指扣留所经手的物品、款项等。如：截留税款。

【节省　俭省】"俭省"仅用于指财物。"节省"使用范围广。如：节省时间。

【结余　节余】"结余"指结存。如：他收入不多，但每月都有结余。"节余"：①指因节约而剩下，动词。如：由于狠煞了公款吃喝风，这个公司一年就从嘴边上节余了12万元人民币。②指节余的钱财，名词。如：这个公司去年还是个亏损企业，由于狠煞了公款吃喝风，就从嘴边找回了12万元人民币的节余。

【结识　结交　相识】"结识"重在跟别人相识并开始来往。"结交"重在跟别人交往，使关系密切。"相识"着重指彼此认识并有所了解。"相识"还可作名词。如：老相识。

【禁止　制止　阻止】"禁止"侧重事前不许可。如：禁止通行。"制止"侧重事情已经发生或正在发生的时候去强迫停止。如：制止乱收费。"阻止"指使停止行动；对象是合理的或不合理的。"禁止""制止"的对象多是不合理的。

【禁忌　顾忌】"禁忌"指某种环境场合不许提起或不许做的事。名词。"顾忌"指恐怕对人或事不利而有所顾虑。多作动词。

【景仰　敬仰】相同点：都有对人尊敬之意。不同点："景仰"有"佩服尊敬、仰慕"之意。如：他非常景仰先生的为人。"敬仰"指尊敬仰慕。如：这位作家备受青年们的敬仰。

【惊慌　惊惶】"惊慌"多形容行动的慌张。多用于口语。"惊惶"侧重于形容内心的恐惧，不知所措。多用于书面语。

【精当　精辟】"精当"指言论、文章等精确恰当。"精辟"指见解、理论深刻、透彻。

【精制　精致】"精制"指精工制造。"精致"指精巧细致。如：花纹精致。

【精华　精粹】"精华"指事物最重要、最好的部分。名词。"精粹"是精练纯粹。形容词。如：文章写得很精粹。

【精密　精确】"精密"侧重机器、仪表等精确细密。"精确"侧重计算准确无误。

【精心　专心　经心】"精心"指用心用力。如：精心策划。"专心"指心思专一，不受干扰。如：专心致志。"经心"指留心，当心，在意。如：漫不经心。

【惊奇　惊诧　惊异　惊愕】"惊奇"重在令人奇怪。"惊诧"重在觉得不可能。"惊异"重在认为特殊，少见。"惊愕"重在因吃惊而发愣。

【警惕　警觉　警戒】"警惕"着重指思想上加以戒备，防止可能出现的各种危险或错误倾向。"警觉"着重指保持敏锐的感觉，对情况的变化或危险的发生及时作出反应。"警戒"着重指行动上加以戒备。如：加强警戒。

【警醒　惊醒】"警醒"指警戒醒悟。"惊醒"指受惊动而醒来。

【敬赠　惠赠】"敬赠"指恭敬地赠与对方。谦辞。"惠赠"指对方赠与(财物)。敬辞。

【就教　从教】"就教"指请教,求教。如:就教于专家。"从教"指从事教育工作。

【救急　救济】相同点:都表示"救"的意思,动词。不同点:"救急"指帮助解决突然发生的伤病或其他急难。如:这些救济款救急不救贫。"救济"指用金钱或物资帮助灾区或生活困难的人。如:政府向灾民发放了大量救济粮。

【拘谨　拘束】"拘谨"侧重小心。"拘束"侧重受到限制。"拘束"还是动词。如:不要拘束孩子的正当活动。

【局部　部分】"局部"多用于形势、战局、文章等。"部分"多用于物品、工具、任务、工作等。"局部"与"全局"相对,"部分"与"全部"相对。

【眷恋　眷念】"眷恋"指(对自己喜爱的人或地方)深切地留恋。如:眷恋旧物。"眷念"指想念。如:眷念亲人。

【眷眷　拳拳】"眷眷",动词,多指感情上怀念,依依不舍。"拳拳",形容词,多指态度上诚挚恳切。

【聚集　云集】"聚集"用于人或事物。"云集"指像天空的云一样从各处聚集在一起。

【捐赠　捐献　馈赠】"捐赠"侧重赠送。"捐献"侧重献出。"馈赠"指赠送礼品。

【绝唱　绝响】"绝唱"指诗文创作的最高造诣。"绝响"泛指传统已断的事物。

【决意　决议】"决意"指拿定主张,决计。如:他决意明天一早就离开这儿。"决议"指经一定会议讨论通过的决定。如:大会做出了八项决议。

K

【开启　开发】"开启":①打开。如:开启闸门。②开创。如:开启一代新风。"开发":①开拓。如:开发边疆。②发现或发掘人才、技术等供利用。

【开辟　开拓　开创】"开辟"重在"辟",打通,建立。如:开辟航线;开辟根据地。"开拓"重在"拓",拓展,由小到大。如:开拓新局面;开拓市场。"开创"重在"创",创建,从无到有。如:开创新学科。

【开阔　开朗】"开阔"用于心胸、思想宽阔。还是动词。如:开阔眼界。"开朗"用于思想、心胸、性格等乐观、畅快,不阴郁低沉。

【抗争　抗衡】"抗争"重在"争",斗争。如:据理抗争。"抗衡"重在"衡",不相上下。如:不可与之抗衡。

【克服　克复】"克服"用于战胜缺点、错误、不利条件等。"克复"指经过战斗而夺回被敌人占领的地方。如:克复失地。

【刻薄　尖刻】"刻薄"侧重冷酷,苛求。"尖刻"指尖酸刻薄。

【刻苦　苛酷】二者都是形容词,不同的是:"刻苦"①指很能吃苦,如:他学习很刻苦;②指俭朴,如:他生活很刻苦。"苛酷"指苛刻残酷,如:这是一项十分苛酷的买卖。

【苛求　强求】"苛求"指过严地要求。"强求"指硬要求。

【渴望　可望】"渴望"指迫切地希望。如:同学们多么渴望有一个完整的双休日啊!"可望"指有希望。如:我市第二期教师住房解困工程,可望在春节前竣工。

【恪守　遵守】"恪守"指严格遵守。书面语。如:恪守中立。"遵守"多用于口语。

【扣押　扣压】"扣押"指拘留,扣留;用于人或物。"扣压"指把文件、意见等扣留下来不办理。

【夸耀　夸奖】"夸耀"一般是炫耀自己,常含贬义。"夸奖"一般是称赞别人,不带褒贬色彩。

【夸示　夸饰】相同点:都有"夸奖"的意思。不同点:"夸示"指向别人显示或吹嘘(自己的东西、长处等)。如:他指着自己的衣料夸示不止。"夸饰"指夸张地描绘。如:他夸饰那里的情景。

【恳切　殷切】"恳切"指上下级、长幼及同志间的真诚希望。"殷切"多指组织对成员、长辈对晚辈等。

【勘误　更正】"勘误"指编者或作者更正书刊中文字上的错误。"更正"使用范围广。能带宾语。如:老师给我们更正了几个错字。

【考察　考查】"考察"侧重观察、调查、研究。如:南极考察。"考查"指用一定的标准来检查衡量行为、活动。如:考查业务。

【空泛　空乏】"空泛"指内容空洞浮泛,不着边际。如:空泛的议论。"空乏":①穷困。②空洞乏味。如:内容空乏。

【苦楚　苦处】"苦楚"多指生活中所受的折磨。"苦处"指所受的痛苦,语义轻。

【宽待　宽贷】"宽待"指宽大对待。如:宽待俘虏。"宽贷"指宽容;饶恕。不用于敌人。

【宽裕　宽余】都指生活或时间宽绰富余。

"宽余"还指宽阔舒畅。如：他近两年手头宽余多了。

【困惑　茫然　迷惑】"困惑"重在"困"，被问题难倒，无法摆脱。"茫然"重在"茫"，无所知晓。"迷惑"重在"迷"，分辨不清是非。"茫然"还指失意。

【旷费　旷废】"旷费"侧重浪费时间。如：旷费时日。"旷废"侧重荒废学业。

L

【拉拢　笼络】都是贬义词。"拉拢"着重于要手段使别人靠拢到自己方面来，使自己得利。"笼络"指用不正当的方法拉拢人，使对方从思想上、感情上靠拢自己。

【滥用　乱用】"滥用"重在"滥"，无节制，超范围。如：滥用职权。"乱用"重在"乱"，混乱，错误。如：乱用形容词。

【类同　雷同】"类同"指大致相同。如：样式类同。"雷同"多指不该相同而相同。如：雷同试卷。

【类似　相似】"类似"仅是情况、形态等大致相像。"相似"即相像，指两事物有许多共同之处。程度甚于"类似"。

【历程　里程】"历程"指经历的过程。如：光辉的历程。"里程"：①路程。如：往返里程。②发展的过程。如：革命的里程。

【莅临　亲临】"莅临"多用于贵宾。"亲临"侧重亲自到某处。如：亲临前线。

【利害　厉害】"利害"指利益和损害。如：利害攸关。"厉害"指难以对付或忍受；剧烈，凶猛。如：这人可真厉害；天热得厉害。"利害"有时同"厉害"。

【力行　厉行】"力行"指努力实践；不能带宾语。如：身体力行。"厉行"指严格实行；能带宾语。如：厉行节约。

【罹难　遇难】"罹难"使用场合庄重严肃。书面语。"遇难"使用通俗、广泛。

【理念　观念】都指思想意识。"理念"侧重客观性。如：经营理念。"观念"侧重主观认识。如：传统观念。"理念"还指信念。如：人生理念。

【连续　陆续　持续】"连续"指一个接一个，时间上无间隔。如：连续发生瓦斯爆炸事故。"陆续"指时断时续，时间上有间隔。如：代表们陆续报到。"持续"指延续不断。如：持续增长。

【联合　联袂】"联合"侧重结合与共同，多指社会生活中群体或个人之间的合作。"联袂"指携手行动，多用于文艺演出、体育比赛等。如：联袂献艺。

【缭绕　环绕　萦绕　缠绕】"缭绕"多指烟雾、声音等回旋飘荡、盘旋上升的状态。"环绕"着重围上一周；多用于具体事物。"萦绕"着重萦回盘绕，常指某种感情、思绪不断。"缠绕"引申为搅扰，打扰。如：烦恼缠绕心头。

【料理　处理　办理】"料理"即办理，处理；多用于生活琐事。"处理"多指解决问题。"办理"指处理事务，承办业务。

【邻近　临近】"邻近"只用于空间。如：邻近边界。"临近"用于空间和时间。如：临近春节；临近闹市。

【凌晨　零辰】这两个词语表示的时间不同。"凌晨"指天快亮的时候，如：凌晨三点。"零辰"指夜里12点整，如：今天夜间零辰就出发。

【灵活　灵巧　灵敏】"灵活"侧重敏捷，不呆板，多指人的手脚和脑筋；还指善于随机应变。"灵巧"与"笨拙"相对，侧重表示心思灵巧，技艺高明。"灵敏"侧重应变能力强及反应快。

【领会　领悟】"领会"对象多是精神、意图。"领悟"对象多是含义、道理。

【聆取　领取】相同点：都有取得的意思，动词。不同点："聆取"指听取教诲、指示等，书面用语。如：聆取您的谆谆教诲。"领取"指取得发给的东西，多指客观事物。如：请你赶紧去领取本月的工资。

【流言　谣言】"流言"多指背后议论、诬蔑或挑拨的话。"谣言"指假话。

【流失　流逝】"流失"多用于具体事物。"流逝"多用于抽象事物。

【流离　流落　流浪】"流离"指由于灾荒战乱而流转离散。书面语。"流落"侧重穷困潦倒，漂泊外地。"流浪"侧重四处漂泊求生。

【流利　流丽】"流利"重在"利"，通畅不凝滞。用于说话、读文章或写字等。"流丽"重在"丽"，华美。用于诗文、书法等。如：文笔流丽。

【流传　留传】"流传"多指事迹、作品等传下去或传播开。如：大禹治水的故事，一直流传到今天。"留传"指遗留下来传给后代。如：父亲留传下来的秘方。

【留恋　眷恋　迷恋】"留恋"指不忍舍弃或离开。如：留恋故土。"眷恋"指深切地留恋；语义重。多用于书面语。"迷恋"指对某一事物过度爱好而难以舍弃。如：迷恋酒色。

【漏子　娄子】"漏子"指漏洞。如：戏法变得无漏子。"娄子"指乱子。如：捅娄子。

【履行　执行　实行】"履行"指实践自己答应做的或应该做的事。如：履行合同。"执行"指实行法律、政策、计划、命令、判决中规定的事项，带强制意味。如：执行公务。"实行"指用行动来实现纲领、政策、计划等，侧重主观努力。

【鲁莽　粗鲁　野蛮　蛮横】"鲁莽"侧重莽撞，冒失，缺乏思考。"粗鲁"侧重态度粗暴，举止蛮横。"野蛮"侧重不文明。"蛮横"侧重不讲理。

【罗致　罗织】"罗致"指延聘；搜罗（人才）。"罗织"指虚构罪状，陷害无辜的人。如：罗织罪名。

M

【蔓延　蔓延】"蔓延"指连绵不断。如：山路蔓延。"蔓延"指像蔓草一样不断向周围扩展。如：大火蔓延。

【莽撞　冒昧　唐突】"莽撞"指鲁莽冒失，口语。"冒昧"侧重失礼。多用作谦辞。"唐突"，乱闯，冒犯。书面语。

【媒体　媒介】"媒体"指交流、传播信息的工具，如报刊、广播、广告等。"媒介"指使双方（人或事物）发生关系的人或事物。如：苍蝇是传播疾病的媒介。

【渺小　微小】"渺小"用于精神、思想、力量等抽象事物。"微小"着重于形体、数量，常形容具体事物，也形容作用、力量等抽象事物。

【迷惘　迷惑】都是形容词。"迷惘"指由于分辨不清而困惑，不知怎么办。如：精神迷惘。"迷惑"指分辨不清是非。如：迷惑不解。"迷惑"还是动词。如：迷惑群众。

【绵延　蜿蜒　连绵】"绵延"侧重延续不断；既用于物体，也用于时间。"蜿蜒"侧重于形容物体的外形弯弯曲曲。"连绵"指山脉、河流、雨雪等接连不断。

【勉励　勉力】"勉励"指劝人努力；鼓励。"勉力"指尽力；努力。如：勉力为之。

【面世　面市】"面世"指作品、产品与世人见面；问世。如：新作面世。"面市"指产品开始供应市场。如：一种新型移动电话即将面市。

【泯灭　泯没　磨灭】"泯灭"指形迹、印象、良知等消灭。"泯没"指形迹、功绩等消灭。"磨灭"指印象、功绩、事实、道理等消灭。

【名气　名声　名望】"名气"，褒义词，多用于口语。"名声"，中性词，用于口语和书面语。"名望"，褒义词，书面语。

【模仿　模拟】"模仿"多用于口语。动词。"模拟"多用于书面语；可作定语。如：模拟试卷。

【模糊　含糊】"模糊"用于印象、认识、字迹、神志等。"含糊"用于语言、含义等。

【漠视　忽视　无视】"漠视"指冷漠地对待。如：漠视群众。"忽视"指疏忽不注意。如：忽视安全生产。"无视"指不放在眼里。语义最重。如：无视党纪国法。

【陌生　生疏】"陌生"的对象多是没有见过的人或物。"生疏"指可能是见过的，但已长期不接触。如：业务生疏。

【谋取　牟取】"谋取"指设法取得。使用范围广。"牟取"只用于谋取名利。贬义词。如：牟取暴利。

【目标　目的】"目标"侧重对象或标准。如：锁定目标；奋斗目标。"目的"侧重意图。如：写作目的。

【目前　日前】"目前"指说话的时候。"日前"指几天前。如：日前表示。

N

【耐心　耐烦　耐性】"耐心"侧重有耐性。"耐烦"强调不怕麻烦，一般用于否定句。"耐性"是名词；"耐烦"是形容词；"耐心"，既可是名词，也可是形容词。

【难熬　煎熬】"难熬"着重指肉体或精神上受到痛苦而难以忍受或生活下去。"煎熬"着重指精神上受折磨；多用于书面语。

【捏造　伪造　假造】"捏造"对象常是不存在的事实、证据等。"伪造"着重指暗中模仿真的，造出假的。"假造"：①伪造。如：假造货币。②捏造。如：假造理由。

【拟订　拟定】相同点：都有起草一种规划的意思。不同点：起草结果不同。"拟订"，指初步草拟，属于初步意见，如：拟订计划。"拟定"含有定下来的意思，①表示起草制定，如：拟定远景规划；②表示推测断定，如：他们根据已经掌握的材料，拟定了侦破这个案件的具体方案。

【凝视　注视】"凝视"强调聚精会神地看。如：他凝视着母亲的遗像。"注视"强调目不转睛地看，如：他注视着窗外小贩的一举一动。

【年轻　年青】两者都指年纪不大（多指十几岁到二十几岁）。"年轻"强调年纪轻。如：年轻力壮。"年青"强调处在青少年时期。如：年青的一代。

【年纪　年龄】"年龄"指生存的年数，用于人，也可用于动植物。如：树木的年龄。而"年纪"则一般只用于人。如：小小年纪，懂什么！

【内情　内幕　底细】都指外界不知道的情况。"内情"泛指内部情况。"内幕"强调不可告人。贬义词。"底细"还指人或事的根源。如：我了解他的底细。

Q

【讴歌　歌颂】两者都泛指用言语文字等赞美。"讴歌"是书面语。

P

【盘算　打算　计算】都有考虑、筹划的意思。"打算"还是名词，指关于行动的方向、方法等的想法、念头。"计算"是数学用语；还指暗中谋划损害别人(又作"算计")。

【盘问　盘查】"盘问"指仔细全面地查问，重在问。"盘查"指盘问检查，重在检查对方证件、物品。"盘查"程度比"盘问"重。

【盘旋　回旋　盘桓】"盘旋""回旋"都比喻某种想法萦绕脑中。"回旋"还指可进退，可商量。如：有回旋的余地。"盘桓"，逗留，徘徊。书面语。如：稍作盘桓。

【盘踞　占据】"盘踞"强调依仗权势占为己有，多用于土匪、强盗、反动势力。贬义词。"占据"侧重夺得或保持，多指军事行为。中性词。"盘踞"一般不带宾语。

【蹒跚　踉跄　翘起】"蹒跚"多用来描写小孩、老人或伤残人走路不稳的样子，是连续的较慢的动作。"踉跄"描写因某种原因造成的走路不稳。"翘起"描写身体歪斜，走路不稳，程度重于"踉跄"。

【培育　培养　培植】"培育"多用于幼小生物；也用于人。"培养"多用于人，常指培养人才、崇高理想、优良品德、良好习惯。也用于生物。如：培养细菌。"培植"多用于植物，也指培养人才；又指扶植势力使壮大，含贬义。如：培植亲信。

【披露　透露】"披露"：①公布，发表；多是正式的。如：披露会谈内容。②表露。如：披露心迹。"透露"指泄露或显露消息、意思等；多是非正式的。如：透露风声。

【品味　品位】"品味"可以是名词，也可以是动词，当动词时是品尝、体会的意思；当名词时是①(物品的)品质和风味；②格调和趣味。"品位"只是名词，本指矿石中有用元素或有用矿物含量的百分率，引申为物品质量；泛指人或事物达到的水平。如：节目的艺术品位较高。

【品性　品行】"品性"指品质性格。如：品性怯懦。"品行"指有关道德的行为。如：品行不端。

【破除　解除　废除】"破除"指打破、除掉原来被人特别重视的信仰或蒙蔽人们的不合理的不好的东西。"解除"的对象常是精神压力、思想顾虑或职务等。"废除"的对象多是制度、法令、规章等不合理的或无用的东西。

【排除　排斥　排挤】"排除"着重除掉，消除。中性词。如：排除险情。"排斥"着重使别的人或事物离开自己这方面。如：排斥异己。"排挤"着重凭借势力或手段使不利于自己的人失去地位或利益。贬义词。

【排遣　宣泄　倾吐】"排遣"强调利用某种事来消除寂寞和烦闷。"宣泄"指舒散；吐露心中的积郁。"倾吐"强调彻底说出心里话，适用范围比"排遣""宣泄"大。

【徘徊　徜徉】"徘徊"指在一个地方来回地走，比喻犹豫不决。"徜徉"指闲游，安闲自在地行走。

【派生　衍生】"派生"侧重生出。如：派生词。"衍生"侧重变成。如：衍生出新组织。

【偏激　偏执】"偏激"指意见、主张等过火。"偏执"指偏激而固执；语义重。

【片段　片断】都指整体作品、生活、经历中的一段。"片断"还指零碎。如：生活片断。

【普遍　广泛】"普遍"强调共性。如：普遍现象。"广泛"强调范围。如：题材广泛。

【评价　评估】"评价"指评定价值高低，可用于人。如：如何评价岳飞。"评估"指评议估计，多用于资产、水平等，不用于人。"评价"还是名词，指评定的价值。

【抨击　批评　批判】"抨击"指用言论攻击某人或某种言行。如：抨击时弊。"批评"的对象多是缺点、错误。"抨击"语义重，且多用于书面语。"批判"多指对错误思想、言行做系统的分析，加以否定。如：批判唯心主义。

Q

【祈求　乞求　企求】"祈求"指恳切地希望或请求。如：祈求来年有个好收成。"乞求"指请求给予。如：乞求宽恕。"企求"指希望得到。如：企求一份好工作。

【契合　吻合】都指符合。"吻合"指完全符合；语义重。"契合"还指合得来。

【气概　气魄】"气概"指在对待严重问题上表现出来的态度、举动或气势(专指正直豪迈的)。如：英雄气概。"气魄"：①办事的魄力。②气势。

【起用　启用】"起用"指重新任用退职或免职的官员；也指提拔使用新人。"启用"指设备、设施开始使用；也指任用新人。如：启用新秀。

【启事　启示】"启事"指为了说明某事而登在报刊上或贴在墙壁上的文字，名词。如：征稿启事。"启示"指启发提示，使有所领悟，既作动词，也作名词。如：这篇文章给人很大的启示。

【期间　其间】"期间"指在某个时期里面。

如：春节期间，他走访了许多革命老干部。“其间”指那中间，其中。如：这本书主要介绍了本世纪的一些科研成果，其间有不少属于尖端科学的成分。

【其他　其余】“其他”强调另外的。“其余”强调剩下的。

【切实　确实】“切实”指事情本身符合实际。如：切实有效。“确实”指事情真实可信，毫无疑问。如：确实可信。

【强制　强迫】“强制”指用政治或经济力量强迫；使动者是国家、政府、组织。“强迫”泛指施加压力使服从；使动者也可以是个人。

【牵扯　牵掣】相同点：都有牵连的意思。不同点：“牵扯”指牵连，有联系。如：这个案子牵扯到三名领导干部。“牵掣”有两种意思：①指因牵连而受影响或阻碍。如：互相牵掣。②牵制。如：牵掣敌人的兵力。

【切记　切忌】相同点：都用于对人的嘱咐。不同点：“切记”指牢牢地记住。如：我们的权力是人民给的，切记切记；“切忌”指切实避免或防止，如：我们手中的权力是党和人民给的，切忌把它当做谋私的工具。

【墙角　墙脚】“墙角”指墙角落。“墙脚”指墙根，比喻基础。如：挖墙脚。

【缺乏　缺少】“缺乏”指所需要的、想要的或一般应有的事物，没有或不够。如：缺乏人才；缺乏经验。“缺少”多指人或物数量不够。如：缺少零件；缺少雨水。

【清除　剔除】“清除”重在去掉；语义重。如：清除异己。“剔除”重在挑出；语义轻。如：剔除糟粕。

【清净　清静　清闲】“清净”指人没有事物打扰。如：耳根清净。“清静”指环境安静，不嘈杂。“清闲”指人清静，有空闲时间。如：清闲自在。

【清丽　清秀】“清丽”指清雅秀丽，多指文章、气质、景色等。“清秀”指美丽而不俗气，多用于人。

【清新　清馨】“清新”指清爽而新鲜或新颖不俗气。如：空气清新。“清馨”指香而不浓烈；书面语。如：满园清馨。

【清凉　清冷】“清凉”多指空气、晨风、雨水、饮料等，凉而使人感觉爽快。“清冷”多指秋夜、月色、天气凉爽而略带寒意，也指冷清、凄凉。

【情意　情谊　情义】“情意”泛指对人的感情。“情谊”指人与人相互关切、爱护的感情。“情义”指亲属、同志、朋友相互间应有的感情。

【请教　领教】“请教”指请求指教。“领教”多指在接受人的教益或欣赏人的表演时说的客气话；也指请教。如：有点小事向您领教。

【倾注　倾泻】“倾注”重在“注”，注入。“倾泻”重在“泻”，流出。

【倾听　聆听】“倾听”多用于上对下。“聆听”多用于下对上。

【轻率　草率】“轻率”指说话做事随便。“草率”指工作粗枝大叶，敷衍了事。

【轻巧　轻盈】“轻巧”：①重量小而灵巧。如：这台电脑很轻巧。②动作轻松灵巧。③简单容易。如：你说得倒轻巧。“轻盈”多形容女子身材苗条，动作轻巧；还指声音。

【轻浮　轻飘】“轻浮”重在“浮”，言语举动随便，不严肃，不庄重。如：举止轻浮。“轻飘”重在“飘”，不深入，不踏实。如：作风轻飘。

【侵蚀　侵袭】“侵蚀”见“腐蚀”条。“侵袭”指侵入并袭击。如：遭受台风侵袭。

【侵略　侵犯】“侵略”的对象常是国家、主权、领土等。“侵犯”指侵入别国领域；还指非法干涉别人，损害其权利。如：侵犯隐私。

【情景　情境】“情景”指具体场合的情形；多是感人场面、动人景色等。“情境”：①情景。②境地。意义较抽象。如：窘迫的生活情境。

【情势　情事】“情势”，指事情的状况和发展的趋势；形势。如：见情势不妙，立即收兵。“情事”，即情况、现象。

【权利　权力　权限】“权利”指公民或法人依法行使的权力和享受的利益。与“义务”相对。“权力”指政治上的强制力量，职责范围内的支配力量。如：权力集中。“权限”指职权范围。如：超越权限。

【权益　权宜】“权益”指应该享受的不容侵犯的权利。如：合法权益。“权宜”指暂时适宜；变通的。如：权宜之计。

【劝慰　劝解　劝说】“劝慰”重在安慰对方，使不消沉。“劝解”重在宽解对方，使想得开。“劝说”重在说服对方改变原来的观点、做法。

【祛除　驱除】“祛除”指除去（疾病、疑惧或邪祟等）。如：祛除病魔；祛除疑虑。“驱除”指赶走、除掉，范围比“祛除”广。如：驱除蚊虫；驱除疑虑。

【驱赶　驱逐】“驱赶”多用于动物。“驱逐”只用于人。如：驱逐入侵者。

【屈服　屈从】“屈服”指对外来的压力，妥协让步，放弃斗争。语义比“屈从”重。“屈从”强调不敢反抗，勉强服从。如：屈从于恶势力。

【确凿　确切】"确凿"强调非常确实；多指事实、证据等。"确切"强调准确、恰当，多用来形容语言文字、思维判断等。

R

【让位　让贤】"让位"多指让出统治地位或领导职位。"让贤"指把职位让给有才干的人。

【认定　确认】"认定"侧重定而不移。如：认定系团伙犯罪。"确认"侧重明确无疑问。如：确认受害人身份。

【认为　以为】两者都指对人或事物确定某种看法，做出某种判断。"认为"比较郑重。"以为"可表猜想估计；有时带文言色彩。如：不以为然。

【任务　使命】"任务"指一般的工作。"使命"多指政府或历史赋予的重大任务，带有庄重色彩。

【软弱　懦弱】两者都指性格不坚强。"软弱"还指缺乏力气。例如：病后身体软弱。"懦弱"还指软弱无能。如：懦弱无能。

【溶化　熔化　融化】"溶化"：①固体溶解。如：糖溶化在水中。②同"融化"。"熔化"指固体加热到一定温度变为液体。如：铁熔化成铁水。"融化"指冰、雪等变成水。

【融解　溶解】相同点：二者都有化解的意思。不同点："融解"指融化。如：山顶上的积雪融解了。"溶解"指固体、液体或气体物质的分子均匀地分布在一种液体中。如：食盐很快就溶解了。

S

【扇动　煽动】二者都有"使……动"的意思。不同点："扇动"：①指像扇子的东西摇动，中性词，如：扇动着翅膀；②同"煽动"；"煽动"指鼓动别人做不应该做的事，含贬义，如：煽动不明真相的群众闹事。

【闪烁　闪耀】二者都是动词，都可用来形容有光亮的事物。不同的是："闪烁"主要形容光亮动摇不定，忽明忽暗的样子。如：天上闪烁着星星。"闪耀"形容光彩耀眼，光亮明亮。如：闪耀着马列主义的光辉。

【商量　商榷　协商】"商量"，口语，多指一般问题。"商榷"含有尊敬、客气色彩，书面语，多指学术问题；也指其他需慎重研究的重大问题。"协商"指共同商讨，多指重大的，特别是具有社会性的或国际性的问题，一般带有庄重色彩。

【摄取　撷取】"摄取"：①吸收。如：摄取营养。②拍摄。如：摄取镜头。"撷取"指摘下，取下。书面语。如：撷取几朵花。

【深沉　沉稳】"深沉"侧重思想感情不外露。如：此人很深沉，不易捉摸。"沉稳"侧重稳重。如：举止沉稳。

【申诉　申辩】"申诉"是政法术语，重在提出自己的要求。"申辩"重在对所受指责申述理由，加以辩解。

【申述　陈述　叙述】"申述"指详细说明。"陈述"侧重有条理地说出。"叙述"侧重记下或说出事情的前后经过。

【神志　神智】"神志"指知觉和理智。如：神志不清。"神智"指精神智慧。如：神智过人。

【神秘　诡秘　神奇】"神秘"侧重高深莫测，使人摸不透。"诡秘"侧重行为、态度等异常隐秘，使人难以捉摸。贬义词。"神奇"侧重非常奇妙。

【神情　神采　神态】"神情"指人脸上所显露的内心活动，较含蓄。"神态"指内心活动在脸上表现出的面色和态度，特征较明显。"神采"指人面部的神气和光彩，多指精神饱满，特征十分明显。如：神采飞扬。"神情""神采"用于人，"神态"还用于动物。

【审阅　审订　审定】"审阅"侧重"阅"，审查阅读。如：审阅文件。"审订"侧重"订"，审查阅读之后进行修订。如：审订文稿。"审定"侧重"定"，审查之后作出决定。如：审定计划。

【慎重　郑重】"慎重"指谨慎持重，用于行事。"郑重"指严肃认真，用于态度。

【声明　申明】"声明"：①公开表示态度或说明真相。如：声明作废。②声明的文告。如：发表声明。"申明"，郑重说明。如：申明理由。

【生僻　冷僻】都指文字、典故等不常见。"冷僻"还指冷落偏僻。如：地段冷僻。

【胜地　圣地】"胜地"指有名的风景优美的地方。如：避暑胜地。"圣地"指宗教徒称与教主生平事迹有重大关系的地方或指具有重大历史意义和作用的地方。如：革命圣地。

【食言　失言】"食言"指说话不算数。如：决不食言。"失言"指无意中说出不该说的话。如：一时失言。

【时代　时期】"时代"指历史上以经济、政治、文化等状况为依据而划分的某个时期。如：石器时代。"时期"指具有某种特征的一段时间。如：抗战时期。"时代"还指个人生命中的某个时期。如：青年时代。有的词既可与"时代"也可与"时期"搭配，其意义不同。如：五四时代；五四时期。"时代"一般比"时期"时间长。

【时势　时事】"时势"指某一时期的客观形势。如：时势造英雄。"时事"指最近期间的国内外大事。如：时事政治。

【使用　施用　适用】"使用"对象多是人

员、器物、资金等。“施用”对象多是手段、伎俩等。“适用”指适合使用。如：这套耕作方法，在我们这个地区也完全适用。

【适合　适应】“适合”侧重符合。如：适合人伍条件。“适应”侧重顺应。如：适应环境。

【时效　实效】“时效”重在“时”，在一定时间内。如：时效三天。“实效”重在“实”，实际效果。如：注重实效。

【施行　实行】“施行”指法令、规章等公布后从某时起发生效力；执行。如：《广告法》从即日起施行。“实行”指用行动来实现（纲领、政策、计划等）。如：实行责任制。

【实足　十足】“实足”指确实足数的。如：实足年龄。“十足”：①成色纯。如：十足的黄金。②十分充足。如：干劲十足。

【实验　试验】“实验”重在实际验证。“试验”重在观察尝试去做。

【失望　绝望】“失望”侧重“失”，失去希望；语义轻。“绝望”侧重“绝”，断绝希望；语义重。“失望”还指因希望未实现而不愉快。如：令人失望。“绝望”不用“很”修饰。

【事故　事端】“事故”侧重“故”，意外的损失或灾祸，多指在生产、工作上发生的。“事端”侧重“端”，纠纷，多用于政治和日常生活方面。书面语。如：制造事端。

【势力　势利】“势力”指政治、经济、军事等方面的力量。“势利”指看财产、地位分别对待人的表现。如：势利之交。

【嗜好　癖好】“嗜好”多指不良的特殊爱好。“癖好”指对某种事物的特别爱好，好坏事物均可。如：他对于书法有很深的癖好。“嗜好”还是动词。如：嗜好赌博。

【世家　门第】“世家”指以某种专长世代相承的家族。如：梨园世家。“门第”指整个家庭的社会地位和家庭成员的文化程度等。如：书香门第。

【收集　搜集】“收集”的对象多是具体现成的。如：收集废电池。“搜集”的对象多是抽象的，且须寻找。如：搜集民歌。

【收敛　收缩】“收敛”：①笑容、光线等减弱或消失。②言行上减轻放纵的程度。如：收敛野性。“收缩”：①物体由大变小或由长变短。②紧缩。如：收缩开支。

【收益　受益】“收益”指生产上或商业上的收入。“受益”指得到好处。

【受奖　授奖】“受奖”得到奖励。如：他立功受奖。“授奖”指颁发奖金、奖品或奖状。如：授奖仪式。

【受权　授权】“受权”指接受国家或上级委托有权力做某事。如：新华社受权发表声明。“授权”指把权力委托给他人或机构代为执行。如：董事会授权总经理办理融资事宜。

【受命　授命】“受命”指接受任务或命令。如：受命以来，他日夜寝食不安。“授命”：①指献出生命，书面用语。如：临危授命。②指下达命令。如：他授命组织内阁。

【疏远　疏离】“疏远”指不亲密。“疏离”指疏远隔离。如：疏离社会。

【疏忽　忽略　马虎】“疏忽”侧重因粗心大意而没注意到。如：疏忽职守。“忽略”侧重因不重视、考虑不全面而有所遗漏。“马虎”侧重指粗心大意、草率敷衍。“疏忽”“忽略”是动词。“疏忽”还是形容词。如：一时疏忽，造成错误。“马虎”是形容词。

【熟练　纯熟　精通】“熟练”侧重有经验。“纯熟”侧重娴熟，程度比“熟练”深。“精通”侧重对学问、技术或业务有透彻的了解并熟练地掌握。

【熟习　熟悉】“熟习”重在掌握得熟练。“熟悉”重在知道得清楚。

【束缚　约束】“束缚”侧重使受到严重的不应有的限制。“约束”侧重使受到应有的或不应有的限制。“束缚”程度比“约束”重。贬义词。“约束”也能用于贬义。如：约束太多。“束缚”的反义词是“解放”。“约束”的反义词是“放任”。

【树立　竖立】“树立”指在意识形态领域里立起新人、新事、新风尚。如：树立典型。“竖立”指在地上或物体上把一些物体直立起来。

【衰弱　衰败】“衰弱”重在“弱”，由强转弱。如：势力衰弱；身体衰弱。“衰败”重在“败”，由兴盛到没落；多用于家业、景象等。

【率领　带领】“率领”多用于重要事情、庄重的场合。“带领”指在前带头使后面的人跟随着。如：带领参观。

【思考　思索　思维】“思考”侧重深入考虑。“思索”侧重用心探求。“思维”侧重精神活动。

【缩小　减少】“缩小”指使由大变小。如：缩小差距。“减少”指减去一部分。如：减少麻烦。

【琐碎　琐屑　烦琐】“琐碎”“琐屑”都指细小零碎。前者是口语，后者是书面语。“烦琐”又作“繁琐”，指繁杂，多形容文章和说话。“琐屑”可作名词。如：家庭琐屑。

【损害　伤害　危害】“损害”多用于事业、利益、健康、名誉等。“伤害”多用于身体组织或

思想感情。“危害”义同“损害”，程度较重。如：危害国家安全。

【随意　遂意】“随意”指任凭自己的意思。如：随意出入。“遂意”指合自己的心意。书面语。

T

【泰然　安然　坦然】“泰然”重在“泰”，安宁，不紧张。如：处之泰然。“安然”重在“安”，平安，放心，不牵挂。如：安然无恙；只有把这件事告诉他，他才能安然。“坦然”重在“坦”，平静，不心虚。如：坦然面对指责。

【探索　摸索　搜索】“探索”的目的在于寻求答案，解决疑问。如：探索人生道路。“摸索”的目的在于寻求方向、方法、经验等。“搜索”指仔细寻找隐藏的人或物。

【逃遁　逃亡　逃窜】“逃遁”重在“遁”，躲避。“逃亡”重在“亡”，流亡。“逃窜”重在“窜”，流窜。

【特点　特征　特色　特性】都指特别之处。“特点”的适用范围广。“特征”侧重征象、标志。如：体貌特征。“特色”侧重色彩、格调。如：艺术特色。“特性”侧重性质。如：民族特性。

【特别　特殊】都指不同于一般。“特别”多用于人、脾气、样式等。“特殊”多用于情况、待遇等。“特别”指格外、特地、尤其。如：特别快；特别把他留下来研究技术上的问题；他喜欢吃水果，特别是葡萄。

【提倡　提议】“提倡”是指出事物的优点，鼓励大家使用或实行。“提议”指商议问题时提出主张来请大家讨论；也作名词。

【提交　上缴】“提交”指把需要讨论、决定或处理的问题交有关机构或会议。如：提交议案。“上缴”指把收入的财物、利润和节余等缴给上级。如：上缴国库。

【题名　提名】“题名”写上名字。如：金榜题名。“提名”指在评选或选举前提出有当选可能的人或事物的名称。如：奥斯卡奖提名。

【题材　体裁】相同点：都与文章有关。不同点：“题材”指构成作品的材料，如：文学作品的题材很广泛；“体裁”指文学作品的表现形式，如：文学作品的体裁要多样化，记叙文、议论文、说明文是从体裁上分的。

【体力　体魄】“体力”指人体活动时所能付出的力量。“体魄”指体格和精力。

【体统　体面】“体统”指体制、格局、规矩等。如：有失体统。“体面”除指“体统”外，还指光荣、好看。如：不体面的事。

【体察　体验　体会　体味】“体察”重在“察”，观察了解。如：体察民情。“体验”重在“验”，亲身认识、经历。如：体验生活。“体会”重在“会”，会心领悟。如：体会文件精神。“体味”重在“味”，品味揣摩。如：体味人生苦乐。

【体现　表现】“体现”侧重某种性质或现象在某一事物上具体表现出来。如：体现劳保制度的优越性。“表现”侧重人的思想感情或事物的内在情况显现出来。如：表现人物的个性。“表现”还指故意显示自己，带有贬义。如：爱表现。

【体制　机制】“体制”指组织制度，是静态的。如：学校体制。“机制”指组织之间相互作用的过程和方式，是动态的。如：市场机制。

【填补　弥补】“填补”侧重指补空缺；常与“空白”“空缺”“名额”“亏空”等词搭配。“弥补”侧重指补损失；常与“损失”“缺陷”“过失”等词搭配。

【调节　调剂】“调节”侧重从数量上或程度上调整，使适合要求，用于水量、风力、温度、气候、物价等。“调剂”侧重把多和少、忙和闲等加以适当的调整，用于人员、力量、物资、精神等。

【调皮　顽皮】都指爱玩爱闹，不听劝导。“调皮”还指不驯顺；狡猾不易对付；要小聪明，做事不老实。如：科学是老老实实的学问，任何一点调皮都是不行的。

【挑拨　挑唆】“挑拨”侧重搬弄是非，引起双方的争执。“挑唆”侧重唆使跟别人闹纠纷。

【听从　服从】“听从”侧重接受并按照要求去做，可用于人、组织或动物。“服从”不仅指听从，还指不折不扣地遵照执行；只用于人或组织。

【停留　滞留　停顿　停滞】“停留”指暂时停止前进；用于人时有主动意味。如：稍作停留。“滞留”指停留不动；有被动意味。如：滞留机场。“停顿”指事情中断或暂停。“停滞”指因受阻而不能顺利发展。如：生产停滞。

【统率　统帅】“统率”指统辖率领。动词。如：统率三军。“统帅”指统率全国武装力量的最高领导人。名词。如：三军统帅。

【统一　同一】“统一”，动词，使一致。如：我们要用科学的思想来统一步调。“同一”，形容词，共同一致。如：我们向着同一的奋斗目标前进。

【统治　统制】“统治”指以政权来控制，管理。如：封建统治。“统制”指统一控制。如：统制军用物资。

【恸哭　痛哭】"恸哭"指极其悲哀地大哭。"痛哭"指尽情大哭，动词。如：痛哭流涕。

【透漏　透露】"透漏"指透露，泄漏。如：透漏废气，制造污染。"透露"指泄露或显露消息、意思等。如：透露了事实真相。

【徒劳　枉然】"徒劳"侧重白费力；多指人的言行。"枉然"侧重无任何好处。

【突发　突变】"突发"指意外地突然发生。如：突发事件；突发奇想。"突变"指突然急剧地变化。如：局势突变。

【推荐　推选　推举】"推荐"侧重介绍好的人或事物要别人或组织上任用或接受。"推选"指口头提名选举。"推举"即"推选"，语义较"推选"重。

【推崇　尊崇】"推崇"指十分推重。如：杜诗备受推崇。"尊崇"指尊敬推崇，多用于人。如：受人尊崇的学者。

【推辞　推脱　推托】"推辞"指拒绝任命、邀请、馈赠等。"推脱"指推卸责任。"推托"专指借故拒绝，后面带上托词或拒绝的原因。如：他推托身体不舒服，不肯上台表演。

【推却　推诿】"推却"指拒绝；推辞。"推诿"指把责任推给别人。

【推迟　延迟】都指预定时间后延。"推迟"有主动意味，"延迟"有被动意味。

【推测　推断】都用于对未知的判断。"推测"侧重估计。"推断"侧重断定。

【推行　推广】"推行"指推广；还指普遍实行。"推行"常与"路线""方针""政策""方案""方法"等词搭配。"推广"常与"经验""成果""新方法"等词搭配。

【退化　蜕化】"退化"泛指事物由优变劣，由好变坏。如：耕地退化。"蜕化"本指虫类脱皮，比喻腐化堕落。如：蜕化变质。

【退缩　畏缩】"退缩"侧重后退。"畏缩"侧重害怕。

【颓丧　颓唐　颓废】"颓丧"侧重指情绪低落，心灰意冷，语义较轻。"颓唐"侧重指精神消沉、萎靡，语义较重。"颓废"侧重指意志消沉、思想灰暗，语义最重。

【吞噬　吞没】"吞噬"除指吞食外还指并吞他国领土或产业。"吞没"指将公共的或代管的财物据为己有。"吞没"还指淹没。

【拓宽　拓展】"拓宽"指道路、思路、视野等由窄变宽。"拓展"指范围、空间等由小变大。

【托词　遁词】"托词"指找借口拒绝做某事。"遁词"指因为理屈词穷而故意避开正题的话。

【妥善　妥帖】"妥善"侧重齐备完善。如：妥善安排。"妥帖"侧重恰如其分，多指文章。如：妥帖的比喻。

【屯集　囤积】"屯集"用于聚集人马等。"囤积"用于聚集货物。如：囤积粮食。

W

【瓦解　崩溃】两词都指完全破坏，垮台。"瓦解"还指使对方的力量崩溃，带宾语。如：瓦解敌人。"崩溃"不能带宾语。

【完备　完善】两词都指齐全不缺。"完备"着重于"备"，该有的全有。"完善"着重于"善"，不但齐全，而且良好。"完善"还指使完善。如：完善法制。

【顽固　固执】相同点：都是形容词，都有"不易变化，不易动摇"之意。不同点："顽固"表示思想保守，不愿意接受新鲜事物，或立场反动，不肯改变等。如：别再顽固不化了。"固执"表示坚持己见，不肯改变。如：侍萍，你不要太固执。

【枉然　惘然】二者读音接近，但表达的意思不尽相同。"枉然"指得不到任何收获，徒然。如：李登辉鼓吹"两国论"只能是枉然。"惘然"指失意的样子，或心里好像失掉了什么东西的样子。如：惘然若失。

【挽救　拯救】"挽救"侧重从危险中救出。"拯救"侧重从苦难中救出。书面语。

【妄想　幻想　梦想】"妄想"是贬义词。常与"痴心"搭配。"幻想""梦想"是中性词。在用于贬义词时，"妄想"比"幻想""梦想"更虚妄。另外，"妄想"的内容是不能实现的，而"梦想""幻想"的内容有时是可以实现的。

【委任　委派】都指派人担任职务。"委派"还指派人完成某项任务。

【伟力　威力】"伟力"指巨大的力量。如：我深深地为大自然的伟力所吸引。"威力"指强大的使人畏惧的力量。如：这个罪犯慑于法律的威力，只好自首。

【委屈　委曲】"委屈"可以指受到不应该有的指责或待遇而心里难过。如：他觉得很委屈。也可以指让人受委屈。如：对不起，委屈你了。"委曲"指曲调、道路、河流等弯弯曲曲的，也指事情的原因、由来。如：他把这事的委曲告诉了我。

【危害　伤害　损害】"危害"着重指使受破坏，危及安全；语义重。如：危害治安。"伤害"指身体组织或思想感情等受到损害；语义程度次之。如：伤害积极性。"损害"指事业、利益、健康、名誉等蒙受损失；语义最轻。如：不能损

害群众利益。

【慰劳　慰问】都指用话或物品安慰、问候。“慰劳”的对象一般是有功绩并很辛苦的人。“慰问”的对象广。如：慰问灾民。

【违反　违犯】“违反”指不符合法则、规章制度等。“违犯”指违背和触犯法律等，程度重。

【文雅　文静　斯文】“文雅”重在“雅”，不俗气，有教养。“文静”重在“静”，文雅安静；多指女性。“斯文”即文雅。如：说话很斯文。

【稳定　稳固】“稳定”侧重无变化。如：情绪稳定。“稳固”侧重不可动摇。如：政权稳固。

【问鼎　夺冠】都指夺取冠军。“问鼎”，书面语。还指图谋夺权。如：问鼎中原。

【斡旋　周旋】“斡旋”指调解。如：从中斡旋，解决双方争端。“周旋”多指交际应酬；还用于军事。如：同敌人周旋。

【污辱　侮辱】都指使对方人格或名誉受到损害，蒙受耻辱。“污辱”还指玷污。如：污辱光荣称号。

【诬陷　诬蔑】“诬陷”指妄加罪名诬告陷害。“诬蔑”指捏造事实败坏别人的名誉。

【舞弊　作弊】都指用欺骗的方式违法乱纪。如：徇私舞弊；司法舞弊。“作弊”还指用欺骗手段做不合乎规定的事情。如：他在一次随堂考试中作弊。

【误解　误会　曲解】“误解”指错误理解。如：误解对方；消除误解。“误会”是误解的结果。如：误会对方；消除误会；闹了一场误会。“曲解”指故意歪曲他人原意。

X

【许诺　承诺】“许诺”重在“许”，答应。如：向对方许诺。“承诺”重在“承”，照办。如：他承诺三天内交出欠款。

【虚假　虚伪】“虚假”指与实际不相符合，多形容人的言行或事物。“虚伪”形容弄虚作假，不诚实，多指人的言语、行为、作风、态度、品质等。

【修饰　粉饰　装饰】“修饰”指梳妆打扮或修整装饰使整齐美观；也指使语言文字明确生动。“粉饰”常指装点门面，掩盖实际。贬义词。如：粉饰太平。“装饰”指在身体或物体的表面加些附属的东西，使美观；又指装饰品。

【雄伟　宏伟】“雄伟”指山峰或富有历史意义的大型建筑物，也指设想、乐曲、绘画等的雄壮。“宏伟”指大型建筑或计划等的宏大。

【形迹　行迹】“形迹”：①举动和神色。如：形迹可疑。②痕迹。如：不留形迹。“行迹”指行踪。如：行迹无定。

【形式　形势　态势】“形式”指事物的形状、结构等。如：内容和形式。“形势”指事物发展的状况。如：形势大好。“态势”指状态和形势。如：分析敌我态势。

【性能　机能】“性能”指机械、器材、物品等所具有的性质和功能。“机能”指细胞组织或器官等的作用和活动能力。如：人体机能。

【兴趣　兴致】“兴趣”多用于口语，常与“广泛”“浓厚”“强烈”等搭配。“兴致”多用于书面语，常与“好”“坏”“高”“低”等搭配。

【显现　表现】“显现”的对象是具体的。如：大雾散尽，群峰显现出来。“表现”的对象是抽象的。如：表现出极大的热情。

【洗涤　洗刷】两者的对象都指实物。“洗刷”还指除去错误、耻辱、污点等。

【习用　袭用】“习用”指经常用，惯用。不带宾语。“袭用”指沿袭采用，带宾语。如：袭用古方，配制丸药。

【吸收　吸纳】都指吸入。“吸纳”比“吸收”更有主动意味、强调接纳、采纳。如：吸纳下岗职工；吸纳新技术。

【稀疏　稀薄】“稀疏”侧重表示间隔远，对象多是物体、声响等。“稀薄”侧重表示浓度小，密度小，对象多是空气、烟雾等。

【戏弄　捉弄　玩弄】“戏弄”侧重戏耍，寻求开心；用于人或动物。“捉弄”侧重用一些恶作剧使别人感到难堪；多用于人。“玩弄”：①施展（计谋、手段、伎俩等）；②搬弄，如：玩弄辞藻。

【限制　限定　制约】“限制”侧重不许超过。如：限制自由。“限定”侧重加以规定。如：限定字数。“限制”还是名词。“制约”用于双方。如：相互制约。

【现行　现形】“现行”指现在施行或进行的。如：现行制度；现行犯。“现形”指显露原形。如：《官场现形记》。

【降服　降伏】“降服”指投降屈服，不带宾语。如：缴械降服。“降伏”指制伏，带宾语。如：降伏窃贼。

【相同　相通】“相同”指彼此一样。“相通”指彼此沟通。如：息息相通。

【相应　响应】“相应”指互相呼应或照应；相适应。如：这篇文章前后不相应；环境变了，工作方法也要相应改变。“响应”比喻用言行来表示赞同支持。如：响应号召。

【向往　想望　憧憬　神往】“向往”侧重希望得到或达到。如：向往未来。“想望”侧重希望成为或做到。如：想望着做一名医生。“想

望”还指仰慕；书面语。如：想望风采。“憧憬”侧重向往，有文学色彩。“神往”指心中向往；不带宾语。如：令人神往。

【消失　消逝　消释】都有逐步减少以至没有的意思。“消失”适用范围广。“消逝”多用于声音、时间等。“消释”多指疑虑、嫌怨、痛苦等消失。

【消除　清除】“消除”侧重化解，使不存在。如：消除分歧。“清除”侧重去掉。如：清除内奸。

【消费　消耗】“消费”指为了生产或生活需要而消耗物质财富。如：高消费。“消耗”指精神、力量、东西因使用或受损而渐渐减少。如：消耗体力。“消耗”还指使消耗。如：消耗敌人的有生力量。

【消遣　消闲】二者都可作动词。“消遣”侧重用自己感觉愉快的事来度过空闲时间。“消闲”侧重消磨空闲的时间。“消遣”还是名词。如：他常以下围棋作为消遣。“消闲”还是形容词，悠闲，清闲。如：别人忙得要命，他可真消闲，看戏去了。

【效率　效益】“效率”重在比率，用“高”“低”形容。“效益”重在效果，用“好”“差”形容。

【萧条　萧索】都指寂寞冷落，缺乏生机。“萧条”还形容经济衰微。

【泄漏　泄露】都指不该让人知道的事让人知道了。“泄漏”还指液体、气体漏出。如：石油泄漏。

【卸装　卸妆】“卸装”指演员除去化装时穿戴涂抹的东西。如：演出结束，他没来得及卸装就跑回家去了。“卸妆”指妇女除去身上的装饰。如：她在家里每天的任务就是对着镜子化妆再卸妆，无聊得很。

【辛酸　心酸】“辛酸”指辣和酸，比喻痛苦悲伤。“心酸”指心里悲痛。

【信赖　信任】“信赖”重在“赖”，依靠。“信任”重在“任”，敢于托付。

【信仰　信奉】“信仰”指对宗教、某种主义极度相信和尊敬并以之为准则。“信奉”：①信仰并崇奉。如：信奉佛教。②相信并奉行。如：信奉老庄哲学。

【心计　心机】“心计”重在“计”，计谋。如：工于心计。“心机”重在“机”，心思。如：枉费心机。

【蓄意　蓄谋　刻意】“蓄意”侧重存心做坏事。如：蓄意挑起事端。“蓄谋”侧重对所要做的坏事早有图谋，多指较大的阴谋。如：蓄谋破坏。“刻意”指用尽心思。

【畜养　蓄养】“畜养”指饲养动物。如：畜养牲口。“蓄养”指积蓄培养，一般用来指抽象事物。如：蓄养力量，实现复兴。

【宣布　宣称】“宣布”指正式告诉，用于命令、决定等。“宣称”指公开表示，用于观点、态度等。

【绚丽　瑰丽】“绚丽”侧重色彩华丽，鲜明夺目。“瑰丽”侧重十分美丽壮观，以至达到珍贵奇异的地步。“瑰丽”还用于想象，“绚丽”则不能。

【炫耀　夸耀】都指向人显示自己有本领、有功劳、有地位势力等。“夸耀”主要是通过语言。“炫耀”不只是通过语言。如：炫耀武力。“炫耀”还指照耀。

【学历　学力】二者都与学问有关，但所指有所不同。“学历”指学习的经历，即曾在某些学校毕业或肄业。如：他寒窗苦读16年，取得了大学本科学历。“学力”指学问上达到的程度。如：他仅念完高中，但现在的学力却达到了大学本科水平。

【熏染　熏陶】“熏染”多指受到的坏影响。如：由于父亲的熏染，他成了赌徒。“熏陶”指受到的好影响。如：在老师的熏陶下，他很喜欢写作。

Y

【压抑　抑制】都指对感情加以限制。“抑制”还用于其他事物。如：抑制细菌生长。“压抑”还可用作形容词。如：气氛十分压抑。

【掩饰　掩盖】“掩饰”指使用手段掩盖缺点、错误等。“掩盖”：①遮盖。②隐藏；隐瞒。“掩饰”是贬义词；“掩盖”可以是中性词，也可以是贬义词。

【演化　演变　衍化】都指发展变化。“演化”多用于自然界。如：动物的演化。“演变”不仅用于自然界。如：思想的演变。“衍化”多用于具体事物。如：此方是综合多个秘方衍化而来的。

【演练　演示】“演练”和“演示”都有表演的意思，但使用的对象不同：“演练”指演习、练习。如：演练习题要注意从中找出规律性的东西。“演示”指工艺方法或工艺程序的展示。如：从头到尾演示了一遍。

【湮没　淹没】“湮没”指埋没。如：湮没无闻。“淹没”指水漫过，也比喻盖过。如：讲话声被掌声淹没。

【严密　周密】“严密”侧重于严格、紧密，没有疏漏，多用于防范方面。“周密”着重在周到、完备、细密，多用于思考、计划、安排等方面。

【严厉　严格】"严厉"用于态度、言辞、行动等。"严格"用于要求。

【严峻　严酷】"严峻"多形容考验、现实、形势、神情等。"严酷"多形容教训、压迫、剥削、事实等。

【延迟　延长】"延迟"重在"迟"，推迟。"延长"重在"长"，拖长。

【延续　继续　持续】"延续"强调照原样继续。如：延续20分钟。"继续"强调连下去，不间断。如：继续工作。"持续"强调延续不断。如：持续干旱。

【扬言　伴言】"扬言"指故意说出要采取某种行动的话（多含贬义）。如：扬言报复。"伴言"指骗人的话；也指说假话。书面语。

【遗事　逸事】"遗事"指前代或前人留下来的事迹。如：革命烈士的遗事。"逸事"也写作"轶事"，指世人不大知道的关于某人的事迹，多指不见于正式记载的事迹。如：《左忠毅公逸事》。

【意气　义气】"意气"：①意志和气慨。如：意气风发。②志趣和性格。如：意气相投。③偏激情绪。如：意气用事。"义气"用于因私人关系为别人而牺牲自己的利益。如：哥们儿义气。

【意境　境界】"意境"用于文学作品，指境界和情调。"境界"指事物达到的程度或表现的情况。如：思想境界；艺术境界。

【意旨　意志】"意旨"指必须遵守的意图或某种要求，它多为外来的要求，人们只是被动地服从它。如：这是领导的意旨，谁敢违抗？"意志"指为达到既定目的而自觉努力的心理要求，它是内在的要求，人们自觉主动地按这个要求去做。如：意志坚强。

【仪表　仪态　仪容】"仪表"指人的外表，包括容貌、服饰、姿态、风度等。如：仪表不凡。"仪态"侧重姿态。如：仪态端庄。"仪容"侧重容貌。如：仪容俊秀。

【依存　依附】"依存"指互相依靠而存在。"依附"指一方依靠另一方。如：依附权贵。

【依靠　依赖】"依靠"不带褒贬色彩；"依赖"表示不能自立或自给，贬义。

【臆造　编造】都指无中生有。"臆造"指凭主观想法编造。如：凭空臆造。"编造"侧重故意捏造。如：编造谎言。"编造"还指创作故事。

【友谊　友情】两者都指朋友间的交情。"友情"还指朋友的感情。

【隐讳　隐晦　晦涩】"隐讳"指有所顾忌而隐瞒不说；动词。如：隐讳错误。"隐晦"指意思不明显；形容词。"晦涩"特指诗文、乐曲等含义隐晦；形容词。

【隐私　阴私】"隐私"指不愿让人知道的个人的事。"阴私"指不可告人的事（多指不好的）。

【隐避　隐蔽　隐匿】"隐避"指隐藏躲避；动词。如：隐避在外。"隐蔽"指借他物来遮掩。如：隐蔽在草丛里。还是形容词，指被别的事物遮住不易被发现。如：手法隐蔽。"隐匿"指隐瞒、隐藏；动词。

【荫蔽　荫庇】"荫蔽"指遮蔽；隐蔽。"荫庇"比喻尊长照顾晚辈或祖宗保佑子孙。

【因缘　姻缘】"因缘"指缘分。"姻缘"特指婚姻的缘分。

【引诱　诱惑】都指利用手段使人上当或做坏事。"引诱"侧重诱骗。"诱惑"侧重使人迷惑。"诱惑"还指吸引；中性词。如：窗外一片诱惑人的景色。

【引见　引荐】"引见"指引人相见，使彼此认识。如：你给我引见一下，我们商量件事。"引荐"指推荐人。如：我把你引荐给K主任，请他给你安排工作。

【营救　抢救】"营救"重在设法。如：营救人质。"抢救"重在时间。如：抢救文物。

【营利　赢利】"营利"指谋求利润，侧重主观愿望。如：以营利为目的。"赢利"指获得利润，侧重客观结果。如：不能赢利，连连亏损。"赢利"还指企业单位的利润。

【应对　应付】都指对人或事采取措施办法。"应对"更显主动，有把握。如：应对突发事件。"应付"则有被动意味。如：应付局面。"应对"还指回答。"应付"还指敷衍了事。

【永别　诀别】"永别"指永远分别，多指人死。如：与世永别。"诀别"多指以后不再见的离别，多用于书面语。如：诀别故乡。

【拥护　拥戴】"拥护"用于对领袖、政党、政策、措施等。"拥戴"指拥护爱戴，只用于人。

【悠远　幽远】"悠远"：①离现在时间长。如：悠远的童年。②距离远。如：山川悠远。"幽远"指深远。如：意境幽远；夜空幽远。

【游览　游历】"游览"重在"览"，从容地观赏名胜风景。"游历"重在"历"，指到各地游览。如：游历名山大川。

【愚蠢　愚昧】"愚蠢"指头脑迟钝，多指行动。如：愚蠢可笑。"愚昧"指缺乏知识，多指文明程度。如：愚昧无知。

【遇难　遇害】"遇难"：①受迫害或遭意外而死。②遭遇危难。"遇害"指被杀害。

【预定　预订】"预定"指预先规定或约定。

如：预定时间。“预订”指预先订购。

【预计　预期　逾期】“预计”指预先计划、计算或推测；带宾语。如：预计十天完工。“预期”指预先期待，多是效果、目的等；不带宾语。“逾期”指超过期限。

【逾越　超越】“逾越”多用于书面语。“超越”多用于口语。

【渊博　广博】都多指学识。“渊博”指掌握的学问深而广。“广博”指所掌握的知识范围广，方面多。

【原形　原型】“原形”多指本来面目。贬义词。如：原形毕露。“原型”指文学作品中塑造人物形象所依据的现实生活中的人。

【允诺　承诺】“允诺”重在“允”，答应。“承诺”重在“承”，照办。

【蕴涵　孕育】“蕴涵”指包含。“孕育”指既存的事物中酝酿着新事物。

Z

【遭受　蒙受】“遭受”多用于受到不幸或损害，自然的或人为的。如：遭受摧残。“蒙受”一般用于受到耻辱、损失或恩惠等，多是人为的。

【造谣　中伤】“造谣”强调制造谣言，无中生有或歪曲事实。“中伤”强调诬蔑陷害，使人受到伤害。如：恶意中伤。

【责令　勒令】都指用命令方式强制人做某事。“勒令”语义重。如：勒令停业。

【责任　义务】“责任”指分内该办的事或应承担的过失。如：应尽责任；追究责任。“义务”指法律上、道义上该负的责任。也指不计报酬的。如：义务劳动。

【昭示　展示】“昭示”指明白地表示或宣布。如：昭示后人。“展示”指清楚地摆出或显示出。如：展示图纸。

【侦察　侦查】“侦察”指为弄清敌方情况而进行的军事活动。“侦查”指公安、检察机关为确定犯罪而进行的调查。

【震慑　威慑】“震慑”指震动使害怕。如：震慑敌人。“威慑”指用武力使害怕。如：威慑力量。

【整顿　整治　整改】“整顿”侧重使有序或健全。如：整顿经济秩序。“整治”侧重管束处治。如：整治坏人。“整改”侧重使改正。如：限期整改。

【整合　调整】“整合”指通过整顿、协调重新组合。如：整合利益群体。“调整”指改变原来的情况，使适应客观环境与要求。如：调整油价。

【征候　症候】“征候”指发生某种情况的迹象。如：病人已有好转的征候。“症候”指疾病，症状。如：发现症候立即服药。

【正轨　正规】“正轨”指正常的发展道路，名词。如：我国的社会主义法制正在走上正轨。“正规”指符合正式规定的或一般公认的标准，形容词。如：正规部队。

【周到　周密】都指不疏忽。“周到”着重在全面。如：服务周到。“周密”着重在细密。如：计划周密。

【周折　曲折】“周折”指进展曲折，不顺利；名词。如：颇费周折。“曲折”指复杂不顺当的情节；名词。如：这件事里面还有不少曲折。“曲折”还指弯曲；形容词。

【纵容　怂恿】“纵容”指对别人干坏事故意不管；贬义词。“怂恿”是指鼓动别人去做某事。有时不带贬义。如：他一再怂恿我学电吉他，可我哪有空儿。

【遵从　遵循　遵照】三者都是不违背、照办的意思。“遵从”指遵照服从，意思较重。“遵循”和“遵照”都指依照。

【制订　制定】“制订”指创制拟定，重在“订”，草拟过程。如：制订方案。“制定”指定出（法律、规程、政策等），重在“定”，决定。如：制定政策。

【致病　治病】“致病”指使得病。如：查明致病原因。“治病”指治疗疾病。

【捉摸　琢磨】“捉摸”指猜测，预料（多用于否定式）。“琢磨”指思索，考虑。

【赞助　帮助】“赞助”多指拿出财物帮助。“帮助”还指精神方面的。

【阻击　狙击】“阻击”指以防御手段阻止敌人增援、逃跑或进攻。“狙击”指埋伏在隐蔽地点伺机袭击敌人。

【阻碍　阻拦　阻止】“阻碍”指使不能顺利通过或发展，不一定是有意的。还可作名词。“阻拦”重在“拦”，挡住。“阻止”重在“止”，使停止。

【踪迹　踪影】“踪迹”指行动留下的痕迹。“踪影”指寻找的对象的踪迹（多用于否定式）。如：不见踪影。

【奏效　有效】“奏效”指发生了预期效果。“有效”指有效果；能实现预期目的。

【终身　终生】“终身”指一辈子，多就切身之事来说。如：终身大事。“终生”指一生，多就事业来说。如：奋斗终生。

【中止　终止】“中止”指中途停止。如：中止比赛。“终止”指结束。如：终止合同。

【中断　间断】"中断"侧重中途停止或断绝。如：实验中断；中断外交关系。"间断"侧重不连续。如：体育锻炼不能间断。

【中心　重心】都指事物的主要部分。"中心"多作定语，"重心"不能作定语。如：中心工作；工作重心。

【钟情　衷情】"钟情"指感情专注，多指爱情。"衷情"指内心的情感。

【振动　震动】"振动"是物理学术语。"震动"：①颤动；使颤动。如：春雷震动着山谷。②重大事件使人心不平静。如：震动全国。

【振荡　震荡】"振荡"是物理学术语。"震荡"指震动；动荡。如：社会震荡。

【争议　异议】"争议"指各执己见，用于群体。如：学术界对此有争议。"异议"指不同的意见，用于某人或某一方。如：他对此提出异议。

【赞美　赞许】"赞美"侧重颂扬，用于人或事物。"赞许"侧重认可，常用于对人的做法、想法等。

【指责　指摘】都指指出错误，加以批评。"指摘"本义为挑出错误，引申为指责；多用于书面语。

【支使　指使】"支使"指命令人做事。"指使"指出主意叫别人去做某事。

【瞩望　眺望】"瞩望"指注意地看。如：瞩望窗外。"眺望"指从高处远望。"瞩望"还指期望；书面语。

【主流　潮流】"主流"重在"主"，主要方面，与"支流"相对。"潮流"重在"潮"，比喻社会变动或发展趋势。如：历史潮流。

【质询　咨询　征询】"质询"指质疑询问。"咨询"指向专业人士或机关征求意见。如：咨询律师。"征询"指向群众征求意见。

【质疑　置疑】"质疑"指提出疑问。如：他质疑道："这种观点有充分证据吗？""置疑"指怀疑（用于否定式）。如：无可置疑。

【制约　约束】"制约"侧重限制使受影响。如：相互制约。"约束"侧重限制使不超出范围。如：自我约束。

【转达　传达】"转达"用于"关怀""问候""祝福"等感情色彩浓的词。"传达"用于"意见""命令""指示"等多理性色彩的词。

【转移　迁移】"转移"重在"转"，从一方到另一方。如：转移视线。"迁移"重在"迁"，离开原地到另一地；也比喻时间。如：随着时间的迁移，这件事逐渐被淡忘了。

【专诚　专程】"专诚"强调特意。如：专诚拜访。"专程"强调专为某事到某地。如：专程迎接。

【撰写　写作　编纂】"撰写"，书面语。"写作"，有时专指文学创作；口语。"编纂"指对资料较多、篇幅较大的著作的编辑；书面语。如：编纂辞书。

【庄严　庄重　郑重】"庄严"侧重威严不可侵犯。用于人的态度、表情、动作，也用于环境、气氛等。如：庄严的时刻。"庄重"侧重端庄持重；只能用于人。如：神色庄重。"郑重"侧重态度，严肃认真。如：郑重其事；郑重声明。

【装点　点缀】"装点"指装饰点缀，侧重物质对象、多指好的。如：装点江山。"点缀"多指衬托或装饰，适用对象广泛，中性。

【装饰　妆饰】二者都表示有所修饰，其不同点是："装饰"，①指在身体或物体的表面加些附属的东西使美观，动词，如：装饰图案；②指装饰品，名词，如：这些材料可以作为装饰。"妆饰"，①指打扮，动词，如：她对着镜子正妆饰自己那张脸；②指打扮出来的样子，名词，如：他那漂亮的妆饰引来许多羡慕的目光。

【装扮　妆扮】相同点：都有改变原来样子的意思。不同点："装扮"指通过打扮假装成另一身份。如：他装扮成一个渔民四处行骗。"妆扮"指通过描画面容、装点服饰等来改善自己的容貌。如：美容师把她妆扮得更加漂亮了。

【卓越　卓著】都指非常突出。"卓越"多用于形容人物、才能、本领、成就等。如：卓越的科学家。"卓著"多用于形容贡献、功勋、信誉等。如：信誉卓著。

【资格　资历　资力】"资格"重在"格"，身份。如：老资格。"资历"重在"历"，经历。如：资历深。"资力"：①财力。如：资力雄厚。②天资和能力。如：资力有限。

【自动　自然】"自动"侧重不经外力作用。如：自动开启。"自然"侧重顺乎规律事理。如：自然下垂。

【自愿　志愿】都指自己愿意。"志愿"多用于庄重场合。"志愿"还指志向和愿望。如：共同志愿。

【自恃　自持】"自恃"：①自负。如：十分自恃。②仗恃。如：自恃功高。"自持"指控制自己的欲望或情绪。如：清廉自持；激动得不能自持。

【自诩　自夸】二者都有自夸的意思，但语体色彩不同。"自诩"语体色彩重一些，多用于书面语；"自夸"口语色彩浓一些，多用于口语。

【自治　自制】"自治"指民族、团体、地区等除了受所隶属的国家、政府或上级单位领导外，对自

己的事务行使一定的权力。如：实行民族区域自治，有利于民族团结。“自制”有两种意思，①指克制自己，如：他缺乏学习自制力，上课时经常开小差；②自己制造，如：这颗卫星的所有部件，全系自制。

【滋养　滋生】“滋养”：①供给养分。如：滋养身体。②养分。如：吸收滋养。“滋生”：①繁殖。如：防止蚊蝇滋生。②引起。如：滋生事端。

【尊敬　尊重】“尊敬”侧重恭敬有礼节；多用于下对上、幼对长。“尊重”侧重重视，不小看；不分长幼。“尊重”还指重视并严肃对待。如：尊重历史。

【作客　做客】“作客”指寄居他处。书面语。如：作客他乡。“做客”指到别人家，自己做客人。

附录二

易混虚词辨析

【按照　依照　遵照】“按照”指根据；依照。“依照”强调依原样照办，不得走样；多用于法律条文。“遵照”侧重遵从，表示尊敬。

【本来　原来】“本来”强调理应如此或一直如此。“原来”强调对情况有所认识，发现新情况。

【必定　必然】“必定”强调说话人对事物所做的个人的推测或判断。“必然”强调事理上的确定不移。

【毕竟　到底　终归　终究】“毕竟”侧重对某一状况的确定的认识。“到底”侧重经过较长过程，最后出现某种结果。“终归”侧重还得回到原来的结论上。“终究”侧重表示最后的结果一定如此。“毕竟”“终归”“终究”多用于书面语，多用于陈述句。“到底”多用于口语，既可用于陈述句，也可用于疑问句。

【必须　必需】“必须”是副词，侧重应当怎样。“必需”是动词，侧重不可或缺。

【不免　难免　未免】“不免”指免不了，侧重主观感情。如：睹物思人，不免清然泪下。“难免”指不容易避免，侧重客观现实。如：没有经验，难免走弯路。“未免”指免不了，还指不以为然。如：你未免有点小题大做。

【不止　不只】“不止”：①指继续不停。如：他的一句笑话引得伙伴们大笑不止。②指超出某个数目范围。如：他恐怕不止60岁了。“不只”有“不但”之意。如：河水不只可以用来灌溉，还可以用来发电。

【曾经　已经】“曾经”表示从前有过某种行为或情况，时间一般不是最近的。“已经”表示事情完成，时间一般在不久以前。

【从而　因而　进而】“从而”“因而”都是表结果的连词。“从而”强调承接，前后分句主语必须一致。如：中国队以3∶0战胜日本队，从而取得七战七胜的战绩。“因而”强调结果，前后分句主语不一定一致。如：财务管理混乱，因而引发犯罪。“进而”强调进一步。如：学好基础课，进而才能学好专业课。

【大概　大约　大致　约略】“大概”与“大约”都表估计、可能；在表示时间、数量的估计时，“大约”比“大概”常用。“大概”还作名词。如：听了个大概。“大致”除指大概、大约外，还指大体上。如：两人情况大致相同。“约略”：①大致，大概。如：约略知道一些。②依稀，仿佛。如：约略听得见远处的蝉声。

【大事　大肆】都是副词。“大事”指大力从事。如：大事渲染。“大肆”指无所顾忌（多指做坏事）。如：大肆盗窃。“大事”还作名词。

【对　对于】都是介词，引进对象或事物的关系者。但“对”只表示人与人或人与事物之间的关系。“对于”不能用在助动词、副词之后。

【顿时　立刻】都指突然出现某种情况。“立刻”还指即将出现某种情况。

【尔后　而后】“尔后”着重指从此以后，常作句首状语。“而后”着重指然后，在某事之后，在句中作状语，不能单用。

【赶快　赶紧　赶忙】“赶快”指抓住时机，加快速度。“赶紧”指抓住时机，毫不拖延。“赶忙”则强调动作行为迅速或急促。

【固然　虽然】“固然”侧重于确认某种事实，一般不用在主语前。“虽然”侧重于让步，用在主语前后均可。

【公然　公开】“公然”指公开，副词。如：公然舞弊。“公开”为形容词。如：公开活动。“公然”还指毫无顾忌。如：公然侵犯他国领空。

【关于　对于】“关于”用于表示范围。“对于”用于表示对象。

【何必　何苦】都用在反问句中，“何必”表示不必要，“何苦”强调不值得。

【何况　况且】都是连词，表更进一层关系。“何况”用于反问句。“况且”多用于陈述句。“何况”语气更强烈。如：①连老人都出来扫雪，

何况你这个小青年呢？②你初来乍到，况且天又黑了，难怪你找不到他家。

【互相　相互】"互相"是副词。如：互相尊重。"相互"既是副词，又是形容词。如：相互促进；相互关系。

【或者　还是】都表选择。"或者"用于陈述句。"还是"用于疑问句。

【基于　鉴于】"基于"指根据。如：基于上述考虑，决定撤销原通知。"鉴于"指考虑到，用于前一分句开头，表原因。如：鉴于天气炎热，作息时间作相应调整。

【几乎　基本　简直】"几乎"强调程度，接近于。如：几乎崩溃。"基本"强调整体，大体上。如：基本合格。"简直"指完全如此，带夸张语气，程度甚于"几乎"。如：简直是活受罪。

【及时　即时】"及时"：①正赶上时候。如：及时雨。②不拖延。如：及时解决问题。"即时"，立即。如：即时投入战斗。

【既而　继而】"既而"指不久，用于全句或下半句句首。"继而"指紧接着，上句多有"先是"。

【尽管　不管】"尽管"表示一种事实，后面接的内容不能表示任指。如：尽管下这么大的雨，我还是要去。"不管"表示一种假设，后面接的内容可以表示任指或选择。如：①不管下多么大的雨，我都要去。②不管刮风还是下雨，他从不迟到。

【径直　径自】"径直"：①直接到某处。如：径直飞昆明。②直接进行某事。如：径直写下去。"径自"指自己直接行动。如：他没等散会就径自离去。

【竟然　居然】都表示出乎意料。"竟然"语义重，常用于主谓之间。"居然"可用于主语前。

【究竟　毕竟】都指终究。都用于陈述句。"究竟"还用于疑问句。

【屡次　一再】"屡次"强调动作或活动的次数多。"一再"语气比"屡次"重，它强调动作或活动的重复、反复，不一定有明确的次数。

【立刻　马上】"立刻"用于口语和书面语。"马上"用于口语。

【偶尔　偶然】"偶尔"强调间或，有时候。跟"经常"相对。"偶然"强调事理上不一定要发生而发生的，超出一般规律的，跟"必然"相对。

【稍微　多少】都表程度。"稍微"使用范围广。"多少"多用在积极意义或往大处说的形容词前。如：你比他多少好点。"稍微"可与"只"连用；"多少"不能。如：只稍微差一点。

【甚至　尤其】"甚至"侧重语义的递进。如：我爱她的贫穷，甚至爱她的不幸。"尤其"侧重语义的突出。如：他擅长书法，尤其是楷书。

【始终　一直】用"始终"的句子都可换用"一直"。"一直"后的动词可以带时间词语，"始终"后的动词不能。如：我一直等到十二点。"一直"可以指将来，"始终"不能。如：他打算在这儿一直住下去。

【所有　一切】两者都指全部的。形容词。如：一切(所有)力量。"所有"还指领有的东西。如：尽其所有。"一切"还指全部事物。如：人民的利益高于一切。

【所以　因此】"所以"只表示结果。"因此"既表示结果又表示原因。"所以"可与"因为""由于"搭配。"因此"只能和"由于"搭配。

【索性　率性】都指干脆了当。如：草鞋磨破了，索性(率性)赤脚走。"率性"还指由着性子，任性。如：率性行事。

【随即　随时　随后】"随即"，立刻，随后就；表示动作、行为或情况发生之后马上发生另一种动作、行为或情况。"随时"，不拘什么时候；表示动作、行为任何时候都持续着。还指动作、行为一有需要或有可能的时候(就发生)。如：修理工随时上门服务。"随后"义同"随即"，多与"就"连用。

【通过　经过】"通过"是指以人或事物为媒介或手段而达到某种目的。如：通过学习，大家统一了认识。"经过"则是引进某个过程，说明由于这个过程的完成使得某种情况发生变化。如：屋子经过打扫，干净多了。

【往往　常常】"往往"是对于到目前为止出现的情况的总结，有一定的规律性，不用于主观意愿。如：意志坚强的人，往往受阻后会更努力。"常常"指动作的重复，不一定有规律性，可用于主观意愿。因此"常常"可用于将来的事情，"往往"不能。用"往往"的句子要指明与动作有关的情况、条件或结果，"常常"没有这种限制。

【未必　并非】"未必"指不一定。"并非"表否定，语气强烈，带反驳意味。

【未尝　未始】都用于否定词前，构成双重否定，相当于"不是(不，没)"，但语气更委婉。如：这未尝(未始)不是一个好主意。"未尝"还指未曾。如：他十分着急，一夜未尝合眼。

【业已　已经】都是时间副词，表示事情已经过去。"业已"是公文用语，书面语色彩浓；"已经"可用于口语，也可用于一般书面语。

【一律　一概】都指无例外，都可用于事物。

如：过期一律（一概）作废。“一律”还用于人。如：违者一律开除。

【一齐　一起】“一齐”指同时。如：一齐动手。“一起”指在一处。如：在一起工作。

【一贯　一向】都指向来如此。“一贯”特指思想、作风或政策、原则等。如：一贯坚持原则。“一向”指向来如此，从过去到现在，使用范围广。如：一向好客。

【一再　再三】用在表示人的主动性的动词前时两者皆可。其他动词前只用“一再”。

【以至　以致】“以至”所连接的因果有由此及彼的延伸关系，含有“一直到”的意思。“以致”所连接的大多是不好的结果，有“从而导致”的意思。

【越发　更加】都表程度上进一层。“越发”只用于纵比。“更加”既可用于纵比，也可用于横比。如：甲队实力强，乙队水平更加高超。

【至多　大多】“至多”指最大限度。“大多”指大多数，表范围。

【终于　终究】“终于”表示经过种种变化或等待之后出现的情况。如：终于成功。“终究”，毕竟；终归。如：新事物终究要代替旧事物。

【逐步　逐渐】二者都表示渐进，指程度或数量依次慢慢地增减，都可以用于人或事物，都是副词。“逐步”指一步一步地发展，有很明显的阶段性，多用于人的有计划的努力，不能修饰形容词，如：他们决心统筹安排，因地制宜，逐步推进农村教育综合改革；“逐渐”没有明显的阶段性，多用于事物变化，它可以修饰形容词，如：春天来了，天气逐渐暖和了。

附录三

褒贬两用成语集释

【按图索骥】既比喻办事机械死板，也比喻按照线索寻找。

【暗送秋波】既指献媚取宠，暗中勾结，也指有情人暗中眉目传情。

【标新立异】标，揭示，表明；异，不同的，特别的。提出新颖的、建立不同一般的。指开创新意、与众不同。有时也指故意提出新奇的主张以显示自己。

【不求甚解】甚解，深入理解。不求深入理解。原意是只求领会要旨，不在字句上深究。今多指学习不认真，不求深入理解。也指了解情况不深入。

【处之泰然】既可以形容对待困难或紧急情况毫不在意，沉着镇定，褒义词。也可以指对事情无动于衷，贬义词。

【灯红酒绿】既形容寻欢作乐的腐化生活，也形容都市或娱乐场所夜晚的繁华景象。

【登峰造极】峰，山顶；造，到达；极，最高点。攀登至山顶，到达最高点。比喻学问、技艺达到极高的水平。也比喻做坏事猖狂恶劣到极点。

【独善其身】既指只顾自己，缺乏集体精神，也指搞好个人修养。

【咄咄逼人】形容气势汹汹，盛气凌人。也指形势发展很快，促使人努力赶上。

【翻天覆地】把天地翻了过来。形容变化巨大而彻底，也形容闹得很厉害。

【粉墨登场】既指化装上台演戏，也讽刺某些人登上政治舞台。

【粉身碎骨】既可以比喻被彻底摧毁的下场，贬义词。也可以指为了某种目的而丧失生命，褒义词。

【高视阔步】既可以形容气概不凡，含褒义。也可以形容态度傲慢，含贬义。

【高谈阔论】原指旨趣高雅、范围广泛的谈论。后多指不着边际地大发议论（多含贬义）。

【顾影自怜】既指孤独失意的样子，也指自我欣赏。

【规行矩步】既比喻墨守成规，不知变通，也比喻举动合乎规矩，毫不苟且。

【呼风唤雨】既比喻进行煽动性活动，也比喻具有支配自然或社会的力量。

【昏天黑地】既形容人生活荒唐颓废，也形容人神志不清。

【看风使舵】指看情势办事，一般作贬义词，如“他这个人很会看风使舵，你可得提防他”；也可作褒义词，如“在儿子临行前，父亲一再关照儿子要看风使舵，根据当时的具体情况灵活应付”。

【冷若冰霜】既形容人不热情，不温和，也形容人态度严肃。

【冷眼旁观】既指用冷淡的态度从旁观看，不愿参加，也指用冷静的态度从旁审视。

【例行公事】既指只重形式、不讲实效的工作，也指按照惯例处理的公事。

【另起炉灶】既比喻脱离集体另搞一套，也比喻重新做起。

【绵里藏针】既比喻外貌柔和，内心刻毒，也形容柔中有刚。

【难分难解】既指双方争吵、打斗相持不下，难以开交，也形容双方关系异常亲密，难于分离。

【难(nán)兄难(nán)弟】东汉陈元方的儿子和陈季方的儿子是堂兄弟，都夸耀自己父亲的功德，争个不休，就去问祖父陈寔。陈寔说："元方难为弟，季方难为兄。"(见于《世说新语·德行》)意思是元方好得做他的弟弟难，季方好得做他的哥哥难。后来用"难兄难弟"形容兄弟都非常好。今多反用，讥讽两人同样坏。另有"难(nàn)兄难(nàn)弟"，是指"彼此曾共患难的人"或"彼此处于同样困难境地的人"。

【旁若无人】既可以形容高傲，作贬义词。也可以形容态度自然，作褒义词。

【平铺直叙】既可形容说话或写文章平平淡淡，没有起伏，重点不突出，含贬义。也可指说话或写文章时不加修饰，直接、简单地说出自己的意思，含褒义。

【奇文共赏】既指把荒谬、错误的文章发表出来供大家识别和批判，也指把新奇的文章拿出来共同欣赏。

【谦谦君子】既指故作谦虚而实际虚伪的人，也指谦虚谨慎，能够严格要求自己、品格高尚的人。

【穷形尽相】既指丑态毕露，也指描写刻画十分细致生动。

【如虎添翼】既比喻凶恶的得到帮助后更加凶恶，也比喻强大的得到援助后更加强大。

【沙里淘金】既比喻费力大而成效少，也比喻从大量的材料中选择精华。

【四平八稳】既形容说话、做事情、写文章稳当，也指做事情只求不出差错，缺乏创新精神。

【行若无事】既指在紧急关头镇定自若，也指对坏人坏事听之任之，满不在乎。

【雁过拔毛】大雁飞过能拔下毛来。形容武艺高强，也形容盘剥勒索严重，连高空飞过的大雁也不放过。

【引火烧身】既比喻自讨苦吃或自取灭亡，也比喻主动暴露自己的问题，争取批评帮助。

【瞻前顾后】既形容做事情以前考虑周密细致，也形容顾虑太多，犹豫不决。

【左右逢源】既可以指事情不管怎样进行都很顺利，是褒义词。也可以比喻为人处世圆滑，是贬义词。

附录四

贬义与自谦共用的成语

【不足挂齿】挂齿，谈及，提起。不值得一提。表示轻蔑，也可以表示自谦。

【班门弄斧】班，指古代的巧匠鲁班。在鲁班门前要弄斧头。比喻在行家面前卖弄本领，含有不知自量的意思。有讽刺意味。也用于自谦。

【狗尾续貂】原指封官太多太滥，后比喻拿不好的东西补接在好东西后面，前后不相称。多用于文艺作品，也用做谦辞。

【尸位素餐】尸，主管、执掌。尸位，占着职位却不做事。素，空。素餐，不劳而食，白吃。指空占着职位，不做事而白吃饭，也用于自谦未尽职责。

【信笔涂鸦】信，听凭，随意。信笔，随意书写。涂鸦，比喻字写得很拙劣，随便乱涂乱画。形容字写得很潦草。也常用作自谦之词。

【因人成事】依靠别人把事情办好。表贬义或自谦。

附录五

多义成语集释

【按部就班】按，依照；部，门类；就，归于；班，次序。按照门类，列定次序。原指写文章时结构安排得当，选词造句合乎规范。后用以形容做事按照一定条例，遵循一定的顺序。

【百花齐放】指同一事物有许多做法，同一内容有多种形式。比喻艺术上不同形式和风格的自由发展。也指各种花卉一起开放。

【百卉含英】卉：草的总称。英：花。各式各样的草都含着花朵。形容冬去春回、花草争妍的景色。也用以比喻在繁荣昌盛的时代，很多有才识的人正待吐露才华，大显身手。

【笨头笨脑】①形容人不聪明，反应迟钝。②形容式样蠢笨。

【并驾齐驱】并，并排；驾，使牲口拉车；齐，一齐；驱，快跑。几匹牲口并排着拉着车，一齐快跑。比喻齐头并进，不分先后；也比喻地位或程度相等，不分高下。

【不省人事】①指人昏迷，失去知觉。②指不懂人情世故。

【不可开交】开交，结束，解决，摆脱(今多用于否定)。无法摆脱或解决，不能了结。也表示程度上达到极点。

【不三不四】形容人不正派、不规矩，也用来说明事物不成样子，这是它的原始意义。

【不识时务】不识，不懂得，不认识。时务，当前的重大事情或客观形势。不认识当前的形势和时代的潮流。有时也指不知趣。

【不翼而飞】①没有翅膀却能飞，比喻东西突然不见了。②形容消息、言论等传播迅速。

【馋涎欲滴】涎，口水；欲，将要。馋得口水都快要滴下来了。形容非常嘴馋。也比喻看见别人的东西眼红，极想弄到手。它比"垂涎欲滴"形容贪馋的程度更甚，语意更夸张。

【长袖善舞】比喻做事有所凭借，就容易成功。后多用来形容有财势、有手腕的人善于钻营取巧。

【唱空城计】①比喻用掩饰自己力量空虚的办法，骗过对方。②比喻某单位的人员全部或大部分不在。

【超然物外】①超出于社会斗争之外。②比喻置身事外。

【乘风破浪】比喻志向远大，不怕困难，奋勇前进。也指飞速地航行。

【赤膊上阵】比喻不顾一切地猛打猛冲的作风。也比喻坏人公开跳出来干坏事。

【垂涎三尺】形容嘴馋；也形容特别羡慕，渴望得到。

【垂涎欲滴】①形容非常嘴馋想吃的样子。②比喻看到好的东西，十分羡慕，极想得到（含贬义）。

【粗枝大叶】比喻做事不细致，不认真，它的本义是简略概括。

【大公无私】①完全为人民群众的利益着想，毫无自私自利之心。②处理公正，不偏袒任何一方。

【道高一尺，魔高一丈】①比喻取得一定成就后遇到的障碍会更大。②比喻正义终将战胜邪恶。

【道听途说】途，道路。在道路上听到，在道路上传播。泛指轻信并传播没有根据的话，也指没有根据的传闻。

【得过且过】①只要勉强过得去就这样过下去；敷衍地过日子。②指对工作不负责任，敷衍了事。

【得其所哉】①指得到适宜的处所。②指安排得当，称心满意。

【得心应手】得心，心里有所领悟。应手，做起来顺手，能与心里所想的相适应。心里怎么想，手就能怎么做。形容功夫到家，技艺纯熟。也指做事非常顺手。

【滴水不漏】比喻将手中掌握的东西控制得非常严密，没有丝毫遗漏。也比喻说话办事非常周密，没有疏漏。

【东涂西抹】本指妇女涂脂抹粉。后常比喻随意提笔作文、写字或涂画。又喻指做事无规则、无定准。

【短小精悍】①形容人身材矮小而精明强干。②形容文章、戏剧等篇幅不长而有力。

【对牛弹琴】①比喻对不懂道理的人讲道理，对外行人说内行话。②讥笑说话的人不看对象。

【翻江倒海】形容水势浩大，就像江海翻倒了似的。比喻力量、声势巨大或心潮起伏，非常激动。

【非同小可】形容事情重要，情况严重，不可忽视，也指人的学问、本领不同寻常。

【风风火火】①形容急急忙忙、冒冒失失的样子。②形容很活跃、有劲头的样子。

【风起云涌】①大风起来，乌云涌现。②比喻事物迅速发展。

【风言风语】①没有根据的话；恶意中伤的话。②私下里议论或暗中散布某种传闻。

【扶正祛邪】①扶持正气，除去邪恶。②中医指扶持正气，除去致病因素及其病理损害。

【改换门庭】①改变门第出身，提高社会地位。②投靠新的主人或势力，以图维持、发展。

【肝脑涂地】引用义是竭尽忠诚、甘愿牺牲。它的本义是形容在战乱中惨死。

【感同身受】①指感激的心情如同亲身受到对方的恩惠一样（多用来代替别人表示谢意）。②指虽未亲身经历，但感受就同亲身经历过一样。

【高山流水】既比喻知音难遇，也比喻乐曲高妙。

【高头大马】①体形高大的马。②比喻人身材高大。

【高枕无忧】既可以比喻放松警惕，贬义词；也可以形容无忧无虑，中性词。

【拐弯抹角】①沿着弯弯曲曲的路走。②比喻说话、写文章不直截了当。

【光风霁月】①比喻开阔的胸襟和坦白的心地。②比喻太平清明的政治局面。

【海底捞月】既可以比喻去做根本不能做到的事，贬义词；也可以形容弯下身子抓起很快就要落地的东西时的动作姿态，中性词。

【海阔天空】形容大自然的广阔，也比喻想

象或说话毫无拘束，漫无边际。

【花红柳绿】①形容春天花木繁茂艳丽的景色。②形容颜色鲜艳多彩。

【花花世界】①指繁华地区或灯红酒绿、寻欢作乐的场所。②指人世间（含贬义）。

【花言巧语】①指虚假而动听的话。②说虚假而动听的话。

【昏天黑地】①形容天色昏暗。②形容神志不清。③形容生活荒唐颓废。④形容打斗或吵闹得厉害。⑤形容社会黑暗或秩序混乱。

【鸡零狗碎】①比喻事物零零碎碎，不成片段。②比喻无关紧要的琐碎事物。

【间不容发】①中间容不下一根头发，指事物之间距离极小。②比喻与灾祸相距极近，情势极其危急。

【洁身自好】指保持自身纯洁，不同流合污。也指只顾自己，怕惹是非。

【金玉满堂】既指占有很多财富，也比喻人很有才学，学识丰富。

【惊涛骇浪】①凶猛而使人害怕的波涛。②比喻险恶的环境或遭遇。

【惊天动地】①形容声音特别响亮。②形容声势浩大或事业伟大。

【精卫填海】①比喻有深仇大恨，立志必报。②比喻不畏艰难，努力奋斗。

【磕磕绊绊】①形容路不好走或腿脚有毛病而行走不灵便。②形容事情遇到困难、挫折，不称心，不顺利。

【可丁可卯】①就着某个数量不多不少或就着某个范围不大不小。②指严格遵守制度，不通融。

【牢不可破】异常坚固，不可摧毁。也用于指人固执己见或保守旧习。

【老气横秋】既形容人摆老资格，自以为了不起的样子，也形容人没有朝气，暮气沉沉的样子。

【淋漓尽致】既形容说话或文章表达得充分透彻，也指暴露得很彻底。

【玲珑剔透】玲珑，精致精巧。剔透，剔除而使透空明晰。形容奇巧精致、明晰透亮。也形容人聪明灵巧或俊俏标致。

【履险如夷】①比喻处于险境而毫不畏惧。②比喻经历危险，但很平安。

【马马虎虎】①马虎，随随便便。②勉强；凑合。

【买空卖空】①一种商业投机行为。②比喻招摇撞骗，搞投机活动。

【没头没脑】①（说话、做事）头绪不清或缺乏条理。②没有来由。③指不顾一切。

【没心没肺】①形容不动脑筋，没有心计。②指没有良心。

【眉来眼去】多用于男女示爱，也指坏人之间勾勾搭搭。

【面面俱到】可以指各个方面都注意或照顾到了，没有一点遗漏，中性词；也可以指圆滑世故，对各方面的人都加以敷衍，贬义词。

【眉来眼去】多用于男女示爱，也指坏人之间勾勾搭搭。

【拿手好戏】①指某演员特别擅长的戏。②比喻某人特别擅长的本领。

【披肝沥胆】①比喻开诚相见。②比喻极尽忠诚。

【披荆斩棘】①比喻扫除前进中的困难和障碍。②比喻克服创业中的种种困难。

【平易近人】比喻态度和蔼，没有架子，使人容易接近。也形容文字深入浅出，通俗易懂。

【七手八脚】形容很多人一起动手的样子。也形容人多手杂，非常忙乱的样子。

【骑马找马】①比喻东西就在自己这里，还到处去找。②比喻一面占着现在的位置，一面另找更称心的工作。

【千锤百炼】①比喻多次的斗争和考验。②比喻对诗文等做多次的精细修改。

【清规戒律】①僧尼、道士必须遵守的规则和戒律。②泛指规章制度，多指束缚人的死板的规章制度。

【秋后算账】①比喻等事情发展到最后阶段再判断谁是谁非。②比喻事后等待时机进行报复。

【如蚊附膻】①比喻许多臭味相投的人追求某种恶劣的事物。②比喻依附有钱有势的人。

【乳臭未干】①形容人幼稚不懂事理（含讥讽意）。②表示对年轻人的轻蔑或不信任。

【入木三分】形容书法有力。也用来比喻议论、见解深刻。

【散兵游勇】①指失去统属的士兵。②比喻没有加入到某项集体活动中而独自行动的人。

【甚嚣尘上】①形容对传闻之事议论纷纷。②指某种言论十分嚣张（含贬义）。

【生拉硬扯】①形容用力拉扯，强使人听从自己。②比喻牵强附会。

【水落石出】水落下去，石头就显露出来。本指自然现象。后比喻事情的真相得以完全显露出来。

【缩手缩脚】①因寒冷而四肢不能舒展的样子。②形容做事顾虑多，不大胆。

【缩头缩脑】①形容畏缩。②形容胆小，不敢出头负责任。

【堂而皇之】①形容公开或不加掩饰。②形容体面或气派大。

【堂堂正正】①形容光明正大。②形容身材威武，仪表出众。

【体无完肤】①形容浑身受伤。②比喻论点被全部驳倒或文章被删改得很多。

【天翻地覆】①形容变化极大。②形容闹得很凶。

【天高地厚】①形容恩情深厚。②指事物的复杂、深奥程度（多用作"不知"的宾语）。

【天昏地暗】①形容乌云密布或刮大风时飞沙漫天的景象。②比喻政治腐败或社会混乱。③形容程度深；厉害。

【天南地北】①形容距离遥远，也指相距遥远的不同地方。②形容说话漫无边际。

【天香国色】①指赞美牡丹的话。②用来称美女。

【天旋地转】①比喻重大的变化。②形容眩晕时的感觉。③形容闹得很凶。

【涂脂抹粉】①涂胭脂，抹香粉，修饰容貌。②比喻对丑恶事物进行粉饰。

【万紫千红】现多指繁荣兴旺、丰富多彩的社会现象，也指百花盛开，色彩艳丽。

【握手言和】①有矛盾或争执的双方握手表示和好。②指竞赛双方不分胜负。

【屋上架屋】①比喻机构或结构重叠。②比喻不必要的重复。

【舞文弄墨】①歪曲法律条文作弊。②玩弄文字技巧。

【息事宁人】①从中调解，使争端平息，彼此相安。②在纠纷中自行让步，减少麻烦。

【先天不足】①指人或动物生下来体质就不好。②指事物的根基差。

【闲言碎语】①与正事无关的话。②没有根据的话；闲话。

【想入非非】既指思想进入虚幻的境界，完全脱离实际（中性），也指胡思乱想（贬义）。

【欣欣向荣】①形容草木茂盛。②比喻事业蓬勃发展。

【秀色可餐】①形容女子姿容非常美丽。②形容景物非常优美。

【削足适履】①比喻不合理地迁就现成条件。②比喻不顾具体条件，生搬硬套。

【循规蹈矩】一般形容拘泥保守，贬义同；也可指按照规则行事，中性词。

【严丝合缝】①指缝隙密合。②比喻言行周密，没有一点儿漏洞。

【洋洋洒洒】形容说话或写文章才思充沛，长篇大论连绵不断。也形容规模盛大，气势磅礴。

【摇旗呐喊】①古代打仗的时候，后面的人摇着旗子呐喊，给前面作战的人助威。②比喻替别人助长声势。

【一波三折】①形容文章结构曲折起伏。②比喻事情进行中阻碍、变化很多。

【一步登天】①比喻一下子达到最高的境界或程度。②比喻地位一下子升得非常高。

【一气呵成】①比喻文章的气势首尾贯通。②比喻完成整个工作的过程中不间断，不松懈。

【一塌糊涂】可以指乱到不可收拾或糟到不可收拾，贬义词；也用来表示程度之深，中性词。

【一针见血】通常比喻说话、写文章言辞直截、简要，能切中要害。但它的本义是一针就见到血，形容医务人员技术熟练。

【源远流长】①源头很远，流程很长。②比喻历史悠久。

【战战兢兢】①形容因害怕而微微发抖或小心谨慎的样子。②形容小心谨慎的样子。

【直来直去】①径直去径直回。②指心地直爽，说话不绕弯子。

【直眉瞪眼】①形容发脾气。②形容发呆。

【指手画脚】①形容说话时兼用手势示意。②形容轻率地指点、批评。

【装神弄鬼】①装扮成鬼神（骗人）。②比喻故弄玄虚。

【钻牛角尖】①比喻费力研究不值得研究的或无法解决的问题。②比喻固执地坚持某种意见或观点，不知道变通。

附录六

容易错解错用的成语集释

【哀兵必胜】受压抑而奋起反抗的军队必然胜利。

【哀而不伤】悲哀而不至伤害身心。多形容诗歌、音乐等表现的伤感情调适度。

【哀毁骨立】哀：悲哀。毁：毁坏，这里指损害身体。骨：骨骼。立：站立。指因哀痛过度而

损害身体，以致消瘦异常、仅有骨骼支立。

【爱屋及乌】因为爱那个人，而连带爱护停留在他屋上的乌鸦。比喻因喜爱一个人而连带喜爱跟他有关的人或物。

【安步当车】安：安闲。慢慢地步行，就当是坐车。

【安土重迁】重：看得很重。留恋故土，不肯轻易迁移。

【嗷嗷待哺】嗷嗷：哀号声。哺：喂食。形容饥饿时急于求食的样子。

【白驹过隙】形容时间过得飞快，像小白马在细小的缝隙前一闪而过。

【白首空归】白了头发，空手而归。比喻年纪已老学无成就。

【白衣苍狗】杜甫《可叹》："天上浮云似白衣，斯须改变如苍狗。"意思是说天上的云像白衣裳，一会儿又变得像苍狗。后比喻世事变幻无常。

【百身何赎(shú)】赎：抵偿。意思是自身死一百次，也换不过来。后来表示对死者沉痛的悼念。

【稗(bài)官野史】稗官：古代的小官。野史：古代私家编撰的史书。泛指记载逸闻琐事的作品。

【半青半黄】指庄稼半熟半不熟，也可以比喻其他事物或思想未达到成熟阶段。

【鲍鱼之肆】卖咸鱼的铺子。比喻恶劣的环境。

【暴殄天物】天物：泛指鸟兽草木等自然界的生物。意思是任意残害虐杀各种生物，后来也指不知爱惜物品，任意糟蹋浪费。

【比翼双飞】特指夫妻亲密无间，形影不离。

【敝帚自珍】敝帚：破旧的扫帚。珍：珍惜，珍爱。比喻东西虽然不好，但自己非常珍惜。

【筚路蓝缕】筚路：柴车。蓝缕：破旧的衣服。原意是驾着柴车，穿着破衣服，开发山林。后用以形容创业的艰苦。

【鞭辟入里】形容言辞或文章的道理很深刻、透彻。

【兵不血刃】兵器上面没有沾血，指未经交锋而取得胜利。

【博闻强识(zhì)】博：广博。闻：见闻。识：记。见闻广博，记忆力强。

【不齿于人】齿：排列、并列。不能列入人类。意思是不能算人。形容被人极端鄙视。

【不耻下问】指不以向地位比自己低的、知识比自己少的人请教为耻辱。

【不法常可】法：当做模式、法则。常可：长久被人们认可的成规惯例。不把成规惯例当做永远不变的模式。

【不孚众望】孚：使人信服。没有使众人信服。

【不负众望】没有辜负大家的期望。

【不胫而走】胫：小腿。没有腿却能跑。比喻没有声张或无人推行却流行、传播得很快。

【不绝如缕】像细线一样连着，差点儿就要断了，多用来形容局势危急或声音细微悠长。

【不刊之论】不刊：不可删改。形容不能改动或不可磨灭的言论。

【不可理喻】不能够用道理使他明白，形容固执或蛮横，不通情理。

【不可企及】企：踮起脚跟向前望，引申为盼望。企及：希望达到。没有希望达到，形容远远赶不上。

【不稂不莠】稂、莠都是混在禾苗中的野草。原指禾苗中没有野草。后比喻人不成才，没有出息。

【不名一钱】名：占有。一个钱也没有。形容极其贫穷。

【不期而遇】没有约定而意外地相遇。

【不肖子孙】不肖：品行不好。指不能继承先辈事业或遗志的人。

【不一而足】原来指不是一件事就可以满足，后来指同类的事物或情况很多，不止一件事或不止出现一次。

【不以为然】含有认为不是、不对的否定的意思。

【不易之论】易：变更。不可变更的言论。指论点完全正确，没有辩驳的余地。

【不足为训】不值得作为遵循和仿效的准则。

【惨淡经营】惨淡：苦费心思。经营：筹划营谋。原指动笔之前的精心构思。现多形容苦心筹划，营谋某事。

【沧海横流】海水四处泛流。比喻时世动荡，社会动乱不安。

【侧目而视】斜着眼睛看人，形容敬畏、憎恨等神情。

【曾几何时】时间过去没有多久。

【曾经沧海】比喻曾经经历过很大的场面，眼界开阔，对比较平常的事物不放在眼里。

【差强(chāqiáng)人意】差：稍微。强：振奋。原指能振奋人的意志。现在形容某人、某事大体上能使人满意。

【缠绵悱恻】形容内心苦闷难以排遣，也指诗文等感情深沉，言辞婉转。

【车马辐辏(fúcòu)】辐辏：车的辐条汇集到车轮的中心。车子和马匹由四面八方聚集在一起。形容热闹的场面。

【城下之盟(méng)】因敌军兵临城下而被迫签订的屈辱性的和约。

【踌躇(chóuchú)满志】踌躇：从容自得的样子。形容心满意足或十分得意的样子。

【穿云裂石】冲上云霄，震裂石头。一般形容声音高亢嘹亮。

【大方之家】原指深于道术的人。后来指精通某种学问或技艺的专家。

【大放厥(jué)词】厥：他的，代词。原指写诗撰文铺陈辞藻，施展才华。后也指夸夸其谈、大发议论。今多用于贬义。

【得陇望蜀】比喻人贪得无厌，得到了这个，还想着那个。

【抵足而眠】脚碰脚地睡眠。形容双方情谊深厚。

【洞若观火】形容观察事物极其分明，就像看火一样。

【登堂入室】比喻学问或技能由浅入深，循序渐进，达到了高深的地步。也作"升堂入室"。

【鼎力相助】敬辞，大力帮助。（表示请托或感谢时用。）

【鼎足而立】像鼎的三足分立那样，比喻三方面对立的局势。

【豆蔻年华】专指代女子十三四岁。

【对床夜雨】风雨之夜，两人对床共语。形容亲友或兄弟久别相聚，倾心交谈。

【恶衣恶食】粗劣的衣着和食物。形容生活简俭或清苦。

【饿殍(piǎo)遍野】饿殍：因饥饿而死的人。遍野：到处都是。形容旧社会荒年的惨状。

【耳根清净】耳边很安静，没有什么干扰。形容生活平静。

【耳濡目染】濡、染：沾染。指经常听到、看到，无形中受到影响。

【耳提面命】不但当面告诉他，而且凑近他的耳朵讲。形容严厉而又恳切地教导。

【二三其德】形容没有一定的主张，三心二意。

【罚不当罪】处罚和所犯的罪行不相当，多指处罚过重。

【繁文缛节】文、节：旧指礼节、仪式。缛：繁重。烦琐过多的礼节、仪式。也比喻烦琐多余的手续。

【方兴未艾】事物正在发展，一时不会终止。

【非池中物】不是久居池水中的东西。比喻有远大抱负的人。

【匪夷所思】匪：不是。夷：平常。原指一般人所想象不到的。后来形容人的思想离奇。

【吠形吠声】吠：狗叫。一只狗看见人叫，许多狗听到声音也跟着叫。比喻不明察事情的真伪而盲目附和。

【分庭抗礼】原指宾主相见，站在庭院的两边，相对行礼。现在用来比喻平起平坐，互相对立。

【焚膏继晷(guǐ)】晷：日影。形容夜以继日地用功读书或努力工作。

【风靡一时】形容事物在一个时期里极其盛行，像风吹倒草木一样。

【风雨如晦】指白天刮风下雨，天色暗得像黑夜一样。形容政治黑暗，社会不安。

【逢人说项】项：指唐朝诗人项斯。遇人便赞扬。比喻到处为某人某事吹嘘，说好话。

【凤毛麟(lín)角】凤凰的毛、麒麟的角。比喻罕见而珍贵的人才或事物。

【付之一笑】用一笑来对待它。表示毫不介意。

【奉为圭臬】圭臬：古代根据日影测定节气和时间的天文仪器，比喻事物的准则。把某些言论或事物当做准则。

【釜底抽薪】釜：锅。薪：柴火。抽去锅底下的柴火。比喻从根本上解决问题。

【俯拾皆是】只要弯下身子来捡，到处都是。形容地上的某一类东西、要找的某一类例证、文章中的错别字等很多。也说"俯拾即是"。

【附庸风雅】附庸：附属，追随。风雅：文雅，指才学。依附在有才学的人那里。指缺乏文化修养的人为了装点门面而结交名士，从事有关的文化社交活动。

【改头换面】比喻只改形式，不变内容（含贬义）。

【改弦更张】改弦：调换乐器上的弦，使声音和谐。比喻改革制度，变更方法。

【改弦易辙】改换琴弦，变更行车道路。比喻改变方向、态度、计划或方法。

【甘之如饴】饴：麦芽糖。感到像糖一样甜，表示甘愿承受艰难、痛苦。

【刚愎自用】愎：乖僻，执拗。固执任性，自以为是。

【高屋建瓴】建：倾倒。瓴：盛水的瓶子。在

房顶上用瓶子往下倒水。形容居高临下的形势。

【高山仰止】仰止：仰慕，向往。像仰望高山那样，对伟大的人物表示仰望和尊敬。

【各行其是】是：对，正确。各自按照自己以为正确的去做。

【耿耿于怀】事情（多为令人牵挂的或不愉快的）在心里，难以排解。

【工力悉敌】敌：相当。双方用的功夫和力量都不分高低。多指文学艺术等方面的造诣难分上下，不分高低。

【功败垂成】功：功业，事业。垂：接近。成：成功。指事情在将要成功的时候遭到了失败（含有惋惜的意思）。

【股肱（gōng）之臣】股：大腿。肱：胳膊。像大腿和胳膊一样的臣子。形容最得力的不可分离的部下臣属。

【瓜田李下】瓜田里，李子树下。比喻容易发生嫌疑的地方。

【官样文章】指徒具形式没有实际意义的虚文滥调。

【管窥蠡（lí）测】管：竹管。窥：从孔隙中看。蠡：贝壳做的瓢。测：测量。比喻对事物的观察和了解很狭窄、很片面，常用于自己。

【鬼斧神工】形容建筑、雕塑等技巧的精妙。

【海晏河清】晏：平静。沧海波平，黄河水清。比喻天下太平。

【含英咀华】咀：用嘴咀嚼。英、华：花朵。把花朵含在嘴里慢慢咀嚼。比喻欣赏、领会诗文的精华。

【邯郸（Hándān）学步】到邯郸学人家迈步走路。比喻生硬地模仿，不但学不到人家的本领，反而连自己固有的长处也丢掉了。

【沆瀣一气】比喻臭味相投的人结合在一起。

【毫发不爽】毫发：毫毛和头发，形容极其细微。形容一点儿也不差。

【怙（hù）恶不悛（quān）】怙：依恃，坚持。悛：悔改。坚持作恶，不肯悔改。

【涣然冰释】涣然：消散的样子。冰释：像冰一样消融。形容疑虑、误会、隔阂等完全消除。

【毁家纾（shū）难】纾难：解决困难。倾尽家产来解决国家的困难。

【讳莫如深】隐瞒得再没有比它更深的了。

【火中取栗（lì）】比喻为别人冒险，白吃苦头，自己却得不到好处。

【祸起萧墙】祸乱从内部发生。

【积重难返】形容长期养成的习惯很深，难以改变。

【畸（jī）轻畸重】畸：偏。有时偏轻，有时偏重。形容事物发展不平衡，或对事物的态度有所偏重。

【激浊扬清】激：冲去。浊：脏水。比喻发扬一切好的，清除一切坏的。

【计日程功】程：计量，计算。工作进度或成效可以按日计算。形容在较短期间就可以成功。

【见微知著】微：小，指刚显露出的苗头。著：明显。见到微小的迹象，就能察知事物发展的趋势。

【江河日下】日：一天天地。江河的水一天天地向下流。比喻情况一天天地坏下去。

【教（jiāo）猱升木】教：传授知识技能。比喻教唆恶人为恶。

【借箸代筹】原意是借你面前的筷子来指画当前的形势。后来表示代人策划。

【久假不归】假：借。长期借用而不归还。

【开门揖（yī）盗】揖：作揖，表示欢迎。比喻引进坏人，自招祸患。

【空穴来风】有了洞穴才进风。比喻消息和传说的传布不是完全没有原因的。现多用来比喻消息和传说毫无根据。

【口惠而实不至】惠：给以好处。口头上虚情假意地答应给别人好处，而在实际上却不兑现。

【苦心孤诣】苦心：费尽心思。孤诣：独到之处，别人所达不到的境地。指费尽心思，刻苦钻研，在学问技艺等方面达到别人所不及的境地。

【脍炙人口】炙：烤熟的肉。美味人人都爱吃。比喻好的诗文或事物，人们都称赞。

【李代桃僵（jiāng）】原指李桃共患难。比喻兄弟相爱相助。后指互相顶替或代人受过。

【力透纸背】原指书法遒劲有力。后也用来形容诗文立意深刻，用词精当。

【励精图治】形容振奋精神，力求把国家和地方治理好。主要指精心治理国家，适用对象极为有限。

【良莠不齐】比喻好人坏人混杂在一起。

【梁上君子】躲在屋梁上的先生。窃贼的代称。

【寥若晨星】稀少得好像早晨的星星。

【鳞次栉比】像鱼鳞和梳子的齿一样，一个挨着一个地排列着。多用来形容房屋等密集。

【琳琅满目】满眼都是美玉。比喻各种美好的东西很多（多指书籍或工艺品）。

【令行禁止】有令必行有禁必止。形容法纪严明，严格执行。

【屡试不爽】爽：差错。屡次试验都没有差错。

【荦(luò)荦大端】荦荦：明显。明显的要点或主要的项目。

【洛阳纸贵】形容好的著作风行一时，广为流传。

【买椟(dú)还珠】椟：木匣。买下装珍珠的匣子，却把匣中的珍珠退还卖者。比喻没有眼力，取舍不当。

【每况愈下】比喻情况越来越坏。

【美轮美奂】轮：高大。奂：众多。形容新屋高大美观，也形容装饰、布置得美好漂亮。

【美女簪花】形容书法娟秀多姿，如同美女戴花。

【门户之见】由宗派关系而形成的意见。多指学术、艺术领域里的派别成见。

【勉为其难】勉强去做能力所不及的事情。

【苗而不秀】庄稼生长了，却不吐穗扬花。比喻资质虽好，但没有什么成就。

【名缰利锁】缰：缰绳。锁：锁链。比喻名和利就像缰绳和锁链一样束缚人。

【明火执仗】点着火把，拿着武器，公开活动（多指抢劫）。

【明日黄花】过了重阳节的菊花。意思是即将枯萎，没有什么可赏玩的了。比喻已失去新闻价值的报道或已失去应时作用的事物。

【摩顶放踵(zhǒng)】放：至、到。踵：脚跟。从头顶到脚跟都擦伤了。形容不辞辛劳。

【莫衷一是】不能得出一致的结论。

【目无全牛】形容技艺已经达到十分纯熟的地步。

【藕断丝连】莲藕已经折断，丝还连着。比喻表面上断了关系，实际上仍有牵连。多指男女之间情意未断。

【抛砖引玉】谦辞，比喻用粗浅的、不成熟的意见引出别人高明的、成熟的见解。

【蓬荜生辉】谦辞，表示由于别人到自己家里来或张挂别人给自己题赠的字画等而使自己非常光荣。

【朋比为奸】朋比：互相依附。互相勾结在一起干坏事。

【批亢(háng)捣虚】亢：喉咙，喻要害。抓住要害，乘虚而入。

【披沙拣金】披：散开。拣：挑取。铺散开沙子，挑取真金。比喻从芜杂中进行挑选，去粗取精。

【被(pī)褐怀玉】被：通“披”。比喻胸怀英才，深藏不露。后用来比喻出身贫寒而怀有真才实学。

【否(pǐ)极泰来】否：坏运。泰：好运。噩运到头了，好运就来了。形容事物发展到极限，就会向对立面转化。

【萍水相逢】比喻素不相识的人偶然相遇。

【评头品足】原来指无聊的人评论妇女的容貌。现在泛指对人对事说长道短，挑剔毛病。

【破镜重圆】比喻夫妻失散或决裂后重又团聚。

【期期艾艾】形容口吃。

【杞人忧天】传说杞国有个人怕天塌下来，吃饭睡觉都感到不安。比喻不必要的忧虑。

【气冲斗牛】形容精神旺盛，意气高昂，或非常生气，愤慨之极。

【巧夺天工】人工的精巧胜过天然。形容技艺精妙。大多指工艺美术、园林等。

【千载一时】一千年才有这样一次时机。形容很难遇到的机会。

【轻歌曼舞】曼：柔和，轻柔。形容音乐轻快，舞姿柔美。

【倾巢而出】全体出动。多用于贬义。

【罄(qìng)竹难书】罄：尽。把竹子用完了都写不完。形容罪行多，写不完。

【穷兵黩武】使用全部兵力，任意发动侵略战争。

【求全责备】苛责别人，要求完美无缺。

【曲(qū)突徙(xǐ)薪】突：烟囱。把烟囱改建成弯的，搬开灶旁的柴，避免发生火灾。比喻事先预防，以免发生危险。

【趋之若鹜】像鸭子一样成群地跑过去。比喻很多人争着去。

【曲高和寡】乐曲格调高雅，能跟着唱的人很少。旧指知音难得。现比喻言论或艺术作品不通俗，能理解或欣赏的人很少。

【曲尽其妙】曲：委婉细致地。把微妙之处委婉细致地表达出来。形容表达能力强。

【阒(qù)无人迹】阒：寂静。十分寂静，没有人的踪迹和声音。

【人微言轻】微：卑微。轻：轻微。指地位卑微，言论主张不受重视，不起作用。

【冗(rǒng)词赘(zhuì)句】冗、赘：多余的。诗文中无用的话。

【如椽之笔】椽：椽子，放在檩上架着屋面板和瓦片的木条。像椽子一样的大笔。指大著作或重要的文字。也用以比喻笔力雄健。

【如坐春风】如同沐浴在和煦的春风里。比喻受到教育和感化。

【入室操戈】原指进入他人的屋子，拿起他人的武器攻击他人。现在比喻就对方的论点反驳对方。

【三人成虎】比喻谣言或讹传一再反复，就有使人信以为真的可能。

【色厉内荏】色：神色。厉：厉害。内：内心。荏：软弱，怯懦。外表强硬而内心怯懦。

【闪烁(shuò)其词】指说话稍微露出一点想法，但不明确。也形容说话躲躲闪闪，吞吞吐吐。

【上行下效】上面或上辈的人怎么做，下面或下辈的人就学着怎么做(多指不好的事)。

【莘莘学子】莘莘：众多。众多的学生。

【深孚众望】很使人信服。

【身体力行】亲身经验，努力实行。

【身无长物】长物：多余的东西。除自身外再没有多余的东西，形容贫穷。

【生灵涂炭】涂炭：烂泥和炭火。形容政治混乱时期人民处在极端困苦的环境中。

【生吞活剥】比喻生硬地模仿、搬用别人的理论、经验、方法等。

【失之交臂(bì)】交臂：擦肩而过。形容当面错过机会。

【师心自用】师心：以自己的心意为师，指只相信自己。自用：按自己的主观意图行事。指固执己见，自以为是。

【石破天惊】原形容演奏箜篌(一种乐器)的声音忽高忽低，出人意料，有不可名状的奇境。后多用来比喻文章议论新奇惊人。

【拾人牙慧】牙慧：指咀嚼后吐出来的饭菜渣滓，指别人的言论。拾取别人说过的只言片语作为自己的话来说。

【始作俑者】第一个制作殉葬的土木俑的人。比喻第一个做某件坏事的人或恶劣风气的开创者。

【首当其冲】比喻最先受到攻击和遭遇灾难。

【首鼠两端】首鼠：犹豫，进退两难。形容在两者之间犹豫不决或动摇不定。

【数典忘祖】比喻忘本。现在也用来比喻对本国历史的无知。

【叹为观止】赞美看到的事物好到了极点。

【弹冠相庆】掸去帽子上的灰尘，准备做官，表示庆贺。指一人当了官或升了官，他的同伙也互相庆贺将有官可做。

【探骊得珠】探：摸取。骊：骊龙，古时传说中的黑龙。用以比喻文章写得好，抓住了题中的精粹。

【韬光养晦】韬：本为剑套，比喻隐藏。光：光芒，锋芒。晦：昏暗，不清晰。养晦：暂且隐退之意。比喻暂且隐藏自己的锋芒或才能，不使表现出来。

【桃李不言，下自成蹊(xī)】蹊：小路。桃树、李树虽不向人打招呼，但因其花艳丽动人，其实甘美，引人喜爱，树下自然走成一条道。比喻只要为人真诚、忠实，就能感动别人。

【提要钩玄】指抓住精神实质，提出主要之点。

【醍醐灌顶】比喻灌输智慧，使人彻底醒悟。

【痛定思痛】悲痛的心情平静以后，再回想痛苦的情景。含有令人感慨深思的意思。

【投鞭断流】把马鞭子全部扔入江中就能截断流水。形容人马众多，兵力强大。

【投袂而起】投袂：拂动衣袖。甩动袖子，站了起来。形容决心奋发的情态。

【投鼠忌器】想扔东西打老鼠，又怕打坏了东西。比喻欲除恶而有顾忌，不敢放手干。

【投桃报李】他送给我桃，我拿李子回送他。比喻友好往来。

【万马齐喑】千万匹马都沉寂无声，比喻人们都沉默，不说话，不发表意见。

【万人空巷】家家户户的人都走出了巷子和胡同。形容庆祝、欢迎的盛况轰动一时的情景。

【望其项背】项：脖子。背：脊背。能够望见别人的颈项和脊背，表示赶得上或比得上。

【危言危行】危：正直。说正直的话，做正直的事。

【微言大义】指精微的语言包含深刻的道理。

【韦编三绝】韦：熟牛皮。韦编：古代用竹简写书，用熟牛皮条把竹简编连起来，叫做“韦编”。三：概数，指多次。绝：断。后形容读书勤奋。

【尾大不掉】掉：摆动。尾巴太大就不好摆动。比喻部下强大，不听从调动指挥。现在也比喻机构庞大，指挥不灵。

【蔚然成风】形容一种事物逐渐发展、盛行，形成风气。

【为(wèi)渊驱鱼，为丛驱雀】原比喻反动统治者施行暴政，老百姓逃往别国。现比喻不善于团结人，把本来可以争取过来的人赶到对方那边去了。

【未雨绸缪(móu)】天还没有下雨，就先修好房屋门窗。比喻事先做好准备。

【文不加点】指文章一气写成，无须修改。形容文思敏捷，写作技巧纯熟。

【无可非议】没有什么可以指责的，表示言行合乎情理。

【无可厚非】不可过分指责，表示虽有缺点，但是可以原谅。

【无人问津】津：渡口。没有人询问渡口。比喻无人过问或无人关心。

【无所不为】没有什么不干的，指什么坏事都干。

【无所不至】没有达不到的地方，也指凡能做的都做到了(用于坏事)。

【细大不捐】大的小的都不抛弃。

【下里巴人】原指古代楚国的民间歌曲。后泛指通俗的普及的文学艺术。

【相濡以沫】比喻人在困境中以微薄的力量竭力相互救助。

【响遏行云】遏：阻止。指声音高人云霄，把浮动着的云彩也阻止了。形容歌声嘹亮有力，悦耳动听。

【宵衣旰(gàn)食】天不亮就穿衣起床，天晚了才吃饭。形容勤于政务。

【形单影只】形：人的身形。影：人影。只：个。形容形影孤单，没有同伴。

【形格势禁】格：阻碍。禁：制止。指形势被控制，事情被阻止。

【胸无城府】城府：指待人处事的心机。形容待人接物坦率、真诚。

【休戚相关】休：喜悦。戚：忧愁。形容关系紧密、利害一致。

【虚与委蛇】虚：假意。与：跟。委蛇：敷衍。对人虚情假意，敷衍应酬。

【一蹴而就】一抬脚就能成功。形容事情轻而易举，一下子就能完成。

【一傅众咻(xiū)】傅：教导。咻：喧闹。一个人教，众多的人干扰，是不会学好的。后来用以说明环境对人的影响极大。

【一劳永逸】劳苦一次就可以永远安逸。

【一衣带水】原形容像衣带那样狭窄的水。后比喻仅隔一水，极其邻近。

【贻笑大方】让内行笑话。

【颐指气使】说话只用面部表情来示意。形容有权势的人傲慢的神态。

【以儆效尤】儆：警戒，告诫。尤：过错。用对一个坏人或一件坏事的严肃处理来警告那些学做坏事的人。

【以邻为壑(hè)】拿邻国当做排泄洪水的沟壑。比喻把自己的困难或祸害转嫁给别人。

【倚马可待】原形容文思敏捷，很快就能写好文章。现泛指很快就能完成。

【亦步亦趋】意思是老师走学生也走，老师跑学生也跑。比喻自己没有主张，或为了讨好别人，每件事都顺从别人，跟着人家走。

【饮鸩(zhèn)止渴】鸩：一种毒酒。喝毒酒解渴。比喻采取极有害的方法来解决眼前困难，不顾后果。

【蝇营狗苟(gǒu)】像苍蝇那样飞来飞去追逐脏东西，像狗一样地摇尾乞怜苟且偷安。比喻追求名利，不顾廉耻。

【余勇可贾】贾：卖。形容力气还没有用完。

【越俎代庖】俎：祭器。庖：厨子。厨子不做饭，掌管祭祀神主的人不能越过自己的职守，放下祭器去代替厨子做饭。比喻超过自己的职务范围，去处理别人所管的事情。

【崭露头角】比喻突出地显露出才能和本领(多指青少年)。

【彰善瘅(dàn)恶】彰：表扬。瘅：憎恨。表扬好的，憎恨坏的。

【昭然若揭】昭：明显。真相全部暴露，一切都明明白白。

【振聋发聩】发出很大的响声，使耳聋的人也能听见。比喻用语言文字唤醒糊涂的人。

【指日可待】(事情、希望等)不久就可以实现。

【抵掌而谈】抵掌：击掌，鼓掌。形容高谈阔论，话极投机。

【栉风沐雨】风梳头，雨洗发。形容奔波劳碌，不避风雨。

【至当(dàng)不易】当：恰当，合适。易：改变。形容极为恰当，不能改变。

【炙手可热】意思是刚一挨近就热得烫手，比喻气焰盛，权势大，使人不敢接近。

【逐鹿中原】旧指群雄并起争夺天下。现多比喻竞争夺魁。

【罄发难数】罄发：拔下头发。形容多得数不清。多指罪恶。

【自怨自艾】艾：改正。原指悔恨自己的错误而自己改正。后只表悔恨的意思。

【罪不容诛】罪大恶极，处死都不能抵偿。

【作壁上观】壁：壁垒，古时军营四周的围墙。在一旁观看，不介入，坐观成败。

附录七

常见近义成语辨析

A

【爱财如命　一毛不拔】都形容极其吝啬。异：前者偏重于性格上的吝啬，语义重；后者偏重于行为上的自私，语义轻一些。

【安分(fèn)守己　循规蹈矩(jǔ)】都有规矩老实的意思。异：前者偏重于守本分，不胡来；后者偏重于固守成规，不敢变易。

【安之若素　随遇而安】都有对任何遭遇都不在意的意思。异：前者多指处于困境，仍能跟往常一样(素：平日，往常)；后者强调能适应任何环境。

【按部就班　循序渐进】都有遵循一定的程序的意思。异：前者强调按一定步骤和规矩(部、班：门类、次序。就：遵照)，后者强调逐渐深入或提高。

【暗箭伤人　含沙射影】都比喻暗中诽谤、攻击或陷害别人。异：使用的手段有差别，前者使用的手段包括语言、行动，程度比"含沙射影"重；后者的手段只是语言，并有影射某人、某事的意思。

B

【八面玲珑　面面俱到】都有对各方面应付得很周到的意思，有时可以通用。异：前者多含贬义，偏重于处世圆滑；后者是中性词，偏重于应付得十分周到。

【跋(bá)山涉水　风尘仆仆　风餐露宿】都有旅途辛苦之意。异："跋山涉水"重在远行艰辛，"风尘仆仆"重在长途奔波劳碌，"风餐露宿"重在强调野外食宿艰苦。

【百依百顺　唯命是从】都有怎么说就怎么做的意思。异：前者指事事都依从对方，形容一味顺从而不问是非；后者含贬义，多用于上下级之间。

【半途而废　浅尝辄(zhé)止】都有中途停止的意思。异：前者偏重在"半"，中途停止，有惋惜之意；后者偏重在"浅"，不深入(辄：就)。

【包办代替　越俎代庖】都有包办的意思。异：前者重在包办，后者重在超越权限。

【抱残守缺　故步自封　墨守成规】都有因循守旧的意思。异："抱残守缺"偏重在不肯接受新事物，"故步自封"偏重在不求进取，"墨守成规"偏重在按老规矩办事。

【卑躬屈膝　奴颜婢膝　奴颜媚骨】都有向别人讨好的意思，有时可以通用。异：前两个成语偏重在奴气，"奴颜媚骨"偏重在奴性。

【比比皆是　俯拾皆是】都表示相同的事物很多，到处都是。异："比比皆是"侧重表示多得很，到处都是；"俯拾皆是"侧重表示容易得到。"比比皆是"的对象可以是物，也可以是人。如：像这种助人为乐的人～。"俯拾皆是"的对象只能是物。

【鞭长莫及　望洋兴叹】都表示力量不够的意思。异："鞭长莫及"侧重表示距离远，管辖、干涉的力量达不到；"望洋兴叹"侧重表示做某事能力有限，毫无办法。

【标新立异　独树一帜】都有自成一套、提出的主张与众不同的意思。异：前者偏重在显示特点；后者偏重在创造出独特风格或另外开创局面，多含褒义。

【别具一格　别开生面】都有与众不同，给人一种新的印象、新的感觉的意思。异：前者偏重在"格"，表示风格、样子与众不同，一般用于文艺创作和某些事物；后者偏重在"生面"，表示新的局面或形式，适用范围较广。

【彬(bīn)彬有礼　文质彬彬　温文尔雅】都可形容人态度温和、举止斯文。异：前一个成语偏重在对人有礼貌；后两个成语不仅形容人举止文雅，而且可以形容人的气质。

【病入膏肓(gāohuāng)　不可救药】都表示病情严重，无法医治。异：前者偏重在"病"，比喻病情严重到了不可挽救的地步；后者偏重在"救药"，强调无法挽救。

【博闻强识　见多识广】都有见识广的意思。异：前者偏重在见闻广博、知识面宽、记忆力强，只用于书面语；后者偏重于阅历多，多用于口语。

【捕(bǔ)风捉影　无中生有】都有凭空捏造的意思。异：前者偏重在没有事实根据；后者偏重在本来没有，语气较重。

【不刊之论　不易之论】都有不能改变的意思。异：前者强调不可磨灭，不可更改(刊：消除，删改)；后者强调论断正确，不可改变。

【不闻不问　漠不关心】都有冷漠、不关心的意思。异：前者重在行动，后者重在态度。

【不翼而飞　不胫而走】都比喻流传迅速。异：前者多指东西突然丢失，后者多指消息传得快。

【不由自主　情不自禁(jīn)】都有自己控制不住自己的意思，有时通用，偏重在感情的流

露，用来形容整个人。异：前者不限于此，还可以形容人体的某一部分。当形容热情奔放、心情无比兴奋和激动时，宜用“情不自禁”；当形容震惊、慌张以及由于某种外界原因而由不得自己时，宜用“不由自主”。

C

【惨绝人寰(huán)　惨无人道】都有狠毒残暴的意思。异：前者语义重，强调人世间从没见过的惨痛，不能用来形容人；后者强调无人性、不讲理，常用来形容人。

【畅所欲言　各抒己见　推心置腹】都表示说出自己心里想说的话。异：“畅所欲言”偏重在说话尽情；“各抒己见”重在发表己见；“推心置腹”重在待人真诚，而且所涉及的对象一般是一个人或较少的人。

【陈词滥(làn)调　老生常谈】都指讲惯了、听厌了的话。异：前者指谈的内容既陈旧又空泛，含贬义；后者指谈的虽是老话，但不一定没有现实意义，属中性成语。

【乘(chéng)人之危　落井下石】都表示趁人危难时去侵害人家。异：前者重在别人遭危难时用要挟、引诱等手段去害别人，后者重在要置遭难者于死地。

【出尔反尔　反复无常】都表示经常变卦。异：前者偏重于语言上的前后矛盾，后者偏重于行动上的变化无常。

【出神入化　炉火纯青】都指达到的境界很高。异：前者形容技艺高超、神妙，后者还可以用于学术修养方面。

【处心积虑　挖空心思】都有费尽心思的意思。异：前者强调蓄谋已久，含贬义；后者强调用尽心机，中性词。

【穿凿(záo)附会　牵强附会】都表示生拉硬扯(附会：把没有关联的事物比附在一起)。异：前者指把没有某种意思的说成有某种意思，后者指把关系不大的事物勉强地扯在一起。

【唇齿相依　唇亡齿寒】都比喻关系密切，互相依存。异：前者强调相互依存；后者强调利害与共，一方遭难，另一方也跟着遭难。

【垂手可得　唾手可得】都比喻极容易得到。异：在程度上前者比后者更容易。

D

【大吹大擂(léi)　自吹自擂】都有吹嘘的意思。异：前者吹嘘的可以是自己，也可以是别人；后者仅指自己。

【大发雷霆　怒不可遏(è)】都表示十分愤怒。异：前者偏重于发怒时的高声斥责，后者强调愤怒难以抑制(遏：阻止)。

【大公无私　铁面无私】都表示没有私心。异：前者侧重于一心为公；后者侧重于不畏权势，不讲情面。

【大庭广众　众目睽(kuí)睽】都可表示有许多人的场合。异：前者指聚集了很多人的公开场合；后者指很多人注目的场合(睽睽：睁大眼睛注视的样子)。

【得寸进尺　得陇(Lǒng)望蜀】都比喻贪得无厌，不知满足。异：前者表示逐步进逼，越要越多；后者表示得到这个，还想那个。

【低三下四　低声下气】都形容卑恭，无骨气。异：前者偏重于卑恭下贱，后者偏重于恭顺小心。

【顶礼膜拜　五体投地】都有崇拜的意思。异：前者偏重于崇拜，今多用于贬义；后者偏重于敬佩。

【独断专行　专横跋扈(hù)　一意孤行】都有不考虑别人意见、办事主观蛮干的意思。异：“专横跋扈”含有蛮横、霸道的意思，语义较重，一般只用于掌权者；“独断专行”和“一意孤行”多形容缺乏民主作风，语义较轻，而且不限于掌权者，一般人也可以用。

【咄(duō)咄逼人　盛(shèng)气凌人】都形容气势汹汹，气势逼人。异：前者的应用范围广，不仅用于人，还可用于气势、形势、命令等；后者只用于人，并含有傲慢自大的意思。

E

【阿谀(yú)逢迎　趋炎附势】都有巴结奉承的意思。异：“阿谀”，迎合别人的意思，说好听的话；“趋炎”，奉承依附有权势的人(炎：比喻权势)。

【耳闻目睹　耳濡(rú)目染】都有耳朵听到、眼睛看到的意思。异：前者强调亲自听到、看到，是否受到影响则不管；后者强调经常听到、看到，并不知不觉受到深刻的影响(濡：沾湿、润泽。染：沾染)。

F

【防患未然　未雨绸缪】都表示事前做好准备。异：前者重在预防，后者重在准备。

【风言风语　流言飞语】都表示没有根据的话。异：前者多指无意传说，传说者多出于无知、怀疑和猜测；后者多指有意，传说者往往出于险恶用心。

【锋芒毕露　崭露头角】都有才能显露出来的意思。异：“毕”指全部，“崭”指突出的才能；前者多形容人气盛逞强，后者多指青少年。

【浮光掠影　走马观花】都表示印象不深。异:前者比喻事物留下的印象不深,后者多指观察事物不仔细。

G

【改过自新　痛改前非】都有改正错误的意思。异:前者偏重于未来,强调在重新做人上;后者偏重于过去,强调在改正错误的彻底性上。

【改邪归正　弃暗投明】都指从坏的方面转到好的方面来。异:前者偏重指不再做坏事;后者偏重指与黑暗势力断绝关系,投向进步势力。

【苟且偷安　得过且过】都形容只图眼前,不顾将来。异:前者偏重于贪图眼前安逸(苟且:敷衍马虎,得过且过。偷安:只求眼下过得去);后者偏重于胸无大志,工作马虎,不负责任。

【孤注一掷(zhì)　破釜(fǔ)沉舟】都有最后拼一下以求胜利的意思。异:前者偏重在尽所有力量作最后的一次冒险(注:赌注,赌博时押上的钱),多含贬义;后者偏重在下决心决一胜负,多含褒义。

【光明磊落　光明正大】都含有心地光明的意思,都能用于人及其言行。异:前者偏重指人的精神品质,指襟怀坦白;后者偏重指人的行为正当、正派。

H

【骇人听闻　耸人听闻】都含有"使人吃惊"的意思。异:前者是指结果使人吃惊、害怕;后者指故意说夸大或使人惊奇的话,使人震惊。

【含糊其辞　闪烁其词】都有说话不清楚、不明确的意思。异:前者侧重于话说得含混不清,后者侧重于说话遮遮掩掩,躲躲闪闪。

【和蔼可亲　和颜悦色　平易近人】都可形容态度温和。异:"和蔼可亲"和"平易近人"都有使人容易亲近的意思,并多用于领导、长辈;"和颜悦色"没有使人容易亲近的意思,也不限于长辈。形容温和时,"和颜悦色"偏重于脸部表情;"和蔼可亲"和"平易近人"偏重于态度、作风或表示人的性格特点。

【厚颜无耻　恬(tián)不知耻】都形容不知羞耻,常可通用。异:前者偏重在脸皮厚,后者偏重在做了坏事仍满不在乎(恬:坦然,满不在乎)。

【花天酒地　醉生梦死】都形容腐朽糜烂的享乐生活。异:前者偏重在迷恋酒色,后者偏重在浑浑噩噩、糊里糊涂地生活。

【画饼充饥　望梅止渴】都比喻用空想来安慰自己,常可通用。异:前者有"画饼"的行动,后者只表示空等、空望。

【荒诞(dàn)不经　荒诞无稽　荒谬(miù)绝伦】都有荒唐、不可信的意思。异:"不经"指不正常,不近情理;"无稽"指无法考察;"绝伦"指超出同类,没有可以相比的。后者语义最重(荒谬:极端错误;非常不合情理)。

【挥金如土　一掷千金】都形容极度挥霍。异:前者偏重在对钱财的轻视,后者偏重在一次花钱之多。

【回味无穷　耐人寻味】都形容意味深长。异:前者只限于事后回忆,从追忆中体会到意趣很深;后者不仅指事后,也可以指当时。

【魂不守舍　失魂落魄(pò)】都可形容精神恍惚的样子。异:前者重在形容精神不集中;后者重在形容惊慌异常或因受强烈刺激而行动失常,语义较重。

【浑浑噩噩　糊里糊涂】都指糊涂无知,都是形容词。异:前者多用于书面语,后者多用于口语。

【浑然一体　水乳交融】都有很难分开的意思,都是形容词。异:前者指构成事物的各部分之间没有缝隙,像是一个整体;后者指混合的各部分互相融合,你中有我,我中有你。

J

【疾恶如仇　深恶(wù)痛绝】都有厌恶、憎恨的意思。异:"如仇"指如同仇敌;"痛绝"指厌恶、憎恨到了极点,语义较重。

【见利忘义　利令智昏】都表示为私利而做坏事。异:"忘义"指不顾道义,"智昏"指头脑发昏。

【洁身自好　明哲保身】都指怕招惹是非。异:前者用作褒义时,偏重指不与世俗同流合污;用作贬义时,多指怕招惹是非。后者现在指因怕犯错误或有损自己利益而对原则性问题不置可否的处世态度。

【洁白无瑕　完美无缺】都指没有一丁点儿缺点和错误。异:前者适用于人和物,不适用于事情;后者多指人和事。

【坚苦卓绝　艰苦卓绝】都指艰苦,超出平常。异:前者指在艰难困苦中坚忍刻苦的精神超越寻常。如:这种～的工作精神,令人感奋。后者形容斗争十分艰苦,超出寻常。如:党有几十万党员,他们在领导人民,与敌人作～的斗争。

【举一反三　触类旁通】都指在接受新事物时有较强的类比能力。异:前者侧重于理解知识。如:这样精读博览,～,收效很大。后者侧重于掌握知识和技能。如:这个班的学生虽然年龄较大,但由于他们都有实际工作的经验,学得灵活,能够联系实际,～,因此,成绩并不比其他班差。

K

【口蜜腹剑　笑里藏刀】都形容阴险狡诈。异：前者偏重嘴甜，后者偏重脸笑。

L

【理所当然　天经地义】都有按道理应该如此的意思。异：前者偏重在应当如此，适用范围要比"天经地义"宽得多；后者偏重在合乎道理，语气重，色彩庄重，还可指非常正确的、不能改变的道理。

【历历在目　记忆犹新】都可表示清楚地记得往事。异：前者偏重指过去情景的再现，后者偏重指记忆像新的一样。

【恋恋不舍　流连忘返】都有舍不得离开的意思。异：前者语义范围广，可指一切所留恋的人、事物等；后者偏重指对景物的留恋。

【另眼相看　刮目相看】都指看待对方时发生了变化。异：前者强调用另一种眼光看待，多指看待某个人（或某种人）不同于一般；后者强调用新的、跟过去不一样的眼光来看待。

M

【满不在乎　大大咧咧】都表示不把事情放在心上。异：前者侧重指将应该考虑、应该关心、应该处理的事不放在心上，后者侧重指随随便便、很不在意的状态。

【美不胜收　琳琅满目】都形容美好的事物很多。异：前者偏重在来不及看或一一欣赏（胜：能承担或承受），后者偏重在满眼都是。

【每况愈下　江河日下】都有越来越坏的意思。异：前者偏重在笼统地表示越来越坏（愈：越发，更加），后者偏重在一天天坏下去。

【秣（mò）马厉兵　严阵以待】都有做好战斗准备的意思。异：前者偏重在人员的行动（秣：指喂牲口。厉：同"砺"，磨）；后者偏重在整个军队排好阵势，等待来犯的敌人。

【目光如豆　鼠目寸光】都比喻目光短浅，看不到远处、大处。异：前者偏重在小，强调看不到全局；后者偏重在近，强调看不到将来。

Q

【恰到好处　恰如其分（fèn）】都表示做事、说话达到适当的程度，常可通用。异：前者偏重在恰巧达到适当的地步，后者偏重在正合分寸。

【前赴后继　前仆后继】都有英勇向前的意思。异：前者指前面的人上去，后面的人就跟上去，形容踊跃向前，连续不断；后者指前面的人倒下了，后面的人继续跟上去，强调不怕牺牲。

R

【日新月异　突飞猛进】都表示进步发展很快。异：前者侧重表示变化快；后者侧重表示进展迅速。在只强调进步快的语句中，这两个成语可以互换；但在强调变化快时，只用"日新月异"，不用"突飞猛进"。

S

【随机应变　看风使舵　见机行事】都指能够跟着形势做事。异："随机应变"侧重指灵活机动，善于适应新情况；"看风使舵"侧重指跟着情势随时转变方向、改变立场；"见机行事"侧重指能够抓住时机。"随机应变"是褒义词，"看风使舵"是贬义词，"见机行事"是中性词。

【丧尽天良　丧心病狂】都有心肠坏、做事凶狠的意思。异：前者偏重于心肠坏（天良：善良的心）；后者偏重于言行荒谬，凶狠残忍（狂：疯狂）。

【死气沉沉　万马齐喑（yīn）】都有形容没有一点儿生气的意思。异：前者偏重于气氛压抑，多指气氛不活跃，没有生气；后者偏重于不敢讲话（喑：哑）。

T

【谈笑风生　谈笑自若】都有谈话时有说有笑的意思。异：前者表示谈话时兴致勃勃，气氛活跃，多用在平时说话；后者表示不变常态，多用于紧张、情势严重时的谈笑。

【忐忑不安　惴惴不安】都指心神不定，都是形容词。异：前者侧重指心神不定，表示心理状态；后者侧重指因害怕或发愁而神情不安定。"忐忑不安"通常只表心理状态。"惴惴不安"既指内心活动，又指外在表现。如：看上去～/～的神情。

【逃之夭夭　溜之大吉】都指逃跑，都是动词。异：前者侧重指慌张逃走，是诙谐的说法；后者侧重指偷偷溜走。

【同心协力　同舟共济】都指团结一心，共同努力。异：前者侧重指团结一致、共同努力，做好工作或完成某项任务，不一定在困境中；后者侧重指在困境中同心协力，共同渡过难关。

W

【望风而逃　闻风丧胆】都有听到一点儿风声就害怕的意思。异：前者偏重在吓得连忙逃跑；后者偏重在吓破了胆，丧失了勇气。

【无微不至　无所不至】都有没有一处不到的意思。异：前者形容处世待人细致周到，体贴入微，含褒义；后者多指什么事都干得出来，含贬义。

【无精打采　萎靡不振】都表示精神不振作的意思。异：前者多形容一时的精神状态，不含

意志消沉的意思；后者多形容较长时间的精神状态，表示意志消沉、精神不振作。

【无所事事　无所作为】都表示不做事情，没有成绩的意思。异：前者侧重表示闲着，没做任何事情，有时含有“游手好闲”“饱食终日”的意思，可指较长时间的表现，也可指较短时间的表现，能受表时间的词语（如：终日、整天等）的修饰，一般只形容个人，不形容团体或组织；后者侧重表示不做大的或有意义的事情，也表示没有做出成绩来，跟“有所作为”相对，有安于现状、不努力、缺少才能的意思，一般都指较长时间的表现，能受“终身”“一辈子”等词语的修饰，除用于个人外，还可用于集团或组织。

X

【瑕不掩瑜　瑕瑜互见】都有同时具有优点和缺点的意思。异：前者有缺点遮不住优点的意思；后者比喻有优点也有缺点，没有主次之分。这两个成语不能通用。

【心不在焉　漫不经心】都表示随随便便、不用心思，思想不集中的意思。异：前者侧重表示不专心，可以指对事情的一时的、短暂的不专心的态度，也可以指较长时期的精神恍惚，心思不定的表现，在句中可作谓语；后者侧重表示不在意，多指对事情轻率的态度，一般不单独作谓语，可作状语。

【心平气和　平心静气】都表示心境平和、不动感情的意思。异：前者侧重表示态度的温和，后面常带趋向动词“下来”“起来”等；后者侧重表示心情的平静，后面不能带趋向动词。

【心照不宣　心领神会】都有心里已领会、不用说出来的意思。异：前者多指双方，有时指较多的人；后者着重于领会，一般指一方。

【徇(xùn)私舞弊　营私舞弊】都指为私利而玩弄手段干违法乱纪的事。异：前者指曲从私情，照顾私人关系而舞弊（徇：曲从）；后者指为自己谋求私利而舞弊。

Y

【掩耳盗铃　自欺欺人】都有欺人也自欺的意思，均含贬义。异：前者常用于以欺骗自己为主的情况，具有形象性；后者常用于以欺骗别人为主的情况，具有概括性。

【一帆风顺　一路顺风】都表示顺利、无阻碍的意思。异：前者既可用于旅途、行程，也可用于形容人的经历、工作、事情的进展等。如：旅途～/～地完成/～的生活。后者一般专指旅途、行程。如：分手时，他把背包放在我的座位上说：“祝你～。”

【以身作则　身体力行　身先士卒】都表示自身言行的重要，对他人产生好的影响作用，带褒义色彩。异：“以身作则”着重于自身作出榜样。如：不能～/一贯～/～地执行。“身体力行”着重于亲自实践，努力去做。如：能够～/总是～。“身先士卒”原指作战时将帅冲在士兵前面，多引申为职位高的人冲在前面，带头去做。如：领导应～。

【一笔勾销　一笔抹杀】都有全部除去的意思。异：“勾销”指全部取消，不再计较；“抹杀”指涂抹掉，表示全盘否定。

【义不容辞　责无旁贷】都有应该承担、不能推辞的意思。异：前者偏重在道义上不允许推托，后者偏重在责任上不可推卸（贷：推卸）。

Z

【周而复始　循环往复】都表示一个过程不断地重复进行。异：前者一般表示从起点开始又回到起点，不停地重复。如：～的规律/～地旋转/～地运行。后者可以表示不停地重复进行，也可以表示有变化有发展地一次又一次进行。如：～地运动/～向前发展。

【助纣为虐　为虎作伥(chāng)】都表示帮助坏人做恶事的意思，含贬义。异：前者一般为协助、帮助去做，多用于充当配角的情况，语义轻。如：怎能～/一向～/～的行径。后者一般用于更直接地参与坏事，当坏人的爪牙去害人，语义重。如：～，横行霸道/～的人。

【孜孜不倦　废寝忘食】都有非常勤奋、努力的意思。异：前者更侧重表示非常勤勉，一般用于工作、学习等方面。如：～的精神/～地工作/～地研究。后者侧重表示十分专注，除用于工作、学习外，还可用于其他感兴趣的方面。

附录八

常见熟语集释

A

【哀莫大于心死】心死：指心像熄灭的灰烬。指最可悲哀的事，莫过于思想顽钝，麻木不仁。也就是最大的悲哀莫过于心情沮丧、意志消沉到不能自拔。

【爱博而情不专】对人或事物的喜爱很广泛，而感情不能专一。

【鞍不离马背，甲不离将身】甲：铠甲。马不

卸鞍，人不解甲。形容人处于高度的警惕状态。

B

【八公山上，草木皆兵】八公山：在安徽淮南市西。将八公山上的草木，都当成士兵。形容极度惊恐，疑神疑鬼。

【八九不离十】指与实际情况很接近。

【八仙过海，各显其能】八仙：神话中的八位神仙。比喻做事各有各的一套办法。也比喻各自拿出本领互相比赛。

【八字没见一撇】比喻事情毫无眉目，未见端绪。

【拔了萝卜地皮宽】比喻为了行事方便而把碍眼的事物去掉。也比喻为了扩展地盘而排挤别人。

【拔赵帜立赤帜】用以比喻取而代之。

【白刀子进，红刀子出】红刀子：带血的刀子。指要杀人见血，动手拼命。

【百思不得其解】百：多次。解：理解。百般思索也无法理解。

【百万买宅，千万买邻】比喻好邻居千金难买。

【百闻不如一见】闻：听见。听得再多，也不如亲眼见到一次。

【百星不如一月】一百颗星星发出的亮光不如一个月亮发出的光明亮。比喻量多不如质优。

【百足之虫，死而不僵】百足：虫名，又名马陆或马蚿，全身有许多环节，切断后仍能蠕动。比喻势家豪族，虽已衰败，但因势力大，基础厚，还不致完全破产。

【搬起石头砸自己的脚】搬：移动。比喻自作自受，自食恶果。

【半部论语治天下】旧时用来强调学习儒家经典的重要。

【饱汉不知饿汉饥】饱：吃足。饥：饥饿。比喻处境好的人，不能理解别人的苦衷。

【饱暖思淫欲】食饱穿暖之时，则生淫欲之心。

【卑不足道】指卑微藐小，不值得一提。

【杯酒释兵权】释：解除。本指在酒宴上解除将领的兵权。泛指轻而易举地解除将领的兵权。

【比上不足，比下有余】赶不上前面的，却超过了后面的。这是满足现状，不努力进取的人安慰自己的话。有时也用来劝人要知足。

【彼一时，此一时】那是一个时候，现在又是一个时候。表示时间不同，情况有了变化。

【毕其功于一役】把应该分成几步做的事一次做完。

【闭塞眼睛捉麻雀】比喻盲目地工作。

【鞭长不及马腹】指鞭子虽然很长，但是打不到马肚子。后以之比喻力所不能及。

【表壮不如里壮】外表好看，不如里面结实。指丈夫有才能不如妻子善于理家。

【冰冻三尺，非一日之寒】比喻一种情况的形成，是经过长时间的积累、酝酿的。

【冰炭不同炉】比喻两种对立的事物不能同处。

【冰炭不言，冷热自明】比喻内心的诚意不用表白，必然表现在行动上。

【兵败如山倒】兵：军队。形容军队溃败就像山倒塌一样，一败涂地。

【兵藏武库，马入华山】兵器藏进武库，军马放入华山。指天下太平。

【兵来将挡，水来土掩】指根据具体情况，采取灵活的办法对付。

【兵马未动，粮草先行】指出兵之前，先准备好粮食和草料。比喻在做某件事情之前，提前做好准备工作。

【兵在精而不在多】兵士在于精壮而不在于众多。也比喻要求质量而不能只讲数量。

【病急乱投医】病势严重，到处乱请医生。比喻事情到了紧急的时候，到处求人或乱想办法。

【不吃羊肉空惹一身膻(shān)】羊肉没吃上，反倒沾了一身羊膻气。比喻干了某事没捞到好处，反而坏了名声，惹来了麻烦。

【不打不相识】指经过交手，相互了解，能更好地结交、相处。

【不到黄河心不死】比喻不达目的不罢休。也比喻不到实在无路可走的境地不肯改变自己的观点。

【不得已而为之】没有办法，只能这样做。

【不得已而用之】用：使用。没有办法，只好采用这个办法。

【不登大雅之堂】大雅：高贵典雅。形容某些不被人看重的、"粗俗"的事物(多指文艺作品)不能登上高雅的殿堂。

【不费吹灰之力】形容事情做起来非常容易，不花一点儿力气。

【不分青红皂白】皂：黑色。比喻不分黑白，不分是非，不分情由。

【不敢越雷池一步】越：跨过。雷池：湖名，在安徽省望江县南。原指不要越过雷池。后比喻不敢超越一定的范围和界限。

【不管三七二十一】形容不顾一切，不问是非情由。

【不见棺材不落泪】比喻不到彻底失败的时候不肯罢休。

【不经一事，不长一智】智：智慧、见识。不经历一件事情，就不能增长对那件事情的见识。

【不看僧面看佛面】比喻看在另外一个人的情面上帮助或宽恕某一个人。

【不可同日而语】不能放在同一时间谈论。形容不能相提并论，不能相比。

【不能赞一词(辞)】指文章写得好，别人不能再添一句话，也提不出一点儿意见。形容文章非常完美。

【不怕官，只怕管】指直接管的人要比官更有权威。也指在人的管辖之下，一切只能听命于人。

【不期而然】没有想到是这样而竟然是这样。

【不求有功，但求无过】不要求有功劳，只希望没有错误。

【不入虎穴，焉得虎子】焉：怎么。不进老虎窝，怎能捉到小老虎。比喻不亲历险境就不能获得成功。

【不塞不流，不止不行】指对佛教、道教如不阻塞，儒家学说就不能推行。比喻只有破除旧的、错误的东西，才能建立新的、正确的东西。

【不识庐山真面目】比喻认不清事物的真相和本质。

【不是冤家不聚头】冤家：仇人。聚头：聚会。不是前世结下的冤孽，今世就不会聚在一起。

【不为五斗米折腰】五斗米：晋代县令的俸禄，后指微薄的俸禄。折腰：弯腰行礼，指屈身于人。比喻为人清高、有骨气，不为利禄所动。

【不问青红皂白】比喻不分是非，不问情由。

【不幸而言中】不希望发生的事情却被说准，真的发生了。

【不以规矩，不成方圆】规：圆规。矩：曲尺。比喻做事要遵循一定的法则。

【不以人废言】废：废弃。不因为这个人有不足的地方而不采纳他的正确意见。

【不以一眚(shěng)掩大德】以：因。眚：过失、错误。掩：遮蔽、遮盖。德：德行。不因为一个人有个别的错误而抹杀他的大功绩。

【不在其位，不谋其政】不担任这个职务，就不去过问这个职务范围内的事情。

【不知者不罪】罪：责备，怪罪。因事先不知道而有所冒犯，就不加怪罪。

【不足为外人道】不必跟外面的人说。现多用于要求别人不要把有关的事告诉其他人。

【布袋里的老鸹】比喻虽然活着，但像死了一样。

【步步生莲花】形容女子步态轻盈。

【杯中物】杯子中的东西，指酒。

【百世师】品德学问可以作为百代的表率。

C

【拆东墙补西墙】拆掉东边的墙，以修补西边的墙。比喻临时勉强应付。亦比喻临时救急，不是根本办法。

【唱白脸】在传统戏曲中勾画白色脸谱扮演反面角色。比喻在解决矛盾冲突的过程中充当严厉或令人讨厌的角色。

【唱红脸】在传统戏曲中勾画红色脸谱扮演正面角色。比喻在解决矛盾冲突过程中充当友善或令人喜爱的角色。

【朝里无人莫做官】旧时俗语。意思是没有靠山，办不成事。

【嗔(chēn)拳不打笑面】比喻不可以欺凌态度对待和悦的人。

【陈谷子烂芝麻】比喻陈旧的无关紧要的话或事物。

【成败在此一举】举：举动。成功、失败就决定于这次行动了。指采取事关重大的行动。

【成人不自在，自在不成人】人要有成就，必须刻苦努力，不可安逸自在。

【成事不足，败事有余】指非但办不好事情，反而常常把事情搞坏。

【成也萧何，败也萧何】萧何：汉高祖刘邦的丞相。成事由于萧何，败事也由于萧何。比喻事情的成功和失败都是由一个人造成的。

【成则为王，败则为寇】旧指在争夺政权斗争中，成功了的就是合法的，称帝称王；失败了的就是非法的，被称为寇贼。含有成功者权势在手，无人敢责难，失败者却有口难辩的意思。

【乘兴而来，败兴而归】兴：兴致，兴趣。趁着兴致来到，结果很扫兴地回去。

【秤砣虽小压千斤】秤砣看来一小块却能压住千斤之重。比喻外表虽不引人注目，实际却很起作用。

【吃不了兜着走】比喻受不了或担当不起。

【吃力不讨好】讨：求得。费了很大力气，也得不到称赞。形容事情棘手难办，或工作方法笨拙，不对头。

【吃粮不管事】只拿钱不做事。比喻对工作不负责。

【吃软不吃硬】对态度强硬者，绝不屈从；对好言好语者，可以听从。形容个性顽强，不怕强硬。

【吃一堑，长一智】堑：壕沟，比喻困难、挫折。指受一次挫折，增长一分见识。

【吃硬不吃软】好言好语不听从，态度一强硬，反而屈从了。形容人外强中干，欺软怕硬。

【吃着碗里瞧着锅里】比喻贪心不足。

【尺有所短，寸有所长】短：不足。长：有余。比喻各有长处，也各有短处，彼此都有可取之处。

【仇人相见，分外眼红】眼红：激怒的样子。仇敌碰在一起，彼此更加激怒。

【仇人相见，分外眼明】指当敌对的双方相遇时，彼此对对方都格外警觉和敏感。

【丑媳妇总得见公婆】比喻隐藏不住，总要露相。

【出其不意，攻其不备】原指出兵攻击对方不防备的地方。后亦指行动出乎人的意料。

【出淤泥而不染】淤泥：水底的污泥。染：沾。生长在淤泥中，而不被污泥所污染，依然保持纯洁的品格。

【初生牛犊不怕虎】犊：小牛。刚生下来的小牛不怕老虎。比喻青年人思想上很少有顾虑，敢作敢为，无所畏惧。

【杵臼交】指不计贫贱的交谊。

【传闻不如亲见】听人传说总不如亲眼所见。

【船到江心补漏迟】船行到江心才补漏洞。比喻补救不及时，对事情毫无帮助。

【船到桥头自然直】桥：桥梁。比喻事先不必多虑，问题自会得到解决。

【船多不碍路】比喻各走各的路，彼此不妨碍。

【此处不留人，自有留人处】指这里不可居留，自会有可居留的地方。

【此地无银三百两】比喻想要隐瞒掩饰，结果反而暴露。

【此而可忍，孰不可忍】这个如能容忍，还有什么不能容忍呢！

【此风不可长】这种风气不能让它滋长发展。

【从善如登，从恶如崩】从：顺随。顺随善良像登山一样，顺随恶行像山崩一样。比喻学好很难，学坏极容易。

【聪明反被聪明误】自以为聪明反而被聪明耽误或妨害了。

【存十一于千百】指亡多而存少。

D

【东西南北客】指居无定处之人。

【东窗计】指谋害忠良的阴谋诡计。

【东道主】泛指接待或宴客的主人。

【东方不亮西方亮】比喻这里行不通，别的地方尚有回旋的余地。

【东风吹马耳】风吹过马耳边。比喻把别人的话当做耳边风。

【东风压倒西风】原指封建大家庭里对立的两方，一方压倒另一方。现比喻正义力量对于邪恶势力占压倒的优势。

【东向而望，不见西墙】比喻主观片面，顾此失彼。

【打边鼓】指从旁鼓吹、协助。

【打开天窗说亮话】比喻无须躲避，公开说明。

【打破沙锅问到底】比喻追究事情的根底。

【打蛇打七寸】比喻说话做事必须抓住主要环节。

【打鸭惊鸳鸯】比喻打甲惊乙。也比喻株连无辜的人。

【打肿脸充胖子】比喻宁可付出代价而硬充作了不起。

【大旱望云霓】云霓：下雨的征兆。好像大旱的时候盼望下雨一样。比喻渴望解除困境。

【大开方便之门】给予极大的方便。

【大事不糊涂】对大事头脑清醒，毫不含糊。

【大树底下好乘凉】比喻有所依托，事情就好办。

【大水冲了龙王庙】比喻本是自己人，因不相识而相互发生了冲突争端。

【带着铃铛去做贼】比喻要干隐秘的事而自己先声张出去。

【单丝不成线】一根丝纺不成线。比喻个人力量单薄，难把事情办成。

【单则易折，众则难摧】势孤力单，容易受人欺负；人多气壮，别人不敢欺侮。

【当面锣，对面鼓】比喻面对面地商量、对证或争论。

【当面输心背面笑】比喻当面显得十分亲热，背后却在捣鬼。

【道不同，不相为谋】比喻志趣不同的人不会在一起共事。

【道高一尺，魔高一丈】原意是佛家告诫修行的人要警惕外界的诱惑。后比喻取得一定成就以后往往面临新的更大的困难。

【得道多助，失道寡助】道：道义。寡：少。站在正义方面，会得到多数人的支持帮助；违背正义，必陷于孤立。

【得饶人处且饶人】指做事不要做绝，须留有余地。

【得人者昌，失人者亡】人：指人心。得人心的就能兴隆，失去人心的就要灭亡。

【貂不足，狗尾续】①指授官太滥。②指美中不足或以次充好。

【掉书袋】掉：摆动，摇动。指说话或写文章好引用古书词句来卖弄自己的学识渊博。

【丁是丁，卯是卯（亦作"钉是钉，铆是铆"）】某个钉子一定要安在相应的铆处，不能有差错。形容做事认真，毫不含糊。

【丢下耙儿弄扫帚】放下这样，又做那样。比喻事情总做不完。

【冬寒抱冰，夏热握火】冬天寒冷却要抱冰，夏天炎热却要握火。形容刻苦自勉。

【读书百遍，其义自见】见：显现。读书上百遍，书意自然领会。指书要熟读才能真正领会。

【读书破万卷】破：突破。卷：书籍册数。形容读书很多，学识渊博。

【独木不成林】一棵树成不了树林。比喻个人力量有限，办不成大事。

【多行不义必自毙】坏事干多了，结果是自取灭亡。

【多一事不如少一事】指不管闲事，事情越少越好。

E

【恶虎不食子】即使凶恶的老虎也不吃自己生下的小老虎。比喻不伤害亲近者。

【恶作剧】捉弄人的使人难堪的行动。

【饿死事小，失节事大】失节：封建礼教指女子失去贞操。后泛指失去节操。贫困饿死是小事，失节事情就大了。

【耳报神】指暗中通风报信的人。

【耳边风】在耳边吹过的风。比喻听了不放在心上的话。

【耳闻不如目见】听到的不如看到的真实可靠。比喻实际经验的重要。

【耳闻是虚，眼观为实】亲自听到的还不足为信，只有亲眼看到的才是真实可靠的。

【二虎相斗，必有一伤】两只凶恶的老虎争斗起来，其中必有一只受伤。比喻敌对双方实力都很强，激烈斗争的结果，必有一方吃亏。

【二人同心，其利断金】比喻只要两个人一条心，就能发挥很大的力量。

【二桃杀三士】齐景公将两个桃子赐给三个壮士，让其论功取桃，三壮士都弃桃自杀。比喻借刀杀人。

【二一添作五】本是珠算除法的一句口诀，是二分之一等于零点五的意思。借指双方平分。

【二者不可得兼】两项之中只能得其一，不能兼而有之。

F

【防患于未然】患：灾祸。未然：没有这样，指尚未形成。防止事故或祸害于尚未发生之前。

【防民之口，甚于防川】防：阻止。甚：超过。阻止人民进行批评的危害，比堵塞河川引起的水患还要严重。指不让人民说话，必有大害。

【法不传六耳】指极端秘密的事，不能让第三者知道。

【翻手为云，覆手为雨】形容人反复无常或惯于耍手段。

【反其道而行之】其：他的。道：方法，办法。采取同对方相反的办法行事。

【方以类聚，物以群分】方：方术，治道的方法。物：事物。原指各种方术因种类相同聚在一起，各种事物因种类不同而区分开。后指人或事物按其性质分门别类。

【放长线钓大鱼】比喻做事从长远打算，虽然不能立刻收效，但将来能得到更大的好处。

【放冷箭】冷箭：暗箭。乘人不备，放箭伤人。比喻暗中伤人。

【放下屠刀，立地成佛】佛家劝人弃恶从善的话。比喻作恶的人一旦认识到了自己的罪行，决心改过，仍可以很快变成好人。

【放之四海而皆准】四海：古人认为中国四境有海环绕，故称全国为"四海"。准：准确。比喻具有普遍性的真理到处都适用。

【分久必合，合久必分】指人或事物变化无常，分合无定。

【焚林而田，竭泽而渔】竭：使……干涸。渔：打鱼。烧毁森林捕捉野兽，排干湖水去捕捉鱼。比喻只顾眼前的利益，无止境地索取而不留余地。

【丰年玉荒年谷】比喻有用的人才。

【风从虎，云从龙】比喻事物之间的相互感应。

【风高放火，月黑杀人】风高：风非常大。月黑：指黑夜。趁风大放火，趁黑夜杀人。指盗匪趁机作案的行径。

【风马牛不相及】比喻事物彼此毫不相干。

【风声鹤唳，草木皆兵】唳：鸟鸣。听到风声鹤鸣都惧怕，看见一草一木都像是追兵。形容极端惊恐疑惧，或妄自惊扰。

【佛是金妆(装)，人是衣妆(装)】指佛靠金子装点，人靠衣饰打扮。比喻人内里不足，要靠外表。

【福无双至，祸不单行】指好事不会连续到来，祸事却会接踵而至。

【蚍蜉撼大树】比喻自不量力。

【附骥尾】附着在千里马的尾巴上。比喻仰仗别人而成名。常作谦辞。

【富贵不能淫】富贵：旧指有钱财、有地位。指不为金钱和地位所迷惑。

【覆巢无完卵】覆：翻倒。翻倒的鸟窝里不会有完好的卵。比喻灭门大祸，无一幸免。又比喻整体毁灭，个体也不能幸存。

G

【赶浪头】指跟在大众后面做一些适应当前形势的事。

【赶鸭子上架】比喻强迫人去做能力达不到的事情。

【敢怒而不敢言】心里愤怒而嘴上不敢说。指慑于威胁，胸中愤怒而不敢吐露。

【高不成，低不就】高者无力得到，低者又不屑迁就。形容求职或婚姻上的两难处境。

【割鸡焉用牛刀】杀只鸡何必用宰牛的刀。比喻办小事情用不着花大气力。

【隔山买老牛】比喻人办事冒失，没有弄清情况，就轻易决定。

【隔行如隔山】指不是本行的人就不懂这一行业的门道。

【各人自扫门前雪，莫管他人瓦上霜】莫管：不要管。比喻不要多管闲事。

【更上一层楼】原意是要想看得更远，就要登得更高。后比喻使已取得的成绩再提高一步。

【工欲善其事，必先利其器】器：工具。要做好工作，先要使工具锋利。比喻要做好一件事，准备工作非常重要。

【公说公有理，婆说婆有理】比喻双方争执，各说自己有理。

【功到自然成】下了足够功夫，事情自然就会取得成效。

【恭敬不如从命】客套话。多用在对方对自己客气，虽不敢当，但不好违命。

【狗咬吕洞宾】吕洞宾：传说中的八仙之一。狗见了吕洞宾这样做善事的好人也咬，用来骂人不识好歹。

【狗猪不食其余】食：吃。狗猪都不吃他剩下的东西，形容人的品行极其卑鄙龌龊。

【狗嘴里吐不出象牙】比喻坏人嘴里说不出好话来。

【故纸堆】指大量的古旧书籍、资料。含贬义。比喻人埋头研读古书，不知人情世故。

【顾前不顾后】只顾及前面而忘了后面。形容做事或考虑事不仔细不周到。

【顾头不顾尾】形容做事或考虑事不仔细不周到。

【顾左右而言他】看着两旁的人，说别的话。形容无话对答，有意避开本话题，用别的话搪塞过去。

【瓜皮搭李树】根本搭不上。指强认亲族。

【瓜田不纳履，李下不整冠】走过瓜田，不要弯下身子提鞋；经过李树下面，不要举起手来整理帽子。比喻避嫌疑。

【挂羊头，卖狗肉】挂着羊头，卖的却是狗肉。比喻以好的名义做招牌，实际上兜售低劣的货色。

【关东出相，关西出将】关：函谷关。函谷关以东的地区，民风好文，多出宰相；函谷关以西的地区，民风好武，多出将帅。

【关门养虎，虎大伤人】比喻纵容助长坏人坏事，到头来自己受害。

【贵人多忘事】高贵者往往善忘。原指高官态度傲慢，不念旧交，后用于讽刺人健忘。

【过五关，斩六将】过了五个关口，斩了六员大将。比喻英勇无比。也比喻克服重重困难。

H

【河东狮子吼】比喻妒悍的妻子发怒，并借以嘲笑怕老婆的人。

【河海不择细流】比喻不论大小，一律收容。

【河水不洗船】比喻不相干或相安无事。

【含着骨头露着肉】比喻说话半吞半吐，不把意思完全说出来。

【海内存知己，天涯若比邻】四海之内有知己朋友，即使远在天边，也感觉像邻居一样近。

【海水不可斗量】海水是不可以用斗去量的。比喻考察和评价一个人不能只看表面而加以低估。

【韩信将兵，多多益善】将：统率，指挥。比喻越多越好。

【毫不利己，专门利人】丝毫不为个人利益着想，一心一意做有利于他人的事情。

【好汉不吃眼前亏】俗语。指聪明人能识时

务，暂时躲开不利的处境，免得吃亏受辱。

【好了疮疤忘了痛】比喻情况好转后就忘了过去的困难或失败的教训。

【好女不穿嫁时衣】比喻自食其力，不依靠父母或祖上的遗产生活。

【好事不出门，恶事行千里】指好事不容易被人知道，坏事却传播得极快。

【好心做了驴肝肺】俗语。指把好心当做坏意。

【黑云压城城欲摧】摧：毁坏。黑云密布在城的上空，好像要把城墙压塌似的。比喻恶势力一时嚣张造成的紧张局势。

【恨铁不成钢】形容对所期望的人不争气不上进感到不满，急切希望他变好。

【横挑鼻子竖挑眼】比喻百般挑剔。

【后来者居上】后起的超过先前的。

【后浪推前浪】江水奔流，前后相继。比喻后面的事物推动前面的事物，像后浪推动前浪一样，不断前进。

【呼之即来，挥之即去】即：就，立刻。挥：挥手。叫他来就来，叫他走就走。形容统治阶级对下属或奴才的任意使唤。

【猢狲入布袋】猢狲：猴子。猴子进了口袋。比喻行动受到约束。

【虎而冠】冠：把帽子戴在头上。比喻生性残虐的人。

【虎生三子，必有一彪】比喻众多子女之中，一定有一个超群出众的人。

【滑天下之大稽】强调事情非常滑稽可笑（带讽刺意味）。

【化腐朽为神奇】神奇：神妙奇特的东西。变坏为好，变死板为灵巧，变无用为有用。

【化干戈为玉帛】干戈：指打仗。玉帛：玉器和丝织品，指和好。比喻使局面由战争转变为和平。

【画虎不成反类狗】类：像。画老虎不成，却像狗。比喻模仿得不到家，反而弄得不伦不类。

【画虎画皮难画骨】比喻认识一个人容易，了解一个人的内心很难。

【换汤不换药】煎药的水换了，但是药方却没有变。比喻名称或形式虽然改变了，内容还是老一套。

【皇天不负有心人】上天不会辜负有恒心的人。

【黄钟毁弃，瓦釜雷鸣】黄钟被砸烂并被弃置一边，而把泥制的锅敲得很响。比喻有德有才的人被弃置不用，而无德无才的平庸之辈却居于高位。

【惶惶（皇皇）不可终日】惊慌地连一天都过不下去。形容惊恐不安到了极点。

【行行出状元】比喻不论干哪一行，只要热爱本职工作，都能做出优异的成绩。

【回头路】比喻倒退的道路或已经走过的老路。

【活见鬼】指出现特别离奇古怪的事或无中生有。

【活受罪】活着遭受苦难，表示抱怨或怜悯（大多是夸张的说法）。

J

【机不可失，时不再来】失：错过。指时机难得，必须抓紧。

【鸡蛋里挑骨头】比喻故意挑剔。

【鸡烂嘴巴硬】比喻自知理亏，还要强辩。

【积财千万，不如薄技在身】积蓄财产，不如学点儿技术。

【积土为山，积水为海】把土堆起来可以成山，把水蓄起来可以成海。比喻积少成多。

【岌岌不可终日】形容情况非常危险，一天都过不下去。

【即以其人之道，还治其人之身】就用那个人对付别人的办法返回来对付那个人自己。

【急急如律令】本是汉代公文用语，后来道士或巫师也用于符咒的末尾。表示公文一到，如同法律命令，必须立即遵照执行。

【急惊风撞着慢郎中】患急病遇到了慢性子的医生。比喻缓慢的行动赶不上紧急的需要。

【急来抱佛脚】比喻事到临头才慌忙准备。

【疾风扫秋叶】疾：猛烈。比喻力量强大、行动迅速，像暴风扫除落叶一样。

【疾风知劲草】在猛烈的大风中，只有坚韧的草才不会被吹倒。比喻只有经过严峻的考验，才知道谁真正坚强。

【疾雷不及掩耳】突然响起雷声，使人来不及掩耳。比喻事情或动作来得突然，使人来不及防备。

【己所不欲，勿施于人】勿：不要。施：强加。自己不愿意做的事情，不要强加给别人。

【既来之，则安之】既：已经。来之：使之来。安之：使之安。原意是既然把他们招来了，就要把他们安顿下来。后指既然来了，就要在这里安下心来。

【既有今日，何必当初】既然现在后悔，当初为什么要那样做？

【夹板医驼子】比喻只顾这一方面，不顾那

一方面。

【家丑不可外扬】家里不光彩的事，不便向外宣扬。

【家书抵万金】比喻家信的珍贵。

【家有敝帚，享之千金】敝帚：破扫帚。享：供奉。自家的破扫帚被认为价值千金。比喻自己的东西即使不好也觉得珍贵。有时用于自谦。

【假惺惺】假情假意的样子。

【嫁鸡随鸡，嫁狗随狗】封建礼教认为，女子出嫁后，不论丈夫好坏，都要永远跟从。

【尖担两头脱】两头尖的扁担无法挑东西。比喻两头落空。

【兼听则明，偏信则暗】指要同时听取各方面的意见，才能正确认识事物；只相信单方面的话，必然会犯片面性的错误。

【见其一，未见其二】知道事物的一方面，不知道还有另一方面。形容对事物的了解不全面。

【见物不见人】只看到事物，看不见人。指片面强调物质条件，看不到人的主观能动作用。

【江山易改，禀性难移】人的本性的改变，比江山的变迁还要难。形容人的本性难以改变。

【将门无犬子】将门：将、相的家庭。比喻父辈有才能，子孙也不会有庸才俗辈。

【将欲取之，必先与之】要想夺取些什么，得暂且先给些什么。指先付出代价以诱使对方放松警惕，然后找机会夺取。

【狡兔死，走狗烹】烹：烧煮。兔子死了，猎狗就被人烹食。比喻给统治者效劳的人事成后被抛弃或被杀掉。

【脚踏两只船】比喻对事物认识不清，或为了投机取巧而跟不同的两个方面都保持关系。

【教妇初来，教儿婴孩】指对一个人施加教育应该及时及早。

【解铃还须系铃人】比喻谁惹出来的麻烦，还得由谁去解决。

【今朝有酒今朝醉】比喻过一天算一天。也形容人只顾眼前，没有长远打算。

【金无足赤，人无完人】足赤：足金，纯金。没有纯而又纯的金子。比喻没有十全十美的事物。也比喻不能要求一个人没有一点儿缺点、错误。

【紧箍咒】《西游记》中唐僧用来制伏孙悟空的咒语，能使孙悟空头上的金箍紧缩，头痛欲裂。后用来比喻束缚人的东西。

【近水楼台先得月】水边的楼台先得到月光。比喻由于接近某些人或事物而抢先得到某种利益或便利。

【近朱者赤，近墨者黑】靠着朱砂的变红，靠着墨的变黑。比喻接近好人可以使人变好，接近坏人可以使人变坏。指客观环境对人有很大影响。

【经一事，长一智】亲身经历了某件事情，就能增长这方面的知识。

【惊天地，泣鬼神】使天地为之震惊，使鬼神为之哭泣。

【精诚所至，金石为开】人的诚心所到，能感动天地，使金石为之开裂。比喻只要专心诚意去做，什么疑难问题都能解决。

【井水不犯河水】比喻各管各的，互不相犯。

【静若处子，动若脱兔】指军队未行动时就像未出嫁的女子那样沉静、持重，一旦行动就像飞跑的兔子那样敏捷、快速。

【九牛二虎之力】比喻用很大的力气。常用于很费力才做成一件事的场合。

【九折臂】九：泛指多次。折：断。多次折断胳膊，经过反复治疗而熟知医理。比喻阅历多，经验丰富。

【久旱逢甘雨】逢：遇到。干旱了很久，忽然遇到一场好雨。形容盼望已久终于如愿的欣喜心情。

【旧瓶装新酒】比喻用旧的形式表现新的内容。

【救人一命，胜造七级浮屠】指救人性命功德无量。

【居移气，养移体】指地位和环境可以改变人的气质，奉养可以改变人的体质。

【鞠躬尽瘁，死而后已】鞠躬：弯着身子，表示恭敬、谨慎。尽瘁：竭尽劳苦。已：停止。指勤勤恳恳，竭尽心力，到死为止。

【拒人于千里之外】拒：拒绝。把人挡在千里之外。形容态度傲慢，坚决拒绝别人，或毫无商量的余地。

【卷地皮】把地皮都卷走了。比喻官吏的残酷搜刮。

【决胜于千里之外】坐镇指挥千里之外的战局。形容将帅雄才大略，指挥若定。

【攒金不见人】比喻为了满足个人的欲望而不顾一切。

【君子一言，快马一鞭】比喻一言为定，不再反悔。

【君子之交淡如水】交：交情。贤者之间的交情，平淡如水，不尚虚华。

K

【快刀斩乱麻】比喻做事果断，能采取坚决

有效的措施，很快解决复杂的问题。

【开弓不放箭】比喻故意做出一种要行动的姿态。

【开门七件事】比喻每天的必需开支。

【看菜吃饭，量体裁衣】量体：用尺量身材的大小长短。裁：裁剪。比喻根据具体情况办事。

【看人下菜碟儿】比喻待人因人而异。

【慷他人之慨】利用他人的财物做人情或装饰场面。

【糠菜半年粮】一年之中有半年用糠和菜代替粮食。形容旧社会劳动人民的生活极其贫困。

【靠山吃山，靠水吃水】比喻自己所在的地方有什么条件，就依靠什么条件生活。

【苛政猛于虎】政：政治。指残酷压迫剥削人民的政治比老虎还要可怕。

【可望而不可即】即：接近。只能望见，不能接近。常形容目前还不能实现的事物。

【空城计】指在危急处境下，掩饰空虚，骗过对方的策略。

【空口说白话】形容只说不实行，或只说而没有事实证明。

【口惠而实不至】惠：恩惠。只在口头上答应给别人好处，而实际的利益别人却得不到。

【口头禅】原指和尚常说的禅语或佛号。现指经常挂在口头上而无实际意义的词句。

【苦海无边，回头是岸】佛教语。意指尘世如同苦海，无边无际，只有悟道，才能获得超脱。亦以此比喻罪恶虽重，只要悔改，便有出路。

L

【柳暗花明】形容柳树成荫、繁花似锦的美景。用以指环境或境界的骤然转变。多指由逆境转为充满希望的顺境。

【柳树上割刀，桑树上出血】比喻代人受过。

【来而不往非礼也】表示对别人施加于自己的行动将作出反应。

【来者不善，善者不来】来的不怀善意，有善意的不会来。

【癞蛤蟆想吃天鹅肉】比喻人没有自知之明，一心想谋取不可能到手的东西。

【稂不稂，莠不莠】既不像稂，也不像莠。比喻不成才，没出息。

【老而不死是为贼】责骂老而无德行者的话。

【老虎头上扑苍蝇】比喻自己找死。

【老虎头上搔痒】比喻不自量力。

【老江湖】指在外多年，很有阅历，非常世故的人。

【老鼠过街，人人喊打】比喻害人的东西，大家一致痛恨。

【雷声大，雨点小】比喻做起事来声势造得很大，实际行动却很少。

【冷锅里爆豆】比喻本已平息的纠纷、口舌等忽然又发作起来。

【篱牢犬不入】篱笆编得结实，狗就钻不进来。比喻自己品行端正，坏人就无法勾引。

【礼轻情意重】礼物虽然很轻微，但情意却很深厚。

【里程碑】设于道路旁边用以记载里数的标志。比喻在历史发展过程中可以作为标志的大事。

【鲤鱼跳龙门】古代传说黄河鲤鱼跳过龙门，就会变成龙。比喻中举、升官等飞黄腾达之事。也比喻逆流前进，奋发向上。

【立于不败之地】立于：处在。使自己处在不会失败的地位。

【烈火见真金】真金是不怕烈火烧的，所以只有在烈火中才能鉴别出是不是真金。比喻在关键时刻最能考验人。

【临时抱佛脚】原意为年老信佛，以求保佑，有临渴掘井之意。后称平时无准备而事急时仓促张罗为"临时抱佛脚"。

【流言止于智者】没有根据的话，传到有头脑的人那里就不能再流传了。形容谣言经不起分析。

【留得青山在，不愁没柴烧】比喻只要基础或根本还存在，暂时遭受损失或挫折无伤大体。

【六耳不同谋】原意是三个人知道了就不能保守秘密。后也比喻轻信传闻的话没有益处。

【露马脚】比喻暴露了隐蔽的事实真相。

【庐山真面目】比喻事物的真相或人的本来面目。

【鹿死不择音】音：通"荫"，指庇荫的地方。比喻只求安身，不择处所。亦比喻情况危急，无法慎重考虑。

【路见不平，拔刀相助】在路上遇见欺负人的事情，就挺身而出帮助受害的一方。形容见义勇为、积极援助被欺负者的行动。

【路遇知马力，日久见人心】路途遥远才能知道马的力气大小，日子长了才能看出人心的好坏。

【驴唇不对马嘴】比喻答非所问或两不相合。

【吕端大事不糊涂】喻指办事坚持原则。亦指在大是大非面前保持清醒的头脑。

【乱弹琴】比喻胡扯或胡闹。

【捋虎须】捋：抚摩。比喻触犯有权势的人

或冒着很大的风险。

【落花有意，流水无情】比喻这一方面有情，那一方面无意(多指男女恋爱)。

M

【麻雀虽小，五脏俱全】比喻事物体积或规模虽小，具备的内容却很齐全。

【马后炮】象棋术语。比喻不及时的举动。

【马前卒】旧时在马前吆喝开路的兵卒差役。现在比喻为人奔走效力的人。

【瞒上不瞒下】瞒：也作"谩"，欺骗、蒙蔽。瞒着上面，不瞒下面。后泛指官吏只欺骗上面的人，对下面的人则无所顾忌，公开做坏事。

【满天飞】形容到处都是。亦作"满空飞"。

【满招损，谦受益】自满会招致损失，谦虚可以得到益处。

【冒天下之大不韪】冒：冒犯。不韪：不是，错误。去干普天下的人都认为不对的事情。指不顾舆论的谴责而去干坏事。

【眉毛胡子一把抓】俗语。比喻做事不分轻重缓急。

【眉头一皱，计上心来】形容略一思考，猛然想出了一个主意。

【门外汉】指外行人。

【闷葫芦】比喻很难猜透而令人纳闷儿的话或事情；比喻不爱说话的人。

【迷魂汤】比喻迷惑人的语言或行为。

【迷魂阵】比喻使人迷惑而上当的圈套、计谋。

【猕猴骑土牛】比喻职位提升很慢。

【民以食为天】天：比喻赖以生存的最重要的物质。人民以粮食为自己生活所系。指民食的重要。

【名不正，言不顺】指名分不正或名实不符。

【名师出高徒】高明的师傅一定能教出技艺高超的徒弟。比喻学识丰富的人对于培养人才的重要。

【明枪易躲，暗箭难防】比喻公开的攻击容易躲避，暗地里的攻击难以防备。

【明人不做暗事】心地光明的人不做鬼鬼祟祟的事。比喻有意见当面提出，不在背后捣鬼。

【明修栈道，暗度陈仓】比喻用一种假象迷惑对方，实际上却另有打算。

【摸不着头脑】指弄不清是怎么回事。

【磨刀不误砍柴工】磨刀花费时间，但不耽误砍柴。比喻事先充分做好准备，就能使工作加快。

【魔高一尺，道高一丈】魔：恶鬼。道：道行，道法。比喻正义始终压倒邪恶。

【抹一鼻子灰】比喻本想巴结讨好，结果反倒碰了钉子，落得很没趣。

【莫须有】原意是也许有吧。后指凭空捏造。

【谋事在人，成事在天】旧谚。意思是自己已经尽力而为，至于能否达到目的，那就要看时运如何了。

【牡丹虽好，全仗绿叶扶持】比喻人不管有多大能耐，总得有人在旁协助。

N

【难于上青天】比上天还难。形容极其困难，不易实现。

【泥菩萨过江】表示连自己也保不住，更谈不上帮助别人。

【鸟兽散】形容成群的人像鸟兽逃散一样纷乱地散去(多形容敌人溃逃)。

【宁为鸡口，不为牛后】牛后：牛的肛门。宁愿做小而洁的鸡嘴，而不愿做大而臭的牛肛门。比喻宁在局面小的地方自主，不愿在局面大的地方受人支配。

【宁为玉碎，不为瓦全】宁做玉器被打碎，不做瓦器而保全。比喻宁愿为正义事业牺牲，不愿丧失气节，苟且偷生。

【牛不喝水强按头】比喻用强迫手段使人就范。

【牛头不对马嘴】比喻答非所问或两下不相合。

【驽马恋栈豆】劣马惦记着的只是马棚里的饲料。比喻无能的人只贪图安逸，无远大志向。

【怒从心头起，恶向胆边生】比喻愤怒到极点就会胆大得什么事都干得出来。也泛指恼怒到极点。

【女大不中留】指女子成年，须及时出嫁，不宜久留在家。

【女大十八变】指女子在发育成长过程中，容貌性格有较多的变化。

P

【盘古开天地】指人类开始有了历史。

【赔了夫人又折兵】比喻想占便宜，反而受到双重损失。

【盆朝天，碗朝地】形容家中杂乱无条理。

【贫无立锥之地】穷得连可以插下锥子那样小的地方都没有。形容穷困之极。

【平地一声雷】比喻突然发生的重大变动。也比喻名声或地位突然升高。

【泼冷水】比喻挫伤别人的热情或兴致。

【破鼓乱人捶】比喻人失势受到大家

的欺侮。

【破题儿第一遭】比喻第一次做某件事。

【破天荒】比喻事情第一次出现。

Q

【强不知以为知】不懂装懂，本来不知道，强说知道。

【强将手下无弱兵】英勇的将领部下没有软弱无能的士兵。比喻好的领导能带出一支好的队伍。

【强龙不压地头蛇】比喻有能耐的人也难对付盘踞当地的恶势力。

【强中更有强中手】比喻技艺无止境，不能自满自大。

【骑鹤上扬州】比喻欲集做官、发财、成仙于一身，或形容贪婪、妄想。

【清一色】原指打麻将时由一种花色组成的一副牌。后比喻全部由同一种成分构成。

【青梅竹马】李白《长干行》："郎骑竹马来，绕床弄青梅。同居长干里，两小无嫌猜。"后来用"青梅竹马"形容男女小时候天真无邪，在一起玩耍。

【清官难断家务事】俗语。再公正的官吏也很难论断家庭纠纷的是非曲直。表示家庭纠纷情况复杂，外人无法断定谁是谁非。

【七次量衣一次裁】比喻事先的调查研究工作做得十分充足。

【棋高一着，缚手缚脚】本指棋艺，后比喻技术高人一等，对方就无法施展本领。

【起死人而肉白骨】把死人救活，使白骨再长出肉来。比喻给人以再造之恩。也比喻言词委婉动听，把死的也说活了。

【弃之如敝屣】敝：破。屣：鞋。像扔破鞋一样把它扔掉。比喻毫不可惜地抛弃掉。

【千部一腔，千人一面】比喻都是老一套，没有变化（多指文艺创作或戏曲表演）。

【千里不同风，百里不同俗】指各地有各地的风俗习惯。

【千里姻缘一线牵】指婚姻是由月下老人暗中用一根红线牵连而成。

【千里之堤，溃于蚁穴】堤：堤坝。溃：崩溃。蚁穴：蚂蚁洞。一个小小的蚂蚁洞，可以使千里长堤溃决。比喻小事不慎将酿成大祸。

【千里之行，始于足下】千里的路程，是从迈第一步开始的。比喻事情的成功，是从小到大逐渐积累起来的。

【牵一发而动全身】比喻动极小的部分就会影响全局。

【前不巴村，后不着店】指走远道处在了前后无处落脚的境地。也比喻处境尴尬或生活无依靠。

【前不见古人，后不见来者】指空前绝后。亦用作讽刺某人或某事。

【前怕狼，后怕虎】比喻胆小怕事，顾虑太多。

【前人失脚，后人把滑】比喻吸取人家失败的教训，小心谨慎，免得再失败。

【前人栽树，后人乘凉】比喻前人为后人造福。

【前事不忘，后事之师】师：借鉴。吸取从前的经验教训，作为以后工作的借鉴。

【前言不搭后语】说的话前后连接不上。多形容思想混乱，不能自圆其说。

【墙倒众人推】比喻在一个人受挫折的时候，大家乘机打击他。

【敲边鼓】比喻从旁帮腔或助势。

【敲门砖】敲门的砖石，门敲开后就被抛弃。比喻骗取名利地位的工具或手段。

【敲竹杠】比喻利用别人的弱点或以某事为借口来讹诈。

【桥归桥，路归路】比喻互不相干的事应该严格区分开来。

【巧妇难为无米之炊】即使是聪明能干的妇女，没米也做不出饭来。比喻做事缺少必要条件，很难做成。

【窃钩者诛，窃国者侯】偷钩的要处死，篡夺政权的人反倒成为诸侯。旧时用以讽刺法律的虚伪和不合理。

【擒贼先擒王】指作战要先擒拿主要敌手。也比喻做事首先要抓关键。

【青出于蓝而胜于蓝】靛青是从蓼（liǎo）蓝中提炼出来的，但颜色比蓼蓝更深。比喻学生胜过老师，后者胜过前者。

【蜻蜓撼石柱】比喻不自量力。也比喻纹丝不动。

【情人眼里出西施】比喻由于有感情，觉得对方无一处不美。

【秋风扫落叶】秋天的大风把落叶一扫而光。比喻强大的力量迅速而轻易地把腐朽衰败的事物扫除光。

【求大同，存小异】在大的、主要的方面取得一致，而对某些小的、次要的问题可以各自保留不同的意见。

【求人不如求己】请求别人，不如自己努力。

【取之不尽，用之不竭】竭：尽，完。拿不完，

用不尽。形容非常丰富。

【拳不离手，曲不离口】练武的人应该经常练，唱歌的人应该经常唱。比喻只有勤学苦练，才能使功夫纯熟。

【拳头上立得人，胳膊上走得马】比喻为人清白、作风正派、过硬。

【群起而攻之】大家都起来攻击它，反对它。

R

【热锅上的蚂蚁】形容心里烦躁、焦急，坐立不安的样子。

【人不犯我，我不犯人】犯：侵犯。人家不侵犯我，我也不侵犯人家。

【人不可貌相】不能只根据相貌、外表判断一个人。

【人不知，鬼不觉】形容事情做得很隐秘，没有被人发觉。

【人非圣贤，孰能无过】旧时指一般人犯错误是难免的。

【人逢喜事精神爽】人遇到喜庆之事则心情舒畅。

【人间重晚晴】原指人们珍视晚晴天气，后多用以比喻社会上尊重德高望重的老前辈。

【人怕出名猪怕壮】人怕出了名招致麻烦，就像猪长肥了就要被宰杀一样。

【人人得而诛之】得：可以、能够。诛：杀死。所有的人都可以杀死他。极言某人罪大恶极。

【人生何处不相逢】指人与人分手后总是有机会再见面的。

【人生地不熟】比喻初到一个地方各方面都很陌生。

【人生面不熟】人的面貌陌生，素不相识。

【人生七十古来稀】稀：稀少。七十岁高龄的人从古以来就不多见。指得享高寿不易。

【人生如朝露】朝露：早晨的露水。比喻事物存在的时间很短，也比喻人生短促。

【人同此心，心同此理】指合情合理的事，大家的想法都会相同。

【人为财死，鸟为食亡】旧时俗语。意思是为了追求金钱，连生命都可以不要。

【人无远虑，必有近忧】虑：考虑。忧：忧愁。人没有长远的考虑，一定会出现眼前的麻烦。表示看事做事应该有长远的眼光，周密的考虑。

【人心不足蛇吞象】比喻人贪心不足，就像蛇想吞食大象一样。

【人心隔肚皮】指人的心思难以猜测。

【人心齐，泰山移】只要大家一心，就能发挥出极大的力量。

【人之将死，其言也善】人到临死，他说的话是真心话，是善意的。

【仁者见仁，智者见智】仁者见它说是仁，智者见它说是智。比喻对同一个问题，不同的人从不同的立场或角度有不同的看法。

【日久见人心】日子长了，就可以看出一个人的为人怎样。

【肉中刺】比喻最痛恨而急于除掉的人或物。

【如堕五里雾中】好像掉在一片大雾里。比喻陷入迷离恍惚、莫名其妙的境地。

【如人饮水，冷暖自知】泛指自己经历的事，自己知道甘苦。

【如入无人之境】境：地方。像到了没有人的地方。比喻打仗节节胜利，没有遇到抵抗。

【如闻其声，如见其人】像听到他的声音，像见到他本人一样。形容对人物的刻画和描写非常生动逼真。

【瑞雪兆丰年】瑞：吉祥。适时的冬雪预示着来年是丰收之年。

【若要人不知，除非己莫为】要想人家不知道，除非自己不去做。指干了坏事终究要暴露。

S

【盛名之下，其实难副】盛：大。副：相称，符合。名望很大的人，实际的才德通常很难跟名声相符。指名声常常可能大于实际。用来表示谦虚或自我警戒。

【三百六十行】旧时对各行各业的通称。

【三寸不烂之舌】比喻能言善辩的口才。

【三寸鸟，七寸嘴】比喻能说会道(多用于讽刺)。

【三个臭皮匠，赛过诸葛亮】比喻人多智慧多，事情经过大家商量，就能商量出一个好办法来。

【三过其门而不入】原是夏禹治水的故事，后比喻热心工作，公而忘私。

【三家村】指偏僻的小乡村。

【三句话不离本行】行：行当，职业。指人的言语离不开他所从事的职业范围。

【三拳不敌四手】比喻人少的敌不过人多的。

【三人行，必有我师】三个人一起走路，其中必定有人可以做我的老师。指应该不耻下问，虚心向别人学习。

【三十六计(策)，走为上计(策)】原指无力抵抗敌人，以逃走为上策。现一般指事情已经到了无可奈何的地步，没有别的办法，只能出走。

【三十年河东，三十年河西】三十年前风水在河的东面，而三十年后却在河的西面。比喻世事变化，盛衰无常。

【三思而后行】三：再三，表示多次。指经过反复考虑，然后再去做。

【三天打鱼，两天晒网】比喻对学习、工作没有恒心，经常中断，不能长期坚持。

【三下五除二】原是珠算口诀。现用来形容做事干脆利索。

【杀风景】损坏美好的景色。比喻在大家高兴的时候，突然出现使人扫兴的事情。

【杀人不见血】杀人不露一点儿痕迹。形容害人的手段非常阴险毒辣。

【杀人不眨眼】杀人时眼睛都不眨一下。形容极其凶狠残暴。

【山上无老虎，猴子称大王】俗语。比喻没有能人，普通人物亦充当主要角色。

【山雨欲来风满楼】欲：将要。比喻局势将发生重大变化前的迹象和气氛。

【上不着天，下不着地】比喻两头没有着落。

【上梁不正下梁歪】上梁：指上级或长辈。比喻在上的人行为不正，下面的人也跟着做坏事。

【上天无路，入地无门】形容无路可走的窘迫处境。

【上无片瓦，下无立锥之地】形容一无所有，贫困到了极点。

【少壮不努力，老大徒伤悲】年轻力壮的时候不奋发图强，到了老年，悲伤也没用了。

【舍得一身剐，敢把皇帝拉下马】比喻再难的事，拼着一死也敢干下去。

【身在曹营心在汉】比喻人虽然在对立的一方，但心里却想着自己原来所在的一方。

【神不知，鬼不觉】形容事情做得很隐秘，没有被人发觉。

【神龙见首不见尾】原是谈诗的神韵，后比喻人的行踪诡秘，刚一露面又不见了。也比喻言辞闪烁，使人捉摸不透。

【生米煮成熟饭】比喻事情已经做成，不能再改变。

【胜败乃兵家常事】胜利或失败是带兵作战的人常遇到的事情。意思是不要把偶然的一次胜利或失败看得太重。

【胜不骄，败不馁】胜了不骄傲，败了不灰心。

【胜读十年书】胜：超过。超过苦读十年书的收获。形容思想上收益极大。

【失败为成功之母】失败往往是成功的先导。指从失败中吸取教训，最后取得胜利。

【狮子大开口】比喻要价或所提条件很高。

【湿肉伴干柴】形容拷打。

【十八层地狱】地狱：佛教、基督教等指人死后灵魂受苦的地方。认为人在世时为非作歹，死后会进入十八层地狱，不得翻身。比喻悲惨的报应。

【十目所视，十手所指】指个人的言论行动总是在群众的监督之下，不允许做坏事，做了也不可能隐瞒。

【十年九不遇】比喻很少有，多年也难遇到一次。

【十年树木，百年树人】树：培植，培养。比喻培养人才是长久之计。也表示培养人才很不容易。

【十日一水，五日一石】比喻作画构思缜密，不轻易下笔。

【十万八千里】形容相距极远。

【识二五而不知十】只知道一个方面，而不懂得全面观察问题。

【识时务者为俊杰】意思是能认清时代潮流的，是聪明能干的人。认清时代潮流趋势，才能成为出色的人物。

【使功不如使过】使：用。使用有功绩的人，不如使用有过失的人，使其能将功补过。

【士别三日，当刮目相待】指别人已有进步，不能再用老眼光去看他。

【世上无难事，只怕有心人】指只要下决心去做，任何困难都能克服。

【事不关己，高高挂起】认为事情与自己无关，把它搁在一边不管。

【事实胜于雄辩】事情的真实情况比雄辩更有说服力。

【试金石】一种黑色坚硬的石块，用黄金在上面画一条纹就可以看出黄金的成色。比喻精确可靠的检验方法和依据。

【手无缚鸡之力】连捆绑鸡的力气都没有。形容身体弱、力气小。

【瘦死的骆驼比马大】比喻势家豪族虽已衰败，但因势力大，基础厚，也比穷人家富裕。

【蜀中无大将，廖化作先锋】比喻办事缺乏好手，让能力一般的人来负责。

【树倒猢狲散】树倒了，树上的猴子就散去。比喻靠山一旦垮台，随从的人也就一哄而散。

【树欲静而风不止】树想要静下来，风却不停地刮着。比喻客观情况与主观愿望相违背。

【数冬瓜，道茄子】形容说话啰唆，没完没了。

【耍花腔】用虚假而动听的话骗人。

【水火不相容】容：容纳。比喻二者对立，绝不相容。

【水米无交】比喻彼此毫无来往。特指居官清廉，跟百姓没有经济上的来往。

【顺我者昌，逆我者亡】顺：顺从。昌：昌盛。逆：违背。亡：灭亡。顺从我的就可以存在和发展，违抗我的就叫你灭亡。形容剥削阶级的独裁统治。

【说时迟，那时快】小说中的常用套语。意指事情发生的速度不是记叙速度所能跟得上的。

【说一是一，说二是二】形容说话办事果断、干脆，说怎样就怎样，不能更改。

【司马昭之心，路人皆知】路人：路上的人，指所有的人。比喻人所共知的野心。

【死马当活马医】比喻明知事情已经无可救药，仍然抱一线希望，积极挽救。也泛指做最后的尝试。

【死无葬身之地】死了没有地方埋葬。形容惨死或严厉的惩罚。

【死诸葛走生仲达】诸葛：诸葛亮。走：吓跑。仲达：司马懿。指人虽死，余威犹在。

【四体不勤，五谷不分】四体：指人的两手两足。五谷：通常指稻、黍、稷、麦、菽。指不参加劳动，不能辨别五谷。形容脱离生产劳动，缺乏生产知识。

【送佛送到西】比喻做好事做到底。

【虽死之日，犹生之年】犹：如同。指人虽死，精神不灭，楷模犹存。也指心无牵挂、憾事，虽死如同活着。

【岁寒知松柏】寒冬腊月，方知松柏常青。比喻只有经过严峻的考验，才能看出一个人的品质。

【损人不利己】损害别人对自己也没有好处。

【损有余补不足】减少多余的，补充欠缺的。

T

【同生死，共存亡】形容彼此间利害一致，生死与共。

【同声相应，同气相求】同类的事物相互感应。指志趣、意见相同的人互相响应，自然地结合在一起。

【他乡遇故知】在远离家乡的地方碰到了老朋友。指使人高兴的事。

【踏破铁鞋无觅处，得来全不费工夫】比喻急需的东西费了很大的力气找不到，却在无意中得到了。

【太岁头上动土】比喻触犯有权势和强有力的人。

【泰山不让土壤】泰山不拒绝泥土，所以能那么高。比喻人度量大，能包容不同的事物。

【贪多嚼不烂】贪图多吃，消化不了。比喻工作或学习，图多而做不好或吸收不了。

【汤里来，水里去】指银钱随手来随手去，留不住。

【堂上一呼，阶下百诺】诺：答应。堂上一声呼唤，阶下齐声答应。多形容旧时豪门权贵威势煊赫，侍从和奉承的人很多。

【螳螂捕蝉，黄雀在后】螳螂正要捉蝉，不知道黄雀在它后面正想吃它。比喻目光短浅，只看见前面有利可图，不知祸害就在后面。

【桃李不言，下自成行】古谚语。同“桃李不言，下自成蹊”。比喻为人诚挚，自会有强烈的感召力而深得人心。

【替罪羊】原指古代犹太教祭礼中替人承担罪过的羊。后比喻代人受过。

【天高皇帝远】原指偏僻的地方，中央的权力达不到。后比喻地处边远，国家政令达不到，权力管不着。

【天网恢恢，疏而不漏】意思是天道像一个广阔的大网，作恶者逃不出这个网，也就是逃不出天道的惩罚。比喻作恶的人逃脱不了法律的惩处。

【天下本无事，庸人自扰之】指本来没有事，自己瞎着急或自寻烦恼。

【天下乌鸦一般黑】比喻不管哪个地方的剥削者、压迫者都是一样坏。

【天下无难事，只怕有心人】指只要有志向、有毅力，没有什么办不到的事情。

【天有不测风云，人有旦夕祸福】不测：料想不到。比喻有些灾祸的发生，事先是无法预料的。

【天字第一号】天：是《千字文》首句“天地玄黄”的第一个字。指第一或第一类中的第一号。比喻最高的、最大的或最强的。

【挑到篮里便是菜】比喻得到一点儿就行，毫不挑剔。

【跳到黄河洗不清】比喻无法摆脱嫌疑。

【听其言而观其行】听了他的话，还要看他的行动。指不要只听言论，还要看实际行动。

【偷鸡不着蚀把米】俗语。鸡没有偷到，反而损失了一把米。比喻本想占便宜反而吃

了亏。

【头痛医头，脚痛医脚】比喻被动应付，对问题不作根本彻底的解决。

【图穷匕首见(xiàn)】图：地图。穷：尽。见：现。比喻事情发展到最后，真相或本意显露了出来。

【团团转】回环旋转，形容不知道怎么办好。

W

【万变不离其宗】宗：宗旨、目的。尽管形式上变化多端，其本质或目的始终不变。

【万夫不当之勇】当：抵挡。一万个人也抵挡不住。形容非常勇猛。

【万事俱备，只欠东风】一切都准备好了，只差东风没有刮起来。比喻什么都已准备好了，只差最后一个重要条件了。

【王顾左右而言他】指离开话题，回避难以答复的问题。

【文武之道，一张一弛】文、武：指周文王和周武王。意思是宽严相结合，是文王武王治理国家的方法。现用来比喻生活的松紧和工作的劳逸要合理安排。

【闻名不如见面】只听名声不如见面更能了解。

【稳坐钓鱼台】比喻不管发生什么变化，仍然沉着镇静。

【卧榻之旁，岂容他人鼾睡】自己的床铺边，怎么能让别人呼呼睡大觉？比喻自己的势力范围或利益不容许他人侵占。

【乌头白，马生角】比喻不可能出现的事。

【无敌于天下】天下都没有对手。形容力量强大无比。

【无毒不丈夫】要成就大事业必须手段毒辣，技高一筹。

【无风不起浪】比喻事情发生，总有个原因。

【无风三尺浪】比喻无缘无故也会生出事来。

【无佛处称尊】在没有能手的地方逞强。

【无官一身轻】不做官了，感到一身轻松。封建官僚不做官以后常用这句话来自我安慰。现也泛指卸去责任后感到轻松。

【无何有之乡】无何有：无有。原指什么都没有的地方，后指虚幻的境界。

【无可奈何花落去】对春花的凋落感到没有办法。形容留恋春景而又无法挽留的心情。后来泛指怀念已经消逝的事物时的惆怅心情。

【无可无不可】表示怎样办都行，没有什么定见。

【无巧不成书】比喻事情十分凑巧。

【无事不登三宝殿】比喻没事不上门。

【无所不用其极】极：穷尽。原意是无处不用尽心力。现指做坏事时任何极端的手段都使出来。

【无所措手足】手脚没有地方放。形容没有办法，不知如何是好。

【无盐不解淡】比喻不下本钱就办不成事。

【无源之水，无本之木】源：水源。本：树根。没有源头的水，没有根的树。比喻没有基础的事物。

【五里雾】比喻模糊恍惚、不明真相的境界。

【五十步笑百步】作战时后退了五十步的人讥笑后退了一百步的人。比喻自己跟别人有同样的缺点错误，只是程度轻一些，却缺乏自知之明地去讥笑别人。

【物以稀为贵】事物因稀少而觉得珍贵。

X

【习惯成自然】习惯了就成为很自然的事了。

【下笔千言，离题万里】写了一大篇文章，但没有接触到主题。

【夏虫不可以语冰】不能和生长在夏天的虫谈论冰。比喻时间局限人的见识。也比喻人的见识短浅。

【先下手为强】在对手没有准备好的时候先动手，取得主动地位。

【项庄舞剑，意在沛公】项庄席间舞剑，企图刺杀刘邦。比喻说话和行动的真实意图别有所指。

【小不忍则乱大谋】小事不忍耐就会坏了大事。

【小鹿触心头】形容因为害怕而心脏急剧地跳动。

【小巫见大巫】巫：旧时以装神弄鬼替人祈祷为职业的人。原意是小巫见到大巫，法术无可施展。后比喻相形之下，一个远远比不上另一个。

【挟天子以令诸侯】挟制着皇帝，以皇帝的名义发号施令。现比喻用领导的名义按自己的意思去指挥别人。

【心有灵犀一点通】比喻恋爱着的男女双方心心相印。现多比喻对彼此的心思都能心领神会。

【心有余而力不足】心里非常想做，但是力量不够。

【惺惺惜惺惺】惺惺：指聪慧的人。惜：爱

惜。比喻同类的人互相爱惜。

【秀才不出门，全知天下事】旧时认为有知识的人即使待在家里，也能知道外面发生的事情。

【学而时习之】学过的内容要经常复习它。

【学而优则仕】优：有余力。学习了还有余力，就去做官。后指学习成绩优秀然后提拔当官。

Y

【以其昏昏，使人昭昭】昏昏：模糊，糊涂。昭昭：明白。指自己还糊里糊涂，却要去教别人明白事理。

【以其人之道，还治其人之身】以：拿。治：惩处。用别人的办法来惩治别人。

【以小人之心，度君子之腹】用卑劣的心意去猜测品行高尚的人。

【以眼还眼，以牙还牙】用瞪眼回击瞪眼，用牙齿咬人对付牙齿咬人。指对方使用什么手段，就用什么手段进行回击。

【以子之矛，攻子之盾】子：对别人的称呼。矛：进攻敌人的刺击武器。盾：保护自己挡住敌人刀箭的牌。用你的矛来刺你的盾。比喻拿对方的观点、方法或言论来反驳对方。

【养兵千日，用兵一时】平时供养、训练军队，以便到关键时刻用兵打仗。指平时积蓄力量，在必要时用出来。

【哑巴吃黄连】比喻有苦说不出。

【烟不出火不进】形容人慢性子，不爱说话。

【严于律己，宽以待人】对自己要求严格，待别人则很宽厚。

【言必信，行必果】信：守信用。果：果断，坚决。说话一定要守信用，做事一定要坚决、果断。

【言寡尤，行寡悔】指说话做事很少犯错误。

【言者无罪，闻者足戒】指提意见的人只要是善意的，即使提得不正确，也是无罪的；听取意见的人即使没有对方所提的缺点错误，也值得引以为戒。

【眼不见，心不烦】比喻只要没有看见或不在眼前，也就不会为其操心或烦恼。

【眼不见为净】本指食品尽管不干净，只要没有亲眼看见，也就当成是干净的。也指心里不以为然，但又没有办法，只好撇开不管。

【眼观四路，耳听八方】形容人机智灵活，遇事能多方观察分析。

【艳如桃李，冷若冰霜】形容女子容貌艳丽而态度严肃。

【羊毛出在羊身上】比喻表面上给了人家好处，但实际上这好处已附加在人家付出的代价里。

【一棒一条痕】比喻做事扎实。

【一报还一报】指做一件坏事后必受一次报复。也指以其人之道，还治其人之身。

【一个鼻孔出气】同一个鼻孔出气。比喻立场、观点、主张完全一致。

【一波未平，一波又起】一个浪头尚未平复，另一个浪头又掀起了。比喻波折很多，一个问题还没有解决，另一个问题又产生了。

【一不做，二不休】原意是要么不做，做了就索性做到底。现指事情既然做了开头，就索性做到底。

【一朝权在手，便把令来行】一旦掌了权，就发号施令，指手画脚。

【一朝(cháo)天子一朝臣】指一个人上台，下面的工作人员就另外换一批。

【一尺水十丈波】比喻说话夸张，不真实。

【一传十，十传百】原指疾病传染，后形容消息传播极快。

【一锤子买卖】只做一次生意。多指价钱贵，货色次，服务态度不好，顾客不愿再来打交道。

【一寸光阴一寸金】比喻时间十分宝贵。

【一刀切】比喻用划一的办法处理情况或性质不同的事物。

【一动不如一静】没有把握或无益的事，还是不做为好。比喻多一事不如少一事。

【一而再，再而三】再：第二次。一次又一次。

【一风吹】比喻一笔勾销(多指决定、结论等)。

【一佛出世，二佛升天】出世：生。升天：死。死去活来之意。

【一夫当关，万夫莫开】意思是山势又高又险，一个人把着关口，一万个人也打不进来。形容地势十分险要。

【一个巴掌拍不响】比喻事情不会是单方面引起的。

【一个萝卜一个坑】比喻一个人有一个位置，没有多余。也形容做事踏实。

【一棍子打死】比喻认为没有丝毫可取之处而全盘否定。

【一块石头落地】比喻放了心，再没有顾虑。

【一朝被蛇咬，十年怕井绳】比喻在某件事情上吃过苦头，以后一碰到类似的事情就害怕。

【一年之计在于春】全年的工作计划在春天就要打算安排好。比喻做每件事，一开始就应该抓紧做。

【一钱不落虚空地】比喻丝毫不浪费。

【一犬吠形，百犬吠声】吠：狗叫。形：影子。一只狗看到影子叫起来，很多狗也跟着乱叫。比喻不了解事情真相，随声附和。

【一人传虚，万人传实】虚：不确实，指无中生有的事。本来没有的事，传的人多了，就信以为真。

【一人得道，鸡犬升天】一个人得道成仙，全家连鸡、狗也都随之升天。比喻一个人做了官，和他有关系的人也都跟着得势。

【一人之下，万人之上】多指地位高而权势显赫的大臣。

【一日不见，如隔三秋】一天不见，就好像过了三年。形容思念的心情非常迫切。

【一身都是胆】极言胆大勇敢。

【一失足成千古恨】比喻一旦犯下严重错误或堕落，就成为终身的憾事。

【一十八般武艺】泛指各种武术技艺。

【一是一，二是二】形容说话老老实实，毫不含糊。

【一退六二五】原是珠算斤两法的口诀。现比喻推卸干净。

【一问三不知】不管怎样问，总说不知道。

【一窝蜂】一个蜂巢里的蜂一下子都飞出来了。形容许多人乱哄哄地同时说话或行动。

【一物降一物】指有一种事物，就会有另一种事物来制伏它。

【一蟹不如一蟹】比喻一个不如一个，越来越差。

【一言既出，驷马难追】一句话说出了口，就是套上四匹马拉的车也难追上。指话说出口，就不能再收回，一定要算数。

【一言堂】旧时商店挂的匾上写"一言堂"三个字，表示不二价。现指领导缺乏民主作风，不能听取群众意见，特别是不能听取相反的意见。

【一叶障目，不见泰山】障：遮。一片树叶挡住了眼睛，连面前高大的泰山都看不见。比喻为局部现象所迷惑，看不到全局或整体。

【一则以喜，一则以惧】一方面高兴，一方面又害怕。

【一着不慎，满盘皆输】原指下棋时关键的一步棋走得不当，整盘棋就输了。现比喻某一个对全局具有决定意义的问题处理不当，结果导致彻底的失败。

【衣来伸手，饭来张口】形容懒惰成性，坐享别人的劳动成果。

【依样画葫芦】照别人画的葫芦的样子画葫芦。比喻单纯模仿，没有创新。

【疑人勿用，用人勿疑】怀疑的人就不要使用他，使用的人就不要怀疑他。指用人应充分信任。

【疑心生暗鬼】指因为多疑而产生各种幻觉和错误判断。

【银样镴(là)枪头】样子像银子实际是焊锡做的枪头。比喻外表很好看，实际上不中用。

【应声虫】比喻随声附和的人(含鄙视意)。

【英雄所见略同】所见：所见到的，指见解。略：大略，大致。英雄人物的见解基本相同。这是对意见相同的双方表示赞美的话。

【英雄无用武之地】比喻有才能却没地方或机会施展。

【有鼻子有眼】比喻把虚构的事物说得像真实的一样。

【有过之而无不及】过：超过。及：赶上。相比之下，只有超过而不会不如。

【有其父必有其子】有什么样的父亲一定会有什么样的儿子。

【有钱能使鬼推磨】俗语。形容金钱万能。

【有眼不识泰山】虽有眼睛，却不认识泰山。比喻见闻太窄，认不出地位高或本领大的人。

【有一搭没一搭】表示故意找话说。也表示可有可无，无足轻重。

【有一利必有一弊】在这一方面有好处，在另一方面就会有坏处。

【有则改之，无则加勉】则：就。加：加以。对别人给自己指出的缺点错误，如果有，就改正，如果没有，就用来勉励自己。

【有志不在年高】指年轻人只要有志向，成就不可限量，不在年纪大小。也指只要有志向，岁数大了，也可以干出一番事业。

【有志者事竟成】只要有决心，有毅力，事情终究会成功。

【右手画圆，左手画方】比喻用心不专，什么事也办不成。也形容心思聪明，动作敏捷。

【愚者千虑，必有一得】虽是笨人，种种考虑中总有一点可取之处。常用作谦辞，谓自己拙见虽微，然也有可取之处。

【与人方便，自己方便】给他人便利，他人也会给自己便利。

【玉不琢，不成器】琢：雕。玉石不经雕琢，成不了器物。比喻人不受教育、不学习就不能有成就。

【欲加之罪，何患无辞】欲：要。患：忧愁，担心。辞：言辞，指借口。要想加罪于人，不愁找不到罪名。指随心所欲地诬陷人。

【欲人勿知，莫若勿为】想要别人不知道，不如自己不去做(多指坏事)。

【欲速则不达】速：快。达：达到。指过于性急图快，反而达不到目的。

【鹬蚌相争，渔翁得利】鹬：长嘴水鸟。蚌：有贝壳的软体动物。比喻双方争执让第三者得利。

【冤有头，债有主】冤有冤头，债有债主。比喻报仇讨债要找准对象，别牵连别人。

【远来的和尚会念经】比喻外地或外单位来的人比本地或本单位的人更受重视。

【远亲不如近邻】指遇有急难，远道的亲戚就不如近旁的邻居那样能及时帮助。

【远水解不了近渴】比喻缓慢的解决办法不能满足急迫的需要。

【远水救不得近火】比喻缓慢的救助不能解决眼前的急难。

【远在天边，近在眼前】形容寻找的人或物就在面前。

【月晕而风，础润而雨】月晕出现，将要刮风；础石湿润，就要下雨。比喻从某些征兆可以推知将会发生的事情。

Z

【宰相肚里好撑船】比喻人度量大。

【重足而立，侧目而视】重足：双脚并拢。侧目：斜着眼睛。形容畏惧而愤恨的样子。

【重赏之下，必有勇夫】指用重金悬赏，就会有勇于出来干事的人。

【在人矮檐下，怎敢不低头】比喻受制于人，只得顺从。

【早知今日，何必当初】既然现在后悔，当初为什么要那样做？

【毡袜裹脚靴】毡袜、裹脚、靴，都是穿在脚上的东西。比喻彼此都一样。

【战无不胜，攻无不克】形容军队力量强大，百战百胜；或比喻做任何事情都能成功。

【张公吃酒李公醉】比喻由于误会而代人受过。

【长他人志气，灭自己威风】指一味助长别人的声势，而看不起自己的力量。

【照葫芦画瓢】比喻照着样子模仿。

【这山望着那山高】比喻对自己目前的工作或环境不满意，老认为别的工作、别的环境更好。

【针尖对麦芒】比喻双方都很厉害，互不相让。

【真金不怕火炼】比喻品质好、意志坚强的人经得起任何考验。

【知其不可而为之】明知做不到却偏要去做。表示意志坚决。有时也表示倔强固执。

【知其一不知其二】只了解事物的一方面，而不了解其他方面。形容对事物的了解不全面。

【知人知面不知心】旧时俗语。指认识一个人容易，但要了解一个人的内心却很困难。

【知无不言，言无不尽】知道的就说，要说就毫无保留。

【知子莫若父】没有比父亲更了解儿子的了。

【执牛耳】古代诸侯订立盟约，要割牛耳歃血，由主盟国的代表拿着盛牛耳朵的盘子。故称主盟国为执牛耳。后泛指在某一方面居最有权威的地位。

【只此一家，别无分店】原是一些店铺招揽生意的用语，向顾客表明他没分店，只能在他这一家店里买到某种商品。后泛指某种事物只有他那儿有，别处都没有。

【只见树木，不见森林】比喻只看到局部，看不到整体或全部。

【只可意会，不可言传】只能用心去揣摩体会，没法用话语具体地表达出来。指道理奥妙，难以说明。有时也指情况微妙，不便说明。

【只听楼梯响，不见人下来】比喻只是口头说说，没有实际行动。

【只许州官放火，不许百姓点灯】指反动统治者自己可以胡作非为，老百姓却连正当活动也要受到限制。

【只要功夫深，铁杵磨成针】比喻只要有决心，肯下工夫，多么难的事也能做成功。

【只重衣衫不重人】指人势利，看人只重衣着。

【掷地作金石声】比喻文章辞藻优美，声调铿锵。

【智者千虑，必有一失】不管多聪明的人，在多次的考虑中，也一定会出现个别错误。

【置之死地而后快】恨不得把人弄死才痛快。形容心肠狠毒。

【置之死地而后生】原指作战时把军队布置在无法退却、只有战死的境地，兵士就会奋勇前进，杀敌取胜。后比喻事先断绝退路，就能下决心，取得成功。

【种瓜得瓜，种豆得豆】种什么，收什么。比喻做了什么事，就会得到什么样的结果。

【众人拾柴火焰高】比喻人多力量大。

【朱门酒肉臭，路有冻死骨】富贵人家酒肉多得吃不完而腐臭，穷人们却在街头因冻饿而死。形容贫富悬殊的社会现象。

【逐客令】秦始皇曾下令驱逐从各国来的客卿。后指主人赶走不受欢迎的客人。

【着三不着两】指说话或做事轻重不当，考虑欠周，顾到这里，顾不到那里。

【自以为得计】得计：计谋得逞。自己以为自己干得不错(含贬义)。

附录九

最新流行词语集释

【说明】"流行词语"指：新造词语，如"宽带""泡吧"；旧词新义，如"板块""充电"；外来词语，如"博客""猎头"；缩略词语，如"物流""奥申委"；网络用语，如"菜鸟""潜水"。另有少量通俗口语和港台方言，如"忽悠""煲电话粥"；专业术语，如"参股""安乐死"。包括教育部公布的汉语新词。

A

【AA制】指人与人之间在聚餐、娱乐、旅行等各项消费后结账时，各人均摊或各自付款的经济承担模式。如：～在国人看来有些不近人情，但外国人却习以为常。

【安检】安全检查。如：旅客登机前要经过～。

【安乐死】指患绝症的病人在濒死状态时，在病人或家属的要求下，经过医生的认可，用人道的方法使病人在无痛苦状态下结束生命。

【按揭】一种购房或购物的贷款方式。以所购房屋或物品为抵押向银行贷款，然后分期偿还。如：～买房。

【暗箱操作】指利用职权暗地里做某事(多指不公正、不合法的)。如：避免收费中的～。

【案值】案件所涉及财物的价值。如：～逾千万。

【暗补】为保持物价稳定，国家对一些生活必需品的进销价格倒挂的差价或亏损给予财政补贴。如：～变明补。

【挨宰】比喻消费时被坑骗因而付出高价，或买了价高质次的物品。如：手握法律武器，～机会大减。

【奥赛】国际学科奥林匹克竞赛的简称。指在世界范围内举行的，以中学生和大学生为主的学科竞赛活动。如：～金牌得主。

B

【吧蝇】比喻像苍蝇一样在酒吧等娱乐场所流连的人。如：～们失去了对生活的兴趣，更失去了对人生的信念。

【拔份】指采取不正当手段提高自己的威信、地位。如：乐于～的人，往往是脆弱的。

【把脉】原指中医诊断病症的方法。比喻对某事物进行调查研究，并做出判断或提出解决方案。如：专家为大桥工程质量～。

【霸王条款】指某些带垄断性质的行业在用户和消费者不知情、不情愿的情况下所规定的不对等、不公平的条款。如：国家严厉禁止～。

【白领】指从事脑力劳动的职员，如管理人员、技术人员、政府公务人员等。如：～阶层。

【白色污染】指废弃塑料及其制品对环境造成的污染。塑料不易降解，所含成分有潜在危害。塑料材料多为白色，故名。如：～已成为社会公害。

【板块】原指地质学地球岩石圈的构造单元。比喻构成整体的若干具有内在联系又相对独立的事物。如：股市中金融和钢铁两个～发力上攻。

【斑竹】"版主"一词的谐音。指网站主页或栏目的管理维护者。如：～有删除不健康的帖子的权力。

【扮酷】装扮出时髦的样子。酷，英语 cool 的音译，指冷峻，潇洒，有个性。如：～需要有超前的审美意识。

【扮靓】装饰打扮使靓丽。如：名模～车展。

【膀爷】指热天在街头巷尾等公共场所裸露上身的成年男子。如：～有碍城市文明。

【棒杀】比喻不分青红皂白地进行打击或全盘否定。如：～与捧杀同样不可取。

【保健食品】具有特定保健功能的食品。如：将～当药品推销是欺诈。

【煲电话粥】打电话长时间漫无边际地闲聊，如用文火慢慢熬粥。如：～耗时耗钱耗青春。

【爆棚】①演出场地观众爆满。如：中国功夫在美国的表演，出现了少有的～场面。②指人的情绪高涨。如：观众情绪～，齐呼"中国女排必胜"。

【爆冷】即"爆冷门"。指在某方面突然出现没有意料到的事情，多用于体育比赛。如：在足球比赛中，墨西哥队～赢了巴西队。

【本土化】指使产品、企业文化等具有鲜明的本民族或本地区的特色。如：～体现的是产品的个性化。

【备份】电脑术语。①动词，将数据复制到大容量存储设备中。如：将文件～。②名词，备份所得到的数据。如：文件的～。

【边缘化】使处于边缘，不为主流社会所关注。如：不进则退，被～是必然的。

【边缘人】指在经济、政治、文化和意识形态上，游离于主流社会，不被关注，缺少归属感的社会群体。如：生活在美国的中国人，难逃～的境遇和感受。

【变脸】原指变了脸色，又指川剧的表演绝活。现多比喻形象的彻底改变。如：创城活动让大街小巷～/四款老车～。

【飙车】指驾驶机动车高速行驶，相互追逐，寻求刺激。如：～一族小心，警察在前面“恭候”你！

【飙升】像暴风一样疾升。如：人气～/扶贫投入～。

【标题新闻】以标题形式刊登在报纸上的新闻，内容简要，字号较大。如：～是典型的新闻快餐。

【冰点】比喻不引人关注、受到冷落的事物。如：关注～。

【冰淇淋文学】指那些适合于青少年口味的文学作品。一般这些作品情节简单，自我搞笑，幽默通俗，无太深的思想内涵。是结合新新人类的生活，迎合其心理的消遣性文学，最为新新人类喜欢的读物。如：～的读者范围比较狭窄。

【播报】通过广播、电视播送报道。如：～新闻。

【跛鸭】原指瘸腿鸭。比喻失去权力或影响力的人。如：～生活折射出世态炎凉。

【博客】英文 Blog 的音译，网络日志。包括个人日记和团体网页两种形式。如：名人～。

【博斗】网友利用博客“吵架”或互相攻击。如：大家都是斯文人，有本事我们到网上～。

【不感冒】比喻无兴趣。如：成年人对科技旅游～。

【不争】不容置疑。如：～的事实。

【不作为】国家公职人员使国家、人民利益遭受损失的渎职、失职行为。如：凡庸官必～。

C

【擦边球】原是乒乓球术语。比喻借政策、法规中某些规定不明确处，做不违法而损人利己的事。如：那些惯于打政策～的人，总有一天会搬起石头砸自己的脚。

【采信】相信某种事实并作为处置依据。如：被告陈述证据不足，法庭不予～。

【彩民】购买彩票者。如：做～，万不可有一夜暴富的心理。

【菜鸟】指玩电脑游戏不久，水平不高的人。如：游戏～，屡战屡败。

【草根】始于 19 世纪美国的淘金热，盛传草根茂盛处，地下有黄金，引发民众大量涌入。后指基层民众。如：～经济/～作品。

【策划】本为贬义词，现为中性词。①筹划；谋划。如：～选题。②策划人。如：他是本片的～兼导演。

【炒作】为扩大影响，过分渲染或大肆宣传。如：公众人物绯闻曝光，其实多是～。

【车奴】买车吃力，养车不堪重负的私家车拥有者。如：～被超前消费害苦了。

【尘埃落定】比喻事情有了结局或结果。如：主持人大奖赛～。

【城市牛皮癣】指城市里随处乱贴乱写的违章小广告。如：～成一大公害。

【城市压力病】城市工作生活双重压力导致的身心疾病。如：～是“聪明人的病”，在竞争压力大的城市尤其多见。

【吃青春饭】指从事体育、文艺等对年龄有严格限制的职业的人，靠青春优势赚钱。如：～，只可吃一时，不可吃一世。

【充电】比喻通过学习充实知识，提高能力。如：青年人忙～，是日益激烈的竞争使然。

【冲浪】①比喻不畏艰险，勇于拼搏。如：在市场经济大潮中～。②在互联网上尽情浏览、检索、聊天、发表言论等。如：网上～。

【创业夜市】是政府为解决城市就业困难群体的再就业问题而建立的夜市，为失业人员搭建的一个创业平台。如：青岛市民生～近日启动。

【抽逃】为躲避债务、隐匿财产、抗拒纳税等而暗中抽走资金。如：～税款。

【出警】警方接到报警后到现场处理。如：110～时限有严格规定。

【出镜】指在电影或电视中露脸。如：频频～。

【触电】比喻参加拍摄电影、电视片等（多指第一次）。如：他首次～，一炮走红。

【传媒】指报纸、广播、电视、互联网等传播媒体。如：大众～。

【传销】原指国外一种直销方式。在我国，指打着“直销”幌子，发展下线，非法牟取暴利的

一种欺骗性商业活动。如：当今一些地区的～，已经沦为犯罪分子牟利的工具。

【穿帮】①露出破绽。如：造假者迟早要～。②被揭穿。如：易拉罐中大奖把戏，公交车上～。

【串案】查证一个犯罪嫌疑人而连带出另一个，接连成串的案件。如：邯郸农行特大金库失窃案是一起典型的～。

【纯玩团】不费心购物，只尽情游玩的旅游团。如：～走俏黄金周旅游市场。

【次道德】指违法者等特定群体在实施不正当行为过程中，尽量给社会和他人减少损失的意识。如：～彰显良知。

【次贷】即次级贷款，又名次级抵押贷款和次级按揭贷款。次级贷款对放贷机构来说是一项高回报业务，但由于次级贷款对借款人的信用要求较优惠级贷款低，借款者信用记录较差，因此次级房贷机构面临的风险也自然更大。如：现在～引发的金融动荡直接导致美国金融机构开始了国有化进程。

【次贷危机】一场发生在美国，因次级抵押贷款机构破产、投资基金被迫关闭、股市剧烈震荡引起的风暴。致使全球主要金融市场隐约出现流动性不足的危机，2007 年 8 月席卷美国、欧盟和日本等世界金融市场。如：～重创全球股市，中国能否独善其身？

【蹿红】迅速走红。如：凭一首《两只蝴蝶》，庞龙一夜之间～歌坛。

【蹿升】疾速上升。如：股市～。

D

【搭车】比喻借做某事的便利做另外的事，从而得利。如：～涨价。

【打造】本指打磨制造。现多指精心创制。如：～世界驰名品牌。

【大跌眼镜】表示结果出人意料，让人十分吃惊。如：在欧洲杯比赛中，英格兰队首轮即被淘汰，让人～。

【打拼】奋力去做；拼搏。如：～事业。

【大比拼】指参赛者人人竭尽全部能力参与赛事。如：省钱～/才艺～。

【大餐】比喻格调高雅、内容丰富、形式新颖的精神产品。如：迎国庆共享文化～。

【大牌】①指体育界、文艺界名气大、水平高、实力强的人。如：～云集。②名气大、水平高、实力强的。如：～球星。

【大虾】“大侠”的谐音。经常玩电脑游戏，且水平极高的人。如：他是一个游戏～，且乐于助人。

【代排族】指出现在车站、医院等公共场所替人买票、代人排队并收取一定报酬的人群。如：郑州出现有偿“～”被指挑战公平伦理道德。

【担纲】指在艺术表演或体育比赛中担任主角或主力，泛指在工作中承担重任。如：这部影片由著名演员～。

【蛋糕】比喻共有的社会财富或利益等。如：学生图书市场是一块大～。

【蛋白荒】由于采血浆站转制改造，全国采浆量直线下滑，导致以血浆为原料提炼的人血白蛋白生产面临大面积停产、供应紧张的现象。如：最近一段时间，北京、安徽等地多家医院还出现了～。

【淡出】比喻逐渐退出（某一领域、范围）。如：～演艺界。

【登陆】现多比喻商品等打入某地市场。如：海尔空调～北美。

【低调】比喻和缓而不张扬。如：为人～/～处理。

【低碳】意指较低（更低）的温室气体（二氧化碳为主）排放。低碳经济是以低能耗、低污染、低排放为基础的经济模式。低碳生活就是指生活作息时所耗用的能量要尽力减少，从而减低碳，特别是二氧化碳的排放量，减少对大气的污染，减缓生态恶化，主要是从节电、节气和回收三个环节来改变生活细节。

【底线】本指足球、篮球、排球、羽毛球等运动场地两端的界线。现多指最低的标准、条件。如：道德～。

【底蕴】功底；（文化、知识、经验等的）积累沉淀。如：文化～丰厚。

【第一时间】指处理问题时在可能范围内的最早时间。如：110 接警后必须在～到达案发现场。

【第一桶金】第一次赚取的数额较大的钱财。如：他靠批发小商品，收获～。

【地量】指最低的数量。如：昨天上海股市成交量创新～。

【电子环保亭】市民将家中的旧电子产品，如冰箱、电视、电脑等送到环保亭，根据旧电子产品的现状，由专业的维修人员进行估价。然后这些旧电子产品将进行二次利用，在电子环保产业化基地里演变成再生电子产品。如：近日，中国首个“～”落户北京中关村维修城。

【电子监控手链】一种现代的监视犯人行踪的工具。如：从 2008 年起，俄罗斯联邦处罚执

行局将启用～监视犯人。

【读奏会】由朗读和演奏两部分组成的音乐会。如："～"现场还将用多媒体手段展示吕思清大量珍贵的私人照片和影像。

【钝感力】是日本作家渡边淳一的发明，意为对周遭事务不过于敏感的能力，它强调的是对困境的一种耐力，即从容面对生活中的挫折和伤痛，坚定地朝着自己的方向前进，它是"赢得美好生活的手段和智慧"。如：首相不应凡事在意，～十分重要。

【丁克家庭】英语 dink，指夫妇都有收入而不打算生育孩子的家庭。如：～在大城市渐成时尚。

【豆腐渣工程】指不按国家建筑要求施工用料，质量低劣的工程。如：～背后的腐败。

【顶风】比喻公然违反正在大力推行的法令、法规、政策等。如：～作案。

【对决】双方一决胜负，作最后的较量。如：两支劲旅将在今晚～。

E

【e 摘客】又叫"随身抄"，它应用先进的核心软件技术，能让人们随时随地，只需轻快一刷，资料自动进笔中，解决文件、合同、书籍、报纸等资料的摘抄、储存、翻译难题的一种智能阅读笔。如：汉王～采用先进的核心软件技术，体积只有一支普通笔大小，携带起来非常方便。

【26 ℃法】指国家对使用空调采暖、制冷的公共建筑实行室内温度控制制度。除特殊用途外，夏季室内空调温度设置不得低于 26 ℃，冬季室内空调温度设置不得高于 20 ℃。如：～是节能降耗的起点。

【恶搞】指对知名人物或事物加以丑化或调侃，使其成为滑稽搞笑的形象。如：《天下第二》～经典影片。

【二奶专家】指那些表面上看似与开发商唱反调，背后却与开发商勾肩搭背，为开发商或上市公司等经济实体所收买，丧失职业道德、社会良知的专家、学者。如：某些～成为房价上涨的推手。

F

【泛户外】指广义上的户外运动，即任何一项走出家门的运动都可以被称为户外运动，区别于通常人们所理解的那种带有危险性质的户外探险运动。如：未来的时间里，户外运动品牌也许只有在商场里稳步地推进它们的"～"概念，才能收获更大的惊喜。

【房奴】指抵押贷款购房，不堪房价重负，导致生活质量下降的人。如：究竟是谁让我们成了～？

【放飞】指使鸟高飞或风筝升起。现比喻使孩子独立生活或使思想自由。如：～青春。

【放水】指体育比赛中双方串通作弊，一方故意输给另一方。如：～败坏赛风。

【粉领】某些国家和地区指从事秘书、打字等工作的职业妇女。如：～丽人。

【粉丝】英语 fans 的音译词。狂热的爱好者，义同追星族、发烧友。如：刘德华的～。

【粉色航线】指根据妇女特点设计、专为女性顾客服务的航线。如：飞往纽约和米兰的～将于今年开通。

【愤青】对不正常、不合理的社会现象持强烈批判态度的愤世嫉俗的年轻人。如：～对社会有着强烈的责任心。

【封杀】封禁。如：～格调低下的选秀节目。

【风景线】多比喻某种景观、景象。如：军营～/艺苑～。

【负资产阶级】指资不抵债、实质贫穷的资产阶级。表面上看是富足的资产阶级，拥有房产和物业，实际上其贷款数量比自己的总资产还要多，如偿清贷款，资产将是极大的负数。如：这场金融风暴虽然已经过去，出现了可观的经济复苏和增长，但香港楼市仍在谷底徘徊，使相当一部分业主还停留在"～"阶段。

【负翁】"富翁"的谐音。负债者。有戏谑意味。如：大学生～潇洒消费。

【富二代】多指 20 世纪 80 年代以后出生的继承丰厚家产的富家子女。

G

【高调】比喻脱离实际的议论或不去实践的漂亮话。现比喻高标准、严要求。如：低调做人，～做事。

【高薪跳蚤】在高薪诱惑下经常跳槽的知名学者。如：～引发原单位索赔案。

【刚性】①性格坚强的。如：～男人。②坚硬不易改变的。如：～物体。③既定而不能改变的。如：～指标。

【搞笑】制造笑料，逗人发笑。如：手法～。

【个案】个别的、特殊的案件或事例。如：这件事情不是～。

【给力】①作为形容词，类似于"牛""很带劲""酷""棒""很有意思"等。如：这部动作片真精彩，实在太～了！所谓"不给力"就是形容和预想目标相差甚远。如：这游戏真无聊，～呀！②作为动词使用，相当于形容词的使动用法，也

就是它的本意“给予力量”，是“加油”的意思。如：a. 大家～啊！ b. 要～啊，后面靠你了。

【攻略】原指进攻掠取。现比喻主动应对事件或解决问题的谋略、办法。如：初秋季节小家电保养～。

【公示】公布使公众了解并征求意见。如：～制度。

【公共行为文明指数】指评价市民在公共场合中行为文明的量化指标。如：首都文明办首度发布北京市民～。

【公共单车租赁】指由专业服务机构提供自行车，市民可随时随地租赁，通过公共存取提高城市自行车使用效率，以缓解公共交通压力的一项服务。如：据悉，～点主要设置在市中心，目的是缓解市区交通压力。

【股市症候群】泛指那些炒股时由于受到股市震荡影响而产生了生理和心理疾病的股民。如：在股民大扩容的时代，～的感染范围很广。

【挂】有两层含义：一是指人物的死亡，如：差点因车祸～了；一是在某件事情上失败了，如：考试～了。

【公信力】指使公众信任的能力。如：该报虽小，但极具～。

【公众人物】指为公民所关注、所谈论的人物。如：～的个人隐私也应保护。

【构建】建立（多用于抽象事物）。如：～和谐社会/～新体系。

【构筑】本指实体的建造、修筑，现还指构建。如：～理论框架。

【拐点】本指经济学中经济数值的转折点。现多泛指转折点，用其比喻义。如：命运的～。

【观照】美学术语。现泛指仔细观察，审视。如：～现实。

【关键词】现多指体现一篇文章或一部著作中心的词语。如：本文的～是“文化软实力”。

【灌水】指将不多的内容稀释，用来凑数。如：～文章。

【过劳模】指过度劳累的演艺明星。由“过劳死”衍生而来。如：演艺圈普遍存在的～现象，令人忧虑。

【过劳死】因身体过度劳累、精神压力过重而导致的突然死亡。如：企业高管～现象日益严重。

【过牧】过度放牧的简称。如：～导致草原沙漠化。

【过会】在行政会议上讨论并做出决定。如：近日将有三家拟上市公司在证监会～。

【过审】多指文艺作品在行政会议上通过审查。如：《色戒》内地版已经～。

H

【海龟】指那些从国外学成归国或回国创业的人。又称“海龟派”，带诙谐意味。如：易趣有个“～”与“土鳖”结合的团队。

【海量版】指商品或物品的大容量版本。如：如果以上是胡锦涛十七大报告关键词的～，那么，可以从中遴选出20个关键词。

【汗】有两种意思：一是作感叹词、形容词，表示被某种东西震惊后，尴尬、无奈、无言以对的感觉。如：楼主观点超强，真是～啊。二是作动词，表示自叹不如、甘拜下风的意思。如：这样都能出彩，我～。

【行业限批】国家环保总局制定的一项行政处罚措施，即对所有超过环境容量总量控制指标的行业，停止审批其所属的除循环经济类项目外的所有项目，直到它们的违规项目彻底整改为止。如：国家环保总局昨天通报了区域限批的整改进展情况，并表示将视情况扩大区域限批与～的范围。

【黑窑儿童】在黑窑场里从事危重劳动的童工。如：全国网友号召营救～。

【海选】①由选民广泛提名候选人并直接投票选举。如：选民～彰显民主。②在大范围内挑选。如：～主持人。

【很受伤】指受到很大伤害，富于形象性。如：劣质太阳膜让消费者的爱车～。

【黑马】原指比赛中不引人注意而一举获胜的马。比喻比赛或竞争中出乎意料的获胜者。如：全运会～频出。又指涨幅巨大的股票。如：股市～。

【黑哨】指球类比赛中故意做出不公正的裁判行为。如：球迷要求严惩～。

【红色经典】指与中国革命历史相关的、有特定文化价值的作品。如：《长征》是一部～。

【后现代战争】指敌人身份不确定的非正面的现代战争。该概念由意大利作家安贝托·艾柯提出。如：我们把二战称为“经典战争”，因为它有胜利方，而冷战或如今的伊拉克战争则是～，因为这场战争没有赢家。

【忽悠】指用讨好、吹捧、欺骗等话语获得他人的好感或信任，以达到自己的目的。如：医托～患者。

【话语权】指人们自由发表见解的权利。如：～是人的尊严的组成部分。

【话题广告】一种专门针对博客的新广告形

式。博客的作者在自己选择话题所写的文章中加入广告链接，就可以获得收益。如：所谓～，是去年美国一家新的公司率先尝试的一种新的广告模式。

【灰领】原指从事电器、机械、下水道等维修的技术工人。现泛指掌握现代科学知识又有较高操作技能的职业技能人才。如：～职业大赛/～空缺岗位。

【灰色】多比喻①消沉，失望。如：～人生观。②不正规的。如：～收入。

【回放】本指重新播放已播过的影视片、录像等的片段。比喻回顾。如：事件～。

【回馈】①回报；回赠。如：企业家～社会。②反馈。如：信息～。

【会所】指某些住宅小区等设立的提供健身、休闲、娱乐、社交等活动的处所。如：浴足～。

J

【激活】现多比喻刺激某事物使活跃起来。如：～思维。

【极限运动】带有冒险性、刺激性的最大限度发挥人体潜能，挑战自我的娱乐体育运动。如攀岩、冲浪、蹦极等。如：～挑战生命极限。

【加盟】原是国家之间，或者大机构之间结成同盟。现泛指加入某一集团或组织。如：～连锁店。

【嘉年华】英语 carnival 的音译词。本指宗教节日，后泛指狂欢、庆祝、欢宴。现多指大联欢、游乐场、精彩组合。如：环球～/超级～。

【加急时代】生活工作节奏过快的时代。压力大、竞争激烈、忙碌劳累是生活在这一时代的人的特点。如：调查中，50.4%的受访者确信，像邓裕强这样"自我要求高，不甘人后"的状态，是"～"的重要表现之一。

【价格推手】推动价格上涨的力量。如：行业协会不应成为～。

【降价死】指国家政策规定的"降价药"在市面上消失的现象。国家指定的药品降价后，代理商停止进货、医院停止开方、药厂停产，"降价药"新瓶装旧酒，经过改名变新药，高价再上市，药品"降价"变成了"涨价"。如：药品"～"完全是医院、药厂和药商联手导演的"杰作"。

【禁高令】指国际足联执委会颁布的不得在海拔 2 500 米以上地区举行国际赛事的规定。如：国际足联颁布"～"。

【减灾】采取措施，减少自然灾害造成的损失。如：科技～。

【叫板】原戏曲用语。现指叫阵，挑战。如：敢同法律～的人只能是自取其祸。

【解读】①阅读解释。如：～《红楼梦》。②分析；研究。如：～人生/～高房价。③理解；体会。如：～政策。

【解构】对事物的结构或内容进行剖析。如：～《红楼梦》。

【金领】最初专指网络技术人员。现也指精算师、注册会计师、审计师、拍卖师等。以其人才稀缺、薪酬可观得名。如：当一些人忙于将领子洗白时，一些人已经将领子镀了金，成为～。

【惊爆】突然传出，令人感到意外或震惊。如：～高考舞弊案。

【精神快餐】比喻篇幅短小、内容充实的文艺作品或影视节目等。如：快节奏社会让～大行其道。

【拒电族】当越来越多的人折服于网络、手机的魅力时，大都市出现这样一群人：受过良好教育、生活富足，却拒绝使用手机、网络等当代高科技通信手段者。这些人被统称为"拒电族"。如："～"不用高科技产品是因为他们有意识地抗拒某些东西。

【举证】出示证据；提供证据。如：原告、被告先后～。

【聚焦】比喻视线、注意力等集中于一处。如：～台湾政坛。

【钜献】巨大奉献。如：倾情～。

K

【考碗族】指专门准备考取公务员的人群。因为人们经常把安定的生活形象地比喻为饭碗（金饭碗、银饭碗、铁饭碗），而公务员福利、待遇好，奖金非常可观，在当今中国社会可以说是最稳定的职业。如：我的大学同学小冯就是名副其实的～。

【卡奴】使用信用卡、现金卡消费，每月都要为这些卡还款而不堪重负的人。最先起源于台湾。如：台湾 40 万"～"为利滚利的信用卡债务所困扰。

【开局】①泛指工作、活动等开始。如：～顺利。②泛指工作、活动等的开始阶段。如：良好～。

【看淡】①行情、价格等将要出现不好的势头。如：行情～。②认为行情、价格等出现不好的势头。如：商界普遍～钟表市场。

【可圈可点】比喻出色、精彩而值得称道。如：郎丽华等表演的《千手观音》～，令人叹为观止。

【克隆】英语 clone 的音译。除用于生物科技，还比喻复制。如：～文物。

【啃老族】也叫"吃老族"或"傍老族"。指年龄在23～30岁，有谋生能力，却主动放弃了就业的机会，赋闲在家的年轻人。他们不仅衣食住行全靠父母，而且花销往往不菲。社会学家称之为"新失业群体"。如："～"很可能成为影响未来中国家庭生活的"第一杀手"。

【铿锵玫瑰】比喻美丽坚强、有才智的年轻女性。如：中国警花是绽放的～。

【萌】源于日本的"CUTE"，原义是可爱的意思，是继"酷"之后流行的一个词语和一种姿态。扮"～"的人们以童话般的穿着风格以及粉嫩果冻唇的化妆风格穿越时空隧道，重新回到梦幻般的童年。如：大学校园里，扮"～"的女孩越来越多。

【酷评】是一种文学评论倾向，指对作家、作品极为严厉、带有刺激性的批评，有的甚至故意贬低、嘲讽，进行人身攻击。如：～是反传统、反定评的。

【空巢】比喻子女长大离开，只有老人单独生活的家庭。如：～老人/安度～时光。

L

【蓝牙】英语 blue tooth 的直译。一种近距离无线传输应用技术。如：～手机。

【烂尾】指建筑项目因盲目上马、资金不足等原因而中途停工或无法竣工。如：由于发展商改变规划，广州社保基金投资的亿安广场最终～。

【老赖】长期欠债不还的个人或单位。如：西城拍卖～车，部分～现场看拍卖。

【理念】①信念。如：人生～。②思想。如：经营～。

【理赔】合同双方中的一方在对方要求赔偿时进行处理。如：按约～。

【理顺】治理使合理、有秩序。如：～关系。

【力拱】竭尽全力支持。贬义。如：民进党～陈水扁连任主席。

【力挺】竭尽全力支持。如：球迷～李铁。

【链接】计算机用语。现多作"连接"的形象化说法。如：相关资料～。

【猎头】英语 head hunting 的直译。指受企业委托为其物色、挖掘高级人才的工作。如：～公司。也指从事该工作的人。如：人才～。

【零距离】极言亲密、亲近。如：～接触。

【零容忍】丝毫不能容忍。如：在贿赂问题上要坚持～原则。

【另类】①与众不同、非常特殊的人或事。如：作家群中的～。②与众不同；非常特殊。如：～解读。

【垄奴】指被迫接受垄断行业消费条款的消费者。如：打破垄断，解放～。

【裸考】什么加分也没有，只凭考试成绩报考高一级学校。如：～比实力。

【裸博】从学校一直读上来，没有任何工作经验的博士毕业生。如：很多院校都在实行硕博连读的教育制度，所以～将会越来越多。

【裸退】指干部退休后不再担任官方、半官方或群众组织中的任何职务。如：他在明年会～，希望人们把他完全忘记！

【绿卡】①某些国家发给外国侨民的永久居留证。如：美国～。②指发给某些人的资格证书或优惠凭证。如：上岗～/军嫂就业～。

【绿客】热爱生活，崇尚健康时尚，支持公益事业的人。如：～拒吸二手烟。

【绿色食品】指无公害、无污染的营养性食品。如：～通道。

【绿游】是由保护国际(全球最大的非盈利性环保组织)等环保机构在最近提出的一种出游的新方式，绿游希望游客在旅游的时候既能放松身心又可以保护环境，并可以用简单易行的方法减少自己对环境造成的影响。如：最近，北京在提倡"～"，呼吁五一出游者做绿色游客，留住美好自然。

M

【慢三拍】比喻工作或生活节奏慢于常规，老是落在后面。如：～彰显疲沓个性。

【盲点】比喻没有被认识或被忽略的地方。如：当前儿童教育存在～。

【猫腻】指私弊，不可告人的事。如：粉条虽小，～不少。

【美丽垃圾】指过度豪华的礼品包装物。如：～浪费资源，污染环境。

【门】在新闻媒体中的用法起源于水门事件。自从这次著名的政治丑闻之后，"水门事件"就被广泛用来表示一些政治上的丑闻。后来人们将"水门事件"引申，演变出了很多有意思的说法，通通冠之以"××门"，用来代指极具爆炸性的丑闻。如：2011年1月，家乐福"价签～"，引发消费者信任危机。

【迷你】英语 mini 的译音。非常小的，让人着迷的。如：～手机。

【名片鼠】鼠标的一种，外形与名片相似，轻薄小巧，便于携带，颠覆传统鼠标设计理念，兼顾时尚美学与人体工学，节能省电。如：明基～是出差必备品。

【灭失】法律术语。指物品因自然灾害、被盗、遗失等原因不复存在。如：证据～。

【磨合】比喻在合作过程中彼此逐渐相互适应，协调。如：新建团队需要～。

N

【n型人才】指至少拥有两种专业技能，又懂得领导、管理知识的人，博学杂科，并能融会贯通的高级复合型人才。如："～"较专业人才更可贵、更难得。

【内需】国内市场的需求。如：扩大～。

【鲇鱼效应】比喻由于威胁力量的进入而使自身生存力、竞争力得以提高。如："～"激活旅游市场。

【暖巢管家】一种专门为空巢老人提供服务的养老模式。如：～温暖空巢老人的心。

P

【派对】英语 party 的音译。小型聚会。如：生日～。

【炮轰】比喻对名人、团体、法规制度、社会现象等进行无情地揭露或猛烈抨击。如：北大校长～"大学排行榜"，认为它误导公众。

【朋克】英语 punk 的音译。①摇滚乐的一种。②极端个性化，带有反叛意味的风格。如：～青年。

【平面人】指知识贫乏、思想浅薄的人，只拥有生存的本能，没有上下纵横的发展潜力，就像一个平面那样空白、平整。如：我们要做能创造美好生活的立体人，不要做无所追求的～。

【皮草】指裘皮及裘皮制品。如：～时装。

【品位】品质，水平。如：谈吐有～，往来无白丁。

【平台】多比喻进行某项工作所需要的环境或条件。如：竞争～。

【瓶颈】比喻阻碍事情顺利进行的关节处。如：英语成绩不佳成为我深造的～。

【破解】揭破；解开。如：～湖怪之谜。

Q

【歧见】不相同的意见或见解。如：消除～，实现双赢。

【旗舰店】某一连锁店的示范店。如：打造～，创金字招牌。

【牵手】比喻双方联合做某事。如：电脑～出版，书籍面目大变。

【前卫】比喻一个人在某一行为上与众不同，超凡脱俗。如：衣着～。

【潜规则】业内沿袭已久，无明文规定而具有霸气的规则。如：酒店收开瓶费的～近日引发媒体广泛质疑。

【潜歧视】就是潜意识下的歧视，外表看不出来，但某些无意识的动作会表现出歧视性，也可以理解为一个群体或对另一个群体的潜藏性歧视。如：城市人对进城打工的农民，上车遇到时不自觉地躲开，就属于～。

【区域限批】环保总局近年推出的环保措施，就是针对某一地区限制新的污染企业数量。如：记者说，我国目前没有实行省级层面的～。

【强势】①强劲的势头。如：渐显～。②强大的势力。如：～群体。

【抢滩】现多比喻商业上抢占市场。如：品牌彩电～山东。

【抢眼】引人注目；显眼。如：衣着～。

【情商】心理学名词。指人的情绪品质和对社会的适应能力。如：～教学。

【取向】按一定标准做出的选择；趋向。如：价值～/审美～。

【去功能化】除去（核设施）具备的基本功能，使之不能发挥作用。如：朝鲜暂停宁边核设施～措施，并考虑将其恢复原状。

【全方位】各个角度，所有方面；全面。如：～服务。

【全攻略】比喻全方位主动应对事件或解决问题的谋略、办法。如：硕士学位备考～。

【群租客】指在房屋租赁中，多人共同承租房主房屋的人，多为普通的打工者，他们的收入相对较低。如：别墅区里的～。

【缺失】①缺陷。如：经营～。②缺少。对弱者的冷漠折射出他道德的～。

R

【热榜】指在某一专门领域内的相关内容受民众关注度高的一个排行榜，有助于民众从中了解当代最热门的话题、内容。如：大家能够使用在谷歌～中的信息。

【人气】多指人或事物受欢迎的程度。如：～急升。

【人文关怀】指强调以人为本，尊重人的价值，关心人的利益。如：加强和改进思想政治工作，注重～和心理疏导。

【入围】通过选拔而进入某一范围。如：～山东十大笑星。

【润滑经济】指低消耗、高产出的经济。也称"智力经济"。最早由日本提出。如：～是21世纪经济发展的必然趋势。

【弱化】变弱；使变弱。如：作品有意～生活的阴暗面。

【弱势】①变弱的趋势。如：调控政策使房地产市场渐显～。②弱小的力量。如：～群体。

S

【煽情】煽动人的感情或情绪。如：营造气氛～/～故事。

【闪客】指痴迷于Flash(动漫)的人。如：新老～。

【上镜】①出现于影视镜头中。如：她在读书期间多次～。②在影视中的形象好。如：这位主持人很～。

【试镜】影视片正式拍摄前，让演员试拍一些镜头。如：首次～即被选中。

【耍大牌】多指艺体明星，凭借自己的名气摆架子，不与他人或签约方正常合作。如：明星～，粉丝很受伤。

【晒】比喻将本不公开或不必公开的事物公之于众。如：～工资/～教练。

【晒客】指热衷于用文字、照片和视频等方式将私人物件及生活经历放在网上与人分享的网友。如：～一族应具备自律意识，尊重自己，尊重他人。

【晒黑族】是晒客中较抱团、加盟人数较多、发展较快的人群之一。晒黑族热衷"揭黑"，一旦了解到社会上的不平事，即通过网络详细披露，以警示其他网民。如：记者近日在一些晒客网站发现，～非常活跃。

【晒书会】是与书市同时举行的活动，目的在于为大众提供一个荐书、评书、换书，以书会友的平台。如：交流思想，提升境界，这样一个以书会友的～，的确值得大家经常来晒一晒。

【闪亮登场】原指演员着亮丽服装登台演出。现多比喻令人振奋的消息公布。如：10家公司基金年报～。

【烧瓶族】烧瓶，是shopping的音译词，意为购买，烧瓶族是指喜欢在网上购物的人群。这些人大多数年纪较小，观念很新，乐于接受并尝试新生事物。如：他在想，会不会有这么一天：整个世界的人们都变成了"～"。

【神马都是浮云】网络流行语，"什么都是浮云"的谐音，意思是什么都不值得一提，有抱怨感叹之意。如：金钱、美女这些东西，～。

【试客】通常是指那些痴迷购物的用户的一个圈子，在购物前，他们先从互联网上免费索取相关商家的使用赠品，经过仔细试用与其他爱好者相互交流后才进行购买。由于他们在购买前都有"试用"这一共同特征，因此被称为"试客"。如：～是沟通商家与市场的桥梁。

【失范】失去规范；违背规范。如：市场～/道德～。

【守望者】看守瞭望者。现多比喻某种事业的坚守者。如：张元秀是落子(一种地方曲艺)舞台的最后～。

【刷书客】利用微型扫描仪"e摘客"等高科技设备在书店等图书经营场所获取书中信息的人。又叫摘书客、摘客。如：～手拿一支奇怪的笔，在书上扫来扫去，正在"刷"书呢。

【受众】传媒信息、文艺作品等的接受者。包括读者、观众、听众等。如：电视～。

【疏离】疏远隔离。如：～社会使他深感孤独。

【诉求】①陈诉和请求。如：倾听民众的～。②愿望；要求。如：廉政是广大干群的～。

【缩水】多比喻在原有基础上数量减少。如：粮价上涨，袋装方便面～。

【锁定】固定；确定；跟定。如：～频道/比分～/～目标。

T

【踏空】①指投资者未能在股票上涨前买入而导致资金闲置。如：当今市道，～比套牢更可怕。②出人意料遭遇失败。如："美丽大脚"(电

视剧中人物,代该片)～上海。

【探营】本指到对方军营刺探消息。现多指记者到拍片场地打探消息,采访演艺人员。也泛指记者到某些地方打探相关消息,采访相关人员。如:为迎接"美女"熊猫,山东记者提前～"熊猫王国"。

【碳足迹】就是指一个人的能源意识和行为对自然界产生的影响。如:全球首台液晶电视产品通过～认证。

【淘】本指在旧货市场寻觅购买。现泛指购买或寻觅。如:书店～书/～商机。又表修饰,组成新词,如"淘友"(因淘货爱好而结识的朋友)、"淘龄"(淘货的资历)等。

【掏空族】指在职场工作几年后发现自己知识不足,需要再学习充电的人。如:有人说都市"～"是快节奏社会生活下的精神牺牲品。

【体认】体察认识。如:～生命的意义。

【天价】极高的价格。如:～月饼。

【天量】极大的数量。如:商厦在国庆期间创下销售～。

【贴士】英语 tips 的音译词。指点,指导,忠告。现多指小常识、小窍门。又称"小贴士"。如:健康～/旅游～。

【贴身式学习】一对一的交流学习。如:～被越来越多的人所接受。

【透析】透彻分析。如:现状～。

【团队精神】指团结协作的集体主义精神。如:团队精神是未来人才不可或缺的素质之一。

【推介】推荐介绍。如:～新书。

【脱口秀】英语 talkshow 的音译。一种电视谈话节目,即谈话表演。如:即兴发挥的～以其活泼、自然而备受欢迎。

【脱困】摆脱困境。如:实现～目标。

【拓展】开拓发展。如:～销售空间。

W

【万维网】英语 World Wide Web 的缩写。给互联网用户提供良好的交互式图形界面,使网络用户能够方便地访问网上多媒体信息的一种网络服务系统。如:～与网民的生活密切相关。

【网吧难民】是指由于各种原因(欠租、家庭理由等)而不能够再居住在自己的家中或公寓,而转到 24 小时营业的网吧吃茶度宿的人。如:据了解,在日本的"～"中也出现了在日华人的身影。

【威客】英文名称是 witkey,意思是智慧的钥匙,指把智慧、知识、能力通过互联网转换成实际收入的人。是一种有偿服务、一种职业、一种生活方式。如:～们虽然每天足不出户,却可以挣到不少钱。

【微博】微博客(MicroBlog)的简称,是一个基于用户关系的信息分享、传播以及获取的平台,用户一般以 140 字左右的文字更新信息,并实现即时分享。如:新浪～是全中国最主流,最具人气,当前最火爆的～产品。

【违规】违反有关的规定或规程。如:～操作。

【维权】维护合法权益。如:提高消费者的～意识。

【文化软实力】指文化以其民族凝聚力、精神力而成为一个社会的精神支柱,既能丰富人民的生活,又能创造不同于经济的新的发展动力。如:新金砖四国提升～。

【无厘头】是广东方言,指一个人的言行荒诞不经,毫无意义,莫名其妙。如:一些年轻人喜欢看周星驰的"～"式的电影。

【五大民生目标】指中央改善民生的五大方面目标。即教育、医疗、社保、就业、住房。如:大渡口区确定 2009 年改善～。

【物业】指建成并投入使用的各类房屋及配套场地、设施。如:～管理。

【物流】本指产品从供应地到接受地的流动转移。泛指物资、物品送达目的地的运输活动。如:～中心。

X

【洗牌】多比喻对事物进行重新调整组合。如:手机业重新～。

【戏剧理疗】指通过观赏戏剧来达到调理身心、找到心灵答案的方法。如:剧组还透露,心理专家也将出现在剧场内。演出期间,剧场内外将设立与观众互动环节,心理测试、解压训练等专业的心理辅导内容将为该剧增添全新的"～"概念。

【小私】"小资"的仿词。以享受专业化的私人服务为主要特征的新兴社会群体及其生活方式。私人服务包括私人医生、私人律师、私人美容师、私人购衣指导等。如：深圳许多年轻人过上了～生活。

【消费名片】指某地可以向外界展示的比较好的消费场所及消费项目。如：本报决定从今天起推出"都市新势力·2007南京～"海选活动。

【笑笑团】是一群阳光而充满活力的、为了传递笑容而走到一起的人。他们走出虚拟的网络世界，走到大家的身边，身体力行传递微笑，并希望大家都能参与进来，让笑容无处不在。如：～成员巡游全国多个城市，拍摄大家笑容的照片，并收集起来，希望制作一个笑脸墙。

【新新人类】指出生于20世纪80年代，思想开放、活跃，但思想、心理又有不成熟一面的年轻人。如：～音乐。

【心灵超市】指专门出售精神商品，使买家在情绪、思想上获得收益的超市。如：南昌大学旨在打造全国首家校园"～"。

【行星列车】地下真空磁悬浮超音速列车。如：这种"～"设计最高时速为2.25万千米。它横穿美国大陆只需21分钟，而喷气式飞机则需5小时。

【新锐】①新奇锐利。如：～言论。②体现时代精神、气势锐不可当的(人)。如：～诗人/～导演。③有锐气、有创举的年轻人。如：棋坛～/歌坛～。

【休闲】现多指紧张工作之余，过放松身心的清闲生活。如：～假日。

【献声】指为影视作品配音、配唱。如：众大腕为动画片《福娃》～。

【向左走，向右走】喻指两种对立的无法趋同的做法。多带有无奈与尴尬。如：买房还是租房：年轻人无奈上演～。

【秀】英语show的音译词。演出、表演。如：作～/服装～。

【宣贯】"宣传贯彻"的缩语。如：公司文件～大会。

【学术超女】初指北京师范大学教授于丹，因其2006年国庆期间在中央电视台"百家讲坛"连续七天讲《〈论语〉心得》而迅速走红，因此人称"学术超女"。后也泛指此类女性学者。如：于丹因为上"百家讲坛"而知名度倍增，活动、代言、演讲等众多邀请纷至沓来，商业活动也纷纷瞄准了这位"～"。

【雪藏】本指冷藏，现多比喻①有意掩藏或保留。如：～主力队员。②搁置不用。如：得罪经纪人的歌手被～。③隐没无闻。如：这家曾颇有名气的民企在～5年后跻身"中国500强企业"。

Y

【亚健康】介于健康与疾病之间的状态。如：沉重的工作压力导致许多白领处于～状态。

【研发】研制开发。如：～新产品。

【研判】研究判断；研究评判。如：～大势。

【养老房屋银行】一种新型的养老模式。老人委托和授权中介将原住房出租，所得租金直接支付养老机构的费用，不用再另付养老费，并且老人能保留原住房产权，避免因养老引起的家庭矛盾。如：据了解，～准备了多种房屋出租方案和租金支付方案。

【窑奴】指在黑煤窑中像奴隶一样工作的矿工。如：随着～陆续被解救，涉案者相继落网，山西黑砖窑事件似乎就要尘埃落定了。

【异化】多指相似或相同的事物逐渐加大差别。如：按摩～为色情服务。

【一头雾水】形容摸不着头脑，糊里糊涂。如：对于他说的话，我是～。

【一塌糊涂】本来用于贬义。现又用于中性或含有积极因素的事情，极言程度深。带幽默意味。如：可爱得～/感动得～。

【蚁族】大学毕业生低收入聚居群体。如：各大城市都存在"～"。

【引爆】指用发火装置使爆炸物爆炸。比喻引发某种热潮或热烈场面。如："歌神"张学友演唱会～泉城。

【映像】用艺术表演的形式和声光电手段展现地方文化风物。如：漓江～/云南～。

【悠客】就是市场经济中先富起来的一群人，敢于放弃辉煌的事业，提前退休，去享受悠闲的生活。如：当个真正的～需要很多钱。

【有聊】"无聊"的仿词。①有意义；有看头。

如：将无聊的轰动效应当～的标新创意，让人大跌眼镜。②充实；不空虚。如：逛超市，将无聊变～。

【鱼浮灵】化学名称是过氧碳酸钠，俗称固体双氧水。过氧碳酸钠在常温下能很快溶于水，并迅速释放氧气。因此，只要往鱼缸里加点鱼浮灵，鱼缸里水的含氧量就会迅速增加。如：这些因缺氧而眼看着就要不行了的鱼，因～的加入而暂时延长了生命。

【月光族】将每月的收入全部消费光的一类人。如：我身边的"～"真不少。

【运作】①（组织、机构等）进行工作；开展活动。如：～方式/资金～。②通过手段利用；操作。有时含贬义。如：～媒体。

【原创】最早创作；首创。如：～作品。

【愿景】所向往的前景。如：共同～。

Z

【斩获】原指战争中斩首与俘获。现比喻竞赛中在奖牌、进球等方面的收获。如：在这场比赛中，双方均无～。

【招优】是按照国家教育部门的要求，示范学校拿出一些名额（招生计划中都有数量）给一些边远地区的普通初中按名额的一定倍数推荐优秀生（即所谓的"推优生"），推优生第一志愿必须报考招优的学校，参加中考后，招优的学校按照预定名额在这些推优生里录取招优生，没被录取的推优生参加统一录取。如：今年全市"～"人数比去年增加了三百多人。

【蒸发】比喻消失。如：他突然从人间～。

【整合】通过调整，重新组合。如：～人力资源。

【知本家】"资本家"的仿词。指利用本身拥有的高新科技知识创造巨大财富的知识性劳动者。如：～的出现显示知识的价值。

【指证】指认并证明。如：目击者～疑犯。

【制衡】相互制约，使保持平衡。如：分权～。

【走班族】城市中步行上下班的人群。如：～为节能减排作出了贡献。

【走秀】指时装表演。如：T台～。

【中央商务区】英文为CBD，意为商业会聚之地，是指一个城市、一个区域的经济活动中心，集中了大量金融、商业、贸易、信息及中介服务机构，拥有商务办公室、酒店等配套设施，具备完善的市政交通与通信条件，便于现代商务活动的场所。如：～主要集中在全球有影响力的中心城市中的一个特定区域。

【重头戏】比喻重要的任务或活动。如：营销是企业的～。

【转型】文化、经济、观念、职业等形态发生转变。如：经济～时期。

【族】现多指具有共同特征或爱好的一类人。如：上班～/工薪～。

【追捧】追逐捧场。比喻事物被认可，身价被抬高。如：大盘蓝筹股受到主流资金的～。

【资质】本指人的素质、智力。现多指企业所具备的从事某项业务活动的资格和能力。如：设计～/～证书。

【自助游】自由选择和安排路线、时间、地点等的旅游方式。如：～是一种时尚的旅游方式。

【作秀】①表演，演出。如：歌星台上～，台下做人。②为促销、竞选进行的宣传活动。如：～竞选。③装样子骗人。如：～的政治家，必是政客。又作"做秀"。

第五部分 句 子

一、词的分类

现代汉语的词可以分为名词、动词、形容词、区别词、数词、量词、代词、副词、介词、连词、助词、语气词、叹词、象声词(拟声词)这几类。(见下表)

名称		意义	词例	说明
实词	名词	表示人或事物	学生、教室、书本	
		表示时间	早晨、明天、夏季	时间名词
		表示方位	东、西、左、前	方位名词
	动词	表示动作、行为	唱、笑、支持、保卫	
		表示发展变化	发展、扩大、提高	
		表示心理活动	喜欢、希望、热爱	
		表示存现消失	有、出现、丧失	
		表示使令	使、请、允许、鼓励	
		表示可能、意愿	能、会、应、肯、要、愿、须	能愿动词
		表示趋向	来、进去、过来	趋向动词
		表示判断	是	判断词
	形容词	表示状态	明媚、娴静、激动、快、忙	(1)多数能直接修饰名词作定语(2)组成"的"字短语后可作主语、宾语
		表示性质	甜、伟大、诚实、好	
		表示形状	高、圆、直、弯	
	区别词	表示事物的属性	慢性、长期、野生、特等、新式、万能	(1)直接修饰名词作定语(2)不能作主语、谓语和宾语(3)一般不能前加否定副词"不"
	数词	表示确数	二、亿、二分之一	
		表示概数	几、许多、三四十	
		表示序数	第一、初二、老大	
	量词	物量词(表示人或事物单位的量)	尺、斤、朵、辆、个、支	用在名词前
		动量词(表示动作行为单位的量)	阵、顿、次、遭、回、趟	用在动词后
	代词	人称代词	我、你、她、大家、自己	
		疑问代词	谁、什么、多少、怎样	
		指示代词	这、那、这样	

续表

名称		意义	词例	说明
虚词	副词	用来修饰动词或者形容词，表示时间、范围、程度、肯定、否定、语气等	表示时间、频率：已经、曾经、刚才、正在、就、将要、快要、马上、立刻、顿时、渐渐、终于、忽然、偶尔、常常、往往、时常、永远、永久、一直、一向、一再、再三、屡次	(1)只能和动词、形容词组合，一般不能和名词组合 (2)多数不能用于单独回答问题 (3)一部分副词有关联作用。如："就""才""也"等
			表示程度：很、挺、更、更加、极、越、极其、非常、十分、最、太、过于、稍微、略微	
			表示范围：都、全都、总、统统、仅仅、只	
			表示重复：连续、又、再、也、还	
			表示语气：可、却、倒、偏、决、难道	
			表示肯定、否定及推测：可能、不、没有、没、必定、必、也许、或许	
	介词	用在名词、代词或者词组前面，与它们组合起来，修饰或补充说明动词等，表示时间、处所、方向、对象等	表示处所、方向：从、自、往、朝、向、到、在、于、由	(1)不能单独使用 (2)不能加时态助词"着""了""过"和表示趋向的动词"来""上""下"等
			表示时间：从、自从、到、在、当、于	
			表示状态、方式：按照、以	
			表示原因：由于	
			表示目的：为、为了、为着、给	
			表示对象、关联：对、对于、关于、至于、连、同、跟、和、与	
			表示比较：比、同、跟、和、与	
			表示排除：除了、除	
	连词	用来连接词、词组或者句子	和、同、跟、当、及、以及、并、并且、而且、而、或、或者、不但、虽然、既然、要是、如果、假使、只要、除非、即使、因为、尽管、不管、不论、于是、可是、但是、然而、况且、所以、因而、因此	只有连接作用，没有修饰作用
	助词	附在别的词、词组或者句子后面，起辅助作用，表示某些附加意义	结构助词：的、地、得、所	(1)独立性最差，意义最不实在 (2)除"所"以外，都念轻声
			动态助词：着、了、过	
			语气助词：呢、吗、吧、啊、罢了	
	语气词	表陈述语气	的、了、吧、呢	语气词放在句尾或句中表示种种语气。有的语气词可以表示不同的语气
		表疑问语气	吗、吧、呢、啊	
		表祈使语气	吧、了、啊	
		表感叹语气	啊	

续表

名称		意义	词例	说明
虚词	叹词	表示感叹或者呼唤、应答等	表示悲伤、痛苦：唉、哎哟	(1)不同别的词发生组合关系 (2)有的单独一个叹词就可以成为一个句子
			表示愤怒、鄙视：呸、哼	
			表示惊讶：哎呀、咦、啊	
			表示呼唤：喂	
			表示应答：嗯、哦	
			表示喜悦：哈哈	
	拟声词	模拟事物的声音	呼、啪、哗啦啦、呜、沙沙、丁丁冬冬、哗、轰隆、乒乓、扑哧	

划分词类的几个问题

(1)怎样区别时间名词与时间副词

①能在前边加上“在”“从”“到”等介词的是时间名词，不能加的是时间副词。如“立刻”“马上”“正在”“早已”“从来”“即将”都不能加，是时间副词；“最近”“现在”“目前”“早上”“从前”“将来”都能加，则是时间名词。

②看能否修饰名词。能修饰名词的是时间名词，不能修饰名词的是时间副词。如能说“刚才的情况”，不能说“刚刚的情况”；能说“过去的报纸”，不能说“曾经的报纸”。这里“刚才”“过去”是时间名词，“刚刚”“曾经”是时间副词。

③看能否受形容词修饰。能受形容词修饰的是时间名词，不能受形容词修饰的是时间副词。如能说“光荣的过去”，不能说“光荣的已经”；能说“幸福的未来”，不能说“幸福的将要”。这里“过去”“未来”是时间名词，“已经”“将要”是时间副词。

(2)怎样区别副词与形容词

副词与形容词都可以修饰动词和形容词，作状语，容易相混，可从下列四方面去辨别：

①形容词能修饰名词，而副词一般不能。如“一致”可以修饰“意见”，“一律”则不能；可以说“突然的想法”，不能说“忽然的想法”“居然的想法”。因此，“一致”“突然”是形容词，“一律”“忽然”“居然”是副词。

②看能否受“很”字修饰。形容词能受“很”字修饰，副词则不能。可以说“很突然”，不能说“很忽然”“很居然”；可以说“很努力”，不能说“很竭力”“很极力”。因此，“突然”“努力”是形容词，“忽然”“居然”“竭力”“极力”是副词。

③形容词可以作谓语，副词不能。

④形容词可以单独回答问题，副词一般不能(“不”例外)。

(3)怎样区别介词与动词

①动词在句中常作谓语，能单独回答问题，介词则不能。如：“他在教室吗?”可回答“在”，“在”是动词；“他在哪儿学习?”不能回答“在”，只能回答“在教室”，“在”是介词。

②动词能重叠，介词不能。如可以说“想想”“说说”，但不能说“于于”“向向”。

③动词可以加“了”“着”“过”这些表动态的助词，介词则不能。

④“给”“在”“往”“由”“朝”“到”“比”“叫”“让”“跟”“用”“靠”“经过”“通过”等是动词、介词兼类，单独充当谓语时是动词，句中如果另有动词作谓语时就是介词。如：

他在北京。(动词)

他在北京学习。(介词)

他2月到北京。(动词)

他2月到北京开会。(介词)

(4)怎样区别介词与连词

"和""跟""同""与"四个词兼属连词和介词,两者的区别是:

①看两边的词或短语能否互换,能互换的为连词,不能互换的为介词。例如:"老师和同学都笑了",可以说成"同学和老师都笑了"。"他整天和人打架",不能说成"人整天和他打架"。前者的"和"为连词,后者的"和"为介词。

②看能否省略或用顿号代替,能的是连词,不能的是介词。例如:"他跟小王都去了","跟"可用顿号代替。"他跟小王谈学习方法","跟"不能用顿号代替。

③介词"和"等可出现在句首,连词不能。

(5)名词、动词、形容词的识别

名词、动词、形容词三类在汉语词汇中数量最多,用途也最广,也最容易混淆。为便于识别,现列表说明如下:

区别点 \ 词类	名词	动词	形容词
能否用数量词修饰	能	不能	
能否用副词"不"修饰	一般不能	能	
能否用副词"没有"修饰	不能	能	不能
能否用副词"很"修饰	一般不能	多数不能	多数能
在句中经常充当何种成分	主、宾	谓语	谓语、状语、定语
作谓语时能否带宾语		绝大多数能	不能

二、短语

词和词组合起来,构成短语(也称词组)。组合不限于两个词,有时是三个或多个词,如"中学语文"是两个词,"中学语文教材"是三个词,"中学语文教材教法"就是四个词。词和词可以按照不同的顺序组合成不同的短语,如"学校管理"和"管理学校";也可以借助不同的虚词组合成不同的短语,如"父亲的母亲"和"父亲和母亲"。

(一)短语的种类

词和词组合成短语,主要有五种类型:并列短语、偏正短语、动宾短语、动补短语和主谓短语。

1. 并列短语

由两个或两个以上的名词、动词或形容词并列组成的短语,词和词之间是平等的联合关系,没有轻重主次之分,这种短语称为并列短语。例如:

报纸杂志　老师和学生　调查研究　唱歌和跳舞

2. 偏正短语

偏正短语是由名词、动词或形容词与在它们前头起限制、修饰作用的词组成的,名词、动词、形容词是中心语。中心语前面起限制、修饰作用的词即定语、状语。定语、状语与中心语的关系是偏和正的关系。例如(用"(　)"表示定语,"[　]"表示状语):

(我的)老师　(清晰的)字迹　(一个)顾客　[激动地]说

3. 动宾短语

有的动词要在后边带上一个受动词支配的词,组成一个短语,才能表达一个明确的意思,这种短语叫做动宾短语。其中受动词支配的词是宾语,表示动作、行为的对象、结果、处所等。例如(用"　　"表示宾语):

吃晚饭　卖豆浆　夸奖我

4. 动补短语

动补短语是由动词和在它后边起补充说明作用的词组成的。起补充说明作用的词是补语,有些补语前头要用结构助词"得",有些补语不用"得"。例如(用"(　)"表示补语):

盛(满)　吓(跑)　洗得(干净)

和动补短语相类似的,还有由形容词和补语组成的短语,补语对形容词表示的性质、状态起补充说明作用。例如:

暗得(很)　大得(多)　冻得(麻木)

5. 主谓短语

两个词之间是陈述和被陈述的关系,这种短语叫主谓短语。例如(用"="表示主语,"—"表示谓语):

养分多　　举止稳重　　天气好

注意:短语可以是实词与实词按一定的语序组合而成,"一定的语序"很重要,它决定了短语的类别,如"会议结束"是主谓短语,而"结束会议"则是动宾短语。短语还可以是两个或两个以上的实词,靠虚词的帮助进行组合,虚词用不用、用什么虚词都很重要。如:"我和爸爸"是并列短语,"我的爸爸"是偏正短语;而"我爸爸"这里虽然没有虚词,但"爸爸"仍是中心语,"我"起限制作用,跟"我的爸爸"等义,所以仍然是偏正短语。

并列短语是由名词+名词或动词+动词、形容词+形容词组成的,词与词之间是平等的,没有轻重主次之分,多数可以颠倒语序使用,如"我和爸爸""爸爸和我"。有个别的并列短语因长期使用,有约定俗成的语序,如"团结、紧张、严肃、活泼",虽然也可用成"紧张、严肃、团结、活泼",但读着觉得生硬,所以尽量保持约定俗成的语序。

使用并列短语,几项并列一定要恰当,并列的词的词性应相同,属类和等级要一致,概念之间不能有包容或交叉关系。例如:

①橘子、苹果和萝卜等水果含有丰富的维生素。(萝卜不是水果,属类不同)

②参加这次会演的大多是地方戏和历史剧。(地方戏可能是历史剧,历史剧也可能是地方戏,概念交叉)

使用偏正短语,一定要注意定语、状语与中心语搭配得当,该用的用,不需要用的不用。如果定语、状语使用不当,会产生表达不确切或啰唆等毛病。例如:

①他们两个人一路同行,一直走到十字路口才互相分手。("互相"多余,因为分手包含"互相"的意思)

②在会上,他积极地听取大家的批评。("积极"与"听取"不能搭配,应将"积极"改为"认真")

动宾短语的前一个词必须是动词,后一个受动词支配的词是名词或者代词。使用动宾短语要注意动词和宾语之间的搭配,如果动宾不搭配,表达就不准确。动宾的搭配往往有一定的习惯性,有时一定的动词习惯上只能同一定的宾语搭配。例如,可以说"履行义务",而不能说"履行任务"。同样,有时一定的宾语习惯上只能和一定的动词相搭配。例如,可以说"保护身体",而不能说"护卫身体"。

(二)结构特殊的短语

1. 方位短语

(1)名词+方位名词　例如:院子西头　春雨中　榕树下　车站旁边

(2)数词+方位名词　例如:三十左右　五十上下

(3)动词+方位名词　例如:讨论前　改革开放后

2. "的"字短语

其他词或短语+"的"　例如:你家的　图书馆的　年长的　小村里的

3. 复指短语

(1)名词+名词　例如:水稻之父袁隆平　(2)代词+名词　例如:我们中学生

(3)代词+代词　例如:他自己　(4)名词短语+名词短语　例如:人民的好总理温家宝

4. 能愿短语

(1)能愿动词+动词　例如:可以看、能够吃、会赶来

(2)能愿动词+形容词　例如:会好、能坚强、应该勇敢

(3)能愿动词+主谓　例如:可能他去了、应该你走

5. 连动短语

动词+动词　例如:去图书馆借书看　去找他问问　打开文件看

6. 兼语短语

动词＋代词＋动词　例如：请他来　派你去

动词＋名词＋动词　例如：命令部下撤退　要军队演习

7. 趋向短语

动词＋趋向动词　例如：唱起来　走过去

8. 介宾短语

(1)介词＋名词　例如：从明天　(2)介词＋代词　例如：在那里

9. 双宾短语

(1)动词＋代词＋名词　例如：告诉我们结果　告诉大家一个好消息

(2)动词＋名词＋名词　例如：发给学生课本

10. 固定短语

例如：中华人民共和国

11. "所"字短语

"所"＋动词　例如：所有　所想　所需要

12. 比况短语

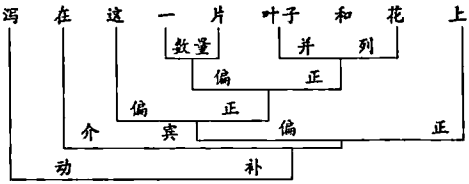
名词＋比况助词　例如：狮子似的　像小老虎似的　跟猫一样(～为比况助词)

(三)短语层次的划分

一个短语如果只有一个层次、一种关系，叫做简单短语。如果把简单短语再逐步扩展，使其含两个或两个以上层次、两种或两种以上关系，就叫复杂短语。分析复杂短语一般有两种方法：一种是由小到大的逐层组合法；一种是由大到小的层层切分法。

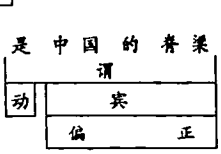
1. 由小到大的逐层组合法

先把短语划分成单个的词，然后把相邻的、关系密切的词组合成简单短语；再将各简单短语与相邻的、关系密切的词或短语组合成复杂一些的短语，这样一层一层地不断组合下去，直到组合成整个短语。如：



2. 由大到小的层层切分法

把一个复杂短语先一分为二，然后把分出来的各部分再一分为二，这样层层切分下去，直到只剩下一个词为止。每切分一次，都会得到两个相邻的语言单位和一种结构关系。如：



三、句子

(一)句子的分类

句子是由词或词组构成的，是具有一定语调并表达一个完整意思的语言运用单位。根据用途和语气，句子可分为陈述句、疑问句、祈使句和感叹句。根据结构可分为单句和复句。单句的类型有主谓句和非主谓句两大类。主谓句又有动词谓语句、形容词谓语句、名词谓语句、主谓谓语句几类；非主谓句又有无主句和独词句两类。复句分为单重复句和多重复句两类。(见右图)

- 句子
  - 按用途和语气分
    - 陈述句
    - 疑问句
    - 祈使句
    - 感叹句
  - 按结构分
    - 单句
      - 主谓句
        - 动词谓语句
        - 形容词谓语句
        - 名词谓语句
        - 主谓谓语句
      - 非主谓句
        - 无主句
        - 独词句
    - 复句
      - 单重复句
      - 多重复句

(二)句子成分

构成句子的词或词组间有一定的语法关系，根据不同的语法关系可分成主语(以"＝"表示)、谓语(以"—"表示)、宾语(以"～"表示)、定语(以"(　)"

表示)、状语(以"[ ]"表示)、补语(以"〈 〉"表示)等几种成分。此外还有独立语(以"△"表示)。句子的基本成分是主语、谓语、宾语。(见下表)

	定　义	例　句	说　明
主语	主语是谓语陈述的对象,指明说的是"什么人"或"什么事物"。	中国人民志气高。 提高技能是培训的目的。 去北大荒的就是他。 辱骂和恐吓绝不是战斗。	常作主语的有:名词、代词、数量词组、联合词组、"的"字结构。 动宾词组、主谓词组、偏正词组、动词、形容词也可作主语。
谓语	谓语是陈述主语的,说明主语"是什么"或"怎么样"。	满天乌云顿时消散了。 树叶黄了。 小王今年16岁。 明天星期日。 什么书他都看。	经常作谓语的有:动词、形容词及由它们组成的联合词组。名词、数量词组、主谓词组也可作谓语。 表示判断的动词"是"和它后边的名词、代词等组成动宾词组作谓语。 名词作谓语限于说明日期、天气等。
宾语	宾语在动词后面,表示动作、行为所涉及的人或事物,回答"谁"或"什么"一类的问题。	什么叫做信息? 门口围着一群看热闹的。 马克思认为知识是进行斗争和为无产阶级解放事业服务的手段。 大会开始辩论。	能作主语的词、词组,一般都能作宾语。最常见的是名词或名词性词组。
定语	定语是名词前面的连带成分,用来修饰、限制名词,表示人或事物的性状、数址、所属等。	(三杯)美酒敬亲人。 雪野中有(血红的)宝珠山茶、(白中隐青的)(单瓣)梅花。 (中国的)历史有(自己的)特点。	除副词外,实词和词组一般都可以作定语。
状语	状语是动词或形容词前面的连带成分,用来修饰、限制动词或形容词,表示动作的状态、方式、时间、处所或程度等。	他[已经]走了。 咱们[北京]见。 歌声[把王老师]带人深沉的回忆。 科学[终于以伟大的不可抑制的力量]战胜了神权。	经常作状语的有:副词、形容词、表时间或处所的名词、助动词以及介词结构。 一般状语紧挨在中心词的前边,但表示时间、处所、目的的名词或介词结构作状语时,可以放在主语的前边。如:[在杭州],我们游览了西湖胜景。
补语	补语是动词或形容词后面的连带成分,一般用来补充说明动作、行为的情况、结果、程度、趋向、时间、处所、数量、性状等。	广大人民干得(热火朝天)。 他写的字比原来不是好(一点),而是好得(多)。 他坐(在桌子旁)。 颜色是那么浓,浓得(好像要流下来似的)。	能作补语的有:动词、形容词、数量词、介词结构和由动词、形容词组成的词组。
独立语	在句子中不与其他成分(主、谓、宾、定、状、补)产生结构关系,但意义上又是全句所必需的,具有相对独立性的一种成分,用来表示称谓,对事物的推测、估计、注释、补充、惊讶、感叹,模拟语气等。	事情明摆着,你看我们能不管吗? △ △ △ △ △ 啊,多么使人心醉的绚丽灿烂的秋色! △ 砰,砰,一阵枪声传来…… △ △	充当独立成分的,有的是一个词,有的是词组。它在句子中的位置比较灵活,有的在句首,有的在句中。

(三)单句

1. 单句的种类

单句是由短语或单个的词构成的句子。可分为主谓句和非主谓句两类。

(1)主谓句

由主谓短语带上一定的语气、语调构成的句子。

主谓句
- 动词谓语句:茶桌擦得滑溜溜的发光。
- 形容词谓语句:他非常健康。
- 名词谓语句:今天星期一。
- 主谓谓语句:他性格温和。

(2)非主谓句

由主谓短语以外的其他短语或单个的词构成的句子。

非主谓句
- 名词非主谓句:飞机!　1950年夏末。
- 动词非主谓句:站住!　有人敲门。
- 形容词非主谓句:好!　漂亮极了。
- 叹词、拟声词非主谓句
  - 哦!(我想起来了。)
  - 呜!(火车的汽笛响了。)

2. 几种特殊的单句

几类主谓句中,动词谓语句复杂多样。在动词谓语句中,有些句式在结构和表达上有些特殊,这些特殊句式有:把字句、被字句、连动句、兼语句、是字句、存现句、双宾句。

(1)把字句

把字句是主动句的一种。句中谓语一般都是及物动词,而且不能是单个的动词,应当是短语或动词的重叠形式。如:

汉武帝时期,汉王朝已把它的势力远远推到阴山以北的地方。

他把来人打量了打量,冷冷地说:"下去吧!"

(2)被字句

被字句是被动句,是主语接受动作的句子。被动句中的主语是受事者,由介词"被"引出主动者,构成的介宾短语在句中作状语。如:

整个广场[被我们]装饰一新。

有时句中只有介词"被",没有主动者("被"的宾语)。如:

在罗马鲜花广场上,布鲁诺[被]活活烧死了。

把字句和被字句的典型结构都是:"主语+状语+动词+补语"。口语中常用"叫""让""给"来代替"被"。

(3)连动句

连动句是用连动短语充当谓语的句子。如:

他搜集着一片片的干苔藓烧水喝。(目的)

凭着他的求生的意志,他还是挣扎着蠕动爬行。(方式)

那勇敢的母亲在极端着急的情况下,抓住了狼耳朵骑到狼背上。(顺承)

由于长期劳累过度,李老师生病住院了。(因果)

判断一个句子是不是连动句,要抓住三点:一是必须有两个动词连用,共同陈述一个主语;二是两个动词短语在意义上有目的和方式、原因和结果、先和后的关系,位置不能互换;三是两个动词短语中间不能有语意停顿。

(4)兼语句

兼语句是用兼语短语充当谓语的句子。它有下列特点:

第一,兼语句的谓语是由动宾短语套接主谓短语构成的,动宾短语的宾语兼作主谓短语的主语。如:

母亲叫闰土坐。

既作"叫"的宾语又作"坐"的主语的词"闰土",因一身兼二任,所以叫做兼语,用"≋"表示。

第二，兼语句多有使令的意思，所以句中的前一个谓语多由使令动词充当。常见的使令动词有“使”“让”“叫”“派”“命令”“吩咐”“禁止”“请求”“选举”“教”“劝”“号召”等。此外，前一个谓语也可以是“有”字。如：

大家一致选小萍做代表。　　我有个弟弟今年考大学。

第三，兼语句中兼语的谓语（第二个动词）是前边动作所要达到的目的或产生的结果，即兼语前后两个动词在语义上有一定联系。如：

护士叫他快去请大夫。（“去请大夫”是“叫他”的目的）

这不由得使我们想起松树的崇高的风格。（句中兼语的谓语“想起”是前一个动词“使”的结果）

连动句，可以连续叙述一个人的几个动作；兼语句，则可以连续叙述几个人的几个动作。连动句可以扩展，连动套接兼语；兼语句也可以扩展，兼语套接连动。如：

叔叔打电话叫我去。　　妈妈禁止小妹骑车乱闯。

(5)是字句

是字句专指由动词“是”构成的判断句或否定判断句。在是字句中，“是”的作用是判断主语和宾语的关系。主语和宾语有两种关系：一是同一关系，二是从属关系。

同一关系就是对等关系，即“甲是乙”或“甲不是乙”。如：

正方形是四条边等长、四个角相等的四边形。　　那个戴帽子的不是我父亲。

从属关系是指主语属于宾语，即宾语是一个大类，主语是或不是其中之一。如：

《读者文摘》是杂志。　　王红不是三好学生。

(6)存现句

存现句是表示人、事物存在或出现、消失的句子。存现句的特点有三：

第一，主语常是处所词或时间词。如：

门口站着两个兵。　　台上坐着主席团。

第二，存现句的谓语多是表示存在、产生、消失的动词，即不表示动作，只表示动作产生的状态的持续。如：

海上升起了一轮明月。（表示出现）　　到处是欢乐的人群。（表示存在）

第三，存现句的宾语往往是动作的发出者，因此有的存现句可以转换为一般主谓句。如：

门口站着两个兵——两个兵在门口站着。　　台上坐着主席团——主席团在台上坐着。

(7)双宾句

动词之后先后出现近宾语、远宾语两层宾语，并且两个宾语之间没有结构关系的句子是双宾句。特点有三个：

第一，动词要有“给予、接受、询问、称说”等意义；

第二，近宾语指人或人的等价物，远宾语一般指物，也可指人或事；

第三，双宾句有的可变换为非双宾句同义句，多数用介词将远宾语或近宾语提前。如：

他告诉我一个好消息。　　大家叫她祥林嫂。

注意：兼语句和双宾句的区别：

兼语句由一个动宾短语与一个主谓短语套叠起来充当谓语；双宾句是句子的动词后带两个宾语。如：

老师教我们英语。（双宾句）　　老师教我们学英语。（兼语句）

3. 单句的附属成分

附属成分不与句中任何别的成分发生结构关系，在句中的位置往往也不固定。主要有以下几种：

(1)插入语

①在句中引起对方注意的。这类插入语有“你看”“你听”“你想想”“大家看看”“请看”等。如：

大家看，他多刻苦啊！

②表示对情况推测的。这类插入语有“据我看”“看样子”“说不定”“看起来”等。如：

看样子，天要晴了。

③表示消息的来源、说法的依据，或表示对某件事情的分析的。这类插入语有“据说”“相传”“一般来说”等。如：

据说，郝老师不教我们班了。

④表示强调、包括、举例、解释或在句子前头起关联作用的。这类插入语有“尤其是……”“包括……”“例如……”“这就是”“首先”“总而言之”等。如：

所有的报纸，包括《人民日报》，都应重视这个问题。

书写时，插入语的前后一般要有逗号。

(2)呼应语

表示招呼、答应等语气。如：

唉唉，我们的阿毛如果还在，也就有这么大了……

(3)拟声语

独立用象声词模拟事物发出的声音。如：

满园子都是草木竞相生长弄出的响动，窸窸窣窣，片刻不息。

轰隆隆，轰隆隆！我们的大炮开始还击了。

4. 复杂单句分析

一个单句的各个成分都由词来充当，这个单句就简单；如果由复杂短语充当句子的某一个或某几个成分，单句就复杂了，这就是结构复杂的单句。它和复杂短语的道理是一样的。

复杂单句概括起来说有两大类：

(1)单句的主干由短语或复杂短语来充当。如：

(白求恩同志毫不利己专门利人的)精神鼓舞着我们。(主语由偏正短语充当)

他们是世界上一切伟大人民的优秀之花。(宾语由偏正短语充当)

(2)单句的附加成分复杂化。如：

这是(我的老朋友)的作品。(定语由偏正短语充当)

[1949年10月1日]，毛主席[在天安门城楼上向全世界庄严]宣告：“中华人民共和国成立了！”(状语由多个短语充当)

我们的同学来(自全国各地)。(补语由介宾短语充当)

还有的句子由复句结构充当了句子成分。如：

我相信，雷锋的榜样不仅给我们指出了正确的生活道路，而且增强了我们同一切旧思想、旧习惯坚决斗争的勇气。(宾语由递进复句充当)

分析复杂单句，须先找出主干。单句的主干是指把句中所有的定语、状语、补语都压缩掉以后剩下的部分，也就是主语(或主语的中心语)+谓语(或谓语的中心语)+宾语(或宾语的中心语)。分析句子的具体步骤如下：

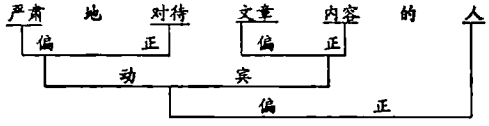
第一步，用“‖”界分主谓句的主语和谓语。“‖”之前是主语部分，“‖”之后是谓语部分。

第二步，再分别分析“‖”前的主语部分和“‖”后的谓语部分。如：

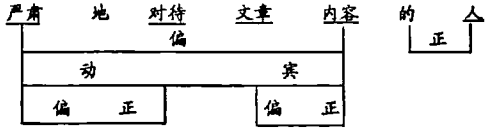
①(鲁迅先生的第一个)特点‖是(他的政治)远见。

②(严肃地对待文章内容)的人‖[一定也在文章形式方面]提出(严格)的要求。

一般情况下，句子分析到此就可以了。如果某一成分是个复杂短语(如例②的主语)，还可以用框式图解法进行再分析。如：



以上分析与分析短语一样，是用由小到大的层层组合法分析的。也可以用由大到小的层层切分法。如：



分析句子，明确句子结构，不但可以更好地理解句意，同时也能够检查出成分之间搭配是否合适，句子结构是否完整等。

（四）复句

1. 复句类型

由两个或两个以上意义紧密联系、结构相互独立的单句即分句组成的句子称为复句。复句有多种类型，不同类型的复句要使用不同的关联词。

（1）联合关系的复句

联合关系的复句是指分句之间的地位不分主从，几个分句意思的轻重大致是相当的。它有以下几种形式：

①并列复句　由两个或两个以上的分句并列组合而成的，叙述相关的几件事情或说明相关的几种情况，分句之间没有主次之分。常用的关联词语有“既A，又B”“不是A，而是B”“也A，也B”“一方面A，一方面B”。例如：

单丝不成线，独木不成林。　　不是意识决定存在，而是存在决定意识。

②选择复句　几个分句分别说出几种情况，要求从中选择一种，表示或此或彼、非此即彼、与其这样不如那样等意思。常用的关联词语有“或者（或）A，或者（或）B”“不是A，就是B”“是A，还是B”“与其A，不如B”。例如：

不在沉默中爆发，就在沉默中灭亡。　　文章与其长而空，倒不如短而精。

③递进复句　由两个有递进关系的分句组成，后一个分句表示的意思比前一个分句进了一层。常用的关联词语有“不但（不光、不只、不仅）A，而且（还、又）B”“而且”“并且”“尚且A，何况B”“别说A，就连（就是）B”。例如：

他不仅学习好，而且工作好，尤其是思想好。

老年人尚且有那么大的干劲，何况我们青年人呢？

④承接复句　也称顺承复句、承接复句。几个分句表示连续发生的事情或动作，彼此顺序不能变动。常用的关联词语有“A，于是B”“A，然后B”“A，接着B”“A，便B”。例如：

他们俩手拉着手，穿过树林，翻过山头，回到草房。

她进入这个世界，便奉献给这个世界以真诚。

⑤解说复句　分句之间具有解释、说明或总分的关系。它包括两种情形：一是后句解释前句，是后面分句对前面分句中的主语或宾语进行解释或说明。分句之间常用冒号表示停顿，有时使用“就是、那就是、就是说、换句话说”等关联词语。例如：

我的秘诀其实很简单：千万不要让脑筋懒惰，脑筋要永远不停地思考问题。

在中国九百六十万平方公里的版图上，有一块小小的、羊头状的地方：那就是豫中平原了。

二是总说或分说关系，这种复句常用数量短语作为分句之间的关联词语。它有先总说后分说（前面分句先提出一件事情或一种情况，后面的分句分别述说该事件或情况的几个方面或组成部分）和先分述后总说（前面分句先分别述说一件事情或一种情况的几个方面或组成部分，后面分句进行总括）两种形式。例如：

恩格斯认为人对生活的要求有三种不同层次：一是生存，二是享受，三是发展。（先总说后分说）

一种是教条主义，一种是经验主观主义；两种都是主观主义。（先分述后总说）

（2）主从关系的复句

主从关系复句是指分句间的地位有主有从，分句中有一句的意思是主要的。它有以下几种形式：

①因果复句　由两个有因果关系的分句组成，分句之间是原因和结果的关系。常用的关联词语有“因为A，所以B”“既然A，就（那么）B”“因此”等。例如：

他因为有坚定的信念，所以遇到困难从不气馁。

②目的复句　由两个有目的关系的分句组成，前一个分句表示一种行为，后一个分句表示这种

行为的目的。常用的关联词语有“为了”“为的是”“以免”“省得”等。例如：

你快让他去，以免他闹情绪。　　麻烦你把这本书捎给他，省得我再跑一趟。

③转折复句　由两个有转折关系的分句组成，后一个分句的意思不是顺着前一个分句的意思说下去，而是来一个转折，转到相反的意思上去。常用的关联词语有：“虽然A，但是B”“A，不过B”“可是”“然而”“却”等。例如：

自然是伟大的，然而人类更伟大。　　争论是常常有的，不过这种争论纯粹是关于创作的。

④条件复句　由两个有条件关系的分句组成，前一个分句提出一个条件，后一个分句说明在这种条件下产生的结果。常用的关联词语有“只要A，就B”“只有（除非）A，才B”“无论（任凭）A，都（也）B”等。例如：

只有党风正，才能事业兴。　　除非是到了春天，你才能看到这遍山的杜鹃花。

⑤假设复句　由两个有假设关系的分句组成，前一个分句假设存在或出现某种情况，后一个分句说明由这种假设的情况产生的结果。常用的关联词语有“如果（倘若）A，就（那么）B”“假如”“假使”“假若”“要是”等。例如：

假如产品质量不好，数量再多，也没有使用价值。　　要是几天不回去看看女儿，他就心慌意乱，什么事也干不成！

⑥让步复句　前一分句提出一种假设的事实，并且退一步承认这种假设的真实性，后一分句转而述说相反或相对的意思。常用的关联词语有“也、还”“即使（即便、就是、就算、纵使、纵然、哪怕）……也（还）”“再……也”。假如：

你再怎么哀求，也难以打动那些人的铁石心肠。

即使没人提醒，你也应该时时严格要求自己。

2. 紧缩句

紧缩句是用单句形式表达复句内容的一种特殊句式，它虽属于复句范畴，但又不同于复句。紧缩句并非都可以还原为复句形式，如：“他越说越快。”所以说，紧缩句虽然表达复句的内容，但并非一定由复句紧缩而成，它也不宜称作复句的紧缩形式或紧缩复句，它只是一种特殊的句式——紧缩句。

紧缩句常见的固定格式有：“A就B”“一A就B”“再A也B”“不A也B”“非A不B”“不A不B”“越A越B”。如下表：

	关联词	关　系	例　句
成对关联词语	不……不……	假设	不问不开口。
	非……不……	条件	非去不可。
	不……也……	假设	不看也会。
	再……也……	假设	再说也没有用。
	一……就……	顺承或条件	一学就会。
单个关联词语	才	条件	无私才能无畏。
	都	条件	在哪儿你都要好好工作。
	又	并列、转折	看了又看。/想笑又不敢笑。
	就	条件或因果	有手你就要工作。
	也	转折	条件不好也干出了成绩。
	再	顺承	做了一个再做一个。
	因为	因果	他因为下雨不能来。
没有关联词语		假设	人勤地不懒。
		选择或转折	争气不争财。
		顺承	雨过天晴。

3. 多重复句

多重复句是指分句之间的关系在两个层次以上的复句。

分析多重复句的层次和关系，可采用"画线法"，用"|"画出第一层，并注明关系；用"‖"画出第二层，并注明关系；依此类推。

分析多重复句的步骤：第一步要统观全局，从总体上分析，找出全句第一层的有关分句，弄清分句之间的关系；第二步再对第一层的各个分句作分析，看它们是不是复句，如果是复句，再找出构成这个复句的分句，弄清它们之间的关系，这便是第二层；其余依此类推，直至分析到所有的分句都是单句为止。

分析多重复句，一看关联词语，二看分号，三看逻辑关系。

(1)看关联词语　关联词语是分句间语法结构的标志。分析复句时，要先找出关联词语，弄清它们之间的搭配情况以及所关涉的对象、范围，然后确定分句之间的关系和层次。例如：

只有烟枪和烟灯，虽然形式和印度、波斯，阿剌伯的烟具都不同，‖(因果)确可以算是一种国粹，‖(并列)倘使背着周游世界，‖(假设)一定会有人看，|(转折)但我想，除了送一点进博物馆之外，其余的是大可以毁掉的了。

加点的均为关联词语，关涉全句的是"虽然……但……"，此即为第一层。其余类推。要注意：有的成对使用的关联词语可略去其一，例如与"倘使"配用的"就"省略了；不可把句子成分当成分句，例如"烟灯"和"烟枪"是一分句的主语，"我想"是插入语，"除了……之外"是一分句的状语。

(2)看分号　在多重复句中，分号有标示第一层次的作用。例如：

他的父亲是开锡箔店的；|(并列)听说现在自己已经做了店主，‖(递进)而且快要升到绅士的地位了。

该句一说"他的父亲"，一说"他自己"，用分号表层次。

(3)看逻辑关系　有的复句没有关联词语，或通常成对使用的关联词语只出现一个，就应看其逻辑关系。例如：

说你行，‖(条件)你就行，‖(因果)不行也行；|(并列)说不行，‖(条件)就不行，‖(因果)行也不行。

这种语意上的逻辑关系，须仔细体察句意，否则容易产生错误的理解。如上句中"说你行"与"你就行"之间，粗看似乎是假设关系，仔细揣摩，方知应是条件关系。因为"说你行"不强调假设，而强调条件。

(五)句群

句群是由句子组合而成的，它是汉语里最大的一级语言使用单位。组成句群的句子在语意上前后衔接连贯，从几个方面共同说明一个中心语意。句群中句与句之间的组合方式基本上和复句相同。

1. 句群的特点

第一，构成句群的是单句或复句。每个句子以句号或叹号或问号等标点为标志。一个复句无论多么复杂，无论多么长，也只是一个句子而不是句群。一个句群至少要有两个句子。如：

(1)①风，更猛了。②雪，更大了。

第二，构成句群的几个句子之间有一定的逻辑关系。它们不是任意摆放的，而是靠一定的语法手段(或靠语序，或靠关联词语)组合起来的。如：

(2)①就在雪的群峰的围绕中，一片奇丽的千里牧场展现在你的眼前。②墨绿的原始森林和鲜艳的野花，给这辽阔的千里牧场镶上了双重富丽的花边。③牧场上长着一色青翠的酥油草，清清的溪水齐着两岸的草丛在漫流。④无边的草原是这样平展，就像风平浪静的海洋。

例(2)四个句子描写天山雪峰中的千里牧场，是靠语序组合的。

第三，一个句群有一个中心语意。句群中的句子从不同的角度表达中心语意。有的句群有表达中心语意的句子，叫中心句，如例(2)中的第①句。

2. 句群的类型(见下表)

名称	构成	举例
并列句群	由两个或两个以上有并列关系的句子构成	一事不做,凭空设想,那是空想。不动脑筋,埋头苦干,那是"死做"。
连贯句群	由两个或两个以上有连贯关系的句子构成	天空的霞光渐渐地淡下去了,深红的颜色变成了绯红,绯红又变为浅红。最后,当这一切红光都消失了的时候,那突然显得高而远的天空,则呈现出一片肃穆的神色。
选择句群	由两个或两个以上有选择关系的句子构成	是站在他们的前头领导他们呢?还是站在他们的后头指手画脚地批评他们呢?还是站在他们的对面反对他们呢?
解说句群	由两个或两个以上有解说关系的句子构成	战国时代的孟子,有几句很好的话:"富贵不能淫,贫贱不能移,威武不能屈,此之谓大丈夫。"意思是说,高官厚禄收买不了,贫穷困苦折磨不了,强暴武力威胁不了,这就是所谓大丈夫。
递进句群	由两个有递进关系的句子组成	我这时突然感到一种异样的感觉,觉得他满身灰尘的后影,刹时高大了,而且愈走愈大,须仰视才见。而且他对于我,渐渐的又几乎变成一种威压,甚而至于要榨出皮袍下面藏着的"小"来。
转折句群	由两个有转折关系的句子构成	他们的文化程度并不很高,发言也没有稿子。可是他们说的有思想,有感情,语言生动感人。
因果句群	由两个有因果关系的句子构成	在义理、考据、辞章这三者中,义理应当是灵魂,是统帅。因为形式是为内容服务的,而材料是要由观点来统率的。
条件句群	由两个有条件关系的句子构成	无论正确也好、鲜明、生动也好,就语言方面来讲,字眼儿总要用得恰如其分。这样,表达的概念才会准确,也才能使人感到鲜明。
假设句群	由两个或两个以上有假设关系的句子构成	你对于那个问题不能解决吗?那么,你就调查那个问题的现状和它的历史吧!
目的句群	由两个或两个以上有目的关系的句子构成	我们从去年开始一系列试验的目的是什么?就是要研究出一种能溶解这种物质的溶剂。

3. 句群和段

句群和段不是一个范畴的概念。句群是语法概念,指共同表示一个中心语意的一组句子;段是从文章结构的角度讲的,它是组成文章的一部分。但是句群有时也和文章的段重合。例如:

(3)说起野花,也是海岛的特色。春天有野迎春。夏天太阳一西斜,漫山漫坡是一片黄花,散发一股清爽的香味。黄花丛里,有时会挺起一枝火焰般的野百合。凉风一起,蝈蝈叫了,你就会闻到野菊花那股极浓的药香。到冬天,草黄了,花也完了,天上却散下花来,于是满山就铺上一层耀眼的雪花。

例(3)是一个句群,也恰好是一个段落。有时段落比句群大,即一个段落可能有不止一个句群。例如:

(4)①当那连绵的雨雪将要来临的时候,卷云在聚集着,天空渐渐出现一层薄云,仿佛蒙上了白色的绸幕。②这种云叫卷层云。③卷层云慢慢地向前推进,天气就将转阴。④接着,云层越来越低,越来越厚,隔了云看太阳或月亮,就像隔了一层毛玻璃,朦胧不清。⑤这时卷层云已经改名换姓,该叫它高层云了。⑥出现了高层云,往往在几个钟头内便要下雨或者下雪。⑦最后,云压得更低,变得更厚,太阳和月亮都躲藏了起来,天空被暗灰色的云块密密层层地布满了。⑧这种云叫雨层云。⑨雨层云一形成,连绵不断的雨雪也就降临了。

这一段文字有三个句群。①②③是第一个句群,讲卷层云;④⑤⑥是第二个句群,讲高层云;⑦⑧⑨是第三个句群,讲雨层云。三个句群之间的关联词语是"接着""最后"。这是段大于句群的情况。也有时段小于句群。例如:

(5)我爱秋天。

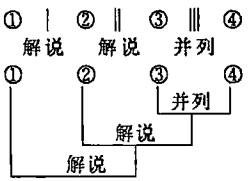
我爱我们这个时代的秋天。

我愿这大好秋色永驻人间。

4. 句群的分析

句群的层次和内部关系基本上和复句一致。句群有一重句群、二重句群、多重句群之分；句群的内部也有并列、承接、递进、选择、转折、假设、条件、因果、目的、解说等关系。分析句群的内部关系，可以比照多重复句的分析。例如：

(6)①世界上万事万物都永远在那儿运动、变化、发展，语言也是这样。②语言的变化，短时间内不容易觉察，日子长了就显出来了。③比如宋朝的朱熹，他曾经给《论语》做过注解，可是假如当孔子正在跟颜回、子路他们谈话的时候，朱熹闯了进去，管保他们讲什么，他是一句也听不懂的。④不光是古代的话后世的人听不懂，同一种语言在不同的地方经历着不同的变化，久而久之也会使这个地方的人听不懂那个地方的话，形成许许多多方言。



这个句群由四个句子构成。第①句总说，是中心句。第③④句解说第②句，第②③④句解说第①句。可以用右面两种图表示(①②③④分别代表次第排列的句子)：

四、辨析并修改病句

《考试大纲》要求"辨析并修改病句"，就是要求我们写作、说话不要有病句，要能辨识并修改病句。

所谓病句，就是有毛病的句子。凡是违反语法结构规律或客观事理的句子都是病句，前者叫语法病句，后者叫逻辑病句。

(一)辨析病句的方法

辨析病句的方法主要有以下几种：

(1)语感直觉辨析法　凭借语言经验，对语句是否有语病直接作出判断，就叫语感直觉辨析法。运用这种方法，靠的是语言经验的积累和在经验基础上对语法模式的直觉反应。对于结构比较简单、语病比较明显的句子，语感直觉辨析法是一种快捷而有效的方法。听到或读到一段话，觉得它不顺畅、不符合一般语言习惯，就可以断定它有语病。然后反复把这个句子读几遍，仔细体会，感觉就更清楚了，究竟哪儿不对也基本明确了。

语感直觉辨析法是一种最基本的辨析法，因为对句子进行语病辨识，第一步都是凭语感去"扫描"，初步作出正误判断，然后才是更进一步的分析和修改。例如：

出了名的陈银儿最终从一个优秀企业家堕落成为行贿狂的罪人。

这句话，凭语感就觉得很别扭，"行贿狂的罪人"不符合一般语言习惯，因为，一般只说"杀人狂"，不说"杀人狂的罪人"。这样，就可以初步断定，此句是个病句，毛病出在"行贿狂的罪人"这个说法上。在语感辨析的基础上，再对这个病句的病因作进一步的分析。这个句子，在语法上并没有毛病，而是在语意上犯了赘余的错误："行贿狂"已含有"罪犯"的意思，再加上"罪人"就多余了。

(2)主干成分辨析法　主干成分，指句子的基本成分，即主语中心语、谓语中心语、宾语中心语。主干成分是相对于句中的修饰限制性成分、补充说明性成分而言的。在运用语感直觉辨析法对句子进行初步检查后，要作进一步的辨析，就要对句子作语法分析。分析出句子的主语、谓语、宾语等成分之后，把这些成分中的修饰限制性成分先略去，提取出主干成分进行辨析，这就是主干成分辨析法。在对主干成分进行辨析时，要注意两方面的问题：第一，应该有的主干成分句子中有没有，即主干成分有无残缺；第二，主干成分之间在语法上和语意上能不能搭配，即有没有主谓、动宾、主宾搭配不当的问题。例如：

在万里长城的各个游览点上，每天吸引着数以万计的旅游者。

提取出这个句子的主干成分："……吸引……旅游者"。不难发现，这个句子有主语残缺的毛病，什么"吸引"了"旅游者"呢？本该作主语的"万里长城的各个游览点"却被装在"在……上"的介词框架中，作了句子的状语。只有去掉"在……上"，才能使句子的主干成分完整。又如：

我国每年因基本建设质量问题出现重大损失。

提取出这个句子的主干"我国……出现……损失",可以发现"出现……损失"动宾搭配不当。一般只说"造成……损失""遭受……损失",不说"出现……损失"。因此,上句中的"出现"应改为"遭受"。

(3)枝叶成分辨析法　枝叶成分,指句子的修饰限制性成分和补充说明性成分,即定语、状语、补语等。在检查了句子的主干成分之后,要接着对句子的枝叶成分进行辨析。辨析枝叶成分时,要特别注意从语意上去考察定语、状语、补语等对中心语的修饰限制恰当不恰当,严密不严密。因为枝叶成分从语法上说并不是必不可少的,但在语意上则是十分重要的。换句话说,辨析枝叶成分,重点是辨析有没有定中、状中或中补搭配不当的问题,有没有定语、状语或补语残缺的问题。例如:

列车经过长江在一桥发生"哐哐""哐哐"的声音将消除。

在检查确定这个句子的主干"声音……消除"没有问题后,开始辨析这个句子的枝叶成分。这个句子的主语"声音"有两个定语,第一个定语"列车经过长江……(的声音)",有成分残缺的错误,"列车"经过的是"长江大桥",而不是"长江",要在定语中补上"大桥",这个定语语意才严密。第二个定语"在一桥发生'哐哐''哐哐'(的声音)"有不止一处错误。其一,"在一桥"说不通,因为句中的"一桥"是"满桥"的意思,在表示这个意思的"一桥"前不能加介词,"在一桥"应改为"满桥"。其二,"发生"不能修饰"声音","发生……(的声音)"有搭配不当的错误,"发生"应改为"发出"。其三,在把"发生"改为"发出"后,还应在"发出"后加上一个"的",否则"发出……声音"会被误解为动宾短语,整个句子就不通了。

(4)呼应成分辨析法　呼应成分,这里主要指起关联作用的前后呼应成分和起构成固定框架作用的前后呼应成分。在检查了句子的主干、枝叶成分后,应对句中的呼应成分进行专门检查,因为这些成分往往前后跨越几个句法成分而遥相呼应,不做专门检查,就不容易发现它们在呼应搭配上的问题。尤其是复句中的关联词语,分别穿插在不同的分句里,不做"瞻前顾后"的检查,就很容易忽略了它们搭配上的错误。例如:

这种模式,既稳定了农户与土地的承包关系,而且促进了适度的规模经营。

这是一个复句,其分句的主干、枝叶成分都没有毛病,但若抽出连接两个分句的关联词,检查它们的呼应搭配情况,就会发现"既……而且……"有问题。"既"只能与"也""又"等表示并列关系的词呼应搭配。上句中的"既……而且……"要么改成"既……又……",要么改成"不但……而且……"。

(5)排除辨析法　排除辨析法是一种不对句子的主干成分、枝叶成分等作句法分析,而从前往后检查的方法。在检查中,逐步排除那些没有语病的成分,对最后剩下的有问题的部分进行分析。使用排除法,要注意一个成分与它前后成分的搭配关系,如果一个成分与它前后的成分都有搭配关系,要分别把这个成分与它前后的成分连在一起考察,然后再作出正误判断。例如:

几天前,人们用一种平静的、带着些许不服气的眼光目送中国女排夺得亚军而去。

采用排除法检查这个句子,就是顺着先后出现的句子成分,逐一查去。"几天前"这个状语没问题,"人们""用""一种""平静的、带着些许不服气的""眼光""目送"也都没有问题,"(目送)中国女排夺得亚军而去"这里就有问题了。"目送"的宾语中有两个动作:"夺得亚军""去"。"目送"中国女排离去说得通,"目送"中国女排"夺得亚军"就说不通了,这里有动宾搭配不当的问题。"目送"的宾语可改为"夺得亚军的中国女排离去"。

(6)类比辨析法　类比辨析法是仿照自己拿不准正误的句子,造出一组类似的句子,看看它们能不能成立,以此判定被检查的句子是不是病句的方法。对于一些似是而非、正误不易分辨的句子,可以采用这种检查法。例如:

围墙用的是红砖砌的。

这个句子读起来有点儿别扭,但似乎也可以这样说,到底有没有语病,拿不太准。我们可用类比法检查一下,仿照上句造出一组句子来:

桌子用的是红木做的。　文章用的是英语写的。　衣服用的是毛线打的。

这一组仿造出来的句子都很别扭,都不能成立,这说明例句是病句。一般的说法是"桌子是用红

木做的""文章是用英语写的""衣服是用毛线打的",所以例句应改为"围墙是用红砖砌的"。又如:

这个经验值得文教工作者特别是中小学教师的重视。

这个句子结构复杂,先压缩简化为"这值得××的重视",再比照它的结构造句:"这值得他们的学习。""这值得我们的参观。"

这两个句子和日常说法相比多了一个"的"字,要将原句中的"的"去掉。

运用类比辨析法,要注意仿造出来的句子在结构上与例句一致,各成分的词性要相同,关键的词语、重要的虚词都要与例句模式相同,这样才能保证类比检查得出的结论正确。

(二)检查病句应注意的问题

要想对句子作恰如其分的分析,准确无误地找出句子存在的毛病,在检查句子时,应特别注意以下几点:

第一,语言规范是社会约定俗成的,一种表达方式对不对,要看它是否符合大多数人的语言习惯。语法是人们语言习惯的概括和阐释,因此语法的要求是与社会约定俗成的习惯一致的。符合社会习惯,则符合语法规则,是规范的语言,否则就是病句。有些说法,虽然表面上不合事理,但人们习惯了这样说,习惯了对这种说法作合乎逻辑的理解,这就是规范说法,没有语病。

第二,语言的规范是发展的,这是由语言本身的发展变化决定的。过去普遍使用的表达方法,现在不用了,或某种被少数人创造出来的新用法逐渐为大众接受了,都会使语言的规范发生变化。例如20世纪30年代,书面语中表示定中关系的结构助词写作"底",因此,"我底女儿"是规范用法,现在要是也这样写,就不规范了。改革开放前,动宾结构再带宾语的用法很少见,现在,这种用法却流行起来了。比如:"讲学中南海""拆封高考试卷"等等。对这样的语言现象,要慎重对待,不可轻易判它们为病句。一种迅速流行开的表达方法,自有其符合社会发展需要的合理因素,如果社会最终普遍接受了这种说法,它就成了一种新的规范。对这类语言现象,应关注它、分析研究它,不要过早地对它下结论。

第三,判断一种新的语言现象是积极的还是消极的,要考察它是否符合语言自身的发展规律,是否顺应了社会发展的需要。例如,对动宾结构再带宾语的新用法进行分析,可以看到,它符合汉语的词由单音节向双音节发展的规律,而且及时满足了当代社会信息传播简洁明快的要求,如把"向美国队挑战"说成"挑战美国队",减掉介词"向",改状中短语为动宾短语,句子更精练有力。这也是这种用法大多出现在惜墨如金的广告语、标语类传媒语言中的原因。对这种积极的语言现象,就不能轻率判为病句,最好多观察些时间再下结论。

第四,判断一种说法有没有语病,必须联系语境来考察。有些语句孤立地看很别扭,不成立,但在特定的语境中,有前言后语的铺垫,这样说就很自然合理了。例如"他馒头",孤立地看说不通,但在"二位吃什么?""我面条,他馒头"中,就很自然了。一些具有修辞意义的用法,离开了特定的语境,就失去了合理存在的依据,所以检查病句不能脱离具体的语境。

(三)常见病句类型

Ⅰ.语法错误

1.词语用错

(1)词类误用　即把甲类词用成了乙类词。包括名词误用、动词误用、形容词误用、副词误用、不及物动词误用(用成了及物动词)等。如:

①他非常生气自己不小心。

其中"生气"是不及物动词,不能带宾语,应改为"痛恨"或"后悔"等。

②父亲说这句话,花了好长时间,长得让我感到心曲。

"心曲"是名词,指"内心"或"心事"。例如"乱我心曲""心曲一解"。"心曲"在上例中被误作了形容词,作了谓语,对"我"的心情进行表述。根据上文的意思,"心曲"应改为"心酸"。

③"世界女飞人挑战赛"引起了各方广泛关注。但透过表面的轰动效应,人们又不得不对这场激战的实质产生质疑。

"质疑"是动词，意思是"提出疑问"。"产生质疑"说不通，"质疑"应改为名词"疑问"。另外，例句中的"不得不"应删去。

(2)介词用错　这里着重介绍最容易用错的"把""对""对于""关于""被"五个介词。

把

"把"字句中的主要动词必须是及物动词，而且能够支配"把"的宾语。例如"把信寄了"，动词"寄"可以支配"把"的宾语"信"，因为可以说"寄信"。又如："我们多么需要有更多的老师像高老师这样，把'差班'的纪律整顿好，把'慢班'的学习提高……""把'慢班'的学习提高"一句中的"提高"，不能支配"学习"，我们不能说"提高学习"。可以改为"把'慢班'的学习成绩提高上来"，或"把'慢班'的学习搞好"。

"把"后面只能带名词性结构，而不能带主谓结构。例如："我把各单位没东西可捎向他讲了一遍，肖处长听了不大满意……""各单位没东西可捎"是一个主谓结构，用在这里不通顺，应在"没东西可捎"的后面加"的情况"，这样整个句子就通畅了。

"把"字句中主要动词前边或后边总有一些别的成分，往往不能是一个单独动词。例如，可以说"把门关上""把门关好"，不能说"把门关"。又如："对于这项工作，领导没有一抓到底，把问题解决。"这个句子，"解决"的前边或后边缺少一些成分，不合乎"把"字句的要求，所以要在"解决"的后边加上"好"。

在"把"字句中，助动词(会、应该、能、可以……)或否定词(不、没有、未曾……)要放在"把"字前边，不能放在"把"字后边。只能说"应该把问题弄清楚""没把问题弄清楚"，不能说"把问题应该弄清楚""把问题没弄清楚"。

滥用"把"字，会使得整个句子找不到主语。例如："把他们的言论和行动对于革命人民来说，倒的确是不可多得的反面教材。"这个句子找不到主语，"言论和行动"因前边有介词"把"，便失去了作主语的资格，故应将"把"字去掉。

"把"字误用的几种情况：

第一，"把"字句里的主要动词错误地带了宾语。

该书的出版把"名人"出书热又掀起一个高潮，同时也引来对"名人"出书热的更严厉的批评。

例句中第一个分句是"把"字句，但这个"把"字句的谓语动词"掀起"带了宾语"高潮"，这违反了"把"字句的构成规则。一般来说，"把"字句里动词支配的对象被"把"提到动词前边去了，动词就不能再带宾语了。其实，上例的意思不适合用"把"字句来表达，因为"把一个高潮掀起"的说法不符合语言习惯。此句应改为："该书的出版掀起了'名人'出书热的又一个高潮，同时……"

第二，"把"字领起的状语没有靠近它所修饰的动词。

城市中的贫困市民和下岗职工不会把干个体再看作是丢脸和难于启齿的事，他们中的很多人已经勇敢、舒心地加入到了这个队伍中。

上例中，"把干个体"与"再"两个状语的语序应换过来，因为按构成"把"字句的一般规则，"把"字介词短语构成的状语应尽可能靠近动词，这样的语序安排才符合语言习惯。

第三，错误地用了不及物动词充当"把"字句里的谓语动词。

他把政治学研究的一种传统继往开来，现代化了，成为政治社会学的方法。

"他把……一种传统继往开来"有语法错误。"继往开来"是不及物动词短语，而"把"字句里受"把"字介词短语修饰的动词应是及物动词。"把"字句一般能转换为动宾句，如"他把衣服洗了"，可以转换为"他洗了衣服"，但上例中的"把"字句不能转换为"他继往开来一种……方法"。另外，"把"字句后边的两个分句也与前文衔接不上，所以这个句子需做全面修改："他发展了政治学研究的一种传统的方法，使之现代化了，成为了政治社会学的方法。"

第四，"把"字句中动词运用错误。

陈志喜解放前离世，徐宝珍 1988 年逝世，于是，我们把寻访的对象指向陈志喜的大女儿陈文英。

一般来说，"把"字句中的谓语动词不带宾语，但如果动词是"当做""看做""视为""称为"等非动作性动词，则可以带宾语。上例中"把……对象指向……陈文英"，句子结构不正确，因为"对象"无法

"指向"谁,"指向"应改为"作为"。另外,"寻访的对象"应与"陈志喜的大女儿陈文英"对调一下位置。上句可改为:"……于是,我们把陈志喜的大女儿陈文英作为寻访的对象。"

第五,不该用"把"字句的误用"把"字句。

教授已82岁高龄,然而他还在孜孜以求、坚持不懈地把两眼紧盯在国际理论化学的前沿……

"把两眼……盯在……前沿"这个说法不能成立。"把"的作用是把动作的对象提到动词前面去,但"两眼"并不是"盯"的对象,"把两眼""盯在""前沿"也不能转换为"盯两眼在前沿"。上例用"把"字结构表达的意思,直接说成"两眼紧紧盯住"某目标就行了。另外,用"孜孜以求""坚持不懈"来形容"盯"这个动作也不恰当。全句可以改为:"……然而,他仍然毫不放松地紧紧盯住国际理论化学的最新课题……"

第六,该用"把"字句的而没用"把"字句。

如何用手头有限的资金投入到那繁杂博大的藏品堆中去呢?

"用……资金投入"这个说法不符合语言习惯,这个意思应该用"把"字句来表达,说成"把……资金投入到……"。另外,"繁杂博大的藏品堆中"的说法不合理。上句可以改为:"如何把手头有限的资金投入到形形色色的收藏品中恰当的收藏对象上去呢?"

对、对于

"对"和"对于"在很多场合用法相同。一般地说,能用"对于"的地方也能用"对",可是能用"对"的地方不一定能用"对于"。

他对我说过。　　我们要对人民负责。　　他对批评的态度不够端正。

这些句子中的"对"是"向"或"对待"的意思,不能换成"对于"。

由"对"和"对于"组成的介词结构可以作状语,加"的"以后也可以作定语。例如:

"对国际形势进行分析。"(状语)"对国际形势的分析。"(定语)

用"对"和"对于"的时候,有一个谁"对"谁的问题。动作行为的主体要在"对"的前边,客体要在"对"的后边。例如,"墨西哥是我们的友好国家,墨西哥的电影对我国观众并不陌生",这个句子中主客体的位置颠倒,应改为"我国观众对墨西哥的电影并不陌生"。

不要滥用"对"和"对于"。因为滥用,往往会造成应作主语的词作了介词"对"或"对于"的宾语,句子就缺了主语。例如,"对于那些参与分裂活动的人,当然不能选进领导班子里",这个句子由于滥用"对于",结果缺了主语,应删去"对于"。

关于

"对于"表对象,"关于"表范围。例如:"第二天,世界各大报纸关于这起震惊国际体坛的事件都作了详细报道","关于"应为"对于"。

被

介词"被"用于被动句。"被"的作用是引进施事(主动)者,同时表明主语是受事(被动)者。例如:"他的谎言被大伙儿揭穿了。"

构成"被"字句应注意:①受"被"字短语修饰的动词必须是及物动词,并且其后应有补语、助词等连带成分,一般不能是光杆儿动词。②当主语明显是受事者时,可省略"被"。如:"饭吃过了。"③在无须指明或无法指明施事者时,"被"字后面的施事者可以不出现。如:"车被盗了。"

"被"字误用大致有四种情况:

第一,当用"被"而未用"被"。如:

经法医鉴定,受害人是由剧毒农药麻痹神经致死。

此系被动句,"由"应改为"被"。

第二,主语是施事者而用"被"字句。如:

黎女士拿着尚未到期的20万元存款单到银行要求作贷款抵押时,竟被发现自己的巨额存款已被人取走。

该句主语"黎女士"是施事者,应删去"发现"前面的"被"。

第三，不及物动词充当了“被”字句的谓语动词。如：

殴打残疾人事件，竟被有关部门以将打人者调离城管工作而了事。

“了事”是不及物动词，不能带宾语，可改为“了结”。

第四，习惯上不用“被”而用“被”。如：

此案已经被法院正式开庭审理。

此句用“被”也说得通，但“此案”的受事主语身份十分明确，习惯上不用被动句表述，可改为“此案法院已经正式开庭审理”。

(3)词义用错　包括词义轻重不分、词义范围大小不分、词语适用范围弄错、词的意义用错等。

由北京人民艺术剧院复排的大型历史话剧《蔡文姬》定于5月1日在首都剧场上演，目前正在紧张的排练之中。

“日前”指几天前，与“正在”矛盾，应改为“目前”。

他20岁参军，在部队生活中，先后经历了辽沈战役、平津战役等大大小小几十次激战。

“在部队生活中”应改为“在战争岁月里”，因为“部队生活”指的范围过小。汉语中习惯于把“生活”与“战斗”“工作”“学习”等当做相对而言的概念，说“部队生活”就把“战斗”排除在外了。但下文列举“他”在“部队生活”中经历的事时，却列举出了“几十次激战”，这就前后不相符了。而“战争岁月”指的范围较大，能概括“他”在部队度过的所有战斗岁月。

元月8日，永昌小区的一住户反映，新建的垃圾间被人推倒、砸坏……市民的法制观念淡薄和公德意识偏差是造成此事件的主要原因。

“事件”一般指历史上或社会上发生的不平常的大事情。上例中“事件”用来指一住户反映的“新建的垃圾间被人推倒、砸坏”的事，是大词小用，故“事件”应改为“事”。另外，句中的“偏差”宜改为“差”。

(4)词语色彩用错　包括感情色彩用错、语体色彩用错等。例如：

班长提出利用寒假开展尊师活动，大家纷纷附和。

其中加点的词是贬义词，被当成褒义词了，应改为“赞成”。

小红箭似的跑进院子，大声嚷道：“母亲，明天我要上学了，你快给我买个书包吧！”

加点的词多用于书面语，此处语境明显是口语，应改为“妈妈”。

(5)代词用错　用代词或包含代词的词组来代替上文已出现过的词语，可以避免重复啰唆，但必须指代明确。下面是指代不明的例子：

小赵和小李本来不认识，上个月他调到了装配车间，他们俩就和几个老师傅一起，研究改造运输线路。

这个句子中的“他”指小赵还是小李，不明确。

他知道，敌人如果真正得到了他们的名单，便不会同他这么费劲了，正因为他不知道，所以他说“知道了”。

这个句子里，第一、第二个“他”指说话人，第三、第四个“他”却指“敌人”，全都用代词“他”就会把读者搞糊涂了。这个句子可以把第三个“他”改为“敌人”，第四个“他”改为“才”。

(6)数量词用错　数量表达混乱的现象经常出现，须引起注意。例如：

小丁的年龄恰好比他父亲的小一倍。

用倍数作比较，只能说甲比乙大几倍，而不能说甲比乙小几倍。本句应改为“小丁的年龄恰好是父亲的一半”。

我国最大的煤炭基地开滦，在第四个五年计划期间产量增加了两倍，使一个开滦变成了两个开滦。

“增加了两倍”是说在基数之外增加了两倍，那就应该是原来的三倍。这个句子“增加了两倍”应改为“增加了一倍”，才与“一个开滦变成了两个开滦”相一致。不恰当地运用倍数，是目前常见的一种语病。

这次会见是在代表团到北京不到二十四小时之后进行的。

“不到二十四小时之后”是什么时间，不明确。

(7)关联词语用错　在关联词语的使用上经常出现毛病，归纳起来，大致有以下五种：

①关联词语与表达内容不合。关联词语与表达内容必须一致，否则，就会造成关系上的混乱。主要表现是：

第一，强加转折关系。

轻工业产品的数量指标必须保证完成，质量尤其值得重视，这样才能做到产品耐穿耐用，然而，数量再多，质量不好，也不能满足人民的需要。

这个句子本是并列关系，却用了"然而"，可改为"不然"，删去"质量不好"。("不然"已包括了"质量不好"这个意思。)

第二，强加因果关系。

我们呼唤健康向上的家庭精神，孟母三迁为的是让孩子拥有一个良好的成长环境，因此，富丽堂皇的家庭未必是幸福的家庭。

上面的复句包括三个分句，分句间的联系很松散。第一分句讲家庭内部的"精神"；第二分句却转而讲"孟母三迁"，这是家庭外部环境的问题；第三分句又转移了话题，讲"富丽堂皇"等物质条件与"幸福的家庭"的关系。在这样的东拉西扯中，第二分句与第三分句之间却有个因果关联词"因此"，但这两个分句间压根儿没有因果关系，这叫强加因果关系。上例中的第二分句应删去，因为"孟母三迁"与如何培养"家庭精神"无关，剩下的两句可以改为："我们呼唤健康向上的家庭精神，而只追求物质享受的家庭是缺乏这种精神的。所以生活在富丽堂皇的家庭里的人未必幸福。"

第三，强加递进关系。

陈景润身上所体现出来的敬业精神，不仅是每个科技工作者应该学习和借鉴的，而且更值得今天每一个人学习，毕竟像陈景润这样的人不多。

上例中"不仅……而且更……"表示的递进关系违反了逻辑事理。陈景润是科学家，他的敬业精神如果"每一个人"都应学习的话，那么科技工作者更应该学习。而上例则颠倒过来，说"不仅是每个科技工作者应该学习和借鉴的，而且更值得今天每一个人学习"，这不合逻辑事理。其实，用"值得……也值得……"的并列格式来代替原句的递进关系更恰当合理。另外，"陈景润身上所体现出来的敬业精神"中，"身上所体现出来"可删掉。"毕竟像陈景润这样的人不多"一句，意思很奇怪，好像某种人"不多"，所以才应该向某种人学习，这是不对的，这个分句应改为："毕竟我们太需要像陈景润这样的人了。"

第四，强加目的关系。

为了吸取上次失败的教训，这次警方事先作了详细调查，并对审讯战术作了周密布置。

"为了"表示目的关系，如"为了保住大堤，人们日夜奋战"。而上例中"为了"引出的是"吸取上次失败的教训"，这显然不是这次"警方"行动的目的，而是这次行动特别小心谨慎的原因。在具有因果关系的复句中用"为了"，犯了强加目的关系的错误。"为了"应改为"因为"，并在"吸取"后加"了"。"为了"和"因为"是表示不同关系的连词，千万不能混淆。

第五，强加并列关系。

目前，低级光盘及软件已成为日益增多的青少年犯罪的重要诱因，并到了必须管一管的地步。

陈述低级光盘及软件的危害和呼吁对此管一管，是两个层次上的意思，不能用并列连词"并"来连接。上例犯了强加并列关系的错误，应删除"并"，将后面的分句改为："有关部门不能再坐视不管了。"

第六，分句配合不当。

纪丽丽从出生至今的8年中，除了躺在床上，就一直是母亲背大的。

上例中，"除了躺在床上"后边的分句的结构是"是……的"，这两个分句在结构上不能呼应配合，显得很别扭。另外，"从……8年中"讲不通，应改为"在……8年中"，并将这个状语放在句首。这个句子应改为："在出生至今的8年中，纪丽丽除了躺在床上，就一直伏在母亲的背上。"

②关联词语搭配不当。

晚会上，广播艺术团的演员满腔热情地歌颂了辛勤劳动的环卫工人，他们的节目，无论从创作到演出，都受到观众的称赞。

"无论"与"从……到……"不搭配，改为"无论……或者(还是)……"，也可删"无论"。

③漏用必要的关联词。成套的关联词语有的要求必须两个同时出现，不能少用其中的一个。

这不仅是个工作方法问题，是关系到是否坚持为人民服务的正确方向的问题。

这是一个递进关系复句，前一分句用了"不仅"，后一分句必须使用"而且"或其他的关联词语与之相照应。

④重复使用关联词。重复使用，造成赘余。

参加这次探险活动前他已写下遗嘱，万一若在探险中遇到不测，四个子女都能从他的巨额遗产中按月领取固定数额的生活费。

"万一"与"若"重复，删其一。

⑤关联词语的位置用错。主要指关联词语同主语的先后次序。复句中的关联词语在前一分句中使用时，如果前后两个分句主语相同，一般在主语后；反之则在主语前。表递进关系的"不但(不仅)……而且(还)……"和表并列关系的"一方面……另一方面……"，顺序固定，必须如此；否则，即为不当。

不但他钢琴弹得好，而且字写得漂亮。

两个分句主语相同，"不但"应放在"他"之后。

2. 搭配不当

(1)主谓搭配不当

这位建筑师的出色工作和独特设计，已被有关单位采用并受到国外的关注。

此句中并列短语"……出色工作和独特设计"作主语，而"出色工作"不能与"采用"、"受……关注"搭配。

(2)动宾搭配不当

为增强全体员工的文明服务意识，进一步提高职业道德素质，我省某商业银行将采取强有力的措施，在本系统内广泛推行文明服务用语和服务忌语。

"推行"的应是"文明服务用语"，而不能是"服务忌语"。句子加点部分可改为"推行文明服务用语、禁用文明服务忌语"。

(3)定语和中心词搭配不当

俄罗斯也进行了一些改革，如禁止政府官员使用进口汽车，推行住房商品化，以及精简包括电力公司、铁路公司等大型国有企业等。

"包括电力公司、铁路公司等"不能限制中心词"国有企业"，可在其后加"在内的"。

(4)状语和中心词搭配不当

他渐渐地爬起来，吃力地走着。

其中的"渐渐"不能修饰"爬"，可以改为"慢慢"。

只要稍微深思一下，就会理解这个问题。

其中"稍微"和"深思"不搭配，可以把"稍微"改为"认真"。

(5)补语和中心词搭配不当

3号队员射门射得很正确，命中率很高。

其中的"正确"应改为"准确"。

这篇文章把敌人的反动论点驳得淋漓尽致。

我们一般只说"描绘得淋漓尽致"或"刻画得淋漓尽致"，不说"驳得淋漓尽致"。此处可将"淋漓尽致"改为"体无完肤"。

(6)主宾搭配不当

这一歌唱组合独立创作的高品质词曲以及演唱中表现出的音乐天分和文化素养，很难让人相信

这是平均年龄近20岁的作品。

句中加点的"这"指代"高品质词曲"及"音乐天分和文化素养",而后者不是作品,属主宾搭配不当。

3. 成分残缺

句子成分可以省略,但省略是有条件的,即语意必须明确。省去的词语可以补出来,但必要的成分不能欠缺,否则句子的结构就不完整。成分残缺包括缺主语、缺谓语、缺宾语、缺定语、缺状语和缺中心词。

(1)缺主语

从大量的观测到的事实中告诉我们,要掌握天气的连续变化,最好每小时都进行观察。

由于滥用介词而造成主语残缺,应删去"从""中"。

朝鲜艺术家这次来华表演的歌剧《红楼梦》,受到了中国观众的热烈欢迎,给予了很高的评价。

"给予了很高的评价"一句没有主语。"受到了中国观众的热烈欢迎"的主语是"歌剧《红楼梦》",它不能做"给予了很高的评价"的主语。"给予了很高的评价"的主语应是"中国观众"。

(2)缺谓语

语文是各门学科的基础,学习自然科学如果不掌握语文这种工具,就不可能正确理解其他学科的题意、概念和原理,不可能有条理、严密的思维能力。

这个句子缺少谓语,应在后一个"不可能"的后边加上"具备",去掉"有"。

(3)缺宾语

有些动词须带名词性宾语,而定语较长会导致漏掉宾语。

随着社会的不断进步,科技知识的价值日益显现,人类已进入知识产权的归属和利益的分成,并已开始向科技工作者身上倾斜。

"进入"的宾语须是表范围或时段的名词,可在"利益的分成"后加"的阶段"之类的宾语。

(4)缺定语

这本书开拓了境界。

句中的"开拓"不能直接支配"境界","境界"前应加个定语,如"我的精神"。

(5)缺状语

他走到街上或坐在公园的长椅上,总有一大群孩子围着他,请他讲故事,做游戏。

这句中的"做游戏"由于缺少必要的状语,所以似乎成了"他"做游戏给孩子们看,应在"做游戏"前面加上"和他一起"。

(6)缺中心词

那种不顾林区客观实际、片面强调粮食生产,到头来只能是得不偿失。

"那种"和"不顾……生产"都是定语,缺少中心词,要在"生产"后边加上"的做法"。

新世纪以来,国内出版业遭受了以互联网技术、移动技术、数字化阅读技术为代表的信息技术,呈现出复杂多变的博弈局面,传媒结构发生了微妙变化。

"以互联网技术、移动技术、数字化阅读技术为代表的""信息技术"都是定语,缺少中心词,要在"信息技术"后面加上"的冲击",作"遭受"的宾语。

4. 成分赘余

赘余就是累赘多余的意思。成分赘余,就是指一个结构完整、句意清晰的句子,表达上使用了不必要的词语作了句子的组成部分。成分赘余会使语意不清晰,句子不简明。主要有这样四种情况:修饰语叠床架屋,词语的同义反复,结构上出现不该有的成分,修饰语与中心词重复。

从语法成分上考察,赘余的错误经常出现在定语和状语里。动词赘余、宾语的中心语赘余也较为常见。另外,代词、复数表达、方位词、时态表达以及一些虚词的运用,也常出现赘余的错误。

(1)主语赘余

我们的革命先辈,为了人民的利益,为了将革命进行到底,这些革命战士抛头颅洒热血,献出了

宝贵的生命。

这个句子前边有了主语“我们的革命先辈”，应将这一主语贯穿于句子的始终，后边又出现了主语“这些革命战士”，造成主语赘余。

(2)谓语赘余

中国癌症研究基金会将该药评为是目前中医治疗癌症的首选药物，向全国各大医院推荐。

“评为是……首选药物”中，谓语动词“是”多余，因为“评为”可以作谓语，相当于“是”。“评为”已表达了肯定、认定的意思，再用一个表示判断的“是”，并没有提供新的信息，却重复前边已有的意思，就毫无必要了。

(3)定语赘余

作为妻子，当丈夫为了某种正常的事业而处于忘我的境地时，“理解”就显得至关重要。

这个例句中，“某种正常的事业”这个定中短语的定语多余。“事业”是褒义词，被称之为“事业”的事，一般是合理的、正当的、有价值的，都在“正常”的范围内。而对于一个人来说，他所从事的事业，肯定是“某种”事业，所以，“某种”“正常的”两个定语都属这句话中的赘余成分，应该删除。

(4)定语的中心语赘余

滥吸挥发性溶剂是药物滥用的一种类别，在国外青少年人群中流行。

“一种类别”“青少年人群”这两个短语的中心语“类别”“人群”都是赘余成分，宜删除。

(5)状语赘余

崇安髭蝠是武夷山区特有的两栖类珍稀动物，生活在海拔一千米左右的高山溪水中，最初因五十年前在崇安发现而得名。

“最初”与“五十年前”重复，应删去“最初”。

(6)宾语的中心语赘余

国家在政策上松绑，目的是要激发地方、企业搞好经济的活力。

“搞好经济的活力”说不通，“搞好”的对象应是“经济”，而不是“经济的活力”，应把“的活力”删去。

(7)代词赘余

疗效型化妆品除了有一般的化妆效果外，还有药剂，其作用于皮肤，保持皮肤健康以及发挥其防止细菌感染的效能。

两个“其”的运用不合理。“其”是代词，在句中代指“药剂”，而“药剂”在“其”之前刚刚出现，没有必要再加代词；本来句子意思很紧凑，用了“其”，反而松散脱节了。上例可修改为：“疗效型化妆品除了有一般的化妆效果外，还有通过药剂作用于皮肤，保持皮肤健康、防止细菌感染的效能。”

(8)复数表达赘余

莘莘学子们从祖国的四面八方来到清华大学。

“莘莘”形容众多，“们”多余，应删除。

(9)方位词赘余

这些各式各样的旧家具，经过这家木器厂里敲敲打打、刮腻子、上油漆等一番美容之后，贴上某种商标，就堂而皇之地摆在某家具商城或家具展销会上。

“经过这家木器厂里敲敲打打”中，方位词“里”赘余，应删除。因为对旧家具敲敲打打的是“这家木器厂”，而不是“厂里”。

(10)时态表达赘余

面对着光怪陆离的社会现状时，我们应该去思考、认识……

“着……时”表示进行时态，但“面对”“社会现状”并不是一个处于有时进行着、有时不进行着的状态的动作行为，而是一种随时存在的状况。所以，时态表达“着……时”是多余的，上例应改为：“面对光怪陆离的社会现状”。

(11)虚词赘余

在对待这些放下武器的昔日敌人，志愿军在生活上给予了特殊的照顾，膳食标准略高于志愿军战士。

"在对待……敌人"这个短语在语法上不成立。"在"可与方位短语搭配使用，构成"在……上""在……里""在……中"等结构。上例的"在对待……敌人"后可以加上"上"，构成"在对待……敌人上"的结构，不过这与下文"在生活上"的格式重复，语句就显得累赘，因此最好把"在"删去，直接说"对待……敌人"就行了。

5. 语序失调

包括句子词序失调、句子成分次序失调、分句语序失调。

(1)句子词序失调

成熟的苹果下坠，是由于它对地球的引力作用。

实际上，是地球的引力吸引苹果下坠，所以应当把"它"跟"地球"的位置对调一下。

这个厂的群众文艺搞得好，职工们一方面利用班前班后、会前会后开展活动，另一方面厂长和车间领导也很重视，并提供了必要的物质条件。

"一方面""另一方面"可以放在主语之前，也可以放在主语之后。如果主语相同，则在主语之后(例如：他们一方面工作，另一方面也抓紧时间学习)；否则，则在主语之前(例如：一方面我给他写信，另一方面你去了也找他谈一下)。这个句子属于后一种情况，"一方面"应提到"职工们"之前。

(2)句子成分次序失调

修饰语如果不止一项，就有一个先后次序的问题。次序安排得不合适，往往会造成语法错误，引起意义上的混乱。

第一，定语、状语位置失调。当然也有两可的情形，比如"进行周密的调查"，"周密"作定语；也可以说"周密地进行调查"，"周密"作状语。但一般说来，定语和状语的位置是不能随便挪动的。下边例句的用法就不妥：

①这次会议对节约原材料问题交换了广泛的意见。

②考古、历史科学工作者对两千多年前在长沙马王堆一号墓新出土的文物进行了多方面的研究。

①句是把本来应该作状语的成分放到了定语位置上，应改为"广泛地交换了意见"。②句正相反，把本来应该作定语的成分放到状语位置上去了。文物显然是现在出土的，不是两千多年前出土的，应该说"新出土的两千多年前的文物"。

第二，多项定语次序失调。多项定语一般可按以下次序排列：①表示领属性的或时间、处所的；②指称代词或数量词；③动词或动词性短语；④形容词或形容词性短语；⑤名词或名词性短语。另外，带"的"的定语应放在不带"的"的定语之前。

一位优秀的有20多年教学经验的国家队的篮球女教练。

这个句子的定语次序不妥。正确的次序应该是：国家队的(领属性的)一位(数量词)有20多年教学经验的(动词性短语)优秀的(形容词)篮球(名词)女(名词)教练。从这个例子中，我们也可悟出这样一条规律来：复杂的定语要放在单纯的定语前面。所谓"复杂的定语"，是指由各类短语充当的定语；所谓"单纯的定语"，是指由单个词(特别是名词或形容词)充当的定语。下面的例句均有毛病：

①外地的住在这座大楼里的同志，今天都参加五一游园活动去了。

②广大农民表现出无比的拥护农村政策的热情。

这两个例子里的"外地""无比"都是单个的词，应分别与"住在这座大楼里的""拥护农村政策的"对调。

第三，多项状语次序失调。多项状语的次序大致为：①表目的或原因的(介宾短语)；②表时间或处所的(名词)；③表语气的(副词)或对象的(介宾短语)；④表情态或程度的(副词)。另外，表示对象的介宾短语一般紧挨在中心词之前；表示总括的，一般放在"数词+动量词"的后边。

在休息室里许多老师昨天都同他热情地交谈。

这个句子状语的次序不当。正确的次序应该是：许多老师昨天(时间)在休息室里(处所)都(范围)

同他(对象)热情地(情态)交谈。

巴甫洛夫整天忙于做条件反射的实验,他总是把动物用绳子绑在实验室的架子上。

这个句子状语的次序失调,应改为"用绳子把动物",表对象的介宾短语应紧靠动词。

(3)分句语序失调

复句的各分句之间,反映了一定的事理关系,如果句序失调,表达就会混乱。句间有先后、轻重、缓急、大小、因果等关系,句序应依据一定的标准排列。例如:

切实保障并不断改善民生,才能真正保持社会的和谐与稳定,进一步提高国民的幸福指数,实现长治久安的目标。

这个条件关系复句中,主从关系安排得不恰当。应为:"切实保障并不断改善民生,进一步提高国民的幸福指数,才能真正保持社会的和谐与稳定,实现长治久安的目标"。

6. 句式杂糅

把两种不同的句法结构混杂在一个表达方式中,结果造成语句结构混乱、语意纠缠,这样的语病就叫杂糅。语言表达的形式与语意内容的联系是很灵活的,同一个意思,往往可以用不同的语言形式来表达,但在具体的表达过程中,一个意思则只能选择一种表达方式。出现杂糅的错误,往往是在组织语言时,先选择一种表达方式,中途又提到另一种,于是转而用另一种表达方式去组织语言。这样组织起来的语句就具有一副似是而非的面目,半截属这种结构,半截属那种结构。

杂糅是分析和修改都比较棘手的一类错误,因为两种结构纠缠在一起,往往让人一时理不出头绪。如何在混杂纠缠的语言结构中找到语意间的逻辑联系,并把它整理成清晰的语意流程,这是分离杂糅的语言结构、重新构建单一明确的语言表达形式的关键。

(1)谓语结构杂糅

北接陆上丝绸之路、南连海上丝绸之路,将于2014年申遗的"中国大运河",包括了京杭大运河、隋唐大运河以及浙东运河所组成。

上例中"包括了……"与"……所组成"两种结构杂糅在一起,可改为"包括京杭大运河、隋唐大运河以及浙东运河"或"由京杭大运河、隋唐大运河以及浙东运河所组成"。

(2)陈述对象杂糅

父亲留给我的"财富"也是世界上最富有最丰厚的,它让我生活充实,让我心地纯净。

上例中的第一个分句应该分成两个分句来说,意思才理得清。因为"最富有"只能是陈述"我"的,而"最丰厚"才是陈述"父亲留给我的'财富'"的。"最富有最丰厚"各有各的陈述对象,不能杂糅在一起。该句可改为:"我是世界上最富有的人,因为父亲留给我的'财富'是世界上最丰厚的,它让我生活充实,让我心地纯净。"

(3)动宾短语与主谓短语杂糅

"广谱晚癌康"一是可以缓解和改善症状快,特别是止痛效果好。二是……

"可以缓解和改善症状"是个动宾短语,"缓解和改善"的宾语是"症状"。"缓解和改善症状快"是个主谓短语,"缓解和改善症状"的谓语是"快"。这两种说法都可以陈述"广谱晚癌康"的作用,本来只要采用其中一种说法就可以了,但上例却把两种说法拼凑在一起,构成了"可以缓解和改善症状快"这样的杂糅结构,可删去"快"或"可以"。

(4)动补短语与主谓短语杂糅

相对矮小的五针松、文竹、吊兰以及微型盆景等,最好放在茶几、案头或博古架上较合适。

"最好放在……上"是动补短语,"在……上"作"放"的地点补语;"放在……上较合适"是主谓短语,"较合适"作"放在……上"的谓语。句子形式上杂糅,语意上矛盾,可删去"最好"或"较合适"。

(5)受事主语与施事主语杂糅

他被授予获全省十名义务助教优秀青年之一。

"他被授予……(称号)"是受事主语句。"他获……(称号)"是施事主语句。上例应改为语意清楚的受事句或施事句,例如:"他被授予义务助教优秀青年称号,是全省获此荣誉的十名青年之一。"

或者:"他荣获义务助教优秀青年称号,是全省获此荣誉的十名青年之一。"

(6)受事前置和后置两种格式杂糅

如今,这项运动可以从电脑上直接看到运动员在空中的表演动作了。

现代汉语中,动词的受事可以出现在动词前充当主语,也可以出现在动词后充当宾语,如"这本书可以买到""可以买到这本书"。但在一句话中,只能选择一种说法。上例却前后混用了两种说法,即把"这项运动可以从电脑上直接看到"这个受事在动词前作主语的说法与"看到运动员在空中的表演动作"这个受事在动词后作宾语的说法拼接了起来,致使句子结构混乱。上例要么改为:"如今,这项运动可以从电脑上直接看到了。"要么改为:"如今,可以从电脑上直接看到运动员在空中的表演动作了。"

(7)定语结构杂糅

记者手中有几瓶来自不同渠道购买的美国产的鱼油。

上例中,句子的主干成分是"手中有鱼油"。"鱼油"前有一个定语结构,但这个定语结构很乱,把"来自……"和"通过……渠道"杂糅在了一起。应该把两种格式分离开来,保留其中一种。从句子的现成基础看,比较恰当而简单的修改方法是把"来自"改为"通过"。

(8)介词短语杂糅

两位律师指出,根据法庭调查的事实和东城分局刑警队及法制办出具的书面证明材料看,王莹是在并未被采取强制措施时就交代了自己的罪行。

介词短语作状语,表示凭借或依据时,可以有"根据某情况"和"从某情况看"两种说法,但不能把两种说法杂糅混用。上例中"根据……看"正是犯了此类错误。可以把"根据"改为"从",或者删去"看"。

(9)句子首尾套叠

1979年,湖北云梦县出土了一件陶土的楼房模型,据鉴定,属于东汉晚期,中国人已经在享用百叶窗之益了。

"东汉晚期"这个短语成了前后分句重合套叠的成分,它既是前一个分句中"属于"的宾语,又被当做了后一个分句的状语,这样,两个分句结构粘连,造成了杂糅。如果同一个短语两个分句都用得着,就应分别在两个分句中写出来,不能图省事而胡乱套叠使用。上例中的后两个分句应改为:"……据鉴定,属于东汉晚期,可见当时中国人已经在享用百叶窗之益了。"

7.几种特殊句式的语病

(1)兼语句的错误

兼语句是指谓语由兼语短语充当的句子。兼语短语的结构格式是"动+名+动",两个动词性成分间的名词具有双重作用,它既是前边动词的宾语,又兼作后边动词的主语,所以叫"兼语"。兼语短语中的第一个动词一般是"使""令""派""请""通知"等有祈使、命令意义的动词,而带有认称意义的动词和动词"有""没有"等,也可以构成兼语短语。兼语句有特定的表达作用和语意衔接功能,一个具体的意思,是否应当用兼语句来表达,要视具体需要而定。语言运用中,常出现兼语句运用不当的错误。

第一,应当用兼语而没有用。

然而,被指派从事外滩日常环卫保洁工作、每年有30万元作业费的外滩保洁公司,却始终难以达到风景区的保洁标准,群众投诉信纷至沓来。

上例的主干成分是"外滩保洁公司难以达到保洁标准",这个主干中缺少一个使令性动词"使",因为"外滩保洁公司"并不是自己达到"保洁标准",而是要使"风景区"达到"保洁标准"。所以,用"使"构成兼语句式,意思才能表达得周密正确。上例应改为:"……外滩保洁公司,却始终难以使风景区达到保洁标准,群众投诉信纷至沓来。"

第二,不必用兼语而用了兼语。

在他面前,你绝不会因他是名人而使自己自卑,你真正从心里觉得你与他是平等的。

"你……不会……使自己自卑",语意重复。"自卑"就是自己轻视自己,自己看不起自己。如果

想说自卑是别人引起的，可以说“某人使自己自卑”；如果只从自我感觉的角度来说，只说“自卑”就行了，不必说“使自己自卑”，因为“自己”和“自卑”中的“自”意思一样。上例中的“使自己”可删去。

(2)“有”字句的错误

“有”字句指句子的主要动词是“有”的句子，如“有个古老的传说”。“有”字句的错误也主要表现在“有”当用不当用的问题上。

那块大门处挂了6年的……铜牌被取下来，代之以一块“中华人民共和国大使馆”字样的新牌。

“一块……字样的新牌”说不通，因为“一块”后缺了一个“有”。“一块有……字样的新牌”才对，这里当用“有”而没有用，造成了错误。要说明的是，这个例句中“有”的问题，不是谓语动词的问题，所以不是“有”字句的问题，因问题出在“有”字上，也就放在这里一并分析。

Ⅱ. 语意错误

1. 歧义(表意不明)

歧义是一种语病，而多义则是词语的普遍性质。一种语言的表达形式是有限的，而人们所要表达的意义是无限的，以有限的形式包含无限的内容，就必然会出现一形多义的现象。在汉语中，多义词、多义短语都大量存在，这是正常现象。但多义词、多义短语通常只在孤立的情况下才具有多义性，一旦进入句子，则通常只能表示一种意义，否则语言就无法准确地传递信息了。如果在具体的语境中，一种语言形式仍可以表示多种意义，那就犯了歧义的错误。语言运用中出现歧义错误，多与成分残缺、赘余或用词不当有关。

(1)多音造成歧义

纸条上写着：还欠款5 000元。

例句中，由于“还”字既可读“huán”又可读“hái”，造成歧义。

(2)多义造成歧义

①教室没有锁。②今天那个修鞋的没来。③做手术的是他父亲。④他背着总经理和副总经理偷偷地把这笔钱分别存入了两家银行。

例①中“锁”既可作动词又可作名词。例②中“修鞋的”可以是鞋匠，又可以是修鞋匠的顾客。例③中“做手术的”既可指医生又可指患者。例④中“和”既可作介词又可作连词。

(3)停顿不同造成歧义

①世界上一年出版的刊物有上亿册。②县里通知赵乡长10月5日前去报到。

例①这个句子中可以有两种停顿，意思不同，一是“世界上/一年”，再一个是“世界/上一年”。例②是“10月5日前/去报到”，还是“10月5日/前去报到”，停顿不同，造成歧义。

(4)重读不同造成歧义

你为什么打他？(应打别人)　　你为什么打他？(原因)

你为什么打他？(可以骂他)　　你为什么打他？(别人可以)

(5)施受不明造成歧义

①这个人谁也不认识。②鸡不吃了。

例①中既可理解为他不认识别人，也可理解成别人都不认识他。例②中可理解为鸡吃饱了，不再吃食了，也可理解为“不吃鸡了”。

(6)指代不明造成歧义

张老师把卷子发给黎明，他笑了。

句中“他”是张老师还是“黎明”，不明确。

(7)动词搭配两可造成歧义

①关心你的同学。②发现了敌人的哨兵。

例①中“关心”的宾语可以是“你”，也可以是“你的同学”，造成歧义。例②是理解成“发现的是敌人的哨兵”，还是“哨兵发现了敌人”？“发现”的宾语不明确，造成歧义。

(8)限制关系不清造成歧义

为纪念建党90周年，“唱支山歌给党听”歌咏比赛将于7月1日举行，届时校长和其他学校领导也将登台参加比赛。

例中“其他”可限制“学校”也可限制“领导”，造成歧义。

2. 逻辑错误（不合事理）

(1)自相矛盾

文章里出现自相矛盾的现象，有时是由于对词语的概念没有明确的认识，有时是由于粗心大意，前后没有照顾周到。例如：

①大家再也坐不住了，立即召开了支委会，互相作了深刻的自我批评。

②十几年来，刘庄村植树造林，挖沟防风固沙，基本上根除了风沙灾害。

例①中，“自我批评”的意思是自觉地对自己的错误和缺点进行批评，和“批评”不同，人们可以“互相批评”，却不能“互相自我批评”。“互相”应改为“各自”。例②中，“基本上”说的是大部分，不是全部，不是百分之百；“根除”则是彻底铲除，这两个概念是矛盾的。如果确实是“根除了风沙灾害”，那就得把“基本上”删去；如果还没有根除，那么可以保留“基本上”，而把“根除”改为“消除”。

(2)概念的范围不明确

概念的范围有大有小。在一般情况下，大概念和小概念不能并列；在分类的时候，小类必须是能够包括在大类之中的。下边的例子就有毛病：

汉绣注重构图，讲究纹饰，花鸟虫鱼、龙虎凤凰、飞禽走兽，皆可绣以为纹，写实与抽象融为一体，形成了独特的风格。

例句中，“飞禽走兽”中包含“龙虎凤凰”和“鸟”，“花鸟虫鱼”中包含“凤凰”。

(3)判断不恰当

判断往往用“甲是乙”的形式来表现，甲和乙之间有的是小类和大类的关系，即甲是乙中的一个小类。例如“笔是文具”“鱼是水产品”。下边两个例句的判断就不恰当：

①天然饮料是奥林。

②拿我国铁路部门来说，它是社会主义的企业，是国民经济的动脉，是人民的铁路。

例①中的“天然饮料”是大类，“奥林”是小类，构成的判断不是小类和大类的关系。全句应改为：“奥林是天然饮料。”例②中说“我国铁路部门”“是社会主义的企业”，这是不错的；而说“铁路部门”是“动脉”、是“铁路”就不对了，因为这三者是完全不同的概念，也不是小类和大类的关系。全句可改为：“我国的铁路部门是社会主义的企业，铁路运输是国民经济的动脉。”

有时为了强调，连用两个否定词来表示肯定。例如：“没有一个人不同意”，就是说“大家都同意”；“不能否认”等于说“必须承认”。如果连用三个否定词，那就变成了否定。一个判断句里否定词用得太多，就容易引起混乱。例如：

③没有一个人不承认今年农村形势这样好，不是落实了党的经济政策、调动了农民积极性的结果。

例③中的意思是要说“大家都认为今年农村形势这样好，是落实了党的经济政策、调动了农民积极性的结果”，但由于否定词用得太多，把意思弄反了。“没有一个人不承认”就是“大家都承认”，后面再加上个“不”，意思就变成否定的了。

还有一个特殊的词应该注意，就是“无时无刻”，例如：

④近几年来，王芳同志几乎无时无刻不在思念那遥远的故乡。

④句具有迷惑性，如果单看否定词，好像应该是否定，但本句表达出的意思却是肯定的。因为“无时无刻不……”是“时时刻刻都……”的意思。

(4)推理不合逻辑

所谓“推理”，就是根据已知的前提推导出结论来。推理必须符合逻辑，就是说，只有这样的前提才能得出这样的结论，前提和结论要有必然的联系。下面的推理显然不合逻辑：

搜集材料不丰富，就无法进行比较鉴别，就发现不了典型事例，甚至还会造成数字不准、名

称不符。

上例中说只有经过比较鉴别，才能发现典型事例，而事例太少，无从比较鉴别，自然难以发现，这一层推理是符合逻辑的，可是"材料不丰富"跟"数字不准、名称不符"没有必然联系，因为数字是否准确、名称是否相符，是材料可靠性的问题，不是材料多少的问题。

肯定一件事的原因和结果，也是一种推理。什么原因能产生什么结果，要有事实上和逻辑上的根据。否则，就会犯强加因果关系的毛病。例如：

由于我们领导干部是执行党的各项方针政策的带头人，干部的模范作用如何，直接影响群众，因此，干部能否置于群众的监督之下，对我们做好各项工作关系极大。

这个例子一共有两层意思，第一层意思说明干部为什么要起模范作用，第二层意思强调必须置于群众的监督之下。两层意思谈的是两件事，不是因果关系，所以不能用"由于……因此……"连接。第一层意思只能得出"领导干部必须注意处处以身作则"一类的结论；第二层意思则必须以对干部为什么要置于群众监督之下的分析来作为推理的根据。

从前提推出结论，必须有充足的理由，这样的推理才有说服力，否则，就会犯"仓促推理"的毛病。下例就有这种毛病：

给病人做手术，过去由医生个人决定，现在规定重大手术需要集体讨论决定，这就保证了手术的顺利进行。

实行重大手术，由"集体讨论决定"，只是"保证""手术的顺利进行"的条件之一，还应包括一系列的技术性准备工作。此例推理的根据不充分。

（四）辨析病句的十八个注意点

1. 出现了并列的短语，可能是搭配不当、分类不当、语序不当或语意不明

①近年来，我国加快了高等教育事业发展的速度和规模，高校将进一步扩大招生，并重点建设一批高水平的大学和学科。（搭配不当，"加快"和"规模"不搭配）

②我们的报刊、杂志、电视和一切出版物，更有责任作出表率，杜绝用字不规范的现象，增强使用语言文字的规范意识。（分类不当，"报刊"包括"杂志"，"一切出版物"包括"报刊"）

③全厂职工讨论和听取了厂长关于改善经营管理的报告。（语序不当，应为"听取和讨论"，有时间上的先后关系）

④近日新区法院审结了这起案件，违约经营的小张被判令赔偿原告好路缘商贸公司经济损失和诉讼费三千余元。（语意不明，是"经济损失和诉讼费"计"三千余元"还是单"诉讼费""三千余元"）

2. 出现了多重定语和多重状语，可能是语序不当

①批评和自我批评是有效的改正错误、提高思想水平的方法。（应将"有效的"调至"方法"前）

②昨天，许多代表热情地在休息室里同他交谈。（应将"热情地"调至"同他交谈"前）

③这期培训班是全国职工教育委员会和国家经委联合于今年5月底举办的，来自全国各地的二百多名职工代表参加了这次培训。（应将"联合"调至"举办"前）

3. 出现了数量短语，可能是语意不明、重复、语序不当、用词不当

①三个学校的学生会干部在教导处开会，研究本学期第二课堂活动的开展问题。（表意不明，是"三个学校"还是"三个学生会干部"）

②科罗拉多州的阿斯彭、埃斯蒂斯帕克和科罗拉多斯—普林斯克等著名游览区，每年要接待成千上万以上的游客。（重复，"以上"多余）

③开展批评和自我批评是端正党风、增强党的凝聚力的行之有效的一种方法。（语序不当，"一种"应在"行之有效"之前）

④早晨五六点钟，通往机场的街道两旁便站满了数万名欢送人群。（用词不当，"人群"是集合名词）

4. 出现了介词，可能是搭配不当、结构混乱、主客体颠倒、主语残缺

①他们在遇到困难的时候，并没有消沉，而是在大家的信赖和关怀中得到了力量，树立了克服困难的信心。（搭配不当，应为"从……中"）

②我校高考取得了显著成绩的关键是与校长对全校师生进行人文关怀从而提高了师生的积极性分不开的。(结构混乱,可以删除"的关键"三个字或"与……分不开的"五个字。)

③焦裕禄这个名字对青年人可能还有些陌生,可对四十岁以上的人却是很熟悉的。(主客体颠倒,应为"对青年人来说"和"对四十岁以上的人来说")

④为什么对于这种浪费人才的现象,至今没有引起有关部门的重视呢?(滥用介词造成主语残缺,应删去"对于")

5. 出现了关联词(连词),可能是搭配不当、残缺、语序不当

①只有从根本上解决了为什么人的问题,就能更好地为人民服务。(关联词搭配不当,应用"只有……才")

②尽管你的礼品多么微薄,但在农民心上,却像千斤重的砝码。(关联词和副词搭配不当,此处应用确指的"这么","无论"和"不管"后应用不确指的"多么")

③他虽然是个农民,平常喜爱学习,识不少字,编秧歌也在行。(关联词残缺,应在"平常"前加"但是")

④由于技术水平太低,这些产品质量不是比沿海地区的同类产品低,就是成本比沿海的高。(关联词位置不当,主语不一致,关联词应在主语之前,应将"不是"调至"质量"前)

⑤如今"阿Q"一类的"字母词"已遍布汉字文化圈内,不但进入了教科书,而且活跃在各类媒体上。(语序不当,出现了递进关系,程度重的应放在后面,应为"不但活跃在各类媒体上,而且进入了教科书")

6. 出现了代词,可能是语意不明、重复

①他见到我们很高兴。(谁高兴?"他"还是"我们")

②由于这次交通事故,淮海路宛平路地段的交通为此封闭了近三个小时。(重复,"为此"就是"由于这次交通事故")

③我们必须拿出自己的正版计算机游戏软件,否则,不出新软件,就难以抵制不健康的盗版软件。(重复,"否则"即"如果不这样"的意思,与"不出新软件"重复)

7. 出现了长宾语,可能是宾语中心语残缺、搭配不当

①君不见,那些玩世不恭、自由放荡、不务正业、沉迷娱乐场所以致违法犯罪而又自命"潇洒走一回",不都最终沉沦了吗?(宾语中心语残缺,应在"'潇洒走一回'"后加"的人")

②认识沙尘暴、了解沙尘暴,是为了从科学的角度达到对沙尘暴进行预防,减少沙尘暴造成的损失。("达到"的宾语中心语残缺,"损失"后加"的目的")

8. 句中出现"是",考虑主语与宾语的搭配是否恰当

这种"大雪压青松,青松挺且直"的高风亮节是我们永远学习的榜样。("高风亮节"与"榜样"不搭配,后半句应改为"是值得我们永远学习的")

9. 出现了多个谓语,可能是搭配不当、偷换主语

①这个文化站已成为教育和帮助后进青年,挽救和培养失足青年的场所,多次受到上级领导的表彰。(搭配不当,"培养"与"失足青年"不搭配)

②这家工厂虽然规模不大,但曾两次荣获省科学大会奖,三次被授予省优质产品称号,产品远销全国各地和东南亚地区。(偷换主语,"工厂"不可以"被授予省优质产品称号")

③我们也像小孩子一样,掐了一把花,直到花和叶全蔫了,才带着抱歉的心情,丢到山洞里,随水漂走了。(偷换主语,前面主语是"我们",后面已暗换成"花",所以应改成"把它们丢到山洞里,随水漂走了")

10. 出现了疑问句、否定词,可能是肯否不当

①雷锋精神当然要赋予它新的内涵,但谁又能否认现在就不需要学习雷锋了呢?(反问句再加双重否定,变成了三重否定,不合逻辑)

②这次他为一时的冲动而付出的代价无须多说,没有谁不会不知道。("没有""不会""不"三重

否定，与原意相反）

11. 出现了固定结构、下定义，可能是结构混乱

①《消费者权益保护法》深受广大消费者所欢迎，因为它强化了人们的自我保护意识，使消费者的权益得到最大限度的保护。（有“为……所”和“被……所”的结构，没有“受……所”的结构，应将“所”字去掉）

②到目前为止，人还不能完全控制自然灾害，农业收成的好坏，在很大程度上还是由于自然条件的好坏决定的。（应为“由……决定的”）

③它是把事件的结局先写出来，然后再按时间顺序叙述事件发生、发展经过的写法叫倒叙。（应去掉“它是”）

12. 出现了文言词语、书面语，可能是重复

①在交通干线上设卡收费的方案必须经地方人大常委会讨论通过，并公诸于社会。（“诸”即“之于”，“于”与它重复）

②雅典奥运会开幕式精彩绝伦，可以堪称一流，受到世界舆论的普遍赞誉。（“堪”即“可以”，“可以”与它重复）

③听了他对事实真相的陈述，我在心里由衷地感谢他。（“由衷”即有“在心里”的意思，重复）

（类似的错误用法还有“过早夭折”“过分溺爱”“卫冕桂冠”等）

13. 带有“否则”的句子，因为“否则”表示相反的情况，如果还列举相反的情况，句子就犯了重复赘余的毛病

要不是教练及时调整进攻阵形，否则，曼联队在这场关键比赛中肯定会出问题。（“要不是教练及时调整进攻阵形”是“否则”表示的内容，重复，应删去“否则”，并删去其后的“，”。）

14. 出现了“的”字的短语，可能是语意不明、搭配不当（偷换主语）、语序不当

①天渐渐地黑了下来，外面又刮了风，街上的行人也渐渐稀少了，修伞的心里非常着急。（语意不明，“修伞的”可能是“修伞的顾客”也可能是“修伞的师傅”）

②2011 年 8 月 3 日晚，在北京天坛举行了发布仪式，当晚祈年殿的灯火辉煌，更显得雄伟壮丽。（误用“的”字，偷换主语，造成“灯火”与“雄伟壮丽”不搭配，应删去“的”字）

③湖南省历史博物馆近日展出了数以万计的八千年前新出土的栽培稻。（语序不当，应将“新出土的”调至“八千年前”）

15. 出现了两面性的词语，可能是前后肯否不一、不合逻辑

①领导班子是否廉明，能否坚持以人为本的执政理念，是推动一个地方社会经济健康发展的前提。（“是否”“能否”是两面，“是……前提”是一面，不搭配）

②我怀着恐惧的心情，担心灾难会不会降临姑妈头上。（“担心”“会不会”，不合逻辑）

16. 出现了“避免”“防止”“以防”“以免”“切忌”“禁止”等词语，可能是不合逻辑（表意相反）

①为了防止这类交通事故不再发生，我们加强了交通安全的教育和管理。（“防止”与“不再发生”不合情理，应去掉“不”）

②睡眠三忌：一忌睡前不可恼怒，二忌睡前不可饱食，三忌卧处不可当风。（“忌”或“不可”去其一）

17. 出现了“前去”“新生”“没有”“走”“和”等多义词或多义短语，可能是语意不明

①县里的通知说，让赵乡长本月 15 日前去汇报。（是“15 日之前去”还是“15 日这一天去”，意思不明）

②在喧天的锣鼓声中，这所有名的老校终于迎来了自己的新生。（是“新同学”还是“新生命”，意思不明）

③此次选举村民委员会主任，他们谁也没有干涉王尔德的权利。（“没有”兼有副词和动词的性质，造成语意不明）

④独联体国家的人民看不上本届世界杯足球赛。（是“看不到”还是“瞧不起”，意思不明）

⑤他背着总经理和副总经理偷偷地把这笔钱分别存入了两家银行。("和"有介词和连词的性质,造成语意不明)

18. 出现了使、让、令、把、被等词,可能是主语残缺、主客体颠倒、语序不当

①经过老主任再三解释,才使他怒气逐渐平息,最后脸上勉强露出一丝笑容。(主语残缺,使动词的主语是"老主任",应去掉"经过";或者去掉"使",将"才"调至"他"后)

②2003年年初美英两国曾集结了令人威慑的军事力量,使海湾地区一度战云密布。(主客体颠倒,"威慑"本身有"吓唬"别人的意思,再用"令"字造成了主客体颠倒,应改成"震慑")

③与作家不同的是,摄影家们把自己对山川、草木、城市、乡野的感受没有倾注于笔下,而是直接聚焦于镜头。(语序不当,应将"没有"调至"把"之前)

④我们伟大的祖国再也不是一个四分五裂的、任意被人蹂躏和掠夺的国家了。(语序不当,应将"任意"调至"被人"后)

(五)修改病句的原则

1. 真实性原则

要尽量保持句子的原意,千万不要违背原意,不能随意增加或减少成分,曲解原句的意思。例如:

人们认为,团队有效性的关键因素不只是个体贡献的简单相加,而是能使队员行动一致、互相配合的团队协作技能。

这个句子的关联词语搭配不当,"不只是"不能与"而是"搭配,可以有两种改法:一是删除"只",让"不是"与"而是"搭配;二是保留"不只是",将"而是"改为"更是",让整个句子构成递进关系。仔细揣摩原意,个体贡献的增加是团体有效性的一个方面,如果使用第一种改法,就是否定了个体贡献,不符合原意,所以应该用第二种改法。

此外,像肯定与否定、一面与两面、存在歧义等的修改,也应该充分考虑句子的原意,不能想当然,随意改变原意。如果不能遵循原意,就不是修改病句,而是再造句子。

2. 针对性原则

要针对病句的实际情况修改,做到对症下药。也就是说,哪儿有毛病,就改哪儿;是什么毛病,就用什么方法。例如:

这项基金,是对公益林管理者发生的管理、抚育、保护和营造等支出给予一定补助的专项资金。

这个句子层次混乱,关系不明。"管理、抚育、保护、营造"不是一个层次的词语,"抚育、保护、营造"都属于"管理",而"抚育、保护、营造"也有个先后次序问题,应该是先"营造"再"抚育"再"保护",应该改为"这项基金,是对公益林管理者发生的营造、抚育、保护等管理支出给予一定补助的专项资金"。

3. 经济性原则

经济性原则,也就是"多就少改",如可以调整语序,就尽量不增删;能改一处的就不要改两处等。例如:

获取信息的能力,成为学生自主学习的前提和基础,也是决定和衡量学生学习能力和水平高低的重要标志。

该句存在搭配问题。可以说"能力是衡量……的重要标志",但不能说"能力是决定……的重要标志",可改为"获取信息的能力,成为学生自主学习的前提和基础,也是衡量学生学习能力和水平高低的重要标志"。

(六)修改病句的难点和方法

修改病句的难点是"辨其症",因为只有知道"病"在何处,才好对症下药。解决这一难点,可从以下几方面着手。

1. 熟悉种类

熟悉病句的种类,可以帮助我们寻找到"病症"。如:"大娘对我说:'改革开放以来,我家的生活

越来越美满，我虽然年事已高、体弱多病，然而心里总是乐滋滋的。'"无论你怎样仔仔细细、认认真真地去找该句的语法错误和逻辑错误都难以找到，但如果知道有"语体色彩用错"这一类语病的话，就会豁然开朗，就会发现"年事已高"是书面语体，与全句的口语语体不合。

2. 仔细辨别

有的病句"病症"比较隐蔽，需要仔细辨别、深入思考，才能发现"病"之所在。如："在民族危急关头，只有人民才能担当起拯救民族危亡的命运。"如果只是粗略地看一看，就会觉得它意思通顺，结构完整，发现不了毛病所在。但如果我们再仔细一点儿，就会发现"命运"是"拯救"的宾语，不是"担当"的宾语，全句宾语残缺，应该在句末加上"的重任"。这种小宾语挤掉大宾语的情况比较隐蔽，应引起注意。

3. 掌握辨析病句的方法

（见"辨析病句的方法"）

附录一

出版物上数字用法的一般原则

一、使用阿拉伯数字或是汉字数字，有的情形选择是唯一而确定的。

1. 统计表中的数值，如正负整数、小数、百分比、分数、比例等，必须使用阿拉伯数字。

示例：48　302　—125.03　34.05%　63%～68%　1/4　2/5　1∶500

2. 定型的词、词组、成语、惯用语、缩略语或具有修辞色彩的词语中作为语素的数字，必须使用汉字。

示例：一律　一方面　十滴水　二倍体　三叶虫　星期五　四氧化三铁　一〇五九（农药内吸磷）　八国联军　二〇九师　二万五千里长征　四书五经　五四运动　九三学社　十月十七日同盟　路易十六　十月革命　"八五"计划　五省一市　五局三胜制　二八年华　二十挂零　零点方案　零岁教育　白发三千丈　七上八下　不管三七二十一　相差十万八千里　第一书记　第二轻工业局　一机部三所　第三季度　第四方面军　十三届四中全会

二、使用阿拉伯数字或是汉字数字，有的情形，如年月日、物理量、非物理量、代码、代号中的数字，目前体例尚不统一。对这种情形，要求凡是可以使用阿拉伯数字而且又很得体的地方，特别是当所表示的数目比较准确时，均应使用阿拉伯数字。遇特殊情形，或者为避免歧解，可以灵活变通，但全篇体例应相对统一。

1. 时间（世纪、年代、年、月、日、时刻）

（1）要求使用阿拉伯数字的情况

①公历世纪、年代、年、月、日

示例：公元前8世纪　20世纪80年代　公元前440年　公元7年　1994年10月1日

a. 年份一般不用简写。如：1990年不应简作"九〇年"或"90年"。

b. 引文著录、行文注释、表格、索引、年表等，年月日的标记可按GB/T 7408—94的5.2.1.1中的扩展格式。如：1994年9月30日和1994年10月1日可分别写作1994-09-30和1994-10-01，仍读作1994年9月30日、1994年10月1日。年月日之间使用半字线"-"。当月和日是个位数时，在十位上加"0"。

②时、分、秒

示例：4时　15时40分（下午3点40分）　14时12分36秒

注：必要时，可按GB/T 7408—94的5.3.1.1中的扩展格式。该格式采用每日24小时计时制，时、分、秒的分隔符为冒号":"。

示例：04:00（4时）　15:40（15时40分）　14:12:36（14时12分36秒）

（2）要求使用汉字的情况

①中国干支纪年和夏历月日

示例：丙寅年十月十五日　腊月二十三日　正月初五　八月十五中秋节

②中国清代和清代以前的历史纪年、各民族的非公历纪年

这类纪年不应与公历月日混用，并应采用阿拉伯数字括注公历。

示例：秦文公四十四年（公元前722年）　太平天国庚申十年九月二十四日（清咸丰十年九月二十日，公元1860年11月2日）　藏历阳木龙年八月二十六日（1964年10月1日）　日本庆应三年（1867年）

③含有月日简称表示事件、节日和其他意义的词组

如果涉及一月、十一月、十二月，应用间隔

号“·”将表示月和日的数字隔开，并外加引号，避免歧义。涉及其他月份时，不用间隔号，是否使用引号，视事件的知名度而定。

示例1：“一·二八”事变(1月28日) “一二·九”运动(12月9日) “一·一七”批示(1月17日) “一一·一〇”案件(11月10日)

示例2：五四运动 五卅运动 七七事变 五一国际劳动节 “五二〇”声明 “九一三”事件

2. 物理量

物理量量值必须用阿拉伯数字，并正确使用法定计量单位。小学和初中教科书、非专业科技书刊的计量单位可使用中文符号。

示例：8 736.80 km(8 736.80千米) 600 g(600克) 100 kg～150 kg(100千克～150千克) 12.5 m^2(12.5平方米) 外形尺寸是400 mm×200 mm×300 mm(400毫米×200毫米×300毫米) 34 ℃～39 ℃(34摄氏度～39摄氏度) 0.59 A(0.59安〔培〕)

3. 非物理量

(1)一般情况下应使用阿拉伯数字。

示例：21.35元 45.6万元 270美元 290亿英镑 48岁 11个月 1 480人 4.6万册 600幅 550名

(2)整数一至十，如果不是出现在具有统计意义的一组数字中，可以用汉字，但要照顾到上下文，求得局部体例上的一致。

示例1：一个人 三本书 四种产品 六条意见 读了十遍 五个百分点

示例2：截至1984年9月，我国高等学校有新闻系6个，新闻专业7个，新闻班1个，新闻教育专职教员274人，在校学生1 516人。

4. 多位整数与小数

(1)阿拉伯数字书写的多位整数和小数的分节

①专业性科技出版物的分节法：从小数点起，向左和向右每三位数字一组，组间空四分之一个汉字(二分之一个阿拉伯数字)的位置。

示例：2 748 456 3.141 592 65

②非专业性科技出版物如排版留四分空有困难，可仍采用传统的以千分撇“,”分节的方法。小数部分不分节。四位以内(包含四位)的整数也可以不分节。

示例：2,748,456 3.14159265 8703

(2)阿拉伯数字书写的纯小数必须写出小数点前定位的“0”。小数点是齐底线的黑圆点“.”。

示例：0.46不得写成.46和0·46

(3)尾数有多个“0”的整数数值的写法

①专业性科技出版物根据GB 8170—87关于数值修约的规则处理。

②非科技出版物中的数值一般可以“万”“亿”作单位。

示例：三亿四千五百万可写成345,000,000，也可写成34,500万或3.45亿，但一般不得写作3亿4千5百万。

(4)数值巨大的精确数字，为了便于定位读数或移行，作为特例可以同时使用“亿、万”作单位。

示例：我国1982年人口普查人数为10亿817万5288人；1990年人口普查人数为11亿3368万2501人。

(5)一个用阿拉伯数字书写的数值应避免断开移行。

(6)阿拉伯数字书写的数值在表示数值的范围时，使用浪纹式连接号“～”。

示例：150千米～200千米 —36℃～—8℃ 2 500元～3 000元

5. 概数和约数

(1)相邻的两个数字并列连用表示概数，必须使用汉字，连用的两个数字之间不得用顿号“、”隔开。

示例：二三米 一两个小时 三五天 三四个月 十三四吨 一二十个 四十五六岁 七八十种 二三百架次 一千七八百元 五六万套

(2)带有“几”字的数字表示约数，必须使用汉字。

示例：几千米 十几天 一百几十次 几十万分之一

(3)用“多”“余”“左右”“上下”“约”等表示的约数一般用汉字。如果文中出现一组具有统计和比较意义的数字，其中既有精确数字，也有用“多”“余”等表示的约数时，为保持局部体例上的一致，其约数也可以使用阿拉伯数字。

示例1：这个协会举行全国性评奖十余次，获奖作品有一千多件。协会吸收了约三千名会员，其中三分之二是有成就的中青年。另外，在三十个省、自治区、直辖市还设有分会。

示例2：该省从机动财力中拿出1 900万元，调拨钢材3 000多吨、柴油1 400吨，用于农田水利建设。

6. 代号、代码和序号

部队番号、文件编号、证件号码和其他序号，用阿拉伯数字。序数词即使是多位数也不能分节。

示例：84062部队　国家标准 GB 2312—80　国办发[1987]9号文件　总3147号　国内统一刊号 CN 11—1399　21/22次特别快车　HP—3000型电子计算机　85号汽油　维生素 B_{12}

7. 引文标注

引文标注中版次、卷次、页码，除古籍应与所据版本一致外，一般均使用阿拉伯数字。

示例1：列宁：《新生的中国》，见《列宁全集》，中文2版，第22卷，208页，北京，人民出版社，1990。

示例2：刘少奇：《论共产党员的修养》，修订2版，76页，北京，人民出版社，1962。

示例3：李四光：《地壳构造与地壳运动》，载《中国科学》，1973(4)，400～429页。

示例4：许慎：《说文解字》，四部丛书刊本，卷六上，九页。

8. 横排标题中的数字

横排标题涉及数字时，可以根据版面的实际需要和可能作恰当的处理。

9. 竖排文章中的数字

提倡横排。如文中多处涉及物理量，更应横排。竖排文字中涉及的数字除必须保留的阿拉伯数字外，应一律用汉字。必须保留的阿拉伯数字、外文字母和符号均按顺时针方向转90度。

10. 字体

出版物中的阿拉伯数字，一般应使用正体二分字身，即占半个汉字位置。

附录二

数字用法常见错误举隅

1. 文学作品误用阿拉伯数字

白发3 000丈。

"3 000"应改用汉字"三千"。《关于出版物上数字用法的试行规定》(以下简称《试行规定》)在"总的原则"中指出："重排古籍、出版文学书刊等，仍依照传统体例。"《中华人民共和国国家标准·出版物上数字用法的规定》(以下简称《国家标准》)也同样强调了规定的适用范围："本标准不适用于文学书刊和重排古籍。"因此，文学作品没有特殊需要，是不必把汉字改成阿拉伯数字的。

2. 星期几误用阿拉伯数字

直到星期2，车还没到，全厂的人都伸长了脖子。

《试行规定》和《国家标准》都明确规定，星期几一律要用汉字。"星期2"应为"星期二"。

3. 夏历月日误用阿拉伯数字

8月15，圆月当空。天上月圆，地上人圆，让我们为新人举杯……

"8月15"应为"八月十五"。汉字和阿拉伯数字是两种不同的符号系统，为了准确地反映历史面貌，《国家标准》规定，凡中国干支纪年和夏历月日，均应使用汉字。"八月十五"即中秋节，这是按夏历计算的，故不能用阿拉伯数字。"大年三十"当然也不能写成"大年30"。同样，按照这一规定，"丁丑年三月十二日"，就是中国干支纪年，也不可写成"丁丑年3月12日"。

4. 清代以前历史纪年误用阿拉伯数字

嘉靖8年，一条鞭法正在推广，税制大为简化。

"嘉靖8年"应为"嘉靖八年"。"嘉靖"是明代皇帝的年号。《国家标准》规定，凡中国清代和清代以前的历史纪年、各民族的非公历纪年，均不应与公历混用。也就是说不能用阿拉伯数字表示；但可以按传统体例即用汉字表述，并用阿拉伯数字括注公历，如"嘉靖八年(公元1529年)"。

5. 年份随意缩略

早在92年以前，此事便已提上议事日程，但议而不决，至今还是八字未见一撇。

"92年以前"应为"1992年以前"。否则，容易产生歧义，因为"92年以前"也可理解为"九十二年以前"。《试行规定》明确指出："年份不能简写，如1980年不能写作80年，1950年～1980年不能写作1950年～80年。"《国家标准》稍稍表现出一点弹性，加了"一般"两字："年份一般不用简写。如：1990年不应简作'九〇年'或'90年'。"但两者的基本精神是一致的。

6. 固定词组中的数字误用阿拉伯数字

影片上的侵略者长驱直入，一路只见残垣断壁、荒草野径，你怎能不感到8国联军铁蹄的

疯狂？怎能不感到这一页历史的沉重？

“8国联军”应为“八国联军”。《国家标准》规定，凡是定型的词、词组、成语、惯用语、缩略语或具有修辞色彩的词语中作为语素的数字，必须使用汉字。“八国联军”是一个定型词组，不是临时组合，因此不能写作“8国联军”。同理，“第三世界”不能写作“第3世界”，“十月革命”不能写作“10月革命”，“二万五千里长征”不能写作“25 000里长征”，“五十步笑百步”不能写作“50步笑100步”。

7. 世纪和年代误用汉字

十九世纪末期，一个叫秋田柳吉的人，从大阪来到东京。

20世纪二十年代初，有声电影兴起，无声电影开始走下坡路。

“十九世纪”应改为“19世纪”，“二十年代”应改为“20年代”。根据《国家标准》，公历世纪、年代、年、月、日以及时、分、秒，这是一个完整的时间系列，均应用阿拉伯数字表示。不能年、月、日用阿拉伯数字，世纪和年代又用汉字，同一系列，两样书写，不符合数字使用要协调、得体的规定。

8. 用阿拉伯数字书写的多位数不能断开移行

一年来，北京某作家足不出户，写了650 000字，其中有一部长篇、两部中篇……

“650 000”是用阿拉伯数字书写的数值，不能断开移行。《试行规定》和《国家标准》对此都有明确规定。因为一旦断开，数值便无法准确识读。

9. 数量单位运用不合规范

一人有难，八方支援。短短一周内，基金会便收到了来自四面八方的4万3千5百元的捐款……

“4万3千5百元”可以写作“43 500元”，也可写作“4.35万元”，但写作“4万3千5百元”是不合规范的。根据《国家标准》规定，在非科技出版物中，为了便于读数或移行，可以用“亿”“万”作单位，数值特别大的，还可以将“亿、万”同时使用。但一般情况下，不得以十、百、千、十万、百万、千万等为单位，更不能如上例将“万、千、百”同时使用。

10. 概数误用阿拉伯数字

别看她才7、8岁，但说起话来就像一个大人。

“7、8岁”应为“七八岁”。《国家标准》明确规定，相邻的两个数字并列连用表示概数，必须使用汉字，连用的两个数字之间也不得用顿号隔开。

11. 约数误用阿拉伯数字

挖了半天，也不过10几斤。芳芳嘟着嘴，沿着小路拎着篮子走了过来。

“10几斤”应为“十几斤”。约数有两种情况：凡是带“几”的，必须用汉字；其他用“多”“余”“左右”“上下”等等表示的，则必须视上下文而定，以局部体例的统一为原则。一般情况下，也以用汉字为宜。

12. 竖排误用阿拉伯数字

库	建	刊	农	30	织	11	剧	全	以	乡																
14	立	500	民	多	放	万	下	统	来，	活																
万	农	余	赠	万	映	多	乡	计，	据	动	「	文														
多	村	万	送	场，	电	场，	就	仅	不	开	化															
个。」		书	册，	书	向	影	组	有	戏	完	展	下														

上例中的阿拉伯数字，均应改为汉字。《国家标准》规定，竖排文字中，只有涉及代号、代码或序号之类不宜改动的阿拉伯数字方可保留，其余一律使用汉字。否则，不管阿拉伯数字是“直立”还是“躺倒”，都是不合规范的。

附录三

关联词语搭配形式一览表

（一）并列关系

边……边……：他边唱边跳。

一边……一边……：王红喜欢一边听音乐一边看书。

一面……一面……：姐姐一面梳头，一面吩咐我把电视关上。

既不……也不……：我既不想去钓鱼，也不想去打球。

既不……又不……：这座房屋既不是李先生的，又不是王奶奶的，它是孙女士的。

既……又……：这个人既好斗又和善，既尚武又爱美，既蛮横又文雅，既刻板又富有适应性，性格很复杂。

有……有……：从那一刻起，我们不再有蓝天，不再有淡水，不再有森林，不再有氧气，因为人类毁灭了这一切！

又……又……：这个苹果又大又甜。

不是……而是……：他不是不喜欢和我们一起玩，而是因为家里有太多事等着他做。

是……不是……：蜜蜂酿蜜，是为人类酿造

最甜的生活，不是为自己。

时而……时而……：考试的时候我时而低头沉思，时而伏案疾书。

有的……有的……：深秋季节，绚烂的菊花开了，有的是淡绿色，清雅美丽；有的是深紫色，摇曳多姿。

有时……有时……：那里的天气，有时冷，有时热。

一来……二来……：我想陆续记下儿子成长的点滴，一来和朋友们一起分享，二来留待以后回忆。

一则……二则……：夏天空调一般温度设定在比室外温度低3～5 ℃为宜，一则不容易得空调病，二则可以达到节能的目的。

一会儿……一会儿……：美丽的小燕子一会儿蜻蜓点水般掠过湖面，一会儿像离弦的弓箭飞向远方。

有时候……有时候……：他处理事情，有时候成熟稳重，有时候又显得幼稚可笑。

一方面……(另)一方面……：国难当头，中国政府一方面对地震中的被埋人员实施地毯式搜救，(另)一方面妥善安置地震中的幸存者，让他们感受到来自国家和人民的温暖。

(二)选择关系

不是……就是……：这只小狗不是小丽的，就是小华的。

宁愿……也不……：他宁愿放弃比赛，也不会服用违禁药物。

要么……要么……：这个邀请你要么欣然接受，要么断然拒绝。

不……就……：你要是不趁年轻多学点儿本领，以后就会后悔。

除了……就……：除了最好的朋友，就再也没有任何一个人来过我这个秘密的小花园。

或许……或许……：或许他会来看我，或许他不会来，但我会一直等。

或者……或者……：或者是文中作者的表述，或者是自己的感言，不管怎样，我们都要在记叙过程中点出话题。

宁可……也(不)……：他宁可牺牲自己，也不把秘密告诉敌人。

与其……不如……：与其到处诉苦，不如静下心来想想下一步该怎么做。

(三)递进关系

不但……还……：他不但成功赢得了比赛，还赢得了观众的心。

不但……而且……：他不但学习好，而且人品好。

不仅……还……：在我们班上，他不仅学习成绩好，还乐于助人，所以大家都喜欢他。

不但……也……：芦荟不但能美容，也能食用。

不单……还……：人生不单有成功的喜悦，还有挫败的失落，这样的人生才叫精彩。

不但……更……：果汁不但美味可口，更可以美容养颜。

别说……就是……：这道题，别说是你，就是老师做，也很难。

不仅……而且……：他们不仅提前完成了任务，而且还支援了兄弟单位。

不但……连……也……：会议开始的时候已经座无虚席了，不但是座无虚席，连站的地方也很紧张。

不光……而且……：她不光长得漂亮，而且心地善良。

不光……就是……：在作文教学中，教师出了题目，不光只让学生做，就是教师自己也应该做，这样才便于指导学生。

不仅……反而……：如果一个人能“知耻”善改，不仅不会被别人鄙视，反而更会得到人们的尊敬。

不仅……就是……：这道数学题太难了，不仅弟弟不会做，就是我想破脑袋也解答不出来。

不仅……也……：这不仅是一次失败，也是一次教训，更是人生的一种阅历。

不只……还……：语言有文采，不只表现在修辞手法的运用上，还与遣词造句密切相连。

非但……反而……：他做了许多坏事，非但不感到懊悔，反而变本加厉起来了。

尚且……何况……：这个案子，有经验的侦探尚且都困惑了好久，何况你这个初出茅庐的新警官呢！

(四)连贯关系

先是……接着……然后……：许晓薇先是有些不解，接着一下子就明白过来，然后就把那个盒子打开了。

一……就……：班主任一进教室，学生们就立刻停止了喧哗。

至于……就……：我很喜欢读书，至于什么书，那就没有定论了。

(五)因果关系

既然……那么……：既然过去已经无法更改，那么就好好面对未来吧。

既然……就……：既然你来了，那我就不用找你了。

由于……因此……：由于聚会用餐没有提前预约，因此对大家照顾不周，还望各位包涵。

所以……是为了……：我们所以要珍惜时间，是为了充分利用时间来实现自己的理想。

之所以……是因为……：悲伤之所以不在我的生活里，是因为我总敞开心胸，每天快乐地生活！

因为……所以……：因为有了辛勤的园丁，所以才有了桃李的芬芳。

因为……才……：我们要缅怀革命先烈，因为有了他们的舍生忘死，才有了我们今天的美好生活。

（六）转折关系

尽管……但是……：尽管我爱吃山楂，但是我并不爱吃用山楂做的糖葫芦。

尽管……还是……：尽管它这样机灵，还是难以逃脱翠鸟锐利的眼睛。

尽管……却……：尽管我们很不省心，母亲却一直无怨无悔地照顾我们。

虽然……可是……：虽然锻炼身体会占用一些学习的时间，可是却有利于血液循环，能使我们的身体保持健康。

虽然……但是……：虽然人生的道路上布满了荆棘，但是痛苦会让生命更加灿烂！

固然……不过……：广西的山水固然值得赞美，不过最值得赞美的是广西的人民。

固然……但……：网络固然给我们带来了丰富的知识，但同时也给我们带来了不可避免的麻烦。

虽说……却……：虽说贪玩是孩子的天性，却也不能就这样任由他去啊！

幸而……否则……：幸而老马能识途，否则赵将军就要败北了。

幸亏……不然……：幸亏班长的心理素质好，不然如此嘈杂的环境会影响他学习的。

（七）条件关系

不管……都……：不管你是不是很自信，你都应该相信自己的能力。

不论……都……：不论曾经的选择是对或是错，现在都无法改变了。

不论……也……：不论困难有多大，我也决不会放弃努力。

凡是……都……：凡是课本上的几何题，我都可以轻而易举地做出来。

任凭……也……：任凭你有天大的本事，也逃不掉法律的制裁。

无论……都……：无论要经过多少年，要飞多久，我都不会放弃对阳光、对希望的追求。

无论……也……：无论多苦多累，我也要每天早早来到学校参加体育锻炼。

只要……都……：只要肯下决心去做，任何困难都能克服。

只要……就……：学习并不是一件困难的事，只要你用心去学，就一定能学好。

只有……才……：只有付出劳动，才会有收获。

无论……总……：无论多么困难的问题，总会有人解答出来。

一旦……就……：一旦计划失败，我们就会全军覆没。

唯有……才……：唯有坚强的人，才能冷静地应对困难。

（八）假设关系

假如……就……：假如今天不硬拉妈妈打羽毛球的话，妈妈就不会摔跤了。

如果……就……：如果这个时候你对我微笑，我就会很有信心。

如果……那么……：如果我有了钱，那么我就要去环游世界。

纵使……也……：纵使困难使我们一筹莫展，我们也有理由对自己说，我会乐观地看待一切。

要不是……还……：要不是小刚突然受伤，小明还不会出现在赛场上。

要不是……就……：要不是他来，就不会出乱子。

若是……就……：若是对一门学问不能深入地学习与研究，就很难学有所成。

倘若……就……：倘若你不信，就亲自去看看吧。

（九）让步关系

即使……也……：即使天空没有太阳，我也要快乐地生活，因为我的心中有阳光。

就是……也……：就是听清了，他也不知道这个数字代表什么。

就算……也……：就算这次比赛失败了，我也不会气馁。

纵使……也……：纵使前方道路布满荆棘，也不会消退我内心向往远方黎明的渴望。

哪怕……都……：只要我们齐心协力，哪怕有重重困难，都一定会克服。

附录四

逻辑基本知识简介

概念

1. 定义

概念是思维的基本形式之一，反映客观事物的一般的、本质的特征。一个概念可有其内涵和外延。内涵是指概念所反映的事物的本质属性的总和，也是概念的内容。外延是指一个概念所确指的对象及范围。

2. 概念之间的关系

根据两个概念的外延有无重合或重合部分的多少，概念间的关系可分为以下几种：

A. 全同关系：两个概念的外延完全重合，反映的是同一类事物，但内涵却不完全相同。例如："银川市"和"宁夏回族自治区的首府"这两个概念就是全同关系。

B. 种属关系：一个概念的外延包含在另一个概念之中，例如："中学生"与"学生"，"语文教材"和"教材"这两组概念是种属关系。

C. 交叉关系：两个概念的外延部分重合。例如："学生"和"共青团员"，"教师"与"先进工作者"这两组概念就是交叉关系。

D. 矛盾关系：两个概念有一个共同的属概念，两个概念的外延是排斥的，它们的外延加起来等于属概念的外延。例如，"社会主义国家"和"非社会主义国家"这两个概念就是矛盾关系的概念。

E. 反对关系：两个概念有一个共同的属概念，两个概念的外延是排斥的，它们的外延加起来小于属概念的外延。例如，"社会主义国家"和"资本主义国家"这两个概念就是反对关系的概念。

命题

1. 定义

是运用概念进行判断的语言形式，是断定或陈述事物情况的思维单位。

2. 命题与判断

命题不是指判断本身。当相异判断具有相同语义的时候，它们表达相同的命题。在同一种语言中，两个相异判断也可能表达相同的命题。例如，"雪是白的"这个命题也可以说成"冰的小结晶是白的"，之所以是相同命题，取决于冰的小结晶可视为雪的有效定义。

3. 命题与语句

逻辑中的命题和语言中的语句并不是一一对应的。并非所有的语句都表达命题，而且同一个命题可以用不同的语句来表达。在语文学习和实际生活中，可能会经常发现，一句话在字面意义之外，还可能有类似于戏剧中潜台词的言外之意，逻辑学上叫"预设义"或"隐含义"。在阅读文章或听别人说话的时候，还要注意各种言外之意。

推理

1. 定义：是由已知命题得出新的命题的思维过程，往往要通过复句的语言形式来体现。

2. 语言形式：推理的语言形式为表示因果关系的复句或具有因果关系的句群。常用"因为……所以……""由于……因而……""因此""由此可见""之所以……是因为……"等作为推理的关联词。

3. 种类：按推理过程的思维方向划分，可分为如下几类：

A. 演绎推理

由普遍性的前提推出特殊性的结论和推理。演绎推理有三段论、假言推理和选言推理等形式。三段演绎法是由一个共同概念联系着的两个性质判断作前提，推出另一个性质判断作结论的推理方法。

B. 归纳推理

由特殊的前提推出普遍性结论的推理。归纳推理有以下几种类型：完全归纳法、求同法、求异法等。综合归纳法是以大量个别知识为前提概括出一个一般性结论的推理方法。

C. 类比推理

从特殊性前提推出特殊性结论的一种推理，也就是从一个对象的属性推出另一对象也可能具有这种属性。

第六部分　扩展语句，压缩语段

一、扩展语句

所谓扩展语句，是指根据给定的词语或句子，围绕一个中心，写一段语言连贯、言之有物的话。

（一）扩展语句的题型

1. 给词语，扩成句段。

例如：(2011·天津卷)请从以下7个词语中任选4个，写一段话。要求语意完整，合乎情理，不超过48字。

给力　雷人　粉丝　妙趣横生　山重水复　美不胜收　怡然自得

本题属于选用词语组合情境式扩展题。可先选出词语，然后构想情境，连缀词语成段。由此可扩展为：

(示例1)辣妈点点雷人模仿秀相当给力，嘉宾毕福剑的评点妙趣横生，搞笑功力有增无减，令众多现场粉丝捧腹连连。

(示例2)海南那美不胜收的风光，那妙趣横生的漂流，海边那怡然自得的散步，海滩那给力的民族舞蹈……真让人陶醉。

2. 给句子，扩展成语段。

例如：将杜甫《登高》中的"风急天高猿啸哀，渚清沙白鸟飞回"这两句诗扩展成一段话。

解答这类题，一不能按其字面意思简单地解释或翻译。二要先确定中心，后扩展，这个中心要能准确反映原诗所表达的情感。如杜甫的诗《登高》写于诗人的晚年，反映了诗人的忧思。鉴于此，这句诗的扩充要注意能写出诗人心中的那份忧思。三是遣词造句时要注意做到简明、连贯、得体。据此，这句诗可扩充成以下这段话：

秋风凛冽地吹着，吹得万木凋零，漫山遍野是衰败枯黄的树叶；江水急剧地翻滚，孤鸟在空中久久地盘旋，远处不时传来几声猿的哀鸣。

3. 给段首或段尾，扩展成完整语段。

在下面一段话后续写。不超过100个字。

据报道，某位以独特的"搞笑"风格塑造了众多小人物的著名笑星，被某大学聘为教授。对于他能否胜任，人们有着不同的看法。

此题在扩写时应抓住关键词"不同的看法"，并由此生发开去。我们可以扩展成以下内容：

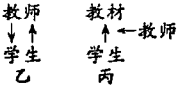
有人说，当好影星得了，何必去抢戴"教授"帽？有人说，他既然能"以独特的'搞笑'风格塑造了众多小人物"，那他就是一位喜剧大师，做艺术系的教授绝对够格！有人说，学校当自强，别老想靠明星扩大影响。有人说，艺术也要结合实践，这位著名影星就是实践专家。有人说，乱送"教授"帽子，反而显得太廉价。有人说，球队要有单项教练，大学也不妨请"明星老师"。有人说，这是学风的堕落，以后可能会自取其辱。

值得注意的是，这类扩展，不同于仿写，也不同于一般的造句，它要求表意前后一致，语言形式前后一致，要使前后形成一个有机的整体，因此，考生在做这类试题时首先要认真审读题干，明确试题的要求；其次要把握所提供文段或文句的语脉，搞清整个语段或句子前后句之间的内在联系；最后要注意语言表达形式上的相互联系，如句式、修辞手法等。要从试题的形式和内容上入手进行分析、扩展。

4. 图表内容的扩展，即将图表所表示的内容用文字的方式扩展出来。

例如：把下图表示的内容，用文字说明的方式，扩展成三句话。

教学过程(三种方式)的示意图：



解答这类题，一要注意把图表的内容读懂，二要用简明、得体的语言表达出来。上例可扩展为：

甲：教师单纯传授知识，学生被动接受。乙：教师讲解启发，学生思考、答问、质疑。丙：学生独立学习教材，教师控制学习过程。

（二）扩展语句的解题方法

1. 定好扩展重心，看清扩展要求。

从要求扩展的语句（段）中找出需要扩展的词语，这个词语必须是句子表意的重心。能体现句子的中心和重点的成分（即隐性要求），需视句子的意思而定，不好笼统地规定。如"山水各有各的情趣"，扩展的重心应落在宾语"情趣"上：山的"情趣"是什么？水的"情趣"是什么？再如"几个小孩儿在小河边的青草地上欢快地玩着"，扩展的重心应落在谓语"玩"字上：怎样"玩"？"玩"什么才能体现"欢快"？可以充分展开联想和想象。

另外，要重视题干中已经明确提出的要求（即显性要求），这些要求往往比较具体，其本身就是句子扩展的重心和方向。

2. 明确扩句类型，选好表达方式。

要扩展的句子属于叙述、描写、议论、说明中的哪种类型，一看内容便可心中有数。但确定用哪一种表达方式扩展，应视内容的需要而定。有的扩句重在叙述事情发生、发展的过程，需用叙述；有的扩句重在人物或景物的形象描绘，需用描写；有的扩句重在阐述对事物的看法和见解，需用议论；有的扩句重在解说事物的特点和事理的特征，需用说明；有的扩句需要上述多种表达方式综合运用。因此，必须先弄清这几种表达方式的含义。

（1）叙述

叙述是记叙人物的经历、行为及事件的概况或发展过程的一种表达方式，语句一般按时间顺序排列。叙述一般不用中心句。例如：

我小时候，家在哈佛尔，并不是有钱的人家，也就是刚刚够生活罢了。我父亲做着事，很晚才从办公室回来，挣的钱不多。我有两个姐姐。

分析：这个叙述性段落，交代了"我"小时候的情形、生活的城市、家里的经济状况、父亲的工作、家庭成员等，没有中心句。

（2）描写

描写是通过简笔勾勒或繁笔细描以及一系列典型细节来刻画人或事物的形象与特征，给读者以鲜明印象的一种表达方式，常按时间、空间、心理活动的顺序排列句子。这种语段有时使用中心句。例如：

夕阳像一位暴君似的，向西边沉下……晚霞烧红了西边的云天，始而橘红，既而深红……慢慢地，一弯明月升上来了，星星也眨呀眨地闪闪发亮。地上的禾苗仍然闷热得喘不过气来，颓唐地垂着头；有些禾苗已经去见阎王爷了。三五个光着膀子的农民叔叔，来到河边将双脚泡在水中，借以降低身上的高温，散发"干旱禾苗半枯焦，农夫心里似火烧"的火气。

分析：此描写性语段以愤恨"暴君"为中心，按时间、空间、心理活动的顺序展开描写。

（3）议论

议论是作者表明对事物或问题的看法和意见，并对此进行分析、得出结论的一种表达方式，多按解说或推论的顺序排列语句，有的夹叙夹议，有的先叙后议，有的先议后叙。用这种方法扩展语段常使用中心句。例如：

11月2日，我们班长和邮递员魏叔叔结算，班上共订了540元钱的报刊。班长杨波在这次收订工作中尽职尽责：从一个一个收订到最后结算，用去很多时间，花费了很大精力。仅仅结算就用了两个半小时的时间：核对姓名、报刊名、号码、分类、单价、季价、全额，一分不错。魏叔叔说他头脑清醒，同学们称赞他关心大家的学习，老师也夸他全心全意地为大家服务。

分析：这个语段的特点是以事实为论据，夹叙夹议，先叙后议。

（4）说明

说明是解说事物或事理的特征和本质的一种表达方式，常按时间、空间、事理的顺序排列语句。说明性语段独立性较强，结构较完整，常用中心句。例如：

常言道："勤喂猪，懒喂蚕，四十八天见现钱。"山地农民把这两种致富的经济来源叫做"二宝"。

那么"第三宝"是什么？那不用说就是牛了。牛的全身都是宝：牛皮能做皮衣、响鼓等用品；牛肉、牛杂都是美味食物、下酒的好菜；牛骨可以做骨尺，加工成骨粉是优质的磷肥；牛尾可以做刷子、弓弦等；牛的粪便是很好的氮肥、钾肥。而且更重要的是牛能耕田和犁地，是山地重要的生产力，它是农村第三宝，庄户人家离不了。

分析：这个说明性语段先引用俗语，具有吸引力；后用设问引出下文；扩展部分按事理分层解说；最后总结，点明中心。

只有弄清了语句(段)扩展的表达方式，才能避免句子表意纠缠不清的现象。需要描写的不至于去议论，需要议论的不至于去叙述，需要记叙的不至于去说明，需要说明的不至于去描写。

(三)几种常用的扩展方法

1. 举例扩展法

客观事实是最有说服力的，所谓"事实胜于雄辩"。用举例来陈述、证明中心意思是最基本的扩展方法。例如：

我对松树怀有敬意的更重要的原因却是它那种自我牺牲的精神。你看，松树的干是用途极广的木材，并且是很好的造纸原料；松树的叶子可以提炼樟发油；松树的脂液可制松香、松节油，是很好的工业原料；松树的根和枝又是很好的燃料。更不用说在夏天，它用自己的枝叶挡住炎炎烈日，叫人们在如伞的绿荫下休憩；黑夜，它可以劈成碎片做成火把，照亮人们前进的路。总之一句话，为了人类，它的确是做到"粉身碎骨"的地步了。

分析：如果要求扩展第一句话，那么，后面的扩展部分必须举例子具体阐述。所以，该语段列举了松树的干、叶、脂液、根和枝全部服务于人类等例子。然后，又深入一步，从总体上举出松树在夏天挡住烈日给人以阴凉、在黑夜不惜焚烧自己照亮人们前进的路，来强调和赞美松树自我牺牲的精神，从而使人们了解到松树为了人类的确是做到"粉身碎骨"的地步了。

2. 时空推移法

任何事物都存在于一定的时间和空间范围内。要表述某事物发生、经过、结束这一过程，常以时间的先后为序加以展开；而要在同一时间内描述不同地域、方位的情况，则通常以空间的转换为序加以展开。例如：

自然界一年四季变化不同。立春过后，大地渐渐从沉睡中苏醒过来。冰雪融化，草木萌发，各种花次第开放。再过两个月，燕子翩然归来。不久，布谷鸟也来了。于是转入炎热的夏季，这是植物孕育果实的时期。到了秋天，果实成熟，植物的叶子渐渐变黄，在秋风中簌簌地落下来。北雁南飞，活跃在田间草际的昆虫也都销声匿迹。到处呈现一片衰草连天的景象，准备迎接风雪载途的寒冬。在地球上温带和亚热带区域里，年年如是，周而复始。

分析：这个语段，先提出"自然界一年四季变化不同"，扩展部分按春、夏、秋、冬的时间顺序描述一年四季的变化。由于事物的变化都有一个过程，按时间的推移去记叙，就能清楚地展示这个过程。结尾对这种变化又作了区域的限制，使之更科学、更明确。

3. 因果推论法

世上万事万物，有因就有果，有果必有因。说明事情为什么会发生、为什么会得到某种结果，都是通过论述事物运动发展的因果关系来完成的。例如：

人总是要死的，但死的意义有不同。中国古时候有个文学家叫做司马迁的说过："人固有一死，或重于泰山，或轻于鸿毛。"为人民利益而死，就比泰山还重；替法西斯卖力，替剥削人民和压迫人民的人去死，就比鸿毛还轻。张思德同志是为人民利益而死的，他的死是比泰山还要重的。

分析：这个语段论证了张思德同志的死比泰山还要重，由因及果，是通过表述事物的因果关系来扩展语句的。

4. 比较对比法

有比较才有鉴别。把彼此有一定联系而又有所区别的事物加以对比、比较，突出其不同之处，说明其相同之处，这也是扩展语段的基本方法之一。例如：

怎样区分一个人的爱好和志趣是否正当呢？主要是看这种爱好和志趣是否有利于人的身心健康：是振奋一个人的精神，还是使人意志消沉；是使人的生活目的和理想更加高尚，还是趋于颓废、庸俗。使人身心健康、精神振奋、生活目的和理想高尚的爱好和志趣，都是正当的；相反，那些消磨人的意志，使人精神颓废、生活庸俗，从身心两个方面损害人的那些东西都是不正当的，都是低级趣味。正当的爱好和志趣可以丰富一个人的生活，使人在德、智、体、美几方面都得到发展。

分析：为了区分正当的爱好、志趣和不正当的爱好、志趣，扩展部分把二者作了对比，从而突出了它们的区别。

5. 总说分说法

表述一个事物或观念，可以先总说，后分说。总说给人以初步概括的印象，分说则从多方面加以解说印证，或按其内部结构逐层分述。这也是经常用来扩展语句或段落的方法。例如：

林黛玉听了这话，不觉又喜又惊，又悲又叹。所喜者，果然自己眼力不错，素日认他是个知己，果然是个知己。所惊者，他在人前，一片私心称扬于我，其亲热厚密，竟不避嫌疑。所叹者，你既为我之知己，自然我亦可为你之知己矣；既你我为知己，则又何必有金玉之论哉；既有金玉之论，亦该你我有之，则又何必来一宝钗哉！所悲者，父母早逝，虽有锦心刻骨之言，无人为我主张。况近日每觉神思恍惚，病已渐成，医者更云气弱血亏，恐致劳怯之症。你我虽为知己，但恐自不能久待；你纵为我知己，奈我薄命何！想到此间，不禁滚下泪来。待要进去相见，自觉无味，便一面拭泪，一面抽身回去了。

分析：这一段先总括出黛玉暗中听到宝玉的一番话后心头涌起的复杂感情，后分别叙述她为什么又喜又惊、又悲又叹，从而表现了她对宝玉深深的爱以及对未来的忧虑。

6. 定义分类法

说明各种各样的事物，常常需要描述或解释概念，即显示未知事物与已知事物的关系，使读者对事物或概念有一个清楚的了解；还可以根据某一标准给事物分类，以显示它们之间的共性和区别。用上述方法来扩展语句，就是定义分类法。例如：

概念就是事物的特有属性在人们头脑中的反映。比如我们看到各式各样的交通工具，经过反复的观察、比较，发现有一类交通工具，它们以内燃机作动力，装有橡胶轮胎，主要在马路上行驶。这就是这类交通工具区别于火车、飞机、轮船等等的特有属性。它反映到我们的头脑中来，就产生了“汽车”这个概念。

分析：这个语段先给“概念”下定义，然后加以解说，最后通过解释定义来扩展内容。

陆地表面有各种各样的形态，总称地形。我国辽阔的大地上，有低平宽广、起伏不大的平原，也有海拔较高、面积广大的高原；有峰峦高耸、地面崎岖的山地，也有高度不大、坡度缓和的丘陵；还有周围高、中间低的盆地。各种地形交错分布，景象万千！

分析：这个语段先明确什么叫地形，然后对地形作分类描述，从而说明地形可以分为平原、高原、山地、丘陵、盆地等几种类型。

7. 借用修辞法

借用一些修辞手法来对语句进行扩展，可以收到生动形象、新颖活泼的效果。借用的修辞手法有比喻、排比、拟人、对偶、夸张、对比等。下面就这种方法作具体说明。

(1)借用比拟的修辞手法扩展语句

借用比拟的修辞手法尤其是拟人，能使扩展后的语句更加生动形象，更富有感染力。如：

将下面给出的几个词语扩展成为意思连贯的一段话，不得少于35个字。

早晨　太阳　树上的鸟儿　树下的流水

该题中的“太阳”“鸟儿”“流水”三个词语均可以运用拟人的修辞手法来加以描绘，从而使语句得到扩充和丰富。如下面的语句：

早晨，太阳露出红彤彤的笑脸，挑着担似的，慢慢地从地平线上爬了上来。树上的鸟儿跳着舞，婉转地叫着；树下的流水唱着歌，欢快地流向了远方。

(2)借用排比的修辞手法扩展语句

排比，既可以是句与句之间的分句排比，也可以是句子内部成分与成分之间的短语排比。无论借用哪一种形式，都可以用来对语句进行扩展，使之更加丰满而有气势。如：

将“苏东坡穿越千年的时空，向我们走来”一句话扩展成50字左右的一段话。

该句的句子结构已经比较完整了，因此，采用“分句排比”的形式就比较困难，我们不妨着眼于句子内部，从句子成分的角度来考虑，采用定语排比或状语排比的形式对原句进行适当的扩展。如下面的例句，就是借用状语排比的形式扩展的：

身系眉州父老的期望，心念海南百姓的嘱托，携着前世渊明的旧梦，苏东坡穿越千年的时空，向我们走来。

(3)借用比喻的修辞手法扩展语句

在比喻修辞格的大家庭中，能借用来扩展语句的修辞手法有很多，如明喻、暗喻、博喻等。借用比喻，不仅能使语句得以扩展，而且还可以使扩展后的语句显得生动形象、清新自然。如：

以“溪”“海”和“潭”为意象写一段文字，要求表达某种感悟，至少运用一种修辞手法，不超过60字。

要把题目中所给的三个意象联系在一起来表达感悟，可以展开联想，运用比喻的修辞，把三者作为喻体，从而将抽象的感悟形象化。可扩展为：

人生不过是为了尽力展示生命独特的美丽，如同一条山间小溪，可以越过高山投身辽阔的大海，也可以随遇而安，化成一汪碧绿的清潭。

(4)借用对偶的修辞手法扩展语句

借用对偶的形式对语句进行扩展，这在原句中往往会有所暗示。因此，解题时要善于发现并抓住这些暗示的信息，以便快速地扩展语句。如：

将“沐着春风，迎着太阳，望着云，心情立刻轻松起来”一句进行扩展，不得少于50个字。

原句中的“沐着春风，迎着太阳，望着云”就是一条很重要的暗示信息，它启示我们既可以借用排比的形式来加以扩展，也可以借用对偶的修辞手法来加以扩展(“沐着春风”与“迎着太阳”可用对偶的修辞手法来扩展)。如下面的句子就是运用了对偶的修辞手法来扩展的：

沐着弥漫花香的醉人春风，迎着冉冉升起的金色太阳，我满怀深情地望着天边那朵悠悠的白云，压抑已久的沉郁心情立刻轻松起来。

二、压缩语段

“压缩语段”就是将内容丰富的长语段，按要求浓缩成语言简洁、意思明了的短语段。压缩语段题主要考查提炼、概括、压缩的能力及表述能力。

(一)压缩语段的题型

1. 拟写标题，提炼导语

新闻标题和导语在新闻中有着至关重要的地位，起着提挈全篇、浓缩文意的作用。因此必须简洁、确切、醒目，即要用简明的语言概括出所报道的主要内容，点明其意义并要求富有吸引力。例如：

给下面的新闻拟写一个标题，不超过15个字。

北京时间1月17日零时12分，我国在西昌卫星发射中心用“长征三号丙”运载火箭，将第三颗“北斗”导航卫星成功送入预定轨道，前两颗分别发射于2007年4月和2009年4月。这标志着我国自行研发的“北斗”卫星导航系统又向前迈出了重要一步。

答案：“长征三号丙”运载火箭成功发射

2. 拟标题新闻或一句话新闻

标题新闻，或称之为黑边新闻(以标题形式表现新闻事实，并饰以黑边)。这种新闻以题代文，文题相融，文简、事简、意明、信息含量大而丰富。

一句话新闻即运用一句话，采用标题新闻的语言表达形式，完成一篇新闻稿件的报道任务。要求能够揭示新闻事件的核心内容，有必要的时间、地点、人物、事件，使人一读就知道谁干了什么事情

(或什么事情怎么样),一般常用主谓句。例如:

(1)把下面的材料改写成标题新闻。(不超过18个字)

本报讯 5月26日,记者从市旅游外事侨务局获悉,接国家旅游局通知,我市正式获批"中国优秀旅游城市"。至此,我省已有9个地级市和3个县级市获此殊荣。

我市旅游资源丰富,品种齐全,特色独具,重要的旅游资源有:大雄山国家森林公园、龙山国家森林公园、梅山龙宫、紫鹊界梯人梯田、曾国藩故居富厚堂、湄江风景区等。其中梅山龙宫和曾国藩故居富厚堂已获批国家AAAA级旅游区。

(摘自2010年5月27日《娄底广播电视报》)

答案:娄底正式获批"中国优秀旅游城市"

(2)将下面这则消息概括为一句话新闻。(不超过10个字)

一架从俄罗斯起飞的伊尔-76飞机,日前载着一位尊贵的北极"客人"抵达大连国际机场,它就是来自北极圈内的珍稀动物——白鲸。这也是白鲸家族在历史上首次登陆中国,它将成为大连老虎滩极地海洋动物馆的正式成员。

这只三岁的白鲸,身长近4米,体重500公斤左右,是个性情温顺的"小姑娘"。在来中国之前,它已学会了转圈、唱歌、与人接吻,生气了还会叫上几声。白鲸的新家被安置在刚刚建好的极地馆内,它也是第一位入住极地馆的成员。为了使它适应馆内的水温,工作人员准备了两至三吨的冰块,以备降温使用。春节前后人们可一睹这只白鲸的风采。

据悉,还有3只白鲸已在俄罗斯接受体检和训练,将于明年3月运抵大连老虎滩极地海洋动物馆。

答案:白鲸首次登陆(或"落户"等)中国。

3.概括语段内容要点

这种题目一般要求既要理清文章的思路结构,又要概括出各部分的大意。这需要我们在准确理解文章或材料内涵的基础上提炼出所要回答的内容,切忌遗漏内容要点。例如:

用一句话概述下面两段文字的主要内容。(不超过60个字)

杨朔的散文好就好在他真诚地关心祖国和人民的命运,拥抱现实,感悟人生,又是那样如诗如画,达到了很高的境界,所以才在读者中具有巨大的感染力,而且经久不衰,这难道不是事实吗?

杨朔把养蜂的蜂房说成是"养蜂大厦",把50年代末60年代初的三分天灾、七分人祸的困难时期的情形,说成是社会主义祖国"最新最美的画卷"。难怪有人说,对当时严重的"左"的错误,一些握笔者也应负有一定的责任。

答案:对杨朔的作品有两种不同的看法:有人认为,它的思想性和艺术性都达到了很高的境界;也有人认为,他的作品迎合了当时的"左倾"思想。

4.提取关键词

要求从一篇文章或一段文字中找出最关键的、最重要的词语。综合考查了理解、分析、筛选、概括等能力。这种题型为今后学生撰写论文、运用网络寻找信息都有很大好处。例如:

阅读下面一段文字,找出"碳链式反应"过程的三个关键性词语。

科学家在喀斯特地貌的研究中,发现了一个复杂的碳链式反应。当水流从空气中"大口吮吸"二氧化碳并侵蚀石灰岩时,持续不断的吸碳过程就开始了。接着,在岩石表面自由流淌的酸性水流携带着大量碳酸氢根,随着自然界的水循环辗转奔向江河湖海。此时,浮游植物体内的"食物加工厂"在急切地"找米下锅",它们惊喜地发现,只要分泌一种叫做"碳酸酐酶"的催化剂,对水中的碳酸氢根"略施魔法",等待加工的"米"——二氧化碳,就唾手可得。最终,光合作用将大量随波逐流的碳转化成有机碳,封存于水生生物体内。

答案:吸碳 "略施魔法" 光合作用

5.文段中心的概括

这种题目一般要求将文章内容简要地概括出来,并保留要点,答题时做到简明扼要。例如:

用一句话概括下面这段文字的主要意思。(不超过28个字)

近几年来,关于中国文化,主要是中国传统文化,或者是以中国文化为基础的东方文化,将成为21世纪的主导性文化及21世纪将成为中国文化或东方文化的世纪的观点,十分流行。西方一些学者也持有此类观点。对此我则持怀疑态度。

答案:"我"怀疑中国文化将成为21世纪的主导性文化的观点。

6. 下定义型

在整体把握句意的基础上,提炼出主要信息点,然后给某一事物下一个定义。例如:

根据以下文字,给"知识经济"下一个定义。(40个字以内)

以前的经济,以传统工业为产业支柱,以稀缺自然资源为主要依托。而"知识经济"则以高技术产业为第一产业支柱,以智力资源为首要依托。因此,"知识经济"是一种可持续发展的经济,它是一种新型的经济。

答案:知识经济是以高技术产业为第一产业支柱、以智力资源为首要依托的可持续发展的新型经济。

7. 填充性概括

这种题既要压缩文段的意思,又要注意填入的句子在文段中的作用以及与前后文的衔接关系。包括总起句、总结句、评价句、过渡句。例如:

(1)下文是从《生活的艺术》中摘录的文字,请依据文章的题目和提供的文字在文章开头的横线处添加一句能够统领并概括后面内容的起始句。

_____,要装进一杯新泉,你就必须倒掉已有的陈水;要获取一枝玫瑰,你就必须放弃到手的蔷薇;要多一份独有的体验,你就必须多一份心灵的创伤。换一个角度来看,虽然倒掉了一杯陈水,但你拥有了一杯清泉;虽然失去了蔷薇,但你采得了玫瑰;虽然遭受了心灵的创伤,但你多了一份独有的体验。

答案:生活的艺术就是平衡得失的艺术

(2)在下面语段的横线处补写总结句,使语段的意思完整明确。不超过30个字。

牛顿看到成熟的苹果从树上掉下来,便研究它的原因,发现了万有引力的秘密,开创了物理学的一个新时代。瓦特从水开时蒸汽顶起壶盖的现象中受到启发,改进了蒸汽机。马克思从人们每天都在进行的亿万次的商品交换中发现了现代资本主义发生、发展和灭亡的规律,为无产阶级社会主义革命指明了广阔的道路……他们都能_____。

答案:从平常的事情中,发现不平常的奥秘,从而推动了科学的发展

(二)压缩语段解题方法

1. 合并同类,并举异义

所举语段的信息不止一个,一一筛选之后,看看相关信息、相同信息、不同信息各是什么,都是从哪几个方面来传达的,然后将相同的进行大合并,相关的进行小合并,不同的并列到一起。这种归类处理的方法是首要的,也是最基本的。例如:

阅读下面这则报导,拟写一个概括性的引题和主标题,能概括主要内容,引题不超过20字,主标题不超过15字(不计标点)。

法国《费加罗报》:10年前,中国宣布在2000年将进行首次太空载人飞行,当时世界上无人对此予以重视。比计划推迟了仅3年,2003年中国的神舟五号将宇航员杨利伟送上太空,并在太空中生活了21个小时;两年后,费俊龙和聂海胜两位宇航员乘坐神舟六号在太空遨游了5天后安全返回地球。今天,人们真的发现,中国有能力兑现她的诺言,中国令全世界震惊。中国2003年成为世界第三太空大国;2005年真正确定了航天大国的地位。中国的最终目的是通过建立自己的空间站,与其

他航天大国平起平坐。

分析:首先,要提炼要点。就文段内容而言,有两个要点——评价者(法国《费加罗报》),事件(中国航天事业)。

其次,组合要点,加以概括。文段中,《费加罗报》围绕中国航天事业谈了中国做了什么(2000年宣布——2003年将杨利伟送上太空——两年后,费俊龙和聂海胜在太空遨游了5天后安全返回地球),中国的航天地位如何(2003年成为世界第三太空大国;2005年真正确定了航天大国的地位。……与其他航天大国平起平坐),以及人们对中国载人航天技术发展的态度——震惊等问题。

最后,缩减字数,拟写答案。题目要求引题的拟写不超过20字,主标题的拟写不超过15字,为此,我们须将所归纳的内容重新压缩并概写,力求突出新闻最有效的信息,从而使得标题具体、明确,真正体现新闻标题与一般文章标题不完全一样的拟写要求。

参考答案:(引题)法媒体评价和展望中国航天业的昨天——今天——明天

(主标题)中国确定航天大国地位　世界震惊

2. 摘中心句,打叶削枝

有些语段的信息是由中心句和关键句组成的。关键句是为中心句服务的,而语段中的中心句则是内容的核心。压缩时,只需将这个中心句摘取出来,然后根据要求将多余的枝叶去掉,压缩就完成了。例如:

将下面一段话压缩为一句话,并表明作者的主张。(不超过22个字)

我不反对倾向性本身。悲剧之父埃斯库罗斯和喜剧之父阿里斯托芬都是有强烈倾向的诗人,但丁和塞万提斯也不逊色;而席勒的《阴谋与爱情》的主要价值就在于它是德国第一部有政治倾向的戏剧。现代的那些写出优秀小说的俄国人和挪威人全是有倾向的作家。可是我认为倾向应当从场面和情节中自然而然地流露出来,而不应当特别地把它指点出来,同时我认为作家不必要把他所描写的社会冲突的历史和未来的解决办法硬塞给读者。

分析:该语段共四句话,第一句是从反面说"不反对倾向性本身",第二、三句是从不同文学作品方面论说"作品有倾向",而第四句则是从正反两方面谈倾向应该怎样、不应该怎样流露出来。显然第四句是本语段的中心句,第一、二、三句是非关键句,因此,只将第四句抽取出来,压缩的任务就基本完成了,然后将这个句子中的枝叶削减、打掉就成功了。

参考答案:文学作品的倾向应当从场面和情节中流露出来。

3. 去伪存真,删繁就简

有些语段,很多内容都是对某个关键信息的阐释、说明、补充甚或是拓展、引申等等。实际上,这些内容都可以说不是实在的,而是"虚"或"伪"的,只是让大家便于理解关键的信息。这些烦琐的内容就像烟雾一样遮住了我们的双眼,我们应去伪存真,删繁就简,然后再概括表述出来。例如:

给下面的新闻拟写一个标题。(不超过20个字)

本报讯(记者曾冰　通讯员郑莹莹)"在今天下午举行的青歌赛原生态唱法半决赛中,巴东撒叶儿嗬组合获得第一名,率先闯入原生态唱法决赛!"4月6日下午,在北京参加青歌赛的巴东撒叶儿嗬组合选手黄本红向家乡人民报告了这一好消息。

据悉,巴东撒叶儿嗬组合由湖北省恩施土家族苗族自治州民间艺术大师、巴东农民谭学聪领唱,黄本红、邓学红、胡明盛、李开文等伴舞。该组合在著名词作家贺沛轩、资深导演唐静萍的指导下进行了封闭式训练,共精心准备了《撒叶儿嗬》、《绣蟹歌》、《石工号子》、《纤夫号子》等4首原生态歌曲。

标题:_____

参考答案:巴东撒叶儿嗬组合闯入青歌赛决赛

第七部分　选用、仿用、变换句式

一、选用句式

由于说话目的不同，对象、场合不同，为达到某种表达效果，需选用恰当的句式；有时为使叙述角度一致或语气、结构一致，也需选用恰当的句式。句式的选用是为了追求一定语言环境下的最佳语言表达效果，要注意通顺合理，防止顾此失彼。例如：

(2011·北京卷)在文中①②横线上填入下列语句，衔接最恰当的一项是(　　)

金沙江大峡谷旁有一座远近闻名的纳西古城。　①　，是纳西人最原始的聚居地。我们步行了一个多小时，古城出现在前面。　②　，上面镌刻着"宝山石头城"五个大字。

A. ①古城建在一块庞大独立的蘑菇状岩石上
②远远地就能看出那拱形城门的别具一格

B. ①一块庞大独立的蘑菇状岩石上建着古城
②远远地就能望见那别具一格的拱形城门

C. ①一块庞大独立的蘑菇状岩石上建着古城
②远远地就能看出那拱形城门的别具一格

D. ①古城建在一块庞大独立的蘑菇状岩石上
②远远地就能望见那别具一格的拱形城门

选句应注意上下文连贯与照应。①处根据后面的句子"是纳西人最原始的聚居地"(该句主语承前省略了)，可推知①处句子的陈述对象应是"古城"，这样就排除 B、C 选项。②处根据后面的句子"上面镌刻着'宝山石头城'五个大字"，可推知前面句子要陈述的是"望见拱形城门"而不是"看出""别具一格"。所以本题答案为 D。

选用句式侧重考查语言的连贯性。连贯就是语句之间意思相连，语气贯通，一气呵成，和谐一致。这就要求我们在选用句式上做到：

①话题集中。围绕一个中心，保持统一的话题。

②语序合理。恰当安排好词句的先后顺序。

③过渡自然。注意句子之间或段落之间的衔接和过渡。

④保持一致。即保持语境和语气的和谐一致。

二、仿用句式

(一)仿用的基本形式

1. 续写式

这种仿用的基本做法是：按照既定的内容，仿照上文规定的句式，接着往下写。这种仿用的形式，与"扩展语句"题相似。例如：

仿照给定的句子续写两句话。要求：续写部分与给定的句子构成排比，表达保护生态环境的主题。

树是水土的卫士，让它绿化大地山川。

分析：这道题给定了所写的内容——保护生态环境，给定了仿写的句式特点——拟人，还要求与所给的句子构成排比关系。

答案示例：水是生命的源泉，让它滋润世间万物。鸟是人类的伙伴，让它自由飞翔蓝天。

2. 填空式

这种形式是提供一段文字，所仿句子夹在所给材料中间，让学生"填空"。做这类题目时要注意

前后语句搭配得当，句式与前后句要相同。例如：

下面是甲、乙两位同学关于“自主学习”的问答。请仿照乙同学对“能学”所作解释的句子的形式，在横线上填入恰当的解释文字。

甲同学：你能告诉我“自主学习”有哪些要点吗？

乙同学：好的。我认为自主学习有四个要点，就是能学、想学、会学、坚持学。“能学”是指学习者有一定的知识基础，并且具备基本的学习能力；“想学”是指_____；“会学”是指_____；“坚持学”是指_____。

分析：本题提供的句子，形式上为并列关系的复句，内容上体现出了“能”字。仿写的句子，不仅要在句式上符合要求，而且要在内容上能分别体现出“想”“会”“坚持”的内涵来。

答案示例：学习者主观上有学习的动机，并且愿意付诸行动　学习者具备一定的学习方法，并且会不断地总结学习经验　学习者有较强的学习意志，并且能够持之以恒

3. 另写式（命题式）

就是按照试题所给的语句的形式，另选内容，组织答案。例如：

(1)在“生活/事业”、“友谊/信任”两组词语中任选一组，仿照例句，另写一句话。要求句式相同或相近，修辞手法相同，内容有意蕴。

例句：理想是一把尺，量出一个人眼光的长短；追求是一杆秤，称出一个人灵魂的轻重。

_____

分析：所给例句采用比喻的修辞，将抽象的事物形象化，且富有哲理。

答案示例：①生活是一杯酒，品出人生滋味的酸甜苦辣；事业是一面镜，照出生命价值的大小高低。

或：②友谊是一条瀑布，飞溅着真诚的水花；信任是一缕阳光，驱散了怀疑的迷雾。

(2)请参照下面的示例，任意举一个例子诠释一下汉字所折射出的哲理。

示例：

运：行走着的云，人的一生如同行走的云一样，不可预测。

分析：本题属于汉字趣解式仿写题，解答此题的关键不是句式、修辞，而是诠释汉字所折射出的哲理。所以解答此题一是要注意分析汉字的结构特点，抓住汉字“象形”“会意”等特征；二是语言要生动幽默，形式活泼；三是联想要自然贴切。

答案示例：众：只要有三个人，总有一个人要爬到其他人的头上去。爬上去的是少数，大多数总是垫在底下。

4. 开放式

开放式的仿写是近年来仿写的重点形式。这种题型比较灵活，解答时除了限定的中心外，只要仿写出修辞特征就行。例如：

(2011·安徽卷)下面是某班黑板报上的一段文字。请参照上下文，在横线上仿写出恰当的句子。

我不想知道你的电脑多么高级，我只想知道它是不是你了解世界的窗口；

我不想知道你的语言多么华美，①_____；

②_____，③_____；

我不想知道你的理想多么远大，我只想知道它是不是你学海航行的灯塔。

分析：仿写时要注意上下文的形式“我不想知道你的……多么……，我只想知道它是不是你……”，前后分句的联系要合乎情理，文意要畅通。

答案示例：①我只想知道它是不是你与人沟通的桥梁　②我不想知道你的藏书多么丰富　③我只想知道它是不是你通向成功的阶梯

(二)仿用的原则

一是形似，即仿句与原句在结构、修辞、句式上要相似；二是意谐，即仿句与原句在思路、感情、语意、语境上要上下协调、和谐。

(三)仿用的步骤及方法

1. 分析题目,明确仿写要求

这是仿写的第一步。要根据题目和所提供的例句进行分析,看题目在修辞、句式、语境、字数等方面有什么显性要求,还要看清有什么隐性要求。

2. 分析修辞特点,明确修辞模式

仿句一般围绕比喻、排比、对比、拟人、反问、夸张等修辞来出题,其中比喻出现的概率最高。仿写时必须和原句的修辞一致。

3. 分析句式特点,明确句式模式

要弄清例句中各小句类型是主谓句,还是非主谓句;是一般陈述句,还是"把"字句、被动句;是肯定句,还是否定句等。在分析句式特点时,主要抓大的方面的特点,也要关注细节。要善于抓住关联性的词语作为格式语。

4. 分析意蕴特点,明确关系模式

分析意蕴特点,如原因、特点;色彩,如肯定否定、积极消极、明快含蓄、褒扬贬抑等。明确关系模式,如论点与论据的关系、现象与本质的关系、因果关系、总分关系等。仿句必须协调好与例句的关系。

三、变换句式

句式,通常指的是句子的结构方式。现代汉语的句式十分丰富,常见的句式有:长句和短句、主动句和被动句、肯定句和否定句、陈述句和反问句、常式句和变式句、整句和散句、口语句和书面语句、单句和复句等等。变换句式是指根据语言表达的需要或题目的要求,在不改变原意的前提下,将句子变换成相应的句式。

选择、变换句式应注意以下几个方面:

1. 要顾及表达目的及语言环境。不同的目的要用不同的句式来表达,语境不同,相应地需要不同的句式。

2. 因为变换句式是在同义句式中进行的,所以变换后的句式一定要保留原意,必要时可变动个别文字。

3. 要按照对应关系去变换句式,不能随心所欲地变换。

4. 变换后的句式要合乎语法规范和逻辑关系,不能出现病句,不能杂乱无章。

(一)长句与短句的变换

句子的长短只就单句而言,两者是相对的,并没有截然的界限。一般来说,用词较多、结构较复杂的句子,就是长句;反之,就是短句。

长句一般有三个特点:一是修饰语(定语、状语)用得多,二是并列成分用得多,三是某一成分结构比较复杂。

长句能使表达严密、精确、细腻,语意贯通,气势磅礴。政治论文、科技论文、文学评论等多选用长句;短句短小精悍、生动明快、活泼有力、节奏性强,能简明扼要地叙述事实,简洁生动地表现人物、事物的迅速变化,表达作者(人物)紧张、激越的情绪或果断、肯定的语气。高明的作者往往长短句兼用。

长句变短句一般适用于以下几种情况:

1. 因主谓短语充当句子成分而过长的句子,可将主谓短语抽出来独立成句,原句中的那个成分则用代词来代替。如:"我们强调科学技术人员集中精力搞好科学技术工作是不是减轻了政治工作的任务和降低了政治工作的要求呢"在"技术工作"后加上逗号,再在"是不是"前加上"这",长句就变成短句了。

2. 因并列短语充当句子成分而过长的句子,可叠用某些词语,将并列短语扩展成几个并列的分句。如上面的例句,"是不是"后面是并列短语作宾语,如果叠用"是不是",将并列短语扩展成"是不是减轻了……任务,是不是降低了……要求呢"的并列分句,长句就变成短句了。

3. 因附加成分多(或长)而过长的句子,可将较长的附加成分抽出来另外成句。如"职业中学的两支刚刚组织起来的女子足球队在比赛"这个长句,变成"职业中学的两支女子足球队在比赛,它们是刚刚组织起来的",就是两个短句了。

句子长的原因,往往不是单一的,可将以上三种方法综合运用。

长句变短句:

首先对长句的内容进行分析,理清它的内容要点,进而确定每个内容要点的主语,然后合理安排各内容要点的表述顺序,使语意连贯畅通,必要时需要补加关联词语。长句附加成分多,有时可在附加成分原来的位置上加指代词语,构成同位复指;或改变标点符号,用冒号使其构成总分关系或分总关系。例如:

(2011·新课标全国卷)把下面这个长句改写成几个较短的句子,可以改变语序,增删词语,但不得改变原意。

巴黎之行让我对法国作家和诗人维克多·雨果为建立法国文学创作者的著作权保护机构——法国文学家协会所做的工作,为促成制定保护文学艺术作品著作权的国际公约——伯尔尼公约作出的杰出贡献有了更深的了解。

该句的要点有二:巴黎之行让我对雨果有了更深的了解,雨果在著作权保护方面作出了贡献。将它们分别写成句子,并用"他"来指代雨果,就是:巴黎之行让我对法国作家和诗人维克多·雨果有了更深的了解。他在著作权保护方面作出了杰出的贡献。他促成了法国文学创作者的著作权保护机构——法国文学家协会的建立,促成了保护文学艺术作品著作权的国际公约——伯尔尼公约的制定。

短句变长句:

关键是先弄清句子的主要内容,确定主干,然后把其余的短句化为短语,分别修饰主干成分。例如:

(2009·北京卷)按照要求,把下面的三句话改写成一句话,并保留原有信息。(可酌情增减词语)

《红楼梦》是我国古代最伟大的长篇小说。

曹雪芹是长篇小说《红楼梦》的作者。

封建制度的黑暗腐朽和没落被《红楼梦》揭露了。

①以《红楼梦》为主语

②以曹雪芹为主语

分析三句话的内在联系。其中前两句话的主语分别是"红楼梦""曹雪芹",可以这两句话为主干,将其他句子的内容作为修饰成分,融合到这两个句子中。

参考答案:①以《红楼梦》为主语:由曹雪芹创作的我国古代最伟大的长篇小说《红楼梦》揭露了封建制度的黑暗腐朽和没落。②以曹雪芹为主语:曹雪芹是我国古代最伟大的揭露了封建制度的黑暗腐朽和没落的长篇小说《红楼梦》的作者。

(2009·江西卷)将下面3个句子整合为一个单句。(可调整语序、适当增删词语,不能改变原意)

①王力先生认为,中国旧体诗以音步、平仄相间构成抑扬美。

②王力先生认为,中国旧体诗的音乐美分为抑扬美和回环美。

③王力先生认为,中国旧体诗以同韵字来来回回的重复构成回环美。

由三个短句可知①是谈"抑扬美",③是谈"回环美",②是谈"音乐美",而"音乐美"分为"抑扬美"和"回环美"。把②确定为主干句,把①嵌入②中"抑扬美"前,把③嵌入②中"回环美"前,再增删个别词语,使句意顺畅即可。可改为:王力先生认为,中国旧体诗的音乐美分为以音步、平仄相间构成的抑扬美和以同韵字来来回回的重复构成的回环美。

另外有一种题型,是建立在短句变长句基础上的。例如:

从下列材料中选取必要的信息,为"心理咨询"下定义。

①心理咨询是给咨询对象以帮助、启发和教育的活动

②这种活动必须运用心理学的理论、知识和方法来妥善处理各种心理问题

③这种活动通过言语、文字或其他信息传播媒介来达到咨询目的

参考答案:心理咨询是运用心理学的理论、知识和方法,通过言语、文字或其他信息传播媒介,给咨询对象以帮助、启发和教育的活动。(或:运用心理学的理论、知识和方法,通过言语、文字或其他信息传播媒介,给咨询对象以帮助、启发和教育的活动叫心理咨询。)

长句变短句的方法

(1)指代法。有些长句,修饰语或宾语本身是由若干短语构成的,变成短句时可以先用代词指代它,然后再将被指代的内容用若干分句来表达。

(2)分散法。当材料的内容是并列关系时,就可采用这种方法,即把每个分句的中心词作为主语,再把定语部分移到中心词后作谓语,分散成几个独立的单句。例如:

通常由一回路系统和二回路系统两大部分组成的利用原子核裂变反应放出的核能把水加热变为蒸气,驱动汽轮发电机组发电的发电厂叫核电站。(把它改为由两个分句组成的复句)

这个长句的主干是"发电厂叫核电站",主语前面有两个并列定语:"由一回路系统和二回路系统两大部分组成"和"利用原子核裂变反应放出的核能把水加热变为蒸气,驱动汽轮发电机组发电",我们可以把它们拆开,分别陈述"核电站","作"核电站"的谓语。这样就可以组成两个分句:

核电站是利用原子核裂变反应放出的核能把水加热变为蒸气,驱动汽轮发电机组发电的发电厂,它通常由一回路系统和二回路系统两大部分组成。

(3)反复法。当材料的内容是同类关系时,可采用这种方法,即叠用表分项的词语和修饰语,构成一般句式或排比句式,对长句的内容分项加以陈说。例如:

这儿有的是20世纪的技术、机械、体制和对这种体制忠实服役的16世纪封建制度下的奴隶!(改成四个短句)

根据上述方法,此句可改为:

①这儿有的是20世纪的技术,②有的是20世纪的机械,③有的是20世纪的体制,④有的是对这种体制忠实服役的16世纪封建制度下的奴隶!

(4)分割法。当材料内容呈现不同层次时,可采用这种方法,即把长句分割成几个不同层次的短句。例如:

日本松井化学公司研制的染色系统被美国西雅图吉尼拉运动服装公司运用而制造出能随体温或气温变化而改变颜色的棉织T恤衫、圆领长袖运动衫和短裤。(改成三个短句)

"分割法"要注意句子层次的先后性,根据这个长句的层次关系,可分割为:

①美国西雅图吉尼拉运动服装公司运用了日本松井化学公司研制的染色系统,②制造出变色的棉织T恤衫、圆领长袖运动衫和短裤,③它们能随体温或气温变化而改变颜色。

(5)借助法。即借助关联词法。去掉长句中的一些结构助词"的""所"之类,使偏正短语变成主谓短语,然后借助关联词语构成短句。例如:

百年不遇的特大洪灾所留下的痕迹正逐步被英雄的人民的双手洗刷干净。

这个长句的主语是由一个较长的偏正短语构成的,我们可去掉"所"和"痕迹"前的助词"的",将它变成一个主谓句,然后再借助关联词"但"来承接前后句,改为:

百年不遇的特大洪灾留下了痕迹,但正逐步被英雄的人民的双手洗刷干净。

(6)抽主干法。先抽取长句子的主干结构,然后再根据逻辑顺序拆解另外的部分。例如:

(2009·重庆卷)用"帕格尼尼"作为首句的开头,将下列长句改成由4个短句组成的句子。要求:保持原意,语句通顺,语意连贯,可适当增减个别词语。

世界级小提琴家帕格尼尼是一位从上帝那里同时接受天赋与苦难两项馈赠而又善于用苦难的

琴弦把天赋演绎到极致的奇人。

句子的开头必须为"帕格尼尼",先找出主干句,再根据逻辑顺序拆解另外三个句子。可改为:

帕格尼尼是一位奇人,他从上帝那里同时接受了天赋与苦难两项馈赠,而他又善于用苦难的琴弦把天赋演绎到极致,从而成为世界级小提琴家。

(二)主动句与被动句的变换

在动词性谓语句中,主语是施动者,即动作行为的发出者,这种句子叫主动句;主语是受动者,即动作行为的接受者,这种句子叫被动句。一个主谓句,既含有施动者,又含有受动者,可以根据表达的需要,或者选用主动句式,或者选用被动句式;也可以将主动句变为被动句,或将被动句变为主动句。

在语言的实际运用中,用主动句还是用被动句,往往要受语言环境的制约,也就是说,特定的上下文规定了用主动句好还是用被动句好。这种制约,在复句里表现得比较明显。试比较下面两个句子:

①二诸葛老婆追出门来,二诸葛把她拦回去,二诸葛老婆还骂个不休。

②二诸葛老婆追出门来,被二诸葛拦回去,还骂个不休。

例①的三个分句有两个不同的主语,叙述角度变来变去,语气显得不顺畅。例②的三个分句主语相同,后两个分句的主语又承前省略。这样,整个复句叙述角度统一,叙述重点(二诸葛老婆)突出,显得简洁、紧凑、顺畅。

下面的情况常选用被动句:

1.为了强调被动者,而主动者不需要或不愿或无从说出。

2.为了使句式整齐。

3.为了表达某种特定的感情。

主动句变为被动句的方法是变换施动者与受动者的位置,并加"被"字。例如:

①(第三届世界女足锦标赛)我国女子足球队击败了俄罗斯女子足球队。(主动句)

②(第三届世界女足锦标赛)俄罗斯女子足球队被我国女子足球队击败了。(被动句)

例①是主动句,施动者(动作发出者)是"我国女子足球队",受动者(动作接受者)是"俄罗斯女子足球队"。将例①变为被动句,只需交换施动者与受动者的位置,加上"被"字就完成了。

被动句变为主动句亦然。不过,被动句变为主动句,应去掉"被"字;还可加上"把"字,变为"把"字句。例如,上面的例②可以变为:"(第三届世界女足锦标赛)我国女子足球队把俄罗斯女子足球队击败了。"

需要注意的是,无论是主动句还是被动句,叙述(陈述)角度必须一致,否则,会导致内容不连贯、语气不贯通。例如:

王老五是个老矿工,五十多年前资本家把他从山东骗到了抚顺煤矿,后来他给日本鬼子当苦力,累驼了背,砸伤了脚,日本鬼子差一点儿把他活活扔进"炼人炉"。

这个句子陈述的对象一会儿是"王老五",一会儿是"资本家",一会儿又变成"日本鬼子",这样,不仅使内容不连贯,而且将王老五的遭遇悲惨这一重点内容也冲淡了。应改为:

王老五是个老矿工,五十多年前被资本家从山东骗到了抚顺煤矿,后来给日本鬼子当苦力,累驼了背,砸伤了脚,差一点儿被日本鬼子活活扔进"炼人炉"。

(三)肯定句与否定句的变换

同一个意思,可以从正面来表达,也可以从反面来表达。从正面表达,对事物作出肯定判断的是肯定句;从反面表达,对事物作出否定判断的是否定句。肯定句同有些否定句表达的意思基本相同,但在表达效果(语意轻重、语气强弱)上有差别。肯定句的语意比较真切,语气也较强;否定句的语意比较委

婉，语气也较弱。但如果用双重否定来表示肯定，则语意加重。双重否定表示肯定的意思，三重否定表示否定的意思，否定句加上反问语气也表示肯定的意思。懂得了以上规律，就可以找到变换的方法，也就可以根据表达的需要选择恰当的句式或通过变换句式来恰如其分地表情达意了。例如：

①她们躺的地方，到了一定的时间要让出来做吃饭的地方。

②她们躺的地方，到了一定的时间是非让出来做吃饭的地方不可的。

③她们躺的地方，到了一定的时间不让出来做吃饭的地方能行吗？

例①是一个肯定陈述句。例②用了"非……不可"两个互相搭配的否定词，意思同例①一样，但加重了语意，加强了语气。例③用了一个否定词"不"，且是反问句，表达了肯定的意思，语意、语气都加重了。

值得注意的是：由肯定句变成双重否定句或否定的反问句时，千万不要把意思说反了。须知：双重否定表示肯定，三重否定表示否定。下面三句是把意思说反了的例子。

①科学发展到今天，谁也不会否认地球不是围绕太阳转这一事实。

②老一辈革命家无时无刻都在关心青年人的成长。

③难道我们能否认《红楼梦》不是一部很好的古典小说吗？

例①出现三重否定。由于"否认"的宾语是一个复指短语，本例只能去掉第三重否定"不是"。例②"无时无刻"是把"无"字嵌进了"时刻"一词，只能算一重否定，应把"都"改成"不"，才能构成双重否定。例③已有两重否定，再加上反问又等于一重否定，便构成三重否定，可去掉"不"字。

(四)陈述句与反问句的变换

陈述句表达的意思比较平淡，而反问句既能加重语意、加强语气，又能表达强烈的感情。

陈述句变为反问句，往往加上"难道……不……"或"谁(能)不……"等字眼，并加上问号或叹号，有的也加上句末语气词"吗"。反问句变为陈述句则将表反问的字眼去掉，且相应地要把肯定变为否定或把否定变为肯定，将句末问号或叹号改为句号。例如：

将陈述句改成反问句。

"群众是真正的英雄。" 改为："谁能说群众不是真正的英雄？"

将反问句改成陈述句。

"难道这事你就没有一点儿责任吗？" 改为："这事你一定有责任。"

(五)常式句与变式句的变换

常式句是语序正常的句子。变式句是打破正常语序、成分倒装的句子。选用常式句或变式句，要根据表达目的、表达思想感情的需要而定。常见的变式句有：主谓倒装、状语前置、状语后置、定语后置等。

常式句变为变式句，方法是打破常式句的语序，根据需要，分别将谓语移到主语前，将状语、定语移到谓语中心词后，将状语移到主语前。但要注意不能改变原句的意思，语句要通顺。变式句变为常式句的方法是将前置或后置的主语、状语、定语移到按正常语序排列应该所处的位置。例如：

①你怎么了？(常式句)

怎么了，你？(主谓倒装，突出谓语，显示急切心情)

②我们今天下午在礼堂开会。(常式句)

我们今天下午开会，在礼堂。(状语后置，强调处所)

③她一手提着竹篮，内中一个空的破碗。(常式句)

她一手提着竹篮，内中一个破碗，空的。(《祝福》)(定语后置，强调没讨到饭)

句式变化了，基本内容虽然相同，但强调的重点或感情却发生了变化，变式句总是强调变化了的

句子成分。

(六)整句与散句的变换

整句是结构相同或相似的一组句子,多使用对偶句、排比句,一律使用长句或短句。其修辞效果是能使语句结构整齐、音节和谐、气势贯通、意义鲜明。散句是相对整句而言的,它是结构不整齐,长短句式交错运用的一组句子。其修辞效果是能使语句灵活自然,富有变化,避免单调、呆板。

使用整句或散句,或整散并用,都要根据表达的需要决定。但整句、散句又是可以互相变换的。整句变散句,即要把"整齐"变为"错落",改写时变换其中的句式,穿插使用长短句,就成了散句。散句变整句,正与此相反,把长短交错的句子,改为相同的句式,或都改为长句,或都改为短句。例如:

尽管他们来自不同的地区,尽管他们彼此素不相识,尽管他们的性格有所不同,但共同的语言却把他们紧紧地连在了一起。画线部分改为散句,即:

尽管这些来自不同地区的人们彼此素不相识,性格也有所不同,但共同的语言却把他们紧紧地连在了一起。

(七)口语句式与书面语句式的变换

经常出现在口语中的句式,叫口语句式。口语句式简洁短小,结构简单,少用关联词语,通俗易懂,活泼自然。经常出现在书面语中的句式,叫书面语句式。书面语句式多为长句,结构较复杂,关联词语用得多,表意严谨、周密。

口语句式变为书面语句式或书面语句式变为口语句式,主要在于句子结构的长短转换以及词语运用的变化。例如:

鲁迅先生在《药》中写康大叔一进华老栓的茶馆,便嚷道:"吃了么?好了么?老栓,就是运气了你!你运气……"这里用的就是口语句式。如果改用书面语句式,大概应是这样:"你的令郎是否吃了药了?病体痊愈了否?老栓,你真是个幸运的人……"假如鲁迅先生这样写,那么康大叔就不是康大叔、鲁迅先生就不是鲁迅先生了。可见,选用口语句式或书面语句式,既受到人物的身份、职业、文化素质、性格等方面的制约,也受到文体、交际场合等方面的限制。

(八)意思相同而语气不同的各种句式的变换

根据语气的不同,句子可分为陈述句、疑问句、祈使句和感叹句。不同语气的句子可以表达大体相同的意思,同一个意思也可以用不同语气的句子来表达,但表达效果不同。因此,要注意根据表达的需要选用恰当的句式和语气。例如:

①请您给我买张电影票。(陈述句)

②请您给我买张电影票吧。(祈使句)

③请您给我买张电影票,好吗?(疑问句)

④你一定要给我买张电影票。(祈使句)

同是让别人买张电影票这件事,就用了三种句式、四种语气。①、②、③句,一句比一句委婉、客气、有礼貌,容易被对方接受。④句与②句虽然都是祈使句,但前者是命令语气,后者是请求语气,表达效果大不一样。四个例句,表达效果最差的是④句。所以,在交际过程中,正确选用句式是非常必要的。同时,要根据表达目的的需要,恰当地变换句式。

第八部分 修辞格

一、《考试大纲》中规定的必须掌握的修辞格(9种)

(一)比喻

(1)概念 比喻就是打比方,即两种不同性质的事物,彼此有相似点,便用一事物来比方另一事物。

(2)比喻的结构 比喻的结构,一般由三部分组成,即本体(被比喻的事物)、喻体(作比喻的事物)和比喻词(比喻关系的标志性词语)组成。

(3)构成比喻必须具备的条件

①甲和乙必须是本质不同的事物,否则不能构成比喻。一个句子是不是比喻,不能单看有没有比喻词。下列几种情况,虽有比喻词,但不是比喻:

同类相比。例如:她的性格很像母亲。

表示猜度。例如:天黑沉沉的,好像要下雨了。

表示想象。例如:每当看到这条红领巾,我就仿佛置身于天真烂漫的少年时代。

表示举例的引词。例如:钱钟书的《管锥编》对许多古籍不固守陈见地作了许多新的考释,像《诗经》《易经》《老子》等。

②甲乙之间必须有相似点。

(4)比喻的种类

①明喻。本体、喻体都出现,中间用比喻词"像""似""仿佛""犹如"等连接,有时后面还有"似的""一样"等词语配合。明喻的典型形式是:甲像乙一样。例如:叶子出水很高,像亭亭的舞女的裙。

②暗喻。本体、喻体都出现,中间用比喻词"是""成了""变成"等连接,有时不用比喻词。暗喻的典型形式为:甲是乙。例如:更多的时候,乌云四合,层峦叠嶂都成了水墨山水。

除此以外,暗喻还有许多变体值得注意:

本体和喻体是并列关系。例如:人多主意多,柴多火焰高。

本体和喻体是修饰关系。例如:这里是花的海洋。("花"修饰"海洋")

本体和喻体是注释关系。例如:我爱北京——祖国的心脏。

本体和喻体是复指关系。例如:让我们对土地倾注更强烈的感情吧!因为大地母亲的镣铐解除了……

③借喻。不出现本体,直接叙述喻体。借喻的典型形式是:甲代乙。例如:独有英雄驱虎豹,更无豪杰怕熊罴(pí)。

④博喻。连用几个喻体共同说明一个本体。例如:天上的云,姿态万千,变化无常:有的像羽毛,轻轻地飘在空中;有的像鱼鳞,一片片整整齐齐地排列着;有的像羊群,来来去去;有的像一张大棉絮,满满地盖住了天空;还有的像峰峦,像河川,像雄狮,像奔马……

(5)比喻的作用 化平淡为生动,化深奥为浅显,化抽象为具体,化冗长为简洁。

(二)比拟

(1)概念 比拟是把甲事物模拟作乙事物来写的修辞方式。它包括把物当做人来写(拟人)、把人当做物来写(拟物)和把此物当做彼物来写(拟物)几种形式。事实上,前一种形式是把事物"人化",后两种形式则是把人"物化"或把甲物"乙物化"。

(2)种类

①拟人 例如:女人坐在小院当中,手指上缠绞着柔滑修长的苇眉子。苇眉子又薄又细,在她怀里跳跃着。

②拟物 例如:指导员讲得真来劲儿,嘎子竖起耳朵听。

(3)比拟的作用　色彩鲜明，描绘形象，表意丰富。

(4)比拟和比喻的不同点

①比拟是仿照"拟体"(被模拟的事物)的特征摹写本体，重点在"拟"；比喻是用喻体比方本体，重点在"喻"。

②比拟中，本体和拟体彼此交融，浑然一体，本体必须出现，拟体一般不出现；比喻的本体和喻体一主一从，本体或出现或不出现，而喻体必须出现。

(三)借代

(1)概念　借代是用相关的事物来代替所要表达的事物的修辞方式。它并不直接说出要说的人或事物。

(2)借代的种类

①用事物特征代本体事物。例如：红眼睛原知道他家里只有一个老娘……

②用具体代抽象。例如：枪杆子里面出政权。

③用专名代泛称。例如：我们的时代需要千千万万个雷锋。

④用形象代本体。例如：上面坐着两个老爷，东边的一个是马褂，西边的一个是西装。

⑤用部分代整体。例如：吟罢低眉无写处，月光如水照缁衣。

⑥用结果代原因。例如：专弄文墨，为壮士捧腹。("捧腹"是"笑"的结果)

⑦用材料代本体。例如：五十年间万事空，懒将白发对青铜。

(3)借代的作用　以简代繁，以实代虚，以奇代凡，以事代情。

(4)运用借代应注意的事项　必须抓住事物最典型的特征，对于所借代的事物，一般应在一定的语言环境中有所交代。另外，借代的借体和本体事物不能同时出现。

(5)借喻与借代的区别

①相同点：它们都用一事物代替另一事物，事物本体不出现。

②不同点：

借代的作用是"称代"，即直接把借体称为本体，只代不喻；借喻的作用是"比喻"，虽然也有代替的作用，但总是喻中有代。

构成借代的基础是事物的相关性，即要求借体和本体有某种关系；构成借喻的基础是事物的相似性，即要求喻体和本体有某些方面的相似性。

借喻可改为明喻或暗喻，而借代则不能。

(四)夸张

(1)概念　夸张是为达到某种表达效果的需要，对事物的形象、特征、作用、程度等方面着意扩大或缩小的修辞方式。

(2)种类　夸张可分为三类，即扩大夸张、缩小夸张、超前夸张。

①扩大夸张：故意把客观事物说得"大、多、高、强、深……"的夸张形式。例如：

蜀道之难，难于上青天！

②缩小夸张：故意把客观事物说得"小、少、低、弱、浅……"的夸张形式。例如：

一个浑身黑色的人，站在老栓面前，眼光正像两把刀，刺得老栓缩小了一半。

③超前夸张：在时间上把后出现的事物提前一步的夸张形式。例如：

农民们都说："看见这绿油油的麦苗，就嗅出白面包子的香味来了。"

(3)夸张的作用　揭示本质，给人以启示；烘托气氛，增强感染力；加强联想，以创造意境。

(4)运用夸张应注意

第一，夸张不是浮夸，而是故意的、合理的夸大，所以不能失去生活的基础和根据。下面运用的夸张就不合事理：

同志们，你们看，我们力量大如天，

脚下地球当球玩，大洋海水能喝干。

第二，夸张不能和事实距离过近，否则会分不清是在说事实还是在夸张。

第三，夸张要注意文体特征，如科技说明文、说理性文章就很少用甚至不用夸张，以免歪曲事实。

(五)对偶

(1)概念　对偶是用字数相等、结构相同、意义对称的一对短语或句子来表达两个相对或相近意思的修辞方式。

(2)对偶的种类

①正对。上下句在意思上相似、相近、相补、相衬的对偶形式。例如：

墙上芦苇，头重脚轻根底浅；山间竹笋，嘴尖皮厚腹中空。

②反对。上下句在意思上相反或相对的对偶形式。例如：

横眉冷对千夫指，俯首甘为孺子牛。

③串对(流水对)。上下句在意思上具有承接、递进、因果、假设、条件等关系的对偶形式。例如：

才饮长沙水，又食武昌鱼。(毛泽东《水调歌头　游泳》)

即从巴峡穿巫峡，便下襄阳向洛阳。(杜甫《闻官军收河南河北》)

根据上下句的形式，又可以把对偶分为严式对偶和宽式对偶。严式对偶，要求上下两句字数相等、词性相对、结构相同、平仄相对、不重复用字。宽式对偶，要求两句相对，结构相同或大致相同，字数相等。

运用对偶切忌脱离内容，片面追求形式上的对仗、整齐。徒有形式的对偶，内容空洞，则背离了对偶的本来目的。

(3)对偶的结构

①成分对偶。例如：

然而我的坏处，是在论时事不留面子，砭痼弊常取类型，而后者尤与时宜不合。

②句子对偶。例如：

落霞与孤鹜齐飞，秋水共长天一色。

(4)对偶的作用

便于吟诵，易于记忆；用于诗词，有音乐美；表意凝练，抒情酣畅。

(5)对偶与对比的不同点

①对比的基本特点是"对立"，对偶的基本特点是"对称"。

②对偶主要是从结构形式上说的，它要求结构相称、字数相等；对比是从意义上说的，它要求意义相反或相近，而不管结构形式如何。

③对偶里的"反对"(如"横眉冷对千夫指，俯首甘为孺子牛")，就意义说是对比，就形式说是对偶，这是修辞手法的兼类现象。

(六)排比

(1)概念　排比是由三个或三个以上结构相同或相似、内容相关、语气一致的短语或句子排列在一起，用来加强语势、强调内容、加重感情的修辞方式。

(2)排比的种类

①成分排比。即一个句子中的一些成分组成排比。例如：

延安的歌声……它是黑夜的火把，雪天的煤炭，大旱的甘霖。

②分句排比。即一个复句的各个分句构成排比。例如：

读书使人充实，讨论使人机智，笔记使人准确。(培根)

如果你想知道什么叫汪洋恣肆，就该读庄子的《逍遥游》；如果你想知道什么叫沉郁顿挫，就该读杜甫的"三吏""三别"；如果你想知道什么叫旷达豪放，就该读苏轼的《赤壁赋》。

③单句排比。例如：

八路军穿草鞋，把日本鬼子赶下海。解放军穿草鞋，把蒋家王朝踢下台。如今八连穿草鞋，把香风毒雾脚下踩。

④复句排比。例如：

如果我们能够研制出一种类似鹰眼的搜索、观测技术系统，就能够扩大飞行员的视野，提高他们的视敏度。如果能研制出具有鹰眼视觉原理的"电子鹰眼"，就有可能用于控制远程激光制导武器的

发射。如果能给导弹装上小巧的"鹰眼系统",那么它就可以像雄鹰一样,自动寻找、识别、追踪目标,做到百发百中。

(3)排比的作用　内容集中,增强气势;叙事透辟,条分缕析;节奏鲜明,长于抒情。

(4)排比与对偶的区别

①对称性与平列式。对偶是两个语言单位,而排比是三个或三个以上语言单位;对偶必须对称,而排比要求结构大体相似,字数要求不很严格。

②词语的重字与避重有别,排比经常以同一词语作为彼此的提示语,使排体互相衔接,给人以紧凑、密集之感;而典型的对偶句,上下两联是不重字的。

③对偶以平仄对仗为佳,排比则无此要求。

(七)反复(重现)

(1)概念　为了表达强烈的感情,有意重复使用某个词语、句子或句群,这种修辞手法叫反复。例如:

等待着,等待着,载着你遗体的灵车,碾过我的心;

等待着,等待着,把一个前方战士的崇敬,献给你。

四次反复使用"等待着",表达了亿万人民对周总理的无限崇敬和悲痛之情。

(2)反复的种类

①接连反复。例如:沉默呵,沉默呵!不在沉默中爆发,就在沉默中灭亡。

②间隔反复。例如:好个"友邦人士"!日本帝国主义的兵队强占了辽吉,炮轰机关,他们不惊诧;阻断铁路,追炸客车,捕禁官吏,枪毙人民,他们不惊诧。中国国民党统治下的连年内战,空前水灾,卖儿救穷,砍头示众,秘密杀戮,严刑逼供,他们不惊诧。在学生的请愿中有一点纷扰,他们就惊诧了!

(3)反复的作用　用于说理性文章,起强调作用;抒情写景,感染力强;承上启下,划段分层。

(4)层递、排比、反复的区别

①从语言单位的数量看,层递、排比必须是三个或三个以上的短语或句子,才能构成这两种修辞方式;而反复这种修辞方式只须两个或两个以上的部分反复,即可构成。例如下面的前一例不是层递,后一例不是排比:

我们要努力学习,更要积极参加社会活动。

只有树立远大的理想,工作起来才能克服困难,才能处理好个人与集体的关系。

②从语言单位间的关系看,排比是并列的意思;层递在形式上特别像排比,但在意思上一层比一层向更深(浅)发展;反复虽然也可以有两处以上,但反复部分的语句是相同的,意思自然是一样的。

③从语言单位的文字看,排比和层递的各语句之间有时只有个别字相同,但反复必须是语句中所有的字都相同。例如:

前年的今日,我避在客栈里,他们却是走向刑场了;去年的今日,我在炮声中逃在英租界,他们则早已埋在不知那里的地下了;今年的今日,我才坐在旧寓里,人们都睡觉了,连我的女人和孩子。(排比)

这种作风,拿了律己,则害了自己;拿了教人,则害了别人;拿了指导革命,则害了革命。(层递)

工作需要你们,人们需要你们,新的中国需要你们,新的时代需要你们。(层递)

一幅漫画画着一位厂长,有人告诉他车间停工待料了,他无动于衷;一会又告诉他产品大量积压了,他无动于衷;又有人告诉他厂房着火了,他无动于衷;来人又告诉他局长来检查了,他便立即活动起来。(反复)

(八)设问

(1)概念　设问是为了引起别人的注意,故意先提出问题,紧接着说出自己的看法(有时不说出看法)的一种修辞方式。

(2)种类

①自问自答。例如:社会生产力有这样巨大的发展,劳动生产率有这样大幅度的提高,靠的是什么?最主要的是靠科学的力量、技术的力量。

②问而不答。例如:问苍茫大地,谁主沉浮?

(九)反问

(1)概念　反问也叫反诘,是为了加强语气,用疑问的形式表达确定的意思的一种修辞方式。

(2)种类

①问而无答的反问。包括用肯定句表否定的内容和用否定句表肯定的内容两种形式。例如:就说蒋筑英吧,已经经过了这样长久的考验,难道他入党的志愿,也一定要等到死后才能由省委追认才满足么?(用肯定的形式表示否定)

我呢,我难道没有应该受责备的地方吗?(用否定的形式表示肯定)

②问而有答的反问。例如:敢于这样做的人,难道不是一个英雄吗?可以肯定地说是一个英雄,一个大大的英雄。

(3)反问与设问的区别

①内容结构不同。设问多是自问自答,答案就在问句的后面。反问多是问而不答,人们可以从问句本身体会出答案来。

②表现形式不同。设问本身不表示肯定什么、否定什么,一般是紧接着问句摆出答案;反问则明确表示肯定或否定什么,不是用肯定句表示否定内容,就是用否定句表示肯定内容。

③修辞作用不同。设问主要是提醒注意,引人思考,有其针对性和启发性;反问则主要是加强语气,抒发强烈的感情,增强文章的说服力和感染力。

二、其他修辞格(27种)

(一)双关

(1)概念　是在一定的语言环境中,利用词的多义和同音的条件,有意使语句具有双重意义,言在此而意在彼的修辞方式。

(2)双关的种类

①谐音双关。例如:

我失骄杨君失柳,杨柳轻飏直上重霄九。("杨"实际上是指扬开慧,"柳"实际上是指柳直荀)

东边日出西边雨,道是无晴(情)却有晴(情)。

②语意双关。例如:夜正长,路也正长,我不如忘却,不说的好罢。

(二)反语

反语就是以说反话(正话反说、反话正说)的方式来加强表达效果的一种修辞方式。反语的种类有:

(1)讽刺性反语。例如:

中国军人的屠戮妇婴的伟绩,八国联军的惩创学生的武功,不幸全被这几缕血痕抹杀了。

也有解散辫子,盘得平的,除下帽来,油光可鉴,宛如小姑娘的发髻一般,还要将脖子扭几扭。实在标致极了。

(2)非讽刺性反语。例如:

几个女人有点失望,也有些伤心,各人在心里骂着自己的狠心贼。

双关与反语的不同点

双关和反语虽然都有表、里两层意思,其表面的一层意思是词语本身所固有的,内里的一层意思是上下文所赋予的,但它们还是有区别的:反语的表、里两层意思是相反的,而双关的两层意思是相关的。

(三)引用

援引现成的语言材料(名言、格言、民谣、谚语等)以增强语言表达效果的修辞方式叫做引用。引用包括以下两种:

(1)直接引用。例如:老师讲授白居易的《荔枝图序》,读到"壳如红绡,膜如紫绮,瓤肉莹白如冰雪,浆液甘酸如醍醐",实在无法理解,荔枝哪里会是红色的!

(2)间接引用。例如:恩格斯在谈到16世纪欧洲文艺复兴时曾说过,那是一个需要巨人而且产生了巨人的时代。

（四）对比

对比是把两个相对或相反的事物，或者一个事物的两个不同方面并举出来，进行相对比较的一种修辞方式。对比的作用在于，同时使好的显得更好，坏的显得更坏。例如：

有的人活着/他已经死了；有的人死了/他还活着。

（五）映衬（衬托）

映衬是为了突出主要事物，先描写与之有关联的事物作为陪衬烘托的修辞方式。映衬，按主要事物和衬托事物之间所呈现出来的不同关系，分为正衬和反衬两种。

（1）正衬。即陪衬事物和主要事物朝着相同的方向变化。例如：

我冒了严寒，回到相隔二千余里，别了二十余年的故乡去。

时候既然是深冬；渐近故乡时，天气又阴晦了，冷风吹进船舱中，呜呜的响，从篷隙向外一望，苍黄的天底下，远近横着几个萧索的荒村，没有一些活气。我的心禁不住悲凉起来了。（这里用荒凉萧条的环境和气氛，衬托作者悲凉的心情）

（2）反衬。即陪衬事物对照主要事物朝着相反的方向变化。例如：

淡黑的起伏的连山，仿佛是踊跃的铁的兽脊似的，都远远地向船尾跑去了，但我却还以为船慢。（用"……但我却还以为船慢"反衬"我"的急切心情）

衬托与对比的不同点：

①对比的两个事物间的关系是并列的，不分主次；衬托可以明显地分出衬托事物和被衬托事物来，有主次之分。

②对比常用于论述，衬托常用于描写。

（六）顶真（顶针、联珠）

顶真是用句末的词语作为下一句开头的词语的修辞方式。例如：

竹叶烧了，还有竹枝；竹枝斫了，还有竹鞭；竹鞭砍了，还有深埋在地下的竹根。

顶真具有续接的特点，这种语言形式适于表现客观事物间的递相依存的关系。只有事物确实具有这种关系时方可使用，否则就变成文字游戏了。

（七）移用（移就）

移用是甲、乙两项事物相关联，就把本是用来形容甲事物的修饰语移来修饰乙事物的修辞方式。它实际上是一种词语活用的方法，通常把形容人的修饰语移用到物上。例如：

方场中的建筑，节奏其实是和谐不过的。（用形容音乐的"和谐"来形容"建筑"）

移用与拟人的不同点：

移用体现的是相关联事物的修饰语的变化，而拟人则是侧重于把事物"人化"，二者不可混淆。

（八）通感（移觉）

通感是把人们的各种感觉（视觉、听觉、嗅觉、味觉、触觉等）通过比喻或形容沟通起来的修辞方式。通感可分为形容的通感（如例①）和比喻的通感（如例②、例③）。例如：

①红杏枝头春意闹。

②微风过处，送来缕缕清香，仿佛远处高楼上渺茫的歌声似的。

③但光与影有着和谐的旋律，如梵婀玲上奏着的名曲。

通感也不仅仅是感觉器官的沟通，有时也可能用某种感官去感受不属于某种感官范畴而本身比较抽象的事物。例如：

这一天，我像在一支雄伟而瑰丽的交响乐中飞翔。

论季节，北方也许正是搅天风雪，水瘦山寒。

移用与通感的不同点：

移用侧重于词语在一定语境下的替换，而通感则侧重于感觉的相移。

（九）婉曲（委婉）

婉曲是要表达的意思不直截了当地说出来，而是用委婉曲折的方式烘托或暗示给读者的修辞方式。一般可以把婉曲分为烘托与暗示两种。例如：

①秋天的后半夜，月亮下去了，太阳还没有出，只剩下一片乌蓝的天；除了夜游的东西，什么都睡着。华老栓忽然坐起身，擦着火柴，点上遍身油腻的灯盏，茶馆的两间屋子里，便弥满了青白的光。

②孔乙己一到店，所有喝酒的人便都看着他笑，有的叫道，"孔乙己，你脸上又添上新伤疤了！"

例①不说本意，只用天气、鸟虫这些相关的事物来烘托秋天后半夜的空旷、沉寂；例②则用"脸上又添上新伤疤了"暗示"又挨打了"。

（十）回环（回文）

回环就是用相同语句回环往复地说明的一种修辞方式，形式上表现为词语相同而语序相反。例如下面的回文联：

清代誉满京城的"天然居"饭庄回文联：客上天然居　居然天上客

北京的老舍茶馆回文联：满座老舍客　客舍老座满

厦门鱼腹浦回文联：雾锁山头山锁雾　天连水尾水连天

广东湛江德邻里回文联：我爱邻居邻爱我　鱼傍水活水傍鱼

回环与顶真的区别：

①回环只有两个语言片段，而顶真则不限于两个。

②构成回环的词语要求相同，而顶真只要求头尾衔接的词语相同，其余词语不要求相同。

③回环是反映事物之间相互依存的关系，其语言形式是按照上文逆序排列：甲—乙，乙—甲；而顶真则是反映事物之间递相依存的关系，语言形式是上递下接，顺连而下：甲—乙，乙—丙。

（十一）呼告

呼告是在行文中直呼文中的人或物的一种修辞方式。也就是对着本来不在面前的人或物直接呼唤，并且跟他（它）说话，一般可分为呼人、呼物两种形式。例如：

①雷锋啊，你虽然生活在20世纪60年代，但人们从你身上，也从千千万万革命战士的身上，看见了未来的人类，共产主义的人类。（呼人）

②啊，电！你这宇宙中最犀利的剑呀！我的长剑被人拔去了，但是你，你能拔去我有形的长剑，你不能拔去我无形的长剑呀。（呼物）

（十二）互文

指诗文的相邻句中所用的词语互相补充，结合起来表达一个完整意思的一种修辞方式。例如：

不以物喜，不以己悲。（《岳阳楼记》）

奇山异水，天下独绝。（《与朱元思书》）

主人下马客在船，举酒欲饮无管弦。［《琵琶行（并序）》］

居庙堂之高则忧其民，处江湖之远则忧其君。（《岳阳楼记》）

泉香而酒洌。（《醉翁亭记》）

木欣欣以向荣，泉涓涓而始流。［《归去来兮辞（并序）》］

东西植松柏，左右种梧桐。［《孔雀东南飞（并序）》］

秦时明月汉时关，万里长征人未还。（王昌龄《出塞》）

（十三）歇后语

在人民群众的口头上流传着一种幽默、风趣的语言形式。它一般由两个部分构成，前半截像谜面，后半截像谜底。在一定的语境中，通常说出前半截，"歇"去后半截，所以叫歇后语。例如：

我们有些同志喜欢写长文章，但是没有什么内容，真是懒婆娘的裹脚——又长又臭。

有关古籍和古典名著的歇后语很常见。例如后人据《三国演义》一书就总结出许多脍炙人口的歇后语：

徐庶进曹营——一言不发。　　周瑜打黄盖——一个愿打，一个愿挨。

刘备摔孩子——收买人心。　　鲁肃上了孔明的船——错了。

诸葛亮皱眉头——计上心来。　　看《三国》掉眼泪——替古人担忧。

（十四）摹状

摹状又叫摹绘、仿拟或摹拟，是摹写人或事物的声音、色彩和情状的一种修辞方式。它分为摹

形、摹声和摹色三种情况。例如：

早稻……到了夏至后，发青的酥油草把它们养得胖墩墩，圆滚滚。（摹形）

坎坎伐檀兮，寘之河之干兮……（摹声）

……突然是绿茸茸的草坂，像一支充满幽情的乐曲。（摹色）

（十五）倒装

故意颠倒词句顺序，以达到加强语势、错综句法等效果的修辞方式叫倒装。例如：

七八个星天外（即"天外七八个星"），两三点雨山前（即"山前两三点雨"）。

（十六）警策

由语言简练、含意深刻而精警动人的语句构成，类似格言、警句，叫做警策，也叫精警。例如：

马克思列宁主义是科学，科学是老老实实的学问，任何一点调皮都是不行的。我们还是老实一点吧！

（十七）示现

把实际未见未闻的事物，说得如见如闻、活灵活现，叫示现。示现分为追想式示现、预感式示现和悬想式示现。

（1）追想式示现。即把过去的事情说得历历在目。例如：

六王毕，四海一。……长桥卧波，未云何龙？复道行空，不霁何虹？高低冥迷，不知西东。歌台暖响，春光融融。……

（2）预感式示现。即把未来的事情说得如同出现在眼前。例如：

风樯动，龟蛇静，起宏图。一桥飞架南北，天堑变通途。更立西江石壁，截断巫山云雨，高峡出平湖。神女应无恙，当惊世界殊。

（3）悬想式示现。即把想象中的情景说得如同真情实景一般。例如：

断头今日意如何？创业艰难百战多。

此去泉台招旧部，旌旗十万斩阎罗。

（十八）仿词

仿词也叫逆换，是根据表达上的需要，临时造出一个同原来的词语意义相连的新词语，以造成表达上的新鲜感。例如：

假使这也算一种"信"，那也只能说中国人曾经有过"他信力"，自从对国联失望之后，便把这他信力都失掉了。

第二天早上，她们的头发上都结了霜，男同志们笑她们："嘿，你们演《白毛女》都不用化装了！"她们也笑男同志们："还说哩，你看你们不是'白毛男'吗？"

还有一种同音仿词，即借助仿词与本词的同音而造成的一种仿词。两者借助某种联系，而产生强烈的修辞效果。如下面的新闻标题：

①花季为何变花祭？　　②莫让酒杯变"酒悲"

例①的相关报道是花季少年因学校一纸处分而轻生，例②的相关报道是因贪杯而导致病变死亡。同音仿词形象鲜明，深刻揭示了事件本质。

（十九）转品

把某一类的词移作别的一类词来用，或把这一个词的属性移作别的一个词的属性，叫转品。例如：

①语云：仁者"老吾老，以及人之老；幼吾幼，以及人之幼"。

②春风风人，夏雨雨人。

（二十）飞白

"白"指"白字"。飞白就是故意写白字，是明知其错而有意仿效的一种修辞方式。用法有两种：一是人家怎么错的，就照直录用；二是援引人家的错误以取笑或讽刺。例如：

湘云走来，笑道："二哥哥，林姐姐，你们天天一处玩，我好容易来了，也不理我一理儿。"林黛玉笑道："偏是咬舌子爱说话，连个'二'哥哥也叫不出来，只是爱哥哥爱哥哥的。回来赶围棋儿，又该你闹'幺爱三四五'了。"

其中"爱"与"二"谐音，而"爱哥哥"的"爱"是第一种用法，"幺爱三四五"的"爱"是第二种用法。

(二十一)跳脱

语言因为特殊的情景,如心思的急转、事情的突发等,有时半路断了语路,叫跳脱。例如:

没有吃过人的孩子,或者还有;救救孩子……

(二十二)镶嵌

为了把话说得舒缓些或郑重些,有时故意用几个无关紧要的字镶在一个词里,叫镶嵌。一般以镶加虚词和数词最为常见。例如:

……便自己开了大门,轻手蹑脚地上楼到妻子房里……

例句中的"轻手蹑脚"即由"手脚"镶"轻""蹑"而成。

(二十三)复叠

把同一个字、词接二连三用在一起,叫复叠。分复词和叠字两种,口头上用叠字的更多。

(1)复词　例如:女人还是呆呆地坐在院子里等他,地说:"你有什么话,喝咐喝咐我吧。"

(2)叠字　例如:野花野草,什么形状也有,什么颜色也有,挨挨挤挤,芊芊莽莽……

(二十四)层递

也叫层进或递进。它是把三种或三种以上的事物,按由小到大、由低到高或由大到小、由高到低的顺序逐层排列起来,表达一层进一层的意思的一种修辞方式。例如:

这种作风,拿了律己,则害了自己;拿了教人,则害了别人;拿了指挥革命,则害了革命。

注意:层递要按顺序来排,不论是趋势渐增或渐减的,都具有阶梯式的逻辑性,并构成行文上的条理性。所以,或升或降,都不能随意打乱顺序。

(二十五)节缩

是在字的音、形上变化处理的手段,在意义上没什么增减。节短语言文字叫节,缩合语言文字叫缩,合起来叫节缩。例如:

……辛未三月念六夜四鼓,意洞手书。

例句中的"念"即"廿"字,是"二十"的节缩。

(二十六)析字

把一个字析为音、形、义三个方面,看别的字有一面同它相合相连,随即借事代替或推演上去,叫析字。其基本方法有三种:

(1)化形。例如:

子系中山狼,得志便猖狂。(选自《红楼梦》第五回,此句中就是把孙绍祖的"孙"字析成"子""系"二字,再借"子""系"来代替"孙"字)

(2)谐音。例如:

南京的风俗,但凡新媳妇进门,三天就要到厨下收拾一样菜,发个利市。这菜一定是鱼,取"富贵有鱼(余)"的意思。(选自《儒林外史》第二十七回,例句中的"鱼"和"余"是谐音)

(3)衍文。例如:称"假"为"西贝",就是把"假"字先按谐音看做"贾"字,再按字形析为"西""贝"。

(二十七)空符

在文章中某一部分故意空缺标点符号而形成的辞格,以显示一种快节奏,从而产生语言表现力。例如:

你不知道耽误了我的时间就是耽误了国家领导人的时间耽误了国家领导人的时间就是耽误了党和国家的大事耽误了党和国家的大事是什么性质的问题这个后果你考虑了没有……

我们一读,就感觉奇怪,这人话如连珠炮,无限上纲上线,也不管别人听不听,能不能接受,一个劲儿不换气地由着自己说下去。正是这种标点符号的空缺,使这个人的病态心理得以充分显现,人物形象跃然纸上。

三、修辞格的综合运用

(一)套用

套用是一个语句总的来看用了某种修辞格,而分解开来看,其中又含有其他修辞格。例如:

山朗润起来了,水涨起来了,太阳的脸红起来了。(排比中套用了比拟)

(二)连用

连用是在一个语句中连续使用两种以上的不同的修辞格,既不彼此相融,也不互相包含,而是一个连一个。例如:

当春间二三月,轻飔微微地吹拂着,如毛的细雨无因的由天上洒落着,千条万条的柔柳,齐舒了它们的黄绿的眼。(加点的句子用了比喻,画线的句子用了拟人。)

(三)兼用

兼用是指一个语句,从不同的角度可看出它兼有多种修辞格。例如:

"砰"的一声,郎平的一记重扣,激起了全场经久不息的欢呼声和鼓掌声,像海涛击岸,像山洪暴发,像飞瀑倾泻。

此句从形式上看,"像……像……像……"构成比喻、排比;从内容和气势上看,它构成夸张和层递,因此,此句兼用比喻、排比、夸张、层递四种修辞格。

附录

对 联

一、对联的起源

宋代王安石在《元日》中写道:

爆竹声中一岁除,春风送暖入屠苏。
千门万户曈曈日,总把新桃换旧符。

"新桃"和"旧符"是什么意思?其实就是春联。春联是对联的一种,我国的春联是怎样发展起来的呢?

春联作为一种独特的文学形式,在我国有着悠久的历史。它产生于五代十国,明清两代尤为兴盛,发展到今天已经有一千多年了。

早在秦汉以前,我国民间每逢过年,有在大门的左右悬挂桃符的习俗。桃符就是用桃木做成的两块大板,上面分别写上传说中的降鬼大神"神荼(tú)"和"郁垒"的名字,用以驱鬼压邪。这种习俗延续了一千多年。到了五代,人们才开始把联语题在桃木板上代替了降鬼大神的名字。据历史记载,后蜀之主孟昶(chǎng)在964年除夕题于卧室门上的对联"新年纳余庆,佳节号长春",大概是我国最早的一副春联。

宋代以后,民间新年悬挂春联已经相当普遍了,所以王安石的《元日》诗中写的"千门万户曈曈日,总把新桃换旧符"就是当时春联盛况的真实写照。由于春联的出现和桃符有着密切的关系,所以古人又称春联为"桃符"。

到了明代,明太祖朱元璋大力提倡对联。他在应天府(现在的南京)定都以后,命令大臣、官员和一般老百姓家除夕前都必须书写一副对联贴在门上,他亲自穿便装出巡,挨门挨户观赏取乐。当时的文人也把题联作对当成文雅的乐事,写春联便成为一时的社会风尚。

入清以后,乾隆、嘉庆、道光三朝,对联犹如盛唐的律诗一样兴盛,出现了不少脍炙人口的名联佳对。

随着各国文化交流的发展,对联传入越南、朝鲜、日本、新加坡等国。这些国家至今还保留着贴对联的风俗。

二、对联的形式

对联有对句和联语之分。

对句没有特别的形式要求,主要是口头进行,诉之于听觉,倘记录于书面,则按联语形式,但不带横额。

联语必须写出来张贴或悬挂;有些还必须配上横额。联语可以用任何书体来书写。

上联:第一句,叫出句,也叫出联。如:

门第春常在

下联:第二句,叫对(应)句或应联。如:

人家庆有余

横额:也叫横批。如:

福星高照

三、对联的类型

从反映的内容和使用的场合来看,对联可以分为:

1. 春联 以除旧迎新、言明志向、充满豪情、展望未来为主要内容,专门在元旦、春节时粘贴的对联,因时效性较强,人们就称为春联。如:

一元复始 万象更新

2. 楹联 为了表达某种愿望或满足装饰需要,过去常在宫廷、府宅、庙宇、园林的楹柱之上,或在木板上刻制,或在壁石上雕琢的联语,统称为楹联。如:1979年,杭州"岳庙"修复一新,当代著名词人兼书法家赵朴初,化用岳飞《满江红》词意,在重新塑好的岳飞巨像两边的大柱上,精心撰写了一副古为今用、气魄宏伟的楹联:

观瞻气象耀民魂喜今朝祠宇重开老柏千寻抬望眼

收拾山河酬壮志看此日神州奋起新程万里驾长车

3. 婚联　专门在举行结婚仪式那天选用或编写的能够表达热烈气氛的对联。如：

巧借花容添月色　欣逢秋夜作春宵

4. 挽联　为了评价先人的生平业绩，抒发后人诚挚的怀念之情，在追悼会或纪念会上所用的对联。如悼念敬爱的周总理的一副挽联：

心血劳干革命事业似巍巍泰山震环宇

骨灰撒遍总理恩情如滴滴雨露润人心

5. 寿联　当老人过生日，子女为了表达对长辈的祝福之情，常以延年益寿、福满家门为主要内容，精心书写一些吉祥的词语，或贴在门上，或挂在厅堂，这样的对联就叫寿联。如：

福如东海阔　寿比南山高

6. 交际联　用于人们特殊场合的交往。如：

铁肩担道义　妙手著文章

——李大钊赠杨子惠

有关国家书常读　无益身心事莫为

——徐特立题赠青年联

四、对联的要求

对联的要求是既要有"对"，又要有"联"。形式上成对成双、彼此相"对"；上下文的内容互相照应，紧密联系。一副对联的上联和下联，必须结构完整统一，语言鲜明简练。对联的要求如下：

1. 上下联字数要相等。

2. 上下联词组要相同。即组成上联的各个词组分别是几个字，下联的对应词组也必须分别是几个字。

3. 上下联词性要相同。所谓词性，是指词的类别性质，如名词、动词、形容词等等。上联的词性和下联的词性，按照词的先后位置，既要相同，又要相对。这种要求，主要是为了用对称的艺术语言，更好地表达思想内容。

4. 上下联句法要一致。句法，就是语句构成的方法。一副对联中，上联是由几个字组成的，一共有几个音节的顿读，下联也必须相同。

5. 上下联平仄要相调。对联上下联的表现方法，要注意声律相对，也就是平仄相调。这主要是为了音韵和谐，错落起伏，悦耳动听，铿锵有力。如：

云带钟声穿树去　月移塔影过江来

平仄平平平仄仄　仄平仄仄仄平平

另，古诗的音节主要有两种：一是两字一顿，叫"双音步"；一是一字一顿，叫"单音步"。双音步的平仄以第二字为主，第一字可不严格要求。

对联也可如此。例如：

窗含西岭千秋雪　门泊东吴万里船

一平一仄一平仄　一仄一平一仄平

上联中的"窗"和下联中的"门"是平对平，"西"与"东"是仄对仄。

6. 上下联内容要相关。如明代东林党首领顾宪成，在东林书院大门上写过这样一副对联：风声雨声读书声声声入耳，家事国事天下事事事关心。上联写景，下联言志，上下联内容紧密相关，使人透过字面，很容易理解作者自勉自励之心。

五、对联的创作

1. 要有针对性。你写的若是店铺，就要把握那个店铺属于何种行业。"到来尽是弹冠客，此去应无搔首人"这副对联是表现理发铺的，也在于把握了理发的个性。写喜联、寿联和挽联之类也是如此。

2. 立意要新颖。也就是说，要不落俗套。为此，要发挥想象力。《坚瓠集》载："明太祖幸马苑，永乐（成祖朱棣）、建文（惠帝朱允炆）同侍太祖。（太祖）出句云：'风吹马尾千条线。'建文对：'雨洒羊毛一片毡。'太祖不悦。永乐对：'日照龙鳞万点金。'"从对仗来说，建文、永乐的对语都很工整。但两相比较，形象上的美丑，却大为悬殊。这就是二人想象力不同的结果。有鉴于此，我们平时就要注意培养自己的想象力。

3. 要反映时代精神。时代精神，指的是一个时代的思想面貌。"三鸟害人鸦鸮鸨，一群卖国鹿獐蟾"，是骂五四运动时期三个卖国贼陆宗舆、章宗祥、曹汝霖的，充满了中国人民的民族义愤；"双鬓多年作雪，寸心至死如丹"，是写而今的教师的，表达了他们对教育事业的无限忠诚。这些对联，都打上了时代精神的烙印。

4. 要情词贴切。贴切，就是恰到好处。一般而言，歌颂英雄的要"沉雄"，品评人事的要"端庄"，室内悬挂的要"清雅"，赠送友人的要"精巧"，表示意见的要"婉曲"，追念死者的要"悱恻"，描景状物的要"藻丽"。

5. 要符合对联的体式。详见"四、对联的要求"。

六、春联的贴法

通常春联有两幅直联、一幅横联，直联的每幅最后一字有平、上、去、入等声韵（接近现在的四声法，但有出入），正确的贴法是：

平声（现在的一、二声）在左边，上声、去声（现在的三、四声）及入声字在右边。如：

天增岁月人增寿（右）
春满乾坤福满堂（左）

爆竹声中辞旧岁（右）
梅花香里报新春（左）

第九部分 语言简明、连贯、得体

一、语言简明

"简明"就是简要、明晰。所谓"简要"就是说话不重复啰唆，用语力求简练，不说多余的话；"明晰"的意思是明白无误，让人准确理解其含义。"简明"的基本要求是：

(一)不说多余的话

1. 无重复，即不说重复啰唆的话。例如：

有些植物能长期生活在水中，是因为这些植物能在水中正常呼吸，正常取食，不会腐烂，才能长期生活在水中。

句末的"才能长期生活在水中"与前文重复，应删去。

2. 去赘疣，即不说多余无用的话。例如：

夏天到了，人们喜欢吃一些生冷的食品，外出就餐的频率也高了，这都将给肠道传染病的发生埋下了隐患。

句中的"将"多余，必须删去。

3. 会省略。省略的方法主要有：(1)承前或蒙后省去指称性的内容；(2)把某些意思合并在一起说；(3)用代词指代。例如：

"超对称性"和"超引力"是20世纪70年代才在国际上引入物理学中的新概念。在这次会上，专家们介绍了当前国内外对于超对称性、超引力问题研究的情况，展开了热烈、自由的学术讨论，在某些问题上提出了一些新见解。

后一处"超对称性、超引力"与前文重复，但删去后句子又表述不完整，可用代词替换，即改为"这两个"。

(二)易理解

1. 不苟简。语言简明，是指语言简洁明了，如果简洁却不明了，不该省的乱省，就会造成文字苟简，不能正确表达意思。例如"它们〔的〕存在是通过间接渠道推断出来的"与"他是欧亚高手取胜〔的〕最大障碍"两句六角括号中的"的"不能省略，因为前者是代词修饰名词，后者是动词修饰名词。若省去，其意义就会发生改变，从而造成语病。

2. 避免歧义。有些句子，孤立地看，可以有不同的理解，这样，语言表达就不清晰，让人抓不住主旨。例如：

我看见张原扶着一位老人走下车来，手里提着一个黑色皮包。

"提着一个黑色皮包"的是"张原"还是"老人"，交代不明。

3. 切忌晦涩。语言含混晦涩，就会令人费解甚至误解。而造成晦涩的原因，主要是语言不规范。如说话、写文章不合乎语法规范和语言习惯，用语不准确，生造词语，滥用简称和方言土语，不注意词语的感情色彩和语体色彩。例如：

来日你我再度相见，仍是旧日动人笑面，给我熊热眼光，一遍一千遍。

这里的"熊热"是生造的，令人费解。按语法规范来说应改为"炽热"。

4. 语序恰当。就语言清晰而言，语序主要指句内语序，即并列词语(含短语)的语序、多层定语的语序和多层状语的语序。可参看"修改病句"。

5. 多用短句。即句子容量要适当，多用短句，少用长句。这不是说长句不好，也不是说长句与语言清晰相矛盾，而是说短句更能使句意清楚，易于被人理解和接受。如下面一句译文：

地方法院今天推翻了那条严禁警方执行市长关于不允许在学校附近修建任何等级的剧场的指示的禁令。

上句将本来不含糊的内容写到一个长句中，造成意思表达的混乱，让人费解。把它改为三个短句后，意思就好理解了："市长发出了关于不允许在学校附近修建任何等级的剧场的指示。但警方却接到了严禁执行市长这一指示的禁令。今天，地方法院又推翻了这一禁令。"

二、语言连贯

作为交际工具的语言，只有表达得清晰准确、连贯畅达，才能更好地发挥其应有的交际作用。语言连贯，指的是一个语段的各个句子之间，或是一个复句的各个分句之间，在内容和形式上都能接得上，扣得紧，意思一贯而下，脉络清晰，文气顺畅，准确、完整地表达一个意思。

（一）话题统一

所谓话题统一，是指组成段落的句子之间，或是组成复句的分句之间，有紧密的联系，围绕着一个中心，集中地表现一个事实、场景或思想观点，无关的话不放在一起。一段话中，如果随意变换陈述对象，就会影响语句的通顺。例如：

张玲每天放学后都到李兰家里，给在家养病的李兰补课。李兰先把自己碰到的疑点和难题告诉张玲，张玲再把当天所学的功课告诉李兰，给她解释疑难，辅导她做作业。李兰在张玲的帮助下，跟上了学习进度，期末考试也取得了较好的成绩。

这个语段，一会儿以“张玲”为陈述对象，一会儿以“李兰”为陈述对象，三句话主语不一致，语句不衔接，影响意思表达的明确性。全段可改为：“张玲每天放学后都到李兰家里，给在家养病的李兰补课。她总是先把当天所学的功课告诉李兰，然后了解并分析李兰学习上的疑点，辅导她做作业。使李兰跟上了学习进度，期末考试也取得了较好的成绩。”

有的议论性语段，开头提出观点或问题，接着举事例，列材料，进行分析。这里的“观点”或“问题”也可以说是话题，话题必须统领后面的事例、材料；反过来说，事例、材料要符合前面的话题，与其相一致。例如：

如何才能让大家都富起来呢？知识与财富有着密切的关系。知识的贫乏必然造成财富的贫乏，财富的充足往往是以知识的充实为前提的。

这是一个以设问句领起的句群。首句提出话题——共同致富的途径，第二句的回答却是另一话题——知识与财富的关系。接着末句对答句作解说。一问一答之间，偷换话题，致使语意不连贯。此外，这个句群的末句将“知识”与“财富”的关系绝对化，以偏赅全，属逻辑错误。

（二）表述合乎事理、语境

首先是意思表达要符合客观事理，否则，上下句在事理上就会出现“裂痕”，衔接不上。例如：

（2011·山东卷）将下列句子组合成语意连贯、合乎逻辑的一段话，并将序号填入横线处。

①有一些远虑，可以预见也可以预作筹划，不妨就预作筹划，以解除近忧。

②不过，远虑是无穷尽的，必须适可而止。

③有一些远虑，可以预见却无法预作筹划，那就暂且搁下吧，车到山前必有路，何必让它提前成为近忧。

④总之，应该尽量少往自己的心里搁忧虑，保持轻松和光明的心境。

⑤还有一些远虑，完全不能预见，那就更不必总是怀着一种莫名之忧，自己折磨自己了。

⑥中国人喜欢说：人无远虑，必有近忧。这固然不错。

这是一段议论性文字，全段依照总—分—总的思路展开。⑥②为总说（由“固然”到“不过”），①③⑤分说（“有一些……可以”“有一些……却无法”“还有一些……完全不能”），由浅入深；④是总结性文字（“总之”）。

答案：⑥②①③⑤④

对于写景的复句或语段，要注意语境因素，要分析景物、情调、写法的特点。景物，有远、近、动、静的不同；色彩，有鲜明、暗淡的区别；气氛，有热烈、冷清之分；视角，有高、低、俯、仰之异。如果不注意这些差别，就不容易辨别选项的正误，也不容易选出衔接恰当的续句来。例如：

为横线处选择恰当的句子，使上下文衔接（　　）

_____崖壁下有几处坟地，坟前立着的石碑，许多已经破碎，字迹模糊，枯水季节，伏在江里的石头已经露出水面，周围一片寂静。

A. 一列青黛崭削的石壁夹江高矗，被夕阳烘炙成一道五彩的屏障。

B. 没有太阳，天气相当冷，蘑萝叶子多已萎落，显得这一带崖壁十分瘦削。

C. 在夕阳的照射下，枯草和落叶闪着不定的光，崖壁像一道巨大的屏，矗立在江对岸。

D. 一行白帆闪着透明的羽翼，从下游上来；山门半掩，一道阳光射在对岸的峭壁上。

这个复句要表现的是秋冬寂静、冷落、荒凉的情景。A项描绘的是火热灿烂的景象，D项描绘的是清新明朗的景色，都跟下句相矛盾。C项描绘的景色虽然跟下句一致，但角度不对，“矗立在江对岸”，表明是远望，那又怎能望到江对岸坟地石碑上的模糊字迹？显然是不合乎情理的。B项无论从描写的情境看，还是从描写的角度看，都与下句衔接得很紧密。

(三)语句前后照应

语句要前后照应，包括答句与问句的照应、上下句词语的照应、前后句式的照应。

在设问句中，前句提出了问题，后句便要作出正确的回答。有的问句一连提出两个问题，便要兼顾两个问题，作出正确的回答。如果答非所问或者一概否定、一概肯定，都会造成语句的不连贯。例如：

填入下面横线处的句子，恰当的一项是(　　)

对爱好文科的学生，加强文科辅导是必要的，但是否可以忽视理科的学习呢？还要不要他们学好数学、物理、化学和生物呢？_____

A. 从长远的观点看，我们认为这样做是很不恰当的。

B. 如果我们缺乏战略眼光，在实际工作中就可能作出错误的回答。

C. 为了使学生有合理的知识结构，我们的回答应该是肯定的。

D. 只要认真想一想中等教育的培养目标，我们就会说：不可以。

这一道题应选择B项。对题干提出的两个问题，一般的学生都能分别作出正确的回答：对前一个问题的回答是否定的，对后一个问题的回答是肯定的，但未必能用一句话同时回答两个问题，做到无懈可击。A、C、D三项都只回答“是”或“否”，显然顾此失彼。B项却不是直接作肯定或否定的正面回答，而是用假设句，从战略的高度强调这个问题的意义，与前文连贯。

前后句词语不照应，也会造成语句的不连贯。例如：

依次填入下面一段文字横线处的语句，衔接最恰当的一组是(　　)

狗是忠义、勇敢而又聪明的动物。_____，_____。_____，_____。_____，_____，使狗成为人的得力助手。

①专门训练军犬、警犬，把狗用于军事、案件侦破等方面　②它的嗅觉细胞数量是人的24倍，可以分辨大约两万种不同的气味　③比如牧民的狗，为了保护羊群，敢于同恶狼猛斗　④人们充分利用狗的这种特殊的天赋　⑤狗可以听到10万赫兹以上的声音　⑥代替主人做一些危险的事

A. ③②①⑥⑤④　B. ③⑥⑤②④①　C. ⑤④①③②⑥　D. ⑤②④⑥①③

“狗是忠义、勇敢而又聪明的动物”是文段的总说句，分说的内容是由这句话展开的。③⑥两句对应“忠义、勇敢”，⑤②两句介绍狗的天赋，对应“聪明”，与之衔接的应是④①两句。　答案：B

(四)成分完整，音节和谐

句子成分残缺，影响句子连贯。例如：

下面的句子前后脱节，请添加必要的词语，使它完整连贯。

我们学校已成为一所现代化的学校，除计算机室、语音教室外，校园宽带网、多媒体教室等先进的教学设备，崭新的实验大楼也已落成。

可在“校园宽带网”前加“新增了”或在“先进的教学设备”后加“也一应俱全”一类充当谓语的词语。

音节和谐是从语言形式上保证语言连贯，易于诵读，显示出语言的韵律美。其含义是：整句要句式整齐，结构一致；散句要由短到长，张弛有序。例如：

依次填入下列两句中横线处的语句，与上下文语意连贯、音节和谐的一组是(　　)

(1)每逢深秋季节，_____，松竹山茶，色彩绚丽，美景尽览。

(2)远眺群山环抱，_____；近看小河流水，茶园葱绿，松竹并茂。

①置身山顶，俯瞰槐榆丹枫　③白云缭绕，层林叠翠

②置身山顶俯瞰，槐榆丹枫　④层林叠翠，白云缭绕

A. ①③　　B. ①④　　C. ②③　　D. ②④

(1)句横线前后为六、四字句,②恰与之结构相同、音节和谐整齐。(2)句从结构上看,③④皆可,但着眼于视线变化,④衔接自然,合乎情理。故答案为 D。

总之,欲正确解答语句连贯方面的题,首先,要弄清楚语段说的是什么。叙事的,要搞清楚当事人和事情的来龙去脉;描写景物的,要抓住它的特点;论述观点的,要明确主张什么、反对什么,还要分析材料与观点的关系。其次,要仔细分析表达形式和方法,弄清是怎么说的。要舍得费精力去揣摩、比较上下文各句间的关系和词语的含义,特别是关键词语和句子所蕴含的信息,并注意语境条件,根据说话的目的、对象、场合、范围、情境等因素去选择接句或续句。

附录一

语序排列的方法

语句排列或以人们的认识规律为序,由表及里,由浅入深,由感性认识到理性认识;或以空间的先后为序,从上到下,从外到内;或以时间的先后为序;或以主次、轻重为序。在解答选择题或做表述题时,都要注意这些语序排列方法,根据语段内部的联系作出选择,根据题目所给的条件和要求,安排语句的先后。例如:

一轮红日从东方的地平线上渐渐露出头来。红光赶走了星星,天空变成了鱼肚白。太阳放射出给予人们温暖和力量的光芒。

这段文字描写日出的景象。先写"红日"出来,"赶走了星星",再写"天空变成了鱼肚白",这样写,显然违反了事物发展的客观顺序。应改为:"天空变成了鱼肚白,一轮红日从东方的地平线上渐渐露出头来,赶走了星星,放射出给予人们温暖和力量的光芒。"

调整语序,使文段连贯。(只写序号即可)

①它是生命的源泉,②失去了希望,生命就会枯萎。③黄金象征着财富,④人一切都可以没有,⑤人类最宝贵的财富是希望,⑥唯独不能失去希望。⑦但却不是人类最宝贵的财富。

一段话往往有一个中心话题。在此,第一步:先找出引出话题的首句,它往往是陈述一事、一物或一理的,故应选⑤。紧承此句的应为①,因为它回答的正是⑤中"希望"的特征。第二步:从关联词语上看,④⑥应排在一起,属于转折关系;③和⑦也是转折关系。第三步:从语句的首尾衔接上看,②应紧接在⑥后面,从而出现了⑤①④⑥②和③⑦这两组。第四步:综合起来考虑,便可看出⑤①和④⑥②两组话题中心集中,联系紧密,应排在一起;而⑤①④⑥②又与③⑦呈现递进关系,故最后的排列顺序应为:③⑦⑤①④⑥②。

由上例可以看出,句序排列的思路是:首先确定首句,其次根据上下句首尾衔接语、指示代词、关联词语、内部逻辑联系等进行分群归类(或者说把零件变成部件),最后综合考虑,确定排列顺序。例如:

根据语境,下列排序最恰当的一项是(　　)

示现本是佛教用语,指的是佛、菩萨应机缘而现种种化身。_____。_____。如杜甫《月夜》诗:"今夜鄜州月,闺中只独看。""闺中只独看",就是诗人运用示现修辞手法来描绘想象中的情景。_____。_____。预言的示现,同追述的示现相反,是把未来的事情说得好像摆在眼前一样。_____。示现作为一种修辞现象,值得我们关注。

①修辞学中的示现是指把实际上不见不闻的事物,说得如见如闻的一种修辞手法

②至于悬想的示现,则是把想象中的事情说得在眼前一般,同时间的过去未来全然没有关系

③后来人们把这一词语用在修辞学中,当作一种辞格的名称

④在修辞学中,示现一般分为三类:追述的、预言的和悬想的

⑤追述的示现,是把过去的事迹说得仿佛还在眼前一样

A. ①④⑤②③　　B. ①③④⑤②

C. ③①④⑤②　　D. ③④⑤①②

解题时应联系上下句内容,找出其中隐含的关系。如第一句有"本是佛教用语",接下来写变化,③句正合适,所以③应排在最前面。第二条横线后用杜甫诗,说"就是诗人运用示现修辞手法",所以第二条横线处应填①。后面的内容是分别介绍三种示现,根据④句中示现的分类,可确定⑤在②前;④句是总说,④应在⑤②前。所以,正确的排序应为③①④⑤②。

答案:C

附录二

梳理语句的方法

句子的组合一般有四种顺序：时间顺序、空间顺序、心理顺序、逻辑顺序。梳理语句应统观全句，先确定中心句，然后分析其他句子是从什么角度或方面来阐述或发挥中心句的，再按内在的逻辑联系加以梳理。还可以抓住一些代词、关联词语和带总括性的词语，或找出首句、尾句等来帮助分析。例如：

把下列带序号的句子组合成语意连贯的一段话并填入横线处。（只填序号）

理学家为什么崇古抑律？_____古体与律体之辨跟诗歌史联系起来，就是古体的典范——汉魏晋诗与律体的典范——唐诗之辨。

①那么，为什么讲求声律、对偶等形式技巧就是品格低呢？

②他们认为，诗歌的审美方面、形式技巧方面对于人的道德修养没有正面的价值。

③以这种价值观去看诗歌的体裁样式，古体诗就高于律诗。

④既然诗歌的审美方面没有价值，本来可以不讲，但是如果要进入到诗歌领域去谈诗的话，那么，在形式方面人为的工巧因素越多，其价值就越低。

⑤抛开诗歌的内容不论，单从形式上看，近体诗要讲求声律、对偶等，这些讲求在理学家看来，是其在品格上低于古体诗的重要原因。

从句子之间的逻辑关系看，第⑤句是对文段首句“理学家为什么崇古抑律”这一问题的回答。第①句又是针对第⑤句近体诗要讲求声律、对偶而“品格上低于古体诗”提出的疑问。②③④句则是对第①句问题的解答。从第②句的“没有正面的价值”，第④句的“既然诗歌的审美方面没有价值”，第③句的“以这种价值观去看”，②③④句排列顺序应为②④③。

答案：⑤①②④③

三、语言得体

语言得体是听、说、读、写四方面综合能力的体现。

所谓语言得体，也就是用语要适应语言环境。语言环境有“内部语境”和“外部语境”之分。“内部语境”指的是上下文，“外部语境”则包括语言交际时的各种条件，如场合、对象、话题、表达方式、情境等。语言得体主要指符合外部语境的各种要求。

叶圣陶先生说：“出言吐语自当求甚适当，使对方闻而愉悦舒服。”这就告诉我们，说话、写文章，要看场合、看对象、看身份，说得体的话。人在社会生活中总是担当着一定的角色，在交往中，说话要符合自己在彼时彼地的身份，自己在充当什么角色，就要说这个角色的话。语言得体要着重注意以下几点：

（一）用语要看对象

说话、写文章，首先要看对象，即考虑谁是听话者、阅读者。要充分考虑对象的特征，诸如性别、年龄、职业、身份、文化、性格、气质、爱好甚至禁忌等等。同一个意思，对不同的人应有不同的说法；同一个内容，对不同的对象，说话时也应重点不一，取舍有别。例如：

（2011·山东卷）假如你是广播电台少儿栏目的主持人，请根据少儿听众的特点，重新表述下面一段文字的画线部分。不得改变原意。不超过80个字。

蔚蓝的天空，万里无云。碧绿的草地上，一条小溪潺潺流过，水中的卵石清晰可见。溪边坐着一位长髯老者，面容清瘦，双目炯炯有神。

所给文字为书面语言，不适合口语播讲，有些对少年儿童来讲，比较深奥，不易懂。所以转换时要准确把握儿童语言的特点，文字既要口语化，浅显易懂，又要生动有趣。

答案示例：一条小溪哗哗啦啦地流着，水里有好些圆溜溜的石头，像鸡蛋似的，看得可清楚了。溪边坐着一位老爷爷，脸瘦瘦的，胡子长长的，那双眼睛可有精神啦！

说话、写文章，还要注意尊称、谦称和习惯用语。在称呼对方亲属时，多用“令”字冠首。如：对方的父亲称“令尊”，对方的母亲称“令堂”，对方的兄弟称“令兄”“令弟”，对方的儿女称“令郎”“令爱”。谦称自己的亲属，比自己大的多用“家”字冠首。如：称自己的父亲为“家严”“家尊”“家君”。称比自己小的用“舍”字。如：称自己的弟弟、妹妹为“舍弟”“舍妹”，称自己的侄儿为“舍侄”。这就叫“家”大

"舍"小"令"外人。

一些传统的而现在仍在用的文明习惯语是：初次见面说"久仰"，好久未见说"久违"；请人批评说"指教"，求人原谅说"海涵"；请人帮忙说"劳驾"，请人给方便说"借光"；麻烦别人说"打扰"，向人祝贺道"恭喜"；求人解答用"请问"，请人指点用"赐教"；托人办事用"拜托"，赞人见解用"高见"；看望别人用"拜访"，宾客来到用"光临"；陪伴朋友用"奉陪"，中途先走说"失陪"；等候客人用"恭候"，请人勿送说"留步"；欢迎光临说"光顾"，归还原物说"奉还"；对方来信叫"惠书"，老人年龄称"高寿"；问人姓名说"贵姓"，回答己姓说"免贵"；称人住处叫"府上""贵府"，称己住处为"敝处""寒舍"。

此外，还要注意，对失意人不说得意的话，对有缺陷的人不说人家忌讳的话，对长辈谈话忌傲慢无礼，在人家办喜事时不说丧气的话，对方情绪好时可以多说几句，对方情绪低落时就该少说几句，对方彬彬有礼时说话要客气、文雅、谦让，对方蛮不讲理时就应据理力争，决不低三下四。

（二）用语要注意场合

用语包括说话、写文章、书写标语等。俗话说"到什么山上唱什么歌"，说的就是要注意在不同的场合说不同的话。同样的话，在不同的时间内，应有不同的说法。例如，《林黛玉进贾府》中，写王熙凤进到贾母房里后，"携着黛玉的手，上下细细打谅了一回，仍送至贾母身边坐下，因笑道：'天下真有这样标致的人物，我今儿才算见了！况且这通身的气派，竟不像老祖宗的外孙女儿，竟是个嫡亲的孙女，怨不得老祖宗天天口头心头一时不忘。'"王熙凤说话时有着特殊的语境：有在贾府有着至高地位的贾母在场；周围是与黛玉平辈的迎春、探春、惜春，她们都是贾母的嫡亲孙女；还有王、邢两位夫人；贾母对黛玉的母亲贾敏很疼爱。在这样的环境里，王熙凤既要设法取悦贾母，又要平衡好人际关系，因此，她的话既高度赞美了黛玉，又把"三春"摆在了恰当位置上，而不至于扬此抑彼。用语可谓十分得体。

虽然我们平时用语不必都得像王熙凤那样工于心计，八面玲珑，但是，也要根据社会交际的需要使用不同的语言形式。一般来说，在庄重场合，要求用语庄重、规范，用典范的书面语，而不能用拉家常的口吻和语气；在公共场合，用语要准确、扼要，话题要集中，经常使用自然、亲切、灵活的语言，并尽量用口语，例如在公园里，说话就可随意、自然一些，话题分散一点儿；在与亲人促膝谈心时，不宜用外交辞令，装腔作势，因为面对面说话，发话人和答话人都处在一定的语境中，许多话都可以说得十分简短甚至省略，不必追求完整；在娱乐场合，用语要有趣、生动，有时还需要幽默。例如：

对下列两个句子分析正确的一项是（　　）

①王老师对全班同学说："同学们，别忘了，我们是学生，我们的主要任务是学习。"

②她埋怨我说："你让我给你借小说，人家借来了，你又不看。"

A. ①②代词使用均没有毛病。　　B. ①②代词使用均有毛病。

C. ①代词使用有毛病，②代词使用没有毛病。D. ①代词使用没有毛病，②代词使用有毛病。

场合，有公开场合与私下场合之分，还有庄重严肃与轻松随便之别，而只有在不同的场合运用不同的措辞，才能使语言得体。上面这道题正是依据此要求设计的典范题目。①句的交谈情境是课堂，一位老师面对全班同学讲话，用"我们是学生""我们的主要任务是学习"这样的说法，不会出现指代对象不清、把教师学生混为一谈的问题。而且，用"我们"表现出师生之间融洽的关系，形成一种亲切、诚恳的交谈氛围。假如改用"你们是学生""你们的主要任务是学习"，就变成了一种训斥的语气，不符合这种场合的要求，表达效果就差多了。②句的"人家"也是用得很得体的代词。这句话的交谈情境是私下场合，从全句的交谈内容看，这两人的关系不错。用"人家借来了，你又不看"这样的说法，表露了埋怨，但不是一般的埋怨，而是好朋友之间的埋怨，里面包含着一丝委屈和娇嗔。假如把"人家"改成"我"，"你让我给你借小说，我借来了，你又不看"，这样说，只剩下抱怨，而且是冷冰冰的抱怨，两个人亲密的关系就表现不出来，当然不得体。故答案为 A。

可见，该题能较好地考查出学生理解和运用语言的能力。用这样的题作为平时学习训练的材料，能收到事半功倍的效果。

（三）用语要注意表达方式

一般来说，不同的文体应有与之相适应的不同的语体，而不同的语体又常常表现出不同的语体色彩和语体特征，如文艺语体要具有形象性，科学语体要具有精确性和严密性，政论语体要具有逻辑性和鼓动

性，公文语体则要准确、简洁和程式化。而各种文体，具体来说，对用语又有不同的要求。色彩和语体特征，如文艺语体要具有形象性，科学语体要具有精确性和严密性，政论语体要具有逻辑性和鼓动性，公文语体则要准确、简洁和程式化。而各种文体，具体来说，对用语又有不同的要求。就实用文来说，新闻稿要求简明扼要、概括性强；广播稿、演讲词要求明白、口语化；合同要求措辞严密、表述清晰；贺词要求热情、庄重；讣告要求严肃、郑重而沉郁。此外，还要注意一篇文章应保持语言风格的一致。例如：

下面的文字改作广播稿时，有四处非改动不可，写出这四处的序号。

自从我省西部地区发生强烈地震(a)以来，本市各界(b)对震灾(c)以后的人民生活十分关心，积极开展赈灾(d)活动，捐款累计逾100万之巨(e)。我厂原来已经捐款(包括捐赠衣服、物品折款)8万元(f)，昨天又捐款2万元，这些钱物已经转送到了灾区(g)。(h)(i)(j)(k)

广播稿是要读给人听的，因而要避免同音词，“震灾”(地震灾害)和“赈灾”(赈济灾民)无法分辨，故e、f须改。“逾……之巨”有文言色彩，多用于书面语，不适合广播稿的语体，故h处须改(可改为“超过100万元”)。广播稿只供耳听而不供眼睛阅读，所以，不应当用括号表示说明这种格式，故i处须改，可改为“其中包括衣服、物品折款”，并将其位置挪至“8万元”之后。

(四)用语要考虑目的

同一内容，因不同的表达目的，在内容取舍和侧重点方面也应有所不同。例如：

某电视台招聘业余记者、业余播音员各一名，应聘者很多，竞争激烈。假定你打算去应聘，请你按照不同的目的各写一句话，分别从三个方面介绍自己的优势，力争受聘。每句话不超过20个字。

目的(一)：应聘记者：_____

目的(二)：应聘播音员：_____

记者与播音员的要求是不一样的，记者主要以文字(文章)与读者见面，而且文字又是记者对社会生活的及时反映和正确的见解。因而想应聘记者，须突出自己具备：①书面表达能力；②口头表达能力(采访)；③观察、分析、应变等能力。播音员要以口语向听众传播信息，并且要在屏幕上与观众见面，因而欲应聘播音员，须突出自己具备：①口齿清楚，语音响亮、标准；②朗诵水平高；③相貌端庄。

以上四个方面是就语言得体的一般要求分别而言的，在具体的语境中，往往要综合考虑几种要求。无论是说话、写文章或解答问题，都应加以注意。

能够得体地运用语言，是一种能力、一种技巧，也是一种修养。要想在社交场合中做到语言得体，在高考中有把握地解答这类试题，关键是多积累、多训练、多辨别。

语言得体要考虑的不仅仅是以上所谈的个别因素，而往往要把多种因素放在一起考虑。如下题，就需要把特定目的、对象、时间、用语等因素放在一起来考虑才行。

把下面句子的内容放在A、B两种不同的语言环境中进行转述。

小李对小王说：“明天上午我不去语文组找郭老师了，请告诉郭老师一声。帮我问问，后天晚上去她家里找她行不行。”

A. 当天下午，小王在校门口对郭老师的女儿珊珊说到这件事。小王说：_____

B. 第二天一大早，小王跑到语文组把这件事告诉郭老师本人。小王说：_____

此题是考查依据不同的对象、不同的时间，对语言正确转换的能力。对象的改变，引起人称、称谓的改变，同时，时间、地点的改变，也将引起语言的变化，这些都必须把握住，不能搞错。A题是小王对郭老师的女儿说的，可以这样说：“(珊珊，)小李明天上午不到语文组找你妈妈了，请你转告一声；他还问后天晚上去你家找你妈妈行不行。”B题是小王对郭老师本人说的，可以这样说：“郭老师，小李说他今天上午不来找您了，问明天晚上去您家找您行不行。”

同一内容，不同的语言表达方式，产生的效果就不一样。说话要看对象，要有针对性，才能取得

好的效果，千万不能忽视。为了取得较好的效果，就得选择恰当的语言，否则就不能达到目的，甚至会背道而驰。所谓“对象”，一是指讲话者，他的地位、身份、性格、文化程度等，决定着他讲怎样的话；二是指听话人，听话人的地位、身份、性格、文化程度等，同样决定着说话人的语言分寸。例如：

穆天宇给余爷爷留一张便条，本想写得有点儿文采，却有4处用词不得体。请将不得体的词语找出来并进行修改。

余爷爷：

惊悉阁下病了，父亲让我登门造访，未能见面。现馈赠鲜花一束，祝早日康复！

小　宇

6月7日

首先要明确写便条人的身份；写便条要语言通俗，不要造作。“惊悉”是书面语，有小题大做之嫌，可改为“听说”；“阁下”是敬辞，今多用于外交场合，不宜用于亲人之间，应改为“您”；“造访”是书面语，“馈赠”也多用于书面，都过于隆重，与场合不合，分别改为“探访”“送上”。

附录一

常用谦辞与敬辞补充(称谓除外)

(一)谦辞

薄礼：不丰厚的礼物，多用来谦称自己送的礼物。

薄面：为人求情时谦称自己的情面。

斗胆：形容大胆(多用做谦辞)。

过誉：谦辞，称别人过分称赞自己。

寒舍：谦辞，对别人称自己的家。

后学：后进的学者或读书人，多用做谦辞。

舍间：对别人谦称自己的家，也称“舍下”。

舍亲：谦辞，对别人称自己的亲戚。

晚生：后辈对前辈谦称自己。

拙笔：谦辞，称自己的文字或书画。

拙见：谦辞，称自己的见解。

(二)敬辞

垂爱：(书)敬辞，称对方(多指长辈或上级)对自己的爱护，多用于书信。

垂问：敬辞，表示别人(多指长辈或上级)对自己的询问。

鼎力：敬辞，大力，表示请托或感谢时用。

父执：父亲的朋友。

阁下：敬辞，称对方，今多用于外交场合。

光顾：敬辞，称客人来到，商家多用以欢迎顾客。

光临：敬辞，称宾客来到。

贵庚：敬辞，问人年龄。

贵恙：敬辞，称对方的病。

海涵：敬辞，大度包容，多用于请人原谅时。

候教：敬辞，等候指教。

惠存：敬辞，请保存，多用于送人相片、书籍等纪念品时所题写的上款。

惠顾：惠临，多用于商店对顾客。

惠临：敬辞，指对方到自己这里来。

惠允：敬辞，指对方允许自己(做某事)。

惠赠：敬辞，指对方赠予(财物)。

驾临：敬辞，称对方到来。

见教：敬辞，指教(我)，如“有何见教”。

见谅：敬辞，表示请人谅解，多用于书信。

借光：敬辞，用于请别人给自己方便或向人询问。

借重：指借用其他人的力量，多用做敬辞。

进言：向人提意见(尊敬或客气的口气)，如“向您进一言”“大胆进言”。

久仰：敬辞，仰慕已久，初次见面时说。

劳步：敬辞，用于谢别人来访。

劳驾：客套话，用于请别人做事或让路。

留步：客套话，用于主人送客时，客人请主人不要送出去。

赏脸：客套话，用于请对方接受自己的要求或赠品。

托福：客套话，依赖别人的福气使自己幸运，多用于回答别人的问候。

附录二

成语中的谦辞和敬辞集锦

(一)谦辞

班门弄斧：班，指古代的巧匠鲁班。在鲁班门前要弄斧头。比喻在行家面前卖弄本领。

筚鸟先飞：表示自己能力差，恐怕落后，故比别人先行一步。

敝帚自珍：一个破扫把，自己也十分珍惜。比喻自己的东西再不好也值得珍惜。

避让贤路：指辞职给才德高的人让路。常做老年引退的自谦辞。

不情之请：客套话，不合情理的请求，向人求助时称自己的请求。

不足挂齿：足，值得；挂齿，放在嘴上说。指事情轻微，不值得一提。

才疏学浅：才能不高，学问不深。

德薄才疏：薄，浅；疏，空虚。品行和才能都很差。

德薄能鲜：德行浅薄，才能低下。

雕虫小技：比喻微不足道的技能，多指文学技巧。

东涂西抹：本指妇女涂脂抹粉。后常用做提笔作画、写字或作文的谦辞。

绠短汲深：绠，打水用的绳子；汲，从下往上打水。吊桶的绳子很短，却要从深井里打水。比喻能力微薄，任务重大。

恭敬不如从命：与其态度谦逊有礼，不如遵从对方的意见。

姑妄言之：姑且说说。对于自己不能深信不疑的事情，说给别人时常用此语以示保留。

挂一漏万：挂，列举；漏，遗漏。提到一个，漏掉上万。形容列举到的很少，遗漏掉的很多，很不完备。

管窥蠡测：管，竹管；窥，从小孔或缝隙里看；蠡，瓢。从竹管里看天，用瓢来量大海。比喻眼光狭窄，见识浅陋。

敬谢不敏：敬，恭敬；谢，推辞；不敏，不聪明，没有才能。恭敬地表示没有能力或不能接受，表示推辞做某事的客气话。

聊表寸心：聊，略微；寸心，微薄的心意。略微表示一下心意。

抛砖引玉：抛出砖去，引回玉来。比喻用粗浅的、不成熟的意见或文章，引出别人高明的、成熟的意见或作品。

蓬荜增辉：用以称谢别人来到自己家里或张挂别人给自己题赠的字画。蓬荜，即“蓬门荜户”的简称，比喻穷苦人家。

区区此心：区区，微小，微薄。形容微不足道的一点心意或想法。

尸位素餐：尸位，空占职位不做事；素餐，白吃饭。谦称自己未尽职责。

忝列门墙：忝，表示辱没他人，自己有愧。表示自己愧在师门。

望尘莫及：表示自己同对方相比，差之甚远。

无功受禄：没有功劳而得到报酬。

信笔涂鸦：形容字写得拙劣或胡乱写作，多用作谦辞。

一得之愚：一得，一点心得；愚，愚见，谦辞。指自己对某一问题的见解。

一孔之见：比喻狭隘片面的见解。

一枝之栖：鸟儿停留在树上，只需要一根树枝。比喻没有奢求，只希望能有地方容身。

贻笑大方：贻，留给；大方，见识广博或有专长的人。指让学者或行家笑话。

愚者千虑，必有一得：愚笨的人多次思虑问题，也会有一次是正确的，得到一定的收获。

（二）敬辞

不吝赐教：敬辞，用于自己向别人征求意见或请教问题。

大材小用：把大的材料用在小处。多指才能很高的人屈就于低下职位，不能充分发挥其才能。

鼎力相助：敬辞，大力相助，表示请托或感谢时用。

高朋满座：高贵的朋友坐满了席位。形容宾客很多。

高抬贵手：客套话，多用于请求对方饶恕或通融。

洗耳恭听：洗净耳朵，恭敬地听讲。形容恭敬而认真地听人讲话，多用于请人讲话时说的客气话。

虚怀若谷：胸怀像山谷一样空旷深广。形容非常谦虚。

虚左以待：虚，空着；左，古时以左位为尊。空着左边的位置等待客人，表示尊敬。也泛指留出位置恭候他人。

第十部分　语言表达创新题型

一、短信

短信，指的是用手机发出的简短信息，主要指的是文字信息。

主题突出，情真意切，是短信的主要特点。它的内容较单一、突出，问候祝福、交代事情等目的明确。但是短信往往是要感动别人的，是对某一特定对象的情感表达，因此无论表述什么样的主题，都要求内容健康、情感真实。唯有情感充沛的短信，才能打动别人而为人接受，达到传递信息、交流情感的目的。

短信的语言十分简洁。由于网络本身的限制，一条短信不超过七十字，一般是三五十字。字数少，就要求短信简洁明了，能够在一滴水中见阳光七色，一粒沙里看大千世界。

那么，怎样拟写短信呢？

1. 善于想象　用细节表达主题也好，用形象表达主题也好，都离不开丰富的想象。有这样一则短信："新年到，愿君百事可乐，万事芬达，天天娃哈哈，月月乐百氏，年年高乐高，心情似雪碧，永远都醒目！"作者想象丰富，巧妙地利用各种饮料名称，串连成了对人们的美好祝福。

2. 运用修辞　运用修辞，是为了把词句修饰得优美些、生动些、感人些。以生动形象的文字，准确表达意图，力求简洁鲜明，言有尽而意无穷。

可用比喻。如："您是火种，点燃了学生的心灵之火；您是石阶，承受着我们一步步踏实向上的攀登；您是蜡烛，燃烧了自己照亮了别人。"连用三个比喻，形象地表达了在教师节之际对教师的敬意。

可用比拟。如："我问过烦恼了，它根本不爱你，还说永远不理你，让我转告你不要自作多情！还有，健康让我带封情书给你：她暗恋你好久了，并且一生不变！新年快乐！"祝福快乐健康的主题，用拟人手法表达出来，让人倍感情趣盎然。

可用对偶。如："春夜灯花，儿处笙歌腾朗月；良宵美景，万家箫管乐丰年。""三五良宵，花灯吐艳映新春；一年初望，明月生辉度佳节。"有节奏有韵律，读来朗朗上口，听来和谐悦耳，给人以美感，也便于记忆。

可用顶真。如："悠悠的云里有淡淡的诗，淡淡的诗里有绵绵的喜悦，绵绵的喜悦里有我轻轻的问候！"给人以节奏感和回环美，又恰当地表现了抒情主体的情绪流动。

可用排比。如："许一个美好的心愿祝你快乐连连，送一份美妙的感觉祝你万事圆圆，发一条短短的信息祝你微笑甜甜。"

好的短信应讲究文采，修辞手法的运用无疑是增添文采的好方法。

3. 讲究创意　精彩的短信应有精巧的构思，才会让人过目不忘。如"送你一份100%纯奶糖。成份＝真心＋思念＋快乐，有效期＝一生，营养＝温馨＋幸福＋感动，制造商：真心朋友""祝吾友在新的一年里聪明胜过猴脑，快乐多如猴毛，进步犹如猴跑，成绩好比猴子摘桃。猴年好运！"等等，相信收到这样短信的人也会拍手叫好的。

短信本是一种在大众间流传的文化，因而要雅俗共赏，既让人喜闻乐见，又贴近生活。内容通俗易懂，形式活泼灵动。

二、公益广告词

广告在当今世界无处不在。广告是艺术和科学的融合体，而广告词就是它的灵魂。正如美国著名广告家奥根尔维所讲的那样："广告是词语的生涯。"公益广告有哪些类型呢？

1. 感情沟通型　"感人心者，莫先乎情。"情感是人类永恒的话题，也是维系人与人之间关系的基础。广告能否调动人内心深处情感的体验，关键在于能否用人类最原始的情感去打动人……亲情、友情、爱情等情感的融入，不仅让广告拥有了生命力，更重要的是它能让诉求对象从中找到自己过去和现在的影子，沟通感情，激起共鸣。沟通感情，或直接抒情，含蓄婉转；或朴实自然，情挚理真；或曲

意道来，委婉动人。例如：

同在蓝天下，共享生命的感动。　　朋友，让我们激情的血液流入他人的心田。

献出一滴血，又一个生命将向你微笑。　　普通话，咱老百姓自己的话。

2. 角色变换型　人生活在社会中，根据时间和空间的不同，分别扮演着一定的角色。从公益广告来看，诉求与诉求对象在一定情况下，灵活机动地利用语言来变换角色，也可取得好的效果。

(1)自我实现式——以个性化内容和个性化风格，充分展示诉求对象鲜明的自我观念与期许，个人对社会形象的向往和追求，包括个性、价值观念、自信、自豪、自我实现的感觉，是公益广告的一种重要方式。例如：

献出我的血，温暖你的心。　　我自豪，因为我已为社会献血。

(2)独白式——广告中以虚构的人物或者广告中的角色内心独白的方式展开诉求。这种形式不是直接向诉求对象说话，独白者可以回忆自己的经历、表明观点、抒发情感，可以有鲜明的感情色彩以诱发诉求对象的情感共鸣。例如：

因为你的血，我的笑容不再苍白！　　生命花朵的绽放，源自你鲜血的浇灌。

(3)代言人式——以代言人的口吻向诉求对象说话，这也是公益广告最常用的方式。让代言人说出自己了解的情况，语言必须符合身份与个性，当然公益广告的代言人是社会，它不同于某某具体的产品由某某明星或名人代言。例如：

热血是生命的标志，无偿献血是文明进步的标志。　为了世间每一个生命，请履行你的献血义务。

献出你的鲜血，延续他人生命，无上光荣。　　普通话，自从有了你，世界变得好美丽。

3. 明理晓喻型　广告中蕴涵哲理或深意，有的言简意赅，语短情长，有的启人深思，暗寓禅机。例如：

生命危在旦夕，只要有血，人生就可翻开新的一页。　捐献可以再生的血液，挽救濒临死亡的生命。

购买就等于杀戮，请对象牙制品说"不"！　　普及普通话，沟通无障碍。

4. 数学公式型　数学公式型广告，内容具有一定的隐含性，新颖别致；形式给人一种直观、形象、奇妙的感觉，具有吸引读者的作用；读后回味无穷，印象深刻。例如：

爱心＋勇气＝光荣的献血者　　他人的第二次生命＝一片爱心＋一滴血

5. 修辞技巧型

(1)比喻式　以某种情趣为比喻产生亲切感。例如：

用你的热血，为他人的生命播种希望！　　血，生命的源泉，友谊的桥梁。

红色的血液是共系你我生命的纽带。　　献血救人，让生命之树常青。

(2)疑问式　以设问或反问方式引起诉求对象的好奇心，把读者拉入广告。例如：

为何血浓于水？因有爱在其中。　　为了别人生命的延续，你愿意奉献一滴血吗？

(3)对偶式　运用对偶的修辞或者对联写广告语。例如：

民族在无私奉献中崛起，生命在奔腾热血里绵延。　血与血相融，心与心相连。

真情汇聚东南西北，热血奉献春夏秋冬。

(4)比拟式　当比拟用于广告词，一般都会有好的创意，给人以亲切感和愉悦感，相当生动。例如：

鲜血，人们昼夜都需要你。　　生命之花的绽放，需要你我的义务献血。

(5)排比式　运用排比修辞写广告。例如：

一滴鲜血，一片爱心，一个生命。　　我献血，我光荣；我献血，我健康；我献血，我快乐。

(6)类比式　类比性说理。例如：

一滴水可以滋润禾苗，一滴血可以挽救生命。　划燃火柴点亮黑夜的灯，献出热血点燃生命之光。

(7)双关式　表面说的是一种意义，实际又别有深意。例如：

美丽的生命，从你卷起袖子开始！　"知音"更知心——请讲普通话。

(8)韵律式　如诗歌一般的韵律，易读好记。例如：

人间自有真情在，献出鲜血播下爱。　你血输入我身，你情融入我心。

中华儿女一家亲，义务献血显真情。　会说普通话，"知音"遍华夏。

6. 诙谐幽默型 幽默就像一朵奇葩，盛开在语言之树的高枝，它鲜丽的色彩和袭人的香气使语言之树灿然生辉。幽默指在广告中用可感受情趣的方式来表达自己的思想、感情、见解、态度以及观念，使广告创意体现出风趣、机智和亲切，激发诉求对象的兴趣和联想。例如：

要找"知音"，请讲普通话。

7. 借鸡下蛋型 借鸡下蛋型广告，是指改换诗词、歌曲或流行语等进行广告宣传的一种文体，在句式、排列、结构和韵脚上与诗词、歌曲或流行语的形式相似。其特点是朗朗上口、易读易记、感情浓厚、联想丰富。例如：

鲜血诚可贵，救人品更高。（源自裴多菲诗句"生命诚可贵，爱情价更高"）

但愿人长久，热血注心田。（源自苏轼的词"但愿人长久，千里共婵娟"）

学好普通话，走遍天下都不怕。（源自流行语"学好数理化，走遍天下都不怕"）

8. 间接暗示型 即不直接阐述，用间接语暗示。例如：

您能对同胞作出的最大贡献是拯救他们的生命。 最遥远的距离，是你说方言我什么也不明白。

9. 恐惧警告型 恐惧诉求也是公益广告的一种方法，展现"不作为"的危害，描述某些使人不安、担心、恐惧的事件或发生这些事件的可能性。但要注意广告展现的恐惧程度要适当，恐惧诉求必须与定位对象有适当的距离。或者以"横断性"词语警告诉求对象，使其产生意想不到的惊讶效果。例如：

人有旦夕祸福，谁敢说：我不要输血？ 出门儿要讲普通话！地球人都知道。

三、节目串台词

节目串台词是节目主持人主持节目时所运用的语言。在节目进行中起上下连贯，过渡照应的作用，使各个无联系的单个的节目有机结合在一起，服务整个节目的主题，突出这个主题；同时它又在演员与观众间起沟通作用。例如：

（2011·广东卷）班上举行节日文化主题班会，李明同学先介绍了"元宵节"（正月十五），接下来韩梅同学将介绍"中秋节"，这时班会主持人需要说一段话，将前后两位同学的节日介绍串联起来。请你为班会主持人写一段这样的话，要求衔接自然、语意连贯，不少于60个字（含标点符号）。

解答本题时首先明确主持的场合，是节日文化的主题班会，因此串联节目时应围绕这一主题，力求简短扼要，衔接巧妙自然，且和谐得体。完成题目时首先要寻找相关的串联点："元宵节""中秋节"都是传统的文化节日，体现着中华民族的文化传统，但又各有特点。据此，确定串台词的内容：可先点明二者的相同点，然后由前者的特点引出后者。

答案示例一：每逢佳节倍思亲。无论是团圆甜美的元宵，还是圆如明月的月饼，都无法化解游子的羁旅愁绪。重温了李明介绍的"元宵节"，下面再由韩梅引领我们去回味那寄予了无限思念之情的"中秋节"。

答案示例二：亲爱的同学们，中华传统节日意蕴丰富。李明介绍的"元宵节"寄予了人们对一元复始，大地回春的期盼，下面再由韩梅同学为我们展示"中秋节"中蕴涵的浓浓的思乡之情，团圆之意。

在实际写作串台词时应注意以下几方面：

1. 紧扣主题 晚会等娱乐活动，不管其节目形式如何多样，但主题应只有一个——所有节目全为主题服务，与散文之"形散神聚"完全一致，因此在组织串台词时应扣住主题。

2. 看清观众 现代晚会形形色色，丰富多彩，观众的主体成分也就会不一致，结合晚会活动内容对观众有一个正确的整体的认识，就不至于说错话，这样也更有利于节目的进行。

3. 注意语言艺术性 语言应精辟简练、上下贯穿、富有启迪性，起到锦上添花的作用。语言要运用口语且生动活泼丰富多彩，富有亲和力、互动性。如语言太华丽铺张则显晦涩；如太严肃，又不符合娱乐的要求且不能调动现场气氛。

4. 注意位置 串台词处在晚会开头则主要是引出下面第一个节目，如在两个节目中间应考虑承上启下，如在结尾则应回顾总结以上节目，紧扣主题，提出寄语。

四、新闻衔接词

新闻衔接词，顾名思义，就是用在几则新闻中间起衔接过渡作用的语句。由于社会的发展、文明的进步，为了更多地表达对人的尊重，新闻的播报也一改过去客观、冷漠的做法，把比较客观的内容用比较灵活的形式表现出来，它更加注重知识性、趣味性、人文性。

新闻衔接词的要求：一是简短扼要。新闻衔接词可以恰到好处地表达新闻的内容，新闻要求快，要求迅速及时，这就决定了新闻衔接词要简明扼要、直截了当。二是衔接自然。为了使新闻播报更加平易自然，编辑需要在每条新闻之间加上一些承上启下的话。新闻衔接词要做到衔接自然，过渡得当，语言流畅。三是平和得体。新闻衔接词的运用必须得体。平和、得体的新闻语言能准确表达传播者的报道意图，并能符合受众的心理需要，为受众所乐于接受。四是贴近观众。新闻衔接词要做到雅俗共赏，就要注意贴近生活。衔接词可以由大家较熟悉的事情入手，由近及远，以提问题或讲故事的方式来拉近新闻与听众之间的距离。

新闻衔接词解题思路：①审清题干要求，弄懂新闻内容，评价要中肯。②分析新闻内容，弄清新闻内容之间的联系，以便巧妙过渡，避免生硬。③找准衔接点，“××报道”的字样应置于衔接词的最后。④要做口语化处理，注意词语的衔接。最后精心安排衔接、过渡的语言，以实现巧妙转换。注意词、句的衔接；逻辑的衔接，如类别、性质的衔接，对比、联想的衔接；还要注意情感的衔接；及点评的衔接。例如：

为了使新闻播报更加平易自然，编辑准备在每条新闻之间加上一些承上启下的话。请你在下面一条新闻之间，设计两段这样的话。要求衔接自然，转换巧妙。

①沈阳人要不了多久将有第二个“身份证”，因为沈阳市公安局将把市民的指掌纹集中起来，建立全民指掌纹数据库。

②上海市灾害天气预警信号发布制下月开始实施，凡遇有台风、暴雨、高温、低温等灾害性天气，上海市中心气象台将统一发布预警信号，以便市民及时调整衣食住行等活动计划。

③发生在广东揭东县、湖南武冈市、安徽马鞍山市雨山区和新疆生产建设兵团农12师的四起高致病性禽流感疫情已扑灭，昨天疫情封锁被解除。

参考答案：①与②之间：现代信息技术为公安系统提供了方便，而生活在信息时代，老百姓的日常生活也变得更加方便了。据《解放日报》报道：

②与③之间：今天的好消息还不只这些。下面关于扑灭禽流感疫情的消息想必是大家更关注的。据新华社报道：

五、解说词

解说词是对人物、画面、展品或旅游景观进行讲解、说明、介绍的一种应用性文体。解说词的主要表现方法是叙述和说明，有时是叙述、说明、描写、抒情、议论相结合。优秀的解说词，往往是夹叙夹议兼抒情的散文或散文诗。

写好解说词，首先要抓住介绍对象的主要特征，要突出事物的精粹和关键，提纲挈领，揭示事物的本质特征；其次要条理清楚，深入浅出地安排好内容；再次要有真挚的情感，要能够感染听众和读者；最后还要有一定的文采。例如：

2009年10月1日，北京举行了盛大的阅兵式和群众集会游行，隆重庆祝中华人民共和国建国60周年。之前有市民建议，受阅部队中应有“抢险抗灾部队方阵”和“维和部队方阵”，群众游行队伍中应有“志愿者队伍”和“城市外来务工者队伍”。

请从上述“方阵”或“队伍”中选择一个，拟写一段现场解说词。

要求：突出该方阵或队伍的特征，赞誉其风貌；语言简洁得体；不少于100字。

解析：解说词，即口头解释说明的词。它通过对事物的准确描述、渲染，来感染观众或听众，使其

了解事物的来龙去脉和意义，收到宣传的效果。其格式为："现在走过来的是……他们(面貌)……他们中间有(人物)……他们的精神……"。

参考答案：以"城市外来务工者队伍"为例：现在走过来的是城市外来务工者队伍方阵，他们迈着整齐的步伐，精神饱满。今天，我们的外来务工者不仅在为城市的物质文明添砖加瓦，而且为城乡精神文明建设奉献着光和热，从他们身上我们看到的并不是一己之利，而是关心他人、奉献社会的精神，这就是当代农民的精神风貌！

六、图(表)文转换

图(表)文转换，顾名思义，是阅读所给图画(一般是漫画，或示意图)，按要求将图画中直观的或隐含的信息转换为文字。这种题型，以其体现新课标精神，贴近现实社会生活，有利于综合考查同学们的语言表达能力而日益受到重视，屡屡现身于近年高考试题中。

用来考查考生语言表达能力的图画，大体包括漫画(单幅或多幅)、图徽、宣传画、抽象图形等。具体来讲有以下几种类型：

1. 图表文字转换题

图表，指表示各种情况和注册各种数字的图和表的总称，如柱状图、饼状图、统计表等。图表的特点在于将抽象的数据通过图形和表格转化为直观的信息，来展现某种变化，进行相关比较，总结发展趋势等。所谓图表文字转换是指把图表内容转化成文字表述。例如：

(2011·山东卷)用简明的语言概括下表所包含的主要信息，填在方格中。表述中不得出现具体数字。

网络语言发展前景调查表

发展前景	人　数	百分比
部分网络语言会进入汉语词典	336	26.7
网络语言会代替传统语言	84	6.7
网络语言经过规范，会进入日常生活	818	64.9
网络语言最终会消亡	22	1.7

(摘自《中国语言生活状况报告 2009》)

从上表可以看出，除极少数人认为网络语言最终会走向消亡外，□□□

的同时，也考查考生的价值观和人生观。例如：

右图是一张汶川特大地震中抢运伤员的照片。这张照片震撼人心，请对此写几句简明得体、鲜明生动的话，表达你的颂扬之情。（100字以内）



解析：注意紧扣"颂扬之情"体现"语言得体"，运用修辞和饱含深情的语句体现"语言鲜明生动"，所写语句简要不啰嗦，才能凸显"语言简明"。当然，所写内容必须紧扣画面内容。

参考答案：（示例）说什么非亲非故？道什么生人熟人？你们肩上扛着垂危生命，垂危生命连着一颗颗滚烫的心。山高算个啥，翻过去！无路也要行，踩着乱石攀登！这就是大爱无疆！有什么谊比这更长？有什么情比这更深？这就是舍己救人！

3. 漫画文字转换题

漫画就是用简单而夸张的手法来描绘生活或时事的图画，是一种具有讽刺性或幽默性的绘画。它多从政治事件和生活现象中取材，通过夸张、比喻、象征、寓意等手法，用幽默、诙谐的画面，借以讽刺、批评或颂扬某些人或事。

漫画一般有标题、画面、寓意三部分组成，标题和画面是显性的信息，寓意是隐性的信息。命题形式一般有几个角度：描述（或说明）画面内容，揭示寓意，拟写标题。例如：



请说明右面漫画的画面内容，并揭示其中的寓意，不超过55个字。

解析：本文是一个图文转换题，答题时要准确把握画面内容，理解漫画的含义。

参考答案：画面内容：一女子正在接水，水龙头开到最大，流出的几滴水呈"SOS"状。寓意：水在呼救，警示我们要节约用水。

4. 徽标文字转换题

徽标，是表明事物特征的记号，它往往"言简意赅"，高度凝练，蕴含着丰富的寓意。因此，解读徽标，一定要通过现象，挖掘本质，真正把握其内涵。例如：

右面是"沈阳全民读书月"活动的标识，请从构形角度说明标识的创意，要求语意简明，句子通顺，不超过65个字。



解析：认真读图，展开丰富的想象，尤其要注意将所给图中的图画元素和文字元素结合起来，要扣住主题"沈阳全民读书月"（特别注意"沈阳"和"读书"）和题干要求"从构形角度说明标识的创意"。仔细看图，可以发现一些基本要点：①展开的书点明读书月活动；②书页弧度和中间的圆点正好组成一只眼睛暗示读书；③两本展开的书正好组成"S"代表"沈"；④中间的圆点也可象征"阳"字。

答案示例：该标识以"书"和"沈阳"的首写拼音字母为设计元素，体现活动的主题与地域；翻开的书和两书交汇处的眼睛，对"开卷有益"作出微妙表达。

七、编写宣传标语

会议的宣传、活动的开展往往借助于标语这种传统手段来彰显主题，营造氛围，制造气势。标语就是用简洁的语言写出的具有宣传鼓动作用的话语，其最基本的特征是语言简洁，具有宣传和鼓动性。编写标语要适应情境的要求，不能使用较长的句子，多为简单的无主句、动宾结构，句式简短，字数较少，表情达意简洁准确、通俗易懂是标语语言的基本要求，一般不使用夸张、设问、反问、通感、仿词、借喻等修辞手法。例如：

2012年9月，第九届全国大学生运动会将在天津举行，预计有来自全国31个省、市、自治区及港

澳地区的7 000余名运动员、教练员、裁判员参与盛会。请为第九届全国大学生运动会拟一条宣传语。

解析：抓住两个要素：一个是“大学生”，一个是“运动会”，所以拟宣传语时，语言要有鼓动性、号召力。

答案示例：(1)昨日的期待，成就今天的大运！(2)大运的成功，天津的希望！(3)大运来了，你给这个城市增添了光彩；大运走了，这个城市将留下你的痕迹！(4)超越自我，实现梦想！

八、编写题解

题解多是对文章的题目和作品进行概括的解释，一般用在文选等比较严肃庄重的著作中，有的像注释一样放在文章后面，有的在题目的同一页正文下面加线条用小号字表明。题解多是介绍作品的背景、意义、影响，作者最初的署名，作品最初发表的时间和刊物的名称等，有的还对作品作出评价或按读者对象的不同作一些具体的分析，以帮助读者正确理解与把握作品的内容。写题解要紧扣题目，有的放矢。把与本题有关的主要内容告诉读者，为的是帮助读者更好地理解文章的精神。可有可无的或无关的内容都应尽量删去。因此，题解的文字要力求简明扼要，详略得当，一般应控制在几十字到一百字左右。如：

从下面提供的课文篇目中任选一篇课文，写一则课文题解。(不超过100字)

李白《蜀道难》 杜甫《春夜喜雨》 鲁迅《阿Q正传》 朱自清《荷塘月色》

答案示例：杜甫《春夜喜雨》——这首诗是唐上元二年(公元761年)杜甫定居成都，建起草堂时写的。这是一首五言律诗，它抒发了一场春雨激发出来的喜悦之情，寄托着杜甫希望普济天下的博大胸怀。本诗的题目言简意赅，是理解诗意的钥匙。它既点明了所写对象发生的季节——春，时间——夜，对象——雨，又点明了诗人的心情——喜。全诗就是紧扣这几点来写的。

九、编写贺卡词

贺卡是祝贺亲友节日或生日，印有图画，写有文字的卡片。贺卡主要有新年贺卡、圣诞贺卡、生日贺卡、尊师贺卡等。在贺卡上写祝福词要注意有针对性，有艺术性，语言要准确得体，感情要真挚自然。如：

写一张给亲属的节日或生日贺卡。要求：感情真挚自然，语言连贯得体，至少使用一种修辞手法，不出现真实姓名，正文50字左右。

解析：贺卡词表达祝福情意，多与祥和美好联系，根据具体情境与对象，用语可以轻松幽默，也可以正规庄重。

参考答案：(1)爸爸：今天是您的生日，您在千里之外为事业、为家人的生计奔波，正因为有您，我才能坐在教室中参加高考，我一定会像您一样对得起社会，对得起家庭，对得起自己。祝您生日快乐！(2)老师：您用温暖的阳光普照，用甘美的雨露滋润，我们的心田才绿草茵茵。感谢您，祝您教师节快乐！

十、拟写推荐语

推荐语是举办活动、评选人物时，把好的方案、人物或事物向人或组织介绍，希望任用或接受而表述的话语。写推荐语最重要的在于阐述推荐的理由，表达自己的看法。

为庆祝新中国成立60周年，学校拟编辑出版诗歌征文集。现有两个备选书名《献给母亲的歌》和《山河岁月欢乐颂》，你喜欢哪一个？请写下你喜欢的书名并说明理由。我喜欢的书名：《_____》，理由：_____。

解析：评判书名优劣，说出喜欢哪个，关键要确立标准，即“庆祝新中国成立60周年”的主题。理由应紧扣这一点来表述。

参考答案：示例一：我喜欢的书名：《献给母亲的歌》 理由：把祖国比喻为母亲，给母亲献歌，表达了对祖国母亲的深爱，直抒胸臆，情真意切。

示例二：我喜欢的书名：《山河岁月欢乐颂》 理由：山河是祖国的代称，岁月是祖国的历程，欢乐颂是我们赞美祖国的共同心声。

十一、应用短文写作

这种题型既考查应用文的文体知识，又考查语言的运用能力。包括拟写请柬、启事、通知等。

如：王孝椿准备6月16日在阳光饭店为爸爸过70岁生日，想请爸爸的老战友刘妙山夫妇那天中午12点来一起吃饭。请以王孝椿的名义给刘妙山夫妇写一份请柬。要求称呼得体，表述简明，措辞文雅。（不超过40个字）

王孝椿恭请

六月七日

解析：本题考查对常见应用文体的运用。本题要求写一份请柬，而写请柬的要求是：称呼要得体，用词要准确，说明具体的时间、地点，邀请的原因，措辞要文雅（如使用“家父”“寿辰”“恭请”“光临”等）。

参考答案：

伯父、伯母：

拟定于6月16日中午12点在阳光饭店为家父七十寿辰设宴，敬请光临。

拟写请柬首先要符合请柬这种文体的格式，语言要简洁明确，措辞要文雅得体。具体表现为：称呼得体（如称伯父伯母），表达简明（如写明具体时间、地点、邀请缘由等）。

十二、写读后感

读一本书或一篇文章，感受可能是多方面的，要在分析、思考的基础上，选择感受最深、见解新颖独到、最有针对性和现实感的感受来写，一篇读后感只能围绕一个感受点，其他感受点无论多么好，都要忍痛割爱。明智之举是抓住一点，不及其余，并围绕一个感点，联系实际，谈深谈透。如：

现在有一位你最喜欢的作家来学校举办文学讲座。作为听众，请你同这位作家谈谈你读了他某一作品的感受。（不超过100个字）

参考答案：你的作品（史铁生《我与地坛》）以极其朴素动人的语言讲述自己的经历和所思，以质朴的情愫探寻生命的真谛，展示生命真实的心境，洋溢着生命的本色之美，既温和亲切，又内蕴激情，给人心灵以强烈的震撼和深刻的哲理启迪。

十三、拟写颁奖词

颁奖词是对受表彰的公众人物颁发奖项时由颁奖活动主持人宣读的致词。写颁奖词应注意以下几点：(1)高度概括，简洁精练。颁奖词应以极其简洁精练的语言高度概括每一个当选者的崇高精神和闪光点。(2)词吻意合，富有特色。颁奖词根据获奖者事迹的不同，或明快，或凝重，或平和，或庄严，于人于事于情于理都显得十分和谐得体。(3)语句清新，文笔优美。颁奖词语句长短结合，风格刚柔并济，抒情、描写、议论各有侧重，有的还恰当引用一些名诗名句，尺幅之间，文采飞扬，读来朗朗上口，给人以美的享受。(4)言志寓意，饱含深情。颁奖词赞扬的人和事虽然各不相同，但无论是褒扬还是怀念，都洋溢着崇敬之意，一字一句饱含深情。例如：

(2011·湖北卷)某中学文学社举办“感动心灵——我最崇敬的课文人物”评选活动，请从入选的蔺相如和刘和珍中任选一位，为其写一则颁奖词，要求：①请先将所选人物姓名写在答题卡上，然后写颁奖词；②符合人物特征；③语言表达生动、连贯、得体；④至少运用一种修辞手法。

分析：解答本题首先要熟悉人物的事迹，符合人物的性格特征，其次要运用一种修辞手法，字里行间要充满赞美之情。

参考示例一：蔺相如：身为门客，胆识超强，完璧归赵，智勇无双；渑池赴会，舌战群狼；位超廉颇，忍辱避让；国家为先，如海器量。伟哉蔺相如，千秋美名扬！

参考示例二：刘和珍：你是真的猛士，“敢于直面惨淡的人生，敢于正视淋漓的鲜血”，始终微笑的刘和珍君，你激励我们每个热血青年，为了祖国更强盛，“奋然而前行”！

十四、论坛留言和贴吧回复

论坛留言是网络时代的新生事物，常常就当前国内外发生的重大事件或焦点新闻人物发表自己的随感。我们可以对“贴吧”中感兴趣或有话可说的话题进行回复，发表自己的观点看法，这是一个自由而热闹的空间，这里时时都跳跃着思想的火花。如：

下面是有关“一次性筷子”的主题帖，请按照要求写回复。

1. 主题　据统计，我国每年消耗一次性筷子 450 亿双，生产和使用木筷子消耗了大量木材资源。为了增强人们的环保意识，引导消费和节约木材资源，今年 4 月 1 日起我国对木制筷子征收 5% 的税收。但是该政策并未对巨大的一次性筷子消费市场起到有效遏制作用。

2. 回复（表示赞同“用一次性筷子”）

3. 回复（表示反对“用一次性筷子”）

解析：这道题的目的是考查考生对当前社会问题的观点、态度。做这类题目要注意：根据题目要求，联系材料，客观表达自己的看法。分析材料时要联系生活实际，调动自己对生活的感知，客观公正地表达自己对问题的看法，语言要简洁；持否定意见时也要注意语言的文明性，体现出修养。

参考答案：赞同示例：(1)去快餐厅不用一次性筷子用什么筷子？有些消毒的筷子其实并不卫生，是顾客没有选择的余地才用消毒筷子呀！(2)一次性筷子吃不垮中国森林，而且白桦木和竹子做成筷子的产值远远高于拿来烧火、做家具或造纸，为什么不做呢？

反对示例：(1)中国乃至地球的森林资源是有限的，我们应该珍惜使用。中国每年生产一次性筷子消耗 130 万立方米木材，如果把这些木材锯成普通厚度的木地板，可以铺满 3 700 个足球场。(2)我们很多人都看过中央电视台播放的东北大兴安岭生产一次性筷子的过程，不是用边角余料，而是用生长 30 年以上的成材去掉余料后加工而成的，看了真让人痛心。

十五、时事评论

评论一般包含人物评论、时事评论、新闻点评等。它要求考生能够关注社会、关注热点，针对材料提出自己的观点并作简要阐述。一要读懂材料。了解有关背景，熟悉主要事件及相关细节，把握精神实质。二要评在点上。点评的篇幅很小，但要选好角度，提炼观点，一语中的，目标集中、准确，而不可分散、什么都想评。三要评得有理。好的点评应做到以理以法阐释，导向鲜明，事理清晰，鞭辟入里，以理服人，发人深省。四要评得生动。点评要讲究艺术性，言简意赅，干净利落，力求新颖、鲜明、生动，具有说服力和感染力。在语言上还要尽量做到生动形象、有文采，给人以赏心悦目之感，避免死板、陈旧。如：

阅读下面两则材料，回答问题。

材料一：近年来清明节祭奠逝去的亲友，一些地方从烧冥钞、纸人、纸马，发展到烧纸电视机、纸数码相机，甚至烧纸汽车、纸别墅……

材料二：今年清明节前，某市首个在线祭祀网站开通。清明节时，许多市民纷纷登录该网站，上传纪念图片，发布纪念文章，祭奠逝去的亲友，表达哀思。

你对上述现象有何看法？请简要阐述。

参考答案：(示例)赞同网祭，摒弃陋习。通过网站祭奠已逝的亲友，既便于表达哀思，又省时省力，减少环境污染，值得提倡。对于烧冥钞、纸汽车、纸别墅等陋习，则要加以正面引导。(可侧重某一方面阐述，其他观点言之成理亦可。)

十六、新闻点评

新闻点评是新闻评论的一种，它比短评还要简短。它以新闻报道为依托，从具体事实中画龙点睛地评说，或褒或贬，旗帜鲜明地点明要害。

新闻点评就是用简约的文字对新闻进行评论，请点评下面的这则新闻。要求：见解独到，是非分明，不超过 30 字。

新学期初，某大学爱心社联合十多所高校，推出了为期 3 天的“爱心大巴”免费接站活动，在北京站前接送同学。由于受到返校大学生的怀疑、猜测，乘客寥寥，而无偿提供的矿泉水和小点心也因无人问津成了摆设。学子们的爱心变成了伤心。

答案示例：“爱心大巴”遭怀疑，大学生的不信任感拷问学校教育，折射社会现状。

第二编 文学常识和名句名篇

语文科《考试大纲》对“文学常识和名句名篇”部分的要求：

能识记文学常识，默写常见的名句名篇

识记 A

(1)识记中外重要作家及其时代、国别和代表作

(2)识记文学体裁常识

(3)默写常见的名句名篇

第一部分　作家作品

说明：作家作品前加＊的为各主流版本必修教材所涉及的作家作品与新课标“关于课外读物的建议”所列举的作家作品。

一、中国古代作家

1. 先秦作家

老子　姓李，名耳。春秋时代思想家，道家学派创始人。著有《老子》一书，又名《道德经》，81章。

＊**孔子**　（公元前551—前479）名丘，字仲尼，春秋时代鲁国陬(Zōu)邑人。思想家、教育家，儒家学派创始人，与孟子并称为“孔孟”。世界文化名人。编撰了我国第一部编年体史书《春秋》，其思想核心是“仁”。现存《论语》20篇，是他的弟子及再传弟子记录他与弟子们言行的语录体专集。“论”，读Lún，择也，选择、摘录之意。

墨子　（约公元前468—前376）名翟(dí)，战国初期鲁国人。墨家学派创始人。主张“兼爱”“非攻”“尚贤”“节用”。著有《墨子》一书，今存15卷53篇。

孙子　名武，字长卿，春秋后期齐国人。军事理论家。著有《孙子》一书，又名《孙子兵法》，13篇，古代称为“兵经”，是我国第一部军事著作。

左丘明　春秋时史学家。鲁国人，双目失明，相传曾著《左传》，又传《国语》亦出其手。

＊**孟子**　（约公元前372—前289）名轲，字子舆，战国时邹(今属山东省)人。思想家、政治家、教育家，是继孔子之后的儒家大师。其核心思想是“仁义”，主张实行仁政，强调“民贵君轻”，重视民心向背，在人性问题上提出“性善论”。《孟子》一书由孟子及其弟子共同编写而成。

＊**庄子**　（约公元前369—前286）名周，战国时宋国蒙(河南)人。道家学派代表人物，与老子并称为“老庄”。现存《庄子》一书，共33篇，又名《南华经》。代表作有《逍遥游》等。

屈原　（约公元前340—约前278）名平，字原，号灵均，战国末期楚国人，是楚王宗族。他开创了诗歌从集体歌唱转变为个人独立创作的新纪元，是我国浪漫主义诗歌的奠基人，世界文化名人之一。他用楚辞形式写了我国第一首长篇政治抒情诗《离骚》，还有《九歌》《九章》《天问》等。农历五月初五是他投汨罗江自沉的纪念日。

荀子　（约公元前313—前238）名况，字卿，汉时避宣帝刘询讳，改称“孙卿”，战国时赵国人。思想家、教育家、儒家学派代表人物。他在学术体系上吸收诸子之长，是先秦唯物主义的集大成者。他针对孟子“性善论”提出“性恶论”，针对儒家“天命论”提出“天行有常”的朴素唯物论和“制天命而用之”的“人定胜天”思想。著有《荀子》32篇，代表作有《劝学》《天论》等。

韩非　（约公元前280—前233）战国末期韩国人，荀况的弟子。法家学派代表人物，法家思想的集大成者。在政治上提出重赏、重罚、重农、重战诸项政策，主张君主集权，反对贵族操纵政治。现存《韩非子》55篇，代表作有《五蠹》《智子疑邻》《扁鹊见蔡桓公》。

吕不韦　（？—前235）战国末期韩国商人，曾为秦国的相国。杂家学派的代表人物。他集合门客编写了《吕氏春秋》(又名《吕览》)。

列子　名御寇，战国时郑(河南)人。被道家尊为前辈。主“和”贵“虚”，即虚静、无为。著有《列子》8篇。

宋玉　又名子渊，战国时楚国辞赋家，相传是屈原的学生，是屈原诗歌艺术的直接继承者，后人多以“屈宋”并称。作品有《九辩》《风赋》《高唐赋》《登徒子好色赋》等。

2. 汉代作家

贾谊　（公元前200—前168）世称贾生，或贾长沙、贾太傅，西汉洛阳(河南)人。曾为长沙王太傅、梁怀王太傅。西汉政论家、文学家。主要文学成就是政论文，有“疏”7篇，《新书》10卷58篇；代表赋作有《吊屈原赋》《鹏鸟赋》。明朝人辑有《贾长沙集》。名篇有《过秦论》《论积贮疏》等。

刘安 （公元前179—前122）沛郡（江苏）人。西汉思想家、文学家。汉高祖孙，袭父爵封为淮南王。曾“招致宾客方术（旧时总称医、卜、星、相之类技术）之士数千人”，集体编著《淮南鸿烈》，也叫《淮南子》。

司马迁 （公元前145或前135—?）字子长，夏阳（今属陕西）人。西汉史学家、文学家。历尽艰辛撰成《史记》，原名《太史公书》。

枚乘 （?—公元前140）字叔，西汉辞赋家。主要文学成就是辞赋，但今仅存《七发》《柳赋》《菟园赋》三篇。《七发》的出现，标志着汉代散体大赋的正式形成，并在赋中形成了一种主客问答形式的文体——“七体”。近人辑有《枚叔集》。

刘向 （公元前77—前6）原名更生，字子政。西汉经学家、目录学家、文学家。撰有《说苑》《新序》，还整理修订了《战国策》《楚辞》等。

王充 （27—约97）字仲任，上虞（今属浙江）人。东汉唯物主义思想家、文学批评家。他的《论衡》具有唯物主义思想，是我国思想史上的重要著作。

班固 （32—92）字孟坚，扶风（今属陕西）人。东汉史学家、文学家。历二十余年修成我国第一部纪传体断代史《汉书》，开创了“包举一代”的断代史体例。辞赋方面以《两都赋》最著名。

3. 魏晋作家

曹操 （155—220）字孟德，沛国谯郡（今安徽亳州）人。东汉末年政治家、军事家、诗人。汉献帝时官至丞相，后被封为魏王，死后其子曹丕代汉建魏，追尊曹操为魏武帝。有抒情诗《观沧海》《龟虽寿》《蒿里行》等乐府歌辞。

王粲 （177—217）字仲宣，山阳高平（今山东金乡县）人。三国时作家，为“建安七子”之一，与曹植并称为“曹王”。其诗语言刚健，词气慷慨。代表作有诗歌《七哀诗》、赋《登楼赋》。

诸葛亮 （181—234）字孔明，琅琊阳都（今山东临沂市沂南县）人。三国时政治家、军事家。官至蜀汉丞相，《出师表》是千古传诵的名篇。

曹丕 （187—226）字子桓，曹操次子，魏文帝。三国时文学家。代表作《燕歌行》，是我国现存最早的文人七言诗。他的《典论·论文》是我国第一部文学批评专著。

曹植 （192—232）字子建，曹操第三子，封陈王，谥思，世称陈思王。三国魏诗人。他是文学史上五言诗的奠基人，自如地运用乐府体裁大大地开拓了五言诗的境界。宋人辑有《曹子建集》。

阮籍 （210—263）三国魏诗人，字嗣宗，陈留尉氏（今属河南）人。是建安七子之一阮瑀的儿子。曾任步兵校尉，故世称“阮步兵”。与嵇康、刘伶等七人为友，“竹林七贤”之一。诗以《咏怀》八十二首最为著名，散文以《大人先生传》最有代表性。

李密 （224—287）字令伯，名虔，西晋犍为武阳（今四川彭山）人。有《陈情表》一文流传后世。

陈寿 （233—297）字承祚（zuò）。西晋史学家。著有《三国志》。

陆机 （261—303）字士衡，吴（今苏州）人。西晋文学家。所著《文赋》为古代重要的文学论文。宋人辑有《陆士衡集》。

王羲之 （303—361）字逸少，琅琊临沂（今属山东）人。东晋书法家。官至右军将军、会稽内史，人称“王右军”。《兰亭集序》是其有名的作品。

陶渊明 （365或372或376—427）一名潜，字元亮，自称五柳先生，浔阳柴桑（今江西九江）人。东晋诗人，我国第一位田园诗人。散文有《桃花源记》《五柳先生传》《归去来兮辞》，诗歌有《归园田居》《饮酒》等。

干宝 （?—336）字令升。东晋史学家、文学家，志怪小说的创始人。他撰写了我国第一部神话（志怪）小说集《搜神记》。

4. 南北朝作家

谢灵运 （385—433）中国南朝宋诗人。陈郡阳夏（今河南太康）人。晋时袭封康乐公，故又称“谢康乐”。其创作的诗歌极大地丰富和开拓了诗的境界，扭转了东晋以来的玄言诗风，确立了山水诗的地位。著名的赋作有《山居赋》《岭表赋》等。后人辑有《谢康公集》。

范晔 (398—445)字蔚宗。南朝宋史学家、散文家。《乐羊子妻》《张衡传》选自他的《后汉书》,"后汉"即"东汉"。

刘义庆 (403—444)南朝宋小说家。著有我国第一部笔记体小说集《世说新语》。

鲍照 (约 414—466)字明远,南朝宋文学家。鲍照一生沉沦下僚,很不得志,但其诗、赋、骈文都不乏名篇,成就最高的是诗歌,最有名的是《拟行路难》18 首。他与谢灵运、颜延之同时,合称"元嘉三大家"。

谢朓 (464—499)南朝齐诗人,字玄晖,陈郡阳夏(今河南太康)人。出身世家大族,与谢灵运对举,人称"小谢","竟陵八友"之一。曾出任宣城太守,故有"谢宣城"之称。现存谢朓诗二百多首,其中山水诗成就尤高。今有《谢宣城诗注》《谢宣城集校注》。

丘迟 (464—508)字希范,吴兴乌程(今浙江湖州)人。南朝梁文学家。擅长骈文,辞采丽逸。《与陈伯之书》一文比较有名。

刘勰 (约 465—约 532)字彦和,祖籍莒县(今山东日照市莒县)。南朝梁文学理论家。著有我国第一部文学理论专著《文心雕龙》50 篇,涉及创作的许多问题。

郦道元 (约 470—527)字善长,北魏范阳郡涿县(今河北涿州市)人。北魏地理学家、散文家。撰成《水经注》40 卷,是富有文学价值的地理志。郦道元也因此被称为我国游记文学的开创者。

钟嵘 字仲伟,祖籍颍川长社。南朝梁文学批评家。著有我国第一部诗歌理论专著《诗品》,品评自汉至梁 120 多个诗人。

5. 隋唐五代作家

魏徵 (580—643)字玄成,钜鹿(今属河北)人。唐初政治家。官至侍中,封郑国公。《谏太宗十思疏》选自《魏郑公文集》。

杜审言 (约 645—708)字必简,襄州襄阳人,是大诗人杜甫的祖父。初唐时期的一位重要诗人,是唐代"近体诗"的奠基人之一。少与李峤、崔融、苏味道齐名,称"文章四友",作品多朴素自然。有《杜审言诗集》。

杨炯 (650—?)华阴(今属陕西)人,唐朝诗人。与王勃、卢照邻、骆宾王齐名,并称"初唐四杰"。杨炯以边塞征战诗著名,《从军行》《出塞》《战城南》《紫骝马》等比较有名。有《盈川集》。

王勃 (650 或 649—676)字子安,龙门(今山西河津)人。唐代文学家,"初唐四杰"之一。代表作有抒情诗《送杜少府之任蜀州》(五律),名文《滕王阁序》。著有《王子安集》。

贺知章 (659—约 744)字季真,自号四明狂客,越州永兴(今浙江杭州市萧山区)人。唐代诗人。所作《回乡偶书》(七绝)、《咏柳》为传诵名篇。

张若虚 扬州人。与贺知章、张旭、包融并称为"吴中四士"。其诗在初唐诗风转变中有重要地位。其代表作《春江花月夜》乃千古绝唱,有"以孤篇压倒全唐"之誉。

陈子昂(659—700),字伯玉,梓州射洪(今属四川)人。唐代文学家,初唐诗文革新人物之一。其中最有代表性的是《感遇》诗 38 首和《登幽州台歌》,被后人称为"诗骨"。有《陈伯玉集》。

张九龄 (673 或 678—740)一名博物,字子寿,韶州曲江(今广东曲江)人。唐代政治家、文学家、诗人。其五言古诗,对扫除唐初沿袭的六朝绮靡诗风,贡献尤大,被誉为"岭南第一人"。名诗有《感遇》《望月怀远》等,有《曲江集》二十卷。

王之涣 (688—742)字季凌,晋阳(今山西太原)人。唐代诗人。他的《凉州词》《登鹳雀楼》是唐代绝句珍品。

孟浩然 (689—740)襄阳(今湖北襄阳)人。唐代山水田园诗人。《过故人庄》描绘了青山绿水的田园风光和"把酒话桑麻"的农家情趣,体现了诗人与村民的真切感情。《春晓》写春晓之景及早春之情,成为流传千古的好诗。

李颀 (? —约 753)祖籍赵郡(今河北赵县),长期居住颍阳。曾任新乡县尉,晚年隐居。其诗内容丰富,格调高昂,各体兼擅,以七言歌行尤具特色。代表作有边塞诗《古意》《古从军行》,描写音乐的诗篇有《听董大弹胡笳弄兼寄语房给事》《听安万善吹觱篥歌》等。

王昌龄 (？—756)字少伯，京兆长安(今陕西西安)人。唐代诗人。擅长七绝，多写当时边塞军旅生活，气势雄浑，格调高昂，被后人称为"七绝圣手"。《从军行》七首、《芙蓉楼送辛渐》和《出塞》二首都很有名。

王维 (701？—761)字摩诘，祖籍山西祁县，官至尚书右丞，世称王右丞。唐代山水田园诗人，被后人称为"诗佛"。名篇有《鸟鸣涧》(五绝)、《送元二使安西》(七绝)、《观猎》(五律)、《山居秋暝》(五律)。"味摩诘之诗，诗中有画"，是苏轼赞王维之语。

李白 (701—762)字太白，号青莲居士，陇西成纪人，出生于中亚碎叶。唐代浪漫主义诗人。被人称为"诗仙"。官至供奉翰林。因性格傲岸，不为权贵所容，使他对腐败社会加深了认识，写下了许多抨击帝王权贵荒淫奢侈和控诉现实政治黑暗的诗篇。五绝《静夜思》《秋浦歌》，七绝《望天门山》，五律《送友人》，七古《梦游天姥吟留别》《行路难》《将进酒》，均为千古名篇。著有《李太白全集》。

高适 (约 700—765)字达夫。唐代边塞诗人。诗作对当时的边地形势和士兵疾苦均有反映，代表作有《燕歌行》。著有《高常侍集》。

崔颢 (？—754)汴州(今河南开封)人，开元进士，官至司勋员外郎。唐代诗人，所作边塞诗慷慨豪迈。《黄鹤楼》(七律)甚得李白推崇。明人辑有《崔颢集》。

杜甫 (712—770)字子美，曾居长安城南少陵以西，自称少陵野老，世称杜少陵，出生于巩县(今属河南)。唐代现实主义诗人。曾漫游各地，寓居长安十年，"安史之乱"中被俘，逃出后任左拾遗，后移家成都，筑草堂于浣花溪畔，世称浣花草堂。一度任剑南节度参军，检校工部员外郎，世称杜工部。其作品显示了唐由盛转衰的历史过程，被称为"诗史"，有《杜工部诗集》。代表作《自京赴奉先县咏怀五百字》、《登高》(七律)，组诗"三吏""三别"。

岑参 (约 715—770)原籍河南南阳，官至嘉州刺史。唐代边塞诗人。从军多年，对边塞生活体验深刻，有《岑嘉州诗集》。代表作《白雪歌送武判官归京》。

张志和 字子同，初名龟龄，自号玄真子、烟波钓徒。唐代诗人。多写隐居闲适生活，著有《玄真子》。代表作《渔歌子》(词)。

韦应物 (约 737—791)长安(今陕西西安)人。唐代山水田园诗派诗人，后人每以王孟韦柳并称。因做过苏州刺史，世称"韦苏州"。其山水诗清新自然恬淡高远，以善于写景和写隐逸生活著称，后渐为反映民间疾苦的政治诗。韦诗以五古成就最高，有"五言长城"之称。代表作有《观田家》《滁州西涧》。

孟郊 (751—814)字东野，湖州武康(今浙江德清县)人。唐代诗人。一生潦倒失意，性格孤直，不肯随波逐流。其诗感伤遭遇、多寒苦之音。用字造句力避平庸浅率，追求瘦硬。后人以孟郊、贾岛为苦吟诗人代表。苏轼称之为"郊寒岛瘦"。诗作有《游子吟》《征妇怨》。著有《孟东野诗集》。

韩愈 (768—824)字退之，河阳(今河南孟县)人，自谓郡望(郡里的显贵家族)昌黎，世称韩昌黎；谥号文，又称韩文公。官至吏部侍郎，又称韩吏部。唐代散文家、诗人，与柳宗元同为"古文运动"倡导者，列为"唐宋八大家"之首。著有《昌黎先生文集》。

刘禹锡 (772—842)字梦得，洛阳人。唐代诗人。有《刘梦得文集》。《陋室铭》选自《全唐文》。《竹枝词》《柳枝词》等组诗别开生面。名句"沉舟侧畔千帆过，病树前头万木春"出自《酬乐天扬州初逢席上见赠》，深寓哲理，脍炙人口。

白居易 (772—846)字乐天，号香山居士，曾官太子少傅，又称白太傅，下邽(guī)(今陕西渭南)人。唐代诗人、新乐府运动的倡导者。主张"文章合为时而著，歌诗合为事而作"。著有《白氏长庆集》。有讽喻诗《秦中吟》《新乐府》，长篇叙事诗《长恨歌》《琵琶行(并序)》，还有《卖炭翁》《钱塘湖春行》。

柳宗元 (773—819)字子厚，河东(今山西永济)人，世称柳河东，因参加政治革新失败被贬为永州司马，又迁柳州刺史，世称柳柳州。与韩愈倡导古文运动，为唐宋八大家之一。有论说文《天说》《封建论》，传记文《段太尉逸事状》《童区寄传》，杂文《捕蛇者说》，寓言散文"三戒"(《黔之驴》《临江之麋》《永某氏之鼠》)，山水游记"永州八记"。《小石潭记》为"永州八记"之一。著有《柳河东集》。

白行简 (776—826)唐代文学家,字知退,华州下邽(今陕西渭南东北)人,白居易之弟。著有文集10卷,文辞简易,以传奇著称。代表作《李娃传》(又名《汧国夫人传》)、《三梦记》,篇幅短小,文辞简质,情节离奇。

元稹 (779—831)字微之,洛阳(今河南洛阳)人。唐代诗人。和白居易友善,一同提倡新乐府运动,也写了许多乐府体讽喻诗,世称"元白"。所作传奇《莺莺传》为著名戏曲《西厢记》的前身。有《元氏长庆集》。

贾岛 (779—843)字阆仙,一作浪仙,范阳(今河北涿州)人。唐代诗人。青年时期做过和尚,法号无本。后还俗,曾任长江主簿,人称贾长江。诗长于五律,多写荒凉枯寂之境,颇多寒苦之辞,注重炼字炼句。与孟郊齐名,有"郊寒岛瘦"之称。"推敲"典故就是由"僧敲月下门"而来。有《长江集》。

李贺 (790—816)字长吉,福昌(今河南宜阳西)人。唐代诗人。长于歌行体,善于驰骋奇特的想象,运用绮丽的词语,塑造新颖的意境,形成独特的风格,是李白之后的浪漫主义诗人。有"诗鬼"之称。代表作有《金铜仙人辞汉歌》《老夫采玉歌》《雁门太守行》等。

杜牧 (803—853)字牧之,京兆万年(今西安)人。唐代文学家。晚年居住长安城南樊川别墅,因号杜樊川,善用绝句形式讽咏时事,如《赤壁》《过华清宫绝句》。擅长文赋,其《阿房宫赋》为后世传诵。著有《樊川文集》。

赵嘏 字承佑,楚州山阳(今江苏省淮安市楚州区)人。晚唐诗人,善七律,有《渭南诗集》。

温庭筠 (? —866)原名岐,字飞卿。太原(今属山西)人。唐代诗人、词人。精于音律,每入试,押官韵,八叉手而成八韵,时号"温八叉"。其诗辞藻华丽,仅少数作品对时政有所反映。词作多写闺情,成就不高。现存词大都收入《花间集》。

李商隐 (约813—约858)字义山,号玉谿生,原籍河内(今河南沁阳)。唐代诗人。有《李义山诗集》。代表作有《无题》《贾生》《夜雨寄北》等。

皮日休 (约838—约902)字袭美,一字逸少,号鹿门子,又号间气布衣、醉吟先生,襄阳(今属湖北)人。唐代文学家。其诗一部分继承白居易新乐府传统,语言平易近人。散文辞赋多借古讽今,抒写愤慨。著有《皮子文薮》。

韦庄 (约836—910)唐五代诗人。字端己,京兆杜陵(今西安东南)人。一生经历可分两个时期:仕唐时期,创作以诗歌为主,代表作有长篇叙事诗《秦妇吟》,人称诗人为"秦妇吟秀才";仕蜀时期,创作以词为主,花间派中成就较高的词人,与温庭筠并称"温韦"。

陆龟蒙 (? —约881)字鲁望,自号江湖散人、甫里先生,又号天随子,姑苏(今江苏苏州)人。唐代文学家。与皮日休齐名,人称"皮陆"。作品对当时的社会黑暗和统治者的腐朽有所讽刺和揭露。有《甫里集》。

罗隐 (833—910)字昭谏,杭州新城(今属浙江)人。唐代文学家。其散文小品,笔锋犀利。鲁迅谓其所著《谗书》"几乎全部是抗争和愤激之谈",诗亦颇有讽刺现实之作。有诗集《甲乙集》。

冯延巳 (903—960)一名延嗣,字正中,广陵(今江苏扬州)人。五代南唐词人。其词内容多写男女间的离情别恨,表现士大夫的生活情趣。语言清丽,善于以景见情。有《阳春集》。

李璟 (916—961)字伯玉,原名李景通,徐州(今属江苏)人,五代十国时期南唐政权的第二个皇帝。史称南唐中主。他的词感情真挚,风格清新,语言不事雕琢,对南唐词坛产生过一定的影响。

李煜 (937—978)字重光,初名从嘉,号钟隐,世称李后主。徐州人。五代时南唐国君,著名词人。能诗文、音乐、书画,尤以词著名。其词善用比喻,情景交融,语言清朗而富有韵律,有很强的艺术感染力,对词的发展起了很大的推动作用。代表作有《虞美人》《浪淘沙》等。

6. 宋代作家

王禹偁 (954—1001)宋代诗人、散文家。字元之,济州巨野(今山东巨野)人。晚年被贬于黄州,世称"王黄州"。代表作有诗歌《村行》、词作《点绛唇》、散文《黄冈竹楼记》等。

林逋 (967—1029)字君复,钱塘(今浙江杭州)人,有"梅妻鹤子"之称,卒谥"和靖先生"。北宋诗人。有《林和靖诗集》,咏梅诗《山园小梅》。

柳永 (约987—约1053)字耆卿,原名三变,因排行第七,世称柳七,又曾官至屯田员外郎,世称柳屯田。福建崇安人。北宋第一个专业词人。为人放荡不羁,终身潦倒,长于抒写羁旅行役之情。名篇有《雨霖铃》,著有《乐章集》。

范仲淹 (989—1052)字希文,谥号文正,苏州人。北宋政治家、军事家、文学家。《渔家傲》反映了边塞生活,贬为邓州知州时写了名文《岳阳楼记》。著有《范文正公集》。

张先 (990—1078)字子野,吴兴乌程(今属浙江湖州)人,北宋著名词人。因其自举平生所得意之三词皆带"影"字,故世称"张三影"。著有《张子野词》。

晏殊 (991—1055)字同叔,抚州临川(今属江西)人。北宋词人。名作有《踏莎(suō)行》《浣溪沙》。

宋祁 (998—1061)字子京,谥景文。北宋文学家、史学家。曾迁工部尚书,因《玉楼春》词中有"红杏枝头春意闹"句,遂有"红杏尚书"之称。有《宋景文集》《宋景文公长短句》。

欧阳修 (1007—1072)字永叔,号醉翁、六一居士,谥号文忠。北宋文学家、史学家,北宋古文运动的领袖,唐宋八大家之一。提倡"文""道"并重,反对浮靡文风。所作散文说理畅达,抒情委婉。《六一诗话》开创了"诗话"这一新的体裁,对后世诗歌理论的发展有一定影响。名篇有《醉翁亭记》,著有《欧阳文忠公集》。

苏洵 (1009—1066)字明允,号老泉,眉州眉山(今属四川)人。北宋散文家。著有《嘉祐集》,其中《权书》包括十篇文章,都是评论政治和历史的。与其子苏轼、苏辙并称"三苏",俱在"唐宋八大家"之列,名篇有《六国论》。

周敦颐 (1017—1073)字茂叔,号濂溪,世称濂溪先生,道州营道(今湖南道县)人。北宋哲学家,宋朝理学的开山鼻祖,著名理学家程颐、程颢都是他的学生。他正式提出了"文以载道"之说。《爱莲说》为其散文代表作。

曾巩 (1019—1083)字子固,南丰(今属江西)人。北宋政治家、文学家、散文家,"唐宋八大家"之一。有《曾巩集》。

司马光 (1019—1086)字君实,陕州夏县涑(Sù)水乡(今属山西)人,世称涑水先生。北宋史学家、文学家。官至宰相,当政八月即逝,追封温国公,谥文正。著有《温国文正司马公文集》。政治上是保守派,对抗王安石变法。在学术上有不朽贡献,用19年时间主编了我国最大的一部编年体通史《资治通鉴》。宋神宗以其"鉴于往事,有资于治道"赐此书名。

王安石 (1021—1086)字介甫,晚号半山,官至宰相,封荆国公,世称王荆公,谥号文,也称王文公。抚州临川(今属江西)人。北宋政治改革家、思想家、文学家,"唐宋八大家"之一。其散文雄健峭拔。名篇有《游褒禅山记》,著有《临川先生文集》。

晏几道 (1038—1110)字叔原,号小山,晏殊之子,抚州临川(今属江西)人。北宋词人。其词绝大部分是小令,题材不出爱情别离之类。感情真挚,清丽婉转,明白晓畅。有《小山词》。

沈括 (1031—1095)字存中,钱塘(今浙江杭州)人。北宋科学家、政治家。他的《梦溪笔谈》是用笔记文学体裁写成的综合性学术专著,是我国第一部科学作品。

苏轼 (1037—1101)字子瞻,号东坡居士,谥号文忠。北宋文学家、书画家,"唐宋八大家"之一。官至礼部尚书。其文明白畅达,其词开豪放一派,对后世很有影响。名篇有《念奴娇·赤壁怀古》(词)、《石钟山记》(散文),著有《东坡文集》《东坡乐府》等。

苏辙 (1039—1112)字子由,号颍滨遗老,眉州眉山(今属四川)人。北宋散文家。与父苏洵、兄苏轼合称"三苏","唐宋八大家"之一。作品以议论文为主,文章汪洋淡泊,说理清晰有力。代表作是《上枢密韩太尉书》《黄州快哉亭记》。有《栾城集》。

黄庭坚 (1045—1105)北宋诗人、词人、书法家。字鲁直,自号山谷道人,晚号涪翁,洪州分宁(今江西修水)人。江西诗派开山之祖。与秦观、晁补之、张耒并称"苏门四学士"。诗与苏轼并称"苏黄",有《豫章先生文集》。词与秦观齐名,有《山谷琴趣外篇》。词风流豪迈,较近于苏轼。书法精妙,与苏轼、米芾、蔡襄并称"宋四家"。

秦观 (1049—1100)字少游,一字太虚,号淮海居士,高邮(今属江苏)人。北宋词人。他的词多

写男女爱情和身世感伤，风格清婉秀丽，是婉约词的代表性作家之一。《鹊桥仙》一词情感真挚纯洁，情调高雅，为爱情词杰作。有《淮海集》。

贺铸 (1052—1125)字方回，自号庆湖遗老，卫州(今河南)人。长身耸目，面色铁青，人称"贺鬼头"。代表作为《青玉案·凌波不过横塘路》《生查子·陌上郎》等。

周邦彦 (1056—1121)字美成，号清真居士，钱塘(今浙江杭州)人。旧时词论称他为"词家之冠"，被尊为婉约派的集大成者和格律派的创始人。今存《片玉词》10卷。

李清照 (1084—约1151)号易安居士，山东济南人。宋代女词人，我国第一位女词人。其词善用白描手法，自辟蹊径，语言清丽。《如梦令》《声声慢》选自《漱玉词》，另有《李清照集》。

岳飞 (1103—1142)字鹏举，南宋著名将领，死后谥武穆，后改谥忠武。其精忠报效朝廷的精神深受后人敬佩。留有《岳武穆集》，存词3首。

陆游 (1125—1210)字务观，号放翁，越州山阴(今浙江绍兴)人。南宋著名诗人。诗作今存9 000余首，内容丰富。诗作《关山月》《书愤》《农家叹》《示儿》《十一月四日风雨大作》为世传诵，《诉衷情》《钗头凤》是很有艺术特色的词，文有《过小孤山大孤山》等。著有《剑南诗稿》《渭南文集》等。

杨万里 (1127—1206)字廷秀，号诚斋，吉州吉水(今江西吉安)人。南宋诗人。其诗初学江西派，后学王安石及晚唐诗人，创立了一种新鲜活泼的诗体"诚斋体"。著有《诚斋集》。

朱熹 (1130—1200)字元晦，号晦庵，谥文，追封信国公。徽州婺源(今属江西)人。南宋学者、理学家。学识渊博，遍注典籍，经学、史学、文学皆有成就，是宋以后儒家理学的大师，其学说为当时正宗。世称朱子、朱文公。有《四书章句集注》《楚辞集注》等。

张孝祥 (1132—1170)字安国，号于湖居士，历阳乌江(今安徽和县)人。南宋著名词人、书法家，有《于湖居士文集》《于湖词》。《全宋词》辑录其词223首，其中尤以反映社会现实的作品成就最为突出。

辛弃疾 (1140—1207)字幼安，号稼轩，历城(今山东济南)人。南宋著名词人。其词倾诉壮志难酬的悲愤。与苏轼共为豪放派的代表。名篇有《永遇乐·京口北固亭怀古》《破阵子·醉里挑灯看剑》，著有词集《稼轩长短句》。

姜夔 (约1155—1209)字尧章，号白石道人。鄱阳(今属江西)人。南宋词人、音乐家。其词多为写景咏物、记述客游之作。名篇有《扬州慢》，另著有《白石道人歌曲》等。

文天祥 (1236—1283)字履善，又字宋瑞，号文山，吉州庐陵(今江西吉安)人。南宋大臣、政治家、文学家。著有《文山先生全集》。《正气歌》《指南录》《〈指南录〉后序》皆为后人传诵。

7. 元明作家

关汉卿 号已斋叟，大都(今北京)人。元代杂剧(戏曲)作家，我国戏剧史上最伟大的戏剧家，元杂剧的奠基人。所作杂剧达60多种，今存14种，以《窦娥冤》《救风尘》《望江亭》《单刀会》最为著名，著作收入《关汉卿戏曲集》。《窦娥冤》是我国戏曲史上的典型悲剧之一。

王实甫 一名德信，大都(今北京)人。元代杂剧(戏曲)作家。代表作《西厢记》5本21折，以歌颂反封建的爱情为主题，歌颂张生和崔莺莺为争取婚姻自由所进行的斗争，矛头直指封建礼教和婚姻制度，具有强烈的反封建思想，在元代杂剧中具有"天下夺魁"的艺术成就。

马致远 (约1251—1321以后)号东篱，一说字千里，大都(今北京)人。元代戏曲作家、散曲家。所作杂剧15种，代表作有杂剧《汉宫秋》、散曲小令《天净沙·秋思》。马致远因而被称为"秋思之祖"。

睢景臣 字景贤，江苏扬州人。元代散曲家。今存《高祖还乡》一篇，以大胆辛辣之笔嘲弄封建帝王的尊严，颇具讽刺文学的特色。

张养浩 (1270—1329)字希孟，号云庄，济南(今属山东)人。元代散曲家。其散曲多写弃官后的田园隐逸生活，有的流露出对官场的不满。较有名的是《山坡羊·潼关怀古》，有散曲集《云庄休居自适小乐府》。

郑光祖 字德辉，平阳(今山西临汾)人。元代戏曲作家。现存杂剧《倩女离魂》《伊梅香》《王粲

登楼》《周公摄政》《三战吕布》5种。

张可久 (1280—约1352)字小山,庆元路(今浙江宁波)人。元代散曲家。专力写作散曲,多描写自然风景,咏颓放生活之作。有《小山乐府》。

乔吉 (?—1345)亦作"乔吉甫"。字梦符,号笙鹤翁、惺惺道人,太原(今属山西)人。元散曲家、戏曲作家。散曲风格清丽,内容则多消极颓废。明清人多将他同张可久并称为元散曲两大家。有散曲集《惺惺道人乐府》,现存杂剧《扬州梦》《两世姻缘》《金钱记》3种。

钟嗣成 (约1275—1345以后)字继先,号丑斋,大梁(今河南开封)人。元代戏曲家。编著《录鬼簿》二卷。有至顺元年(1330)自序,载元代杂剧、散曲作家小传和作品名目。

施耐庵 原名耳,又名子安,字耐庵。元末明初小说家。他的代表作《水浒传》,又名《忠义水浒传》,是我国古代描写农民革命斗争的长篇白话章回体小说。

宋濂 (1310—1381)字景濂,号潜溪,谥文宪,浦江(今属浙江)人。明代文学家。官至侍讲学士。著有《宋学士文集》。代表作《送东阳马生序》。

刘基 (1311—1375)字伯温,封诚意伯,谥文成,青田(今属浙江)人。明初文学家。曾辅佐朱元璋开创明朝帝业,为明开国勋臣之一,官至御史中丞兼太史令。著有《诚意伯刘文成公文集》。作品有《卖柑者言》等。

*罗贯中 (约1330—约1400)名本,字贯中,号湖海散人。元末明初小说家。相传为施耐庵学生。传有17种通俗演义。代表作《三国演义》,最早为明本《三国志通俗演义》,题"晋平阳侯陈寿史传、后学罗本贯中编次",是我国古代著名的长篇历史章回体小说,也是我国文学史上第一部章回体小说。全书120回。

高启 (1336—1374)字季迪,曾隐居吴淞青丘,自号青丘子,长洲(江苏苏州)人。明初文学家。明洪武初召修《元史》,授翰林院国史编修。

于谦 (1398—1457)字廷益,钱塘(今浙江杭州)人。明朝大臣、将领、诗人。官至兵部尚书,谥忠肃。有《于忠肃集》。

王磐 (约1470—1530)字鸿渐,号西楼,高邮(今属江苏)人。明朝散曲家。代表作为《朝天子·咏喇叭》。

吴承恩 (约1500—约1582)字汝忠,号射阳山人,山阳(今江苏淮安)人。明代小说家。四十多岁中贡生,官仅至县丞,因耻于折腰而罢归,一生贫寒,对黑暗现实不满。晚年著成我国第一部神话长篇小说《西游记》,该书既寄托了他济世匡时的愿望,也是积极浪漫主义的杰作,其艺术成就标志着我国浪漫主义文学达到一个新的高峰。

归有光 (1507—1571)字熙甫,人称震川先生,昆山(今属江苏)人,后徙居嘉定(今属上海)。明末散文家。60岁中进士,官任南京太仆寺丞。所作散文朴素简洁,善于叙事,有《震川文集》。名篇有《项脊轩志》。

宗臣 (1525—1560)字子相,兴化(今属江苏)人。明代中叶文学家,"后七子"之一。官至福建提学副使。诗文主张复古,"文必秦汉"。

汤显祖 (1550—1616)字义仍,号若士、清远道人,江西临川人。明代戏曲家。曾任南京太常寺博士、礼部主事。代表作《牡丹亭》(又称《还魂记》)。剧作多反对封建礼教,追求个性解放。

袁宏道 (1568—1610)字中郎,号石公,公安(今属湖北)人。明代文学家。与兄宗道、弟中道,并称"三袁",为公安派的创始者。文学主张反对盲目模仿古人,要独抒性灵,写出自己的真情实感。作品真率自然,内容多写闲情逸致。有《袁中郎全集》。

冯梦龙 (1574—1646)字犹龙,号墨憨斋主人,长洲(今江苏苏州)人。明代文学家。辑有话本集《喻世明言》(又称《古今小说》)、《警世通言》和《醒世恒言》,合称"三言"。名作有《滁园叟晚逢仙女》。除此之外,他还写了长篇小说《平妖传》,改写了《新列国志》,编辑民歌《挂枝儿》《山歌》等。

凌濛初 (1580—1644)字玄房,号初成,别号空观主人,乌程(今浙江湖州)人。明代小说家。著有拟话本集《初刻拍案惊奇》《二刻拍案惊奇》,后人合称"二拍"。

徐弘祖 (1587—1641)字振之,号霞客,江阴(今属江苏)人。明代旅行家、地理地质学家和游记散文作家。著有《徐霞客游记》,该书是日记形式的游记散文,是我国第一部日记体游记。书中作者描绘了山河的壮美,表达了对大自然的热爱,被称做"古今记游第一"。《游黄山记》出自该书。

魏学洢 (约 1596—约 1625)字子敬。明末散文作家。所作《核舟记》(说明文)描述了用一颗核桃雕刻成的小船的情状,出自清朝人张潮编选的笔记小说《虞初新志》。虞初,是汉代小说家,人称小说家之祖。有《茅檐集》。

张溥 (1602—1641)字天如,号西铭,太仓(今属江苏)人。明末文学家。崇祯初年始创文社"复社",从事文学和政治活动。《五人墓碑记》选自他的著作《七录斋集》。

8. 清代近代作家

张岱 (1597—1689)字宗子、石公,号陶庵,浙江山阴(今绍兴)人。明末清初文学家。清兵南下后,入山著书。文笔清新,时杂诙谐,作品多写山水景物、日常琐事,有些作品表现出明亡后的怀旧感伤情绪。有《琅嬛文集》《陶庵梦忆》《西湖梦寻》等。

黄宗羲 (1610—1695)字太冲,号南雷,又号梨洲,人称梨洲先生,浙江余姚人。明清之际思想家、史学家。曾领导复社,反对宦官权贵,招募兵马抗清。所著《明儒学案》是我国第一部学术史专著。

李渔 (1611—1680)字笠鸿,号笠翁,浙江兰溪人。清代戏曲理论家、剧作家。《芙蕖》节选自《李笠翁一家言·笠翁偶集》中的"种植部"。

顾炎武 (1613—1682)初名绛,明亡后改名炎武,江苏昆山人,别号亭林,称亭林先生。清初思想家、学者、作家。曾参加复社反宦官权贵,从事抗清活动。《复庵记》出自《亭林诗文集》。

王夫之 (1619—1692)字而农,号盖斋,衡阳(今属湖南)人。明清之际思想家。与黄宗羲、顾炎武齐称为"明末清初三大思想家"。晚年居衡阳之石船山,学者称船山先生。学问渊博,对天文、历法、数学、地理学等均有研究,尤精于经学、史学、文学。哲学上总结并发展中国传统的唯物主义。著作经后人编为《船山遗书》。

魏禧 (1624—1681)字叔子,一字冰叔,号裕斋,江西宁都人。清初散文家。

林嗣环 字铁崖。清初文人。著有《铁崖文集》,他的《口技》节选自《虞初新志》。

王士禛 (1634—1711)字子真,号阮亭、渔洋山人,清代文学家,新城(今山东桓台)人,官至刑部尚书,著有《带经堂集》《渔洋诗话》《池北偶谈》等。

蒲松龄 (1640—1715)字留仙,一字剑臣,号柳泉居士,世称聊斋先生,淄川(今山东淄博)人。清代文学家。他用数十年时间写成我国第一部文言短篇小说集《聊斋志异》。

洪昇 (1645—1704)字昉思,号稗畦,浙江钱塘(今浙江杭州)人。清代戏曲家。43 岁时写成《长生殿》,轰动一时,当时与孔尚任有"南洪北孔"之称。

孔尚任 (1648—1718)字聘之、季重,号东塘、岸堂、云亭山人,山东曲阜人。清代戏曲作家。历时十余年,于康熙三十八年(1699)写成传奇剧本《桃花扇》。

查(Zhā)慎行 (1650—1727)原名嗣琏,字夏重;后改名慎行,字悔余,浙江海宁人。清初诗人。《舟夜书所见》(五绝)出自《敬业堂诗集》。

纳兰性德 (1655—1685)原名成德,字容若,号楞伽山人,清初著名词人。其词现存 300 多首,有南唐后主遗风,悼亡词情真意切,痛彻肺腑,令人不忍卒读。一生著作颇丰,作《通志堂经解》二十卷、《渌水亭杂识》四卷,辑《大易集议萃定》八十卷,《陈氏礼记说补正》三十八卷;编选《近词初集》《全唐诗选》等书。

方苞 (1668—1749)字灵皋,晚号望溪,安徽桐城人。清代散文家。官至礼部右侍郎。论文提倡"义法",即言之有物有序,为桐城派创始人。散文多为经说、序跋、书信、碑传等应酬之作。《狱中杂记》选自《方望溪先生全集》。

郑燮(xiè) (1693—1765)字克柔,号板桥,清代文学家、书画家,为扬州八怪之一,其诗、书、画世称"三绝",擅画兰竹。有《郑板桥集》。

吴敬梓 (1701—1754)字敏轩,一字粒民,晚自号文木老人,安徽全椒人。清代小说家。所作

《儒林外史》是我国第一部长篇讽刺小说，55回。

全祖望 (1705—1755)字绍衣，学者称谢山先生，浙江鄞县人。清代史学家、文学家。一生潜心于学术，在经学、史学、文章诸方面均有成就，尤以经史学为最，为后期浙东学派代表人物。著有《鲒埼亭集》。

*曹雪芹 (约1715—约1763)名霑，字梦阮，号雪芹，清代小说家。用十年时间从事《石头记》(即《红楼梦》，又名《金玉缘》)的创作，全书未成而病卒，后40回为高鹗所续，全书120回，属于章回体小说，是我国古代小说中最伟大的现实主义作品。

袁枚 (1716—1798)字子才，号简斋、随园老人，浙江钱塘(今浙江杭州)人。清代诗人、散文家。曾任知县，辞官后于江宁(今南京)小仓山下修筑随园定居，自号仓山居士。著有《小仓山房文集》《随园诗话》。

赵翼 (1727—1814)字雲崧，一字耘松，号瓯北，江苏阳湖(今常州)人。清代诗人、史学家。赵翼与袁枚、蒋士铨齐名，合称"江右三大家"。著有诗集53卷，存诗4 800多首，以五言古诗最有特色。著有诗评《瓯北诗话》、史学著作《廿二史劄记》等。

姚鼐 (1731—1815)字姬传、一字梦谷，室名惜抱轩，人称惜抱先生，安徽桐城人。清代散文家，是继方苞、刘大櫆之后"桐城派"的集大成者。提出文章须以"考据""辞章"为手段，来阐扬儒家的"义理"，倡导"考据""辞章""义理"三者合一的古文理论。

洪亮吉 (1746—1809)字君直，一字稚存，号北江，江苏阳湖(今常州)人。清中叶经学家、文学家，在经史、地理、音韵、训诂方面都有成就。论文《治平篇》，提出了人口繁衍与社会经济力量存在矛盾的问题，这是我国历史上人口论学说中的一个创见。有《洪北江全集》。

龚自珍 (1792—1841)一名巩祚，字璱(sè)人，号定庵，浙江仁和(今杭州)人。清代思想家、文学家。为"今文学派"主要代表人物，近代改良运动先驱之一。己亥年(道光十九年)自京返乡途中写了315首绝句，总题为《己亥杂诗》，表达对国事的感慨与生平经历的哀乐。

黄遵宪 (1848—1905)字公度，别号人境庐主人，广东嘉应州人，清末杰出的爱国诗人、外交家。潜心新体诗创作，诗界革命的最早倡导者，被誉为"诗界革命巨子"。著有《日本杂事诗》《日本国志》《人境庐诗草》。

刘鹗 (1857—1909)字铁云，笔名(别署)洪都百炼生，江苏丹徒(今镇江)人。清末小说家，通数学、医术、水利等。他的《老残游记》是我国晚清四大谴责小说之一。《明湖居听书》选自《老残游记》。

孙文 (1866—1925)字逸仙，别号中山，广东省香山(现名中山)人。我国民主革命的伟大先行者。著有《孙中山全集》，共11卷。

吴趼人 (1866—1910)字小允，又字茧人，后改趼人，广东南海(今广州)人，因居佛山镇，自称我佛山人。清末(近代)小说家。所作《二十年目睹之怪现状》为晚清四大谴责小说之一。

李宝嘉 (1867—1906)字伯元，号南亭亭长，江苏武进人。清末(近代)小说家。他的《官场现形记》为晚清四大谴责小说之一。

曾朴 (1872—1935)字孟朴，笔名东亚病夫，江苏常熟人。近代小说家，通法文。所作《孽海花》为晚清四大谴责小说之一。

梁启超 (1873—1929)字卓如，号任公，别号饮冰室主人，广东新会人。戊戌维新的领袖，政治家、文学家。《少年中国说》《谭嗣同》出自《饮冰室合集》。

王国维 (1877—1927)，字静安，号观堂。浙江海宁人。中国近现代之交的著名学者，学贯中西的国学大师，有《人间词话》《宋元戏曲考》等著作。《人间词话》创作于1908年夏秋之交。

林觉民 (1887—1911)字意洞，福建闽侯(今福州)人，黄花岗七十二烈士之一。

二、中国古代名著

《尚书》 儒家经典之一，又称《书》或《书经》。"尚"即"上"，《尚书》就是上古的书，它是我国上古历史文献和部分追述古代事迹著作的汇编。

*《诗经》 我国第一部诗歌总集。收录了西周初年至春秋中叶约500年间的作品。《诗经》通称为《诗》或《诗三百》，到汉代，儒家把它奉为经典，才称《诗经》。共305篇。分为"风""雅""颂"三部分。"风"又叫"国风"，共160篇，大都是各地民间歌谣，这是《诗经》的精华，如《伐檀》《硕鼠》。"雅"分"大雅""小雅"，共105篇，多系西周王室贵族文人的作品，也有少数民谣，内容大都是记述周贵族历史，歌功颂德的。"颂"分"周颂""鲁颂""商颂"，共40篇，多为贵族统治者祭祀用的乐歌舞曲。《诗经》是我国诗歌现实主义优良传统的源头，其思想内容和艺术成就对我国文学，尤其是诗歌的发展有着深广的影响。诗歌的形式以四言为主，多数为隔句用韵，并普遍运用"赋""比""兴"的手法，在章法上具有重章叠句、反复咏唱的特点。

*《左传》 我国第一部叙事详细、完备的编年体史书。原名《左氏春秋》，又称《春秋左氏传》，相传为鲁国史官左丘明所著。记事起于鲁隐公元年(前722)，止于鲁哀公二十七年(前468)，前后记叙了春秋时期250多年的史事。《左传》具有很高的文学价值，对后世影响很大，不仅在历史著作的撰写方面做出了光辉的榜样，还为散文的叙事、议论和小说、戏剧的题材提供了丰富的素材。

*《国语》 我国最早的国别体史书，共21卷。传为左丘明所著。全书按不同国家记载了从周穆王到周贞定王前后500余年的史事。《国语》和《左传》明显的区别是：《国语》分别按不同国家编写，以记言见胜；《左传》则按年代编写，长于记事。

《中庸》 "四书"之一，与《大学》同为《礼记》中的一篇，不过从汉代起就似乎单独流传。《中庸》的作者被认为是孔子的孙子子思。《中庸》一书的得名，是由于内容以不偏不倚的"中庸"为常道。它是中国古代讨论教育理论的重要论著。书中提出中庸之道的主要原则有三条：一是慎独自修，二是忠恕宽容，三是至诚尽性。

《晏子春秋》 记载齐国晏婴言行轶事的著作。对当时统治者的奢侈腐败，劳动人民的饥寒交迫及各国之间的钩心斗角，都有一定程度的真实反映。文章有较浓厚的文学色彩。

*《楚辞》 我国第一部浪漫主义诗歌总集。由于诗歌的形式是在楚国民歌的基础上加工形成，其中又大量引用楚地的风土物产和方言词汇，所以叫"楚辞"。《楚辞》主要是屈原的作品，其代表作是《离骚》，后人因此又称"楚辞"为"骚体"。西汉末年，刘向搜集屈原、宋玉等人的作品，辑录成集。《楚辞》对后世文学影响深远，不仅开启了后来的赋体，而且影响了历代散文创作，是我国浪漫主义诗歌创作的源头。

《吕氏春秋》 又名《吕览》，先秦杂家的代表著作，由战国末期秦相吕不韦集合门客编成，全书共26卷。这是我国最早的一部理论散文总集。

《山海经》 我国古代地理名著。内容主要为古代民间传说中的地理知识，包括山川、物产、药物、祭祀、巫医等。对古代历史、地理、文化、民族、神话等的研究，均有参考价值。其中保存了大量远古神话传说，如"黄帝战蚩尤""鲧禹治水""精卫填海""夸父逐日"等。

*《战国策》 西汉末年刘向编订的一部国别体史书，共33编。记事上起周贞定王十六年(前453)，下迄秦二世元年(前209)，载录了战国时期各国政治、军事、外交各方面的历史史实，着重记录了谋臣的策略和言论。其雄辩的论说，铺张的叙事，尖刻的讽刺，耐人寻味的幽默，构成了独特的语言风格。它标志着我国古代历史散文发展到一个新的高度，对后世散文和辞赋的创作产生重大影响。

*《论语》 儒家经典著作之一，孔子弟子及再传弟子所编纂。主要记述孔子言行，孔子应答弟子和时人的话，也有弟子互相谈论他们听到的孔子的话。全书以记言为主，是一部语录体著作。共20篇。全书主要反映了两个方面的内容：一是孔子的思想学说，核心是"仁"。二是通过对孔子言行的描述，塑造了活生生的孔子形象。《论语》中言简意赅、富于哲理性和启发性的语句颇多。如"学而不思则罔，思而不学则殆"等，流传后世，成为人们常用的成语、格言。

*《孟子》 儒家经典著作之一。《孟子》一书并非全由孟子所作，却也能代表孟子本人的思想和风格。《孟子》一书基本上是继承孔子的仁政思想。为行仁政，他首先提出了人性本善的主张。这是对孔子仁政学说的一个重大发展。孟子希望当时的统治者具有"不忍人"之心，能够"忧民之忧"，"与

民同乐”。这是春秋以来重民思想的继续和发展。孟子的民贵君轻思想，在当时独树一帜。

*《庄子》 庄子及其门人后学的著作。原有52篇，现存33篇。《庄子》在诸子散文中艺术成就最高。首先，它善于通过形象的比喻和情节性强的寓言故事说理，将文学与哲理熔为一炉，使深邃的哲理形象生动，充满情趣。《庄子》中寓言占十分之九，现在统计有180余则。这些寓言想象丰富，生动形象，增强了文章的浪漫色彩和说服力、感染力。其次，《庄子》想象丰富，构思奇特，选象组象，大胆夸张，波谲云诡，意境雄阔，具有浓厚的浪漫主义色彩。再次，《庄子》的语言，不仅嬉笑怒骂，激情澎湃，气势磅礴，而且语汇丰富，造语新奇。

《老子》 老子所著书中用“道”解释宇宙万物的演变，提出了“道生一，一生二，二生三，三生万物”和“天下万物生于有，有生于无”的观点。强调人们在思想上、行为上应效法“道”的“生而不有，为而不恃，长而不宰”。他抨击当时的统治者：“天之道，损有余而补不足；人之道，则不然，损不足以奉有余。”他提出的“祸兮福之所倚，福兮祸之所伏”，充满着辩证唯物主义思想。在政治上提出“无为而治”的思想，指出人无私心时处理事情就能做到“无为而无不为”，从而使人与人之间不争名利、和睦相处、共同发展。

《墨子》 由墨子后学整理先师的言论、笔记而成，小部分是墨子自著，大部分是后学的整理或发挥。原书71篇，现存53篇。其学说与儒学对立，同为当时显学。墨子提倡“尚贤”“尚同”“兼爱”“非攻”“节用”“节葬”“非乐”“非命”等。其思想反映了当时中下阶层的愿望。

*《荀子》 荀况及其门徒所作，今本32篇，大部分为荀子自著，小部分出于他的门徒。《荀子》文章主要是长篇专题性论说文。这些论说文大都善于围绕题目或一定的中心，以类比、引证、比喻、排偶反复说理，层层展开论述，结构绵密严谨，说理透辟，发挥尽致，风格沉着深厚，语言朴素简洁，句法整练而富于气势。

《韩非子》 战国末期法家代表人物韩非子创作的一部政治哲学文集，今存55篇，少数篇章为后人所加。其中多为说理文，逻辑严密，分析透彻，条理分明，深刻明切，词锋犀利，风格峻峭。《韩非子》有寓言故事三百多个，其中以《说林》《储说》最集中。

《列子》 相传为战国时郑人列御寇所作。书中还保存了一些先秦时代优秀的寓言故事和神话传说。如《愚公移山》《歧路亡羊》等章节，具有民间创作所特有的清新活泼的风格和丰富的想象。

*《玉台新咏》 总集名，南朝陈徐陵编，共10卷，书成于梁代，是继《诗经》《楚辞》之后一部很有影响的古诗总集。代表性的篇目有《孔雀东南飞》（原题“古诗为焦仲卿妻作”）等。

《乐府诗集》 总集名，郭茂倩编。辑录了汉魏至唐五代的乐府歌辞，兼及先秦至唐末歌谣，包括民间歌谣与文人作品以及乐曲原辞与后人仿作。乐府原是汉朝官府设立的音乐机关，专事制作乐章并采集整理各地民间俗乐的歌辞。这些乐章、歌辞后来就叫“乐府诗”，成为继《诗经》《楚辞》后而兴起的一种新诗体。

*《史记》 西汉司马迁著，我国第一部纪传体通史。原名《太史公书》，共130篇，分为“八书”“十表”“十二本纪”“三十世家”“七十列传”。它记述了黄帝到汉武帝时长达三千年的历史，其人物传记开我国史传文学的先河。《史记》是古代散文史上的一座丰碑，给后人无穷的启示和深远的影响，被鲁迅誉为“史家之绝唱，无韵之《离骚》”。选入教材的有《廉颇蔺相如列传》《鸿门宴》等。

*《汉书》 我国第一部纪传体断代史。东汉班固撰。原书100篇，后人划分为120卷。全书沿用《史记》体例，只是改“书”为“志”，取消“世家”并入“列传”，并创立《刑法》《五行》《地理》《艺文》四志，成为后世纪传体史书的准绳。《汉书》包括十二纪、八表、十志、七十列传，所记史实起于汉高祖元年（前206），迄于王莽地皇四年（23），共230年的历史。《汉书》既记载了西汉的政治、经济、军事和思想文化等方面的重大事件，又保存了当时的社会生活、历史人物等方面的大量史料，是继《史记》之后我国古代又一部重要史书。其中优秀的篇目有《苏武传》等。

*《后汉书》 纪传体断代史。南朝宋范晔著。是继《史记》《汉书》之后，又一部私人撰写的重要史籍。与《史记》《汉书》《三国志》合称“前四史”。该书记述了东汉由光武建武元年（25）至献帝延康元年（220）的历史，分纪、传、志三个部分。选入教材的有《张衡传》等。

《淮南子》 西汉淮南王刘安及其门客所撰。《汉书·艺文志》著录内21篇，外33篇。现仅流传内21篇。以道家思想为主，糅合了儒、法、阴阳五行等家思想，一般被视为杂家著作。但其中保存了不少神话传说故事，在一定程度上反映出古代社会的面貌和劳动人民的愿望。如著名的《女娲补天》《后羿射日》《大禹治水》等。

《三国志》 一部纪传体分国史。西晋陈寿著。分《魏志》《蜀志》《吴志》共38卷。罗贯中的《三国演义》有很大一部分是以《三国志》作为蓝本的。

*《古诗十九首》 南朝梁昭明太子萧统在《文选》中所辑十九首"古诗"，题为"古诗十九首"。约创作于东汉末年桓、灵时期，作者不详，但并非一人所作。从内容上看，这些诗主要写作者的失意和哀伤，写游子、思妇的离愁和相思。

《世说新语》 小说集，南朝宋刘义庆撰。这是一部记载魏晋人物言谈轶事的笔记小说，原名《世说》，唐时称《世说新书》，北宋通行《世说新语》。它对后世文学有很大影响，书中许多故事成为诗文和小说戏剧的典故和题材，有的成为人们常用的成语，如"望梅止渴""口若悬河"等。

《搜神记》 笔记体志怪小说集。东晋文学家干宝著。所记多为神怪灵异，其中也保存着一些民间传说。如《干将莫邪》等。它代表了魏晋南北朝小说的最高成就。

*《文心雕龙》 中国古代文学理论专著。南朝梁刘勰撰(写成于齐末)。全书10卷，50篇，分上、下编。上编除《原道》《宗经》等五篇带有绪论性质外，其他如《明诗》《诠赋》诸篇，着重论述各体作品的特征和历史演变；下编有《神思》《体性》《风骨》《通变》《时序》《物色》《知音》诸篇，探讨创作、批评的原则和方法，以及文学和时代的关系等。全书系统完整，把文学理论批评推向新的阶段，成为我国文学批评史上杰出的著作。

《枕中记》 传奇小说。唐沈既济作。写卢生在邯郸客店中，于自叹仕途不达之时，借道士吕翁的青瓷枕入睡，时值客店主人方蒸黄粱。睡梦中，经历了平生所狂热追求的出将入相的荣华富贵生活。可是一梦醒来，黄粱尚未蒸熟。由此，卢生方才领悟到了宠辱、穷达、得失、死生之道，应以恬淡寡欲处世。此作借此反映了唐代官场互相倾轧的丑恶现实，对封建士子热衷功名富贵的思想进行了深刻的讽刺，但也宣扬了"人生如梦"的消极思想。

《柳毅传》 传奇小说。唐李朝威作。写书生柳毅帮助受夫家虐待的龙女的故事。龙女的遭遇，实际上反映了封建社会妇女的痛苦。此作极富浪漫主义色彩，人物性格鲜明，故事情节曲折，描写细腻，语言生动。后世不少剧种据以编成《张生煮海》《柳毅传书》《龙女牧羊》等剧目。

《李娃传》 传奇小说。唐白行简作。写荥阳巨族公子郑生与名妓李娃热烈相恋的故事。歌颂了下层妇女李娃，暴露了封建家长的残暴和虚伪，但也宣扬了追求功名利禄的庸俗思想。此作人物性格突出，情节波澜起伏，结构完整，是唐传奇中的著名作品。

《霍小玉传》 传奇小说。唐蒋防作。写书生李益在长安先与歌妓霍小玉相恋同居后又遗弃霍小玉的故事。反映了当时表现在婚姻问题上的社会矛盾，谴责了李益利欲熏心的卑劣行径。此作心理描写细致入微，人物性格鲜明饱满，语言通俗生动。明代汤显祖所作《紫钗记》，曾取材于此，但情节不尽相同。

《莺莺传》 传奇小说，又名《会真记》，唐元稹作。写张生对崔莺莺始乱终弃的故事。小说在客观上暴露了封建社会中妇女的卑下地位，并通过莺莺这一艺术形象的塑造，表达了追求自由爱情、要求妇女解放的呼声。因作者封建正统思想很浓，极力为张生的负心辩护，并视莺莺为"尤物"，致使作品后一部分失去应有的光彩。此作对后世影响极大，据本篇而改编的剧本多不胜数，至今仍成为各种剧种的传统剧目之一。

《太平御览》 简称《御览》。百科全书性质。宋太祖命人编辑。初名《太平总类》。全书一千卷，分55部，引书多至1 690种。《太平御览》与同时编纂的史学类书《册府元龟》、文学类书《文苑英华》和小说类书《太平广记》合称为"宋四大书"。该书有很高的史料价值。

《梦溪笔谈》 用笔记体裁写成的综合性学术专著。北宋科学家、政治家沈括著。书中共609条笔记，内容涉及自然科学、人文科学以及政治、军事、法律、文学、艺术等方面，不少创造性见解处于当

时世界领先地位，是中国科学史上的坐标。

*《资治通鉴》 北宋司马光主持编写的我国最大的一部编年体通史。它综合了各朝纪传体断代史的成果，把上起战国下至五代长达1 300多年的历史，以年月为经，史实为纬，依时代顺序贯通起来叙述。书名意思是"鉴于往事，有资于治道"，即吸收历代兴衰成败的经验教训，作为封建统治者治理国家的借鉴。

*《窦娥冤》 杂剧剧本。全名《感天动地窦娥冤》。元关汉卿作。写穷秀才窦天章之女窦娥，三岁丧母，七岁时，父亲为了还债和换取上京赶考的路费，将她押给蔡婆婆做童养媳。她十几岁成亲，婚后不久，丈夫死去，婆媳相依为命。一天，婆婆去赛卢医家讨债，赛图谋将她勒死以赖债。刚要动手，被地痞张驴儿父子路遇相救。张氏父子以救命索赏为由，赖在蔡家，威逼婆媳俩与他父子成亲，窦娥坚决不从，张驴儿便在汤里投毒，不料反而毒死了自己的父亲。但他反诬窦娥投毒害命，断案昏官竟将窦娥判处死刑。临刑前，窦娥面对天地发下三桩誓愿：倘若死得冤屈，颈血不落地而飞上白练；六月飞雪掩埋其尸；当地干旱三年。死时，果然感动天地，样样应验。三年后，窦娥的父亲任提刑肃政廉访使，回乡察访。窦娥托梦给父亲，终于昭雪了这件冤案。作品真实地描绘了当时残酷的社会现实，抨击了封建政治的黑暗，表现了人民群众的反抗情绪。剧本情节曲折，矛盾冲突尖锐激烈，人物个性鲜明，语言精练、生动，富于表现力，是关汉卿杂剧中现实主义与浪漫主义相结合的优秀之作。

《救风尘》 杂剧剧本。全名《赵盼儿风月救风尘》。元关汉卿作。写妓女赵盼儿搭救结拜妹妹宋引章的故事。剧本反映了当时妓女辛酸而悲惨的命运，歌颂了赵盼儿聪明、机智、见义勇为、患难相助的可贵精神。这是一部杰出的现实主义古典喜剧。

《望江亭》 杂剧剧本。全名《望江亭中秋切鲙》。元关汉卿作。写青年妇女谭记儿搭救丈夫白士中的故事。作品塑造了一个勇敢、机智、不畏强暴、富有反抗精神的妇女形象，表现了被压迫群众对战胜封建主义邪恶势力的乐观信念。全剧洋溢着欢乐愉快的气氛，充满喜剧色彩。

*《西厢记》 杂剧剧本。全名《崔莺莺待月西厢记》。五本二十一折。元王实甫作（一说第五本为关汉卿作）。写相国小姐崔莺莺在普救寺遇书生张生（君瑞），二人一见倾心。适遇孙飞虎兵围普救寺，崔母声言能解兵围者即以莺莺许之。张生仗义相救，计退贼军。事后，崔母嫌张生出身寒苦，弃约赖婚。在侍女红娘的热情帮助下，张生和崔莺莺便私下结合。在既成事实面前，崔母虽无可奈何，却又强迫张生上京应试。其后，崔莺莺原所许配的郑尚书之子郑恒又从中破坏，崔母乘机反悔。经过张生和莺莺的共同努力，战胜了一切阻挠，有情人终成眷属。剧本歌颂了青年男女对旧礼教的叛逆精神，精心塑造了张生、莺莺、红娘等性格鲜明的典型人物形象。体裁突破了元杂剧每剧四折的体例，大大扩展了篇幅，结构严谨，场次洗练；文辞优美，诗意浓厚。它体现了元杂剧的辉煌成就，在戏曲发展史上影响深远。明、清以来，戏曲、曲艺改编演出甚多。

《梧桐雨》 杂剧剧本。全名《唐明皇秋夜梧桐雨》，元白朴作。取材于白居易的《长恨歌》，但删去道士求仙一段。作者倾心歌颂帝妃爱情，但又写明皇之昏庸及杨、安私通，造成主题上的矛盾与混乱。惟抒情写景较有特色，尤以第四折中以雨打梧桐叶的实写引出雨滴人心碎的虚写，情景交融，极富诗意。

《汉宫秋》 杂剧剧本。全名《破幽梦孤雁汉宫秋》，元马致远作。写汉元帝为匈奴所胁迫，遣爱妃王昭君出塞和亲。剧本着重描写了元帝与昭君的爱情，同时，又突出表现了昭君对汉朝的感情，谴责了文武百官的怯懦无能。作者置身于元代的统治下，在情节的处理上，不按史实细节，而将昭君改为投江而死，结成青冢之恨，寓有明显的现实用意。剧作曲辞优美，情思凄婉，充满了浓厚的抒情气氛。

*《三国演义》 我国最早的一部章回体长篇历史小说。原名《三国志通俗演义》，明代罗贯中著。作者在吸取陈寿著《三国志》及裴松之注、元代《三国志平话》以及有关野史杂记、民间传说等题材的基础上，经过加工而写成此书，被视为群众和作家创作相结合的产物。原书24卷，240则，清人毛宗岗作了一些修订，成为现在通行的120回本。全书以魏、蜀、吴三国的兴亡为线索，生动地描写

了从东汉灵帝建宁二年(169)到晋武帝太康元年(280)100余年的历史事件,以艺术的形式高度概括了三国纷争的历史。全书有鲜明的尊刘抑曹倾向,通过赞美圣君贤相,抨击奸臣小人,反映了人民希望有保国安民的人才出来平息动乱、治理天下的强烈愿望,也深刻地反映了封建统治阶级内部矛盾斗争的残酷性和复杂性。

《水浒传》 我国历史上第一部以农民起义为题材的长篇章回体小说。又名《忠义水浒传》。小说根据宋史记载的北宋末年宋江等36人的起义史实,并结合民间传统的戏曲、话本中的有关故事,在人民群众长期口头创作的基础上,经过作家的综合加工和文人多次增删、修改而成。其作者相传为明初的施耐庵。流行的版本较多,常见的有120回本、100回本和71回本。小说通过生动的艺术描写,展现了宋江起义发生、发展直至失败的整个过程,挖掘了"官逼民反"的起义根源,揭示了农民起义在当时的历史条件下必然失败的命运。小说故事生动,情节曲折,结构完整,环环相扣,有些章节还可独立成篇。语言明快洗练,富于节奏感,将深刻的思想性和精湛的艺术性高度地融合在一起,成为我国古代长篇小说的又一高峰。

《西游记》 我国古代著名的浪漫主义的长篇神话小说。明吴承恩著。全书共100回。通过唐僧取经的故事,刻画了孙悟空的形象,表现了他蔑视权威、不畏强暴、除恶务尽的战斗精神,可以说,整部书是孙悟空的战斗史。小说最精彩的部分是《大闹天宫》。

《金瓶梅》 我国明代第一部由文人个人创作的长篇小说。与《三国演义》《水浒传》《西游记》合称为"四大奇书",清人张竹坡又称之为"第一奇书"。大约创作于明隆庆二年(1568)至万历三十年(1602)之间,初刻于万历三十八年(1610),万历四十五年刻词话本署名为"兰陵笑笑生"。全书100回,借《水浒传》中"武松杀嫂"一节为引子,通过对官僚、恶霸、富商三位一体的反动势力代表人物西门庆及其家庭罪恶生活的描述,托古讽今,暴露了明代封建社会的黑暗和腐败。在题材、结构、表现手法上给《红楼梦》以巨大影响,近人何其芳即谓《红楼梦》与之有渊源关系。但书中明显地宣扬了因果报应之说,且秽语甚多,自然主义的描写不少,产生了不良影响。

《拍案惊奇》 明代拟话本代表作。与《二刻拍案惊奇》均为明末凌濛初所著。与冯梦龙的《喻世明言》《警世通言》《醒世恒言》齐名,皆为明代"话本""拟话本"的代表作品,在中国小说史上占有重要地位,世称为"三言二拍"。是一部具有现实主义意义的通俗小说集,作品题材广泛,内容丰富,它们生动地描述了封建时代官场衙门的黑暗,科举制度的弊端,炼丹拜金的荒唐,僧侣的谋财与渔色,挥霍纵欲的世风,一夫多妻的恶果,贫穷与富贵的对立,市侩的狡诈及至诚商人的仁厚等等。这些五光十色的故事深刻地反映了封建社会的没落。全书大多数作品故事完整,情节曲折,人物刻画传神,摹拟人情世态真实,给后人留下了许多脍炙人口、雅俗共赏的奇篇。

《醒世恒言》 原名《古今小说》,话本小说集。明末冯梦龙著。与其另两部话本小说集《警世通言》《喻世明言》,合称"三言"。《醒世恒言》作为成书于明末的话本小说,它显示出文学创作上的一些新气象,即对商业、商人的肯定和重视,扭转了以往文学作品的轻商偏向。作品不仅把商场作为人物活动的重要背景,而且对商人进行了精心刻画,表现了他们的善良心地及美好品质。作品中的人物,无论是小商小贩,还是巨商大贾,不但行为美好,而且都有圆满的结局。如《卖油郎独占花魁》这篇小说,数百年来脍炙人口、流传不衰。

《警世通言》 话本小说集。明末冯梦龙著。"三言"之一。共有40卷,每卷为一个短篇小说,收录的是宋元的话本以及明代的拟话本,其中宋元旧作占了将近一半。在主题方面,爱情描写在《警世通言》中占了很大比例,包括《杜十娘怒沉百宝箱》《玉堂春落难逢夫》等名篇,其中《杜十娘怒沉百宝箱》在思想性和艺术性方面都代表了明代拟话本的最高成就。而《俞伯牙摔琴谢知音》《李谪仙醉草吓蛮书》都刻画了古代知识分子的形象。

《永乐大典》 类书名。明成祖命解缙等辑。初名《文献大成》,后收各类图书七八千种,辑成22 877卷,凡例、目录60卷,定名《永乐大典》。始于永乐元年,成于永乐六年。全书按韵目分列单字,按单字依次辑入与此字相联系的各项文史记载。

《牡丹亭》 传奇剧本。全名《牡丹亭还魂记》,或称《还魂记》《还魂梦》《牡丹亭梦》。明汤显祖

作。写南安太守杜宝之女杜丽娘与书生柳梦梅相爱的故事。剧本通过杜丽娘梦而死、死而生的离奇幻想的情节，揭露了封建礼教的罪恶，歌颂了青年男女生死不渝的爱情，充满了浪漫主义色彩。此作构思奇特，人物心理刻画细腻，曲辞优美，文采缤纷。

《长生殿》 传奇剧本，清洪昇作。根据历代史、传、传奇、小说有关唐天宝时期的记载与传闻，突出描写唐明皇李隆基和贵妃杨玉环相爱的故事。剧本歌颂了李、杨之间的真挚爱情，但又着力暴露他们的爱情给当时社会带来的灾难，批判他们的荒淫无耻，表现出主题思想上的矛盾性。

《桃花扇》 传奇剧本。清孔尚任作。写明末复社名士侯方域、经友人杨龙友介绍，和秦淮名妓李香君订立婚约。阉党残余阮大铖为了拉拢、收买侯方域，暗中资助李香君妆奁，被香君坚决拒绝。阮即依附权奸马士英，对侯、李施加种种迫害。后竟强迫香君嫁于漕抚田仰为妾。香君誓死不从，以头撞地，血溅在侯和她定情时所赠的宫扇上。杨龙友就血画成一枝桃花。南明覆灭之后，侯、李二人不期相会于栖霞山，怀着明亡之恨，割断情根，双双出家。剧本"借离合之情，写兴亡之感"，以侯、李爱情故事为线索，利用真人真事和大量文献资料，形象而深刻地反映了明末黑暗、动荡的社会现实，着重揭露昏君当朝、权奸掌柄、文争于内、武哄于外的腐败政治。

*《聊斋志异》 文言短篇小说集。清蒲松龄著。对科举制的抨击与批判，反映科举制的弊端是《聊斋志异》的一个主要内容。由于蒲松龄身居下层，深知民间疾苦，所以《聊斋志异》中有许多揭露黑暗之作，如《席方平》，通过"冥间"一件冤狱的处理过程，深刻地揭露了当时现实社会中封建官府统治下的暗无天日，以及人民的含冤莫伸。蒲松龄对爱情的美好向往，促使他写了许多表现婚姻爱情的作品，如《婴宁》《青凤》《黄英》等。在这一类作品里，女主角往往集年轻、美丽、聪明、活泼、温柔于一身，更多的或是青春貌美的花妖，或是情操高尚、才识过人的狐魅。她们扮演主动追求爱情的角色。男主人公则往往是潦倒、不得志的中下层书生。这些作品都强调了平等自由的爱情，在一定程度上否定了"理"与"礼"。《聊斋志异》在艺术上代表了我国古代文言短篇小说已经达到和能够达到的最高水平。

《全唐诗》 清彭定求等十人奉敕辑。900卷。以清初季振宜的《唐诗》为底本，共收唐、五代诗歌49 403首，残句1 000余条，作者2 837人，大致按时代先后排列，并附小传，间有校注。它是研究唐诗重要的参考书。

《古文观止》 总集名。清康熙年间吴楚材、吴调侯编选。"观止"取叹为观止之意。12卷。上起先秦，下迄明代，选文222篇。以散文为主，按时间先后编排。流传较广，旧时为启蒙读本。

《四库全书》 《四库全书》是清代乾隆年间官修的荟萃古代典籍的大型综合丛书。共辑录清代乾隆以前历代重要典籍3 461种，79 309卷，分装为36 000多册。按经（被儒家列为经典和注释经典的著作）、史（记述历代史实、地理疆域、官职等书）、子（战国以来诸子百家的著作及工农、医等各种科学技术著作）、集（历代作家诗文集）四大部分类分别编列。《四库全书》对乾隆以前的古籍保存有着很大的作用，它是研究我国封建社会文化史、思想史的重要参考资料。

《儒林外史》 长篇小说。清吴敬梓作。全书由许多彼此独立的故事传递勾连而成。它以整个封建社会为批判对象，以不同类型的封建知识分子为中心，通过对他们生活和心灵的描绘与剖析，勾画了一群"儒林"的丑恶形象。小说无情地揭露了这批精神空虚和精神堕落的知识分子的面貌，进而抨击了戕害知识分子灵魂、使其道德沦丧的科举制度；同时，又围绕这群人物活动的环境，描写了谄媚逢迎、贪赃枉法的腐败官吏以及地主、官僚、盐商、贤士、衙役、书办、卜医、星相、恶棍、骗子，乃至和尚、道士之间钩心斗角、互相倾轧的社会风习，表现了封建社会的极端腐朽和行将崩溃的趋势。作品秉持公心，指摘时弊，其文破而能谐，婉而多讽；所嘲人物，亦写得声态并作，使其世相如在眼前。它是中国古典文学中讽刺艺术的最高峰，给后世谴责小说以直接影响。

*《红楼梦》 长篇小说。共120回。又叫《石头记》《金玉缘》。前80回为清曹雪芹所作，后40回多认为由高鹗续成。小说以贾宝玉、林黛玉的爱情悲剧为主线，联系广阔的社会背景，描述了荣、宁二府父子、兄弟、妻妾、主仆之间，表现在婚姻、道德、文化、教育、财产等各方面错综复杂的矛盾冲突。有对立阶级的压迫与抗争，也有统治阶级内部的钳制与叛逆；有家族之间的倾轧、骨肉之间的陷

害，也有豪强之间的掠夺、走卒之间的诱骗。其中，尤以宝玉、黛玉同贾政、薛宝钗等人之间所展开的反封建礼教、争取爱情自由的斗争最为激烈。作品规模宏大，结构谨严，虽事件繁纷，但错落有致；描写自然逼真而无夸饰之痕，语言丰富而生动，特别是塑造了一大批栩栩如生、呼之欲出的各阶级、各阶层人物形象。其中，贾宝玉、林黛玉、薛宝钗、王熙凤、尤三姐，乃至作者寥寥几笔勾勒的刘姥姥、焦大等，均为我国文学画廊中著名的艺术典型。作品虽对封建大家庭的没落不时流露出惋惜之情，描写亦带有贵族色彩，但瑕不掩瑜，作品仍以其高度的思想性和艺术成就，成为我国古代长篇小说中现实主义的高峰。后世研究《红楼梦》，被视作一种专门学问，称为"红学"。

附：贾府世系表

宁国公贾演—贾代化
- 贾敷
- 贾敬
  - 贾珍（尤氏）—贾蓉（秦可卿）
  - 贾惜春

荣国公贾源—贾代善（贾母）
- 贾赦（邢夫人）
  - 贾琏（王熙凤）—巧姐
  - 贾迎春（庶出）
- 贾政（王夫人）
  - 贾珠（李纨）—贾兰
  - 贾元春
  - 贾宝玉
  - 贾探春（庶出）
  - 贾环（庶出）
- 贾敏（林如海）—林黛玉

（注：画线人物，冷子兴演说时已不在世；括号内人物是前一人物的配偶；贾宝玉与林黛玉是姑表亲，与薛宝钗是姨表亲；邢夫人系贾琏继母。）

《官场现形记》 长篇小说。清末李宝嘉作。共60回。全书由许多独立成篇的短篇故事连缀而成。全面暴露和讽刺晚清官场的腐败，笔锋所及，上自军机大臣、总督、巡抚，下至道台、知县乃至典史小官，惟妙惟肖地勾勒出他们卖官鬻爵、克扣军粮、吞没赈款、贩卖人口、媚上压下、欺诈勒索等卑行丑闻。其间也反映了帝国主义对中国的侵略和人民群众自发的反抗斗争，在一定程度上触及了当时社会的主要矛盾。但又把挽救中国的希望寄托在官场中所谓"理想"的封建官僚身上。

《二十年目睹之怪现状》 长篇小说。清末吴趼人作。共108回。全书以"九死一生"这个人物的商业活动为线索，写他所遇、所见、所闻，以众多的短小故事连缀而成。"九死一生"所目睹的"怪现状"，主要包括中国官场的贪财受贿、营私舞弊；商场的官商勾结、尔虞我诈；洋场的嫖骗拐赌、醉生梦死。其中尤以对封建官僚的黑幕揭露最为尖刻。作品文笔生动，讽刺辛辣。但对人物大都进行漫画式描写，特别是主张以恢复旧道德来改造"怪现状"，削弱了对社会本质的深刻揭露和批判，仅限于对表面现象的穷形恶诋与谴责。

《老残游记》 长篇小说。题洪都百炼生撰，实为清末刘鹗作。共20回。以江湖医生老残四处行医的经历为线索，通过他的所见所闻，暴露当时某些官吏的残暴昏庸，着重抨击了那些名为"清官""能吏"，实为昏官酷吏的虐民行为，痛斥他们以"万家流血"染红自己的帽顶的罪恶本质。小说描写技巧较高，尤善写景状物，以第二回中对大明湖、千佛山的描写最为著名。另如白妞说书一节，也脍炙人口。

《孽海花》 长篇小说。清末曾朴作。共30回。作品以状元金雯青和名妓傅彩云的故事为线索，穿插了大量官僚、文人的琐闻轶事，从一个侧面反映了同治初年到甲午战争失败近三十年间的社会政治、外交、文化、思想状况，对清末黑暗政治的揭露较为有力。在讽刺时政的同时，作品同情和赞扬孙中山领导的革命运动，但对光绪皇帝和维新派及其他改良主义者抱有很大的幻想，致使作品批判力量大为削弱。小说结构完整，语言生动，文采斐然，惟对秘闻艳事描写过多，表现出低级庸俗的趣味。

《人间词话》 近代极负盛名的文学理论批评著作。它集中体现了著名国学大师王国维的文学、

美学思想，是中国古典文艺美学历史上里程碑式的重要作品。其中的“境界说”是王国维美学思想的核心，书中所评价的是中国词发展史上的重要作家和作品，但涉及了美学和文艺理论中的很多基本问题。所以说《人间词话》是一本集中国古典美学和文学理论之大成的著作。

三、中国现代、当代作家

林纾 (1852—1924)原名群玉，字琴南，号畏庐，别署冷红生。福建闽县(今福州市)人。近代文学家、翻译家。翻译小说有《巴黎茶花女遗事》《黑奴吁天录》等，还有《畏庐文集》《畏庐诗存》等。

刘大白 (1880—1932)浙江绍兴人。现代诗人。五四时期参加新文化运动，并写作新诗，是新诗倡导者之一。著有诗集《旧梦》等。

***鲁迅** (1881—1936)浙江绍兴人。我国现代伟大的文学家、思想家和革命家。1918年第一次以“鲁迅”为笔名发表中国现代文学史上第一篇白话小说《狂人日记》，随后连续发表《孔乙己》《药》《故乡》等著名小说。1921年发表代表作《阿Q正传》，成功地塑造了阿Q这一典型形象，《阿Q正传》是具有世界影响的不朽名著。1923年写成小说集《呐喊》，为现实主义的新小说奠定了基础。其后又发表了《祝福》等著名小说和《藤野先生》《范爱农》《野草》等著名散文。“四一二”大屠杀后，定居上海，专门从事写作，研究马列主义，成为坚定的无产阶级战士，先后主编刊物和写作优秀杂文《记念刘和珍君》《为了忘却的记念》《“友邦惊诧”论》等，此外还翻译果戈理、法捷耶夫等外国作家的作品。他是现代世界文坛最有成就的作家之一。新中国成立后出版了《鲁迅全集》20卷。

杂文是鲁迅一生运用最多的文学形式。通过杂文，鲁迅显现出他不屈不挠与旧势力战斗到底的革命者形象。

鲁迅杂文所含甚“杂”，主要内容有两大特点：一是它反映的中国社会具有相当的深度和广度，从中人们可以清楚地看到中国近、现代社会的历史面貌。如单从某一篇看，他的杂文所评述的多是具体、细小、平常之事，但汇在一起却是一个完整的社会形象。因此，他的杂文又很具概括性和代表性。二是鲁迅的一生关注中国的国民性改造问题，这一工作主要是由他的杂文来完成的。鲁迅杂文形象性很强，他文章中的说理、论辩、批判、驳论等逻辑力量都是透过鲜明的形象来体现的，因而他的杂文具有浓郁的艺术色彩。鲁迅杂文的文体自由多变，短评是他常用的形式。他的文风或严峻凛然，或清新隽永，或锋芒毕露，或泼辣犀利，或意味深长，多姿多彩，不拘一格。他的杂文是现代文学中有重大影响的一种文体。

作品集简况：

(1)小说集两部：《呐喊》《彷徨》。

(2)历史小说集一部：《故事新编》。

(3)散文集一部：《朝花夕拾》(原名《旧事重提》)。

(4)散文诗集一部：《野草》。

(5)杂文集16部：①《热风》；②《坟》；③《华盖集》；④《华盖集续编》；⑤《而已集》；⑥《三闲集》；⑦《二心集》；⑧《南腔北调集》；⑨《伪自由书》；⑩《准风月谈》；⑪《花边文学》；⑫《且介亭杂文》；⑬《且介亭杂文二集》；⑭《且介亭杂文末编》；⑮《集外集》；⑯《集外集拾遗》。

(6)翻译了俄国作家果戈理的《死魂灵》、苏联作家法捷耶夫的《毁灭》等作品。

周作人 (1885—1967)浙江绍兴人。现代散文家。“文学研究会”发起人之一，五四运动时期提倡“人的文学”，20世纪30年代和林语堂一起鼓吹“闲适幽默”小品。抗战时期曾任伪职。著有《自己的园地》及《中国新文学的源流》等。

柳亚子 (1887—1958)江苏吴江人。近代著名诗人。工于旧诗，尤长于七言，诗词具有爱国精神。著有《柳亚子诗词选》《磨剑室文集》。

胡适 (1891—1962)安徽绩溪人。现代文学家、学者。首先在《新青年》杂志上发表《文学改良刍议》，提倡白话文，揭开了五四文学革命运动的序幕；发表新诗集《尝试集》。他对五四运动有一定的贡献。但五四高潮一过，他立即发表了《多研究些问题，少谈些主义》，反对马克思主义。主要作品

有《胡适文存》等。

刘半农 (1891—1934)江苏江阴人。现代文学家、语言学家。著有诗集《扬鞭集》等。

***郭沫若** (1892—1978)原名郭开贞,笔名沫若,一署郭鼎堂。四川乐山人。我国现代杰出的作家、诗人、历史学家、剧作家、考古学家、古文字学家、社会活动家。1918年开始新诗创作。1921年,与郁达夫、成仿吾等组织"创造社",并出版了第一部诗集《女神》。1927年"四一二"反革命政变前夕,发表了《请看今日之蒋介石》。1928年起,从事中国古代史和甲骨文、金文等研究,著有《中国古代社会研究》《甲骨文字研究》等。抗日战争时期,创作了《屈原》《虎符》《棠棣之花》等历史剧。1944年发表《甲申三百年祭》,总结了明末李自成领导农民起义失败的历史经验。新中国成立后发表了《蔡文姬》等戏剧作品,著有《奴隶制时代》等书。他是我国新诗的奠基人,是继鲁迅之后文化界公认的领袖。

许地山 (1893—1941)原籍台湾台南,寄籍福建漳州。现代作家。"文学研究会"发起人之一,1924年留学英国,抗战前后,在香港从事进步文化活动。著有散文集《空山灵雨》,短篇小说集《缀网劳蛛》等,还编著《中国道教史》(上)《印度文学》《大藏经索引》等。

丁西林 (1893—1974)原名丁燮林,字巽甫。生于江苏省泰兴。现代剧作家、物理学家、社会活动家。五四以来致力于喜剧创作,颇有影响。剧作有《一只马蜂》《亲爱的丈夫》、独幕喜剧《三块钱国币》、四幕喜剧《等太太回来的时候》等。

洪深 (1894—1955)江苏常州人。现代剧作家。1930年加入"左联",随后写出三部曲《五奎桥》《香稻米》和《青龙潭》,为五四以来优秀剧作之一。著有《洪深文集》。

周瘦鹃 (1894—1968)原名祖福,江苏苏州人。现代作家、文学翻译家。鲁迅赞美他是"昏夜之晨光,鸡群之鸣鹤"。抗战期间有短篇小说《亡国奴日记》《祖国之徽》《南京之国》等。新中国成立后有散文集《行公集》《花花草草》等。

叶圣陶 (1894—1988)原名叶绍钧,江苏苏州人。我国现代著名作家、教育家、出版家、社会活动家。他编过《小说月报》和《中学生》等刊物,1921年,他与沈雁冰、郑振铎等组织"文学研究会"。其主要作品长篇小说《倪焕之》,是中国现代文学史上最早出版的长篇小说之一;童话集有《稻草人》《古代英雄的石像》;散文集有《小记十篇》。

郑伯奇 (1895—1979)陕西西安人。现代作家。1921年加入"创造社",1928年创作了独幕剧《抗争》。后参加"左联",从事进步文化活动,著有戏剧集《轨道》、短篇小说集《打火机》等。

邹韬奋 (1895—1944)江西人。现代作家。从1926年在上海主编《生活》周刊起,毕生从事新闻出版工作,1936年被捕,出狱后主编《抗战》等进步刊物。著有《韬奋文集》。

林语堂 (1895—1976)福建龙溪人。现代文学家。1932年起编辑《论语》《人间世》《宇宙风》等刊物,提倡"闲适幽默"小品,成为"论语派"的主要代表。著有《剪拂集》《大荒集》等。

冯友兰 (1895—1990)字芝生,河南唐河人。中国著名哲学家、哲学史家、教育家。著有《中国哲学史》《中国哲学史新编》《中国哲学史史料学初稿》等书,其中《中国哲学史》为国内外学习中国哲学的标准教科书。

***茅盾** (1896—1981)原名沈德鸿,字雁冰,浙江桐乡人。中国小说家、文学家、社会活动家。1921年与郑振铎、王统照等发起成立"文学研究会",主编《小说月报》。1927～1928年第一次用"茅盾"作笔名发表了中篇小说《幻灭》(《幻灭》《动摇》《追求》是茅盾的《蚀》三部曲)。1932年完成了他的代表作——长篇小说《子夜》;此外发表了《林家铺子》《春蚕》(《春蚕》《秋收》《残冬》是茅盾的"农村三部曲")等名著。1940年到延安讲学,写了《见闻杂记》。1941年创作长篇小说《腐蚀》。此后发表了长篇小说《霜叶红于二月花》、剧本《清明前后》等。茅盾是五四新文化运动的先驱者之一,是我国革命文艺奠基人之一。选入课本的作品有《白杨礼赞》《风景谈》。

郁达夫 (1896—1945)浙江富阳人。现代小说家、散文家。"创造社"主要成员之一,主编《创造季刊》。1921年完成了其处女作短篇小说《沉沦》。1923年写了小说《春风沉醉的晚上》和《薄奠》,这是他创作发展的高峰。1937年以后,积极参加抗日活动。1945年9月被日本宪兵队杀害。

徐志摩 (1897—1931)浙江海宁人。现代诗人。曾主编《诗刊》《新月》等文学期刊,是"新月派"

的骨干。著有《志摩的诗》《猛虎集》等。代表作有《再别康桥》。

成仿吾 (1897—1984)湖南新化人。现代作家。“创造社”发起人之一。著有短篇小说《流浪》，出版《长征回忆录》。

宗白华 (1897—1986)江苏常熟人。著有《美学与意境》《美学散步》等。宗白华秉承中国文化之至诚至真、至大无边、至刚至柔的精髓从业做人。其为人与学识，都体现了一种“中国文化的美丽精神”。

朱光潜 (1897—1986)美学家。安徽桐城人。我国现代美学的开拓者和奠基者之一。毕生从事美学教学和研究，在西方美学思想和中西方文化研究方面造诣较深。著有《悲剧心理学》《文艺心理学》《西方美学史》等。

曹靖华 (1897—1987)原名曹联亚，河南卢氏人。我国著名翻译家、散文家。1923 年起就开始翻译俄国进步作品和苏联革命作品，其中主要译著有《三姊妹》《铁流》和《青年近卫军》等。新中国成立后出版《花》《飞花集》等散文集。20 世纪 80 年代初又写了《小米的回忆》等著名散文，有较大的影响。

王统照 (1897—1957)山东诸城人。现代作家。“文学研究会”发起人之一，一度主编《文学》杂志。作品有《王统照短篇小说选》《王统照诗选》。

田汉 (1898—1968)原名寿昌，湖南长沙人。我国革命戏剧奠基人和戏剧改革运动的先驱者，我国早期革命音乐、电影、戏剧界的组织者和领导者。他的新歌剧《扬子江的暴风雨》，对革命歌剧的发展起了奠基作用，他还同音乐家聂耳、冼星海、贺绿汀合作，创作了《毕业歌》《义勇军进行曲》等优秀歌曲，其中《义勇军进行曲》被确定为新中国的国歌。新中国成立后，创作了话剧《关汉卿》《文成公主》等。

朱自清 (1898—1948)字佩弦，江苏扬州人，祖籍浙江绍兴。现代散文家、诗人，“文学研究会”成员。著有诗文集《踪迹》，散文集《背影》《欧游杂记》。他的优秀散文有《春》《背影》《荷塘月色》《绿》等。

郑振铎 (1898—1958)笔名西谛，福建长乐人，现代作家、文学史家。1921 年与茅盾、王统照发起成立我国第一个文学社团“文学研究会”。先后主编《文学旬刊》《小说月报》和《世界文库》等。短篇小说集有《取火者的逮捕》，文学研究著作有《文学大纲》《中国俗文学史》《欧行日记》等。

翦伯赞 (1898—1968)维吾尔族，湖南省桃源县人。我国著名的马克思主义历史学家。代表作有游记体散文《内蒙访古》。

丰子恺 (1898—1975)曾用名丰润、丰仁，浙江桐乡人。中国现代画家，文学家。主要作品有散文集《缘缘堂随笔》《缘缘堂再笔》《子恺近代散文集》等十余种，画集《丰子恺漫画》《又生画集》等多种，另有学术论著和翻译作品多部。

瞿秋白 (1899—1935)江苏常州人。现代作家、政治活动家、文艺理论家，中国共产党早期领导人之一。1935 年 6 月 18 日英勇就义。作品有《瞿秋白文集》。

闻一多 (1899—1946)本名家骅，湖北浠水人。现代诗人、学者、民主战士。早年参加“新月社”，1946 年 7 月 15 日在昆明被国民党特务暗杀。著有诗集《红烛》《死水》，全部著作由朱自清编成《闻一多全集》。

*老舍 (1899—1966)原名舒庆春，字舍予，北京人。现代小说家、戏剧家。代表作有新中国成立前创作的长篇小说《骆驼祥子》《四世同堂》，新中国成立后创作的话剧《龙须沟》《春华秋实》《茶馆》等。因话剧《龙须沟》的创作，1950 年被北京市人民政府授予“人民艺术家”称号。

方志敏 (1899—1935)江西弋阳人。现代革命家。青年时代写过《呕血》《哭声》《我的心》等。在狱中写出著名散文《可爱的中国》《清贫》和《狱中记实》，是我国革命文学中的珍品。

冰心 (1900—1999)原名谢婉莹，福建长乐人。现代女作家、儿童文学家。早在五四时期她就开始文学创作活动，加入“文学研究会”。小说有《两个家庭》《斯人独憔悴》，诗集有《繁星》《春水》，儿童作品有《寄小读者》。新中国成立后，她又写了《再寄小读者》《樱花赞》《我们把春天吵醒了》等散文集。

夏衍 (1900—1995)原名沈乃熙,浙江杭州人。现代剧作家。1930年他翻译了高尔基的长篇小说《母亲》。1936年写成报告文学《包身工》和著名剧本《秋瑾传》《上海屋檐下》。抗战后写出《愁城记》《法西斯细菌》《芳草天涯》等剧本。新中国成立后,改编《祝福》《林家铺子》等剧本。

蒋光慈 (1901—1931)安徽六安人。现代诗人。他大力提倡"革命文学",先与"创造社"合作,后组成"太阳社"。《新梦》《哀中国》是他的两本表现五四精神的诗集。中篇小说《少年飘泊者》《短裤党》和长篇小说《田野的风》则是他在小说创作上的重要收获。

鲁彦 (1901—1944)原名王衡,浙江镇海人。现代作家。早期代表作为《柚子》《黄金》等小说,大革命以后代表作为《愤怒的乡村》。

柔石 (1902—1931)原名赵平复,浙江宁海人。现代小说家、"左联"五烈士之一。主要作品有小说《二月》《为奴隶的母亲》《希望》《旧时代之死》,长诗《血在沸》,散文《一个伟大的印象》等。

沈从文 (1902—1988)湖南凤凰人。现代作家。曾参加"新月社"。代表作有中篇小说《边城》,短篇小说集《沈从文短篇小说习作选》、散文集《湘行散记》等。新中国成立后致力于文物研究。

胡风 (1902—1985)原名张光人,湖北蕲春人。现代诗人、文艺理论家。代表作有诗歌《为祖国而歌》《时间开始了》,评论集《论现实主义的路》等。

冯雪峰 (1903—1976)原名冯福春,浙江义乌人。现代著名作家、诗人、文艺理论家。主要作品有诗集《湖畔》,杂文集《乡风与市风》《有进无退》《跨的日子》,电影剧本《上饶集中营》等。

胡也频 (1903—1931)福建福州人。现代作家、"左联"五烈士之一。作品有中篇小说《一幕悲剧的写实》,长篇小说《到莫斯科去》和《光明在我们的前面》。

梁实秋 (1902—1987)原籍浙江杭县,生于北京。第一篇散文诗《荷水池畔》发表于1921年5月28日《晨报》第7版。最初他崇尚浪漫主义,发表了不少诗作。40岁以后着力较多的是散文和翻译。散文代表作有《雅舍小品》。20世纪30年代开始翻译莎士比亚作品,晚年用7年时间完成百万言著作《英国文学史》。

钟敬文 (1903—2002)原名谭宗,广东海丰人。著名民间文艺学家、民俗学家、教育家、诗人、散文家,我国民俗学和民间文艺学的创始者和奠基人之一,被国内外誉为"中国民俗学之父"。著有散文集《湖上散记》等,还有报告文学《抗日的民间老英雄》等。

聂绀弩 (1903—1986)湖北京山人,是中国现代杂文史上继鲁迅、瞿秋白之后,创作成绩卓著、影响很大的战斗杂文大家。杂文集有《历史的奥秘》《蛇与塔》《血书》《二鸦杂文》等。

巴金 (1904—2005)原名李尧棠,字芾甘,笔名巴金,四川成都人。现代著名作家。1928年写成他的第一部长篇小说《灭亡》。后来又写了"爱情三部曲"(《雾》《雨》《电》)、"激流三部曲"(《家》《春》《秋》)等小说,又发表长篇小说《寒夜》《憩园》等。1981年曾获"国际但丁文学奖"。

艾芜 (1904—1992)四川新繁人。现代作家。主要著作有长篇小说《百炼成钢》《故乡》《山野》,中篇《一个女人的故事》《乡愁》,短篇《南行记》《石青嫂子》等。

沙汀 (1904—1992)四川安县人。现代作家。主要作品有长篇小说《淘金记》《困兽记》《还乡记》,短篇名著《在其香居茶馆里》。

丁玲 (1904—1986)原名蒋伟,字冰之,湖南临澧人。现代女作家。代表作有《莎菲女士的日记》《太阳照在桑干河上》。1951年《太阳照在桑干河上》获斯大林文学奖二等奖。

吕叔湘 (1904—1998)语言学家、语文教育家、翻译家。他从事语文教学与研究七十余年,撰写专著和编译著作近二十种,论文和其他文章六百余篇,内容涉及一般语言学、汉语研究、文字改革、语文教学等广泛领域。在为数不多的关于语言学通俗易懂的普及读物中,吕叔湘先生的《语文常谈》和《语文杂记》是一直为人称道的。

戴望舒 (1905—1950)浙江杭县(今杭州)人,现代诗人,现代派诗歌的代表。因其创作的《雨巷》是传诵一时的名作而被称为"雨巷诗人"。

臧克家 (1905—2004)山东诸城人。现代诗人,曾任《诗刊》主编。他的第一本诗集是《烙印》,其主要作品有讽刺诗集《宝贝儿》,文艺论文集《在文艺学习的道路上》等。他的短诗《有的人》被广泛

传诵。

冯至 (1905—1993)河北涿州人。现代诗人、散文家。鲁迅曾称他为"中国最为杰出的抒情诗人"。1927年出版诗集《无花果》。代表作有《冯至诗文集》,还翻译过《海涅诗选》。

梁遇春 (1906—1932)福建闽侯人,现代散文家。主要是翻译西方文学作品和写作散文。其散文独具一格,堪称一家。代表作有散文集《泪与笑》《梁遇春散文选集》。

李广田 (1906—1968)山东邹平人。现代文学家。早期作品有诗集《汉园集》(与卞之琳、何其芳合集)、散文集《画廊集》等。后完成散文集《灌木集》,长篇小说《引力》,诗集《春城集》等。

赵树理 (1906—1970)山西沁水人。现代小说家和人民艺术家。代表作有长篇小说《李家庄的变迁》《三里湾》,中篇小说《李有才板话》,短篇小说《小二黑结婚》《登记》等。他的作品有浓厚的乡土气息,被称为"山药蛋派"。

张天翼 (1906—1985)原籍湖南湘乡,出生于南京。现代作家。代表作为短篇讽刺小说《华威先生》,长篇小说《鬼土日记》,短篇小说《包氏父子》,儿童文学作品《大林和小林》《宝葫芦的秘密》《大灰狼》等。

吴伯箫 (1906—1982)原名熙成,山东莱芜人。现代散文家。其代表作有散文集《烟尘集》《出发集》《北极星》等。其中散文《歌声》《记一辆纺车》都是优秀散文。

冯铿 (1907—1931)广东潮州人。现代女作家、"左联"五烈士之一。她写有诗集《春雷》,短篇小说集《铁和火的新生》,中篇小说《最后的出路》等。

于伶 (1907—1997)江苏宜兴人。现代作家。他著有《夜上海》《夜光杯》等著名剧本。

萧军 (1907—1988)原名刘鸿霖,辽宁义县人。现代作家。代表作是长篇小说《八月的乡村》,新中国成立后还有长篇小说《五月的矿山》《过去的年代》等。

周立波 (1908—1979)原名周绍仪,湖南益阳人。现代作家。其代表作长篇小说《暴风骤雨》曾荣获斯大林文学奖。新中国成立后,他参加《解放了的中国》彩色影片摄制工作,再次荣获斯大林文学奖。另有长篇小说《铁水奔流》《山乡巨变》。他创作的短篇小说《湘江一夜》获1979年短篇小说一等奖。

陆蠡 (1908—1942)原名圣泉,浙江天台人。我国现代著名的散文家,宁死不屈的抗日烈士。处女作《海星》,第二本散文集《竹刀》,第三本散文集《囚绿记》,三个集子的共同特色是凝练、质朴、蕴藉而秀美。陆蠡也写过许多短篇小说,给人的感觉总是"渴望着更有生命、更有力量、更有希望和鼓舞"。

周扬 (1908—1989)湖南益阳人。现代文艺理论家。主要著作有《新的人民的文艺》等。翻译过列夫·托尔斯泰的《安娜·卡列尼娜》、车尔尼雪夫斯基的美学论文《生活与美学》等。

吴组缃 (1908—1994)原名吴祖襄,安徽泾县人。中国现代著名作家、学者。早期作品多以抨击摧残人性的封建社会为主,有着浓重的悲剧风格,后期作品关注急剧破产的农村社会的方方面面。文笔细腻委婉,风格悲凉含蓄。主要著作有散文集《拾荒集》,小说集《西柳集》《宿草集》以及长篇小说《山洪》等。

钱仲联 (1908—2003)原名萼孙,号梦苕(tiáo),江苏常熟人,著名诗人、词人、古典文学研究家,国学大师。主要著作有《韩昌黎诗系年集释》《剑南诗稿校注》等。主编《清诗纪事》《中国文学大辞典》《中国文学家大辞典》《近代诗钞》等。

殷夫 (1909—1931)原名徐柏庭,浙江象山人。无产阶级早期优秀诗人、"左联"五烈士之一。诗作有《我们是年轻的布尔什维克》等。

柯灵 (1909—2000)原名高隆任,原籍浙江绍兴。中国电影理论家、剧作家、评论家。小说集有《掠影集》《望春草》《长相思》《柯灵文集》等十余种。主要剧作《有夫之妇》《武则天》等。

艾青 (1910—1996)原名蒋海澄,浙江金华人。现代诗人。1932年加入"中国左翼美术家联盟",同年被捕。1936年出版了第一部诗集《大堰河》,长诗《大堰河——我的保姆》是他的成名之作。抗日战争期间,写了长诗《向太阳》《火把》。新中国成立后又写了《在浪尖上》《光的赞歌》等。

姚雪垠 (1910—1999)河南邓州人。现代作家。《李自成》是他的代表作,是五四以来第一部长

篇历史小说。

*曹禺 (1910—1996)原名万家宝,湖北潜江人。现代剧作家。代表作有《雷雨》《日出》《北京人》等。建国后,又创作《明朗的天》《胆剑篇》《王昭君》和改编《家》等著名剧本。

吴强 (1910—1990)江苏涟水人。现代作家。《红日》是他的代表作,是一部大规模正面描写解放战争的优秀长篇小说。

钱钟书 (1910—1998)字默存,号槐聚、笔名中书君。现代作家、古典文学研究家。江苏无锡人。代表作长篇小说《围城》被人们誉为"新《儒林外史》",除此之外,还有散文集《写在人生边上》,短篇小说集《人·兽·鬼》。

萧乾 (1910—1999)原名萧秉乾,现代著名作家、记者、文学翻译家,京派作家的代表人物。一生著作甚丰,有长篇小说《梦之谷》、自传体作品《未带地图的旅人》、报告文学《人生采访》及翻译作品《好兵帅克》等。晚年与夫人文洁若合译的现代派意识流巨著《尤利西斯》,为世人瞩目。

卞之琳 (1910—2000)江苏海门人。著名诗人、翻译家、文学研究家。作品有《卞之琳译著研究》等。

林庚 (1910—2006)福建福州人。现代诗人、古代文学学者、文学史家。北京大学教授。著有《春夜与窗》《问路集》《空间的驰想》等六部诗集及《中国文学史》《诗人屈原及其作品研究》《天问论笺》《诗人李白》《唐诗综论》《新诗格律与语言的诗化》等十一部文集。

萧红 (1911—1942)原名张乃莹,黑龙江呼兰人。现代女作家。代表作长篇小说《生死场》深受鲁迅赞扬,《小城三月》等短篇小说也比较成功。

杨绛 (1911—)原名杨季康,江苏无锡人,中国社会科学院外国文学研究员、作家、评论家、翻译家。剧本有《称心如意》《弄真成假》《风絮》,小说有《倒影集》《洗澡》,论集有《春泥集》《关于小说》,散文《将饮茶》《干校六记》,译作有《1939年以来的英国散文选》《小癞子》等,回忆录《我们仨》。

季羡林 (1911—2009)山东临清人,语言学家、比较文学家、佛学家、翻译家、散文家。主要著述有《中印文化关系史论丛》《〈大唐西域记〉校注》等,翻译印度古代史诗《罗摩衍那》。季羡林散文属"学者散文"一派,集史、识、才、情于一体,是当代"老生派"散文的代表之一。

叶紫 (1912—1939)原名俞鹤林,湖南益阳人。现代剧作家。代表作有《丰收》《火》。

何其芳 (1912—1977)四川万县(今重庆万州)人。现代诗人、文学评论家。1935年毕业于北大哲学系。代表作有诗集《预言》,散文集《画梦录》,文艺论文集《关于现实主义》,小说戏剧集《刻意集》,著名诗作有《我为少男少女们歌唱》等。

杨朔 (1913—1968)山东蓬莱人。现代小说家、散文家。他的第一部长篇小说是反映抗美援朝的《三千里江山》。还有散文集《海市》,长篇小说《洗兵马》等。他的散文《荔枝蜜》《茶花赋》《海市》《香山红叶》都是优秀散文佳作。

孙犁 (1913—2002)原名孙树勋,河北安平人。现代作家。其代表作有长篇小说《风云初记》,中篇小说《铁木前传》,短篇小说《荷花淀》,小说散文集《白洋淀纪事》。他的小说写景和抒情熔于一炉,充满诗情画意,有"诗体小说"之称。

唐弢 (1913—1992)原名唐端毅,浙江镇海人。现代著名作家、鲁迅研究家。1933年起,在鲁迅的影响下,从事杂文写作。1938年,参加了《鲁迅全集》的编校工作。代表作有《唐弢杂文选》,散文诗集《落帆集》,论文集《向鲁迅学习》。

纪弦 (1913—)原名路逾,笔名路易士。当代诗人。1936年与戴望舒等创办《新诗》月刊。是台湾诗坛的三位元老之一(另两位为覃子豪与钟鼎文)。是现代派诗歌的倡导者,其诗极有韵味,且注重创新,为台湾诗坛的一面旗帜。

伊明 (1913—1995)原名伊任之。笔名陈奕、江布、阮潜等,江苏苏州人。电影编剧、导演。著有专著《电影编导简论》,电影文学剧本《无形的战线》(编导)、《革命军中马前卒》(编导)、《城南旧事》(改编),编导艺术短片《我们是同志》《卖牛》《天山上的红花》等。

杨沫 (1914—1995)现代女作家,湖南湘阴人。1937年发表《浮尸》《怒涛》等几篇揭露日寇侵华

罪行的短篇小说。1950年出版描写抗日战争的中篇小说《苇塘纪事》。1958年出版的优秀长篇小说《青春之歌》是她的代表作。1972年起,写成了长篇小说《东方欲晓》。1978年还出版了短篇小说集《红红的山丹花》。

周而复 (1914—2004)生于南京,祖籍安徽旌德县。他的代表作有报告文学《诺尔曼·白求恩片断》,长篇小说《白求恩大夫》和《上海的早晨》。

梁斌 (1914—1996)原名梁维周,河北蠡县人。现代作家。1927年参加革命。1934年写成了第一篇短篇小说《夜之交流》。

宋之的 (1914—1956)河北丰润人。现代剧作家。主要剧作有《雾重庆》《武则天》《祖国在召唤》等。

徐迟 (1914—1996)浙江吴兴人。现代诗人、报告文学作家。他前期作品有诗集《二十岁的人》,散文集《美文集》。新中国成立后,又写了特写集《我们这时代的人》《庆功宴》。1978年写的报告文学《哥德巴赫猜想》是献给全国科学大会的厚礼。

朱启平 (1915—1993)原名朱祥麟,祖籍浙江海盐。1945年写的长篇通讯《落日》发表,反响强烈,被认为是报道第二次世界大战日本投降仪式通讯类作品的"状元之作"。

杜运燮 (1915—2002)福建古田人,现代诗人。其诗作《秋》因为"朦胧"曾被诗评界质疑。与穆旦、袁可嘉、郑敏等9位在20世纪40年代写作的诗人因合出《九叶集》而被评论界称为"九叶诗派",在中国诗歌界具有较大的影响。

柳青 (1916—1978)原名刘蕴华,陕西吴堡人。现代小说家。代表作是1959年发表的反映中国农村社会变革的长篇小说《创业史》。此外《种谷记》《铜墙铁壁》等小说也较有名。

刘白羽 (1916—2005)北京人。现代作家。代表作有短篇小说《政治委员》,中篇小说《火光在前》,特写集《早晨的太阳》。

袁水拍 (1916—1982)江苏吴县人。现代诗人。他的代表作是《马凡陀的山歌》,新中国成立后有《乌烟和煤》等诗集。

田间 (1916—1985)原名童天鉴,安徽无为人。现代诗人。1934年加入"左联"。1935年出版《未明集》《中国牧歌》等诗集。抗日战争期间,写出《给战斗者》等诗篇,被誉为"时代的鼓手"。新中国成立后出版《我的短诗》《天安门赞歌》等十几部诗集。

陈敬容 (1917—1989)四川乐山人。《九叶集》诗友成员。有散文集《星雨集》。诗集《老去的是时间》获1986年全国优秀新诗集奖。

邹荻帆 (1917—1995)湖北天门人。当代诗人和翻译家。1936年发表长篇叙事诗《做棺材的人》和《没有翅膀的人们》。1938年后曾与穆木天、冯乃超等创办《时调》诗刊。著有诗集《青空与林》《尘木集》等,诗论集《诗的欣赏与创作》,长篇小说《大风歌》等。

穆旦 (1918—1977)原名查良铮,浙江海宁人。1940年毕业于昆明西南联大外文系,后留校执教。1948年赴美国留学,入芝加哥大学英国文学系学习。1953年回国。20世纪40年代初开始诗歌创作。诗作具有深厚凝重的特点。在外国诗歌翻译方面也有较大成就。

林海音 (1918—2001)中国现代著名女作家。《城南旧事》一书既是她童年生活的写照,更是当年北京平民生活的写真,也是她最具影响力的作品。她的作品被译为多种文字,她的一生荣获众多文学奖项,在1998年"第三届世界华文作家大会"上荣获"终身成就奖"。

蔡其矫 生于1918年,福建晋江人,当代诗人。1941年写的《乡土》和《哀葬》两诗分别获晋察冀边区诗歌第一奖和第二奖。1942年写的歌词《子弟兵歌》,被选为广泛传唱的军歌。1962年后,从事自由诗、民歌体和古典诗词研究。现为福建省文联专业作家。

郭小川 (1919—1976)河北丰宁人。现代诗人。抗战时期他开始写诗,主要作品有诗集《平原老人》《青纱帐——甘蔗林》《投入火热的斗争》以及长诗《将军三部曲》等,著有《郭小川诗选》。

秦牧 (1919—1992)原名林觉夫,祖籍广东澄海,生于香港。现代散文家。其代表作有散文集《长河浪花集》,小品文《贝壳集》,童话集《蜜蜂和地球》,以散文体裁写成的文艺论文集《艺海拾贝》、

散文集《长街灯语》也较有名。

魏巍 (1920—2008)原名鸿杰,曾用笔名红杨树。河南郑州人。现代作家。其代表作是文艺通讯《谁是最可爱的人》。此外,还有诗集《黎明风暴》,文艺随笔《路标》。他的长篇小说《东方》获首届茅盾文学奖。

汪曾祺 (1920—1997)当代作家。江苏高邮人。他继承了沈从文乡土抒情小说的传统,以抒情的笔调着意描摹民情民俗,精心勾画美的人情人性,从传统文化角度再现乡土文化和民族心理。《大淖记事》获 1981 年全国短篇小说奖。

张爱玲 (1920—1995)原名张煐,原籍河北丰润,生于上海。代表作有《倾城之恋》《金锁记》等。主要作品有小说集《传奇》和散文集《流言》,随后又写有中篇小说《小艾》,长篇小说《秧歌》《赤地之恋》《怨女》和评论集《红楼梦魇》等。

郑敏 1920 年生,福建闽侯人。其创作始于 1942 年。由于艺术风格相近,与王辛笛、陈敬容、杜运燮、袁可嘉、穆旦等 9 位于 1980 年合出诗集《九叶集》。发表有关西方文学和古典哲学方面的论文多篇,并翻译《美国当代诗选》。

杜鹏程 (1921—1991)陕西韩城人。现代作家。1954 年出版的长篇小说《保卫延安》是我国第一部大规模正面描写解放战争的优秀长篇小说。此外还有中篇小说《在和平的日子里》,短篇小说《工地之夜》《夜走灵官峡》《第一天》《延安人》等。

袁可嘉 (1921—2008)浙江慈溪人。翻译家、诗人、评论家。1941 年开始发表作品。1962 年加入中国作家协会。著有专著《论新诗现代化》《半个世纪的脚印——袁可嘉文选》等。

李季 (1922—1980)河南唐河人,现代诗人。代表作有长篇叙事诗《杨高传》。1945 年以陕北民歌"信天游"的形式写出了长篇叙事诗《王贵与李香香》。

马烽 (1922—2004)山西孝义人。现代作家。其主要作品有《三年早知道》《我的第一个上级》,电影剧本《我们村里的年轻人》,长篇小说《刘胡兰传》《吕梁英雄传》(与西戎合作)等。

峻青 原名孙俊卿,1922 年生,山东海阳人。现代作家。代表作有短篇小说集《黎明的河边》《胶东纪事》等,散文集《秋色赋》,长篇小说《海啸》,短篇小说《党员登记表》《老水牛爷爷》等。

绿原 (1922—2009)原名刘仁甫。湖北黄陂人。著名作家、诗人。1942 年出版第一本诗集《童话》。著有诗集《又是一个起点》《人之诗》《另一支歌》,诗论集《葱与蜜》,散文集《离魂草》《非花非雾集》等;另有翻译作品《叔本华散文集》《黑格尔小传》和《德国的浪漫派》等。

曾卓 (1922—2002)原名曾庆冠。湖北黄陂人。当代诗人。著有诗集《门》《悬崖边的树》《给少年们的诗》等,诗论《诗人的两翼》,散文集《美的寻求者》《让火燃着》等。《老水手的歌》获全国第二届诗集奖,《听笛人手记》获 1988 年新时期全国优秀散文集奖。

牛汉 生于 1923 年,山西定襄人。1941 年开始发表诗歌作品。20 世纪 50 年代初出版的诗集有《彩色的生活》《祖国》《在祖国面前》《爱与歌》。20 世纪 80 年代以来的新作,收入《温泉》《海上蝴蝶》《沉默的悬崖》等作品集中。

曲波 1923 年生,山东蓬莱人。现代作家。1957 年出版了其代表作长篇小说《林海雪原》。其后又创作长篇小说《山呼海啸》等。

路翎 (1923—1994)原名徐嗣兴。江苏苏州人。现当代著名作家。以短篇小说《"要塞"退出以后》《一个青年经纪人底遭遇》受胡风赏识而于文坛初露头角,20 世纪 30 年代"七月派"的主力作家。代表作有中篇小说《饥饿的郭素娥》,长篇小说《财主底儿女们》。

林斤澜 (1923—2009)原名林庆澜,浙江温州人。1981 年发表的《头像》获当年全国短篇小说奖。《井亭》获北京市庆祝新中国成立 55 周年短篇小说佳作奖,《去不回门》获首届蒲松龄短篇小说奖。出版的小说集有《满城飞花》《林斤澜小说选》《矮凳桥风情》,文论集《小说说小》,散文集《舞伎》等。晚年的作品冷峻、深沉、尖刻,被称为"怪味小说"。

金庸 原名查良镛,1924 年出生于浙江海宁。当代著名武侠小说家、新闻学家、企业家、政治评论家、社会活动家,中国作家协会名誉副主席。金庸与古龙、梁羽生并称为中国武侠小说三大宗师。

代表作有《雪山飞狐》《天龙八部》《射雕英雄传》《鹿鼎记》《笑傲江湖》等。

贺敬之 1924年生，山东峄县人。现代诗人、剧作家。1942年，他和丁毅执笔集体创作的我国第一部新歌剧《白毛女》，获1951年斯大林文学奖金。新中国成立后，写了《回延安》《放声歌唱》《西去列车的窗口》等有名的诗篇。

袁鹰 1924年生，江苏淮安人。现代散文家。代表作有散文集《风帆》《井冈散记》。

茹志鹃 (1925—1998)祖籍浙江杭州市，生于上海。现代女作家。其代表作有短篇小说《百合花》《剪辑错了的故事》，其中《剪辑错了的故事》荣获1979年全国优秀短篇小说创作奖。

王鼎钧 1925年生，山东临沂人，当代著名散文家。1949年去台湾，1978年后移居美国纽约。在台期间主要作品有散文《人生三书》，小说《单身汉的体温》《透视》《王鼎钧自选集》等。

李瑛 1926年生，河北丰润人。当代著名诗人、军队作家。曾任新华社记者、《解放军文艺》编辑。其代表作有诗集《野战诗集》，长诗《一月的哀思》《难忘的一九七六》等。

公刘 (1927—2003)原名刘仁勇，又名刘耿直。江西南昌人。当代诗人。诗集《仙人掌》获1978～1982年全国新诗奖。

李准 (1928—2000)现代作家，河南孟津人。其代表作有短篇小说《不能走那条路》《李双双小传》。由他改编的电影剧本有《高山下的花环》《牧马人》《老兵新传》等，其中《老兵新传》摄成电影后，曾荣获1959年莫斯科国际电影节银质奖。他的长篇小说有《黄河东流去》。

余光中 1928年生，南京人，1949年到台湾。当代诗人。代表作有《乡愁》，诗集有《莲的联想》等。

洛夫 1928年生，湖南衡阳人。潜心现代诗歌的创作，写诗、译诗多年，对台湾现代诗的发展产生了重要的影响。1999年，洛夫的诗集《魔歌》被评选为台湾文学经典之一，2001年又凭借长诗《漂木》获得诺贝尔文学奖提名。

宗璞 原名冯钟璞，1928年生，当代女作家。1978年写的《弦上的梦》荣获全国优秀短篇小说奖，中篇小说《三生石》曾荣获全国优秀中篇小说奖。

高晓声 (1928—1999)江苏武进人。当代作家。代表作《李顺大造屋》《陈奂生上城》分别获1979、1980年全国优秀短篇小说奖。

王愿坚 (1929—1991)山东诸城人。现代作家。以善于描写革命历史题材著称，他的第一篇短篇小说是《党费》，其代表作还有短篇小说《七根火柴》《普通劳动者》。1974年与陆柱国合作编写电影剧本《闪闪的红星》。

流沙河 1931年生于成都。原名余勋坦，四川金堂人。当代诗人。《故园六咏》获1979～1980年中青年诗人优秀诗歌奖，《流沙河诗集》曾获全国优秀新诗(诗集)一等奖。

顾迈南 1931年生于山东章丘，新华社女记者，擅长人物通讯、人物传记。以大量新闻和通讯的形式，报道了中国科技界发生的许多重大事件。例如，《丁肇中：故国情深》《华罗庚传》。

邓友梅 (1931—)曾用笔名方文、右枚、于冬等。原籍山东平原，生于天津。当代作家，文学作品有《烟壶》《我们的军长》《话说陶然亭》《追赶队伍的女兵们》《那五》《寻访"画儿韩"》《双猫图》等。

痖弦 原名王庆麟，1932年出生于河南南阳，台湾著名诗人。他是台湾《创世纪》诗刊的三驾马车之一。主要著作有《深渊》《盐》等诗集。

从维熙 1933年生，河北玉田人。当代作家。他创造了当代文学中一种特殊门类——"大墙文学"(以监狱中犯人的生活为题材的文学创作)。小说《大墙下的红玉兰》《远去的白帆》《风泪眼》，分别获1977～1980年、1981～1982年、1985～1986年全国优秀中篇小说奖。

郑愁予 1933年出生，本名邹文韬，河南人。1949年去台湾，1956年参与创立现代派诗社。1958年毕业于台湾中兴大学，在基隆港务局任职。1968年赴美国，曾任艾奥瓦大学讲师、耶鲁大学教授。

郭枫 (1933—2006)原名郭少鸣，江苏徐州人，台湾著名诗人和散文家，民族意识和传统意识强烈。曾任《新地文学》双月刊社长兼总编辑。有散文集《早春花束》《九月的眸光》《老家的树》《永恒的

岛》，诗集《郭枫诗选》《第一次信仰》《海之歌》，论文集《高举民族文学的大旗》等。

颜元叔 1933年生，湖南茶陵人，台湾大学外文系教授，文艺评论家。著述颇多，出版有论文集《谈民族文学》等，散文集《人间烟火》《玉生烟》《鸟呼风》，译著《西洋文学批评史》等。

王蒙 1934年生，北京人。当代作家。其处女作是长篇小说《青春万岁》。他的短篇小说《组织部来了个年轻人》，影响很大。在1976～1981年发表了30多篇作品，其中《最宝贵的》《悠悠寸草心》《春之声》分获1978、1979、1980年全国优秀短篇小说奖。中篇小说《蝴蝶》获全国优秀中篇小说奖。

张洪中 生于1935年，笔名苏溶、苏榕，湖南武冈市人。中央民族大学教授、中国作家协会会员。著作有《中国少数民族题材电视初探》《一首好诗是怎样诞生的》以及创作儿童文学作品《动物王国的战争》等。

王充闾 1935年出生于辽宁盘山。所著散文《长岛诗踪》《情满菊花岛》分获1991年"五彩城"全国散文大赛一等奖、1993年人民日报"中国匹克"杯精短散文征文一等奖；散文集《春宽梦窄》1997年获东北三省作协联合举办的"东北文学奖"一等奖，1998年获全国"鲁迅文学奖"优秀散文作品奖。

刘绍棠 （1936—1997）北京通县人。当代作家，13岁就开始创作，17岁就发表了第一本短篇小说集《青枝绿叶》，1979年以后写的中篇小说《蒲柳人家》、短篇小说《峨眉》分别获得全国中篇小说奖和短篇小说奖。

谌容 1936年出生于湖北汉口。当代作家。作品《人到中年》《太子村的秘密》《减去十岁》分别荣获1977～1980年、1981～1982年、1985～1986年全国优秀中篇小说奖。

孙绍振 1936年6月生于上海，祖籍福建长乐。著有诗集《山海情》（合作），散文集《面对陌生人》，论文集《美的结构》《孙绍振如是说》《文学创作论》《论变异》等。《文学创作论》获福建省10年优秀成果奖、全国写作学会一等奖。

昌耀 （1936—2000）原名王昌耀。籍贯湖南桃源。当代诗人。1954年开始发表诗作。代表作有《划呀，划呀，父亲们！》《慈航》《意绪》《哈拉木图》《昌耀抒情诗集》《命运之书》等。

张贤亮 1936年生于南京。当代作家。短篇小说《灵与肉》《肖尔布拉克》分获1980、1983年全国优秀短篇小说奖。《绿化树》获1983～1984年全国优秀中篇小说奖。

琼瑶 1938年出生，湖南衡阳人。中国台湾当代作家。其小说主题都是人间理想的情与爱。主要作品有《窗外》《在水一方》《几度夕阳红》《心有千千结》《聚散两依依》《还珠格格》等。

赵鑫珊 1938年出生于江西南昌，教授、哲学家、作家。著有《贝多芬之魂》《莫扎特之魂》《天才和疯子》《科学·艺术·哲学断想》《莱茵河的涛声》《赵鑫珊散文精选》《我心目中的十字架》《哲学与当代世界》等作品。

张洁 1938年生，当代女作家。其处女作《从森林里来的孩子》和后来写的《谁生活得更美好》分别获1978、1979年全国优秀短篇小说奖。《祖母绿》获全国第三届优秀中篇小说奖。长篇小说《沉重的翅膀》获全国第二届茅盾文学奖。2005年又以长篇小说《无字》再获茅盾文学奖。另著有小说散文集《爱，是不能忘记的》，散文集《在那绿草地上》。

周瑞金 1939年10月生于浙江平阳县。出版专著《宁做痛苦的清醒者》。1991年以"皇甫平"的笔名，主持撰写《改革开放要有新思路》等四篇评论文章，引起海内外广泛反响。

许达然 1940年生。散文家、诗人，原名许文雄。中国台湾台南人，原籍福建。自1979年起相继出版了《土》（1979年）、《吐》（1984年）、《水边》（1984年）、《人行道》（1986年）等散文集。

蒋子龙 1941年生于河北沧县。当代作家。其成名作是《机电局长的一天》。短篇小说《乔厂长上任记》荣获1997年全国优秀短篇小说一等奖，《开拓者》荣获全国优秀小说奖。

张晓风 笔名晓风、桑科、可叵，1941年生于浙江金华，中国台湾女作家。著有小说《白手帕》《红手帕》等，散文《到山中去》《地毯的那一端》等，杂文《我恨我不能如此抱怨》《都是竹子害的》等，戏剧《画爱》等。

雷抒雁 1942年生，原名雷书彦，陕西泾阳人。当代诗人，兼创作小说、散文等。著有诗集《沙海军歌》《漫长的边境线》《云雀》等。

刘心武　1942年生于四川成都。当代作家。其短篇小说《班主任》荣获1978年全国优秀短篇小说一等奖，长篇小说《钟鼓楼》荣获第二届茅盾文学奖。

冯骥才　1942年出生于天津。当代作家。短篇小说《雕花烟斗》、中篇小说《啊！》《神鞭》分获全国优秀短篇、优秀中篇小说奖。部分作品已被译成英、法、德、日、俄等文字在国外出版。

董桥　1942年生，福建晋江人。文笔雄深雅健。在台湾出版的文集有《另外一种心情》《这一代的事》《跟中国的梦赛跑》等及翻译书籍多种。

席慕蓉　1943年出生。中国台湾作家。诗歌的重要主题是对纯真爱情的执著追求与赞美，对美丽青春的珍视与惋惜。代表作有诗集《七里香》《无怨的青春》等。

吴功正　1943年出生，江苏如皋人。著有《小说美学》《沫若史剧研究》《中国文学美学》等并分别获奖，发表文学作品多篇。

三毛　(1943—1991)原名陈平。中国台湾当代作家。其记游散文如《撒哈拉的故事》《万水千山走遍》，融知识性、趣味性、艺术性于一体，具有较高的文化审美价值。叙述哀情的散文有《云青山月在天》《不死鸟》等，风格沉郁、淡泊，显得炉火纯青，更具耐读性。

杨牧　1944年生于四川顺渠县。当代诗人。主要诗作有诗集《绿色的星》《复活的海》以及神话叙事长诗《塔格莱丽塞》。其中，《我是青年》获1979～1980年全国中、青年诗人优秀新诗奖，《复活的海》获1983～1984年全国优秀新诗(诗集)奖。

韩静霆　1944年出生于吉林。其文学、影视作品《孙武》《凯旋在子夜》《战争让女人走开》等，有广泛影响；其歌曲《今天是你的生日，中国》等成为世纪经典。

卞毓方　1944年生，中国作家协会会员，江苏射阳人。长期从事新闻工作。著有散文特写集《站在历史的窗台上》《啊，少年中国》《人生得一知己足矣》，散文集《岁月游虹》等。

周国平　1945年出生于上海。当代作家。其散文作品极富哲理性。作品集有《迷者的悟》《守望的距离》等。

周涛　1946年生，诗人、散文家。祖籍山西，在京出生，少年随父迁徙新疆。著有诗集、散文集二十余种，曾获全国诗集奖，第一届鲁迅(散文)奖和全军八一奖等。

金曾豪　笔名田家玉，1946年出生，江苏常熟人。著有长篇小说《青春口哨》《魔树》等，中短篇小说集《小巷木屐声》《独狼》等，另有《金曾豪文集》(4卷)。

余秋雨　1946年出生。当代作家、文化史学家、艺术理论家。代表作有散文集《文化苦旅》《霜冷长河》《山居笔记》。《文化苦旅》属文化性散文，凭借山水风物寻求文化灵魂和人生真谛，探索中国文化的历史命运和中国文人的人格构成。

梁衡　1946年生，新闻理论家、散文家、科普作家和政论家。主要作品有科学史章回小说《数理化通俗演义》，新闻三部曲《没有新闻的角落》《新闻绿叶的脉络》《新闻原理的思考》。另有《晋祠》《夏感》《跨越百年的美丽》等散文人选中学课本。

张承志　1948年生于北京。现为自由职业作家。20世纪八九十年代，以"理想主义气质"著称。作品有短篇小说《骑手为什么歌唱》，中篇小说《阿勒克足球》《黑骏马》等作品先后获奖。1987年又出版了长篇小说《金牧场》。

翁乃群　1948年出生，福建龙岩人。著有《官阶、辈分、师生、父子》《南昆八村》等。

陈晓光　1948年出生，河北景县人，笔名晓光。曾任中国文联副主席、全国政协委员、文化部副部长等职务。发表诗歌近千首，其中《在希望的田野上》《那就是我》被选入联合国教科文组织亚太地区音乐教材。出版有《黄河上的太阳》《晓光诗歌选集》。

食指　1948年出生，山东鱼台人。原名郭路生。其诗歌创作开始于20世纪60年代。早期作品广泛传诵于插队知青和都市青年中。已出版《食指黑大春现代抒情诗合集》《诗探索金库·食指卷》。其代表作有《相信未来》《海洋三部曲》。

李存葆　1948年生，山东五莲人。当代作家。其报告文学《将门虎子》荣获自卫反击战全军征文一等奖，中篇小说有《高山下的花环》《山中，那十九座坟茔》。

路遥 (1949—1992)当代作家。1980年《惊心动魄的一幕》获第一届全国优秀中篇小说奖。之后《人生》《在困难的日子里》又相继获奖。1991年以百万字巨著《平凡的世界》荣获第三届茅盾文学奖。

北岛 1949年出生于北京。原名赵振开。祖籍浙江湖州。诗歌创作开始于"十年动乱"后期,反映了从迷惘到觉醒的一代青年的心声,"十年动乱"的荒诞现实造就了诗人独特的"冷抒情"的方式——出奇的冷静和深刻的思辨性。著有诗集《太阳城札记》《北岛顾城诗选》等。

刘墉 号梦然,1949年生于台北,祖籍北京。美籍华裔画家、作家,著有华文地区最畅销的励志书《萤窗小语》《超越自己》《创造自己》《肯定自己》,文学经典作品《花痴日记》《母亲的伤痕》《杀手正传》《那条时光流转的小巷》,处世系列《人生的真相》《我不是教你诈》《把话说到心窝里》(合订本)《不要累死你的爱》等。

张抗抗 1950年出生于杭州,当代作家,黑龙江省作家协会副主席。已发表小说、散文共计500余万字,出版各类文学专集50余种。代表作有长篇小说《隐形伴侣》《赤彤丹朱》等。作品曾获"全国优秀短篇小说奖""优秀中篇小说奖""第二届全国鲁迅文学奖""全国首届女性文学创作奖"等。

史铁生 (1951—2010)中国著名编剧、小说家。1969年到陕西延川插队,1972年回北京。1979年发表第一篇小说《法学教授及其夫人》。其作品《我的遥远的清平湾》《奶奶的星星》分获1983、1984年全国优秀短篇小说奖。作品风格清新、温馨、富有哲理性。《老屋小记》获首届茅盾文学奖。另有长篇小说《务虚笔记》,短篇小说《命若琴弦》,散文《我与地坛》等作品,《秋天的怀念》《合欢树》选入中小学教材。

李乐薇 1930年生,中国台湾作家。早年肄业于上海大夏大学,一直在台湾从事文化教育工作。以散文见长,文笔清丽脱俗,语言优美动人,风格柔和温婉而富于感情。代表作有《我的空中楼阁》。

舒婷 1952年生,福建泉州人。1979年起相继发表诗作百余首,因诗意朦胧引起较大争论。影响较大的诗作有《祖国呵,我亲爱的祖国》《致橡树》《会唱歌的鸢尾花》《船》《流水线》等。

毕淑敏 1952年生。祖籍山东,生于新疆。1969年赴西藏阿里当兵,1980年转业回北京。著有《毕淑敏文集》八卷,长篇小说《红处方》《血玲珑》等。

胡宏伟 1953年生于辽宁沈阳。1978年起从事专业歌词创作。代表作有《中国共青团团歌》《长江之歌》,大型歌剧《羽娘》等。《有一支歌》《向着太阳走》连获全国"五个一工程奖";大型歌剧《羽娘》获第三届全国歌剧(音乐剧)观摩演出大奖、最佳剧本奖。

林清玄 1953年生于中国台湾高雄。笔名秦情、林漓、林大悲等。台湾作家中最高产的一位,也是获得各类文学奖最多的一位。1973年开始创作散文。他的散文文笔流畅清新,表现了醇厚、浪漫的情感,在平易中有着感人的力量。作品有散文集《莲花开落》《冷月钟笛》《温一壶月光下酒》等。

韩少功 1953年1月出生于湖南省。出版有中短篇小说集《月兰》《飞过蓝天》等,文艺理论《面对神秘空阔的世界》。1996年出版的长篇小说《马桥词典》引起争论。

钱钢 1953年生,浙江人。著名报告文学作家及记者。报告文学《蓝军司令》(合作)获全国第二届优秀报告文学奖、全军第一届文艺奖,《唐山大地震》获1986年全国十大畅销书奖、1987年金钥匙奖。

贾平凹 1952年生,陕西丹凤人。当代作家。1983年从事专业创作。作品中有中短篇小说集《兵娃》《山地笔记》等,散文集《月迹》《爱的踪迹》,长篇小说《商州》《浮躁》《废都》《秦腔》等,其中《秦腔》获2008年第七届茅盾文学奖。《浮躁》和《废都》分别在国外获奖。作品《我不是个好儿子》选入中学教材。

曹文轩 1954年生,江苏盐城人。北京大学教授。其短篇儿童小说《再见了,我的小星星》获中国作家协会首届全国优秀儿童文学奖。《山羊不吃天堂草》先后获宋庆龄儿童文学奖金奖、中国作协第二届全国优秀儿童文学奖。短篇小说《蓝花》获首届冰心儿童图书奖新作奖。

高建群 1954年1月出生,陕西临潼人。代表作有中篇小说《遥远的白房子》《雕像》等,长篇小说《最后一个匈奴》《六六镇》等,散文集有《新千字散文》《西地平线》等。其中长篇小说《最后一个匈奴》产生了重大影响。

梁小斌 1954年生，安徽合肥人，朦胧诗代表诗人。他的诗《中国，我的钥匙丢了》《雪白的墙》被列为新时期朦胧诗代表诗作。著有诗集《少女军鼓队》，思想随笔集《独自成俑》《地主研究》等。

王安忆 1954年出生于南京。是20世纪80年代中期盛行的"知青文学""寻根文学"等创作类型的代表性作家。主要著作：《雨，沙沙沙》《流逝》等小说集，长篇小说《长恨歌》《富萍》等，散文集《蒲公英》等，儿童文学作品集《黑黑白白》等，论著《心灵世界——王安忆小说讲稿》等。

王英琦 1954年生，安徽寿县人。当代著名散文家。出版过《守望灵魂》《求道者的悲歌》《背负自己的十字架》等十七部散文集。

于坚 1954年8月生于昆明，当代诗人。20岁开始写诗，著有诗集《空地》等，文集《棕皮手记》等十余种。与诗人韩东、丁当等创办《他们》文学杂志。曾获得"华语文学传媒大奖"2002年度诗人奖。

刘恒 1954年出生，北京人，本名刘冠军。主要作品有长篇小说《黑的雪》《苍河白日梦》；中篇小说《白涡》《冬之门》；短篇小说《狗日的粮食》（获第八届全国优秀短篇小说奖）《拳圣》；影视剧本《菊豆》《秋菊打官司》《贫嘴张大民的幸福生活》《集结号》等。

筱敏 1955生，现居广州。当代作家。主要作品有诗集《米色花》《瓶中船》，散文集《喑哑群山》《女神之名》《理想的荒凉》，长篇小说《幸存者手记》等。

莫言 1955年生于山东高密。当代作家。成名作为短篇小说《透明的红萝卜》。小说《红高粱》获1985～1986年全国优秀中篇小说奖。

顾城 （1956—1993）当代朦胧派诗人，被誉为"童话诗人"。作品有诗集《黑眼睛》，小说《英儿》等。

欧阳江河 1956年，出生于四川泸州。著名诗人，诗学及文学批评家。在国内出版了诗集《透过词语的玻璃》，诗作及诗学文论集《谁去谁留》，文论及随笔集《站在虚构这边》等。其文章及诗作被译成英、法等多国语言。

王朔 1958年生于北京，当代作家。作品有小说《空中小姐》《一半是火焰，一半是海水》《顽主》等。

李汉荣 1958年生，陕西勉县人，笔名牧童、林中河。著名诗人、散文家。著有诗集《驶向星空》《母亲》《想象李白》，散文集《与天地精神往来》等。

刘震云 1958年出生，河南延津人。代表作有长篇小说《故乡天下黄花》《故乡面和花朵》，小说集《一地鸡毛》《官场》《官人》《塔铺》等。

余华 1960年出生，浙江海盐人。1983年开始文学创作，主要作品有长篇小说《在细雨中呼喊》《活着》《许三观卖血记》，中篇小说集《我胆小如鼠》，随笔集《温暖和百感交集的旅程》等多部。其作品已经被翻译成英、法、德、荷兰、意大利、西班牙、挪威、日、韩等文在国外出版。

黄河浪 生于1960年，陕西子洲人。中国作协会员。著有长篇小说《悲土》，中短篇小说集《荒流》《荒缘》，报告文学集《绿色沧桑》（合作）等。

韩东 1961年出生于南京。1982年毕业于山东大学哲学系。著有《我们的身体》《西天上》《我的柏拉图》《交叉跑动》等。

骆一禾 （1961—1989）北京人，当代诗人。1983年开始创作诗歌、散文和小说。他创作的诗体主要有短诗、百行、组诗和长诗四种，其中包括两部巨制长诗。得过两次诗歌奖。获奖作品是《十月》和《屋宇》。

刘亮程 1962年出生于新疆，作家。著有诗集《晒晒黄沙梁的太阳》，散文集《一个人的村庄》《风中的院门》等。

林燿德 （1962—1996）原籍福建厦门，生于台北。有诗集《银碗盛雪》，散文集《一座城市的身世》等。

庞培 1962年出生，现居江苏江阴。诗人，散文家。散文著作有《低语》《五种回忆》《乡村肖像》《黑暗中的晕眩》《旅馆》等。

西川 生于1963年，原名刘军，祖籍山东，生于江苏徐州市。当代作家。著有诗集《中国的玫

瑰》《虚构的家谱》，散文集《水渍》《游荡与闲谈：一个中国人的印度之行》，随笔集《让蒙面人说话》等。

马步升 生于1963年，甘肃合水人。主要专著有长篇小说《女人狱》《北京不是你的家》等，散文集《一个人的边界》《百年甘肃》等。

海子 (1964—1989)原名查海生。一个极有天赋的诗人。他独有的自由率真的抒情风格、对生命的激情关怀、对美的事物的眷恋，使他的作品有童真梦幻般的吸引力。较著名的诗作有《亚洲铜》《麦地》《以梦为马》《面朝大海，春暖花开》等。

王小平 1964年生，作家。著有长篇小说《白色圣诞》《孽缘》等。《刮痧》一剧的创作是她在美国生活多年有感而发。

毕飞宇 1964年1月生于江苏兴化，作家。代表作品有短篇小说《是谁在深夜说话》《哺乳期的女人》等，中篇小说《上海往事》《青衣》等，长篇小说《平原》《推拿》，短篇小说集《慌乱的指头》《祖宗》等，被誉为"写女性心理最好的男作家"。

迟子建 1964年出生于黑龙江省漠河县北极村。是当代中国具有广泛影响力的作家之一。主要作品有《雾月牛栏》《白银那》《光明在低头的一瞬》，多次荣获"冰心散文奖""茅盾文学奖"等文学大奖。

傅国涌 1967年生于浙江乐清，自由撰稿人。著作有《金庸传》《百年寻梦》《1949：中国知识分子的私人记录》等。

周晓枫 1969年生于北京，1992年毕业于山东大学中文系，当代作家。出版有散文集《上帝的隐语》《鸟群》和《收藏：时光的魔法书》。

曹明华 青年散文家。20世纪80年代，曹明华曾是中国高校名噪一时的文学新星，有"大陆三毛"之誉。已出版散文集《一个女大学生的手记》《一位现代女性的灵魂独白》。另外有中短篇小说集《我们干点什么吧》《长袖善舞》，随笔集《天使有了欲望》等。

四、中国现代、当代重要作品

《呐喊》 鲁迅1918～1922年所作的短篇小说的结集，作品真实地描绘了辛亥革命以来的社会生活，揭示了种种深层次的社会矛盾，对中国旧有制度及陈腐的传统观念进行了深刻的剖析和比较彻底的否定，表现出对民族生存浓重的忧患意识和对社会变革的强烈渴望。《呐喊》中的作品，大都写于五四运动的高潮时期，要为新文化运动助阵振威，取名《呐喊》，意指作者受新文化运动的鼓舞，"有时候仍不免呐喊几声，聊以慰藉那在寂寞里奔驰的猛士，使他不惮于前驱"。集子中的作品明显地保留着作者于五四高潮时期，在结束了一段时间的沉默之后，奋起呼喊的特色。在艺术上，吸收和借鉴外国小说的创作方法与表现手法，因此，《呐喊》集中的作品以其"表现的深切和格式的特别"，令人耳目一新。《呐喊》所收的作品：《一件小事》《狂人日记》《鸭的喜剧》《端午节》《孔乙己》《药》《阿Q正传》《兔和猫》《社戏》《风波》《头发的故事》《明天》《白光》《故乡》。

《彷徨》 收入鲁迅1924～1925年间创作的短篇小说11篇。《彷徨》贯穿着作者对生活在封建势力重压下的农民及知识分子"哀其不幸""怒其不争"的关怀。《彷徨》的艺术技巧"圆熟"——深广的历史图景；对人物命运的叙述渗透感情；"画眼睛""勾灵魂"的白描手段；丰满的人物形象具有典型的意义。《彷徨》写于五四运动后新文化阵营分化的时期。原来参加过新文化运动的人，"有的退隐，有的高升，有的前进"，鲁迅当时像散兵游勇那样"孤独"和"彷徨"。《彷徨》表现了他这一时期在革命征途上激愤、痛苦、探索的心情。后来在《题〈彷徨〉》一诗中说："寂寞新文苑，平安旧战场。两间余一卒，荷戟独彷徨。"这便是题名"彷徨"的来由。《彷徨》所收的作品：《在酒楼上》《肥皂》《示众》《高老夫子》《长明灯》《伤逝》《幸福的家庭》《离婚》《兄弟》《祝福》《孤独者》。

《故事新编》 短篇小说集。收入1922～1935年创作的8篇历史小说，序1篇。作品取材于神话、传说及古代历史。其中，属于神话题材的有《补天》《奔月》，属于传说题材的有《理水》《铸剑》，属于历史题材的有《采薇》《出关》《非攻》《起死》。表达了作者对现实社会的批判和对未来的期望。

***《狂人日记》** 短篇小说。鲁迅著。写于1918年4月，发表于同年5月出版的《新青年》上。以13则没有日期的日记的形式，记叙"被迫害狂"患者，即"狂人"的精神状态和心理活动。小说以借

实引虚、以虚证实的艺术手法，通过"狂人"的"谵言"，大胆而巧妙地暴露封建家族制度和封建礼教的弊害，揭露封建社会人吃人的本质，并透露出对于未来的希望和憧憬，是"向封建社会进军的第一声号角"。此文后由作者编入小说集《呐喊》。

*《阿Q正传》 中篇小说。鲁迅著。共九章。小说以"哀其不幸，怒其不争"的深沉的感情和惊人的艺术才能，通过塑造阿Q这一不朽的艺术典型，深刻揭示了半殖民地半封建社会的阶级矛盾，批判了辛亥革命的不彻底性，剖析了由于封建的经济剥削、政治压迫和宗法思想的毒害而形成的落后的"阿Q精神"，是我国现代文学史和世界文学史上的一座丰碑。此作后由作者编入小说集《呐喊》。

*《子夜》 长篇小说。茅盾著。以1930年的上海为背景，描写纺织工业资本家吴荪甫费尽心机，残酷吞噬大批中小企业，加紧对工人的盘剥，并榨取家乡双桥镇农民的血汗，以图摆脱帝国主义资本的控制，建造自己的实业"王国"。但因军阀混战，产品销路断绝，苦心经营的益中信托公司也无力扭转这种局面。最后，终在美帝国主义的掮客、买办金融资本家赵伯韬的大规模经济封锁下，以公债投机市场的失利而宣告彻底破产。小说以吴荪甫的奋斗、挣扎直至破产的命运为中心，通过写纷纭复杂而又具有重大社会意义的生活事件，揭示了历史的法则：在帝国主义经济势力的控制下，中国民族工业是得不到发展的，半殖民地半封建的中国不可能走上资本主义道路。小说展现了广阔的社会生活画面，显示了中国社会发展的必然趋势，是我国现代文学史上的重要里程碑。

《春蚕》 短篇小说。茅盾著。作品通过对丰收成灾这一奇怪社会现象的描写，揭示了造成农户破产、乡村贫困的根本原因在于帝国主义的入侵、买办资产阶级的吞噬和地主、高利贷者的盘剥。同时也反映了农民的觉醒，预示了中国农村向前发展的必然趋势。

《蚀》 茅盾著。由《幻灭》《动摇》《追求》三个独立的中篇小说组成。《幻灭》写静女士在追求光明和爱情的过程中，由于自身的小资产阶级弱点，常常使她陷于幻灭、失望之中。《动摇》以1927年春夏之交湖北某县城为背景，描写了土豪劣绅胡国光破坏革命，国民党左派方罗兰在大革命的复杂形势下犹疑不定、踌躇动摇的复杂心态。《追求》写大革命失败以后一群青年知识分子的苦苦追求与挣扎。三部小说都以第一次大革命失败前后的社会生活为题材，表现小资产阶级知识分子的内心世界，揭露了反动势力的凶恶和右倾机会主义的危害。

《谈美书简》 是中国现代美学家朱光潜在82岁时写就的"暮年心血"之作，它是作者对自己漫长的美学生涯和美学思想的一次回顾和整理。《谈美书简》采用书信体的形式，娓娓道来，亲切自然，将许多深奥的美学知识通俗化。全书由十三封书信结集而成，书中，朱光潜就青年朋友们普遍关心的美和美感、美的规律、美的范畴等一系列美学问题进行了深入的探讨，同时也对文学的审美特征、文学的创作规律及特点作了详尽的阐释，既是思想上的，又是方法上的，是初涉美学者学习美学知识的重要参考书籍。

《激流三部曲》 长篇小说。巴金著。由《家》《春》《秋》三部小说组成。作品以1920～1940年四川成都一个封建大家庭为背景，以这个封建大家庭的没落，反映整个封建社会不可避免的崩溃之势。《家》以五四时期的成都为背景，写了家庭内部新与旧两种势力的抗争，以高老太爷为首的旧势力，摧残、压制青年男女的婚姻幸福，使一大批无辜的生命成为封建伦理道德的牺牲品。《春》写高老太爷去世后，大家庭的日益没落。淑英和蕙在无爱的家中，因不满于包办婚姻，一个离家出走，一个抑郁死去。进一步宣扬了青年追求光明的反叛精神。《秋》写高家最后没落的结局。觉新和觉民进一步觉醒、抗争，淑贞、周枚成为封建礼教的牺牲品，一群寄生虫似的高家老爷、少爷们更加堕落放荡，整个家族呈现出无法挽回的颓败之势。《激流三部曲》是一首旧时代的挽歌，也是新青年、新时代的赞歌，表现了作者强烈的反封建意识和对光明未来的憧憬。

《爱情三部曲》 长篇小说。巴金著。由《雾》《雨》《电》三部中篇小说组成。《雾》描写大革命失败后，青年知识分子周如水和陈真等人在上海继续从事进步文化事业。陈真意志坚定，但周如水却因胆怯和迟疑，加上陷入个人爱情的苦网，终因找不到出路而自杀。《雨》的主人公吴仁民因陈真为真理而献身受到极大的震动，内心变得狂躁不安，加上陷入三角恋爱的痛苦之中不能自拔，后来在革命者高志元的启发下，终于振作起来，准备追求光明的未来。《电》描写大革命失败后，吴仁民、李佩

珠、高志元等革命青年在福建某地开展了一系列革命活动，但终因没有正确的领导而失败。说明小资产阶级知识分子必须投身到实际的斗争中去，才能走出彷徨和苦闷。《爱情三部曲》刻画了几种不同性格的知识青年，歌颂了他们为革命献身的精神，否定和批判了他们思想中颓废、妥协的一面。

《沉沦》 短篇小说。郁达夫著。1921年发表。小说写的是五四前后一个中国留学生的悲剧故事。主人公"他"，家境贫寒，随兄长留学日本。社会的重压、身处异域的屈辱、青春期无法宣泄的苦闷，使他觉得生活无望，最后面向祖国发出"你快富起来！强起来吧！"的呼号，投海自杀。这是一篇带有自传性质的小说，蕴藏着强烈的反帝反封建情绪，表现了作者丰沛的艺术才华。

《春风沉醉的晚上》 短篇小说。郁达夫著。小说描写了受尽压榨、孤苦无依的女工——陈二妹和穷困潦倒、谋食无门的知识分子"我"交往的四个阶段，展现了陈二妹的善良、正直、诚恳的美好心灵以及反抗压迫的倔强性格，也反映了下层人民同处困境而相互扶持、相互激励向上的追求。

《死水》 诗集。闻一多著。创作于1925年留美回国后到1927年之间的两年时间中，是独特的社会历史背景和文化氛围中的产物。诗人在美留学8年，饱尝了天涯羁旅的孤苦和身为"弱小国民"的耻辱。他怀着极大的愤慨和热切的富国强民愿望，回到了日思夜想的祖国。然而，出现在他面前的却是一个黑暗腐朽的"死水"般的社会，一个内忧外患、四海萧条的国度。诗歌幻想中的瑰梦彻底破灭了。《发现》《荒村》等篇，均是这一心境的具体体现。与前期发表的《红烛》相比，《死水》消退了那种青年式的单纯透明的色彩，更加贴近丑恶的现实，更深沉厚重，艺术上更为成熟。有时巧妙运用长短相间的手法，既整齐雅洁，又错落有致。显示出较高的语言技巧，对现代格律诗的创作具有开创意义。

《倪焕之》 长篇小说。叶圣陶著。写于1928年11月。主人公倪焕之中学毕业后到乡村高等小学任教。他满怀救国救民的理想，希望通过教育拯救社会。经过辛亥革命、五四运动、五卅运动、上海工人第三次武装起义等一系列重大历史事件后，他的思想发生了很大的变化，由追求教育改良到走向革命。但"四一二"反革命政变使他陷入了悲观失望之中，对前途失去了信心，终于在郁愤中死去。作品反映了在动荡的年代里一大批小资产阶级知识分子迂回的生活道路及思想历程，质疑教育救国和各种改良主义的空想，寄希望于未来的革命。

《太阳照在桑干河上》 长篇小说。丁玲著。获1951年斯大林文学奖金二等奖。小说以华北地区桑干河畔一个名叫暖水屯的村庄为背景，着力反映了这里的土改斗争从酝酿到发动，几经波折最终斗倒地主分了田地的完整过程，真实地反映了当时农村阶级关系的复杂性和土改斗争的艰巨性。

《语文常谈》 是一部讨论汉语的常识问题的文集。作者是当代著名语言学家吕叔湘。全书分八章，分别阐述语言与文字的关系、汉字读音、文字三要素、语句的结构、词义与句义、古今语言变化、方言与普通话、汉字改革与拼音问题。本书采用聊家常式的口吻与语言，叙述精要，深入浅出，生动幽默，澄清了很多错误观点和认识，对提高语文水平甚有帮助。

《骆驼祥子》 长篇小说。老舍著。穷苦农民出身的祥子因"失去了父母和几亩薄田"，十八岁时来到北平租拉洋车。为了不受车行老板的气，做一个独立的劳动者，他凭着自己年轻力壮，曾立志买车。三年后终于用血汗换来一辆洋车，但不久被乱兵抢走。他决心从零开始，靠拉"包月"车攒钱。不料"包月"的主人又因躲避特务而出走，他仅有的积蓄也被侦探诈走。最后不得已用老婆虎妞的储蓄买了一辆洋车，但虎妞不久死去，又不得不卖车治丧。加上他所真心喜爱的小福子上吊，使他最终彻底丧失了上进好强的生活态度而走向消沉。这一悲剧是对黑暗社会的有力控诉，具有深刻的社会意义。作品语言简洁有力，富有浓郁的生活气息和鲜明的地方色彩，是一部优秀的现实主义小说。

《边城》 中篇小说。沈从文著。1934年9月出版。作品描写在湘西风光秀丽、人情质朴的边远小城，生活着靠摆渡为生的祖孙俩。外公已经七十岁了，外孙女翠翠只有十五岁。城里管码头的团总顺顺的两个儿子都爱上了翠翠。翠翠心中喜欢老二傩送，但老大天保却先提出了求婚。于是兄弟二人决定夜晚上山为翠翠唱歌，谁得到回答谁就赢得翠翠。次日天保知道没有唱过弟弟，于是驾船离家出走，不幸失事淹死，弟弟傩送进退两难，最后也驾船离开。外公在一连串的打击下忧恨死去，只留下翠翠一人，在怅惘与期待中守在渡口。作品在田园牧歌式的爱情故事中展现了当地淳朴

的民风，充满了对人性美的呼唤。笔调淡雅清秀，别具诗情画意。

《生死场》 长篇小说。萧红著。写于1934年。是鲁迅所编"奴隶丛书"之一。作品以抗日战争为背景，描写了哈尔滨附近一个村庄的农民在人生的"生死场"上苦苦挣扎与抗争。作品结构较松散，但景物描写和观察比较细腻。其中王婆、金枝等妇女形象和赵三、二里半等觉醒的老一代农民的形象都比较鲜明。作品反映了东北人民在日寇侵略下的觉醒与反抗。

《二月》 中篇小说。柔石著。作于1929年。小说以20世纪20年代中期为背景，描写青年知识分子萧涧秋在奔波了六年后来到芙蓉镇，希望能过上一种平静安宁的生活。但因与校长的妹妹陶岚相恋而冒犯了当地土豪，又因同情和资助在北伐战争中牺牲的同学的遗孀文嫂而受到社会的非难。两个月后，他被迫离开了芙蓉镇。作品反映了大革命前夕社会的黑暗沉闷，也反映了知识分子找不到出路的苦恼，表达了作者对人生的思考。作品人物形象鲜明，语言富有诗意。

《四世同堂》 长篇小说。老舍著。全书依次分为《惶惑》《偷生》《饥荒》三卷。作品以抗战时期沦陷后的北平生活为背景，以祁家祖孙四代为中心，以整个小羊圈胡同的居民为描写重点，深刻反映了抗日战争期间沦陷区人民的苦难生活和他们由惶惑苦闷、忍辱偷生到逐渐觉醒反抗，直至迎来胜利的历史进程，揭露和鞭挞了日本侵略者的野蛮暴行和汉奸走狗的卑劣灵魂，刻画了某些市民因循守旧、懦弱、忍辱偷生的性格弱点，也表现了他们特别是下层市民坚强不屈的意志和反抗精神。小说结构庞大，视野开阔，时间跨度达8年之久，写到抗战时期四五十起重大的历史事件，涉及十七八个家庭和各种各样的人物130多个。多条线索交错推进，情节曲折有致，人物个性鲜明。小说生动地描绘出了北京的风土人情和生活场景，极富地方色彩和时代气息，是老舍抗战时期纪念碑式的作品。

《围城》 长篇小说。钱钟书著。描写抗战时期从上海到西南后方的一群受到洋化教育的知识分子的追求、失落、空虚、灰暗的精神生活及无法突破的生存困境，揭示了当时社会的腐败和西方教育的丑恶。主要人物方鸿渐是个留学归国生，他善良而软弱，聪明而虚浮，胸无大志，一事无成，爱情上想爱而不果敢，为个人辗转奔波，荒唐百出，浑浑噩噩。此外还有发国难财的教授韩学愈、灵魂猥琐的大学校长高松年等一批灰色知识分子。作品以心理描写见长，语言幽默、机智、犀利，具有强烈的讽刺性。

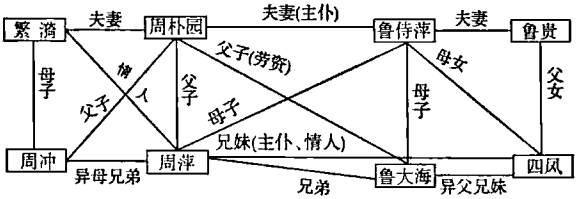
《暴风骤雨》 长篇小说。周立波著。描写以萧群为队长的土改工作队开进松花江畔元茂屯，发动受苦最深的农民开展对地主韩老六的斗争。由于全国尚未解放，不少农民害怕国民党，因而斗争形势十分复杂。在艰难困苦中诞生的新政权处决了韩老六，韩的兄弟又领着土匪武装进屯，企图扼杀新生政权。共产党党员赵玉林在斗争中英勇牺牲。郭全海继其后，成为屯里的领导者。他带领觉醒了的农民斗垮了狡猾恶毒的地主杜善人，农民群众彻底翻了身。新婚数日的郭全海带头报名参军，踏上了解放全中国的新征程。作品以波澜壮阔的斗争画面展示了我国农民在党的领导下，冲破封建罗网，朝着解放的大道迅跑的革命精神。

*《女神》 诗集。郭沫若著。收入诗人1918～1921年间的主要诗作。多为诗人留学日本时所作。其中，最有代表性的诗篇是《凤凰涅槃》和《女神之再生》。前者以"火中凤凰"的传说为素材，先写集香木而将自焚的凤凰对黑暗、冷酷的现实的诅咒，再写它们经漫天大火而获得新生的壮美欢乐的景象，表达了诗人投旧世界于烈火中的英雄气慨和向往光明、追求理想的巨大热情。后者借共工与颛顼决战和女娲补天的神话，对军阀混战的现实表示了强烈的憎恨，并充满胜利信心地"去创造个新鲜的太阳"。作品充分体现了反抗、破坏、创造的主题，具有鲜明的革命浪漫主义的特色。在诗歌形式上，突破了旧格套的束缚，创造了雄奇奔放的自由诗体，为五四以后自由诗的发展开拓了新的天地，成为我国新诗的奠基之作。

*《雷雨》 四幕话剧。曹禺著。作于1933年。煤矿公司董事长周朴园出身于封建世家，曾留学德国。30年前做少爷的时候，为迎娶一位富家小姐，遗弃了为他生下两个儿子的婢女梅侍萍。长子周萍留在周家，而侍萍怀抱次子大海投河，后嫁给鲁贵，生下女儿四凤。周家后来从无锡迁居北方某大城市，周朴园又娶繁漪为妻，生下儿子周冲。他们与鲁家共居一地。鲁贵与四凤在周家帮佣，大海在其生父周朴园的煤矿上当工人。但两家各不相知。周朴园当年在包修哈尔滨江桥时，故意让江

堤出险，淹死了2 200多名小工，从死者身上榨取钱财。后来又不断地破坏工人的罢工运动，并指使警察开枪打死矿工。他独断专行，压制繁漪的个性。繁漪苦闷抑郁，与周萍发生了乱伦关系。后周萍遗弃繁漪，又和四凤相爱。当繁漪获悉周萍、四凤要相偕出走后，在绝望中当众宣布了她和周萍的乱伦关系，周朴园也公布了侍萍的真实身份。四凤无法承受这突如其来的打击，冒雨冲入花园，触电身亡。周冲为救四凤，也触电而死。周萍开枪自杀。侍萍、繁漪在巨大的打击下也先后疯癫。周朴园孤苦伶仃。剧作在一天之内集中地写了周、鲁两家历时三十年的生活史，表现了新旧两种思想的斗争和阶级矛盾，揭示了悲剧的根源。作品结构严谨，矛盾集中，戏剧性强，形象鲜明，语言性格化，在现代文学史上占有重要地位。

附：人物关系表



《日出》 四幕话剧。曹禺著。作于1936年。陈白露出身于书香门第，父亲死后，家道中落，沦为交际花，住在豪华宾馆，靠银行家潘月亭的供养过着奢靡的生活，和洋奴张乔治、富孀顾八奶奶、游手好闲的胡四等厮混。她学生时代的男友方达生是一个不谙世事而又有正义感的青年，闻之堕落，从乡下来见她，劝她跟自己结婚，并一同回乡下过新的生活。陈白露既厌恶周围的一切，又无力自拔，既高傲放荡，又孤独悲观，处在深深的矛盾中。逃避金八蹂躏的孤女小东西乞求她相助，她冒险庇护，小东西还是没能逃出魔掌，惨死在妓院。潘月亭也被金八挤垮，陈白露因此自杀。方达生决心和黑暗抗争，迎着日出走去。剧作反映了旧中国上层社会的腐朽和罪恶及下层人民饱受欺凌压榨的痛苦，揭示了"损不足以奉有余"的社会本质，具有强烈的时代气息和深广的历史内容。

***《茶馆》** 话剧。老舍著。没有贯穿全剧的中心情节，以茶馆为时代的窗口，通过70多个进出茶馆的不同人物，反映从清末到抗战胜利近半个世纪的社会变迁。茶馆掌柜王利发正直善良，精明能干，为了一家人的生活，四处请安作揖，但茶馆仍被国民党宪兵霸占，最后他被迫自杀。房主秦二爷变卖了自己的田产，用来办工厂，搞实业救国，但以失败告终。自食其力的常四爷，因为说了句"大清国要完"，被监视茶客的特务告发，吃了一年多官司……剧作深刻揭露了旧社会的黑暗和冷酷，笔力雄健，气魄宏大，冷嘲热讽之中包含着深刻的批判力量，富有幽默而严峻的艺术风格。

《龙须沟》 三幕话剧。老舍著。龙须沟是北京市一条有名的臭水沟，两岸住满了下层穷苦市民，他们常受反动政府、恶霸、流氓的欺压，生活凄惨，饱受煎熬。反动政府以修沟为名收捐派款，而臭水沟却一年更比一年臭。北京刚解放，人民政府法办了恶势力，填平臭水沟，铺好柏油马路，送上自来水，修整大杂院。沟两岸的人民深刻认识到新旧社会的两重天。该剧人物个性鲜明，语言质朴、生动，富有浓郁的生活气息和地方色彩。老舍因此剧获得了"人民艺术家"的荣誉称号。

《青春之歌》 长篇小说。杨沫著。小说以九一八事变到一二·九运动这一时期的爱国学生运动为背景，塑造了林道静这个从个人反抗走上革命道路的知识青年的艺术典型和卢嘉川、江华等形形色色的知识分子形象，反映了在阶级矛盾和民族矛盾日益尖锐、激烈的动荡年代，知识分子的觉醒和分化，表现了一代中国青年在党的领导、教育下的成长，歌颂了革命的青春。

《林海雪原》 长篇小说。曲波著。小说反映的是1946年冬在东北林海雪原中的特殊战斗，是解放战争的一个重要侧面。在解放战争初期，国民党军队的主力重兵压向东北，形成了敌我双方严重对峙的局面。这时在我军后方，国民党又搜罗了一些伪满官吏、警察、宪兵以及惯匪、地主、恶霸等组织土匪武装，号称所谓"先遣军"，不断进行军事骚扰，使我军腹背受敌。当我军抽出部分主力进行扫荡后，一部分被击溃的国民党匪首又潜入深山密林为非作歹。少剑波带领的36人小分队，深入林

海雪原，与这些敌人进行交锋。作品塑造了杨子荣、少剑波、刘勋苍、栾超家等英雄形象，展现了他们对人民赤胆忠心、为革命不惜赴汤蹈火的精神。

《平凡的世界》 长篇小说。路遥著。主人公孙少平与孙少安两兄弟同为黄土高原的儿子，在平凡的世界里，他们以各自不同的方式探索着人生。小说广泛涉及农村生活的各个方面，生动地记录了农村生活的巨大变化，表达了昂扬向上的奋发精神，展示了人的自尊、自强与自信，被誉为"第一部全景式描写中国当代城乡生活的长篇小说"。

《文化苦旅》 散文集。余秋雨著。全书凭借山水风物来寻求文化灵魂和人生真谛，探索中国文化的历史命运和中国文人的人格。作者以其深厚的文史功底和文化感悟力，超越了许多散文的凡俗与平庸，为当代散文领域提供了崭新的范例，开创了"文化散文"这一新的创作样式。

《秦腔》 长篇小说。贾平凹著。小说通过对秦人自导、自演、自观、自评秦腔的痴醉迷狂的传统风俗的描述，生动地展现了八百里秦川人潜藏于意识深层的刚烈、粗放、忍耐的民族气质和精神上自给自足的生存状态。作者以平静从容的笔调，呈现出一个充满生机与活力的、完整的自然和人文景观，一个单纯清澈而又丰厚的充实的世界。

五、外国作家·欧美部分

索福克勒斯 （约前496—约前406）古希腊三大悲剧作家之一，索福克勒斯早年就盛名远扬，自从公元前468年在戏剧比赛中赢了埃斯库罗斯，到72岁后败给欧里庇德斯，其间罕有人能与之匹敌。在长达70年的创作生涯中，他共写了120多部悲剧和滑稽剧。其作品流传至今的只有7部，即《埃阿斯》《俄狄浦斯王》《安提戈涅》《埃勒克特拉》《特拉喀斯少女》《菲罗克忒忒斯》和《俄狄浦斯在科罗诺斯》。其中，《安提戈涅》和《俄狄浦斯王》最能反映索福克勒斯的创作才能。

柏拉图 （前427—前347）著名的古希腊哲学家，他写下了许多哲学的对话录，并且在雅典创办了知名的学院(Academy)。柏拉图是苏格拉底的学生，是亚里士多德的老师，他们三人被认为是西方哲学的奠基者。代表作是《理想国》。

亚里士多德 （前384—前322）古希腊著名哲学家、科学家和文艺理论家。《诗学》是他的美学思想的代表作。

但丁 （1265—1321）意大利文艺复兴的伟大先驱。代表作《神曲》。

薄伽丘 （1313—1375）意大利文艺复兴时期作家、人文主义的重要代表。后来写了传奇《菲洛克罗》，长诗《菲拉斯特洛》，史诗《泰萨依德》等。代表作《十日谈》，大部分取材于中世纪民间传说、拉丁故事集和东方寓言，它反映了当时意大利的社会生活，表达了平民的愿望。

蒙田 （1533—1592）文艺复兴时期法国思想家、作家。蒙田把读书心得、日常感想、旅途见闻都写成文章，收在他的3卷《随笔集》里。这些随笔包罗万象，天文地理、草木虫鱼，无所不谈，看起来十分散漫，其实彼此连续，具有统一的风格。

·塞万提斯 （1547—1616）文艺复兴时期西班牙最杰出的现实主义小说家。他的代表作是长篇小说《堂吉诃德》，塑造了堂吉诃德这样一个脱离实际的主观主义者的文学典型。它是西班牙古典艺术的高峰，也是欧洲文学史上的一座里程碑。

弗兰西斯·培根 （1561—1626）英国哲学家、作家和科学家，是一生追求真理的思想家，被马克思称为"整个现代实验科学的真正始祖"。在逻辑学、美学、教育学方面也提出了许多思想。著有《新工具》《随笔》等，后者收入58篇随笔，从各个角度论述人生问题，精妙、有哲理，拥有很多读者。

莎士比亚 （1564—1616）欧洲文艺复兴时期最杰出的戏剧家和诗人。马克思赞誉他是"人类最伟大的戏剧天才"。他的主要成绩就是戏剧。其主要著作有历史剧《亨利四世》，喜剧《仲夏夜之梦》《威尼斯商人》，四大悲剧《哈姆雷特》《奥赛罗》《李尔王》《麦克白》，爱情悲剧《罗密欧与朱丽叶》等。

莫里哀 （1622—1673）法国古典主义喜剧奠基者。他一生共创作了30多部喜剧，是世界剧作家中成就颇高的一位。他的《伪君子》《唐璜》《悭吝人》是世界喜剧中最出色的作品。

笛福 （1660—1731）英国小说家。他的作品有《鲁滨孙漂流记》《辛格顿船长》《瘟疫年纪事》等。

《鲁滨孙漂流记》是英国第一部现实主义长篇小说，对英国小说的发展起过很大作用。笛福被誉为"英国和欧洲小说之父"。

让·雅克·卢梭 (1712—1778)法国著名启蒙思想家、哲学家、教育学家、文学家，是18世纪法国大革命的思想先驱，启蒙运动最卓越的代表人物之一。主要著作有《论人类不平等的起源和基础》《社会契约论》《爱弥尔》《新爱洛伊丝》《忏悔录》等。

歌德 (1749—1832)德国伟大的诗人和思想家，德国文学最高成就的代表，也是世界文学史上最重要的作家之一。早期重要作品有历史名剧《铁手骑士葛兹·封·伯利欣根》，诗歌《普罗米修斯》和书信体小说《少年维特之烦恼》，享誉世界。代表作《浮士德》是一部不朽的杰作，被认为是18世纪末至19世纪初德国在艺术上的最高成就。

布莱克 (1757—1827)19世纪英国浪漫派诗人，主要诗作有诗集《天真之歌》《经验之歌》等。早期作品简洁明快，中后期作品趋向玄妙晦涩，充满神秘色彩。

席勒 (1759—1805)德国杰出的剧作家与诗人。代表作是剧本《阴谋与爱情》。他和歌德是近代德国民族文学的奠基人，在德国文学史上有重要地位。

夏多布里昂 (1768—1848)法国浪漫主义文学的代表作家之一。出身贵族，法国大革命期间参加保皇军，后逃亡英国。王政复辟期间曾任内政大臣、驻外使节、外交大臣等职。1797年发表《革命论》，对法国大革命进行反思。主要作品有《基督教真谛》，其中的中篇小说《阿达拉》《勒内》曾风行一时。

克雷洛夫 (1769—1844)俄国寓言家。一生共创作寓言205篇。他用狮子、狐狸、梭鱼、蜜蜂等写成简单的故事，巧妙地反映了现实生活，表达了人民的思想感情，受到广泛的喜爱。

华兹华斯 (1770—1850)英国诗人，与柯尔律治、骚塞一起被称为"湖畔派"诗人。华兹华斯的诗以描写自然风光、田园景色、乡民村姑、少男少女闻名于世。文笔朴素清新，自然流畅，开创了新鲜活泼的浪漫主义诗风。华兹华斯的诗歌在描写自然风光、平民事物之中寓有深意，寄托着自我反思和人生探索的哲理思维。长诗《序曲》则是他最具有代表性的作品。

荷尔德林 (1770—1843)德国著名抒情诗人。代表作有《自由颂歌》《人类颂歌》《为祖国而死》等。唯一的书信体小说《许佩里昂》是他的成名作。还翻译了索福克勒斯的两部悲剧《俄狄浦斯王》和《安提戈涅》。

查尔斯·兰姆 (1775—1834)英国随笔作家。生于伦敦，作品有《万愚节》《古旧的瓷器》《偏见一束》《全世界背后的一部百科全书》等。兰姆的随笔后来收为两个集子《伊利亚随笔集》(1823)和《后期随笔集》(1833)。

克莱斯特 (1777—1811)德国剧作家，小说家。德国文学史上伟大的作家之一。他的代表剧作《破瓮记》与莱辛的《明娜·封·巴尔赫姆》和豪普特曼的《獭皮》(又译《海狸皮大衣》)并称为德国三大喜剧。他是德国文学史上创作志异小说的大师，代表作有《米夏埃尔·科尔哈斯》《智利地震》和《圣多明哥的婚约》等。他还是德国"逸事"文学体裁的创始人。另著有《论木偶戏》等文艺理论著作。

司汤达 (1783—1842)法国批判现实主义作家。代表作《红与黑》是批判现实主义的杰作，深刻地揭露了当时社会历史的本质。

欧文 (1783—1859)美国文学的奠基人之一。他是第一个得到欧洲承认的美国作家，被称为"美国文学之父"。欧文的第一部重要作品是《纽约外史》。1820年结集为《见闻札记》出版，引起了欧洲和美国文学界的重视。这部作品奠定了欧文在美国文学史上的地位。

拜伦 (1788—1824)英国积极浪漫主义诗人。重要作品有长诗《恰尔德·哈洛尔德游记》和代表作讽刺长诗《唐璜》。他的创作对欧洲浪漫主义文学有较大影响。

雪莱 (1792—1822)英国积极浪漫主义诗人。代表作是诗剧《解放了的普罗米修斯》，抒情短诗《西风颂》和《云雀颂》是脍炙人口的名篇。

海涅 (1797—1856)19世纪德国杰出的革命民主主义诗人和政论家。长诗《德国——一个冬天的童话》是他的代表作。《西里西亚纺织工人》是他的著名政治诗，诗歌第一次塑造了自觉埋葬旧制

度的资产阶级掘墓人的形象。

密茨凯维支 (1798—1855)波兰诗人、革命家。代表作有《先人祭》和《塔杜施先生》等。

普希金 (1799—1837)杰出的俄国民族诗人,19世纪俄国近代文学的代表和批判现实主义文学的奠基人。他的作品富有人民性,被称为"俄罗斯生活的百科全书"。他一生写了800多首抒情诗,包括著名的《自由颂》《致恰达耶夫》《致大海》《致诗人》等,叙事诗《茨冈》《青铜骑士》,长篇小说《上尉的女儿》,短篇小说集《别尔金小说集》和代表作长篇诗体小说《叶甫盖尼·奥涅金》。普希金是"俄国文学的始祖"。他的作品被译成全世界所有的主要文字。以普希金诗篇作脚本的歌剧《叶甫盖尼·奥涅金》《鲍里斯·戈都诺夫》《黑桃皇后》《鲁斯兰与柳德米拉》《茨冈》等等,是伟大的音乐作品;普希金的抒情诗被谱上曲,成了脍炙人口的艺术歌曲;有的作品还被改编成芭蕾舞,成为舞台上不朽的经典。

***巴尔扎克** (1799—1850)19世纪法国批判现实主义文学的杰出代表。代表作《人间喜剧》包括91部长篇小说和中短篇小说。革命导师马克思和恩格斯非常推崇巴尔扎克,认为他"对现实关系具有深刻的理解",称赞他是现实主义大师。选入高中课本的《守财奴》节选自《欧也妮·葛朗台》。

***雨果** (1802—1885)法国19世纪浪漫主义文学运动的领袖人物和代表作家。最著名的作品有《巴黎圣母院》《悲惨世界》等。

大仲马 (1802—1870)法国著名作家。他是个多产作家,长篇小说《基督山伯爵》是19世纪欧洲文学中的一部杰作。

爱默生 (1803—1882)美国思想家、散文家、诗人。1836年出版《论自然》一书,这部书几乎包含了他所有重要思想的胚芽。1837年8月31日,爱默生在美国大学生联谊会上以"论美国学者"为题发表演讲。南北战争时期,他为庆祝《黑奴解放宣言》的颁布,写了著名的《波士顿颂》一诗,为黑人的平等权利而呼吁。

梅里美 (1803—1870)法国杰出的现实主义作家、中短篇小说的能手。代表作是小说《嘉尔曼》(一译《卡门》),还有中篇小说《玛提奥·法尔贡奈》《高龙巴》等。

乔治·桑 (1804—1876)法国女小说家,1832年发表第一部小说《安蒂亚娜》,提出了妇女解放的问题。她的"社会问题小说"《木工小史》塑造了一个新的工人的形象,是一部较早地直接描写工人的小说。她的小说《康素埃洛》,描写了一个富有才华的女歌唱家康素埃洛的坎坷经历。她的《莫普拉》《安吉堡的磨工》也很出名。

安徒生 (1805—1875)丹麦童话作家。他一生共写了168篇童话和故事,是世界上最卓越的童话作家之一。名作有《皇帝的新装》《夜莺》《丑小鸭》《卖火柴的小女孩》《影子》《老房子》《母亲的故事》《园丁和主人》等,都已列入世界最优秀童话之列。

果戈理 (1809—1852)19世纪上半叶俄国最优秀的讽刺作家,批判现实主义文学的奠基人。1836年发表的讽刺喜剧《钦差大臣》是一部批判现实主义的优秀剧作,是俄国现实主义喜剧史上的一座里程碑。长篇小说《死魂灵》标志着他的创作最高峰。

赫尔岑 (1812—1870)俄国革命民主主义者、唯物主义哲学家、作家。代表作品是长篇小说《谁之罪》,中篇小说《偷东西的喜鹊》和《克鲁波夫医生》。

狄更斯 (1812—1870)19世纪英国批判现实主义作家的杰出代表。他一生共写了十几部长篇小说,还有许多中短篇小说、杂文和戏剧等。《大卫·科波菲尔》是他的代表作,重要作品还有《艰难时世》《双城记》等。狄更斯的作品以高度的艺术概括和生动的细节描写,真实地反映了19世纪中叶英国的社会风貌。

夏洛蒂·勃朗特 (1816—1855)英国作家。《简·爱》是她的代表作。1847年出版,轰动了英国文坛。另外,还有小说《谢利》《维莱特》。她的作品被视为"现代女性小说"的楷模。

欧仁·鲍狄埃 (1816—1887)法国诗人、巴黎公社的坚强战士。公社失败后的第二天,他写下的《国际歌》,是世界上无产阶级政权历史经验的艺术总结,是无产阶级艺术的典范。

梭罗 (1817—1862)美国19世纪浪漫主义文学时期的散文家和诗人。1845年他只身一人到康

科德附近森林里的瓦尔登湖畔，盖起一座小木屋，并在四周开荒种田，自力更生，过了两年多的隐居生活。后来按罗根据林中生活写成他的代表作《瓦尔登湖》，表达了一个浪漫主义者对现代文明的鄙弃。

屠格涅夫 （1818—1883）俄国作家。他一生创作了许多文学杰作，著名的有长篇小说《罗亭》《贵族之家》《前夜》《父与子》《猎人笔记》等。作品广泛地反映了俄国社会生活和自然风光。

惠特曼 （1819—1892）19世纪美国杰出的民主主义诗人。被誉为美国的"诗歌之父"。《草叶集》是他的代表作。

福楼拜 （1821—1880）法国批判现实主义作家。他有"客观而无动于衷"的创作理论和精雕细刻的艺术风格，作品多带有悲观主义的思想倾向，小说多以悲剧结局。代表作是《包法利夫人》，还有《情感教育》《纯朴的心》等。

陀思妥耶夫斯基 （1821—1881）19世纪俄国文学家，与列夫·托尔斯泰、屠格涅夫等人齐名，是俄国文学的卓越代表。有人说："托尔斯泰代表了俄罗斯文学的广度，陀思妥耶夫斯基则代表了俄罗斯文学的深度。"主要作品有《被侮辱与被损害的》《罪与罚》等。

波德莱尔 （1821—1867）法国19世纪著名的现代派诗人，象征派诗歌先驱，现代主义的创始人之一，代表作有诗集《恶之花》。还有散文诗集《巴黎的忧郁》和《人为的天堂》，文学和美术评论集《美学管窥》和《浪漫主义艺术》。

裴多菲 （1823—1849）匈牙利诗人、资产阶级民主主义革命家。他一生写了800多首抒情诗，8部长篇叙事诗，被誉为匈牙利"抒情之王"。主要作品有长诗《农村的大锤》和《勇敢的约翰》等。他的作品不仅在匈牙利，而且在世界文学史上都留下了光辉的一页。

法布尔 （1823—1915）法国散文作家、昆虫学家。他终生对动物特别是昆虫的生活，进行了深入细致的考察和研究，并将大量亲自观察所得写成著名的10卷本的"观察手记"，又名《昆虫记》。

小仲马 （1824—1895）法国著名作家。他最成功的小说是1848年发表的《茶花女》，1852年改编成剧本，引起更大的社会反响。他一生写了二十几个剧本，比较有名的有《金钱问题》《私生子》《放荡的父亲》等。

车尔尼雪夫斯基 （1828—1889）俄国革命民主主义者、唯物主义哲学家、批评家、作家。早期著有《艺术对现实的美学关系》，小说《怎么办?》是他的代表作。他被列宁称作"唯一真正伟大的俄国著作家"。

***列夫·托尔斯泰** （1828—1910）19世纪后半期俄国伟大的批判现实主义作家，也是举世公认的世界文学史上成绩卓著的艺术大师。他的全集达93卷，但使他登上欧洲批判现实主义文学高峰的主要还是三部里程碑式的长篇小说《战争与和平》《安娜·卡列尼娜》和《复活》。

易卜生 （1828—1906）挪威剧作家，被誉为"现代戏剧之父"。他1848年开始写作，一生共创作剧本30部。著名作品有《社会支柱》《玩偶之家》《群鬼》《人民公敌》等社会问题剧。

马克·吐温 （1835—1910）美国杰出的幽默讽刺作家。1884年发表的《哈克贝利·费恩历险记》是他的代表作。晚年著有《败坏了哈德莱堡的人》等名篇。

左拉 （1840—1902）19世纪后半期法国著名作家。他是自然主义文学理论的创始人。代表作有《小酒店》《萌芽》等。《萌芽》在世界文学史上第一次在长篇小说中成功地塑造了革命无产者的形象。

都德 （1840—1897）19世纪下半叶法国现实主义作家。代表作有长篇小说《小东西》等。短篇小说《最后一课》和《柏林之围》，以其深刻的爱国主义内容和精湛的艺术技巧而享有极高的声誉，成为世界短篇小说的杰作。

斯特林堡 （1849—1912）瑞典戏剧家、小说家，是继易卜生之后的又一位北欧戏剧大师。1870年写出第一部剧作《在罗马》并搬上皇家剧院的舞台。主要作品有《在罗马》《被放逐者》《奥洛夫老师》，三部曲《到大马士革去》《古斯塔夫·瓦萨》《厄里克十四》《一出梦的戏剧》《鬼魂奏鸣曲》。

***莫泊桑** （1850—1893）法国作家。他写了300多篇中短篇小说，6部长篇小说，3本游记，以

及许多文学、政治和时事评论，是举世公认的短篇小说大师。其作品的基本主题是暴露资产阶级精神面貌和社会风气的腐败堕落。著名作品有短篇小说《羊脂球》《项链》《我的叔叔于勒》等，长篇小说《一生》《漂亮朋友》等。莫泊桑短篇小说的主题大致可归纳为三个方面：第一是讽刺虚荣心和拜金主义，如《项链》《我的叔叔于勒》；第二是描写劳动人民的悲惨遭遇，赞颂其正直、淳朴、宽厚的品格，如《归来》；第三是描写普法战争，反映法国人民的爱国情绪，如《羊脂球》。莫泊桑短篇小说布局结构的精巧、典型细节的运用、叙事抒情的手法以及行云流水般的自然文笔，都给后世作家提供了楷模。

萧伯纳 （1856—1950）英国戏剧家。一生写剧本 51 部、小说 5 部和其他著作多种。1925 年荣获诺贝尔文学奖。他的著名剧本有《华伦夫人的职业》《鳏夫的房屋》。

*** 契诃夫** （1860—1904）19 世纪末期俄国杰出的批判现实主义作家，举世闻名的短篇小说巨匠和剧作家。他一生致力于短篇小说创作，共创作了 470 多篇中短篇小说和 10 多个剧本，是世界上最优秀的短篇小说作家之一。他的代表作有短篇小说《套中人》《变色龙》《万卡》《小公务员之死》等，剧本《万尼亚舅舅》《伊凡诺夫》《海鸥》《樱桃园》等都是艺术杰作。他是俄国文学史上第一个以短篇小说为主要创作体裁而登上世界文学高峰的人。契诃夫短篇小说的特点是戏剧化的结构与场面，简洁质朴的描写与叙事，意蕴深刻的幽默与讽刺。

莫里斯·梅特林克 （1862—1949）比利时诗人、散文家、象征派戏剧的代表作家。主要剧作有《玛兰纳公主》《莫娜·娃娜》《青鸟》等，其中梦幻剧《青鸟》，被公认为是其戏剧生涯的巅峰之作。1911 年获得诺贝尔文学奖。

*** 欧·亨利** （1862—1910）美国短篇小说家。他一生创作了 300 多篇短篇小说和一部长篇小说。《警察与赞美诗》《麦琪的礼物》《最后的常春藤叶》等作品，都是他精心构思的短篇杰作。他的作品被誉为"美国生活的幽默百科全书"。代表作有小说集《白菜与国王》《四百万》《命运之路》等。其中一些名篇如《爱的牺牲》《警察与赞美诗》《带家具出租的房间》《麦琪的礼物》《最后的常春藤叶》等，使他获得了世界声誉。欧·亨利小说的特点是情节发展出乎意料，又都在情理之中；描写生动，文字简练；语言幽默风趣，诙谐机智。他善于捕捉生活中令人啼笑皆非而富于哲理的戏剧性场面，从细微之处抓住特点，用形象的语言描绘出来，给人一种"含泪的微笑"的效果。

伏尼契 （1864—1960）英国女作家。《牛虻》是她的代表作。

叶芝 （1865—1939）爱尔兰诗人、剧作家。19 世纪 90 年代，倾向于浪漫主义。1891 年他与一些诗人组织了"诗人俱乐部"。这一时期的作品表现出脱离现实的唯美主义倾向，带有浪漫主义色彩，富于音乐美，被认为属于"先拉斐尔派"风格。著名作品有诗剧《心愿之乡》，诗歌《十字路口》，抒情诗《茵尼斯弗利岛》《白鸟》（象征灵魂）《世界的玫瑰》（象征爱情）等，1923 年获诺贝尔文学奖。

罗曼·罗兰 （1866—1944）法国作家。19 世纪末开始文学创作，早期主要写剧本，如《丹东》《爱与死的较量》等。20 世纪初，陆续发表《贝多芬传》《托尔斯泰传》等传记，歌颂优秀人物。1931 年发表《向过去告别》。罗曼·罗兰成就最高的代表作《约翰·克利斯朵夫》，是 20 世纪初期世界文学创作中最伟大的收获之一，他也成为 20 世纪初最重要的作家之一，获得 1915 年诺贝尔文学奖。

约翰·高尔斯华绥 （1867—1933）英国小说家、剧作家。一生中共创作了 17 部长篇小说、26 个剧本、12 部短篇小说以及若干散文和诗歌。是英国文学中现实主义传统的优秀继承者。他注重塑造典型性格，文笔自然流畅，故事情节跌宕有致。鉴于他在文学上的杰出成就，特别是"为其描述的卓越艺术——这种艺术在《福尔赛世家》中达到高峰"，而于 1932 年获诺贝尔文学奖。

高尔基 （1868—1936）伟大的无产阶级作家、苏联社会主义文学奠基人。著有《高尔基全集》69 卷。其中著名的作品有自传体三部曲《童年》《在人间》《我的大学》等。长篇小说《母亲》是他的代表作。散文诗《海燕》选自《春天的旋律》。

蒲宁 （1870—1953）俄国作家。1887 年开始发表诗作，1903 年以诗集《落叶》获莫斯科学术院的普希金奖。创作成就主要是中短篇小说，1897 年出版第一部短篇小说集《在天涯》。1910 年，中篇小说《乡村》问世，使他成为俄国文坛上的第一流作家。1933 年获得诺贝尔文学奖。

德莱塞 （1871—1945）美国小说家。他早期的长篇小说《嘉莉妹妹》《珍妮姑娘》等，在美国文学

史上第一次广泛真实地描写了美国下层人民的悲惨生活。1925年发表长篇小说《美国的悲剧》，被誉为"美国最伟大的小说"。

毛姆 (1874—1965)英国著名的小说家和戏剧家。他一生共创作了长篇小说4部、短篇小说150多篇、剧本30多个。毛姆主要的成就在小说创作上。他的长篇小说有《人生的枷锁》《月亮和六便士》《大吃大喝》和《刀锋》。他的短篇小说是英国20世纪写实主义短篇小说的代表。短篇小说集有《叶的震颤》《卡苏里纳树》与《阿金》等。毛姆的剧作以风俗喜剧为主，受王尔德影响较深，多以家庭爱情生活为题材，代表作《圈子》对人物内心世界的描摹颇为独到。

里尔克 (1875—1926)奥地利著名诗人。著有诗集《生活与诗歌》《祭神》《梦幻》等。著名作品有借赞美上帝以展现资本主义没落时期精神矛盾的长诗《祈祷书》《新诗集》和《新诗续集》。代表作有长诗《杜伊诺哀歌》和诸多十四行诗。

杰克·伦敦 (1876—1916)美国作家。代表作是带有自传性质的《马丁·伊登》。1910年以后还发表过负有盛名的短篇小说《墨西哥人》《在甲板的天篷下面》等。

赫尔曼·黑塞 (1877—1962)生长在德国的瑞士作家，1946年获诺贝尔文学奖。艺术风格受多种流派影响，既有传统现实主义(主要表现在早期作品，如《在轮下》等)，又有象征主义和浪漫主义，甚至被誉为"德国浪漫主义最后一个骑士"(主要表现在诗歌创作上)，有诗集《浪漫主义之歌》。他的小说成名作是《彼德·卡门青德》(1943)。

海伦·凯勒 (1880—1968)美国女作家、教育家。生于亚拉巴马州。出生十几个月时患病，双耳失聪，双目失明。在大学期间写了第一本书《我生命的故事》，叙述她战胜病残的经历，不仅给盲人而且给成千上万的残疾人带来了鼓舞。还写了几部自传体小说：《我所生活的世界》《从黑暗中出来》《我的信仰》《中流——我以后的生活》和《愿我们充满信心》。1964年被授予美国公民的最高荣誉——总统自由勋章。次年又被推选为世界十大杰出妇女之一。

茨威格 (1881—1942)奥地利作家、文艺评论家。生于犹太资产阶级家庭，作品有诗集《银弦》，剧本《先知》，传记《小说三大师》(巴尔扎克、狄更斯、陀思妥耶夫斯基)、《三大诗人》(卡萨诺瓦、司汤达、托尔斯泰)、《同恶魔战斗》，回忆录《昨天的世界》，著名小说《象棋的故事》等。

弗吉尼亚·伍尔夫 (1882—1941)原名弗吉尼亚·斯蒂芬，是英国现代著名的女小说家、评论家和散文作家。她的小说创作实践推动了现代小说的发展，她的创作理论进一步巩固了意识流小说的地位，她的影响在文坛上经久不衰。代表作为小说《黛洛维夫人》《到灯塔去》《海浪》。《墙上的斑点》是弗吉尼亚·伍尔夫于1919年发表的第一篇意识流小说。

卡夫卡 (1883—1924)奥地利作家，与马塞尔·普鲁斯特、詹姆斯·乔伊斯并称为西方现代主义文学的先驱和大师。其作品认识独到，批判深刻，主题曲折晦涩，情节支离破碎，思路不连贯，跳跃性很大，语言的象征意义很强。他的主要作品有长篇小说《美国》《审判》《城堡》，短篇小说《变形记》《判决》《在流放地》等。

艾兹拉·庞德 (1885—1973)美国诗人、评论家。代表作为《狂喜》《人物》两本诗集。《比萨诗章》在1948年获得博林根诗奖。他在伦敦的演讲也辑成集子《罗曼斯精神》。庞德的诗学对现代英美诗歌的发展具有重大的作用。庞德的诗歌理论推动了英美现代派诗歌的发展。

艾略特 (1888—1965)英国20世纪影响最大的诗人。代表作《荒原》是现代诗歌里程碑式的作品，展示了他对20世纪欧洲文明困境的关注。因《四个四重奏》获1948年诺贝尔文学奖。

安娜·安德烈耶夫娜·阿赫玛托娃 (1889—1966)苏联女诗人。有诗集《黄昏》《念珠》。她的诗多以短小精致的形式，袒露复杂的内心矛盾，是"阿克梅"派的杰出代表。另外有长诗《没有主人公的长诗》、组诗《安魂曲》等。1964年获意大利国际诗歌奖。

爱伦堡 (1891—1967)苏联著名作家。他的代表作长篇小说《暴风雨》获得1948年斯大林文学奖。他发表过小说《解冻》，还出版了长篇回忆录《人、岁月、生活》，共6部。《解冻》受到西方评论界的欣赏，被称为苏联"解冻文学"的先声。

马雅可夫斯基 (1893—1930)苏联诗人。他的代表作是长诗《好!》《列宁》。

沃兰茨 (1893—1950)南斯拉夫作家。1935年出版小说《与水搏斗》,受到文学界的重视。主要作品有小说《纵火者》《妙龄》《小坑》等。

伊瓦什凯维奇 (1894—1980)波兰诗人、小说家、剧作家。多次获波兰国家文学奖和国际文学奖。有诗集《另外的生活》《奥林匹克颂》等;中篇小说《圣女约安娜》描写17世纪波兰修道院的生活,1961年被改编成电影;长篇小说《荣誉和赞扬》反映了第一次世界大战初至第二次世界大战后波兰的生活。

叶赛宁 (1895—1925)苏联诗人。1916年出版第一本诗集《扫墓日》。十月革命在其诗作中迅速得到了反映,著名诗作有长诗《同志》《变容节》《约旦河的鸽子》等。之后又写出长诗《安娜·斯涅金娜》、诗集《苏维埃俄罗斯》等作品。

福克纳 (1897—1962)美国著名作家,"南方文学"流派的主要代表人物。最有代表性的作品是1929年出版的《声音与疯狂》。后期最重要的作品是《村子》《寓言》等。短篇小说有《老人》与《熊》。1946年出版《袖珍本福克纳选集》,1949年获得诺贝尔文学奖。

***海明威** (1899—1961)美国20世纪影响最大的作家之一。1954年获得诺贝尔文学奖。作品有《永别了,武器》《老人与海》等。

怀特 (1899—1985)生于纽约。美国当代著名散文家、评论家。他的散文中,最为世人称道的一篇是《林湖重游》。1959年,怀特出版了一本文体学专著《文体的要素》,这本书后来被广泛地用作美国中学与大学的教材。他的主要作品有《女士是冷酷的》《美国幽默文库》《个人观点》《这里是纽约》《夏洛的网》等。

豪尔赫·路易斯·博尔赫斯 (1899—1986)生于布宜诺斯艾利斯。阿根廷诗人、小说家。其小说创作的特点:题材的幻想性,主题的哲理性,手法的荒诞性,语言的反复性。代表作有短篇小说集《小径分岔的花园》《阿莱夫》《死亡与罗盘》《勃罗迪的报告》。此外,他还写有大量的散文、小品文和文学评论。

法捷耶夫 (1901—1956)苏联作家。他的长篇小说《毁灭》和《青年近卫军》被公认为是苏联最优秀的无产阶级文学作品。他写的《论鲁迅》和翻译的《阿Q正传》,对促进中苏文化交流作出了贡献。

休斯 (1902—1967)美国黑人诗人、小说家,美国黑人文艺复兴运动的领导者,被誉为"黑人桂冠诗人"。休斯的创作根植于美国黑人生活,创造性地把黑人民歌艺术引进诗歌创作,形成了轻松活泼、豪迈奔放的风格,对美国黑人诗歌的发展具有深远的影响。休斯写过小说、剧本、自传和新闻速写,以诗歌方面的成就最为突出。他创作了十多部诗集,比较重要的有《哈莱姆的莎士比亚》《单程票》等。

伏契克 (1903—1943)捷克斯洛伐克民族英雄、新闻记者、作家。著有《在亲爱的国家里》等作品。《绞刑架下的报告》是他在法西斯监狱秘密写下的一部长篇纪实小说,成为鼓舞全世界革命者的战斗作品。

欧文·斯通 (1903—1989)美国传记作家。一生写了25部传记小说,其中最有名的是《梵高传——对生活的渴求》。他还为杰克·伦敦、米开朗琪罗、弗洛伊德、达尔文等历史文化名人写过传,在欧美各国很有影响。

艾芙·居里 (1904—2007)法国科学家皮埃尔·居里与玛丽·居里的小女儿。法国作家,曾撰写其母传记《居里夫人传》。

奥斯特洛夫斯基 (1904—1936)苏联作家。代表作是长篇小说《钢铁是怎样炼成的》,1935年荣获列宁勋章。另著有长篇小说《暴风雨所诞生的》。

肖洛霍夫 (1905—1984)苏联著名作家。代表作是《静静的顿河》,1965年荣获诺贝尔文学奖。1932年完成另一部优秀长篇小说《被开垦的处女地》。

贝克特 (1906—1989)用法语写作的爱尔兰剧作家、小说家和诗人,当代盛行于欧美的荒诞派戏剧的主要代表人物。早期创作诗集《胡罗斯考坡》、长篇小说《莫尔菲》具有现代派的特点。后来创作的长篇小说三部曲《莫洛伊》《马洛纳之死》和《无名的人》被一些评论家誉为20世纪的杰作。剧作《等待戈多》(1952年创作)是其成名作。1969年获诺贝尔文学奖。

阿尔贝·加缪 (1913—1960)法国小说家、戏剧家、评论家。出生于阿尔及利亚。1942 年加缪因发表《局外人》而成名。他的小说《鼠疫》得到一致好评,但是《反抗的人》一书由于宣扬"纯粹的反抗",即反对革命暴力而导致了他和萨特派的决裂。主要作品还有随笔《西西弗的神话》、剧本《正义者》、小说《堕落》和短篇小说集《流放和王国》(1957)等。1957 年获诺贝尔文学奖。

刘易斯·托马斯 (1913—1994)美国医学家、生物学家。1974 年出版随笔集《细胞生命的礼赞》,该书收文二十九篇,获该年度美国图书奖,是一名医学家、生物学家对生命、人生、社会乃至宇宙的思考,其文笔优美、清新、幽默、含蓄,为当今科学散文中的大家手笔。另外还有《水母与蜗牛》。

伯纳德·马拉默德 (1914—1986)美国犹太裔作家。其大多作品用怜悯而扭曲的幽默描绘人们对美好生活的追求。其作品有《店员》《新生活》《房客》《杜宾的选择》《上帝的恩赐》等小说,以及一些内容丰富的短篇故事集。

维·彼·阿斯塔菲耶夫 (1924—)俄罗斯当代著名的抒情小说作家。他的代表作有《陨星雨》《最后的问候》《牧童和牧女》《鱼王》等。

六、外国作家·亚非拉部分

迦梨陀娑 印度古代剧作家、诗人,生卒年均不详。其代表剧作是《沙恭达罗》。作品语言优美,风格爽朗,富有浪漫主义气息,它是梵文古典文学的代表作之一。

泰戈尔 (1861—1941)印度作家、诗人和社会活动家。主要作品《暮歌》和《晨歌》,著名的《故事诗集》在印度广为流传。1913 年出版了《吉檀迦利》英译本,荣获诺贝尔文学奖,是亚洲第一个获得诺贝尔文学奖的作家。印度人民尊崇他、热爱他,称他为"诗圣""印度的良心"和"印度的灵魂"。泰戈尔的诗歌风格的最大特点是清新自然、淡雅无痕。在遣词上,诗人很注意它的美感和音乐性,并富有变化;但是,它又很朴实自然,不落俗套。更重要的是,它所表达的景物含有丰富的情感和生动的意境,因此,泰戈尔的诗往往先给读者一种形式美,渐渐地把读者引入美妙的诗句所蕴涵的情感和意境之中,此时往往形式美完全融合于情感美和意境美。

朴仁老 (1561—1642)朝鲜诗人。诗作中《太平词》《船上叹》较出名,对朝鲜诗歌的发展影响很大。著有《芦溪集》。

赵基天 (1913—1951)朝鲜诗人。先后写有抒情诗《图们江》《土地之歌》和著名长篇叙事诗《白头山》等。诗歌《在燃烧的街道上》《让敌人死亡》等,表现了朝鲜人民不畏强暴、反击侵略者的英雄气概和顽强的战斗精神。

夏目漱石 (1867—1916)日本作家,原名夏目金之助。主要作品有《我是猫》《三四郎》《其后》及自传体小说《道草》等。

德富芦花 (1868—1927)日本小说家。他的小说《不如归》早在 1909 年即由林纾译成中文。德富芦花的散文曾在日本文坛产生过深远影响,被誉为进行美感教育的范文。作品有小说《黑潮》《杜宇》《回忆》,小品集《自然与人生》。

德永直 (1899—1958)日本作家。代表作品有长篇小说《没有太阳的街》《静静的群山》等,其中前者被誉为战前无产阶级文学名著。

川端康成 (1899—1972)日本小说家。主要作品有《伊豆的舞女》《古都》《雪国》等。1968 年获诺贝尔文学奖。1972 年自杀。在艺术上早期追求"新感觉""新表现手法",后又参加"新兴艺术派"等文学运动,作品常带有消极悲观的情调。

小林多喜二 (1903—1933)日本无产阶级作家。代表作有长篇小说《蟹工船》,中篇小说《工厂党支部》《组织者》等,对日本革命文学影响很大。

水上勉 (1919—2004)生于日本福井县,幼时家境贫寒,曾被送至京都相国寺当徒弟,辗转从事过小贩、代课老师等多种职业。他是战后日本文坛巨擘,1988 年入选为日本艺术院会员,同年获得"文化功劳者"殊荣,被称为"社会派推理作家"。水上勉以《饥饿海峡》《雁寺》,奠定了他在日本文坛的地位。

哈利勒·纪伯伦 (1883—1931)出生于黎巴嫩。其作品主要有中篇小说《折断的翅膀》,短篇小说集《草原新娘》和《叛逆的灵魂》,散文诗集有《暴风集》《珍趣篇》和《先知》等。纪伯伦的散文诗淡雅隽永,包含着哲理与对人生、社会、历史的深刻思考和透视。

志贺直哉 (1883—1971)日本作家。日本私小说(自我小说)的代表作家之一。主要私小说作品有《大津顺吉》和《和解》等。他又把私小说发展成以写自己心情为主的所谓心境小说,成为心境小说界的泰斗。主要作品有《十一月三日午后的事》《住在沟沿》等。

室生犀星 (1889—1962)日本诗人、小说家。1918年出版诗集《抒情小曲集》《爱的诗集》,1919年发表《第二爱的诗集》《忘春诗集》等。诗人早期的作品大多反映了内心的纯情与凡事忍让这一家庭教诲的冲突。通过对自己放纵生活的描写,表达内心的孤独,给人以纯真野性之感。从《爱的诗集》起,他的诗风为之一变,诗作大多从人道主义的观点出发,追求自然人的纯朴与纯真。

米斯特拉尔 (1889—1957)智利女诗人。拉丁美洲第一位诺贝尔文学奖获得者。"她那富于强烈感情的抒情诗歌,使她的名字成了整个拉丁美洲理想的象征,"20岁时她已在报刊上发表诗歌和短篇小说,引起人们注意。以三首《死的十四行诗》荣获了圣地亚哥花节诗歌比赛第一名。1945年获得诺贝尔文学奖。

聂鲁达 (1904—1973)智利诗人。1971年荣获诺贝尔文学奖。代表诗作有长诗《伐木者醒来吧》,另有诗集《葡萄园和风》等。

加西亚·马尔克斯 1928年生。哥伦比亚著名小说家、新闻记者,拉美魔幻现实主义的著名作家。作品有中短篇小说《枯枝败叶》《周末后的一天》,长篇小说《恶时辰》《百年孤独》。1982年获诺贝尔文学奖。

何塞·马蒂 (1853—1895)古巴卓越的诗人、杰出的民族英雄、伟大的思想家。他的诗集《伊斯马埃利约》是最早带有现代主义色彩的诗作品。诗集《自由的诗》表露了他内心的矛盾和苦闷,带有哲理和说教的意味。《纯朴的诗》的内容也比较深刻,形式上更多地受到传统诗歌的影响:真挚、自然、纯朴,同时带有鲜明的民歌特色。马蒂在文学上的影响遍及拉丁美洲和西班牙,是沟通后期浪漫主义和现代主义之间的桥梁,在文学史上占有重要的地位。

豪尔赫·路易斯·博尔赫斯 (1899—1986)阿根廷诗人、翻译家、当代最重要的小说家,对拉丁美洲文学有深刻的影响。1923年正式出版第一本诗集《布宜诺斯艾利斯的激情》和后来面世的两部诗集《面前的月亮》和《圣马丁札记》。有短篇小说集《世界性的丑事》《交叉小径的花园》等。其小说创造了一种新的被称为"极端主义"的流派。

七、外国作品·欧美部分

1. 古希腊、古罗马文学

《荷马史诗》 即《伊利亚特》和《奥德赛》。古希腊最著名的两部史诗。相传是盲诗人荷马所编。它以英雄人物为中心,采用六音步诗行,节奏感很强,规模宏伟,富于戏剧性,生活气息浓厚。《荷马史诗》是人民群众思想、智慧和艺术才能的结晶,是欧洲文学史上最优秀的作品之一,被誉为欧洲史诗的典范,并为以后的文学艺术提供了丰富的素材,对欧洲文学的发展影响深远。

《伊利亚特》 史诗。传为古希腊荷马编订。以历时十年的特洛伊战争为题材。传说中的特洛伊战争的起因是:珀琉斯和女神忒提斯举行婚礼,所有女神都邀请了,偏偏漏掉了掌管争执的女神厄里斯。于是,厄里斯在盛宴方开之际,偷偷溜进席间,扔了一个刻着"属于最美者"的金苹果。赫拉、雅典娜和阿佛洛狄忒三位女神果然争执起来。后请特洛伊王子帕里斯公断,三位女神都许给帕里斯以最大的报酬,希望他把金苹果判给自己。赫拉许他成为国王,雅典娜许他成为伟大的英雄和战士,阿佛洛狄忒许他成为世界上最美丽的女子的丈夫。年轻的帕里斯把金苹果判给了阿佛洛狄忒。阿佛洛狄忒便帮助帕里斯把斯巴达王美丽的妻子海伦拐走了。这件事引起了全体希腊人的愤怒,于是,希腊各部落公推阿伽门农为首领,联合攻打特洛伊。奥林匹斯山上的众神也分成两派,各助一方。《伊利亚特》集中描写了战争最后一年里二十多天的事情。希腊联军勇将阿喀琉斯因一个女俘

与主帅阿伽门农发生争执，阿伽门农从阿喀琉斯手中抢占了女俘，阿喀琉斯愤然拒绝出战。特洛伊人乘机进攻，将希腊联军逼到海边，情况十分危急。这时，阿喀琉斯的好友帕特洛克罗斯挺身而出，攻到特洛伊城下，但被特洛伊人的主将赫克托耳刺死。为替好友报仇，阿喀琉斯重新与主帅和好，再度出战，杀死了赫克托耳。后由奥德修斯用木马计攻破特洛伊城。作品歌颂了交战双方英雄们的骁勇与功勋，人物富于个性化，情节集中紧凑，结构安排巧妙，表现出高度的艺术性。

《奥德赛》 史诗。传为古希腊荷马编订。描写特洛伊战争结束后希腊英雄奥德修斯班师回国，回航的旅程很不顺利，在海上漂流了十年。到过吃迷莲的人住的国土，吃了这种迷莲就忘记了家乡。又来到巨人岛，被独眼巨人关在山洞里。他设法刺瞎了巨人的眼睛，逃出了山洞。后又到过风神岛、喀尔刻巫女的海岛，游历过地府，路过由海妖盘踞着的礁山等等，历尽艰难险阻，只身回到故乡。又与儿子一起，设计杀死了图谋夺取他的妻子和财产的一百多个贵族求婚者，重新做了国王。作品歌颂希腊英雄征服自然的聪明才智与乐观主义精神。

《伊索寓言》 古希腊寓言的汇编。相传为伊索所作。它主要反映下层平民和奴隶的思想感情，总结他们丰富的斗争经验和生活教训。它的艺术性较高，短小精悍，比喻恰当，形象生动，语言精练，寓意深刻，为广大群众所喜闻乐见。它是欧洲最早的寓言集，在欧洲文学史上奠定了寓言创作的基础。后代作家经常引用它，或作为重新创作的题材，或作为抨击暴政、讽刺敌人的武器。

希腊神话 它主要包括神的故事和英雄传说两大类。神的故事包括开天辟地、神的产生、谱系以及人类起源等等。古希腊的神自私、任性、爱享乐、爱虚荣、好争权夺利、嫉妒心和复仇心很强，可能是根据奴隶主贵族的形象来塑造的。英雄传说是歌颂在同自然和社会斗争中建立过功勋的各氏族部落的英雄，他们体力过人，聪明机智，百折不挠，品德高尚，是古代劳动人民集体的力量、智慧和高贵品质的化身。希腊神话为古希腊文学艺术提供了丰富的素材，对欧洲文学产生了深远的影响。

《被缚的普罗米修斯》 又译为《被锁链锁住的普罗米修斯》。悲剧。古希腊埃斯库罗斯著。取材于普罗米修斯盗取天火的神话传说，写众神首领宙斯为惩罚普罗米修斯，指派威力神和暴力神用铁链把他钉在高加索山上，但他傲然不屈，先后拒绝河神奥克阿诺斯和众神使者赫尔墨斯的诱惑，以致受到众神各种残酷的折磨，最后在宙斯的雷电中沉沦于大地深处。悲剧的主人公，实为雅典工商民主派的化身。作品表现了他为正义事业而斗争的高尚精神和雄伟气魄，意在歌颂雅典工商民主派反对贵族专制统治的斗争。全剧富于哲理的肃穆气氛，感情汹涌澎湃，体现了雅典工商民主派的自豪感，是希腊悲剧中主题较崇高、风格较庄严的作品之一。

2. 英国文学

《威尼斯商人》 讽刺喜剧。英国莎士比亚著。叙述了威尼斯商人安东尼奥借钱给人不收利息，引起高利贷者夏洛克的忌恨。后安东尼奥为成全好友巴萨尼奥与鲍西娅的婚事，向夏洛克借款。夏洛克趁机报复，假意不收利息，但提出立约三个月，到期不还则从安东尼奥身上割取一磅肉作为条件。安东尼奥因商船遇事，到期无法还债。夏洛克诉诸法庭，要求履行借约。此时鲍西娅假扮律师出庭，亦根据法律解释契约，提出不准多割或少割，也不准割时流血或伤害生命，否则按犯法论处，并将财产充公，致使夏洛克败诉。作者站在新兴资产阶级立场上肯定商业资本，批判腐朽的高利贷资本，并塑造了欧洲文学史上第一个贪婪的资产者夏洛克的形象，也塑造了体现作者理想的资产阶级新女性鲍西娅的形象。

《罗密欧与朱丽叶》 悲剧。英国莎士比亚著。描写意大利（一说英国）贵族凯普莱特的女儿朱丽叶与蒙太古的儿子罗密欧真诚相爱，但因两家世代为仇而受到阻挠的故事。经神父帮助，两人秘密举行婚礼。后罗密欧为友复仇，杀死凯普莱特的侄儿提伯尔特，被维洛那亲王放逐。与此同时，凯普莱特要把女儿嫁给帕里斯伯爵。朱丽叶求救于神父，神父一面给她吃迷药装死，一面派人通知罗密欧返回。不巧送信人误了行程。罗密欧听说朱丽叶已死，急忙赶到她身边，痛不欲生，服毒自杀。朱丽叶醒来见爱人已死，亦用匕首结束了自己的生命。悲剧以两家械斗开始，以主人公之死换来两家和好作结，谴责了封建家族的内讧与封建包办婚姻，歌颂了对自由爱情的追求，在当时具有反封建的意义。

*《哈姆莱特》 悲剧。英国莎士比亚著。取材于12世纪末的丹麦史。描写丹麦王子哈姆莱特留学德国时，他的叔父克劳狄斯为了篡夺王位毒死其父，骗娶其母，并篡夺了王位。回国后，老国王鬼魂显灵，嘱其复仇。哈姆莱特为拯救国家并报父仇，遂决心担负起重整乾坤的重任。于是装疯卖傻，经过与克劳狄斯的种种艰苦斗争，终于弄清真相，杀死了奸王，自己亦被毒剑刺死。作品热情歌颂了哈姆莱特所进行的反封建斗争，无情地揭露了以克劳狄斯为首的专制王朝的罪恶与暴力，集中表现了作者的人文主义思想。

《鲁滨孙漂流记》 长篇小说。英国笛福著。描写青年时代的鲁滨孙不安于平庸舒适的生活，私逃离家，出海经商。因遇海盗，为摩尔人所俘。后逃往巴西，成为种植园主。为补充劳力，又去非洲贩卖黑人。不料海船遇难，只身漂流到一个荒无人烟的孤岛上。在离群索居的恶劣环境中，他很快克服了悲观情绪和无能为力的消极态度，从沉船上搬来一些有用的东西，用各种方法谋取食物，建筑住所，制造器皿、驯养野羊，耕种土地，以开天辟地的热情和顽强劳动，战胜了自然，改变了环境，积累了财富。直至第二十四年，又意外地从举行人肉筵宴的"野人"中救出了一个将要被杀的"野人"，取名"星期五"并用火枪和基督教义训练他，使之成为忠实奴仆。最后鲁滨孙成为该岛领土的所有者、统治者和立法者。作品借此歌颂了资本主义上升阶段资产阶级的冒险进取精神，表现了他们为创造个人财富而显露的聪明才智、劳动热情和战胜困难的毅力。其中赞美劳动、颂扬人对自然斗争的描写，至今仍有一定的积极意义。

《唐璜》 长诗。英国拜伦著。描写年仅16岁的西班牙贵族青年唐璜，爱上一位贵族夫人，被母亲打发到远方去旅行。在海船上遭难，只身漂流到希腊的一个岛上，被海盗的女儿海黛所救。两人一见钟情，正打算结婚时，遭到外出归来的海黛的父亲阻止，并将唐璜送到君士坦丁堡的奴隶市场拍卖。苏丹国王第一夫人的仆人见其貌美，买他进宫，男扮女装以做王宫内妃。后被苏丹国王驱逐，流浪到伊斯马尔。时值俄、土交战，唐璜参加俄国军队，立了战功，被派向俄皇叶卡捷琳娜二世报捷，并留宫中，成为女皇宠臣。此后，又奉命出使英国，在英国上流社会开始了新的浪漫冒险生活。因诗人去希腊作战，长诗写到这里中断，但已完成的这十六章，已经展现出一幅欧洲各国生活的讽刺画面，表达了对封建专制和金钱统治的轻蔑和仇视。此作富有艺术多样性：既有动人的情节，又有诗人的政治见解和抒情插曲，是诗人运用浪漫主义与现实主义两种创作方法写出的最优秀作品。

*《匹克威克外传》 长篇小说。英国狄更斯著。描写老绅士匹克威克带领以他本人命名的俱乐部的三位成员——年迈多情的特普曼、附庸风雅的史拿格拉斯和纸上谈兵的文克尔走出伦敦，到英国各地漫游。《匹克威克外传》的情节大体上有四条线索：房东巴德尔太太状告匹克威克毁弃婚约；仆人山姆·维勒的父亲同骗吃骗喝的伪善牧师史得金斯的纷争；俱乐部几位成员的爱情故事；匹克威克和山姆·维勒主仆同流氓金格尔的冲突。全书以最后一条线索贯穿始终，金格尔因受到匹克威克的道德感化最后改邪归正，形象地宣扬了善良战胜邪恶的道德信条。作者怀着鲜明的爱憎，运用引人入胜的讲故事的写作技巧和精彩无比的喜剧手法，成功地塑造了不同性格的人物。匹克威克和他的俱乐部成员虽然是有产者，但作者没有赋予他们本阶级的恶习，却予以平民阶层的习性，都循规蹈矩地遵守道德原则。在描写匹克威克在出行途中陷入多重困窘的境地时，作品竭力渲染了他的天真、幼稚、不懂生活、处处碰壁。匹克威克总是好心肠办傻事，到处吃亏出洋相，在屡遭挫折的情况下仍保持乐观开朗的性格，让人觉得可笑，又惹人喜爱。作者不仅给正面人物都敷上了一层喜剧色彩，而且对反面人物和丑恶现象也都采用喜剧的艺术手段，加以夸张、漫画化，达到尖刻嘲讽和愤怒谴责的艺术效果。

《大卫·科波菲尔》 长篇小说。英国狄更斯著。描写大卫·科波菲尔幼时丧父，因受继父虐待被迫独立谋生。先后在寄宿学校读书，并当学徒，因不堪忍辱受屈，逃至姨婆家，被收养。经过个人的奋斗，终成著名作家。作品通过主人公的悲惨经历，揭露了英国资产阶级的专制教育和残酷的劳动剥削对儿童的摧残，抨击了司法机构的黑暗腐败，表现了作家对困苦无靠的弱者的同情，并以主人公的最后成功，企图鼓舞人们保持对生活的信心和热爱。此作融入了作家幼时自身痛苦的经历，故写得真切感人，是英国批判现实主义的优秀作品。

《简·爱》 长篇小说。英国夏洛蒂·勃朗特著。描写了寄养在舅母家里的孤女简·爱，在遭受百般虐待后，又被送往慈善学校，经历十年之久的"惩罚肉体以拯救灵魂"的残酷折磨。毕业后，应聘担任桑弗尔德庄园主罗契斯特"私生女"的家庭教师。此间，她以自己清高和独立的个性，而与愤世嫉俗的庄园主产生了爱慕之情。但当他们打破门第，举行婚礼时，简·爱发现罗契斯特的疯妻还活在人间，遂在悲痛中离开庄园。此后，罗契斯特的疯妻放火自焚，罗契斯特的眼、手也在救火中致残。简·爱因得到一笔遗产而致富，但爱情的力量又驱使她重新回到已经化为灰烬的桑弗尔德庄园，终以平等的地位与罗契斯特结婚。作品通过女主人公的曲折经历和个人奋斗，揭露了资本主义社会的伪善与不平，表现了妇女面对冷酷现实而顽强不屈地追求正义和幸福的反抗精神。

《荒原》 长诗。英国托·斯·艾略特著。全诗借用寻找圣杯的神话故事，旁征博引五种语言、五十六部前人著作，写某地方的渔王因患病和衰老，致使他的肥沃的国土变成了"荒原"。有一少年英雄身带利剑，历经艰险，终于找到了治愈渔王疾病的圣杯，并使"荒原"复苏。诗歌采用象征性的神话传说，把西方现代社会描写成一个完全干枯的、没有任何生命现象存在的荒原，深刻地反映了第一次世界大战后，西方资本主义社会经济和精神的危机，但同时又极力宣扬皈依天主教以求死而复生的神秘主义思想。作品问世以后，"荒原"一词成为西方社会动荡和精神危机的象征，经常被舆论界所援引。此诗亦被视为象征主义诗歌的里程碑。

《牛虻》 长篇小说。英国女作家伏尼契著，作于1889～1897年。描写"青年意大利党"的信徒亚瑟·勃尔顿刚开始参加民族解放运动时，因年轻单纯而又虔信宗教，被伪善的牧师利用他的忏悔而告密，导致他和战友一同被捕。此时又得知其最崇拜的神父蒙太里尼原来是他的非法生父，更使他认清了宗教的虚伪和反动，因而追悔莫及，出狱后，少年时代的女友琼玛视他为叛徒而与之断绝关系；回到家中又受到兄嫂的侮辱和虐待，于是愤然出走，流亡到南美洲。十三年后回到意大利时已成残废，改名为范里斯·列瓦雷士，从事革命活动，并以"牛虻"的笔名发表了揭露和批判天主教会和反动当局的文章，受到广大人民的喜爱。后私运军火，在亚平宁山区组织起义时被捕，判处死刑。主教蒙太里尼明知他是自己的亲生儿子，但见死不救，仍按其阶级意志同意军事当局将他处死，牛虻英勇就义。作品塑造了彻底的无神论者和坚强的革命者牛虻的英雄形象，反映了意大利人民为反对奥地利统治、争取祖国独立和统一而进行的英勇斗争，揭露了反动统治阶级和天主教会为镇压民族解放运动而互相勾结、狼狈为奸的丑恶面目。

《墙上的斑点》 短篇小说。英国意识流小说家伍尔夫著。采用意识流写法，表达对现代西方人精神特征的独特揭示：意识离不开社会存在。作品具有特定的社会性。作品的大量内容杂乱无序，反映了人的心理在新的社会条件下更加复杂化。杂乱之中的核心是：渴望摆脱那种陈腐和令人窒息的势利的老式家庭。反映出现代人，特别是敏感的知识分子日益严重的精神矛盾与思想危机，以及他们要求在精神上获得更大自由的情怀。

3. 法国文学

《巨人传》 长篇小说，共5卷。法国拉伯雷著。作品取材于民间传说，描写了巨人国国王格郎古杰的儿子卡冈都亚和孙子庞大固埃的惊人事迹。表现了新兴资产阶级渴求知识和开创新世界的愿望，点明了整部小说的中心思想。作品以离奇的情节、极度的夸张、尖锐的讽刺、自由的结构等特殊的艺术手法，描绘了16世纪上半期法国社会的全貌，揭露了封建制度和教会的黑暗腐朽，宣扬了人文主义的社会理想，反映了新兴资产阶级个性解放的要求。是文艺复兴时期的代表作。

《怪吝人》 又名《吝啬鬼》，讽刺喜剧。法国莫里哀著。取材于古罗马喜剧作家普劳图斯的《一坛黄金》。叙述高利贷商人阿巴贡爱财如命，想给儿子克莱昂特娶有钱的寡妇，又要把女儿艾莉丝嫁给不要嫁妆而已年过半百的穷老汉昂塞耳墨，自己也打算不费分文与年轻貌美的姑娘玛丽亚娜结婚。而玛丽亚娜恰巧又是儿子的情人。他放债，想不到借债人竟是自己的儿子。他在准备为女儿订婚的那天，儿子令仆人偷走了他埋藏的一万金币，他痛不欲生，最后以归还金币为条件，才允许儿子和女儿各自与其情人结婚。作品运用夸张手法集中刻画了主人公的吝啬性格，揭露了资产阶级的贪婪本质。

《伪君子》 一译《达尔杜弗》或者《骗子》。诗体喜剧。法国莫里哀著。写披着虔诚的天主教徒外衣的达尔杜弗，以假仁假义的"崇高"宗教德行博得富商奥尔贡及其母亲的信任，成为这个家庭的"上宾"和"精神导师"。虽全家一致反对，但奥尔贡却执迷不悟，而且打算把爱女嫁给他。当其子发现达尔杜弗企图勾引自己的后母而当场予以痛斥时，奥尔贡竟反责儿子诋毁圣贤，将儿子赶出家门，剥夺其继承权，而把财产全部赠与达尔杜弗，甚至还将一桩政治秘密告诉了他。后奥尔贡的妻子欧米尔巧施计谋，让丈夫亲眼看见达尔杜弗向自己调情的丑恶表演，奥尔贡才识破骗子的真面目。事发后，达尔杜弗反以财产继承人的身份要将奥尔贡赶走，并抢先向国王告发他藏匿政治犯的信物。但国王已经弄清了事情的始末，下令将达尔杜弗逮捕入狱，而赦免了奥尔贡。此作通过达尔杜弗的形象，深刻揭露和讽刺了贵族上流社会赖以存身的宗教的伪善、狠毒和荒淫无耻。

《红与黑》 长篇小说。法国司汤达著。小说以波旁王朝复辟最后几年为背景，以个人野心家于连·索黑尔往上爬的故事为主线，描绘了1830年前后法国的社会面貌，真实地揭露了封建贵族和反动教会又勾结又争夺的复杂关系与罪恶阴谋，并预示了"七月革命"的政治形势，具有鲜明的时代特征和深刻的社会意义。

《高老头》 长篇小说。《人间喜剧》中的一部。法国巴尔扎克著。情节分为两条线索：第一条线索是关于高老头的故事，描写靠投机发横财的面粉商高老头在丧偶以后，把大部分财产作为陪嫁分给了转眼要当贵族夫人和银行家太太的两个女儿，而自己仅留一点儿生活费，退休住在伏盖公寓。初时，两个女儿还频来公寓，以榨取他的最后一点养老金，但当钱财耗尽后，两个女儿再也不来看他一眼，直到他在思念女儿中孤独病死。第二条线索叙述住在公寓里的另一个房客、出身于没落贵族家庭的外省青年拉斯蒂涅来到巴黎以后，在金钱世界的腐蚀下，抛弃刻苦读书的念头，最后决心勾引高老头的小女儿、银行家太太但斐纳，并以此为垫脚石而跻身于上流社会。作品通过这两个互相联系的故事，揭露和抨击了资本主义社会金钱支配一切的罪恶和道德堕落的根源。

*《欧也妮·葛朗台》 长篇小说。《人间喜剧》中的一部。法国巴尔扎克著。描写了箍桶匠葛朗台依靠控制市场、哄抬物价、投机倒把、囤积居奇，成为当地拥有一千七百万法郎的最大富翁后，视金钱如性命，竟眼看着兄弟破产自杀而不救，并逼走侄儿、折磨死妻子、断送女儿的青春，最后双眼盯着搜刮来的钱财死去。作品通过对这一贪婪、吝啬的资产阶级暴发户形象的刻画，深刻地揭露了资产阶级罪恶的发家史，以及当时社会中人与人之间丑恶的金钱关系。《欧也妮·葛朗台》是巴尔扎克的代表作，是《人间喜剧》中"最出色的画卷之一"。语言优美生动，细节描写精彩独到，情节紧凑，布局严密，成功地塑造了葛朗台这个世界文学人物画廊中著名的吝啬鬼形象。

《基督山伯爵》 旧译《基督山恩仇记》。长篇小说。法国大仲马著。描写了法国波旁王朝复辟和七月王朝时期，年仅19岁的商船大副邓蒂斯由叙利亚回马赛途中，因受死去的老船长临终之托，去爱尔巴岛会见囚禁于此的拿破仑，后又受拿破仑委托，带交一封密信给巴黎拿破仑党领袖诺第埃。不料还未将信递走，在举行婚礼之际，被押运员邓格拉司伙同弗南诬告为拿破仑党分子而遭逮捕。审案检察官维尔福发现密信的收信人恰是自己的父亲，将他打入秘密死牢以灭口。14年后，曾与他商定一起越狱逃跑的神父法利亚突然发病身亡。临终前，向他吐露了基督山无人岛埋着一笔巨大财富的秘密。邓蒂斯逃出监狱后，找到秘密金窖而成为百万富翁。他先化装去马赛，以巨资报答曾接济他父亲的埃及王号船主的恩情，后又化名基督山伯爵来巴黎调查三个仇人的罪证，终使弗南负罪自杀，维尔福毁誉发疯，邓格拉司破产逃亡。作品以丰富的想象、惊险的场面、引人入胜的曲折情节，在一定程度上揭发了社会的黑暗、上层统治阶级的卑劣面目，表达了对受害者的深切同情，但将尖锐的社会矛盾归结为"善恶"冲突，又有宣扬金钱万能、富翁主宰一切的倾向。

《悲惨世界》 长篇小说。法国雨果著。全书五部。描写了修树枝的工人冉阿让，在饥饿中偷了一块面包，被判五年苦役。因先后四次逃跑，被加刑至十九年。刑满后，又偷窃主教的银器，受到主教的感化，决心立志从善。后改名马德兰，经营工业，同情穷人，兴办慈善机构，做了不少改良社会的工作，被选为市长。不久却被新任警长沙威认出。为了解救被误控为冉阿让的无辜者，主动向法庭自首而再次被捕。后又从狱中逃出，履行入狱前曾应允的诺言，重金赎出并收养被迫害致死的女工

芳汀的女儿珂赛特，隐居巴黎。珂赛特长大成人后与青年马利尤斯相爱。1832年，马利尤斯参加共和党人的起义，冉阿让为了促成他们的婚事，冒着生命的危险，亲赴街垒战场寻找马利尤斯。恰遇起义战士正要处决被俘的沙威。出于人道主义，他以德报怨，将沙威放走。沙威良心发现，投水自尽。同时冉阿让又在起义失败后将身负重伤的马利尤斯救出，在成全马利尤斯与珂赛特的婚事后死去。作品以丰富多彩的笔触，描绘了广阔的生活画面和共和党人的革命斗争，通过冉阿让悲惨的一生，对资本主义社会道德和法律制度进行了有力的揭露和批判。作品语言高昂、激越，兼有现实主义和浪漫主义色彩，具有史诗般的风格和强烈的艺术感染力。

*《巴黎圣母院》 长篇小说。法国雨果著。写巴黎圣母院教堂副主教克洛德·孚罗洛，企图占有在巴黎街头卖唱的吉普赛少女爱斯梅拉达而未遂，便诬告她为杀人凶手，致使她被判处死刑。临刑之前，圣母院相貌奇丑的敲钟人伽西莫多将她救出，并隐藏在圣母院加以保护、照料。但教会却诬陷爱斯梅拉达为女巫，法院决定予以逮捕。流浪汉和乞丐们闻讯纷纷赶来围攻圣母院。混战之际，副主教趁机劫持并威逼爱斯梅拉达屈从于他的兽欲，当遭到其坚决拒绝后，便将她交给追捕的官军，绞死在圣母院楼顶。被副主教残暴和无耻行为所激怒的伽西莫多，愤怒地把监绞的副主教从楼顶推下摔死，他自己亦自尽在爱斯梅拉达的坟墓旁。小说以强烈的浪漫主义色彩、紧张曲折的故事情节，反映了中世纪封建专制社会的黑暗现实，揭露了反动教会的虚伪和淫恶。《巴黎圣母院》是雨果的一部具有重大思想意义和艺术价值的长篇小说，被誉为浪漫主义的代表作。小说描写的是15世纪的巴黎社会，贬斥的却是作者所处时代的社会现实，通篇充满了反封建、反教权和反社会黑暗的浪漫主义战斗精神。

《嘉尔曼》 一译《卡门》。中篇小说。法国梅里美著。写吉普赛姑娘嘉尔曼，因与人不和，抽刀杀人而被捕，押送途中被士兵中的同乡唐·育才释放。从此嘉尔曼四处卖艺、做工，参与走私活动，过着自由自在的生活。唐·育才则因释放嘉尔曼而被捕入狱。后唐·育才刑满出狱，与嘉尔曼结为夫妻。嘉尔曼爱过自由自在的生活，但丈夫却要求她像影子一样守在自己的身边，并持刀威逼她和自己一起到美洲去。嘉尔曼誓死不从，最后死于唐·育才的刀下。作品通过嘉尔曼这一宁可抛弃爱情与生命而不放弃自由的艺术形象，批判了当时社会中庸俗自私的生活现象。

《包法利夫人》 长篇小说。法国福楼拜著。描写了富裕农民的女儿爱玛在修道院寄宿学校读书时，受到中世纪浪漫主义文学的影响，沾染了爱慕虚荣、追求逸乐的习气，与查理·包法利医生结婚后，平庸、老实的丈夫不能满足自己罗曼蒂克式的情欲需要，在腐化堕落的社会风气影响下，向往浮华的上流社会。先与一个小地主私通，后又同一个律师的秘书姘居，并因沉溺于放荡的享乐生活而负债累累，最后在求贷无门的绝望中服毒自杀。作品寓深沉的感情于冷静的剖析之中，通过女主人公悲剧的一生，淋漓尽致地揭露了资产阶级的自私、贵族的无耻和教会的虚伪，同时也真实地描绘了小市民生活的庸俗和幻想的破灭，是19世纪批判现实主义的著名作品。

《茶花女》 长篇小说。法国小仲马著。作于1847年。主人公玛格丽特是贫民的女儿，为生活所迫到巴黎成为交际花，她酷爱茶花，人称茶花女。由于她聪明貌美，得到巴黎贵族和富豪的垂青，过着豪华的寄生生活。后来结识了贵族青年阿芒，他们真诚相爱，并搬到巴黎郊外，准备过一种全新的生活。阿芒的父亲怕玛格丽特妓女的低贱身份会毁了儿子的前程，于是偷偷找到玛格丽特，要求她跟阿芒分手。为了阿芒的前程，她违心地保证不再与阿芒来往。不明真相的阿芒以为玛格丽特变了心，处处给她难堪，还大骂了她一顿。玛格丽特受此打击一病不起，当阿芒弄清事情真相回到她身边时，玛格丽特已含泪而死。作品通过玛格丽特的不幸遭遇，揭露了资产阶级的伪善。

4. 德国文学

《少年维特之烦恼》 书信体小说。德国歌德著。描写少年维特颂扬自然，反对封建习俗，爱上已同别人订婚的少女绿蒂，但丑陋的社会现实与自身感情的脆弱，使他陷入毫无希望的爱情的痛苦之中，以致绝望、疯狂，最后自杀而死。作品通过维特的悲剧，揭露、批判了德国封建制度的腐朽，表达了青年一代追求个性解放的情绪，具有反封建意义，因而很快流传到欧洲各国，成为第一部产生重大国际影响的德国文学作品。

《浮士德》 诗剧。德国歌德著。两卷。以16世纪德国民间传说为题材，写浮士德博士为探求人生意义和社会理想，借助魔鬼的帮助云游世界，经历了爱情的悲剧、政治的幻灭、科学的创造和文艺的探索等各种生活，都未得到满意的答案。回到人间，已经百岁，双目失明，仍要继续奋斗，率领人们填海，建立起理想的自由国土。这时他感到为大众造福才是有意义的生活，因而心满意足地死去。作品将现实主义与浪漫主义结合起来，以复杂的故事、众多的人物、千变万化的场景概括了浮士德一生的经历，表现了文艺复兴以来欧洲资产阶级知识分子勇于探索的精神，宣扬了资产阶级人道主义思想。

《阴谋与爱情》 悲剧。德国席勒著。描写某公国宰相瓦尔特之子斐迪南与穷提琴师之女露伊斯的爱情悲剧。作品揭露了18世纪德国封建统治者的反动和腐败，表现了青年一代反抗封建等级制度、要求自由平等的进步思想。

《格林童话》 童话集。又名《儿童与家庭童话集》。德国格林兄弟合编。多通过想象神奇的故事表达人民的愿望、智慧和是非感。其中，《渔父和他的妻子》《青蛙王子》《小红帽》《白雪公主》等，均系各国儿童所熟知的名作。但也有一些作品带有浓厚的宗教情绪。

《德国——一个冬天的童话》 长篇政治讽刺诗。德国海涅著。共27章。以诗人12年的流亡生活为线索，利用梦境、幻想、童话和传说等构成艺术形象，对德国的封建专制政体、政治上的分裂局面以及市民的庸俗、普鲁士的专横等进行了无情的揭露和抨击，号召被压迫者行动起来，摧毁旧德意志，并歌颂了"一个新时代的生长和必然到来"，表达了作者革命的爱国思想，洋溢着批判的战斗精神。

《歌德谈话录》 共三部，是歌德的助手爱克曼辑录的关于歌德的言论和活动的集子。它以"谈话"的形式，更加灵活、多方面地体现了歌德关于文艺、美学、哲学、自然科学等方面的思想，所涉及的内容是非常丰富的，比如他的宗教观点和政治观点，谈关于艺术鉴赏和自己的创作经验，对作家和具体作品的评价。除此之外，还有歌德关于自然科学，关于哲学等方面的言论，比较全面。不受时空的限制，没有逻辑思维的束缚，是歌德精神面貌的直接呈现，也是我们来阅读歌德、理解歌德的最贴近的一扇窗户。

5. 俄罗斯、苏联文学

《上尉的女儿》 历史小说。俄国普希金著。取材于18世纪后半期俄国著名的普加乔夫农民起义。小说以格利涅夫的个人遭遇为线索，通过对他的叙述，再现了普加乔夫农民起义的历史，着重塑造了农民起义领袖普加乔夫的英雄形象，深刻反映了俄国社会农民与沙皇政府的尖锐矛盾，同时也表现了作家的阶级调和的思想。

《叶甫盖尼·奥涅金》 长篇诗体小说。俄国普希金著。描写彼得堡贵族青年奥涅金厌倦了京都上流社会腐化的社交生活，染上了流行于当时知识界的"忧郁病"，为继承伯父遗产来到乡下，与青年诗人连斯基成为挚友，并经他介绍结识了女地主拉林娜的长女塔吉雅娜，被她爱上，但他因生活态度消极而拒绝了她的爱情。后因与连斯基闹个人意气，在一次舞会上故意调戏其未婚妻——塔吉雅娜的妹妹奥丽迦，导致决斗，造成连斯基被枪杀的惨剧，自己亦深感痛苦和悔恨，遂离开乡村出外漫游。塔吉雅娜亦在母亲的"恳求"下嫁给了莫斯科的一个将军。三年后他漫游归来，在莫斯科再次见到已成为社交界贵妇人的塔吉雅娜，并热烈地爱上了她，但遭到拒绝。作品通过对奥涅金形象的塑造，广泛展示了19世纪20年代俄国社会生活的真实图景，讽刺了各种类型的城市贵族和乡村地主，揭露和批判了贵族社会的丑恶和腐朽，成功地塑造了俄国文学史上第一个"多余人"的形象，是俄国批判现实主义的奠基作。

《死魂灵》 长篇小说。俄国果戈理著。描写沙皇文官乞乞科夫来到某省省会，结交了许多官僚地主，并遍访各地主庄园，廉价收买已经死去而尚未注销户口的农奴名单，企图拿死人当活人去救济局抵押，以骗取大笔钱财，后被一卖主揭露内幕而狼狈溜走。作品以此为线索，刻画了玛尼罗夫、罗士特莱夫、科罗嗵契加、梭巴开维支、泼留希金等一系列富有鲜明个性的地主的典型形象，展示了地主阶级懒惰、愚昧、贪婪、吝啬的本质，鲜明地描绘了一幅丑恶、腐朽的专制农奴制的图画，反映出俄国农奴制必然灭亡的趋势，并塑造了乞乞科夫这一从地主贵族过渡到新兴资产者的典型，揭示其投

机钻营、唯利是图的本质特征。作品善于运用人物的自白，细节、肖像描写等多种艺术手法刻画人物形象，构成其外表正经而内心卑鄙的尖锐矛盾，引人发笑。

《钦差大臣》 讽刺喜剧。俄国果戈理著。描写彼得堡十二等文官、纨绔子弟赫列斯达可夫路过外省一个偏僻的小城时，被误认为微服私访的钦差大臣，市长、法官、邮政局局长等个个惊慌失措，为掩盖其贪赃枉法的行径，争先恐后地巴结、行贿，市长甚至献上自己的妻女，因而闹出种种笑话。最后真相大白，官吏们懊悔不及。待真钦差到达的消息传来，喜剧以哑场告终。作品辛辣地讽刺了俄国上流社会的腐朽，深刻地揭露了整个农奴制度的黑暗，给后来的俄国戏剧以很大影响。

《战争与和平》 长篇小说。俄国列夫·托尔斯泰著。以1812年俄法战争为中心，以别索霍夫、库拉根、鲍尔康斯基和罗斯托娃四大贵族家庭在战争与和平年代里的生活为情节线索，从1805年彼得堡贵族沙龙谈论俄国与拿破仑作战开始，中间描写了俄奥联军与拿破仑军队在奥地利的会战，法国对俄国的入侵，鲍罗金诺会战，莫斯科大火，俄军从莫斯科撤退，拿破仑军队全面溃退，直至1820年十二月党人运动的酝酿结尾。作品广阔地展现了前后二十年间俄罗斯的社会、政治、经济、家庭生活图景，无情地揭露和鞭挞了以库拉根为代表的宫廷贵族的贪婪、虚伪和堕落，特别猛烈地抨击了其女儿爱伦的荒淫糜烂生活，热情歌颂了别索霍夫、鲍尔康斯基、罗斯托娃等贵族接近人民，献身于国家和人民的精神。全书篇幅浩大，结构严谨，作品中约有五百多个人物，他们的活动场所极为广阔；历史事件与艺术虚构、形象描绘和长篇说理错综交织；大规模的战争场面和多方面的和平生活图景有机地结合在一起；主要人物性格生动鲜明，具有强烈的艺术感染力。小说为19世纪欧洲文学的重要作品之一。

《安娜·卡列尼娜》 长篇小说。俄国列夫·托尔斯泰著。描写贵族青年妇女安娜·卡列尼娜由姑母做主嫁给比自己大二十多岁的大官僚卡列宁，婚后毫无感情。在一次去莫斯科的途中，认识了近卫军军官渥伦斯基，彼此产生了爱情，在同丈夫离婚未遂后，毅然离家与之同居，因而遭到上流社会的摒弃和谴责。但在与渥伦斯基结合后的表面的安逸生活中，无法掩饰其对儿子的思念以及因这种不合法的结合所造成的内心痛苦，加之自己又不为渥伦斯基所理解，以致经常争吵，最后终于卧轨自杀。与此相对应的是，年轻地主列文致力于农事改革，与贵族小姐吉提经过一番感情波折后终成眷属。通过安娜的悲剧和列文的探索经历，作品反映了俄国农奴制改革后资本主义发展时期在社会政治、经济、道德、心理等方面的矛盾，揭露了上流社会的虚伪和冷酷，描绘了资本主义势力侵入农村后，地主经济面临崩溃的情景。

***《复活》** 长篇小说。俄国列夫·托尔斯泰著。描述贵族青年聂赫留朵夫诱奸农奴少女卡秋莎·玛丝洛娃后，又将她遗弃，使她从此陷入种种悲惨的遭遇，最后沦为妓女，并被人诬告谋财害命，被判处流放西伯利亚。在审判她时，聂赫留朵夫恰为陪审员。当他在法庭上认出她时，良心受到谴责，决心为其申冤，并准备和她结婚，以赎前罪。在一切努力都失败后，又毅然陪同她去流放地，沿途设法营救。玛丝洛娃被其良心忏悔和赎罪精神所感动，自动戒了烟酒，并为不损害他的名誉、地位而拒绝了他的求婚要求，与另一犯人西蒙斯结合，从而走向"新生"，达到了灵魂的"复活"。聂赫留朵夫亦抛弃贵族生活，把土地分给农民，财产送给姊妹，断绝与上流社会的往来，虔诚地信奉宗教，从而也达到了灵魂的"复活"。作品以法庭审判为中心，通过男女主人公的复杂经历和聂赫留朵夫为玛丝洛娃四处奔走、上诉而冤情始终得不到解决的一系列情节，描绘了农奴制改革后俄国社会生活的图景，控诉了农奴制给人民带来的深重灾难，深刻地揭露和批判了沙皇的法律、法庭、监狱、官吏和整个国家机关黑暗腐朽的反动本质，但同时也宣扬了皈依宗教和"不抵抗主义"等消极思想。

《猎人笔记》 一译《猎人日记》。俄国屠格涅夫著。由25个短篇组成，以一个猎人的游猎为线索，广泛描述了农奴制度下城镇和乡村各个阶层的生活，刻画了不同类型的地主、农奴、医生、农家孩子以及贵族知识分子等形象，描绘了农奴贫困屈辱的悲惨生活及其聪明才智、优秀品质，揭露和批判了农奴主的虚伪和残忍。

《铁流》 长篇小说。苏联绥拉菲摩维奇著。取材于1918年苏联国内战争。叙述了一支由匠人、农民和被打散的旧军人组成的达曼军，在遭到叛乱匪军包围、面临覆没的危急关头，选举布尔什

维克党党员郭如鹤为自己的领袖，并在他的带领下，突破了敌人的重围，沿途克服了难以想象的艰难险阻，在饥饿、困乏、死亡的威胁下，日夜兼程，行军五百俄里，终于找到了主力红军。一个多月的浴血奋战，把这支原来纪律涣散的"乌合之众"锻炼成为不可战胜的革命队伍的铁流。作品热情歌颂了布尔什维克党领导的国内战争和人民群众的斗争力量，并成功地塑造了布尔什维克党党员郭如鹤的英雄形象。

《罪与罚》 长篇小说。俄国陀思妥耶夫斯基著。叙述穷大学生拉斯柯尼科夫因贫困辍学，又不忍其妹为他作出牺牲而嫁给自己所厌恶的官商卢仁，于是编造了一套杀人理论并决定谋杀一个放高利贷的老妇来取得财产，以改善母亲和妹妹的境遇。但作案时不得已杀死了老妇的受剥削的妹妹，因而受到良心的谴责，陷入半疯狂状态。后遇到靠卖淫养家的索妮亚，被她的以自我牺牲来解救别人苦难的行为所感动，遂去官府自首，并走向"新生"。作品描绘了下层人物的悲惨生活，反映了贫富的对立，揭露了资本主义社会的弱肉强食的道德原则。但用信仰宗教、逆来顺受的索妮亚象征黑暗社会的光明，用主人公的行凶理论及其作案行为影射革命的平民知识分子，则暴露了作者用宗教说教否定革命斗争的观点。

《大雷雨》 四幕剧。苏联奥斯特洛夫斯基著。写富于幻想、热爱自由的青年女子卡杰林娜嫁给一个她不爱的商人之子奇虹，并受尽公婆的种种折磨。在痛苦和绝望中，她得到了另一个人的爱情。正当她开始看到生活中新的希望时，突然下了一场大雷雨，她感受到极大的宗教恐怖，便向公婆和丈夫坦白了自己与情人约会一事。从此，她被公婆囚禁在家。最后不堪受辱，以自杀表示她对反动势力的抗议。作品以鲜明的人物性格、浓郁的生活气息、严谨的戏剧结构和散文诗式的语言，充分体现出剧作家的风格特点，在俄国现实主义戏剧中占有重要地位。

《毁灭》 长篇小说。苏联法捷耶夫著。描写1919年苏联内战时期，一支由150名矿工、农民、知识分子组成的红军游击队，在日本干涉军和高尔察克白匪的追击下，坚持执行上级指示，进行战略转移，保存战斗力量。虽敌强我弱，又遇到各种艰难险阻，但因有党的领导和艰苦细致的政治思想工作作保证，部队始终保持旺盛的斗志。最后，在面临全军毁灭的险境中，由于幸存的19名战士临危不惧，浴血奋战，终于杀出重围，完成了上级交给的任务。作品塑造了布尔什维克党组织者和领导者莱奋生的典型形象，表现了党在革命中的领导作用，同时反映了各阶层人物在革命斗争中的成长，歌颂了新的人物和新的道德情操，也批判了"美谛克"式的资产阶级极端个人主义。

《青年近卫军》 长篇小说。苏联法捷耶夫著。取材于卫国战争中的真人真事。描写顿巴斯矿区克拉斯诺顿城陷落后，在党的地下组织领导下，具有光荣传统的共青团员和青年组成"青年近卫军"，怀着对敌人的强烈仇恨，同德国法西斯进行多种形式的斗争：刺杀敌哨兵，营救被俘红军；破坏交通线，袭击敌车辆；传送情报，协助游击队出击敌人；印发传单，鼓舞人民的抗敌斗志；组织革命法庭，处决卖国汉奸。后因叛徒出卖，不少青年战士被捕，他们高唱着《国际歌》壮烈牺牲。作品以深厚的无产阶级情感，反映了苏联共产党和人民在反法西斯战争中所表现的爱国主义和革命英雄主义精神，揭露了法西斯的残暴和虚弱，塑造了奥列格、邬丽亚等英雄形象，歌颂了苏联卫国战争时期青年一代机智勇敢、忘我牺牲的崇高品德。

《钢铁是怎样炼成的》 长篇小说。苏联奥斯特洛夫斯基著。作品以作者自己的经历为基础，通过描述主人公保尔·柯察金从一个普通工人子弟成长为无产阶级革命英雄的过程，展示了俄国从第一次世界大战起，经过十月革命、国内战争到经济恢复时期的广阔社会图景，歌颂了苏维埃青年为保卫革命政权、恢复国民经济而顽强斗争的革命精神。保尔·柯察金同外国占领军、白党匪徒的战斗及其身带弹伤、全身瘫痪、双目失明后仍与各种困难作斗争的行为，充分体现出具有共产主义远大理想的一代新人的高尚品质。

6. 欧洲其他国家文学

《神曲》 长诗。意大利但丁著。长达14 233行，分《地狱》《炼狱》《天堂》三部分，每部分各33章，加上一章序曲，共100章。作品以中世纪梦幻故事的形式，以自叙体描述诗人在三种不同幻境的旅行经历。作者起初在森林迷路，正当豹、狮、狼迎面扑来之时，被年轻时的恋人贝雅特里齐所托付

的罗马大诗人维吉尔所救，并带他游历了惩罚生前罪人的九层地狱和忏悔罪过、净化灵魂的七级炼狱。后由贝雅特里齐引导游历九重天国，终达上帝面前。作品表现了作者追求最高真理的精神和关怀人类命运的热情；又借幻游中与所遇历史上和死去不久的各种著名人物的谈话，广泛地反映了当时意大利政治和社会状况、中古时期文化领域里的成就和重大问题，尖锐地揭露和抨击了教会的贪婪腐化、封建统治者的残酷专横。作品第一次鲜明地表现了人文主义新思想。

《十日谈》 短篇小说集。意大利薄伽丘著。叙述佛罗伦萨3名男青年和7名少女在郊外的一所别墅避难，共住10天。为消遣时间，每人每天讲一个故事，故名《十日谈》。全书使用框形结构，将100个故事巧妙地镶嵌为一体，以精练、生动而俏皮的文笔，塑造了国王、传教士、僧侣、农民、手工业者等各个不同阶层的众多人物形象，揭露了教会僧侣的贪婪和伪善，嘲笑封建贵族的腐朽和愚蠢，称赞商人和下层劳动者的聪明和勇敢，歌颂男女青年的真挚爱情。作品大都取材于历史事件、法国中世纪民间传说和东方寓言，反映了当时意大利广阔的社会现实，表现了城市平民阶级要求摆脱教会束缚和宗教桎梏的愿望，但在反对禁欲主义、等级特权中，又极力宣扬利己主义、享乐主义思想，并有许多庸俗的色情描写。作品为文艺复兴时期重要的现实主义杰作。

*《堂吉诃德》 长篇小说。西班牙塞万提斯著。共两部。描写穷乡绅堂吉诃德沉醉于当时流行的骑士小说之中，决心当个游侠骑士，以锄强扶弱，为天下人打抱不平。他身穿曾祖遗留的破烂盔甲，手执生锈的长矛，骑上一匹瘦马，并雇用附近的农民桑丘·潘沙为侍从，物色邻村养猪女郎为公主，先后三次以未受正式封号的骑士身份外出进行冒险。他因满脑子充塞着骑士小说中的古怪念头，以为处处都是妖魔鬼怪，故一路上，把风车当巨人，把羊群当军队，把苦役犯当做受迫害的骑士，把皮酒囊当做巨人头，不顾一切地提矛杀去，闹出许多荒唐可笑的事，既害了别人，也使自己挨打受苦，弄得头破血流，直至临终时方才醒悟，并嘱咐其唯一的亲人——外甥女不要嫁给读过骑士小说的人，否则就不允许继承他的遗产。作品既辛辣地讽刺了骑士文学，又尖锐地批判了16世纪末17世纪初西班牙封建社会的政治、法律、道德、宗教、文学、艺术以及私有财产等制度，深刻地揭露了贵族统治者的荒淫无耻、官僚衙门的贪污受贿，反映了劳动人民的悲惨境遇，表现了鲜明的人文主义思想。

《变形记》 短篇小说。奥地利卡夫卡著。描写某公司旅行推销员格里高尔·萨姆沙突然在一夜之间变成大甲虫，失掉了人的本质。一家人靠他"挣钱"糊口，祈望他病情好转，但因其"虫性"不断增加，好转无望，便反过来被视为全家"一切不幸的根源"，一家人都厌恶他、唯愿其早死。最后他躲在地板的角落里，孤独、忧郁地死去了。作品通过人变为虫的荒诞情节，深刻地揭露了资本主义制度下人与人之间赤裸裸的利害关系，以及小人物的悲惨命运，被认为是表现"异化"主题的代表作。

《玩偶之家》 剧本。又译《娜拉》。挪威易卜生著。叙述女主人公娜拉深爱丈夫海尔茂，曾不顾触犯法律，假冒父亲的签名向柯洛克斯泰秘密借债，将丈夫从穷愁潦倒、重病缠身的死亡线上救过来。八年后海尔茂出任银行经理，决定辞退一名职员，此人正是娜拉昔日的债主，他以借据要挟她设法为自己保全职位。娜拉从来被丈夫称为"小松鼠""小鸟儿"，满以为丈夫很爱她，会保护她。不料丈夫得知原委后，竟骤然翻脸，对她百般辱骂。但当债主因受娜拉女友感化而退回借据后，她的丈夫又因自己的名誉能够保住而像往常一样对娜拉百般亲热起来。至此，娜拉如梦初醒，认识到自己原来只是丈夫的玩物，看透了丈夫的灵魂，毅然离开了那个玩偶之家。作品对资产阶级的虚伪、自私及资本主义社会的道德标准与法律制度等作了深刻的批判，并尖锐地提出了妇女解放的重大社会问题。

《绞刑架下的报告》 长篇特写。捷克斯洛伐克伏契克著，在德国法西斯的监狱中秘密写成。通过对狱中两个敌对营垒的具体描写，揭露了法西斯监狱惨无人道的暴行和法西斯匪徒野兽般的狰狞面目，刻画了狱中宁死不屈的英雄集体，塑造了一位"为了欢乐而生，为了欢乐而战斗，为了欢乐而死"的伟大共产主义战士的光辉形象，表现了作者坚定的信念、高尚的情操、革命英雄主义和乐观主义精神。

7. 美国文学

《红字》 长篇小说。美国霍桑著。描写在不合理婚姻中埋没了青春的海丝特·白兰，因触犯加尔文教的"第七戒"即通奸罪，而被带上标志通奸的红色A字示众。但她的同犯狄姆斯台尔教长却隐

瞒罪责，逍遥法外。不肯揭发狄姆斯台尔的白兰独自受到惩罚后，避居于远离人烟的地方，靠做针线度日。不久，她的丈夫怀着复仇心理潜回美国。这个年老的术士隐瞒他同白兰的关系，并以医生身份暗中查访妻子的同犯。在同教长的接触中，百般刺探他的内心秘密。白兰见教长备受精神折磨，暗中鼓动他一起逃到"看不见白人的足迹"的地方去做"自由人"。不料狄姆斯台尔最后却在大庭广众之下袒露了自己隐藏的罪恶，并随即死去。从此，白兰带着红字处处克己助人，终于赢得了人们的尊敬，使红字变成了德行的标志。小说以耻辱的红字为线索，表现了白兰所受的不公正待遇，揭露了社会的不公平、法典的不合理以及那些审判、惩罚白兰的"正人君子"的伪善和宗教的褊狭，但又把这一具体问题抽象化为无所不在、根深蒂固、与人类社会共存的罪恶。

《汤姆叔叔的小屋》 旧译《黑奴吁天录》。长篇小说。美国斯托夫人著。叙说奴隶主谢尔比在股票市场投机失败后，决定把"家生"奴隶汤姆及女奴伊莱扎的儿子哈利卖掉抵债。汤姆唯命是从，被卖给资本家当马车夫。新主人暴死后，又被拍卖。最后转卖到新奥尔良的种植园从事繁重的劳动，惨死在奴隶主的皮鞭下。而伊莱扎则带着儿子连夜逃跑，后与丈夫相遇，经过千辛万苦，终于到达加拿大，获得了自由。作品通过对各种类型的奴隶主及黑奴形象的刻画，广泛而深刻地反映了美国南部奴隶主对黑奴的残酷剥削和压迫，以满腔的政治激情歌颂了奴隶的反抗斗争，控诉了蓄奴制的血腥罪恶，对美国废奴运动的发展与南北战争的最终爆发起了巨大的推动作用，是美国文学史上现实主义的优秀作品之一。

《哈克贝利·费恩历险记》 长篇儿童惊险小说。美国马克·吐温著。描写黑奴吉姆为摆脱被奴役的地位而从女主人家外逃，偶遇遭父亲毒打后流浪在外的白人孩子哈克，二人乘木排漂流于密西西比河，历经种种曲折而成为挚友。后有两个自称"国王"和"公爵"的骗子企图将吉姆抓去卖掉，经过激烈的斗争，哈克终于从险境中救出吉姆，使其获得女主人临死时的遗嘱而得到了自由。作品反映了美国社会现实的黑暗和黑人处于奴隶地位的悲惨生活，表现了作者谴责蓄奴制度、反对种族歧视、主张人人平等的资产阶级民主主义思想，但将吉姆的解放寄托于女主人的"天良"发现，则显示出其思想的局限性。

***《麦琪的礼物》** 短篇小说。美国欧·亨利著。描写了一对年轻夫妇为向对方表示真挚的爱情而在圣诞节互赠礼物。妻子卖了心爱的长发，买了一条表链送给丈夫；丈夫则卖掉祖传三代的金表，买了一副装饰长发的梳子送给妻子。夫妻俩对着两件无用的礼物，啼笑皆非。作品以精巧的构思、集中的情节反映了资本主义制度下人民的贫困生活。

《美国的悲剧》 长篇小说。美国德莱塞著。全书分上、中、下三卷。描写原本天真幼稚，却又爱慕虚荣的青年克莱特在资本主义社会的腐蚀和毒害下，为高攀名门、永享荣华，达到与一资本家女儿结合的目的，竟将被他诱奸怀孕的女工洛柏特谋杀。而美国两党和司法机关又借此案大搞政治投机，最后终将克莱特判处死刑。作品以曲折的情节、鲜明的人物刻画和心理描写，暴露了以金钱为中心的美国社会各个方面的罪恶，揭示造成此悲剧的社会根源，被进步文学评论界称为"美国最伟大的小说"。

***《老人与海》** 中篇小说。美国海明威著。小说主要写一个饱经风霜的古巴老渔夫桑地亚哥连续84天在海上打鱼而一无所获，第85天仍然继续去捕鱼，终于捕到了一条大马林鱼，但在返航的途中，又遇到了大群鲨鱼的围攻，老人奋不顾身，与鲨鱼进行了三天的搏斗，结果当老人返回岸上时大鱼只剩下一副巨大的鱼骨架子了。小说通过人与自然的斗争，表达了人要勇敢地面对失败的主题。桑地亚哥在同象征厄运的鲨鱼的斗争中虽然失败了，但他并没有在厄运面前屈服，而是认为人虽可以暂时战败，但人的精神和意志是永远也打不垮的。小说在艺术上具有很高的概括性、寓言性和象征性。运用反衬法、内心独白来刻画人物性格，语言清澈流畅、朴素无华。

八、外国作品·亚非拉部分

《五卷书》 印度古代故事集，全书分为《朋友的决裂》《朋友的获得》《乌鸦和猫头鹰的战争》《已经得到的东西的丧失》和《不思而行》，共5卷。每卷包括若干个故事，通过人格化了的鸟兽虫鱼，反

映了人的思想感情。

《罗摩衍那》 印度古代梵文叙事诗。全诗共7卷，约24 000颂，以生动的故事情节、饱满的人物形象、细致的叙事和大量的比喻，反映了印度种姓制度下的王族内部的矛盾和斗争，同时也宣扬了封建的道德教条，在印度文学史上具有划时代的意义，被称为"最初的诗"。

《摩诃婆罗多》 印度古代梵文叙事诗。传为圣人毗耶娑所作。共18篇，附录1篇，有10万余颂（每颂两行，每行16个音节）。长诗反映了印度奴隶社会的广阔生活，并涉及当时的哲学、宗教和法律问题，与《罗摩衍那》并称为印度两大史诗。

《一千零一夜》 古代阿拉伯著名的民间故事集，旧译《天方夜谭》。全书充满着奇妙瑰丽的幻想，又洋溢着现实主义的生活气息，它以题材多样和不拘一格的艺术手法，生动地反映了古代阿拉伯国家的社会制度、生活方式和风土人情。有许多故事歌颂劳动人民的优秀品质，如《渔夫的故事》《阿里巴巴》等。但在长期的流传过程中，混杂了统治阶级的腐朽思想和人们的一些落后意识。它已被译成世界各种文字，广泛流传，深受各国人民的赞赏，对西方的文学、戏剧、音乐和绘画都有一定的影响。

《圣经》 基督教各派共同的经典。包括《旧约》和《新约》两部分。《旧约》是犹太教的经典，是基督教从犹太教那里继承来的，原用希伯来文写成，记述关于世界和人类起源的故事和传说、犹太历史、法典、诗歌和格言等。《新约》是基督教的经典，内容记载耶稣及其信徒的传说、基督教义等。《旧约》中的历史传说、史学家、文学家的作品和民间传说、故事、谚语、爱情诗等，都有较高的文学价值。西方文学、艺术作品，尤其在中世纪，很多取材于《圣经》。出自《圣经》的格言和典故在西方广泛流传。

《春香传》 朝鲜古典文学作品。作者不详。据记载，其故事早在12世纪即流传于民间。18世纪末形成完整小说，19世纪上半叶，经申在孝整理加工，成为戏剧优秀的传统剧目。

《蟹工船》 长篇小说。日本小林多喜二著。描写了失业工人、破产农民、贫苦学生和十四五岁的儿童被骗受雇于蟹工船"博光丸"号后，长期漂流海上，从事原始落后、繁重的捕蟹劳动。因不堪监工的残酷迫害，终于团结起来，痛打船长和工头，并举行罢工。虽然由于日本海军的出面镇压而使这场斗争归于失败，但蟹工们并不气馁，在总结教训后，又暗中酝酿着第二次罢工。小说真实地揭露了渔业资本家和反动军队剥削、压迫渔工的凶残本质，表现了日本工人阶级从自发反抗到自觉斗争的发展过程，是日本现代文学史上的优秀作品之一。

《百年孤独》 长篇小说。哥伦比亚小说家加西亚·马尔克斯著。它写出了100年来拉丁美洲封闭落后、与世隔绝的历史以及拉美人孤独、阴暗的心境。处于小说中心的是布恩蒂亚家族的兴衰史与马贡多自开拓到繁荣再到毁灭的历史。小说通过布恩蒂亚家族七代人的坎坷命运，反映了哥伦比亚乃至拉丁美洲的历史演变和广阔的社会背景，以及原始风光、现代人情、神话传说和文化传统；它深刻地揭示了马贡多百年孤独的深层原因：人与人之间，民族与民族之间，家族与家族之间，党派与党派之间都缺乏一种沟通，都陷入一种绵绵无穷的孤独之中。它反映的是历史真实和社会现实，但生活往往与原始宗教意识、神话传说联系在一起。它不仅追寻现代人非理性情结的原始原因，还创建了现代神话开放性的体系。神话作为隐喻，作为一种文化积淀，扩大了艺术时空的范围，增加了艺术陌生感，产生了震撼人心的艺术魅力。

九、作品并称

"四书""五经" "四书"是《大学》《中庸》《论语》和《孟子》四部书的合称。《大学》和《中庸》原来是《礼记》中的两篇。《大学》相传为曾子所写。《中庸》相传为战国时子思所作。《论语》记录了孔子及其弟子的言行。《孟子》是战国时孟子及其弟子万章等人所写，也有人说是孟子的弟子和再传弟子所写。南宋时，朱熹对《论语》进行了注释，还从《礼记》中摘出《大学》和《中庸》，再配上《孟子》，写成一本《四书章句集注》，简称《四书集注》。"四书"的名称就这样流传下来。

"五经"的称呼形成得较早。西汉武帝采纳董仲舒"罢黜百家，独尊儒术"的建议后，儒家地位陡

然上升。“五经”指《诗》《书》《礼》《易》《春秋》五部儒家经典。《易》就是《周易》，也叫《易经》，它通过八卦形式推测自然和社会的变化。《尚书》也叫《书》或《书经》，是中国上古历史文献和部分追述古代事迹著作的汇编。《诗》就是《诗经》，是中国最早的诗歌总集。《礼》包括《仪礼》《礼记》《周礼》三个部分，是研究中国古代社会情况和文物制度的书。《春秋》是编年体史书，记载春秋时期的历史。

“十三经” 十三部儒家经典。汉代开始，把《诗》《书》《礼》《易》《春秋》称为“五经”。唐代把“三礼”(《周礼》《仪礼》《礼记》)、“春秋三传”(《公羊传》《谷梁传》《左传》)，连同《易》《书》《诗》称为“九经”。至唐文宗刻石经，将《孝经》《论语》《尔雅》列入经部，则为“十二经”。宋代又将《孟子》提升为经，故有“十三经”之称。

春秋三传 指《左传》《公羊传》《谷梁传》。

“二十四史” 清乾隆年间定“二十四史”为正史。具体指：西汉司马迁撰《史记》，东汉班固撰《汉书》，南朝宋范晔撰《后汉书》，西晋陈寿撰《三国志》，唐房玄龄等撰《晋书》，南朝梁沈约撰《宋书》，南朝梁萧子显撰《南齐书》，唐姚思廉撰《梁书》《陈书》，北齐魏收撰《魏书》，唐李百药撰《北齐书》，唐令狐德棻等撰《周书》，唐魏徵等撰《隋书》，唐李延寿撰《南史》《北史》，后晋刘昫等撰《旧唐书》，宋欧阳修、宋祁撰《新唐书》，宋薛居正撰《旧五代史》，宋欧阳修撰《新五代史》，元脱脱等撰《金史》《宋史》《辽史》，明宋濂等撰《元史》，清张廷玉等撰《明史》。总计3 329卷，用纪传体记载了上古至明代的历史。

“四史” “二十四史”的前四史，即《史记》《汉书》《后汉书》《三国志》的总称。

风骚 《诗经》和《楚辞》的并称。《诗经》中的《国风》、《楚辞》中的《离骚》，文学成就最高，对后世文学也影响极大，故常以“风骚”并举，分别指代《诗经》和《楚辞》。后来也用“风骚”来泛指文学。

九章 为屈原九篇作品的总称。它包括《惜诵》《涉江》《哀郢》《抽思》《怀沙》《思美人》《惜往日》《橘颂》《悲回风》。这九篇作品非一时之作，是后人辑录时加上“九章”这一名称的。这九篇作品的内容主要反映屈原两次放逐的经历、处境及悲愤心情，具有强烈的政治性和浓厚的抒情意味。

九歌 《楚辞》篇名。“九歌”原为传说中的一种远古歌曲的名称。《楚辞》的《九歌》，是战国时楚人屈原据民间祭神乐歌改编或加工而成。共十一篇：《东皇太一》《云中君》《湘君》《湘夫人》《大司命》《少司命》《东君》《河伯》《山鬼》《国殇》《礼魂》。《国殇》一篇，悼念和赞颂为楚战死的将士；其他多数篇章，则皆描写神灵间的眷恋，表现出深切的思念或所求未遂的哀伤。

乐府双璧 即对《木兰诗》和《孔雀东南飞》的喻称。《木兰诗》又名《木兰辞》，是北朝民歌；《孔雀东南飞》又名《古诗为焦仲卿妻作》《焦仲卿妻》，是古乐府民歌的代表作之一，也是保存下来的最早的一首长篇叙事诗。

“三吏”与“三别” 指唐代杜甫的六首诗。“三吏”为《石壕吏》《潼关吏》《新安吏》。“三别”为《新婚别》《垂老别》《无家别》。

三戒 指唐代散文家柳宗元的三篇寓言《临江之麋》《黔之驴》《永某氏之鼠》。这三则动物寓言都用拟人的手法写成，篇幅短小而故事完整、情节曲折，描写细腻而用语精练。其中对于动物的心理、神态的刻画尤其生动传神。

永州八记 指唐代散文家柳宗元在永州漫游山水、搜奇探胜的八篇记游体散文，依次是《始得西山宴游记》《钴鉧潭记》《钴鉧潭西小丘记》《至小丘西小石潭记》《袁家渴记》《石渠记》《石涧记》《小石城山记》。

元杂剧的四大悲剧 指关汉卿的《窦娥冤》、马致远的《汉宫秋》、白朴的《梧桐雨》、纪君祥的《赵氏孤儿》。

元杂剧的四大爱情剧 指关汉卿的《拜月亭》、王实甫的《西厢记》、白朴的《墙头马上》、郑光祖的《倩女离魂》。

荆、刘、拜、杀 又称“四大传奇”。指元末南戏《荆钗记》(柯丹邱作)、《刘知远白兔记》(作者不详)、《拜月亭》(施惠作)、《杀狗记》(作者不详)。其中以根据关汉卿同名杂剧改编的《拜月亭》成就最高。

中国古典小说四大名著 指罗贯中的《三国演义》、施耐庵的《水浒传》、吴承恩的《西游记》和曹雪芹的《红楼梦》。

临川四梦 指明代汤显祖的四部剧作，即《牡丹亭》《紫钗记》《南柯记》《邯郸记》。也称"玉茗堂四梦"。因作者系临川人，四剧中都写到梦境，故名。其中以《牡丹亭》最为优秀。

三言二拍 "三言"是指明代冯梦龙在广泛收集宋元话本和明代拟话本的基础上，经过加工编写成的《喻世明言》(原名《古今小说》)、《警世通言》和《醒世恒言》三部短篇小说集。"二拍"是指明代凌濛初在"三言"的直接影响下编写的《初刻拍案惊奇》和《二刻拍案惊奇》两个拟话本集子。"三言"和"二拍"代表了明代拟话本的最高成就，不仅在当时文坛上，而且对后来文学都有不小的影响。

一、人、永、占 指清初李玉早期的四部剧作，即《一捧雪》《人兽关》《永团圆》《占花魁》。又名"一笠庵四种曲"。

笠翁十种曲 清代李渔的传奇剧本集。因李渔号笠翁，集中包括十个剧本，故名。这十个剧本是《比目鱼》《蜃中楼》《怜香伴》《慎鸾交》《巧团圆》《奈何天》《风筝误》《玉搔头》《意中缘》《凤求凰》。

中国古典十大悲剧和十大喜剧

悲剧：	喜剧：
《窦娥冤》——(元)关汉卿	《救风尘》——(元)关汉卿
《汉宫秋》——(元)马致远	《西厢记》——(元)王实甫
《赵氏孤儿》——(元)纪君祥	《看钱奴》——(元)郑廷玉
《精忠旗》——(明)冯梦龙	《墙头马上》——(元)白朴
《琵琶记》——(明)高则诚	《李逵负荆》——(元)康进之
《娇红记》——(明)孟称舜	《幽闺记》——(元)施惠
《清忠谱》——(清)李玉	《中山狼》——(明)康海
《桃花扇》——(清)孔尚任	《绿牡丹》——(明)吴炳
《长生殿》——(清)洪昇	《玉簪记》——(明)高濂
《雷峰塔》——(清)方成培	《风筝误》——(清)李渔

中国十大才子书 1.《三国演义》 2.《水浒传》 3.《好逑传》 4.《平山冷燕》 5.《玉娇梨》 6.《西厢记》 7.《琵琶记》 8.《花笺记》 9.《斩鬼记》 10.《三合剑》

四大谴责小说 指李宝嘉的《官场现形记》、吴趼人的《二十年目睹之怪现状》、刘鹗的《老残游记》、曾朴的《孽海花》。

洪深的"农村三部曲" 指《五奎桥》《香稻米》《青龙潭》，都是五四以来第一次较全面反映农民苦难生活及其英勇斗争的优秀剧本。

茅盾的"《蚀》三部曲" 由三个相对独立的中篇小说《幻灭》《动摇》《追求》组成，以大革命时期小资产阶级知识分子的活动为题材，描写他们在革命过程中向往光明以及他们彷徨、矛盾的心理，流露出悲观失望的情绪。

茅盾的"农村三部曲" 指《春蚕》《秋收》《残冬》，反映了江南农民在悲惨生活中由忍受到反抗的发展过程。

巴金的"激流三部曲" 指《家》《春》《秋》三部长篇小说。

巴金的"爱情三部曲" 指《雾》《雨》《电》三部长篇小说。

巴金的"抗战三部曲" 指《火》一、二、三部。

梁斌的"农民三部曲" 指《红旗谱》《播火记》《烽烟图》。三部曲再现了20世纪30年代阶级斗争和民族斗争复杂交错的时代风貌，概括了30年代中国农民的历史命运，表现了中国农民由自发到自觉斗争的转折，也可以说概括了从清末到抗战初年的中国农民的苦难史、斗争史、革命史。

叶君健的"《土地》三部曲" 指《火花》《自由》《曙光》三部长篇小说。

冯德英的"三花" 即长篇小说《苦菜花》《迎春花》和《山菊花》的统称。

郭沫若"漂流三部曲" 《豉路》《炼狱》《十字架》

曹禺"话剧三部曲" 《雷雨》《日出》《原野》

阳翰笙"地泉三部曲" 《深人》《转换》《复兴》

沙汀"农村三记" 《淘金记》《困兽记》《还乡记》
杨沫"青春三部曲" 《青春之歌》《芳菲之歌》《英华之歌》
赵德发"农民三部曲" 《缱绻与决绝》《天理暨人欲》《青烟或白雾》
维吉尔主要的三部诗作 《牧歌》《农事诗》《埃涅阿斯记》
法国市民文学韵文故事三部曲 《驴的遗嘱》《农民医生》《阿麦尔贡斯当》
但丁"《神曲》三部曲" 《地狱》《炼狱》《天堂》
但丁流亡期间三部作品 《飨宴》《论俗语》《帝制论》
马洛三部悲剧 《帖木儿》《马耳他岛的犹太人》《浮士德博士的悲剧》
巴尔扎克第三时期传奇剧三部作品 《辛白林》《冬天的故事》《暴风雨》
巴尔扎克"幻灭三部曲" 《两个诗人》《外省大人物在巴黎》《发明家的苦难》
巴尔扎克"人间喜剧"三部作品集 《风俗研究》《哲理研究》《分析研究》
约翰·弥尔顿宗教体裁三篇长诗 《失乐园》《复乐园》《力士参孙》
雨果"双城"之三部曲 《复活》《金钱》《暴风雨的踪迹》
毕西纳三个剧本 《丹东之死》《莱昂莱和莱娜》《沃伊采克》
福楼拜"三故事集" 《淳朴的心》《圣朱利安传奇》《希罗迪娅》
萧伯纳三个戏剧集 《不愉快的戏剧》《鳏夫的房产》《华伦夫人的职业》
左拉《三名城》三部作品 《鲁尔德》《罗马》《巴黎》
德莱塞"欲望三部曲" 《金融家》《巨人》《斯多噶》
博马舍"费加罗三部曲" 《赛维勒理发师》《费加罗的婚礼》《有罪的母亲》
列夫·托尔斯泰"自传体三部曲" 《童年》《少年》《青年》
阿·托尔斯泰的"苦难的历程三部曲" 《两姊妹》《一九一八年》《阴暗的早晨》
高尔基自传体三部曲 《童年》《在人间》《我的大学》
古希腊两大史诗 指《伊利亚特》和《奥德赛》,相传为盲诗人荷马所著。
莎士比亚的四大悲剧 《哈姆莱特》《奥赛罗》《李尔王》《麦克白》

[附:世界名著中的四大吝啬鬼 指莎士比亚剧作《威尼斯商人》中的夏洛克,巴尔扎克小说《欧也妮·葛朗台》中的葛朗台,莫里哀剧作《悭吝人》(又译作《吝啬鬼》)中的阿巴贡,果戈理小说《死魂灵》中的泼留希金。]

我国书籍的"第一"

第一部诗歌总集——《诗经》
第一部浪漫主义诗歌总集——《楚辞》
第一部军事著作——《孙子兵法》
最早的国别体史书——《国语》
第一部编年体史书——《春秋》
第一部叙事详备的编年体史书——《左传》
第一部编年体通史——《资治通鉴》
第一部纪传体通史——《史记》
第一部断代体史书——《汉书》
第一首长篇抒情诗——《离骚》
第一首完整的七言诗——《燕歌行》
第一首长篇叙事诗——《孔雀东南飞》
第一部目录学著作——《别录》
古代文学批评的第一部诗话——《六一诗话》
第一部笔记小说集——《世说新语》
第一部水文地理专著——《水经注》
第一部富有神话色彩的地理志——《山海经》
第一部科普作品——《梦溪笔谈》
第一部古代制度史——《通典》
第一部工农业生产技术论著——《天工开物》
第一部农业百科全书——《齐民要术》
第一部药典书——《新修本草》
第一部中医学书籍——《黄帝内经太素》
第一部地理书——《禹贡》
第一部戏曲史——《宋元戏曲韵史》
第一部汇编古代文化典籍——《永乐大典》
第一部图书分类总目录——《七略》
第一部诗歌理论和评论专著——《诗品》
第一部方言词典——《方言》
第一部历史评论著作——《史通》
第一部哲理散文总集——《吕氏春秋》
第一部小说总集——《太平广记》

第一部语录体散文作品——《论语》

第一部日记体游记——《徐霞客游记》

第一部字书——《字通》

第一部个人创作文言短篇小说集——《聊斋志异》

第一部志怪小说——《搜神记》

第一部浪漫主义神话小说——《西游记》

第一部长篇讽刺小说——《儒林外史》

第一部谴责小说——《官场现形记》

第一部优秀的长篇历史小说——《三国演义》

第一部优秀的描写农民革命斗争的小说——《水浒传》

第一部以家庭生活为题材的小说——《金瓶梅》

现存最古的剧本——《张协状元》

艺术成就最高的杂剧——《西厢记》

艺术成就最高的早期白话小说——《红楼梦》

篇幅最长的历史小说——《中国历代通俗演义》

最大的诗歌集——《全唐诗》

第一部字典——《说文解字》

第一部词典——《尔雅》

第一部语法书——《马氏文通》

第一部较系统的修辞书——《修辞学发凡》

第一部系统的古代文学理论著作——《文心雕龙》

第一部学术史——《明儒学案》

第一篇具有民主思想的政治文——《原君》

第一部小说史——《中国小说史略》

第一部杂文集——《坟》

第一部白话短篇小说集——《沉沦》

第一部散文诗集——《野草》

第一首以信天游的形式写成的民歌体叙事长诗——《王贵与李香香》

第一篇报告文学作品——《包身工》

现代文学史上的第一部新诗集——《尝试集》

十、作家并称

屈宋 指战国时楚辞诗人屈原和宋玉。屈原是骚体(也称"楚辞体")的开创者,宋玉是继屈原之后的又一位有名的楚辞诗人,所以文学史上常以屈宋并称。

文章西汉两司马 西汉文坛的文学形式主要是散文和赋,当时散文以司马迁成就为最高,赋以司马相如成就为最高,故名。

枚马 是前人对汉赋著名作家枚乘、司马相如的并称。枚乘的《七发》是标志着新体赋——汉大赋正式形成的第一篇作品,司马相如的《子虚赋》《上林赋》则进一步确立了汉大赋的传统和体制。

汉赋四大家 汉大赋的著名作家以西汉的司马相如、扬雄,东汉的班固、张衡为代表。司马相如的《子虚赋》《上林赋》是汉赋中上乘的作品;扬雄原先作赋就处处仿效司马相如,而其《甘泉赋》《羽猎赋》等在风格精神上与司马相如相比也毫不逊色,故后人并称他俩为"扬马"。班固的《两都赋》专写西都长安、东都洛阳的富丽繁盛,于大赋中开出京都大赋一体;张衡则有意同班固竞赛,其《二京赋》铺叙夸张得更加厉害,成为京都大赋"长篇之极轨",故二人并称为"班张"。司马相如、扬雄、班固、张衡的赋作代表了汉大赋的最高成就,故四人又合称"汉赋四大家"。

班马 也称"马班"。汉代史学家司马迁与班固的并称。前者撰有《史记》,后者著有《汉书》,在史学和文学方面皆作出了极大贡献,对后世影响很大。

班张 指东汉班固和张衡,二人都擅长辞赋,班固有《两都赋》,张衡有《二京赋》。

三班 指东汉时期班彪、班固、班超父子三人。

三曹 汉末建安时期,魏国统治者曹氏父子——曹操、曹丕、曹植的合称。他们凭借政治上的领导地位,广泛搜罗文士,造成了"彬彬之盛"的建安文学局面;同时用自己富有创造性的作品开创了文学上的新风气。

建安七子 建安时期的比较有成就的七位作家:孔融、陈琳、王粲、徐幹、阮瑀、应玚、刘桢。除孔融外,其余六人都是曹氏父子的僚属和邺下文人集团的重要作家,他们的作品反映了动乱的现实,表现了建功立业的精神,具有建安文学的共同特征。"七子"之称出于曹丕的《典论·论文》。

竹林七贤 指魏正始年间(240—248)嵇康、阮籍、山涛、向秀、阮咸、王戎、刘伶七位文士。他们相与友善,游于竹林,故称竹林七贤。正始时期是魏晋易代时期,司马氏与曹氏争夺政权的斗争异常激烈,社会政治黑暗,民不聊生。文士们不仅无法施展才华,而且时时担忧生命安全。因此他们崇尚

老庄哲学，从虚无缥缈的神仙境界中寻找精神寄托，用清谈、遨游、饮酒、佯狂等形式来排遣苦闷的心情。竹林七贤就是他们的代表。他们的作品基本上继承了建安文学的精神，但由于当时的血腥统治，作家们不能直抒胸臆，所以往往不得不采用比兴、象征、神话等手法，隐晦曲折地表达自己的思想感情。

三张二陆两潘一左 指西晋太康时期的几位诗人、文学家。“三张”指诗人张载与其弟张协、张亢；“二陆”指文学家陆机与其弟陆云；“两潘”指文学家潘岳与其侄潘尼；“一左”指诗人左思。

潘陆 西晋太康时期诗人潘岳、陆机的并称。两人都是“太康体”的代表作家。

陶谢 东晋诗人陶渊明与南朝宋诗人谢灵运的并称。

竟陵八友 南朝齐文学家萧衍、沈约、谢朓、王融、萧琛、范云、任昉、陆倕的合称。因同是竟陵王萧子良的门客，又号曰八友，故名。所作诗文，注重声律，系“永明体”代表作家。以谢朓成就最高。

初唐四杰 指初唐高宗至武后初年出现的“以文章齐名天下”的优秀诗人：王勃、杨炯、卢照邻、骆宾王。他们地位都比较低下，但在唐诗开创时期，都肩负起时代的使命，努力摆脱齐梁诗风的影响，积极开拓诗歌的思想题材的新领域，对诗的格律形式也有所探索。

王孟 是唐代山水田园诗派的主要作家王维和孟浩然的并称。两人都工于五言，都善于描写自然景物，风格相近。在艺术成就方面，二人既并驾齐驱，又各具风韵，对后世都有深远影响。

高岑 是盛唐诗人高适和岑参的并称。两人都是边塞诗派的代表作家。

李杜 1.是唐代大诗人李白和杜甫的并称。李白为浪漫主义大师，被誉为“诗仙”；杜甫为现实主义的圣手，被誉为“诗圣”。韩愈《调张籍》：“李杜文章在，光焰万丈长。”2.晚唐著名诗人李商隐和杜牧的并称，也称“小李杜”。

三李 唐代诗人李白、李贺和李商隐，三人的作品皆有浪漫主义特色。

大历十才子 唐代宗大历年间(766—779)的十位诗人：卢纶、吉中孚、韩翃、钱起、司空曙、苗发、崔峒、耿沣、夏侯审、李端。他们大多依附于权贵之门，所以作品主要是唱和应酬、赠离送别、登临题咏、称道隐逸之作，讲究辞藻声律，但缺乏鲜明的艺术个性，好作品不多。

韩柳 是唐代著名散文家韩愈和柳宗元的并称。二人皆为古文运动的倡导者，在散文创作方面也都取得了卓越成就。韩愈散文风格雄奇奔放，富于变化，语言简练、准确、生动、鲜明，被人称为“文章巨公”。柳宗元的散文比韩愈更具现实主义精神，他从创作实践上发展了古文运动。总之，韩、柳都是司马迁之后杰出的散文家，其散文创作也成为后世的典范。

韩孟与孟诗韩笔 “韩孟”指中唐时期著名诗人韩愈和孟郊。二人诗风有相似之处，故后人论诗常以“韩孟”并举。又因韩愈以散文著称，孟郊以诗名世，当时有“孟诗韩笔”之誉。

刘柳 指中唐时期优秀诗人刘禹锡和柳宗元。两人政治观点、哲学观点都比较接近，又都属于主张革新时政的王叔文进步集团；改革失败后，二人同遭贬谪，又都能在坎坷困境中坚持进步的政治主张。同时，两人在诗歌创作方面，也都取得了较高成就，因此并称“刘柳”。

元白 为唐代诗人元稹、白居易的并称。二人是好友，文学主张及诗风也相接近，并共同倡导了新乐府运动。《新唐书·白居易传》：“居易于文章精切，然最工诗。……初与元稹酬咏，故号‘元白’。”

温李 指晚唐诗人温庭筠和李商隐。二人的诗在当时齐名，诗风也有近似之处，故并称。金人元好问《黄金行》：“笔头仙语复鬼语，只有温李无他人。”但就诗歌创作的艺术成就而言，温不如李。

皮陆 是晚唐文学家皮日休和陆龟蒙的并称。两人为好朋友，以诗唱和，在当时齐名。

唐宋八大家 指唐代的韩愈、柳宗元和宋代的欧阳修、苏洵、苏轼、苏辙、王安石、曾巩八位散文作家。他们是古文运动的倡导者和实行者，主张文学革新，建立了有理论、有创作的散文系统，成为后人效仿的典范。其中韩愈、柳宗元、欧阳修、苏轼又并称为千古文采四大家。

晏欧 指北宋词人晏殊、欧阳修。他们的词风都比较婉丽，故并称。

周柳 指北宋词人周邦彦、柳永。二人皆精于音律，创制长调。作品的内容多为描写男女之情和羁旅之思，风格婉约。

苏梅 北宋诗人苏舜钦与梅尧臣的并称。在矫正西昆体之弊与开辟宋诗独特境界方面，苏舜钦和梅尧臣都起过相当重要的作用。

苏辛 指宋代词人苏轼和辛弃疾。二人同为豪放词派的代表，故常并称。

苏黄 指北宋文学家苏轼、黄庭坚。二人都是宋诗风格的体现者，影响都很大，故并称。

南宋四大家 指南宋诗人杨万里、尤袤、范成大、陆游，又称"中兴四大诗人"。是宋诗发展的第二个高峰时期的诗人代表，逐渐摆脱了江西诗派的影响而另具特色。

苏门四学士 指北宋苏轼门下的四位诗人：黄庭坚、张耒、晁补之和秦观。他们曾受苏轼奖掖和提携，当时皆有文名，故天下称之为"苏门四学士"。

二安 指宋代词人李清照和辛弃疾。因李清照号易安居士，辛弃疾字幼安，故名。

周姜 指宋代词人周邦彦和姜夔。二人皆精通音律，能自创新调，故常并称。

姜张 指南宋词人姜夔和张炎。两人都讲究格律声韵，词风相近，故常并称。

元曲四大家 指元代杂剧和散曲作家关汉卿、白朴、马致远、郑光祖，简称关、白、马、郑。

吴中四杰 指明代吴中诗人高启、杨基、张羽、徐贲。

公安三袁 袁宏道与兄袁宗道、弟袁中道都是明万历年间著名文学家，湖北公安(公安县)人，号称"公安三袁"。

前七子 明弘治、正德年间文学家李梦阳、何景明、徐祯卿、边贡、康海、王九思、王廷相等七人的合称，是明代复古主义流派之一。其文学主张虽不尽一致，但大都强调"文必秦汉，诗必盛唐"，重视摹拟，致使拟古风气严重。此派领袖为李梦阳、何景明。

后七子 与"前七子"相对。明嘉靖、万历年间文学家李攀龙、王世贞、谢榛、宗臣、梁有誉、徐中行、吴国伦等七人的合称，也是明代复古主义文学流派之一。他们继承前七子的拟古主张，倡导"格调""法式"，强调从形式上摹拟，剽窃古人。此派领袖为李攀龙、王世贞。

桐城三祖 桐城派创始人方苞、姚鼐、刘大櫆三人，他们都是安徽省桐城人，故称"桐城派"。"桐城派"是清中叶最大的散文流派，三位创始人被人尊为"桐城三祖"。

南洪北孔 指清代杰出的戏剧家洪昇和孔尚任。因洪昇是南方人，孔尚任是北方人，故名。洪昇的剧作《长生殿》与孔尚任的剧作《桃花扇》为清代两大戏剧作品。

"左联"五烈士 指五位"左联"作家白莽、柔石、冯铿、李伟森和胡也频。他们于1931年1月17日被捕，同年2月7日，被秘密枪杀于国民党反动派设在上海龙华的特务机关"警备司令部"。

中国作家第一 屈原：第一位伟大的诗人。司马迁：第一位史学家、文学家。陶渊明：第一位田园诗人。班昭：第一位女史学家。许穆夫人：第一位女诗人。李清照：第一位著名女词人。冰心：第一位儿童文学作家。叶圣陶：第一位童话作家。老舍：第一位获得"人民艺术家"称号的作家。

世界三对著名兄弟作家 指德国的亨利希·曼(1871—1950)和托马斯·曼(1875—1955)兄弟；雅可布·格林(1785—1863)和威廉·格林(1786—1859)兄弟；法国的爱德蒙·德·龚古尔(1822—1896)和于勒·德·龚古尔(1830—1870)兄弟。

世界三大短篇小说之王 指法国的莫泊桑(1850—1893)、俄国的契诃夫(1860—1904)、美国的欧·亨利(1862—1910)。他们的短篇小说不仅数量惊人，而且艺术精湛，成就极高。

英国诗坛的三颗巨星 指拜伦(1788—1824)、雪莱(1792—1822)、济慈(1795—1821)。可惜他们都很短命，拜伦活了36岁，雪莱活了30岁，济慈活了26岁。

美国短篇小说三剑客 欧·亨利、杰克·伦敦、马克·吐温。

世界文坛三大怪杰 指16世纪末17世纪初，西班牙戏剧的奠基者、文艺复兴时期杰出的戏剧家洛佩·德·维加(1562—1635)，有"西班牙的凤凰""西班牙戏剧之父""天上人间的诗人"之称；18世纪启蒙主义者公认的领袖、当时思想界的泰斗伏尔泰(1694—1778)，在欧洲文学史上有"科学和艺术共和国的无冕皇帝""哲学家的家长""一代思想的主宰"等誉称；20世纪法国文坛巨星、名闻世界的杰出女作家科莱特(1873—1954)，有"法国文坛怪杰""法兰西的国宝"等誉称。

勃朗特三姐妹 指19世纪英国的三位女作家，她们生于穷牧师家庭。姐姐夏洛蒂·勃朗特，写有著名的长篇小说《简·爱》；其妹艾米莉·勃朗特，诗歌方面成就较为突出，写有著名的长篇小说《呼啸山庄》；其妹安妮·勃朗特，写有长篇小说《艾格妮丝·格雷》。

世界十大文豪 荷马：古希腊诗人。但丁：意大利诗人。歌德：德国诗人、剧作家、思想家。拜

伦：英国积极浪漫主义诗人。莎士比亚：英国文艺复兴时期戏剧家、诗人。雨果：法国作家。泰戈尔：印度诗人和社会活动家。列夫·托尔斯泰：俄国文学巨匠。高尔基：前苏联无产阶级文学奠基人。鲁迅：中国现代伟大的文学家、思想家、革命家。

世界十大思想家 孔子(前551—前479)，中国思想家、哲学家、教育家。其学说对中国2 000多年的封建文化、思想以及世界文化、思想影响极大。柏拉图(前427—前347)，古希腊哲学家、思想家。其哲学思想对世界影响很大。亚里士多德(前384—前322)，古希腊哲学家、思想家。马克思称他是古希腊哲学家中"最博学的人物"。托马斯(1226—1274)，意大利神学家、经院哲学家。哥白尼(1437—1543)，波兰思想家、天文学家，日心学说的创始人。弗兰西斯·培根(1561—1626)，英国思想家、哲学家。马克思称他是"英国唯物主义和整个现代实验科学的真正始祖"。牛顿(1642—1727)，英国物理学家、哲学家、思想家、数学家。伏尔泰(1694—1778)，法国启蒙思想家、作家、哲学家。主张资产阶级的自由平等。康德(1724—1804)，德国哲学家、思想家。反对封建特权，主张平民应受尊重。达尔文(1809—1882)，英国博物学家、思想家，进化论的奠基人。

附录

文学现象、文学流派、文学社团、文学思潮

诸子百家 春秋战国时期各种学术和文学派别的总称。所谓"百家"，主要是儒、墨、道、法等影响最大的几家。围绕着一些重大的社会问题，诸子百家各抒己见，到处游说，著书立说，形成百家争鸣的局面，成为中国文化史上一个空前繁荣的时代。诸子百家的观点反映在他们的作品中也就形成了不同的学术和文学派别，主要是散文的不同派别。诸子散文不仅有重要的学术价值，而且有较高的文学价值。

建安风骨 建安(汉献帝年号)时期是我国文学发展的一个重要时期。实际统治者曹氏父子都爱好文学，招揽文士，围绕他们聚集了众多作家。他们直接继承汉乐府民歌的现实主义传统，掀起一个诗歌高潮。他们的创作一方面反映了社会的动乱和民生的疾苦，一方面表现了统一天下的理想和壮志，有着鲜明的时代特色，具有"慷慨悲凉"的独特风格，这种杰出成就被称为"建安风骨"。

山水田园诗派 以反映田园生活、描绘山水为作品主要内容的一个诗派。田园诗起源于东晋陶渊明，至盛唐时期的王维、孟浩然诸人达到极盛，以描写自然风光、农村以及安逸恬淡的隐居生活见长。唐代田园诗派，一直影响到后代。山水诗始于南朝宋谢灵运，南朝齐谢朓继之，世称"大小谢"。王维、孟浩然继承了六朝山水诗的传统，艺术技巧又有发展，给后世山水诗带来较大影响。山水田园诗风格恬静淡雅，语言清丽洗练，艺术技巧较高。王维是该派艺术成就最高的诗人，名篇有《山居秋暝》《渭川田家》《鸟鸣涧》等。孟浩然和王维齐名，名篇有《过故人庄》《宿建德江》等。

边塞诗派 以描绘边塞风光、反映戍边将士生活为作品主要内容的一个诗派。早在南朝宋代，鲍照就写过反映边塞生活的诗，"初唐四杰"和陈子昂也有不少边塞诗作，但多是偶尔为之，数量不多。到了盛唐时期，唐王朝国力强大，与周边战争频繁。大唐帝国的声威和尚武精神激励着不少诗人投笔从戎，走向边疆以求取功名。边塞的新天地、新生活拓展了诗人们的眼界，丰富了诗歌创作的题材，促使诗风发生重大变化。这样就产生了大量边塞诗，形成了一个诗派。代表诗人是高适和岑参。他们的作品大多描绘了边塞瑰丽奇异的风光，艰苦壮烈的战争生活，以及征人思归的复杂思想感情。风格雄伟奔放，悲壮苍凉，气势豪迈磅礴，语言平易流畅，基调积极乐观。代表作有高适的《燕歌行》，岑参的《走马川行奉送封大夫出师西征》《白雪歌送武判官归京》，王昌龄的《出塞》，李颀的《古从军行》，王翰的《凉州词》等。

古文运动 古文概念的提出，始于韩愈。他把自己的散文称为古文，并使之和"俗下文"，即六朝以来流行已久的骈文对立，在唐德宗贞元时期，由于韩愈的努力提倡，古文产生了广泛的影响。许多人向韩愈请教，一时"韩门弟子"甚众。到了唐宪宗元和时期，又得到柳宗元的大力支持，古文的业绩更显著，影响更大。从贞元到元和的二三十年间，古文逐渐压倒骈文，成为文坛的主要风尚，这就是文学史上的"古文运动"。

新乐府运动 唐代白居易等人倡导的诗歌领域的一次变革。所谓"新乐府"，就是一种用新题写时事的乐府式的诗。有三点要求：第一是用新题，第二是写时事，第三是不以人乐与否

作为衡量的标准。“新乐府”一词是白居易提出的。概括地说，由汉乐府的“缘事而发”，一变而为曹操诸人的借古题而写时事，再变而为杜甫的“因事立题”，这因事立题，经元结、顾况等一脉相承，到白居易更成为一种有意识的写作准则，所谓“歌诗合为事而作”，这就是新乐府运动形成的一般历史过程。元稹、张籍、王建是这一运动中的重要作家。

花间词派 晚唐五代流行的词派。主要代表是晚唐著名词人温庭筠，主要成员是五代时西蜀的一批词人，如韦庄、牛希济、欧阳炯、鹿虔扆、李珣(一作洵、询)、牛峤等。他们的作品多描写闺情和相思，内容狭窄，情调缠绵，辞藻华丽。后蜀赵崇祚把温庭筠等18位作家的词编成《花间集》，花间派由此得名。

北宋诗文革新运动 北宋继唐代古文运动而起的文学革新运动。主要反对以西昆体为代表的浮靡文风，主张对诗文进行革新。其代表人物是梅尧臣和苏轼。梅尧臣论诗认为诗歌要写实，要对现实有所美刺，反对西昆派的浮艳诗风，主张语言要朴素、风格要平淡。苏轼主张为文要从不同内容出发，采取不同表现形式，要文理自然，还要讲究章法。北宋诗文革新运动，继唐代古文运动之后，又一次把古代文学特别是散文以及文论的发展推进了一步，对后世影响巨大。

婉约词派 宋词风格流派之一。指修辞委婉、表情柔腻的词派。该派词作多表现男女之间的柔情和个人的遭遇，偶有一些描绘山川自然风光的作品。词调婉转缠绵，结构深细精密，语言圆润清丽，音律谐婉，表达上往往含蓄蕴藉，具有柔婉之美。代表作家，北宋有柳永、晏殊、欧阳修、秦观、周邦彦等，南宋有李清照、姜夔、吴文英、张炎等。

豪放词派 宋词风格流派之一。该派的特点是创作视野较为广阔，气象恢弘豪放，乐于采用诗文的手法、句法和字法来写词。语词丰富，用典较多，音律上则不太讲究。该派的创立者是北宋著名文学家苏轼。苏轼以前的词坛充斥着婉约派的男女柔情之作，盛行的是一种内容狭窄、轻巧柔靡的诗风，不满于此的苏轼以自己开阔雄浑、奔放驰骋的词作扭转了这一局面，将词的创作引向了健康广阔的道路。《念奴娇·赤壁怀古》中的“大江东去，浪淘尽，千古风流人物”成为豪放词作的代表句，被誉为“铜琶铁板”。因此，豪放词风多为有革新精神的人所推崇。南宋著名词人辛弃疾是豪放派的又一代表人物。豪放派中的某些作家喜欢堆砌典故，卖弄学问，亦造成较大的不良影响。作为词人，其词作风格也不是绝对的，比如苏轼，就有不少感情纤细、清新秀丽的词作。

江西诗派 北宋后期的一个以黄庭坚为中心的诗歌流派。因黄庭坚是江西人，派中诗人又以江西人较多，故称江西诗派。诗派成员多数学杜甫，把杜甫和黄庭坚、陈师道、陈与义称为江西诗派的“一祖三宗”。由于江西诗派在诗歌的思想内容方面并没有提出什么特别的主张，因而他们的作品在思想内容上便各有特点。黄庭坚的诗歌理论中的一个主张是要求诗人要“自成一家”，所以江西诗派的成员之间虽然师友传授，关系密切，但他们的艺术风格却各有千秋。江西诗派是中国古典诗歌发展过程中的一个重要环节。

茶陵派 明代成化、正德年间的诗歌流派，因该派首领李东阳为茶陵人，故称。成化以后，台阁体脱离社会现实生活的创作倾向已不适应文学的发展。为反对台阁体的形式主义文风，李东阳主张学诗应效法唐诗的创作经验，以振兴当时的诗坛。他强调宗法杜甫，比较重视音节、格调和用字法度。茶陵诗派虽生活思想较为贫乏，未能开创诗坛新局面，但其宗法唐诗的主张及师古的创作倾向，却成为前、后七子复古运动的先声。

唐宋派 明代嘉靖年间的一个散文流派，代表人物有王慎中、唐顺之、茅坤、归有光。他们的基本观点是反对以文采取代“道统”，主张“文道合一”的传统。

公安派 明代后期的文学流派。因代表人物袁宏道及其兄袁宗道、弟袁中道为公安(今湖北省公安县)人而得名。他们的文学主张与前、后七子的复古主义针锋相对，认为文学应随时代的变迁而发展变化。反对贵古贱今，认为“天下无百年不变之文章”，强调文学首先在于表现真实的思想感情，主张“独抒性灵，不拘格套”。这种文学发展观与创作观，开创了清新活泼、平易近人的文风，发展了散文样式，开拓了杂文和小品文领域，打破了复古派在文坛上一统天下的局面，在当时的文坛上产生了积极的影响。

竟陵派 明代后期文学流派，因为主要人物钟惺、谭元春都是竟陵人，故被称为竟陵派。

竟陵派创作特点：刻意雕琢字句，求新求奇，语言佶屈，形成艰涩隐晦的风格。竟陵派与公安派一样在明后期反拟古文风中有进步作用，对晚明及以后小品文大量产生有一定促进之功。然而他们的作品题材狭窄，语言艰涩，又束缚了其创作的发展。

复社 明代末期文学家张溥创立的既是政治结社又是文学团体的名称。从文学主张上看，该派主要受前、后七子的影响，主张复古，没有多少自己的创见。由于他们直接参加了与宦官魏忠贤的政治斗争，因而作品的内容较为充实，密切了文学与政治的关系。复社包含众多的社团，是由浙西闻社、吴门匡社、历亭席社、昆阳社、吴门羽朋社、江北南社、江西则社等十几个社团联合组成的。

神韵说 清代王士禛的诗论主张。他发展了唐代司空图《二十四诗品》和南宋严羽《沧浪诗话》的某些理论，主张写诗要"兴会神到""得意忘言"，求得神韵。但是他所强调的神韵是以清淡闲远为标志的，它只能引导作家脱离社会生活，去表现封建士大夫的所谓闲情逸致。王士禛自己的诗作正体现出神韵说的这一弊病。

格调说 明清时代的一种诗论。明代前、后七子强调"文必秦汉，诗必盛唐"，主张从格调声律上学习以至于摹拟古人，是较早的格调说。到清代中叶，沈德潜在继承前、后七子主张的基础上有了较大发展，提倡写诗须"温柔敦厚""怨而不怒"，表达上讲究比兴蕴蓄，不能直露，并将此提到"诗教"的高度，形成了较为系统的格调理论。

桐城派 清代最大的散文流派，该派的开创者方苞以及进一步发展者刘大櫆、姚鼐都是安徽桐城人，因此把他们及其追随者称为桐城派。他们继承了从唐宋八大家到归有光的古文传统，提出了以"义法"为核心，"义理、考据、辞章"三者并重的文章理论。方苞首创"义法"说，即散文要做到"言有物"和"言有序"。"言有物"就是在思想内容上要符合儒家思想，"言有序"就是在形式上要以儒家经典为典范。他们主张文章的风格或阳刚或阴柔，语言要做到雅洁，并以此作为评判散文成就高低的标准。桐城派的作品大多内容贫乏空洞，形式上严守清规戒律。他们在清代产生了很大影响，并一直延续到清末。

诗界革命 近代中国资产阶级的诗歌改良运动。戊戌变法之前，梁启超、夏曾佑、谭嗣同等人提出"诗界革命"的口号，并试作"新诗"。刚开始时，有些人作的"新诗"虽然是用"新名词以自表异"，但这种尝试反映了人们对新思想、新文化的要求。梁启超在《饮冰室诗话》里总结了失败的教训，提出了"以旧风格含新意境"，即"熔铸新理想以入旧风格"的口号。被认为最能体现这个口号的是黄遵宪的创作，他提出"我手写我口"的主张，努力使传统的诗歌形式与新内容，严整的韵律与散文化的笔法，"流俗语"、新名词与旧格调达到和谐统一。"诗界革命"是19世纪末中国资产阶级改良主义运动的一个组成部分，是近代进步诗歌潮流的进一步发展。但它在理论和创作上都没有开创崭新的局面，只在"旧风格"中求变而已。

鸳鸯蝴蝶派 发端于20世纪初叶的上海"十里洋场"的一个文学流派。他们最初热衷的题材是言情小说，写才子和佳人"相悦相恋，分拆不开，柳荫花下，象一对蝴蝶，一双鸳鸯一样"（《上海文艺之一瞥》），并因此得名而成为鸳鸯蝴蝶派。这一派的早期代表作为徐枕亚的《玉梨魂》，是用四六骈俪加上香艳诗词而成的哀情小说。

新青年社 在五四运动和中国共产党创建初期发挥了重要作用的社团。1915年9月在上海创办月刊《青年杂志》，陈独秀任主编。一年后改名为《新青年》。1917年初该社迁往北京。1920年9月又迁回上海，此时实际上已成为中国共产党上海党组织的机关刊物。1922年10月1日出至九卷六号后停刊，新青年社也因内部意见分歧而解散。新青年社以民主与科学为自己的基本纲领，以此引导思想解放运动、新文化运动和文学革命。在"民主"与"科学"口号的感召下，陈独秀团结了当时具有进步思想的知识分子，主要有钱玄同、刘半农、胡适、吴虞、李大钊、鲁迅等人，猛烈而彻底地批判了以孔孟之道为核心的封建主义，将人们的思想从封建精神和传统观念的枷锁里解放出来。他们反对旧道德、旧思想，倡导新道德、新思想，提出青年、妇女、家庭、婚姻、人生、父权、宗教、个性解放、人格独立等一系列问题，并且介绍了西方各种新思潮，在思想文化界和知识青年中掀起了思想大解放的热潮。

新潮社 中国现代文学史上的文学社团之一。1918年10月成立于北京，成员多为北京大

学学生，也有少数教员和校外人士，如王伯祥、江绍原、何思源、李小峰、俞平伯、郭绍虞、孙伏园、顾颉刚、叶圣陶、杨振声等。1919年1月《新潮》月刊创刊出版。1922年3月出至三卷二期终刊。除《新潮》外，还出了一套《新潮丛书》。该社在提倡白话文、反对封建伦理和封建文学方面起过一定的进步作用。但在政治上持改良主义观，崇拜西方文明，鼓吹"全盘西化"，宣扬民族虚无主义。

文学研究会 五四时期著名的新文学团体，1920年底开始筹备，1921年1月在北京正式成立。发起者有郑振铎、沈雁冰、叶圣陶、孙伏园、耿济之、朱希祖、瞿世英、王统照、蒋百里、郭绍虞、许地山、周作人，共12人。后来该会的活动中心转到上海。文学研究会鲜明地打出现实主义的文学旗帜，提倡文学要反映社会现实，要为人生而艺术，反对纯艺术观点，并十分注意研究和介绍俄国、东欧、北欧等被压迫民族的进步文学。其代用机关刊物《小说月报》是新文学运动中的一个大型文学刊物，由沈雁冰负责编辑，该会还有《文学周报》《诗》《文学旬刊》等多种期刊出版发行。

创造社 五四时期与文学研究会齐名的文学社团。1921年6月在日本东京成立。郭沫若、张资平、郁达夫、成仿吾、田汉、穆木天、张凤举、徐祖正、陶晶孙、何畏等，是该社最早的一批成员。创造社先后出版过《创造》季刊和《创造周报》《创造日》《洪水》《创造月刊》《文化批判》《思想》等多种刊物，以此为阵地，他们向帝国主义、封建主义发动猛烈攻击，为推动新文化运动作出了较大贡献。1925年后，一些具有革命思想的人物加入创造社，明确提出了"革命文学"的口号，受到国民党反动派的打击。1929年创造社被查封。

新月社 中国现代文学史上的新诗团体。1923年成立，代表人物为徐志摩、闻一多，成员有胡适、梁实秋、陈西滢等。自由体诗在五四新文学运动中取得一定地位后，徐志摩、闻一多等不满足于新诗的自由散漫，而努力地去追求新的格律。其中卓有成就的是闻一多，他主张新格律诗要保持整齐的外形，讲究音节和押韵，讲究诗的辞藻，即建立了建筑美、音乐美和绘画美的新格律诗理论，产生了深远影响。

语丝社 现实主义文学团体。1924年11月在北京成立，因出版《语丝》周刊而得名。主要代表作家有鲁迅、周作人、林语堂、刘半农、孙伏园、钱玄同等。该社继承五四新文学的现实主义战斗传统，刊登了许多别的刊物"不肯说，不敢说，不能说"的文章，创造了泼辣幽默的"语丝文体"。鲁迅在《语丝》上发表的小说、散文诗、杂文、译文等达一百四十余篇，与帝国主义、封建军阀及其御用文人的"现代评论派""甲寅派"进行了坚决斗争。尽管语丝社内部始终存在激烈矛盾和分化，但鲁迅的战斗檄文决定了语丝社正确的政治倾向和坚定的现实主义立场。

论语派 现代文学流派。因《论语》半月刊而得名。主要代表人物为林语堂。主要刊物有《论语》《人间世》《宇宙风》，以刊登小品文为主，提倡幽默、闲适、独抒性灵。主张"以自我为中心，以闲适为笔调"，采取与政治保持距离的自由主义立场。《论语》前期文章尚能触及时弊，幽默中含讽刺。1934年后，讽刺锋芒日益减弱，幽默也流于说笑话、寻开心。由此引发了左翼作家与其的论争。

现代评论派 1924年，胡适与陈西滢、徐志摩等创办《现代评论》周刊，因而被称为现代评论派。其成员多是欧美留学归国的自由主义知识分子，他们以《现代评论》为主要阵地，为美帝国主义及买办资产阶级张目，支持北洋军阀当局，诬蔑群众革命运动。1927年7月，《现代评论》迁至上海，遂由原来依附于北洋军阀转而投靠国民党政权。

未名社 现代文学团体。1925年8月成立于北京。由鲁迅发起，成员为鲁迅、韦素园、韦丛芜、李霁野、台静农、曹靖华6人。后王菁士、李何林曾一度参加过该社工作。"未名"，是"还未想定名目"的意思。其时鲁迅正为北京北新书局编辑专收译文的《未名丛刊》，遂以"未名"为社名，丛刊改归该社发行。后该社又编辑出版《未名新集》，专收社员创作。

南国社 前身为南国电影剧社。1927年冬，南国电影剧社改组为南国社。设有文学、绘画、音乐、戏剧、电影等五部，以戏剧活动为义。主要成员有田汉、欧阳予倩、徐志摩、徐悲鸿、周信芳等。其宗旨是"团结能与时代共痛痒之有为青年作艺术上之革命运动"。创办刊物《南国月刊》《南国周刊》。

太阳社 中国现代文学史上的革命文学团体。1927年冬成立于上海，代表人物有蒋光慈、

钱杏邨、洪灵菲等。先后出版《太阳月刊》《时代文艺》《海风周报》《新流月报》以及《太阳丛书》，在宣传革命文学理论和革命文学的创作实践上起过积极作用。

朝花社 1928年秋在上海成立的新文学社团。领导者为鲁迅，主要成员有柔石、许广平。该社的宗旨是介绍东欧和北欧文学，输入外国版画，扶植刚健质朴的新文艺。仅存在一年多时间，出版了《朝花旬刊》，印刷《艺苑朝花》以及《近代世界短篇小说集》等。

中国左翼作家联盟 简称"左联"。第二次国内革命战争时期中国共产党领导下的全国性的革命作家与进步作家的组织。1930年3月2日成立于上海。沈端先（夏衍）、冯乃超、钱杏邨、鲁迅、田汉、郑伯奇、洪灵菲为常务委员。稍后，茅盾、周起应（周扬）相继从日本归来，也分别参加了"左联"的领导工作。它制定了为无产阶级及其革命斗争服务的理论纲领和行动纲领，在日本东京及国内一些城市设有分盟或小组，建立了"马克思主义文艺研究会""文艺大众化研究会"等下属组织。它先后创办了《拓荒者》《萌芽月刊》和《世界文化》《北斗》《文学月报》《前哨》等刊物，系统地传播了马克思主义文艺理论，发表革命或进步的文学创作，努力培养文学新人，提倡文艺大众化，开展工农兵通讯员运动；批判"新月派""民族主义文学"和"第三种人"的反动文艺思想，反击国民党反动派的文化"围剿"，为推进无产阶级文学运动，作出了积极的贡献。1936年初，为适应组织更为广泛的文艺界抗日民族统一战线的需要，"左联"自动宣布解散。

东北作家群 是指九一八事变以后，一群从东北流亡到关内的文学青年在左翼文学运动推动下共同自发地开始文学创作的群体。他们的作品反映了处于日寇铁蹄下的东北人民的悲惨遭遇，表达了对侵略者的仇恨、对父老乡亲的怀念及早日收回国土的强烈愿望。他们的作品具有粗犷宏大的风格，写出了东北的风俗民情，显示了浓郁的地方色彩。主要作家有萧军、萧红、舒群、端木蕻良等，代表作有萧红《呼兰河传》《生死场》，萧军《八月的乡村》等。

京派小说 20世纪30年代初活动于北平的作家所形成的一个文学流派。代表作家有废名、沈从文、凌叔华、萧乾及40年代出现的汪曾祺，其中沈从文的成就最高，影响最大。京派小说作家主要阵地有《骆驼草》《大公报·文艺副刊》《水星》和《文艺杂志》等刊物。该流派的主要特色是：极力描写和讴歌纯朴、原始的人性美与人情美；长于抒情写意。将写实、象征与理想融为一体；语言简约明净、古朴活泼，风格平和、淡远、隽永。代表作品有沈从文的《边城》《柏子》《丈夫》，废名的《桥》《竹林的故事》等。40年代末京派小说因政治上的原因而消失，但其将现代抒情小说推进到一个新阶段的功绩不可抹煞。

七月诗派 抗战爆发后国统区出现的现代诗歌流派。它是在艾青的影响下形成的，其理论家是胡风。代表诗人有阿垅、绿原、鲁藜、冀汸、曾卓、牛汉、孙钿等，基本阵地是1937年10月创办的《七月》和后来刊行的《希望》《诗创作》《泥土》《呼吸》等杂志。该诗派的共同特征是：提倡革命现实主义传统，把诗所体现的美学上的斗争与人的社会职责和战斗任务联系起来；强调发扬主观战斗精神去能动地影响、改造现实；采用自由体诗的形式，追求诗的散文美。代表性的作品有阿垅的《纤夫》、绿原的《给天真的乐观主义者们》、鲁藜的《泥土》、曾卓的《铁栏与火》、牛汉的《鄂尔多斯草原》等。诗风质朴、雄浑，把自由体新诗推向了一个新的高峰。七月诗派是抗战时期和解放战争时期影响最大的诗歌流派。

九叶诗派 20世纪40年代后期形成的现代主义的新诗流派。"九叶"是指当时九位艺术追求相同、风格相近的青年诗人：辛笛、袁可嘉、穆旦、郑敏、陈敬容、唐祈、唐湜、杭约赫、杜运燮。其诗作主要发表在《诗创造》《中国新诗》等刊物上。该诗派既吸收了中国古典诗歌和"五四"新诗的优良传统，又借鉴西方现代主义诗歌的某些手法，追求"现实、象征、玄学"的"有机综合"，在艺术上多有创新。其中穆旦最能体现九叶诗派的特色，如他的《被围者》《诗八首》等作品。1981年该诗派出版了诗选《九叶集》，不仅因此而获得流派的名称，而且对当代诗坛产生了重要影响。

山药蛋派 这是以赵树理为代表的主要采用群众喜闻乐见的形式来表现山西农村生活的小说流派。又称为"赵树理派""山西派"或"火花派"，这是因为新中国成立后该派的作品大都发表在山西文艺刊物《火花》上。应该说，山药蛋派作品的主要特点是大众化、民

俗化。该派作品主要是为农民而写，作品内容所反映的也主要是农民的现实生活。作品吸取了民间传统的说书手法，故事性强，语言是地道的口语。该派在文艺普及工作中作出了很大的贡献。

荷花淀派 这是一个以孙犁为主要代表、以农村生活为主要内容并形成一定艺术特色的小说流派。该派的作品大多从农村日常生活中提炼题材，采用现实主义与浪漫主义相结合的手法，把人物的心灵美与自然美融合在一起，既有真实细致的描写，又有浓郁的抒情气氛，格调清新，语言明确，富有感染力。

朦胧诗派 1980年开始，诗坛开始出现了一个新的诗派，被称为"朦胧诗派"。舒婷、顾城、杨炼、江河、梁小斌、芒克等一批青年诗人，从1979年起，先后发表了大量新风格的诗。他们受西方现代主义诗歌的影响，借鉴一些西方现代派的表现手法，表达自己的感受、情绪与思考，呈现出与当时诗坛盛行的现实主义诗歌风格截然不同的面貌。这些诗歌后来被统称为"朦胧诗"。朦胧派诗人善于通过一系列琐碎的意象来含蓄地表达出对社会阴暗面的不满与鄙弃，开拓了现代意象诗的新天地、新空间。代表作有《宣告》《回答》《诺日朗》《神女峰》。

文艺复兴 14～16世纪，在欧洲兴起的一场以人文主义为指导思想，新兴资产阶级反对封建阶级、反对神权统治的思想解放运动，实际上是一场在文化领域反映出来的政治革命。新兴资产阶级打着"回到希腊去"的旗号，声称要把久被淹没的古典文化"复兴"起来，所以人们便把这场运动称作"文艺复兴"。文艺复兴首先兴起于意大利，然后发展到德国、法国、英国、荷兰等国家。由于各国的历史条件不同，文艺复兴在各国虽都各具自己的特点，但都无一例外地出现了艺术的繁荣景象。尤为突出的是意大利，在诗歌、绘画、雕刻、建筑、音乐等各个方面都取得了辉煌的成就，涌现出诗人但丁、彼特拉克，作家薄伽丘，画家乔托、波提切利、达·芬奇、拉斐尔、提香，雕刻家米开朗琪罗，建筑师伯鲁涅列斯基，音乐家帕莱斯特里那、拉索等一大批艺术大师。文艺复兴时期的作品，集中体现了人文主义思想，即反对中世纪的禁欲主义和宗教观，摆脱教会对人们思想的束缚，打倒作为神学和经院哲学基础的一切权威和传统教条。因而文艺复兴是世界人类思想、文化发展史上重要的、光辉的一页，并且成为欧洲近代文学的开端。

沙龙文学 17世纪出现于西欧上流社会的贵族文学流派。"沙龙"为"会客室""客厅"的意思，后来专指在客厅举行的社交活动和文艺座谈，沙龙文学就是在文艺座谈中朗诵或演出的文艺作品。作品多以小说、诗歌为主，主要写失去往日地位的封建贵族对中世纪的缅怀；描写男女悲欢离合的艳情故事；描绘田园牧歌式的生活。内容矫揉造作，晦涩难懂，充满了没落贵族庸俗无聊的趣味。法国大戏剧家莫里哀于1659年创作了喜剧《可笑的女才子》，对沙龙文学故作姿态的风尚进行了辛辣讽刺。

古典主义 17世纪流行在西欧、特别是法国的一种文艺思潮。因为它在文艺理论和创作实践上以古希腊罗马文学为典范和样板，而被称为"古典主义"。古典主义代表作家有高乃依、拉辛、莫里哀、拉封丹等，古典主义悲剧作家基本上都遵照"三一律"——要求剧情限制在同一件事，发生在同一天(24小时之内)和同一地点。

启蒙运动 欧洲18世纪的思想文化运动。这个运动为资产阶级推翻封建贵族的革命作了长期的舆论准备。由于它打破传统观念，启迪人们的思想，传播新的观念，所以有"启蒙"之称。启蒙运动的代表人物有法国的伏尔泰、狄德罗、卢梭，英国的笛福、斯威夫特，德国的莱辛、席勒、歌德等。资产阶级在这个运动的历史过程中形成了一整套反封建的思想体系，成为18世纪欧洲社会思想的主潮。启蒙运动批判封建君主专制制度、贵族特权；揭露教会的黑暗腐朽、偏见和狂热；批判唯心主义对自然界的谬论妄说；反对门第、等级观念；否定专门为表现贵族特权阶级服务的文艺创作；提出了永恒的理性原则，如正义、自由、平等、博爱、人权等。18世纪的启蒙运动在历史上具有进步的意义，但它实质上是一个按照资产阶级世界观改造世界的运动。启蒙运动，也泛指为了某一革命的顺利开展，在政治和思想文化领域里专门制造舆论的运动。

感伤主义 18世纪后期欧洲资产阶级启蒙运动中的一种文艺思潮，也称为"主情主义"。该派的得名，源于英国作家斯特恩的小说《在法国和意大利的感伤的旅行》。该派作家崇尚感情，把感情看得高于理性，因而强调文学的主要任务是细致刻画人物的心理动态和描写人物的

不幸遭遇，以便唤起读者在感情上的同情和共鸣，表达出对当时贵族阶级的理性主义和古典主义的反抗。感伤主义把个人主义和主观幻想的因素带进文艺，对19世纪浪漫主义文学的产生和发展有较大影响，所以又被称为"前浪漫主义"。其作品形式多用日记、自白、书简、游记、回忆体，并常采用第一人称。代表作家有英国的斯特恩、理查逊，法国的卢梭、伏尔泰，德国的歌德、里希特、海涅，等等。

自然主义 19世纪后期欧洲兴起的一种文艺思潮。其理论创始者为法国作家左拉，代表人物是龚古尔兄弟。该派主张在文学创作中运用生理学、遗传学、临床病理学、解剖学等理论去分析表现人物的生物本能，因而在文艺创作上注重现实生活中个别琐碎的现象，追求事物外在的真实，而不注重对生活现象进行典型化，以致不能反映资本主义制度下生活的本质。

浪漫主义 18世纪末到19世纪初，资产阶级革命时代欧洲普遍流行的一种资产阶级的文艺思潮。它在政治上反对封建制度，在文艺上反对古典主义，是资产阶级上升时期的意识形态的反映，具有一定的进步意义。由于作家阶级立场和政治态度的不同，浪漫主义分成了积极浪漫主义和消极浪漫主义两个对立的派别。两派的共同之处在于对资本主义现状的不满并提出强烈抗议，都企图把资本主义的生活加以理想化，这种理想化一般都是通过幻想、夸张、离奇的情节表现出来的。不同之处是，积极浪漫主义反映了资产阶级民主倾向，既批判资本主义社会罪恶的现实，又将理想寄予将来，具有崇尚自由和解放的思想特征；消极浪漫主义则反映了没落贵族阶级对法国革命和启蒙思想的敌视态度，宣扬神秘主义，歌颂忍耐和驯服，妄图开历史的倒车。两派各有自己的一批代表人物，积极派的代表是英国的拜伦、雪莱，德国的赫尔德林、沙米梭、海涅，法国的史达尔夫人、雨果、乔治·桑，俄国的雷列耶夫、普希金以及波兰的密茨凯维支等；消极派的代表则有法国的夏多布里昂、拉马丁、维尼，英国的华兹华斯、柯尔律治、骚塞，德国的诺瓦利斯、蒂克、史雷格尔、布伦塔诺，俄国的茹科夫斯基等。

批判现实主义 19世纪欧洲文艺领域中占主导地位的文艺思潮。现实主义在19世纪30年代首先兴起于法、英等国，后迅速发展到欧洲其他国家。它的出现是资本主义社会内部矛盾尖锐化在文艺上的反映。由于现实主义具有强烈的社会批判性，高尔基称之为"批判现实主义"。批判现实主义文学主要有三方面特征：①较为广阔而真实地反映资本主义社会复杂而丰富的生活图景，引起人们对资本主义社会永存的怀疑；②形象地描绘了贵族阶级的没落和资产阶级的兴起、发展和衰亡的过程，深刻地暴露了社会的黑暗，无情地批判了封建制度和资本主义社会的罪恶，为人们认识资本主义社会提供了形象的材料；③成功地塑造了许多具有典型意义的人物形象，扩大了真实地描写现实生活的范围。代表作家有法国的巴尔扎克、司汤达，英国的狄更斯，俄国的果戈理、托尔斯泰、契诃夫，等等。1934年，前苏联文艺界在制定社会主义现实主义创作方法时，把资本主义社会中用现实主义态度和方法揭露并批判社会黑暗和腐朽的作品和作家，都称为"批判现实主义"，于是这一名称便由此沿用下来。

象征主义 19世纪末在法国兴起的唯美主义和颓废主义文艺思潮中一个较大的文学流派。首先提出"象征主义"这一名称的，是法国诗人让·莫雷阿斯。在该派作家看来，现实世界是虚幻的、痛苦的，是科学知识所无法了解的、虚无缥缈的，"另一世界"才是真实的、美好的，文学创作就是要暗示出这"另一世界"。因而象征主义的多数作品朦胧晦涩，充满颓废悲观的情调，宣扬个人主义和神秘主义。

表现主义 20世纪初流行于德国、奥地利、法国、北欧、俄国、美国的一个文学流派。它首先兴起于绘画界。1901年，法国画家埃尔维第一次使用"表现主义"一词，以表明自己的绘画不同于印象画派。此后发展到音乐、建筑、诗歌、小说、戏剧等领域。作为文学流派，它标榜文学创作的无目的性，认为创作的任务就是要将个人的品质和特征任凭作者的灵感主观地表现出来，反对对客观世界作实际的描述。因而其作品只着力表现主观的感觉和激情，作品中的人物往往成了某种精神品质和思想观念的具体象征。作品情节怪诞，变化突兀，形体和色彩上过分夸张，大量运用内心独白的潜台词和梦境的手法，既有揭露资本主义丑恶的一面，又有表现颓废、神秘心理的一面。代表作家有瑞典的斯特林堡，德国的托勒尔，奥地利的卡夫卡。

未来主义 20世纪初出现于意大利诗歌领域的资产阶级文艺思潮。"未来主义"一词出自意大利诗人马利奈蒂1909年发表的《未来主义

宣言》。后扩展到美术、音乐、戏剧等领域。第一次世界大战前后影响至欧洲各国。其基本特征是：注重未来，注重文学艺术中的新精神，认为未来的艺术应是"现代感觉"，表现现代机械文明的所谓速度、暴力、剧烈的运动，"骚乱音乐"和四度空间。诗歌形式上，提倡用"自由不羁的字句"来表现作者朦胧神秘的感受，将杂乱无章的名词、原形动词，甚至把乐谱、数学符号、化学公式拼凑在一起，既不用连词，也不用标点，表达晦涩难懂的意思。未来主义诗人还发展、创造出阶梯式的诗歌，甚至提出"立体未来主义"。代表作家有意大利的马利奈蒂、基蒂，法国的阿波利奈尔。

达达主义 第一次世界大战期间流行于欧洲的一种文艺流派。法国诗人查拉首先以"达达"的名义在瑞士组织文学团体。"达达"一词原为法国儿语中嘟嘟哝哝、不连贯的词汇，是"小马""玩具马"的意思，可引申为"无所谓"。查拉随手拈来作为其团体的名称，以示他们的主张是无目的和无所谓的，他们公然宣称："用永生来作尺度，一切动作统归虚妄。"该派对文化传统、现实生活均取否定态度，主张创造出一种用无意义的"符号"代替形象语言的新艺术。标榜艺术无思想性，以梦呓、混乱语言、怪诞荒谬的形象表现不可思议的事物，甚至利用现成物品标以奇特题目充作艺术品。它是第一次世界大战中欧洲资产阶级青年的苦闷彷徨和无出路感的反映。

超现实主义 20世纪初在欧洲兴起的资产阶级文艺流派。20年代首先产生于法国，后流行于欧美，是由达达主义演变而来的。法国作家布雷东等1924年在巴黎发表了《超现实主义宣言》，该派即由此得名。该派否认文艺是现实生活的反映，主张着力开发人们心灵的秘密及梦幻世界，这样才能达到绝对真实，即所谓的"超现实"。他们提倡不受理性和美学道德影响的无意识的创作活动，因而其作品往往是荒诞混乱的印象和感觉的表现，反映了当时欧洲青年一代苦闷彷徨、狂乱不安的思想情绪。第二次世界大战后，该派在欧洲已趋于衰落，在美国仍流行。

意识流文学 20世纪20～40年代流行于英国、法国、美国等国家的一种文学流派。"意识流"这一名词最早见于美国心理学家威廉·詹姆斯的文章《论内省心理学所忽略的几个问题》之中："意识并不是片段的连接，而是不断流动着的。用一条'河'或者一股'流水'的比喻来表达它是最自然的了。此后，我们再说起它的时候，就把它叫做思想流、意识流或者主观生活之流吧。"20世纪初，英国女作家陶罗赛·瑞恰创作了小说《尖尖的屋顶》，被视为是把意识流运用于文学创作的最早的作品，到40年代意识流小说的发展达到了高潮。该派认为只有人的精神和意识才是生活的"真实"，作家应着力表现人的感性活动、意识活动和内心的奥秘。形式上以意识流作结构，有意忽视故事的情节的连贯与完整，不写故事的背景，不用标点，并创造出颠倒时序、自由联想、象征暗示等新的手法，来展现人物的内心活动，把现实与回忆、事实与虚幻互相穿插，到处显示人物感受在流动的痕迹。"意识流"小说的大师是英国作家詹姆斯，他创造了被意识流作家称为"不朽的詹姆斯的不朽的表现方法"。其他著名意识流作家有法国的普鲁斯特，爱尔兰的乔伊斯，英国的伍尔夫，美国的福克纳等。

荒诞派戏剧 20世纪50年代兴起于法国、60年代流行于欧美的一个较为重要的戏剧流派。1961年，英国戏剧理论家马丁·艾思林把它定名为"荒诞派"。它是战后动荡不安、危机四伏、经济萧条的西方社会矛盾在戏剧舞台上的反映。该派认为人的存在与否都是荒谬的，人活着就是一场梦。其作品以反理性主义著称，既不要章法结构的逻辑，也不要语言的准确，只是把丑恶的现实在舞台上形象地表现出来；形式上不去表现人物的性格和人物的相互关系，不强调戏剧性的故事情节，甚至有的剧目没有一个演员出场，在艺术上造成滑稽的漫画效果。代表作家及其作品有：尤奈斯库的《秃头歌女》《椅子》，贝克特的《等待戈多》《最后一局》等。以《等待戈多》最负盛名，获1969年诺贝尔文学奖。

黑色幽默 20世纪60年代兴起于美国的一个文学流派。早在20年代，法国超现实主义作家安德烈·布雷东就使用过"黑色幽默"这一名称。1965年，美国作家弗里曼将美国当代具有共同特征的12位小说家的作品汇编成集，取名为《黑色幽默》，该流派至此正式得名。该派作家对黑暗的现实感到不满和绝望，对未来失去信心，感到幻灭、怀疑和恐惧，从而抱着愤世嫉俗的态度和忧郁沉重的心情进行创作。他们在小说中把现实生活中丑恶、畸形的东西加以

夸大，使之显得荒谬可怕，与此同时，又对它加以讽刺嘲笑。因此，该派文学的特点是思想情绪上黑色的东西与幽默相结合。但这种幽默并不能给人轻松的感觉，而使人感到心情沉重阴郁，被视为是"绞刑架下的幽默"。其影响最大的两部作品是海勒的《第二十二条军规》和冯尼格特的《第五号屠场》。

十二月党人文学 19世纪初期俄国贵族革命知识分子从事的文学创作及其文学活动。俄国的一批贵族青年军官，受资产阶级自由、平等、博爱的思想影响，决心推翻专制政权和农奴制，于1825年12月14日（俄历）率领三千士兵在彼得堡举行武装起义，历史上称作十二月党人起义。这些反叛的贵族青年中有一些很有才华的作家和诗人，因此有了"十二月党人文学"。他们十分强调诗歌的思想内容，认为不应该为写诗而写诗，而应该为战斗而写诗。号召作家选取重大的现实题材和历史题材，歌颂为争取祖国独立而战斗的英勇战士。在形式上提倡写作有民族特色的悲剧、喜剧和长诗，倡导积极浪漫主义的创作方法。代表诗人有雷列耶夫、别斯士舍夫、丘赫尔伯凯等。

自然派 19世纪40年代俄罗斯文学中的一个流派。该流派在文学上追随果戈理，在政治上反对农奴制，力求真实地反映社会现实生活。反动文人布尔加林攻击该派"毫无掩饰地描写自然"，斥责为"自然文学派"。代表作家有屠格涅夫、赫尔岑、冈察洛夫、陀思妥耶夫斯基等。该派的组织者和领导者是别林斯基，他逝世后，自然派随之终止活动，许多作家加入了现实主义流派。

魔幻现实主义 20世纪50年代前后兴起于拉丁美洲的一种文学流派。其作品通过对拉丁美洲各国的现实生活的描绘，揭露了大庄园主、大资本家的残酷剥削，鞭挞了外国资本的掠夺与国内的独裁统治，具有反帝、反霸权、反封建的进步性。但由于找不到解决问题的出路，所以不可避免地带有消极、悲观、绝望的情绪，流露出虚无主义的思想。创作方法上运用了欧美现代派手法，真假虚实，难以分辨，常出现死人复活、鬼魂与世人对话等一些荒诞怪异的情节。代表作家有危地马拉的米格尔·安赫尔·阿斯图里、墨西哥的胡安·鲁尔福、哥伦比亚的加西亚·马尔克斯、秘鲁的马利奥·略萨等。

巴黎公社文学 从19世纪70年代开始到80年代末反映欧洲无产阶级第一次夺取政权的巴黎公社革命运动的文学。其内容多为强烈控诉资产阶级国家的暴行，热情讴歌无产阶级革命和巴黎公社的伟大创举及其公社战士大无畏的斗争精神。第一次在作品中塑造了无产阶级的英雄形象。成就最大的是诗歌，代表作家是欧仁·鲍狄埃，他创作的《国际歌》传遍了整个世界。

唯美主义 19世纪末流行于欧洲的一种资产阶级文艺思潮。法国作家兼批评家戈蒂埃是该思潮的首创者。他早在19世纪50年代就打出了"为艺术而艺术"的口号，创作了一批充满悲观情调、追求纯粹形式的诗歌，成为颓废文学的先声。该派认为不是艺术反映生活，而是生活模仿艺术，艺术的目的就在于美和艺术形式，反对文艺的教育作用，片面追求艺术技巧。其典型作品是英国作家王尔德的小说《道林·格雷的画像》和悲剧《沙乐美》。英国作家兼批评家佩特则在理论上把唯美主义加以系统化。

印象主义 19世纪末20世纪初流行于法国、欧美乃至世界的一种艺术流派和文艺思潮。最初出现于19世纪70年代的法国美术界。法国批评家路易·列洛在1874年针对巴黎画展中莫奈的油画《日出·印象》，写了一篇题为"印象主义画家展览会"的评论，确立了"印象派"（印象主义）的名称。此后印象主义逐步扩展到文学、音乐、戏剧等方面。作为文学上的印象主义，其主要特点是无思想性，不关心主题，只表现来自生活中的瞬时感觉和印象，追求描写细小琐碎的事物，注重对场景自然主义的描绘，作品中常流露出悲观、绝望的情绪。

新感觉派 20世纪20年代初出现于日本的一个文学流派。1924年，横光利一、川端康成等14名青年作家创办了《文艺时代》杂志，开始了新感觉文学活动。文艺评论家千叶龟雄在评论《文艺时代》时曾用了"新感觉派的诞生"这一提法，该派即由此得名。他们主张追求新的生活方式、新的感觉以及对事物的新的感受方法，主张在写作方法上打破旧的传统，进行文学技巧的更新，放弃对人物形象的刻画，把人同社会意识分开，突出地对感觉进行表述。代表作家及其作品有：横光利一的《太阳》《绳》、川端康成的《浅草的少男少女》《梅花的雄蕊》、今东光的《瘦削的新娘子》。

新思潮派 19世纪末20世纪初于日本兴起的一个文学流派。由以东京帝国大学《新思

潮》杂志为中心的一批作家组成，所以得名。该派在创作上反对自然主义的纯客观描写，主张文学作品可以虚构，强调题材多样化，讲究写作技巧及艺术形式的完美。在写作手法上，主张进行理智的、心理的描绘，所以也被称为新技巧派、新理智派。代表作家有芥川龙之介、菊池宽、山本有三等。

新倾向文学 20世纪20年代初兴起于朝鲜的一个革命文学流派。该派反对资产阶级文艺思想，主张"表现破坏私有财产制度而革命的意识，反映我们民族的呼声"。作品的内容多反映下层社会人民的生活，以揭露现实社会的罪恶，表现出人民对旧制度的不满及反抗精神。代表作家有赵明熙、崔曙海、李相和等。

迷惘的一代 第一次世界大战后出现于美国的一个文学流派。1926年，美国著名作家海明威发表了第一部长篇小说《太阳照样升起》，他把美国女作家格特鲁德·斯坦因曾对自己说过的"你们全是迷惘的一代"作为小说的题词。该派即由此得名，意指因为迷失了方向而不知道该怎么办的一代。该派作品在内容上多为描写战争中饱经沧桑的人们的不幸，企图用爱情、友谊、追求生活享乐去摆脱人物内心的苦闷，消除残酷的战争烙在人物心灵上的印迹，表现出该派作家对帝国主义战争的厌恶。由于找不到永恒的精神支柱，爱情和友谊的毁灭却又使他们陷入更深的悲观失望之中。因此，迷惘、失望、怀疑，就成了该派作家共同的特点。代表作家除了海明威之外，还有帕索斯、福克纳等。后来，该派作家的思想倾向和艺术风格都有显著变化，他们各自变为其他文学流派的作家。

拉普 前苏联在20世纪20～30年代初期最大的文学团体，即"俄罗斯无产阶级作家联合会"的简称。早期的拉普在反对资产阶级思想倾向的斗争中，曾发挥过一定的积极作用。到30年代初期，拉普的一些领导人曲解联共(布)的文艺政策，大搞宗派主义和关门主义，排斥和否定非党作家，甚至对高尔基和马雅可夫斯基也进行攻击。在理论上则提出否定文艺特点的"辩证唯物主义的创作方法"。1932年4月，联共(布)中央作出解散拉普的决定。

垮掉的一代 20世纪50～60年代风行于美国的一个文学流派，也称作"疲塌派""敲打诗派"。该派对战后美国现实不满，却又无可奈何，于是采用否定一切的无政府主义态度，要求摆脱一切传统的束缚，拒绝承担任何社会和家庭的义务。他们厌弃学业与工作，流浪在底层社会，冲击保守文化的统治，在艺术上以"全盘否定高雅文化"为特点。诗作具有大众化和反象征主义倾向，小说则继承了马克·吐温所开创的美国文学中写流浪生活的传统。其作品内容癫狂，消极颓废，形式杂乱无章，支离破碎，成为他们追求绝对自由的颓废思想的反映。

白桦派 日本大正时期的一个文学流派。该派都是一些青年作家，因团结在杂志《白桦》周围故名。他们崇尚理想主义，反对自然主义，肯定积极的人生，看重伦理，尊重个人，最先在日本提倡人道主义精神，起到了"打开文坛的天窗，让清新的空气流进来"的作用。代表作家有武者小路实笃、志贺直哉等。

战后派 第二次世界大战后在日本出现的一个文学流派。该派作家都接触过马列主义，都在战争的重压下度过了黑暗的青春时代，身心都受过挫折和磨难，所有这些成了他们文学创作的共同点。其作品在把握和表现人的问题上，超越了历来的狭小框框，具有更广阔的社会视野。不少作品揭露了日本军队中的黑暗腐败与不人道，揭示侵略战争在人的心理和生理方面所造成的扭曲和恶劣影响，反映出日本军国主义的衰败和普通士兵厌战、绝望的心理。他们努力地去发现隐蔽在各种现象深处的事物本质和普遍的社会规律，在道德观念中探讨世界和人存在的意义，探讨宇宙、人生的意义。代表作家和作品有：野间宏的《阴暗的画面》、中村真一郎的《在死亡的阴影下》等。

社会派 20世纪50年代在日本兴起的写推理小说的流派。推理小说即侦探小说，由于一些作家建议加强侦探小说的逻辑推理，从而改称推理小说，又兼日本文字改革后取消了"侦"字，所以便正式启用"推理小说"一词。该派作家大都把探索的情节放到广阔的社会背景中展开，表现出鲜明的政治倾向，或揭露美帝国主义占领下日本的黑暗，或反映日本资本主义社会的罪恶，反映了当时日本人民的心理，受到了广大日本人民的喜爱。代表作家和作品有：松本清张的《日本的黑雾》、水上勉的《花的坟墓》等。

第二部分 文学体裁

一、散文

文学体裁之一。其概念古今有所不同。

1. 古代散文

在我国古代，为区别于韵文、骈文，凡不押韵、不重排偶的散体文章，包括经、传、史书在内，一律称为散文。

2. 我国古代散文的发展历程

先秦散文　包括诸子散文和历史散文。诸子散文以论说为主，如《论语》《孟子》《庄子》等；历史散文是以历史题材为主的散文，凡记述历史事件、历史人物的文章和书籍都属历史散文范畴，如《左传》等。

两汉散文　西汉司马迁的《史记》把传记散文发展到前所未有的高峰。东汉以后，除子、史专著外，出现了书、记、碑、铭、论、序等个体单篇散文。

魏晋南北朝散文　向更加文学化、个性化的方向发展。建安散文重抒情、文采和个性。两晋散文以陶渊明《桃花源记》《五柳先生传》为代表。北朝的《水经注》不仅是地理著作，也是描绘山水风光的散文著作，为散文开拓了新的领域。

唐宋散文　在"古文运动"的推动下，散文构造形象的方式日益繁复，出现了文学散文，产生了不少优秀的山水游记、寓言、传记、杂文等作品。唐宋八大家在此时涌现。

明代散文　先有前、后七子以拟古为主，后有唐宋派主张作品"皆自胸中流出"，较为有名的是归有光。

清代散文　以桐城派为代表的清代散文，更注重"义理"的表现。桐城派的代表作家姚鼐对我国古代散文文体加以总结，分为13类，包括论辩、序跋、奏议、书说、赠序、诏令、传状、碑志、杂记、箴铭、颂赞、辞赋、哀祭。

3. 现代散文

指与诗歌、小说、戏剧并称的文学样式。特点是通过对现实生活中某些片段或生活事件的描述，表达作者的观点、感情，并揭示其社会意义，它要求写真人真事，允许在此基础上进行适当的艺术加工，加工的程度也不像报告文学那样严格；不一定具有完整的故事情节和人物形象，而是着重于表现作者的生活感受，具有选材、构思的灵活性和较强的抒情性，散文中的"我"通常就是作者自己；语言不受韵律的约束，表达方式多种多样，能将叙事、抒情、议论熔于一炉，也可以有所侧重；根据内容和主题的需要，它可以像小说那样，通过对典型性的细节与生活片段作形象描写、心理刻画、环境渲染、气氛烘托，也可以像诗歌那样运用象征等艺术手法，创造一定的艺术意境。散文的表现形式多种多样，杂感、短评、小品、随笔、速写、特写、游记、通讯、书信、日记、回忆录等，均可纳入散文之列。

4. 现代散文的分类

叙事散文　指以写人记事为主的散文。这类散文以对人和事物的具体叙述和描绘为突出特色，同时表现作者的认识和感受，也带有浓厚的抒情成分。这是因为，叙事散文所写的人和事，大都与作者有密切的关系。所写的人，或是亲人，或是师长，或是战友，或是所敬仰爱戴的人；所写的事，或是亲身经历，或是意义大、影响深的事。因此，作者写这些人和事，必然带有饱满的感情。叙事散文侧重于从叙述人物和事件的发展变化过程中反映事物的本质，具有时间、地点、人物、事件等因素，从一个角度选取题材，表现作者的思想感情。鲁迅的《藤野先生》和吴伯箫的《记一辆纺车》，就是优秀的以写人记事为主的叙事散文。

抒情散文　指注重表现作者的思想感受，抒发作者的思想感情的散文。这类散文有对具体事物的记叙和描绘，但通常没有贯穿全篇的情节，强烈的抒情性为其突出特点。它或者直抒胸臆，或者触景生情，一般都洋溢着浓郁的诗情画意，即使描写的是自然景物，作者也赋予它深刻的社会内容和思想感情。优秀的抒情散文感情真挚、语言生动，同时作者还常常运用象征和比拟的手法，把思想寓于形象之中，因而具有强烈的艺术感染力。茅盾的《白杨礼赞》、郁达夫的《故都的秋》是抒情散文中的优秀作品。

写景散文 是以描绘景物为主的散文。这类文章多在描写景物的同时抒发感情，采用的方式，或是借景抒情，或是寓情于景。写景散文一般都能抓住景物的特征，以空间的转换为顺序，运用移步换景的方法，把观察点的变化交代得清清楚楚。对景物加以生动的描绘，可以起到交代背景、渲染气氛、烘托人物思想感情、更好地表现主题的作用。例如刘白羽的《长江三峡》，作者描写了轮船穿过三峡时所见到的瑰丽奇特的景象，又融进了热爱祖国、热爱生活的激情，产生了一股催人奋进的力量。

说理散文 指注重议论说理，或表达一个观点，或阐述一个道理，或议论某种现象的散文。这类散文同样打上了作者鲜明的主观烙印，表现作者一定的感情倾向。这里的表达、阐述或议论是作者使用一定的文学技巧，通过文学形象和文学语言而呈现出来的，字里行间始终渗透着作者的情感。好的说理散文，理中含情，情中有理，意蕴深广，给人以哲理的启示和情感的熏陶。鲁迅的《灯下漫笔》、金开诚的《漫话清高》，就是说理散文中的优秀作品。

5. 散文中的特殊样式

报告文学 散文的一种。是文艺性的通讯、速写、特写的总称，是一种既具有新闻性，又具有文学性，介于通讯和小说之间的文学体裁。它是"报告"，也是"文学"。说它是报告，因为就题材而言，它必须选择真人真事作为材料，迅速及时地反映生活；说它是文学，因为就表达而言，它必须用文学的表现方法，形象生动地再现生活。它是第一次世界大战后发展起来的一种文学样式。在我国，从抗日战争时期到现在都有很大的发展。由于它能够迅速地反映生活，突出地描写具有典型意义的真实人物和事件，及时地为当前现实斗争服务，所以被称为文学创作中的"轻骑兵"。报告文学是新闻与文学的结合，直接描绘现实生活中的各种典型人物和事件，敏锐地提出和回答社会生活中迫切需要解答的问题，从而引起人们的普遍关注，并启示、教育、激励和鼓舞人们更好地投入当前的生活和斗争。夏衍的《包身工》和斯诺的《西行漫记》都是著名的报告文学。

特写 报告文学的一种。由于在突出真人真事方面，具有近似电影"特写镜头"的特点，因而被称为特写。常以文学手法描写富有特征的生活片段，突出人物的活动，再现人物活动的场景和气氛。其主要特点在于新闻性和文学性的有机统一，要求所写人物和事件完全真实，不容许虚构，具有高度的真实性。因适于迅速及时地反映现实，便于发挥战斗作用，因此属于报告文学。特写题材广泛，有各种不同的样式，主要有两类：一是事件特写，以描写真实事件为主；一是人物特写，以描写真实人物为主。

速写 原为绘画术语。指用简练的线条，在极短的时间内扼要地勾画出对象的形体、动作和神态特征的简笔画。文学作品中的"速写"是属于报告文学的一种散文。所记叙的往往是一个生活片段、一个场面或一个人物，能够迅速地抓住描写对象最突出的特征，用简洁有力的笔墨作轮廓式的、粗线条的、鲜明而又概括的描写，给人以简明深刻的印象。例如孙犁的《农村速写》、李季的《玉门速写》等。速写也是文学的一种表现手法，指以简洁有力的笔墨描写人物的面貌和生活场景。

游记 散文的一种。指以轻快的笔调和生动的描写真实地叙述旅途中的见闻和感受的一种文体。游记内容广泛，或记某地的政治生活、社会状况、风土人情，或记某处的山川景物、名胜古迹、趣闻轶事，以细致的记叙和具体的描写为特征，同时还表达作者的思想感情。中国文学中游记作品甚多，形式灵活多样，可以是优美的抒情文章，夹叙夹议；也可以是有人物、情节以及传奇性的民间故事。范仲淹的《岳阳楼记》、徐弘祖的《徐霞客游记》等，就是这方面的著名作品。

小品文 散文的一种。特点是篇幅短小，内容集中，往往深入浅出、夹叙夹议地讲一些道理，或是简明生动地叙述一个事件。中国古代即有这种体裁，明清时期更为盛行。鲁迅指出："生存的小品文，必须是匕首，是投枪，能和读者一同杀出一条生存的血路的东西；但自然，它也能给人愉快和休息，然而这并不是'小摆设'，更不是抚慰和麻痹，它给人的愉快和休息是休养，是劳作和战斗之前的准备。"（《小品文的危机》）过去把杂记见闻也称小品文。现今的小品文因内容不同，一般分为讽刺小品、时事小品、历史小品和科学小品等。

随笔 散文的一种。随手笔录，不拘一格，内容广泛，形式多样。自宋代以来，凡杂记见闻，也用此名。五四以来，随笔十分流行，一般以借景抒情、夹叙夹议、意味隽永、短小活泼为特色。新中国成立后，随笔是我国报刊常用的一种文学体裁。它和杂文近似，常常把文学表现手法和政论结合起来，有很强的战斗性和感染力，是一种文艺性的短篇政论文。

二、传记

传记是用以记载人物生平事迹的文体。

(1)按表达形式分

史学传记 以记述翔实的人物史实为主。一般是由旁人记述，如记述帝王生平的"本纪"，记述王公贵族或民族、国家历史的"列传"、按年月时序记载人物事迹的"年谱"，略记人物简历的"小传"，对本传传主的主要生平作补充说明的"别传"，记述已故亲友事迹大略的"事略"等，也有自述生平的"自传"。

文学传记 以史实为根据，采用形象化的方法，对人物的生活经历、精神面貌及其历史背景加以刻画描绘，并组成情节和给予某些联想和想象。

(2)按内容分

自传体传记，即自传 这是某一个人物自己写的记载自己人生经历的文章。记载自己前半生或大半生的生活经历的一般称为自传，如《马克·吐温自传》，爱新觉罗·溥仪的《我的前半生》等。有些是以记载自己生活中的某些片段或某一方面的经历为主，这一般称为自述，如《彭德怀自述》。

回忆体传记 这类传记的作者往往是被立传者的亲属、朋友、同事或部属，他们主要是通过自己的回忆记载被立传者的生平与事迹。

评传 是全面介绍和评论人物思想、生活和贡献的文章。所写的对象大多是在历史上有重大影响的哲学家、政治家、军事家、科学家、文学家、艺术家和其他著名人物。评传一般写得比较详细，既记述人物的事迹，又评价与探讨人物的思想状况、人物所处的时代背景、思想发展过程和他对人类所作的贡献。作者对自己笔下人物的功过得失，往往都要进行比较全面的分析。只记述人物生平事迹的不能算"评传"，只评价、分析人物思想脉络与贡献却不介绍人物生平的，也不能算"评传"。

采访体传记 这类传记的撰写人，一般与被立传者并无交往，或者是与被立传者相隔几代的后人，他们主要靠采访被立传者的亲友，搜集被立传者的各类资料，然后经过取舍、创造，形成传记。如罗曼·罗兰的《贝多芬传》。

自传体传记和采访体传记融会的传记 如闻名于世的瑞典电影明星英格丽·褒曼和美国作家阿伦·吉伯斯合作写成的《英格丽·褒曼传》。

回忆录 追记本人或他人过去生活经历和社会活动的一种文体，它具有文献的价值。如《峥嵘岁月——吴烈回忆录》。

三、小说

1. 小说的概念

文学体裁的一种，它以刻画人物形象为中心，通过完整的故事情节和环境描写来反映社会生活。人物、情节、环境是小说的三要素。

塑造人物形象是小说反映社会生活的主要手段。常见的塑造人物形象的方法有肖像描写、心理描写、行动描写、语言描写、环境描写及正面描写、侧面描写等。

小说情节起着展示人物性格、表现作品主题的作用。它一般包括开端、发展、高潮、结局四部分，有的还包括序幕、尾声。

环境包括社会环境和自然环境。社会环境主要交代作品的时代背景；自然环境主要包括人物活动的时间、地点、景物，用以烘托气氛、表现人物感情等。

小说的命题方式多种多样：①以主人公命题，如《孔乙己》；②以故事发生的地点命题，如《荷花淀》；③以主要事件命题，如《变形记》；④以贯穿全文构成情节的细节命题，如《药》；⑤以故事发生的时间或背景命题，如《夜》。

小说的叙述方式有两种：一种是第一人称叙述方式，叙述人出现在作品中，叙述自己的所见所闻，并对人物和事件表明自己的态度和评价；另一种是第三人称叙述方式，叙述人不在作品中出现，而是用第三者的口吻叙述作品中的一切。小说中用第三人称叙述方式的较多。

2. 我国古代小说的发展历程

上古到先秦两汉 这是我国古代小说的酝酿和萌生时期。主要是先秦的"神话"。如《精卫填海》《夸父逐日》《鲧禹治水》《黄帝擒蚩尤》《后羿射日》《女娲补天》等。

魏晋南北朝时期 出现了"志怪""志人"小说，合称为笔记小说。这一时期，我国的小说初具规模。主要作品有张华的《博物志》、干宝的《搜神记》等。

唐代 出现了传奇。唐传奇的出现，标志着我国古典小说的成熟。著名传奇有蒋防的《霍小玉传》、元稹的《莺莺传》、李朝威的《柳毅传》、白行简的《李娃传》等。

宋代 出现了白话小说"话本"。至此，才以"小说"作为故事性文体的专称。话本的出现是"小说史上一大变迁"，它对中国古代小说的发展产生了极为深远的影响。代表作有《三国志平话》。

明代 出现了"拟话本"，即明代文人模仿话本的体制、形式进行创作的小说。如《玉堂春落难逢夫》《杜十娘怒沉百宝箱》《沈小霞相会出师表》等。

明、清 出现了章回体小说。这一时期，我国的古代小说发展到顶峰，产生了一批不朽的名著。如《三国演义》《水浒传》《西游记》《聊斋志异》《儒林外史》《红楼梦》等。

我国古代小说的特点：①注意人物行动、语言和细节的描写，在矛盾冲突中展示人物形象；②情节曲折，故事完整；③语言准确简练、生动流畅、富有个性化；④叙述方式明显带有说书人的印记。

3. 小说的分类

(1)按反映生活的规模、容量大小和篇幅长短分

长篇小说 小说的一种。篇幅较长，内容丰富，情节复杂，人物众多，能够在比较广阔的范围内多方面地反映一定历史时期的社会生活面貌，因此，优秀的长篇小说常常被誉为"时代的百科全书"。长篇小说的特点是：①广泛地反映社会生活。可以容纳丰富复杂的生活内容，描绘各种各样的人物和人物性格的变化；②多方面地描写人物性格。可以把人物放在复杂的矛盾斗争中去表现他们的性格变化和成长；③有复杂的情节和结构。由于长篇小说描绘的是广阔复杂的社会生活、各种各样的人物，因而有众多的生活场面的变换和发展，故事线索也不仅是一条，往往是几条线索交织在一起，而众多的人物之间又有复杂的关系。这一切形成长篇小说情节和结构的复杂情况。由于内容的丰富复杂，一部长篇小说一般又分为若干章、回和部。《红楼梦》《子夜》《堂吉诃德》《复活》《李自成》等都是著名的长篇小说。

中篇小说 小说的一种。其容量大小，篇幅长短，人物多寡，情节繁简介于长篇小说和短篇小说之间。故事情节不像长篇小说那样围绕着好几组人物展开，而大多是描写一两个人物较长时期的遭遇或一生的命运。虽没有长篇小说那样宏伟的规模，但却比短篇小说规模要大一些。鲁迅的《阿Q正传》、赵树理的《李有才板话》、从维熙的《大墙下的红玉兰》、谌容的《人到中年》等都是优秀的中篇小说。

短篇小说 小说的一种。其特点是篇幅短小，情节简洁，人物集中。它往往选取和描绘富有典型意义的生活片段，着力刻画主要人物的性格特征，反映生活的某一侧面，使读者"借一斑略知全豹"。正如茅盾所说："短篇小说主要是抓住一个富有典型意义的生活片段，来说明一个问题或表现比它本身广阔得多、也复杂得多的社会现象的。"这"也就决定了它的篇幅不可能长，它的故事不可能发生于长年累月(有些短篇小说的故事只发生在几天或几小时之内)，它的人物不可能太多，而人物也不可能一定要有性格的发展"(《试谈短篇小说》)。在中国文学中，自唐宋以来，短篇小说即日趋发展、丰富。如清代蒲松龄的《聊斋志异》就是一部文言短篇小说集。鲁迅的《狂人日记》《药》《祝福》等就是著名的短篇小说。

小小说 小说的一种，也称微型小说。它比短篇小说篇幅更短，写的生活容量更小，情节更单纯，因此更易于及时反映现实。它以描写新人新事为主，只截取生活激流中的一两个片段，描写一两个人物，若干个场景，或几支插曲，从而及时反映社会生活。在艺术处理上，对情节、环境不作精雕细刻，只集中精力描绘人物、深化主题，常常能收到"小中见大"的艺术效果。小小说过去就有，人们把它归入短篇小说一类。小小说大量出现后，有人认为它是一种"自有个性的新品种"，才把它另外分为一类。

(2)按小说描写的特定内容分

言情小说 小说的一种，以男女爱情为基本题材。此类小说文笔优美，情意缠绵，故事复杂曲折。或历尽磨难，终成眷属；或坎坷多变，遗恨绵绵。以情为主，以情动人，以情展示社会图景。中国的言情作品，可以上溯到唐代的爱情传奇，至明、清之际，"人情小说""市井言情小说"也一度兴盛。五四前后，"鸳鸯蝴蝶派"的言情小说迎合小市民的趣味，在普通读者中影响较大。代表作家为张恨水。近年来，新形式的言情小说重又出现，影响最大的是台湾女作家琼瑶的作品，艺术表现手法上也有了一定创新。

武侠小说 小说的一种。盛行于清代后期。一般为章回体长篇小说。内容主要写行侠仗义，因而又称侠义小说。主人公行侠仗义往往又和清官断案结合在一起，让主人公协助清官破案，因此又称为"侠义公案小说"或"公案小说"。如《三侠五义》《施公案》《彭公案》等就是。这类作品多以情节取胜，思想内容较差。20世纪50年代以后，香港、台湾出现了一批新的武侠小说。这类作品融进了现代意识，想象丰富，情节离奇，如金庸的《射雕英雄传》等，较有吸引力，引起理论界的重视。

谴责小说 中国旧小说的一种。清末社会黑暗，政治腐败，官吏贪污媚外，人民不觉悟，有些作家用小说口诛笔伐，进行揭发和指摘。鲁迅在《中国小说史略》里对这种小说曾加以评论，并称之为"谴责小说"。这种小说广泛揭露和批判现实，大力宣传资产阶级改良主义，但批判不彻底，并寄幻想于最高封建统治者。艺术上多用讽刺手法，笔无藏锋，极度夸张，但概括和典型化不够。李宝嘉的《官场现形记》、刘鹗的《老残游记》、曾朴的《孽海花》等，就是谴责小说的代表作。

历史小说 小说的一种。它以历史人物和事件为题材，反映一定历史时期的生活面貌；长篇作品则可以展示某一时期的生活面貌和历史发展的趋势。这类作品所描写的主要人物和事件都有历史根据，但容许适当的虚构。因此，它虽然可以给读者提供一些历史知识，但它的主要目的在于给读者以启示和教育。《三国演义》《李自成》等就是历史小说。

侦探小说 19世纪末产生和盛行于欧美资本主义社会的一种通俗小说。主要描写刑事案件的发生和侦破经过，常以专门协助司法机关从事侦查活动的侦探作为中心人物，描写他们的勇敢机智和冒险行为，表现他们高超的侦探才能，故事情节曲折离奇、引人入胜。但这类作品大多肆意描写凶杀、偷盗、抢劫和奸淫等情节，散布神秘主义和唯心主义，宣扬资产阶级人生哲学和道德观，带有消极成分。著名的侦探小说有英国柯南道尔的《福尔摩斯探案集》。中国在20世纪初即有模仿之作，如程小青的《霍桑探案》。

科学幻想小说 现代小说的一种。以表现现代人的科学幻想为基本特征，是19世纪资本主义社会工业革命的产物。法国作家儒勒·凡尔纳以一生的创作，把科幻小说推向成熟，被称为"科幻小说之父"。科幻小说大多以充沛的感情、神奇的科学幻想，表现一定的社会价值观念和对人类未来的理性思考。有些还以科学幻想同政治讽刺相结合，拓展这类作品的题材。优秀的科学幻想小说，把科学和艺术很好地结合起来，用丰富的科学知识武装人们的头脑，鼓舞人们展望科学的美好前景，激发人们求知与探索的热情，对青少年读者智力的开发能起积极的作用。它的特点是：科学性，即所描写的故事尽管不是事实，属于尚未实现的人类未来的生活，充满着奇特的幻想，但必须有科学理论上的依据；预见性，即所描述的内容，应当是人类科学实践所未曾达到的领域；文艺性，即要求具有小说的一般特征，有典型环境的描绘，有栩栩如生的人物形象，有曲折生动的故事情节。深受青少年欢迎的童恩正的《古峡迷雾》、叶永烈的《世界最高峰的奇迹》就是科学幻想小说。

推理小说 侦探小说的一种。是以逻辑推理方法侦破案件的小说。20世纪二三十年代在欧美得到发展。六七十年代以来在日本风行，"推理小说"这个名称，也是日本首先使用的。它的内容大体与侦探小说一致，主要区别在于它注意科学的逻辑推理，运用推理手段拨开疑云迷雾、揭示案情和破案过程。优秀的推理小说，不仅情节曲折离奇，引人入胜，而且通过深入细致的分析和精到准确的判断使人佩服；不仅使人获得艺术上的享受，而且得到思想方法上的启发。有些对资本主义的黑暗也有所揭露。但推理小说往往宣传英雄史观、神秘主义，描写色情、渲染恐怖场面，对读者也有害处。美国弗德累·达奈、曼弗里德·李合著的《希腊棺材之谜》、日本松本清张的《奇怪的被告》等，就是推理小说。

惊险小说 现代小说的重要种类。即对内容惊险的各种小说的统称。惊险小说的源头是各民族古代的惊险故事传说，往往带有神话或迷信色彩。18、19世纪以来，惊险小说的题材逐渐增多，成为相对独立的现代小说样式，一般可分为侦探小说、间谍小说、探险小说、犯罪小说、神秘小说和部分科幻小说。法国大仲马的《基督山伯爵》、英国柯南道尔的《福尔摩斯探案集》都是拥有广泛读者的惊险小说。伴随着商业性的冲击，西方惊险小说出现了粗制滥造的现象。另外，有人将中国清代以来由公案小说演变而来的武侠小说、剑侠小说也归入惊险小说的范畴。这类作品多以惊险奇巧的情节取胜，缺乏人物性格的塑造，格调通常也不高。

纪实小说 现代小说的一种。指在搜集事实材料基础上加以概括、提炼、艺术虚构而写成的小说。这种小说是现实主义小说发展的一个分支，同时也受到新闻、报告文学发展的影响。纪实小说往往根据报刊文章、法庭记录、档案文献等写成，也可通过调查、访问等搜集第一手材料写成。作品

多具有较强的政治倾向和道德意识。当代中国文坛，纪实小说在报告文学的基础上发展起来。

(3)按表现形式或手法分

诗体小说 具有叙事诗特点的一种小说。与一般叙事诗比较，它不仅篇幅长，更主要的是它作为小说，要求比较细致地描绘人物性格，有完整的情节结构。但它是用诗化的语言描写的，能抒发更强烈的感情，而描写又往往不如普通小说细致、具体。拜伦的《唐璜》、普希金的《叶甫盖尼·奥涅金》就是著名的诗体小说。

章回小说 长篇小说的一种。我国古典小说的主要形式，由宋元讲史话本发展而来。讲史说的是历史兴亡和战争故事，如《金相平话五种》《五代史平话》《大宋宣和遗事》等。说话人不能把每段故事有头有尾地在一两次说完，必须连续讲若干次，每讲一次就等于后来的一回。在每次说话以前，要用题目向听众揭示主要内容，这就是章回小说回目的起源。从章回小说中经常出现的"话说"和"看官"字样，可以看出它和话本之间的继承关系。经过宋元两代的长期孕育，元末明初出现了一批章回小说，如《三国志通俗演义》《残唐五代史演义》《水浒传》等。这些小说都在民间长期流传，经说话和讲史艺人补充内容，最后由作家加工改写而成。它们比起讲史有很大发展，其中人物和故事的核心虽然是历史的，但更多的内容是后人所创造，篇幅比讲史更长了，主要是供读者阅读的，而且明确分为若干卷，每卷又分为若干节，每节前面有一单句目录，如"刘玄德斩寇立功"。到了明中叶，章回小说的发展更加成熟，出现了《西游记》《金瓶梅》等。这些章回小说故事情节更趋复杂，描写更为细腻，内容和"讲史"已没有联系，只是体裁上保持着"讲史"的痕迹。这时章回小说已不分节，而明确地分成多少回，回目也由单句发展成为参差不齐的双句，最后成为工整的对句。如明嘉靖后出现的各种版本的《三国演义》，它们把嘉靖本《三国演义》的两节合并成一回，两节的题目作为回目的两句。起初两句不是对偶的，到了毛宗岗修改《三国志演义》时，为了"务取精工，以快阅者之目"，就把"以参差不对，错乱无章"的回目改为对偶整齐的双句。

书信体小说 用书信的形式写成的小说。以第一人称"我"为主人公，讲解故事，塑造形象，写人叙事都以"我"的亲身经历、亲眼见闻展开，使人感到亲切，增加真实感。著名的书信体小说有德国歌德的《少年维特之烦恼》。

意识流小说 "意识流"是现代西方的一种写作技巧，广泛地应用于小说和电影脚本的创作中，应用这种技巧写作的小说称为"意识流小说"。20世纪20年代意识流创作理论得到很大发展，在小说方面形成独立派别。19世纪末美国心理学家威廉·詹姆士提出人的意识像流水一样斩不断，形成"流"，称为"意识流"的理论。其后法国小说家艾杜阿·杜夏丹率先在他的作品中运用了"内心独白"的写法。以后发展很快，在英国、美国都出现了代表作家和作品，逐渐形成了小说创作的独立流派。这种小说基本做法是强调自由联想、内心独白和旁白。由于联想和内心独白带有很大的跳跃性和随意性，不讲求情节的连贯性和完整性，章法突然多变，读起来扑朔迷离。多半以西方现代人(多半是艺术家或知识分子)为主要对象。意识流作为写作技巧，强调人物内心独白，运用恰当可以丰富艺术手法，一味滥用也可成为灾害。当前，很多作家采用这种写作技巧，纯粹独立的"意识流小说"已不多见。

4. 古典小说的几种形式

志怪小说 记述神鬼等各种奇异故事的小说。魏晋南北朝时期，封建迷信思想盛行，形成了侈谈鬼神、称道灵异的社会风气，于是志怪小说大量出现。现在保存下来的完整的和不完整的，就有三十多种。如托名汉东方朔的《神异经》《十洲记》，托名郭宪的《汉武洞冥记》，托名班固的《汉武帝故事》《汉武帝内传》，托名曹丕的《列异传》，晋张华的《博物志》，王嘉的《拾遗记》，干宝的《搜神记》，托名陶潜的《搜神后记》，南朝宋王琰的《冥祥记》，刘义庆的《幽明录》，南朝梁吴均的《续齐谐记》，北齐颜之推的《冤魂志》等。这些作品内容很庞杂，精华糟粕相混。其中的优秀篇章，或暴露封建统治者的凶残，歌颂被压迫者的反抗和斗争，或反映人民争取美好生活的愿望，有积极意义。而那些宣扬神仙道术、妖怪迷信的作品，则是不足取的。志怪小说对后世文学有很大影响。

笔记小说 指我国古代以人物为中心而铺写故事的较有结构的作品。最早出现于两晋南北朝时期，是我国小说发展初期的一种形式，内容主要是谈神鬼、志怪异，或记载贵族名人的逸闻轶事。有的宣扬封建迷信、因果报应、宿命论等；有的构思巧妙，想象丰富，通过谈狐说鬼，对当时社会现实的黑暗和官吏的罪恶有所揭露，对青年男女真诚爱情表示同情，在思想性和艺术性方面比较好。代表作品有刘义庆的《世说新语》等。唐代也有一些笔记小说，如段成式的《酉阳杂俎》、范摅的《云溪友议》等。

传奇小说 唐、宋人用文言写的短篇小说。唐人传奇是在六朝志怪基础上发展起来的，但多取材于现实生活，反映社会矛盾，篇幅较长，情节完整曲折甚至奇特，描写生动细致，注意刻画人物，有很强的虚构性，是有意识地创造出来的小说。它兴起、盛行于中晚唐，但直到晚唐裴铏把他的小说集取名《传奇》以后，才有人用"传奇"泛称这类小说。它奠定了小说发展的基础，为小说的发展开辟了广阔的前景。鲁迅辑录的《唐宋传奇集》是唐宋传奇的选本；汪辟疆编的《唐人小说》选的是唐代传奇；张友鹤的《唐宋传奇选》有详细注释。

四、戏剧

1. 戏剧的特点

(1)强烈的戏剧冲突。没有冲突就没有戏剧。戏剧冲突的发展构成了剧本的情节结构，推动了剧情的发展。剧本的情节结构一般可分为开端、发展、高潮、结局四部分，有时在第一幕之前还有序幕，在最后还有尾声。人物的性格在戏剧冲突中得到充分的揭示。

(2)集中性。由于舞台的空间和演出的时间限制，剧本的篇幅不能过长，人物不能过多，它必须突出主要的线索、主要的事件。剧作者常常把几个月甚至几十年间发生的事件浓缩于两三个小时的演出中，把千变万化的生活集中到一个或几个场景中，尽可能地在有限的空间和时间内展示出错综复杂的社会生活。

(3)语言精练和个性化。剧本是通过人物的语言来展开矛盾、发展剧情的，它要求人物的独白和人物间的对话，不仅能显示人物的年龄、性别、职业、地位，而且要准确、生动地表达人物的思想感情，揭示人物的内心世界。

2. 我国古典戏剧的发展历程

先秦时期 奴隶社会巫风盛行，有关祭祀的舞乐已包含萌芽状态的戏剧因素。春秋、战国之际，产生了专门供人娱乐的俳优，他们的出现对戏曲艺术中喜剧因素的积累十分有利。

汉魏时期 汉统一后，以竞技为主的角抵(百戏)开始盛行，它汇集了民间的表演艺术，接受西域文化的影响，演出了《东海黄公》一类的戏剧性故事。在民间亦有流行的平调、清调、杂舞、杂曲。

南北朝时期 出现了"拨头""代面""踏摇娘"等具有一定故事内容和战斗意义的表演艺术形式，为我国戏曲的形成准备了良好的条件。

唐、宋、金时期 我国戏曲的形成期。唐代，中国音乐声律完成了大转变，舞蹈艺术空前发展，产生了《樊哙排君难》一类故事性相当强的演出。北宋时期在唐参军戏的基础上发展起来的杂剧和后来的金院本都是戏剧的雏形。北宋时的影戏和傀儡戏不仅能够表演完整的故事，而且艺人以解说者的身份演唱，或间用代言体，以增强人物故事的生动性。

元朝 在金院本和诸宫调直接影响下吸收历代各种表演艺术的成果而形成的元杂剧，有其特定的体制，是我国戏曲史上完整而成熟的戏剧艺术。元杂剧在结构方面，基本形式是四折戏加一个楔子。每折戏相当于今天的一幕；楔子是一个短场戏，放在全剧的开头或加在四折戏之间，起序幕或过场的作用，但不能放在末尾。有时由于剧情的需要，可以使用两个楔子，也有的全本不用楔子。每本戏的最后都有题目正名，用两句或四句、八句的对句，简要概括全剧的故事情节，并用正名最后的一句诗作为全剧的题目。在乐曲的组合方面，都用北曲，每一折戏用一套曲，即同一宫调内的套曲，押同一个韵，联套次序有一定规律，伴奏以弦乐为主。在演员的表演方面，已具有唱、念、做、打的表演特点，角色也有了细密的分工，剧中男、女主角分别由正末和正旦扮演，男、女配角由冲末、贴旦扮演，此外，还有扮老人的孛老、扮老妇人的卜儿、扮小孩子的徕儿等各种角色，每一本戏由一个演员主唱到底，只有主角才能唱曲，配角只能说白。在舞台表演上，演员除了演唱以外，还有科白。科是表演动作和舞台效果；白是道白，有定场白、背白、旁白、带白等，而且必须先白后唱，这也是杂剧的定格。元杂剧在中国戏曲史和文学史上成就突出，对后世戏曲和文学有深远影响，著名的作家和作品有关汉卿的《窦娥冤》《救风尘》《望江亭》和王实甫的《西厢记》等。

元末、明清时期 元末出现了南戏，它是当时流行在浙东沿海一带的杂剧，它吸收了各种民间词调演唱故事及北方杂剧的长处发展而来。一般先由副末开场，报告演唱宗旨和全剧大意。从第二出起，生、旦等重要角色相继出场，逐步展开情节，并经过种种悲欢离合，以生、旦团圆终场。南戏称一场为一出，每出都有下场诗。重要人物上场时先唱引子，继以一段自我介绍的长白，叫做定场白。曲

词的组织，一般有引子、过曲和尾声。这是从元末明初到清中叶戏曲创作的主要形式，也就是后人用以区别于杂剧的传奇戏。

近代 地方戏曲日趋繁盛，唱腔更加丰富，剧目更加丰富，并且有一大批地方戏曲趋于定型和成熟。乾隆末年，四大徽班把二簧戏带到北京后，在原有的基础上，吸收其他剧种的优点，形成了京剧。到了近代，再经过无数艺人的不断努力，京剧得到更好的发展，并逐渐流行于全国各地，成为在全国影响最大的一个剧种。

3. 戏剧的分类

(1)按作品内容的性质分

悲剧 戏剧的一种类型。指描写主人公因和现实环境的冲突，或因本身的过错而失败、受难以至毁灭的一种戏剧。悲剧的主人公大多是正面人物或英雄人物。悲剧的戏剧冲突表现为：正面主人公所追求的进步理想或所从事的正义事业，在具体的历史条件下，为强大的现实势力阻挠而不能实现，最后以主人公的失败、受难或毁灭告终；或主人公虽不是英雄人物，甚至有严重缺点，但他要实现的某种希望还有合理因素，却因受到恶势力的打击而失败、受难或毁灭。因此，恩格斯深刻指出，“历史的必然要求和这个要求的实际上不可能实现”(《致斐·拉萨尔》)是悲剧的根源。由于悲剧的主人公大多具有某种优秀品质，他们的失败、受难或毁灭是悲剧性的，令人同情的，具有启人深思的教育意义，所以，鲁迅说：“悲剧将人生的有价值的东西毁灭给人看。”(《再论雷峰塔的倒掉》)

喜剧 戏剧的一种类型。一般以讽刺和嘲笑丑恶、落后现象，从而肯定美好、进步的现实和理想为其主要内容。喜剧的矛盾冲突包括先进、美好的事物同落后、丑恶的事物之间的对立和冲突，也包括丑恶与丑恶之间、先进与先进之间的某种冲突。喜剧的本质是对旧事物的讽刺和否定，对新事物的歌颂、赞美和肯定。车尔尼雪夫斯基认为，喜剧的本原和实质是丑陋，“丑恶的东西，只有在它力求自炫为美的时候，才是可笑的”。其特点是以夸张的手段、巧妙的结构、诙谐的台词，以及对喜剧性格的刻画，把丑恶、落后事物的本质揭露出来而引人发笑。但笑是喜剧的手段，而不是目的，目的是通过笑引起人们对生活中反面的、落后的现象的否定和批判。喜剧根据描写的对象和运用手法的不同，又可分为讽刺喜剧、幽默喜剧及闹剧。

讽刺喜剧，喜剧的一种。常以尖锐泼辣的讽刺和嘲笑，揭露和抨击现实生活中的反面人物和事物。这种喜剧的主人公大都是反面角色，往往品质恶劣，行为乖谬，当他们的面目随着戏剧冲突的展开而彻底暴露时，就会引起人们的含有讽刺意味的笑。鲁迅说的“将那无价值的撕破给人看”，主要指这种喜剧。莫里哀的《伪君子》、果戈理的《钦差大臣》等是讽刺喜剧中的著名作品。还有一种情况就是对人民内部的缺点以及人们的主观认识不符合客观实际而带来的某些错误判断等，进行善意的、有分寸的讽刺，其目的是引起人们警惕，从讽刺中受到教育。

幽默喜剧，喜剧的一种。它以幽默的笑为手段，讽刺生活中的落后现象，以达到教育人们的目的。这种喜剧的主人公在本质上并不是坏人，他们的错误往往是由思想认识上的片面或保守落后造成的。随着戏剧冲突的展开，往往是新思想、新作风取得胜利，旧思想、旧作风受到抨击，使主人公显出窘态而引人发笑。例如《李双双》就是幽默喜剧。

闹剧，也叫“笑剧”，喜剧的一种。是一种比一般喜剧更夸张的戏剧形式。源于古希腊的羊人剧(古希腊在演出悲剧后加演的一种轻松戏剧，因剧中歌队装扮成希腊神话的小神“山羊”而得名)。古罗马发展为五个截面具的定型人物的表演。15世纪开始流行于欧洲。笑剧以描写市民生活为主，其特点是运用滑稽和夸张的手法刻画人物。对后世喜剧创作有明显影响，代表作有法国的《巴特兰闹剧》等。

正剧 戏剧的一种类型。因为兼有悲剧和喜剧的因素，所以也叫悲喜剧。在西方古代戏剧中，只有悲剧和喜剧，它们之间的界限极为严格。到18世纪欧洲启蒙运动期间，进步作家为反对封建专制和教会的黑暗，宣传资产阶级的政治主张和生活愿望，提倡这种戏剧类型。其特点是不受古典主义创作原则的束缚，兼有悲、喜剧因素。正剧理论的首创者是法国启蒙思想家、文学家狄德罗，他称正剧为“严肃的喜剧”。继狄德罗之后，法国戏剧家博马舍对正剧的内容和形式作了进一步的阐明，并定名为“严肃戏剧”。正剧由于兼有悲剧和喜剧的特点，能够多方面地反映社会生活，扩大和增强了戏剧反映生活的广泛性和深刻性，所以，19世纪以后成为戏剧的主要类型之一。如易卜生的《娜拉》、契诃夫的《樱桃园》等，就是这方面的著名作品。中国传统戏曲中，有许多兼有悲剧和喜剧因素的正剧。在社会主义戏剧中，正剧占有重要地位，大量的戏剧都属于这一类，如《白毛女》《丹心谱》《西安事变》等。

(2)按表演形式分

话剧 以对话和动作为主要表现手段的戏剧。对话在话剧中具有特别重要的意义,人物性格的刻画、故事情节的发展,主要靠对话来表现。正因为这样,对话必须是规范化的文学语言,要通俗易懂,便于群众接受,适于反映现实生活。话剧在中国是一种年轻的戏剧样式,最早出现在辛亥革命前夕,当时称新剧或文明戏。新剧于辛亥革命后逐渐衰落。五四运动以后,欧洲戏剧传入中国,中国现代话剧兴起,当时称爱美剧或白话剧。1928年由洪深提议定名为话剧。曹禺的《雷雨》、郭沫若的《屈原》、老舍的《茶馆》都是我国著名的话剧。

歌剧 以歌唱和音乐为主要表现手段的戏剧。由于主要是通过演员的歌唱来表现戏剧内容,因此唱词具有十分重要的意义。歌词的语言应该是诗的语言,具有诗的感染力。在歌剧中,说白居于次要地位,起串联故事情节的作用,往往在演员歌唱之间、在音乐伴奏下以吟诵的调子进行。歌剧还重视舞蹈的表现力,并配以适当的音响效果。中国古典戏曲如京剧、蒲剧、秦腔等,由于把歌唱、说白和舞蹈三者有机地结合在一起,因此都可归入这一类。中国新歌剧是1942年以后发展起来的,在表演上继承了中国古典戏曲的传统,有歌,有舞,有说白;曲调是在民族音乐和地方戏的基础上创造的;剧本创作吸取了话剧的一些表现手法。《白毛女》《洪湖赤卫队》《江姐》《向阳川》都是比较优秀的新歌剧。

舞剧 以舞蹈为主要表现手段,又综合音乐、哑剧等艺术的一种戏剧形式。它的特点是:故事情节的发展,人物形象的塑造,主要靠演员的舞蹈动作(还有音乐语言)来表现。它虽然是音乐、舞蹈的综合,但又有戏剧的故事情节,所以又称为"剧"。舞剧中的舞蹈一般以古典舞或民间舞为基础,可分为情节舞和表演舞:情节舞用来表现戏剧情节,表演舞则描述剧情发生的时代和环境特征。音乐在舞剧中对展现戏剧内容、渲染气氛和塑造人物形象有重要作用;哑剧和舞蹈紧密结合,运用经过提炼和美化的生活动作、姿态和表情,也是舞剧表现剧情发展和刻画人物性格的重要手段。新中国成立后,在党的"古为今用、洋为中用"方针指引下,中国民族舞剧在吸取传统戏曲、民间舞蹈和外国舞剧的表现方法的基础上得到发展,创作和演出了许多反映历史题材和新生活的舞剧。《宝莲灯》《小刀会》《红色娘子军》《丝路花雨》等,就是其中的优秀剧目。

诗剧 用诗的语言展开剧情,人物之间又用诗体对话所构成的剧本。既有戏剧的性质,又有诗的特点;既可归入戏剧体裁,又可同叙事诗并列。欧洲19世纪中叶以前的剧本,大都是诗剧。歌德的《浮士德》、郭沫若的《女神之再生》、马雅可夫斯基的《宗教滑稽剧》,都属诗剧。

街头剧 也称"广场剧"。一种不受舞台和剧场条件限制,适合在街头、广场演出的戏剧形式。特点是演出方式灵活,剧本短小精悍,能够及时反映生活中的重大事件,进行宣传鼓动工作。我国抗日战争时期流行较广,多以群众关心的政治斗争为题材,常能鼓动观众与演出者融为一体,如《放下你的鞭子》。

活报剧 简称"活报",意为"活的报纸"。是一种用速写的手法迅速反映时事的戏剧形式。特点是常以夸张的手法塑造漫画式的讽刺对象,或用速写的手法歌颂新人新事,形式活泼,短小精悍,多在广场、街头演出,能有效地进行宣传鼓动。中国的活报剧产生于20世纪20年代后期,在革命战争年代运用尤多。

广播剧 供广播电台播放的戏剧作品。因听众全凭听觉进行欣赏,因而除运用对话或唱词创造形象、展开情节之外,还以音乐伴奏、音响效果增强艺术表现力。有时也穿插必要的解说词,帮助听众了解剧中情境和人物的活动。

电视剧 是融合并发展广播戏剧和电影的特长,用现代化的录像手段制作而成,凭借电视来传播的一种视觉形象艺术。是随着电视的产生、发展而诞生的。电视剧作为一门崭新的艺术,具有突出的特点:①老少皆宜,雅俗共赏。观众可以在家里面对荧光屏自由地欣赏,可以说是一种非常方便的"家庭艺术"。②反映现实,迅速及时。电视剧一般都是短小精悍,戏剧矛盾集中,场景更生活化,因此更适宜于迅速反映当前的社会现实。③简练、集中、逼真、自然。电视剧的种类主要有:①单本剧,即一次把戏演完的电视剧。②小品剧,其实也是单本剧,不过演播时间短,一般在半小时以内,有的甚至只有几分钟。这种剧或提出一个现实问题,或阐明一个生活道理,人物极少,故事简单,短小精悍,耐人寻味。③连续剧,指人物和情节是连贯的,每集故事自成段落,分集演播的电视剧。很像我国的章回小说,一回一回连续下去。如《虾球传》《武松》。④系列剧,指由几个主要人物贯穿全剧,但故事并不连贯,每集都有一个新的故事,每一集故事与下一集故事没有任何联系的

电视剧。如南斯拉夫的《在黑名单上的人》。

(3)按作品所写的题材分

历史剧 指以真实的历史事件、历史人物为题材的戏剧。这种戏剧大都是根据现实斗争生活的需要,依据历史题材而创作,因此既反映历史的真实,又与现实生活有着密切联系。历史剧必须正确处理历史题材,运用历史唯物主义观点描写和评价历史人物,当然也允许在历史事实的基础上进行艺术虚构。郭沫若的《屈原》、吴晗的《海瑞罢官》、曹禺的《王昭君》等都是优秀的历史剧。

儿童剧 专供儿童演出或观赏的戏剧。一般以儿童生活和有关事件为题材,多选用童话、神话、传说等作为题材,符合儿童性格、情趣和心理特征、年龄特征。

(4)按容量大小和结构形式分

多幕剧 指全剧的事件在几幕内完成的大型戏剧。幕是戏剧作品和戏剧演出中的段落,多幕剧即包括好几个段落。有些多幕剧往往在"幕"内又分"场"。多幕剧由于分幕分场,能够通过换幕来表现时间的间隔和空间的转移,所以反映生活比较广阔,生活容量大,故事情节比较复杂,人物众多。例如莎士比亚的《哈姆莱特》、曹禺的《雷雨》、陈其通的《万水千山》就是多幕剧。

独幕剧 指独成一幕的短剧。它类似小说中的短篇,容量较小,人物较少,情节比较简单。独幕剧要在一场一景之中提出矛盾、发展矛盾和解决矛盾,要在独立的一幕内完成情节的基本部分——开端、发展、高潮、结局。因此要求结构紧凑,事件集中,矛盾冲突的展开要迅速。独幕剧于19世纪后期开始流行。我国也已创作了一批比较优秀的独幕剧。

附录

明清传奇和元杂剧的比较

"传奇",以其情节奇特、神奇得名。它一般指唐宋文人用文言写的短篇小说,如《柳毅传》《霍小玉传》《莺莺传》《李娃传》等。又因为"传奇"多为后代的说唱和戏剧所取材,故宋元戏文、明清戏曲也有称为"传奇"的。那么,如何在学习中正确区分杂剧和传奇呢?

杂剧是一种把歌曲、宾白、舞蹈表演等有机结合起来,具有独特民族风格的戏曲艺术形式,流行于宋元时期,分为"北曲"和"南戏"。明清传奇是以唱南戏为主的长篇戏曲形式,是宋元南戏的进一步发展。它与元杂剧主要有以下区别:

一、杂剧体制的通例是四折一楔子,不标折目;传奇不称"折"而称"出",并加出目,出数不定,多是四五十出的长篇。传奇没有楔子,第一出是"家门",又叫"开场",由副末说明创作意图,介绍剧情概况,它不是剧情的组成部分,开场之后,第二出才是正戏。开场用的是词牌而不是曲牌。如《牡丹亭》和《桃花扇》就是传奇剧本。

二、传奇和杂剧一样有唱、科、白,但不是像杂剧那样由一个角色唱到底,而是各种角色都可以唱,可以独唱、对唱、轮唱和合唱;传奇中不称"科"而称"介";主要人物上场时先唱引子,继以一段定场白,每出戏都有下场诗。

三、在音乐上杂剧和传奇都采用曲牌联套的方式,所不同的是:杂剧每折限用一个宫调,一韵到底;传奇每出不限用一个宫调,可以换韵。杂剧演唱用北曲,传奇多用南戏,并吸收北曲,创造了"南北合套"的方法。例如《桃花扇》中的《哀江南》就是一套北曲。北曲豪迈雄壮,南曲婉转柔媚,因而传奇与杂剧的音乐风格截然不同。

四、传奇的角色与杂剧的角色大同小异,但角色增多,分工更细。杂剧的主角是末、旦,传奇的角色是生、旦,传奇也有末,但不是主角。

总之,传奇与杂剧相比,规模更宏大,曲调更丰富,角色分工更细致,形式更自由活泼。

五、诗歌

1. 诗歌的概念

文学体裁的一种,它以高度凝练的语言,形象地表达了作者丰富的思想感情,集中地反映社会生活,并具有一定的节奏和韵律。

2. 诗歌的特点

①诗歌的内容是社会生活最集中的反映。②诗歌有丰富的感情。③诗歌的语言是精练的,形象的,音调和谐、节奏鲜明的。④诗歌在形式上,不是以句为单位,而是以行为单位的。

3. 我国古代诗歌的发展历程

先秦时期 一般把编定于公元前6世纪也就是距今两千多年前的《诗经》看做是我国诗歌史的起点。《诗经》中大多是民歌，以四言为主，亦有杂言，创造了赋、比、兴的表现手法，开创了现实主义诗歌传统。战国时期，我国出现了第一位伟大的诗人屈原。屈原不仅在民歌的基础上创造了一种不同于以四言为主的《诗经》体的新诗体——楚辞，而且开创了我国诗歌的浪漫主义传统。

两汉魏晋 汉代诗歌占主体的是乐府民歌，大多数是五言诗，它标志着叙事诗进入一个新的更趋成熟的发展阶段。最具代表性的是《孔雀东南飞》。汉末魏初出现了以曹操父子为代表的建安诗人，第一次掀起了文人诗歌的高潮。他们的诗歌具有慷慨悲凉的风格，而且普遍采用新兴的五言形式，奠定了五言诗在文坛上的坚实地位。东晋时出现了大诗人陶渊明，他的诗以描写田园风光为主，平淡自然、醇厚有味、富有意境。

南北朝时期 乐府民歌中，南朝乐府民歌几乎全是情歌，且多用双关、语言清新、自然；大多篇幅短小。在南朝乐府民歌中成就最高的应首推《西洲曲》。北朝民歌内容广泛，语言质朴无华，风格豪放刚健，以五言四句为主的同时还创造了七言四句的诗歌形式。成就最高的首推《木兰诗》。这一时期有著名的诗人谢灵运，他是开创山水诗派的第一人。

唐宋时期 唐代的诗歌在汉魏古诗的基础上创造了格律诗(更讲究平仄和韵律)，同时古体诗依然存在。格律诗大多是以五言或七言为主，有绝句也有律诗。唐代把古代诗歌的发展推向了高潮，山水田园诗派、边塞诗派都产生了大量的优秀作品。杜甫以他沉郁顿挫的诗作、李白以他豪放飘逸的诗作代表了诗歌现实主义和浪漫主义传统的最高成就。白居易等人所倡导的新乐府运动主张"歌诗合为事而作"，沿杜甫所开辟的道路进一步发展，从理论上和创作上掀起了一个波澜壮阔的现实主义诗歌的高潮。从宋代起一种新的诗歌形式——词兴盛起来。在南宋时期出现了一位诗歌产量最丰的诗人陆游。他的诗歌揭露了金人袭扰、统治者腐败无能给人民带来的苦难，富有现实主义精神。

词产生于唐代，兴盛于宋代，它原是在宴会上配乐歌唱的，所以称写词为填词，比诗歌更讲究平仄音韵。在晚唐五代，词作大多婉丽，至宋则呈现两种风格，一婉约，一豪放。婉约词以柳永、李清照、姜夔为代表，词作大多抒发个人怀抱，词风缠绵、细腻。豪放词以苏轼、辛弃疾为代表，词作大多把个人命运同国家命运联系起来，形式上突破了音律的束缚，词风雄浑、开阔、奔放。

元明清时期 元代在诗歌上又出现了一种新的形式——散曲，包括小令和套数两种，最初流传在市民中间。它体式和词相近，较为自由，用韵比词密，平仄要求不像词那么严格，可在本字外加衬字，较多地使用口语。前期以关汉卿、马致远为代表，作品与民歌接近，社会内容较多，风格质朴、刚健。中后期一些作家的作品内容远离现实，语言越来越典雅，逐渐丧失了前期散曲朴素自然的特色，代表作家是张可久、乔吉。

明清时期诗歌逐渐衰落，无论是在表现形式上、艺术手法上还是思想内容上，都囿于前代，没有大的创新。较为有名的大诗人是清代的龚自珍。

4. 诗歌的分类

(1)按有无完整的故事情节分

抒情诗 诗歌的一种。这种诗以集中抒发诗人在生活中激发起来的思想感情为特征，主要通过直接抒发诗人的思想感情来反映生活，因此不去详细叙述生活事件的过程，一般没有完整的故事情节，不具体描写人物和景物。例如郭沫若的《炉中煤》、柯岩的《周总理，你在哪里》，就是抒情诗。抒情诗的特点是偏重于直抒胸臆，或借景抒情，优秀的抒情诗则往往激荡着时代的旋律。抒情诗因其内容的不同，分为颂歌、哀歌、情歌、牧歌等。

叙事诗 诗歌的一种。指用诗的形式描述故事，刻画人物以反映现实生活的诗歌作品。有比较完整的故事情节和人物形象，主要通过对具体的生活画面的描写来体现作者的思想感情。如《孔雀东南飞》《王贵与李香香》，就是著名的叙事诗。叙事诗在长期的历史发展中，也形成了不同的样式，主要有史诗、英雄颂歌、故事诗、童话诗、寓言诗等。

(2)按所表现的内容分

田园诗 歌咏闲适、恬淡的田园生活的诗歌。主要描写美好的田园景色和悠闲的村居生活，如

东晋诗人陶渊明因对田园生活的出色描写，被称为田园诗人。其他如唐代孟浩然、王维、储光羲都擅长这类诗作。古希腊的牧歌，也译作"田园诗"。古希腊的忒俄克里托斯，古罗马的维吉尔，英国的华兹华斯、柯尔律治等都以此类诗作著称。田园诗在表现自然美方面有较高的艺术价值，其中还寄寓着诗人的情思，有的表现了不满现实的愤怒情绪，有的讴歌农村生活的恬静，但有的也流露出隐逸避世的消极思想。

山水诗 以山水景物为题材的诗歌。形成于南北朝，在唐代有很大发展并趋于成熟和完善，后来历代诗人都有写作。山水诗描绘大自然的壮丽景象，表现祖国山河的千姿百态，往往能给读者以美的享受，有的还能激发读者的爱国主义感情。山水诗并不只是对自然山水的客观描绘，它往往或显或隐、或多或少地表现着作者的思想感情和某种情绪，也就是说往往是借景抒情的。不管是以描写水光山色闻名的谢灵运、谢朓、孟浩然、王维的山水诗，还是其他诗人的山水诗，大致都是如此。孟浩然的《宿建德江》、王维的《山居秋暝》、李白的《望庐山瀑布》等，都是人们熟知的山水诗。不同的山水诗因蕴涵着不同的思想感情而形成不同的格调。

讽刺诗 嘲讽和揭露落后或丑恶现象的诗歌。这种诗对嘲讽和揭露的对象持否定态度，直接表现诗人鄙视、轻蔑和嘲弄的感情，因而具有鲜明的政治倾向性。在表现手法上，或借用比兴，将嘲讽和揭露的现象化为诗的形象，给以辛辣的讽刺；或选取富有典型意义的事实，用漫画式的手法加以渲染。无论采用什么手法，讽刺诗的要求是要透过现象挖掘本质，引导读者认清造成这些现象的根源。讽刺诗要根据讽刺对象的不同而采取不同的态度。对人民内部落后现象的讽刺，要以教育、启发为主，积极热情；而对于反动的丑恶现象，则必须无情揭露和鞭挞。马雅可夫斯基的《开会迷》，袁水拍的《马凡陀山歌》等，都是著名的讽刺诗。

史诗 古代的长篇叙事诗。它产生于人类的童年时期，着重反映当时重大的历史事件，或以古代传说为内容，歌颂当时的首领或英雄，反映广阔的社会生活，结构宏大，充满幻想和神话色彩。如：古希腊的《伊利亚特》和《奥德赛》（就是著名的《荷马史诗》）。中国古代没有"史诗"这个名目。现在我们有时也把比较全面地反映一个历史时期社会面貌和人民群众多方面生活的优秀叙事作品，称为史诗。

牧歌 又译作"田园诗"。起源于古希腊一种描写牧人生活或农村生活的短小抒情诗。首创者是忒俄克里托斯，传世诗作29首。这些诗描写了西西里优美的农村生活和自然风光，所以称为牧歌。中国古代没有这一名称。现在我们用来泛指写农村田园生活情景的抒情诗。

颂歌 抒情诗的一种。又称"赞歌""赞美诗""礼赞"等。它是诗人对描写对象抒发崇敬、追慕、赞美之情的诗作。在中国很早就有颂歌，如《诗经》中反映宗庙祭祀时赞美祖先的"三颂"，以及赞美当时人的《大雅·烝民》《卫风·硕人》等，就是中国古代最早的颂歌。在欧洲古希腊也早就有日神颂和酒神颂，其后又有关于人的颂歌，特别是关于武士的颂歌。颂歌赞美和颂扬的对象是多方面的，但总是和对人的赞颂密切相连。例如屈原的《橘颂》，雪莱的《自由颂》，郭沫若的《太阳礼赞》《匪徒颂》等，就是突出的例子。在我国当代文学中，颂歌多以歌颂党和领袖、歌颂社会主义祖国和英雄人物为主，如歌曲《没有共产党就没有新中国》、新民歌《东方红》、郭沫若的《新华颂》、贺敬之的《雷锋之歌》等。

哀歌 抒情诗的一种。也称"悲歌""悼歌""挽歌"。它是诗人对描写对象抒发哀伤、悼念之情的诗作。我国早就有了哀歌，如《诗经》中的《秦风·黄鸟》，《楚辞》中的《国殇》《哀郢》，潘岳的《悼亡诗》，杜甫的《八哀诗》等，都是这方面的著名作品。在我国现代和当代文学中，这类作品哀悼的对象，多是革命烈士、革命领袖和对革命有贡献的著名人士等，如鲁迅的《悼杨铨》，《天安门诗抄》中《请收下——献在纪念碑下》等，都具有强烈的感人力量。

哲理诗 表现诗人的哲学观点、反映哲学道理的诗。这种诗内容深沉浑厚、含蓄隽永，多将哲学的抽象哲理蕴涵于诗句之中。古体哲理诗四句居多，新体则不一定。著名的如苏轼《题西林壁》："横看成岭侧成峰，远近高低各不同。不识庐山真面目，只缘身在此山中。"今人陈毅《冬夜杂咏·青松》："大雪压青松，青松挺且直。要知松高洁，待到雪化时。"

(3)按表现形式分

古体诗 亦称"古诗""古风"。是和近体诗相对而言的诗体，产生较早。每篇句数可多可少，每句字数不拘。有四言、五言、六言、七言、杂言各体，后世使用五、七言的较多。用字没有一定的平仄要求，

押韵比较自由，可以句句押韵，可以隔句押韵，可以一韵到底，也可以几句一换韵，从用对仗说，可以全句用，可以半句用，也可以全不用。“古体诗”这一名称，最早出现于唐代。唐人把产生于唐以前较少受格律限制的诗称为古体诗，这是与近体诗相对而言的。后人沿袭唐人的说法，把唐以前的乐府民歌、文人诗以及唐以后文人仿照它们的体式而写的诗歌，统称为古体诗。

近体诗 又称“今体诗”，是唐代出现的新诗体，唐人为了与以前的古体诗相区别，故名之为“近体诗”，是同不受格律限制的古体诗相对而言的。近体诗格律极严，篇有定句（除排律外，每首诗句数固定），句有定字（每句诗的字数固定），韵有定位（押韵位置固定），字有定声（诗句中各字的平仄声调固定），联有定对（律诗中间各联必须对仗）。与古体诗相比，形式更为整齐，节奏更为和谐，但限制也更多。近体诗分律诗和绝句两种。

格律诗 诗歌的一种。形式有一定的规格，音韵有一定的规律，如果有变化，须按一定的格式。也就是说，在格律诗里，每句有一定的音节，每节（或段）有一定的句子和行数（也有整首不分段的）。这种诗要押韵，或者行行押韵，或者交错押韵，或者整首押一个韵，或者按一定的格式换韵。总之，这种诗在表现形态上有一定的格式。格律诗古今中外都有。中国古典格律诗一般指律诗和绝句，常见的形式有五、七言绝句和律诗。词、曲每调的词牌、曲牌及段数、句数、字数、句式、押韵都有严格的规定，因而也可称为格律诗。欧洲的格律诗大体是一句一行或一句两行，每节有一定的行数，每行有一定的字数、顿数，起韵、押韵、换韵都有一定的规律。

律诗 近体诗的一种。有严格的格律。起源于南北朝，成熟于唐初。每首八句。按字数可分为五言律诗、七言律诗，简称五律、七律。此外，还有排律。律诗的声韵规定，不论五律、七律和排律，都必须一韵到底，而且不许领韵通押。押韵的位置是固定的，即二、四、六、八句押韵。第一句是否押韵是自由的。五律第一句不押韵的居多，相反，七律第一句押韵的居多。同时，律诗平仄的排列也有严格规定，还要求对仗。律诗的一、二句叫首联，三、四句叫颔联，五、六句叫颈联，七、八句叫尾联。其中颔联和颈联要求必须对仗。对仗就是对偶，如名词对名词，代词对代词，动词对动词，数词对数词，方位词对方位词等。

绝句 诗体名。每首四句，等于律诗的减半，所以也叫“截句”“断句”。产生于南北朝，兴盛于唐代，常见的有五言绝句、七言绝句，简称五绝、七绝，分为古绝句和近体绝句两种。古绝句是古体诗的一种，不讲究平仄、粘对，押韵可平可仄。这种绝句出现较早，南朝陈徐陵编的《玉台新咏》里，就收有《古绝句四首》。后来也有人写作，如李白《静夜思》《山中问答》等。近体绝句是近体诗的一种，通常称律绝，要求按格律规定运用平仄，讲究粘对，并限押平声韵。至于对仗，律绝不像律诗那样严格，用与否，部分用还是全用，都是自由的。这种绝句是律诗兴起后才有的，如王之涣的《登鹳雀楼》、贺知章的《回乡偶书》。

排律 律诗的一种。它是按照一般律诗的格式加以铺排延长而成，故称排律，又叫长律。排律和一般律诗一样，要严格遵守平仄、对仗、押韵等规则，但它不限于四韵，每首最短五韵十句，多的长达50韵（100句）甚至100韵（200句）。除首、尾两联外，中间各联都用对仗；各句间也都要遵守平仄粘对的格式。由于限制过多，容易显得堆砌死板，历来极少名篇。排律一般是五言，七言极少。五言排律由汉魏六朝五言古诗演化而来。南朝宋时谢灵运的《于南山往北山经湖中瞻眺》、梁代庾信的《奉和山池》已具排律雏形，但体制较短，限于五韵十韵。杜甫以后，方告成熟，体制渐长，声律愈工，中唐白居易的《代书诗寄微之》竟长达100韵。韩愈、孟郊等更用联句形式演为长篇（如《城南联句》），形式更加工巧，内容却日渐贫乏。

朗诵诗 口语化的适合朗诵的诗歌。由于这种诗歌主要靠朗诵者通过口头朗诵，直接向群众进行宣传鼓动，听众不可能像阅读或吟诵诗篇时一样，可以面对用文字写成的诗行，停下来反复咀嚼、细细品味。因此，朗诵诗除了应当具备一般诗歌共同的特征外，还应当注意主题鲜明，节奏明快，音调和谐，明白易懂。诗歌朗诵有个人朗诵，有集体朗诵。朗诵时配以音乐，叫配乐朗诵，现代广播节目中很常见。柯岩的《周总理，你在哪里》、李瑛的《一月的哀思》、石祥的《周总理办公室的灯光》等都是脍炙人口的朗诵诗。

打油诗 泛指情调诙谐、暗含讥刺、用词俚俗的诗作；有的作者自谦，也用之以称自己的诗作。

据宋代《南部新书》、明代《一笑散》等载：唐代南阳有个读书人名叫张打油，平时很喜欢民间俚曲，经常与民间歌手交往，收集民间俚语，写入诗中，故作诙谐之句，虽然文字俚俗，登不了大雅之堂，但却明白如话，容易听懂。他有《雪诗》云："江上一笼统，井上黑窟窿。黄狗身上白，白狗身上肿。"他还有题壁诗："六出飘飘降九霄，前街后街尽琼瑶。有朝一日天晴了，使扫帚的使扫帚，使锹的使锹。"后来人们就把张打油这种俚俗粗浅的诗，称为"打油诗"。其实，这些诗只是文字俚俗，内容却并不粗浅。

自由诗 诗歌的一种。这种诗的段数、每段的行数、每行的字数都没有固定的规格。虽然注意节奏，也押韵，但押什么韵，换韵的位置，是否换韵等，也不强求一样。由于不受格律的限制，所以称为自由诗。美国诗人惠特曼为创始人，他的诗歌《草叶集》，就是用自由诗体的形式写的。中国五四以后也流行这种诗体，郭沫若的《女神》就是自由诗体的新诗集。艾青的许多诗歌，长短不拘，形式不论，也属自由诗的范畴。

十四行诗 欧洲一种格律严谨的抒情诗体。最初流行于文艺复兴时期的意大利，代表作家是彼特拉克，所以又称彼特拉克体。这种十四行诗每首由两节四行诗、两节三行诗组成，每行 11 个音节，通常是抑扬格。押韵的格式前两节一般是甲乙乙甲、甲乙乙甲，后两节六行或两韵变化，或三韵变化；流传到英、法、德等国后，适应语言特点，产生了变体。如英国的莎士比亚的十四行诗，由三节四行诗和两行对句组成，每行十个抑扬格音节。押韵方式一般是甲乙甲乙、丙丁丙丁、戊己戊己、庚庚。莎士比亚的十四行诗写于伊丽莎白女王统治时期，因而又称伊丽莎白体。

歌谣 民歌、民谣与儿歌、童谣的总称。我国古代，合乐为歌，徒歌为谣，现代统称歌谣。基本特点是：多由群众集体口头创作、口头流传，往往在流传中又经集体加工修改或经文人润色而臻于完美。目的是表达思想，抒发感情，促进生产或斗争，有时也用于娱乐和休息。歌谣题材广泛，或写生产劳动，或写政治斗争，或写日常生活，或写男女爱情等。在艺术表现上，音韵和谐，词句简练，风格朴素，富有民族和地方特色。古代歌谣多为文人记载，大部分经过他们加工和删改。清代杜文澜辑的《古谣谚》收有从上古到明代的不少歌谣。中国社会科学院文学研究所民间文学组和民间文学研究会编的《中国歌谣选》第一、二集，选录了中国近代和当代的歌谣，为读者提供了方便。

民歌 歌谣的一种。劳动人民的口头创作，并在口头流传。它的具体内容由于时代、民族、地区等的不同而各异，但都表现劳动人民的生活、思想、感情、要求和愿望。中国民歌丰富多彩，种类很多。从内容上看，有劳动歌、政治歌、生活歌、爱情歌等；从题材上看，有渔歌、山歌、田歌、樵歌、牧歌等；从地区和形式特点看，有信天游、爬山调、花儿、调子、吴歌、越歌、客家山歌、东北民歌等。此外，各少数民族也都有本民族特点的民歌。中国民歌不仅分布地区广阔，而且源远流长。《诗经》里就保存了一些周代的民歌。汉魏乐府中也有不少劳动人民的作品。此后历代都有民歌流传下来。今天的民歌有着崭新的内容，而且被大量搜集整理。各个时代的优秀民歌是各个时代文学的重要组成部分，并影响着作家的诗歌创作。

儿歌 儿童文学的一种。与童谣合称为儿童歌谣。除儿童自编的外，还有成年人的拟作。大多反映儿童的生活、思想感情，表现他们对客观事物的看法，对美好生活的向往以及天真烂漫、富于幻想的心理等。形式短小活泼，语言通俗易懂，节奏明快，韵律响亮，多用比兴和重叠手法，适合儿童接受和传唱。

童谣 儿童文学的一种。与儿歌合称儿童歌谣。形式短小，语言单纯，意思明白，适合儿童传唱。有儿童自编的，也有成人拟作的。过去流传下来的有些童谣，讽喻现实，表达人民的思想愿望，带有较多的讽刺和幻想因素。但有些也宣传了反动阶级的反动主张。

散文诗 是用散文的形式写成的诗篇，具有散文的一般特点，如篇幅短小，题材广泛；形式灵活，手法多样；直抒胸臆，以意为主；形散神聚，博而不杂。但与一般散文相比，语言更注意凝练，内容的跳跃性更大，具有一般诗歌所要求的意境，常在有限的篇幅中，隐含着丰富的哲理，包含着作者强烈的思想感情。散文诗不分行，也不一定像一般诗歌那样押韵；句子整散不一，错落有致，不必像一般诗歌那样讲究比较严格的音节、音步。根据内容的需要，选用散文诗这种样式，常常可以使作品既有散文的情趣，又有诗歌的韵味，是一种比较灵便的文学样式。鲁迅的《野草》就是一部优秀的散文诗集。

5. 我国古代诗歌的几种样式

乐府诗 诗体名。有狭、广两种意义：狭义指汉以后入乐的诗，包括文人创作的和采自民间的；广义包括词曲和没有入乐而袭用乐府旧题，或模仿乐府诗体裁的作品。乐府原是汉武帝刘彻时开始

设立的掌管音乐的机关，任务是制定乐谱、采集歌辞、训练乐工，以备朝廷举行祭祀、召开宴会或举行其他仪式时演奏。另外，还有一项任务就是采集民歌，供统治阶级"观风俗"。后来其含义有了变化，指一种合乐的诗歌，即"乐府诗"，简称"乐府"。汉乐府包括两大部分：一部分是封建贵族文人所写的颂歌，是统治阶级祭天地和祖宗时的乐章，为帝王歌功颂德，祈福求寿，内容空虚，形式呆板，没有什么价值。另一部分是从民间采集的歌辞，即汉乐府民歌，多数是"感于哀乐，缘事而发"(《汉书·艺文志》)，广泛地反映了当时的社会现实，表现了劳动人民的生活和思想感情，具有强烈的人民性，并且形式自由，句法参差，语言生动形象，质朴精练，采用了多种多样的表现手法，叙事和抒情相互结合，艺术成就是很高的，这是乐府诗的精华。汉乐府民歌继承了《诗经》的现实主义传统，对后世文学有深远影响。例如建安时期的文人用乐府旧题写时事，特别是唐代白居易、元稹一起倡导"新乐府运动"，都和汉乐府民歌的影响有直接关系。宋代郭茂倩编有《乐府诗集》100卷，是现存收集乐府歌辞最完备的一部。

柏梁体 七言诗体的一种。相传汉武帝在柏梁台上和群臣联句，共赋七言诗，每人一句，句句用韵，一句一意，后世遂称为"柏梁体"。经后人考证，因其所注官名、人名多与汉武帝时代不符，后人多疑此诗是伪托。

正始体 三国曹魏后期的一种文学风貌。因始于正始年间，故称之为正始体。其主要特征是崇尚老庄。作家主要有两派：一派是以何晏、王弼为代表，以抒发道家志趣为主，脱离现实，开两晋"玄言诗"之先河，世称"王何"；另一派是以嵇康、阮籍为代表，上承建安风骨，透露着不满现实的锋芒，世称"嵇阮"。后者的诗歌有比较深厚的内容，艺术技巧比较圆熟，成就大大超过前一派。阮籍的《咏怀诗》八十二首是正始体的代表作。

太康体 指晋武帝太康时期出现的一种诗风。它的特点是注重炼字析句，追求辞藻的华丽，轻巧靡丽，注重形式，内容贫乏。代表作家是潘岳和陆机。

陶体 指东晋大诗人陶潜的诗体。他的五言诗善写田园景物，格调清新自然，虽然是继承汉魏诗传统，但却别树一帜。他的诗风，影响了唐代一些著名的山水田园诗人。

玄言诗 西晋末年至东晋时期出现的一种诗体。西晋末年，由于官僚地主的经济特权制度化，士族可以大量占有土地，过着享乐生活，清谈玄理的风气盛行。玄言诗在内容上宣传老庄哲学，在艺术上以清谈高妙的玄理显示自己的才华，掩饰精神的空虚，缺少艺术性。代表作家是孙绰、许询等。

元嘉体 指南朝宋文帝元嘉年间出现的一种诗风。它的特点是注重描绘山水，讲究辞藻的华丽和对偶的工整。代表作家是颜延之、谢灵运、鲍照等。

永明体 指南朝齐武帝永明年间形成的诗体。这种诗体要求严格遵照四声八病之说写诗，讲究声韵、格律和对偶，是由比较自由的"古体"过渡到格律严整的"近体"的一种诗体。其中"四声"指汉字的平、上、去、入四声，这四声应协调。"八病"指平头、上尾、蜂腰、鹤膝、大韵、小韵、旁纽、正纽等应该避免的音律上的八种毛病。代表作家是沈约等。

宫体 南朝梁代出现的一种诗歌，由梁简文帝萧纲提倡。以描写宫中女性为主，内容轻薄，格调低下，是统治阶级荒淫腐朽生活的表现。

徐庾体 即宫体，是梁代绮靡文风的代表。徐，指徐陵父子；庾，指庾肩吾、庾信父子。他们都是宫体诗的代表作家。

齐梁体 南朝齐、梁时代出现的一种浮艳诗风。内容贫乏，讲求声律和对偶，追求辞藻的华丽。对后世格律诗的发展成熟有一定影响。

上官体 以唐初宫廷诗人上官仪的诗作为代表的一种诗体。其诗多奉和应诏之作，绮靡浮艳，是齐梁宫体诗的余风。在形式上更加追求对偶，提出"六对""八对"等名目，对格律诗的发展起了一定的促进作用。

西昆体 北宋初期出现的一种文风。其特点是专从形式上模拟李商隐，追求辞藻华丽，声律谐和，对仗工稳，但内容却很空虚；写历史故事，既非怀古伤今，写男女相思，也无真情实感。代表作家是杨亿、刘筠、钱惟演等人。这些宫廷侍臣曾相互唱和，并把唱和的诗编成《西昆酬唱集》，西昆体由此而得名。欧阳修在《六一诗话》中说："盖自杨、刘唱和，《西昆集》行，后进学者争效之，风雅一变，谓'西昆体'。"西昆体诗风在北宋初风靡近半个世纪。

台阁体 明代出现的一种文风。流行于永乐、成化年间，其特点是粉饰太平，为统治者歌功颂

德，形式典雅工丽、千篇一律、平庸呆板，毫无生气。代表作家有杨士奇、杨荣、杨溥，时称“三杨”。因他们先后官至大学士，是“台阁重臣”，其诗在上层官僚间形成，故称台阁体；有时也把这种诗文所表现的不良风气称为“台阁体”。当时追求利禄的文人，得官后就模仿台阁体，以逢迎实握宰相大权的大学士。这是文学发展上的一股逆流，几乎垄断了当时的文坛，先后流行了100多年，直到前后七子起来反对，它才在文坛上消失。

公安体 明代万历年间，由袁氏三兄弟袁宗道、袁宏道、袁中道三人所创作的诗文体。袁氏为今湖北公安人，故世人称之为“公安体”。此体反对死守古韵，死学古风，提倡清新轻俊，诗中可偶夹戏谑笑语，间杂俗话俚语，一时为文人效仿，影响很大。但多数作品抒发文人的闲情逸致，空疏无物。以后逐渐衰落。

应制诗 封建时代臣属接受皇帝命令所作、所和的诗。唐宋人有不少这类作品，并在题中标明“应制”。唐以后大都为五言六韵或八韵的排律。多半以歌功颂德、雕章琢句为能事，少数也陈述一些对皇帝的期望，无论从思想内容上，还是从艺术上看，价值都很小。如唐代上官昭容的《驾幸三会寺应制》、宋代欧阳修的《应制赏花钓鱼》等，就是这样的作品。

试帖诗 中国封建时代的一种诗体。起源于唐代。帖是唐代考明经科所用的一种试卷，“试帖”就是指明经科考试。当时把参加科举考试所写的诗称为“试帖诗”。大都是五言排律，每首12句或16句。以古人诗句或成语作题，题上冠以“赋得”二字，所以又称“赋得体”。对韵脚有限制，内容必须切题，但多是为皇帝歌功颂德。

附

1. 诗歌分类简表

- ①中国诗歌
  - 现代诗歌（1919年五四创始）
    - 新诗（即新体诗）
    - 以旧体诗形式反映现代生活的思想感情的诗
  - 古典诗歌（旧体诗）
    - 唐代的律诗、绝句
    - 宋代的词
    - 元代的散曲
- ②中国古典诗歌
  - 诗
    - 古体诗
      - 四言古诗：出现最早（《诗经》）
      - 五言古诗：成熟于汉代
      - 七言诗：成熟于唐代（杜甫《闻官军收河南河北》）
      - 乐府诗：标题有的加上“歌”“行”“歌行”“引”“曲”“吟”等名称
    - 近体诗（形成于唐代）
      - 绝句
        - 五言绝句（王之涣《登鹳雀楼》）
        - 七言绝句（杜牧《泊秦淮》）
      - 律诗
        - 五言律诗（杜甫《春望》）
        - 七言律诗（杜甫《登高》）
        - 排律
  - 词（又称“诗余”“长短句”“倚声”“填词”）：调有定格，句有定数，字有定声，以两宋成就最高
  - 曲（又称“词余”）（以元代成就最高）
    - 散曲
      - 小令（短小的曲子）（马致远《天净沙·秋思》）
      - 套数（散套）（睢景臣《高祖还乡》）
    - 戏剧
      - 杂剧
      - 传奇
      - （已是供演出的剧本）
- ③中国现代诗歌
  - 按内容有无较完整的故事和人物分
    - 抒情诗
      - 直接抒情
      - 借景抒情
      - 借人、事的描述抒情
    - 叙事诗
  - 按形式分
    - 格律诗
    - 自由诗
    - 散文诗

2. 律诗怎样排序

首先，从押韵方面看：

律诗首句可入韵，也可不入韵。偶句（二、四、六、八句）都押韵。绝句第三句不押韵。

其次，从对仗方面看：

律诗首联、尾联可不对仗，但颔联、颈联必须对仗。

最后，从平仄方面看：

律诗的平仄规则从排序的角度可用“一、三、五不论，二、四、六分明”两句口诀概括，也就是说一、三、五字平仄可不管，二、四、六字的平仄必须符合规则。具体有两种格式，请看实例二、四、六字。（下文“平”用○表示，“仄”用●代替）

A式

孤山寺北贾亭西，○ ● ○
水面初平云脚低。● ○ ●
几处早莺争暖树，● ○ ●
谁家新燕啄春泥。○ ● ○
乱花渐欲迷人眼，○ ● ○
浅草才能没马蹄。● ○ ●
最爱湖东行不足，● ○ ●
绿杨阴里白沙堤。○ ● ○

（白居易：《钱塘湖春行》）

B式

老去悲秋强自宽，● ○ ●
兴来今日尽君欢。○ ● ○
羞将短发还吹帽，○ ● ○
笑倩旁人为正冠。● ○ ●
蓝水远从千涧落，● ○ ●
玉山高并两峰寒。○ ● ○
明年此会知谁健？○ ● ○
醉把茱萸仔细看。● ○ ●

（杜甫：《九日蓝田崔氏庄》）

五言律诗看二、四字的平仄，即：

A式

空山新雨后，○ ●
天气晚来秋。● ○
明月松间照，● ○
清泉石上流。○ ●
竹喧归浣女，○ ●
莲动下渔舟。● ○
随意春芳歇，● ○
王孙自可留。○ ●

（王维：《山居秋暝》）

B式

独坐悲双鬓，● ○
空堂欲二更。○ ●
雨中山果落，○ ●
灯下草虫鸣。● ○
白发终难变，● ○
黄金不可成。○ ●
欲知除老病，○ ●
唯有学无生。● ○

（王维：《秋夜独坐》）

绝句也叫截句，也就是截取律诗的一半，两种基本格式如下：

A式

五年江上损容颜，○ ● ○
今日春风到武关。● ○ ●
两纸京书临水读，● ○ ●
小桃花树满商山。○ ● ○

（元稹：《西归绝句》）

B式

苍藓千年粉绘传，● ○ ●
坚贞一片色犹全。○ ● ○
那知忽遇非常用，○ ● ○
不把分铢补上天！● ○ ●

（刘商：《画石》）

以下题为例验证一下，这是一首打乱顺序的绝句：

A 杨柳青青着地垂
B 借问行人归不归
C 杨花漫漫搅天飞
D 柳条折尽花飞尽

首先判定D句为第三句（绝句第三句没有韵脚），根据第三句的平仄可制定该绝句的平仄格式为B式，于是可推知第二句是C句。剩下的A、B两句都有韵脚且平仄相同，哪句是第一句哪句是第四句似乎不太好区别，但若知道绝句一般是先写景后抒情就能很容易地弄清A为第一句，B为第四句。

3. 诗歌知识

（1）韵脚：韵文句末押韵的字。如李白《静夜思》：“床前明月光，疑是地上霜。举头望明月，低头思故乡。”其中“光、霜、乡”是韵脚。

（2）押韵：诗歌词赋某些句子的末尾一字用韵母相同或相近的字，使音调和谐优美，这就叫押韵。如《静夜思》即押ang韵。

(3)律诗的结构:律诗共八句,一、二两句为首联,三、四两句为颔联,五、六两句为颈联,七、八两句为尾联。

(4)古诗的节奏和韵律:从句式方面看,古诗一般四字为二、二式,五字为二、二、一式,七字为二、二、二、一式。从意义的表达看,有时因表意需要而有特殊情况,如:"势拔/五岳/掩/赤城"就变成了二、二、一、二式。

(5)歌·行·引:古代诗歌体裁,三者无严格区别。音节、格律一般比较自由,形式有五言、七言、杂言。如《茅屋为秋风所破歌》《琵琶行》《李凭箜篌引》。

(6)信天游:又称"顺天游",陕北民歌形式。其特点是:形式自由灵活;两句一节,可以换韵;多用比兴手法;句子以七言为主,灵活多变。如《王贵与李香香》。

(7)诗·词·曲:诗、词、曲的主要区别在于:诗要求节奏和讲求韵律;词比诗的要求更加严格,词是一种配乐歌唱的诗体;曲也是和乐演唱的一种韵文形式,但句法比词更为灵活。

诗的最高成就表现在唐代,词的鼎盛时期出现在宋朝,曲在元代最盛行。我们学过的诗作有《春夜喜雨》《望天门山》《长恨歌》《梦游天姥吟留别》等。词主要有《念奴娇·赤壁怀古》等。曲以《[般涉调]哨遍·高祖还乡》("般涉调"是宫调名,"哨遍"是曲牌名,"高祖还乡"是标题)为典型。

(8)四言·五言·七言·杂言:这些通常指的是诗的表现形式。言代表字,四言就是每句诗是四个字,五言即五个字,七言即七个字,杂言即字数不定。在古代诗歌中以五言、七言为最多。

(9)旧体诗·新诗:新诗是指五四运动前后,新文化运动提倡的用白话写的自由体诗。与新诗相对的,用文言写的格律诗就统称为旧体诗。教材中收入的古代诗歌都是旧体诗;教材中收入的《天上的街市》《大堰河——我的保姆》等都是新诗。有些诗歌虽然是现代创作的,但其体裁仍沿用旧体,如毛泽东的《七律·长征》、陈毅的《梅岭三章》等仍属旧体诗。这种诗形式是旧体,内容是现代的、革命的,人们习惯地把它比做"旧瓶装新酒"。

(10)文人创作的诗歌·民歌:民歌是由人民群众口头传诵的诗歌,后经文人整理而形成的。《诗经》和"乐府"中搜集整理了大量的民歌。如教材中收入的《伐檀》《硕鼠》《长歌行·青青园中葵》《木兰诗》《敕勒歌》《孔雀东南飞》《陌上桑》等都是民歌。还有课文中引文提到的《西洲曲》《江南曲》等也是民歌。有些文人模仿民歌的形式写的诗歌就不再称为民歌了,只能说是用民歌形式写的诗歌,属文人创作的诗歌。如《王贵与李香香》《回延安》是用陕北民歌"信天游"的形式创作的。

(11)标题·词牌:词的标题和词牌是有着严格区别的,词的标题是词的内容的集中体现,它概括了词的主要内容。词牌是一首词词调的名称。

例如《念奴娇·赤壁怀古》这首词,"念奴娇"是词牌,"赤壁怀古"是词的标题,揭示该词是一首抒怀词,地点是"赤壁"。

(12)小令·中调·长调:词分为小令、中调、长调,这是依字数多少来划分的。小令的字数在58字以内,59~90字为中调,而长调是90字以上。例如辛弃疾的《清平乐·村居》共46个字,就属于小令,而《蝶恋花》共60字,则为中调,《念奴娇·赤壁怀古》则属于长调。

六、其他集释

1.**赋** 是我国古代的一种文体,它讲求文采、韵律,兼具诗歌和散文的性质。其特点是"铺采摛文,体物写志",侧重于写景,借景抒情。最早出现于诸子散文中,叫"短赋";以屈原为代表的"骚体"是诗向赋的过渡,叫"骚赋";汉代正式确立了赋的体例,称为"辞赋";魏晋以后,日益向骈文方向发展,叫做"骈赋";唐代又由骈体转入律体,叫"律赋";宋代以散文形式写赋,称为"文赋"。著名的赋有杜牧的《阿房宫赋》、欧阳修的《秋声赋》、苏轼的《赤壁赋》等。

2.**骈文** 这种文体,起源于汉魏,形成于南北朝,盛行于隋唐。以四字、六字相间定句,世称"四六文"。骈文由于迁就句式,堆砌辞藻,往往影响内容表达。韩愈、柳宗元提倡古文运动之后,骈文渐

衰。著名的有南朝梁吴均写的《与朱元思书》。

3. 原 推究本源的意思，是古代的一种议论文体。这种文体是对某种理论、主张、政治制度或社会习俗，从根本上进行考察、探讨，理论性较强。如韩愈的《原毁》、黄宗羲的《原君》。

4. 辨 “辨”即辨是非，别真伪。这种文体的特点是批驳一个错误论点，或辨析某些事实。如柳宗元的《桐叶封弟辨》。

5. 说 古代议论、说明一类文章的总称。它与“论”无大异，所以后来统称说理辨析之文为论说文。《文章辨体序说》：“说者，释也，解释义理而以己意述之也。”我们学过的这种体裁的文章有《师说》《马说》《少年中国说》《捕蛇者说》《黄生借书说》。

6. 论 论是一种论文文体。《韵术》：“论者，议也。”《昭明文选》所载：“论有两体，一曰史论，乃忠臣于传末作议论，以断其人之善恶。如《史记》后的太史公曰……二曰政论，则学士大夫议论古今时世人物或评经史之言，正其谬误。”如《六国论》《过秦论》等。

7. 奏议 古代臣属进呈帝王的奏章的统称。它包括奏、议、疏、表、对策等。《文体明辨》：“七国以前，皆称上书，秦初改书曰奏。汉定礼仪，是有四品：一曰章，以谢恩；二曰奏，以按劾；三曰表，以陈情；四曰议，以执议。”

(1)疏。是分条陈述的意思。如贾谊的《论积贮疏》、魏徵的《谏太宗十思疏》。

(2)表。是陈述某种意见或事情。如诸葛亮的《出师表》。

(3)对策。古代考试把问题写到策上，令参加考试的人回答叫策，考生回答的文章叫对策。如苏轼的《教战守策》。

8. 序跋 序也作“叙”或称“引”，有如今日的“引言”“前言”，是说明书籍著述或出版意旨、编次体例和作者情况的文章，也可包括对作家作品的评论和对有关问题的研究阐发。“序”一般写在书籍或文章前面(也有列在后面的，如《史记·太史公自序》)，列于书后的称为“跋”或“后序”。这类文章，按不同的内容分别属于说明文或议论文。说明编写目的、简介编写体例和内容的，属于说明文。对作者作品进行评论或对问题进行阐发的属于议论文。我们学过的“序言”有《〈指南录〉后序》等。

9. 赠序 文体名。古代送别各以诗文相赠，集而为之序的，称为赠序。如韩愈《送石处士序》：“于是东都诸人士……遂名为歌诗六韵，遣愈为之序云。”其后凡是惜别赠离的文章，不附于诗帙也都叫赠序，内容多推重、赞许或勉励之辞。我们学过明代宋濂的《送东阳马生序》。

10. 铭 古代刻在器物上用来警戒自己或者称述功德的文字叫“铭”。刻在木牌上，放在书案右边用以自警的铭文叫“座右铭”。如刘禹锡的《陋室铭》。刻在石碑上，叙述死者生平，加以颂扬追思的，叫“墓志铭”。如韩愈的《柳子厚墓志铭》。

11. 祭文 在告祭死者或天地山川等神时所诵读的文章。体裁有韵文和散文两种。内容是追念死者生前的主要经历，颂扬他的主要品德和业绩，寄托哀思，激励生者。如袁枚的《祭妹文》。

12. 八股文 明清科举考试制度所规定的文体。每篇由破题、承题、起讲、入手、起股、中股、后股、束股八部分组成。“破题”用两句话说破题目要义。“承题”是承接破题的意义而阐明之。“起讲”为议论的开始。“入手”为起讲入手之处。下自“起股”至“束股”才是正式议论，以中股为全篇中心。在这四段中，都有两股排比对偶的文字，合共八股，故叫“八股文”，也称“八比”。题目主要摘自《四书》，所论内容也要根据朱熹的《四书集注》等书，不许自由发挥。这种固定的内容、呆板的形式，束缚了人们的思想和内容的表达。

13. 杂记

(1)山川、景物、人事杂记。描写山川、景物和人事的，如《小石潭记》《登泰山记》。

(2)笔记文。以记事为主，它的特点是：篇幅短小，长的千字左右；内容丰富，有历史掌故、琐闻轶事、文

艺随笔、人物短论、科学小说、文字考证、读书杂记等五花八门。《世说新语》《梦溪笔谈》就是这种文体。

14. 游记 游记是描写旅行见闻的一种散文形式。游记的取材范围极广，可以描绘名山大川的秀丽瑰奇，可以记录风土人情的诡异阜盛，可以反映一人一家的日常生活面貌，也可以记下一国的重大事件，并表达作者的思想感情。文笔轻松，描写生动，记述翔实，给人以丰富的社会知识和美的感受。游记有带议论色彩的，如《游褒禅山记》；有带科学色彩的，如郦道元的《三峡》；有带抒情色彩的，如柳宗元的《小石潭记》。

15. 碑记 刻在碑上记录人物生平事迹的文体。如《重修定王台碑记》《五人墓碑记》。

16. 童话 儿童文学的一种。通过丰富的想象、幻想和夸张的手法来塑造人物，反映生活，对儿童进行思想教育。童话的语言通俗、生动、形象，情节离奇曲折，富于趣味性。对自然景物往往作拟人化的描写，能适应儿童的心理、情趣，激发他们的想象，便于他们接受和转化。选入教材的童话有安徒生的《皇帝的新装》等。

17. 民间故事 群众口头创作口头流传，经过很多人不断地修改加工而形成的文学形式。民间故事的特点：故事性强，情节生动；口语化，朴素明快；想象奇特丰富；常用夸张、比喻，艺术感染力强。内容上它来自民间，反映的多是民间生活。有的民间故事常有神话式的幻想情节，充满神奇色彩。如《渔夫的故事》《牛郎织女》等。

18. 寓言 是带有劝谕或讽谏性的故事。“寓”是“寄托”的意思。寓言，通常是把深刻的道理寓于简单的故事之中，借此喻彼，借小喻大，借古喻今，惯于运用拟人的手法，语言简洁犀利。欧洲文学中著名的寓言作品有古希腊的《伊索寓言》。我国春秋战国时代寓言盛行，《庄子》《韩非子》等著作中有不少寓言，如郑人买履（《韩非子》）、鹬蚌相争（《战国策》）、刻舟求剑（《吕氏春秋》）等。

19. 神话 远古人民表现对自然及文化现象的理解与想象的故事。它是人类早期的不自觉的艺术创作。神话并非现实生活的科学反映，而是由于远古时代生产力水平很低，人们不能科学地解释世界、自然现象和原始社会文化生活的起源和变化，以他们贫乏的生活经验为基础，借助想象和幻想把自然力和客观世界拟人化的结果。如：女娲补天。

20. 传说 长期在民间流传而形成的，带有某种传奇色彩和幻想成分的历史人物、历史事件或自然物貌的故事。如英雄人物传说、西湖的传说、黄鹤楼的传说。有的是以特定的历史事实为基础，有的则纯属幻想虚构。人物和事件的传说，大都是颂扬、赞美的，反映人民的理想和愿望；自然景物的传说，则近于优美的叙事散文。

七、史书体例

1. 编年体：以年代为线索编排有关的历史事件，如《左传》。

2. 纪传体：通过记叙人物活动反映历史事件，如《史记》。

3. 纪事本末体：以事件为主线，将有关专题材料集中在一起。首创于南宋的袁枢。如袁枢的《通鉴纪事本末》。

4. 国别体：以国家为单位分别记叙历史，如《战国策》。

5. 通史：不间断地记叙自古至今（成书时代）的历史事件，如《史记》。

6. 断代史：记录某一时期或某一朝代的历史，如《汉书》。

以上六种体例是按不同标准分的，实际上同一史书按不同标准可同时归入不同体例。如《三国志》属纪传体、国别体、断代史。

第三部分 诗文名句

说明：标＊者摘自高中语文人教实验版、江苏教育版、广东教育版、山东人民版、语文版5个版本必修与选修教材及初中语文主流版本教材；未标＊者为拓展内容；句下加线的句子为2011年高考考查内容。

一、先秦名句

＊关关雎鸠，在河之洲。窈窕淑女，君子好逑。（《诗经·周南·关雎》）

＊蒹葭苍苍，白露为霜。所谓伊人，在水一方。（《诗经·秦风·蒹葭》）

＊桑之未落，其叶沃若。于嗟鸠兮，无食桑葚！于嗟女兮，无与士耽！士之耽兮，犹可说也。女之耽兮，不可说也！（《诗经·卫风·氓》）

＊桑之落矣，其黄而陨。自我徂尔，三岁食贫。淇水汤汤，渐车帷裳。女也不爽，士贰其行。士也罔极，二三其德。（《诗经·卫风·氓》）

＊信誓旦旦，不思其反。反是不思，亦已焉哉！（《诗经·卫风·氓》）

如切如磋，如琢如磨。（《诗经·卫风·淇奥》）

风雨如晦，鸡鸣不已。（《诗经·郑风·风雨》）

＊青青子衿，悠悠我心。（《诗经·郑风·子衿》）

人而无仪，不死何为！（《诗经·鄘风·相鼠》）

＊静女其姝，俟我于城隅。爱而不见，搔首踟躇。（《诗经·邶风·静女》）

＊昔我往矣，杨柳依依。今我来思，雨雪霏霏。（《诗经·小雅·采薇》）

＊呦呦鹿鸣，食野之苹。我有嘉宾，鼓瑟吹笙。（《诗经·小雅·鹿鸣》）

嘤其鸣矣，求其友声。（《诗经·小雅·伐木》）

高山仰止，景行行止。（《诗经·小雅·车舝》）

他人有心，予忖度之。（《诗经·小雅·巧言》）

它山之石，可以攻玉。（《诗经·小雅·鹤鸣》）

投我以桃，报之以李。（《诗经·大雅·抑》）

桃之夭夭，灼灼其华。（《诗经·周南·桃夭》）

巧笑倩兮，美目盼兮。（《诗经·卫风·硕人》）

知我者，谓我心忧。不知我者，谓我何求。悠悠苍天，此何人哉？（《诗经·王风·黍离》）

兄弟阋于墙，外御其务。（《诗经·小雅·常棣》）

战战兢兢，如临深渊，如履薄冰。（《诗经·小雅·小旻》）

出自幽谷，迁于乔木。（《诗经·小雅·伐木》）

彼采萧兮，一日不见，如三秋兮。（《诗经·王风·采葛》）

投我以木瓜，报之以琼琚。（《诗经·卫风·木瓜》）

＊靡不有初，鲜克有终。（《诗经·大雅·荡》）

执子之手，与子偕老。（《诗经·邶风·击鼓》）

月出皎兮，佼人僚兮。（《诗经·陈风·月出》）

硕鼠硕鼠，无食我黍！三岁贯女，莫我肯顾，逝将去女，适彼乐土。（《诗经·魏风·硕鼠》）

秩秩斯干，幽幽南山。（《诗经·小雅·斯干》）

心之忧矣，如匪澣衣。静言思之，不能奋飞。（《诗经·邶风·柏舟》）

皎皎白驹，在彼空谷。生刍一束，其人如玉。（《诗经·小雅·白驹》）

我姑酌彼兕觥，维以不永伤。（《诗经·周南·卷耳》）

汉之广矣，不可泳思。江之永矣，不可方思。（《诗经·周南·汉广》）

江有汜，之子归，不我以。不我以，其后也悔！ ——《诗经·召南·江有汜》

仁者见之谓之仁，知者见之谓之知。 ——《周易·系辞上》

方以类聚，物以群分。 ——《周易·系辞上》

穷则变，变则通，通则久。 ——《周易·系辞下》

天行健，君子以自强不息。地势坤，君子以厚德载物。 ——《周易·乾卦》

*满招损，谦受益。 ——《尚书·大禹谟》

时日曷丧，予及汝偕亡！ ——《尚书·汤誓》

*人非圣贤，孰能无过？过而能改，善莫大焉。 ——《左传·宣公二年》

辅车相依，唇亡齿寒。 ——《左传·僖公五年》

欲加之罪，其无辞乎（何患无辞）？ ——《左传·僖公十年》

窃人之财，犹谓之盗，况贪天之功以为己力乎？ ——《左传·僖公二十四年》

*因人之力而敝之，不仁；失其所与，不知；以乱易整，不武。 ——《左传·烛之武退秦师》

*多行不义必自毙，子姑待之。 ——《左传·郑伯克段于鄢》

不去庆父，鲁难未已。 ——《左传·闵公元年》

居安思危。思则有备，有备无患。 ——《左传·襄公十一年》

外举不弃仇，内举不失亲。 ——《左传·襄公二十一年》

言之无文，行而不远。 ——《左传·襄公二十五年》

*轻则寡谋，无礼则脱。 ——《左传·殽之战》

*君为社稷死，则死之；君为社稷亡，则亡之。 ——《左传·崔杼弑其君》

俭，德之共也；侈，恶之大也。 ——《左传·庄公二十四年》

皮之不存，毛将焉附。 ——《左传·僖公十四年》

*防民之口，甚于防川。川壅而溃，伤人必多。 ——《国语·召公谏厉王弭谤》

*夫民虑之于心而宣之于口，成而行之，胡可壅也？ ——《国语·召公谏厉王弭谤》

从善如登，从恶如崩。 ——《国语·周语》

*风萧萧兮易水寒，壮士一去兮不复还！ ——《战国策·荆轲刺秦王》

*仁义者，自完之道也，非进取之术也。 ——《战国策·燕策一》

行百里者，半于九十。 ——《战国策·秦策》

日中则移，月满则亏，物盛则衰。 ——《战国策·秦策》

前事不忘，后事之师。 ——《战国策·赵策》

见兔而顾犬，未为晚也；亡羊而补牢，未为迟也。 ——《战国策·楚策》

*不战而屈人之兵，善之善者也。 ——《孙子兵法·谋攻》

*知己知彼，百战不殆。 ——《孙子兵法·谋攻》

投之亡地然后存，陷之死地然后生。 ——《孙子兵法·九地》

兵者，国之大事，死生之地，存亡之道，不可不察也。 ——《孙子兵法·计》

*故善战者，见敌之所长，则知其所短；见敌之所不足，则知其所有余。 ——《孙膑兵法·奇正》

*天下皆知美之为美，斯恶已；皆知善之为善，斯不善已。 ——《老子·二章》

*曲则全，枉则直，洼则盈，敝则新，少则得，多则惑。 ——《老子·二十二章》

*人法地，地法天，天法道，道法自然。 ——《老子·二十五章》

知人者智，自知者明。 ——《老子·三十三章》

大直若屈，大巧若拙，大辩若讷。 ——《老子·四十五章》

*祸兮，福之所倚；福兮，祸之所伏。 ——《老子·五十八章》

*合抱之木，生于毫末；九层之台，起于累土；千里之行，始于足下。 ——《老子·六十四章》

天网恢恢，疏而不失。 ——《老子·七十三章》

民不畏死，奈何以死惧之？ ——《老子·七十四章》

*天下莫柔弱于水，而攻坚强者莫之能胜，其无以易之。（《老子·七十八章》）

信言不美，美言不信。（《老子·八十一章》）

天下难事，必作于易；天下大事，必作于细。（《老子·六十三章》）

*莫春者，春服既成，冠者五六人，童子六七人，浴乎沂，风乎舞雩，咏而归。（《论语·子路、曾皙、冉有、公西华侍坐》）

*不患寡而患不均，不患贫而患不安。盖均无贫，和无寡，安无倾。（《论语·季氏将伐颛臾》）

*学而时习之，不亦说乎？有朋自远方来，不亦乐乎？人不知而不愠，不亦君子乎？（《论语·学而》）

*君子食无求饱，居无求安，敏于事而慎于言，就有道而正焉，可谓好学也已。（《论语·学而》）

*弟子，入则孝，出则悌，谨而信，泛爱众，而亲仁。行有余力，则以学文。（《论语·学而》）

*巧言令色，鲜矣仁！（《论语·学而》）

*慎终，追远，民德归，厚矣。（《论语·学而》）

吾日三省吾身：为人谋而不忠乎？与朋友交而不信乎？传不习乎？（《论语·学而》）

*为政以德，譬如北辰，居其所而众星共之。（《论语·为政》）

*道之以德，齐之以礼，有耻且格。（《论语·为政》）

*温故而知新，可以为师矣。（《论语·为政》）

*人而无信，不知其可也。（《论语·为政》）

*学而不思则罔，思而不学则殆。（《论语·为政》）

*子曰："吾十有五而志于学，三十而立，四十而不惑，五十而知天命，六十而耳顺，七十而从心所欲，不逾矩。"（《论语·为政》）

*知之为知之，不知为不知，是知也。（《论语·为政》）

*人而不仁，如礼何？人而不仁，如乐何？（《论语·八佾》）

*君子喻于义，小人喻于利。（《论语·里仁》）

*见贤思齐焉，见不贤而内自省也。（《论语·里仁》）

*朝闻道，夕死可矣。（《论语·里仁》）

*敏而好学，不耻下问。（《论语·公冶长》）

*朽木不可雕也，粪土之墙，不可杇也。（《论语·公冶长》）

*夫仁者，己欲立而立人，己欲达而达人。（《论语·雍也》）

*质胜文则野，文胜质则史。文质彬彬，然后君子。（《论语·雍也》）

*知者乐水，仁者乐山。（《论语·雍也》）

*知之者不如好之者，好之者不如乐之者。（《论语·雍也》）

*三人行，必有我师焉。择其善者而从之，其不善者而改之。（《论语·述而》）

*不愤不启，不悱不发。举一隅不以三隅反，则不复也。（《论语·述而》）

*发愤忘食，乐以忘忧，不知老之将至云尔。（《论语·述而》）

*学而不厌，诲人不倦。（《论语·述而》）

*君子坦荡荡，小人长戚戚。（《论语·述而》）

*士不可以不弘毅，任重而道远。（《论语·泰伯》）

*岁寒，然后知松柏之后凋也。（《论语·子罕》）

后生可畏，焉知来者之不如今也？（《论语·子罕》）

三军可夺帅也，匹夫不可夺志也。（《论语·子罕》）

*百姓足，君孰与不足？百姓不足，君孰与足？（《论语·颜渊》）

*君子之德风，小人之德草。（《论语·颜渊》）

*君子敬而无失，与人恭而有礼，四海之内，皆兄弟也。（《论语·颜渊》）

*言必信，行必果。（《论语·子路》）

*其身正，不令而行；其身不正，虽令不从。（《论语·子路》）
*君子于其言，无所苟而已矣。（《论语·子路》）
*君子和而不同，小人同而不和。（《论语·子路》）
*君子耻其言而过其行。（《论语·宪问》）
*不患人之不己知，患其不能也。（《论语·宪问》）
*古之学者为己，今之学者为人。（《论语·宪问》）
*道不同，不相为谋。（《论语·卫灵公》）
*躬自厚而薄责于人，则远怨矣。（《论语·卫灵公》）
*君子求诸己，小人求诸人。（《论语·卫灵公》）
*过而不改，是谓过矣。（《论语·卫灵公》）
人无远虑，必有近忧。（《论语·卫灵公》）
*己所不欲，勿施于人。（《论语·卫灵公》）
*辞达而已矣。（《论语·卫灵公》）
工欲善其事，必先利其器。（《论语·卫灵公》）
*其未得之也，患得之；既得之，患失之。苟患失之，无所不至矣。（《论语·阳货》）
*饱食终日，无所用心，难矣哉！（《论语·阳货》）
*往者不可谏，来者犹可追。（《论语·微子》）
*博学而笃志，切问而近思，仁在其中矣。（《论语·子张》）
不以言举人，不以人废言。（《论语·卫灵公》）
小不忍则乱大谋。（《论语·卫灵公》）
知者不惑，仁者不忧，勇者不惧。（《论语·子罕》）
子在川上曰：逝者如斯夫，不舍昼夜。（《论语·子罕》）
仰之弥高，钻之弥坚。（《论语·子罕》）
*少见黑曰黑，多见黑曰白，则以此人不知白黑之辩矣。少尝苦曰苦，多尝苦曰甘，则必以此人为不知甘苦之辩矣。（《墨子·非攻上》）
*橘生淮南则为橘，生于淮北则为枳。（《晏子春秋》）
十年树木，百年树人。（《管子·权修》）
仓廪实而知礼节，衣食足而知荣辱。（《管子·牧民》）
*填然鼓之，兵刃既接，弃甲曳兵而走。或百步而后止，或五十步而后止。以五十步笑百步，则何如？（《孟子·梁惠王上·寡人之于国也》）
*不违农时，谷不可胜食也；数罟不入洿池，鱼鳖不可胜食也；斧斤以时入山林，材木不可胜用也。谷与鱼鳖不可胜食，材木不可胜用，是使民养生丧死无憾也。养生丧死无憾，王道之始也。（《孟子·梁惠王上·寡人之于国也》）
*权，然后知轻重；度，然后知长短。（《孟子·齐桓晋文之事》）
*老吾老，以及人之老；幼吾幼，以及人之幼。（《孟子·齐桓晋文之事》）
*富贵不能淫，贫贱不能移，威武不能屈，此之谓大丈夫。（《孟子·滕文公下》）
*鱼，我所欲也；熊掌，亦我所欲也。二者不可得兼，舍鱼而取熊掌者也。生，亦我所欲也；义，亦我所欲也。二者不可得兼，舍生而取义者也。（《孟子·鱼我所欲也》）
人性之善也，犹水之就下也。人无有不善，水无有不下。（《孟子·告子上》）
*恻隐之心，仁也；羞恶之心，义也；恭敬之心，礼也；是非之心，智也。（《孟子·告子上》）
*故天将降大任于是人也，必先苦其心志，劳其筋骨，饿其体肤，空乏其身，行拂乱其所为，所以动心忍性，曾益其所不能。（《孟子·生于忧患，死于安乐》）
*天时不如地利，地利不如人和。（《孟子·得道多助，失道寡助》）
*得道者多助，失道者寡助。寡助之至，亲戚畔之。多助之至，天下顺之。（《孟子·得道多助，失道寡助》）

穷则独善其身，达则兼济天下。（《孟子·尽心上》）

*民为贵，社稷次之，君为轻。（《孟子·尽心上》）

尽信书，不如无书。（《孟子·尽心下》）

无规矩，无以成方圆。（《孟子·离娄上》）

沧浪之水清兮，可以濯我缨；沧浪之水浊兮，可以濯我足。（《孟子·离娄上》）

如欲平治天下，当今之世，舍我其谁也？（《孟子·公孙丑下》）

杨子取为我，拔一毛而利天下，不为也。墨子兼爱，摩顶放踵利天下，为之。（《孟子·尽心上》）

贤者以其昭昭，使人昭昭。（《孟子·尽心下》）

*野语有之曰，"闻道百，以为莫己若"者，我之谓也。（《庄子·秋水》）

*有鱼焉，其广数千里，未有知其修者，其名为鲲。有鸟焉，其名为鹏，背若泰山，翼若垂天之云，抟扶摇羊角而上者九万里，绝云气，负青天，然后图南，且适南冥也。（《庄子·逍遥游》）

*至人无己，神人无功，圣人无名。（《庄子·逍遥游》）

吾生也有涯，而知也无涯。（《庄子·养生主》）

*彼节者有间，而刀刃者无厚；以无厚入有间，恢恢乎其于游刃必有余地矣！（《庄子·养生主》）

君子之交淡若水，小人之交甘若醴。（《庄子·山木》）

*长太息以掩涕兮，哀民生之多艰。（屈原《离骚》）

*亦余心之所善兮，虽九死其犹未悔。（屈原《离骚》）

*虽体解吾犹未变兮，岂余心之可惩？（屈原《离骚》）

*路曼曼其修远兮，吾将上下而求索。（屈原《离骚》）

尺有所短，寸有所长。（屈原《卜居》）

黄钟毁弃，瓦釜雷鸣；谗人高张，贤士无名。（屈原《卜居》）

闭心自慎，终不失过兮。秉德无私，参天地兮。（屈原《橘颂》）

其曲弥高，其和弥寡。（宋玉《对楚王问》）

*新沐者必弹冠，新浴者必振衣。（《楚辞·渔父》）

*人无礼义则乱，不知礼义则悖。（《荀子·性恶》）

天行有常，不为尧存，不为桀亡。（《荀子·天论》）

非我而当者，吾师也；是我而当者，吾友也；谄谀我者，吾贼也。（《荀子·修身》）

道虽迩，不行不至。事虽小，不为不成。（《荀子·修身》）

目不能两视而明，耳不能两听而聪。（《荀子·劝学》）

*蓬生麻中，不扶而直；白沙在涅，与之俱黑。（《荀子·劝学》）

*青，取之于蓝，而青于蓝。（《荀子·劝学》）

*不积跬步，无以至千里；不积小流，无以成江海。（《荀子·劝学》）

*假舆马者，非利足也，而致千里；假舟楫者，非能水也，而绝江河。君子生非异也，善假于物也。（《荀子·劝学》）

*锲而舍之，朽木不折；锲而不舍，金石可镂。（《荀子·劝学》）

不登高山，不知天之高也；不临深溪，不知地之厚也。（《荀子·劝学》）

千里之堤，溃于蚁穴。（《韩非子·喻老》）

*人之少也愚，其长也智。故智而用私，不若愚而用公。（《吕氏春秋·贵公》）

*闻而审，则为福矣；闻而不审，不若无闻矣。（《吕氏春秋·察传》）

流水不腐，户枢不蠹。（《吕氏春秋·尽数》）

以汤止沸，沸愈不止，去其火则止矣。（《吕氏春秋·尽数》）

*入境而问禁，入国而问俗，入门而问讳。（《礼记·曲礼上》）

*礼尚往来。往而不来，非礼也；来而不往，亦非礼也。（《礼记·曲礼上》）

君子之爱人也以德，细人之爱人也以姑息。（《礼记·檀弓上》）

学然后知不足，教然后知困。知不足，然后能自反也；知困，然后能自强也。（《礼记·学记》）
独学而无友，则孤陋而寡闻。（《礼记·学记》）
玉不琢，不成器；人不学，不知道。（《礼记·学记》）
一张一弛，文武之道。（《礼记·杂记下》）
凡事预则立，不预则废。（《礼记·中庸》）
博学之，审问之，慎思之，明辨之，笃行之。（《礼记·中庸》）
＊使老有所终，壮有所用，幼有所长，鳏寡孤独废疾者皆有所养。（《礼记·礼运》）
欲治其国者，先齐其家；欲齐其家者，先修其身。（《大学》）
塞翁失马，焉知非福。（《淮南子·说林训》）
泰山不让土壤，故能成其大；河海不择细流，故能就其深。（李斯《谏逐客书》）

二、两汉魏晋南北朝名句

＊胡人不敢南下而牧马，士不敢弯弓而报怨。（汉·贾谊《过秦论》）
＊一夫作难而七庙隳，身死人手，为天下笑者，何也？仁义不施而攻守之势异也。（汉·贾谊《过秦论》）
运筹策帷帐中，决胜千里外。（《史记·留侯世家》）
众口铄金，积毁销骨。（《史记·张仪列传》）
＊以地事秦，犹抱薪救火，薪不尽，火不灭。（《战国策·魏策》和《史记·魏世家》）
＊“离骚”者，犹离忧也。夫天者，人之始也；父母者，人之本也。人穷则反本，故劳苦倦极，未尝不呼天也；疾痛惨怛，未尝不呼父母也。（《史记·屈原列传》）
＊信而见疑，忠而被谤，能无怨乎？屈平之作《离骚》，盖自怨生也。（《史记·屈原列传》）
顾小而忘大，后必有害；狐疑犹豫，后必有悔。（《史记·李斯列传》）
＊今两虎共斗，其势不俱生。吾所以为此者，以先国家之急而后私仇也。（《史记·廉颇蔺相如列传》）
＊今者项庄拔剑舞，其意常在沛公也。（《史记·鸿门宴》）
＊大行不顾细谨，大礼不辞小让。如今人方为刀俎，我为鱼肉，何辞为？（《史记·鸿门宴》）
强弩之末，势不能穿鲁缟。（《史记·韩安国列传》）
桃李不言，下自成蹊。（《史记·李将军列传》）
智者千虑，必有一失；愚者千虑，必有一得。（《史记·淮阴侯列传》）
良药苦口利于病，忠言逆耳利于行。（《史记·魏其武安侯列传》）
不鸣则已，一鸣惊人。（《史记·滑稽列传》）
＊文王拘而演《周易》；仲尼厄而作《春秋》；屈原放逐，乃赋《离骚》；左丘失明，厥有《国语》；孙子膑脚，《兵法》修列；不韦迁蜀，世传《吕览》；韩非囚秦，《说难》《孤愤》；《诗》三百篇，大底圣贤发愤之所为作也。（西汉·司马迁《报任安书》）
＊人固有一死，或重于泰山，或轻于鸿毛，用之所趋异也。（西汉·司马迁《报任安书》）
＊亦欲以究天人之际，通古今之变，成一家之言。（西汉·司马迁《报任安书》）
若要人不知，除非己莫为。（枚乘《上书谏吴王》）
＊少而好学，如日出之阳；壮而好学，如日中之光；老而好学，如炳烛之明，孰与昧行乎？（西汉·刘向《说苑》）
＊临渊羡鱼，不如退而结网。（东汉·班固《汉书·董仲舒传》）
水至清则无鱼，人至察则无徒。（东汉·班固《汉书·东方朔传》）
＊今得杀身自效，虽蒙斧钺汤镬，诚甘乐之。（东汉·班固《汉书·苏武传》）
绳锯木断，水滴石穿。（东汉·班固《汉书·枚乘传》）
＊涉江采芙蓉，兰泽多芳草。采之欲遗谁？所思在远道。还顾望旧乡，长路漫浩浩。同心而离

居，忧伤以终老。（东汉《古诗十九首》）

*胡马依北风，越鸟巢南枝。（东汉《古诗十九首》）

人生天地间，忽如远行客。（东汉《古诗十九首》）

*河汉清且浅，相去复几许？盈盈一水间，脉脉不得语。（东汉《古诗十九首》）

悲歌可以当泣，远望可以当归。（汉乐府《悲歌》）

*上邪！我欲与君相知，长命无绝衰。山无陵，江水为竭，冬雷震震，夏雨雪，天地合，乃敢与君绝！（汉乐府《上邪》）

*行者见罗敷，下担捋髭须。少年见罗敷，脱帽著帩头。耕者忘其犁，锄者忘其锄。来归相怨怒，但坐观罗敷。（《乐府诗集·陌上桑》）

*百川东到海，何时复西归？少壮不努力，老大徒伤悲。（《乐府诗集·长歌行》）

*冰霜正惨悽，终岁常端正。岂不罹凝寒，松柏有本性！［三国·刘桢《赠从弟（其二）》］

*月明星稀，乌鹊南飞。绕树三匝，何枝可依？山不厌高，海不厌深。周公吐哺，天下归心。（三国·曹操《短歌行》）

*日月之行，若出其中；星汉灿烂，若出其里。（三国·曹操《观沧海》）

白骨露于野，千里无鸡鸣。（三国·曹操《蒿里行》）

*老骥伏枥，志在千里；烈士暮年，壮心不已。（三国·曹操《龟虽寿》）

*控弦破左的，右发摧月支。仰手接飞猱，俯身散马蹄。狡捷过猴猿，勇剽若豹螭。（三国·曹植《白马篇》）

*捐躯赴国难，视死忽如归。（三国·曹植《白马篇》）

高树多悲风，海水扬其波。（三国·曹植《野田黄雀行》）

丈夫志四海，万里犹比邻。（三国·曹植《赠白马王彪》）

才须学也，非学无以广才，非志无以成学。（三国·诸葛亮《诫子书》）

非淡泊无以明志，非宁静无以致远。（三国·诸葛亮《诫子书》）

*亲贤臣，远小人，此先汉所以兴隆也；亲小人，远贤臣，此后汉所以倾颓也。（三国·诸葛亮《出师表》）

岁月不居，时节如流。（三国·孔融《论盛孝章书》）

勿以恶小而为之，勿以善小而不为。（三国·刘备遗诏，引自西晋·陈寿《三国志·蜀书·先主传》）

*孤之有孔明，犹鱼之有水也。（西晋·陈寿《三国志·蜀书·诸葛亮传》）

士别三日，即更刮目相待。（西晋·陈寿《三国志·吴书·吕蒙传》）

与民共其乐者，人必忧其忧。（西晋·陈寿《三国志》）

*茕茕孑立，形影相吊。（西晋·李密《陈情表》）

*日薄西山，气息奄奄，人命危浅，朝不虑夕。（西晋·李密《陈情表》）

*臣无祖母，无以至今日；祖母无臣，无以终余年。母、孙二人，更相为命，是以区区不能废远。（西晋·李密《陈情表》）

近朱者赤，近墨者黑。（西晋·傅玄《太子少傅箴》）

何意百炼钢，化为绕指柔。（西晋·刘琨《重赠卢谌》）

盛年不重来，一日难再晨。及时当勉励，岁月不待人。（东晋·陶渊明《杂诗》）

亲戚或余悲，他人亦已歌。死去何所道，托体同山阿。（东晋·陶渊明《拟挽歌词》）

*悟已往之不谏，知来者之可追。实迷途其未远，觉今是而昨非。［东晋·陶渊明《归去来兮辞（并序）》］

*云无心以出岫，鸟倦飞而知还。景翳翳以将入，抚孤松而盘桓。［东晋·陶渊明《归去来兮辞（并序）》］

*采菊东篱下，悠然见南山。山气日夕佳，飞鸟相与还。（东晋·陶渊明《饮酒》）

*羁鸟恋旧林，池鱼思故渊。 [东晋·陶渊明《归园田居五首(其一)》]
*榆柳荫后檐，桃李罗堂前。暧暧远人村，依依墟里烟。 [东晋·陶渊明《归园田居五首(其一)》]
*久在樊笼里，复得返自然。 [东晋·陶渊明《归园田居五首(其一)》]
*雄发指危冠，猛气冲长缨。 (东晋·陶渊明《咏荆轲》)
奇文共欣赏，疑义相与析。 [东晋·陶渊明《移居二首(其一)》]
刑天舞干戚，猛志固常在。 (东晋·陶渊明《读山海经》)
*环堵萧然，不蔽风日；短褐穿结，箪瓢屡空，晏如也！ (东晋·陶渊明《五柳先生传》)
*不戚戚于贫贱，不汲汲于富贵。 (东晋·陶渊明《五柳先生传》)
*群贤毕至，少长咸集。此地有崇山峻岭，茂林修竹，又有清流激湍，映带左右，引以为流觞曲水，列坐其次。虽无丝竹管弦之盛，一觞一咏，亦足以畅叙幽情。 (东晋·王羲之《兰亭集序》)
*仰观宇宙之大，俯察品类之盛，所以游目骋怀，足以极视听之娱，信可乐也。
(东晋·王羲之《兰亭集序》)
机不可失，时不再来。 (《旧五代史·晋书》)
时危见臣节，世乱识忠良。 (南朝宋·鲍照《代出自蓟北门行》)
管中窥豹，时见一斑。 (南朝宋·刘义庆《世说新语·方正》)
盲人骑瞎马，夜半临深池。 (南朝宋·刘义庆《世说新语·排调》)
人患志之不立，亦何忧令名不彰邪？ (南朝宋·刘义庆《世说新语·自新》)
*池塘生春草，园柳变鸣禽。 (南朝宋·谢灵运《登池上楼》)
野旷沙岸净，天高秋月明。 (南朝宋·谢灵运《初去郡》)
失之东隅，收之桑榆。 (南朝宋·范晔《后汉书·冯异传》)
精诚所加，金石为开。 (南朝宋·范晔《后汉书·广陵思王荆传》)
盛名之下，其实难副。 (南朝宋·范晔《后汉书·黄琼传》)
皎皎者易缺，皦皦者易污。 (南朝宋·范晔《后汉书·黄琼传》)
不入虎穴，焉得虎子。 (南朝宋·范晔《后汉书·班超传》)
不患位之不尊，而患德之不崇。 (南朝宋·范晔《后汉书·张衡传》)
*余霞散成绮，澄江静如练。 (南朝齐·谢朓《晚登三山还望京邑》)
*虎豹无文，则鞟同犬羊；犀兕有皮，而色资丹漆，质待文也。 (南朝梁·刘勰《文心雕龙·情采》)
句有可削，足见其疏；字不得减，乃知其密。 (南朝梁·刘勰《文心雕龙·熔裁》)
登山则情满于山，观海则意溢于海。 (南朝梁·刘勰《文心雕龙·神思》)
文之思也，其神远矣。故寂然凝虑，思接千载；悄焉动容，视通万里；吟咏之间，吐纳珠玉之声；眉睫之前，卷舒风云之色。 (南朝梁·刘勰《文心雕龙·神思》)
操千曲而后晓声，观千剑而后识器。 (南朝梁·刘勰《文心雕龙·知音》)
*蝉噪林逾静，鸟鸣山更幽。 (南朝梁·王籍《入若耶溪》)
*水皆缥碧，千丈见底。游鱼细石，直视无碍。急湍甚箭，猛浪若奔。
(南朝梁·吴均《与朱元思书》)
*山际见来烟，竹中窥落日。鸟向檐上飞，云从窗里出。 (南朝梁·吴均《山中杂诗》)
*暮春三月，江南草长，杂花生树，群莺乱飞。 (南朝梁·丘迟《与陈伯之书》)
宁为玉碎，不为瓦全。 (《北齐书·元景安传》)
*足下蹑丝履，头上玳瑁光。腰若流纨素，耳著明月珰。指如削葱根，口如含朱丹。纤纤作细步，精妙世无双。 [《玉台新咏·孔雀东南飞(并序)》]
*君当作磐石，妾当作蒲苇。蒲苇纫如丝，磐石无转移。 [《玉台新咏·孔雀东南飞(并序)》]

三、唐五代名句

疾风知劲草，板荡识诚臣。 (唐·李世民《赐萧瑀》)

以铜为镜，可以正衣冠；以古为镜，可以知兴替；以人为镜，可以明得失。
（唐·吴兢《贞观政要·任贤》）

* 求木之长者，必固其根本；欲流之远者，必浚其泉源；思国之安者，必积其德义。（唐·魏徵《谏太宗十思疏》）
* 竭诚则吴越为一体，傲物则骨肉为行路。（唐·魏徵《谏太宗十思疏》）
* 怨不在大，可畏惟人；载舟覆舟，所宜深慎。（唐·魏徵《谏太宗十思疏》）
九月寒砧催木叶，十年征戍忆辽阳。（唐·沈佺期《古意》）
* 物华天宝，龙光射牛斗之墟；人杰地灵，徐孺下陈蕃之榻。（唐·王勃《滕王阁序》）
* 落霞与孤鹜齐飞，秋水共长天一色。（唐·王勃《滕王阁序》）
* 老当益壮，宁移白首之心；穷且益坚，不坠青云之志。（唐·王勃《滕王阁序》）
* 闲云潭影日悠悠，物换星移几度秋。（唐·王勃《滕王阁诗》）
* 海内存知己，天涯若比邻。无为在歧路，儿女共沾巾。（唐·王勃《送杜少府之任蜀州》）
* 长江悲已滞，万里念将归。况属高风晚，山山黄叶飞。（唐·王勃《山中》）
* 宁为百夫长，胜作一书生。（唐·杨炯《从军行》）
* 近乡情更怯，不敢问来人。（唐·宋之问《渡汉江》）
* 前不见古人，后不见来者。念天地之悠悠，独怆然而涕下！（唐·陈子昂《登幽州台歌》）
* 江畔何人初见月？江月何年初照人？（唐·张若虚《春江花月夜》）
* 人生代代无穷已，江月年年只相似。（唐·张若虚《春江花月夜》）
* 海上生明月，天涯共此时。（唐·张九龄《望月怀远》）
相知无远近，万里尚为邻。（唐·张九龄《送韦城李少府》）
* 春眠不觉晓，处处闻啼鸟。夜来风雨声，花落知多少！（唐·孟浩然《春晓》）
* 气蒸云梦泽，波撼岳阳城。（唐·孟浩然《望洞庭湖赠张丞相》）
* 野旷天低树，江清月近人。（唐·孟浩然《宿建德江》）
* 绿树村边合，青山郭外斜。（唐·孟浩然《过故人庄》）
* 人事有代谢，往来成古今。（唐·孟浩然《与诸子登岘首》）
年年岁岁花相似，岁岁年年人不同。（唐·刘希夷《代悲白头翁》）
* 羌笛何须怨杨柳，春风不度玉门关。（唐·王之涣《凉州词》）
* 欲穷千里目，更上一层楼。（唐·王之涣《登鹳雀楼》）
* 不知细叶谁裁出，二月春风似剪刀。（唐·贺知章《咏柳》）
惟有门前镜湖水，春风不改旧时波。（唐·贺知章《回乡偶书》）
* 但使龙城飞将在，不教胡马度阴山。（唐·王昌龄《出塞》）
* 曲径通幽处，禅房花木深。山光悦鸟性，潭影空人心。（唐·常建《题破山寺后禅院》）
* 寒山转苍翠，秋水日潺湲。（唐·王维《辋川闲居赠裴秀才迪》）
* 漠漠水田飞白鹭，阴阴夏木啭黄鹂。（唐·王维《积雨辋川庄作》）
* 惟有相思似春色，江南江北送君归。（唐·王维《送沈子福之江东》）
* 深林人不知，明月来相照。（唐·王维《竹里馆》）
* 月出惊山鸟，时鸣春涧中。（唐·王维《鸟鸣涧》）
* 独在异乡为异客，每逢佳节倍思亲。遥知兄弟登高处，遍插茱萸少一人。（唐·王维《九月九日忆山东兄弟》）
* 劝君更尽一杯酒，西出阳关无故人。（唐·王维《送元二使安西》）
* 草枯鹰眼疾，雪尽马蹄轻。（唐·王维《观猎》）
* 明月松间照，清泉石上流。竹喧归浣女，莲动下渔舟。（唐·王维《山居秋暝》）
* 江流天地外，山色有无中。（唐·王维《汉江临泛》）
* 大漠孤烟直，长河落日圆。（唐·王维《使至塞上》）

* 潮平两岸阔，风正一帆悬。海日生残夜，江春入旧年。（唐·王湾《次北固山下》）
* 两岸青山相对出，孤帆一片日边来。（唐·李白《望天门山》）
* 飞流直下三千尺，疑是银河落九天。（唐·李白《望庐山瀑布》）
* 孤帆远影碧空尽，唯见长江天际流。（唐·李白《黄鹤楼送孟浩然之广陵》）
* 举杯邀明月，对影成三人。（唐·李白《月下独酌》）
* 床前明月光，疑是地上霜。举头望明月，低头思故乡。（唐·李白《静夜思》）
* 白发三千丈，缘愁似个长。不知明镜里，何处得秋霜。（唐·李白《秋浦歌》）
* 峨眉山月半轮秋，影入平羌江水流。夜发清溪向三峡，思君不见下渝州。（唐·李白《峨眉山月歌》）
* 谁家玉笛暗飞声，散入春风满洛城。此夜曲中闻折柳，何人不起故园情！（唐·李白《春夜洛城闻笛》）
* 抽刀断水水更流，举杯销愁愁更愁。人生在世不称意，明朝散发弄扁舟。（唐·李白《宣州谢朓楼饯别校书叔云》）
* 浮云游子意，落日故人情。（唐·李白《送友人》）
* 安能摧眉折腰事权贵，使我不得开心颜！（唐·李白《梦游天姥吟留别》）
* 君不见黄河之水天上来，奔流到海不复回。（唐·李白《将进酒》）
* 天生我材必有用，千金散尽还复来。（唐·李白《将进酒》）
* 上有六龙回日之高标，下有冲波逆折之回川。黄鹤之飞尚不得过，猿猱欲度愁攀援。（唐·李白《蜀道难》）
* 一夫当关，万夫莫开。（唐·李白《蜀道难》）
* 长风破浪会有时，直挂云帆济沧海。[唐·李白《行路难（其一）》]
* 月下飞天镜，云生结海楼。仍怜故乡水，万里送行舟。（唐·李白《渡荆门送别》）
* 我寄愁心与明月，随风直到夜郎西。（唐·李白《闻王昌龄左迁龙标遥有此寄》）
* 客心洗流水，馀响入霜钟。（唐·李白《听蜀僧濬弹琴》）

清水出芙蓉，天然去雕饰。（唐·李白《论诗》）

人攀明月不可得，月行却与人相随。（唐·李白《把酒问月》）

大鹏一日同风起，扶摇直上九万里。（唐·李白《上李邕》）

燕山雪花大如席，片片吹落轩辕台。（唐·李白《北风行》）

* 战士军前半死生，美人帐下犹歌舞。（唐·高适《燕歌行》）
* 莫愁前路无知己，天下谁人不识君？[唐·高适《别董大（其一）》]
* 忽如一夜春风来，千树万树梨花开。（唐·岑参《白雪歌送武判官归京》）
* 山回路转不见君，雪上空留马行处。（唐·岑参《白雪歌送武判官归京》）
* 轮台九月风夜吼，一川碎石大如斗，随风满地石乱走。（唐·岑参《走马川行奉送封大夫出师西征》）
* 故园东望路漫漫，双袖龙钟泪不干。马上相逢无纸笔，凭君传语报平安。（唐·岑参《逢入京使》）

古来青史谁不见，今见功名胜古人。（唐·岑参《轮台歌奉送封大夫出师西征》）

* 晴川历历汉阳树，芳草萋萋鹦鹉洲。日暮乡关何处是？烟波江上使人愁。（唐·崔颢《黄鹤楼》）
* 岱宗夫如何？齐鲁青未了。造化钟神秀，阴阳割昏晓。荡胸生层云，决眦入归鸟。会当凌绝顶，一览众山小。（唐·杜甫《望岳》）
* 不薄今人爱古人，清词丽句必为邻。（唐·杜甫《戏为六绝句》）
* 尔曹身与名俱灭，不废江河万古流。（唐·杜甫《戏为六绝句》）
* 好雨知时节，当春乃发生。随风潜入夜，润物细无声。（唐·杜甫《春夜喜雨》）
* 无边落木萧萧下，不尽长江滚滚来。万里悲秋常作客，百年多病独登台。（杜甫《登高》）

*安得广厦千万间，大庇天下寒士俱欢颜！风雨不动安如山。呜呼！何时眼前突兀见此屋，吾庐独破受冻死亦足！（唐·杜甫《茅屋为秋风所破歌》）

*映阶碧草自春色，隔叶黄鹂空好音。（唐·杜甫《蜀相》）

*出师未捷身先死，长使英雄泪满襟。（唐·杜甫《蜀相》）

*君不见青海头，古来白骨无人收。新鬼烦冤旧鬼哭，天阴雨湿声啾啾。（唐·杜甫《兵车行》）

*星垂平野阔，月涌大江流。（唐·杜甫《旅夜书怀》）

*寒衣处处催刀尺，白帝城高急暮砧。[唐·杜甫《秋兴八首（其一）》]

*千载琵琶作胡语，分明怨恨曲中论。[唐·杜甫《咏怀古迹（其三）》]

*吴楚东南坼，乾坤日夜浮。（唐·杜甫《登岳阳楼》）

*露从今夜白，月是故乡明。（唐·杜甫《月夜忆舍弟》）

*香雾云鬟湿，清辉玉臂寒。何时倚虚幌，双照泪痕干？（唐·杜甫《月夜》）

*国破山河在，城春草木深。感时花溅泪，恨别鸟惊心。烽火连三月，家书抵万金。白头搔更短，浑欲不胜簪。（唐·杜甫《春望》）

笔落惊风雨，诗成泣鬼神。（唐·杜甫《寄李十二白二十韵》）

文章千古事，得失寸心知。（唐·杜甫《偶题》）

读书破万卷，下笔如有神。（唐·杜甫《奉赠韦左丞丈二十二韵》）

为人性僻耽佳句，语不惊人死不休。（唐·杜甫《江上值水如海势聊短述》）

白也诗无敌，飘然思不群。（唐·杜甫《春日忆李白》）

人生不相见，动如参与商。（唐·杜甫《赠卫八处士》）

朱门酒肉臭，路有冻死骨。（唐·杜甫《自京赴奉先县咏怀五百字》）

射人先射马，擒贼先擒王。[唐·杜甫《前出塞（其六）》]

新松恨不高千尺，恶竹应须斩万竿！[唐·杜甫《将赴成都草堂途中有作先寄严郑公（其四）》]

细雨鱼儿出，微风燕子斜。[唐·杜甫《水槛遣心（其一）》]

*苍苍竹林寺，杳杳钟声晚。荷笠带夕阳，青山独归远。（唐·刘长卿《送灵澈上人》）

*秋草独寻人去后，寒林空见日斜时。（唐·刘长卿《长沙过贾谊宅》）

细雨湿衣看不见，闲花落地听无声。（唐·刘长卿《送严士元》）

*柴门闻犬吠，风雪夜归人。（唐·刘长卿《逢雪宿芙蓉山主人》）

*不知近水花先发，疑是经冬雪未销。（唐·张谓《早梅》）

*独怜幽草涧边生，上有黄鹂深树鸣。春潮带雨晚来急，野渡无人舟自横。（唐·韦应物《滁州西涧》）

*旅馆谁相问？寒灯独可亲。一年将尽夜，万里未归人。（唐·戴叔伦《除夜宿石头驿》）

青春须早为，岂能长少年。（唐·孟郊《劝学》）

春风得意马蹄疾，一日看尽长安花。（唐·孟郊《登科后》）

谁言寸草心，报得三春晖。（唐·孟郊《游子吟》）

两句三年得，一吟双泪流。（唐·贾岛《题诗后》）

秋风生渭水，落叶满长安。（唐·贾岛《忆江上吴处士》）

十年磨一剑，霜刃未曾试。（唐·贾岛《剑客》）

吟安一个字，捻断数茎须。（唐·卢延让《苦吟》）

*黑云压城城欲摧，甲光向日金鳞开。（唐·李贺《雁门太守行》）

*此马非凡马，房星本是星。向前敲瘦骨，犹自带铜声。（唐·李贺《马诗》）

*男儿何不带吴钩，收取关山五十州？请君暂上凌烟阁，若个书生万户侯？[唐·李贺《南园（其五）》]

*女娲炼石补天处，石破天惊逗秋雨。（唐·李贺《李凭箜篌引》）

衰兰送客咸阳道，天若有情天亦老。（唐·李贺《金铜仙人辞汉歌》）

＊天街小雨润如酥，草色遥看近却无。 [唐·韩愈《早春呈水部张十八员外(其一)》]
＊浮云柳絮无根蒂，天地阔远随飞扬。 (唐·韩愈《听颖师弹琴》)
业精于勤，荒于嬉；行成于思，毁于随。 (唐·韩愈《进学解》)
李杜文章在，光焰万丈长。 (唐·韩愈《调张籍》)
蚍蜉撼大树，可笑不自量。 (唐·韩愈《调张籍》)
＊世有伯乐，然后有千里马。千里马常有，而伯乐不常有。 (唐·韩愈《马说》)
＊古之学者必有师。师者，所以传道受业解惑也。 (唐·韩愈《师说》)
＊无贵无贱，无长无少，道之所存，师之所存也。 (唐·韩愈《师说》)
＊弟子不必不如师，师不必贤于弟子，闻道有先后，术业有专攻，如是而已。 (唐·韩愈《师说》)
＊欲为圣明除弊事，肯将衰朽惜残年！云横秦岭家何在？雪拥蓝关马不前。
(唐·韩愈《左迁至蓝关示侄孙湘》)
惟陈言之务去。 (唐·韩愈《答李翊书》)
坐井而观天，曰天小者，非天小也。 (唐·韩愈《原道》)
不塞不流，不止不行。 (唐·韩愈《原道》)
白雪却嫌春色晚，故穿庭树作飞花。 (唐·韩愈《春雪》)
＊残灯无焰影幢幢，此夕闻君谪九江。垂死病中惊坐起，暗风吹雨入寒窗。
(唐·元稹《闲乐天授江州司马》)
＊山水万重书断绝，念君怜我梦相闻。我今因病魂颠倒，惟梦闲人不梦君！
(唐·元稹《酬乐天频梦微之》)
不是花中偏爱菊，此花开尽更无花。 (唐·元稹《菊花》)
曾经沧海难为水，除却巫山不是云。 [唐·元稹《离思(其四)》]
＊旧时王谢堂前燕，飞入寻常百姓家。 (唐·刘禹锡《乌衣巷》)
＊东边日出西边雨，道是无晴还有晴。 [唐·刘禹锡《竹枝词(其一)》]
＊晴空一鹤排云上，便引诗情到碧霄。 (唐·刘禹锡《秋词》)
＊沉舟侧畔千帆过，病树前头万木春。 (唐·刘禹锡《酬乐天扬州初逢席上见赠》)
＊山不在高，有仙则名。水不在深，有龙则灵。斯是陋室，惟吾德馨。苔痕上阶绿，草色入帘青。谈笑有鸿儒，往来无白丁。 (唐·刘禹锡《陋室铭》)
莫道桑榆晚，为霞尚满天。 (唐·刘禹锡《酬乐天咏老见示》)
人生几回伤往事，山形依旧枕寒流。 (唐·刘禹锡《西塞山怀古》)
千淘万漉虽辛苦，吹尽狂沙始到金。 [唐·刘禹锡《浪淘沙(其八)》]
请君莫奏前朝曲，听唱新翻《杨柳枝》。 [唐·刘禹锡《杨柳枝词(其一)》]
＊去年今日此门中，人面桃花相映红。人面不知何处去，桃花依旧笑春风。
(唐·崔护《题都城南庄》)
假金只用真金镀，若是真金不镀金。 (唐·李绅《答章孝标》)
苦恨年年压金线，为他人作嫁衣裳！ (唐·秦韬玉《贫女》)
＊今夜月明人尽望，不知秋思落谁家。 (唐·王建《十五夜望月》)
海阔凭鱼跃，天高任鸟飞。 (唐·僧云览诗中之句)
罄南山之竹，书罪无穷；决东海之波，流恶难尽。 (唐·祖君彦《为李密檄洛州文》)
残星几点雁横塞，长笛一声人倚楼。 (唐·赵嘏《长安秋望》)
鸡声茅店月，人迹板桥霜。 (唐·温庭筠《商山早行》)
溪云初起日沉阁，山雨欲来风满楼。 (唐·许浑《咸阳城西楼晚眺》)
＊春风一夜吹乡梦，又逐春风到洛城。 (唐·武元衡《春兴》)
＊一道残阳铺水中，半江瑟瑟半江红。 (唐·白居易《暮江吟》)
＊几处早莺争暖树，谁家新燕啄春泥。乱花渐欲迷人眼，浅草才能没马蹄。
(唐·白居易《钱塘湖春行》)

* 千呼万唤始出来，犹抱琵琶半遮面。 [唐·白居易《琵琶行(并序)》]
* 嘈嘈切切错杂弹，大珠小珠落玉盘。 [唐·白居易《琵琶行(并序)》]
* 别有幽愁暗恨生，此时无声胜有声。 [唐·白居易《琵琶行(并序)》]
* 同是天涯沦落人，相逢何必曾相识！ [唐·白居易《琵琶行(并序)》]
* 日出江花红胜火，春来江水绿如蓝。能不忆江南？ [唐·白居易《忆江南(其一)》]
* 山寺月中寻桂子，郡亭枕上看潮头。 [唐·白居易《忆江南(其二)》]
* 回眸一笑百媚生，六宫粉黛无颜色。 (唐·白居易《长恨歌》)
* 上穷碧落下黄泉，两处茫茫皆不见。 (唐·白居易《长恨歌》)
* 在天愿作比翼鸟，在地愿为连理枝。 (唐·白居易《长恨歌》)
* 天长地久有时尽，此恨绵绵无绝期。 (唐·白居易《长恨歌》)
* 绿蚁新醅酒，红泥小火炉。晚来天欲雪，能饮一杯无？ (唐·白居易《问刘十九》)
* 共看明月应垂泪，一夜乡心五处同。 (唐·白居易《望月有感》)
* 感人心者，莫先乎情，莫始乎言，莫切乎声，莫深乎义。诗者，根情，苗言，华声，实义。 (唐·白居易《与元九书》)

文章合为时而著，歌诗合为事而作。 (唐·白居易《与元九书》)
野火烧不尽，春风吹又生。 (唐·白居易《赋得古原草送别》)
试玉要烧三日满，辨材须待七年期。 (唐·白居易《放言》)
* 千里莺啼绿映红，水村山郭酒旗风。 (唐·杜牧《江南春绝句》)
* 停车坐爱枫林晚，霜叶红于二月花。 (唐·杜牧《山行》)
* 五步一楼，十步一阁；廊腰缦回，檐牙高啄；各抱地势，钩心斗角。盘盘焉，囷囷焉，蜂房水涡，矗不知其几千万落。长桥卧波，未云何龙？复道行空，不霁何虹？高低冥迷，不知西东。 (唐·杜牧《阿房宫赋》)
* 明星荧荧，开妆镜也；绿云扰扰，梳晓鬟也；渭流涨腻，弃脂水也；烟斜雾横，焚椒兰也。 (唐·杜牧《阿房宫赋》)
* 使负栋之柱，多于南亩之农夫；架梁之椽，多于机上之工女；钉头磷磷，多于在庾之粟粒；瓦缝参差，多于周身之帛缕；直栏横槛，多于九土之城郭；管弦呕哑，多于市人之言语。 (唐·杜牧《阿房宫赋》)
* 秦人不暇自哀，而后人哀之；后人哀之而不鉴之，亦使后人而复哀后人也。 (唐·杜牧《阿房宫赋》)
* 商女不知亡国恨，隔江犹唱后庭花。 (唐·杜牧《泊秦淮》)
* 一骑红尘妃子笑，无人知是荔枝来。 (唐·杜牧《过华清宫绝句》)
* 胜败兵家事不期，包羞忍耻是男儿。 (唐·杜牧《题乌江亭》)
* 东风不与周郎便，铜雀春深锁二乔。 (唐·杜牧《赤壁》)
二十四桥明月夜，玉人何处教吹箫？ (唐·杜牧《寄扬州韩绰判官》)
蜡烛有心还惜别，替人垂泪到天明。 [唐·杜牧《赠别(其二)》]
天阶夜色凉如水，卧看牵牛织女星。 (唐·杜牧《秋夕》)
石麟埋没藏春草，铜雀荒凉对暮云。 (唐·温庭筠《过陈琳墓》)
* 春蚕到死丝方尽，蜡炬成灰泪始干。 (唐·李商隐《无题》)
* 沧海月明珠有泪，蓝田日暖玉生烟。 (唐·李商隐《锦瑟》)
* 身无彩凤双飞翼，心有灵犀一点通。 [唐·李商隐《无题(其一)》]
* 何当共剪西窗烛，却话巴山夜雨时。 (唐·李商隐《夜雨寄北》)
* 可怜夜半虚前席，不问苍生问鬼神。 (唐·李商隐《贾生》)
* 天意怜幽草，人间重晚晴。 (唐·李商隐《晚晴》)
夕阳无限好，只是近黄昏。 (唐·李商隐《乐游原》)

* 时人不识凌云木，直待凌云始道高。（唐·杜荀鹤《小松》）

风暖鸟声碎，日高花影重。（唐·杜荀鹤《春宫怨》）

凭君莫话封侯事，一将功成万骨枯。（唐·曹松《己亥岁》）

丈夫非无泪，不洒离别间。（唐·陆龟蒙《别离》）

身是菩提树，心如明镜台。时时勤拂拭，勿使惹尘埃。（唐·神秀《神秀偈》）

* 劝君莫惜金缕衣，劝君惜取少年时。有花堪折直须折，莫待无花空折枝。（唐·佚名《金缕衣》）

* 春花秋月何时了，往事知多少？小楼昨夜又东风，故国不堪回首月明中。雕栏玉砌应犹在，只是朱颜改。问君能有几多愁？恰似一江春水向东流。（南唐·李煜《虞美人》）

* 独自莫凭栏，无限江山，别时容易见时难。流水落花春去也，天上人间！（南唐·李煜《浪淘沙令》）

* 剪不断，理还乱，是离愁。别是一般滋味在心头。（南唐·李煜《相见欢》）

* 落花人独立，微雨燕双飞。（五代·翁宏《春残》）

四、宋金名句

* 夏宜急雨，有瀑布声；冬宜密雪，有碎玉声。宜鼓琴，琴调虚畅；宜咏诗，诗韵清绝；宜围棋，子声丁丁然；宜投壶，矢声铮铮然。（北宋·王禹偁《黄州新建小竹楼记》）

疏影横斜水清浅，暗香浮动月黄昏。（北宋·林逋《山园小梅》）

云山苍苍，江水泱泱，先生之风，山高水长。（北宋·范仲淹《严先生祠堂记》）

* 先天下之忧而忧，后天下之乐而乐。（北宋·范仲淹《岳阳楼记》）

* 羌管悠悠霜满地。人不寐，将军白发征夫泪。（北宋·范仲淹《渔家傲》）

* 无可奈何花落去，似曾相识燕归来。小园香径独徘徊。（北宋·晏殊《浣溪沙》）

* 昨夜西风凋碧树，独上高楼，望尽天涯路。（北宋·晏殊《蝶恋花》）

* 池上碧苔三四点，叶底黄鹂一两声，日长飞絮轻。（北宋·晏殊《破阵子》）

* 沙上并禽池上暝，云破月来花弄影。（北宋·张先《天仙子》）

绿杨烟外晓寒轻，红杏枝头春意闹。（北宋·宋祁《玉楼春》）

* 好峰随处改，幽径独行迷。霜落熊升树，林空鹿饮溪。（北宋·梅尧臣《鲁山山行》）

* 夫祸患常积于忽微，而智勇多困于所溺。（北宋·欧阳修《五代史·伶官传序》）

* 泪眼问花花不语，乱红飞过秋千去。（北宋·欧阳修《蝶恋花》）

* 醉翁之意不在酒，在乎山水之间也。山水之乐，得之心而寓之酒也。（北宋·欧阳修《醉翁亭记》）

* 若夫日出而林霏开，云归而岩穴暝，晦明变化者，山间之朝暮也。野芳发而幽香，佳木秀而繁阴，风霜高洁，水落而石出者，山间之四时也。（北宋·欧阳修《醉翁亭记》）

* 初淅沥以萧飒，忽奔腾而砰湃，如波涛夜惊，风雨骤至。其触于物也，钦钦铮铮，金铁皆鸣；又如赴敌之兵，衔枚疾走，不闻号令，但闻人马之行声。（北宋·欧阳修《秋声赋》）

* 其色惨淡，烟霏云敛；其容清明，天高日晶；其气栗冽，砭人肌骨；其意萧条，山川寂寥。故其为声也，凄凄切切，呼号愤发。丰草绿缛而争茂，佳木葱茏而可悦。草拂之而色变，木遭之而叶脱。其所以摧败零落者，乃其一气之余烈。（北宋·欧阳修《秋声赋》）

* 所守者道义，所行者忠信，所惜者名节。（北宋·欧阳修《朋党论》）

* 羲之之书晚乃善，则其所能，盖亦以精力自致者，非天成也。然后世未有能及者，岂其学不如彼邪？则学固岂可以少哉！况欲深造道德者邪？（北宋·曾巩《墨池记》）

* 不忍登高临远，望故乡渺邈，归思难收。（北宋·柳永《八声甘州》）

* 烟柳画桥，风帘翠幕，参差十万人家。云树绕堤沙，怒涛卷霜雪，天堑无涯。（北宋·柳永《望海潮》）

* 重湖叠巘清嘉，有三秋桂子，十里荷花。羌管弄晴，菱歌泛夜，嬉嬉钓叟莲娃。

（北宋·柳永《望海潮》）

* 衣带渐宽终不悔，为伊消得人憔悴。（北宋·柳永《蝶恋花》）

* 念去去，千里烟波，暮霭沉沉楚天阔。　多情自古伤离别，更那堪，冷落清秋节！

（北宋·柳永《雨霖铃》）

* 今宵酒醒何处？杨柳岸，晓风残月。（北宋·柳永《雨霖铃》）

* 呜呼！以赂秦之地封天下之谋臣，以事秦之心礼天下之奇才，并力西向，则吾恐秦人食之不得下咽也。悲夫！有如此之势，而为秦人积威之所劫，日削月割，以趋于亡。为国者无使为积威之所劫哉！（北宋·苏洵《六国论》）

泰山崩于前而色不变，麋鹿兴于左而目不瞬。（北宋·苏洵《嘉祐集·权书上》）

* 盖天下之乐无穷，而以适意为悦。（北宋·苏辙《武昌九曲亭记》）

* 其走者闻风声鹤唳，皆以为晋兵且至，昼夜不敢息，草行露宿，重以饥冻，死者什七、八。

（北宋·司马光《资治通鉴·淝水之战》）

* 兼听则明，偏信则暗。（北宋·司马光《资治通鉴》）

* 予独爱莲之出淤泥而不染，濯清涟而不妖。（北宋·周敦颐《爱莲说》）

* 春风又绿江南岸，明月何时照我还？（北宋·王安石《泊船瓜洲》）

* 爆竹声中一岁除，春风送暖入屠苏。千门万户曈曈日，总把新桃换旧符。

（北宋·王安石《元日》）

* 不畏浮云遮望眼，自（只）缘身在最高层。（北宋·王安石《登飞来峰》）

* 一水护田将绿绕，两山排闼送青来。（北宋·王安石《书湖阴先生壁》）

* 古人之观于天地、山川、草木、虫鱼、鸟兽，往往有得，以其求思之深而无不在也。夫夷以近，则游者众；险以远，则至者少。而世之奇伟、瑰怪、非常之观，常在于险远，而人之所罕至焉，故非有志者不能至也。（北宋·王安石《游褒禅山记》）

* 国以任贤使能而兴，弃贤专己而衰。（北宋·王安石《兴贤》）

* 六朝旧事随流水，但寒烟衰草凝绿。至今商女，时时犹唱，《后庭》遗曲。

（北宋·王安石《桂枝香》）

* 欲把西湖比西子，淡妆浓抹总相宜。（北宋·苏轼《饮湖上初晴后雨》）

* 不识庐山真面目，只缘身在此山中。（北宋·苏轼《题西林壁》）

* 大江东去，浪淘尽，千古风流人物。（北宋·苏轼《念奴娇·赤壁怀古》）

* 乱石穿空，惊涛拍岸，卷起千堆雪。江山如画，一时多少豪杰！

（北宋·苏轼《念奴娇·赤壁怀古》）

* 持节云中，何日遣冯唐？会挽雕弓如满月，西北望，射天狼。

（北宋·苏轼《江城子·密州出猎》）

* 人有悲欢离合，月有阴晴圆缺，此事古难全。但愿人长久，千里共婵娟。

（北宋·苏轼《水调歌头》）

古之成大事者，不惟有超士之才，亦有坚忍不拔之志。（北宋·苏轼《晁错论》）

* 事不目见耳闻，而臆断其有无，可乎？（北宋·苏轼《石钟山记》）

* 十年生死两茫茫。不思量，自难忘。千里孤坟，无处话凄凉。纵使相逢应不识，尘满面，鬓如霜。（北宋·苏轼《江城子·乙卯正月二十日夜记梦》）

* 白露横江，水光接天。纵一苇之所如，凌万顷之茫然。浩浩乎如冯虚御风，而不知其所止；飘飘乎如遗世独立，羽化而登仙。（北宋·苏轼《赤壁赋》）

* 其声呜呜然，如怨如慕，如泣如诉，余音袅袅，不绝如缕。舞幽壑之潜蛟，泣孤舟之嫠妇。

（北宋·苏轼《赤壁赋》）

* 江流有声，断岸千尺。山高月小，水落石出。（北宋·苏轼《后赤壁赋》）

* 天下有大勇者，卒然临之而不惊，无故加之而不怒。（北宋·苏轼《留侯论》）
* 谁道人生无再少？门前流水尚能西！休将白发唱黄鸡。（北宋·苏轼《浣溪沙》）
* 庭中如积水空明，水中藻、荇交横，盖竹柏影也。（北宋·苏轼《记承天寺夜游》）
* 荷尽已无擎雨盖，菊残犹有傲霜枝。一年好景君须记，最是橙黄橘绿时。（北宋·苏轼《赠刘景文》）
* 莫听穿林打叶声，何妨吟啸且徐行。竹杖芒鞋轻胜马。谁怕？一蓑烟雨任平生。（北宋·苏轼《定风波》）
* 缺月挂疏桐，漏断人初静。谁见幽人独往来，缥缈孤鸿影。（北宋·苏轼《卜算子·黄州定慧院寓居作》）

枝上柳绵吹又少，天涯何处无芳草！（北宋·苏轼《蝶恋花》）
* 人之学也，不志其大，虽多而何为？（北宋·苏辙《上枢密韩太尉书》）
* 风无雄雌之异，而人有遇不遇之变。（北宋·苏辙《黄州快哉亭记》）
* 春无踪迹谁知？除非问取黄鹂。（北宋·黄庭坚《清平乐》）

嬉笑怒骂，皆成文章。（北宋·黄庭坚《东坡先生真赞》）
* 落木千山天远大，澄江一道月分明。（北宋·黄庭坚《登快阁》）
* 自在飞花轻似梦，无边丝雨细如愁。（北宋·秦观《浣溪沙》）
* 两情若是久长时，又岂在朝朝暮暮！（北宋·秦观《鹊桥仙》）
* 可堪孤馆闭春寒，杜鹃声里斜阳暮。（北宋·秦观《踏莎行》）
* 一川烟草，满城风絮，梅子黄时雨！（北宋·贺铸《青玉案》）
* 我住长江头，君住长江尾，日日思君不见君，共饮长江水。（北宋·李之仪《卜算子》）
* 燎沈香，消溽暑。鸟雀呼晴，侵晓窥檐语。叶上初阳乾宿雨，水面清圆，一一风荷举。（北宋·周邦彦《苏幕遮》）

梅须逊雪三分白，雪却输梅一段香。（北宋·卢梅坡《雪梅》）
* 生当作人杰，死亦为鬼雄。（南宋·李清照《夏日绝句》）
* 兴尽晚回舟，误入藕花深处。争渡，争渡，惊起一滩鸥鹭。（南宋·李清照《如梦令》）
* 寻寻觅觅，冷冷清清，凄凄惨惨戚戚。（南宋·李清照《声声慢》）
* 雁过也，正伤心，却是旧时相识。　满地黄花堆积，憔悴损，如今有谁堪摘？（南宋·李清照《声声慢》）
* 梧桐更兼细雨，到黄昏、点点滴滴。这次第，怎一个愁字了得！（南宋·李清照《声声慢》）
* 莫道不销魂，帘卷西风，人比黄花瘦。（南宋·李清照《醉花阴》）
* 闻说双溪春尚好，也拟泛轻舟。只恐双溪舴艋舟，载不动许多愁。（南宋·李清照《武陵春》）
* 暗淡轻黄体性柔，情疏迹远只香留。何须浅碧深红色，自是花中第一流。（南宋·李清照《鹧鸪天》）
* 小荷才露尖尖角，早有蜻蜓立上头。（南宋·杨万里《小池》）
* 接天莲叶无穷碧，映日荷花别样红。（南宋·杨万里《晓出净慈寺送林子方》）
* 莫等闲，白了少年头，空悲切。（南宋·岳飞《满江红》）
* 三十功名尘与土，八千里路云和月。（南宋·岳飞《满江红》）
* 欲将心事付瑶琴。知音少，弦断有谁听？（南宋·岳飞《小重山》）
* 沾衣欲湿杏花雨，吹面不寒杨柳风。（南宋·志南《绝句》）
* 出师一表真名世，千载谁堪伯仲间！（南宋·陆游《书愤》）
* 夜阑卧听风吹雨，铁马冰河入梦来。（南宋·陆游《十一月四日风雨大作》）
* 山重水复疑无路，柳暗花明又一村。（南宋·陆游《游山西村》）
* 关河梦断何处？尘暗旧貂裘。　胡未灭，鬓先秋，泪空流。（南宋·陆游《诉衷情》）
* 零落成泥碾作尘，只有香如故。（南宋·陆游《卜算子·咏梅》）

一身报国有万死，双鬓向人无再青。（南宋·陆游《夜泊水村》）
位卑未敢忘忧国，事定犹须待阖棺。（南宋·陆游《病起书怀》）
笛里谁知壮士心，沙头空照征人骨。（南宋·陆游《关山月》）
楚虽三户能亡秦，岂有堂堂中国空无人！（南宋·陆游《金错刀行》）
纸上得来终觉浅，绝知此事要躬行。（南宋·陆游《冬夜读书示子聿》）
文章本天成，妙手偶得之。（南宋·陆游《文章》）
*问渠那得清如许？为有源头活水来。（南宋·朱熹《观书有感》）
*等闲识得东风面，万紫千红总是春。（南宋·朱熹《春日》）
即以其人之道，还治其人之身。（南宋·朱熹《中庸·十三章注》）
*天下英雄谁敌手？曹刘。生子当如孙仲谋！（南宋·辛弃疾《南乡子·登京口北固亭有怀》）
*马作的卢飞快，弓如霹雳弦惊。了却君王天下事，赢得生前身后名，可怜白发生！（南宋·辛弃疾《破阵子·为陈同甫赋壮词以寄之》）
*少年不识愁滋味，爱上层楼；爱上层楼，为赋新词强说愁。（南宋·辛弃疾《丑奴儿·书博山道中壁》）
*明月别枝惊鹊，清风半夜鸣蝉。稻花香里说丰年，听取蛙声一片。（南宋·辛弃疾《西江月·夜行黄沙道中》）
*想当年，金戈铁马，气吞万里如虎。（南宋·辛弃疾《永遇乐·京口北固亭怀古》）
*凭谁问：廉颇老矣，尚能饭否？（南宋·辛弃疾《永遇乐·京口北固亭怀古》）
*楚天千里清秋，水随天去秋无际。遥岑远目，献愁供恨，玉簪螺髻。落日楼头，断鸿声里，江南游子。把吴钩看了，栏杆拍遍，无人会，登临意。（南宋·辛弃疾《水龙吟·登建康赏心亭》）
*青山遮不住，毕竟东流去。江晚正愁余，山深闻鹧鸪。（南宋·辛弃疾《菩萨蛮·书江西造口壁》）
*平岗细草鸣黄犊，斜日寒林点暮鸦。（南宋·辛弃疾《鹧鸪天·代人赋》）
*城中桃李愁风雨，春在溪头荠菜花。（南宋·辛弃疾《鹧鸪天·代人赋》）
*东风夜放花千树，更吹落，星如雨。（南宋·辛弃疾《青玉案·元夕》）
*众里寻他千百度，蓦然回首，那人却在，灯火阑珊处。（南宋·辛弃疾《青玉案·元夕》）
*二十四桥仍在，波心荡、冷月无声。（南宋·姜夔《扬州慢》）
*念桥边红药，年年知为谁生！（南宋·姜夔《扬州慢》）
*燕燕飞来，问春何在，唯有池塘自碧。（南宋·姜夔《浣黄柳》）
*方其远出海门，仅如银线；既而渐近，则玉城雪岭际天而来，大声如雷霆，震撼激射，吞天沃日，势极雄豪。（南宋·周密《观潮》）
*弄潮儿向涛头立，手把红旗旗不湿。（南宋·潘阆《酒泉子》）
*有约不来过夜半，闲敲棋子落灯花。（南宋·赵师秀《约客》）
*春色满园关不住，一枝红杏出墙来。（南宋·叶绍翁《游园不值》）
*人生自古谁无死，留取丹心照汗青！（南宋·文天祥《过零丁洋》）
*生无以救国难，死犹为厉鬼以击贼。（南宋·文天祥《〈指南录〉后序》）
壮心欲填海，苦胆为忧天。（南宋·文天祥《指南录》）
臣心一片磁针石，不指南方不肯休。（南宋·文天祥《扬子江》）
*宁可枝头抱香死，何曾吹落北风中。（南宋·郑思肖《画菊》）
一语天然万古新，豪华落尽见真淳。（金·元好问《论诗三十首》）
*林间新绿一重重，小蕾深藏数点红。爱惜芳心莫轻吐，且教桃李闹春风。（金·元好问《同儿辈赋未开海棠》）

五、元明清名句

*地也，你不分好歹何为地！天也，你错勘贤愚枉做天！（元·关汉卿《窦娥冤》）

男儿有泪不轻弹，只因未到伤心处。（元·李开先《宝剑记》）

*碧云天，黄花地，西风紧，北雁南飞。晓来谁染霜林醉？总是离人泪。（元·王实甫《西厢记》）

*泪添九曲黄河溢，恨压三峰华岳低。（元·王实甫《西厢记》）

*青山隔送行，疏林不做美，淡烟暮霭相遮蔽。夕阳古道无人语，禾黍秋风听马嘶。（元·王实甫《西厢记》）

*新啼痕压旧啼痕，断肠人忆断肠人！（元·王实甫《中吕·十二月过尧民歌·别情》）

*孤村落日残霞，轻烟老树寒鸦，一点飞鸿影下。青山绿水，白草红叶黄花。（元·白朴《越调·天净沙·秋》）

从来好事天生俭，自古瓜儿苦后甜。（元·白朴《喜来春》）

*枯藤老树昏鸦，小桥流水人家，古道西风瘦马。夕阳西下，断肠人在天涯。（元·马致远《天净沙·秋思》）

*峰峦如聚，波涛如怒，山河表里潼关路。（元·张养浩《山坡羊·潼关怀古》）

*兴，百姓苦；亡，百姓苦。（元·张养浩《山坡羊·潼关怀古》）

*绝顶蜂攒雪剑，悬崖水挂冰帘，倚树哀猿弄云尖。（元·张可久《中吕·红绣鞋·天台瀑布寺》）

*似白虹饮涧，玉龙下山，晴雪飞滩。（元·乔吉《双调·水仙子·重观瀑布》）

十年窗下无人问，一举成名天下知。（元·高明《琵琶记》）

不是一番寒彻骨，怎得梅花扑鼻香？（元·高明《琵琶记》）

不要人夸颜色好，只留清气满乾坤。（元·王冕《墨梅》）

常将冷眼看螃蟹，看你横行得几时。（元·杨显之《临江驿潇湘秋夜雨》）

惺惺惜惺惺，好汉识好汉。（元末明初·施耐庵《水浒传》）

画龙画虎难画骨，知人知面不知心。（元末明初·施耐庵《水浒传》）

有缘千里来相会，无缘对面不相逢。（元末明初·施耐庵《水浒传》）

墙上芦苇，头重脚轻根底浅；山间竹笋，嘴尖皮厚腹中空。（明·解缙·对联）

书卷多情似故人，晨昏忧乐每相亲。（明·于谦《观书》）

*粉骨碎身全不怕，要留清白在人间。（明·于谦《石灰吟》）

山高自有客行路，水深自有渡船人。（明·吴承恩《西游记》）

一叶浮萍归大海，人生何处不相逢。（明·吴承恩《西游记》）

*借书满架，偃仰啸歌，冥然兀坐，万籁有声；而庭阶寂寂，小鸟时来啄食，人至不去。三五之夜，明月半墙，桂影斑驳，风移影动，珊珊可爱。（明·归有光《项脊轩志》）

*良辰美景奈何天，赏心乐事谁家院？（明·汤显祖《牡丹亭》）

将在谋而不在勇，兵在精而不在多。（明·冯梦龙《古今小说》）

踏破铁鞋无觅处，得来全不费工夫。（明·冯梦龙《警世通言》）

*雾凇沆砀，天与云与山与水，上下一白。湖上影子，惟长堤一痕、湖心亭一点与余舟一芥、舟中人两三粒而已。（明·张岱《湖心亭看雪》）

长江后浪推前浪，一代新人换旧人。（《增广贤文》）

*土膏微润，一望空阔，若脱笼之鹄。于时冰皮始解，波色乍明，鳞浪层层，清澈见底，晶晶然如镜之新开而冷光之乍出于匣也。（明·袁宏道《满井游记》）

*大阉之乱，缙绅而能不易其志者，四海之大，有几人欤？而五人生于编伍之间，素不闻诗书之训，激昂大义，蹈死不顾，亦曷故哉？（明·张溥《五人墓碑记》）

*由是观之，则今之高爵显位，一旦抵罪，或脱身以逃，不能容于远近，而又有剪发杜门，佯狂不知所之者，其辱人贱行，视五人之死，轻重固何如哉？（明·张溥《五人墓碑记》）

*故余与同社诸君子，哀斯墓之徒有其石也，而为之记，亦以明死生之大，匹夫之有重于社稷也。（明·张溥《五人墓碑记》）

*无限河山泪，谁言天地宽。（明·夏完淳《别云间》）

目所不见，非无色也；耳所不闻，非无声也。（清·王夫之《思问录内篇》）

以天下论者，必循天下之公。（清·王夫之《读通鉴论》）

天下兴亡，匹夫有责。（清·顾炎武《日知录》）

十年天地干戈老，四海苍生痛哭深。（清·顾炎武《海上》）

*以俄顷淫乐不易无穷之悲，虽愚者亦明之矣。（清·黄宗羲《原君》）

盖天下之治乱，不在一姓之兴亡，而在万民之忧乐。（清·黄宗羲《原臣》）

美而非谄，刺而非奸，怨而非愤，哀而非私，何不正之有？（清·黄宗羲《陈苇庵年伯诗序》）

一粥一饭，当思来处不易；半丝半缕，恒念物力维艰。（清·朱柏庐《治家格言》）

书痴者文必工，艺痴者技必良。（清·蒲松龄《聊斋志异》）

智者不必仁，而仁者则必智。（清·蒲松龄《聊斋志异》）

*苟利国家生死以，岂因祸福避趋之？（清·林则徐《赴戍登程口占示家人》）

海纳百川，有容乃大；壁立千仞，无欲则刚。（清·林则徐·对联）

友如作画须求淡，山似论文不喜平。（清·翁照《与友人寻山》）

当年粉黛，何处笙箫？罢灯船端阳不闹，收酒旗重九无聊。白鸟飘飘，绿水滔滔，嫩黄花有些蝶飞，新红叶无个人瞧。（清·孔尚任《桃花扇》）

隔靴搔痒赞何益，人木三分骂亦精。（清·郑板桥·对联）

千磨万击还坚劲，任尔东西南北风！（清·郑板桥《竹石》）

删繁就简三秋树，领异标新二月花。（清·郑板桥·对联）

机关算尽太聪明，反送了卿卿性命。（清·曹雪芹《红楼梦》）

世事洞明皆学问，人情练达即文章。（清·曹雪芹《红楼梦》）

假作真时真亦假，无为有处有还无。（清·曹雪芹《红楼梦》）

*江山代有才人出，各领风骚数百年。（清·赵翼《论诗》）

*天下事有难易乎？为之，则难者亦易矣；不为，则易者亦难矣。人之为学有难易乎？学之，则难者亦易矣；不学，则易者亦难矣。（清·彭端淑《为学》）

品画先神韵，论诗重性情。（清·袁枚《品画》）

*登山大半，飞瀑雷震，从空而下。瀑旁有室，即飞泉亭也。纵横丈余，八窗明净。闭窗瀑闻，开窗瀑至。（清·袁枚《峡江寺飞泉亭记》）

*我劝天公重抖擞，不拘一格降人才。（清·龚自珍《己亥杂诗》）

*落红不是无情物，化作春泥更护花。（清·龚自珍《己亥杂诗》）

英雄一入狱，天地亦悲秋。（清·章炳麟《狱中赠邹容》）

我自横刀向天笑，去留肝胆两昆仑。（清·谭嗣同《狱中题壁》）

男儿老兮天下事，但有志兮不有止。（清·梁启超《志未酬》）

一腔热血勤珍重，洒去犹能化碧涛。（清·秋瑾《对酒》）

拼将十万头颅血，须把乾坤力挽回。（清·秋瑾《黄海舟中日人索句并见日俄战争地图》）

一失足成千古恨，再回头已百年身。（清·魏子安《花月痕》）

弱供万国役，治则天下强。（清·黄遵宪《锡兰岛卧佛》）

物新则壮，旧则老；新则鲜，旧则腐。（清·康有为《上清帝第六书》）

黄金若粪土，肝胆硬如铁。（清·石达开《入川题壁》）

十年如未死，卷土定重来。（清·丘逢甲《答友问》）

六、近现代名句

*然是役也，碧血横飞，浩气四塞，草木为之含悲，风云因而变色，全国久蛰之人心，乃大兴奋，怨愤所积，如怒涛排壑，不可遏抑，不半载而武昌之大革命以成，则斯役之价值，直可惊天地、泣鬼神，与武昌革命之役并寿。（孙文《〈黄花岗烈士事略〉序》）

长亭外，古道边，芳草碧连天。（李叔同《送别》）

最是人间留不住，朱颜辞镜花辞树。（王国维《蝶恋花》）

*真的猛士，敢于直面惨淡的人生，敢于正视淋漓的鲜血。（鲁迅《记念刘和珍君》）

*沉默呵，沉默呵！不在沉默中爆发，就在沉默中灭亡。（鲁迅《记念刘和珍君》）

忍看朋辈成新鬼，怒向刀丛觅小诗。（鲁迅《为了忘却的记念》）

*灵台无计逃神矢，风雨如磐暗故园。寄意寒星荃不察，我以我血荐轩辕。（鲁迅《自题小像》）

无情未必真豪杰，怜子如何不丈夫。知否兴风狂啸者，回眸时看小於菟。（鲁迅《答客诮》）

血沃中原肥劲草，寒凝大地发春华。（鲁迅《无题》）

运交华盖欲何求，未敢翻身已碰头。破帽遮颜过闹市，漏船载酒泛中流。横眉冷对千夫指，俯首甘为孺子牛。躲进小楼成一统，管他冬夏与春秋。（鲁迅《自嘲》）

弄文罹文网，抗世违世情。积毁可销骨，空留纸上声。（鲁迅《题〈呐喊〉》）

寂寞新文苑，平安旧战场。两间余一卒，荷戟独彷徨。（鲁迅《题〈彷徨〉》）

度尽劫波兄弟在，相逢一笑泯恩仇。（鲁迅《题三义塔》）

万家墨面没蒿莱，敢有歌吟动地哀。心事浩茫连广宇，于无声处听惊雷。（鲁迅《无题》）

*它一展翅，冲破浓密，化一朵彩云；它飞了，不见了，没了——像是春光，火焰，像是热情。（徐志摩《黄鹂》）

*轻轻的我走了，正如我轻轻的来；我轻轻的招手，作别西天的云彩。（徐志摩《再别康桥》）

*像梦中飘过/一枝丁香的，我身旁飘过这女郎；她静默地远了，远了，到了颓圮的篱墙，走尽这雨巷。（戴望舒《雨巷》）

*你站在桥上看风景，看风景人在楼上看你。明月装饰了你的窗子，你装饰了别人的梦。（卞之琳《断章》）

*叶子出水很高，像亭亭的舞女的裙。层层的叶子中间，零星地点缀着些白花，有袅娜地开着的，有羞涩地打着朵儿的；正如一粒粒的明珠，又如碧天里的星星，又如刚出浴的美人。（朱自清《荷塘月色》）

*微风过处，送来缕缕清香，仿佛远处高楼上渺茫的歌声似的。（朱自清《荷塘月色》）

*月光如流水一般，静静地泻在这一片叶子和花上。薄薄的青雾浮起在荷塘里。叶子和花仿佛在牛乳中洗过一样；又像笼着轻纱的梦。（朱自清《荷塘月色》）

*空中的鸟，你何必和笼里的同伴争噪呢？你自有你的天地！（冰心《繁星》）

*恰同学少年，风华正茂；书生意气，挥斥方遒。指点江山，激扬文字，粪土当年万户侯。曾记否，到中流击水，浪遏飞舟？（毛泽东《沁园春·长沙》）

*人生易老天难老，岁岁重阳。今又重阳，战地黄花分外香。一年一度秋风劲，不似春光。胜似春光，寥廓江天万里霜。（毛泽东《采桑子·重阳》）

*雄关漫道真如铁，而今迈步从头越。（毛泽东《忆秦娥·娄山关》）

*苍山如海，残阳如血。（毛泽东《忆秦娥·娄山关》）

第四部分 古代文化常识

中国古代文化博大精深，内涵十分丰富，并且，有许多内容随着历史的发展，本身也在不断地发展演变，这就更显示出它的复杂性。下面从八个方面对古代文化常识作一简介。

一、姓名和称谓

（一）人称姓名

1. 直称姓名（或名）

（1）用于自称。例如：庐陵文天祥自序其诗。（《〈指南录〉后序》）

（2）用于所厌恶所轻视的人。例如：不幸吕师孟构恶于前，贾余庆献谄于后。（《〈指南录〉后序》）

（3）用于作介绍，为人作传。例如：柳敬亭者，扬之泰州人。（《柳敬亭传》）

（4）尊者对卑者称名。例如：求，尔何如？（《论语》）

（5）在尊者面前，卑者互称用名。例如：夫子何哂由也？（《论语》）

2. 称字、号、斋名、谥号

这种情况是称呼者出于对被称呼者的礼貌和尊敬。

（1）称字。例如：东阳马生君则，在太学已二年。（《送东阳马生序》）

（2）称号。例如：五人者，盖当蓼洲周公之被逮，激于义而死焉者也。（《五人墓碑记》）

（3）称谥号。例如：乡先辈左忠毅公视学京畿。（《左忠毅公逸事》）

（4）称斋名。例如：蒲松龄为"聊斋先生"，梁启超为"饮冰室主人"。

3. 称官名、爵名

（1）称官名。例如：后人称杜甫为"杜工部"，称韩愈为"韩吏部"。

（2）称爵名。例如：宁南南下，皖帅欲结欢宁南。（《柳敬亭传》）

4. 称籍贯

例如：今南海之生死未可卜。（"南海"代指康有为）（《谭嗣同传》）

5. 称郡望

例如：唐代诗人韩愈系河南河阳（今河南孟州南）人，自谓郡望昌黎，世人遂称其为"韩昌黎"。

6. 几项兼称

这种情况一般是先说官职，次称籍贯，后称姓名、字号。例如：

四人者：庐陵萧君圭君玉，长乐王回深父，余弟安国平父、安上纯父。（《游褒禅山记》）

7. 唐代还有种特殊称呼，即以曾祖兄弟的长幼排行来称呼

在姓氏后加上行第（或再加名号、官爵）。例如：

韩愈《同水部张员外籍曲江春游寄白二十二舍人》。

8. 特殊称谓

（1）职业十人名。例如：庖丁为文惠君解牛。（《庄子·养生主》）

（2）姓十之十人名。例如：国危矣，若使烛之武见秦君，师必退。（《左传·僖公三十年》）

（二）谦称、敬称、贱称

1. 谦称

（1）王侯自称。

①朕　本为古人自称之词，意谓"我""我的"，后为自称专用。从秦始皇时专为皇帝自称，他人不得擅用。例如：

朕为始皇帝。（《史记》）

②寡人　皇帝的谦称，译为"我"。例如：

梁惠王曰："寡人之于国也，尽心焉耳矣。"（《孟子·梁惠王上》）

③孤　皇帝王侯的谦称，汉以后盛行，译为“我”。例如：

权叹息曰：“诸人持议，甚失孤望。”（《赤壁之战》）

④寡君　对别国人谦称本国君主。例如：

寡君闻吾子将步师出于敝邑，敢犒从者。（《左传》）

⑤不谷　不善，古代诸侯的谦称，译为“我”。例如：

齐侯曰：“岂不谷是为？先君之好是继！与不谷同好，如何？”（《左传·僖公四年》）

(2)臣子自称。例如：

①臣　谦称自己不如对方的身份地位高。男性谦称，可译为“我”。例如：

张良曰：“秦时与臣游，项伯杀人，臣活之。”（《鸿门宴》）

②老臣　官吏对君主的自称，多指年长者。例如：

老臣贱息舒祺，最少。（《战国策·赵策》）

(3)一般人自称。例如：

①仆　谦称，译为“我”。例如：

仆非敢如此也。（《报任安书》）

②愚　愚蠢的人，谦称，译为“我”。例如：

愚谓大计不如迎之。（《赤壁之战》）

③某　代替自己的名字，谦称，译为“我”。例如：

如曰今日当一切不事事，守前所为而已，则非某之所敢知。（《答司马谏议书》）

④小人　谦称，译为“我”。例如：

小人有母，皆尝小人之食矣。（《左传·隐公元年》）

⑤鄙人　古人表谦卑的自称。本指居住于郊野之人，又引申为见识短浅的“鄙俗”之人、“鄙陋”之人，后常用以表示自己地位不高，见识浅薄。

⑥不才　本意为没有才能的人，古人表谦卑的自称。例如：

至以“上下相孚，才德称位”语不才，则不才有深感焉。（《报刘一丈书》）

⑦不肖　即“不似”“不贤”，旧时表谦卑的自称，自谦自己没有本事，不能继承祖辈德行，多用于长辈死后。

⑧不佞 nìng　同“不才”。例如：

不佞寝疾，不能趋走。（《战国策·赵策二》）

⑨后学　学者或读书人的自称。例如：

零邑后学田玉书石。（《朝阳岩铭》）

⑩贱子　谦称自己。例如：

贱子因阵败，归来寻旧蹊。（《无家别》）

(4)女子自称。

①妾　古代妇女对自己的谦称，译为“我”。例如：

妾闻志士不饮盗泉之水，廉者不受嗟来之食。（《乐羊子妻》）

②贱妾　女子自称。例如：

贱妾留空房。[《孔雀东南飞（并序）》]

③婢子　受奴役的女子，谦称，译为“我”。例如：

若晋君朝以入，则婢子夕以死。（《左传·僖公十五年》）

(5)自称家人

①家严　亦称“家君”“家尊”，在别人面前对自己父亲的谦称。

②家慈　旧时对别人称自己母亲的谦辞。旧俗有“严父慈母”之说，故有此称。

③舍弟　对自己弟弟的谦称。（称比自己辈分小或年龄小的家里人，称呼前常加“舍”。）

④拙荆　旧时一般人家丈夫对妻子的一种称谓。“荆”本为一种灌木，荆钗布裙为古代贫寒人家

妇女的穿着，故以此代称。又作“山荆”“荆室”。

⑤贱息　古人对自己子女的谦称。例如：

老臣贱息舒祺，最少。（《战国策·赵策》）

⑥犬子　对人称自己的儿子。例如：

同犬子，祝龟龄，天教二老鬓长青（《鹧鸪天·为老母寿》）又指对别人儿子的鄙称。例如：

吾虎女安肯嫁犬子乎？（《三国演义》）

⑦弱息　原指年幼弱小的子女，后多指幼弱的女儿。

⑧息女　古人对外人称自己的女儿为“息女”。例如：

臣有息女，愿为箕帚妾。（《汉书·高帝纪》）

⑨小女　对人称自己的女儿。例如：

贫贱有小女。（《宋史》）

2. 敬称

(1)称君王

①陛下　对帝王的尊称，译为“您”。例如：

今陛下兴义兵，诛残贼，平定天下，海内为郡县，法令由一统，自上古以来未尝有，五帝所不及。（《史记·秦始皇本纪》）

②庙号　帝王死后，在太庙立室奉祀，并追尊某祖某宗的名号。称庙号，是对已死皇帝的敬称。例如：

时世宗享国日久，不视朝。（《海瑞传》）

③殿下　古代对仅次于天子的侯王或皇太子的尊称。“殿”即“宫殿”，“殿下”本为宫殿的陛阶之下。古代天子宫中可称宫、称殿，丞相府中只可称殿，不能称宫。汉代在称天子为“陛下”的同时，称侯王为“殿下”。唐以后只称皇太子为殿下，侯王不称。

(2)称臣子

①麾下　古代对将帅的一种尊称。麾是古时军中将帅指挥用的旌旗，为将帅指挥权力的象征，故以此称之。

例如：“愿麾下重天授之姿，副四海之望。”（《三国志·吴志》）

②足下　手下人。不直接称对方，而称对方的手下人，表示尊敬对方，译为“您”。例如：

秦兵旦暮渡易水，则虽欲长侍足下，岂可得哉？（《荆轲刺秦王》）

③执事　侍从。不直接称对方，而称执事，表示尊敬对方，译为“您”。例如：

若亡郑而有益于君，敢以烦执事。（《烛之武退秦师》）

④阁下　尊称，译为“您”。例如：

侧闻阁下抱不世之才，特立而独行。（《与于襄阳书》）

⑤左右　在左右的侍臣。不直接称对方，而称对方左右的侍臣，即称“左右”，表示尊敬对方，译为“您”。例如：

是仆终已不得舒愤懑以晓左右。（《报任安书》）

⑥君　尊称，译为“您”。例如：

今君有一窟，未得高枕而卧也。（《冯谖客孟尝君》）

(3)称师长

①夫子　尊称，译为“老师”或“您”。例如：

夫子焉不学？而亦何常师之有？（《论语·子张》）

愿夫子辅吾志，明以教我。我虽不敏，请尝试之。（《齐桓晋文之事》）

②丈人　对老年男子的尊称，与今之“岳父”不同，译为“您”。例如：

至江上，欲涉，遇一丈人。（《吕氏春秋》）

③老　对老年人的尊称。如张老、谢老等。

④父伯　古代对男子的美称或对老年人的尊称。周代贵族取字时，在字前加伯仲叔季以示排行，而

在字后加“父”或“甫”以示性别，后多沿用为男子的美称。另泛指对老年人之尊称，如渔父、田父等。

另，读 fǔ，父亲或男性长辈之称。如祖父、伯父、舅父等。

⑤亚父　亚，仅次一等的。古代侯王往往称自己尊敬的贤臣为“亚父”。意为仅次于父亲的人。例如：

亚父南向坐，——亚父者，范增也。（《史记·项羽本纪》）

⑥甫　通“父(fǔ)”，古代男子的美称。参见“父(fǔ)”条。

⑦母　古代对贵族女子的一种美称或泛指女性长辈。周代贵族女子取字时，字前要加姓，姓前加孟(伯)仲叔季排行，字后加“母”或“女”以示性别。如姬原母、孟姜女等。另泛指女性长辈。如祖母、伯母、姑母、舅母等。

⑧膝下　古代儿女对父母的敬称。往往用于书面语。例如：

故亲生之膝下，以养父母日严。（《孝经·治经》）

⑨爷　旧称父亲或尊贵者。例如：

不闻爷娘唤女声，但闻黄河流水鸣溅溅。（《木兰诗》）

⑩高堂　古称父母为高堂。

⑪泰山　旧时呼妻父为泰山。

⑫先考　对已故父亲的敬称，又称“先君子”。

⑬先妣(bǐ)　对已故母亲的敬称。

(4)称朋友、同辈的人

①先生　尊称，译为“您”或者“先生”。例如：

十九人谓毛遂曰：“先生上！”（《史记·平原君列传》）

②卿　尊称，译为“您”。例如：

卿东来，故应有此物，可以一领及我。（《世说新语·德行》）

③子　尊称，译为“您”。例如：

子路曰：“愿闻子之志。”（《论语·公冶长》）

④公　尊称，译为“您”。例如：

公亦尝闻天子之怒乎？（《唐雎不辱使命》）

⑤吾子　尊称，比称“子”更亲热，译为“您”。例如：

寡君闻吾子将步师出于敝邑，敢犒从者。（《左传》）

(5)称对方亲眷

①令堂　对对方母亲的敬称。

②令尊　对对方父亲的敬称。

③令兄　对对方哥哥的敬称。

④令弟　对对方弟弟的敬称。

⑤令妹　对对方妹妹的敬称。

⑥令坦　对对方女婿的敬称。

⑦令郎　对对方儿子的敬称。

⑧令爱　对对方女儿的敬称。

⑨千金　旧时尊称别人的女儿为千金。

3. 上称下或平辈之间的称呼

这种称呼，无尊卑之说，一般直接使用第二人称代词。例如：

尔安敢轻吾射？（《卖油翁》）

4. 贱称

①小子　贱称，含有轻蔑的意味。例如：

小子无所畏，何敢助妇语！［《孔雀东南飞(并序)》］

②竖子　贱称，如同“小子”。例如：

竖子不足与谋！（《鸿门宴》）

5. 表示特定关系的称呼

（1）加“从”表示叔伯关系。例如：谢安，字安石，尚从弟也。（《谢安传》）

（2）加“太”表示长一辈。例如：必躬造左公第，候太公、太母起居。（《左忠毅公逸事》）

（3）加“先”表示已逝世的尊长。例如：姬，先大母婢也。（《项脊轩志》）

（三）名、字、号

古代人的名字和现代有很大的差别。古人有取字、号的习惯。名，一般指人的姓名或单指名。幼年时由父母命名，供长辈呼唤。男子20岁（成人）举行加冠礼时取字，女子15岁许嫁举行笄（jī）礼时取字，以表示对本人的尊重或供朋友称呼。名和字一般在意义上存在着一定的联系，有两种情况：①“名”和“字”词义相近或“字”是对“名”的进一步阐述。例如，屈原，名平，字原，“原”是宽阔平坦的意思。②“名”和“字”意思相反。例如，曾点，字皙。后人取字，通常是以两个字为“字”。例如，诸葛亮，字孔明。古人通常在表示对对方的尊敬时称自己的名，表示自己谦卑时也称自己的名。如“不然，籍何以至此”中的“籍”就是项羽自呼己名，表示对对方的尊敬。除了名和字之外，古人还有号（又称别字）。号是名和字以外的称号。古时，人们为了尊重别人，一般不直呼其名，也不称其字，而称其号。号和名不一定有意义上的联系。号可以有两个字的，也可以有三个字或三个字以上的。例如：陆游，号放翁；陶潜，号五柳先生；苏轼，号东坡居士。字数多的别号有时可以压缩为两个字，如苏东坡。此外，有人认为称别人的字、号还不够尊敬，于是就以其官职、籍贯来称呼，如称杜甫为杜工部，称柳宗元为柳河东。

（四）谥号、庙号、年号、改元、尊号、徽号

1. 谥号　古代帝王、诸侯、高官大臣等死后，朝廷根据他们的生平行为给予一种称号以褒贬善恶，称为谥或谥号。谥号是对死者生前事迹和品德的概括。谥号按性质分为三类：

（1）表扬性的

经天纬地曰文	布义行刚曰景	威强睿德曰武	柔质慈民曰惠	圣闻周达曰昭
圣善闻周曰宣	行义悦民曰元	安民立政曰成	布纲治纪曰平	照临四方曰明
辟土服远曰桓	聪明睿智曰献	温柔好乐曰康	布德执义曰穆	

（2）批判性的

乱而不损曰灵	杀戮无辜曰厉	近内远礼曰炀

（3）表同情的

恭仁短折曰哀	慈仁短折曰怀	在国遭忧曰愍(mǐn)

2. 庙号　是指皇帝死后，在太庙立室供奉时特起的名号，如高祖、太宗等。从汉代起，每个朝代一般是第一个皇帝的谥号太长，不便称呼，所以唐宋以来的皇帝都改称庙号，如唐太宗、宋太祖。到了明、清两代才用年号来称呼。

3. 年号　是纪年的名称，也是帝王用的，如“贞观”是唐太宗李世民的年号。

4. 改元　新皇帝即位后，一般都要改变纪年的年号，称为“改元”。同一皇帝在位时也可以改元，如汉武帝改了十一次年号。到了明代以后，才规定一帝一元，才有可能用年号来称呼皇帝。如清高宗的年号是乾隆，清高宗就被称为乾隆皇帝。

5. 尊号、徽号　“尊”为尊敬，“徽”为美好。“尊号”和“徽号”都是为尊者加上的号，以表示尊崇褒美的意思。尊号起于唐代。皇帝和皇后往往在生前就有尊号。如唐玄宗开元二十七年受尊号为开元圣文神武皇帝，清代同治帝曾尊生母那拉氏为圣母皇太后，再加上徽号为“慈禧”。封建时代帝后的尊号可以加几次，实际上都是臣子对他们的阿谀奉承。现代也有赠送徽号这种情况，但性质和内容已不一样，如孙炳文曾赠给郭沫若一个徽号——“戎马书生”。

（五）年龄称谓

1. 襁褓　本义是包裹婴儿的被子和带子。语出《论语·子路》：“则四方之民襁褓负其子而至矣。”后来以此来借指未满周岁的婴儿。

2. 孩提　指二三岁的儿童。例如：孩提之童，无不知爱其亲者。（《孟子·尽心上》）

3. 齿龀·龆龀(tiáo chèn) 指儿童换牙时,五六岁。例如:有遗男,始龀。(《愚公移山》)

4. 总角·垂髫 指幼年儿童。例如:黄发垂髫,并怡然自乐。(《桃花源记》)

5. 豆蔻年华 指女子十三四岁。例如:娉娉袅袅十三余,豆蔻梢头二月初。(《赠别》)

6. 笄(jī)年 指女子十五岁。例如:复有双幼妹,笄年未结缡。(《对酒示行简》)

7. 束发·成童 指男子十五岁。例如:余自束发读书轩中。(《项脊轩志》)

8. 冠·加冠·弱冠 指男子二十岁。例如:既加冠,益慕圣贤之道。(《送东阳马生序》)

9. 而立之年 三十岁。

10. 不惑之年 四十岁。

11. 知命·知天命·半百·知非之年 五十岁。

12. 花甲·花甲子·耳顺之年 六十岁。天干地支按顺次组合为六十个纪序名号,自甲子到癸亥,错综参互相配,故称花甲或花甲子。又《论语》中有"三十而立,四十而不惑,五十而知天命,六十而耳顺",故称六十岁为耳顺之年。

13. 耆(qí)艾 古指六十岁为耆,五十岁为艾。例如:耆艾而信,可以为师。(《荀子·致士》)

14. 古稀 七十岁。例如:酒债寻常行处有,人生七十古来稀。(《曲江》)

15. 耄耋(dié) 指高寿,老年。耋指七十岁(一说八十岁)。

16. 耄(mào)耋 指高寿,老年。耄指八十岁(一说九十岁)。

17. 期(jī)颐 一百岁。例如:到处不妨闲卜筑,流年自可数期颐。(《次韵子由》)

(六)作品命名

1. 以"地名"命名

(1)《柳河东集》 作者柳宗元,河东(今山西永济)人,世称柳河东。

(2)《昌黎先生文集》 作者韩愈,因昌黎韩姓为郡内望族,世称韩昌黎。

(3)《孟襄阳集》 作者孟浩然,襄州襄阳(今湖北襄阳)人。

(4)《临川先生文集》 作者王安石,江西临川(今江西抚州)人。

(5)《亭林诗文集》 作者顾炎武,江苏昆山亭林镇人。

(6)《小仓山房文集》 作者袁枚,辞官定居江宁(今江苏南京)小仓山。

2. 以"书室名"命名

(1)《聊斋志异》 作者蒲松龄,"聊斋"是其书室名。

(2)《饮冰室合集》 作者梁启超,"饮冰室"是其书室名。

(3)《惜抱轩诗文集》 作者姚鼐,"惜抱轩"是其书室名。

(4)《七录斋集》 作者张溥,"七录斋"是其书室名。

3. 以"谥号"命名

(1)《王文公文集》 作者王安石,谥文。

(2)《欧阳文忠公文集》 作者欧阳修,谥文忠。

(3)《诚意伯刘文成公集》 作者刘基,封诚意伯,谥文成。

(4)《范文正公集》 作者范仲淹,谥文正。

4. 以"名号"命名

(1)《诚斋集》 作者杨万里,号诚斋。

(2)《庸庵全集》 作者薛福成,号庸庵。

(3)《随园诗话》 作者袁枚,号随园主人。

(4)《稼轩长短句》 作者辛弃疾,号稼轩。

(5)《文山先生全集》 作者文天祥,号文山。

(6)《方望溪先生全集》 作者方苞,号望溪。

(7)《南雷文案》 作者黄宗羲,号梨洲,又号南雷。

(8)《震川文集》 作者归有光,号震川。

(9)《洪北江全集》 作者洪亮吉,号北江。

(10)《樊川文集》 作者杜牧,号樊川。

5. 以"字"命名

(1)《李太白全集》 作者李白,字太白。

(2)《魏叔子文钞》 作者魏禧,字叔子。

(3)《王子安集》 作者王勃,字子安。

6. 以"官职"命名

(1)《王右丞集》 作者王维,官至尚书右丞。

(2)《杜工部集》 作者杜甫,官至工部员外郎。

(3)《高常侍集》 作者高适,官至散骑常侍。

(4)《宋学士文集》 作者宋濂,官至翰林学士承旨知制诰。

(5)《高太史大全集》 作者高启,官至翰林院国史编修。

7. 以"年号"命名

(1)《白氏长庆集》 作者白居易,此集为唐穆宗长庆年间编辑。

(2)《嘉祐集》 作者苏洵,此集为宋仁宗嘉祐年间编辑。

二、官职和科举

(一)官职

古代官职的情况,涉及官署名、官名、官员的职掌等方面,各朝代的情况也不尽相同。大体可分为中央官职和地方官职两大类。

1. 中央官职

秦设丞相、太尉和御史大夫,组成中枢机构。丞相管行政,太尉管军事,御史大夫管监察和秘书工作。汉朝大体上沿袭秦制称为三公,下有九卿,分管各方面政务,后世又演变为三省六部制。三省为中书省(决策)、门下省(审议)、尚书省(执行),三省的长官都是宰相。宋代中书省职权扩大,同枢密院分掌文武大权,门下省、尚书省遂废。明代内阁为最高政务机构,内阁大臣称为辅臣,首席称首辅(即宰相)。清代有军机处,王、公、尚书等为军机大臣,掌握政务大权。

六部,是指吏部、户部、礼部、兵部、刑部、工部。吏部,管官吏任免、考核、升降等事;户部,管土地户口、赋税财政等事;礼部,管典礼、科举、学校等事;兵部,管军事;刑部,管司法刑狱;工部,管工程营造、屯田水利等事。各部长官为尚书,副职为侍郎,下设郎中,副职称员外郎,下属官员有主事等。

此外,中央还设有专门机构和官员,负责管理图书、编修历史、制定历法等工作。如司马迁、张衡曾任太史令,高启为翰林院国史编修等。

2. 地方官职

秦汉主要行政区是郡。郡的长官,秦称郡守,汉称太守。隋唐主要行政区是州,州官称刺史,属官有长史、司马等。唐代在一些军事重镇设节度使,属官有行军司马、参谋、掌书记等。宋代州官称知州,县官称知县。明清改州为府,称知府。

此外,汉代也设州,天下分十几个州,基本上是监察区,中央派官员去刺探情况,称刺史。隋唐全国分十几个道,也称监察区,中央派官员前往巡视,称黜陟使。宋代全国分二十左右路,路中设若干司,分管各方面的事务。元代地方最高行政机构叫行中书省,明代改称承宣布政使司,习惯上仍称为"省"。

附录

官职变动词语集释

一、表授予官职的词语。 频考点)

征:由皇帝征聘社会知名人士充任官职。 辟:由中央官署征聘,然后向上荐举,任以如:公车特征拜郎中。(《后汉书·张衡传》)(高

官职。如：连辟公府不就。（《后汉书·张衡传》）

荐、举：由地方官向中央举荐品行端正的人，任以官职。如：举其偏，不为党。（《左传·襄公三年》）韩琦镇长安，荐知泾阳县。（《宋史·侯可传》）

拜：授予官职。如：拜相如为上大夫。（《廉颇蔺相如列传》）（高频考点）

选：通过推荐或科举选拔任以官职。如：延祐、至治间……选丞相东曹掾。（《元史·贯鲁传》）

除：任命，授职。如：予除右丞相兼枢密使。（《〈指南录〉后序》）（高频考点）

授：授予官职。如：泰定初，恩授东平路儒学教授。（《元史·贯鲁传》）

赏：指皇帝特意赐给官衔或爵位。如：八月初一日，上召见袁世凯，特赏侍郎。（《谭嗣同传》）

封：指帝王将爵位或土地赐给臣子。如：劳苦而功高如此，未有封侯之赏。（《鸿门宴》）

起：起用人任以官职。如：鲁居丧服阕，起为太医院都事。（《元史·贯鲁传》）

二、表罢免官职的词语。

罢：免去，解除官职。如：窦太后大怒，乃罢逐赵绾、王臧等。（《史记·魏其武安侯列传》）

黜：废掉官职。如：有罪得以黜，有能得以赏。（《封建论》）

免：罢免。如：免官削爵。（《汉书·贡禹传》）

夺：削除。如：使者遂逮守，胁服夺其官。（《书博鸡者事》）

废：废黜，放逐。如：及留侯策，太子得毋废。（《史记·吕太后本纪》）

三、表提升官职的词语。

升：升官。如：升（鲁）台都事。（《元史·贯鲁传》）

擢：在原官上提拔。如：擢为后将军。（《汉书·赵充国传》）（高频考点）

拔：提升本来没有官职的人。如：山涛（人名）作冀州（长官），甄拔三十余人。（《与韩荆州书》）

迁：一般指提升。如：孝文帝说之，超迁，一岁中至太中大夫。（《贾谊传》）

陟：进用。如：陟罚臧否，不宜异同。（《出师表》）

加：加封，即在原来的官衔上增加荣衔。如：平剧盗赖文政有功，加秘阁修撰。（《宋史·辛弃疾传》）

四、表降低官职的词语。

谪：因罪被降职或流放。如：滕子京谪守巴陵郡。（《岳阳楼记》）

贬：降职。如：贬连州刺史。（《刘禹锡传》）

左除、左降、左转、左授、左宦、左迁：降职。如：予左迁九江郡司马。［《琵琶行（并序）》］

一旦失恩先左降，三年随例未量移。（《自题》）

帝怒，乃罢（陆）贽宰相，左除（张）谤等官。（《新唐书·裴延龄传》）

五、表调动官职的词语。

迁：调动官职，一般指提升。如：迁东郡太守。（《汉书·王尊传》）

徙：一般的官职调动。如：徙王信为楚王。（《史记·淮阴侯列传》）

调：变换官职。如：调为陇西都尉。（《汉书·袁盎传》）

转：调动官职。如：再转复为太史令，衡不慕当世，所居之官辄积年不徙。（《后汉书·张衡传》）

补：补充空缺官职。如：太守察尊廉，补辽西盐官长。（《汉书·王尊传》）

改：改任官职。如：改刑部详覆官。（《宋史·王济传》）

出、出宰：离开京城外调。如：永和初，出为河间相。（《后汉书·张衡传》）

出宰山水县，读书松桂林。（《县斋读书》）

入：地方官调任京官。如：由和州刺史入为主客郎，复作《游玄都》诗。（《刘禹锡传》）

六、表兼、代官职的词语。

兼：兼任。如：予除右丞相兼枢密使。（《〈指南录〉后序》）

摄：暂代官职。如：俄检校侍中，摄吏部尚书。（《新唐书·杜如晦传》）（高频考点）

守：暂时署理职名。多指官阶低的人署理官阶高的职务。如：初平中，北海孔融召为主

簿，守高密令。（《三国志·王修传》）

领：兼任。如：桓温镇江口，复引（乔）为司马，领广陵相。（《晋书·袁乔传》）

行：代理官职。如：太祖行奋武将军。（《三国志·魏书·武帝纪》）

署：代理、暂任。如：太守奇之，除补书佐，署守属监狱。（《汉书·王尊传》）

权：暂代官职。如：时韩愈吏部权京兆。（《刘公嘉话》）

判：高位兼低职。如：除镇安武胜军节度使，司徒兼侍中，判相州。（《宋史·韩琦传》）

七、表辞去官职的词语。

悬车：辞官居家。如：时年已七十，遂隐丘山，悬车告老。（《陈太丘碑文序》）

解官：辞去官职。如：得监和州税，父母又不欲行，拯即解官归养。（《宋史·包拯传》）

致仕：交还官职，即退休。如：永宁元年，称病上书致仕。（《后汉书》）

乞骸骨：自请退职，意为请求使骸骨归葬故乡。如：上书乞骸骨，征拜尚书。（《后汉书·张衡传》）

乞身：古代认为做官是委身事君，因此请求退职为"乞身"。如：故山桃李半荒榛，粗报君恩便乞身。（《五堂栽花周正孺有诗次韵》）

请老：告老，古代官吏请求退休。如：祁奚请老，晋侯问嗣焉。（《左传·襄公三年》）

移病：上书称病，为官者要求隐退的委婉语。如：使匈奴，还报，不合意，上怒，以为不能，弘乃移病免归。（《汉书·公孙弘传》）

八、其他

视事：任职。如：是时，茂陵守尹公新视事。（《汉书·游侠传》）

下车：官吏初到任。如：自明府（对郡守的敬称）下车以来，狗不夜吠，民不见吏。（《后汉书·刘宠传》）

解褐：脱去粗布衣服，喻人任为官。如：绍惧不自容，将解褐，故咨之于涛。（《世说新语》）

赠：死后追封爵位。如：步夫人卒，追赠皇后。（《三国志·吴主传》）

（二）科举

1. 汉代实行征辟和察举制

征辟制　汉武帝时推行的一种自上而下的选拔官吏制度，主要有皇帝征聘和府、州郡辟除两方面。例如：

（1）公车特征拜郎中。（《后汉书·张衡传》）

（2）永元中，举孝廉不行，连辟公府不就。（《后汉书·张衡传》）

察举制　又称举荐制。中国古代选拔官吏的一种制度，它的确立是从汉武帝元光元年（公元前134年）开始的。是由地方长官在辖区内随时考察、选取人才并推荐给上级或中央，经过试用考核再任命官职。例如：

前太守臣逵察臣孝廉，后刺史臣荣举臣秀才。（《陈情表》）

2. 隋唐以后实行科举制

科举制，即隋以后各封建王朝设科考试选拔官吏的制度，由于分科取士而得名。明清形成了完备的科举考试制度。共分四级（见后表）。汉代已有考试取士之法，但系临时措施，并未形成定制。隋文帝废除贵族垄断的九品中正制，于开皇七年（587）设志行修谨、清平干济二科。炀帝时始置进士科。唐代于进士外，复置秀才、明法、明书、明算诸科，又有一史、三史、开元礼、童子、道举等科。诸科之中，唯进士科为常设，最为重要。宋以后各朝科举制仅有进士科。唐宋进士科主要考诗赋。宋神宗熙宁时，王安石改用经义。元、明、清均用其法。明清两朝的经义以"四书""五经"的文句为题，规定文章的格式为八股文，解释须依朱熹的《四书集注》等书。光绪二十七年（1901），一度改变科举办法，废止八股。变法失败后复旧。光绪三十一年（1905）推行学校教育，科举制度即被废除。

明清科举简表

科别 内容 项目	院　试	乡　试 （秋闱）	会　试 （春闱）	殿　试
考场	学政巡回案临考场（府、县）	京城和各省城贡院（省城）	京城贡院（礼部）	皇宫（宫殿）
主考人	各省学政	中央政府特派官员	礼部侍郎或钦差大臣	皇帝
参加者	童生（儒生）	生员及监生	举人	贡士
中者名称	生员（秀才）	举人	贡士	进士
日期	三年之内两次	子、卯、午、酉年八月，桂榜	乡试次年三月，杏榜	会试同年四月，金榜
第一名	案首	解元	会元	状元
第二名				榜眼
第三名				探花

3. 与科举相关的内容

童生试　明、清时取得生员（秀才资格）的入学考试。简称“童试”，亦称“小考”“小试”。应考者称童生，未被录取者虽至白首，不改童生之称。童生试包括县试、府（或直隶州、厅）试与院试三个阶段。院试录取者为生员，送入府、县学宫，称“入学”。岁考、科考则为考核已入学的生员的考试。《促织》“邑有成名者，操童子业”，“操童子业”是说正在准备参加童生试。

进士及第　进士是科举考试的最高功名。及第指科举考试应试中选。科举殿试时录取分为三甲：一甲三名，赐“进士及第”的称号，第一名称状元（鼎元），第二名称榜眼，第三名称探花；二甲若干名，赐“进士出身”的称号；三甲若干名，赐“同进士出身”的称号。二、三甲第一名皆称传胪，一、二、三甲统称进士。通俗地讲，考中一、二、三甲都可以叫进士及第。及第后称考官为座主、恩门，对座主自称门生。同科及第的人互称同年。例如：同年曰：“君赐不可违也。”（《训俭示康》）

连中三元　科举制度称乡试、会试、殿试的第一名为解元、会元、状元，合称“三元”。接连在乡试、会试、殿试中考中了第一名，称“连中三元”。

鼎甲　指殿试一甲三名状元、榜眼、探花，如一鼎之三足，故称鼎甲。状元居鼎甲之首，因而别称鼎元。

诸生　明清时期经考试录取而进入府、州、县各级学校学习的生员。有时也指进入国子监学习的监生。例如：今诸生学于太学。（《送东阳马生序》）

八股文　也称“时文”“制艺”“制义”“八比文”，是明朝考试制度所规定的一种特殊文体。文体有固定格式，由破题、承题、起讲、入手、起股、中股、后股、束股八部分组成。每个部分都有一定的字数的限制，人们只是按照题目的字义敷衍成文。文章内容空洞，形式死板。

4. 学校与教师

古代学校有“庠（xiáng）”“序”“太学”。“庠”和“序”是地方学校。例如：

又嘱学使俾入邑庠。（《促织》）

谨庠序之教，申之以孝悌之义。（《齐桓晋文之事》）

“太学”是全国最高学府。例如：

因入京师，观太学，遂通五经，贯六艺。（《张衡传》）

明清时最高学府称国子监，入监读书的人称监（jiàn）生。国子监掌管人员为祭酒、司业；教学人员为教授、博士、直进、助教等。例如：

有司业、博士为之师，未有问而不告，求而不得者也。（《送东阳马生序》）

三、地理常识

古代地理知识，包括地区名、政区名、山川关隘名、城市村镇名等。

（一）地区名

江表 指长江以南的地区。例如：江表英豪咸归附之。（《赤壁之战》）

江东 指长江以南的地区。例如：亮兄瑾也，避乱江东。（《赤壁之战》）

江左 指长江下游南岸地区。例如：即传令悉召江左英杰与子翼相见。（《群英会蒋干中计》）

关中 指函谷关以西的地区。例如：自以为关中之固，金城千里，子孙帝王万世之业也。（《过秦论》）

三秦 指陕西一带地区，古代为秦地。项羽灭秦之后，把秦地分为雍、塞、翟三部分，故称三秦。例如：城阙辅三秦，风烟望五津。（《送杜少府之任蜀州》）

山东 指崤(Xiáo)山以东的地区。例如：沛公居山东时，贪于财货，好美姬。（《鸿门宴》）

有时"山东"也指太行山以东的地区。例如：山东多鱼、盐、漆、丝、声色。（《货殖列传》）

河北、河南 分别指黄河以北和黄河以南的地区。例如：将军战河北，臣战河南。（《鸿门宴》）

中国 指中原地区。例如：若能以吴、越之众与中国抗衡，不如早与之绝。（《赤壁之战》）

三江 泛指长江中下游地区。如：襟三江而带五湖。（《滕王阁序》）

岭南 "大庾、骑田、都庞、萌渚、越城"五岭以南地区，约今广东、广西地区。相对中原地区来说，该地在五岭以外，故又称"岭表"。例如：日啖荔枝三百颗，不辞长作岭南人。（《食荔枝》）

（二）政区名

九州 古代天下分九州，即冀、兖、青、徐、扬、荆、豫、梁、雍。一般地说，"九州"泛指中国。例如：

九州生气恃风雷，万马齐喑究可哀。（《己亥杂诗》）

八州、八荒 泛指中国。例如：

序八州而朝同列。（《过秦论》）

有席卷天下，包举宇内……并吞八荒之心。（《过秦论》）

六合 上、下、东、西、南、北，泛指天下或宇宙。

例如：然后以六合为家，崤函为宫。（《过秦论》）

四海 古以中国四周有海环绕。四海，等于说"天下"，泛指全国各地。例如：

四海之大，有几人欤？（《五人墓碑记》）

中州 古地区名。即中土、中原。狭义的中州指今河南省一带，因其地在古九州之中得名。例如：

中州盛日，闺门多暇，记得偏重三五。[《永遇乐（落日熔金）》]

郡 行政区域。秦分天下为三十六郡。例如：

西举巴、蜀，东割膏腴之地，北收要害之郡。（《过秦论》）

南取百越之地，以为桂林、象郡。（《过秦论》）

国 汉代诸侯王的封域，也是行政区。国的区域略大于郡，所以"郡国"连称。例如：

时国王骄奢，不遵典宪。（《张衡传》）

道 唐代的道是监察区，相当于汉代的州。唐代先分天下为十道，后又分为十五道。例如：

陈明选下骑搏战，至兵备道前被杀。（《阎典史传》）

路 宋代的路最初是征收赋税、转运漕粮的，后来带有行政区和军区的性质。例如：

四十三年，望中犹记，烽火扬州路。（《永遇乐·京口北固亭怀古》）

省 本是官署名称。元代始设行省。后来行省成为正式的行政名称，简称省。例如：

以此省此府此县而憎彼省彼府彼县。（《原道醒世训》）

县 地方基层行政区域。例如：

欲开道置县，以靖乡土。（《海瑞传》）

（三）山川关隘名

江 指长江。例如：大江东去，浪淘尽，千古风流人物。（《念奴娇·赤壁怀古》）

河 指黄河。例如：然后践华为城，因河为池。（《过秦论》）

殽 指殽山。例如：殽有二陵焉。（《殽之战》）

函 指函谷关。例如：秦孝公据崤函之固。（《过秦论》）

岱 指泰山。例如：岱宗夫如何？齐鲁青未了。（《望岳》）

五岳 指东岳泰山、西岳华山、南岳衡山、北岳恒山、中岳嵩山。例如：天姥连天向天横，势拔五岳掩赤城。（《梦游天姥吟留别》）

四岳 指东岳泰山、西岳华山、南岳衡山、北岳恒山。

四渎 指长江、黄河、淮河、济水。

大泽 指云梦（在今湖北省长江南北，本为两泽，江北为云，江南为梦。后来淤为陆地，今洪湖等是其遗迹）、洞庭、彭蠡（今鄱阳湖）、具区（又名震泽，今太湖）。

五湖 一般指具区、洮滆（即太湖附近的洮湖和滆湖）、彭蠡、青草（在洞庭湖东南）、洞庭湖。

玉门关 又称玉门，在甘肃省敦煌市西北。汉代置关，是古代出塞的必经之路。例如：青海长云暗雪山，孤城遥望玉门关。（《从军行》之四）

阳关 在今甘肃敦煌市西南，因在玉门关的南边，故称阳关。汉代置关，也是出塞的必由之路。例如：劝君更尽一杯酒，西出阳关无故人。（《送元二使安西》）

（四）城市村镇名

1. 有古称、别称的地名

南京 又称建康、建业、金陵、江宁、白下、石头城等。例如：

千里澄江似练，翠峰如簇。（《桂枝香·金陵怀古》）

山围故国周遭在，潮打空城寂寞回。（《石头城》）

杭州 又称临安、钱塘、武林等。例如：矮纸斜行闲作草，晴窗细乳戏分茶。（《临安春雨初霁》）

福州 又称三山。例如：自海道至永嘉，来三山，为一卷。（《〈指南录〉后序》）

镇江 又称京口。例如：去京口，挟匕首以备不测，几自刭死。（《〈指南录〉后序》）

开封 又称东京。例如：余读《东京梦华录》《武林旧事记》。（《柳敬亭传》）

扬州 又称广陵、淮上、江都、维扬。例如：淳熙丙申至日，予过维扬。［《扬州慢（淮左名都）》］

苏州 又称姑苏、吴郡。例如：姑苏城外寒山寺，夜半钟声到客船。（《枫桥夜泊》）

武汉 又称夏口、江夏。例如：西望夏口，东望武昌。（《赤壁赋》）

2. 三都、两都、三辅

三都 东汉的三都指东都洛阳、西都长安、南都宛。唐代的三都指东都洛阳、北都晋阳和京都长安。

两都 汉代指长安、洛阳。又叫“两京”。

三辅 汉太初元年，置京兆尹、左冯翊（Píngyì）和右扶风三个相当于郡的政区，因为是管辖京都及其附近地区，故合称“三辅”。

3. **畿** 古代王都所在的千里地面。后多指京城管辖的地区。例如：

乡先辈左忠毅公视学京畿。（《左忠毅公逸事》）

（五）其他

阴阳 阴，指山岭的北面，河流的南面；阳，指山岭的南面，河流的北面。例如：泰山之阳，汶水西流，其阴，济水东流。（《登泰山记》）

一般来说，在由两个字构成的地名中，如果第一个字是山、水名，第二个字是“阴”或“阳”，“阴”或“阳”就表明该地的方位。如“华阴”在华山的北面，“江阴”在长江的南面，“衡阳”在衡山的南面。

四、宗法和礼俗

(一)宗法

宗法 旧时以家族为中心,按血统远近区别亲疏的法则。它包括封建社会规定的嫡庶、系统的法则和家族中祭祀、婚嫁、家塾、庆吊、送终等事情的家法。这种制度是为维护封建等级制度、巩固贵族世袭统治服务的,因此得以在封建社会中长期保存。

嫡子 封建宗法社会中指正妻所生的儿子。有时也指正妻所生的长子,即"嫡长子"。从周代起,王位一般都由嫡长子世袭,直至清末。

宗子 指嫡长子。依宗法,嫡长子要继承大宗,为兄弟族人所共尊。他有祭祀始祖的特权,要继承特别多的遗产,应受小宗的尊敬。宗子也是一宗之祖,地位特别高贵,故又叫"宗主"。

庶子 封建宗法社会中指妾(小妻)生的儿子。周代以后王位由嫡子世袭,诸侯的君位也如此。宗法社会以"杀嫡立庶"为非法。

众子 指嫡长子以外的诸子。包括长子以外正妻所生的嫡子和妾(小妻)所生的庶子。

亲戚 在古代,"亲"表示的亲属关系比较广泛,儿女对父母可以称"亲",父母对儿女也可以称"亲"。前者如《送东阳马生序》:"其将归见其亲也。"后者如《左传·隐公四年》记载卫国大夫石碏(què)杀掉谋杀国君的儿子石厚时,说石碏是"大义灭亲"。"戚"表示亲属关系时比"亲"疏远些,使用频率极低。汉代以后,"亲"主要表内亲,"戚"表外亲。"亲"与"戚"连用时,有时指父母兄弟等本宗同姓亲属,有时指内外亲属,包括本宗与外姻,即同姓本族与异姓外族姻亲。如《廉颇蔺相如列传》:"臣所以去亲戚而事君者,徒慕君之高义也。"

六亲 泛指亲属。但具体说法不一:按《左传》说,指父子、兄弟、姑姊、甥舅、婚媾、姻亚;按《周易》说,指父子、兄弟、夫妇;按《汉书》说,指父母、兄弟、妻子;等等。

三党 指父党、母党、妻党,亦即父族、母族、妻族。

考妣 旧时父亲死后称"考",母亲死后称"妣"。《礼记·曲礼下》:"生曰父,曰母,曰妻;死曰考,曰妣,曰嫔。"如《项脊轩志》:"室西连于中闺,先妣尝一至。"

昭穆 古代宗法制度下宗庙排列的次序。始祖庙在中间,以下各代按照辈分,分别列于两侧:二世、四世、六世居左,为昭;三世、五世、七世居右,为穆。后由宗庙的次序,又推广到坟地葬位和祭祀时的排列顺序,后又泛指一般宗族的辈分。

丧服 旧时居丧时穿戴的服饰。根据与死者关系的亲疏,分为五等,称作"五服",包括"斩衰""齐衰""大功""小功""缌(sī)麻"。丧服制度反映了男尊女卑的观念,也反映了血统亲疏的等级。习惯上以五服之内为亲,五服以外为疏。

期功 古代丧服的名称。期,服丧一年。功,指大功和小功,分别为九个月和五个月。如《陈情表》:"外无期功强近之亲。"

七庙 历代帝王为维护宗法制度,设七庙供奉七代祖先,太祖庙居中,左三昭,右三穆。后以"七庙"为王朝的代称。如《过秦论》:"一夫作难而七庙隳。"

太庙 天子的祖庙。如《伶官传序》:"入于太庙,还矢先王,而告以成功。"

三纲 封建时代的一种道德规范,即"君为臣纲""父为子纲""夫为妻纲"的合称。意思是臣要绝对服从君,子要绝对服从父,妻要绝对服从夫。最先由汉代董仲舒提出,后经历代封建统治阶级加以系统化,成为禁锢人们思想的一套封建教义。

五常 1.即"五伦",是封建礼教所规定的君臣、父子、兄弟、夫妇、朋友之间的伦理关系,即君臣有义,父子有亲,长幼有序,夫妇有别,朋友有信。这些人伦关系,反映了封建社会的等级观念。五伦中君臣关系居于首位,故又叫"大伦"。如《论语·微子》:"长幼之节,不可废也;君臣之义,如之何其废之?欲洁其身,而乱大伦。"2.即"五行",指金、木、水、火、土五种物质。3.指仁、义、礼、智、信。

五教 是父、母、兄、弟、子五者之间的封建关系准则,即父义、母慈、兄友、弟共(恭)、子孝。

七出 封建社会遗弃妻子的七种借口:无子、淫泆、不事舅姑(即公婆)、口舌、盗窃、妒忌、恶疾。有其

中之一就可以遗弃。又叫"七去""七弃",是为维护夫权而制定的迫害妇女的礼教。

三从四德 "三从"与"四德"的合称。"三从"指幼从父、嫁从夫、夫死从子;"四德"指妇德、妇言、妇容、妇功。三从四德是封建伦理道德奴役妇女的精神枷锁。

伯仲叔季 古代兄弟或姊妹间依长幼排行时,习惯上以伯、仲、叔、季为序。一般来说,"伯"是老大,"仲"是老二,"叔"是老三,"季"是最小的。如《左传·文公十八年》:"高辛氏有才子八人:伯奋、仲堪、叔献、季仲、伯虎、仲熊、叔豹、季狸。"次序依伯、仲、叔、季并循环使用。兄弟姊妹中年纪最大的称"伯",有时也称"孟",但二者有区别:嫡长子称"伯",庶出长子称"孟"。另外,因"伯"指老大,"仲"指老二,所以后代常用"伯仲"指兄弟或表示不相上下。如陆游《书愤》:"出师一表真名世,千载谁堪伯仲间!"

(二)礼俗

礼俗 即礼仪习俗。泛指婚丧、祭祀、交往等的礼节与习俗。

五礼 五种礼的合称。古代以祭祀的事为吉礼,冠婚的事为嘉礼,宾客的事为宾礼,军旅的事为军礼,丧葬的事为凶礼。

六礼 有两种解释:1. 指冠礼、婚礼、丧礼、祭礼、乡饮酒礼、相见礼。2. 指婚姻成立的手续,即纳采、问名、纳吉、纳征、请期、亲迎。

冠礼 古代男子成年时举行加冠的礼仪。古代未成年的男子束发,不戴冠,行过加冠礼后则标志着进入成年了。举行加冠礼的年龄,有20岁和19岁两种说法。后代冠礼虽废,但仍保留"加冠""已冠""弱冠""未冠"等说法。如《送东阳马生序》:"既加冠,益慕圣贤之道。"《祭妹文》:"予弱冠(初加冠,体还未壮,故称弱冠)粤行。"

笄(jī)礼 古代女子到了成年时举行的盘发插笄(即簪子)的礼仪。举行笄礼的年龄一般在15岁时,表示年届成人,可以结婚。后来女孩子到了成年又称"及笄""笄年"。

合卺(jǐn) 指结婚。古时把一个匏分为两个瓢叫"卺",举行结婚仪式时,一对新人各执一瓢而醑(xǔ)(用酒漱口),就叫"合卺"。后世遂以"合卺"为结婚的代称。

妻 男子的配偶。在宗法时代指正式的配偶、嫡妻。从等级上看,"妻"当是指诸侯以下男子的正式配偶,因为诸侯的正式配偶称"夫人",帝王的正式配偶称"后"。如《邹忌讽齐王纳谏》:"吾妻之美我者,私我也。"

妾 最初指家庭的女奴,后指贵族娶的"小妻",实际上"小妻"是女奴随社会的发展而发展的结果,但地位仍极其低贱。如《邹忌讽齐王纳谏》:"妾之美我者,畏我也。"旧时正式婚配的妻子、夫人有时自己也称"妾""贱妾",这是自谦的说法。如《孔雀东南飞(并序)》:"贱妾留空房,相见常日稀。""妾不堪驱使,徒留无所施。"

姬 原是古代的显姓。如周王族姓姬。后来成为贵族妇女的代称,再进一步泛化,便成为妇女的美称,进而成为美女的通称。如《鸿门宴》:"沛公居山东时,贪于财货,好美姬。"后来又成为富贵人家婢妾的美称。

媵(yìng) 指古代诸侯的女儿出嫁时随嫁或陪嫁的人。它是古代一夫多妻制的一种形式。其方式是,诸侯娶一国之女为嫡夫人,女方以侄女、妹妹随嫁。此外,还有两个和女方同姓的"国、家"送女儿陪嫁,也各以侄女、妹妹相从。这些随嫁、陪嫁的人统称为"媵"。但这些被称为"媵"的贵族妇女,其间虽有辈分、嫡庶之分,但都是主子,不是奴才,她们都是经过"聘"的,都有资格成为夫人。后来随着"媵女"制度的逐渐消亡,"媵"的地位逐渐降低,在只有妻妾之分的时代,就与"妾"成了同义词。如《阿房宫赋》:"妃嫔媵嫱,王子皇孙,辞楼下殿,辇来于秦。"

青庐 用青布搭成的篷帐,行婚礼的地方,东汉至唐有这种风俗。如《孔雀东南飞(并序)》:"其日牛马嘶,新妇入青庐。"

文定 相传周文王卜得吉兆纳征订婚后,亲迎太姒至渭滨。后世因此以"文定"代称订婚。

朝 周代各国的诸侯,按规定的时间觐见周天子,叫"朝"。《礼记·王制》:"五年一朝天子。"另一种说法是《左传·昭公十三年》杜预注:"三年一朝。"每次朝见天子,都要带着玉帛、兽皮、珍玩和土

产等贡品，叫做“朝贡”。如《左传·隐公八年》：“郑伯以齐人朝王，礼也。”如果不按时朝见天子，就被认为是不尊敬天子，天子就要出兵讨伐。如《左传·隐公九年》：“宋公不朝，郑伯为王左卿士，以王命讨之，伐宋。”

觐 朝拜皇帝。古代诸侯朝见天子称觐。诸侯春见曰朝，秋见曰觐。诸侯朝见天子的仪式称觐礼。觐礼规定，天子不得下堂见诸侯，下堂而见诸侯天子失礼。如《谭嗣同》：“至七月，乃扶病入觐，奏对称旨。”

聘 天子派卿大夫见诸侯叫“聘”。《礼记·王制》疏云：“其天子亦有使大夫聘诸侯之礼。”诸侯德风方面有突出成就的，天子往往也派人去聘问。如《左传·隐公七年》：“冬，天王使凡伯来聘。”凡伯是天子的大夫，周王派他来见鲁隐公。

诸侯的国君即位，强大的诸侯国来贺见，也叫聘。《左传·襄公元年》：“九月，邾（Zhū 即邹）子来朝，礼也。”“冬，卫子叔、晋知武子来聘，礼也。”邾是小国，所以叫朝；卫、晋是大国，就叫聘。

诸侯派大夫见别国诸侯也叫聘。这是诸侯之间邦交的礼节。《礼记·王制》：“比年一小聘，三年一大聘。”《左传·隐公七年》：“齐侯使其弟年来聘。”诸侯相聘，使者还带着玉帛，表示尊敬对方的意思。所以《左传》注曰：“诸聘皆使卿执玉帛以相存问。”

相互来往朝聘，也有一定的名称。由此国往彼国的聘叫“如”。例如《左传·襄公二十年》：“冬，季武子如宋，报向戌（shù）之聘也。”季武子自鲁去宋，叫做“如”。反之，在襄公十五年时，宋派向戌来鲁国，就说成“宋向戌来聘”。这是由彼国来此国，叫做“聘”。所以说：“内适外言如，外适内言朝聘。”意思是：由本国到别国去叫如，由别国到本国来叫朝聘。

誓 用语言相互约束表示决不违背信约叫“誓”。《礼记·曲礼》：“约信曰誓。”诸侯之间举行这种仪式，叫“誓礼”。举行这种仪式，不用杀牲、歃（shà）血。

盟 两国以上或两人以上互相宣誓约定来协同办事叫“盟”。会盟时杀牲、歃血，并且宣读盟书，誓于神，叫做“盟礼”。《礼记·曲礼》：“涖牲曰盟。”盟与誓不同之处就在于举行仪式时要杀牲、歃血。遇有急难，诸侯之间会见，举行盟礼，共同约定，相互援助，就叫“会盟”。如《过秦论》：“诸侯恐惧，会盟而谋弱秦。”

歃血 指古人盟誓时双方主事人用嘴吸一点牲畜的血以表示诚意的仪式。如《史记·毛遂自荐》：“王当歃血而定从，次者吾君，次者遂。”

结盟以后，双方就有义务约束。如《左传·襄公三十年》记宋国在五月间遭特大火灾，冬，与宋同盟的十一个诸侯会于澶渊，共同以财货来援助宋国。

遇 诸侯之间不在规定的时间或地点忽然相见，就叫“遇”。如《左传》疏云：“遇者，草次之期，二国各简其礼，若道路相逢遇也。”事先没有约定，偶尔相逢，犹如人们在路上偶然相遇一样，在礼节上要比“朝”简单。

诸侯途中相遇，以距各自的都城远近来划分主宾，地近的一方为主，地远的一方为宾，双方用主宾之礼接待。如《左传·隐公八年》：“春，宋公、卫侯遇于垂。”

免胄 胄，盔。按古代礼法，诸侯的军队过天子门，战车上的左右卫士必须脱胄卷甲，收好兵器，下车步行而过，以示对天子的尊敬。如《殽之战》：“左右免胄而下。”

祖 古代饯行时的仪式，即出行之前祭祀路神，引申为在半路上为别人设宴送别。如《荆轲刺秦王》：“至易水上，既祖，取道。”

封禅 古代统治者不仅重视祭宗庙，也重视祭天地、山川。《白虎通》云：“礼曰：天子祭天地，诸侯祭山川。”

古代帝王祭天地的最隆重的典礼叫做“封禅”。一般都是由帝王亲自到泰山上举行。古时认为泰山是五岳之长，称为岱宗。五岳即东岳泰山、南岳衡山、西岳华山、北岳恒山、中岳嵩山。泰山高，离天近，所以先要到泰山顶上举行祭天的仪式，以报答天之功，叫封。然后再到泰山脚下的一座小山——梁父山上举行祭地的仪式，以报答地之功，叫做禅。如《史记·秦始皇本纪》：“二十八年，始皇东行郡县，上邹峄（Yì）山，立石，与鲁诸儒生议：刻石颂秦德，议封禅，望祭山川之事。乃遂上泰山，立石，封，祠祀。

下，风雨暴至，休于树下，因封其树为'五大夫'。禅梁父。"

斋戒 旧时祭祀鬼神时，穿整洁衣服，戒除嗜欲（如不喝酒、不吃荤、不妄行动、不狂言戏笑等），以表示虔诚。《廉颇蔺相如列传》："于是赵王乃斋戒五日，使臣奉璧，拜送书于庭。"

衅钟、衅鼓 用牲血涂器祭祀。古时新钟铸成，必杀牲口取血涂在钟的孔隙上，并举行祭钟仪式，称衅钟。这是一种礼制，凡重要器物（钟、鼓等）制成，定杀牲取血涂在上面。如《殽之战》："不以累臣衅鼓。""衅鼓"在这里是"处死"的意思。

社稷 古代帝王、诸侯所祭的土神叫"社"，谷神叫"稷"。后来就以"社稷"代表国家。《陈涉世家》："将军身被坚执锐，伐无道，诛暴秦，复立楚国之社稷，功宜为王。"《五人墓碑记》："故予与同社诸君子哀斯墓之徒有其石也而为之记，亦以明死生之大，匹夫之有重于社稷也。"

牺牲 古代祭祀时把宰杀的牛、羊、猪等牲畜叫做"牺牲"。做祭祀用的毛色纯一的牲畜叫"牺"；体全叫"牲"。古代又有"三牲"之说，指祭祀用的牛、羊、猪。后来也以鸡、鱼、猪为"三牲"。《曹刿论战》："牺牲玉帛，弗敢加也，必以信。"

太牢 古代祭品，指牛、羊、猪各用一头。

少牢 古代祭品，指猪、羊各一头。《伶官传序》："其后用兵，则遣从事以一少牢告庙。"

崩 本指山倒塌。古时用来比喻帝王和王后的死。《战国策·赵策四》："一旦山陵崩，长安君何以自托于赵？"《出师表》："先帝知臣谨慎，故临崩寄臣以大事也。"

薨（hōng） 春秋战国时期，诸侯死了叫"薨"；后世有封爵的大官死了也叫"薨"。《信陵君窃符救赵》："昭王薨，安釐王即位，封公子为信陵君。"

死 古代社会不同地位的人的死有不同的称谓。《礼记·曲礼下》："天子死曰崩，诸侯死曰薨，大夫死曰卒，士死曰不禄，庶人曰死。"

棺椁 "棺"是装殓死人的器具，即棺材。"椁"是外棺，即棺材的套棺，用以保护棺材。上古贵族的墓里大多有椁。

殉葬 指古代用活人或器物从葬的一种风俗。即人死以后，逼迫死者的妻妾、奴隶等随同埋葬。周代以后多用"俑"代替活人，有时也把死者生前用的饮食器、兵器、乐器、装饰品等作为随葬物品。

殓 指给尸体穿衣下棺。也叫"入殓"。

殡 古代指殓而未葬。后世把送灵柩到埋葬的地方叫"出殡""送殡"。

七七 旧俗。人死后每隔七天为祭祀日，祭奠一次，到七七四十九天为止。

丧礼 古代"凶礼"之一。旧时处理死者殓殡奠馔和跪拜哭泣的礼节。

坟墓 埋葬死人的地方。古时高出地面的葬人土堆叫"坟"，与地面相平的葬人场所叫"墓"。后世"坟"与"墓"并称，不再有所区别。旧时放在墓中刻有死者传记的石刻叫"墓志"；立在墓旁，刻载死者生平、表扬其功德的石碑叫"墓表"。

合葬 指夫妇死后葬在一起。《孔雀东南飞（并序）》："两家求合葬，合葬华山傍。"

藁葬 庶人死了至多用"藁葬"。"藁葬"就是用草苫子裹住尸体埋葬。《促织》："日将暮，取儿藁葬。"

庐冢 也作"庐墓"。指古人在服丧期间，为守护父母或师长的坟墓而盖的房舍。"庐"，房屋；"冢"，坟墓。《游褒禅山记》："今所谓慧空禅院者，褒之庐冢也。"

坐 以两膝着地，两股贴在脚跟上，是"坐"。两膝着地，直身，股不着脚跟，是"跪"。跪而挺腰耸身，叫做"跽"（jì）。

坐席也有讲究，所谓"虚坐尽后，食坐尽前"。尽后，是尽量把身体往后坐一点，表示谦恭的样子；尽前，是尽量把身体往前挪一点，不因饮食而玷污坐席。

跪 与坐不同，往往有急事或表示谢罪之时，直身，两股也离开了脚跟。所以前人指出跪与坐二者的区别是"跪危而坐安"。《史记·刺客列传》："荆轲见太子，言田光已死，致光之言。太子再拜而跪，膝行流涕。"跪又表示对长者的尊敬。《论语》："'点，尔何如？'鼓瑟希，铿尔，舍瑟而作。对曰：'异乎三子者之撰。'"这里的"舍瑟而作"，就是指曾暂放下瑟，从席地而坐到耸身直起腰来，与跪着相同，

表示尊敬。

长跪 指挺直上身而跪，表示恭敬。《孔雀东南飞（并序）》："府吏长跪告：'伏惟启阿母，今若遣此妇，终老不复取！'"

跽 跪起，准备起身，膝尚在地上。如《鸿门宴》中写樊哙进帐，"项王按剑而跽曰：'客何为者？'"跽，是受惊而耸身欲起的样子。这种动作因与跪的动作相似，因而也叫"长跪"。如《战国策·唐雎不辱使命》："秦王色挠，长跪而谢之曰：'先生坐！何至于此！'"

箕踞 两股着地伸直两腿，形似箕畚，叫做"箕踞"。这种姿势是表示傲视对方的意思。如《史记·刺客列传》写荆轲刺秦王不中，身被八创，"轲自知事不就，倚柱而笑，箕踞以骂"。箕踞，就是这种两股着地伸直两腿的样子。

拜 是古人常用的表示礼节的方式，就是行礼叩头。不同的场合，用不同的拜礼。《周礼·春官·大祝》："辨九拜，一曰稽首，二曰顿首，三曰空首，四曰振动，五曰吉拜，六曰凶拜，七曰奇拜，八曰褒拜，九曰肃拜。"

拜礼中，礼节最重的是稽首。稽首与顿首、空首不同。一般说来，稽首是臣拜君之拜，顿首是地位相等者互相之拜，空首是国君回礼臣下之拜。

顿首是拜跪于地，引头至地，头顿地即举起，所以叫做顿首。

空首是拜跪于地，先以两手拱至地，再以头至手，因其头不至地，所以叫做空首。

稽首是拜跪于地，引头至地，多时方起，因为头叩地多时，有所稽留，所以叫做稽首。

肃拜是拜礼中礼节最轻的。《周礼·春官》注："但俯下手，今时揖（yī）是也。"只是拱手行礼，就是现在的揖。军队中有这样的肃拜。妇人行礼，主要也是肃拜。褒拜是手持符节行的礼。丧礼中先作顿首后作稽颡（sǎng），叫吉拜；先稽颡后顿首，叫凶拜；振动，是战栗变动之拜。

揖 古代作揖与后世不同，古人作揖是推手。《仪礼·乡饮酒礼宾厌介注》："推手曰揖。"古人作揖，根据对象的不同，推手时有高平下之别。《周礼·秋官》："土揖庶姓，时揖异姓，天揖同姓。"对庶姓，没有亲属关系，推手时稍微往下，叫土揖。对异姓，是指有婚姻关系的，则用时揖，平推手。对同姓，是同一个族的，就用天揖，推手时稍微举高。

执手 表示亲昵的行礼方式，和现在的握手相似。最先见于《诗经》："执子之手，与子偕老。"如《雨霖铃（寒蝉凄切）》："执手相看泪眼，竟无语凝噎。"

寿 以酒或物向别人祝福。如《鸿门宴》："沛公奉卮（zhī）酒为寿。"

趋 臣见君时的礼节。小步快走，表示恭敬。如《触龙说赵太后》："人而徐趋。"

郊迎 到郊外等候迎接，以表敬重。如《战国策·秦策一》："父母闻之，清宫除道，张乐施饮，郊迎三十里。"

万福 旧时妇女对人行礼，口里说着"万福"，后来用"万福"作为行礼的代称。《鲁提辖拳打镇关西》："看那妇人，虽无十分的容貌，也有些动人的颜色，拭着眼泪，向前来深深的道了三个万福，"

九宾 也称"九仪"，古代外交上最隆重的一种礼仪，由九名傧相（迎宾赞礼人员）立于殿廷，接引宾客上殿。《廉颇蔺相如列传》："秦王斋五日后，乃设九宾礼于廷，引赵使者蔺相如。"

百姓 古代奴隶社会对贵族的总称。贵族有姓，平民无姓，这种状况在春秋战国时代仍然存在。到了汉代，自天子以至于一般平民才皆可以有姓了。"百姓"遂随之指称一般平民了。

布衣 即平民。古代平民穿麻布葛衣，故"布衣"成了平民的代称。《廉颇蔺相如列传》："臣以为布衣之交尚不相欺，况大国乎？"《出师表》："臣本布衣，躬耕于南阳，苟全性命于乱世，不求闻达于诸侯。"

臣 最初指男性奴仆，跟女性的"妾"相对。后来成为君主时代官吏和百姓的统称。《邹忌讽齐王纳谏》："令初下，群臣进谏，门庭若市。"另外，"臣"又是表示谦卑的自称。《墨子·公输》："北方有侮臣者，愿借子杀之。"

氓民 即"平民""众民"之意。也称"蒸黎""黎元"等。

士 商、周时最低级的贵族阶层。卿大夫下面是士，这种"士"通常担任卿大夫统治区域（即家）

的家臣。春秋以后"士"又成了武士、文士的称谓，再以后便逐渐成了统治阶级中知识分子的通称了。《信陵君窃符救赵》："公子为人，仁而下士。"《〈指南录〉后序》："缙绅、大夫、士萃于左丞相府，莫知计所出。"

奴隶 为奴隶主劳动而无人身自由的人，常常被奴隶主任意买卖或杀害。最初的"众""奚""仆""臣""妾"都是奴隶。

黔首 战国时秦国及后来秦王朝对平民的贱称。黔，黑色。黔首，犹如黑头。据说秦尚黑色，当时平民皆用黑布包头，故名。《过秦论》："于是废先王之道，焚百家之言，以愚黔首。"

庶人 也叫"庶民"。西周以后对农业生产者的称谓，其身份比奴隶高。

小人 西周、春秋时代对被统治的劳动人民的称谓。又指道德低下的人。前者与"大人"相对，后者与"君子"相对。《出师表》："亲贤臣，远小人，此先汉所以兴隆也；亲小人，远贤臣，此后汉所以倾颓也。"另外，"小人"又是旧时地位低的人对上自称的谦辞。《林教头风雪山神庙》："李小二便拜道：'自从得恩人救济，赍(jī)发小人，一地里投奔人不着，迤逦不想来到沧州，投托一个酒店主人，姓王，留小人在店中做过卖。'"

(三)尊卑

1. 室内座位尊卑 古时座次、坐向规定严格，一般坐北朝南为尊位。如《鸿门宴》："亚父南向坐，——亚父者，范增也；沛公北向坐。"

2. 车座的尊卑 古时车座分左中右。一般车座以左为尊。如《信陵君窃符救赵》："坐定，公子从车骑，虚左。"

3. 官位的尊卑 秦汉以前，朝堂及官位多以右为尊，以左为卑。

4. 古时把贵族称为右族或豪右，贫贱者居住之地称"闾左"，贬官称"左迁"。

(四)忌讳

1. 古人讳言"钱"字 "古人以钱之名不雅驯，缙绅先生难道之，故易其名曰赋，曰禄，曰饷，天子千里外曰采。"常见的说法是"孔方兄"。再如，把请人作诗文书画的酬劳钱物称为"润笔"；两汉时，将钱买官谓之"铜臭"等。

2. 古人讳言大小便 常见的说法有"更衣""出恭""解手"等。如《赤壁之战》："权起更衣，肃追于宇下。"

3. 古人讳言"死" 《礼记·曲礼下》载："天子死曰崩，诸侯死曰薨，大夫死曰卒，士死曰不禄，庶人曰死。"宗教教义中也讳言死，如：西归、仙游、升天、坐化、圆寂、涅槃、就木、入土、谢世、作古等，现代汉语中如逝世、长眠、遇难、捐躯、殉国、夭折等。

(五)避讳

避讳实际上是一种反映封建礼法的忌讳，即遇到与君主、尊长的名相同的文字就采用某种方法回避。主要分两大类：一是国讳，一是家讳。

1. 国讳 指诗文中不直书在位甚至前朝某些君主及其亲属的名。例如《吕氏春秋》中称"楚"为"荆"，是因为"庄襄王名子楚，讳之故言荆也"。《治平篇》中"自此而元焉"，因避康熙玄烨讳，改"玄"为"元"。

2. 家讳 或称为私讳，即说话行文中，避免提到自己的父名、祖名。例如：司马迁祖父名谞，所以《史记》中"谞"字皆作"蓋"。"昭王薨，安蓋王即位。"(《信陵君窃符救赵》)

3. 避讳的方法

(1)改字法，即把帝王及所尊者之名改用其他字来代替。

(2)空字法，即将应避讳的字空而不书，或作"某"，或作"□"。

(3)缺笔法，即对所避之字少写一两笔。

(4)改音法，即读书时遇到讳字，就改变声调或读别的字音。

五、服饰和器物

(一)服饰

1. 头衣

冕，从曰免声，即古帽字，是大礼帽，天子、诸侯、卿大夫在祭祀时所戴。冕上有长方板叫延，前后有数串小圆玉叫旒(liú)。天子有十二旒。

冠，从冖从人从寸，会意字，寸是手，以手执冖戴人头上为冠。冠，与后世的帽子在形制上明显不同。冠并不能像帽子那样把头顶全部罩住，而是用一个冠圈套在发髻上，上面有冠梁，自前至后，覆在头顶上。从冠的作用看，主要是捆住头发，同时也起装饰的作用。

古时只有统治阶级、王公贵人才能冠(戴帽)，奴仆只能用巾(黑纱)包头。《释名》说："士，冠；庶人，巾。"巾，又称帻头、幅巾、帩(zé)。王公贵人在巾上再加冠。

唐朝时，巾又称幞(fú)头，以纱为之，因为纱质较软，就用桐木作一衬子垫在里面。后又因两脚软垂，就以铁丝为干把"软翅"撑起来，这样就成了硬质的乌纱帽。如《灌园叟晚逢仙女》："那槐枝上挂的，不是大爷的软翅纱巾么？"

2. 体衣

原始人本是蓬头跣(xiǎn)脚，不冠不履，以兽皮树叶为衣遮体，后来才分为上衣和下裳(cháng)。先秦时衣长而裳短，裳的上半截藏在衣内。后来变成衣短裳长，裳就加衣上。如《卖炭翁》："卖炭得钱何所营？身上衣裳口中食。"《陌上桑》中"紫绮为上襦(rú)"的"襦"是小衣，《羽林郎》中"长裙连理带，广袖合欢襦"的"襦"则是短袄。袍，本是一种简单便服，如《诗经·无衣》："岂曰无衣，与子同袍。"汉以后成了朝服，不分衣和裳。古代的裙与裳不同。《尔雅》说："绕襟谓之裙。"意思是说裙子要从衣襟斜下通过右腋，往下绕至腰臀间，以至前膝。后代的裙与古代的裳则相近。如《林黛玉进贾府》："其钗环裙袄，三人皆是一样的妆饰。"

古代体衣，在质地、颜色上都有严格的等级规定。司马光《训俭示康》批评"近岁风俗尤为侈靡"时说："走卒类士服，农夫蹑丝履。"这表明：走卒穿士服、农夫穿丝履不合常规。五冕、九衮之类衣服只有王公贵人才有资格享受。他们寒冷时，有毛皮大衣(裘)；天热时，有高级丝织品。而那些寒士庶人则只能穿布衣(麻、葛所织)、褐(粗毛编织的灰色粗布)和缊(yùn)袍(旧絮或乱麻填的旧袍)之类，如《诗经·七月》："无衣无褐，何以卒岁？"《送东阳马生序》："同舍生皆被绮绣，戴朱缨宝饰之帽，腰白玉之环，左佩刀，右备容臭，烨然若神人；余则缊袍敝衣处其间。"颜色方面，隋唐及宋，紫、朱、绿、青四色，只有士人以上才能穿。而庶人在隋时穿白色，唐时穿黄白两色，明朝则不许庶人穿黄色。

3. 胫衣、足衣及其他

上古时有裳无裤，但有袴(裤)。袴后无裆，只有两个裤筒，类似后世的套裤。后来加上裆，称裈(kūn)。裤脚短的称犊鼻裈(因形状像犊鼻)，即现在的短裤衩，一般为贫贱者所穿。

足衣，就是鞋，上古称屦(jù)，汉以后叫履。上古时，鞋分革、丝、麻、草四种，有钱人穿革履丝鞋，贫苦人穿草鞋或光脚，如《孔雀东南飞(并序)》："揽裙脱丝履，举身赴清池。"

此外还有寝衣，包括深衣(衾衣)、衾枕、锦衾、布衾、罗帐等。如《茅屋为秋风所破歌》："布衾多年冷似铁，娇儿恶卧踏里裂。"与冠服相关的还有衣带、香囊、玉佩、耳环等装饰品。

4. 官员的服饰

我国封建时代，皇帝以下的文武百官共分九个等级，称为"九品"。他们的服饰，以清代为例，文官服饰：一品为鹤，二品为锦鸡，三品为孔雀，四品为雁，五品为白鹇，六品为鹭鸶，七品为紫鸳鸯，八品为鹌鹑，九品为练雀。武官服饰：一品为麒麟，二品为狮子，三品为豹，四品为虎，五品为熊，六品为彪，七品、八品为犀牛，九品为海马。

5. 佩饰

环，玉制的佩器。圆形，中空。古人重视佩玉，有"君子必佩玉"之说。如杜甫《咏怀古迹》中咏王昭君："画图省识春风面，环珮空归夜月魂。"

玦，环的周边上留一缺口就是"玦"，玦与"决"同音，故常以玦寓指决断、诀别。如《鸿门宴》："范增数目项王，举所佩玉玦以示之者三。"

容臭(xiù),即香袋,后代称"香囊",内装香料,随身佩带,香气绕身,故名容臭。臭者,香气也。如《送东阳马生序》:"同舍生皆被绮绣……右备容臭,烨然若神人。"

(二)器物

器物种类繁多,在这里只介绍食器和酒器。

1. 食器

古代食器,大小不一,功能也不同。有的主要用于烹饪,有的则用于取食。

鼎,形制多为圆腹三足两耳,主要用于煮肉盛肉,腹下可烧火。后来常用"钟鸣鼎食"形容贵族的奢侈豪华。鼎,还可用于祭祀,并作为王权的象征。人们以"问鼎"比喻图谋王位或颠覆某国政权。如《世说新语》:"苻坚将问晋鼎,既已狼噬梁、岐,又虎视淮阴矣。"

镬(huò),也是煮肉的炊具,大于鼎,古时常在镬中把肉煮熟,后再移到鼎中就食。如《察今》:"尝一脟肉而知一镬之味、一鼎之调。"

鬲(lì),古代炊具,主要用于煮粥。形制与鼎相近。圆腹三足,三足中空,与腹相通,作用是能最大限度受火,加快煮食物的速度。《尔雅·释器》说:"鼎款(空)足者谓之鬲。"

蒸食物则可用甑(zèng)。甑,上下两部分能分开,上为甑(后来变成蒸笼),下为鬲。战国后期,甑、釜常常连用。釜像锅,甑底有细孔,放在釜上。如《项羽本纪》:"项羽乃悉引兵渡河,皆沉船,破釜甑。"

除烹饪器物外,还有取食器。如箸(zhù,筷子);盛食器,如豆(原用于盛饭,后逐渐变为盛肉酱、肉羹)、笾(biān,《尔雅·释器》说"木豆谓之豆,竹豆谓之笾,瓦豆谓之登")、簋(dān,竹制或苇制,盛饭)、簋(guǐ,主要用于盛饭,最初竹木制或土瓦制,后则多用青铜制成);放置食器的用具,如案(长方四足或圆形之足。食器先放在案上,然后再摆在席上,成语有"举案齐眉")。如《林黛玉进贾府》:"贾珠之妻李氏捧饭,熙凤安箸,王夫人进羹。"《鱼我所欲也》:"一箪食,一豆羹,得之则生,弗得则死。"

2. 酒器

古代的酒器,即用于酿酒、盛酒、温酒和饮酒的器物,大多是陶质和青铜质的。

盛酒器物主要有尊(又作樽,敞口收颈,腹大底小)、彝(yí,陶质或铜质)、壶(盛酒浆)、卣(yǒu,口小腹深)、觥(shāng)、觚等。例如:"金樽清酒斗十千"(《行路难》),"或暖壶酒儿,或烹瓯茶儿"(《灌园叟晚逢仙女》)。成语"箪食壶浆"。

饮酒器物主要有觚(gū,长身细腰,大口圈足,盛酒二升)、觯(zhì,圆形敞口,束颈鼓腰,盛酒三升)、角(形似爵)、卮(圆形,盛酒四升)、杯等。

3. 其他器物

榻,狭长而较矮的床形坐具。如《孔雀东南飞(并序)》:"移我琉璃榻。"

床,古代也指供人坐卧的器具。如《孔雀东南飞(并序)》:"媒人下床去。诺诺复尔尔。"

几,一种小桌子。如《促织》:"人其舍,则密室垂帘,帘外设香几。"

案,长方形的桌子,与放置食器的桌案有差异。如《左忠毅公逸事》:"庑下一生伏案卧。"

六、历法和刑罚

(一)历法

1. 纪年法

(1)干支纪年法

干,即天干,共十位:甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、辛、壬、癸。支,即地支,共十二位:子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥。干支两字相配,用以纪年,如辛亥、戊戌之类。十和十二的最小公倍数为六十,因而干支纪年每六十年一个循环。例如:

予犹记周公之被逮,在丙寅三月之望。(《五人墓碑记》)

辛未三月念六夜四鼓,意洞手书。(《与妻书》)

(2)帝王年号纪年法

皇帝即位,都要改元,称元年。从汉武帝起有年号,后多用年号纪年。例如:

宣德间，宫中尚促织之戏。（《促织》）

阳嘉元年，复造候风地动仪。（《张衡传》）

(3)王公年次纪年法

这种纪年法大多用在春秋、战国时代。例如：

赵惠文王十六年，廉颇为赵将。（《廉颇蔺相如列传》）

(4)年号和干支兼用

顺治二年乙酉四月，江都围急。（《梅花岭记》）

2. 纪月法

(1)序数纪月法

古代纪月，常用序数。一年分为春夏秋冬四季，后来又按夏历把一年分为正月、二月、三月、四月等十二个月，并以此来纪月。例如：

四月初五日辰刻。（《三元里抗英》）

至和元年七月某日。（《游褒禅山记》）

(2)时节纪月法

有的用"孟""仲""季"分别表示一季中的三个月份。如"孟春(1月)""仲秋(8月)"。例如：

孟冬寒气至，北风何惨栗。（《古诗十九首》）

(3)地支纪月法

古人常以十二地支配称十二个月，每个地支前加特定的"建"字。例如：

荒村建子月(农历十一月)，独树老夫家。（《草堂即事》）

3. 纪日法

(1)干支纪日法

元丰七年六月丁丑。（《石钟山记》）

(2)序数纪日法

初八日，始开靖海门及大南大东二城门。（《三元里抗英》）

(3)特定称谓纪日法

①朔。农历每月的第一天。例如：

诸生许用德者以闰六月朔……（《阎典史传》）

②望。农历每月的十五叫望，十六叫既望。例如：

适冬之望日前后，窗外疏梅筛月影。（《与妻书》）

壬戌之秋，七月既望。（《赤壁赋》）

③晦。农历每月的最后一天。例如：

戊申晦，五鼓，与子颍坐日观亭。（《登泰山记》）

(4)传统节日

①元日　农历正月初一日。

②人日　农历正月初七日。高适《人日寄杜二拾遗》："人日题诗寄草堂。"

③三元　上元，农历正月十五日。旧俗以元夜张灯为戏，所以又叫灯节。朱淑贞《生查子》："去年元夜时，花市灯如昼。"七月十五日为中元节。十月十五日为下元节。合称为"三元"。

④社日　农历农家祭社祈年的日子，在春分前后，杜甫有诗："田翁逼社日，邀我尝春酒。"

⑤花朝　农历二月十二，相传为百花的生日。《琵琶行(并序)》："春江花朝秋月夜。"

⑥寒食　农历清明前一或二日，冬至后一百五日(105天)，又谓之"寒令"，须禁火三日。因此，有人以"一百五"为"寒令"的代称。温庭筠《寒食节日寄楚望》诗："时当一百五。"

⑦端午　农历五月初五。屈原投江日。

⑧伏日　农历夏至后第三个庚日是初伏的第一天，第四个庚日是中伏的第一天，立秋后第一个庚日是终伏(末伏)的第一天，初伏、末伏各十天，中伏十天或二十天，总称"三伏"。

⑨初七、下九　"初七"，农历七月初七日，这天晚上叫"七夕"。传说每年此夜牛郎织女在天河鹊

桥相会。“下九”，指农历每月十九日。二十九日为“上九”，初九日为“中九”。汉时，下九是妇女欢聚的日子。如《孔雀东南飞(并序)》：“初七及下九，嬉戏莫相忘。”

⑩中秋　农历八月十五日。人们以为这时的月亮最亮，所以是赏月的佳节。

⑪重阳　农历九月九日。古人认为九是阳数，日月都逢九所以称为重阳。王维《九月九日忆山东兄弟》：“遥知兄弟登高处，遍插茱萸少一人。”孟浩然《过故人庄》：“待到重阳日，还来就菊花。”

⑫冬至　冬至节，古人把冬至看成是节气的起点，从冬至起，日子一天天长起来，叫做“冬至一阳生”。《扬州慢》：“淳熙丙申至日，予过维扬。”

⑬腊日　农历十二月初八。这一天有吃“腊八粥”的风俗。

⑭除夕　农历一年最后一天晚上，“除”是除旧布新之意。一年的最后一天叫“岁除”或“除日”，所以那天晚上叫“除夕”。

4. 纪时法

(1)特定称谓纪时法

古人主要根据天色把一昼夜分为若干段。一般地说，日出时叫旦、早、朝、晨，日入时叫夕、暮、昏、晚，太阳正中叫日中，将近日中时叫隅中，太阳西斜叫做昃(zè)。

古人一日两餐，朝食在日出之后、隅中之前，这段时间叫食时或蚤食；夕食在日昃之后、日入之前，这段时间叫晡(bū)时。日入以后是黄昏，黄昏以后是人定，人定以后是夜半，夜半以后分别是鸡鸣和平旦，这是天将亮的时间。此后是平旦、平明，这是天亮的时间。例如：

旦辞黄河去，暮至黑山头。(《木兰诗》)

奄奄黄昏后，寂寂人定初。[《孔雀东南飞(并序)》]

鸡鸣外欲曙，新妇起严妆。[《孔雀东南飞(并序)》]

(2)十二地支纪时法

古人用十二地支表示十二个时辰，每个时辰恰好等于现在的两个小时。这两个小时，古人把第一个小时叫做初，第二个小时叫做正。例如子时的两个小时就叫子初、子正。

十二时辰表

十二时	夜半	鸡鸣	平旦	日出	食时	隅中	日中	日昃	晡时	日入	黄昏	人定
时辰	子	丑	寅	卯	辰	巳	午	未	申	酉	戌	亥
现代时间	23～1	1～3	3～5	5～7	7～9	9～11	11～13	13～15	15～17	17～19	19～21	21～23

其他常用时间词表(纪时法部分)

项目	时间词	时间	例　句
年	载	年	数载以还
	岁	年	离离原上草，一岁一枯荣
	春	年	一卧东山三十春
	秋	年	四十余帝三百秋
	霜	年	客舍并州已十霜
	稔	年	凡周存亡，不三稔矣
	期年	一周年	期年之后，虽欲言，无可进者
	累年	年年	累年如此，已用九女

续表

项目	时间词	时间	例　句
月	端月	正月	古代把农历的一月、二月、三月定为春，四月、五月、六月定为夏，七月、八月、九月定为秋，十月、十一月、十二月定为冬。每一季有三个月，分别为孟、仲、季。例如：仲春指农历二月，孟秋指农历七月。
	杏月	二月	
	桃月	三月	
	槐月	四月	
	榴月	五月	
	荷月	六月	
	巧月	七月	
	桂月	八月	
	菊月	九月	
	阳月	十月	
	葭月	十一月	
	腊月	十二月	
日	日	每天	日知其所亡
	旦日	明天	旦日不可不蚤自来谢项王
	翌日	第二天	翌日以资政殿学士行
	兼旬	二十天	一人倍之，伤肤，兼旬愈
泛指	曩 昔	从前	曩与吾祖居者，今其室十无一焉 昔者先王知兵之不可去也
	尝	曾经	吾尝终日而思矣
	既	已经，以后	相如既归
	向	从前，刚才	向察众人之议，专欲误将军
	适	刚才	适得府君书
	且	将近	年且九十
	行	即将	行将为人所并
	素 雅	向来	博鸡者袁人，素无赖 安帝雅闻衡善术学
	旋 寻	不久	旋见鸡伸颈摆扑 媒人去数日，寻遣丞请还
	辄	立即，就	饮少辄醉
	卒	突然	卒起不意，尽失其度
	俄而 俄 须臾 顷之 少顷 顷刻	一会儿	俄而百千人大呼 俄见小虫跃起 不如须臾之所学也 顷之，烟炎张天 少顷，但闻屏障中抚尺一下 狼亦黠矣，而顷刻两毙

(二)刑罚

1. 髡、黥、劓、笞、杖、刖、膑、宫

髡(kūn)又称髡首,剃去犯人头发的刑罚。

黥(qíng)是古代的一种刑罚,即墨刑,是古代五刑之一。即用刀刺刻犯人额颊等处,再涂上墨,作为惩罚的标记,用来惩治犯有轻罪的人。古书记载"臣不正君,服墨刑,当其额,涅以墨",指的就是墨刑,即黥刑。

劓(yì)也是古代五刑之一,是一种割鼻子的刑罚。这种刑罚大约起于商代。《史记·商君列传》记载:"行之四年,公子虔复犯约,劓之。"

笞刑也是古代的一种刑罚,是一种用小荆条或小竹板抽打臀、腿、背的刑罚。隋代把它定为五刑之一,一直沿用到清代。

杖刑是一种用大荆条或大竹板打臀、腿、背的刑罚。隋代把它定为五刑之一,沿用到清代。

刖(yuè)刑是古代的一种酷刑,是一种砍掉脚的刑罚。"昔卞和献宝,楚王刖之"一句中记载的就是这种刑罚。

膑刑是古代的一种剔去膝盖骨的酷刑。《汉书·司马迁传》中"孙子膑脚"即指膑刑。

宫刑是破坏人的生殖机能的一种酷刑。司马迁曾受宫刑。

髡、黥、劓、笞、杖、刖、膑、宫这几种刑罚比较起来,一个比一个残忍。髡刑最轻,宫刑最重。

2. 大辟、炮烙、汤镬、车裂、凌迟、腰斩、弃市、枭首、菹醢、极刑

大辟是古代五刑之一,是一种砍头的刑罚。周、商、春秋、战国等时期,为死刑的通称。

炮烙(páoluò)相传为商代纣王所用的一种酷刑。用炭烧铜柱使之热,令有罪者爬行其上。人堕入火炭中被烧死。

汤镬也是古代的一种酷刑,是把人投入到滚汤中煮死。

车裂也是古代的一种酷刑,即将人头、四肢分别拴在五辆马车上,同时分驰,撕裂肢体。也称"辕裂",俗称"五马分尸"。"秦惠王车裂商君",商鞅就是受车裂之刑而死的。

凌迟是古代最残酷的一种死刑。五代时开始在刑法外另设立凌迟一条。宋代凡是犯所谓"大逆"及"逆伦"等罪的人多用此刑,元代将凌迟(俗称"剐刑")正式列入刑法之内,明清两代沿用。

腰斩也是古代的一种酷刑,即将罪人从腰部斩断。《史记·商君列传》:"不告奸者腰斩,告奸者与斩敌首同赏。"

弃市是古代在闹市执行死刑,并将尸体暴露在街头的一种刑罚。秦、汉、魏、晋各代,这种刑罚极为流行。隋唐两代以后,虽然没有列为刑罚种类,但是执行死刑,一般都用弃市。

枭首,将斩下的首级悬于高处示众。

菹醢(zūhǎi),一种酷刑,把犯人剁成肉泥。

极刑是分割肢体、零割全身的酷刑。有时也用极刑指最严酷的刑罚。

七、古代音乐

(一)音乐知识

1. 五音、六律 古人把宫、商、角、徵、羽称为五音,从宫到羽,按照音的高低排列起来,形成一个五声音阶,即:

宫 商 角 徵 羽
1 2 3 5 6

后来再加上变宫、变徵,就形成七个音阶,即:

宫 商 角 变徵 徵 羽 变宫
1 2 3 4 5 6 7

例如:"高渐离击筑,荆轲和而歌,为变徵之声。"(《荆轲刺秦王》)

古书常把五音或五声和六律并举。律,本指用来定音的竹管,后来成为我国古代音乐方面的专门名称。即:黄钟、太簇、姑洗、蕤(ruí)宾、夷则、无射。例如:

"师旷之聪,不以六律,不能正五音。"(《孟子》)

2. 十二律　又称十二律吕。古乐的十二调。是古代的定音方法。即用三分损益法将一个八度分为十二个不完全相同的半音的一种律制。各律从低到高依次为:黄钟、大吕、太簇、夹钟、姑洗、仲吕、蕤宾、林钟、夷则、南吕、无射、应钟。其中单数的称"律",双数的称"吕"。

3. 宫调　中国传统乐学把音乐实践中音、律、声、调之间的逻辑关系概括起来,用以表明调性范畴的全面情况的基本理论。音乐实践中所用一定音阶的各个音级,各相应于一定的律高标准,构成一定的调音体系;某一调音体系中的音阶,又都具体地体现为以某"声"为主的一定调式。审察其间的诸种逻辑联系,包含律高、调高、调式间各种可变因素在内的综合关系的研究,即宫调理论。

4. 八音　我国古代对乐器的统称。具体指金、石、土、革、丝、木、匏、竹八类。

5. 雅乐　"俗乐"的对称。指古代帝王郊祭、朝贺等大典上所用的音乐。

6. 俗乐　"雅乐"的对称。泛指古代各种民间音乐和外来音乐。宫廷中宴会也用俗乐,称为"燕乐"。历代俗乐都很流行。《庄暴见孟子》:"寡人非能好先王之乐也,直好世俗之乐耳。"

(二)古代名曲

1. 经首　相传为尧乐曲《咸池》中的一章,一说为黄帝所作。《庖丁解牛》:"合于《桑林》之舞,乃中《经首》之会。"

2. 六幺　唐时有名的琵琶曲名。本名《录要》,后讹为《绿腰》《六幺》。《琵琶行(并序)》:"轻拢慢捻抹复挑,初为《霓裳》后《六幺》。"

3. 霓裳　即《霓裳羽衣曲》。唐代著名乐曲名,相传为唐玄宗所制。全曲共十二遍,前六遍为散板,无拍,不舞;后六遍有拍,有舞。《琵琶行(并序)》:"轻拢慢捻抹复挑,初为《霓裳》后《六幺》。"

4. 桑林　传说中商汤时代的舞乐名。《庖丁解牛》:"合于《桑林》之舞,乃中《经首》之会。"

5. 无射　本指古代十二音律之一。又指周景王所铸的钟名。《石钟山记》:"噌吰者,周景王之无射也。"

6. 阳春白雪　《阳春》《白雪》都是古代楚国的歌曲名,当时认为是高级的音乐。所以后来用"阳春白雪"比喻高深、不通俗的文学艺术作品。

7. 下里巴人　《下里》《巴人》皆为古代楚国的歌曲名,且为通俗的歌曲。所以后来用"下里巴人"比喻通俗的文学艺术作品。

8. 中国十大古曲　《高山流水》——传说先秦的琴师俞伯牙一次在荒山野地弹琴,樵夫钟子期竟能领会这是描绘"巍巍乎志在高山"和"洋洋乎志在流水"。伯牙惊道:"善哉,子之心与吾心同。"故有《高山流水》之曲。子期死后,伯牙痛失知音,摔琴绝弦,终生不操。

《广陵散》——又名《广陵止息》。传说原是东汉末年流行于广陵地区(即今安徽寿县境内)的民间乐曲。现仅存古琴曲,以《神奇秘谱》载录最早。早期并无内容记载,现多数琴家按照聂政刺韩王的民间传说来解释。据《琴操》中所载:聂政,战国时期韩国人,其父因为韩王铸剑误期而被杀。为报父仇,上泰山刻苦学琴十年之后,漆身吞炭,改变音容,返回韩国,在离宫不远处弹琴,高超的琴艺使行人止步、牛马停蹄。韩王得悉后,召进宫内演奏,聂政趁其不备,从琴腹抽出匕首刺死韩王。为了不连累母亲,便毁容自尽。

《平沙落雁》——又名《雁落平沙》或《平沙》,作者不详。问世以后,深受琴家喜爱,广为流传,并有多种版本,是传谱最多的琴曲之一。对于曲情的理解,有描写秋天景物的,有寓鸿鹄之志的,也有发出世事险恶,不如雁性的感慨的。音调静美,静中有动,旋律起伏,绵延不断,优美动听。

《梅花三弄》——此曲系借物咏怀,通过梅花的洁白、芬芳和耐寒等特征,来赞颂具有高尚情操的人,曲子以泛声演奏主调,并以同样曲调在不同的徽位上重复了三次,所以称为"三弄"。

《十面埋伏》——传统琵琶曲之一,又名《淮阳平楚》。明《四照堂集·汤琵琶传》中记载琵琶家汤应曾奏《楚汉》:"……两军决斗时,声动天地,屋瓦若飞坠。徐而察之,有金声、鼓声、剑弩声、人马辟易声,俄而无声,久之,有怨而难明者为楚歌声;凄而壮者为项王悲歌慷慨之声、别姬声;陷大泽,有追骑声;至乌江,有项王自刎声,余骑蹂践争项王声。使闻者始而奋,既而恐,终而涕泣之无从也,其感人如此。"所绘之情景、声色与今之《十面埋伏》甚近似。

《春江花月夜》——原来是一首琵琶独奏曲，又名《夕阳箫鼓》《浔阳琵琶》《浔阳夜月》《浔阳曲》。后被改编成民族管弦乐曲，深为国内外听众喜爱。乐曲通过委婉质朴的旋律、流畅多变的节奏，形象地描绘了月夜春江的迷人景色，尽情地赞颂了江南水乡的风姿异态。

《渔樵问答》——此曲在历代传谱中有三十多种版本，有的还附歌词。乐曲表现渔樵在青山绿水间自得其乐的情趣。

《胡笳十八拍》——汉末，著名文学家、古琴家蔡邕的女儿蔡琰（文姬），在兵乱中被匈奴所获，留居南匈奴为左贤王妃，生了两个孩子。后来曹操派人把她接回，她写了一首长诗，叙唱她悲苦的身世和思乡别子的情怀，情绪悲凉激动，感人颇深。十八拍即十八首之意。又因该诗是她有感于胡笳的哀声而作，所以名为《胡笳十八拍》或《胡笳鸣》。

《汉宫秋月》——此曲有两种较为流行的演奏形式，一为筝曲，一为二胡曲。《汉宫秋月》意在表现古代受压迫宫女的幽怨悲泣的情绪，以唤起人们对她们不幸遭遇的同情。

《阳春白雪》——一首广泛流传的优秀琵琶独奏古曲。它以清新流畅的旋律、活泼轻快的节奏，生动地表现了冬去春来、大地复苏、万物向荣、生机勃勃的初春景象。

八、古籍注释体例

（一）传

传述之意，主要用于解释经书、阐明经义。例如：《春秋左氏传》《春秋公羊传》。

（二）注

本义是用水灌注。水道阻塞，用水灌注才能流通。引申为对古籍中难懂的字、句加以解释，疏通。例如：《水经注》《礼记注》。

（三）笺

指对前人的解释加以订正、引申、补充或发挥。例如：《诗经》有汉代毛亨传，汉代郑玄笺。

（四）疏、正义

唐代出现的一种注释名称。这种注释不仅解释正义，还对前人的注释作注释。例如：《诗经》有唐孔颖达疏，《左传》有晋杜预注、唐孔颖达五经正义，《史记》有唐张守节正义。

（五）诠

解释词义、字。《康熙字典》说："诠，谓具说事理也。"如杨树达的《词诠》是解释文言文的。

（六）义疏

古书的注释体制之一，内容为疏通原书和旧注的文意，阐述原书思想，或广罗材料，对旧注进行考核、补充辩证。如南朝梁黄侃的《论语义疏》。

（七）义训

指不通过对语音和字形的分析而解释词义的释词方法。是训诂的基本方法。具体形式有：用同义词解释，如《尔雅·释言》："逆，迎也。"用反义词加否定词来释词，如《说文解字》曰部："旱，不雨也。"用下定义释词，如《说文解字》口部："口，人所以言食也。"用古今词语对照来释词，如《论语·子路》郑注："古者曰名，今世曰字。"用指出事物的类属来释词，如《说文解字》木部："杏，果也。"用说明事物的性质状貌来释词，如《说文解字》："芋，大叶实根骇人者，故谓之芋。"

第三编 古代诗文阅读

语文科《考试大纲》对"古代诗文阅读"部分的要求：

能阅读浅易的古代诗文

1. 理解 B

(1)理解常见文言实词在文中的含义

(2)理解常见文言虚词在文中的意义和用法

(常见文言虚词：而、何、乎、乃、其、且、若、所、为、焉、也、以、因、于、与、则、者、之)

(3)理解与现代汉语不同的句式和用法

(不同的句式和用法：判断句、被动句、宾语前置、成分省略和词类活用)

(4)理解并翻译文中的句子

2. 分析综合 C

(1)筛选文中的信息

(2)归纳内容要点，概括中心意思

(3)分析概括作者在文中的观点态度

3. 鉴赏评价 E

(1)鉴赏文学作品的形象、语言和表达技巧

(2)评价文章的思想内容和作者的观点态度

第一部分 文 字

文字是用来记录语言的符号，汉字是用来记录汉语的文字。汉字在殷商时代已经形成，迄今已使用了三千多年，是世界上历史最悠久的文字之一。

汉字在使用的过程中，随着历史的发展、社会的进步，音、形、义都发生了不小的变化，这就给我们学习古代汉语产生了一定的障碍。

一、文言读音

汉字是表意文字，不是表音文字，所以单从字面上看不出古今有多大变化。吕叔湘在《语言的演变》一文中用了一个假设举例："比如宋朝的朱熹，他曾经给《论语》做过注解，可是假如当孔子正在跟颜回、子路他们谈话的时候，朱熹闯了进去，管保他们在讲什么，他是一句也听不懂的。"这就形象地说明了语音的变化之大。我们读唐诗时也可以发现，"近体诗"本来是非常讲究押韵和平仄的，可是许多诗现在念起来不押韵了，有些诗按现代音来读也"平仄不调"了。再看形声字，声旁是表示字音的，可按现代的读音来看，却是不可理解的。例如，"江"的声旁是"工"，"提"的声旁是"是"，"谅"的声旁是"京"，"庞"的声旁是"龙"，等等。从以上这些事例可以看出，汉字的读音古今已经发生了很大的变化。但是，我们现代的人可以用现代的字音去读古代的书，基本上不会影响对古书文意的理解。

下面从两方面说一说古代汉字读音的情况。

（一）多音字

多音字不仅在现代汉语中存在，在古代汉语中也同样存在。所谓多音字是指字形相同而读音不同的汉字。一个汉字，读音不同还意味着词性不同、意义不同、用法不同。所以，对文言文中的多音字我们应有所掌握，以便更好地学习文言文。

附录

文言文中常见多音字集录（通假字音除外）

阿：①堂上启阿母（读 ā）
②万民之主，不阿一人（读 ē）

欸：①欸秋冬之绪风（读 āi）
②欸乃一声山水绿（读 ǎi）

艾：①彼采艾兮，一日不见，如三岁兮（读 ài）
②太甲悔过，自怨自艾（读 yì）

榜：①东都放榜未花开（读 bǎng）
②齐吴榜以击汰（读 bàng）

背：①请往谓项伯，言沛公不敢背项王也（读 bèi）
②朝携轻棹穿云去，暮背寒塘戴月回（读 bēi）

奔：①虽乘奔御风，不以疾也（读 bēn）
②得间奔真州（读 bèn）

辟：①举孝廉不行，连辟公府不就（读 bì）
②辟病梅之馆以贮之（读 pì）

扁：①梦至一亭，扁曰侍康（读 biǎn，同"匾"）
②明朝散发弄扁舟（读 piān）

便：①因利乘便，宰割天下，分裂山河（读 biàn）
②便言多令才（读 pián）

并：①行将为人所并（读 bìng）
②并汾乔木，望秋先陨（读 Bīng）

参：①君子博学而日参省乎己（读 cān）
②瓦缝参差，多于周身之帛缕（读 cēn）
③人生不相见，动如参与商（读 shēn）

藏：①庄宗受而藏之于庙（读 cáng）
②是造物者之无尽藏也（读 zàng）

曾：①同是天涯沦落人，相逢何必曾相识（读 céng）
②盖将自其变者而观之，则天地曾不能以一瞬（读 zēng）

差：①差以毫厘，谬以千里（读 chā）
②好差青鸟使，封作百花王（读 chāi）
③其岸势犬牙差互（读 cī）

长：①振长策而御宇内（读 cháng）
②孰与君少长（读 zhǎng）

嘲：①公卿辱嘲叱，唾弃如粪丸（读 cháo）
②呕哑嘲哳难为听（读 zhāo）

朝：①于是入朝见威王（读 cháo）

②朝辞白帝彩云间(读 zhāo)

称:①唯倜傥非常之人称焉(读 chēng)
②至七月,乃扶病入觐,奏对称旨(读 chèn)

乘:①乘彼垝垣,以望复关(读 chéng)
②沛公之参乘樊哙者也(读 shèng)

秤:①换田契,强称了麻三秤(读 chèng)
②你可敢教我亲自秤(读 chēng)

当:①料大王士卒足以当项王乎(读 dāng)
②古法采草药多用二月、八月,此殊未当(读 dàng)

调:①未成曲调先有情(读 diào)
②尝一脟肉而知一镬之味、一鼎之调(读 tiáo)

昳:①诸客奔走市买,至日昳皆会(读 dié)
②邹忌修八尺有余,而形貌昳丽(读 yì)

度:①相如度秦王特以诈佯为予赵城(读 duó)
②生之有时而用之亡度(读 dù)

恶:①士志于道而耻恶衣恶食者,未足与议也(读 è)
②彼且恶乎待哉(读 wū)
③表恶其能而不能用也(读 wù)

发:①有贤士大夫发五十金(读 fā)
②又有剪发杜门佯狂不知所之者(读 fà)

蕃:①又何以蕃吾生而安吾性耶(读 fán)
②吐蕃(读 bō)

菲:①人间四月芳菲尽,山寺桃花始盛开(读 fēi)
②不宜妄自菲薄(读 fěi)

分:①四体不勤,五谷不分(读 fēn)
②予分当引决(读 fèn)

否:①不问可否,不问曲直(读 fǒu)
②赙罚臧否,不宜异同(读 pǐ)

夫:①匹夫之有重于社稷也(读 fū)
②夫夷以近,则游者众(读 fú)

父:①渔父见而问之曰(读 fǔ)
②父子不相见,兄弟妻子离散(读 fù)

干:①至谷中则森然干霄(读 gān)
②柏虽大干如臂,无不平贴石上(读 gàn)

膏:①莫膏油以继晷(读 gāo)
②芃(péng)芃黍苗,阴雨膏之(读 gào)

更:①族庖月更刀,折也(读 gēng)
②莫辞更坐弹一曲,为君翻作《琵琶行》(读 gèng)

供:①县官日有廪稍之供(读 gōng)
②谓言无罪过,供养卒大恩(读 gòng)

观:①臣观大王无意偿赵王城邑(读 guān)
②今臣至,大王见臣列观,礼节甚倨(读 guàn)

冠:①则虫集冠上,力叮不释(读 guān)
②既加冠,益慕圣贤之道(读 guàn)

号:①天高地迥,号呼靡及(读 háo)
②以出号令(读 hào)

好:①青春作伴好还乡(读 hǎo)
②王好战,请以战喻(读 hào)

荷:①接天莲叶无穷碧,映日荷花别样红(读 hé)
②带月荷锄归(读 hè)

和:①公子颜色愈和(读 hé)
②倚歌而和之(读 hè)
③今许铅锡和青铜(读 huò)

横:①天姥连天向天横(读 héng)
②横敛繁刑(读 hèng)

还:①壮士一去兮不复还(读 huán)
②春江花朝秋月夜,往往取酒还独倾(读 hái)

会:①迁客骚人,多会于此(读 huì)
②会于会稽山阴之兰亭(读 kuài)

浑:①白头搔更短,浑欲不胜簪(读 hún)
②今贤不肖浑淆,白黑不分(读 hùn)

几:①何君能有几多愁(读 jī)
②去京口,挟匕首以备不测,几自刭死(读 jī)

稽:①妇姑不相说,则反唇相稽(读 jī)
②孟明稽首曰:"君之惠,不以累臣衅鼓……"(读 qǐ)

亟:①君亟定变法之虑(读 jí)
②亟请于武公(读 qì)

假:①以是人多以书假余(读 jiǎ)
②因求假暂归(读 jià)

间:①千载谁堪伯仲间(读 jiān)
②故令人持璧归,间至赵矣(读 jiàn)

监:①狱中为老监者四(读 jiān)
②国子监(读 jiàn)

溅:①感时花溅泪,恨别鸟惊心(读 jiàn)
②但闻黄河流水鸣溅溅(读 jiān)

渐:①年齿渐长(读 jiàn)
②东渐于海(读 jiān)

将:①爷娘闻女来,出郭相扶将(读 jiāng)

②率疲弊之卒，将数百之众(读 jiàng)
③将进酒，杯莫停(读 qiāng)

降：①未尝稍降辞色(读 jiàng)
②比至南郡，而琮已降(读 xiáng)

角：①四角垂香囊(读 jiǎo)
②日与子弟角，无不胜(读 jué)

教：①曲罢曾教善才服(伏)(读 jiāo)
②教学相长(读 jiào)

藉：①往往而死者相藉也(读 jiè)
②杯盘狼藉(读 jí)

矜：①公以此自矜(读 jīn)
②锄耰棘矜，非铦于钩戟长铩也(读 qín)

卷：①卷我屋上三重茅(读 juǎn)
②其小枝，卷曲而不中规矩(读 quán)
③虽在军阵，手不释卷(读 juàn)

空：①有大石当中流，可坐百人，空中而多窍(读 kōng)
②饿其体肤，空乏其身(读 kòng)

膢：①夫山居而谷汲者，膢(lóu)腊而相遗以水(读 là)
②得而腊之以为饵(读 xī)

潦：①潦水尽而寒潭清(读 lǎo)
②禹之时，十年九潦(读 lào)
③潦倒新停浊酒杯(读 liáo)

累：①累官故不失州郡也(读 lěi)
②不终岁，薄产累尽(读 lèi)

量：①为之斗斛以量之(读 liáng)
②刘备以亮有殊量，乃三顾亮于草庐之中(读 liàng)

笼：①青丝为笼系，桂枝为笼钩(读 lóng)
②天似穹庐，笼盖四野(读 lǒng)

纶：①经纶世务者，窥谷忘反(读 lún)
②羽扇纶巾(读 guān)

论：①宜付有司论其刑赏(读 lùn)
②《论语》(读 Lún)

靡：①左右欲刃相如，相如张目叱之，左右皆靡(读 mǐ)
②生之者甚少而靡之者甚多(读 mí)

难：①所谓交相问难，审问而明辨之也(读 nàn)
②夫大国，难测也(读 nán)

宁：①虽鸡狗不得宁焉(读 níng)
②老当益壮，宁移白首之心(读 nìng)

呕：①呕哑嘲哳难为听(读 ōu)
②呕心沥血(读 ǒu)

裨：①梁为会稽守，籍为裨将(读 pí)
②死何裨益，不如自行搜觅(读 bì)

屏：①撤屏视之，一人、一桌……(读 píng)
②侯生乃屏人间语曰(读 bǐng)

仆：①众不能堪，扶而仆之(读 pū)
②童仆欢迎，稚子候门(读 pú)

期：①期年之后，虽欲言，无可进者(读 jī)
②良剑期乎断，不期乎镆铘(读 qī)

跂：①故合者不为骈，而枝者不为跂(读 qí)
②吾尝跂而望矣(读 qì)

奇：①以事秦之心礼天下之奇才(读 qí)
②舟首尾长约八分有奇(读 jī)

抢：①以头抢地(读 qiāng)
②又夹百千求救声，曳屋许许声，抢夺声，泼水声(读 qiǎng)

强：①赏赐百千强(读 qiáng)
②学有未达，强以为知(读 qiǎng)

屈：①不战而屈人之兵(读 qū)
②生之有时而用之亡度，则物力必屈(读 jué)

趋：①夜趋高邮，迷失道(读 qū)
②若不趋降汉，今为虏矣(读 cù)

区：①秦以区区之地，致万乘之势(读 qū)
②惟童区寄以十一岁胜(读 Ōu)

曲：①其曲中规(读 qū)
②未成曲调先有情(读 qǔ)

阙：①不知天上宫阙，今夕是何年(读 què)
②必能裨补阙漏(读 quē)
③若阙地及泉(读 jué)

塞：①牛马车舆，填塞道路(读 sāi)
②不与秦塞通人烟(读 sài)
③留待限期，以塞官责(读 sè)

舍：①客舍青青柳色新(读 shè)
②舍鱼而取熊掌者也(读 shě)

省：①哥哥且省烦恼(读 shěng)
②君子博学而日参省乎己(读 xǐng)

施：①仁义不施而攻守之势异也(读 shī)
②蚤起，施从良人之所之(读 yí，通“迤”)

拾：①路不拾遗(读 shí)
②生拾级而上(读 shè)

数：①范增数目项王(读 shuò)
②数吕师孟叔侄为逆(读 shǔ)
③此数者用兵之患也(读 shù)

衰：①一鼓作气，再而衰，三而竭(读 shuāi)

②乡音无改鬓毛衰(读 cuī)

说:①是说也,人常疑之(读 shuō)
②亮见权于柴桑,说权曰(读 shuì)

宿:①晋鄙嗾啮宿将,往恐不听(读 sù)
②日月星宿不当坠也(读 xiù)
③三天两宿(读 xiǔ)

汤:①臣请就汤镬(读 tāng)
②浩浩汤汤,横无际涯(读 shāng)

提:①提奖后辈,以名行为先(读 tí)
②侍医夏无且以其所奉药囊提轲(读 dī)

帖:①俯首帖耳,摇尾而乞怜(读 tiē)
②昨夜见军帖,可汗大点兵(读 tiě)
③于塾中日展此帖临之(读 tiè)

为:①如今人方为刀俎,我为鱼肉(读 wéi)
②旦日飨士卒,为击破沛公军(读 wèi)

相:①夫山居而谷汲者,腊腊而相遗以水(读 xiāng)
②至于幽暗昏惑而无物以相之(读 xiàng)

校:①郑人游于乡校(读 xiào)
②犯而不校(读 jiào)

邪:①辟邪说,难壬人(读 xié)
②赵王岂以一璧之故欺秦邪(读 yé)

泄:①谋泄者计无功(读 xiè)
②大隧之外,其乐也泄泄(读 yì)

兴:①清风徐来,水波不兴(读 xīng)
②不兴其艺,不能乐学(读 xìng)

许:①塞上长城空自许(读 xǔ)
②曳屋许许声,抢夺声,泼水声(象声词,读 hǔ)

遗:①小学而大遗,吾未见其明也(读 yí)
②公子闻之,往请,欲厚遗之(读 wèi)

应:①多情应笑我,早生华发(读 yīng)
②大将军邓骘奇其才,累召不应(读 yìng)

有:①是故天下有七十一圣(读 yǒu)
②尔来二十有一年矣(读 yòu,通"又")

与:①而君逆寡人者,轻寡人与(读 yú)
②我持白璧一双,欲献项王,玉斗一双,欲与亚父(读 yǔ)
③蹇叔之子与师(读 yù)

载:①如史载田横事(读 zǎi)
②窃载与之齐(读 zài)

中:①质明,避哨竹林中(读 zhōng)
②隐中胸怀(读 zhòng)

重:①重赏之下,必有勇夫(读 zhòng)
②乃重修岳阳楼(读 chóng)

属:①平原君使使者冠盖相属于魏(读 zhǔ)
②十三学得琵琶成,名属教坊第一部(读 shǔ)

著:①此臣素著狂直于世(读 zhù)
②腰若流纨素,耳著明月珰(读 zhuó)

传:①六艺经传皆通习之(读 zhuàn)
②师者,所以传道受业解惑也(读 chuán)

(二)异读字

在古今汉字中还存在着一种字形相同而古今读音不同的现象,这种现象包括古今音变(随着时间的推移读音发生变化)和古今异读(古音中有的读音在现代汉语中不再有了)。

异读有三种情况:破音异读、通假异读、古音异读。

1. 破音异读

前人又叫"读破""破音"。它是用改变字(词)的通常读音来表示不同词性和意义的一种用法。

附录

文言文中常见破音异读字集录

臣语曰:"臣尝从大王与燕王会境上……"("语"读 yù)

乃使其从者衣褐,怀其璧,从径道亡。("衣"读 yì)

铁骑突出刀枪鸣。("骑"读 jì)

是时曹操遗权书曰:"近者奉辞伐罪……"("遗"读 wèi)

表恶其能而不能用也。("恶"读 wù)

沛公欲王关中。("王"读 wàng)

季文子相三君,妾不衣帛,马不食粟,君子以为忠。("衣"读 yì,"食"读 sì)

魏王使将军晋鄙将十万众救赵。("将"读 jiàng)

舍相如广成传。("舍"读 shè)

带长铗之陆离兮,冠切云之崔嵬。("冠"读 guàn)

太子忽尝有功于齐,齐侯请妻之。("妻"读 qì)

大都不过参国之一。("参"读 sān)

数吕师孟叔侄为逆。("数"读 shǔ)

于是为长安君约车百乘,质于齐。("乘"读

shèng)

2. 通假异读

就是指甲字通假为乙字，即读乙字的音。例："学而时习之，不亦说乎"中的"说"通"悦"，就得读yuè，而不能读shuō。参见后文"通假字"。

3. 古音异读

有些专有名词，如人名、地名、官名、族名、器物名、姓氏等，因为专有，就有固定性，读时仍读保留下来的古音。

附录

文言文中常见古音异读字集录

1. 人名

墨子又称墨翟("翟"读 dí)
汉刘邦谋臣郦食其("食其"读 yìjī)
樊於期偏袒扼腕而进曰("於"读 wū)
佛狸祠下("佛"读 bì)
南宫适("适"读 kuò)
伍员("员"读 yún)
禽滑厘("滑"读 gǔ)
夏无且("且"读 jū)
景差("差"读 cuō)

2. 地名

可以解燕国之患("燕"读 Yān)
天姥连天向天横("姥"读 mǔ)
并汾乔木，望秋先陨("并"读 Bīng)
秦愿献商于之地六百里("于"读 wū)
浙江会稽山("会稽"读 kuàijī)
吴广者，阳夏人也("夏"读 jiǎ)
送我至剡溪("剡"读 Shàn)
左冯翊郡("冯"读 Píng)
汤谷("汤"读 Yáng)
渑水("渑"读 Shéng)
渑池("渑"读 Miǎn)
番禺("番"读 Pān)
吐谷浑("谷"读 yù)
龟兹("龟兹"读 Qiūcí)
家在虾蟆陵下住("虾"读 Há)

3. 官名

昨夜见军帖，可汗大点兵("可汗"读 kèhán)
匈奴呼韩邪单于("邪"读 yé，"单"读 chán)
左仆射("射"读 yè)

4. 器物名

嚆矢者，周景王之无射也("射"读 yì)

5. 姓氏

万俟[读 Mòqí，复姓(据《宋史》，宋代有万俟卨 xiè)]
尉迟[读 Yùchí，复姓(唐代有尉迟恭)]
齐明、周最、陈轸、召滑、楼缓、翟景、苏厉、乐毅之徒通其意("召"读 Shào)

6. 族名

吐蕃是我国古代少数民族，在今青藏高原。唐时曾建立政权("蕃"读 bō)
大月氏("氏"读 zhī)

7. 其他

阏氏(读 yānzhī，汉代匈奴君主的正妻)
参乘("乘"读 shèng)
缞绖(读 cuīdié，丧服)
纶巾("纶"读 guān)

二、通假字

通假的概念 通是通用，假是借用("假"就是"借"的意思)。所谓通假，就是两字通用，或这个字借用为那个字。例如"旦日不可不蚤自来谢项王"中的"蚤"字，本义是跳蚤，因为它和早晨的"早"声音相同，被假借为"早"，借用了"早"的意义。"早"是本字，是"蚤"的假借义；"蚤"是"早"的假借字。又如"张良出，要项伯"中的"要"，代替了邀请的"邀"，应读作 yāo。"要"就是"邀"的假借字。

从上面的例子可以看出，通假的原则是两个字的语音相同或相近。古字的通假字现象，从道理上来讲并不难懂，现实生活中也司空见惯，不足为奇。例如，水果店里常把"鸭梨"写作"雅梨"，这样做虽然不符合规范化的要求，但也并不妨碍思想交流，古字通假在当时来说大概也类似这种情况。

通假字与假借字的异同 通假字与"六书"中提到的假借字，都是用音同或音近的字去代替另一个字，所以从性质上来说，并无不同。二者的区别在于："假借"是"本无其字，依声托事"。也就是说某个意义有音无字，只好借个音同或音近的字来表示。例如虚词"而"有音无字，只好借本义为"颊毛(胡须)"的"而"来表示。而"通假"则是本有其字，而在写文章时又借用某音同或音近的字来代替它。

前一种情况，一般称为“造字假借”；后一种情况，一般称为“用字假借”。

通假字辨识规律　通假字有其规律，通假字与本字之间有一定的关系，认识这种关系，有助于理解通假义，提高阅读能力。

1.“声旁字”代替“形声字”

(1)故患有所不辟也。(《鱼我所欲也》)“辟”代替“避”。

(2)师者，所以传道受业解惑也。(《师说》)“受”代替“授”。

2.“形声字”代替“声旁字”

(1)食之不能尽其材。(《马说》)“材”代替“才”，才能。

(2)其称文小而其指极大。(《屈原列传》)“指”代替“旨”，旨趣。

3. 同声旁的“形声字”互相代替

为长者折枝。(《齐桓晋文之事》)“枝”代替“肢”。

4. 音同或音近的字互相通假

(1)旦日不可不蚤自来谢项王。(《鸿门宴》)“蚤”代替“早”。

(2)则天地曾不能以一瞬。(《赤壁赋》)“以”代替“已”，停止。

附录

中学课本常见通假字集录

A

“爱”通“薆”	爱而不见	(《诗经·邶风·静女》)
“案”通“按”	召有司案图，指从此以往十五都予赵	(《廉颇蔺相如列传》)

B

“旁”通“傍”	吾灵尚依依旁汝也	(《与妻书》)
“颁”通“斑”	颁白者不负戴于道路矣	(《寡人之于国也》)
“倍”通“背”	愿伯具言臣之不敢倍德也	(《鸿门宴》)
“弊”通“敝”	秦有余力而制其弊	(《过秦论》)
“辟”通“避”	a. 其北陵，文王所辟风雨也	(《殽之战》)
	b. 再拜便辟	(《晏子治东阿》)
“辩”通“辨”	a. 不辩牛马	(《秋水》)
	b. 此小大之辩也	(《逍遥游》)
“辩”通“变”	而御六气之辩	(《逍遥游》)
“宾”通“傧”	秦王斋五日后，乃设九宾礼于廷	(《廉颇蔺相如列传》)
“铺”通“哺”	国之孺子之游者，无不铺也	(《勾践灭吴》)

C

“裁”通“才”	手裁举，则又超忽而跃	(《促织》)
“采”通“彩”	抑为采色不足视于目与	(《齐桓晋文之事》)
“唱”通“倡”	而予三十年前所主唱之三民主义	(《〈黄花岗烈士事略〉序》)
“绌”通“黜”	屈平既绌，其后秦欲伐齐，齐与楚从亲	(《屈原列传》)
“锡”通“赐”	永锡尔类	(《郑伯克段于鄢》)
“卒”通“猝”	五方兵难卒合	(《赤壁之战》)
“椎”通“槌”	椎釜鬲瓮盎盆道上	(《段太尉逸事状》)
“错”通“措”	偭规矩而改错	(《离骚》)

D

“得”通“德”	为宫室之美，妻妾之奉，所识穷乏者得我与	(《鱼我所欲也》)
“底”通“抵”	大底圣贤发愤之所为作也	(《报任安书》)
“度”通“渡”	一夜飞度镜湖月	(《梦游天姥吟留别》)

E

“而”通“尔”	a. 而母立于兹	(《项脊轩志》)
	b. 而翁归	(《促织》)

“尔”通“耳”	无他，但手熟尔	（《卖油翁》）

F

“反”通“返”	a. 适莽苍者，三餐而反	（《逍遥游》）
	b. 使于齐，顾反	（《屈原列传》）
	c. 徇禄反穷海，卧疴对空林	（《登池上楼》）
“匪”通“非”	a. 匪来贸丝，来即我谋	（《诗经·卫风·氓》）
	b. 所守或匪亲	（《蜀道难》）
“不”通“否”	a. 或师焉，或不焉	（《师说》）
	b. 秦王以十五城易寡人之璧，可予不	（《廉颇蔺相如列传》）
“父”通“甫”	a. 长乐王回深父，余弟安国平父、安上纯父	（《游褒禅山记》）
	b. 渔父	（《渔父》）

G

“共”通“供”	行李之往来，共其乏困	（《烛之武退秦师》）
“共”通“拱”	为政以德，譬如北辰，居之所而众星共之	（《论语·为政》）
“沽”通“酤”	径须沽取对君酌	（《将进酒》）

H

“盖”通“盍”	盖亦反其本矣	（《齐桓晋文之事》）
“衡”通“横”	外连衡而斗诸侯	（《过秦论》）
“骧”通“欢”	诸毕今日之骧	（《苏武传》）
“还”通“环”	秦王还柱而走	（《荆轲刺秦王》）
“惠”通“慧”	甚矣，汝之不惠	（《愚公移山》）
“堕”通“隳”	堕军实而长寇仇	（《殽之战》）

J

“棘”通“戟”	锄耰棘矜，非铦于钩戟长铩也	（《过秦论》）
“纪”通“记”	a. 于是作《八愚诗》，纪于溪石上	（《愚溪诗序》）
	b. 又或有纪载而语焉不详	（《〈黄花岗烈士事略〉序》）
“机”通“几”	所赖君子见机	（《滕王阁序》）
“狡”通“矫”	狡捷过猴猿，勇剽若豹螭	（《白马篇》）
“缙”通“搢”	缙绅、大夫、士萃于左丞相府	（《〈指南录〉后序》）
“距”通“拒”	距关，毋内诸侯	（《鸿门宴》）
“决”通“诀”	辞决而行	（《信陵君窃符救赵》）
“齐”通“剂”	在肠胃，火齐之所及也	（《扁鹊见蔡桓公》）
“去”同“弃”	掘野鼠去草实而食之	（《苏武传》）
“具”通“俱”	政通人和，百废具兴	（《岳阳楼记》）
“阙”通“掘”	若阙地及泉，隧而相见	（《郑伯克段于鄢》）

K

“扣”通“叩”	扣而聆之	（《石钟山记》）
“归”通“馈”	自牧归荑，洵美且异	（《诗经·邶风·静女》）

L

“雷”通“擂”	雷鼓大振，北军大坏	（《赤壁之战》）
“离”通“罹”	“离骚”者，犹离忧也	（《屈原列传》）
“帘”通“奁”	箱帘六七十	[《孔雀东南飞（并序）》]
“敛”通“殓”	敛不凭其棺	（《祭十二郎文》）
“缪”通“缭”	山川相缪，郁乎苍苍	（《赤壁赋》）
“列”通“裂”	列缺霹雳，丘峦崩摧	（《梦游天姥吟留别》）
“陵”同“凌”	几为巡徼所陵迫死	（《〈指南录〉后序》）
“陇”通“垄”	禾生陇亩无东西	（《兵车行》）
“僇”通“戮”	自余为僇人	（《始得西山宴游记》）

M

"免"同"娩" 将免者以告 (《勾践灭吴》)
"冥"通"溟" 北冥有鱼,其名为鲲 (《逍遥游》)
"闵"通"悯" 臣以险衅,夙遭闵凶 (《陈情表》)
"摩"通"磨" 古者富贵而名摩灭,不可胜记 (《报任安书》)
"缪"通"穆" 秦自缪公以来二十余君 (《廉颇蔺相如列传》)
"莫"通"暮" 至莫夜月明 (《石钟山记》)

N

"内"通"纳" a. 距关,毋内诸侯 (《鸿门宴》)
b. 赵不内 (《屈原列传》)
c. 仓库少内 (《晏子治东阿》)
"而"通"能" 而征一国者 (《逍遥游》)
"念"通"廿" 辛未三月念六夜四鼓 (《与妻书》)

P

"泮"通"畔" 淇则有岸,隰则有泮 (《诗经·卫风·氓》)
"畔"通"叛" 寡助之至,亲戚畔之 (《得道多助,失道寡助》)
"傍"通"旁" a. 两家求合葬,合葬华山傍 [《孔雀东南飞(并序)》]
b. 傍行八道 (《张衡传》)
"奉"通"捧" 王必无人,臣愿奉璧往使 (《廉颇蔺相如列传》)
"被"通"披" 将军身被坚执锐 (《陈涉世家》)
"冯"通"凭" 浩浩乎如冯虚御风 (《赤壁赋》)
"俾倪"通"睥睨" 侯生下见其客朱亥,俾倪故久立 (《魏公子列传》)

Q

"枪"通"抢" 见狱吏则头枪地 (《报任安书》)
"嗛"通"慊" 不嗛 (《段太尉逸事状》)
"禽"通"擒" 将军禽操,宜在今日 (《赤壁之战》)
"趣"通"趋" a. 虽趣舍万殊,静躁不同 (《兰亭集序》)
b. 意有所极,梦亦同趣 (《始得西山宴游记》)
"诎"通"屈" 其次诎体受辱 (《报任安书》)
"取"通"娶" 今若遣此妇,终老不复取 [《孔雀东南飞(并序)》]
"阙"通"缺" 必能裨补阙漏,有所广益 (《出师表》)

R

"纫"通"韧" 蒲苇纫如丝,磐石无转移 [《孔雀东南飞(并序)》]
"女"通"汝" 彤管有炜,说怿女美 (《诗经·邶风·静女》)
"揉"通"煣" 揉以为轮,其曲中规 (《劝学》)

S

"世"通"逝" 皆康强而早世 (《祭十二郎文》)
"昝"通"暂" 日三四里,少益昝食 (《触龙说赵太后》)
"受"通"授" 师者,所以传道受业解惑也 (《师说》)
"孰"通"熟" a. 徐公来,孰视之 (《邹忌讽齐王纳谏》)
b. 唯大王与群臣孰计议之 (《廉颇蔺相如列传》)
"帅"通"率" 命子封帅车二百乘以伐京 (《郑伯克段于鄢》)
"信"通"伸" 孤不度德量力,欲信大义于天下 (《隆中对》)

T

"当"通"倘" 当与秦相较,或未易量 (《六国论》)
"田"通"畋" 今王田猎于此 (《庄暴见孟子》)
"佗"通"他" 佗邑唯命 (《郑伯克段于鄢》)
"大"通"太" 谓之京城大叔 (《郑伯克段于鄢》)

“涂”通“途”	a. 涂有饿莩而不知发	(《寡人之于国也》)
	b. 行旅皆欲出于王之涂	(《齐桓晋文之事》)
“说”通“脱”	士之耽兮，犹可说也	(《诗经·卫风·氓》)
“拖”通“脱”	拖其衣裘	(《非攻》)
“庭”通“廷”	拜送书于庭	(《廉颇蔺相如列传》)
“帖”通“贴”	对镜帖花黄	(《木兰诗》)
“剔”通“剃”	其次剔毛发、婴金铁受辱	(《报任安书》)
“弟”通“悌”	段不弟，故不言弟	(《郑伯克段于鄢》)

W

“罔”通“网”	及罪至罔加	(《报任安书》)
“无”通“毋”	a. 则无望民之多于邻国也	(《寡人之于国也》)
	b. 若弗与，则请除之。无生民心	(《郑伯克段于鄢》)
“亡”通“无”	河曲智叟亡以应	(《愚公移山》)

X

“郤”通“隙”	令将军与臣有郤	(《鸿门宴》)
“见”通“现”	a. 思垂空文以自见	(《报任安书》)
	b. 靡不毕见	(《屈原列传》)
“飨”通“享”	飨德怀恩，词不悉心	(《柳毅传》)
“乡”通“向”	以至晋鄙军之日北乡自刭	(《信陵君窃符救赵》)
“销”通“消”	云销雨霁，彩彻区明	(《滕王阁序》)
“刑”通“型”	刑于寡妻，至于兄弟	(《齐桓晋文之事》)
“生”通“性”	君子生非异也，善假于物也	(《劝学》)
“羞”通“馐”	使建中远具时羞之奠	(《祭十二郎文》)
“还”通“旋”	居十日，扁鹊望桓侯而还走	(《扁鹊见蔡桓公》)
“于”通“吁”	于嗟鸠兮	(《诗经·卫风·氓》)
“巽”通“逊”	太尉判状，辞甚巽	(《段太尉逸事状》)

Y

“炎”通“焰”	顷之，烟炎张天	(《赤壁之战》)
“厌”通“餍”	a. 夫晋，何厌之有	(《烛之武退秦师》)
	b. 暴秦之欲无厌	(《六国论》)
“详”通“佯”	行十余里，广详死	(《李将军列传》)
“阳”通“佯”	皆阳应曰：“诺。”	(《记王忠肃公翱事》)
“要”通“邀”	张良出，要项伯	(《鸿门宴》)
“耶”通“爷”	耶娘妻子走相送	(《兵车行》)
“邪”通“耶”	上邪	(《上邪》)
“翼”通“翌”	翼日进宰，宰见其小，怒呵成	(《促织》)
“以”通“已”	a. 及以至是，言不辱者，所谓强颜耳	(《报任安书》)
	b. 则天地曾不能以一瞬	(《赤壁赋》)
	c. 无以，则王乎	(《齐桓晋文之事》)
“已”通“矣”	无能为也已	(《烛之武退秦师》)
“施”通“迤”	蚤起，施从良人之所之	(《齐人有一妻一妾》)
“失”通“佚”	网罗天下放失旧闻	(《报任安书》)
“景”通“影”	a. 赢粮而景从	(《过秦论》)
	b. 景翳翳以将入	[《归去来兮辞(并序)》]
	c. 岁暮阴阳催短景	(《闻夜》)
“由”通“犹”	a. 亦由今之视昔	(《兰亭集序》)
	b. 民归之，由水之就下	(《孟子见梁襄王》)
“有”通“又”	a. 臣密今年四十有四	(《陈情表》)

	b. 虽有槁暴，不复挺者	（《劝学》）
“与”通“欤”	无乃尔是过与	（《季氏将伐颛臾》）
“员”通“圆”	此精铜铸成，员径八尺	（《张衡传》）
“说”通“悦”	a. 秦伯说，与郑人盟	（《烛之武退秦师》）
	b. 学而时习之，不亦说乎	（《论语·学而》）
“俨”通“严”	俨骖騑于上路	（《滕王阁序》）

Z

“蚤”通“早”	旦日不可不蚤自来谢项王	（《鸿门宴》）
“责”通“债”	则仆偿前辱之责	（《报任安书》）
“曾”通“增”	a. 曾益其所不能	（《生于忧患，死于安乐》）
	b. 并曾赋敛	（《晏子治东阿》）
“霑”通“沾”	因泣下霑衿	（《苏武传》）
“展”通“辗”	他乡各异县，展转不可见	（《饮马长城窟行》）
“章”通“彰”	芳菲菲其弥章	（《离骚》）
“振”通“震”	a. 执敲扑而鞭笞天下，威振四海	（《过秦论》）
	b. 振之以威怒	（《谏太宗十思疏》）
“振”通“赈”	下命将泛，莫之振救	（《论积贮疏》）
“陈”通“阵”	前未到匈奴陈之里所	（《李将军列传》）
“征”通“证”	无闷征在今	（《登池上楼》）
“枝”通“肢”	为长者折枝	（《齐桓晋文之事》）
“支”通“肢”	四支僵劲不能动	（《送东阳马生序》）
“直”通“值”	昂其直，居为奇货	（《促织》）
“直”通“只”	直不百步耳	（《寡人之于国也》）
“指”通“旨”	其称文小而其指极大，举类迩而见义远	（《屈原列传》）
“知”通“智”	a. 失其所与，不知	（《烛之武退秦师》）
	b. 则知明而行无过矣	（《劝学》）
	c. 故夫知效一官，行比一乡	（《逍遥游》）
“识”通“志”	汝识之乎	（《石钟山记》）
“质”通“贳”	乃令张仪佯去秦，厚币委质事楚	（《屈原列传》）
“寘”通“置”	遂寘姜氏于城颍	（《郑伯克段于鄢》）
“兹”通“滋”	其不仁兹甚	（《非攻》）
“中”通“衷”	有动于中	（《秋声赋》）
“属”通“嘱”	举酒属客	（《赤壁赋》）
“濯”通“浊”	自疏濯淖污泥之中，蝉蜕于浊秽	（《屈原列传》）
“从”通“纵”	合从缔交，相与为一	（《过秦论》）
“尊”通“樽”	人生如梦，一尊还酹江月	（《念奴娇·赤壁怀古》）
“谪”通“谪”	发闾左谪戍渔阳九百人	（《陈涉世家》）

三、古今字、异体字

（一）古今字

上古时代，汉字的数量比后代要少得多，一字往往兼有几个义项。等到后来又造出了新字，原字的意义就有所改变。这样，我们把较早的字叫做“古字”，把较后的字叫做“今字”（多数以原来的字为声旁）。

例如“不狩不猎，胡瞻尔庭有县特兮”中的“县”通“悬”，人们总以为“悬”是本字，“县”是借字，其

实这是一种误解。“县”的本义就是“悬”，是一个倒写的“首”字，是倒挂、悬挂的意思。但后来又造出一个“悬”字来，在“县”下面加了一个毫无关系的偏旁“心”，用来表示悬挂，原来的“县”用来表示“省市县”的“县”。所以，“县”是古字，“悬”是今字。又如“锲而不舍”的“舍”，当初就是放下、放弃的意思，但后来又新造出一个“捨”字来，原字“舍”也就不代表“捨”了，但“舍”仍然保留“房舍”等意义。现在又把“捨”简化为“舍”了。又如“至莫夜月明”中的“莫”，本义是“日在草中”，当“日暮”讲，也借作否定词“莫”，后人没有为否定词“莫”造今字，倒为表示“日暮”的“莫”造了个今字“暮”。所以，“莫”就是古字，“暮”就是今字。

所谓“古今字”，古和今是相对而言的，有今才有古，有古才有今。例如“说—悦”，“悦”取代的只是表示“喜悦”义的“说”，没有取代“说”字的全部意义，所以只有“喜悦”的“悦”才有古今字问题，古字是“说”，今字是“悦”；作为“解说”义的“说”，古今是一个字，就无所谓古今问题了。同样，“孰—熟”，疑问代词“孰”，古今是一个字，只有“生熟”的“熟”才有古今字问题，古字是“孰”，今字是“熟”。

掌握古今字，还有助于我们了解字（词）的更多义项。例如“濫水暴益”中的“益”字是一个会意字，上面是一个横写的“水”字，下面是器皿的“皿”字，本义是器皿里的水已经超出饱满状态而漫出来。后来又加了一个形旁“氵”，造出一个形声字“溢”，来代替原来的“益”，但是原来的“益”字并不废弃，它只是把“水漫出来”这一义项交给“溢”字表示，其他的义项仍继续保留。如“集思广益”（利益、好处），“人或益之，人或损之”（增加、增补），“圣益圣，愚益愚”（更、更加）。

需要说明的是，高中语文课本为了方便起见，作注释时往往把古今字也归为通假字。

（二）异体字

有些汉字音同义同而写法不同，常用者为正体字，余者为异体字。例如鲁迅《孔乙己》中，孔乙己说茴香豆的“茴”下面的“回”有四种写法，其中“回”是正体字，“囘、囬、回”是异体字。异体字的存在造成了文字的混乱。为了减少阅读上的困难，1955 年中国文字改革委员会公布了《第一批异体字整理表》，淘汰了 1 055 个异体字，异体字已废止，只在旧版古书中还保留了一些，文言文教材已极少见。

例如：“小惠未徧，民弗从也”中的“徧”是“遍”的异体字；“怳惊起而长嗟”中的“怳”是“恍”的异体字；“转而缘南畽”中的“畽”是“畝”的异体字，现在又简化成了“亩”；“百越之君，俛首系颈，委命下吏”中的“俛”是“俯”的异体字；“两峰秀色，俱可手覽”中的“覽”是“攬”的异体字，现在又简化成了“揽”。异体字的产生，有四种情况。

1. 应用不同的造字方法，因而造成异体字。如：“泪—淚”，“泪”是会意字，“淚”是形声字。

2. 应用意义相近的不同形旁，因而造成异体字。如：“咏—詠”（形旁“口”“言”意义相近）。

3. 应用声音相近的不同声旁，因而造成异体字。如：“线—綫”（“戋”“泉”声音相近）；“裤—袴”（“库”“夸”声音相近）；“村—邨”（“寸”“屯”声音相近）。

4. 改变偏旁部位，因而造成异体字。如：“棋—棊”“崖—厓”“群—羣”。

此外，古书里还有一种笔画不全的字，即所谓的“避讳字”，也可算是一种特殊的异体字。封建社会里，全国要避讳皇帝名字的用字，即所谓的“国讳”；晚辈要避讳长辈名字的用字，即所谓的“家讳”。其方法之一，就是原字缺笔。例如：唐太宗叫李世民，平时用到“世”字就写成“世”；宋真宗叫赵恒，所以“恒”写作“恒”。

异体字和古今字情况不同：“说”和“悦”是古今字，但今字“悦”并不全等于古字“说”，“悦”只等于表示“喜悦”义的“说”。“泪”和“淚”是异体字，虽然它们出现也有先后，但“泪”全等于“淚”，在任何情况下都可以替换。有些字的意义和用法有相通之处，也有不通之处，不能算是异体字。例如“沽”和“酤”，在“买卖酒”这个意义上互通，但“酤”只限于酒，“沽”除了酒外，还可以是别的东西，所以“沽名钓誉”不作“酤名钓誉”。

第二部分 文言实词

一、古今异义

古汉语中的实词在使用、发展过程中，只有少量的词义没有发生变化，大多数的词义已经发生了变化。例如："穷"的古义：①穷尽。陶渊明《桃花源记》："欲穷其林。"②不得志、不显贵、走投无路。司马迁《屈原列传》："人穷则反本。""穷"在现代汉语里一般指生活贫困。"再"的古义：①第二次。《曹刿论战》："一鼓作气，再而衰，三而竭。"②两次。苏洵《六国论》："后秦击赵者再。"在现代汉语中"再"表示事情或者行为的重复、继续。"指示"的古义：指出来给……看，是"指"和"示"的连用。《廉颇蔺相如列传》："璧有瑕，请指示王。"现在的"指示"是指上级对下级或长辈对晚辈说明处理某个问题的原则和方法。"牺牲"的古义：祭祀用的牛、羊、猪等。《曹刿论战》："牺牲玉帛，弗敢加也，必以信。"现代汉语的"牺牲"是：①为了正义的目的而舍弃生命；②放弃或损害一方的利益。我们把古汉语中这些古今字形相同而意义、用法不同的词，称为古今异义词。

概括起来，古今异义的词变化的情况大致有如下几种情况：

（一）词义扩大

文言文中，某些词的原有意义比较狭小，后来它的意义有了发展，应用范围比原来广泛了，这种现象叫词义的扩大。词义扩大的特点是：今义大于古义，古义包括在今义之中。词义扩大有以下几类：

（1）原单指某事物的词，扩大到兼指特征、性质或功能相似的事物。例如：

①"雏"。《说文》："鸡子也。"本义指"小鸡"。现在指幼小的动物或幼儿，以及未定型前的最初形式、形状。如"雏鸟""雏形"等。

②"皮"。《说文》："剥取兽革者谓之皮。"本义指"兽皮"。现指人或生物体表面的一层组织，以及包在外面的东西。如"树皮""封皮"等。

（2）感觉性质相通，从原义扩大到其他感情相似的意义。例如：

③"甘"。《说文》："美也。从口含一。一，道也。"现在常用的意义除了味美、味道甜之外，还有心里乐意的意思。如"心甘情愿"。

④"苦"。《说文》："大苦，苓也。""苓"是一种苦菜，表示味苦的意思。现在的"苦"，不仅有"甘苦"之"苦"义，还衍生出"辛苦""痛苦"等义。

（3）由专名扩大为通名。例如：

⑤"江""河"。古代专指长江、黄河，后来扩大到河流的通名。

⑥"好"，原指女子貌美，后指一切美好的事物、善良的品质等。

⑦"中国"，原指中原地区，现在指全中国。

（4）由原来只表示某事物一部分的词，扩大到表示这一事物的整体。例如：

⑧"秋"。《说文》："禾谷熟也。"本指一年四季中的"秋季"。后由一个季节扩大为一年的意思。如"一日不见，如隔三秋"。

（二）词义缩小

词义的缩小，是指词的古义的内容，随着时代的变化逐渐变得狭小的现象。词义缩小有以下三类：

（1）词义程度减弱。例如：

①"饿"。古义指严重的饥饿，已达到受死亡威胁的程度。《生于忧患，死于安乐》："饿其体肤，空乏其身。"即用"饿"的古义。今义的"饿"，指一般的肚子饿。程度减弱了。

②"怨"。古义是"恨"的意思。《屈原列传》："屈平之作《离骚》，盖自怨生也。"这个"怨"即古义。今义的"怨"，由古义"恨"减弱为"不满意，责备"的意思。如"从无怨言""任劳任怨"。

（2）词义表示的范围缩小。例如：

③"禽"。原是飞禽走兽的总称。《华佗传》："吾有一术，名五禽之戏。"这里的"禽"，显然是古义。今义的"禽"，词义范围缩小为专指鸟类。如"家禽""飞禽"。

④“丈夫”。古义是男子的通称。《触龙说赵太后》:“丈夫亦爱怜其少子乎?”这里指成年男子;《勾践灭吴》:“生丈夫,二壶酒,一犬。”这里指小男孩。今义“丈夫”专指“妻”的配偶。

⑤“子”。最初是孩子的总称,不分男孩、女孩都称“子”。现在“子”专指“儿子”。

⑥“臭”。古代泛指气味。现在只指难闻的气味。

(3)词义义项减少。例如:

⑦“劝”。古义常用义项有鼓励、劝说、规劝。《劝学》之“劝”,就是鼓励的意思;《赤壁之战》中“肃劝权召瑜还”即“劝说”之意。今义中只剩下“劝说、规劝”这一义项。如“劝人改过”。

⑧“迁”。古义常用义项有迁移、变换,调任、升职,贬谪、流放。《〈指南录〉后序》:“战、守、迁皆不及施。”这里是“迁移”的意思。《张衡传》:“公车特征拜郎中,再迁为太史令。”这里是“调任、升职”的意思。《屈原列传》:“顷襄王怒而迁之。”这里是“放逐”的意思。今义“迁”,只剩下“迁移、变换、调动官职”的义项。如“迁居”。

(三)词义转移

古汉语中的一些词义,随着历史的发展,由原来表示的对象转移为表示另外一种对象,这就叫词义的转移。词义转移有以下几种:

(1)由表示甲事物转移到表示乙事物。例如:

①“币”。古义指礼物。《屈原列传》:“厚币委质事楚。”今义已转移为“钱”的意思。

②“涕”。古义指眼泪。《登岳阳楼》:“凭轩涕泗流。”今义一般作“鼻涕”解。

(2)由表示甲动作转移为表示乙动作。例如:

③“走”。古义为“跑”“逃跑”。《廉颇蔺相如列传》:“窃计欲亡走燕。”今义的“走”是“步行”的意思。

④“去”。古义是“离开某地”。《岳阳楼记》:“去国怀乡。”现在则指到某地去。

⑤“勤”。古义是“辛苦”,与“逸”相对。《殽之战》中“勤而无所,必有悖心”的“勤”就是“辛苦”的意思。今义“勤”已没有它的原意了,转移为“做事尽力,不偷懒”的意思。

(3)由表示甲义的范围转移到表示乙义的范围。例如:

⑥“慢”。古义是“怠慢”。今义的“慢”是指速度缓慢,与“快”相对。古今词义的范围,从心理活动转移到动作方面上来。

(4)由甲义转移为乙义时,词性也产生转移。例如:

⑦“牺牲”。古义指祭祀时用作祭品的牛、羊、猪等牲畜,属名词。《曹刿论战》中“牺牲玉帛,弗敢加也”的“牺牲”即古义。今义转移为:为了正义的目的而舍去自己的生命或权利,属动词。

⑧“假”。古义是“借”的意思,属动词。《劝学》中“假舟楫者,非能水也”的“假”,即古义。后来“假”逐渐转移为“假期”的“假(jià)”和“真假”的“假(jiǎ)”,不仅古义消失了,词性也由原来的动词转移为现在的名词或形容词。

(四)词义感情色彩的变化

古今词义在演变的历史过程中,褒贬意义相互转化的现象,叫做词义感情色彩的变化。例如:“卑鄙”一词,古义表示出身低微、见识浅陋,是一个表谦虚的中性词;今义指品质恶劣。词义的感情色彩变化有下面几种:

(1)褒义词变化为贬义词。例如:

①“明哲保身”。源出《诗经·大雅·烝民》:“既明且哲,以保其身。”赞扬一个人聪明有智慧,善于适应环境。今义指不坚持原则、只顾自己的处世态度。词义由“褒”变“贬”。

②“复辟”。原指失位君主复位,褒义词。如《明史·王骥传》:“石亨、徐有贞等奉英宗复辟。”今义已变成“恢复旧制度”的贬义词。

③“爪牙”。原指勇士、武将。现指“帮凶”“狗腿子”一类的坏人。

④“衣冠禽兽”。原来是指官服上绣的禽和兽的图案。现在指穿衣服戴帽子的畜生。比喻道德败坏,行为像畜生一样的人。

(2)贬义词变化为褒义词。例如:

⑤“乖”。古义指偏执、不驯顺。《林黛玉进贾府》中“行为偏僻性乖张”即古义。今义是“听话、安

顺”的意思。如“这孩子真乖”。

⑥“锻炼”。《汉书·路温舒传》：“上奏畏却，则锻炼而周内之。”（注：却，批驳退回。内，通“纳”）这里的“锻炼”是“玩弄法律、陷人于罪”的意思，贬义词。今义的“锻炼”完全是褒义，如“锻炼身体”。

（3）中性词变化为褒义词或贬义词。例如：

⑦“谤”。古义指议论、批评他人的过失。《邹忌讽齐王纳谏》中“能谤讥于市朝”即古义。今义“谤”有“恶意中伤”的意思。

⑧“祥”。古义指预兆，有吉有凶。《左传·僖公十六年》：“是何祥也，吉凶焉在？”即古义“吉凶预兆”的意思。今义多指吉兆，如“吉祥”。

（五）名称说法改变

例如：“目”改称“眼睛”，“日”改称“太阳”。

（六）单音词变为复音词

例如：“前”变为“前面”，“敌”变为“敌人”。

（七）偏义复词

偏义复词，是指一个复音词由两个意义相关或相反的语素构成，但整个复音词的意思只取其中一个语素的意义；而另一个语素只是作为陪衬，没有实在意义，只起到构词的作用。例如：《鸿门宴》中“备他盗之出入与非常也”中“出入”是反义词，“出”是出去，“入”是进来，在这里是偏义复词，只取“入”的意思。

偏义复词的运用，按词的构成关系来看，常见的有两种形式：

1. 两个语素意义相对或相反。例：《石钟山记》中“则山下皆石穴罅，不知其浅深”的“浅深”是反义词，此处只取“深”的意义。

2. 两个语素意义相近或相关。例：《墨子·非攻》中“今有一人，入人园圃，窃其桃李”的“园圃”是近义词，“园”是“种果树的地方”，“圃”是“种菜的地方”，此处只取“园”的意义。

附录

中学课本常见偏义复词例释

褒贬 （凤姐）只因素性好胜，惟恐落人褒贬，故费尽精神……（偏义在“贬”，“褒”是衬字。）

崩殂 先帝创业未半而中道崩殂。（“崩”指皇帝死，“殂”指平民死，偏义在“崩”，“殂”是衬字。）

车骑 沛公则置车骑，脱身独骑。（偏义在“骑”，“车”是衬字。）

成败 成败之机，在于今日。［偏义在“成”（这一行动成功的结果），“败”是衬字。］

出入 备他盗之出入与非常也。（偏义在“入”，“出”是衬字。）

存亡 此诚危急存亡之秋也。（偏义在“亡”，“存”是衬字。）

代谢 其间衰老者或有代谢。（偏义在“谢”，“代”是衬字。）

耳目 无一时一刻不适耳目之观。（偏义在“目”，“耳”是衬字。）

父母 我有亲父母，逼迫兼弟兄。（偏义在“母”，“父”是衬字。）

父兄 我有亲父兄，性行暴如雷。（偏义在“兄”，“父”是衬字。）

公姥 便可白公姥，及时相遣归。（偏义在“姥”，“公”是衬字。）

国家 以先国家之急而后私仇也。（偏义在“国”，“家”是衬字。）

寒暑 无羽毛以御寒暑。（偏义在“寒”，“暑”是衬字。）

缓急 冀缓急或可救助。（偏义在“急”，“缓”是衬字。）

饥穰 世之有饥穰，天之行也。（偏义在“饥”，“穰”是衬字。“饥”，灾年；“穰”，丰年。联系下文禹汤遭受连年水灾旱灾，故知“饥穰”当偏指“饥”。）

利害 但欲求死，不复顾利害。（偏义在“害”，“利”是衬字。）

牛马 其日牛马嘶。（偏义在“马”，“牛”是衬字。）

女子 女子先有誓，老姥岂敢言！［偏义在“女”（女儿），“子”是衬字。］

契阔 契阔谈宴，心念旧恩。［偏义在“契”（情感投合），“阔”是衬字。］

浅深 则山下皆石穴罅，不知其浅深。（偏义在“深”，“浅”是衬字。）

去来 去来江口守空船。（偏义在“去”，“来”是衬字。）

去留　曾不吝情去留。(偏义在"去","留"是衬字)

少长　孰与君少长?(偏义在"长","少"是衬字。)

市朝　能谤讥于市朝,闻寡人之耳者,受下赏。(偏义在"市","朝"是衬字。)

死生　死生,昼夜事也。(偏义在"死","生"是衬字。)

痛痒　士大夫不耐痛痒。[偏义在"痛"(疼痛),"痒"是衬字。]

往来　奉使往来,无留北者。(偏义在"往","来"是衬字。指宋朝的使者北往,不指元军的使者南来。)

休祲　怀怒未发,休祲(jìn)降于天。[偏义在"祲"(凶兆),"休"是衬字。]

巷陌　寻常巷陌,人道寄奴曾住。(偏义在"巷","陌"是衬字。)

虚实　即具以北虚实告东西二阃。(偏义在"实","虚"是衬字。)

异同　胁罚臧否,不宜异同。(偏义在"异","同"是衬字。)

远近　缘溪行,忘路之远近。(偏义在"远","近"是衬字。)

钟鼓　噌吰如钟鼓不绝。(偏义在"钟","鼓"是衬字。)

钟磬　今以钟磬置水中,虽大风浪不能鸣也。(偏义在"钟","磬"是衬字。)

作息　昼夜勤作息,伶俜萦苦辛。(偏义在"作","息"是衬字。状语"勤"只能修饰"作",不能修饰"息",因而"作息"偏指"作","息"无义,只起陪衬作用。)

说明:我们之所以把"偏义复词"也归到"古今异义"里边来,是因为偏义复词也是一种古汉语现象,发展到现在,词义也发生了很大的变化,这应该也算是一种词义转换。

二、一词多义

在文言文中,一词多义的情况很多,同一个词,在这个句子里是一个意义,在那个句子里又是另一个意义。一般地说,一词多义的各个义项之间都有一定的联系。例如:食:①吃。柳宗元《捕蛇者说》:"退而甘食其土之有。"②吃的东西,食物。《曹刿论战》:"衣食所安,弗敢专也,必以分人。"③拿东西给人或动物吃,读 sì,喂。韩愈《马说》:"食马者,不知其能千里而食也。"④通"蚀",亏损。《易·丰》:"月盈则食。"

在一个句子里,我们怎样确定一个词究竟用的是多义中的哪个意义呢?主要是联系上下文,认真阅读,仔细分析,增强阅读能力。一词多义是由本义引申和假借而形成的。这样,我们应该从理解一个词的本义入手来理解和掌握它的各个引申义和通假义。

(一)本义、引申义和通假义

词的本义是就词的来源说的,即该词最初的意义,如"向"的最初意义是朝北的窗户,"兵"的最初意义是兵器,"走"的最初意义是跑等。把这"最初意义"叫做本义,这时词的本义也就是字的本义。

引申义是从基本义生发出来的,同基本义有相类似、相对立或相关联的意义。如"食"的②③义项。

词的通假义是由于通假而产生的意义。如上文中"食"的④义项。

(二)词义的引申方式

(1)连锁式。即本义和引申义环环相扣,逐步延伸展开。如"寒"本义是冷,引申为寒冷季节,再引申为缺乏冬衣而受冻,又引申为贫寒,进而引申为恐惧、害怕。例如:

①冰,水为之,而寒于水。(《劝学》)

②寒暑易节,始一反焉。(《愚公移山》)

③一女不织,或受之寒。(《论积贮疏》)

④范叔一寒如此哉。(《史记》)

⑤大渡桥横铁索寒。(《七律·长征》)

(2)辐射式。词义的引申环绕着一个中心,而从不同的方面展开。如"节"的本义是竹节,由其辐射产生的引申义有木节、关节、季节、节操、节拍等。例如:

①一节复一节,千枝攒万叶。(《咏竹》)

②盘根错节。(《虞诩传》)

③彼节者有间，而刀刃者无厚。（《庖丁解牛》）

④清明时节雨纷纷。（《清明》）

⑤单于壮其节。（《苏武传》）

⑥钿头银篦击节碎。［《琵琶行（并序）》］

不难看出词义引申的一般规律是：由具体到抽象，由个别到一般。借助这些规律，有利于我们以简驭繁地对多义词进行系统的梳理。

（三）一词多义演变的联想方法

（1）类似联想。采用类似的事物来比喻，形成一词多义。如：引（本义“开弓”）——延引——牵引——引导。

（2）接近联想。应用接近的事物来代替。如：兵（本义“兵器”）——士兵——军队——军事——战争。

（3）对比联想。由正面意义的词，联想到表示的反面意义。如：去（本义“离开某地”）——废除——舍弃。

懂得一词多义演变时不同的联想方法，可以从看似孤立的一词多义之间找到一定的联系，以便根据上下文意，选出正确义项。当然，只凭以上三种方法来掌握一词多义还是不够的。养成平时多积累、多整理的习惯十分重要。只有储存的词汇丰富了，才能在需要时灵活运用。

三、词类活用

在古代汉语里，有些词可以按照一定的语言习惯灵活运用，甲类词临时具备了乙类词的语法特点，并临时作乙类词用。文言文中比较常见的是名词活用为动词，形容词活用为动词，名词用作状语，动词、形容词活用为名词，使动用法，意动用法，为动用法。

（一）名词活用为动词

名词活用为动词有以下几种情况：

①〔名词＋宾语〕

例如：籍吏民，封府库。（籍，名词，户籍册，在这里作动词，登记）（《鸿门宴》）

②〔副词作状语＋名词〕

例如：汉水又东。（东，名词，东面，在这里作动词，向东流）（《水经注·江水》）

③〔能愿动词＋名词〕

例如：假舟楫者，非能水也，而绝江河。（水，名词，在这里作动词，游泳）（《劝学》）

④〔名词＋补语〕

例如：凡吏于土者，若知其职乎？（吏，名词，官吏，在这里用作动词，做官）（《送薛存义序》）

⑤〔所＋名词〕

例如：乃丹书帛曰“陈胜王”，置人所罾鱼腹中。（罾，名词，方形的鱼网，在这里作动词，用网捕）（《陈涉世家》）

⑥〔名词充当联合式或连动式谓语组成部分之一〕

例如：卒中往往语，皆指目陈胜。（目，名词，眼睛，在这里作动词，用眼睛看）（《陈涉世家》）

⑦〔从前后相同结构的比较中确定名词活用为动词〕

例如：孙讨虏聪明仁惠，敬贤礼士。（礼，名词，礼节，在这里作动词，以礼相待）（《赤壁之战》）

⑧〔叙述句谓语部分找不到动词或其他词语作谓语中心词，事物名词就活用为动词〕

例如：如平地三月花者，深山中则四月花。（花，名词，在这里作动词，开花）（《采草药》）

⑨〔两个名词连用，不存在并列、同位和修饰关系，不带计量意义时，第一个名词活用为动词〕

例如：如曰今日当一切不事事，守前所为而已，则非某之所敢知。（事，名词，事情，在这里作动词，做）（《答司马谏议书》）

⑩〔在复句中充当一个叙述性独词分句，名词就活用为动词〕

例如：权，然后知轻重。（权，名词，权势，在这里作动词，权衡）（《孟子·梁惠王上》）

（二）形容词活用为动词

形容词是不带宾语的，如果带了宾语，而又没有使动、意动的意味，就是用作一般动词。例如：

①楚左尹项伯者，项羽季父也，素善留侯张良。（善，形容词，好，在这里作动词，友善、交好）（《鸿门宴》）

②卒使上官大夫短屈原于顷襄王。（短，形容词，长短的短，在这里作动词，诋毁）（《屈原列传》）

有时，形容词后面不带宾语，也活用为一般性动词。如：

遂于蒿莱中侧听徐行，似寻针芥。而心目耳力俱穷，绝无踪响。（穷，形容词，困窘，在这里作动词，用尽）（《促织》）

（三）动词、形容词活用为名词

动词活用为名词，就是这个动词在句子中具有明显的表示人或事物的意义。它一般处在句中主语或宾语的位置，有时前边有"其"或"之"。例如：

盖其又深，则其至又加少矣。（至，动词，到，在这里作名词，到达的人）（《游褒禅山记》）

形容词活用为名词，翻译时一般要补出中心词（名词），而以形容词作定语。例如：

将军身被坚执锐。（坚、锐，皆为形容词，在这里皆作名词，分别指铁甲、武器）（《陈涉世家》）

（四）名词作状语

现代汉语里，普通名词是不能直接修饰谓语动词作状语的，而古代汉语中普通名词直接作状语却是相当普遍的现象。

第一，表示比喻。例如：

又间令吴广之次所旁丛祠中，夜篝火，狐鸣呼曰："大楚兴，陈胜王。"（狐，名词，狐狸，在这里作状语，像狐狸一样）（《陈涉世家》）

第二，表示对待人的态度。例如：

君为我呼入，吾得兄事之。（兄，名词，兄长，在这里作状语，像对待兄长一样）（《鸿门宴》）

第三，表示处所。例如：

不得已，变姓名，诡踪迹，草行露宿，日与北骑相出没于长淮间。（草、露，名词，在这里作状语，在草地里、在露天下）（《〈指南录〉后序》）

第四，表示动作使用的工具。例如：

箕畚运于渤海之尾。（箕畚，名词，在这里作状语，用箕畚）（《愚公移山》）

第五，表示动作进行的方式。例如：

群臣吏民能面刺寡人之过者，受上赏。（面，名词，脸，在这里作状语，当面）（《邹忌讽齐王纳谏》）

（五）使动用法

所谓使动用法，是指谓语动词具有"使宾语怎么样"的意思。它是用动宾结构表达使令式的内容。例如：项伯杀人，臣活之。（《鸿门宴》）

（1）动词的使动用法

古代汉语里，动词的使动用法一般只限于不及物动词。不及物动词本来不带宾语，用于使动时，后面就带宾语。例如：

①卒廷见相如，毕礼而归之。（归，不及物动词的使动用法，使……返回）（《廉颇蔺相如列传》）

②今以钟磬置水中，虽大风浪不能鸣也。（鸣，不及物动词的使动用法，使……鸣响）（《石钟山记》）

有时候，及物动词和不及物动词共同带一宾语。这一宾语既是及物动词的受事者，又是主语使得它成为不及物动词的施事者。例如：

③今夫水，搏而跃之，可使过颡，激而行之，可使在山。（跃，不及物动词的使动用法，使……溅起；行，不及物动词的使动用法，使……前行）（《孟子·告子上》）

④操军方连船舰，首尾相接，可烧而走也。（走，不及物动词的使动用法，使……逃跑）（《赤壁之战》）

（2）形容词的使动用法

古汉语里，形容词也常常活用为使动，使宾语代表的人或事物具有这个形容词所表示的性质或状态。例如：

①市中游侠儿得佳者笼养之，昂其值，居为奇货。（昂，形容词的使动用法，使……高）（《促织》）

②强本而节用，则天不能贫……本荒而用侈，则天不能使之富。（贫，形容词，穷，这里是形容词

的使动用法，使……穷）（《荀子·天论》）

（3）名词的使动用法

A. 普通名词的使动用法

①先生之恩，生死而肉骨也。（生，名词，在这里是使动用法，使……活；肉，名词，在这里是使动用法，使……长肉）（《中山狼传》）

②舍相如广成传（zhuàn）。（舍，名词，旅馆，在这里是使动用法，使……住宿）（《廉颇蔺相如列传》）

B. 方位名词的使动用法

方位名词的使动用法，是使宾语代表的人或事物按照这个方位名词所表示的方位行动。例如：

楚令尹南辕反旆。（南，方位名词，南面，在这里是使动用法，使……向南行）（《左传·宣公十二年》）

（六）意动用法

意动用法，是指谓语动词具有“认为（或以为）宾语怎么样”的意思。这种意动用法只限于形容词或名词的活用，动词本身没有意动用法。意动用法是一种特殊的动宾关系。用于意动的词可以译成“以……为……”或“认为……是……”或“把……当做……”。

（1）形容词的意动用法

成以其小，劣之。（劣，形容词，不好的，在这里是意动用法，认为……不好）（《促织》）

（2）名词的意动用法

吾所以为此者，以先国家之急而后私仇也。（先，名词，前面，在这里是意动用法，以……为先；后，名词，后面，在这里是意动用法，以……为后）（《廉颇蔺相如列传》）

（七）为动用法

为动用法就是动词、名词带宾语，为宾语怎么样。可译为“为……”。例如：

（1）动词的为动用法

今亡亦死，举大计亦死；等死，死国可乎？（死，名词，死亡，在这里是为动用法，为……而死）（《陈涉世家》）

（2）名词的为动用法

是使民养生丧死无憾也。（丧，名词，丧事，在这里是为动用法，为……办丧事）（《寡人之于国也》）

四、推断文言实词词义的方法

1. 形训推断法

汉字中的形声字占80%以上，会意字占12%以上，其义符为我们掌握文言实词的词义提供了有益的帮助。

如天津市高考题：A. 乐正夔一足，信乎　信：相信　“信”是会意字，《说文解字》：“诚也。从人、从言，会意。”“信”的本义是语言真实，引申为“真实”“真的”，故该项中解释为“相信”是错误的。

2. 结构推断法

文言文中的排比句、对偶句、互文句和并列结构非常多，其中位置对应的词语一般词性相同而意义相同、相近或相反、相对，运用这种方法很容易由已知推出未知，由简易推出繁难。

如浙江省高考题：A. 赋形受质　质：资质　该句中，“赋”和“受”对举，“形”和“质”对举。为此，我们可以借助“形（形体）”的意义，推断出与之相对的“质”的意义，应当为“实体、本质”，所以A项“资质”的解释是错误的。

3. 语法推断法

对实词所在的短语作结构分析，对实词所在的句子作成分分析，可以帮助我们很快推断出文言实词释义的正误。

如安徽省高考题：D. 资生之业，靡不毕书　资：资财　通过对“资”所在的短语作结构分析，可以发现“资生”是一个动宾短语，“生（生活、生命）”为名词，充当“资”的宾语，“资”应是动词，而D项却把“资”解释成了名词“资财”。据此可以推断出D项的解释是错误的，正确的解释应为动词“资助，帮助”。

4. 语境推断法

“字不离词，词不离句，句不离段，段不离文”准确地阐述了语境推断法的内涵，要想推知实词的正确意思，必须结合语境认真揣摩，仔细分析。上下文之间的照应、解释或暗示关系，更为我们提供了一把准确推断实词词义的钥匙。

如天津市高考题：A. 南迫洛阳　迫：逼迫　审视该句语境“今河内带河为固，户口殷实，北通上党，南迫洛阳”可以看出，“南迫洛阳”一句是交代“河内”的地理位置，所以“迫”解释为“逼近”更符合上下文意。据此可以推断，该题A项的解释是不合语境的，因为“逼迫”的对象应为“人”，而该句中“迫”的对象是“物”（洛阳）。

5. 成语推断法

在成语中，保留着大量的文言词义，因此借助熟知的成语中的实词词义来推断文言文中的实词词义，有时也能使解题“柳暗花明”。

如福建省高考题：D. 今姑贷汝　贷：借给　联系成语“严惩不贷”可推断“贷”为“宽恕，饶恕”，该项解释为“借给”是错误的。

附录一

古今异义的单音节词集录

1. 词义扩大

把 bǎ

〔古义〕 动词。握住，拿着，端着。

手把文书口称敕，回车叱牛牵向北。（《卖炭翁》）

把酒临风，其喜洋洋者矣。（《岳阳楼记》）

〔今义〕 ①握住。②把持。③介词。将。④量词。

股 gǔ

〔古义〕 名词。大腿。

两股战战，几欲先走。（《口技》）

〔今义〕 ①大腿。②事物的一部分。③量词。

竟 jìng

〔古义〕 ①动词。完毕，结束。②副词。终于，最后。

①秦王竟酒，终不能加胜于赵。（《廉颇蔺相如列传》）

②陈胜虽已死，其所置遣侯王将相竟亡秦。（《史记·陈涉世家》）

〔今义〕 ①完毕。②终于。③居然。④全。

再 zài

〔古义〕 数词。两次，第二次。

庭中始为筵，已为墙，凡再变矣。（《项脊轩志》）

一鼓作气，再而衰，三而竭。（《曹刿论战》）

〔今义〕 ①又一次，再一次，多次。②继续，还有。

2. 词义缩小

夫 fū

〔古义〕 ①名词。成年男子。②丈夫。③夫子，对老师的称呼。④指从事体力劳动或被奴役的人。⑤读fú，文言句首发语词、句中助词和句末语气助词。⑥读fú，指示代词。这些、那种等。

①一夫不耕，或受之饥。（《论积贮疏》）

②夫起大呼，妇亦起大呼。（《口技》）

③夫子之文章，可得而闻也。（《论语》）

④渔夫、役夫

⑤夫环而攻之。（《得道多助，失道寡助》）

⑥予观夫巴陵胜状。（《岳阳楼记》）

〔今义〕 丈夫。

购 gòu

〔古义〕 ①动词。悬赏。②动词。购买。

①穷饿无聊，追购又急。（《〈指南录〉后序》）

②予购三百盆，皆病者。（《病梅馆记》）

〔今义〕 指购买物品。

或 huò

〔古义〕 ①不定代词。有人，有的。②副词。也许。③有时，间或。

①或以为死，或以为亡。（《陈涉世家》）

②予尝求古仁人之心，或异二者之为。（《岳阳楼记》）

③而或长烟一空。（《岳阳楼记》）

〔今义〕 ①选择连词。或者。②副词。也许。

君 jūn

〔古义〕 ①名词。封建帝王，一国之主。②名词。对有地位的人的尊称。③名词。对人的敬称。④名词。君子，指称有才德的人。

①谋及子孙，可谓死君乎！（《殽之战》）

②今君与廉颇同列。（《廉颇蔺相如列传》）

③诸君而有意，瞻予马首可也。（《冯婉贞》）

④君子曰：学不可以已。（《劝学》）

〔今义〕 对人的敬称。

劝 quàn

〔古义〕 ①动词。鼓励。②动词。劝说。

①劝学。（《劝学》）

②肃劝权召瑜还。（《赤壁之战》）

〔今义〕 规劝。

狱 yù

〔古义〕 ①名词。监牢。②名词。官司，诉讼案件。

①见狱吏则头枪地。（《报任安书》）

②小大之狱，虽不能察，必以情。（《曹刿论战》）

〔今义〕 监狱。

3. 词义转移

科 kē

〔古义〕 ①名词。法律条文。②名词。科举制取士的规格和年份。③动词。征税，判刑，摊派。④戏曲术语，多指元杂剧剧本中关于动作、表情的舞台提示。

①若有作奸犯科及为忠善者。（《出师表》）

②登科。

③里胥猾黠，假此科敛丁口。（《促织》）

④卜儿哭上科。（《窦娥冤》）

〔今义〕 ①课程或业务的分类。②机关企业分职办事的部门。③生物分类的等级之一。

涕 tì

〔古义〕 眼泪。

蒋氏大戚，汪然出涕。《捕蛇者说》

〔今义〕 鼻涕。

爷 yé

〔古义〕 名词。父亲。

阿爷无大儿，木兰无长兄。（《木兰诗》）

〔今义〕 祖父，常重叠使用。

附录二

古今异义的双音节词集录

卑鄙 今义：品质恶劣。古义：卑，指出身低微；鄙，指学识浅陋。常用作谦辞。例如：先帝不以臣卑鄙，猥自枉屈，三顾臣于草庐之中。（《出师表》）

便宜 今义：物品价格低。古义：有利和应该做的事。例如：释之既朝毕，因前言便宜事。（《史记·张释之列传》）

不必 今义：用不着，不需要。古义：不一定。例如：是故弟子不必不如师，师不必贤于弟子。（《师说》）

不过 今义：转折连词。古义：不超过。例如：今以实校之，彼所将中国人不过十五六万，且已久疲。（《赤壁之战》）

不好 今义：坏。古义：不美。例如：是女子不好。烦大巫妪为人报河伯，得更求好女，后日送之。（《西门豹治邺》）

不行 今义：不可以。古义：不能走路。例如：臣少多疾病，九岁不行。（《陈情表》）

布衣 今义：用布做的衣服。古义：平民。例如：臣本布衣，躬耕于南阳。（《出师表》）

猖狂 今义：肆无忌惮。古义：狂放，不拘礼法，不含贬义。例如：阮籍猖狂，岂效穷途之哭？（《滕王阁序》）

操持 今义：料理、筹划。古义：拿着。例如：杖汉节牧羊，卧起操持，节旄尽落。（《苏武传》）

成立 今义：组织机构等筹备成功，开始存在。古义：成人自立。例如：零丁孤苦，至于成立。（《陈情表》）

赤子 今义：小孩子。古义：①百姓。例如：皆我东南赤子膏血也。（《方腊起义》）②初生的婴儿。例如：赤子之心。（《孟子·离娄

下》）

从而 今义：连词上文是原因、方法等，下文是结果、目的等；因此就。古义：从，跟随；而，而且。例如：生乎吾前，其闻道也固先乎吾，吾从而师之。（《师说》）

从容 今义：不慌忙。古义：言语举动适度得体。例如：然皆祖屈原之从容辞令，终莫敢直谏。（《屈原列传》）

从事 今义：干某项事业。古义：随从人员，名词。例如：则遣从事以一少牢告庙。（《伶官传序》）

大方 今义：对财物不计较，言谈举止自然。古义：指修养高、明白道理。例如：吾长见笑于大方之家。（《秋水》）

大风 今义：大的风。古义：麻风病。例如：可以已大风。（《捕蛇者说》）

怠慢 今义：冷淡、待人不够殷勤。古义：松懈、轻忽。例如：怠慢忘身，祸灾乃作。（《劝学》）

地方 今义：①泛指空间的一部分；②民间；③地区。古义：①当地的事。例如：在外监司牧宇，亦皆贪鄙成风，不以地方为意。（《方腊起义》）②土地方圆。例如：江东虽小，地方千里。（《项羽本纪》）③大地的形状是方的。例如：天圆地方。（《淮南子·天文训》）

东面 今义：东边。古义：脸朝东。例如：东面而视。（《秋水》）

斗争 今义：泛指对抗性行为。古义：吵闹、打架。例如：群鸡正乱叫，客至鸡斗争。（《羌村三首》）

孤立 今义：①同其他事物不相联系；②不能得到同情和援助。古义：孤单无助。例如：无兄弟之亲，独身孤立。（《报任安书》）

反而 今义：连词，跟上文意思相反。古义：返回，回头。例如：我乃行之，反而求之。（《齐桓晋文之事》）

反复 今义：重复。古义：①扭转形势。例如：其存君兴国而欲反复之，一篇之中三致志焉。（《屈原列传》）②书信往返。例如：重念蒙君实视遇厚，于反复不宜卤莽，故今具道所以。（《答司马谏议书》）

方丈 今义：寺院的主持。古义：一丈见方。例如：室仅方丈，可容一人居。（《项脊轩志》）

非常 今义：很、大（副词）。古义：意外事故（名词）。例如：所以遣将守关者，备他盗之出入与非常也。（《鸿门宴》）

风流 今义：轻浮放荡；男女关系不正当。古义：①杰出、英俊。例如：大江东去，浪淘尽，千古风流人物。（《念奴娇·赤壁怀古》）②繁华的景象，流风余韵。例如：风流总被雨打风吹去。（《永遇乐·京口北固亭怀古》）③学问才华，雍容的风度。例如：摇落深知宋玉悲，风流儒雅亦吾师。（《咏怀古迹》）

逢迎 今义：奉承、拍马屁。古义：迎接。例如：新妇识马声，蹑履相逢迎。［《孔雀东南飞（并序）》］

夫人 今义：多用于外交场合，尊称一般人的妻子。古义：那人。例如：微夫人之力不及此。（《烛之武退秦师》）

扶老 今义：扶着老人。古义：拐杖。例如：策扶老以流憩。［《归去来兮辞（并序）》］

感激 今义：深深地感谢。古义：感，感动；激，奋激。例如：由是感激，遂许先帝以驱驰。（《出师表》）

更衣 今义：换衣服。古义：上厕所。例如：权起更衣，肃追于宇下。（《赤壁之战》）

故事 今义：真实的或虚构的有人物有情节的事情。古义：先例、旧事。例如：苟以天下之大，下而从六国破亡之故事，是又在六国下矣。（《六国论》）

诡辩 今义：无理狡辩。古义：骗人的话。例如：而设诡辩于怀王之宠姬郑袖。（《屈原列传》）

果然 今义：与事实相符。古义：饱的样子。例如：适莽苍者，三餐而反，腹犹果然。（《逍遥游》）

豪杰 今义：才能出众的人。古义：①有声望、地位的人。例如：号令召三老、豪杰与皆来会计事。（《陈涉世家》）②英雄人物。例如：自董卓已来，豪杰并起，跨州连郡者不可胜数。（《隆中对》）

何苦 今义：不值得做，犯不着。古义：哪

怕，怕什么，怎怕。例如：而山不加增，何苦而不平？（《愚公移山》）

唧唧　今义：低声交谈，也可指虫的叫声。古义：①织布机声。唧唧复唧唧，木兰当户织。（《木兰诗》）②叹息声。我闻琵琶已叹息，又闻此语重唧唧。[《琵琶行（并序）》]

即使　今义：表假设性让步连词。古义：即，就；使，让，叫。例如：即使吏卒共抱大巫妪投之河中。（《西门豹治邺》）

交通　今义：来往和运输。古义：①勾结。例如：因其富厚，交通王侯。（《论贵粟疏》）②互相通连。例如：枝枝相覆盖，叶叶相交通。[《孔雀东南飞（并序）》]

结束　今义：事情的一个过程的完结。古义：整装。例如：婉贞于是率诸少年结束而出。（《冯婉贞》）

举手　今义：表赞同，或要求发言时的动作。古义：告别时的动作。例如：举手长劳劳，二情同依依。[《孔雀东南飞（并序）》]

鞠躬　今义：行礼。古义：①弯着身子。例如：我鞠躬不敢息。（《中山狼传》）②恭敬地、谨慎地。例如：臣鞠躬尽力，死而后已。（《后出师表》）

具体　今义：明确，不抽象，细致。古义：具，具备；体，形体。例如：亦雁荡具体而微者。（《雁荡山》）

开张　今义：店铺开业。古义：扩大。例如：诚宜开张圣听，以光先帝遗德。（《出师表》）

慷慨　今义：大方。古义：意气激昂。例如：初至北营，抗辞慷慨，上下颇惊动。（《〈指南录〉后序》）

可怜　今义：值得怜悯。古义：①可爱。例如：可怜体无比，阿母为汝求。[《孔雀东南飞（并序）》]②可惜。例如：楚人一炬，可怜焦土。（《阿房宫赋》）

可以　今义：能够。古义：可，可以；以，凭，靠。例如：忠之属也。可以一战。（《曹刿论战》）

口舌　今义：由说话引起的是非、争吵。古义：言语、言辞。例如：国事至此，予不得爱身，意北亦尚可以口舌动也。（《〈指南录〉后序》）

口语　今义：说话时使用的语言，与"书面语"相对。古义：言论。例如：仆以口语遇遭此祸。（《报任安书》）

会计　今义：（"会"读 kuài）管理财务计算的人。古义：会（huì），聚会；计，商议。例如：号令召三老、豪杰与皆来会计事。（《陈涉世家》）

老大　今义：长兄，长子，船老大。古义：年龄大。例如：门前冷落鞍马稀，老大嫁作商人妇。[《琵琶行（并序）》]

老子　今义：①父亲；②自我的粗俗称谓。古义：老人。例如：遥望老子杖藜而来。（《中山狼传》）

烈士　今义：为革命而牺牲的人。古义：烈，有节操、有抱负；士，一般指男子。例如：烈士暮年，壮心不已。（《龟虽寿》）

留意　今义：当心、注意。古义：考虑。例如：先生可留意矣。（《中山狼传》）

美人　今义：美貌女子。古义：歌伎、宫妃。例如：秦王大喜，传以示美人及左右。（《廉颇蔺相如列传》）

南面　今义：南边。古义：面南而坐，即称帝。例如：不然，擅齐之强，得一士焉，宜可以南面而制秦。（《读孟尝君传》）

其实　今义：实际上（副词）。古义：①它的果实。例如：叶徒相似，其实味不同。（《晏子使楚》）②实际上。例如：操虽托名汉相，其实汉贼也。（《赤壁之战》）

妻子　今义：爱人（女方）。古义：妻和子女。例如：子布、元表诸人各顾妻子……（《赤壁之战》）

前进　今义：向前行进，思想进步。古义：前，走上前去；进，奉献。例如：相如前进缶，因跪请秦王。（《廉颇蔺相如列传》）

亲戚　今义：旁系亲属。古义：指父母兄弟，统指家里亲人。例如：臣所以去亲戚而事君者，徒慕君之高义也。（《廉颇蔺相如列传》）

穷困　今义：贫穷困苦。古义：窘迫，走投无路。例如：樊将军以穷困来归丹。（《荆轲刺秦王》）

秋天　今义：秋季。古义：秋季的天空。例如：秋天漠漠向昏黑。（《茅屋为秋风所破歌》）

人情 今义：应酬送礼，情面、情谊。古义：人民的普遍情况。例如：夫人情莫不贪生恶死。（《报任安书》）

肉食 今义：肉类食物。古义：指居高位、享厚禄。例如：肉食者谋之，又何间焉？（《曹刿论战》）

山东 今义：山东省。古义：①指战国时秦国崤山、函谷关以东之楚、赵、韩、魏、燕、齐六国。例如：山东豪俊遂并起而亡秦族矣。（《过秦论》）②泛指太行山以东地区。例如：晋兵先下山东。（《史记·晋世家》）

上报 今义：向上级报告。古义：报答皇恩。例：非臣陨首所能上报。（《陈情表》）

稍稍 今义：稍微。古义：渐渐地、慢慢地。例如：宾客意少舒，稍稍正坐。（《口技》）

势利 今义：形容看财产、地位分别对待人的表现。古义：权势和钱财。例如：岂所以急名誉而干势利之用哉？（《记旧本韩文后》）（湖南高考）

首领 今义：集团领导人。古义：头颅，性命。例如：令五人者保其首领。（《五人墓碑记》）

受业 今义：①跟随老师学习；②学生对老师的自称。古义：除"今义"的义项外，还有"教授学业"之意。例如：师者，所以传道受业解惑也。（《师说》）

书记 今义：党团等各级组织中的主要负责人。古义：书籍。例如：少好学，博涉书记。（《后汉书》）（上海高考）

束手 今义：没办法。古义：投降。例如：近者奉辞伐罪，旌麾南指，刘琮束手。（《赤壁之战》）

庶几 今义：表示在上述情况下才能避免某种后果或实现某种希望。古义：差不多。例如：王之好乐甚，则齐国其庶几乎？（《庄暴见孟子》）

私心 今义：自私的心理。古义：自己内心。例如：恨私心有所不尽。（《报任安书》）

私人 今义：个人和个人之间的。古义：党羽，亲信。例如：以大中丞抚吴者为魏之私人。（《五人墓碑记》）

斯文 今义：文雅。古义：这篇文章。例如：亦将有感于斯文。（《兰亭集序》）

虽然 今义：用于转折复句的关联词。古义：虽，尽管；然，如此。尽管如此或即使如此。例如：虽然，犹有未树也。（《逍遥游》）

所以 今义：表示因果关系的关联词。古义：①缘故（名词）。例如：余叩所以。（《狱中杂记》）②表原因的虚词。例如：臣所以去亲戚而事君者，徒慕君之高义也。（《廉颇蔺相如列传》）③用来，靠它来。例如：师者，所以传道受业解惑也。（《师说》）

同志 今义：革命群众的互称。古义：志同道合的。例如：同志者或不远千里而致。（《甘茅疏序》）

往往 今义：常常。古义：处处。例如：内外多置小门，端往往而是。（《项脊轩志》）

无道 今义：暴虐，没有德政。古义：不述说，不谈论。例如：仲尼之徒无道桓文之事者。（《齐桓晋文之事》）

无论 今义：表条件关系的关联词。古义：不要说，（更）不必说。例如：问今是何世，乃不知有汉，无论魏晋。（《桃花源记》）

无日 今义：不知还有多少时候，很久。古义：没有多少时候，很快。例如：事急而不断，祸至无日矣！（《赤壁之战》）

牺牲 今义：为正义而死。古义：指猪、牛、羊等。例如：牺牲玉帛，弗敢加也。（《曹刿论战》）

县官 今义：知县、县令。古义：朝廷。例如：县官急索租。（《兵车行》）

向前 今义：向前方。古义：先前。例如：凄凄不似向前声。[《琵琶行（并序）》]

小生 今义：古典戏剧中的一种角色。古义：年轻人。例如：隶而从者，崔氏二小生：曰恕己，曰奉壹。（《小石潭记》）

小子 今义：①北方人称男孩；②对青年人的鄙称。古义：小孩子（有贬义）。例如：小子无所畏，何敢助妇语！[《孔雀东南飞（并序）》]

辛苦 今义：身心劳苦。古义：辛酸悲苦。例如：臣之辛苦，非独蜀之人士及二州牧伯所见明知。（《陈情表》）

形容 今义：动词，描述。古义：形体容貌，名词。例如：颜色憔悴，形容枯槁。（《渔父》）

行李 今义：出门所携带的（装有衣物、食

品等的)包裹、箱子。古义:出使的人。例如:行李之往来,共其乏困。(《烛之武退秦师》)

行为 今义:举动。古义:行,品行;为,做。例如:吾社之行为士先者,为之声义。(《五人墓碑记》)

宣言 今义:(国家、政党或团体)对重大问题公开表示意见以进行宣告号召的公告。古义:扬言。例如:宣言曰:"我见相如,必辱之。"(《廉颇蔺相如列传》)

学者 今义:学术上有一定成就的人。古义:求学的人,读书人。例如:古之学者必有师。(《师说》)

颜色 今义:色彩。古义:脸色。例如:断头置城上,颜色不少变。(《五人墓碑记》)

野马 今义:野生动物的一种。古义:春天林泽间的雾气。例如:野马也,尘埃也,生物之以息相吹也。(《逍遥游》)

一毛 今义:一角钱。古义:①一根小草。例如:以残年余力,曾不能毁山之一毛,其如土石何?(《愚公移山》)②一根汗毛。例如:拔一毛而利天下,不为也。(《孟子·尽心上》)

一切 今义:所有的。古义:一律、一概、任何。例如:岂可一切拘以定月哉?(《梦溪笔谈》)

以往 今义:从前。古义:从这里开始,向那里……例如:召有司案图,指从此以往十五都予赵。(《廉颇蔺相如列传》)

以为 今义:认为。古义:把……当作。例如:昔者先王以为东蒙主。(《季氏将伐颛臾》)

意气 今义:志趣和性格。古义:情意。例如:意气勤勤恳恳。(《报任安书》)

殷勤 今义:热情、周到。古义:关切、问候。例如:肃宣权旨,论天下事势,致殷勤之意。(《赤壁之战》)

因而 今义:表示结果的连词。古义:趁此。例如:不如因而厚遇之,使归赵。(《廉颇蔺相如列传》)

用心 今义:读书用功或对事肯动脑筋(褒义)。古义:思想意识的活动(中性)。例如:蚓无爪牙之利,筋骨之强,上食埃土,下饮黄泉,用心一也。(《劝学》)

有意 今义:居心。古义:①愿意。例如:先生不羞,乃有意欲为收责于薛乎?(《冯谖客孟尝君》)②有某种打算。例如:岂有意乎?(《隆中对》)

于是 今义:承接连词。古义:在此。例如:吾祖死于是,吾父死于是。(《捕蛇者说》)

鱼肉 今义:鱼的肉。古义:鱼和肉,意为被欺凌的对象(名词)。例如:如今人方为刀俎,我为鱼肉。(《鸿门宴》)

约束 今义:限制。古义:遵守约定。例如:秦自缪公以来二十余君,未尝有坚明约束者也。(《廉颇蔺相如列传》)

丈人 今义:岳父。古义:①老人。例如:愿丈人一言而生。(《中山狼传》)②长辈。例如:汉天子我丈人行也。(《苏武传》)

指示 今义:为指导工作而发出的口头或书面意见。古义:指出,给人看。例如:璧有瑕,请指示王。(《廉颇蔺相如列传》)

至于 今义:表示另提一事的连词。古义:终于达到某种程度。例如:至于颠覆,理固宜然。(《六国论》)

智力 今义:理解事物的能力。古义:智,智谋;力,力量。例如:且燕赵处秦革灭殆尽之际,可谓智力孤危,战败而亡,诚不得已。(《六国论》)

致意 今义:表示问候。古义:表达意愿。如:宁可致意耶?(《柳毅传》)

中国 今义:中华人民共和国。古义:中原地区。例如:若能以吴、越之众与中国抗衡,不如早与之绝。(《赤壁之战》)

中间 今义:当中。古义:中,当中;间,夹杂着。例如:中间力拉崩倒之声。(《口技》)

中心 今义:①文章的主旨;②主要场合或指挥机构;③事物的重心。古义:心里。例如:中心藏之,何日忘之?(《叶公好龙》)

众人 今义:大家,很多人。古义:一般人。例如:今之众人,其下圣人也亦远矣。(《师说》)

纵情 今义:尽情。古义:骄傲。例如:既得志,则纵情以傲物。(《谏太宗十思疏》)

足下 今义:脚下面。古义:对人的尊称。例如:再拜奉大将军足下。(《鸿门宴》)

祖父 今义:父亲的父亲。古义:祖辈和父

辈。例如：思厥先祖父，暴霜露，斩荆棘，以有尺寸之地。（《六国论》）

左右 今义：①大致范围（方位词）；②控制（动词）。古义：侍卫人员。例如：王顾左右而言他。（《孟子·梁惠王下》）

作文 今义：语文课里写文章的练习。古义：写文章。例如：属予作文以记之。（《岳阳楼记》）

附录三

高中生必须掌握的文言实词

（含传统的120个文言实词，又添加近年高考常考查的部分实词。词中画浪线的义项为高考已考查的义项。）

阿 1. ā

助词。用在称呼开头，无实义。

阿姊闻妹来。（《木兰诗》）

其旁葬汝女阿印。（《祭妹文》）

2. ē

(1)名词。①大土山。

访风景于崇阿。（《滕王阁序》）

②屋角翘起来的檐。

阿阁三重阶。（《古诗十九首》）

(2)动词。①曲从，迎合。

诸将皆阿吕后意。（《史记》）

②袒护。

万民之主，不阿一人。（《吕氏春秋》）

爱 ài

(1)名词。恩惠。

古之遗爱也。（《左传》）

(2)动词。①加惠于人。

吴广素爱人。（《陈涉世家》）

②疼爱。

父母之爱子，则为之计深远。（《触龙说赵太后》）

③喜欢，爱好。

予独爱莲之出淤泥而不染。（《爱莲说》）

④吝惜，舍不得。

齐国虽褊小，吾何爱一牛？（《齐桓晋文之事》）

⑤怜惜，爱惜。

向使三国各爱其地。（《六国论》）

⑥通"薆"，隐蔽，躲藏。

爱而不见，搔首踟蹰。（《诗经·邶风·静女》）

(3)形容词。①吝啬。

百姓皆以王为爱也。（《齐桓晋文之事》）

②心爱的。

见大王爱女牧羊于野。（《柳毅传》）

安 ān

(1)形容词。①舒适，安适。

君子食无求饱，居无求安。（《论语·述而》）

②安稳。

风雨不动安如山。（《茅屋为秋风所破歌》）

③安全。

谢庄遂安。（《冯婉贞》）

④安定。

不患寡而患不均，不患贫而患不安。（《季氏将伐颛臾》）

(2)动词。①养生。

衣食所安，弗敢专也。（《曹刿论战》）

②安置，安扎。

离山十里有王平安营。（《失街亭》）

③使……安定。

既来之，则安之。（《季氏将伐颛臾》）

(3)疑问代词。哪里，哪儿。

沛公安在？（《鸿门宴》）

(4)疑问副词。哪里，怎么。

燕雀安知鸿鹄之志哉！（《陈涉世家》）

报 bào

动词。①报告。

具以沛公言报项王。（《鸿门宴》）

②答复，回复。

阙然久不报，幸勿为过。（《报任安书》）

③报答。

臣所以报先帝，而忠陛下之职分也。（《出师表》）

④回赠。

投我以木瓜，报之以琼琚。（《诗经》）

⑤报仇，报怨，报复。

自王以下，欲求报其父仇，莫能得。（《信陵君窃符救赵》）

暴 bào

(1)形容词。①凶残的。

诸侯之地有限，暴秦之欲无厌。(《六国论》)

②急躁。

性行暴如雷。[《孔雀东南飞(并序)》]

③急骤，猛烈。

屡撩之，虫暴怒。(《促织》)

(2)副词。突然。

屠暴起，以刀劈狼首。(《狼》)

(3)动词。①糟蹋，损害。

暴殄天物。(《尚书》)

②动手搏击。

暴虎冯(píng)河。(《论语》)

被 1. bèi

(1)名词。被子。

一日昼寝帐中，落被于地。(《杨修之死》)

(2)动词。①覆盖。

大雪逾岭，被南越中数州。(《答韦中立论师道书》)

②遭受，遇到。

秦王复击轲，被八创。(《荆轲刺秦王》)

虽万被戮，岂有悔哉！(《报任安书》)

③施加，施及。

去乱而被之以治。(《荀子·不苟》)

(3)介词。表示被动。

信而见疑，忠而被谤。(《屈原列传》)

2. pi，通"披"。

动词。①穿在身上或披在身上。

将军身被坚执锐。(《陈涉世家》)

②披散，披着。

屈原至于江滨，被发行吟泽畔。(《屈原列传》)

倍 bèi

(1)动词。①加倍。

虽倍赏累罚而不免于乱。(《五蠹》)

②背向。

管仲反，入，倍屏而立，公不与言。(《管子·中匡》)

③违背。

倍道而妄行，则天不能使之吉。(《荀子·天论》)

④通"背"，背叛。

愿伯具言臣之不敢倍德也。(《鸿门宴》)

(2)量词。照原数加一次。

然言其户口，则视三十年以前增五倍焉。(《治平篇》)

较秦之所得，与战胜而得者，其实百倍。(《六国论》)

(3)副词。越发，更加，倍加。

独在异乡为异客，每逢佳节倍思亲。(《九月九日忆山东兄弟》)

备 bèi

(1)动词。①具备。

圣心备焉。(《劝学》)

②防备。

备他盗之出入与非常也。(《鸿门宴》)

③准备。

犹得备晨炊。(《石壕吏》)

(2)形容词。周全，详细。

前人之述备矣。(《岳阳楼记》)

(3)名词。设备，措施。

事异则备变。(《五蠹》)

(4)副词。①全，都。

险阻艰难，备尝之矣。(《左传》)

②尽。

备极护爱。(《促织》)

本 běn

(1)名词。①草木的根。

求木之长者，必固其根本。(《谏太宗十思疏》)

②草木的干茎。

摇其本以观其疏密。(《种树郭橐驼传》)

③根本。

父母者，人之本也。(《屈原列传》)

④本业，指农桑。

强本而节用。(《天论》)

⑤稿本。

今存其本不忍废。(《〈指南录〉后序》)

⑥版本。

已后典籍皆为板本。(《活板》)

⑦奏本。

别具本章。(《狱中杂记》)

(2)量词。①草木花卉一株称一本。

新松郁郁三千本。(《赠石帆老人》)

②书籍一册称一本。

若印数十百千本，则极为神速。（《活板》）

(3)动词。推究本原，考察。

抑本其成败之迹，而皆自于人欤？（《伶官传序》）

(4)形容词。原来的。

刘媪本姓实存。（《汉书》）

(5)副词。本来。

本在冀州之南。（《愚公移山》）

(6)复合词。本心：指心的自然状态，本性（即所谓人所固有的羞恶廉耻之心）。

此之谓失其本心。（《鱼我所欲也》）

比 bǐ

(1)动词。①比较。

与天地兮比寿，与日月兮齐光。（《涉江》）

②比作。

每自比于管仲、乐毅。（《隆中对》）

③比照。

人之救火死者，比死敌之赏。（《韩非子》）

④并列，紧靠。

其两膝相比者。（《核舟记》）

因出己虫，纳比笼中。（《促织》）

⑤勾结。

君子周而不比，小人比而不周。（《论语》）

(2)副词。①近来。

比得软脚病。（《祭十二郎文》）

②等到。

比至南郡，而琮已降。（《赤壁之战》）

鄙 bǐ

(1)名词。边界，边远的村邑。

蜀之鄙有二僧。（《为学》）

(2)动词。①以……为边界（边邑）。

越国以鄙远，君知其难也。（《烛之武退秦师》）

②轻视。

孔子鄙其小器。（《训俭示康》）

(3)形容词。鄙陋，见识浅，庸俗。

肉食者鄙。（《曹刿论战》）

(4)复合词

①鄙人。a.自称的谦辞。

唐谢曰："鄙人不知忌讳。"（《史记·冯唐列传》）

b.乡下人。

余睹李将军悛悛（质朴的样子）如鄙人，口不能道辞。（《史记·李将军列传》）

②鄙贱，粗野而又地位低微。

鄙贱之人，不知将军宽之至此也！（《廉颇蔺相如列传》）

敝 bì

(1)形容词。①破旧、破烂。

余则缊袍敝衣处其间。（《送东阳马生序》）

②困乏。

曹操之众远来疲敝。（《赤壁之战》）

(2)动词。损害。

因人之力而敝之，不仁。（《烛之武退秦师》）

兵 bīng

(1)名词。①兵器。

收天下之兵，聚之咸阳。（《过秦论》）

②士兵，军队。

可汗大点兵。（《木兰诗》）

③战略战术。

公不论兵，必大困。（《战国策》）

④战争。

自胡马窥江去后，废池乔木，犹厌言兵。（《扬州慢》）

兵旱相乘，天下大屈。（《论积贮疏》）

(2)动词。①侵略。

无岁不受兵。（《十八史略》）

②以兵器杀人。

左右欲兵之。（《史记》）

(3)复合词。兵符：古代调兵用的凭证。用铜、玉或木石等制成，状如虎，又称虎符，剖成两半。国君和统帅各掌握一半，以便对证。

赢闻晋鄙之兵符常在王卧内。（《信陵君窃符救赵》）

病 bìng

(1)名词。①重病。

君之病在肠胃。（《扁鹊见蔡桓公》）

②弊病，缺点。

人皆嗤吾固陋，吾不以为病。（《训俭示康》）

③祸害。

虽尤物不足以为病。（《宝绘堂记》）

(2)动词。①生病。

凡人不病则不畏惧。（《订鬼》）

②使成病态。

以夭梅病悔为业以求钱也。(《病梅馆记》)

③担心，忧虑。

君子病无能焉，不病人之不己知也。(《论语》)

④受困。

在陈绝粮，从者病。(《论语》)

⑤损害。

夫粜，二十病农，九十病末。(出售的谷子，每斗价格二十钱，就要损害农民的利益，每斗价格九十钱，就要损害从事工商业的人的利益。)(《史记·货殖列传》)

⑥责备，羞辱，批评。

古人以俭为美德，今人乃以俭相诟病。(《训俭示康》)

(3)形容词。①困苦不堪。

向吾不为斯役，则久已病矣。(《捕蛇者说》)

②疲劳。

今日病矣，予助苗长矣。(《孟子》)

博 bó

(1)形容词。广博，宽广。

不如登高之博见也。(《劝学》)

(2)动词。①通晓。

博古通今。(《孔子家语》)

②换取，讨取。

不如拼博一笑。(《促织》)

③赌博。

公子与魏王博。(《信陵君窃符救赵》)

曾 1. céng

副词。曾经。

江南好，风景旧曾谙。(《忆江南》)

2. zēng

(1)名词。指与自己隔着两代的亲属。

是高、曾时为一户者，至曾元时不分至十户不止。(《治平篇》)

(2)动词。通"增"，增加。

行拂乱其所为，所以动心忍性，曾益其所不能。(《生于忧患，死于安乐》)

(3)副词。表意外。竟然，居然，简直，连……都……。

汝心之固，固不可彻，曾不若孀妻弱子。(《愚公移山》)

察 chá

(1)动词。①细看。

徐而察之。(《石钟山记》)

②看清楚。

明足以察秋毫之末，而不见舆薪。(《齐桓晋文之事》)

③详审。

向察众人之议，专欲误将军。(《赤壁之战》)

④明察，了解。

小大之狱，虽不能察，必以情。(《曹刿论战》)

⑤考察后加以推荐。

察臣孝廉。(《陈情表》)

(2)叠词。察察：洁净的样子。

人又谁能以身之察察，受物之汶汶者乎？(《屈原列传》)

朝 1. cháo

(1)动词。①诸侯在春天拜见天子，或臣属在早晨拜见国君。引申为朝见。

此吾祖太常公宣德间执此以朝。(《项脊轩志》)

相如每朝时，常称病。(《廉颇蔺相如列传》)

②拜访。

临邛令缪为恭敬，日往朝相如。(《史记》)

(2)名词。①朝廷。

于是入朝见威王。(《邹忌讽齐王纳谏》)

②朝代。指整个王朝，也指某一皇帝的一代。

三顾频烦天下计，两朝开济老臣心。(《蜀相》)

③政事。

期年不听朝。(《吕氏春秋》)

(3)介词。对，向。

坐南朝北。

2. zhāo

(1)名词。早晨。

人命危浅，朝不虑夕。(《陈情表》)

(2)复合词。朝宗：水流归向。

江汉朝宗于海。(《尚书》)

乘 1. chéng

动词。①驾，坐。

乘轺车，从吏卒。(《赤壁之战》)

独与迈乘小舟至绝壁下。(《石钟山记》)

②升，登。

乘鄂渚而反顾兮，欸秋冬之绪风。（《涉江》）

③趋，顺应，趁着。

因利乘便，宰割天下，分裂山河。（《过秦论》）

于是乘其厉声以呵，则噪而相逐。（《五人墓碑记》）

④冒着。

余以乾隆三十九年十二月，自京师乘风雪……至于泰安。（《登泰山记》）

⑤凭恃、依仗。

愿乘长风，破万里浪。（《宋书·宗悫传》）

⑥交加，连接。

兵旱相乘，天下大屈。（《论积贮疏》）

⑦追逐。

城上鼓噪乘之，杂获甚众。（《宋史》）

2. shèng

(1)名词。①一车四马的总称。

致万乘之势，序八州而朝同列。（《过秦论》）

②佛教的教派或教法。

大乘佛教。

③春秋时晋国的史书叫"乘"。后称史书为"史乘"。

晋之《乘》，楚之《梼杌(táowù)》，鲁之《春秋》，一也。（《孟子》）

(2)量词。辆。

超乘者三百乘。（《殽之战》）

(3)数词。四。

以乘韦先，牛十二犒师。（《殽之战》）

诚 chéng

(1)名词。诚心，诚意。

帝感其诚，命夸娥氏二子负二山。（《愚公移山》）

(2)副词。表肯定。确实，的确。

臣诚知不如徐公美。（《邹忌讽齐王纳谏》）

(3)连词。表假设。果真，如果。

诚能见可欲，则思知足以自戒。（《谏太宗十思疏》）

弛 chí

(1)动词。①放松弓弦。

乃弛弓，自后缚之。（《左传》）

②放下。

屠乃弃倚其下，弛担持刀。（《狼》）

③松懈，废弛。

识者固知元政紊弛而变兴自下之渐矣。（《书博鸡者事》）

(2)形容词。轻松，宽心。

视其缶，而吾蛇尚存，则弛然而卧。（《捕蛇者说》）

充 chōng

(1)动词。①充满，充实。

平生衣取蔽寒，食取充腹。（《训俭示康》）

②扩充，扩大。

吾充吾爱汝之心，助天下人爱其所爱。（《与妻书》）

③充当。

半匹红绡一丈绫，系向牛头充炭直。（《卖炭翁》）

④担任，担当。

遂为猾胥报充里正役。（《促织》）

(2)形容词。满，足。

仓廪实，府库充。（《孟子》）

宠 chǒng

(1)名词。①宠爱。

上官大夫与之同列，争宠而心害其能。（《屈原列传》）

②受宠爱的人。

齐侯好内，多内宠。（《左传》）

(2)动词。宠爱、宠幸。

君以为忠，而甚宠之。（《左传》）

(3)形容词。①尊贵。

恃其富宠，以泰于国。（《国语》）

②荣耀。

心旷神怡，宠辱偕忘。（《岳阳楼记》）

除 chú

(1)名词。①台阶。

登自东除。（《东京赋》）

②门屏之间。

扶辇下除。（《汉书·苏武传》）

(2)动词。①去掉，除去。

兴利除弊。（《答司马谏议书》）

除残去秽。（《赤壁之战》）

②修治。

即除魏阁废祠之址以葬之。(《五人墓碑记》)

③拜官授职。

予除右丞相兼枢密使。(《〈指南录〉后序》)

辞 cí

(1)名词。①诉讼的供词。

狱辞无谋故者。(《狱中杂记》)

②言辞,文辞。

而侯生曾无一言半辞送我。(《信陵君窃符救赵》)

曼辞以自饰。(《报任安书》)

③托辞,借口。

君子疾夫舍曰欲之而必为之辞。(《季氏将伐颛臾》)

挟天子以征四方,动以朝廷为辞。(《赤壁之战》)

④命令。

近者奉辞伐罪,旌麾南指,刘琮束手。(《赤壁之战》)

⑤名词。一种文体。

《归去来兮辞》

(2)动词。①告别,辞别。

今者出,未辞也,为之奈何?(《鸿门宴》)

②推辞,辞去。

如姬之欲为公子死,无所辞。(《信陵君窃符救赵》)

③计较。

大礼不辞小让。(《鸿门宴》)

(3)复合词。辞令:应酬的语言、文辞。

然皆祖屈原之从容辞令,终莫敢直谏。(《屈原列传》)

次 cì

(1)动词。①停留,驻扎。

操军不利,引次江北。(《赤壁之战》)

②依次序排列。

陈胜吴广皆次当行。(《陈涉世家》)

(2)名词。①外出所居止的处所。

列坐其次。(《兰亭集序》)

②次第,次序。

余船依次俱进。(《赤壁之战》)

(3)形容词。第二,居其次。

全国为上,破国次之。(《孙子·谋攻》)

(4)量词。表行动的回数。

历险数次,遂达峰顶。(《徐霞客游记》)

从 1. cóng

动词。①跟随,使……跟随,带领。

沛公旦日从百余骑来见项王。(《鸿门宴》)

臣尝从大王与燕王会境上。(《廉颇蔺相如列传》)

②依顺,听从。

民弗从也。(《曹刿论战》)

臣从其计。(《廉颇蔺相如列传》)

③参与。

弟走从军阿姨死。[《琵琶行(并序)》]

④追赶。

佯北勿从。(《孙子》)

⑤依傍,紧挨着。

樊哙从良坐。(《鸿门宴》)

⑥采取某种原则。

从宽/从严/从简/从缓

2. cóng,旧读 zòng

(1)名词。①随从的人。

其从如云。(《诗经》)

②副职。

魏以九品分正从。(《文献通考》)

③指堂房亲属。

昇死,其印为予群从所得。(《活板》)

(2)形容词。从属的。

从犯。

3. zòng 通"纵"。

(1)形容词。①直的。

衡(横)从其亩。(《诗经》)

(2)名词。合纵的盟约。

于是从散约败,争割地而赂秦。(《过秦论》)

(3)动词。放纵。

欲不可从。(《礼记》)

殆 dài

(1)形容词。①危险。

知己知彼,百战不殆。(《孙子》)

②精神疲倦而无所得。

学而不思则罔,思而不学则殆。(《论语》)

③通"怠",懈怠。

农者殆则土地荒。(《商君书》)

(2)副词。①表测度或不肯定。大概,恐怕。

郦元之所见闻,殆与余同,而言之不详。(《石钟山记》)

殆有神护者。(《项脊轩志》)

②表约略。几乎,接近,差不多。

扬州城下,进退不由,殆例送死。(《〈指南录〉后序》)

当 1. dāng

(1)动词。①抵御,抵挡。

非刘豫州莫可以当曹操者。(《赤壁之战》)

料大王士卒足以当项王乎?(《鸿门宴》)

②占据,把守。

一夫当关,万夫莫开。(《蜀道难》)

③阻,拦。

有狼当道,人立而啼。(《中山狼传》)

④承担。

当仁不让于师。(《论语》)

⑤主持,执掌。

北邀当国者相见。(《〈指南录〉后序》)

⑥应当。

诸将吏敢复有言当迎操者,与此案同!(《赤壁之战》)

⑦判决,判罪。

吏当广所失亡多。(《史记·李将军列传》)

⑧担任。

狼以微贱,当侍东宫。(《陈情表》)

(2)介词。①表处所。对着,面对。

当窗理云鬓,对镜帖花黄。(《木兰诗》)

②表时间。值,在,正在。

当是时也,商君佐之。(《过秦论》)

(3)副词。①表必然。必定,一定。

不久当归还,还必相迎取。[《孔雀东南飞(并序)》]

②表未来的时间。将,将要。

今当远离,临表涕零,不知所言。(《出师表》)

2. dàng

(1)动词。①符合。

惴惴恐不当意。(《促织》)

②当做。

安步以当车。(《战国策》)

③以为。

我当是相公呢!

④两者相抵。

募有能捕之者,当其租入。(《捕蛇者说》)

(2)形容词。适宜。

此殊未当。(《采草药》)

3. tǎng 通"倘",如果。

则胜负之数,存亡之理,当与秦相较,或未易量。(《六国论》)

道 1. dào

(1)名词。①道路。

会天大雨,道不通。(《陈涉世家》)

②途径,方法。

于是废先王之道,焚百家之言。(《过秦论》)

③风尚。

师道之不传也久矣。(《师说》)

④道义。

伐无道,诛暴秦。(《陈涉世家》)

⑤思想,学说。

此人皆意有所郁结,不得通其道。(《报任安书》)

⑥道理,规律。

生乎吾前,其闻道也固先乎吾。(《师说》)

⑦意向。

道不同,不相为谋。(《论语》)

⑧历史上的行政区划名。唐分全国为十五道,隶属于中央。清末和民国初分一省为数道。

史公以凤庐道奉檄守御。(《左忠毅公逸事》)

(2)动词。①取道。

从郦山下,道芷阳间行。(《鸿门宴》)

②走路,赶路。

闻操已向荆州,晨夜兼道。(《赤壁之战》)

③说,讲。

何可胜道也哉!(《游褒禅山记》)

④料想。

故园谁道有书来。(《南海旅次》)

2. dǎo

通"导"。a.引导。

道之以德。(《论语》)

b.疏导。

不如小决(决口)使道。(《左传》)

得 1. dé

(1)名词。心得,收获。

古人之观于天地、山川、草木、虫鱼、鸟兽，往往有得。(《游褒禅山记》)

(2)动词。①取得，获得。

秦城恐不可得。(《廉颇蔺相如列传》)

②得意。

意气扬扬，甚自得也。(《史记》)

③所愿。

于彼计则得。(《中山狼传》)

④具备。

积善成德，而神明自得，圣心备焉。(《劝学》)

⑤通"德"。感恩。

所识穷乏者得我欤？(《鱼我所欲也》)

⑥能够。

沛公军霸上，未得与项羽相见。(《鸿门宴》)

⑦融洽。

某亦守法，与公甚相得。(《记王忠肃公翱事》)

⑧对，合适。

此言得之。(《六国论》)

(3)复合词。得无：①莫非、恐怕。岂不是。

得无教我猎虫所耶？(《促织》)

②怎能不。

览物之情，得无异乎？(《岳阳楼记》)

2. děi

副词。必须、应该。

吾得兄事之。(《鸿门宴》)

敌 dí

(1)名词。敌人，对手。

秦人开关延敌。(《过秦论》)

(2)动词。①攻击。

屠大窘，恐前后受其敌。(《狼》)

②抵挡。

(司马懿)乃魏之名将，恐汝不能敌之。(《三国演义》)

③匹敌，对等。

甚者至以为非仲达敌。(《陈亮集》)

度 1. dù

(1)名词。①计量长短的标准。

吾忘持度。(《郑人买履》)

②限度。

生之有时，而用之无度。(《论积贮疏》)

③制度。

内立法度，务耕织。(《过秦论》)

④度量。

常有大度。(《汉书》)

⑤常态，气度。

群臣惊愕，卒起不意，尽失其度。(《荆轲刺秦王》)

(2)量词。次，回，个。

崔九堂前几度闻。(《江南逢李龟年》)

(3)动词。①谱曲。

予怀怆然，感慨今昔，因自度此曲。(《扬州慢》)

②过。

春风不度玉门关。(《凉州词》)

③度引。指度人离俗。

三言两语，把一个人度了去了。(《红楼梦》)

2. duó

动词。①衡量，计算。

试使山东之国与陈涉度长絜大。(《过秦论》)

②推测，估量。

度我至军中，公乃入。(《鸿门宴》)

③考虑。

度义而后动。(《答司马谏议书》)

多 duō

(1)形容词。数量大，多数。

石苍黑色，多平方，少圜。(《登泰山记》)

(2)副词。大多，大都。

迁客骚人，多会于此。(《岳阳楼记》)

(3)动词。称赞、赞美。

故传天下而不足多也。(《五蠹》)

夺 duó

(1)动词。①抢夺，强取。

秦王度之，终不可强夺。(《廉颇蔺相如列传》)

②使……改变，强行改变。

三军可夺帅也，匹夫不可夺志也。(《论语》)

③罢免。

使者遂逮守，胁服夺其官。(《书博鸡者事》)

④耽误，丧失。

百亩之田，勿夺其时。(《齐桓晋文之事》)

恶 1. è

(1)名词。①坏事，罪恶。

不幸吕师孟构恶于前。(《〈指南录〉后序》)

②坏人，恶人。

元恶(首恶分子)不待教而诛。(《荀子》)

(2)形容词。①丑陋。

状貌甚恶。(《史记》)

②不好。

廉君宣恶言。(《廉颇蔺相如列传》)

③险恶,凶狠。

境界危恶,层见错出,非人世所堪。(《〈指南录〉后序》)

2. wù

(1)动词。①憎恨。

尝问天下所疾恶者。(《张衡传》)

②厌恶。

所恶有甚于生者。(《鱼我所欲也》)

③嫉妒。

表恶其能而不能用也。(《赤壁之战》)

④中伤。

苏秦相燕,人恶之燕王。(《狱中上梁王书》)

(2)形容词。耻。

羞恶之心人皆有之。(《孟子》)

3. wū

代词。①什么。

彼且恶乎待哉?(《逍遥游》)

②怎么。

兄故弱,恶能多樵。(《聊斋志异》)

发 fā

(1)动词。①生长。

红豆生南国,春来发几枝。(《相思》)

②发生。

非常之谋难于猝发。(《五人墓碑记》)

③起。

猛将必发于卒伍。(《韩非子》)

④射出,放出。

三保戒团众装药实弹,毋妄发。(《冯婉贞》)

⑤揭露

其发奸擿伏如神。(《汉书》)

⑥展开,打开。

发图,图穷而匕首见(xiàn)。(《荆轲刺秦王》)

⑦发送。

使人发书至赵王。(《廉颇蔺相如列传》)

⑧表达,抒发。

扼腕墓道,发其志士之悲哉。(《五人墓碑记》)

⑨出发。

程公便在前发。(《赤壁之战》)

⑩征发。

发闾左適戍渔阳。(《陈涉世家》)

⑪派遣。

孤当续发人众。(《赤壁之战》)

⑫发掘。

于败堵丛草处,探石发穴。(《促织》)

⑬发动,拨动。

傍行八道,施关发机。(《张衡传》)

⑭发布。

今王发政施仁。(《孟子》)

⑮拿出。

有贤士大夫发五十金。(《五人墓碑记》)

2. fà

(1)名词。头发。

怒发上冲冠。(《廉颇蔺相如列传》)

(2)量词。古代长度单位。引申以形容细微。

无毫发爽。(《促织》)

法 fǎ

(1)名词。①法律,法令。

故治国无法则乱。(《察今》)

②制度。

法者,天下之程式也,万事之仪表也。(《管子》)

③方法。

古法采草药多用二月八月。(《采草药》)

④标准,模式。

匹夫而为百世师,一言而为天下法。(《潮州韩文公庙碑》)

(2)动词。效法。

不期修古,不法常可。(《五蠹》)

非 fēi

(1)形容词。不对的,错误的。

实迷途其未远,觉今是而昨非。[《归去来兮辞(并序)》]

(2)动词。①讥议,责难,认为不对。

是己而非人,俗之同病。(《问说》)

今诸生不师今而学古,以非当世。(《秦始皇本纪》)

②用在判断句中,相当于"不是"。

人非生而知之者,孰能无惑?(《师说》)

③无,没有。

登高而招,臂非加长也,而见者远。(《劝学》)

(3)副词。①多用在叙述句、描写句中，相当于“不”。

陈涉之位，非尊于齐、楚、燕、赵、韩、魏、宋、卫、中山之君也。(《过秦论》)

②除了，除非。

非刘豫州莫可以当曹操者。(《赤壁之战》)

(4)复合词。非常：①不平常，意外事故。

所以遣将守关者，备他盗之出入与非常也。(《鸿门宴》)

②异乎寻常的，特殊的。

大阉亦逡巡畏义，非常之谋难于猝发。(《五人墓碑记》)

讽 fěng

动词。①背诵。

今我讽遗文，思人至其乡。(《游襄阳怀孟浩然》)

②婉言劝告。

邹忌讽齐王纳谏。(《邹忌讽齐王纳谏》)

③讥刺。

(岂其)托于柑以讽耶。(《卖柑者言》)

复 fù

(1)动词。①回来。

昭王南征而不复。(《左传》)

②恢复。

师道之不复，可知矣。(《师说》)

③回答。

不敢出一言以复。(《送东阳马生序》)

④报复。

有北面复匈奴之志。(《盐铁论》)

⑤免除赋税徭役。

沛幸得复，丰未得复。(《高祖本纪》)

(2)形容词。①夹层的，双层的。

红罗复斗帐，四角垂香囊。[《孔雀东南飞(并序)》]

②繁复，重复。

山重水复疑无路，柳暗花明又一村。(《游山西村》)

(3)副词。再，又，还。

渔人甚异之。复前行，欲穷其林。(《桃花源记》)

(4)复合词。复算：算账，追究。

而翁归，自与汝复算耳！(《促织》)

负 fù

(1)动词。①以背载物。

颁白者不负戴于道路矣。(《寡人之于国也》)

②担负，担当。

均之二策，宁许以负秦曲。(《廉颇蔺相如列传》)

③仗恃。

秦贪，负其强，以空言求璧。(《廉颇蔺相如列传》)

④享有。

久负盛名。

⑤覆盖。

苍山负雪，明烛天南。(《登泰山记》)

⑥背弃，违背。

相如度秦王虽斋，决负约不偿城。(《廉颇蔺相如列传》)

⑦辜负，亏待。

誓天不相负。[《孔雀东南飞(并序)》]

⑧蒙受，遭受。

废上之法制者，必负以耻。(《管子·法禁》)

⑨亏欠，拖欠。

负债累累。

(2)名词。①失败。

不知彼而知己，一胜一负。(《孙子兵法·谋攻篇》)

②担子。

昭公出奔，民如释重负。(《谷梁传·昭公二十九年》)

盖 1. gài

(1)名词。①器物的盖子。

合盖隆起，形似酒尊。(《张衡传》)

②指伞。

今已亭亭如盖矣。(《项脊轩志》)

③特指车盖；遮阳避雨的用具。

平原君使者冠盖相属于魏。(《信陵君窃符救赵》)

(2)动词。①遮盖。

天似穹庐，笼盖四野。(《敕勒歌》)

②胜过，压倒。

刘豫州，王室之胄，英才盖世。（《赤壁之战》）

(3)副词。①表示肯定判断。可译为"原来是"。

乃悟前狼假寐，盖以诱敌。（《狼》）

②表推测性判断。大概。

盖余所至，比好游者尚不能十一。（《游褒禅山记》）

(4)语气词，用在句首，不译。

盖儒者所争，尤在于名实。（《答司马谏议书》）

(5)连词，表原因。

屈平之作《离骚》，盖自怨生也。（《屈原列传》）

2. hé

疑问代词。通"盍"，何，怎么。

技盖至此乎？（《庖丁解牛》）

孤 gū

(1)名词。孤儿，古代指幼年丧父的人。

吾少孤，及长，不省所怙。（《祭十二郎文》）

(2)形容词。①单独。

何异以孤羊投群狼？（《冯婉贞》）

②孤立。

智力孤危，战败而亡。（《六国论》）

(3)动词。辜负。

臣孤恩负义。（《后汉书》）

(4)代词。侯王的谦称。

孤之有孔明，犹鱼之有水也。（《隆中对》）

故 gù

(1)名词。①缘故，原因。

既克，公问其故。（《曹刿论战》）

②事故。

中原遂多故。（《行次田郊作一百韵》）

③故事，成例。

苟可以强国，不法其故。（《商君书》）

④旧交。

君安与项伯有故？（《鸿门宴》）

(2)动词。死亡。

病故/亡故

(3)形容词。①旧有的，原来的。

故垒西边，人道是，三国周郎赤壁。（《念奴娇·赤壁怀古》）

骨已尽矣，而两狼之并驱如故。（《狼》）

②衰老。

暮去朝来颜色故。[《琵琶行(并序)》]

(4)副词。①故意，特意。

公子往，数请之，朱亥故不复谢。（《信陵君窃符救赵》）

②过去，从前。

燕太子丹，故尝质于赵。（《史记·刺客列传》）

轩东故尝为厨。（《项脊轩志》）

③仍然，仍旧。

累官故不失州郡。（《赤壁之战》）

(5)连词。所以。

故木受绳则直。（《劝学》）

(6)复合词。故事：旧例，旧事。

而从六国破亡之故事。（《六国论》）

固 gù

(1)名词。险要的地势。

秦孝公据崤函之固。（《过秦论》）

(2)动词。①巩固，安定。

固国不以山溪之险。（《得道多助，失道寡助》）

②坚守，安守。

秦数败赵军，赵军固壁不战。（《廉颇蔺相如列传》）

(3)形容词。①固执，顽固。

汝心之固，固不可彻。（《愚公移山》）

独夫之心，日益骄固。（《阿房宫赋》）

②坚固。

江山险固。（《赤壁之战》）

③坚决，坚持。

蔺相如固止之。（《廉颇蔺相如列传》）

(4)副词。①表本然。原来。

至于颠覆，理固宜然。（《六国论》）

②表确然。确实，实在。

斯固百世之遇也。（《五人墓碑记》）

③表让步。固然。

人固有一死，或重于太山，或轻于鸿毛。（《报任安书》）

顾 gù

(1)动词。①回头看，环视。

相如顾召赵御史。（《廉颇蔺相如列传》）

顾视无可置者。（《项脊轩志》）

②看，视。

成顾蟋蟀笼虚，则气断声吞。（《促织》）

君臣相顾，不知所归。（《伶官传序》）

③顾念，顾惜，顾虑。

念父母，顾妻子。（《报任安书》）

子布、元表诸人各顾妻子。（《赤壁之战》）

但欲求死，不复顾利害。（《〈指南录〉后序》）

④看望，拜访。

三顾臣于草庐之中。（《出师表》）

（2）副词。①表轻微转折。

吾每念，常痛于骨髓，顾计不知所出耳！（《荆轲刺秦王》）

②表反问。反而，难道。

人之立志，顾不如蜀鄙之僧哉？（《为学》）

规 guī

（1）名词。①圆规。

其曲中规。（《劝学》）

②圆。

图为一圆规，乃画极星于规中。（《梦溪笔谈》）

③法度，准则。

以趣（趋向）舍异规，不得相见。（《三国志》）

（2）动词。①规劝，谏诤。

所亲或规之。（《训俭示康》）

②规划，打算。

（刘子骥）闻之，欣然规往。（《桃花源记》）

③谋求，谋划。

与豫州协规同力，破操军必矣。（《资治通鉴》）

归 guī

（1）动词。①女子出嫁。

后五年，吾妻来归。（《项脊轩志》）

也指妇女被休弃回娘家。

汝今何罪过，不迎而自归？［《孔雀东南飞（并序）》］

②返回。

将军百战死，壮士十年归。（《木兰诗》）

③归还。

臣请完璧归赵。（《廉颇蔺相如列传》）

④归属，归依。

江表英豪咸归附之。（《赤壁之战》）

⑤归聚。

众士慕仰，若水之归海。（《赤壁之战》）

（2）名词。归宿，结局。

法无异辙，殊途同归。（《五灯会元》）

（3）复合词。归宁：出嫁的女子回娘家省亲。

吾妻归宁。（《项脊轩志》）

国 guó

（1）名词。①国家。

国破山河在。（《春望》）

②诸侯国。

六国破灭，非兵不利。（《六国论》）

③国都，京城。

去国怀乡。（《岳阳楼记》）

④地区，地域。

逝将去女（汝），适彼乐国。（《诗经》）

⑤国事。

死国可乎？（《陈涉世家》）

（2）形容词。国家的，本国的。

国事至此，予不得爱身。（《〈指南录〉后序》）

（3）动词。立国。

不有君子，其能国乎？（《左传》）

过 guò

（1）名词。过失，过错。

则知明而行无过矣。（《劝学》）

（2）动词。①走过，经过。

雷霆乍惊，宫车过也。（《阿房宫赋》）

②过时。

花过而采，则根色黯恶。（《采草药》）

③胜过，超过。

裘马过世家焉。（《促织》）

④犯有过错。

过而能改，善莫大焉。（《左传》）

⑤责备。

闻大王有意督过之。（《鸿门宴》）

⑥到，来到。

一日，大母过余曰。（《项脊轩志》）

⑦拜访，探望。

愿枉车骑过之。（《信陵君窃符救赵》）

（3）副词。过分，过于。

以其境过清，不可久居。（《小石潭记》）

和 1. hé

（1）动词。和好。

西和诸戎，南抚夷越。（《隆中对》）

（2）形容词。①和睦。

政通人和，百废具兴。（《岳阳楼记》）

②和煦，和暖。

春和景明，波澜不惊。（《岳阳楼记》）

③温和。

微察公子，公子颜色愈和。（《信陵君窃符救赵》）

④身体健康舒适。

和于身也。（《触龙说赵太后》）

(3)名词。和平。

无约而请和者，谋也。（《孙子兵法》）

(4)连词。与。

八千里路云和月。（《满江红·怒发冲冠》）

hè

动词。①以声相应。

荆轲和而歌。（《荆轲刺秦王》）

②依照他人诗词的题材和体裁作诗词。

诗成遣谁和，还是寄苏州。（《初冬早起寄梦得》）

何 1. hé

(1)代词。①什么。

大王来何操？（《鸿门宴》）

②哪里。

豫州今欲何至？（《赤壁之战》）

③怎么。

君美甚，徐公何能及君也？（《邹忌讽齐王纳谏》）

(2)副词。多么。

水何澹澹，山岛竦峙。（《观沧海》）

(3)复合词。①何如（如何）、何若（若何）：怎么样、怎么办。

吾欲之南海，何如？（《为学》）

②如……何、若……何、奈……何：对（把）……怎么样，把……怎么办。

以残年余力，曾不能毁山之一毛，其如土石何？（《愚公移山》）

2. hè

动词。通“荷”，背、扛。

何蓑何笠。（《诗经·小雅·无羊》）

恨 hèn

(1)名词。①怨恨。

天长地久有时尽，此恨绵绵无绝期。（《长恨歌》）

②悔恨。

不知戒，后必有恨。（《荀子》）

(2)动词。①遗憾。

怅恨久之。（《陈涉世家》）

②感到遗憾。

先帝在时，每与臣论此事，未尝不叹息痛恨于桓、灵也。（《出师表》）

③怨怪。

商女不知亡国恨，隔江犹唱后庭花。（《泊秦淮》）

(3)复合词。恨恨：惆怅、悲伤。

生人作死别，恨恨那可论？[《孔雀东南飞（并序）》]

恒 héng

(1)形容词。①固定的，长久的。

无恒产而有恒心者，惟士为能。（《齐桓晋文之事》）

②平常，一般。

寄伪儿啼，恐栗，为儿恒状。（《童区寄传》）

(2)名词。恒心。

人而无恒，不可以作巫医。（《论语》）

(3)副词。常常，总是。

敬人者，人恒敬之。（《孟子》）

候 hòu

(1)动词。①守望、放哨。

日遣逻吏于水次候望权军。（《赤壁之战》）

②侦察。

武王使人候殷。（《吕氏春秋》）

③观察。

复造候风地动仪。（《张衡传》）

④等候。

李具状求在狱候春发遣。（《狱中杂记》）

⑤探望，问候。

候太公太母起居。（《左忠毅公逸事》）

(2)名词。①哨所。

愿且坚边设候。（《史记》）

②哨兵。

子胥出走，边候得之。（《韩非子》）

③征候。

凡游气蔽天，日月失色，皆是风雨之候也。（《晋书》）

胡 hú

(1)名词。①古代泛指西部和北部的各少数民族。秦汉时多指匈奴。

胡人不敢南下而牧马,士不敢弯弓而报怨。(《过秦论》)

②兽类颔下的垂肉。

狼跋其胡,载疐(zhì)其尾。(老狼前进踩下巴,老狼后退绊尾巴。)(《诗经·豳风·狼跋》)

(2)代词。①什么。

卒然边境有急,数千百万之众,国胡以馈之?(《论积贮疏》)

②为什么,怎么。

归去来兮!田园将芜胡不归?[《归去来兮辞(并序)》]

③复合词。胡考:长寿。

不吴不敖,胡考之休。(不喧哗也不傲慢,保佑大家长寿。)(《诗经·周颂·丝衣》)

患 huàn

(1)名词。①忧患,祸害。

马超、韩遂尚在关西,为操后患。(《赤壁之战》)

②忌讳。

此数者用兵之患也。(《赤壁之战》)

③病,毛病,疾病。

蒨有眼患。(《南史·江蒨传》)

(2)动词。①担忧,忧虑。

欲勿予,即患秦兵之来。(《廉颇蔺相如列传》)

②危害。

故君之所以患于军者三。(《孙子兵法·谋攻篇》)

③厌恨。

赵宣子骤谏,公患之。(《国语》)

④害(病)。

时有患疟疾者。(《晋书》)

会 huì

(1)动词。①会合,聚会。

迁客骚人,多会于此。(《岳阳楼记》)

②举行盟会、宴会。

遂与秦王会渑池。(《廉颇蔺相如列传》)

③会面,见面。

相如闻,不肯与会。(《廉颇蔺相如列传》)

④适逢,巧遇。

会天大雨,道不通。(《陈涉世家》)

⑤领会。

每有会意,便欣然忘食。(《五柳先生传》)

(2)名词。①都会。

名都广会,闾阎万室。(《九成宫颂序》)

②节奏。

合于《桑林》之舞,乃中《经首》之会。(《庖丁解牛》)

(3)副词。当然。

吾已失恩义,会不相从许。[《孔雀东南飞(并序)》]

贿 huì

(1)名词。①财物。

以尔车来,以我贿迁。(《氓》)

②行贿之事。

(陆亮)亦导以贿败。(《世说新语》)

(2)动词。①赠送财物。

王以为有礼,厚贿之。(《左传》)

②受贿。

是非贿得之。(《记王忠肃公翱事》)

或 huò

(1)代词。有的(有的人,有的事物)。

回视日观以西峰,或得日,或否,绛皓驳色,而皆若偻。(《登泰山记》)

(2)副词。①也许、或许。

越人语天姥,云霞明灭或可睹。(《梦游天姥吟留别》)

②有时。

或遇其叱咄,色愈恭,礼愈至,不敢出一言以复。(《送东阳马生序》)

(3)连词。如果,假如。

或王命急宣,有时朝发白帝,暮到江陵。(《三峡》)

(4)动词,通"惑",迷惑不解。

无或乎王之不智也。(《孟子》)

稽 jī

动词。①留止,延迟。

稽废时日。(《乐羊子妻》)

②查考,考核。

稽其成败兴坏之纪。(《报任安书》)

③计较,争论。

妇姑不相说(悦),则反唇而相稽。(《汉书》)

2. qǐ

动词。叩头至地。

再拜稽首。(《礼记》)

疾 jí

(1)名词。①病。指常病、轻病。

寡人无疾。(《扁鹊见蔡桓公》)

②痛苦,疾苦。

疾病惨怛,未尝不呼父母也。(《屈原列传》)

③毛病,缺点。

必为有窃疾矣。(《墨子·公输》)

(2)动词。①患疾。

寒暑未薄而疾。(《荀子·天论》)

②忧,患。

君子疾没世而名不称焉。(《论语》)

③痛心。

屈平疾王听之不聪也。(《屈原列传》)

④痛恨。

尝问天下所疾恶者。(《张衡传》)

⑤妒忌。通"嫉"。

族至,庞涓恐其贤于己,疾之。(《史记》)

(3)形容词。①快捷。

虽乘奔御风,不以疾也。(《三峡》)

②强、猛烈。

顺风而呼,声非加疾也,而闻者彰。(《劝学》)

③锐利。

草枯鹰眼疾,雪尽马蹄轻。(《观猎》)

及 jí

(1)动词。①追赶上。

怀王悔,追张仪,不及。(《屈原列传》)

②到达。

及诸河,则在舟中矣。(《毅之战》)

③涉及。

一人飞升,仙及鸡犬。(《促织》)

④比得上。

君美甚,徐公何能及君也?(《邹忌讽齐王纳谏》)

⑤接近。

予之及于死者,不知其几矣。(《〈指南录〉后序》)

⑥遭受。

卒不去,故及于难。(《谭嗣同传》)

⑦等到。

及日中则如盆盂。(《两小儿辩日》)

(2)连词。①表并列。和、与。

太子及宾客知其事者,皆白衣冠以送之。(《荆轲刺秦王》)

②表他转。至于。

及羽背关怀楚,放逐义帝而自立,怨王侯叛己,难矣。(《史记·项羽本纪》)

(3)介词。①和、同、跟。

宋公及楚人战于泓。(《左传·僖公二十二年》)

②到。

自古及今,未之尝闻。(《论积贮疏》)

即 jí

(1)动词。①靠近。

夜半,童自转,以缚即炉烧绝之,虽疮手勿惮。(《童区寄传》)

②登上(帝位)。

昭帝即位,数年,匈奴与汉和亲。(《苏武传》)

(2)副词。①表时间的相连,相当于"立即""就""就要"。

哙即带剑拥盾入军门。(《鸿门宴》)

郡之贤士大夫请于当道,即除魏阁废祠之址以葬之。(《五人墓碑记》)

②加强肯定语气,相当于"就是"。

吾翁即若翁,必欲烹而翁,则幸分我一杯羹。(《史记·项羽本纪》)

(3)连词。①表假设。相当于"如果""假设"。

即不幸有方二三千里之旱,国胡以相恤?(《论积贮疏》)

②表让步。相当于"即使""纵使""就算是"。

即捕得三两头,又劣弱不中于款。(《促织》)

(4)介词。表时间、地点,相当于"当""就在"。

项王即日因留沛公与饮。(《鸿门宴》)

籍 jí

(1)名词。①花名册。

说有兰家女,承籍有宦官。[《孔雀东南飞

(并序)》]

②书籍。

已后典籍皆为板本。(《活板》)

③籍贯。

顷小儿回籍应举。(《答应天巡抚宋阳山书》)

④籍田。天子征用民力耕种的土地。

宣王不修籍于千田。(《史记》)

(2)动词。①登记。

籍吏民,封府库。(《鸿门宴》)

②征用。

善用兵者,役不再籍。(《孙子兵法》)

③籍没。登记并没收所有财产。

籍其家。(《宣和遗事》)

既 jì

(1)动词。完了,尽。

言未既,有笑于列者曰:"先生欺余哉!"(《进学解》)

(2)副词。①表时间的过去或动作的完成。已经,……以后。

始皇既没,余威震于殊俗。(《过秦论》)

②表时间或行为承接。"不久""一会儿""后来"。有时"既而"连用。

既又与汝就食江南,零丁孤苦,未尝一日相离也。(《祭十二郎文》)

既而以吴民之乱请于朝,按诛五人。(《五人墓碑记》)

③表范围。"全""都"。

肴核既尽,杯盘狼籍。(《赤壁赋》)

(3)连词。①既然。

五国既丧,齐亦不免矣。(《六国论》)

②既……且……,既……又……,表两种情况同时存在。

哭汝既不闻汝言,奠汝又不见汝食。(《祭妹文》)

(4)复合词。既望:农历每月十六日。望,农历每月十五日;既,刚过。

壬戌之秋,七月既望,苏子与客泛舟游于赤壁之下。(《赤壁赋》)

计 jì

(1)名词。①算法,算术。

谁习计会。(《战国策》)

②计簿。

遣使奉计。(《后汉书》)

③计谋,策略。

谁为大王为此计者?(《鸿门宴》)

(2)动词。①打算,考虑。

父母之爱子,则为之计深远。(《触龙说赵太后》)

②商议。

号令召三老、豪杰与皆来会计事。(《陈涉世家》)

济 1. jì

动词。①渡过水流。

且余将济乎江湘。(《涉江》)

②帮助,救助。

以之事国,则同心而共济。(《朋党论》)

③补益。

催科与抚字,往往相妨,不能相济。(《催科》)

④增益。

盍(何不)请济师于王。(《左传》)

⑤成功。

如有离违,宜别图之,以济大事。(《赤壁之战》)

2. Jǐ

名词。水名。

其阴,济水东流。(《登泰山记》)

加 jiā

(1)动词。①放上,加上。

樊哙覆其盾于地,加彘肩上。(《鸿门宴》)

②增加。

登高而招,臂非加长也。(《劝学》)

③施加,施予。

大王加惠,以大易小。(《战国策》)

④戴上。

既加冠,益慕圣贤之道。(《送东阳马生序》)

⑤担任。

夫子加齐之卿相。(《孟子》)

⑥扩建,营建。

而五人亦得以加其土封。(《五人墓碑记》)

⑦虚夸,以少报多。

牺牲玉帛,弗敢加也。(《曹刿论战》)

⑧凌驾。

我不欲人之加诸我也。(《论语》)

⑨超过。

秦王竟酒，终不能加胜于赵。（《廉颇蔺相如列传》）

(2)名词。益处，好处。

万钟于我何加焉？（《鱼我所欲也》）

(3)副词。更加。

盖其又深，则其至又加少矣。（《游褒禅山记》）

假 1. jiǎ

(1)动词。①借。

以是人多以书假余。（《送东阳马生序》）

②凭借。

君子生非异也，善假于物也。（《劝学》）

③宽容。

大臣犯法，无所宽假。（《北史·魏世祖纪》）

④给予。

汉人未可假大兵权。（《谭嗣同传》）

⑤假装。

乃悟前狼假寐，盖以诱敌。（《狼》）

(2)形容词。非正式的，代理的。

乃以吴叔为假王，监诸将以西击荥阳。（《陈涉世家》）

(3)连词。相当于"如果""假如"。多为"假使""假令"连用。

假令仆伏法受诛，若九牛亡一毛，与蝼蚁何以异？（《报任安书》）

(4)复合词。假借：①宽容，原谅。

愿大王少假借之，使毕使于前。（《荆轲刺秦王》）

②借。

每假借于藏书之家，手自笔录，计日以还。（《送东阳马生序》）

2. jià

名词。假期。

府吏闻此变，因求假暂归。[《孔雀东南飞（并序）》]

间 1. jiān

(1)名词。①夹缝。

其御(御者)之妻从门间而窥其夫。（《史记》）

②中间。

千载谁堪伯仲间。（《书愤》）

③期间。

奉命于危难之间。（《出师表》）

④际。指一定的空间。

蔽林间窥之。（《黔之驴》）

⑤顷刻。

扁鹊见蔡桓公，立有间。（《扁鹊见蔡桓公》）

(2)量词。房屋的最小单位。

安得广厦千万间。（《茅屋为秋风所破歌》）

(3)复合词。间关：象声词，形容鸟声婉转。

间关莺语花底滑。[《琵琶行（并序）》]

2. jiàn

(1)名词。①空隙，机会。

彼节者有间，而刀刃者无厚。（《庖丁解牛》）

至京口，得间奔真州。（《〈指南录〉后序》）

②间谍。

秦间来入，赵奢善食而遣之。（《史记》）

(2)动词。①离间。

谗人间之，可谓穷矣。（《屈原列传》）

②参与。

肉食者谋之，又何间焉。（《曹刿论战》）

③夹杂。

中间力拉崩倒之声。（《口技》）

(3)副词。①表时间。有时，偶尔。

数月之后，时时而间进。（《邹忌讽齐王纳谏》）

②表状态。从小路。

从郦山下，道芷阳间行。（《鸿门宴》）

③表情态。秘密地、悄悄地。

侯生乃屏人间语曰。（《信陵君窃符救赵》）

见 1. jiàn

(1)动词。①看见，看到。

虎见之，庞然大物也。（《黔之驴》）

我见相如，必辱之。（《廉颇蔺相如列传》）

②会见。

项伯即入见沛公。（《鸿门宴》）

③谒见，拜见。

曹刿请见。（《曹刿论战》）

④召见，接见。

秦王坐章台见相如。（《廉颇蔺相如列传》）

(2)名词。①见识，见解。

汝真女子之见。（《失街亭》）

②看见的东西。

人之愈深，其进愈难，而其见愈奇。（《游褒禅山记》）

（3）代词。放在动词前，表示对自己怎么样，如见恕、见谅、见教等。

君既若见录，不久望君来。［《孔雀东南飞（并序）》］

（4）介词。表被动，相当于“被”。

欲予秦，秦城恐不可得，徒见欺。（《廉颇蔺相如列传》）

2. xiàn

（1）动词。①引见，使……见。

杀鸡为黍而食之，见其二子焉。（《荷蓧丈人》）

②表现，出现，显露。

风吹草低见牛羊。（《敕勒歌》）

思垂空文以自见。（《报任安书》）

（2）形容词。现成的。

军无见粮。（《史记·项羽本纪》）

节 jié

（1）名词。①竹节，树节，骨节。

彼节者有间，而刀刃者无厚。（《庖丁解牛》）

②时节，季节，节气。

寒暑易节，始一反焉。（《愚公移山》）

③节日。

每逢佳节倍思亲。（《九月九日忆山东兄弟》）

④古代朝廷所用的信物。

持节送匈奴使留在汉者。（《苏武传》）

⑤礼节。

长幼之节，不可废也。（《论语》）

⑥节度，法度。

积忧愤，寝食违节。（《狱中杂记》）

⑦关键，要害。

夫乐，天地之精也，得失之节也。（《吕氏春秋》）

⑧气节，贞节，节操。

谁为我临期成此大节者。（《梅花岭记》）

⑨节拍。

每闻琴瑟之声，则应节而舞。（《促织》）

⑩柱上的斗拱。

山节藻棁。（《论语》）

（2）动词。节制，减省。

强本而节用。（《荀子》）

解 1. jiě

动词。①剖开。特指解剖动物的肢体。

庖丁为文惠君解牛。（《庖丁解牛》）

②分裂，涣散。

天下土崩瓦解。（《史记·秦始皇本纪》）

③解开，脱去。

解衣以活友。（《中山狼传》）

④分开。

少年大骇，急解令休止。（《促织》）

⑤解释，解答。

师者，所以传道受业解惑也。（《师说》）

⑥理解。

惑而不从师，其为惑也，终不解矣。（《师说》）

⑦解救，消除。

今有一言，可以解燕国之患，而报将军之仇者，何如？（《荆轲刺秦王》）

⑧消散，离散。

得选兵八万人，进兵击秦军，秦军解去，遂救邯郸，存赵。（《信陵君窃符救赵》）

⑨道家的“羽化成仙”。

谓颜太师以兵解，文少保亦以悟大光明法蝉脱。（《梅花岭记》）

2. xiè

动词。通“懈”。松懈，懈怠。

胡虏益解。（《史记·李将军列传》）

进 jìn

动词。①前进。

其进愈难，而其见愈奇。（《游褒禅山记》）

②进献。

于是相如前进缶。（《廉颇蔺相如列传》）

③推荐。

于是忌进孙子于威王。（《史记》）

④进用。

乃令重黎举夔于草莽之中而进之。（《吕氏春秋》）

⑤出仕。

是进亦忧，退亦忧。（《岳阳楼记》）

⑥进谏。

数月之后，时时而间进。（《邹忌讽齐王纳谏》）

⑦超过。

进乎技矣。（《庖丁解牛》）

就 jiù

动词。①趋，赴。

不能自免，卒就死耳。（《报任安书》）

此人可就见，不可屈致也。（《隆中对》）

②靠近，接近。

金就砺则利。（《劝学》）

臣请就汤镬。（《廉颇蔺相如列传》）

③上(车、路)。

于是荆轲遂就车而去。(《荆轲刺秦王》)

④赴任。

连辟公府不就。(连辟:屡被征召)(《张衡传》)

⑤担任。

陈力就列,不能者止。(《季氏将伐颛臾》)

⑥成就。

河海不择细流,故能就其深。(《谏逐客书》)

⑦完成,成功。

草创未就,会遭此祸。(《报任安书》)

居 jū

(1)动词。①坐。

令女居其上。(《史记》)

②住。

与吾居十二年者,今其室十无四五焉。(《捕蛇者说》)

③停留。

而半山居雾若带然。(《登泰山记》)

④处于,位于。

佛印居右,鲁直居左。(《核舟记》)

⑤存。

卿居心不净。(《世说新语》)

⑥当,任。

居位者虽不能禁,忍助之乎?(《训俭示康》)

⑦占据。

愬入居元济外宅。(《李愬雪夜入蔡州》)

⑧占,占有。

为留守者居半。(《元史》)

⑨搜集,囤积。

昂其直,居为奇货。(《促织》)

(2)名词。住处。

吾知其居仅仅足。(《治平篇》)

举 jǔ

(1)动词。①举起,抬起。

中江举帆,余船以次俱进。(《赤壁之战》)

②拿。

吾不能举全吴之地,十万之众,受制于人。(《赤壁之战》)

③举出,提出。

举类(事例)迩而见义远。(《屈原列传》)

④举行,施行。

今亡亦死,举大计亦死。(《陈涉世家》)

⑤成就,成功。

且壮士不死即已,死即举大名耳。(《陈涉世家》)

⑥回答。

主人不问,客不先举。(《礼记》)

⑦推荐,选拔。

众议举宠为督。(《出师表》)

举孝廉不行。(《张衡传》)

⑧攻克,占领。

戍卒叫,函谷举。(《阿房宫赋》)

西举巴、蜀。(《过秦论》)

⑨完成,称职。

苟其职之不举。(《冉氏烹狗记》)

(2)形容词。①全,合。

举以予人。(《六国论》)

②尽。

杀人如不能举,刑人如恐不胜。(《鸿门宴》)

(3)名词。举动。

荣禄密谋,全在天津阅兵之举。(《谭嗣同传》)

(4)复合词。举事:做事情。

故凡举事必循法以动,变法者因时而化。(《察今》)

拒 jù

动词。①抵御,抵抗。

使六国各爱其人,则足以拒秦。(《阿房宫赋》)

②拒绝。

辟邪说,难壬人,不为拒谏。(《答司马谏议书》)

③疏远。

可者与之,其不可者拒之。(《论语》)

具 jù

(1)名词。①器械,用具。

未尝识书具。(《伤仲永》)

②才能。

抱将相之具。(《答苏武书》)

③饭食,酒肴。

汉王为太牢具。(《史记》)

(2)动词。①准备,备办。

此印者才毕,则第二板已具。(《活板》)

②准备饭食或酒席。

请语魏其具,将军旦日早临。(《汉书》)

③具备,具有。

罔不因势象形,各具情态。(《核舟记》)

④陈述。

李具状求在狱中,候春发遣。(《狱中杂记》)

(3)形容词。完备,详尽。

此人一一为具言所闻。(《桃花源记》)

(4)副词。全,都。

政通人和,百废具兴。(《岳阳楼记》)

绝 jué

(1)动词。①断绝。

则请立太子为王,以绝秦望。(《廉颇蔺相如列传》)

②绝交。

不如早与之绝。(《赤壁之战》)

③停止,消失。

余音袅袅,不绝如缕。(《赤壁赋》)

而大声发于水上,噌吰如钟鼓不绝。(《石钟山记》)

④绝命。

抢呼欲绝。(《促织》)

⑤横渡,穿越。

假舟楫者,非能水也,而绝江河。(《劝学》)

绝云气,负青天。(《逍遥游》)

⑥超越。

曹操智计,殊绝于人。(《后出师表》)

(2)形容词。①达到极点。

以为妙绝。(《口技》)

②陡峭的。

独与迈乘小舟,至绝壁下。(《石钟山记》)

③隔绝的。

率妻子邑人来此绝境。(《桃花源记》)

(3)名词。绝句。我国旧体诗的一种,每首四句,每句五个字或七个字,有一定的平仄和押韵的限制。

五绝/七绝

(4)副词。①很,非常。

佛印绝类弥勒。(《核舟记》)

②全然。

而心目耳力俱穷,绝无踪响。(《促织》)

堪 kān

动词。①经得起,受得住;忍受。

而境界危恶,层见错出,非人世所堪。(《〈指南录〉后序》)

②胜任。

不堪吏人妇,岂合令郎君?[《孔雀东南飞(并序)》]

③能够。

可堪回首,佛狸祠下,一片神鸦社鼓。(《永遇乐·京口北固亭怀古》)

客 kè

(1)名词。①来宾,客人。

旦日,客从外来,与坐谈。(《邹忌讽齐王纳谏》)

②朋友。

见其客朱亥。(《信陵君窃符救赵》)

③旅居他乡的人。

迁客骚人,多会于此。(《岳阳楼记》)

④门客、食客。

诸侯以公子贤,多客。(《信陵君窃符救赵》)

(2)动词。①旅居他乡。

吾兄寄宿州,吾弟客东川。(《雨夜有念》)

②寄居。

客州人刘翁廷传所。(《尧峰文钞》)

课 kè

(1)动词。①按一定的标准考核、试验。

操杀生之柄,课群臣之能者也。(《韩非子》)

②督促完成指定的工作。

宜严课农桑。(《南齐书》)

③按规定的内容和分量讲授或学习。

昼课赋,夜课书,间又课诗。(《与元九书》)

④按规定的数额和时间征收赋税。

是岁,始课南徐州侨民租。(《宋书》)

(2)名词。赋税。

免其课役。(《隋书》)

克 kè

动词。①肩负。引申为担当、胜任。

子克家。(克家:担当家务)(《周易》)

②成功,完成。

三纳之而未克。(《中山狼传》)

③战胜,攻下。

彼竭我盈,故克之。(《曹刿论战》)

④克制,约束。

克己复礼。(《论语》)

克己奉公。(《后汉书》)

⑤能够。

如其克谐,天下可定也。(《赤壁之战》)

⑥限定,约定。

与克期俱至。(《后汉书·钟离意传》)

⑦通"刻",刀刻,雕刻。

更克画,平斗斛度量文章。(《史记·李斯列传》)

类 lèi

(1)名词。①种类。

世间沟壑中水凿之处，皆有植土龛岩，亦此类耳。（《雁荡山》）

②事例。

其称文小而其指极大，举类迩而见义远。（《屈原列传》）

③条例。

法不能独立，类不能自行。（《荀子·君道》）

(2)动词。①类似，相似。

大类女郎也。（《项脊轩志》）

佛印绝类弥勒。（《核舟记》）

②类推。

义不杀少而杀众，不可谓知类。（你坚持道义，连少数人都不杀，却反而去杀多数人，不能算是懂得类推事理。）（《公输》）

(3)副词。大都、大多。

近岁风俗尤多侈靡，走卒类士服，农夫蹑丝履。（《训俭示康》）

怜 lián

(1)动词。①哀怜，同情。

公子纵轻胜，弃之降秦，独不怜公子姊邪？（《信陵君窃符救赵》）

②疼爱，爱惜。

丈夫亦爱怜其少子乎？（《触龙说赵太后》）

③爱戴。

项燕为楚将，数有功，爱士卒，楚人怜之。（《陈涉世家》）

(2)复合词。可怜：①可爱。

可怜九月初三夜，露似真珠月似弓。（《暮江吟》）

②值得同情。

可怜身上衣正单，心忧炭贱愿天寒。（《卖炭翁》）

③可惜。

戍卒叫，函谷举，楚人一炬，可怜焦土。（《阿房宫赋》）

陵 líng

(1)名词。①大土山。

殽有二陵焉。（《殽之战》）

②帝王的陵墓；也指高大的坟墓。

有古陵蔚起。（《促织》）

(2)动词。①登上，越过。

径通古，陵景山。（《洛神赋》）

②侵犯，欺凌。

而燕国见陵之耻除矣。（《荆轲刺秦王》）

③磨砺。

兵刃不待陵而劲。（《荀子》）

零 líng

动词。①下雨。

灵雨既零。（《诗经》）

②如雨一般地落下，降落。

阿母得闻之，零泪应声落。[《孔雀东南飞（并序）》]

③凋零；凋落。

岁暮百草零，疾风高冈裂。（《自京赴奉先县咏怀五百字》）

令 lìng

(1)名词。①命令。

令初下，群臣进谏。（《邹忌讽齐王纳谏》）

②法令。

王使屈平为令，众莫不知。（《屈原列传》）

③县令。

有华阴令欲媚上官。（《促织》）

④时令。

群葩当令时，只在花开之数日。（《芙蕖》）

(2)动词。①号令。

挟天子而令诸侯。（《隆中对》）

②使，让。

莫令事不举。[《孔雀东南飞（并序）》]

(3)形容词。美好，善。

便言多令才。[《孔雀东南飞（并序）》]

(4)连词。假使，假设。

藉第令毋斩，而戍死者固十六七。（《陈涉世家》）

弥 mí

(1)动词。①满，遍。

夜雪初霁，荞麦弥望。（《扬州慢》）

②补救，弥救。

敢拜子之弥缝敝邑，寡君有望矣。（《左传·昭公二年》）

(2)形容词。长久。

旷日弥久而无益于理。（《盐铁论》）

(3)副词。①表程度。越，更加。

奉之弥繁，侵之愈急。（《六国论》）

②经，终。

既而弥月不雨，民方以为忧。（《喜雨亭记》）

莫 mò

(1)形容词。通“漠”，广大。

今子有大树，患其无用，何不树之于无何有之乡，广莫之野。（《逍遥游》）

(2)代词。①没有(谁)。

后世之谬其传而莫能名者。(《游褒禅山记》)

②没有(什么)。

如使人之所欲莫甚于生,则凡可以得生者何不用也?(《鱼我所欲也》)

(3)名词。通"幕",幕府。

令长史封书与广之莫府。(《史记·李将军列传》)

(4)副词。①表否定。不。

稍出近之,愍(yìn)愍然,莫相知。(《黔之驴》)

②表禁止。不要。

愿早定大计,莫用众人之议也。(《赤壁之战》)

③表揣度。或许。

其事体莫须有。(《宋史·岳飞传》)

(5)语气助词,相当于口语"罢了"。

山盟虽在,锦书难托。莫,莫,莫。(《钗头凤》)

(6)复合词。莫不:没有不,无不。

奏刀騞然,莫不中音。(《庖丁解牛》)

牧 mù

(1)动词。①放养牲畜。

胡人不敢南下而牧马。(《过秦论》)

②统治。

奉此六者以牧万民。(《逸周书》)

③管束,修养。

念高危,则思谦冲以自牧。(《谏太宗十思疏》)

(2)名词。①放牧的人。

问樵樵不知,问牧牧不言。(《谢公墩》)

②州长;主事之官。

自立为辽东侯平州牧。(《后汉书》)

募 mù

动词。①广泛征求,招募,招求。

募有能捕之者,当其租人。(《捕蛇者说》)

②招兵。

后还到扬州更募,亦复不过三千人。(《让县自明本志令》)

慕 mù

动词。①思念,依恋。

人少,则慕父母。(《孟子》)

②仰慕。

既加冠,益慕圣贤之道。(《送东阳马生序》)

③羡慕。

衡不慕当世,所居之官辄积年不徙。(《张衡传》)

④爱慕。

如怨如慕,如泣如诉。(《赤壁赋》)

乃 nǎi

(1)代词。①你(们),你(们)的。

家祭无忘告乃翁。(《示儿》)

尔其无忘乃父之志。(《伶官传序》)

②他(们)的。

备乃器械,持乃粮粮。(粮:qiú,干粮)(《广东军务记》)

(2)动词。表判断,相当于"是"。

当立者乃公子扶苏。(《陈涉世家》)

(3)副词。①表承接。就、便、即。

好雨知时节,当春乃发生。(《春夜喜雨》)

②表时间间隔之长。才,再。

断其喉,尽其肉,乃去。(《黔之驴》)

③表范围。只,仅仅。

至东城,乃有二十八骑。(《史记·项羽本纪》)

④表意外。竟然,却。

而陋者乃以斧斤考击而求之,自以为得其实。(《石钟山记》)

(4)连词。①表承接。于是,就。

刿曰:"肉食者鄙,未能远谋。"乃入见。(《曹刿论战》)

②表转折。却,反而。

今少卿乃教以推贤进士。(《报任安书》)

(5)复合词。无乃:恐怕,是不是。

无乃与仆私心刺谬乎?(《报任安书》)

挠 náo

动词。①搅动。

草木之无声,风挠之鸣。(《送孟东野序》)

②扰乱。

又挠以军法,则民将不安。(《教战守策》)

③阻挠。

于是众人竭力挠之。(《冯婉贞》)

④通"桡",弯曲。

加重焉而不挠。(《墨子》)

⑤屈服。

秦王色挠,长跪而谢之。(《战国策》)

⑥削弱。

若是,则荆国终为天下挠。(《吕氏春秋》)

内 1. nèi

名词。①里面。

少间,帘内掷一纸出。(《促织》)

②皇宫,宫内。

近日士大夫家,酒非内法……不敢会友。(《训俭示康》)

③内部,常指国内、朝廷内。

内立法度。(《过秦论》)

侍卫之臣不懈于内。(《出师表》)

④内心。

今将军外托服从之名而内怀猛豫之计。(《赤壁之战》)

⑤内室。

家有一堂二内。(《汉书·晁错传》)

⑥旧指妻妾。

齐侯好内,多内宠。(《左传·僖公十七年》)

2. nà 通"纳"。

动词。①让……进。

毋内诸侯。(《鸿门宴》)

②放进。

内狼于囊。(《中山狼传》)

③接纳,收容。

亡走赵,赵不内。(《屈原列传》)

④交纳。

百姓内粟千石,拜爵一级。(《史记》)

年 nián

名词。①年成,收成。

稻花香里说丰年,听取蛙声一片。(《西江月·明月别枝惊鹊》)

②表地球绕太阳一周的时间。

将军百战死,壮士十年归。(《木兰诗》)

③年龄。

李氏子蟠,年十七。(《师说》)

迫

(1)动词。①逼,逼迫。

某等降操,……迫于势耳。(《群英会蒋干中计》)

②临近,接近。

时北兵已迫修门外。(《〈指南录〉后序》)

(2)形容词。①紧急,危急。

此迫矣!臣请入,与之同命。(《鸿门宴》)

①窄,狭小。

西州地势局迫。(《后汉书》)

戚 qī

(1)名词。古代一种兵器。

执干戚舞。(《五蠹》)

②亲属。

寡助之至,亲戚畔之。(《孟子》)

(2)动词,亲近。

未可以戚我先王。(《尚书》)

(3)形容词,忧愁。

婉贞独戚然。(《冯婉贞》)

期 1. qī

(1)名词。①限定或约定的时间。

失期,法皆斩。(《陈涉世家》)

以五年为期,必复之全之。(《病梅馆记》)

②日期,时候。

谁为我临期成此大节者?(《梅花岭记》)

③限度,限量。

征敛无期。(《吕氏春秋·怀宠》)

(2)动词。①约会。

与老人期,何后也?(《史记》)

②约定。

期山东为三处。(《史记·项羽本纪》)

③期望,希望。

非相仇也,期有得耳。(《狱中杂记》)

良剑期乎断,不期乎镆铘。(《祭今》)

④至,及。

富贵非吾愿,帝乡不可期。[《归去来兮辞(并序)》]

⑤看待。

自恨期人之浅也。(《王定国诗集叙》)

2. jī

名词。一周年,一整月。

期年之后,虽欲言,无可进者。(《邹忌讽齐王纳谏》)

奇 1. qí

(1)形容词。①特殊的,罕见的。

有奇字素无备者,旋刻之。(《活板》)

其进愈难,而其见愈奇。(《游褒禅山记》)

②不平常的。

以事秦之心礼天下之奇才。(《六国论》)

③珍贵的。

此奇货可居。(《史记》)

④怪诞的。

奇术/奇梦

⑤佳、好、宜。

奇文共欣赏,疑义相与析。(《移居》)

今日违情义,恐此事非奇。[《孔雀东南飞(并序)》]

(2)名词。①怪物,异物。

奇生怪。(《国语》)

②机变,权诈。

以正守国,以奇用兵。(《汉书·艺文志》)

(3)动词。①惊异。

益奇之。(《促织》)

②认为……出众,认为……奇异。

大将军邓骘(zhì)奇其才。(《张衡传》)

2. jī

(1)形容词。命运不好,运气不好。常"数奇"连用。

以为李广老,数奇,毋令当单于,恐不得所

欲。(《史记·李将军列传》)

(2)数词。①单一,单数,与偶数相对。

每奇日未尝不视朝。(《资治通鉴·唐敬宗宝历二年》)

②零数,余数。

舟首尾长约八分有奇,高可二黍许。(《核舟记》)

(3)复合词。奇羡:盈余,积存的钱财。

奸民久于狱,与胥卒表里,颇有奇羡。(《狱中杂记》)

起 qǐ

动词。①起立,起来。

唅拜谢,起,立而饮之。(《鸿门宴》)

②起床。

起视四境,而秦兵又至矣。(《六国论》)

③耸立。

有古陵蔚起。(《促织》)

④(鸟)突飞,(兽)疾走。

兔起鹘举。(《吕氏春秋》)

⑤动身,出发。

子墨子闻之,起于鲁。(《墨子》)

⑥兴起。

边声四起。(《答苏武书》)

⑦发动。

将军起兵江东。(《赤壁之战》)

⑧起事。

远方之能疑者,并举而争起矣。(《论积贮疏》)

⑨起用。

起梼(shū)里子于国。(《战国策》)

⑩出身。

萧何、曹参皆起刀笔吏。(《汉书》)

⑪开始,发生。

项庄拔剑起舞。(《鸿门宴》)

⑫建造。

诏诸郡县治城郭,起谯楼。(《三国志》)

迁 qiān

(1)动词。①泛指迁移。

时北兵已迫修门外,战、守、迁皆不及施。(《〈指南录〉后序》)

②调动官职。一般指升官。

安帝雅(通常)闻衡善术学,公车特征拜郎中,再迁为太史令。(《张衡传》)

也指降职。

感斯人言,是夕始觉有迁谪意。[《昆邑行(并序)》]

(2)复合词。①迁灭:灭亡。

齐人未尝赂秦,终继五国迁灭,何哉?(《六国论》)

②迁客:贬官降职外调远方的人。

迁客骚人,多会于此,览物之情,得无异乎?(《岳阳楼记》)

潜 qián

(1)动词。①在水下活动。

游鱼潜绿水。(《情诗》)

②隐藏。

日星隐曜,山岳潜形。(《岳阳楼记》)

(2)形容词。①隐藏的。

舞幽壑之潜蛟。(《赤壁赋》)

②偷偷地,秘密地。

随风潜入夜。(《春夜喜雨》)

③暗中。

高视潜有吞并江南之志。(《隋书》)

请 qǐng

(1)动词。①请求。请人做某事。

寡人窃闻赵王好音,请奏瑟。(《廉颇蔺相如列传》)

请人允许自己做某事。

请奉盆缶秦王,以相娱乐。(《廉颇蔺相如列传》)

②谒见,谒问。

公子闻之,往请,欲厚遗之,不肯受。(《信陵君窃符救赵》)

③邀请,约请。

乃请宾客,约车骑百余乘,欲以客往赴秦军。(《信陵君窃符救赵》)

④请教,请示。

俯身倾耳以请。(《送东阳马生序》)

(2)复合词。请罪:自认有罪过,请求惩处。

君不如肉袒伏斧质请罪,则幸得脱矣。(《廉颇蔺相如列传》)

穷 qióng

(1)形容词。①处境困难,环境险恶。

穷饿无聊,追购又急。(《〈指南录〉后序》)

②不得志,不显贵。

谗人间之,可谓穷矣。(《屈原列传》)

③贫困。

为宫室之美,妻妾之奉,所识穷乏者得(德)我欤?(《鱼我所欲也》)

④走投无路的,濒于绝境的。

人穷则反本。(《屈原列传》)

穷寇勿追。(《后汉书》)

⑤僻,荒。

穷巷陋室/穷山恶水

⑥尽,完。

查没测其所穷。(《送天台陈庭学序》)

(2)动词。①使……困窘。

公孙衍穷张仪。(《战国策》)

②终了,穷尽,用尽。

穷予生之光阴以疗梅也哉!(《病梅馆记》)

③寻求到尽头。

复前行,欲穷其林。(《桃花源记》)

(3)复合词。穷冬:严冬。

穷冬烈风,大雪深数尺,足肤皲裂而不知。(《送东阳马生序》)

屈 1. qū

动词。①弯曲。

手指不可屈伸。(《送东阳马生序》)

②屈服。

安能屈豪杰之流,扼腕墓道,发其志士之悲哉?(《五人墓碑记》)

③委屈

此人可就见,不可屈致也。(《隆中对》)

2. jué

形容词。竭,尽。

则物力必屈。(《论积贮疏》)

趋 qū

动词。①快走。

史(可法)噤不敢发声,趋而出。(《左忠毅公逸事》)

②小步快走。

入而徐趋。(《触龙说赵太后》)

③奔赴。

夜趋高邮,迷失道。(《〈指南录〉后序》)

④归附。

完全富足而趋赵。(《荀子》)

⑤趋向。

日削月割,以趋于亡。(《六国论》)

去 qù

(1)动词。①离开。

有卖油翁释担而立,睨之,久而不去。(《卖油翁》)

②消失。

然去而不复念也。(《宝绘堂记》)

③距离。

连峰去天不盈尺。(《蜀道难》)

④除掉,去掉。

为汉家除残去秽。(《赤壁之战》)

去死肌,杀三虫。(《捕蛇者说》)

⑤丢弃,厌弃,失掉。

人所畔者,天所去也。(《后汉书》)

⑥前往,到……去,表动作趋向。

公然抱茅入竹去。(《茅屋为秋风所破歌》)

(2)形容词。过去的。

我从去年辞帝京,谪居卧病浔阳城。[《琵琶行(并序)》]

(3)复合词。①去来。

a. 去和来。

山高风钜,雾气去来无定。(《游黄山记》)

b. 走了以后。来,助词,补充音节,没有实在意义。

去来江口守空船,绕船月明江水寒。[《琵琶行(并序)》]

c. 去过。

四川、两广,也曾去来。(《智取生辰纲》)

②去去:越去越远,往前走了又走。

念去去,千里烟波,暮霭沉沉楚天阔。(《雨霖铃·寒蝉凄切》)

劝 quàn

动词。①劝勉,勉励。

顺于民心,所补者三:一曰主用足,二曰民赋少,三曰劝农功。(《论贵粟疏》)

②受到鼓励。

夫有功者必赏,则爵禄厚而愈劝。(《韩非子·显学》)

③劝说,劝告。

怀王稚子子兰劝王行。(《屈原列传》)

却 què

(1)动词。①退。

相如持璧却立。(《廉颇蔺相如列传》)

却坐促弦弦转急。[《琵琶行(并序)》]

②使退,击退。

乃使蒙恬北筑长城而守藩篱,却匈奴七百余里。(《过秦论》)

后秦击赵者再,李牧连却之。(《六国论》)

③拒绝,推却。

却之却之为不恭。(《生于忧患,死于安乐》)

④回头。

却看妻子愁何在,漫卷诗书喜欲狂。(《闻官军收河南河北》)

⑤去掉,消除。

医得眼前疮,剜却心头肉。(《咏田家》)

(2)副词。①表将要重复或继续。还,再。

何当共剪西窗烛,却话巴山夜雨时。(《夜雨寄北》)

②表示跟上文意思相反或出乎意料。

谁知嫁商贾,令人却愁苦。(《江夏行》)

(3)连词。表转折。但是,可是。

逢人渐觉乡音异，却恨莺声似故山。（《漫书五首》）

(4)助词。用在动词后，可译为"去"或"了"。

斫却月中桂，清光应更多。（《一月五日夜对月》）

任 rèn

(1)动词。①抱。

悲灵均(指屈原)之任石。（《江赋》）

②任用，指挥。

不知三军之权而同三军之任，则军士疑矣。（《孙子兵法》）

③担负，担任，承担。

副将军史德威慨然任之。（《梅花岭记》）

④信任。

王甚任之。（《屈原列传》）

⑤使用，处理。

以此任物，亦必悖矣。（《吕氏春秋》）

⑥任凭，随顺。

恐不任我意。[《孔雀东南飞(并序)》]

⑦放任。

任气好斗，诸为里侠者皆下之。（《书博鸡者事》）

(2)名词。①负担，责任，重任。

故天将降大任于是人也。（《生于忧患，死于安乐》）

②职责。

弦不调，弄不明，中期之任也。（《韩非子》）

如 rú

(1)动词。①往，到……去。

坐须臾，沛公起如厕。（《鸿门宴》）

如扬州，过瓜洲扬子桥。（《(指南录)后序》）

②顺。

邂逅不如意，便还就孤。（《赤壁之战》）

③似，像。

即夕行步如平常。（《狱中杂记》）

④及。指比得上。

吾不如子房。（《高祖本纪》）

⑤奈。对付或处置之义。

其如土石何？（《愚公移山》）

(2)副词。仅、只。

夜久语声绝，如闻泣幽咽。（《石壕吏》）

(3)连词。①表假设。假如，如果。

王如知此，则无望民之多于邻国也。（《寡人之于国也》）

②表选择。或者。

安见方六七十，如五六十而非邦也者？（《子路、曾皙、冉有、公西华侍坐》）

③表他转。至于，至于说到。

对曰："方六七十，如五六十，求也为之，比及三年，可使足民。如其礼乐，以俟君子。"（《子路、曾皙、冉有、公西华侍坐》）

(4)介词。①表时间，当。

如今人方为刀俎，我为鱼肉，何辞为？（《鸿门宴》）

②表所依。按照。

公屡促之，必如约。（《记王忠肃公翱事》）

(5)复合词。①如此、如是、如许；这样。

劳苦而功高如此。（《鸿门宴》）

闻道有先后，术业有专攻，如是而已。（《师说》）

问渠那得清如许？为有源头活水来。（《观书有感》）

②如何，如……何；怎么办，奈何。

其如土石何？（《愚公移山》）

若 ruò

(1)动词。①像，好像。

验之以事，合契若神。（《张衡传》）

②及，比得上。

徐公不若君之美也。（《邹忌讽齐王纳谏》）

(2)代词。①表对称，相当于"你""你们"；作定语时则译为"你的"。

若毒之乎？（《捕蛇者说》）

更若役，复若赋……（《捕蛇者说》）

②表他称。他，他的。

孔子生不知其父，若母匿(隐瞒)之。（《论衡·实知》）

③表近指，"这""这样""如此"。

南宫适出，子曰："君子哉若人！"（《论语·宪问》）

(3)连词。①表假设，"如果""假如"。

若能以吴、越之众与中国抗衡……（《赤壁之战》）

②表选择，"或""或者"。

以万人若一郡降者，封万户。（《汉书·高帝纪》）

③与"夫""至"结合，组成"若夫""至若"，放在一段或另一层意思的开头，表示他转。如：

若夫淫雨霏霏……至若春和景明……（《岳阳楼记》）

(4)复合词。若何(何若)、若……何：怎么样，怎么办。

使归就戮于秦，以逞寡君之志，若何？（《殽之战》）

善 shàn

(1)形容词。①好的，善良的。

咨诹善道(道理)，察纳雅言。（《出师表》）

厚赂单于，答其善意。（《苏武传》）

②好。

晋鄙听，大善；不听，可使击之。（《信陵君窃符救赵》）

（2）名词。好的行为，好的方法。

积善成德，而神明自得，圣心备焉。（《劝学》）

（3）动词。①与……交好，与……亲善。

楚左尹项伯者，项羽季父也，素善留侯张良。（《鸿门宴》）

②长于，善于。

京中有善口技者。（《口技》）

③做好，处理好。

工欲善其事，必先利其器。（《论语·卫灵公》）

④喜欢，羡慕。

善万物之得时，感吾生之行休。［《归去来兮辞（并序）》］

（4）副词。友善地，好好地。

不如因而善遇之。（《鸿门宴》）

（5）复合词。善才：唐代对乐师的通称，是"能手"的意思。

曲罢曾教善才服，妆成每被秋娘妒。［《琵琶行（并序）》］

尚 shàng

（1）动词。①超过，高出。

好仁者无以尚之。（《论语》）

②崇尚，盛行。

宣德间，宫中尚促织之戏。（《促织》）

（2）名词。喜好。

五方土音，乡俗好尚。（《柳敬亭传》）

（3）形容词。自负。

虽才高于世，而无骄尚之情。（《张衡传》）

（4）副词。①还。

马超、韩遂尚在关西。（《赤壁之战》）

②尚且。

布衣之交尚不相欺。（《廉颇蔺相如列传》）

少 1. shǎo

（1）形容词。数量少，不多。

生之者甚少而靡之者甚多，天下财产何得不蹙？（《论积贮疏》）

（2）动词。①缺少。

遥知兄弟登高处，遍插茱萸少一人。（《九月九日忆山东兄弟》）

②削减，减少。

欲天下之治安，莫若众建诸侯而少其力。（《治安策》）

③瞧不起，轻视。

且夫我尝闻少仲尼之闻，而轻伯夷之义者。（《庄子·秋水》）

（3）名词。少数人。

义不杀少而杀众，不可谓知类。（《公输》）

（4）副词。表时间的短暂。不一会儿，不久。"少间""少顷""少时""少焉""少刻"等词语，都表示"一会儿"。

少间，帘内掷一纸出。（《促织》）

少时，一狼径去。（《狼》）

（5）副词。表程度。稍微，略微。

宾客意少舒，稍稍正坐。（《口技》）

2. shào

（1）名词。青年，少年。

群贤毕至，少长咸集。（《兰亭集序》）

（2）形容词。①年少，年轻。

衡少善属文。（《张衡传》）

②小。

魏公子无忌者，魏昭王少子。（《信陵君窃符救赵》）

（3）复合词。少牢：古代祭祀用的猪和羊。

其后用兵，则遣从事以一少牢告庙。（《伶官传序》）

涉 shè

动词。①徒步渡水。

送子涉淇。（《诗经·氓》）

②乘舟渡水。

楚人有涉江者。（《刻舟求剑》）

③进入，到。

驱中国士众远涉江湖之间。（《赤壁之战》）

④经过，经历。

今少卿抱不测之罪，涉旬月，迫季冬；仆又薄从上雍，恐卒然不可为讳。（《报任安书》）

⑤漫步，散步。

园日涉以成趣，门虽设而常关。［《归去来兮辞（并序）》］

⑥阅览。

幼而读书，好《楚辞》；诸子及经史多所涉猎。（《复庵记》）

身 shēn

（1）名词。①身体。

常以身翼蔽沛公。（《鸿门宴》）

②一生，生命。

固将重昏而终身。（《涉江》）

③自身的品节。

守，孰为大？守身为大。（《孟子》）

④一己的才力。

事君能致其身。（《论语》）

(2)代词。自身。

于其身也,则耻师焉。(《师说》)

(3)副词。亲身,亲自。

禹之王天下也,身执耒臿以为民先。(《五蠹》)

省 1. shěng

(1)名词。官署名。地方行政区域名。

七省好事者皆来学。(《大铁椎传》)

(2)动词。减少,节约。

省徭役,减征赋。(《三国志》)

2. xǐng

动词。①省察,检查。

君子博学而日参省乎己。(《劝学》)

②探望,问候。

北平陈子灿省兄河南。(《大铁椎传》)

③知道,记得。

不省所怙。(《祭十二郎文》)

④懂得,明了。

故有所览则省记。(《黄生借书说》)

胜 1. shèng

(1)名词。①胜利。

此五者,知(预见)胜之道也。(《孙子兵法·谋攻篇》)

②优美的景色。

旧时栏楯,亦遂增胜。(《项脊轩志》)

(2)动词。①战胜,取胜。

夫六国与秦皆诸侯,其势弱于秦,而犹有可以不赂而胜之之势。(《六国论》)

②胜过,超过。

日出江花红胜火。(《忆江南》)

(3)形容词。①优美的。

予观夫巴陵胜状(景),在洞庭一湖。(《岳阳楼记》)

②盛大的。

童子何知,躬逢胜饯。(《滕王阁序》)

2. shēng

(1)动词。禁得住,忍得住。

沛公不胜杯杓,不能辞。(《鸿门宴》)

臣不胜犬马怖惧之情。(《陈情表》)

(2)副词。尽,完。

斧斤以时入山林,材木不可胜用也。(《孟子·寡人之于国也》)

失 shī

(1)动词。①丧失。

盖失强援,不能独完。(《六国论》)

②消失。

其远古刻尽漫失。(《登泰山记》)

③耽误,错过。

失时不雨,民且狼顾。(《论积贮疏》)

④违背。

则直前诟虏帅失信。(《〈指南录〉后序》)

⑤做错事。

我岂有所失哉?(《信陵君窃符救赵》)

(2)名词。过失,错误。

吾求吾失且不暇,何暇论人哉!(《奚囊》)

识 1. shí

(1)动词。①知道。

识众寡之用者胜。(《孙子兵法·谋攻篇》)

②认识。

同是天涯沦落人,相逢何必曾相识。[《琵琶行(并序)》]

③识别,觉察。

新妇识马声,蹑履相逢迎。[《孔雀东南飞(并序)》]

④赏识。

素为李德裕识拔。(《旧唐书》)

(2)名词。①相识的人。

异乡无旧识,车马到门稀。(《元日感怀》)

②知识,见识。

非学无以致疑,非问无以广识。(《问说》)

2. zhì,通"志"。

(1)名词。标记,记号。

公折衅,出珠授之,封识宛然。(《记王忠肃公翱事》)

(2)动词。记住。

因笑谓迈曰:"汝识之乎?"(《石钟山记》)

使 shǐ

(1)动词。①命令,派遣。

怀王使屈原造为宪令。(《屈原列传》)

桓侯故使人问之。(《扁鹊见蔡桓公》)

②叫,让。

不如因而厚遇之,使归赵。(《廉颇蔺相如列传》)

③主使。

是时以大中丞抚吴者为魏之私人毛一鹭,公之逮所由使也。(《五人墓碑记》)

④使唤。

人皆得以隶使之。(《五人墓碑记》)

⑤纵任。

灌夫为人刚直使酒，不好面谀。（《史记·魏其武安侯列传》）

⑥致使。

使天下之人，不敢言而敢怒。（《阿房宫赋》）

⑦出使。

王必无人，臣愿奉璧往使。（《廉颇蔺相如列传》）

(2)名词。①使命。

时周瑜受使至番阳。（《赤壁之战》）

②古代官名。

予除右丞相兼枢密使。（《〈指南录〉后序》）

③使者。

且秦强而赵弱，大王遣一介之使至赵，赵立奉璧来。（《廉颇蔺相如列传》）

(3)连词。假使，如果。

使人之所恶莫甚于死者，则凡可以辟患者何不为也？（《鱼我所欲也》）

示 shì

动词。①拿给人看，给……看。

璧有瑕，请指示王。（《廉颇蔺相如列传》）

②显示。

王不行，示赵弱且怯也。（《廉颇蔺相如列传》）

④暗示。

举所佩玉玦以示之者三。（《鸿门宴》）

视 shì

(1)动词。①看。

瞋目视项王。（《鸿门宴》）

②察看。

郑穆公使视客馆。（《殽之战》）

③看待。

子孙视之不甚惜。（《六国论》）

④比照。

视清季有加。（《〈黄花岗烈士事略〉序》）

⑤治理，处理。

视事三年。（《张衡传》）

(2)名词。视力，目光。

视为止，行为迟。（《庖丁解牛》）

是 shì

(1)动词。①是。表判断。

(吴)巨是凡人，偏在远郡，行将为人所并。（《赤壁之战》）

②以……为是；认为……正确。

是己而非人，俗之同病。（《问说》）

(2)形容词。正确的。

实迷途其未远，觉今是而昨非。[《归去来兮辞(并序)》]

(3)代词。这，这个，这样。

是说也，人常疑之。（《石钟山记》）

(4)助词。与“惟”构成“惟……是”结构，“是”表宾语前置。

吾少孤，及长，不省所怙，惟兄嫂是依。（《祭十二郎文》）

(5)复合词。是故，是以：因此，所以。

今在骨髓，臣是以无请也。（《扁鹊见蔡桓公》）

是故圣益圣，愚益愚。（《师说》）

适 1. shì

(1)动词。①往，到。

逝将去女(汝)，适彼乐土。（《诗经》）

余自齐安舟行适临汝。（《石钟山记》）

②女子出嫁。

贫贱有此女，始适还家门。[《孔雀东南飞(并序)》]

③顺从，适合。

处分适兄意，那得自任专。[《孔雀东南飞(并序)》]

④适应，顺应。

少无适俗韵，性本爱丘山。（《归园田居》）

(2)形容词。舒适，满足。

向晚意不适，驱车登古原。（《登乐游原》）

(3)副词。①恰好。

从上观之适与地平。（《雁荡山》）

②刚刚，刚才。

适得府君书，明日来迎汝。[《孔雀东南飞(并序)》]

2. dí

名词。同“嫡”，指正妻，也指正妻所生的长子。

仲为不道，杀适立庶。（《左传·文公十八年》）

书 shū

(1)动词。书写，记载。

乃丹书帛曰“陈胜王”，置人所罾鱼腹中。（《陈涉世家》）

(2)名词。①文字。

卒买鱼烹食，得鱼腹中书。（《陈涉世家》）

②书信。

烽火连三月，家书抵万金。（《春望》）

③文书。

昼断狱，夜理书。（《汉书·刑法志》）

④名册。

军书十二卷，卷卷有爷名。（《木兰诗》）

⑤书籍。

家贫，无从致书以观。（《送东阳马生序》）

⑥书法，字体。

从余问古事，或凭几学书。（《项脊轩志》）

⑦奏章。

先生有所陈奏，则著之于所进呈书之中而已。（《谭嗣同传》）

⑧《尚书》的简称。

《书》曰："满招损，谦得益。"（《伶官传序》）

孰 shú

（1）名词。熟食。

进孰于天子。（《汉书·韦贤传》）

（2）动词。①成熟。

寒暑和节，而五谷以时孰。（《荀子·富国》）

②煮熟。

既而爨孰。（《后汉书》）

（3）形容词。仔细，周详。

唯大王与群臣孰计议之。（《廉颇蔺相如列传》）

（4）代词。表疑问，可代人、类、物。谁、哪一个、哪一种、怎么、为什么。

人非生而知之者，孰能无惑？（《师说》）

是可忍，孰不可忍也？（《论语》）

（5）复合词。①孰若：哪如，哪里比得上。

与其坐而待亡，孰若起而拯之？（《冯婉贞》）

②孰与：和……比，哪一个……

我孰与城北徐公美？（《邹忌讽齐王纳谏》）

属 1. shǔ

（1）名词。①类。

忠之属也，可以一战。（《曹刿论战》）

②等，辈。

不者，若属皆且为所虏！（《鸿门宴》）

（2）动词。①隶属。

十三学得琵琶成，名属教坊第一部。[《琵琶行（并序）》]

②管属。

在骨髓，司命之所属，无奈何也。（《扁鹊见蔡桓公》）

③附属。

龙举而景云属。（《淮南子》）

④系，是。

查明属实/事属可行

2. zhǔ

（1）动词。①接连。

平原君使者冠盖相属于魏。（《信陵君窃符救赵》）

②跟随。

项王渡淮，骑能属者百余人耳。（《史记·项羽本纪》）

③撰写。

衡少善属文。（《张衡传》）

④嘱托。

属予作文以记之。（《岳阳楼记》）

⑤委托，交付。

以兵属蒙恬。（《史记·李斯列传》）

⑥倾注。

酌玄酒，三属于尊。（《仪礼·士昏礼》）

引申为劝酒。

举酒属客。（《赤壁赋》）

（2）副词。①表巧合。适逢，刚巧，恰好。

下臣不幸，属当戎行。（《左传·成公二年》）

②表时间。适才，刚刚。

天下属安定，何故反乎？（《史记·留侯世家》）

数 1. shù

（1）名词。①数目，数量。

众数虽多，甚未足畏。（《赤壁之战》）

②算术。

三曰六艺，礼、乐、射、御、书、数。（《周礼》）

③法则，规律。

天有常道矣，地有常数矣。（《荀子·天论》）

④命运。

则胜负之数，存亡之理，当与秦相较，或未易量。（《六国论》）

⑤技艺、方术。

今夫弈之为数，小数也，不专心致志，则不得也。（《孟子·学弈》）

（2）数词。几。表示不确定的数目。

骑千余，卒数万人。（《陈涉世家》）

以刀劈狼首，又数刀毙之。（《狼》）

也指几个。

每一字皆有数印。（《活板》）

还指多次。

数遗魏王及公子书，请救于魏。（《信陵君窃符救赵》）

2. shǔ

动词。①点数，计算。

刘表治水军，蒙冲斗舰乃以千数。（《赤壁之战》）

②列举罪状，加以斥责。责备。

数吕师孟叔侄为逆。（《〈指南录〉后序》）

3. shuò

副词。屡次。

范增数目项王。（《鸿门宴》）

4. cù

形容词。密，与"疏"相对。

数罟（gǔ，网）不入洿池，鱼鳖不可胜食也。（《孟子·寡人之于国也》）

率 1. shuài

（1）名词。主将。

王之将率有如子路者乎？（《孔子世家》）

（2）动词。①率领，带领。

遂率子孙荷担者三夫。（《愚公移山》）

②顺着，沿着。

此吾所以敢率性就死而不顾汝也。（《与妻书》）

（3）副词。①表约略或测度。大约、大概、大都、大体。有时"大率"连用。

大率用根者，若取宿根，须取无茎叶时采，则津泽皆归其根。（《采草药》）

②表范围。一律、都、全。

或曰：六国互丧，率赂秦耶？（《六国论》）

2. lǜ

名词。①规格、标准。

有军功者，各以率受上爵。（《史记·商君列传》）

②频率，比率。

建始以来，日食地震，以率言之，三倍春秋。（《汉书·杨胡朱梅云传》）

说 1. shuō

（1）动词。①说明，解释。

欲遍布之，恐不可户说。（《甘薯疏序》）

②讲，谈。

说尽心中无限事。［《琵琶行（并序）》］

③告诉。

使人说于子胥。（《国语》）

（2）名词。①说法，言论。

是说也，人常疑之。（《石钟山记》）

而听细说，欲诛有功之人。（《鸿门宴》）

②文体的一种。侧重议论，多用于说明事物，讲述道理。

故为之说，以俟夫观人风者得焉。（《捕蛇者说》）

2. shuì

动词。劝说，说服。

说备使抚表众。（《赤壁之战》）

范增说项羽。（《鸿门宴》）

3. yuè 通"悦"，喜欢，高兴。

学而时习之，不亦说乎？（《论语·学而》）

私 sī

（1）形容词。①私人的，自己的。

吾所以为此者，以先国家之急而后私仇也。（《廉颇蔺相如列传》）

子布、元表诸人各顾妻子，挟持私虑。（《赤壁之战》）

②不公开的。

私娼/私贩

（2）名词。

①私利，私事。

丹不忍以己之私，而伤长者之意。（《荆轲刺秦王》）

②私交，秘密的活动。

项王乃疑范增与汉有私，稍夺之权。（《史记·项羽本纪》）

（3）动词。①偏爱。

吾妻之美我者，私我也。（《邹忌讽齐王纳谏》）

②独占。

平生负国谴，骸骨非敢私。（《哭连州凌员外司马》）

（4）副词。私下，偷偷地。

项伯乃夜驰之沛公军，私见张良。（《鸿门宴》）

伺 sì

动词。①窥察，探察。

童微伺其睡。（《童区寄传》）

②守候。

逆阉防伺甚严。（《左忠毅公逸事》）

③等候。

凝听翔立，若有所伺。（《柳毅传》）

素 sù

（1）名词。①白色的生绢。

十三能织素，十四学裁衣。［《孔雀东南飞（并序）》］

②真情，本心。

披心腹，见情素。（《狱中上梁王书》）

（2）形容词。①白色的。

秦伯素服郊次，乡师而哭。（《殽之战》）

②朴素的，不加修饰的。

可以调素琴，阅金经。（《陋室铭》）

(3)副词。①表情态。空,白白地。
彼君子兮,不素餐兮。(《诗经》)
②表时间。从来、一向、平素、素来。
且相如素贱人,吾羞,不忍为之下!(《廉颇蔺相如列传》)
素善留侯张良。(《鸿门宴》)

汤 1. tāng
名词。①热水。
臣请就汤镬。(《廉颇蔺相如列传》)
②食物加水煮熟后的液汁。
参汤/米汤
也指水多菜少的菜肴。
三日入厨下,洗手作羹汤。(《新婚娘》)
③中药汤剂。
臣侍汤药,未曾废离。(《陈情表》)
④殷商的建立者。
近古之世,桀纣暴乱而汤武征伐。(《五蠹》)
2. shāng
复合词。汤汤:水大流急的样子。
衔远山,吞长江,浩浩汤汤,横无际涯。(《岳阳楼记》)

体 tǐ
(1)名词。①身体,肢体。
四体不勤,五谷不分。(《论语》)
②本体、实体。
名殊而体一也。(《神灭论》)
③形体。
亦雕荡具体而微者。(《雁荡山》)
④整体。
宫中府中,俱为一体。(《出师表》)
⑤姿态。
可怜体无比。[《孔雀东南飞(并序)》]
(2)动词。①体验。
故圣人以身体之。(《淮南子》)
②体察。
汝体吾此心。(《与妻书》)

涕 tì
(1)名词。①眼泪。
蒋氏大戚,汪然出涕。(《捕蛇者说》)
②鼻涕。
目泪下,鼻涕长一尺。(《信约》)
(2)动词。流眼泪,哭泣。
儿涕而去。(《促织》)

听 tīng
(1)动词。①听。
夜阑卧听风吹雨。(《十一月四日风雨大作》)
②听从,顺从,接受。
安陵君不听寡人,何也?(《战国策》)
③听信。
怀王竟听郑袖,复释去张仪。(《屈原列传》)
④治理,处理。
听讼,吾犹人也,必也使无讼乎!(《论语》)
⑤听凭,听任。
卖买听任富吏。(《汉书》)
(2)名词。听闻。
诚宜开张圣听。(《出师表》)

徒 tú
(1)动词。步行。
舍车而徒。(《周易》)
(2)名词。①步兵。
帅徒以往。(《左传·昭公二十五年》)
②门人,弟子。
仲尼之徒无道桓文之事者,是以后世无传焉。(《齐桓晋文之事》)
③指服劳役的犯人。
高祖以亭长为县送徒郦山。(《史记·高祖本纪》)
④同伙,同一类人。
郑子之徒,其贤不及孔子。(《师说》)
(3)形容词。空,光。
布衣之怒,亦免冠徒跣(脚),以头抢地耳。(《唐雎不辱使命》)
(4)副词。①表情态。徒然,白白地。
欲予秦,秦城恐不可得,徒见欺。(《廉颇蔺相如列传》)
②表范围。只是,仅仅。
而蔺相如徒以口舌为劳,而位居我上。(《廉颇蔺相如列传》)
(5)复合词。徒属:所属的人。
召令徒属曰:"公等遇雨,皆已失期。"(《陈涉世家》)

完 wán
(1)形容词。完整,完好。
予购三百盆,皆病者,无一完者。(《病梅馆记》)
(2)动词。①保全。
盖失强援,不能独完。(《六国论》)
②交纳。
无督责之难而有完逋(拖欠的赋税)之渐。(《钱粮论》)
③修缮,修治。
自是完垒不战。(《新唐书》)

玩 wán
(1)动词。①玩弄,戏弄。

可远观而不可亵玩焉。(《爱莲说》)

②玩赏,欣赏。

方共瞻玩,一鸡瞥来。(《促织》)

③查看,玩味,研究。

展玩不可晓。(《促织》)

④轻忽。

寇不可玩。(《左传》)

(2)名词。①供玩赏之物。

皆当盛其玩饰。(《后汉书》)

亡 1. wáng

(1)动词。①逃亡,逃跑。

今亡亦死,举大计亦死,等(同样是)死,死国可乎?(《陈涉世家》)

臣为韩王送沛公,沛公今事有急,亡去不义,不可不语。(《鸿门宴》)

特指逃亡国外。

今君乃亡赵走燕。(亡赵:逃出赵国。)(《廉颇蔺相如列传》)

②外出,不在。

孔子时(伺)其亡也,而往拜之。(《论语》)

③失去,丢失。

诸侯之所亡,与战败而亡者。(《六国论》)

④死亡。

今刘表新亡。(《赤壁之战》)

⑤灭亡。

燕虽小国而后亡。(《六国论》)

山东豪俊遂并起而亡秦族矣。(《过秦论》)

⑥消亡。

天行有常,不为尧存,不为桀亡。(《荀子·天论》)

(2)形容词。①逃亡在外的。

诱天下亡人,谋作乱。(《史记》)

②死去的。

亡夫/亡儿

2. wú 通"无"。动词。没有。

生之有时,而用之亡度,则物力必屈。(《论积贮疏》)

王 1. wáng

名词。①一国的君主。夏、商、周三代,唯最高统治者称王。

周衰,列国国君也自称为王。

三十日不还,则请立太子为王,以绝秦望。(《廉颇蔺相如列传》)

王不行,示赵弱且怯也。(《廉颇蔺相如列传》)

秦以后,国家的君主一律称帝,但有时也以王代帝。

其始,太医以王命聚之,岁赋其二。(《捕蛇者说》)

②封建时代的最高爵位。汉有天下,因秦制称帝,封同姓为王。后世皇帝乃沿封伯、叔、兄、弟为王。也有封异姓功臣为王者。

王侯将相宁有种乎!(《陈涉世家》)

2. wàng

动词。称王。指统治天下。

沛公欲王关中。(《鸿门宴》)

乃丹书帛曰"陈胜王"。(《陈涉世家》)

望 wàng

(1)动词。①向远处看。

下视其辙,登轼而望之。(《曹刿论战》)

②盼望,期望。

日夜望将军至,岂敢反乎?(《鸿门宴》)

祸且不测,敢望报乎?(《中山狼传》)

③临近。

并汾乔木,望秋先陨。(《采草药》)

④观察。

吾令人望其气,皆为龙虎,成五采,此天子气也。(《鸿门宴》)

⑤抱怨,怨恨。

若望仆不相师。(《报任安书》)

(2)名词。①古代祭名。

遂类于上帝,禋于六宗,望于山川。(《史记·五帝本纪》)

②希望。

三十日不还,则请立太子为王,以绝秦望。(《廉颇蔺相如列传》)

③名望,声望。

先达德隆望尊。(《送东阳马生序》)

④农历十五日左右,太阳西下时月亮从正东升起,遥遥相望。因此,称农历的每月十五日为望日或望。

予犹记周公之被逮,在丁卯三月之望。(《五人墓碑记》)

微 wēi

(1)形容词。①精妙,深奥。

仲尼没而微言绝。(《汉书》)

其文约,其辞微。(《屈原列传》)

②微小。

曹操比于袁绍,则名微而众寡。(《隆中对》)

③轻微。

动刀甚微,谋然已解,如土委地。(《庖丁解牛》)

(2)动词。①没有。一说除了。

噫!微斯人,吾谁与归?(《岳阳楼记》)

②不是。

微我无酒，以敖(遨)以游。(《诗经》)

③地位卑微。

吕后者，高祖微时妃也。(《史记》)

④衰败、衰弱。

自秦孝公以来，周室卑微，诸侯相兼。(《史记·李斯列传》)

⑤隐瞒。

其徒微之。(《左传·哀公十六年》)

(3)副词。①表程度。稍微，微微，略微。

见其发矢十中八九，但微颔之。(《卖油翁》)

②表情态。暗暗地，隐约地。

微闻有鼠作作索索。(《口技》)

(4)复合词。①微行：变换服装出行。

从数骑出，微行入古寺。(《左忠毅公逸事》)

②微茫：景象模糊不清，渺茫。

烟涛微茫信难求。(《梦游天姥吟留别》)

委 wěi

(1)动词。①堆积，聚积。

牛不知其死也，如土委地。(《庄子》)

②托付，交付。

委身为贾人妇。[《琵琶行(并序)》]

③呈献，送给。

厚币委质(信物)事楚。(《屈原列传》)

④丢弃，散落。

花佃委地无人收。(《长恨歌》)

⑤放弃。

委而去之，是地利不如人和也。(《孟子》)

⑥推卸。

司马欲委罪于孤耶？(《晋书》)

(2)形容词。曲折。

从委巷活套中来者，无不与宁南意合。(《柳敬亭传》)

畏 wèi

动词。①害怕，畏惧。

大阉亦逡巡畏义。(《五人墓碑记》)

②敬佩。

人人自以为必死，然畏愬，莫敢违。(《李愬雪夜入蔡州》)

务 wù

(1)动词。①致力，从事。

内立法度，务耕织。(《过秦论》)

②追求。

是故知不务多，务其所知。(《荀子》)

(2)名词。事务，事情。

经纶世务者，窥谷忘反。(《与朱元思书》)

(3)副词。务必，一定。

非务相反也，时势异也。(《吕氏春秋》)

悉 xī

(1)动词。①尽其所有，总计。

悉浮以沿江。(《赤壁之战》)

②详尽地叙述。

书不能悉意，略陈固陋。(《报任安书》)

③详尽地了解或知道。

丞相亮其悉朕意。(《三国志·诸葛亮传》)

(2)形容词。详尽，全面。

古之治天下，至孅至悉也。(《论积贮疏》)

(3)副词。表范围。都、全部、完全。

怀王乃悉发国中兵。(《屈原列传》)

悉使羸兵负草填之。(《赤壁之战》)

徙 xǐ

动词。①迁移。

今漂沦憔悴，转徙于江湖间。[《琵琶行(并序)》]

②变迁，变更。

时已徙矣，而法不徙。(《吕氏春秋》)

③调职。

衡不慕当世，所居之官辄积年不徙。(《张衡传》)

④流放。

皆以罪过徙补边屯。(《资治通鉴》)

相 1. xiàng

(1)名词。①相貌。

儿已薄禄相，幸复得此妇。[《孔雀东南飞(并序)》]

泛指物体的外貌。

月相/金相

②官名。指宰相、丞相。

王侯将相宁有种乎！(《陈涉世家》)

操虽托名汉相，其实汉贼也。(《赤壁之战》)

③古代主持礼仪的官。

宗庙之事，如会同，端章甫，愿为小相焉。(《子路、曾皙、冉有、公西华侍坐》)

(2)动词。①观察，审察。

伯乐学相马。(《订鬼》)

②辅助，辅佐。

至于幽暗昏惑而无物以相之。(《游褒禅山记》)

2. xiāng

(1)副词。表彼此，互相。

茕茕孑立，形影相吊。(《陈情表》)

(2)表示一方对另一方有所动作。偏指一方，相当于代词，可译为"我""你""他"。

便可白公姥，及时相遣归。[《孔雀东南飞(并序)》]

(3)复合词。①相与：

a.一起。

于是舍人相与谏曰……(《廉颇蔺相如列传》)

b.相处,交往。

夫人之相与,俯仰一世。(《兰亭集序》)

②相得;相投合。

某亦守法,与公甚相得也。(《记王忠肃公翱事》)

③相应;合适。

便利此月内,六合正相应。[《孔雀东南飞(并序)》]

谢 xiè

动词。①推辞,谢绝。

齐威王欲将孙膑,膑辞谢。(《史记》)

阿母谢媒人。[《孔雀东南飞(并序)》]

②道歉,请罪。

秦王恐其破璧,乃辞谢。(《廉颇蔺相如列传》)

旦日不可不蚤(早)自来谢项王。(《鸿门宴》)

③辞去,辞别。

谢家来贯门。[《孔雀东南飞(并序)》]

乃令张良留谢。(《鸿门宴》)

④感谢。

哙拜谢,起,立而饮之。(《鸿门宴》)

⑤告诉,劝告。

多谢后世人,戒之慎勿忘![《孔雀东南飞(并序)》]

⑥请问。

使君谢罗敷:"宁可共载不?"(《陌上桑》)

⑦凋谢,衰亡。

及花之既谢,亦可告无罪于主人矣。(《芙蕖》)

信 1. xìn

(1)形容词。①言语真实。

信言不美,美言不信。(《老子》)

②可靠的。

良将劲弩守要害之处,信臣精卒陈利兵而谁何。(《过秦论》)

(2)名词。①信用。

予自度不得脱,则直前诟虏帅失信。(《〈指南录〉后序》)

②信物,凭据。

今行而无信,则秦未可亲也。(《荆轲刺秦王》)

③使者。

司空郑冲驰遣信就阮籍求文。(《世说新语》)

特指媒人。

自可断来信,徐徐更谓之。[《孔雀东南飞(并序)》]

④音讯,消息。

西忆岐阳信。(《喜达行在所》)

(3)动词。①相信。

宁信度,无自信也。(《郑人买履》)

成述其异,宰不信。(《促织》)

也指可信。

今以蒋氏观之,犹信。(《捕蛇者说》)

②信任。

疏屈平而信上官大夫、令尹子兰。(《屈原列传》)

愿陛下亲之信之。(《出师表》)

③守信用。

言必信,行必果。(《论语·子路》)

(4)副词。①表肯定。确实、实在、果真。

烟涛微茫信难求。(《梦游天姥吟留别》)

②表不确定。随意,随便。

低眉信手续续弹。[《琵琶行(并序)》]

2. shēn

通"伸"。

动词。①伸张。

孤不度德量力,欲信大义于天下。(《隆中对》)

②伸出。

狼欣然从之,信足先生。(《中山狼传》)

兴 1. xīng

动词。①起,起来。

夙(早)兴夜寐。(《诗经》)

②兴起,发生。

清风徐来,水波不兴。(《赤壁赋》)

积土成山,风雨兴焉。(《劝学》)

③作。

事不成则礼乐不兴。(《论语》)

④举。

进贤兴功(有功者)。(《周礼》)

⑤兴办,举办。

政通人和,百废具兴。(《岳阳楼记》)

⑥发动。

怀王怒,大兴师伐秦。(《屈原列传》)

⑦兴复。

大楚兴,陈胜王。(《陈涉世家》)

也指使之兴盛。

其存君兴国而欲反复之,一篇之中三致志焉。(《屈原列传》)

2. xìng

(1)名词。①兴趣,兴致。

遇游僧澄源至,兴甚勇。(《游黄山记》)

②诗歌的一种表现方法。

赋、比、兴。

(2)动词。喜欢。

不兴其艺，不能乐学。(《礼记·学记》)

行 1. xíng

(1)动词。①步(慢步)，趋(快走)。

途中两狼，缀行甚远。(《狼》)

②运行。

天行有常。(《荀子·天论》)

③经，历。

行年四岁，舅夺母志。(《陈情表》)

④前往。

赵王畏秦，欲毋行。(《廉颇蔺相如列传》)

权即遣肃行。(《赤壁之战》)

⑤实行，施行。

余嘉其能行古道，作《师说》以贻之。(《师说》)

⑥行酒，给客人斟酒。

客至未尝不置酒，或三行五行，多不过七行。(《训俭示康》)

⑦兼代(官职)。唐宋官制，小官代大官的事叫守某官，大官兼管小官的事叫行某官。

观文殿学士、特进、行兵部尚书。(《泷冈阡表》)

(2)名词。①古诗的一种体裁。

《琵琶行》/《兵车行》

②行为，品行。

君子博学而日参省乎己，则知明而行无过矣。(《劝学》)

③动作。

视为止，行为迟。(《庖丁解牛》)

(3)副词。将要。

行将为人所并。(《赤壁之战》)

2. háng

(1)名词。①行列。

凌余阵兮躐余行。(《国殇》)

②古代军制单位。二十五人为一行。

郑伯使卒出豭，行出犬鸡，以诅射颍考叔者。(《左传·隐公十一年》)

③职业。

石秀笑道："还未改本行。"(《水浒传》)

④买卖、交易的处所。

商行/货行

⑤辈分。

汉天子我丈人行也。(《苏武传》)

(2)量词。行。

出门登车去，涕落百余行。[《孔雀东南飞(并序)》]

(3)复合词。行伍：古代军队编制。五人为"伍"，二十五人为"行"，故以"行伍"泛指军队。

蹑足行伍之间，而倔起阡陌之中。(《过秦论》)

幸 xìng

(1)动词。①宠幸。

今人关，财物无所取，妇女无所幸，此其志不在小。(《鸿门宴》)

②皇帝到某处。

缓立远视，而望幸焉。(《阿房宫赋》)

③希望。

幸可广问讯，不得便相许。[《孔雀东南飞(并序)》]

(2)形容词。幸运。

则吾斯役之不幸，未若复吾赋不幸之甚也！(《捕蛇者说》)

(3)副词。侥幸、幸亏、幸而。

今事有急，故幸来告良。(《鸿门宴》)

凶 xiōng

(1)形容词。①不吉，不幸。

臣以险衅，夙遭闵凶。(《陈情表》)

②歉收的。

河内凶，则移其民于河东。(《孟子》)

③凶恶。

周处年少时，凶强侠气。(《世说新语》)

(2)名词。横暴作恶的人。

庶竭驽钝，攘除奸凶。(《出师表》)

修 xiū

(1)动词。①修建，修造。

乃重修岳阳楼。(《岳阳楼记》)

②修理。

修守战之具。(《过秦论》)

③治理。

外结好孙权，内修政理。(《隆中对》)

④修养。

臣修身洁行数十年。(《信陵君窃符救赵》)

⑤修订，修改。

议法度而修之于朝廷。(《答司马谏议书》)

⑥编纂，编写。

孙子膑脚，《兵法》修列。(《报任安书》)

⑦学习，研究。

是以圣人不期修古，不法常可。(《五蠹》)

⑧整饬。

何者？严大国之威以修敬也。(《廉颇蔺相如列传》)

(2)形容词。①善，美好。

老冉冉其将至兮，恐修名之不立。(《离骚》)

②长，高。

此地有崇山峻岭，茂林修竹。（《兰亭集序》）

徐 xú

（1）形容词。迟缓。

不徐不疾。（《庄子·天道》）

（2）副词。慢慢地，缓缓地。

清风徐来，水波不兴。（《赤壁赋》）

许 xǔ

（1）动词。①应允，听从。

均之二策，宁许以负秦曲。（《廉颇蔺相如列传》）

遂许先帝以驱驰。（《出师表》）

②赞同，赞成。

时人莫之许也。（《隆中对》）

杂然相许。（《愚公移山》）

③期望。

塞上长城空自许。（《书愤》）

（2）名词。地方，处所。

不知何许人也。（《五柳先生传》）

（3）约计的数量。如：少许；几许。表示“左右”“上下”。

高可二黍许。（《核舟记》）

潭中鱼可百许头。（《小石潭记》）

（4）代词。此，这，这样。

问渠那得清如许？为有源头活水来。（《观书有感》）

畜 1. xù

动词。①通“蓄”。积，储。

广畜积。（《论贵粟疏》）

②收藏。

又畜一短剑，甚利。（《霍小玉传》）

③饲养禽兽。

鸡豚狗彘之畜，无失其时。（《寡人之于国也》）

④养活，赡养。

仰足以事父母，俯足以畜妻子。（《齐桓晋文之事》）

2. chù

名词。禽兽。

拥众数万，马畜弥山。（《苏武传》）

徇 xún

动词。①示众。

麾众拥豪民马前，反接，徇诸市。（《书博鸡者事》）

②巡行。

行人振木铎徇于路。（《汉书》）

特指带兵巡行占领的地方。

籍为裨将，徇下县。（《史记·项羽本纪》）

③掠取，攻占（土地）。

遂使留徇齐城之未下者。（《资治通鉴》）

延 yán

动词。①伸长，延长。

延至七年，始有墓碣之建修。（《〈黄花岗烈士事略〉序》）

②延续。

延及孝文王、庄襄王，享国之日浅。（《过秦论》）

③蔓延。

烧尽北船，延及岸上营落。（《赤壁之战》）

④引进。

秦人开关延敌。（《过秦论》）

⑤请，邀请。

余人各复延至其家。（《桃花源记》）

阳 yáng

（1）名词。①山的南面或水的北面。

泰山之阳，汶水西流。（《登泰山记》）

以其乃华山之阳名之也。（《游褒禅山记》）

②太阳。

斜阳草树。（《永遇乐·京口北固亭怀古》）

③古代哲学概念。阴的对立面。

故审堂下之阴，而知日月之行，阴阳之变。（《察今》）

（2）形容词。①温暖。

春日载阳，有鸣仓庚。（《诗经·幽风·七月》）

②明亮，鲜明。

载玄载黄，我朱孔阳。（《诗经·幽风·七月》）

（3）动词。假装。通“佯”。

皆阳应曰：“诺。”（《记王忠肃公翱事》）

要 1. yào

（1）形容词。①重要。

增减要语。（《狱中杂记》）

②险要。

筑石寨土堡于要隘，树帜曰：“谢庄团练冯。”（《冯婉贞》）

③简要，切要。

可谓要言不烦也。（《三国志·管辂传》）

（2）名词。要点、关键。

要在安国家，利人民。（《盐铁论》）

（3）动词。①希望。

若要人不知，除非己莫为。（《上书谏吴王》）

②符合，适合。

凡先王之法，有要于时也。（《察今》）

③总括、概括。

要之死日，然后是非乃定。（《报任安书》）

2. yāo

（1）名词。腰。

昔者先君灵王好小要，楚士约食。（《战国策》）

(2)动词。①邀请。

张良出，要项伯。（《鸿门宴》）

便要还家。（《桃花源记》）

②相约。

虽与府吏要，渠会永无缘。[《孔雀东南飞（并序）》]

③缔结。

以要晋国之成。（《国语》）

④求，取。

仁者，不违义以要功。（《后汉书·窦融传》）

⑤要挟。

惟大辟无可要，然犹质其首。（《狱中杂记》）

⑥约束，控制。

然地亦穷险，唯京师要其道。（《史记·货殖列传》）

宜 yí

(1)动词。应该，应当。

将军禽操，宜在今日。（《赤壁之战》）

(2)形容词。适宜，合适。

世易时移，变法宜矣。（《察今》）

(3)副词。①表推测，大概。

今阴阳不调，宜更历之过也。（《汉书》）

②表本然或肯定。当然，无怪，难怪。

牡丹之爱，宜乎众矣。（《爱莲说》）

遗 1. yí

(1)名词。遗失之物。

高祖取楚如拾遗。（《汉书》）

(2)动词。①遗失，丢失。

秦无亡矢遗镞之费，而天下诸侯已困矣。（《过秦论》）

②遗漏，忽略。

昭明好恶，不遗微细。（《典引》）

③舍弃。

小学而大遗，吾未见其明也。（《师说》）

④遗留，剩下。

诚宜开张圣听，以光先帝遗德。（《出师表》）

⑤排泄（大小便）。

顷之三遗矢（屎）矣。（《廉颇蔺相如列传》）

(3)形容词。剩余的。

地有遗利，民有馀力。（《论贵粟疏》）

2. wèi

(1)动词。①送给，给予。

是时曹操遗权书。（《赤壁之战》）

是以先帝简拔以遗陛下。（《出师表》）

②赠予，送给。

公子闻之，往请，欲厚遗之。（《信陵君窃符救赵》）

客从远方来，遗我双鲤鱼。（《饮马长城窟行》）

(2)名词。送给的东西。

父母岁有裘葛之遗。（《送东阳马生序》）

贻 yí

动词。①赠送。

尝贻余核舟一，盖大苏泛赤壁云。（《核舟记》）

②遗留。

我之怀矣，自贻伊戚。（《左传·宣公二年》）

③造成。

老父之罪，不能鉴听，坐贻聋瞽，使闺窗孺弱，远罹构害。（《柳毅传》）

④给，被。

贻人口实。

贻笑大方。

易 yì

(1)名词。《周易》简称。

丘治《诗》《书》《礼》《乐》《易》《春秋》六经，自以为久矣，孰（通"熟"）知其故矣。（《庄子·天运》）

(2)动词。①换，交换。

使人遗赵王书，愿以十五城请易璧。（《廉颇蔺相如列传》）

②改变，更换。

缙绅而能不易其志者，四海之大，有几人欤？（《五人墓碑记》）

③轻视，看不起。

高祖为亭长，素易诸吏。（《高祖本纪》）

④代替，替换。

以羊易之。（《齐桓晋文之事》）

⑤延，蔓延。

恶之易也，如火之燎于原。（《商书》）

⑥整治。

民富则田肥以易，田肥以易则出实百倍。（《荀子·富国》）

(3)形容词。容易。

冯唐易老，李广难封。（《滕王阁序》）

(4)副词。很，非常。

荣禄固操、莽之才，绝世之雄，待之恐不易易。（《谭嗣同传》）

意 yì

(1)名词。①意愿，意图。

其意常在沛公也。（《鸿门宴》）

②意思，意义。

此中有真意，欲辨已忘言。（《饮酒》）

③神态，神情。

久之，目似瞑，意暇甚。（《雅》）

④意见，见解。

齐明、周最……乐毅之徒通其意。（《过秦论》）

(2)动词。①料想，估计。

然不自意能先入关破秦。（《鸿门宴》）

②怀疑。

人有亡斧者，意其邻之子。（《列子》）

诣 yì

动词。①前往，去，到。

乃强起扶杖，执图诣寺后。（《促织》）

②拜访。

由是先主遂诣亮，凡三往，乃见。（《隆中对》）

③晋见。

及郡下，诣太守，说如此。（《桃花源记》）

阴 yīn

(1)名词。①山的北面，水的南面。

达于汉(汉水)阴。（《愚公移山》）

②阴天。

秋不得避阴雨。（《论贵粟疏》）

③阴影，树阴。

故审堂下之阴，而知日月之行。（《察今》）

④光阴，时光。

大禹圣人，乃惜光阴。（《晋书》）

(2)形容词。①阴暗。

朝晖夕阴，气象万千。（《岳阳楼记》）

②阴冷。

阴风怒号，浊浪排空。（《岳阳楼记》）

③属于死人的。

阴宅/阴火

④凹入的。

惟汉印多用阴文。（《说金》）

⑤阴险。

性阴密，忍诛杀，不见喜怒。（《新唐书·李林甫传》）

(3)副词。暗中，暗地里。

阴知奸党名姓，一时收禽。（《张衡传》）

(4)复合词。阴阳：气象、自然规律。

尤致思于天文阴阳历算。（《张衡传》）

右 yòu

(1)名词。①右边。

然视其左右，来而记之者已少。（《游褒禅山记》）

地理上以西为右。

姜伯约屡出陇右。（《檄蜀文》）

②古代以右为尊，因而指较高的地位。

以相如功大，拜为上卿，位在廉颇之右。（《廉颇蔺相如列传》）

引申为上。

一切异状遍试之，无出其右者。（《促织》）

③古称世家大族为“右族”“右姓”，也简称为“右”。

又多豪右，共为不轨。（《张衡传》）

④古代战车上坐在右边负责警卫并防止车身倾侧的力士称“车右”，也简称为“右”。

梁弘御戎，莱驹为右。（《殽之战》）

⑤右臂(手)。

袒右，称大楚。（《陈涉世家》）

(2)动词。①尊重，重视。

守成尚文，遭遇右武。（《史记·平津侯主父列传》）

②亲近，袒护。

右韩而左魏。（《战国策·魏策二》）

喻 yù

动词。①告诉，使人明白。

故作书以喻意。（《淮南子》）

②晓谕，开导。

刚遣长子迟喻贼。（《宋史》）

③知道，理解。

征于色，发于声，而后喻。（《孟子》）

④比喻。

王好战，请以战喻。（《孟子》）

再 zài

(1)数词。①两次。

后秦击赵者再，李牧连却之。（《六国论》）

②第二次。

一鼓作气，再而衰，三而竭。（《曹刿论战》）

(2)副词。与现代汉语“再”相同。

用讫再火令药熔，以手拂之，其印自落。（《活板》）

造 zào

(1)动词。①制作。

公输盘为楚造云梯之械。（《公输》）

②建造。

因造玉清宫。（《雁荡山》）

③制定。

怀王使屈原造为宪令。（《屈原列传》）

④往，到。

径造庐访成，视成所蓄。（《促织》）

(2)复合词。造化：指天地，大自然。

造化钟神秀，阴阳割昏晓。（《望岳》）

责 zé

(1)动词。①索取。

每责一头，辄倾数家之产。（《促织》）

②责备，要求。

若无兴德之言，则责攸之、祎、允等之慢。（《出师表》）

③责罚。

当其为里正、受扑责时，岂意其至此哉？（《促织》）

④责令。

因责常供。（《促织》）

（2）名词。责任。

以塞官责。（《促织》）

2. zhài

名词。通“债”，欠别人的钱财。

于是有卖田宅、鬻子孙以偿责者矣。（《论贵粟疏》）

贼 zéi

（1）名词。①祸患，祸害。

淫侈之俗，日日以长，是天下之大贼也。（《论积贮疏》）

②刺客。

燕王昏乱，其太子丹乃阴会荆轲为贼。（《史记·秦始皇本纪》）

③强盗。

贼二人得我，我幸皆杀之矣！（《童区寄传》）

④作乱叛国的人。

操虽托名汉相，其实汉贼也。（《赤壁之战》）

⑤敌人。

坐桂公塘土围中，骑数千过其门，几落贼手死。（《〈指南录〉后序》）

（2）动词。①害。

是贼天下之人者也。（《墨子·非儒》）

②杀害。

二人相憎而欲相贼也。（《韩非子·内储说下》）

（3）形容词。狠毒。

董卓狼戾（凶狠）贼忍（残忍）。（《三国志·董二袁刘传》）

振 zhèn

（1）动词。①挥动，抖动。

振长策而御宇内。（《过秦论》）

新浴者必振衣。（《屈原列传》）

②振作，奋起。

遂相腾击，振奋作声。（《促织》）

③救济。

大命将泛，莫之振救。（《论积贮疏》）

④通“震”，震动。

如有地动，尊则振龙。（《张衡传》）

（2）形容词。害怕，惊恐。

燕王诚振怖大王之威。（《荆轲刺秦王》）

正 zhēng

（1）形容词。①不偏，不斜。

以欹为美，正则无景。（《病梅馆记》）

②端正地。

宾客意稍舒，稍稍正坐。（《口技》）

③公正，正直。

屈平正道直行。（《屈原列传》）

（2）动词。①整理。

正其衣冠。（《荀子》）

②纠正。

刑以正邪。（《左传》）

（3）名词。道理。

妙尽璇机之正。（《张衡传》）

（4）副词。正好，恰好。

六合正相应。[《孔雀东南飞（并序）》]

知 1. zhī

（1）名词。①知觉。

手等有痛痒之知。（《神灭论》）

②知识。

两小儿笑曰：“孰为（以为，认为）汝多知乎？”（《两小儿辩日》）

③灵魂。

其无知，悲不几时。（《祭十二郎文》）

④知己，朋友。

悲歌辞旧爱，衔泪觅新知。（《咏双燕》）

⑤交情。

绝宾客之知。（《报任安书》）

（2）动词。①知道，知晓。

呜呼！孰知赋敛之毒有甚是蛇者乎！（《捕蛇者说》）

②主持，管理。

子产将知政矣。（《左传·襄公二十六年》）

③了解。

君何以知燕王？（《廉颇蔺相如列传》）

知彼知己者，百战不殆。（《孙子·谋攻》）

④识别。

其真无马邪？其真不知马也。（《马说》）

⑤感到。

以中有足乐者，不知口体之奉不若人也。（《送东阳马生序》）

2. zhì 通“智”。名词。智慧。

君子博学而日参省乎己，则知明（明达）而行无过矣。（《劝学》）

直 zhí

（1）形容词。①不弯，不曲。

木受绳则直。（《劝学》）

②正直，公正。

屈平正道直行。(《屈原列传》)

③纵的,竖的。

直栏横槛,多于九土之城郭。(《阿房宫赋》)

④正确的。

争曲直,屡当死。(《(指南录)后序》)

⑤径直的,直接。

游鱼细石,直视无碍。(《与朱元思书》)

(2)名词。通"值"。①价值,价格。

欲居之以为利,而高其直。(《促织》)

②代价,报酬。

系向牛头充炭直。(《卖炭翁》)

(3)副词。竟然。

直把杭州作汴州。(《题临安邸》)

质 zhì

(1)动词。①典当,抵押。

为长安君约车百乘,质于齐。(《触龙说赵太后》)

也指用以作为抵押。

惟大辟无可要(要挟),然犹质其首。(《狱中杂记》)

②询问。

援疑质理。(《送东阳马生序》)

(2)名词。①抵押品。指作为保证的人或物。

必以长安君为质,兵乃出。(《触龙说赵太后》)

②信物。通"贽"。

乃令张仪佯去秦,厚币委(呈献)质事楚。(《屈原列传》)

③本质,实体。

形者神之质。(《神灭论》)

④资质。

非天质之卑,则心不若余之专耳。(《送东阳马生序》)

⑤质地,底子。

永州之野产异蛇,黑质而白章。(《捕蛇者说》)

⑥通"锧"。刑具。杀人时作垫用的砧板。

君不如肉袒伏斧质请罪,则幸得脱矣。(《廉颇蔺相如列传》)

(3)形容词。质朴。

质胜文则野。(《论语·雍也》)

(4)副词。正,刚刚。

质明,避哨竹林中。(《(指南录)后序》)

治 zhì

(1)动词。①治理,管理。

治国无法则乱。(《察今》)

②整训。

今治水军八十万众,方与将军会猎于吴。(《赤壁之战》)

③整理。

于是约车治装(行装),载券契而行。(《冯谖客孟尝君》)

④医治。

君有疾在腠理,不治将恐深。(《扁鹊见蔡桓公》)

⑤对付,抵御。

同心一意,共治曹操。(《赤壁之战》)

⑥惩处,处置。

不效则治臣之罪,以告先帝之灵。(《出师表》)

⑦修治。

民治渠少烦苦,不欲也。(《西门豹治邺》)

(2)形容词。太平,安定。

明于治乱,娴于辞令。(《屈原列传》)

(3)复合词。治平:社会安定。

此吾所以为治平之民虑也。(《治平篇》)

置 zhì

动词。①释放,丢弃。

沛公则置车骑,脱身独骑。(《鸿门宴》)

②安放,放置。

今以钟磬置水中,虽大风浪不能鸣也。(《石钟山记》)

③摆,设。

公子于是乃置酒大会宾客。(《信陵君窃符救赵》)

④设立,立。

内外多置小门。(《项脊轩志》)

⑤购置,添置。

郑人有且置履者。(《郑人买履》)

致 zhì

(1)名词。意态,情趣。

所以兴怀,其致一也。(《兰亭集序》)

(2)动词。①送达。

得李广必生致之。(《李将军列传》)

②表达。

其存君兴国而欲反复之,一篇之中三致志焉。(《屈原列传》)

③使……到来,招来。

致食客三千人。(《信陵君窃符救赵》)

④取得,得到。

家贫,无从致书以观。(《送东阳马生序》)

⑤到,达到。

然秦以区区之地,致万乘之势。(《过秦论》)

⑥使,致使,导致。

女行无偏斜，何意致不厚？[《孔雀东南飞（并序）》]

⑦弄来，捉来。

少有连，必多方钩致。（《狱中杂记》）

⑧送给。

月致羊酒。（《后汉书》）

(3)形容词。精细。

案其狱，皆文致不可得反。（《汉书·严延年传》）

(4)副词。尽、极、特别。

尤致思于天文阴阳历算。（《后汉书·张衡传》）

诸 zhū

(1)形容词。众。

婉贞于是率诸少年结束而出。（《冯婉贞》）

(2)代词。他、她、它(们)。

潘崇曰："能事诸乎？"（《左传·文公元年》）

(3)兼词。①代词兼介词。相当于"之于"。

投诸渤海之尾，隐土之北。（《愚公移山》）

②代词兼语气助词。相当于"之乎"。

王尝语庄子以好乐，有诸？（《庄暴见孟子》）

著 zhù

(1)动词。①显露，彰显。

信义著于四海。（《隆中对》）

②写作，撰述。

著《灵宪》《算罔论》，言甚详明。（《张衡传》）

(2)形容词。显著的。

世为著姓。（《张衡传》）

2. zhuó

动词。①穿，戴。

脱我战时袍，著我旧时裳。（《木兰诗》）

②附着。

今殴(驱使)民而归之农，皆著于本。（《论积贮疏》）

③居于。

盖以十舰最著前。（《赤壁之战》）

走 zǒu

(1)动词。①古代指疾行，跑。

双兔傍地走，安能辨我是雄雌？（《木兰诗》）

今为步行的通称。

②逃跑。

老翁逾墙走，老妇出门看。（《石壕吏》）

③使之逃跑。

操军方连船舰，首尾相接，可烧而走也。（《赤壁之战》）

④奔向，趋附。

窃计欲亡走燕。（《廉颇蔺相如列传》）

⑤趋向。

骊山北构而西折，直走咸阳。（《阿房宫赋》）

(2)名词。仆人。自称的谦辞。

太史公牛马走司马迁再拜言。（《报任安书》）

(3)形容词。快。

预备走舸，系于其尾。（《赤壁之战》）

族 zú

(1)名词。①家族。指同姓的亲属。

宫之奇以其族行。（《宫之奇谏假道》）

②种族，民族。

我黄帝子孙，聚族而居。（《少年中国说》）

③姓。

丈人度之，绝江，问其名族，则不肯告。（《吕氏春秋》）

④类。

士大夫之族。（《师说》）

⑤(筋骨)聚结之处。

每至于族，吾见其难为。（《庖丁解牛》）

(2)动词。①灭族。

族秦者秦也，非天下也。（《阿房宫赋》）

②聚，集。

云气不待族而雨。（《庄子》）

(3)形容词。众。

族庖月更刀，折也。（《庖丁解牛》）

卒 1. zú

(1)名词。①差役。

禁卒居中央。（《狱中杂记》）

②步兵。

骑千余，卒数万人。（《陈涉世家》）

泛指士兵。

夫以疲病之卒御狐疑之众。（《赤壁之战》）

③古代军队编制。百人为卒。一说二百人为卒。

全卒为上，破卒次之。（《孙子·谋攻》）

(2)动词。①死亡。古代大夫死称卒。又年老寿终称卒。后为死的通称。

年六十二，永和四年卒。（《张衡传》）

②完毕，结束。到……止。

语卒，而单于大怒。（《史记·匈奴列传》）

磐石方且厚，可以卒千年。[《孔雀东南飞（并序）》]

(3)副词。表终结。终于，到底，最终。

卒廷见相如，毕礼而归之。（《廉颇蔺相如列传》）

故余虽愚，卒获有所闻。（《送东阳马生序》）

2. cù

通"猝"。

副词。仓促，突然，匆忙。

五万兵难卒合，已选三万人。（《赤壁之战》）

卒然边境有急。（《论积贮疏》）

左 zuǒ

（1）名词。①左边。

然视其左右，来而记之者已少。（《游褒禅山记》）

②左手。

人莫能左画方而右画圆也。（《韩非子·外储说下》）

③东面。古代地理上以东为左。

干到江左，必要成功。（《三国演义》）

④较低的地位。古代以右边为尊，左为较低的地位。

诸士在己之左，愈贫贱，尤益敬，与钧。（《史记·魏其武安侯列传》）

⑤车上的尊位。古代车上以左为尊。

坐定，公子从车骑，虚左，自迎夷门侯生。（《信陵君窃符救赵》）

⑥证据，证人。

举十二条左证其谬。（《新唐书·刘子玄传》）

（2）动词。不亲近，不偏袒。

右韩而左魏。（《战国策·魏策》）

（3）形容词。不正，邪僻。

王商忠义，张匡谓之左道。（《三国志·魏武帝纪》）

（4）复合词。左右：①在旁侍候的臣子。

左右欲刃相如。（《廉颇蔺相如列传》）

②旁边，周围。

东西植松柏，左右种梧桐。［《孔雀东南飞（并序）》］

③帮助。

高祖为亭长，常左右之。（《史记·萧相国世家》）

④书信中对对方的尊称。表示不敢直陈对方，是称呼对方的左右执事者。

然亦不能不粗陈于左右。（《与元九书》）

左迁：贬官，降职。

元和十年，予左迁九江郡司马。［《琵琶行（并序）》］

坐 zuò

（1）名词。通“座”。座位。

项王则受璧，置之坐上。（《鸿门宴》）

（2）动词。①两膝着席，臀部压在脚后跟上，叫“坐”。

项王、项伯东向坐。（《鸿门宴》）

泛指以臀部着物而止息。

坐潭上，四面竹树环合。（《小石潭记》）

②坐守。

与其坐而待亡，孰若起而拯之。（《冯婉贞》）

引申为不劳、不动。

坐享其成/坐以待毙

③坐落。指位置所在。

坐北朝南。

④触犯。

坐法去官。（《史记·魏其武安侯列传》）

⑤获罪，定罪。

犯法不坐。（《吕言》）

（3）介词。因为、由于。

停车坐爱枫林晚，霜叶红于二月花。（《山行》）

附录四

古文中兼表身份和礼敬动作的词

一、兼表身份的动词

在文言文里有一些动词，可以表明双方的身份、地位或等级，它们具有别上下、分尊卑、明长幼的功能。概括起来有以下几类：

1. 表赏赐。如“赏”“赐”“赍”“颁”等。例：

①恩所加，则思无因喜以谬赏。（《谏太宗十思疏》）

②上大嘉悦，诏赐抚臣名马衣缎。（《促织》）

③抚军亦厚赀成。（《促织》）

④昔先皇颁僧保所货西洋珠于侍臣。（《记王忠肃公翱事》）

2. 表使令。如“使”“令”“命”“遣”等。例：

①秦王使使者告魏王。（《信陵君窃符救赵》）

②（沛公）乃令张良留谢。（《鸿门宴》）

③帝感其诚，命夸娥氏二子负二山。（《愚公移山》）

④赵王于是遂遣相如奉璧西入秦。（《廉颇蔺相如列传》）

以上两类动词，都是上对下，尊对卑，长对幼的，而以下三类却是相反。

3. 表进献。如“进”“献”“奏”“对”“谏”“报”“呈”等。例：

①公子使客斩其仇头，敬进如姬。（《信陵君窃符救赵》）

②我持白璧一双，欲献项王，玉斗一双，欲与亚父。（《鸿门宴》）

③相如奉璧奏秦王。（《廉颇蔺相如列传》）

④（谭嗣同）扶病入觐，奏对称旨。（《谭嗣

同传》）

⑤太后不肯，大臣强谏。（《触龙说赵太后》）

⑥具以沛公言报项王。（《鸿门宴》）

⑦及试，吏呼名至史公，公瞿然注视；呈卷，即面署第一。（《左忠毅公逸事》）

4. 表侍奉。如"侍""事"等。例：

①何守关中，侍太子。（《史记·萧相国世家》）

②庞涓既事魏。（《史记·孙子吴起列传》）

5. 表朝拜。如"朝""拜""觐""谒"等。例：

①割地而朝者三十有六国。（《五蠹》）

②孔子时其亡也，而往拜之。（《论语》）

③合为朝觐会同。（《封建论》）

④上至，相国谒。（《史记·萧相国世家》）

以上所说，并不是古代兼表身份的动词的全部，而且有的词又是多义性的，阅读文言文时应多加注意。

二、表礼敬动作的词

过去人们很重视讲礼貌，除去跪拜的礼节外，表示一般礼敬动作的词也不少。例如：

1. 揖、长揖：都是拱手自上向下至膝为礼。

2. 唱喏(rě)：揖的俗称，和揖不同之处是，一面作揖，一面出声致敬。旧小说中常用。

3. 抚礼、亢礼：是长揖不拜，不分尊卑的平等礼节。

4. 拱、拱手：两手合抱以示敬意；右手在内，左手在外。

5. 拱揖：拱手作揖。

6. 合掌、合十：两手放胸前，十字相合，表示敬意。原为印度的一般礼节，为佛教所沿用。

7. 执手：古时国君用以待功臣之礼。

8. 敛衽：敛起衣襟，表示肃静之意。古代不分男女，均可说敛衽。后来专称女子之拜曰敛衽。（亦作"检衽"。）

9. 万福：古时妇女对人行礼，口里说着"万福"。后来用作妇女行礼的代称。

10. 簪笔：古代行礼时的冠饰，用毛装在五寸长的簪头上，插在冠前，表示礼敬。

11. 磬折：像石磬一样地弯折着身子鞠躬。

12. 侍、侍立：站在尊长的旁边。

13. 式(轼)：站在车上，俯身而抚车前的横木，表示敬意。

14. 却行：向后退着走，表示对客人的恭敬。

15. 侧行：偏侧着身子前进。

16. 避席：离开座位站起来，表示对客人尊敬。（另外还有表示郑重和严肃的意思。）

17. 拂席：擦拭坐席上的灰尘，请客人就座，以表示敬意。

18. 扫榻：拂除榻上的尘垢，表示对宾客的欢迎。

19. 虚左：古代乘车以左位为尊，虚左，是空出尊位。

20. 郊迎：到郊外迎接，表示尊敬。

21. 稽首：又叫叩首，俗称"磕头"。拜跪于地，引头至地，多时方起。

22. 为寿、上寿：古时进酒于尊者之前，一面致词祝颂，叫"为寿"或"上寿"。

23. 走：跑。古代臣见君要快步走，这是一种礼节。

24. 拜：古时表示恭敬的一种礼节，又叫拜手，作拱弯腰而已，如今日之揖；后指屈膝、顿首，两手着地或叩头及地为拜。

25. 再拜：拜两次，表达敬意，一般对很尊贵的人行再拜礼。

附录五

古代汉语中数的表达

与现代汉语比较，古代汉语的表达有许多特殊的地方，了解和掌握古代汉语数的表达特点及规律，对于提高文言文阅读水平大有裨益。

一、基数

基数词是古代汉语表数的基础。古汉语中绝大部分基数词沿用至今，凭现代汉语口语常识及口语习惯就能理解。如：

命夸娥氏二子负二山。（《愚公移山》）

"二子"即两个儿子；"二山"即两座山。

但有两种情况现代汉语里已不采用，值得注意：

1. 整数和零数间嵌入一个"有"字，读作"又"，表示整数和零数的关系。如：

臣密今年四十有四。（《陈情表》）

"四十有四"即"四十四"。

2. 两个数之间的零位不用"零"，如现代汉语说"一百零五"，古代就说"一百五"。

冬至后一百五日为寒食。（《荆楚岁时记》）

"一百五"是"一百零五"，不是今天说的"一百五十"。

二、序数

古汉语序数词形式上与基数词无甚差别，但充当序数的一般是序列性列举的一组基数，而且数词后往往有相同的词语。如：

一鼓作气，再而衰，三而竭。（《曹刿论战》）

“再”“三”后省略了动词“鼓”，“一”“再”“三”是序列性数词列举，所以是序数。再如：

一曰治亲，二曰报功，三曰举贤，四曰使能，五曰存爱。（《礼记·大传》）

“曰”前“一、二、三、四、五”五个数字按序排列，故为序数。

古汉语中，也有用“第十基数词”表序数的，只是较为少见，如：

此印者才毕，则第二板已具。（《梦溪笔谈》）

三、分数

古汉语分数表达形式灵活多样，概括起来，有以下几种：

1. 分母＋分＋之＋分子。如：

秦地天下三分之一。（《汉书·地理志》）

这种形式沿用至今，成为现代汉语的分数表达式。

2. 分母＋分＋名词＋之＋分子。如：

方今大王之众不能十分吴楚之一。（《史记·淮南衡山王列传》）

“不能十分吴楚之一”，即不足吴楚的十分之一。

3. 分母＋名词＋之＋分子。如：

大都不过三国之一。（《左传·隐公元年》）

“三国之一”即国都的三分之一。

4. 分母＋之＋分子。如：

然民遭水旱疾疫而不幸者不过十之一二矣。（《治平篇》）

“十之一二”，指“十分之一”至“十分之二”。

5. 分母＋分子。如：

盖余所至，比好游者尚不能十一。（《游褒禅山记》）

“十一”即“十分之一”。

这种形式极易跟现代汉语基数词混淆，但结合语境还是不难区别的，因为这种分数形式绝大部分出现在表比较的语境中，且多数分母为“十”或“什”。

四、约数

约数是表示与实际数目相差不远的大概数目，古汉语中常见的约数表示方法如下：

1. 用十百千万等整数来表示约数。

诗三百，一言以蔽之，曰“思无邪”。（《论语·为政》）

《诗经》实际有三百零五篇，这里说“三百”，取其约数。

2. 用两个邻近的数字表约数，这种形式也是现代汉语约数的基本形式之一。

若止印三二本，未为简易。（《梦溪笔谈》）

3. 基数词后加“所”“许”“余”等表约数。如：

未到匈奴陈二里所，止。（《史记·李将军列传》）

“二里所”即二里左右。

一车炭，千余斤。（《卖炭翁》）

“千余斤”即“一千多斤”。

潭中鱼可百许头。（《小石潭记》）

“百许头”即“一百多条”。

4. 在基数词前加“且”“将”“约”“几”“盖”“可”等表约数，这种约数往往是表示比实际数略少的近似数。如：

北山愚公者，年且九十。（《愚公移山》）

“年且九十”，即年龄将近九十岁。

汉之为汉，几四十年矣。（《论积贮疏》）

“几四十年矣”，差不多是四十年了。

五、虚数

虚数不是实际的数字，带有夸张的性质，虚数和约数不同，约数与实际数目相差不远，而虚数和实际数目关系不大，甚至全无关系。

1. 古汉语中“三、五、七、九”及其倍数常作虚数，一般表示“多”。如：

举所佩玉玦以示之者三。（《鸿门宴》）

“三”，言多次。

亦余心之所善兮，虽九死其犹未悔。（《楚辞·离骚》）

“九死”，指多次死去。

军书十二卷，卷卷有爷名。（《木兰诗》）

“十二卷”，指许多卷。

2. 十百千万等也常用来表示虚数，如：

智者千虑，必有一失；愚者千虑，必有一得。（《史记·淮阴侯列传》）

“千虑”，形容考虑得多。

六、倍数

古汉语的倍数表达与现代汉语差别不大，一般是在基数词后加“倍”字，如果是一倍则单用“倍”表示，“一”省略。如：

故用兵之法，十则围之，五则攻之，倍则分之，敌则能战之，少则能逃之，不若则能避之。（《孙子·谋攻》）

“十”“五”后省“倍”字，在具体语境中容易看出。“倍”表示“一倍”。

此外，古汉语中还有并举两数，以其乘积表数。如：

三五之夜，明月半墙。（《项脊轩志》）

“三五”之积为十五，“三五之夜”指阴历每月十五的夜晚。

第三部分 文言虚词

文言虚词和实词相比，虚词虽要少得多，但是它有以下四个特点：(一)用法比实词灵活。往往一个字有多种用法、多种解释，乃至分属几类词。(二)使用频率比实词高。有些常用虚词，在一篇中会出现多次。(三)语法功能比实词强。实词通常靠虚词的组合、连接、辅助而成为完整的句子，体现不同的意思，抒发不同的感情，表达不同的语气。(四)在汉语的发展历史中，虚词变化比实词大。迄今只有少数虚词在白话的某些特定语句里继续使用，其余大多数已经不用，或者被另一种说法代替，或者虽仍在使用，但是意义变了。因此，确切了解并掌握文言虚词，特别是常用的一些文言虚词的意义和用法，对提高阅读文言文的能力大有好处。

一、代词

代词是代替词、词组和句子的词。它的作用是避免相同词语重复，使文章简洁。

(一)人称代词

①第一人称：吾、予、余、我

予购三百盆，皆病者。(《病梅馆记》)

生乎吾前，其闻道也固先乎吾。(《师说》)

②第二人称：汝(女)、而、尔、若、乃

某所，而母立于兹。(《项脊轩志》)

家祭无忘告乃翁。(《示儿》)

而翁归，自与汝复算耳！(《促织》)

③第三人称：之、其、彼、厥

王甚任之。(《屈原列传》)

如其不才，君可自取。(《三国志·诸葛亮传》)

彼与彼年相若也。(《师说》)

思厥先祖父，暴霜露，斩荆棘，以有尺寸之地。(《六国论》)

④谦辞：称自己的名字，或用"臣、仆、愚、不才"等，妇女用"妾"，国君用"孤""寡人"。

肃请得奉命吊表二子，并慰劳其军中用事者。(《赤壁之战》)"肃"，鲁肃自称。

秦时与臣游。(《鸿门宴》)

仆非敢如是也。(《报任安书》)

愚谓大计不如迎之。(《赤壁之战》)

妾不堪驱使，徒留无所施。[《孔雀东南飞(并序)》]

寡人窃闻赵王好音，请奏瑟。(《廉颇蔺相如列传》)

⑤敬称：大王、将军、公、公子、陛下、殿下、阁下、足下、子、先生、大人、卿等。可译为"您"。

公为我献之。(《鸿门宴》)

唯大王与群臣孰计议之。(《廉颇蔺相如列传》)

吾不能早用子，今急而求子，是寡人之过也。(《烛之武退秦师》)

⑥人称复数：古文中用"辈、属、侪、族、徒"等放在人称代词后面表多数。可译成"们"，或在人称代词后加"一类""一班""这些"等词。

若属皆且为所虏！(《鸿门宴》)"若属"，你们这些人。

此故吾侪同说书者也。(《柳敬亭传》)"吾侪"，我们。

士大夫之族，曰师曰弟子云者，则群聚而笑之。(《师说》)"族"，这一类人。

郯子之徒，其贤不及孔子。(《师说》)"徒"，这些人。

(二)指示代词

用来指示和区别人或事物的代词。可代人、代物、代事。

①近指代词:是、此、斯、兹、之、然。译成"这个""这里""这样"。

而此独以钟名,何哉?(《石钟山记》)"此",此处。

余为斯序,既痛逝者,并以为国人之读兹编者勖。(《〈黄花岗烈士事略〉序》)"斯",这篇;"兹",这。

②远指代词:彼、夫、其。译成"那""那个"。

以彼易此,孰得孰失,必有能辨之者。(《柳子厚墓志铭》)"彼",那个。

以故其后名之曰"褒禅"。(《游褒禅山记》)"其",那。

③旁指代词:他。译成"别的""其他的"。

王顾左右而言他。(《孟子·梁惠王下》)"他",别的。

备他盗之出入与非常也。(《鸿门宴》)"他",别的。

④虚指代词:或、某。

相公又稍稍语人曰:"某也贤,某也贤。"(《报刘一丈书》)"某",某人。

⑤无定指代词:莫、无。译成"没有谁""没有哪一样东西"。

背负青天而莫之夭阏者。(《逍遥游》)

(三)疑问代词

①代人:谁、孰

王曰:"谁可使者?"(《廉颇蔺相如列传》)

是可忍也,孰不可忍也?(《论语·八佾》)

②代事物:胡、奚、曷

嗟尔远道之人胡为乎来哉!(《蜀道难》)

乐夫天命复奚疑。[《归去来兮辞(并序)》]

亦曷故哉?(《五人墓碑记》)

③代处所:安、恶(wū)、焉

沛公安在?(《鸿门宴》)

彼且恶乎待哉?(《逍遥游》)

且焉置土石?(《愚公移山》)

以下几个词作状语,一般是表反问,译成"怎么""哪里"。

燕雀安知鸿鹄之志哉!(《陈涉世家》)

安能屈豪杰之流,扼腕墓道,发其志士之悲哉?(《五人墓碑记》)

二、副词

副词的基本功能是修饰动词、形容词或其他副词,作句子的状语或补语。

(一)程度副词

程度副词是表示性质、状态或行为动作所达到的程度的副词。多用来修饰形容词或表心理活动的动词。

①轻微度:少、稍、略。译成"稍""略微""丝毫"。

断头置城上,颜色不少变。(《五人墓碑记》)

夫妻心稍慰。(《促织》)

②加深度:愈、益、弥、尤、更。译成"更加""尤其"。

奉之弥繁,侵之愈急。(《六国论》)

是故圣益圣,愚益愚。(《师说》)

然是说也,余尤疑之。(《石钟山记》)

多情自古伤离别,更那堪冷落清秋节!(《雨霖铃·寒蝉凄切》)

③极高度：最、极、甚、殊、太、至、尤、良、大、绝、特、颇。相当于现代汉语的“很”“极”“太”“非常”“分外”“特别”等词。

而君畏匿之，恐惧殊甚。（《廉颇蔺相如列传》）

老臣贱息舒祺，最少，不肖。（《触龙说赵太后》）

便舍船，从口入。初极狭，才通人。（《桃花源记》）

（二）范围副词

表动作行为或与动作行为有关的人或事物的副词。修饰动词，作状语。

①表总括：悉、皆、尽、咸、胜、俱、举、毕、凡。

珍宝尽有之。（《鸿门宴》）

何可胜道也哉？（《游褒禅山记》）

②表仅限：唯、特、徒、独、直、第、但、止、则、仅。相当于现代汉语的“只”“仅”“单独”“只是”等词。

公无从办，特示故人意耳。（《记王忠肃公翱事》）

直好世俗之乐耳。（《庄暴见孟子》）

③表共同：共、同、并、相。

又多豪右，共为不轨。（《张衡传》）

山东豪俊遂并起而亡秦族矣。（《过秦论》）

（三）时间副词

表示动作行为发生、持续与时间有关的副词。

①过去、一向：表动作行为已经发生或曾经发生。

表示“已经、曾经”意思的有“既、已、曾、尝”。

人道寄奴曾住。（《永遇乐·京口北固亭怀古》）

吾尝终日而思矣，不如须臾之所学也。（《劝学》）

表“以前、起先、当初、过去”意思的有“向、初、曩(nǎng)、始、昔”。

向察众人之议，专欲误将军，不足与图大事。（《赤壁之战》）

初，鲁肃闻刘表卒。（《赤壁之战》）

表“常常、经常、向来”意思的有“常、素、雅、恒”。

是说也，人常疑之。（《石钟山记》）

安帝雅闻衡善术学。（《张衡传》）

②正在、变化时：表动作行为正在进行。

表示“正在、恰逢”意思的有“方、正、适、会”。

有过于江上者，见人方引婴儿而欲投之江中。（《察今》）

会征促织。（《促织》）

表示“一会儿、片刻”等短暂时间的副词有“俄、旋、寻、须臾、未几、无何、斯须、既而”。

未几，成归。（《促织》）

既而得其尸于井。（《促织》）

表示“突然、急忙、立刻”等时间紧迫急剧的有“急、遽、卒、立、即”。

遽扑之，入石穴中。（《促织》）

卒然边境有急。（《论积贮疏》）

五万兵难卒合。（《赤壁之战》）

表示“将要、接近”意思的有“将、且、行将”。

若属皆且为所虏！（《鸿门宴》）

表示“终于、终了”等最终结果的有“终、卒、竟”。

其后楚日以削，数十年，竟为秦所灭。（《屈原列传》）

秦亦不以城予赵，赵亦终不予秦璧。（《廉颇蔺相如列传》）

（四）语气副词

表示肯定、否定、推测、反诘等各种语气的副词。

①肯定、确认：必、诚、信、固、果。相当于现代汉语的“一定、实在、果真”。

沛公默然，曰：“固不如也。”（《鸿门宴》）

大王必欲急臣，臣头今与璧俱碎于柱矣！（《廉颇蔺相如列传》）

②否定、禁止：表否定的语气副词有“不、弗、未、非、靡、亡、否”，一般用在动词、形容词前，否定动作行为或形态，作状语。相当于现代汉语的“不、没有”。

故不登高山，不知天之高也。（《劝学》）

登高而招，臂非加长也，而见者远。（《劝学》）

表禁止语气的副词有“勿、毋、莫、无”。用于祈使句，表禁止或不同意，作状语，相当于现代汉语的“不要、别”。

瑜得精兵五万，自足制之，愿将军勿虑！（《赤壁之战》）

毋从俱死也。（《鸿门宴》）

③推测、估量：殆、盖、庶、或、其、得无、无乃、庶几。相当于现代汉语的“大概、也许、几乎、可能”。

得无教我猎虫所耶？（《促织》）

④反诘：岂、宁、庸、其。译为“难道、哪里”。

夫庸知其年之先后生于吾乎？（《师说》）

（五）频率副词

表“常常、往往、一再、再三、多次”的有“屡、数、辄、累”等。

每责一头，辄倾数家之产。（《促织》）

大将军邓骘奇其才，累召不应。（《张衡传》）

表示“再、也、还、第二次”等重复的副词有“复、更、再、又”。

今年欢笑复明年。[《琵琶行（并序）》]

府吏再拜还。[《孔雀东南飞（并序）》]

（六）谦敬副词

表示对自己谦卑和对对方恭敬的副词。无实在意义。

表谦卑的有“窃、辱、伏惟”。

窃为陛下惜之。（《论积贮疏》）

府吏长跪告：“伏惟启阿母。”[《孔雀东南飞（并序）》]

表恭敬的有“幸、敢、请、敬、谨”。

臣从其计，大王亦幸赦臣。（《廉颇蔺相如列传》）

若亡郑而有益于君，敢以烦执事。（《烛之武退秦师》）

三、介词

介词不能单独使用，它与所带的宾语组成介宾词组来修饰或补充说明动词、形容词，作句子的状语或补语。介词可根据功用分为表处所的、表时间的、表原因的、表对象的、表凭借的、表被动的等。使用频率高，用法比较复杂的介词有“于、以”。

1. 于

①“于”是文言文中最主要的介词，现代汉语各类介词的用法，“于”几乎都可以承担。

会于西河外滹池。（《廉颇蔺相如列传》）“于”，引进动作处所，表所在，译成“在”。

青，取之于蓝，而青于蓝。（《劝学》）“于”，引进处所，表所从，译为“从、由”。

臣本布衣，躬耕于南阳，苟全性命于乱世，不求闻达于诸侯。（《出师表》）“于”，引进范围，表示“在……中”。

事急矣，请奉命求救于孙将军。（《赤壁之战》）“于”，引进动作涉及的对象，译为“向”。

故天将降大任于是人也。(《孟子》)"于",表动作涉及的对象,译为"给"。

余将告于莅事者。(《捕蛇者说》)"于",引进动作涉及的对象,不译。

于其身也,则耻师焉。(《师说》)"于",引进陈述对象,译为"对,对于"。

自吾氏三世居是乡,积于今六十岁矣。(《捕蛇者说》)"于",引进时间,译为"到"。

皆以美于徐公。(《邹忌讽齐王纳谏》)"于",引出比较的事物,同"比"。

吾不能举全吴之地,十万之众,受制于人。(《赤壁之战》)"于",引出主动者,表被动,译为"被"。

②"于"的宾语如果是处所,"于"有时可省略。

岁征(于)民间。(《促织》)

成妻纳钱(于)案上。(《促织》)

而蔺相如徒以口舌为劳,而位居(于)我上。(《廉颇蔺相如列传》)

2. 以

①引出动作行为的凭借和依据,作状语,相当于现代汉语的"用、凭、靠、根据、按照"。

请以剑舞。(《鸿门宴》)"以",用,引进凭借工具。

以资政殿学士行。(《〈指南录〉后序》)"以",凭,引进凭借的身份。

久之能以足音辨人。(《项脊轩志》)

余船以次俱进。(《赤壁之战》)"以",按照,引出凭借方式。

②引出动作行为所涉及的对象,相当于"把"。

秦亦不以城予赵,赵亦终不予秦璧。(《廉颇蔺相如列传》)"以城予赵"即"予赵城","以"的这种用法实际上起了提宾的作用。

③引出动作行为产生的缘由,译成"因为、由"。

不以物喜,不以己悲。(《岳阳楼记》)

④引出动作行为发生的时间,译成"在、从"。

武以始元六年春至京师。(《苏武传》)

⑤"以"的宾语上文已出现,则有时省略。

令以(促织)责之里正。(《促织》)

折藏之,归以(片纸)示成。(《促织》)

⑥介词"以",也可省略。

又试之(以)鸡,果如成言。(《促织》)

四、连词

连词是连接两个或两个以上的词、词组或句子并表示它们之间的某种关系的词,其本身无实在意义,但它可帮助我们认识句子的语法结构和逻辑关系,更准确地理解句意。连词可按其所表示的结构、逻辑关系进行归类。

1. 并列关系

表并列关系的连词有"与、及、而、从、且、则、且……且……、既……且……、以"。

彼与彼年相若也,道相似也。(《师说》)

蟹六跪而二螯。(《劝学》)

夫夷以近,则游者众;险以远,则至者少。(《游褒禅山记》)

2. 层进关系

表层进关系的连词有"而、且、尚……况……、非唯……亦抑……、非独……亦……"。

臣以为布衣之交尚不相欺,况大国乎?(《廉颇蔺相如列传》)

3. 选择关系

表选择关系的连词有"如、抵、其、或、非……则……"。

天之苍苍,其正色邪?其远而无所至极邪?(《逍遥游》)"其",或者。

人或益之，人或损之，胡可得而法？（《察今》）“或”，或者。

4. 承接关系

表承接关系的连词有“而、以、乃、则、遂、即、于是、然后”。

余方心动欲还，而大声发于水上。（《石钟山记》）“而”，接着。

5. 转折关系

表转折关系的连词有“而、然、但、则、乃、顾、虽”。

登高而招，臂非加长也，而见者远。（《劝学》）

夫妻心稍慰，但儿神气痴木，奄奄思睡。（《促织》）

6. 因果目的关系

常用连词有“以、为、是故、是以”。

晋侯、秦伯围郑，以其无礼于晋，且贰于楚也。（《烛之武退秦师》）

百姓之不见保，为不用恩焉。（《齐桓晋文之事》）

故为之说，以俟夫观人风者得焉。（《捕蛇者说》）

7. 假设关系

常用连词有“若、苟、今、使、虽、则、向使、假令”。

若使烛之武见秦君，师必退。（《烛之武退秦师》）

8. 修饰关系

“而”“以”常用于修饰语与中心词之间，表示二者的修饰关系。译成“地”或不译。

木欣欣以向荣，泉涓涓而始流。[《归去来兮辞（并序）》]

余与四人拥火以入。（《游褒禅山记》）“以”，同“而”，不译。

五、助词

助词是在古代汉语中不能单独使用，也不能充当句子成分，只在句中起某种辅助作用的词。

（一）结构助词

之、者、所。

之 ①定语标志，译成“的”或不译。

小大之狱，虽不能察，必以情。（《曹刿论战》）

②补语标志，译成“得”。

宁南以为相见之晚，使参机密。（《柳敬亭传》）

③宾语前置的标志，不译。

夫晋，何厌之有？（《烛之武退秦师》）即“晋有何厌”。

④定语后置的标志，不译。

蚓无爪牙之利。（《劝学》）

⑤用在主谓之间，取消句子独立性，不译。

夫庸知其年之先后生于吾乎？（《师说》）

⑥用在时间副词后，起凑足音节的作用，无实在意义，不译。

顷之，烟炎张天。（《赤壁之战》）

者 “者”作结构助词，常附在别的词或词组后构成名词性“者”字词组，用来指代人、事、物。可译成“……的人”“……的事物”“……的原因”。

古之学者必有师。（《师说》）“者”附在动词“学”后，指“……的人”。

民不足而可治者，自古及今，未之尝闻。（《论积贮疏》）“者”用在形容词“治”后，指“……的事”。

予购三百盆，皆病者。（《病梅馆记》）“者”用在动词后，表“……的事物”，可不译。

言之，貌若甚戚者。（《捕蛇者说》）“者”用在情态词组后，相当于“……的样子”。

吾所以为此者，以先国家之急而后私仇也。（《廉颇蔺相如列传》）“者”用于原因词组后，表“……

的原因”。

曩者辱赐书。(《报任安书》)“者”用于时间副词后,表停顿,不译。

此数者用兵之患也。(《赤壁之战》)“者”用于数词后,可根据上下文译为所表示的人、事物。“此数者”指“这几种情况”。

荆州之民附操者,逼兵势耳,非心服也。(《赤壁之战》)“者”前有以名词为主的中心词,“者”为定语后置的标志。

所 “所”常与后面的动词构成名词性“所”字结构,表示人、事物、处所等,作句子的主语、宾语、定语。有三种情况:

①如果“所”字结构里的动词所涉及的对象没有出现,“所”具有指代作用。

此人一一为具言所闻。(《桃花源记》)“所闻”即“听到的一切”,“闻”的宾语“一切”没有出现,便由“所”指代。

②如果“所”字结构所表示的人、事物等在动词后面出现了,这个“所”字结构便作定语,修饰后面的人或事物。

置人所罾鱼腹中。(《陈涉世家》)“罾”带上了宾语“鱼腹”,“所罾”作“鱼腹”的定语。

③“所”字结构后出现“者”,可看作“者”字结构,其指代作用由“者”字来承担。

臣之所好者。(《庖丁解牛》)“所好者”即“所喜欢的事情”。“者”指代“事情”,“所好”作“者”的定语。

(二)语气助词

①陈述语气:也、矣、焉、耳

也 “也”可表陈述、疑问、祈使、感叹等各种语气,但它在表上述各种语气的同时,对某种事物或情况表示肯定和确认,相当于现代汉语的“了、呢、吧、吗”等。

夫积贮者,天下之大命也。(《论积贮疏》)“也”用在谓语后与“者”呼应表判断。

鱼,我所欲也。(《鱼我所欲也》)“也”用于陈述句末,表肯定的陈述语气。

矣 用于句尾,表示已经发生或曾经发生的变化和情况。同时有加重语气的作用,译为“了、啦”。

郑穆公使视客馆,则束载、厉兵、秣马矣。(《殽之战》)

用在句尾,表示将要出现的新情况、新变化,表达一种确有把握的语气,或表达一种命令、决断或请求的语气。译为“了”或不译。

吾属今为之虏矣!(《鸿门宴》)

焉 用在句尾,表一般的陈述语气,有引人注意的意味。

王若隐其无罪而就死地,则牛羊何择焉?(《齐桓晋文之事》)

耳 用于陈述句末,表限制语气,相当于“而已、罢了”。

从此道至吾军,不过二十里耳。(《鸿门宴》)

用于陈述句末,表坚决、肯定语气。

今肃可迎操耳,如将军不可也。(《赤壁之战》)

②疑问语气:乎、与(欤)、邪(耶)

乎 用于各种疑问句末,表询问、反诘、测度等语气,可译为“吗、呢”。

因笑谓迈曰:“汝识之乎?”(《石钟山记》)“乎”表询问,译为“吗”。

日食饮得无衰乎?(《触龙说赵太后》)“乎”表反问,译为“吧”。

安能复为之下乎!(《赤壁之战》)“乎”表反问,译为“呢”。

用于祈使句、感叹句,表祈使、感叹等语气。

长铗归来乎!(《冯谖客孟尝君》)

善哉!技盖至此乎?(《庖丁解牛》)

宜乎百姓之谓我爱也。(《齐桓晋文之事》)

呜呼!孰知赋敛之毒,有甚是蛇者乎!(《捕蛇者说》)

与(欤)、邪(耶)

可得闻与?(《齐桓晋文之事》)"与"用于特指问句,表询问,译为"吗"。

子非三闾大夫欤?(《屈原列传》)"欤"用于是非问,译为"吗"。

岁亦无恙耶?民亦无恙耶?王亦无恙耶?(《赵威后问齐使》)"耶"用于是非问句,译为"吧"。

得无楚之水土使民善盗耶?(《晏子使楚》)"得无……耶"表委婉揣度语气。

③感叹语气:哉、夫

嘻!善哉!技盖至此乎?(《庖丁解牛》)"哉"表感叹。

燕雀安知鸿鹄之志哉!(《陈涉世家》)"哉"表反问语气。

子在川上曰:"逝者如斯夫!"(《论语·子罕》)"夫"表感叹。

④句首语气:唯、夫、盖

"唯"用于句首,表希冀语气,有时译为"希望"。"夫""盖"用于句首,引起议论,不译。

唯大王与群臣孰计议之。(《廉颇蔺相如列传》)

夫战,勇气也。(《曹刿论战》)

盖儒者所争,尤在于名实;名实已明,而天下之理得矣。(《答司马谏议书》)

盖大苏泛赤壁云。(《核舟记》)

六、叹词

叹词表示人们在感情激动时发出的一种声响,是表达强烈感情的词。它不作句子成分,也不和别的词组合,而是独立于句子成分之外,或作独立成分,或作独词句。

嗟乎!一人之心,千万人之心也。(《阿房宫赋》)

呜呼!灭六国者六国也,非秦也。(《阿房宫赋》)

唉!竖子不足与谋!(《鸿门宴》)

七、兼词

古代汉语里,用一个字的形体而兼有两个字的读音或意义的词叫兼词。常用的有:诸、焉、盍、叵等。

诸

"诸"是"之"和"于"("于"古音 wū)的合音。"之",代词;"于",介词。

投诸渤海之尾,隐土之北。(《愚公移山》)

"诸"还是"之"和"乎"的合音。"之",代词;"乎",语气词。

王尝语庄子以好乐,有诸?(《庄暴见孟子》)

焉

"焉"用在动词后,相当于"于之"或"于是"。"于",介词;"之"或"是",代词。

率妻子邑人来此绝境,不复出焉。(《桃花源记》)

青麻头伏焉。(《促织》)

盍

"盍"是"何不"的合义。

子曰:"盍各言尔志?"(《论语·公冶长》)

叵

"叵"相当于"不可"。

居心叵测。

八、推断文言虚词词义的方法

1. 句意分析法

根据句子的大意推断虚词在文中的用法和意义,在学习和应试中常用。

例①“非挟太山以超北海之类也”，根据句意“不是挟带着泰山来跨过北海这一类情况”，就可确定“以”是连词“来”，表目的。

例②“府吏闻此变，因求假暂归”一句的“因”是什么词，可以结合句子的意思“府吏听说了这个变故，就暂时请假赶了回去”，确定“因”是连词“于是、就”，表承接关系。

2. 上下文推断法

根据上下文的意思来推断，也是在总体把握文句意义的基础上来确定某个词的用法和意义。

例③“设九宾于廷，臣乃敢上璧”一句，这里的“乃”是副词还是连词呢？我们可以考察一下前文的意思：前文蔺相如说和氏璧是天下共同称颂的宝玉，赵王送璧时斋戒了五天，表示对大国的尊重，那么璧送来了，秦王也应对赵国表示尊重，“设九宾于廷”。这样看来，蔺相如提出的是一个必要条件，两句间是“只有……才……”的关系，因此，“乃”应解释为“才”，表条件。

3. 代入筛选法

如果我们知道某个虚词的基本用法和意义，在阅读和解题时，就可将它的每个用法代入句子去理解，挑选其中讲得通的一项，从而获得正确的答案。

例④“慎勿为妇死，贵贱情何薄”，我们知道“何”的主要用法和义项有：

a. 疑问代词，译为“什么”“哪里”“为什么”“怎么样”等；

b. 副词，译为“怎么能”“什么”“多么”等；

c. 通“呵”，译为“喝问”；

d. 复音虚词，译为“奈何”“何如”“何乃”“何其”等。

将其一一代入进行理解和筛选，就不难确定为疑问代词“哪里”这个义项了。

4. 句例推断法

作为“常见虚词”，它们在课文中必定多次出现过。如果平时熟读课文，能够记住大量包含“常见虚词”的例句，阅读和考试时就可用课文中结构相同的句子来推断有关虚词的含义了。

例⑤“朝野服焉，号为‘独立使君’”的“焉”，我们就可以从课文中结构相同的例句——“微波人焉”“从师而问焉”，得出此处的“焉”应该是代词，意思是“他”。

例⑥判断“与我银，为君致阁职”“谁为大王为此计者”这两句中“为”的用法，我们知道第二句中的“为”是介词“替、给”，代入第一句理解就是：“给我银子，我为你谋个内阁职务。”句子是通的，所以该处的“为”也作介词“替、给”讲。

5. 结构推断法

一是可以根据句子的对称关系来推断。文言句子讲究整齐、对称，抓住这点，我们可从一个词的意义和用法推知相同位置的另外一个词的意义和用法。

例⑦“木欣欣以向荣，泉涓涓而始流”，“而”是表修饰关系的连词，那么“以”也该和它相同，作连词表修饰关系。

二是根据词语在句子中所作的成分来推断。不同的句子成分决定了词语的词性和用法。

例⑧“纵其所如，或立于陂田”。

例⑨“尽吾志也而不能至者，可以无悔矣，其孰能讥之乎”？

第一句的“其”在句中作主语，因此应该是代词“它（指鹤）”；后一句的“其”不作句子成分，只表反问语气，因此应该是副词。

6. 成语联想法

成语是人们长期以来习用的、简洁精辟的定型词组或短句，成语绝大多数都来源于古诗文，故此，其中许多虚词的含义与用法和文言文中的完全相同。根据这一特点，利用自己熟悉的成语来推断文言虚词的含义，也是一种行之有效的好办法。

例⑩“急急乎唯进修是求”一句中“是”的意义和用法，就可根据我们熟悉的成语“唯命是从”“唯利是图”来推断，应该是助词，宾语前置的标志。

例⑪“其始相助，后必相恶”中的“相”，我们可以用成语“路见不平，拔刀相助”这一相同结构的成

语来推断，这里“相”是虚指代词“他”，有的又称“相”为特殊作用的副词。

7. 标志确认法

有些虚词是构成文言特殊句式的标志词，抓住这些标志，我们就能迅速地确定虚词的意义和用法了。如判断句的标志“者”“也”“乃”等，被动句的标志“见”“于”“为……所”等，宾语前置的标志“是”“之”等，其词性和意义是确定的，只要判断出是哪种标志，就能找到它的用法和意义了。

例⑫“使小人在侧，臣之罪也”中的“也”，只需抓住该句是“判断句”这个标志，就能确定“也”是助词，表判断语气。

例⑬“臣之壮也，犹不如人”中的“也”虽也是助词，但不是判断，只在句中起停顿的作用。

文言词义推断的原则就是“文从字顺”“合情合理”。以上介绍的七种推断方法最好能综合运用，这样从不同的角度进行理解，准确性更大，正确率更高。

附录一

常见文言虚词集录

说明：标＊者为考纲规定的18个文言虚词

安 ān

1. 疑问副词。怎么，怎样。

君安与项伯有故？（《鸿门宴》）

2. 疑问代词。什么，哪里。

沛公安在？（《鸿门宴》）

彼 bǐ

代词。(1)他，他们。

彼与彼年相若也。（《师说》）

(2)对方。

彼竭我盈，故克之。（《曹刿论战》）

知彼知己者，百战不殆。（《孙子·谋攻》）

(3)那个，那些。

逝将去女，适彼乐土。（《硕鼠》）

彼君子兮，不素餐兮。（《伐檀》）

但 dàn

1. 副词。(1)只，仅。

但闻黄河流水鸣溅溅。（《木兰诗》）

(2)尽管，只管。

卿但暂还家，吾今且报府。[《孔雀东南飞（并序）》]

2. 连词。只是，不过。

公幹有逸气，但未遒耳。（《与吴质书》）

3. 复音虚词“但使”。放在分句开头，表假设关系。

但使龙城飞将在，不教胡马度阴山。（《出塞》）

独 dú

副词。(1)只，仅仅，表范围。

而此独以钟名，何哉？（《石钟山记》）

(2)难道，表反问。

相如虽驽，独畏廉将军哉？（《廉颇蔺相如列传》）

独不怜公子姊邪？（《魏公子列传》）

＊而 ér

1. 连词。可连接词、短语和分句，表示多种关系。

(1)表示并列关系。一般不译，有时可译为“又”。

蟹六跪而二螯。（《劝学》）

(2)表示递进关系。可译为“并且”或“而且”。

君子博学而日参省乎己。（《劝学》）

(3)表示承接关系。可译为“就”“接着”，或不译。

余方心动欲还，而大声发于水上。（《石钟山记》）

(4)表示转折关系。可译为“但是”或“却”。

青，取之于蓝，而青于蓝。（《劝学》）

(5)表示假设关系。可译为“如果”“假如”。

死而有知，其几何离？（《祭十二郎文》）

(6)表因果关系。相当于“因而”。

余亦悔其随之而不得极夫游之乐也。（《游褒禅山记》）

(7)表示修饰关系。即连接状语和中心语，可不译。

吾尝终日而思矣。（《劝学》）

吾恂恂而起。（《捕蛇者说》）

2. 代词。第二人称，一般作定语，译为“你的”，偶尔也作主语，译为“你”。

某所，而母立于兹。（《项脊轩志》）

3. 复音虚词“而已”。放在句末，表示限制

的语气助词，相当于“罢了”。

一人、一桌、一椅、一扇、一抚尺而已。（《口技》）

闻道有先后，术业有专攻，如是而已。（《师说》）

耳 ěr

语气词，用于句尾。(1)表某一范围，可译为“罢了”或“只不过……罢了”。

直不百步耳，是亦走也。（《寡人之于国也》）

从此道至吾军，不过二十里耳。（《鸿门宴》）

(2)表示肯定语气。

且壮士不死即已，死即举大名耳。（《陈涉世家》）

夫 fū

1. 代词。“夫”作代词常放在名词或名词性短语之前，表近指与远指。

(1)表近指，相当于“这”或在“这”后加适当的量词。

余亦悔其随之而不得极夫游之乐也。（《游褒禅山记》）

(2)表远指，相当于“那”或在“那”后加适当的量词。

余于仆碑，又以悲夫古书之不存，后世之谬其传而莫能名者，何可胜道也哉！（《游褒禅山记》）

2. 助词。(1)用在句子的开头，表示议论或叙述的开端，称为“发语词”；也可用于复音虚词“且夫”，不必译出。

夫以疲病之卒御狐疑之众，众数虽多，甚未足畏。（《赤壁之战》）

且夫天下非小弱也，雍州之地，崤函之固，自若也。（《过秦论》）

(2)用在句末，表示感叹。相当于“啊”或“了”。

闻之：一人飞升，仙及鸡犬。信夫！（《促织》）

盖 gài

1. 副词。“盖”用在句首，作副词，表示下边说的一些话是带有推测性的断定，相当于现代汉语中的“大概”。

盖简桃核修狭者为之。（《核舟记》）

2. 连词。连接上文，表示原因，相当于“就因为”“原来是”。

不赂者以赂者丧。盖失强援，不能独完。（《六国论》）

乃悟前狼假寐，盖以诱敌。（《狼》）

3. 助词。用于句首，表示要发议论。可不译。

盖大苏泛赤壁云。（《核舟记》）

故 gù

1. 连词。表示因果关系，可译为“所以”“因此”。

臣观大王无意偿赵王城邑，故臣复取璧。（《廉颇蔺相如列传》）

有时用“是故”“以故”。

是故弟子不必不如师，师不必贤于弟子。（《师说》）

2. 副词。可译为“故意”。

公子往，数请之，朱亥故不复谢，公子怪之。（《信陵君窃符救赵》）

*何 hé

1. 疑问代词。(1)单独作谓语，问原因，后面常有语气助词“哉”“也”等。可译为“为什么”“什么原因”。

何者？严大国之威以修敬也。（《廉颇蔺相如列传》）

予尝求古仁人之心，或异二者之为，何哉？（《岳阳楼记》）

(2)作宾语，主要代处所和事物，可译为“哪里”“什么”。译时，“何”要后置。

豫州今欲何至？（《赤壁之战》）

大王来何操？（《鸿门宴》）

(3)作定语，可译为“什么”“哪”。

然则何时而乐耶？（《岳阳楼记》）

其间旦暮闻何物？杜鹃啼血猿哀鸣。[《琵琶行(并序)》]

2. 副词。(1)用在句首或动词前，常表示反问，可译为“为什么”“怎么”。

何不按兵束甲，北面而事之！（《赤壁之战》）

徐公何能及君也？（《邹忌讽齐王纳谏》）

(2)用在形容词前，表示程度深，可译为“怎么”“多么”“怎么这样”。

水何澹澹，山岛竦峙。（《观沧海》）

3. 复音虚词“何如”“何以”。

(1)“何如”常用于疑问句中，表疑问或诘问，相当于“怎么样”或“什么样”。

樊哙曰：“今日之事何如？”（《鸿门宴》）

今单车来代之，何如哉？（《信陵君窃符救赵》）

(2)“何以”即“以何”，介宾短语，用于疑问句中作状语，根据“以”的不同用法，分别相当于“拿什么”“凭什么”等。

此沛公左司马曹无伤言之。不然，籍何以至此？（《鸿门宴》）

何以战？(《曹刿论战》)

·乎 hū

1.语气助词。(1)表疑问语气，可译为"吗""呢"。

儿寒乎？欲食乎？(《项脊轩志》)

欲安所归乎？(《赤壁之战》)

(2)表测度语气，可译为"吧"。

日食饮得无衰乎？(《触龙说赵太后》)

(3)表反诘语气，可译为"吗""呢"。

信而见疑，忠而被谤，能无怨乎？(《屈原列传》)

臣虽下愚，知其不可，而况于明哲乎！(《谏太宗十思疏》)

(4)用于感叹句，可译为"啊""呀"等。

呜呼！孰知赋敛之毒有甚是蛇者乎！(《捕蛇者说》)

(5)用在句中的停顿处。

胡为乎遑遑欲何之？[《归去来兮辞(并序)》]

2.介词。相当于"于"。

(1)在。

生乎吾前……(《师说》)

(2)对、对于、给、向、跟。

吾尝疑乎是。(《捕蛇者说》)

(3)比。

其闻道也固先乎吾。(《师说》)

(4)引出宾语，不译。

君子博学而日参省乎己。(《劝学》)

胡 hú

1.副词。为什么，何，怎么。

田园将芜胡不归？[《归去来兮辞(并序)》]

2.代词。什么。

嗟尔远道之人胡为乎来哉！(《蜀道难》)

或 huò

1.代词。可译为"有人""有的""某人"等。

或师焉，或不焉。(《师说》)

回视日观以西峰，或得日，或否。(《登泰山记》)

或曰此鹳鹤也。(《石钟山记》)

2.副词。可译为"或许""也许""可能"等。

予尝求古仁人之心，或异二者之为。(《岳阳楼记》)

3.连词。可译为"或者""有时"。

人或益之，人或损之，胡可得而法！(《察今》)

4.语气词。常用于否定句中加强否定语气。

虽使五尺之童适市，莫之或欺。(《孟子·滕文公上》)

莫 mò

1.副词。(1)表示否定，可译为"不"。

稍出近之，憖(yìn)憖然，莫相知。(《驽之驴》)

(2)表示禁止或劝阻，可译为"不要"。

愿早定大计，莫用众人之议也！(《赤壁之战》)

2.代词。(1)没有(谁)。

后世之谬其传而莫能名者。(《游褒禅山记》)

权以示群下，莫不响震失色。(《赤壁之战》)

(2)没有(什么)。

如使人之所欲莫甚于生，则凡可以得生者何不用也？(《鱼我所欲也》)

·乃 nǎi

1.副词。表示前后两事在情理上的顺承或时间上的紧接，可译为"就""这才"等；也可表示前后两事在情理上是逆转相悖的，可译为"却""竟(然)""反而""才"等；还可表示对事物范围的一种限制，可译为"才""仅"等。

刿曰："肉食者鄙，未能远谋。"乃入见。(《曹刿论战》)

夫赵强而燕弱，而君幸于赵王，故燕王欲结于君。今君乃亡赵走燕。(《廉颇蔺相如列传》)

而陋者乃以斧斤考击而求之。(《石钟山记》)

臣乃敢上璧。(《廉颇蔺相如列传》)

项王乃复引兵而东，至东城，乃有二十八骑。(《史记·项羽本纪》)

2.代词。只用作第二人称，常作定语，译为"你的"；也作主语，译为"你"。不能作宾语。

王师北定中原日，家祭无忘告乃翁。(《示儿》)

3.在判断句中，起确认作用，可译为"是""就是"等。

若事之不济，此乃天也。(《赤壁之战》)

·其 qí

1.代词。又分几种情况：

(1)第三人称代词。可代人、事、物，用在名词之前，领属性定语，可译为"他的""它的"(包括复数)。

臣从其计，大王亦幸赦臣。(《廉颇蔺相如列传》)

(2)第三人称代词。一般代人，用在动词或形容词之前，作主谓短语中的小主语(整个主谓短语，在句中作主语、宾语或修饰语)，应译为"他""它"，不能加"的"。

秦王恐其破璧。(《廉颇蔺相如列传》)"其破璧"作宾语。

其闻道也固先乎吾。(《师说》)"其闻道"作主语。

百姓多闻其贤,未知其死也。(《陈涉世家》)"其贤""其死"作宾语。

(3)活用为第一人称。可用作定语或小主语,视句意译为"我的"或"我自己的"。

今肃迎操,操当以肃还付乡党,品其名位,犹不失下曹从事。(《赤壁之战》)

余亦悔其随之而不得极夫游之乐也。(《游褒禅山记》)

(4)指示代词,表远指。作定语,可译为"那""那个""那些""那里"。

则或咎其欲出者。(《游褒禅山记》)

今操得荆州,奄有其地。(《赤壁之战》)

(5)指示代词,表示"其中的",后面多为数词。

于乱石间择其一二扣之。(《石钟山记》)

2.副词。放在句首或句中,表示测度、反诘、婉商、期望等语气,常和放在句末的语气助词配合,视情况可译为"大概""难道""还要""希望"等或省去。

其皆出于此乎?(《师说》)其,表测度。

其孰能讥之乎?(《游褒禅山记》)其,表反诘。

吾其还也。(《烛之武退秦师》)其,表婉商。

尔其无忘乃父之志!(《伶官传序》)其,表祈使。

3.连词。作连词用时,通常放在句首,表假设,可译为"如果";表选择,可译为"还是"。

其若是,孰能御之?(《齐桓晋文之事》)其,表假设。

其信然邪?其梦邪?其传之非其真邪?(《祭十二郎文》)其,表选择。

4.助词。起调节音节作用,可不译。

路曼曼其修远兮,吾将上下而求索。(《离骚》)

·且 qiě

1.连词。(1)表示并列关系。

王不行,示赵弱且怯也。(《廉颇蔺相如列传》)

(2)表示递进关系。

凡四方之士无不有过而拜且泣者。(《五人墓碑记》)

且将军大势可以拒操者,长江也。(《赤壁之战》)

(3)表示让步关系,相当于"尚且"。

臣死且不避,卮酒安足辞!(《鸿门宴》)

古之圣人……犹且从师而问焉……(《师说》)

2.副词。相当于"将""将要""暂且""姑且"。

不出,火且尽。(《游褒禅山记》)

驴一鸣,虎大骇,远遁,以为且噬己也,甚恐。(《黔之驴》)

存者且偷生,死者长已矣。(《石壕吏》)

卿但暂还家,吾今且报府。[《孔雀东南飞(并序)》]

然 rán

1.连词。(1)主要表示转折,可译为"可是""但是"。

然豫州新败之后,安能抗此难乎?(《赤壁之战》)

(2)"然"有时和"而"连用,"然"代指上文所说情况,"而"表示转折,等于说"如此(这样),可是……"。

夫环而攻之,必有得天时者矣,然而不胜者,是天时不如地利也。(《得道多助,失道寡助》)

(3)"然"还常和"则"结合,"然"是承接上文事实,"则"是由此进行阐述或论断,可译为"既然如此,那么(那就)",也可单译为"那么"。

是进亦忧,退亦忧。然则何时而乐耶?(《岳阳楼记》)

2.代词。相当于口语中的"这样""如此"。

镒使之然也。(《劝学》)

不然,籍何以至此?(《鸿门宴》)

3.助词,又分两种情况:

(1)用在形容词之后,作为词尾,相当于口语的"……的"。

蒋氏大戚,汪然出涕曰……(《捕蛇者说》)

大石……森然欲搏人……(《石钟山记》)

(2)用在名词或名词短语之后,前面有"若""如""犹"等词与之照应,可译为"的样子""一般""那样"。

其人视端容寂,若听茶声然。(《核舟记》)

而半山居雾若带然。(《登泰山记》)

"然"还常作应对之辞,同口语中"是的""对的"相似。或者表示赞成、同意,即"认为是""认为对"的意思。

袁曰:"然,固有所闻。"(《谭嗣同传》)

成然之。(《促织》)

·若 ruò

1.代词。(1)表人称,相当于"你""你们";作定语时则译为"你的"。

若毒之乎?(《捕蛇者说》)若,你。

更若役,复若赋……(《捕蛇者说》)若,你的。

(2)表近指,"这""这样""如此"。

以若所为，求若所欲。（《齐桓晋文之事》）

2. 连词。（1）表假设，可译为“如果”“假如”。

若能以吴、越之众与中国抗衡……（《赤壁之战》）

（2）表选择，“或”“或者”。

以万人若一郡降者，封万户。（《汉书·高帝纪》）

与“夫”“至”结合，组成“若夫”“至若”，放在一段或另一层意思的开头，表示他转。

若夫淫雨霏霏……至若春和景明……（《岳阳楼记》）

虽 suī

1. 连词。（1）在假设关系中，先承认一种假设，后转入正意，可译为“即使”。

今虽死乎此，比吾乡邻之死则已后矣。（《捕蛇者说》）

虽累百世，垢弥甚耳！（《报任安书》）

（2）用在转折关系的句子里，作用是先承认一事实，下面再转入正意。可译为“虽然”。

豫州军虽败于长坂，今战士还者及关羽水军精甲万人……（《赤壁之战》）

2. 复音虚词“虽然”。

现代汉语用“虽然”的地方，文言只用一个“虽”字。文言的“虽然”，“虽”是转折连词，“然”是指示代词，结合在一起，有承上转下的作用，相当于“虽然如此”或“话纵然这么讲”。

虽然，犹有未树也。（《逍遥游》）

·所 suǒ

1. 用作代词。（1）经常放在动词前，同动词结合，组成“所”字结构。“所”字结构是名词性短语，表示“……的人”“……的事物”“……的情况”等。

于众人广坐之中，不宜有所过，今公子故过之。（《信陵君窃符救赵》）

当其欣于所遇，暂得于己。（《兰亭集序》）

予在患难中，间以诗记所遭。（《〈指南录〉后序》）

（2）“所”和动词结合，后面再有名词性结构，则所字结构起定语的作用。

夜则以兵围所寓舍。（《〈指南录〉后序》）

臣所过屠者朱亥，此子贤者，世莫能知，故隐屠间耳。（《信陵君窃符救赵》）

2. 在有些句子中，“为”和“所”呼应，组成“为……所……”的格式，表示被动。

为国者无使为积威之所劫哉！（《六国论》）

嬴闻如姬父为人所杀。（《信陵君窃符救赵》）

3. 复音虚词“所以”。“所”和“以”连用，文言中也常见。用法主要有两种：一种表示原因，一种表示手段或凭借。

（1）表示原因的。

亲贤臣，远小人，此先汉所以兴隆也；亲小人，远贤臣，此后汉所以倾颓也。（《出师表》）

吾所以为此者，以先国家之急而后私仇也。（《廉颇蔺相如列传》）

（2）表示手段或凭借的。

吾所以待侯生者备矣。（《信陵君窃符救赵》）

师者，所以传道受业解惑也。（《师说》）

·为 wéi

1. 语气词。位于句尾，表疑问、感叹、反诘等语气，可译为“呢”。

何故怀瑾握瑜，而自令见放为？（《屈原列传》）

何辞为？（《鸿门宴》）

wèi

2. 介词。（1）给、替。

于是秦王不怿，为一击缶。（《廉颇蔺相如列传》）

旦日飨士卒，为击破沛公军！（《鸿门宴》）

此人一一为具言所闻。（《桃花源记》）（介词后面省略宾语“之”，“为之具言所闻”即给桃花源中的人详细地说出所听说的事情。）

（2）向，对。

如姬为公子泣。（《信陵君窃符救赵》）

然此可为智者道，难为俗人言也。（《报任安书》）

（3）因为。

百姓之不见保，为不用恩焉。（《齐桓晋文之事》）

（4）表被动。

吾属今为之虏矣！（《鸿门宴》）

身客死于秦，为天下笑。（《屈原列传》）

焦仲卿妻刘氏，为仲卿母所遣。［《孔雀东南飞（并序）》］

·焉 yān

1. 语气助词。常用在句末，一般可不译出。

于是余有叹焉。（《游褒禅山记》）

有时用于反诘语气，可译为“呢”。

王若隐其无罪而就死地，则牛羊何择焉？（《齐桓晋文之事》）

用在形容词或副词后，有词尾的作用，相当于“然”。

硿硿焉，余固笑而不信也。（《石钟山记》）

2. 代词。（1）表他称。他，他们；它，它们。

以俟夫观人风者得焉。（《捕蛇者说》）

（2）表疑问。哪里，什么，怎么。

且焉置土石？（《愚公移山》）

3. 兼词。于之，于此。

永之人争奔走焉。（《捕蛇者说》）

青麻头伏焉。（《促织》）

·也 yě

语气助词，常用在句末，表示各种语气。

（1）表示判断语气。

今所谓慧空禅院者，褒之庐冢也。（《游褒禅山记》）

廉颇者，赵之良将也。（《廉颇蔺相如列传》）

（2）表示肯定语气。

斯亦伐根以求木茂，塞源而欲流长者也。（《谏太宗十思疏》）

族秦者秦也，非天下也。（《阿房宫赋》）

（3）表示疑问语气。

公子畏死邪？何泣也？（《信陵君窃符救赵》）

（4）表示感叹语气。

君美甚，徐公何能及君也！（《邹忌讽齐王纳谏》）

“也”表示疑问语气和感叹语气，句中一般要用疑问代词。

（5）用在句中，表示停顿，以舒缓语气。

师道之不传也久矣。（《师说》）

·以 yǐ

1. 介词。（1）表动作、行为所用或所凭借的工具、方法及其他。可译为“用、拿、凭、依据、按照、用（凭）……身份”等。

愿以十五城请易璧。（《廉颇蔺相如列传》）

乃入见。问：“何以战？”（《曹刿论战》）

余船以次俱进。（《赤壁之战》）

以勇气闻于诸侯。（《廉颇蔺相如列传》）

是时以大中丞抚吴者为魏之私人。（《五人墓碑记》）

（2）起提宾作用，“把”。

秦亦不以城予赵，赵亦终不予秦璧。（《廉颇蔺相如列传》）

（3）表示动作、行为产生的原因，可译为“因”“由于”。

且以一璧之故逆强秦之欢，不可。（《廉颇蔺相如列传》）

时操军兼以饥疫，死者太半。（《赤壁之战》）

（4）引进动作、行为发生的时间和处所，用法同“于”，可译为“在”“从”。

余以乾隆三十九年十二月，自京师乘风雪……至于泰安。（《登泰山记》）

今以长沙、豫章往，水道多绝，难行。（《汉书·西南夷传》）

（5）表示动作、行为的对象，用法同“与”，可译为“和”“跟”；有时可译为“率领”。

天下有变，王割汉中以楚和。（《战国策·周策》）

（公子）欲以客往赴秦军，与赵俱死。（《信陵君窃符救赵》）

2. 连词。用法和“而”有较多的相同点，只是不能用于转折关系。

（1）表示并列或递进关系，常用来连接动词、形容词（包括以动词、形容词为中心的短语），可译为“而”“又”“而且”“并且”等，或省去。

夫夷以近，则游者众。（《游褒禅山记》）

（2）表示承接关系，“以”前的动作、行为，往往是后一动作、行为的手段或方式，可译为“而”，或省去。

余与四人拥火以入。（《游褒禅山记》）

（3）表示目的关系，“以”后的动作、行为，往往是前一动作、行为的目的或结果，可译为“而”“来”“用来”“以致”等。

作《师说》以贻之。（《师说》）

敛货财以送其行。（《五人墓碑记》）

不宜妄自菲薄……以塞忠谏之路也。（《出师表》）

（4）表示因果关系，常用在表原因的分句前，可译为“因为”。

诸侯以公子贤，多客，不敢加兵谋魏十余年。（《信陵君窃符救赵》）

古人……以其求思之深而无不在也。（《游褒禅山记》）

（5）表示修饰关系，连接状语和中心语，可译为“而”，或省去。

木欣欣以向荣，泉涓涓而始流。［《归去来兮辞（并序）》］

3. 副词。通“已”，已经。

得鱼腹中书，固以怪之矣。（《陈涉世家》）

4. 复音虚词“以是”“是以”，相当于“因此”，引出事理发展或推断的结果。

以是人多以书假余。（《送东阳马生序》）

余是以记之，盖叹郦元之简，而笑李渤之陋也。（《石钟山记》）

已 yǐ

1. 副词。（1）表动作、行为、事情的完成或时间的过去，相当于“已经”。

天下已定，始皇之心，自以为关中之固，金城千里，子孙帝王万世之业也。（《过秦论》）

故不战而强弱胜负已判矣。（《六国论》）

牛困人饥日已高。（《卖炭翁》）

（2）表两件事之间相隔的时间短暂，常用“已而”，相当于“不久”“一会儿”。

庭中始为篱，已为墙，凡再变矣。（《项脊轩志》）

已而相如出，望见廉颇，相如引车避匿。（《廉颇蔺相如列传》）

(3)表程度很高或过分，常放在形容词之前，相当于“太”。

夫十有一月之中，凡富贵之子，慷慨得志之徒，其疾病而死，死而湮没不足道者，亦已众矣。（《五人墓碑记》）

2. 连词。“已”同“以”，和“来”“后”“东”“西”“上”“下”等结合，表示对时间、范围等的限定。

自董卓已来，豪杰并起，跨州连郡者不可胜数。（《隆中对》）

五代时始印五经，已后典籍皆为板本。（《活板》）

3. 助词。“已”放在句末表示动作、行为的既成状态，表示明确的肯定或否定语气，相当于“了”；有时“也”“已”连用，加强语气；有时也表感叹，相当于“啊”。

然则王之所大欲可知已。（《齐桓晋文之事》）

臣之壮也，犹不如人；今老矣，无能为也已。（《烛之武退秦师》）

矣 yǐ

语气助词。(1)用于陈述句尾，助肯定语气。有的可译为“了”，有的可不译；助已然语气，说明事情已实现，可译为“了”；助将然语气，说明事情将要实现，可译为“了”。

此为长江之险已与我共之矣。（《赤壁之战》）

庭有枇杷树，吾妻死之年所手植也，今已亭亭如盖矣。（《项脊轩志》）

事急而不断，祸至无日矣！（《赤壁之战》）

(2)用于感叹句，助感慨、讥刺、赞颂语气。可译为“了”“啊”。

甚矣，汝之不惠！（《愚公移山》）

(3)用于祈使句，助请求、劝勉、禁止语气。可译为“吧”。

公子勉之矣！老臣不能从。（《信陵君窃符救赵》）

(4)用于疑问句句末，助疑问语气。

年几何矣？（《触龙说赵太后》）

*因 yīn

1. 介词。介绍动作、行为发生的依据、方式，可分别译为“依靠”“凭借”“依照”“趁着”“经过”“通过”。

高祖因之以成帝业。（《隆中对》）

因击沛公于坐。（《鸿门宴》）

因宾客至蔺相如门谢罪。（《廉颇蔺相如列传》）

2. 连词。(1)表示顺接上文，可译为“于是”“便”。

因拔刀斫前奏案。（《赤壁之战》）

相如因持璧却立。（《廉颇蔺相如列传》）

(2)表因果。相当于“因为”“由于”。

恩所加，则思无因喜以谬赏。（《谏太宗十思疏》）

*于 yú

1. “于”是介词，总是跟名词、代词或短语结合，构成介宾短语去修饰动词、形容词，表示多种组合关系。

(1)引进动作的时间、处所、范围、对象、方面、原因等，视情况可译为“在”“在……方面”“在……中”“向”“到”“自”“从”“跟”“同”“对”“对于”“给”“由于”等。

得复见将军于此。（《鸿门宴》）于，在。

明于治乱，娴于辞令。（《屈原列传》）于，在……方面。

苟全性命于乱世，不求闻达于诸侯。（《出师表》）于，在……中。

请奉命求救于孙将军。（《赤壁之战》）于，向。

河内凶，则移其民于河东。（《寡人之于国也》）于，到。

青，取之于蓝，而青于蓝。（《劝学》）于，从。

故燕王欲结于君。（《廉颇蔺相如列传》）于，跟、同。

于其身也，则耻师焉。（《师说》）于，对、对于。

故天将降大任于是人也。（《生于忧患，死于安乐》）于，给。

(2)放在形容词之后，表示比较，一般可译为“比”，有时可译为“胜过”。

良曰：“长于臣。”（《鸿门宴》）

冰，水为之，而寒于水。（《劝学》）

有时则只是表示对象的性质和状态，可不译。

非常之谋难于猝发。（《五人墓碑记》）

(3)放在动词之后，引进行为的主动者，可译为“被”，有时动词前还有“见”“受”等字和它相应。

或脱身以逃，不能容于远近。（《五人墓碑记》）

臣诚恐见欺于王而负赵。（《廉颇蔺相如列传》）

吾不能举全吴之地，十万之众，受制于人。（《赤壁之战》）

2.复音虚词“于是”,用法与现代汉语的“于是”不完全相同。

(1)放在句子开头,表前后句的承接或因果关系,与现在的承接连词或因果连词相同。现代汉语也这样用。

于是秦王不怿,为一击缶。(《廉颇蔺相如列传》)

吴之民方痛心焉,于是乘其厉声以呵,则噪而相逐。(《五人墓碑记》)

(2)放在谓语之前或谓语之后,“于是”属介宾短语作状语或补语。可根据“于”的不同用法,分别相当于“在这”“从这”等。

于是六国之士,有宁越……之属为之谋。(《过秦论》)于是,在这时。

吾祖死于是,吾父死于是。(《捕蛇者说》)于是,在这个职业上。

* 与 yǔ

1.连词。(1)表并列,相当于“和”“跟”。

彼与彼年相若也,道相似也。(《师说》)

(2)表选择。有时单用,有时与“其”连用。后面常用“孰若”“不如”“宁”等和它呼应,意思是“与其……不如……”,意在舍弃前者,选取后者。

与人刃我,宁自刃。(《史记·鲁仲连邹阳列传》)

与其不逊也宁固。(《训俭示康》)

2.介词。表引进动作所涉及的对象,相当于“跟”“同”。

秦伯说,与郑人盟。(《烛之武退秦师》)

3.副词。通“举”,皆,都。

号令召三老、豪杰与皆来会计事。(《陈涉世家》)

4.句末语气词。通“欤”,可译为“吗”“呢”“吧”“呀”。

是谁之过与?(《季氏将伐颛臾》)

哉 zāi

语气助词,经常用在句末。(1)表示感叹语气。

嗟乎!燕雀安知鸿鹄之志哉!(《陈涉世家》)

呜呼,亦盛矣哉!(《五人墓碑记》)

(2)表示疑问语气。

譬若以肉投饿虎,何功之有哉?(《信陵君窃符救赵》)

而此独以钟名,何哉?(《石钟山记》)

(3)表示反问语气。

相如虽驽,独畏廉将军哉?(《廉颇蔺相如列传》)

* 则 zé

1.用作连词,可表示多种关系。(1)表示承接关系。一般用来连接两个分句或紧缩复句中的前后两层意思,表示两件事情在时间上、事理上的紧密联系。可译为“就”“便”,或译为“原来是”“已经是”。

项王曰:“壮士!——赐之卮酒。”则与斗卮酒。(《鸿门宴》)

故木受绳则直,金就砺则利。(《劝学》)

徐而察之,则山下皆石穴罅。(《石钟山记》)

公使阳处父追之,及诸河,则在舟中矣。(《殽之战》)

(2)表示假设关系。有的用在前一分句,引出假设的情况,相当于“假使”“如果”;有的用于后面的分句,表示假设或推断的结果,相当于“那么”“就”。

入则无法家拂士,出则无敌国外患者,国恒亡。(《生于忧患,死于安乐》)

今则来,沛公恐不得有此。(《史记·高祖本纪》)

向吾不为斯役,则久已病矣。(《捕蛇者说》)

(3)表示并列关系。这种用法都是两个或两个以上的“则”连用,每个“则”字都用在意思相对、结构相似的一个分句里,表示两个(或两个以上)分句之间(不是表示两个词之间)是并列关系。可译为“就”,或不译。

位卑则足羞,官盛则近谀。(《师说》)

(4)表示转折、让步关系。表示意思有转折时,“则”字用在后一分句,可译为“可是”“却”;表示姑且承认一件事,预备下句转入正意时,“则”字用在前一分句,可译为“虽然”“倒是”。

于其身也,则耻师焉,惑矣。(《师说》)

2.副词。用在判断句中,起强调和确认作用,可译为“是”“就是”。

此则岳阳楼之大观也。(《岳阳楼记》)

非死则徙尔。(《捕蛇者说》)

* 者 zhě

助词。(1)附在别的词或短语之后,组成名词性短语。

古之学者必有师。(《师说》)

然而不王者,未之有也。(《寡人之于国也》)

(2)放在一个词或一组词后边,起提顿作用,先用“……者”提出要说明的事物,稍微停顿一下,然后说明或论述。

大阉之乱，缙绅而能不易其志者，四海之大，有几人欤？（《五人墓碑记》）

（3）“者”有时放在时间副词之后，起语助作用，可不译。

今者项庄拔剑舞，其意常在沛公也。（《鸿门宴》）

（4）……者……也，构成判断句式。

亚父者，范增也。（《鸿门宴》）

（5）用于原因词组后，表“……的原因”，可不译。

吾所以为此者，以先国家之急而后私仇也。（《廉颇蔺相如列传》）

·之 zhi

1. 用作代词，又分几种情况：

（1）可以代人、代物、代事。代人多是第三人称，译为“他（他们）”“它（它们）”，作宾语或兼语，不作主语。

作《师说》以贻之。（《师说》）之，代人，作宾语。

驺使之然也。（《劝学》）之，代物，作兼语。

人非生而知之者。（《师说》）之，代事理，作宾语。

（2）指示代词，表近指。可译为“这”，通常作复指性定语。

均之二策，宁许以负秦曲。（《廉颇蔺相如列传》）

（3）活用作第一人称或第二人称代词，相当于“我”“你”。

君将哀而生之乎？（《捕蛇者说》）

鄙戮之人，不知将军宽之至此也！（《廉颇蔺相如列传》）

2. 用作助词，也分几种情况：

（1）结构助词，定语的标志。用在定语和中心语（名词）之间，可译为“的”，有的可不译。

若能以吴、越之众与中国抗衡……（《赤壁之战》）

（2）结构助词，补语的标志。用在中心语（动词、形容词）和补语之间，可译为“得”。

古人之观于天地、山川、草木、虫鱼、鸟兽，往往有得，以其求思之深而无不在也。（《游褒禅山记》）

（3）结构助词，宾语前置的标志。用在被提前的宾语之后、动词谓语或介词之前，译时应省去。

夫晋，何厌之有？（《烛之武退秦师》）即“晋有何厌”。

（4）结构助词。当主谓短语在句中作为主语、宾语或一个分句时，“之”用在主语和谓语之间，起取消句子独立性的作用，可不译。译时也可省去。

师道之不传也久矣！欲人之无惑也难矣！（《师说》）

悍吏之来吾乡，叫嚣乎东西。（《捕蛇者说》）

（5）音节助词，用在形容词、副词或某些动词的末尾，或用在三个字之间，使之凑成四个字，只起调整音节的作用，无义，译时应省去。

顷之，烟炎张天。（《赤壁之战》）

毛先生以三寸之舌，强于百万之师。（《毛遂自荐》）

（6）用在表时间的分句中作状语，常与“也”字呼应，相当于“……的时候”。

臣之壮也，犹不如人。（《烛之武退秦师》）

〔注：双音虚词参见文言句式中的固定句式〕

附录二

由文言虚词组成的文言固定结构

1. 无以，由动词“无”和介词“以”组成，可译为“没有用来……”“无法……”。例如：

故不积跬步，无以至千里；不积小流，无以成江海。（《劝学》）

2. 有以，译为“有用来……的办法”“有……的”。例如：

（1）臣乃得有以报太子。（《荆轲刺秦王》）

（2）项王未有以应。（《鸿门宴》）

3. 有所，译为“有……的（人、物、事）”。例如：

故患有所不避也。（《鱼我所欲也》）

4. 无所，译为“没有……的（人、物、事）”。例如：

几无所逃死。（《〈指南录〉后序》）

5. 无从，译为“没有用来……的办法”。例如：

家贫，无从致书以观。（《送东阳马生序》）

6. 是故，是以，译为“因此，所以”。例如：

是故圣益圣，愚益愚。（《师说》）

7. 所以，译为“用来……的”“……的原因”

"……的方法"。例如：

(1)师者，所以传道受业解惑也。(《师说》)

(2)此世所以不传也。(《石钟山记》)

(3)吾知子之所以距我，吾不言。(《公输》)

8.然则，译为"既然如此，那么"。例如：

是进亦忧，退亦忧，然则何时而乐耶？(《岳阳楼记》)

9.有……者，译为"有个……人"。例如：

邑有成名者，操童子业，久不售。(《促织》)

10.唯……是，由副词"唯"和助词"是"组成。"唯"限制动作行为的范围，"是"标志宾语前置。可译作"只……"。例如：

唯命是听。(《左传》)

唯余马首是瞻！(《冯婉贞》)

11.以为，它的用法比较复杂。

(1)"以为"是一个动词，译为"认为"。例如：

天下已定，始皇之心，自以为关中之固，金城千里，子孙帝王万世之业也。(《过秦论》)

(2)"以为"之间插入其他词语，成为"以……为"的固定结构。"以"是动词，译为"认为"；"为"表判断，可译为"是"，也可以不译。例如：

王以其言为然。(《史记·张仪列传》)

(3)"以为"之间插入别的词语，成为"以……为"的固定结构，"以"是介词，"为"是动词，译为"把……看做……"。例如：

然后以六合为家，崤函为宫。(《过秦论》)

(4)"以为"是一个固定结构，"以"当"任命"讲，可译为"任命……为……"。例如：

赵王因以括为将。(《史记·廉颇蔺相如列传》)

(5)"以为"译为"用来……作为"或"用……作为"。例如：

以弊席为门。(《史记·陈丞相世家》)

12.然而，指示代词"然"和转折连词"而"连用，可译为"这样却……"。例如：

老者衣帛食肉，黎民不饥不寒，然而不王者，未之有也。(《齐桓晋文之事》)

13."虽然"基本上有两种用法：

(1)连词"虽"有"即使"的意思，指示代词"然"当"这样"讲，"虽然"可译为"即使这样"。例如：

王曰："善哉。虽然，公输盘为我为云梯，必取宋。"(《公输》)

(2)连词"虽"有"虽然"的意思，指示代词"然"有"这样"的意思，"虽然"可译为"虽然这样"。例如：

虽然，每至于族，吾见其难为，怵然为戒，视为止，行为迟。(《庖丁解牛》)

14.于是，基本上有两种用法：

(1)"于是"是连词，用在句首，表示承接上文，译为"于是"。例如：

齐威王欲将孙膑，膑辞谢曰："刑余之人不可。"于是乃以田忌为将，而孙子为师。(《史记·孙子吴起列传》)

(2)"于是"是介词结构，"于"是介词，"是"是指示代词，译为"在这……""在这时……""到这种……"等。例如：

吾惛，不能进于是矣。(《齐桓晋文之事》)

15.既而，表示前后事情相联系，可译为"后来"或"不久"。例如：

既而以吴民之乱请于朝，按诛五人。(《五人墓碑记》)

16.无何，表示时间短，可译为"不多久"或"没多久"。例如：

抚军不忘所自，无何，宰以卓异闻。(《促织》)

17.无论，"无论"的"无"是否定副词，"论"是动词，可译为"不要说""不必说"。例如：

问今是何世，乃不知有汉，无论魏晋。(《桃花源记》)

18.无从，可译为"无法"。例如：

二子心计，公无从办，特示故人意耳。(《记王忠肃公翱事》)

19.无宁，用作连词，表示选择关系，常与前一个分句的"与使"相呼应，构成"与使……无宁……"的固定结构，可译为"与其……不如……"。例如：

吾尝语曰："与使吾先死也，无宁汝先吾而死。"(《与妻书》)

20.无自，表示变动不可能发生，可译为"不可能"。例如：

愚者见四方之无事，则以为变故无自而有，此亦不然矣！(《教战守策》)

第四部分　文言句式

句子中包含的词语顺序及相互配置关系不同，就构成了各种不同的句式。由于古今汉语之间有继承性，因此文言文中一般句式与现代汉语基本一致。古今汉语之间又有发展性，古汉语中存在与现代汉语整体不同或有局部差异的非一般句式，即所谓文言特殊句式，这是我们应特别关注的。文言特殊句式主要有以下几种：

一、判断句

用名词或名词性短语表示判断的句子，叫判断句。

现代汉语一般是在主语和谓语之间用判断动词"是"来表示判断的。但在古汉语里，"是"多作代词用，很少把它当做判断动词用。因此，在绝大多数情况下要借助语气词来表示判断。

常见的判断句式有以下几种：

1. 主语后面用"者"表示停顿，在谓语后面用"也"表示判断，即"……者……也"式。这种判断句式，是古汉语中表示判断的典型格式。如：

廉颇者，赵之良将也。（《廉颇蔺相如列传》）

2. 主语后面用"者"表示停顿，而谓语后面不用"也"，即"……者……"式。这种判断句式中的"者"不译，只在主语和谓语之间加判断词"是"。如：

四人者：庐陵萧君圭君玉，长乐王回深父，余弟安国平父、安上纯父。（《游褒禅山记》）

3. 主语后面不用"者"表示停顿，只在谓语后面用"也"表示判断，即"……，……也"式。这种判断句式中的"也"同样不译，只在主谓语之间加"是"。如：

项脊轩，旧南阁子也。（《项脊轩志》）

4. 前面不用"者"停顿，在谓语后面"者也"连用，表示判断，即"……，……者也"式。这种判断句中的"者也"不用译，在主谓语之间加"是"。如：

……沛公之参乘樊哙者也。（《鸿门宴》）

5. "者""也"都不用，即"……，……"式。译成现代汉语时，只需在主语、谓语之间加"是"。如：

①刘备，天下枭雄。（《赤壁之战》）

②刘豫州，王室之胄。（《赤壁之战》）

6. 用动词"为"表示判断，即"……为……"式。如：

人方为刀俎，我为鱼肉。（《鸿门宴》）

7. 用"乃、即、则、皆、必、本、系"等副词表示肯定判断，用副词"非"表示否定判断。如：

①今公子有急，此乃臣效命之秋也。（《信陵君窃符救赵》）

②此则岳阳楼之大观也。（《岳阳楼记》）

③臣本布衣。（《出师表》）

8. 用"是"作判断动词，文言文中也有，但此义出现较晚并且少见。如：

巨是凡人，偏在远郡。（《赤壁之战》）

二、被动句

在古汉语中，主语是谓语所表示行为的受动者的句式叫被动句。

常见的被动句有以下几种形式：

1. 用介词"于"引进行为的施动者，表示被动，即"谓语＋于……"的形式。如：

夫赵强而燕弱，而君幸于赵王，故燕王欲结于君。（《廉颇蔺相如列传》）

2. 在动词前边用"见"表示被动，构成"见＋谓语"的形式。如：

众人皆醉我独醒，是以见放。（《渔父》）

如果需要把动作行为的施动者介绍出来，可在动词后加介词"于"，构成"见＋谓语＋于"的形式。如：

臣诚恐见欺于王而负赵……(《廉颇蔺相如列传》)

3. 在动词前用"受"字来表示被动,构成"受+谓语"的形式。如:

其次毁肌肤断肢体受辱。(《报任安书》)

这种句中的"受"字,含有"被"的意思,后面省略了介词"于",施动者也能引出。如果需引进施动者,就构成了"受+谓语+于"的形式。如:

吾不能举全吴之地,十万之众,受制于人。(《赤壁之战》)

4. 在动词前边加介词"为",构成"为+动词"的形式。

这种句式的"为"和"见"不同:"见"是助词,不能带宾语,所以它总是紧挨着动词;"为"是介词,它可以紧挨着动词(省略了宾语),也可以引出动作行为的施动者。如:

身客死于秦,为天下笑。(《屈原列传》)

5. 用"为"引进施动者,谓语前再加"所",表示被动,构成"为……所……"式。如:

悲夫!有如此之势,而为秦人积威之所劫……(《六国论》)

"为……所……"是古汉语最常见的一种被动句形式,并且一直沿用到现代汉语里。但是,在古汉语里,"为"的行为施动者有时可以不出现,或被承前省略了,变为"……为所……"的形式。如:

不者,若属皆且为所虏!(《鸿门宴》)

6. 用介词"被"引出施动者,构成"被+动词"的形式,这种形式和现代汉语的被动句一样。如:

信而见疑,忠而被谤,能无怨乎?(《屈原列传》)

7. 无任何标志的被动句。这种被动句中没有出现任何被动词,可以根据上下文的意思补出。如:

兵挫地削,亡其六郡。(《屈原列传》)

三、省略句

句子中省略某一词语或某种成分的现象,是古今共有的。不过,文言文里这种现象更为突出,而且有些在现代汉语中一般不能省略的句子成分,古文中也经常省略。

最常见的省略句有以下几种:

1. 省略主语

主语的省略,文言文中最为常见。主要原因之一,是文言文中的第三人称代词一般不独立作句子的主语,句子若是重复前边的词句又显啰唆,这样省略主语的句子自然就多了。句子中是否省略了成分,要在整个语言环境中推断。翻译时,要根据具体情况把省略成分补出来。主语的省略,可分为"承前省""蒙后省""对话省"等形式。

(1)承前省略。如:

①廉颇为赵将,(廉颇)伐齐,大破之。(《廉颇蔺相如列传》)

②永州之野产异蛇,(蛇)黑质而白章,(蛇)触草木,(草木)尽死。(《捕蛇者说》)

(2)蒙后省略。如:

①沛公谓张良曰:"……(公)度我至军中,公乃入。"(《鸿门宴》)

②(尔)必死是间,余收尔骨焉。(《殽之战》)

(3)对话中省略。如:

①(梁惠王)曰:"不可。直不百步耳,是亦走也。"(《寡人之于国也》)

②樊哙曰:"今日之事何如?"良曰:"(今日之事)甚急!"(《鸿门宴》)

2. 省略谓语

谓语是句子最重要的部分。无论是古代汉语还是现代汉语,省略谓语的情况是比较少的。不过,在文言文中,省略谓语也不是非常个别的现象。尤其是并列的句子,如果一句用了某个动词,另一句同样的动词就可以省略。有时省略的谓语需要根据上下文补出,才能不影响意思的表达。

(1)承上文谓语而省略。如:

一鼓作气,再(鼓)而衰,三(鼓)而竭。(《曹刿论战》)

(2)蒙下文谓语而省略。如：

杀人如(恐)不能举，刑人如恐不胜。(《鸿门宴》)

(3)共喻省略，即根据上下文一看便会明白省略的是什么。如：

①公之视廉将军孰与秦王(厉害)？(《廉颇蔺相如列传》)

②后公改(任)两广，太监泣别，赠大珠四枚。(《记王忠肃公翱事》)

3. 省略宾语

文言文中省略动词或介词后的宾语是比较普遍的，所省多是代词"之"。

(1)省略动词后的宾语。如：

项伯乃夜驰之沛公军，私见张良，具告(之)以事。(《鸿门宴》)

(2)省略介词后的宾语。如：

①此人一一为(之)具言所闻。(《桃花源记》)

②竖子不足与(之)谋。(《鸿门宴》)

4. 省略兼语

"使、命、令"这类动词的宾语常兼作后边一个主谓词组的主语，这个词就称作兼语。现代汉语的兼语一般不能省略，文言文里的兼语却往往被省略，所省多是代词"之"。如：

不如因而厚遇之，使(之)归赵。(《廉颇蔺相如列传》)

5. 省略介词

古文中常常省略介词"于"，还有介词"以""自"等，这些介词与后面的宾语组成介词结构，当这个介词结构作补语时，这个介词常常被省略。

(1)省略介词"于"。如：

激昂(于)大义，蹈死不顾。(《五人墓碑记》)

(2)省略介词"以"。如：

试与他虫斗，虫尽靡；又试之(以)鸡，果如成言。(《促织》)

四、谓语前置

古今汉语里，谓语一般都放在主语之后。但是，有时为了强调谓语，也可以把它放到主语之前，这就叫谓语前置，或叫主语后说。

这种谓语前置的句式，通常出现在感叹句和疑问句中。如：

甚矣，汝之不惠！(《愚公移山》)

宜乎百姓之谓我爱也！(《齐桓晋文之事》)

五、宾语前置

动词可以带宾语，介词也可以带宾语。在文言文里，宾语通常也是放在动词或介词后边，宾语前置是有条件的。

1. 动词宾语前置

文言文中宾语提到动词前面，大致有三种情况：

(1)否定句中代词作宾语，宾语置于动词前。所谓否定句是表示否定的句子，即句中有否定副词"不、弗、未、非、否、毋"等，或表示否定的动词"无"或无定代词"莫"。如果它的宾语是代词，一般放在动词谓语之前。如：

①古之人不余欺也。(《石钟山记》)

②闻道百，以为莫己若者。(《秋水》)

(2)疑问句中疑问代词作宾语，放在动词谓语之前。

在古代汉语里，使用频率高的疑问代词为"何"字，其他还有"谁、孰、恶、安、焉、胡、奚、曷"等，它们作宾语时，也放在动词谓语之前。如：

①良问曰："大王来何操？"(《鸿门宴》)

②沛公安在？（《鸿门宴》）

（3）用“之”或“是”把宾语提到动词前，以加重语气。这种现象古汉语中并不多见。如：

①譬若以肉投馁虎，何功之有哉？（《信陵君窃符救赵》）

②无乃尔是过欤？（《季氏将伐颛臾》）

表示动作对象的单一性或强调宾语，往往用“唯……是……”和“唯……之……”等格式，可将副词“唯”译成“只”“只是”或“专”“一定”等，而助词“之”“是”是提宾的标志，不译。如成语“唯利是图”“唯命是从”“唯你是问”“唯才是举”等等，都是这种格式。

2. 介词宾语前置

文言文中，常见的介词有“于、以、为、与、从、自、向”等，它们往往与后面的名词或名词性短语结合，组成介词结构。这些在介词后的名词或名词性短语，叫介词宾语。介词宾语一般放在介词之后，文言文中在下面几种情况下放在介词之前：

（1）疑问代词作宾语，一般放在介词之前。如：

①王问：“何以知之？”（《廉颇蔺相如列传》）

②微斯人，吾谁与归？（《岳阳楼记》）

（2）介词宾语不是疑问代词，但是为了强调它，也放在介词的前面，这种情况最常见的是介词“以”的宾语前置。如：

余是以记之。（《石钟山记》）

（3）介词宾语是方位词，也放在介词的前面。

项王、项伯东向坐；亚父南向坐，——亚父者，范增也；沛公北向坐；张良西向侍。（《鸿门宴》）

六、定语后置

定语是修饰或限制名词的。定语一般要放在中心词之前，这种语序古今一致。在文言文中，除了此种情况外，也可以放在中心词之后，我们称它为“定语后置”。

常见定语后置有以下几种格式：

1. 定语放在中心词之后，用“者”字煞尾，构成“中心词＋定语＋者”的格式。这种格式中的“者”，相当于结构助词“的”。如：

（1）遂率子孙荷担者三夫。（《愚公移山》）

（2）村中少年好事者，驯养一虫。（《促织》）

（3）计未定，求人可使报秦者，未得。（《廉颇蔺相如列传》）

2. 在中心词和后置定语之间加“之”，再用“者”字煞尾，构成“中心词＋之＋定语＋者”的格式。如：

（1）安能以身之察察，受物之汶汶者乎？（《渔父》）

（2）石之铿然有声者，所在皆是也。（《石钟山记》）

3. 在中心词和后置定语之间加“而”字，再用“者”字煞尾，构成“中心词＋而＋定语＋者”的格式。如：

缙绅而能不易其志者，四海之大，有几人欤？（《五人墓碑记》）

4. 在中心词和后置定语之间加“之”字，构成“中心词＋之＋定语”的格式。如：

（1）蚓无爪牙之利，筋骨之强，上食埃土，下饮黄泉，用心一也。（《劝学》）

（2）居庙堂之高则忧其民；处江湖之远则忧其君。（《岳阳楼记》）

5. 数量词作定语有时也后置，组成“中心词＋数量词”的格式。如：

（1）军书十二卷，卷卷有爷名。（《木兰诗》）

（2）尝贻余核舟一。（《核舟记》）

七、介词结构后置

1. 介词结构“于……”常放在谓语动词后作补语，这类补语按现代汉语习惯是放在谓语动词前作状语，所以，翻译的时候，就让它作了状语，因此有人称它为“状语后置”或“介词结构后置”。如：

(1)事急矣，请奉命求救于孙将军。(《赤壁之战》)

(2)青，取之于蓝，而青于蓝。(《劝学》)

2. 介词结构“以……”有时放在谓语后作补语。这种现象在文言文中并不多见。如：

(1)乃取蒙冲斗舰十艘，载燥荻枯柴，灌油其中，裹以帷幕。(《赤壁之战》)

(2)故临崩寄臣以大事也。(《出师表》)

(3)虽董之以严刑，振之以威怒。(《谏太宗十思疏》)

八、固定句式

(一)表疑问的固定句式

1. 安所，疑问代词“安”只能和“所”组合，表处所。可译作“什么地方”。例如：

若徐州不定，将军当安所归乎？(《三国志·荀彧传》)

2. 何所，即“所何”，疑问代词前置。是“所……者何为”的移位和压缩。可译作“……的(人、物、事)干什么用”。例如：卖炭得钱何所营？(《卖炭翁》)

3. 何以，即“以何”的倒装。表示疑问。可译作“用什么办法”“有什么”“为什么”“凭借什么”。例如：

(1)何以言之？(《赤壁之战》)

(2)何以战？(《曹刿论战》)

4. 如何，奈何，若何，译为“怎么、怎么样、怎么办”。例如：

(1)孔明用如此人物，如何不误事？(《失街亭》)

(2)奈何取之尽锱铢，用之如泥沙？(《阿房宫赋》)

(3)取吾璧，不予我城，奈何？(《廉颇蔺相如列传》)

(4)使归就戮于秦，以逞寡君之志，若何？(《殽之战》)

5. 如……何，译为“对……怎么办”。例如：

如太行、王屋何？(《愚公移山》)

6. 奈……何，译成“把……怎么办”。例如：

巫妪、三老不来还，奈之何？(《西门豹治邺》)

7. 何如，常用来问行为方式或事物状况，可译为“怎么样”。“何如”还经常用于对人或事物进行比较，相当于“孰与”的用法，译为“比……怎么样”。例如：

(1)更若役，复若赋，则何如？(《捕蛇者说》)

(2)王孝伯问谢公：“林公何如右军？”谢曰：“右军胜林公。”(《世说新语》)

8. 何遽，表示问原因，译为“怎么”。例如：

此何遽不为福乎？(《塞翁失马》)

(二)表反问的固定句式

1. 不亦……乎，译为“不是……吧”。例如：

有朋自远方来，不亦乐乎？(《论语·学而》)

2. 何……为，译为“还要……干什么”。例如：

如今人方为刀俎，我为鱼肉，何辞为？(《鸿门宴》)

3. 何以……为，由疑问代词“何”、介词“以”和动词“为”组成。“何以”即“以何”的倒置。“何以……为”等于介词结构加动宾词组“为何”。可译作“用(要)……做什么”。例如：

敌未灭，何以家为？(《宋史·岳飞列传》)

4. 何……之有，疑问代词“何”同它所修饰的中心词共同作“有”的宾语。为了强调宾语，把“何”提前。

"何有"之间嵌入结构助词"之"作"何"提前的标志，表示反诘。可译作"有什么……呢"。例如：

(1)宋何罪之有？(《公输》)

(2)曾若以肉投馁虎，何功之有哉？(《信陵君窃符救赵》)

5. 何有于……，表反诘，可译作"对于……来说，又有什么呢"。有时可理解为"何……之有"，但它中间的词语被省略，译时应补出。例如：

默而识之，学而不厌，诲人不倦，何有于我哉？(《论语·述而》)

6. 庸……乎，译为"难道……吗"。例如：

吾师道也，夫庸知其年之先后生于吾乎？(《师说》)

7. 其……乎，表示诘问或揣度，译为"难道……吗"或"大概……吧"。例如：

(1)我中国其果老大矣乎？(《少年中国说》)

(2)圣人之所以为圣、愚人之所以为愚，其皆出于此乎？(《师说》)

8. 如之何，奈何，译为"怎么……呢"。例如：

君子于役，如之何勿思。(《诗经·君子于役》)

民不畏死，奈何以死惧之。(《老子》)

(三)表推测、揣度或商榷的固定句式

1. 得无……乎，得无……耶，译为"恐怕……吧"或"莫非……吧"。例如：

(1)览物之情，得无异乎？(《岳阳楼记》)

(2)得无教我猎虫所耶？(《促织》)

2. 无乃……乎，译为"恐怕……吧"。例如：

师劳力竭，远主备之，无乃不可乎？(《殽之战》)

3. ……之谓也，其……之谓也，其……之谓乎，译为"说的就是……啊""大概说的就是……吧"。例如：

(1)诗曰："孝子不匮，永锡尔类。"其是之谓乎？(《郑伯克段于鄢》)

(2)闻道百，以为莫己若者，我之谓也。(《秋水》)

(四)表感叹的固定句式

1. 何其，它一般有两种用法：一种是表示原因和程度，译为"为什么""多么"；一种是表示感叹语气，译为"多么"。例如：

(1)南郭惠子问于子贡曰："夫子之门何其杂也？"(《荀子》)

(2)至于誓天断发，泣下沾襟，何其衰也！(《伶官传序》)

2. 一何，有的写作"壹何"，经常用在动词、形容词前，增强感叹语气，可译为"多么"。例如：

吏呼一何怒！妇啼一何苦！(《石壕吏》)

(五)表比较的固定句式

1. 孰与，与……孰，译为"跟……比较，哪一个……"。例如：

(1)吾孰与徐公美？(《邹忌讽齐王纳谏》)

(2)吾与徐公孰美？(《邹忌讽齐王纳谏》)

2. 孰若，译为"哪里比得上"。例如：

与其坐而待亡，孰若起而拯之？(《冯婉贞》)

(六)表选择或并列的固定句式

1. 非……则，表示选择。可译作"不是……就是……"。例如：

非死则徙尔。(《捕蛇者说》)

2. 其……其……，表示选择。可译作"是……还是……"。有时候前一个"其"字可省略。例如：

诚爱赵乎？其实憎齐乎？(《史记·赵世家》)

3. 且……且……，由两个连词"且"组成。表示并列关系，有时候前一个"且"字可省略。可译作"一面……一面……""又……又……""边……边……"等。例如：

又有若老人咳且笑于山谷中者，或曰此鹤鹤也。(《石钟山记》)

第五部分　文言文断句及翻译

一、文言文断句

古人著书基本上是不加标点的，古代的文章（不论哪种体裁）基本上是没有标点的，我们今天所看到的有标点的文言文，其中的标点都是今人加上去的。因此，我们阅读文言文，就要靠自己断句、加标点，从而理解文章的内容，把握文章的艺术技巧。这样，断句、加标点就成了我们阅读文言文的一项不可缺少的重要内容。

古人把读文断句加标点叫"句读（dòu）"，句末处用"。"断开，叫"句"；语意未完而需要停顿处用"，"断开，叫"读"。古人也是讲究断句的，不能正确地断句，就无法读懂文章。

句读虽说是一门"小"学问，但它也包含许多内容和知识，不可轻视。对于一般人来说，断句难在不理解词语，没有把握住固定格式和特殊句式，没有熟悉古代文言常识，缺乏对各种修辞格的掌握。因为文言文断句是以明晓这些知识为基础的，所以，要下工夫弄清这些知识。

一般说来，断句、加标点要依照以下三项原则：一要通读全文，整体把握文章的内容和主题；二要仔细体会词语的含义和词语之间的关系；三要先易后难，逐步缩小范围，直至断开全文，加上正确的标点。

（一）根据词性、语序断句

文言文中词语的词性和词语的组合顺序，古今基本是一样的。这样，就可根据词语的词性和它们的语法关系来断句，例如"右领军大将军贺若弼自谓功名出朝臣之右每以宰相自许"这一句，经查：只有"谓、出、许"三个动词，"自、每、自"三个副词，一个助词"之"，一个介词"以"，其余都是名词。在这几类词语中，三个副词、一个助词、一个介词的前后关系不言自明。主要是三个动词，而"谓"又是个特殊的动词，表示"认为"的意思。由此可知，它前面是陈述对象，它后面便是关涉的内容，内容比较复杂，当是一种情况。而"许"处在句尾，本为动词。可见全句词性清楚，词语之间的关系明了，其加标点后的句子应是这样的："右领军大将军贺若弼，自谓功名出朝臣之右，每以宰相自许。"一般来说，按词性和词语的组合顺序来断句是最可靠而又最易把握的。

现将根据词性断句的方法总结如下：

1. 发语词领句断句　文言文中常用的发语词有"盖""夫""且夫""今夫"等，其作用主要是领起句子，断句时要在这些词前断开。如明代张溥《五人墓碑记》："五人者/盖当蓼洲周公之被逮，激于义而死焉者也。"《烛之武退秦师》："君之所知也/夫晋，何厌之有？"

2. 时间词语领句断句　文言文中常见的表时间的词语有"是时""后""昔者""日者""既已""既而""向者（乡者）""俄而（俄顷）""方今""有顷（顷之、顷间）""乃今（乃今而后、而今而后）"等。根据文言文中常见的时间词语可以断句。如《韩非子·内储说下六微》："楚成王以商臣为太子/既而又欲置公子职。"此句应在时间副词"既而"前断开。

3. 复音虚词领句断句　复音虚词用于句首有几个特点：一、这些词领起的不一定是完整的句子，一般都领起一个分句。二、复音虚词之前，大多不用主语，主语大部分承前省略。三、也有不在这些词前断开的，特别是在短句中。常用于文言句首的复音虚词有"其惟""岂惟（岂特、岂独、岂徒）""岂足""然且（然犹、然尚）""然则""故夫""大抵""得毋（得无）""何为（何谓、胡为、曷为、奚为）""何以""何其（曷其、奚其、胡其）""何必""何不（胡不）""何故""何乃""乃遂""难以""未必""无乃"等。断句时，根据文意往往要在这些词的前面断开。如《报任安书》："今少卿乃教以推贤进士/无乃与仆之私心剌谬乎？"此句在"无乃"前断开。

4. 谦辞领句断句　根据文言文句首常见的谦辞断句。常见的谦辞有"下官""窃""寡人""孤""仆""愚""妾""贱妾""婢子"等。断句时，结合相关动词的位置，如果确定它们处在句首，要在这些词前断开。如《史记·廉颇蔺相如列传》："对曰：'臣尝有罪/窃计欲亡走燕。臣舍人相如止臣……'"此句应在"窃"前断开。

5. "故""然"领句断句　文言文"故"字常领起推论句或结论，"然""然而"领起转折句。根据这些

特征可以断句。如《孟子·梁惠王上》:"……是不为也,非不能也/故王之不王,非挟太山以超北海之类也;王之不王,是折枝之类也。"《寡人之于国也》:"黎民不饥不寒/然而不王者,未之有也。"

6.方位词领句断句　方位词在文言文中常常连用或对用,当它们用于领起句子时,可作为帮助断句的标志。如《史记·河渠书》:"西瞻蜀之岷山及离碓/北自龙门至于朔方。"句中"西""北"各领起一个句子。

7.语气词句尾断句　文言文中句尾常见的语气词有"与(欤)""邪(耶)""乎""哉""也""矣""焉""耳"等,这些词之后要断开。例如《季氏将伐颛臾》:"求,无乃尔是过与/夫颛臾……"此句在"与"后断开。《论语·里仁》:"子曰:'见贤思齐焉/见不贤而内自省也。'"此句在"焉"后断开。

8.叹词断句　文言文中常见的叹词有"嗟夫""呜呼""呜呼哀哉""嘻"等,断句时,要在这些词前后断开。例如欧阳修《秋声赋》"噫嘻悲哉/此秋声也!"叹词要独自断开。

9.呼语断句　呼语是句子的独立成分,断句时要在其前后断开。如宋欧阳修《祭石曼卿文》:"呜呼曼卿/吾不见子久矣,犹能仿佛子之平生。"唐白居易《与元九书》:"微之(元稹,字微之)/古人云:'穷则独善其身,达则兼济天下。'""呜呼曼卿""微之"都是呼语,应在其前后断开。

10.序数词断句　文言文中序数词有时清晰地标示句子的层次,以此可以断开句子。如《资治通鉴·汉纪二》:"夫立策决胜之术,其要有三/一曰形/二曰势/三曰情/形者,言其大体得失之数也;势者,言临时之宜进退之机也;情者,言其心志可否之实也。"句中有三个清晰的序数词标志,可以断开。

(二)根据特殊句式、固定格式断句

文言文中有许多惯用的特殊句式和固定格式,例如宾语前置、定语后置、介词结构后置、谓语前置、判断句、被动句等,抓住这些相沿习用的惯用句式,进行断句。例如"吾观今天下形势莫便于姑苏粟帛莫富于姑苏甲兵莫利于姑苏然而不霸者将劣也"这一句,有三个介词"于",且构成三个相同的介词结构,又都处在句中形容词的后面,显然是介词结构后置。又有一个呼应的"……者……也"句式,显然构成了判断句。这样,此句的标点就应该这样加上去:"吾观今天下,形势莫便于姑苏,粟帛莫富于姑苏,甲兵莫利于姑苏,然而不霸者,将劣也。"抓住这些有特殊形式的句子,断句也就容易得多了。

固定结构是各种不同句式中逐渐形成的凝固的词与词的搭配关系。每一种固定结构都有其特定的使用范围,表达特定的语气和词语间的特定关系。熟悉和掌握这些固定结构可以判断句式,帮助断句。如"……者……也"结构表示判断,"宁……无……"结构表示取舍,等等。现将根据固定结构断句的方法总结如下:

1."……者……也"断句　文言文中固定结构"……者……也"表示判断。"者"前表示被判断的对象,"也"前表示判断的内容。断句时,要在"者"后和"也"后断开。如《史记·陈涉世家》:"陈胜者/阳城人也/……"

2."……者也"断句　"……者也"是文言文中基本的判断句形式之一。有"……者也"结构的句子应在"者也"后断开。如《逍遥游》:"《齐谐》者,志怪者也/《谐》之言曰……"

3."非……则……"断句　古文中有"非……则……"结构的句子,当"非""则"后领起的各是一个句子时,应在"非"和"则"前断开,表示非此即彼的判断,相当于"不是……就是……"。如《送东阳马生序》:"其业有不精,德有不成者/非天质之卑/则心不若余之专耳。"

4."非……必……"断句　文言文中有"非……必……"结构的句子,应在"必"前断开,表示二者必居其一,非此即彼。如《韩非子·难势》:"此味非饴蜜也/必苦菜、亭历也。"《战国策·魏策四》:"不出攻则已,若出攻,非于韩也/必魏也。"

5."非……即……"断句　即根据文言文中判断句的固定结构"非……即……"断句。"非""即"后若各领一个分句,表示非此即彼的判断,应在"即"前断开。如《史记·陈丞相世家》:"项王不能信人,其所任爱,非诸项/即妻之昆弟。"此句在"即"前断开。

6."如……何"断句　即根据文言文中疑问句的固定结构"如……何"进行断句。如《愚公移山》:"其如土石何?""其"是表示推测的语气词,常用在句首,因此,应在"其"前与"何"后断开。如果"如……何"("奈……何""若……何")用在动词前,它就不是一个独立的句子,而是作动词的状语,不能在"何"后断开。如《论语·微子》:"子路曰:'不仕无义。长幼之节,不可废也;君臣之义,如之何其废之?'"《左传·襄公二十六年》:"是吾师也,若之何毁之?"

7.“奈……何”断句　文言文中固定结构“奈……何”是疑问句的标志，可以据此断句。如西汉褚少孙《西门豹治邺》：“巫妪、三老不来还/奈之何？”在“奈”前与“何”后断开。

8.“若……何”断句　文言文中疑问句的固定结构“若……何”表示“对……怎么样”的疑问语气，可以据此判断疑问句。如《殽之战》：“公曰/若楚惠何？”

9.“何……焉为”断句　文言文中固定结构“何……焉为”表示强烈的疑问语气，可以据此断出疑问句。如《墨子·公输》：“夫子何命焉为？”此句在“焉为”后断开。

10.“无乃……乎”断句　“无乃……乎”是文言文中表示疑问的一种固定结构，可以依此断句。如《殽之战》：“师劳力竭，远主备之/无乃不可乎？”此句应在“无乃”前与“乎”后断开。

11.“何有于……”断句　文言文中反诘句的固定结构“何有于……”“奚有于……”“……于何有”都表示“……于……何有”的反诘语气，可根据含有“何有于……”的标志断出反诘句。如《论语·述而》：“默而识之，学而不厌，诲人不倦/何有于我哉？”

12.“不亦……乎”断句　文言文中反诘句的固定结构“不亦……乎”，是表示“不是……吗”的习惯句式，用反问语气表示肯定。断句时，要在含有“不亦……乎”结构的反诘句的前后断开。如《论语·学而》：“子曰：‘学而时习之/不亦说乎/有朋自远方来/不亦乐乎/人不知而不愠/不亦君子乎？’”引文中有三个含有“不亦……乎”结构的反诘句，都要在各句前后断开。

13.“非……而何”断句　文言文反诘句的固定结构“非……而何”肯定“非”字后面的人或事，含有排除其他任何可能性之意。断句时，要在含有“非……而何”的反诘句的前后断开。如《史记·陈丞相世家》：“上曰：‘吾用先生谋计，战胜克敌/非功而何？’”“非功而何”表示疑问语气，要在句子前后断开。此外，还有“非……而谁”“非……如何”都是表示反问语气，断句情况与“非……而何”同。

14.“庸……乎”断句　文言文中固定结构“庸……乎”表示反诘语气，意思为“难道……吗”，可以据此标志断出反诘句。如唐代韩愈《师说》：“吾师道也/夫庸知其年之先后生于吾乎？”

15.“诚……则……”断句　文言文中固定结构“诚……则……”表示假设语气，依此可以断出假设句。其中“诚”意为“果真能”“要是真的”，“则”意为“就”，分别用于假设句的领起假设条件和领起结果两个分句。一般可在“则”前断开。如《谏太宗十思疏》：“诚能见可欲/则思知足以自戒。”

16.“苟……则……”断句　文言文中固定结构“苟……则……”表示假设语气，是假设句的标志。“苟”意为“假如”“如果”，领起假设条件句，“则”领起结果句。一般可在“则”前断开。如《荀子·法行》：“故君子苟能无以利害义/则耻辱亦无由至矣。”

17.“若……则……”断句　文言文中固定结构“若……则……”连接假设复句，“若”领起假设分句，“则”领起结果分句。一般可在“则”前断开。如《孟子·梁惠王上》：“王若隐其无罪而就死地/则牛羊何择焉？”

18.“使……则……”断句　文言文中固定结构“使……则……”连接假设复句，“使”领起假设条件分句，“则”领起结果分句。一般可在“则”前断开。如汉代王充《论衡·问孔》：“使当今有孔子之师/则斯世学者皆颜、闵之徒也/使无孔子/则七十子之徒，今之儒生也。”

19.“宁……其宁……”断句　文言文中固定结构“宁……其宁……”“宁其……宁其……”表示选择关系，意为“是……呢，还是……呢”。断句时，一般在后一个“宁其”或“其宁”前断开。如《庄子·秋水》：“此龟者，宁其死为留骨而贵乎/宁其生而曳尾于涂中乎？”《吕氏春秋·贵信》：“曹刿谓鲁庄公曰：‘君宁死而又死乎/其宁生而又生乎？’”

20.“宁……无……”断句　文言文中固定结构“宁……无……（宁……毋……、宁……不……、宁可……不……）”表示取舍关系，“宁”之后是决意要取的，“无（不、毋）”之后是决意要舍的。断句时可在“无（不、毋）”之前断开。如《北齐书·元景安传》：“大丈夫宁可玉碎/不能瓦全。”《战国策·韩策一》：“臣闻鄙语曰/宁为鸡口/无为牛后。”

21.“尚……况……”断句　文言文中固定结构“尚……况……”表示递进关系，类似这一固定结构的还有“尚……何况……”“尚犹……而况……”“犹尚……况……”“尚犹……况……”“犹尚……又况……”等。根据这个特点，可以在“况（何况、而况、又况）”前断开。如《廉颇蔺相如列传》：“且庸人尚羞之/况于将相乎？”

(三)根据修辞技巧断句

古人写文章是很讲究修辞技巧的。有的讲究句式的整齐、音律的和谐,有的讲究对仗、对称、排比、重叠等修辞格的运用。在给文言文断句、加标点时,充分注意到这些修辞现象,就会给断句、加标点带来很多便利。如"人在少年神情款定所与未狎熏渍陶染言笑举动无心于学潜移暗化自然似之何况操履艺能较明易习者也",就可利用修辞现象进行断句、加标点。这段文字可断为"人在少年,神情款定,所与未狎,熏渍陶染,言笑举动,无心于学,潜移暗化,自然似之,何况操履艺能较明易习者也"。

现将根据修辞断句的方法总结如下:

1. 比喻断句　比喻词往往是比喻句的重要标志。断句时,先判断出比喻词,然后找出与之相关的前后句子。如《吕氏春秋·察今》:"故治国无法则乱,守法而弗变则悖,悖乱不可以持国。世易时移,变法宜矣/譬之若良药,病万变,药亦万变。"句中"譬之"领起比喻句"若良药……",是鲜明的比喻句标志。

2. 对比断句　对比论述多出现在古代论说文中,根据对比句的起止可以断句。如《劝学》:"锲而舍之/朽木不折/锲而不舍/金石可镂。"句中"舍之"和"不舍"两种情况对比,由此分别产生相反的结果。

3. 顶真断句　顶真也叫"联珠",是把上一句末尾的词语作为下一句开头的词语,一句一句首尾蝉联的修辞手法。根据这种特点,断句时要在蝉联的相同词语间断开。如《汉书·霍光传》:"初,霍氏奢侈,茂陵徐生曰:'霍氏必亡。夫奢则不逊/不逊必侮上/侮上者,逆道也。'"在两个"不逊"和两个"侮上"之间断开。

4. 重复断句　文言文中重复的修辞手法有词语重复、短语和句子重复以及句式重复几种情况,这是断句的标志之一。断句时,先找到重复的部分,然后找到前后与之相关的词语或句子,断出完整的句子。如汉代刘敞《天子五门议》:"天子三朝/诸侯三朝/天子外朝在皋门之外/诸侯外朝在库门之外/天子内朝在毕门之内/诸侯内朝在路门之内。"

5. 排比断句　排比句有几个特点:句子结构相同;每句字数大体相等;常使用一些相同的虚字或重复的词语。依照这些特点可以进行断句。如《谏太宗十思疏》:"将有作,则思知止以安人/念高危,则思谦冲而自牧/惧满溢,则思江海下百川。"

6. 对偶断句　古文中对偶句使用很多,而且用法灵活。往往重复使用几个虚字,内容相对,甚至词语相对。断句时,可以先把对偶句标出来,再去寻求其他句子的起止。如《荀子·劝学》:"吾尝终日而思矣,不如须臾之所学也/吾尝跂而望矣,不如登高之博见也。登高而招,臂非加长也,而见者远/顺风而呼,声非加疾也,而闻者彰/假舆马者,非利足也,而致千里/假舟楫者,非能水也,而绝江河/君子生非异也,善假于物也。"此句可先找出对偶句,然后再根据"者""也""矣"等标志细断。

(四)根据其他条件断句

1. 对话用语的词语标志断句　文言文中,有些对话带有对话标志,如"语、曰、云、言、道、白、对、谓"等,可抓住这些对话标志语进行断句。如:"齐威王魏惠王会于郊惠王曰齐亦有宝乎威王曰无有。"抓住文段中的"曰",就可断为:"齐威王、魏惠王会于郊。惠王曰:'齐亦有宝乎?'威王曰:'无有。'"掌握这些对话用语的标志,对断句是大有帮助的。

2. 章法特点断句　文言文有一定的章法特点。例如:①开合有序,即先总述后分述或先分述后总述;②杂中见整,即诸多的叙事中含有总述性的句子;③纹丝不乱;④错落有致。根据这些章法上的特点,可以理清文章脉络,帮助断句。

3. 文体特点断句　文言文的不同文体特点可以帮助断句。例如议论文有论点、论据和归纳的结构特点,以及句式严谨的形式特点。断句时,要抓住论点,找出论证的层次脉络,先断出重点句子,进而断出所有句子。叙事性文章内容上有时间、地点、人物、原因、结果等要素,语言灵活、句式变化大。断句时,可以先找出谓语再找出主语,然后合并,观照各句。骈体文以双句为主,讲究对仗声律,断句时,在韵脚处断开,然后依据对仗、字数等特点逐句断开。韵文有严格的字数、句数、用韵、平仄、对仗等格律要求,断句前要熟悉各种韵文的格律,以便断开句子。

4. 音韵断句　上古时代的古籍不但诗歌押韵,散文也有押韵的。用韵的目的是为了便于记诵。懂得音韵,可在韵脚处断句,给标点古籍带来很多方便。相反,不懂音韵可能引起错误。如《史

记·淮阴侯列传》中的一段话有人是这样标点的："夫功者难成而易败，时者难得而易失也；时乎，时不再来，愿足下详察之。""时"与"来"的古音同属"之"部，"时乎时，不再来"是韵语。应在"时乎时"的后一个"时"后点断，"乎"用在句中加强语气。按韵脚点断不仅语句通顺，而且人物说话时的急迫语气也会表现得很充分。

附录

文言断句歌

文言断句莫畏难，熟读精思是关键。
理解结构看对称，上下语境仔细观。
特殊句式要推敲，词性词义要精研。
章法主旨全理解，方可断句加标点。
常用虚词是标志，更有规律供参看。
"盖""夫"通常列句首，"矣""耳"之后标句点。
句末"耶""乎"表疑问，"哉"字后面加感叹。
"曰"字后面加冒号，"于""而"只在句中间。
判断常用"者"和"也"，前逗后句往上填。
多读多练最重要，句读也要靠语感。

二、文言文翻译

（一）文言文翻译的原则

翻译文言文的三个基本原则是"信""达""雅"。

"信"的要求是忠实于原文的内容和每个句子的含意，用现代汉语字字落实、句句落实直译出来，不可随意地增减内容。

"达"的要求是翻译出的现代文表意要明确、语言要通畅、语气不走样。

"雅"的要求是用简明、优美、富有文采的现代汉语把原文的内容、形式以及风格准确地表达出来。这一点是把文言文译成现代汉语的最高要求。能做到这一点必须同时对我国的古今语言十分熟悉，并有较强的驾驭语言的能力和修养。这对中学生来说是很困难的。同学们在翻译文言文时只要能做到"信"和"达"就可以了。

（二）文言文翻译八字法

1. **留**。专有名词、国号、年号、人名、物名、地名、职称、器具等，可照录不翻译。例如：

庆历四年春，滕子京谪守巴陵郡 （《岳阳楼记》）

2. **补**。在翻译文言文时应补出省略成分。例如：

（成名）喜置（之于）榻上，（子）半夜复苏 （《促织》）

3. **删**。删去不译的词。例如：

夫战，勇气也 （《曹刿论战》）"夫"发语词。翻译时应删去。

公将鼓之 （《曹刿论战》）"之"起补足音节的作用，无实义，应删去。

4. **换**。在翻译时应把古词换成现代词。例如：

"而翁归，自与汝复算尔"中"而""翁""汝"应分别换成"你""爹""你"。

5. **调**。在翻译时，有些句子的词序需要调整（谓语前置、定语后置、宾语前置、介宾结构后置等）。例如：

"甚矣，汝之不惠"可调成"汝之不惠甚矣"的形式。

"蚓无爪牙之利"可调成"蚓无利爪牙"的形式。

6. **选**。选用恰当的词义翻译。对文言文中古今异义、一词多义的情况，须根据语境选用恰当的词义。例如"顾"：

相如顾（回头）召赵御史 （《廉颇蔺相如列传》）

君臣相顾（看），不知所归 （《伶官传序》）

大行不顾（考虑）细谨 （《鸿门宴》）

眷顾（思念）楚国，系心怀王 （《屈原列传》）

三顾（拜访）臣于草庐之中 （《出师表》）

顾（但）计不知所出耳 （《荆轲刺秦王》）

人之立志，顾（难道）不如蜀鄙之僧哉 （《为学》）

7. **固**。固定格式的固定译法。例子见"固定句式"部分。

8. 意。文言文中的比喻、借代、引申等意义，有时直译会不明确，应用意译。例如："秋毫不敢有所近"不能直译为"连秋天里野兽的毫毛也不敢接近"，应意译为"连最小的东西都不敢占有"。

(三)难句翻译

文言难句是由文言词按照一定的文言句式组成的，文言难句翻译之"难"，主要在于对文言词义和句式的理解有困难。其中，文言词义的理解难度更大，因为有很多文言词义跟现代汉语词义不一样，同学们不容易理解。词义不能理解，句意也就不能正确译出。同学们必须准确理解文言词义，这是解决文言难句翻译这个问题的关键。文言词义的理解要注意下列几个问题：

1. 注意词的古今异义

由于词义的发展变化，有的词古今意义有所不同，需要仔细辨别。例如，"去"的现今常用意义是"到……去"，古代的常用意义是"离开"，动作趋向古今恰恰相反。《烛之武退秦师》中"亦去之"应译为"晋军也离开郑国"。"偷"今义常指"偷窃"，古义常解为"苟且""马虎"。《商君书·农战》中"善为国者，仓廪虽满，不偷于农"，此句应译为"善于治理国家的人，粮仓即使充实，对农业也不马虎"。

2. 注意一词多义

有的文言词在不同的语言环境中，具有不同的意义，这种一词多义的现象如果理解有误，也容易导致文言难句翻译的失误。例如"兵"：

斩木为兵(兵器)，揭竿为旗 (《过秦论》)

项羽兵(军队)四十万，在新丰鸿门 (《鸿门宴》)

废池乔木，犹厌言兵(战祸) (《扬州慢》)

3. 注意词类活用和通假字

常见的词类活用，有名词用作动词，名词用作意动、使动，形容词用作动词，形容词用作意动、使动；动词的使动用法等。还要注意通假字。例如：

既东(向东，名作状)封(把……当做边疆，意动)郑 (《烛之武退秦师》)

天下云(像云那样，名作状)集响(像声响那样，名作状)应，赢粮而景(通"影")从 (《过秦论》)

4. 注意辞格典故

在文言文中常会遇到一些不易翻译的含修辞格的句子。如司马迁《报任安书》中"亦颇识去就之分矣，何至自沉溺缧绁之辱哉"一句，"缧绁"代指一种刑罚，译句则应表明；又如《左传·僖公四年》中"君惠徼福于敝邑之社稷，辱收寡君……"一句，很隐讳、委婉地表达了意思，翻译时则应表明其用意，译成"您如果不毁灭我国，肯跟我们结成同盟……"；再如王勃《滕王阁序》中"冯唐易老，李广难封""屈贾谊于长沙，非无圣主；窜梁鸿于海曲，岂乏明时"用了冯唐、李广、贾谊、梁鸿的故事来影射不得志和受贬斥的遭遇，发泄他的"时运不齐，命途多舛"的感慨，翻译时可用"就像……"一类句式表明语意。文言文中还有一种特殊的修辞格"互文"，翻译时要加以还原，补全意思。如"主人下马客在船"(《琵琶行》)、"岸芷汀兰"(《岳阳楼记》)，这是互文见义，可译为"主人、客人一同下了马，一同上了船"和"岸上和小洲都长着小草和兰花"。

碰到典故，要弄懂并译出在文中的用意。比如"元嘉草草，封狼居胥"(《永遇乐·京口北固亭怀古》)应译为"……想要建立像汉朝霍去病追击匈奴至狼居胥山封山而还那样的功绩"。

5. 注意文化知识

有的文言文选段常常牵涉到古代礼俗、天文、地理、典章制度等文化知识，在文句翻译时也要留意，以免弄错。

(四)文言文翻译常见的失误

1. 不需翻译而翻译

在文言文中凡是国名、地名、人名、官名、帝号、年号、器物名、度量衡等，在翻译时，可以原封不动地保留下来，不用翻译，因为这些词一般都无法与现代汉语对译。

2. 以今义当古义

有的词语随着社会的发展，意义已经变化了，有的词义扩大，有的词义缩小，有的词义转移，有的感情色彩发生了变化，有的名称说法改变。因此，要根据原文的语境确定词义，不可以今义当古义。

下面几例翻译均是不妥的：

(1)后秦击赵者再，李牧连却之。(《六国论》)

译成：后来秦国再来攻打赵国，李牧连续打退了它。

(2)使者大喜，如惠语以让单于。(《苏武传》)

译成：使者听了很高兴，按照常惠说的来辞让单于。

(3)(虎)断其喉，尽其肉，乃去。(《黔之驴》)

译成：老虎咬断驴子的喉咙，吃完驴子的肉，才到树林中去。

(4)先帝不以臣卑鄙。(《出师表》)

译成：先帝(刘备)不认为我卑鄙无耻。

这四句翻译均犯了以今义当古义的毛病。例(1)中"再"是词义转移，译句应为"后来秦国又两次攻打赵国"。

例(2)的"让"属于词义缩小，在古代汉语中既可以表"辞让、谦让"之意，又可表"责备"之意，而现在只用于"辞让、谦让"的意思。译句中的"辞让"应改为"责备"。

例(3)的"去"是词义转移，由古义"离开某地"的意思，转移为后来的"到某地去"。意义完全相反。译句中的"才到树林中去"，应改为"才离开"。

例(4)的"卑鄙"属于感情色彩变化。在古代，这个词是中性词，指地位低下，见识浅陋。现在是贬义词，指人的行为或品质恶劣。译句则以今义当古义，应改为古义。

3. 该译的词没有译出来

例如：以相如功大，拜为上卿。(《廉颇蔺相如列传》)

译成：以蔺相如的功劳大，拜他为上卿。

译句没有把"以"译出来，应当译成"因为"；也没有把"拜"译出来，应当译成"任命"。

4. 词语翻译得不恰当

例如：不爱珍器重宝肥饶之地。(《过秦论》)

译成：不爱惜珍珠宝器肥田沃土。

译句中把"爱"译成"爱惜"不当，"爱"有爱惜之意，但在这个句子中是"吝惜"的意思。

5. 该删除的词语仍然保留

例如：师道之不传也久矣。(《师说》)

译成：从师学习的风尚也已经很久不存在了。

译句中没把原句中的"也"删去，造成错误。其实原句中的"也"是句中语气助词，起到舒缓语气的作用，没有实际意义。在翻译时，完全可以去掉。在文言文中有些只表示停顿、凑足音节，或者是调节语气的助词，或者是起连接作用的虚词，它们没有实在的意义，虽然在原文中是必不可少的，但在翻译时，因为没有相应的词可以用来表示它，应该删除不译。比如表示判断的"者"和"也"或"……者也""……者……也"，在翻译时应该从译句中去掉，并在适当的地方加上判断词"是"。

6. 省略成分没有译出

文言文中，有的省略成分没有必要翻译出来，但有的省略成分必须翻译出来语意才完整。

例如：权以示群下，莫不响震失色。(《赤壁之战》)

译成：孙权给群臣看，没有谁不吓得改变了脸色的。

译句中的"以"后面省略"之"，指代曹操的书信，而译句中没有译出来，应该在"孙权"后边加上"把曹操的书信"才显得清晰完整。

7. 该增添的内容没有增添

在翻译时，有时为了使文句符合现代汉语的习惯，必须增添一些内容，才算恰当。

例如：今刘表新亡，二子不协。(《赤壁之战》)

译成：现在刘表刚刚死亡，两儿子不团结。

在数词"两"后边加上量词"个"，语气才显得流畅。

再如：由是先主遂诣亮，凡三往，乃见。(《隆中对》)

译成：因此，先主刘备就去拜访诸葛亮，总共去了三，才见到他。

译句中应在数词"三"后加上量词"次"。

8. 无中生有地增添内容

一般来说，文言文翻译必须尊重原文的内容，不能根据个人的好恶增添内容，以致违背原文的意思。否则，就会造成失误。

例如：三人行，必有我师焉。(《论语》)

译成：几个人在一起走，肯定有品行高洁、学有专长、乐于助人并且可以当我老师的人在里面。

译句中的"品行高洁、学有专长、乐于助人"，原句中没有这个内容，是翻译者随意加进去的，应删去，这样才符合原句的意思。

9. 应当译出的意思却遗漏了

没有把全句的意思说出来，只说出了一部分意思。

例如：子曰："学而时习之，不亦说乎？"(《论语》)

译成：孔子说："学习后要复习，不也是很高兴的事吗？"

译句把"时"的意思漏掉了，应该在"复习"前加上"时常"二字，才是意思完整的译句。

10. 译句不符合现代汉语语法规则

在古代汉语中，有一种倒装句，这种句子在翻译时，一般要恢复成现代汉语的正常句式。

例如：蚓无爪牙之利，筋骨之强。(《劝学》)

译成：蚯蚓没有爪子和牙齿的锋利，筋骨的强壮。

译句没有将定语后置的部分按现代汉语的正常语序来译，正确的翻译应该是：蚯蚓没有锋利的爪子和牙齿，强壮的筋骨。

11. 没有考虑词类活用

在古代汉语中，词语的活用是一种很普遍的现象，翻译时要尽量译出活用来。

例如：此人皆意有所郁结，不得通其道，故述往事，思来者。(《报任安书》)

译成：这些人都是心中忧愁苦闷，不能推行他们的理想，所以论述历史，思考后来的人。

译句把"思"的使动用法给忽略了，应该是"使……了解自己的思想"。

(五)文言句式翻译举例

高考试题中文言文翻译难度近几年一直在提升。试题有的是语段中的，有的是从阅读材料外另选一段，即与第Ⅰ卷文言阅读语段脱钩。对文言文句式的考查，是"隐性考查"，即虽不明确说是考查文言句式，但是许多试题句子是典型的文言句式。如翻译"季布名所以益闻者，曹丘扬之也"一句，既考查了"所以……者"表示原因，又考查了判断句的翻译。

如果考生不具备文言句式方面的知识，翻译时就会出现问题。如何在高三迎考复习中紧扣"文言句式隐性考查"这一新的要求，有针对性地训练，就显得非常重要。下面就翻译文言文句式方面举例说明。

1. 翻译出句间隐含的关系

古汉语句间关系与现代汉语句间关系的表现形式不尽相同，其意译成分较浓，很少用关联词语，而现代汉语复句间的关系多用关联词语来表达，因而翻译时需把古汉语句式中暗含的句间关系用关联词语补出。

例(1)：置杯焉则胶，水浅而舟大也。(《逍遥游》)

译文：在里面放上杯子就贴地了，(因为)水太浅船太大。

此句暗含因果关系，前句是结果，后句分析原因。

例(2)：吾妻之美我者，私我也。(《邹忌讽齐王纳谏》)

译文：我的妻子认为我漂亮，是(因为)偏爱我。

文言文中表示解释的句子，在被解释的事物和解释的句子之间往往不加关联词语，翻译它们时要灵活加上。

2. 有些特殊句子，翻译时需要合并或扩充

例(1)：向之所欣，俯仰之间，已为陈迹。(《兰亭集序》)

译文：从前令人感到喜悦的事物，很短的时间就已经成为往事。

文言四字句中有些往往是半句话，翻译时要跟邻句合为一句完整的话。

例(2)：有席卷天下，包举宇内，囊括四海之意，并吞八荒之心。(《过秦论》)

译文：秦有并吞天下，统一四海的雄心。

有些文言文，为了增强气势，行文时加以渲染藻饰，翻译时需要合并处理。句中"席卷天下""包举宇内""囊括四海""并吞八荒"四个短语，如果一一翻译出，就显得赘余。

例(3)：小学而大遗，吾未见其明也。(《师说》)

译文：小的方面学习，大的方面(反而)放弃了，我看不出(他们)是明智的。

这类句子言简意丰，只有充实内容，才能翻译通顺，使之完整。文言文中有些短句，也可能包含两层或两层以上的意思，为了表明句间关系，翻译时要把它们分为两句或两句以上。

3. 特殊句式的翻译

要翻译的句子往往包含某种特殊句式，因而应首先把握这些句式的关系，翻译时要符合现代汉语的语法习惯。

(1)翻译省略句时要补出省略成分

古代汉语在一定条件下常常省略一些主语、谓语、宾语和介词"于"等句子成分。考试时要翻译的句子往往有一些省略句，翻译时要及时补出省略的内容。

例①：公之视廉将军孰与秦王？(《廉颇蔺相如列传》)

译文：您看廉颇将军跟秦王相比哪一个更(厉害)？

原文中"秦王"后面省略了谓语"威"，翻译时要补出。

例②：怨不在大，可畏惟人；载舟覆舟，所宜深慎。(《谏太宗十思疏》)

译文：怨恨不在大小，可怕的是老百姓；(老百姓像水一样)能够承载船只，也能够颠覆船只，这应当谨慎地对待。

如果在翻译时两个分句间不补充"老百姓像水一样"，那么译文就不连贯。

(2)倒置句式的翻译

古代汉语中有些倒置句式，如宾语前置、定语后置、介词结构后置、主谓倒置等。翻译它们时要换为现代汉语的常式句。

例①：大王来何操？(《鸿门宴》)

译文：大王来时带着什么礼物？

这是一个宾语前置句，不能翻译为"大王来时什么拿着"。

例②：人马烧溺死者甚众。(《赤壁之战》)

译文：烧死淹死的人马很多。

这是一个定语后置句，翻译时需要把定语"烧溺死者"放到中心语"人马"之前。

例③：去以六月息者也。(《逍遥游》)

译文：凭借六月的大风离开(北海)。

如果译为"离开(北海)凭借六月的大风"，就不符合现代汉语的习惯。应该把"凭借六月的大风"调到谓语"离开"之前。

(3)疑问句要翻译出疑问语气

古代汉语中的疑问句，一般借助疑问代词或疑问语气词构成，另外有一些表示反问的习惯用法，如"如……何""奈……何""不亦……乎""何……为""何……之有"等，要翻译出疑问语气。

例①：夫庸知其年之先后生于吾乎？(《师说》)

译文：哪里管他们的生年比我早还是比我晚呢？

例②：独五人之嗷嗷，何也？(《五人墓碑记》)

译文：只有这五个人光照日月，是什么原因呢？

例③：孔子云："何陋之有？"(《陋室铭》)

译文：孔子说："有什么简陋的呢？"

(4)判断句的翻译

古汉语中,判断句一般是用名词或名词性短语作谓语来表示判断的,一般不用现代汉语中的判断词"是",因而在翻译时要加上"是"。古汉语常用"者也""……者……也""乃""则""即"等表判断,或直接用主语连接谓语表判断。

例①:师者,所以传道受业解惑也。(《师说》)

译文:老师,是靠他来传授道理、讲授学业、解释疑难问题的。

例②:此则岳阳楼之大观也。(《岳阳楼记》)

译文:这就是登上岳阳楼观赏到的最美的景象。

例③:刘备,天下枭雄。(《赤壁之战》)

译文:刘备是天下的英雄豪杰。

(5)被动句的翻译

古汉语中,主语是谓语动词所表示行为的承受者的句子叫被动句。常用"于""见""见……于""为""为……所""为所"等表被动,或不用被动词直接表被动。翻译时要将这些词译为现代汉语的"被"。

例①:为巡船所物色。(《〈指南录〉后序》)

译文:我被敌人的巡逻船搜寻。

例②:臣诚恐见欺于王而负赵。(《廉颇蔺相如列传》)

译文:我实在担心被大王欺骗而辜负了赵王。

例③:予羁縻不得还。(《〈指南录〉后序》)

译文:我被软禁而不能回朝。

4. 特殊句式中需要删略一些词语

文言助词"之"作为宾语前置的标志,无实义,翻译时可以省略。"者"在判断句中,用在名词或名词性成分之后,兼有标明语意停顿、引出下文的作用;"也"表判断,翻译时均可以不译出。凡是只表示语气、停顿、补足音节和舒缓语气的虚词,都要省略不译。

例(1):句读之不知,惑之不解。(《师说》)

译文:不晓得标点断句,不能解决疑难问题。

例(2):廉颇者,赵之良将也。(《廉颇蔺相如列传》)

译文:廉颇是赵国的杰出将领。

5. 固定句式的翻译

例(1):吾孰与徐公美?(《邹忌讽齐王纳谏》)

译文:我跟徐公相比哪一个更漂亮?

例(2):其李将军之谓也?(《史记·李将军列传》)

译文:大概是说李将军的吧?

要翻译出固定句式"孰与""其……之谓"。

6. 有修辞手法的句子的翻译

古汉语中,有时也使用较多的修辞,在翻译时也要注意,比如比喻、互文等。

例(1):歌台暖响,春光融融;舞殿冷袖,风雨凄凄。(《阿房宫赋》)

译文:台上传来的歌声,像春天一样温暖;大殿里长袖舞动,像风雨一般凄冷。

例(2):东西植松柏,左右种梧桐。[《孔雀东南飞(并序)》]

译文:(在坟墓)四周种上松柏梧桐。

附录

文言文翻译歌诀

熟读全文,领会文意;扣住词语,进行翻译。
字字落实,准确第一;单音词语,双音换替。
国年官地,保留不译;遇有省略,补充词语。
调整词序,删去无义;修辞用典,辅以意译。
推断词义,前后联系;字词句篇,连成一气。
对照原文,检查仔细;通达完美,翻译完毕。

第六部分　文言文文意理解

一、筛选文中信息的方法

所谓“文中信息”，是指文言文所包含或蕴含的知识、观点、材料等等。所谓“筛选文中信息”是指整体上把握文言文段大意后，对信息材料进行辨别、筛选，其实质仍是考查对文意的理解。在高考题中，筛选文中的信息类题目，往往是指根据阅读的指向要求，给出几个有关信息选项，要求辨析其正误。就内容而言，往往是分析某个事件发生的原因，某种发展导致的结果，某个论点成立的根据，某人个性或性格的表现形式，等等。这种对信息的筛选，在高考中最常见的是定向考查的方式，即挑选若干文句分别编为四组，要求找出全都说明某个问题的一组。此外，还有采用对某一具体问题直接提问的方式。

文中的信息，有明示和隐含之别。所谓明示信息，就是在文章中说得明明白白的事实、明明白白的意向。做这样的题目，关键是把握好“虚”的内涵、范围，判断好“实”的属性，从而达到恰当的对应。所谓隐含信息，就是字面上没有明说，要读者经过推断或比较、联想才能领悟到的信息。比如，隐含的前提和结论，修辞的委婉和含蓄，材料的类同和差异，省略的成分和句子，等等，都可以归入隐含信息。

主要筛选方法有以下几种：

1. 通读全文，把握文意

文章是信息的载体。文章的正文以及标题、作者、背景、注释等，都能向读者传递信息。文章的信息和材料有主次之分。一般来说，文章的主要意旨、主要事件或说明的主要事物，是文章的主要信息和材料；而枝蔓的事件或附带的事物，则是文章的次要信息和材料。在分析过程中，要准确把握隐含信息，先要弄清相关文字的字面含义，同时还得顾及全面，把握整体，推断时更要遵守逻辑规则。要在通读全文的基础上，把握文章的主要信息。

2. 弄清题干要求，根据要求筛选

“跳读法”是筛选信息较为常用的方法。因为对一篇文言文来说，我们不可能一下子完全读懂，采用“跳读法”，可以把不懂的字、词跳过去，来捕捉文中的信息。这些信息有时是有一定标志的，如全文中心句、段落起始句、段末总结句、作者议论性的文字等。

这里需要注意的是，有些语言信息孤立地看是重要的，但却是不符合题干要求的。面对众多的“有效”信息，我们要根据题干要求，正确认识信息所涉及的对象和范围，然后有针对性地去分析、概括和归纳，做到有的放矢。

3. 剔除无效信息

我们从文章中筛选出来的信息有些往往是相似的，这就要求我们一定要有清晰的思路，仔细地去分析、辨别，从而剔除干扰项，得出所要的正确答案。

二、归纳内容要点的方法

1. 归纳内容要点，要注意文体的特点

记叙性文字，要理清时间、地点、人物，事件的起因、经过、结果。一般的传记文，要弄清作者记了哪几件事，表现了人物的哪些性格特点和精神风貌。议论性文字要理清论点、论据及论证方法等。说明性文字要理清说明对象、说明内容和说明方法。

2. 归纳内容要点，要善于分析结构层次

文章的结构层次，是文章的骨架和脉络，它具体展现作者记叙、描写、说明、议论的思路。而作者

的思路是通过层与层之间、段与段之间的内在联系反映出来的。所以，分析文章的结构层次，是研究作者的写作意图、把握作品思想内容的重要方法。

分析的方法可按时间顺序归纳，可按地点的转换或空间顺序归纳，可按时空结合的顺序归纳，可按材料性质分类归纳。这些视具体的文章而定。分析文章的层次，有助于理清作者的思路，把握文章的主旨。

3. 概括中心意思，要善于从整体上理解

概括文章的中心意思，是在归纳内容要点的基础上进行的。它既指文章主要内容的概括叙述，又指作者的立场、观点、思想感情及写作意图。对与中心关系不大的难字、难词、难句，有的不必过于纠缠。

4. 归纳内容要点，要扩展视野，进行综合分析

归纳内容要点，要注意充分利用文章的题目、文中或文后的注释、文章出处、作者情况等信息，结合学过的有关知识综合分析，从而多方面理解文章的内容。此外，研究文章标题、分析主要的人和事、联系作品背景也有助于概括文章的中心思想。

总之，"归纳内容要点，概括中心意思"一类的试题，设题的着眼点是阅读材料的整体，考查是否读懂了材料，因此，解题时要根据选项内容，确定与之相对应的阅读区间，一一对应比较，找出符合要求的答案。由于近几年这类题多采用选错项的形式，题目选项所给的信息绝大多数是正确的，这可以帮助我们理解文意。因此，有人提出用"倒吃甘蔗"的方法来解答文言文阅读题，也就是从最后一道题做起。我们倒不一定照搬别人的方法，但把阅读材料和试题全都读完后，对文章说了些什么，命题人要考什么，要做到心中有数，然后再着手答题，无疑是正确的解题思路，可以有效地提高答题的正确率。

三、分析概括作者观点态度的方法

1. 文中筛选法

首先弄清选项中的"观点态度"所指的具体对象、文句范围，也就是要看选项中列举的作者的观点态度是针对哪一个人物、哪一桩事件的，具体在文中表现为一个语句、一件事、一个文段，还是涉及全文。其次，将选项列出的"观点态度"与文中筛选出的相应的"观点态度"加以比较，如果题干要求选正确项，则选两者吻合的；如果要求选错误项，则选两者不相符合的。

2. 概括评价法

作者在文中的观点态度是通过对人物、事件、事理的记叙、描写、议论、抒情等表现出来的，因而在阅读时，就要从人物的言行、某一事件的叙述、某一事理的说明中，在领悟、分析、综合的基础上，概括评价作者的观点态度，拿这种评价与选项中的评价比较辨析，从而选出符合题干要求的选项。

作者的观点或态度，无论是通过哪一种表达方式表现出来，其内容往往都既会有积极的一面，又会有历史的、阶级的局限性。所以，在具体分析其内容时可从以下几个方面着手：①了解作者所处的时代和社会背景，认识其写作动机；②看其对劳动人民的态度；③看其对统治阶级的态度；④看作者阶级的、历史的局限性；⑤看其作品在当时的意义；⑥看其在今天有无进步意义。

3. 抓住关键语句

一般给出的文言文都是节选的一段文字或整篇文章，这样就要注意抓关键语句。如议论文的一个段落往往有一个小论点(可能是全文的一个分论点)，这个小论点也常在段落开头或结尾部分揭示。记叙性文段中的抒情、议论性语句或直接交代写作动机的句子，一般都是直接表达作者的看法或写作目的的关键语句。

"分析概括作者在文中的观点态度"，是文言文阅读考查的最高层级。它是前面所提到的各项能力要求的综合体现。只有准确地把握住语句的含意，辨别并筛选文章中的信息后，才能对文章的基

本内容倾向和作者的观点态度进行概括并作出客观正确的评价。所以,“筛选文中的信息”“归纳内容要点,概括中心意思”“分析概括作者在文中的观点态度”这三条要求,有时是结合在一起的,特别是后两条,有时很难截然分开。要概括文章的内容要点和中心意思,必然要通过对文中有关信息的筛选来把握;概括作者在文中的观点态度也离不开对文章内容要点、中心思想的分析。这三方面是一个层层深入的分析和综合的过程,而这方面的考查,在今后文言文阅读中有加强的趋势,同学们在复习的过程中,应该格外注意。

四、文言文文意理解指要

(一)抓住信息语境,理解信息含意

1. 考点指要

考点:筛选文中的信息。所谓“信息”,在传记文(或记人小说)中,指传记对象(人物)的言谈举止;所谓“筛选”,即找出所列信息符合题干要求(传记文中主要指人物的性格)的选项。一般题型是从下列组合之中找出符合题干要求的一项:(1)给出 6 条“信息”(文中原句),各选 3 条分为 4 组,每组表现人物某一特点;(2)8 条分 4 组,每组 2 条,每条分别表现人物性格的一个侧面。该考点考查的是对命题者从文中选出的信息进行甄别与判断的能力。

2. 方法指要

(1)要具备阅读浅近文言文的能力,能读懂原文,了解全文大体意思。(2)要找准信息的语境(上下文),语境要完整。(3)根据语境判断信息是否符合题干要求。有的语境已经明示信息的含意,抓住这类语句,判断就更容易。

(二)归纳概括要找准语段

1. 考点指要

考点:归纳内容要点,概括中心意思。其考试形式多是由试题设计者对文中所记事实或所论道理进行分析和概括,分列 4 项,让考生找出其中不符合题干要求的一项。错误选项(一般指不符合文意)的设计大致有如下几种:(1)张冠李戴,即把甲做的事安到乙身上;(2)半真半假,即选项所说一人所涉事实,部分真实,部分不真实(或他人所为,或情节失真);(3)强加因果,即所列事实之间本无因果关系而被强加;(4)以偏赅全,即所列事实不足以证明结论。

2. 方法指要

(1)要具备阅读浅近文言文的能力,能读懂原文,了解全文大体意思。(2)要找准选项所在语段。(3)将选项与文段进行对比,与文段不合者,即为错项。有的选项说法是对文中语句的概括或推断,文中没有明确相对应的语句,则须仔细揣摩,看是否合乎文意。

(三)概括中心要读懂全文,抓住关键

1. 考点指要

文言文阅读中的“概括中心意思”,除上篇所说选择题,还有问答题。此类题型,一般要求考生用自己的话概括文章的中心(有时即人物的思想)。其考查点,一是阅读能力,二是概括能力,三是表达能力。其要求远远高于选择题,因而难度较大。对文章中心的概括,要求准确、全面,这就必须仔细揣摩文意,理解重要语句,体会作者的用意。

2. 方法指要

(1)要具备阅读浅近文言文的能力,能读懂原文,了解全文大体意思。特别是起关键作用的句子。(2)找出关键句,即表现文章中心或人物思想的句子。这些句子或是作者的议论,或是文中人物的语言。(3)结合全文,分析这些关键句的深刻含意。

第七部分 古诗词鉴赏

高考《考试大纲》在"古代诗文阅读·鉴赏评价"能力中提出了两点要求：①鉴赏文学作品的形象、语言和表达技巧；②评价文学作品的思想内容和作者的观点态度。这两点要求主要是针对诗词鉴赏而言的。由此可见，古代诗词鉴赏主要考查四个方面的内容，即形象、语言、表达技巧和思想内容，作者的观点态度应该包含在思想内容中。这四个方面也是诗词鉴赏的主要命题方向。

鉴赏古诗词中的形象，不仅指人物形象，还包括其中的意象；鉴赏这些艺术形象的内涵，就是要分析、判断它们包含的作者的思想感情和社会意义。鉴赏古诗词的语言，判明其是否准确、鲜明、生动、富于形象性和感染力，在理解的基础上，通过调动想象、联想、比较等多种方法，领悟其中的妙处。分析表达技巧及表达效果。评价思想内容和作者的观点态度，指在理解的基础上，判明其正确或错误，深刻与否，等等。

一、古诗词鉴赏的步骤、方法

(一)从内容方面理解

解答诗词鉴赏题，不能一开始就逐项与原诗词比较，首要的是阅读理解。只有理解了一首诗或一首词曲，才能有针对性地作出回答。因此，诗词鉴赏的关键是阅读理解。

那么，怎样去阅读理解、分析鉴赏诗词呢？下面作一简单阐述。

1. 先弄懂作品的表层意思

任何情感，任何内容，均需要通过语言这个载体来表达，因而弄清作品的字面意义是理解作品深层意义的第一步。理解作品的表层含义需要注意两点：

(1)明白词语的含义。这里词语的含义并非指一般的意义，而是指特殊的含义。其一是诗、词、曲中使用的典故，只有理解典故的意义才能进一步理解作者的用意。如辛弃疾的《永遇乐·京口北固亭怀古》："元嘉草草，封狼居胥，赢得仓皇北顾。"此句中"封狼居胥"即用典，原指汉代霍去病追击匈奴至狼居胥山，封山而还的事，此隐指南宋张浚隆兴元年北伐而败于符离之事。其二是一些词语的语境意义常和一些修辞手法连在一起。如"红杏枝头春意闹"中的"闹"字，即不是"闹"字的一般意义，它生动而形象地描绘了杏花盛开时成团成簇的盛况及蜂飞蝶舞的繁忙景象等，这里"闹"字有充盈、盎然的意思。

(2)理清句子的结构。诗词的语言力求凝练，有时还要求对仗，讲究音韵，因而不同于一般散文的语言。其句子结构的特点，一是省略跳跃，如"枯藤老树昏鸦，小桥流水人家，古道西风瘦马""鸡声茅店月，人迹板桥霜"即此类句子。读诗词时，须将这些互有关联的景物组织起来加以理解。二是语序有时不是正常的排列，理解时须调成正常语序。如"碧梧栖老凤凰枝"，理解时应将语序调成"凤凰老栖碧梧枝"，句中语序的调整主要根据词语意义之间的关系。

2. 进一步理解深层含义

对有些句子，只停留在表层意思是远远不能理解作者的真正意思的，这就需要通过语言这个表现形式去深味作者所要表达的真情实意，弄懂诗句的语境意义和意境意义。

(1)诗词句的语境意义。一般应从两个方面去把握：①对上下文中的有关词语要联系起来理解。如杜甫《将赴荆南寄别李剑州》中"使君高义驱今古，寥落三年坐剑州。但见文翁能化俗，焉知李广未封侯？……"，"焉知李广未封侯"句的表面意为"怎么知道您像李广一样不能被封侯"，那么此句要表达的真实意思是什么呢？一应弄明白"李广未封侯"的典故。李广，汉初抗匈奴名将，屡建战功，但终未封侯受赏，因而有"冯唐易老，李广难封"之叹；二应联系上文语境来看，李剑州"高义驱今古"，"文翁能化俗"，高风亮节，功绩卓绝；但"寥落三年坐剑州"，既未被重用更未受封，因而作者对李剑州的不公待遇深感不平。但作者更主要的是从积极角度去安慰、鼓舞李剑州，以李广喻李剑州功绩显赫，虽寥落暂处剑州，但以后会有锦绣前程。②联系作者所写事件的历史背景。作者要表达的意思不是

无病呻吟，也不是凭空而来，而是有感而发，因而联系作者的处境及作品的背景，可以使我们更深入地理解诗词的内容。如《永遇乐·京口北固亭怀古》中"凭谁问，廉颇老矣，尚能饭否"，联系辛弃疾的生活背景及社会状况，我们不难理解，辛弃疾面对金兵进攻，虽年事已高，但壮志不已，仍想杀敌立功。可南宋统治者却不思退敌，因而对辛弃疾置之不理。作者以廉颇自比，说自己还不如廉颇，廉颇暮年尚有人问询，而自己却连人问也没有。壮志难酬，内心惆怅，不免发出连连哀叹。

(2)诗词句的意境意义。诗句的意境即作者的思想感情与生活图景的融合，要理解诗歌语句的意境意义，首先应分析作品中所叙的事、所写的景是什么，然后在脑海中形成那种事、景所展示的画面，再根据这种画面去想象作者处于其中会有何种感情。如"前村深雪里，昨夜一枝开"，作品所写的景：寒风凛冽的严冬，大雪封地，一枝红梅却傲然怒放了。一派银装素裹之中，却有那么娇艳的一点红，不仅写出了梅的形态美，而且也写出了梅花抗寒斗雪的孤傲品格。作者讴歌红梅，也正体现了作者的品格与情操。再如柳永的《雨霖铃·寒蝉凄切》中景、事与情的融合，更是浑然一体。

体会诗句的意境，重要的是脑海中能浮现出作品中所叙之事、所绘之景的画面，能设身处地地体味作者的思想感情，同时把握作者所写之景的感情基调是明快高亢还是阴暗低沉，这样才能较准确地把握作品的深层含义。

(3)快速准确地把握古典诗词思想内容的方法：

①从题目抓住题材。

题目是诗词的眼睛。一般来说，它总是会或多或少、或隐或显地揭示所写的内容。故鉴赏诗词时，要抓住题目，分析题目所传达的信息，把握题目与诗词内容的关系。

其一，有助于整体把握诗词题材。如苏轼的《念奴娇·赤壁怀古》，从题目可知，此为怀古词，而怀古往往意在伤今，表达的是作者对现实的思考，抒发的是作者的思想感情。理解了题目，就找到了理解此类诗词的钥匙。

其二，有助于理解具体内容。有些诗词的题目可以帮助理解诗词中词语的含义。如刘禹锡的《石头城》，"山围故国周遭在，潮打空城寂寞回"两句中的"故国""空城"，即题目中的"石头城"。明乎此，这两句的意思也就豁然开朗了。

其三，有些题目往往照应绝句的前两句或律诗的前四句。绝句的前两句和律诗的前四句，一般要点题，交代时间、地点、人物、环境、事件等，往往照应题目。抓住这类题目，有助于理解律绝的前半部分内容。如杜甫的《登高》，前两联"风急天高猿啸哀，渚清沙白鸟飞回。无边落木萧萧下，不尽长江滚滚来"，照应题目，写登高所见。

其四，要注意一些咏物之作，要联想到有关背景，思索它是否借物咏怀或托物言志的作品。

题目在诗词中的作用，一般为：或统领全诗，或照应某些句子，或揭示某些词语的含义，鉴赏诗歌时，要借助其来理解诗词内容。

②由注释小序破解内容。

古人作诗，诗前时有小序。这是理解诗的内容的钥匙，如白居易《琵琶行》诗文前的小序不可忽视。注释往往是对诗歌中的关键字词的解释及诗歌写作时间、时代背景的交代，它能帮助读者更好地理解作品。一旦诗中出现了小序和注释，阅读时就要足够重视。再如2009年广东卷《月》这首诗，注释中标明：安史之乱后，杜甫曾困居于鄜唐。由此，就暗示了该诗的写作背景是在安史之乱杜甫颠沛流离后困居之时，从而就可明确该诗蕴涵的情感中包含的还有对时局国事的忧虑，对早日结束战乱的渴望。总之，抓住小序与背景注释，做诗词鉴赏题，就不会剑走偏锋，背离原作。切记，命题者所提供的信息，对做题都不是多余的。其中隐含的信息，大致正是答案所在。

③从作者联想背景。

背景包括作者生活的时代背景和作者创作时的思想背景，前者是"文为世"的反映，后者是"诗言志"的表现。所以，要很好地理解一首诗词，一定要联系有关背景。高考试卷所选的作者一般考生并不陌生。作者所写的内容、所表现的思想、所抒发的情感都由他生活的时代背景、他的学识修养、思想遭遇甚至诗风所决定。所以了解了作者的生平、思想、诗风及他们生活的时代背景，我们才能在鉴

赏中准确把握诗歌流露的情感、价值倾向等。如2009年天津卷《严郑公宅同咏竹》一诗，对本诗主旨的把握，就需要联系作者的身世和价值倾向来把握。我们知道早年杜甫心怀美好的政治理想，希望有机会能"致君尧舜上，再使风俗淳"，所以就不难看出诗末二句暗含了渴望受到严武提携之志。再如，辛弃疾曾经在抗金斗争的最前线出生入死，南归之后又遭到投降派的排挤和打击，所以其词多为回忆过去的战斗生活，或者表达报效朝廷无门的愤懑情绪，风格豪放悲慨。

④从褒贬辨别倾向。

褒贬即作者的思想感情倾向。这一点从词语的褒贬中可得流露。如胡世将的《酹江月·秋夕兴元使院作，用东坡赤壁韵》："神州沉陆，问谁是、一范一韩人物。北望长安应不见，抛却关西半壁。塞马晨嘶，胡笳夕引，赢得头如雪。三秦往事，只数汉家三杰。　　试看百二山河，奈君门万里，六师不发。阃外何人，回首处、铁骑千群都灭。拜将台欹，怀贤阁杳，空指冲冠发。阑干拍遍，独对中天明月。"胡世将是南宋力排和议而主恢复的主将之一。这首词开始用"沉陆"一词，表现中原沦陷的悲愤之情。接着用"问谁是、一范一韩人物"，与下面"北望长安应不见，抛却关西半壁"对比，"一范一韩"指的是北宋时驻守西北边境的范仲淹与韩琦。这既表达他追慕先贤的感情，也在深慨当代没有这样的人物。"三秦往事，只数汉家三杰。"汉家三杰，就是辅助刘邦夺取天下的张良、萧何与韩信。用"往事"，用"只数"，含蓄地表现出"时无英雄"的感慨。下阕作者写道"奈君门万里，六师不发"，以鲜明的态度反对屈辱的和议。"拜将台欹，怀贤阁杳。"这是在怀念韩信和诸葛亮，但用一"欹"一"杳"，再次暗寓"时无英雄"之慨，所以，作者感叹"空指冲冠发"。最后，作者写道："阑干拍遍，独对中天明月。"显示他内心忧愤既巨且深，再也无法平复了。这首词就是用了这些褒贬分明的词语，鲜明地表达出作者反对议和力主恢复中原的志向。

⑤从诗眼领悟主旨。

诗眼是诗中最能开拓意境和表现力最强的关键词句，是足以使全诗生辉的聚焦点。诗眼分句中眼和篇中眼。所谓"句中眼"，是指能使诗句生动形象以至"活"起来的一两个关键性的字（即现代汉语中的"词"），"一字之响，能使全句皆奇"。句中眼，最多见的是动词，还可以是形容词、副词。所谓"篇中眼"，往往就是全诗的主旨语句。篇中眼有的是词或短语，有的是句子。它是一扇窗，鉴赏古诗时若能抓住它，往往会拨开主旨理解的迷障，眼前豁然开朗。如：2009年高考山东卷《寄远》一诗中的"悠悠"即为"篇中眼"，有统领意象、抒发情思、表现主旨的作用。从头两句看，要分析"悠悠"的字面意义和寓含的情感内容（联系标题"寄远"）；从后两句看，要分析"红袖凭江楼"加重了"客心孤回"之时的游子的思乡之情。总之，各句都或明或暗显示出"悠悠"二字。

在诗歌鉴赏时，找出诗眼有助于概括全诗主旨，答题时要去分析它对创造意象或表现主旨的作用。对句中眼的分析，一定要紧扣原句，同时要顾及全篇；对篇中眼的分析，一定要顾及全篇。有的试题，要求分析某词语的表现力或某语句对表现主旨的作用，并不出现"诗眼"字样，其实往往就是分析句中眼或篇中眼的作用。

⑥从意象把握情感。

在我国古典诗歌中，有许多意象具有相对稳定的感情色彩和象征意义，诗人们往往用它们来表现相似或相通的感情。因此，知晓惯用意象的寓意，鉴赏古诗时就可以据此推断诗意，揣摩情感或主旨。如：2009年高考辽宁卷《晚泊岳阳》一诗中，"月"这个意象在诗中多处出现。在我国古代诗歌中，用月亮烘托情思是常用的笔法。一般说来，古诗中的月亮是思乡的代名词。李白《静夜思》："床前明月光，疑是地上霜。举头望明月，低头思故乡。"这首诗表现了李白的思乡之情。诗中的月亮就不再是纯客观的物象，而是浸染了诗人感情的意象了。诗题"晚泊岳阳"已暗寓诗人的孤独。诗人"晚泊岳阳"，其时、其地已足以使诗人生思乡之情。诗中写明月"来"悬空江，表现作者人在旅途，只有明月为伴；第五句用拟人的手法呈现静夜"月弄清辉"的画面，也为下句渔人归家作引；第六句写月光引领水上人伴着歌声飞去归家，带出作者一丝思乡之情。鉴赏时，诗中的一些跟意象相关的冷暖词汇也要加以关注，以体味作者在诗词中所传达出来的悲喜情感。冷色调词语传达出来的多是悲伤，暖色调词语传达出来的多为喜悦。当然，词语表达感情多因境而变，婉转曲折，风情万种，阅读时应深加

体味。

⑦从意境洞察心胸。

诗歌的一大特点，就是创造出情景交融的画面，即意境。意境是指由情、景、意、言和谐统一而形成的艺术境界。具体阅读一篇作品，要根据作品中意象自身的特点、组合方式以及情景之间的关系，采取相应的欣赏方法，体会独特的意境。只有这样，才可以探究出其中蕴涵的情感，才可以洞察作者的心胸。如：2009年高考全国卷Ⅰ《次石湖书扇韵》一诗描绘了一幅江南水乡的画面。写了小桥、流水、村庄、绿岸、浮萍、荷花、人家、庭院等景物，意境清幽、恬静。所以根据意境特点，此诗意在赞誉石湖美景，也包含对石湖主人的歌颂。这既可以理解为范氏去职归隐后势利小人不再与他来往，范氏却不以为意、反而享受田园之乐；又可以理解为此诗描写了石湖美景，是为了表现作者对石湖主人归隐田园生活的赞赏之情。由此可见作者心境之恬淡清静。

(4)诗歌思想内容的答题语言

忧国忧民之感慨、国破家亡之痛楚、游子逐客之凄凉、征夫思妇之幽怨、怀才不遇之寂寞、报国无门之激愤、建功立业之豪迈、自由悠闲之恬淡、秀美山河之热爱、亲情友情之真挚、归耕隐居之乐、黑暗官场之苦、离别思念之绪、贬官谪居之恨、时光易逝韶光不再之感慨等。

(二)从艺术角度欣赏

1. 鉴赏诗歌中的形象

诗歌中的形象，从鉴赏的角度可分为三类：人物形象、事物形象、动作形象。

(1)人物形象：包括作品刻画的客观人物形象和作品抒情主人公的自我形象。前者即诗歌中描写的人物形象，如《氓》刻画了勤劳善良而又清醒刚烈的女主人公形象。后者实际上是"诗化了的作者"，是作者在诗中的"代言人"。在古代诗歌中，一般有下面几种形象类型：

①傲视权贵、傲岸无羁：如李白《梦游天姥吟留别》中"安能摧眉折腰事权贵，使我不得开心颜"塑造了一个不慕权贵、豪放洒脱、傲岸不羁的诗人形象。

②心忧天下、忧国忧民：如杜甫《茅屋为秋风所破歌》中"安得广厦千万间，大庇天下寒士俱欢颜！"塑造的是一个心忧天下、忧国忧民的诗人形象。

③寄情山水、归隐田园：如陶渊明《饮酒》中"采菊东篱下，悠然见南山"塑造了一个归隐田园的诗人形象。

④怀才不遇、壮志难酬：如陆游《诉衷情》中"胡未灭，鬓先秋，泪空流。此生谁料，心在天山，身老沧洲！"塑造了一个空怀报国之志的词人形象。

⑤友人送别、思念故乡：如王维的《九月九日忆山东兄弟》塑造了一个思念故乡亲人的诗人形象。

⑥献身边塞、反对征伐：如杜甫的《兵车行》塑造了一个反对征伐的诗人形象。

⑦爱恨情长、亲情友情：如柳永的《雨霖铃》中"便纵有千种风情，更与何人说！"塑造了一个刻骨思念的诗人形象。

鉴赏人物形象的依据——人物(肖像、行动、语言、神态、心理)、环境(自然环境、社会环境)、情节。

鉴赏人物形象的角度——所写人物身份性格、所写人物的思想感情、作者对所写人物的态度。

如：阅读苏轼的《念奴娇·赤壁怀古》的下阕，通过作者所塑造的人物形象，体会作者所表达的思想感情。

遥想公瑾当年，小乔初嫁了，雄姿英发。羽扇纶巾，谈笑间，樯橹灰飞烟灭。故国神游，多情应笑我，早生华发。人生如梦，一尊还酹江月。

本词所塑造的人物形象如下：

英雄周瑜(客观人物形象)：雄姿英发、羽扇纶巾、谈笑间、樯橹灰飞烟灭。

"我"(抒情主人公)：多情、早生华发、人生如梦、一尊还酹江月。

答案：通过周瑜形象和自我形象的对比刻画，表达了作者因怀才不遇、人生易老而壮志难酬所表现出的抑郁难平的思想感情。

(2)事物形象:是客观事物在作品中的反映。

①鉴赏的依据——景物形象的自然属性。

②鉴赏的角度——景物形象的社会属性(作者借此表达的情感、抒发的寓意)。

无论是"大漠孤烟直,长河落日圆""枯藤老树昏鸦,小桥流水人家"之类的景象,还是"无意苦争春,一任群芳妒。零落成泥碾作尘,只有香如故"之类的物象,都归为景物形象的范畴。这些艺术形象,同样也是客观事物与作者主观的心灵相互交融的结果,这恰如黑格尔所说的:"在艺术里,感性的东西是经过心灵化了的,而心灵的东西也借感性化而显现出来。"如,分析虞世南的《蝉》这首诗所写形象的特点:

蝉

虞世南

垂绥饮清露,流响出疏桐。

居高声自远,非是藉秋风。

注:垂绥(ruí):指蝉。蝉的头部有伸出的角须,形状好像贵族仕宦下垂的冠缨(帽带)。

这首诗首句写的是蝉的形态与习性,含有象征意义。古代常以冠缨指代官宦,诗人将"尊贵"与"清廉"的特点统一在"垂绥饮清露"的蝉的形象中。次句写蝉的远传之声,"流响"状蝉声长鸣不已,悦耳动听。一个"出"字,使人感受到蝉声的响度与力度。三、四句蕴含深意,表明立身尊贵而品格高洁的人,不需要某种外在的凭借,自能声名远播,表达出对高尚品格的热情赞美。

答案:这首诗通过对疏桐上蝉的形态、习性、鸣声(自然属性)的描写,表明了立身尊贵而品格高洁的人不需要某种外在的凭借就能声名远播的道理(寓意),表达了作者对高尚品格的赞美之情。

(3)动作形象:就是通过动作进行描摹刻画,借以表达作者的思想感情。

①鉴赏依据——人物的动作行为。

②鉴赏角度——作者通过人物的动作行为所表达的思想感情。

如:白居易《琵琶行并序》"低眉信手续续弹,说尽心中无限事。轻拢慢捻抹复挑,初为霓裳后六幺"中一系列动作形象的刻画,既表现了琵琶女演奏技艺之高超,也表现了琵琶女弹奏时错综复杂的心理感受。又如:赵师秀《约客》"有约不来过夜半,闲敲棋子落灯花"中的"闲敲棋子"的动作。恰如其分地表现了作者因久候朋友不来而焦灼不堪、百无聊赖的状态。

鉴赏文学形象的方法

(1)通过语言分析,把握形象的外形与内涵。

把握外在形象后面所诉言外之意,是鉴赏成功的关键所在。例如从"孤帆远影碧空尽,唯见长江天际流"所描绘的"孤帆""远影"这一系列形象中,感悟到作者由渡口相送以至"远影"消尽,而自己仍然驻足远望,久久不肯离去的深沉而浓郁的绵绵友情。

(2)通过再造想象,填补形象空白。

诗词言简意赅、讲究含蓄美、不直露的语言特点,要求我们鉴赏时通过想象,把作品留下的空白补充完整,使之成为完整的形象、情节或意境。如李清照《如梦令》:"昨夜雨疏风骤,浓睡不消残酒。试问卷帘人,却道海棠依旧。知否?知否?应是绿肥红瘦。"有人认为这首词"短幅中藏无数曲折",就是因为作者省略了一些引发读者想象的情节:词人为什么嗜酒,竟至一夜之后,残酒还未消尽?酒醒之后作者并未起身到花园,那么她又是怎样的情态?急切地询问了一些什么?这些问题都应启发学生通过想象,身临其境地感受到词人的慵懒情态,窥见词人惜春的心情。

(3)拨开意象的迷雾,领悟言外的诗情。

古诗词在表达思想感情时,往往通过寄情于物的方式,采用具体而生动的形象,把复杂而深刻的内心情感投射到客观的物象、形象上,从而使诗人的思想感情——"意"和客观的物象、形象——"象",相互交融,相互渗透,相互统一,从而构成了"意象"。意象是渗透着诗人情感的客观物象,它既是意的物象化,也是情景交融的形象。因此,鉴赏诗歌的形象,其最终的目的,就是要拨开意象的"迷雾",见到思想感情的"天日"。

如张继《枫桥夜泊》:"月落乌啼霜满天,江枫渔火对愁眠。姑苏城外寒山寺,夜半钟声到客船。"诗人通过"月落"(残月西沉之象)、"乌啼"(乌鸦惊恐凄凉的啼叫声)、"霜满天"(霜花凝露,寒气逼人)、"对愁眠"(舟中之人愁绪满怀,不能成眠),以及城外让人心烦意乱的夜半钟声,这些意象共同构成一幅"秋夜寒江图"。特殊的环境,特殊的意象,把诗人内心的"愁"渲染得淋漓尽致。由此,我们可以顺理成章地得出这首诗的思想感情——诗人的羁旅之愁。

2. 品味语言

文学是语言的艺术,诗歌更为突出。诗歌艺术分析的依据首先就是语言。要进行诗歌鉴赏,了解诗歌的语言特征很重要。我们可以从以下几个方面入手,来赏析诗歌的语言。

理解诗词中语言的变形

诗歌语言与其他文学样式的语言相比,更具有抒情性、含蓄性、精练性、跳跃性。古典诗词多半短小、抒情,要借助极俭省的语言外壳来表达丰富的思想感情,还要符合音韵的需要,只有对语言作出变形,懂得诗词对语言的变形,才能正确鉴赏诗词。

中国古典诗词中对语言的变形,在语法上主要表现为:词性改变、词序颠倒、内容省略、意象罗列等。主要目的在于建立格律以造成音乐美,给读者留下艺术想象和再创造的空间。而这些地方,往往是高考考查的重点。只有了解了诗歌语言的组织规律,才能迅速进入诗歌的语境。

①词性改变

古代诗人为了炼字、炼意,常常改变诗词中某些词语的词性,这些地方,往往就是一首诗的"诗眼"或一首词的"词眼"。词性活用类别很多,要详加分辨。例如:周邦彦《满庭芳》"风老莺雏,雨肥梅子"。古人惯于活用词语,形容词、名词,都可作动词,且一作就作得鲜活生动,呼之欲出。黄口雏鸟从嗷嗷待哺的娇憨,慢慢丰了一身羽毛,再到展翅离巢,不是一天的时光,形态种种,时日漫漫,只用一"老"字,当真浓酽醉人。那梅子从青青小小的羞涩,到黄黄肥肥的圆甜,写出了其在雨里丰肥的动态和形态。

②语序颠倒

a. 主语后置。崔颢《黄鹤楼》:"晴川历历汉阳树,芳草萋萋鹦鹉洲。"意即"晴川(晴朗的原野上)汉阳树历历(可数),鹦鹉洲芳草萋萋","汉阳树"和"鹦鹉洲"置于"历历""萋萋"之后,看起来好像是宾语,实际上却是被陈述的对象。

b. 宾语前置。如:钱起《谷口书斋寄杨补阙》诗:"竹怜新雨后,山爱夕阳时。"(怜新雨后之竹,爱夕阳时之山。)

c. 主、宾换位。叶梦得《贺新郎》词:"秋色渐将晚,霜信报黄花。"显然是"黄花报霜信"的意思。这种主宾换位的词序表面上仍是"主—动—宾"的格式,但在意义上必须将它倒过来理解。

d. 定语的位置。在偏正词组中,定语在前,中心语在后,这是古今汉语的一般语序。诗词曲定语的位置却相当灵活,往往可以离开它所修饰的中心语而挪前或挪后。下面分别举例说明。

第一,定语挪前。王昌龄《从军行》诗:"青海长云暗雪山,孤城遥望玉门关。"下句的"孤城"即指玉门关,为"玉门关"的同位性定语,现却被挪在动词"遥望"之前,很容易使人误解为站在另一座孤城上遥望玉门关。陆游《昼卧》诗:"香生帐里雾,书积枕边山。"(帐里生香雾,枕边积书山。)

第二,定语挪后。李白《梦游天姥吟留别》诗:"我欲因之梦吴越,一夜飞渡镜湖月。"意即"一月夜飞渡镜湖"。"月夜"这个偏正词组本为句首的时间状语,现被分拆为二,定语"月"远离中心语而居于句末,仿佛成了宾语的中心部分,但作者"飞渡"的显然只能是"镜湖",而不可能是"月"。杜甫《春夜喜雨》诗:"晓看红湿处,花重锦官城。"(锦官城花重)

e. 以宾语面貌出现的状语。崔护《人面桃花》:"人面不知何处去,桃花依旧笑春风。""笑春风"表面上是动宾词组,实际上"春风"不受"笑"的支配,而是表示"在春风中笑"的意思。这类情况在诗词中比较常见,例如:杜甫《秋兴八首》之三:"千家山郭静朝晖,日日江楼坐翠微。"(朝晖中千家山郭静,日日于江楼翠微中坐。)李商隐《安定城楼》诗:"永忆江湖归白发,欲回天地入扁舟。"(永忆江湖白发时归。)这些都是同类的例子。

③内容省略

诗词的省略跟意象的组合有关，所以要求利用想象填充省略的部分。如贾岛的《寻隐者不遇》："松下问童子，言师采药去。只在此山中，云深不知处。"明明是三番问答，至少要六句才能完成对话，作者采用答话包孕问话的方法，精简为二十个字。这就有如电影里的蒙太奇手法，一个意象接一个意象，一个画面接一个画面，镜头之间留下大量的空白，让我们读者根据生活的逻辑、经验的积累、自身的修养去补充完善。

④意象罗列

古典诗词意象的组合，指的是词语与词语之间、意象与意象之间可以直接拼合，使描写更像特写镜头，能营造出特定的意境。例如："明月别枝惊鹊，清风半夜鸣蝉""秦时明月汉时关""桃李春风一杯酒，江湖夜雨十年灯""楼船夜雪瓜洲渡，铁马秋风大散关""鸡声茅店月，人迹板桥霜"，全部是名词的连缀。

领会重点字词的意蕴

许多诗中都有一些值得重视的词，这些词会使全诗增色不少甚至成为诗眼。鉴赏诗歌，就需要领会这些词语的含义及其所产生的艺术效果。

①名词　一些意象名词，由于意象的独特性或代表性，可以通过它来理解作者的思想或感情，尤其是多个名词连用时，意象的组合会营造一定的意境。如有送别相思之情的诗作常会出现柳、酒、月、雁等意象。如"乡心正无限，一雁度南楼"，游子心中蕴积的愁情，因秋而触发，化作无边的乡愁；孤雁从南楼飞来，凄哀的鸣叫，使乡愁更加上一层"雁归人未归"的感伤。情景交融，含蓄而耐人寻味。

②动词　一首诗，是由一些诗的意象按照一定的艺术构思组合而成的，而真正能构成鲜明的化美为媚的意象的词，主要是表动态的具象动词。一个好的动词，能够点燃整个诗句。在鉴赏诗歌时，我们要重点关照动词，特别是具有"多重含义"的动词。如："你记得跨青溪半里桥，旧红板没一条，秋水长天人过少。冷清清的落照，剩一树柳弯腰。"在这里，一个"剩"字引人注目，作者并没有用"留""见"，其妙处就在"剩"虽与"留"意思相近，但"剩"字一般是被动的，而且有"残存""残余"的意思；另外"剩"字有时间性，给人一种"无可奈何"之感。"留"则无这么多含义。"见"只就眼前而言，不能给人以今昔对比的变迁感。

③形容词　诗歌是社会生活的主观化的表现，少不了绘景摹状，化抽象为具体，变无形为有形，使人如闻其声，如见其人，如触其物，如历其境。这种任务，相当一部分是由形容词来承担的。形容词不仅可以从形、声、光、色等方面点出形象的特点，还能传达出作者的感情。如："黄河远上白云间，一片孤城万仞山。"一个"孤"字，写尽环境之孤苦，由此可达人心。

④数量词　优秀诗人的笔就仿佛是童话中一根可以使沙漠涌出绿洲的魔杖，那经过精心选择提炼的数量词，在他们的驱遣之下可以产生丰富隽永的诗情。数量词在渲染气氛、描景状物、表情达意、说事明理等方面有非常重要的作用。如："前村深雪里，昨夜数枝开。"郑谷把齐己的《早梅》诗中的"数枝开"，改为"一枝开"，齐己因此而拜郑谷为"一字师"。这里"一枝"写数量。此梅先于百花而开，又先于众梅而绽放，生机乍泄，是早中之早。由此可见，这"一"字，表现了"早梅"二字的命意，起到了画龙点睛的作用。

⑤虚词　在古典诗词中，虚词的锤炼恰到好处时，可以获得疏通文气、开合呼应、悠扬委曲、活跃情韵、化板滞为流动等美学效果。王勃《滕王阁序》中的名句"落霞与孤鹜齐飞，秋水共长天一色"，去掉"与""共"二字就会大为减色。杜甫《蜀相》："映阶碧草自春色，隔叶黄鹂空好音。"春景美好，但此时诗人却视而不见听而不闻，倾心思念诸葛武侯。"自""空"二字突出诗人对先贤的敬仰之情，也衬托出武侯祠的寂寞与荒凉。历代评论家对老杜妙用"空""自"两个词倍加赞叹。

⑥叠音词　叠音词用于增强语言的韵律感或起突出强调作用。如："迢迢牵牛星，皎皎河汉女。纤纤擢素手，札札弄机杼。终日不成章，泣涕零如雨。河汉清且浅，相去复几许？盈盈一水间，脉脉不得语。"（《迢迢牵牛星》）诗中用了"迢迢""皎皎""纤纤""札札""盈盈""脉脉"六个叠音词，"迢迢"写

牵牛星之远，“皎皎”写织女星之明，“纤纤”写素手之修长，“札札”写机杼之声，“盈盈”写银河之水，“脉脉”写相视之态。这些叠音词既是对外在情景的细致描绘，又是作者内心真挚感情的巧妙抒发。

⑦颜色词　表颜色的词语可以增强描写的色彩感和画面感，渲染气氛，烘托感情。欣赏时，要善于抓住能表现鲜明对比色彩的词语，体会诗歌流露的感情色彩。如：“两个黄鹂鸣翠柳，一行白鹭上青天。”（杜甫《绝句》）句中黄与翠、白与青，互相映衬，物象的色相、明度、彩度之间是那么协调，整个画面展现出清晰的空间感与和谐的暖色感。

⑧拟声词　拟声词在诗中出现的频率很高，其作用是使诗文更生动形象，使人有身临其境之感。如：“大弦嘈嘈如急雨，小弦切切如私语。嘈嘈切切错杂弹，大珠小珠落玉盘。间关莺语花底滑，幽咽泉流冰下难。”（白居易《琵琶行》）诗中用了“嘈嘈”“切切”“间关”等拟声词，把抽象无形的乐声写得生动传神、具体实在，使人顿生如闻其声、如临其境的逼真感受。

把握作品语言的风格

（1）语言风格

语言是思想的载体，不同的诗人，语言风格各有不同，了解诗歌的语言风格有利于鉴赏诗歌的思想内容。诗歌的语言风格大致有如下几类：

①豪迈雄奇：多用具有气势和节奏奔放的语言来塑造博大新奇的形象，营造恢弘阔远的意境，表现积极向上的思想感情。如李白的“君不见黄河之水天上来，奔流到海不复回”（《将进酒》），气势浩荡，一泻千里。

②沉郁顿挫：诗人似乎有千言万语积压在胸，而后沉吟再三，勃发于笔端。笔调苍老遒劲，所描绘的生活画面上笼罩着凝重深沉的忧郁色彩和悲剧气氛，同时有相应的格律和铿锵的音韵相配。杜甫的《茅屋为秋风所破歌》，是沉郁的力作。

③悲壮慷慨：含思悲壮，出语高昂，充满着对时代的感慨，或雄才不得志于时，或感时伤乱，忧国忧民，心中郁结，愤慨不平。陈子昂的《登幽州台歌》是最激动人心的悲慨之诗。诗人面对着悠悠苍天，茫茫大地，用如椽之笔，勾勒出过去、现在、未来的连绵不断的时间图卷，描绘出辽阔无垠的宇宙空间画面。其悲壮歌声，响彻云霄，慷慨之气，横绝太空。

④朴素自然：语言力求平淡，不追求辞藻的华丽，显现出质朴无华的特点，但于平淡中蕴涵着深意。如贾岛的《访隐者不遇》：“松下问童子，言师采药去。只在此山中，云深不知处。”全诗20个字，毫无难解之处。

⑤婉约细腻：具有“曲、细、柔”的特点，曲径通幽，情调缠绵，表达感情细如抽丝。如李清照的《武陵春》：“风住尘香花已尽，日晚倦梳头。物是人非事事休，欲语泪先流。闻说双溪春尚好，也拟泛轻舟。只恐双溪舴艋舟，载不动许多愁。”

⑥含蓄委婉：指含有深意，藏而不露。不把意思直接说出，而是藏在与本意看似无关的形象中，让读者自己展开想象，思而得之。如李商隐的《夜雨寄北》：“君问归期未有期，巴山夜雨涨秋池。何当共剪西窗烛，却话巴山夜雨时。”天各一方的夫妻间挂念问候，其时其境其情，归家团聚作长夜之谈的憧憬，统统显于言外，隐于空白。

⑦清新明丽：用清丽的语言来营造优美的意境，表达怡然喜悦的感情。其艺术境界多如大雨过后的青青柳色、荷叶上颤动着的晶莹水珠。如杨万里《小池》中的“小荷才露尖尖角，早有蜻蜓立上头”，用语新颖别致，不落俗套，给人一种清新美的愉悦。

⑧幽默讽刺：在诗中多指诙谐、风趣或辛辣的笔调和趣味。如章碣《焚书坑》：“竹帛烟销帝业虚，关河空锁祖龙居。坑灰未冷山东乱，刘项原来不读书。”

⑨生动形象：诗歌的语言往往以其生动形象而感人至深。如苏轼《念奴娇·赤壁怀古》中的“乱石穿空，惊涛拍岸，卷起千堆雪”，既是诗又是画，有形有声有色地展现了赤壁的壮丽景色，气势雄伟，境界开阔。

⑩绚丽飘逸：指色彩缤纷、景象绮丽、变幻莫测。即用华丽的辞藻、多样的修辞、神奇的想象进行细腻生动的描绘。如李白的《望庐山瀑布》：“日照香炉生紫烟，遥看瀑布挂前川。飞流直下三千尺，

疑是银河落九天。”

⑪雄浑磅礴：有的壮志凌云、刚毅雄健，如刘邦的《大风歌》；有的慷慨悲歌、视死如归，如项羽的《垓下歌》；有的胸襟豁达、豪情横溢，如曹操的《观沧海》。

⑫英俊飒爽：英俊豪纵，飒爽流利。代表诗人是杜牧。如《过华清宫绝句》：“长安回望绣成堆，山顶千门次第开。一骑红尘妃子笑，无人知是荔枝来。”以含蓄讽刺的笔调，深刻揭露了唐玄宗纵情声色、骄奢淫逸、醉生梦死的生活。

(2)著名诗人的语言风格

陶渊明：朴素自然　白居易：通俗易懂　杜甫：沉郁顿挫　李白：豪迈飘逸　王昌龄：雄健高昂　温庭筠：绮丽香艳　李商隐：朦胧隐晦　杜牧：清健俊爽　王维：诗画一体　李清照：缠绵悱恻　辛弃疾：慷慨悲壮　高适：悲壮苍凉　陆游：悲壮豪放　苏轼：豪放旷达

3. 表达技巧

表达技巧又称艺术技巧，凡是能提高诗歌表达效果，增强诗歌表现力的方法都属于表达技巧的范畴。表达技巧鉴赏是高考古诗词鉴赏命题的重点，命题形式上有单独设题，也有结合形象、语言或思想内容和作者的感情态度等内容综合设题。一般是要分析诗歌运用了哪些表达技巧，这些表达技巧在诗歌中表达了什么内容，起到了什么作用，达到了什么效果等。无论是平时考试还是高考，古诗表达技巧鉴赏题都是考生失分非常严重的一类考题。除客观因素外，主观上考生相关知识的匮乏，是导致丢分的重要原因。因此，做好相关知识的积累和储备工作，是解答表达技巧鉴赏题的前提和关键。古诗表达技巧的类型尽管种类繁多，但我们还是可以从某些角度给它作个大致的分类。

常见的表达技巧：

(1)描写

描写，指用生动形象的语言对人物、事件、环境所作的具体描绘和刻画。“江月去人只数尺，风灯照夜欲三更。沙头宿鹭联拳静，船尾跳鱼拨刺鸣”(杜甫《漫成一首》)，诗歌从水中月影写起，生动描写了白鹭曲着身子，恬静地夜宿在月照下的沙滩，船尾大鱼跃出水面而发出拨刺的响声，一静一动构成了江上月夜宁静的美景。

诗人抒情言志离不开景物描写，而景物描写方法又是复杂多样的。从景物描写手法上来鉴赏，一般要注意作者观察和描写的角度(正面和侧面、实写和虚写、动景与静景、远景与近景、形色声态味等)，要把握和分析景物描写的表现手法(烘托和渲染、白描和工笔、对比和衬托、比兴手法、象征手法等)，要理解和辨析描写景物的修辞手法(比喻、拟人、对比、夸张、借代、对偶等)。

常用的描写方法：

烘托　原是中国绘画的一种技法，是用水墨或色彩在物象的轮廓外面烘托，使物象的特征更加突出；在文学创作中，烘托主要指用乙物来烘托甲物，使甲物的特点更加鲜明突出，是侧面描写的一种方式。根据甲、乙两物的对象特征，烘托又可具体分为以下几类：(1)以人烘托人。如乐府诗《陌上桑》中诗人分别借“行者”“少年”“锄者”等人的反应烘托秦罗敷惊人的美貌。(2)以物托物。如韦应物的《赋得暮雨送李曹》：“楚江微雨里，建业暮钟时。漠漠帆来重，冥冥鸟去迟。海门深不见，浦树远含滋。相送情无限，沾襟比散丝。”全诗除了首句点明描写对象“微雨”外，其余都是通过描写其他景物来写“雨”的，诗人成功运用以物托物的艺术手法，仿佛使人感觉到船帆上、鸟羽上、天际上、大树上全都笼罩着蒙蒙细雨。(3)以物托人。如柳宗元的《江雪》：“千山鸟飞绝，万径人踪灭。孤舟蓑笠翁，独钓寒江雪。”诗的前两句通过对冬天恶劣环境的烘托，刻画了钓叟的独特个性及其乐观豁达的情怀。又如白居易《琵琶行(并序)》中三次描写月光，分别烘托出了琴声的美妙和人物凄凉、孤独、悲伤的心情。

渲染　也是中国绘画的一种技法，一般在需要强调突出的地方浓墨重彩，使画面中的形象更鲜明突出。渲染在文学创作中主要是指通过对环境、场景或人物的行为、心理等细节的描写以突出形象，加强艺术表达效果，它主要是从正面来描写对象的。如乐府诗《江南可采莲》：“江南可采莲，莲叶何田田，鱼戏莲叶间。鱼戏莲叶东，鱼戏莲叶西，鱼戏莲叶南，鱼戏莲叶北。”这首诗开头三句勾勒出

一幅生动的江南景致图。后四句以东西南北方位的变化和鱼儿的活动为中心，显得活泼、自然、有趣。采用复沓句式而略有变化，更令人联想到采莲人在湖中泛舟来往、歌声相和的情景。诗中没有一一直接写人，但通过对莲叶和鱼儿的渲染，如闻其声，如见其人，如临其境，使人感受到一片勃勃生气，联想到采莲人内心的欢乐。

衬托 是把一些事物放在一起进行比较，从而突出另一事物的特征。衬托所列举的事物间有主有次，并非平等、并列关系。衬托手法分两种：一种是正衬，一种是反衬。

A. 正衬，即陪衬事物和主要事物朝着相同的方向变化。有以下几种情况：

乐景写乐情。如杜甫《绝句》："迟日江山丽，春风花草香。泥融飞燕子，沙暖睡鸳鸯。"诗人通过一幅色彩鲜明、生机勃发、具有美感的初春景物图，抒发了经过奔波流离之后，暂时定居草堂的安适欢悦之情。

以哀景写哀情。如杜甫《江汉》："江汉思归客，乾坤一腐儒。片云天共远，永夜月同孤。落日心犹壮，秋风病欲苏。古来存老马，不必取长途。"诗中"片云""孤月"组成了凄凉的意境，流露出作者孤独、苦无知音的烦闷。

B. 反衬，即陪衬物与主体事物或感情方向相反。有以下几种情况：

以乐景写哀情。如杜审言《渡湘江》："迟日园林悲昔游，今春花鸟作边愁。独怜京国人南窜，不似湘江水北流。"当年，春日迟迟，园林如绣，游目骋怀的美景反衬出今日之悲。眼前的鸟语花香反衬出了远去边疆的哀愁。

以哀景写豪情。如李白《塞下曲》："五月天山雪，无花只有寒。笛中闻折柳，春色未曾看。晓战随金鼓，宵眠抱玉鞍。愿将腰下剑，直为斩楼兰。"五月的天山，映入眼帘的仅有皑皑的积雪，无花可赏，无柳可折，寒气逼人。情景如此单调，如此凄凉，反衬出了将士奋勇杀敌的豪情。

以衰衬兴。如钱起的《暮春归故山草堂》："谷口春残黄鸟稀，辛夷花尽杏花飞。始怜幽竹山窗下，不改清阴待我归。"作者写"春残"之景物，并不在抒发伤春之情，而是借春鸟春花之"改"，来反衬幽竹之"不改"。表现作者钟情幽竹，赞美坚贞节操的情感。

以声衬静。如王籍《入若耶溪》中的"蝉噪林逾静，鸟鸣山更幽"，用以动显静的手法来渲染山林的幽静。"蝉噪""鸟鸣"使山林的寂静显得更为深沉。"蝉噪"二句是千古传诵的名句，被誉为"文外独绝"。像唐代王维的"倚杖柴门外，临风听暮蝉"，杜甫的"春山无伴独相求，伐木丁丁山更幽"，都是用响来衬托一种静的境界。

以有衬无。如李白《月下独酌》中这样两句："举杯邀明月，对影成三人。"明明只有自己一人，却说看到了三个人影，这就是以有衬无。这样写，就把李白当时孤独寂寞的生活际遇和感情，准确地表现出来了。

以明衬暗。指用光亮来反衬环境的幽深。如王维的《鹿柴》："空山不见人，但闻人语响。返景入深林，复照青苔上。"一、二句以"响"衬"寂"，空谷传音，愈见空山之空，空山人语，愈见空山之寂；三、四句以"明"衬"暗"，余晖射入深林的一小片光影和大片的无边的幽暗构成强烈的对比，反而使深林的幽暗更加突出。

工笔 是对事物注重局部细节描写，对之进行精雕细刻、浓墨重彩的描写。如李端的《鸣筝》"鸣筝金粟柱，素手玉房前。欲得周郎顾，时时误拂弦"，以"时时误拂弦"的工笔刻画，传达出人物微妙的心理情态。

白描 本是中国绘画技法的一种，一般用墨线粗线条勾勒，不加色彩渲染，移用到文学创作上，即用简练的笔墨，不加烘托，简洁明了地刻画出鲜明生动的形象的一种描写手法。采用白描手法写的诗歌，看似平淡，细细品味，却意味深长。如孟浩然的《春晓》、陶渊明的《归园田居》(少无适俗韵)都惜墨如金，分别粗线条地勾勒出春天的景象和诗人归隐田园的情景。

铺排 即《诗经》表现手法中的"赋"，它指的是对事物的特点不厌其烦地多角度地进行铺排陈述。如《孔雀东南飞(并序)》中的"……纤纤作细步，精妙世无双"，由足至头、至腰、至耳、至指、至口、至步，一连串夸张性的铺陈，旨在描写兰芝的美，更表现她的从容镇定。

比兴 所谓比，就是比喻，比拟；所谓兴，就是在诗的开头"先言他物"，以引出后面的正文。如《孔雀东南飞（并序）》的开头就是运用了"兴"的手法，"孔雀东南飞，五里一徘徊"，从孔雀因顾恋配偶徘徊不前的情形，引出仲卿和兰芝的不忍分离又不得不分离，最后双双殉情的故事。

象征 通过特定的、容易引起联想的具体形象，表现与之有相似或相近特点的概念、思想和感情。"青山似欲留人住，百匝千遭绕郡城"（李德裕《登崖州城作》），这两句描写青山环绕，层峦叠嶂，自己所处的郡城正在严密封锁、重重阻隔之中，象征了诗人被政敌迫害的景况，书写思归不得的忧伤。通篇用比喻就是象征，如于谦的《石灰吟》。

曲笔 曲笔是写文章时故意离开本题而不直书其事的写法。杜牧的《泊秦淮》："烟笼寒水月笼沙，夜泊秦淮近酒家。商女不知亡国恨，隔江犹唱《后庭花》。""商女不知亡国恨"就是曲笔，因为商女是侍候他人的歌女，她们唱什么是由听者的趣味而定的，可见真正"不知亡国恨"的是那座中的欣赏者——封建贵族、官僚、豪绅。诗作最后两句于婉曲轻丽的风调之中，表现出辛辣的讽刺、深沉的悲痛和无限的感慨，表达了封建知识分子对国事怀抱隐忧的心境，又反映了官僚贵族正以声色歌舞、纸醉金迷的生活来填补他们腐朽而空虚的灵魂。

动静结合 动和静这对矛盾，在诗歌中常表现为相反相成、互相转化、对立统一。诗中人、事、景可以动静有机地结合起来描写，如杜甫的《绝句》："迟日江山丽，春风花草香。泥融飞燕子，沙暖睡鸳鸯。"诗的尾句与第三句动态的飞燕相对照，动静相间，相映成趣。也可以化动为静，即在诗中将动景化为静景来写。如李白的《望庐山瀑布》中"遥看瀑布挂前川"一句，将富有动态的瀑布化为静态来写，一个"挂"字，惟妙惟肖地表现出倾泻的瀑布在遥看中的形象，包含着诗人对大自然的神奇伟大的赞颂。还有化静为动者，如毛泽东的《沁园春·雪》中"山舞银蛇，原驰蜡象"，生动描绘了祖国北方的壮丽雪景。

抑扬结合 对要褒的人或物先写其不足，对要贬的先写其长处，这种手法就是抑扬。先抑后扬和先扬后抑，无论哪种表现形式，都是为了突出后者，强调后者。如南宋诗人叶绍翁《游园不值》"应怜屐齿印苍苔，小扣柴扉久不开。春色满园关不住，一枝红杏出墙来"，诗的前两句写诗人乘兴游园，被拒之门外；后两句却写出诗人另有所得，看到了出墙春色，前后感情有个落差，前面遗憾，后面高兴。这里采用了欲扬先抑法。

虚实结合 中国古典诗词中，存在着大量的虚实结合的现象。实写是指对事物进行直接的正面的叙述和描写，虚写是指侧面交代或烘托性的叙述和描写。虚实结合，互相映衬，交织在一起表达同样的情感，可使作品的结构更紧凑，形象更鲜明，并使作品容量增加。如："寒蝉凄切，对长亭晚，骤雨初歇。都门帐饮无绪，留恋处、兰舟催发。执手相看泪眼，竟无语凝噎。"（柳永《雨霖铃》）上阕除"念去去，千里烟波，暮霭沉沉楚天阔"外，写的都是眼前实景、实事、实情，写词人和心爱的人不忍分别又不得不分别的心情，是实写；下阕写对别后生活的设想，是虚写，着意描绘词人孤独寂寞的心情。虚实结合，淋漓尽致地写出了离别的依依不舍。

正侧结合 对描写对象进行正面的直接的描写是正面描写；描写对象周围的事物，使描写对象更鲜明、突出的是侧面描写。

《琵琶行（并序）》中除了从正面描写琵琶女的演奏技艺高超，如"大弦嘈嘈如急雨，小弦切切如私语。嘈嘈切切错杂弹，大珠小珠落玉盘"等，以此来表现其演奏技艺高超之外，还有借侧面描写来衬托琵琶声引人入胜的文字，如"东船西舫悄无言，唯见江心秋月白"以及"江州司马青衫湿"。从听众听得入神、陶醉、动情的表现更能突出琵琶女演奏技艺之高超。

(2)抒情

直接抒情 也称直抒胸臆，由作者直接对有关人物、事件等表明爱憎态度的一种抒情方式。如苏轼的《江城子》："十年生死两茫茫。不思量，自难忘。千里孤坟，无处话凄凉。"作者的感情如江河直下，直抒对亡妻的怀念之情。

借景抒情 是指诗人将自身要抒发的感情或表达的思想寄寓在特定的自然景物或生活场景中，借对自然景物或场景的描摹刻画来抒发感情。如张可久的词："西风信来家万里，问我归期未？雁啼

红叶天，人醉黄花地，芭蕉雨声秋梦里。"句句写景，又句句抒情，情与景高度统一。

托物言志 就是通过对事物的描写和叙述来抒发感情、表达志向和意愿的一种抒情方式。在我国古代诗词中，松、竹、梅、菊、柳、山石、溪流、沙漠、古道、边关以及落日、夜月、清风、细雨、微草等等都是诗人常常借以抒情言志的对象。如陆游的《卜算子·咏梅》："驿外断桥边，寂寞开无主。已是黄昏独自愁，更著风和雨。　　无意苦争春，一任群芳妒，零落成泥碾作尘，只有香如故。"全词以梅自喻，借梅花的悲惨遭遇，喻托作者报国无门、屡受排挤与打击的不平心境。

用典抒情 诗歌中常常引用古书中现成的故事或词句，叫做"用典"。用典恰当能以少量文字传递丰富的思想，增强作品的表现力和感染力。典故分事典和语典两种。事典是借用历史故事来表达作者的思想感情，属于借古抒怀。如辛弃疾《永遇乐·京口北固亭怀古》这首词除了回顾作者43年前南下经历一层外，全是用典。"想当年，金戈铁马，气吞万里如虎"写的是刘裕当年北伐抗敌的英雄气概。作者借赞扬刘裕，讽刺南宋王朝主和派屈辱求和的无耻行径，表现出作者抗金的主张和恢复中原的决心。语典是引用或化用前人诗句，目的在于加深诗词的意境，促使人联想而寻意于言外。如"过春风十里，尽荠麦青青"(姜夔《扬州慢》)，"春风十里"引用了杜牧的诗句，表现往日扬州十里长街的繁荣景况，是虚写，"尽荠麦青青"写词人今日所见的凄凉情形，是实写。这两幅对比鲜明的图景寄寓着词人昔盛今衰的感慨。

借议论来抒情 如杜甫《咏怀古迹(其五)》："诸葛大名垂宇宙，宗臣遗像肃清高。三分割据纡筹策，万古云霄一羽毛。伯仲之间见伊吕，指挥若定失萧曹。运移汉祚终难复，志决身歼军务劳。"全诗八句，除第二句外，均是议论。全诗议而不空，句句含情，表达了对诸葛亮的景仰。

借叙事来抒情 如杜牧《泊秦淮》："烟笼寒水月笼沙，夜泊秦淮近酒家。商女不知亡国恨，隔江犹唱《后庭花》。"结尾两句叙事，抒发了作者对黑暗现实的不满，以及对国家命运的关注。

借古抒怀 即借古人抒发自己的抱负，表面回忆历史，叙述古人，实则抒发自己对人或事物的认识。如杜甫《蜀相》："丞相祠堂何处寻，锦官城外柏森森。映阶碧草自春色，隔叶黄鹂空好音。三顾频烦天下计，两朝开济老臣心。出师一表真名世，千载谁堪伯仲间。"这首诗借诸葛亮的故事，抒发了作者怀才不遇、壮志难酬的悲愤心情。

以景结情 诗歌在议论或抒情的过程中，戛然而止，转为写景，以景代情作结，使得诗歌"此时无情胜有情"，显得意犹未尽。如王勃的《山中》："长江悲已滞，万里念将归。况属高风晚，山山黄叶飞。"最后两句写山上望见的实景，映衬一、二句之情，以景寓情，用秋风萧瑟，黄叶飘飞来衬托自己的悲苦。这种以景结情的手法余味无穷，耐人寻味。

(3)结构

中国古典诗词，尤其是近体诗因其篇幅的短小和字数的限制，在起承转合的结构上，诗人为了表情达意的需要，探索出了许多结构形式，常见的有开门见山、层层深入、重章叠句、前后照应、画龙点睛、卒章显志等。下面分别作以简单的分析。

开门见山 开门见山是指诗歌开头就进入正题，不拐弯抹角。如杜甫《蜀相》："丞相祠堂何处寻，锦官城外柏森森。映阶碧草自春色，隔叶黄鹂空好音。"开头一句，以问引起，祠堂何处？锦官城外，数里之遥，远远望去，翠柏成林，葱葱郁郁，气象不凡，那就是武侯祠所在了。这第一联，开门见山，洒洒落落，而两句又一问一答，自开自合。

层层深入 层层深入就是指诗歌在内容上由浅入深、环环相扣的结构形式，使全诗结构严谨，条理清楚。如《古诗十九首·迢迢牵牛星》："迢迢牵牛星，皎皎河汉女。纤纤擢素手，札札弄机杼。终日不成章，泣涕零如雨。河汉清且浅，相去复几许？盈盈一水间，脉脉不得语。"本诗采用了层层深入的结构方式。诗歌从遥望中的牵牛星、织女星写起，由远及近，视线移到织女星，织女织成布才能与牛郎相会，可是终日织不成，急得泪如雨下。相隔浅浅的一道银河，就是不能相会。诗歌由事而人，情景交融，声情并茂，哀怨动人。

重章叠句 重章叠句指上下句或上下段用相同的结构形式反复咏唱的一种结构方式。如辛弃疾的《丑奴儿·书博山道中壁》："少年不识愁滋味，爱上层楼。爱上层楼，为赋新词强说愁。　　而

今识尽愁滋味，欲说还休。欲说还休，却道天凉好个秋。”上下两阕采用了重章叠句的结构形式，“爱上层楼”“爱上层楼”，“欲说还休”“欲说还休”，在这样反复的咏唱中，使语言具有音乐美，又在内容上形成鲜明对比。

前后照应 照应又叫呼应，是古典诗歌常见的一种结构形式。常见的有首尾照应，这样就使诗歌结构浑然一体，能更加突出主题，起到良好的表达效果。也有一些诗歌，诗人采用今昔、他我、物我照应的方式，来抒发情感，使结构显得紧凑、严谨。如杜甫诗《月夜忆舍弟》“成鼓断人行，边秋一雁声。露从今夜白，月是故乡明。有弟皆分散，无家问死生。寄书长不达，况乃未休兵”，全诗层次井然，首尾照应，承转圆熟，结构严谨。“未休兵”则“断人行”，“望月”则“忆舍弟”，“无家”则“寄书不达”，人“分散”则“死生”不明，一句一转，一气呵成。

画龙点睛 指用一两句精彩的话点明主旨。如王勃《送杜少府之任蜀州》“海内存知己，天涯若比邻”，一扫送别诗的惆怅、惜别，揭示两人江山难阻的深厚友情，画龙点睛。

卒章显志 指诗人在诗歌结尾处表达自己的心志或情怀，运用这种方式可以增加诗歌的深刻性、感染力。如李白《梦游天姥吟留别》结尾“安能摧眉折腰事权贵，使我不得开心颜”，表达了诗人要自由自在、豪放不拘、不为五斗米折腰的心态。

伏笔铺垫 即以一系列非主要情节做主要情节的准备或高潮到来前的气氛酝酿。必要的铺垫可以制造悬念，引起读者的兴趣、注意和情感上的期待，使读者的注意力随情节的发展而延伸。如杜牧的《山行》，这首诗描绘的是秋之色，展现出一幅动人的山林秋色图。诗里写了山路、人家、白云、红叶，构成一幅和谐统一的画面。这些景物不是并列地处于同等地位，而是有机地联系在一起的，前三句是宾，第四句是主，前三句是为第四句描绘背景、创造气氛，起铺垫和烘托作用的。

二、不同题材的古典诗词的鉴赏

1. 写景抒情诗

从高考的角度看，选做鉴赏材料的古代诗歌，均是篇幅比较短小的，如诗中的律、绝，词、曲中的小令。其中的写景诗，也多是一些精巧的山水田园小诗。

鉴赏山水诗，要学会从下列几个角度去掌握方法：

第一，要体味诗歌中情景交融的意境。人们分析古诗的各种说法，如“融情入景”“借景抒情”“寓情于景”等等，都指出了中国古典诗歌最常用的艺术手法是通过描写景物来抒发感情。自然景物一经诗人摄入笔端，就必然会带上诗人的感情色彩，为表达诗人的特定情感服务。“故人西辞黄鹤楼，烟花三月下扬州。孤帆远影碧空尽，唯见长江天际流。”这就是一首融情入景、景中含情的好诗。烟花含愁，孤帆载憾，天际碧水带走无尽思念，诗人的惜别之情，从每一个画面中渗透了出来。

第二，要领会诗人写景所表现的情感。像上面李白的《黄鹤楼送孟浩然之广陵》当然好理解，但一些表面上纯粹是写景的山水小诗，就不那么好理解了。如杜甫的《绝句》：“两个黄鹂鸣翠柳，一行白鹭上青天。窗含西岭千秋雪，门泊东吴万里船。”丰富的色彩，活泼的诗情，飞动的意象，除了可以体会到作者对祖国山河的热爱以外，如果了解这首诗写于安史之乱平定之后，就更容易体会到这首即景之作还包含着一种对万象更新的企盼和欲买舟东下的欢悦。

这里牵涉一个感情寄托的问题。分析诗歌，切忌随意拔高作品的思想内涵。比如某年高考试题中，选了刘禹锡的《望洞庭》和雍陶的《题君山》做鉴赏材料，这两首诗意境高超脱俗，表现了诗人对大自然的热爱和赞美，但并没有范仲淹《岳阳楼记》中所表现的“心旷神怡，宠辱偕忘”的感觉。这关系到感情寄托的深浅，是必须认真判断清楚的。

第三，要分析诗歌的写作技巧和语言特色。写景的方法很多，简而言之，要留意作者观察和描写景物的角度，如高、低、俯、仰（“万山红遍，层林尽染”）；要把握和分析作者描写景物的方法，如绘形、绘声、绘色（“乱石穿空，惊涛拍岸，卷起千堆雪”）；要理解和说明描写景物的技巧，如动、静结合（“月出惊山鸟，时鸣春涧中”），明、暗对比（“野径云俱黑，江船火独明”），等等。此外，诗歌中传统的比兴手法，也是要注意的。

至于语言运用方面，既要学会欣赏像盛唐诗人所描写的雄浑壮丽的景象（如王维的“大漠孤烟直，长河落日圆”），又要善于体会诗人们细致入微的观察和描摹（如杜甫的“细雨鱼儿出，微风燕子斜”）。通过不断地解读、体味、剖析，从而领会诗人的不同风格和技巧。

2. 咏物言志诗

古人很喜欢咏物，自然界中的万物，大至山川河岳，小至花鸟虫鱼，都可以成为诗人描摹的对象，在细致描摹事物的同时，还寄托着作者自己的感情。一首好的咏物诗，具有什么特点呢？

首先，既然是咏物诗，当然要写出所咏之物的形态、色泽等特征，追求贴切逼真。但如果仅仅是客观的描摹，满足于形似，那还不能算好的咏物诗。一个出色的咏物诗人，就应该像高明的摄影师那样，他的镜头要深入到对象的灵魂，摄出事物的神韵、品格，即不但要形似，而且还要神似。所以古人对于咏物诗有一个说法，即要做到“不即不离”，就是说既不停留在事物的表面（不滞于物），又要切合所咏之物，写出物的特点（曲尽其妙）。人们很欣赏林逋的“疏影横斜水清浅，暗香浮动月黄昏”，这是因为作者通过月下水边梅枝横斜的侧影，写出了它凛然冰清的神态品格。所以，读一首咏物诗，先要欣赏作者对所咏之物特点的把握和刻画。

其次，在欣赏咏物诗时，要注意作者在描摹事物中所寄托的感情。如陶渊明咏菊，抒写自己悠然闲适、不慕富贵的心境；陆游咏梅，表明自己不媚于俗、坚守正义的气节。由于作者的经历遭际、情趣爱好以及观察的角度、深浅的不同，即使写同一事物，也往往会有不同的感受，表达出不同的感情。唐代有三位诗人都写过咏蝉的诗：被人诬陷入狱的骆宾王，发出的是“露重飞难进，风多响易沉”的“患难人”的心声；仕途蹇滞的李商隐，慨叹的是“本以高难饱，徒劳恨费声”的“牢骚人”的遭际；而身居高位、一生平庸的文学宠臣虞世南，表达的却是“居高声自远，非是藉秋风”的“清华（清高华贵）人”的志得意满，他们都抓住了蝉鸣高远的特点，却探进了各自的不同感受，堪称咏物的上乘之作。当然，并不是所有的咏物诗都含有作者明确的感情寄托，我们在阅读时要注意分清。但是，不论有没有寄托，一首好的咏物诗，总是以其生动的形象和强烈的美感吸引读者，而且有意无意地、有深有浅地透过所咏之物，或流露作者的人生态度，或寄寓美好的理想，或隐含生活的道理。这就需要我们在解读时细加领悟。

再次，要注意分析咏物诗的写作技巧。一般地说，咏物诗从整体构思上看，或用拟人（如上述的咏蝉诗），或用比喻（如贺知章的《咏柳》），手法的不同，往往能反映出所咏之物与诗人自我形象融合的深浅程度。作者自我形象不明显的客观咏物，往往采用比喻的手法，作者的形象并不融入描写对象中。此外，从具体描写方法看，对于所咏之物，除了正面描写之外，还常运用侧面烘托的手法，如陆龟蒙的《白莲》：“素花多蒙别艳欺，此花端合在瑶池。无情有恨何人觉，月晓风清欲堕时。”就是用“月晓风清”做背景，写出白莲独特的气质、神韵来。

3. 边塞征战诗

唐代有一批诗人十分擅长描写边塞征战生活，后人称他们为“边塞诗人”，形成了所谓的“边塞诗派”，反映边塞征战生活的诗作逐渐蔚为大观。我们这里所指的边塞征战诗，范围要大一些，根据高考的命题思路，也包括一些宋代诗词。

赏析边塞诗，可以从多个角度切入，体味每首诗的整体风格，领会作者熔铸其中的感情，把握所反映的时代风貌。

鉴赏边塞诗，首先要对作者所处的时代有所了解。这对体会作品的内容和作者的思想感情是十分重要的。诗评家称赏“盛唐之音”，边塞诗正是构成“盛唐之音”的一个基本方面。“孰知不向边庭苦，纵死犹闻侠骨香”（王维），“醉卧沙场君莫笑，古来征战几人回”（王翰），“黄沙百战穿金甲，不破楼兰终不还”（王昌龄）……豪迈、勇敢、一往无前。即使是艰苦战争，也壮烈无比；即使是出征远戍，也爽朗明快；即使是壮烈牺牲，也死而无悔。到了中晚唐，国势衰微，虽然诗人们仍保持着昂扬向上的基调，但不免夹杂一些悲壮与惋伤：“碛里征人三十万，一时回首月中看”（李益），“可怜无定河边骨，犹是春闺梦里人”（陈陶）。到了宋代，朝廷在与其他民族战争中一直处于劣势，在边塞征战诗中流露出来的感情，就更多地体现为报效无门的愤懑，如陆游的“塞上长城空自许，镜中衰鬓已先斑”；更多

地体现为归家无望的哀痛，如范仲淹的“燕然未勒归无计。羌管悠悠霜满地”。尽管仍洋溢着一股报国的热情，但与盛唐时代边塞诗相比，更多一些凄凉与惆怅。尽管题材、主题基本类似，风格似乎也差别不大，却展示了迥异的时代特征。

注意每首诗各自的思想感情特点。边塞征战题材的兴起，是与诗人们的生活范围内容有所扩展紧密关联的。从边塞征战诗中，我们看到诗人的眼界开阔了，诗歌的境界拓展了，诗歌的内容更显得异彩纷呈：有建功立业的渴望，“宁为百夫长，胜作一书生”（杨炯）；有报效朝廷的激情，“誓欲成名报国，羞将开口论勋”（张说）。不少诗人在塞外军营生活多年，像高适、岑参、李益等，他们的边塞诗集中反映了几乎遍及边塞征战诗的各个方面：有的写出将士的乡愁和家中妻子的离恨，有的表现塞外生活的艰辛和连年征战的残酷，有的反映对帝王黩武开边的不满和对将军贪功启衅的怨恨，有的陈述久戍边关对家乡和亲人的怀念，有的惊异于塞外绝域那种迥异于中原的风光……我们在阅读这些诗作时，要能够区别每首诗思想内容上的细微差别。同时，我们还要体会跃动于边塞征战诗中的种种矛盾：慷慨从戎和久戍思乡的矛盾，报效朝廷的激情和艰苦生活的矛盾，痛恨庸将和献身国家的矛盾……爱国主义是主旋律，把握住这个主旋律，对于提高我们对这类诗的鉴赏水平是很重要的。

在大量边塞征战诗中体现出来的艺术风格是很不相同的：有的豪放旷达，如前述的“醉卧沙场君莫笑，古来征战几人回”；有的雄奇慷慨，如杜甫的“落日照大旗，马鸣风萧萧”；有的委婉清丽，如李白的“何日平胡虏，良人罢远征”……只有通过对诗歌字句的细细体会，才有可能准确领会到由于不同时代、不同内容，以及不同诗人的不同艺术素养、不同生活遭际，反映在边塞征战诗这个大主题下异彩纷呈的不同艺术风格。这也是赏析边塞征战诗的一方面内容。

4. 怀古咏史诗

我国有数千年的悠久历史，尽管历史如大浪淘沙，但无数前人在历史舞台上叱咤风云，留下多少辉煌业绩，令人钦佩仰慕；留下多少经验教训，让人唏嘘感慨。于是，以历史故事、古人事迹为题材的怀古咏史诗成了诗歌海洋中一朵耀眼的浪花。

我们刚接触一首怀古咏史诗，会碰到不少要解决的问题：诗人所描写的古人、往事是怎样的，诗人为什么要写这个古人、这段往事，他在诗中表现出什么态度，这种态度又是运用什么方法来表达的。如果这些问题都弄懂了，也就对一首怀古咏史诗掌握七八分了。

首先，要弄清史实。对于作品所涉及的史实和人物一定要有所了解，这就要求我们要积累一定的历史知识，积累得越多越好。在中学历史课、语文课和课外阅读中所学到的有关知识，应该成为我们头脑中历史知识的宝藏。在阅读一首诗时，一定要读好注解，这也是读懂该诗的一把钥匙。而解答鉴赏题时，应注意不要被命题者设置的误区所干扰。

其次，要体会意图。后代作家对尘封的往事发思古之幽情，一定有现实的因素或者是触发感慨的媒介。苏轼被贬黄州，到当地一处叫做赤鼻矶的地方（当时传闻就是当年三国的古战场赤壁）凭吊，这赤鼻矶可以说是触发诗人感想的媒介了。辛弃疾登上京口北固亭，从历史上孙权、刘裕以京口为基地坚持抗击北方劲敌，联想到南宋朝廷在风雨飘摇中苟且偷安和自己的报国无门，这京口北固亭就是触发诗人感想的媒介。

再次，要领悟情感。诗家怀古咏史，大致上有这么几种情况：一种是对历史作冷静、理性的思考，诗人自己并不置身其中，如杜牧和王安石都写过《题乌江亭》诗，杜牧为项羽自刎而惋惜：“江东子弟多才俊，卷土重来未可知。”然而王安石却感到项羽的失败是历史的必然：“江东子弟今虽在，肯为君王卷土来？”另一种情况是把史实与现实扭结在一起，或是感慨个人遭遇，或是抨击社会现实。中学里学过的两首宋词《念奴娇·赤壁怀古》和《永遇乐·京口北固亭怀古》，便是如此。还有一种情况是只抓住历史的一些影子，故意借题发挥，如李商隐的《贾生》就是一首以古讽今的杰出之作。关于诗人对史实的态度，这里再举一个例子：像昭君出塞这样一个汉代的和亲故事，杜甫说“千载琵琶作胡语，分明怨恨曲中论”，深沉地抒发了自己对远嫁异域的昭君的同情，他在这里只是就事论事；而王安石则说“君不见咫尺长门闭阿娇，人生失意无南北”，这里“借他人之酒杯，浇胸中之块垒”，更多的则是表达自己被排挤时的失望心理，而在笔法上是辛辣的、冷峻的。可见，对于同一历史题材，是可以从不同角度去反映的，这里

不但体现了诗人们不同的艺术技巧，也反映了他们不同的历史观和人生观。

最后，要分析写法。在构思上，怀古咏史诗可以说是百花齐放的：有以景衬情的，如苏轼的《念奴娇·赤壁怀古》；有议论引发的，如清人刘献廷的"六奇已出陈平计，五饵曾闻贾谊言。敢惜妾身归异国，汉家长策在和番"(《王昭君》)，对汉元帝统治的无能作了辛辣的讽刺。在章法上，或作正面对比，或作侧面烘托，不一而足。不同的写法，是由主题的需要决定的。我们要在对具体篇章的分析中仔细体味，并且从中领悟作品的基本风格。还有一点必须提醒，作为怀古咏史诗，不少篇章在吟咏的主要人和事之外，还会引用一些典故，比如辛弃疾的《永遇乐·京口北固亭怀古》共用了六个典故。对于这些典故，一定要有所了解，并要很好地体会作者用典的目的。至于用典的方式，有明用的，也有暗用的；有正面用的，也有反其意而用的，在分析时也要留意。

5. 即事感怀诗

古人常以"即事"为题写诗，因一点事由而生发，抒写心中的感慨。所谓"即事"诗，一般来说没有什么严格的界定，我们之所以把"即事感怀诗"列为一类，是从高考的实际出发。因此除了上面所分列的"写景抒情""咏物言志""边塞征战""怀古咏史"这几类有明显特征的诗词外，还有许多其他题材的作品，例如怀亲、送友、思乡、赠人、人生感悟、闲情逸趣，等等，这些内容的诗歌被选做高考鉴赏材料的可能性也不小，这里不便再细细分类，所以笼而统之，称为"即事感怀诗"。

这类诗作往往因一点事由而发感慨，所以遇到这类作品的时候，对于引发诗人感慨的事，我们首先要了解。例如流传甚广的《枫桥夜泊》的作者张继曾写过一首《闾门即事》："耕夫召募逐楼船，春草青青万顷田。试上吴门窥郡郭，清明儿处有新烟。"诗人的感慨是由登上城楼眺望而起，只见田园荒芜，百姓流散，于是诗人有感于募农为兵的政策给人民带来的苦难。又如苏轼的《定风波·莫听穿林打叶声》是写路上遇雨，没带雨具，雨后遂晴，由这么一件小事，诗人生发出既不为忧患而动摇，也不为喜乐而忘形的人生感悟。在了解引发诗人感慨的事由的时候，不能粗疏，因为即使相似的事，在不同的情形和不同的作者笔下也会有不同的陈述。例如同是怀亲思乡，杜甫的《月夜》是在战乱离散、月夜清冷的情景中思念妻子，李煜的《浪淘沙令》是在国破身囚、欢梦醒来的境况中痛悼故国，朱弁的《春阴》是在被拘塞北、春寒阴冷的环境中盼望返乡，由于引发感慨的事由不一样，诗人抒发的感情和采取的笔法也不一样。

在了解了诗中所写的是什么事以后，更重要的是把握诗人抒发了怎样的情怀。我们之所以不用"叙事诗"的说法，也是从高考的实际情况出发来考虑。这种因一点小事而发感慨的诗，也有偏重于叙事的，像杜甫的《三绝句》中的一首："二十一家同入蜀，惟残一人出骆谷。自说二女啮臂时，回头却向秦云哭。"诗中记录了一位难民的哭诉，即二十一户人家为躲避战乱逃往四川，现在只剩下一个人了。这可以看做一首短小的叙事诗，确是精品，但这类倾向于客观叙述而作者自己没有进入画面的叙事诗在中国古代并不多见，尤其是篇幅短小的律诗、绝句更少见。所以选做高考鉴赏材料的可能性较小，一部分叙述历史故事或征战故事的作品，已归入前面的类别。这里称为"即事抒怀"的作品，重点在其"抒怀"的性质，也就是作者不是着重于客观、冷静的叙述，而是比较明显地直抒自己的情怀。

在赏析这类作品的"抒怀"特点的时候，首先要看"事"与"怀"的结合是否高明。李白的《春夜洛城闻笛》："谁家玉笛暗飞声？"诗人的故园情思是由一曲《折杨柳》引发的，先写笛声满城飞扬，再写故园之思深浓，"事"和"怀"结合紧密、自然熨帖。又如辛弃疾的《玉楼春·戏赋云山》，以浓云遮山、寻山不见、云散山现、心中欣喜的思路来即事抒怀，"事"与"怀"的结合又是另一种跌宕起伏、摇曳变幻的姿态。

其次，要体味诗人所抒之"怀"是否真挚感人。特别是思乡、念亲、怀友、离别之作，若是矫情造作，必然无从动人；能够流传千古的，都有一份真挚的感情，我们要细加领会。例如李白的《赠汪伦》："李白乘舟将欲行，忽闻岸上踏歌声。桃花潭水深千尺，不及汪伦送我情。"赠别的对象是作者游览此地时结交的一位朋友，常酿美酒款待李白。当李白离开时，汪伦前来送行，李白以此诗相赠，恰如前人所言"太白于景切情真处，信手拈出"，以浅白的语言，抒发真挚诚恳的情怀。

再次，要领略"感怀"的艺术技巧。即事感怀诗，往往是偶有所感时信口而出的，或者是觥筹交错

中仓促挥就的，不像有些诗那样精雕细刻，但是一些诗作，凭着作者深厚的艺术功底，还是显现出精湛的艺术技巧，须仔细揣摩。

6. 羁旅思乡诗

在古代，有的诗人长期客居在外，漂泊异地，滞留他乡，他们或谋求仕途，或被贬他乡，或游历名山大川，或探亲访友，这种情形被古人称为“羁旅”。在羁旅途中，这些诗人将眼中所见、耳中所闻、心中所感写入诗中表现出来，我们称这些诗为羁旅诗。这类诗，或描述个人游历见闻感受，表现思亲怀乡之情，或将叙事与抒情相结合，排遣自己的郁闷不得志，凝聚了诗人的人生感叹和对亲情、友情的重视。这类诗情真意切，真实地表现了客居他乡的艰难、漂泊无定的辛苦、对家乡亲人的思念、对温馨家庭的憧憬，以及对安定幸福生活的期盼向往。阅读这类诗，除了要了解诗人的生活经历，弄清诗人所思所想和诗中寄寓的复杂感情外，还要做到以下几点：

(1)挖掘关键信息。

羁旅类诗词中有一些关键的字词，如“孤”“悲”“怜”“空”“独”“思”“故园”等。如2009年山东卷杜牧的《寄远》“正是客心孤回处”。有时特殊的节日，也是关键信息，如冬至、除夕、元宵节、重阳节等重要节日，常常引发旅人的思乡怀人之情。如白居易的《邯郸冬至夜思家》、高适的《除夜作》都写于唐朝两个重要的节日。

(2)留心景物意象。

羁旅诗中使用频率比较高的意象有：①望月怀远，如2009年广东卷杜甫的《月》；辽宁卷欧阳修的《晚泊岳阳》中三处提到“月”；2010年全国卷Ⅱ欧阳修的《梦中作》“夜凉吹笛千山月”等。②鸿雁传书，如2009年福建卷严羽的《江行》中“残雪和雁断”。③折柳送别，如2002年全国卷李白《春夜洛城闻笛》。④杜鹃啼血，如2004年全国卷Ⅲ晏几道的《鹧鸪天》。

(3)注意常见手法。

羁旅诗除了使用惯常的“借景抒情”“虚实结合”“渲染”等表达技巧外，还有两种特殊的表现手法：

①乐景衬哀情。如杜甫的《绝句二首(其二)》，当时诗人客寓成都，亟思东归，因战乱道阻，未能成行，所以有“今春看又过，何日是归年?”的叹息。但诗的前两句“江碧鸟逾白，山青花欲燃”却勾画出一幅浓丽的春日画面，极言春光融洽。如此美景，何以思归？原来这是以乐景写哀情，以客观景物与主观感受的鲜明对照，反衬诗人思乡之情更加浓厚。

②侧面落笔。不说自己想家，却说家人想自己，令人倍觉凄凉。如杜甫的《月夜》：“今夜鄜州月，闺中只独看。遥怜小儿女，未解忆长安。香雾云鬟湿，清辉玉臂寒。何时倚虚幌，双照泪痕干?”诗人设想了一幅妻子望月怀远的画面，忆之深，故望之久，将妻子写得娇美动人，也衬托出诗人的思之切，爱之深，读来格外凄恻动人。另外如白居易的《邯郸冬至夜思家》、王维的《九月九日忆山东兄弟》等，都是想象家中的亲人在思念谈论自己，从而表达自己的思乡之情的。

(4)把握情感类别。

羁旅诗抒发的情感大致有四类：①叙写羁旅之苦，抒发内心的孤独凄凉及思乡之情。如张继的《枫桥夜泊》、马致远的《天净沙·秋思》等。②感念亲情之深，表达对亲人的热爱与思念。如孟郊的《游子吟》、温庭筠的《商山早行》等。③抒发独居他乡，不得重用，怀才不遇，报国无门的孤独寂寞、幽怨愤慨之情。如杜甫的《登高》、范仲淹的《渔家傲·塞下秋来风景异》等。④抒发厌恶战争、思念家乡亲人之情。如柳中庸的《征人怨》。

7. 思妇闺情诗

所谓思妇闺情诗，指的是以闺中思妇的情怀或愁绪为主要写作内容的诗歌。这些诗歌思想内容不是很深，但在写作的艺术技巧上却很值得我们探讨。闺怨诗主要抒写古代民间弃妇和思妇(包括征妇、商妇、游子妇等)的忧伤，或者少女怀春、思念情人的感情。

从其内容上讲，主要包括下面几类：

(1)表现闺中女子的后悔、怨恨。

青年士子为了博取功名利禄、荣华富贵而远离妻室，使得妻子在无尽的等待与无边的愁闷中生出怨恨之情。如王昌龄的《闺怨》一诗中写道："闺中少妇不曾愁，春日凝妆上翠楼。忽见陌头杨柳色，悔教夫婿觅封侯。"以前，一心想要丈夫立功边塞、博取功名，一个人在深闺还感觉不到丈夫不在身边的愁闷。可现在登上楼头不经意地看到，路边的杨柳树头早已是一片葱翠。"杨柳色"虽然在很多场合下可以作为"春色"的代称，但也可以使人联想起蒲柳先衰，青春易逝；联想起千里相隔的夫婿和当年折柳赠别，这一切，都促使她从内心深处冒出以前从未明确意识到而此刻却变得非常强烈的念头——"悔教夫婿觅封侯"。李益的《江南曲》："嫁得瞿塘贾，朝朝误妾期。早知潮有信，嫁与弄潮儿。"诗以白描手法，曲折而传神地表达了一个商人之妇的怨情。丈夫经商长年在外，自己独守空房。想到潮水涨落有规律，后悔当初没有嫁给随潮水出没的弄潮儿。

(2)表现对游子的思念、想望。

丈夫在外出征或在外谋取功名，闺中的妻子自然是日思夜想。沈佺期《杂诗三首(其三)》中写出了一个征妇的怨辞："闻道黄龙戍，频年不解兵。可怜闺里月，长在汉家营。少妇今春意，良人昨夜情。谁能将旗鼓，一为取龙城。"这首诗，写闺中少妇和久戍未归的丈夫的两地相思之情。诗中不仅表达了他们的深挚恋情，而且也委婉、含蓄地讽刺了边将的无能。诗一开头，首联叙事，交代地点、背景与事件，揭示造成家庭悲剧的原因是连年的边塞战争，指出了少妇闺怨的原因，也寓有讽刺的深意，因为使少妇和征夫远隔两地，只能望月相思，就是由于"频年不解兵"，战事未能早日结束的缘故。所以接着的三、四两句，以无限哀怨的声调，通过月光的流照，抒发了两地的相思苦情："可怜闺里月，长在汉家营。"这里，照在闺中的应是团圆之月，如今照在边地军营之中，倒成了离别的象征。正因为这样，五、六两句才着重写了两地相思之情："少妇今春意，良人昨夜情。"这两句是互文见义的，意思是说，少妇在闺中年年盼啊，夜夜想；良人在边地也是夜夜想啊，年年盼。虽然关山远隔，但彼此思念的情意是一样的。然而，要到什么时候，这两地相思才能变为一处欢聚呢？边将无能，恐怕这相思是无望的吧。"谁能将旗鼓，一为取龙城。"这是丈夫同时也是妻子的渴望。

(3)表现对丈夫的关切、牵挂。

"儿行千里母担忧。"丈夫在外，在家的妻子何尝不担忧、不牵挂呢？唐代王驾之妻陈玉兰的《寄夫》："夫戍边关妾在吴，西风吹妾妾忧夫。一行书信千行泪，寒到君边衣到无？"写的是一位女子不顾西风吹在自己身上的寒冷，却对丈夫体贴入微，问寒问暖，十分生动地写出了少妇的焦虑。

(4)表现闺中的寂寞、冷清。

这类诗犹以表现宫女的寂寞之情最突出。古代的最高统治者为了满足自己的淫欲和役使的需要，把大批的民间貌美女子掳入宫中。这些宫女在深宫里被高墙深院锁着，一待就是一辈子；除非特殊的原因可以被放出宫，不然就只能老死于这寂寞冷清的皇宫里。一部分宫女进宫后，连皇上的面也没见过。她们的痛苦、怨言可以想见。唐代元稹的《行宫》："寥落古行宫，宫花寂寞红。白头宫女在，闲坐说玄宗。"这是一首抒发盛衰之感的诗。几个玄宗天宝年间进宫的老宫人，年轻时都是月貌花容，娇姿艳质，她们被禁锢在古行宫中，如今红颜憔悴，成日闲坐无聊，只有谈论已往。此情此景，好不凄绝！

(5)借思妇闺情寄寓作者自己的人生感慨。

李商隐《嫦娥》中这样写道："云母屏风烛影深，长河渐落晓星沉。嫦娥应悔偷灵药，碧海青天夜夜心。"诗中所抒写的孤寂感以及由此引起的"悔偷灵药"式的情绪，融入了诗人独特的现实人生感受，而含有更丰富深刻的意蕴。在黑暗污浊的现实包围中，诗人精神上力图摆脱世俗，追求高洁的境界，而追求的结果往往使自己陷于更孤独的境地。清高与孤独的孪生，以及由此引起的既自赏又自伤，既不甘变心从俗，又难以忍受孤孑寂寞的煎熬这种微妙复杂的心理，在这里被诗人用精微而又含蓄的语言成功地表现出来了，这是一种含有浓重伤感的美，在旧时代的清高文士中容易引起广泛的共鸣。诗的典型意义也正在这里。

附录一

古诗词曲中常见意象

说明：中国是诗的国度，诗歌历史悠久，从《诗经》算起，已逾2 500年。由于长期文化积淀，古诗词曲的许多物象都有特定内蕴，成为特定的意象。从语言分析角度，意象大致可分为名物类意象，如“梧桐”“长亭”“浮云”；动态类意象，如“捣衣”“登临”“折柳”。其中的典故类意象，因其重要而又难以理解，亦可单列一类，如“杜鹃”“长城”“楼兰”。以下是古诗词曲中常见意象（按音序排列）。

芭蕉 常用以表现孤独忧愁，离情别绪。如：窗前谁种芭蕉树？阴满中庭；阴满中庭，叶叶心心，舒卷有馀情。（宋·李清照《添字采桑子·芭蕉》）

白云 望云而生思友怀人之情。如：思家步月清宵立，忆弟看云白日眠。（唐·杜甫《恨别》）

冰雪 冰雪晶莹，比喻品格高洁。如：应念岭表经年，孤光自照，肝胆皆冰雪。（宋·张孝祥《念奴娇·过洞庭》）

冰心（冰壶、玉壶冰） 比喻心性清明纯洁。如：洛阳亲友如相问，一片冰心在玉壶。（唐·王昌龄《芙蓉楼送辛渐》）

草木 以草木繁盛反衬荒凉，抒发昔盛今衰、物是人非的感慨。如：国破山河在，城春草木深。（唐·杜甫《春望》）

蝉 表现凄楚哀婉之情。如：高树蝉声入晚云，不唯愁我亦愁君。（唐·雍陶《蝉》）

长城 指代守边将领。如：塞上长城空自许，镜中衰鬓已先斑。（宋·陆游《书愤》）

长亭 古代驿站路上约隔十里设一长亭，五里设一短亭，供游人休息和送别。后代指送别地。如：寒蝉凄切，对长亭晚，骤雨初歇。（宋·柳永《雨霖铃》）

尺素（双鲤） 古代珍贵的家信写在一尺见方的白绢上，盛以双鱼形木匣。代指书信。如：驿寄梅花，鱼传尺素，砌成此恨无重数。（宋·秦观《踏莎行》）

捣衣（捣练、暮砧、寒砧） 洗衣时用木杵在砧上捶击衣服，使之干净。常用以表现思妇伤情，游子思乡。如：长安一片月，万户捣衣声。（唐·李白《子夜吴歌》）

登临 古人心中愁思郁结，情绪难平，每每登高远望，试图消解块垒，但实际上却反而增加内心的忧思、叹老、思乡、怀人等。如：花近高楼伤客心，万方多难此登临。（唐·杜甫《登楼》）

雕虫 比喻微不足道的技术，多指文学技巧。如：寻章摘句老雕虫，晓月当帘挂玉弓。[唐·李贺《南园十三首（其六）》]

丁香结 丁香结比喻心中郁结的忧愁。例如，李商隐《代赠》“芭蕉不展丁香结，同向春风各自愁”和冯延巳《醉花间》“霜树尽空枝，肠断丁香结”中的“丁香结”都是比喻心中的忧愁。

杜鹃（子规、杜宇、望帝） 望帝传说是蜀地的君主，名叫杜宇，后来禅位退隐，不幸国亡身死，死后魂化为杜鹃，暮春苦啼，以致口中流血。后多渲染哀怨悲凄的气氛或思归的心情。如：又闻子规啼夜月，愁空山。（唐·李白《蜀道难》）

杜康 传说中最早酿酒的人，后成为酒的代称。如：何以解忧，唯有杜康。（东汉·曹操《短歌行》）

芳草 ①即香草。后比喻有美德的人。如：枝上柳绵吹又少，天涯何处无芳草！（宋·苏轼《蝶恋花》）②表示怀人。如：山密夕阳多，人稀芳草远。（唐·杜牧《长安送友人游湖南》）

风骚 《诗经》的《国风》和《楚辞》的《离骚》的并称。①指优秀文学作品或文采。如：江山代有才人出，各领风骚数百年。（清·赵翼《论诗》）②泛指诗文。如：晚晴催翰墨，秋兴引风骚。（唐·高适《同崔员外、綦毋拾遗九日宴京兆府李士曹》）

浮云 ①比喻不值得关心与重视的事。如：丹青不知老将至，富贵于我如浮云。（唐·杜甫《丹青引赠曹将军霸》）②比喻漂泊的游子。如：浮云游子意，落日故人情。（唐·李白《送友人》）③比喻小人。如：总为浮云能蔽日，长安不见使人愁。（唐·李白《登金陵凤凰台》）④比喻变幻不定。如：流水生涯尽，浮云世事空。（唐·杜甫《哭长孙侍御》）

芙蓉（荷） 以其出淤泥而不染，比喻高洁的品格。如：制芰荷以为衣兮，集芙蓉以为裳。（战国·屈原《离骚》）清水出芙蓉，天然去雕饰。（唐·李白《经乱离后天恩流夜郎忆旧游书怀赠江夏韦太守良宰》）

孤灯 羁旅凄凉，思乡怀人。如：落叶他乡树，寒灯独夜人。（唐·马戴《灞上秋居》）寒灯思旧事，断雁警愁眠。（唐·杜牧《旅宿》）孤灯闻楚角，残月下章台。（唐·韦庄《章台夜思》）

孤舟 寄寓漂泊孤独之感。如：亲朋无一字，老病有孤舟。（唐·杜甫《登岳阳楼》）

扁舟 象征自由。如：人生在世不称意，明朝散发弄扁舟。（唐·李白《宣州谢朓楼饯别校书叔云》）

关山 关隘山岭；边塞。多与思乡念人有关，表现征戍离别之情。如：借问梅花何处落，风吹一夜满关山。（唐·高适《塞上听吹笛》）

红豆 常用以象征爱情或相思。如：红豆不堪看，满眼相思泪。（五代·牛希济《生查子》）

红杏 古代诗人多借红杏写春。宋祁的"红杏枝头春意闹"，叶绍翁的"春色满园关不住，一枝红杏出墙来"，句句充盈着勃勃生机。

鸿鹄 天鹅。比喻有远大志向的人。如：且将鸿鹄意，付作马牛风。（明·徐复祚《投梭记·渡江》）

鸿雁（雁足、雁书） ①多指书信、音讯。如：鸿雁在云鱼在水，惆怅此情难寄。（宋·晏殊《清平乐》）②指游子思乡。如：人情已厌南中苦，鸿雁那从北地来？（唐·王勃《蜀中九日登高》）

鸡肋 比喻乏味又不忍舍弃之物。如：官如鸡肋浪奔驰，政似牛毛常黾勉。（宋·苏辙《送转运判官李公恕还朝》）

鸡黍 专指招待客人的饭菜。如：故人具鸡黍，邀我至田家。（唐·孟浩然《过故人庄》）

锦字 织在彩色丝织品上的文字，古代诗词中常常借指寄给丈夫的书信。当然，有时也泛指女性的书信。如：别来久，浅情未有，锦字系征鸿。（宋·晏几道《满庭芳》）况有锦字书，开缄使人嗟。（唐·李白《久别离》）

惊鸿 惊飞的鸿雁，多比喻美女轻盈优美的舞姿。如：彩笔谕戎矜倚马，华堂留客看惊鸿。（唐·刘禹锡《酬窦员外郡斋宴客偶命柘枝因见寄》）

菊花 习性傲霜，多比喻高洁的品格。如：朝饮木兰之坠露兮，夕餐秋菊之落英。（战国·屈原《离骚》）不是花中偏爱菊，此花开尽更无花。（唐·元稹《菊花》）

兰 高洁的情操，隐士的象征。如：遇赏宁为佩，为生莫碍门。（唐·张九龄《悲秋兰》）生无桃李春风面，名在山林处士家。（南宋·杨万里《兰花》）几人曾识离骚面，说与兰花枉自开。（南宋·方岳《咏兰》）

阑或是阑（栏）干 这一意象在宋词中有很多。它往往象征着思念、寂寞、离愁，而且指向相对稳定。如：小楼西角断虹明。阑干倚处，待得月华生。（北宋·欧阳修《临江仙》）争知我，倚阑干处，正恁凝愁！（北宋·柳永《八声甘州》）曲阑干外天如水，昨夜还曾倚。（北宋·晏几道《虞美人》）凭栏久，疏烟淡日，寂寞下芜城。（北宋·秦观《满庭芳》）泪湿阑干花著露，愁到眉峰碧聚。（北宋·毛滂《惜分飞》）楼上阑干横斗柄，露寒人远鸡相应。（北宋·周邦彦《蝶恋花》）闲愁最苦。休去倚危栏，斜阳正在、烟柳断肠处。（南宋·辛弃疾《摸鱼儿》）生怕倚阑干，阁下溪声阁外山。（宋·潘牥《南乡子》）

劳歌 本指在劳劳亭（旧址在南京，是古代著名的送别之地）送客时唱的歌。后泛指送别歌。如：劳歌一曲解行舟，红叶青山水急流。（唐·许浑《谢亭送别》）

莲 ①谐音"怜"，借以表现爱情。如：采莲南塘秋，莲花过人头；低头弄莲子，莲子清如水。（南朝乐府《西洲曲》）②以莲出污泥而不染，表现和谐恬静的意境。如：竹喧归浣女，莲动下渔舟。（唐·王维《山居秋暝》）

流水 孔子曾经站在河边上感叹"逝者如斯夫"，以后，人们面对逝去的河水，往往慨叹时光流逝、功业无成。李白长安受挫后用"世间行乐亦如此，古来万事东流水"来自我安慰。苏轼被贬黄州，登临赤壁，用"大江东去，浪淘尽、千古风流人物"来表达对历史上英雄的仰慕和自己功业无成的慨叹。

柳 送别，思念，惜别怀人。如：忽见陌头杨柳色，悔教夫婿觅封侯。（唐·王昌龄《闺怨》）柳外重重叠叠山，遮不断、愁来路。（宋·徐俯《卜算子》）阑干四绕，听折柳徘徊，数声终拍。（北宋·周邦彦《月下笛》）也可象征着时世兴衰。如：无情最是台城柳，依旧烟笼十里堤。（唐·韦庄《台城》）另外，柳絮的飘浮不定，也常作愁绪的象征。如：若问闲情都几许？一川烟草，满城风絮，梅子黄时雨！（北宋·贺铸《青玉案》）

楼兰 汉代西域的国名。后代诗文常常用"斩楼兰""破楼兰"抒写为国立功、抗击外寇的壮志。李白《塞下曲》的"愿将腰下剑,直为斩楼兰"即为此意。

芦管 即芦笳。古代一种管乐器,以芦叶为管,其音哀伤。唐边塞诗中常表现征夫思乡的怆然之情。如:不知何处吹芦管,一夜征人尽望乡。(唐·李益《夜上受降城闻笛》)

绿窗 绿窗意为绿色的纱窗。唐宋贵族妇女喜欢在春夏之季贴绿色窗纱,蔚然成风,诗人简称绿窗,也作碧窗。在中国古典诗歌中,它往往表示一种温暖的家庭气氛,或者一种闺阁情调。例如,刘方平《月夜》中"今夜偏知春气暖,虫声新透绿窗纱","绿窗"显示的是一种温馨的情调。

落红 "红"在诗词中常常为"花"的代名词,而且一般指凋残的花,与其他词语搭配,多加"落""乱""残"等字样。"感时花溅泪,恨别鸟惊心",诗人在看到自然界花开的时候,敏感的心灵往往使他们情不自禁地落泪。那么,可以推想,当诗人看到象征衰残的落花的时候,又怎能无动于衷呢?落花撩动了无数诗人的情思,在诗人看来,落红是春天即将离开的信号,也是美好事物转眼成空的象征,它又仿佛是不幸者的命运写照。古往今来,许多诗人都写过落红,常常带着无限惋惜和无奈的感情。南宋辛弃疾《摸鱼儿》中的"惜春长怕花开早,何况落红无数",就是很好的例子。

梅 凌霜傲雪,品格高洁。如:应知早飘落,故逐上春来。(何逊《咏早梅》)过时自合飘零去,耻向东君更乞怜。(南宋·陆游《落梅》)不要人夸颜色好,只留清气满乾坤。(元·王冕《墨梅》)玉为肌骨雪为神,近看尤觉远更真。(明·于谦《和梅花百咏》之一)

暮鸦(寒鸦、昏鸦) 常用以渲染衰败萧索之景,痛惜悲凉之情。如:枯藤老树昏鸦,小桥流水人家。(元·马致远《天净沙·秋思》)

南浦 代指送别地。如:南浦凄凄别,西风袅袅秋。(唐·白居易《南浦别》)

南园 泛指花草园林。南,在这里没有实际的方位意义。在东汉,南园是皇家苑囿,在洛水南。后来的文人便用以泛指花草园林。如:南园满地堆轻絮,愁闻一霎清明雨。(温庭筠《菩萨蛮》)

凭栏 凭栏的意思就是倚着栏杆站着,但在诗词中使用"凭栏""倚栏""凭阑"等词语,就有了多种不同的意味:或者表示怀远,或者表示凭吊,或者表示郁悒愁苦,或者表示慷慨激昂。李煜"独自莫凭栏",岳飞"怒发冲冠,凭栏处"等诗句中的"凭栏",都和某种激动的感情联系在一起。古人怀念远人,或心有所思,或郁悒愁苦,都习惯默默地凭栏对远。如:草色烟光残照里,无言谁会凭阑意。(柳永的《蝶恋花》)

蓬莱 传说中渤海里仙人居住的山。在诗词中用"蓬莱"多比喻皇家宫殿,或比喻歌舞楼榭,有时也指仙人居所。总而言之,在诗词中,"蓬莱"多借以形容环境美好,犹如仙境一般。也作"蓬壶""蓬岛"。如:好把音书凭过雁,东莱不似蓬莱远。(李清照《蝶恋花》)

羌笛(羌管) 古代西部少数民族的一种乐器,其音凄切。唐边塞诗中常表现征夫思乡的怆然之情。如:羌笛何须怨杨柳,春风不度玉门关。(唐·王之涣《凉州词》)羌管悠悠霜满地,人不寐,将军白发征夫泪。(宋·范仲淹《渔家傲·秋思》)

青鸟(青鸾) 传说中的神鸟。多借指传递书信的人,表现爱情。如:蓬山此去无多路,青鸟殷勤为探看。(唐·李商隐《无题》)

三径 代隐士居处。如:明月好同三径夜,绿杨宜作两家春。(唐·白居易《欲与元八卜邻,先有是赠》)

瑟瑟 一种绿色宝石的名字。借指绿色。如:一道残阳铺水中,半江瑟瑟半江红。(唐·白居易《暮江吟》)

山阳笛(邻笛) 用以表现凄怨的悼友怀旧之情。如:唯有山阳笛,凄余思旧篇。(北周·庾信《伤王司徒褒》)

黍离 借以表现国家昔盛今衰的痛惜伤感之情。如:游者叹黍离,处者歌式微。(三国魏·曹植《情诗》)

亭 古代驿道旁置亭,十里设一长亭,五里设一短亭,送别亲朋好友时往往在亭中设酒饯行,所以亭也就成了一个抒写离情别绪的意象。李白的"何处是归程,长亭更短亭",写的就是离人望着长亭、短亭而不见人归来的伤心情景。《西厢记》中"遥望见十里长亭,减了玉肌,此恨谁知",抒发的也是这种伤感之情。

松柏(或松) 常用以象征孤直坚忍的品

格。如：岂不罹凝寒，松柏有本性！[东汉·刘桢《赠从弟(其二)》]

铜驼 用以表现历史沧桑之感。如：洛下铜驼，昭陵石马，物不自愁人替愁。兴亡事，向西风把剑，清泪双流。(宋·陈人杰《沁园春》)

吴钩

原指吴王阖闾所造的钩，但在唐宋诗中多作身边所佩带刀剑的代称。李贺《南园》中有"男儿何不带吴钩，收取关山五十州"，杜甫《后出塞》中有"少年别有赠，含笑看吴钩"。在诗人的笔下，吴钩多用来暗示建功立业的抱负。

五柳 隐者的代称。如：复值接舆醉，狂歌五柳前。(唐·王维《辋川闲居赠裴秀才迪》)

梧桐 象征凄苦愁绪。如：春风桃李花开日，秋雨梧桐叶落时。(唐·白居易《长恨歌》)

夕阳 苍茫，衰暮，对时光流逝、世事沧桑的悲叹。如：夕阳无限好，只是近黄昏。(唐·李商隐《乐游原》)夕阳依旧垒，寒磬满空林。惆怅南朝事，长江独至今。(唐·刘长卿《秋日登吴公台上寺远眺寺即陈将吴明彻战场》)断鸿声里，立尽斜阳。(宋·柳永《玉蝴蝶》)夕阳西下，断肠人在天涯。(元·马致远《天净沙·秋思》)

西楼 西楼指位于西面的楼。西楼仅仅是一个象征性的概念，或者指代闺房，或者指代曾经聚会之所，或者指代孤独寂寞的居所，或者指代登高望月怀远的地点，在诗词中，西楼多属泛指。李煜"无言独上西楼，月如钩"，许浑"满天风雨下西楼"，李清照"雁字回时，月满西楼"，晏几道"西楼月下当时见，泪粉偷勾"中"西楼"的内涵是有差别的。

湘竹(湘妃、斑竹) 表现悲伤的情思。如：杜鹃声似哭，湘竹斑如血。(唐·白居易《江上送客》)

新亭 因为"新亭对泣"的故事，"新亭"这个普通的地名也就有了象征意义，表示怆怀故国，或者表达忧国伤时的悲愤之情。辛弃疾的《水龙吟》"长安父老，新亭风景，可怜依旧"就是典型的例子。

燕 在古诗词中意象非常丰富。(1)表现春光之美，叹惜春之情。如：冥冥花正开，飏飏燕新乳。(唐·韦应物《长安遇冯著》)乌啼芳树丫，燕衔黄柳花。(元·张可久《凭栏人·暮春即事》)(2)爱情的象征以及对情人的思念。如：燕燕于飞，差池其羽。之子于归，远送于野。(《诗经·邶风·燕燕》)暗牖悬蛛网，空梁落燕泥。(隋·薛道衡《昔昔盐》)罗幔轻寒，燕子双飞去。(宋·晏殊《破阵子》)(3)表现世道沧桑，抒发昔盛今衰、国破家亡的感慨和悲愤。如：旧时王谢堂前燕，飞入寻常百姓家。(唐·刘禹锡《乌衣巷》)无可奈何花落去，似曾相识燕归来。小园香径独徘徊。(宋·晏殊《浣溪沙》)山河风景元无异，城郭人民半已非。满地芦花和我老，旧家燕子傍谁飞？(宋·文天祥《金陵驿》)(4)以燕传书，相诉离情。如：殷勤凭燕翼，寄与薄情夫。(唐·郭绍兰《寄夫》)伤心燕足留红线，恼人鸾影闲团扇。(元·张可久《塞鸿秋·春情》)(5)寄托着漂泊流浪、羁旅情愁。如：有如社燕与飞鸿，相逢未稳还相送。(宋·苏轼《送陈睦知潭州》)年年如新燕，飘流瀚海，来寄修椽。(宋·周邦彦《满庭芳》)

阳关 古曲《阳关三叠》的省称。后以《阳关》曲泛指离别时唱的歌曲。如：唱尽阳关无限叠，半杯松叶冻颓黎。(唐·李商隐《饮席戏赠同舍》)

杨柳岸 指送别的地方。古人送别有折柳的习俗。如：今宵酒醒何处？杨柳岸，晓风残月。(宋·柳永《雨霖铃》)

杨花柳絮 以其任由东风吹洒飘落，多喻指漂泊遭贬之人。如：杨花落尽子规啼，闻道龙标过五溪。(唐·李白《闻王昌龄左迁龙标遥有此寄》)

猿 孤寂、愁苦的象征。如：忆君遥在潇湘月，愁听清猿梦里长。(唐·王昌龄《送魏二》)今日岭猿兼越鸟，可怜同听不知愁。(唐·韩愈《湘中酬张十一功曹》)。山暝听猿愁，沧江急夜流。风鸣两岸叶，月照一孤舟。(唐·孟浩然《宿桐庐江寄广陵旧游》)

月 ①古人对月思亲怀远，用以表现离愁别绪，思乡思国之愁。如：海上生明月，天涯共

此时。情人怨遥夜，竟夕起相思。（唐·张九龄《望月怀远》）②表示永恒。如：古人今人若流水，共看明月皆如此。（唐·李白《把酒问月》）

折柳 借"柳""留"谐音，表挽留不舍意。①代指赠别或送别，表现离愁别恨。如：新知折柳赠，旧侣乘篮送。（唐·权德舆《送陆太祝》）②指古乐曲《折柳》（《折杨柳曲》的省称）。多为伤春悲离之辞。如：笛中闻折柳，春色未曾看。[唐·李白《塞下曲六首（其一）》]

折腰 躬身拜揖。后喻指屈身事人。如：安能摧眉折腰事权贵，使我不得开心颜！（唐·李白《梦游天姥吟留别》）

鹧鸪 鹧鸪叫声似说"行不得也哥哥"。后多表现思乡离愁。如：江晚正愁余，山深闻鹧鸪。（宋·辛弃疾《菩萨蛮》）又表现衰败景象。如：宫女如花满春殿，只今惟有鹧鸪飞。（唐·李白《越中览古》）

舟 往往是漂泊的代名词。如：细草微风岸，危樯独夜舟。星垂平野阔，月涌大江流。名岂文章著，官应老病休。飘飘何所似？天地一沙鸥。（唐·杜甫《旅夜书怀》）亲朋无一字，老病有孤舟。戎马关山北，凭轩涕泗流。（唐·杜甫《登岳阳楼》）长恨此身非我有，何时忘却营营？夜闻风静縠纹平。小舟从此逝，江海寄馀生。（宋·苏轼《临江仙》）也表现为无拘无束、自由旷达。人生在世不称意，明朝散发弄扁舟。（唐·李白《宣州谢朓楼饯别校书叔云》）

竹 竹"未出土时先有节，及凌云处尚虚心"，其虚心有节正好与古代君子之风吻合，所以古诗词中的竹子往往被塑造成君子的形象，苏东坡的"结根岂殊众，修柯独出林。孤高不可恃，岁晚风霜侵"，王安石的"人怜直节生来瘦，自许高材老更刚。曾与蒿藜同雨露，终随松柏到冰霜"，郑板桥的"咬定青山不放松，立根原在破岩中。千磨万击还坚劲，任尔东西南北风"，这些诗句写出了竹子不随流俗、不畏风霜、孤高刚劲的君子风范。

转蓬（飞蓬、飘蓬、征蓬、孤蓬） 蓬草（菊科植物）随风飘转。后比喻身世飘零，表现漂泊的孤寂和哀伤。如：转蓬离本根，飘摇随长风。（三国魏·曹植《杂诗》）征蓬出汉塞，归雁入胡天。（唐·王维《使至塞上》）

除了这些，古诗词中还常在语句里出现乐曲名称，而这些乐曲又往往有特定的含义、情感或寓意，对全诗的整体意象或情感表达有直接的作用。

关山月

乐府曲调，多写征戍离别之情。如：琵琶起舞换新声，总是关山旧别情。[王昌龄《从军行（其二）》]

梅花落

曲调名。如："黄鹤楼上吹玉笛，江城五月落梅花。"（李白《与史郎中钦听黄鹤楼上吹笛》）由《梅花落》的笛声想象梅花满天飘落的景象，再由梅花的飘落产生凛然生寒的感觉。这正与诗人当时的心境结合。这样，诗人由笛声想到梅花，由听觉诉诸视觉，以通感的方式描绘了冷落的感受。

霓裳羽衣曲

相传是唐玄宗改编的乐舞曲，主要表现歌舞升平的景象。如："渔阳鼙鼓动地来，惊破霓裳羽衣曲。"（白居易《长恨歌》）

后庭花

即玉树后庭花，相传是南朝后主所制的乐曲，为绮靡之音。如："商女不知亡国恨，隔江犹唱后庭花。"（杜牧《泊秦淮》）

杨柳曲

乐府曲调"杨柳枝"，有时也作"折杨柳"，主要写军旅生活，从梁、陈到唐代，多为伤别之词，以怀念征人为主。如："羌笛何须怨杨柳，春风不度玉门关。"（王之涣《凉州词》）"笛中闻折柳，春色未曾看。"[李白《塞下曲六首（其一）》]

行路难

古曲名，多言世路艰难及离别伤悲之情。如："天山雪后海风寒，横笛遍吹《行路难》。"（李益《从军北征》）

附录二

古诗文常用典故集锦

班马 ①离群之马。春秋时：晋、鲁、郑伐齐，齐军趁夜间撤走。晋国大臣刑伯听到齐军营中马叫，推测道："有班马之声，齐国军队一定撤走了。"后送别诗多用以抒发惜别之情。李白《送友人》："挥手自兹去，萧萧班马鸣。"②亦称马班，汉代史学家司马迁与班固的并称。

抱柱 典出《庄子·盗跖》，尾生同一女子相约在桥下见面，等了很久不见女子到来，这时河水猛涨，淹没桥梁，尾生为坚守信约，不肯离去，抱住桥柱，淹死在水里。后比喻坚守信约。李白《长干行》："常存抱柱信，岂上望夫台。"

北辰 原指北极星。《尔雅·释天》："北极谓之北辰。"后用来喻指国君或受尊崇的人，也指帝都。如王勃《滕王阁序》："地势极而南溟深，天柱高而北辰远。"

碧血 化碧 借指为正义事业所流的血。语出《庄子·外物》，苌弘是周朝的贤臣，传说他无罪被杀，三年后其血化为碧玉。后以"碧血""苌弘化碧"比喻蒙冤而死或忠心不泯。如关汉卿《窦娥冤》："委实的冤情不浅……这就是咱苌弘化碧，望帝啼鹃。"

比翼鸟 传说中的一种鸟，雌雄总在一起飞，古代诗歌里用作恩爱夫妻的比喻。

采薇 采摘野菜，借指隐居生活，也表示坚守节操。出自商亡以后，伯夷、叔齐隐居山野，义不事周的故事。如王绩《野望》："相顾无相识，长歌怀采薇。"

婵娟 姿态美好，多用来形容女子。人们常喻月为美女，故也称月亮为婵娟。

莼羹鲈脍 指家乡风味。典出《晋书·张翰传》："翰因见秋风起，乃思吴中菰菜、莼羹、鲈鱼脍，曰：'人生贵得适志尔，何能羁宦数千里以要名爵？'遂命驾便归。"后来的文人将思念家乡、弃官归隐称为莼鲈之思。张翰字季鹰，故辛弃疾《水龙吟·登建康赏心亭》云："休说鲈鱼堪脍，尽西风，季鹰归未？"

辞第 汉时，北方匈奴经常骚扰边境。一次汉武帝要为大将霍去病修建府第，霍去病辞谢道："匈奴未灭，无以家为也。"后以之喻为国忘家。杜甫《奉和严中丞西城晚眺十韵》："辞第输高义，观图忆古人。"

东篱 陶渊明《饮酒（其五）》："采菊东篱下，悠然见南山。"后来多用"东篱"表现辞官归隐后的田园生活或闲雅的情致。如李清照《醉花阴》："东篱把酒黄昏后，有暗香盈袖。"

豆蔻 一种多年生草本植物。杜牧《赠别》："娉娉袅袅十三馀，豆蔻梢头二月初。"后来称女子十三四岁的年纪为豆蔻年华。

红叶 指以诗传情。据说唐人卢渥从宫墙外水沟中拾到一片写有怨诗的红叶，珍藏起来。后宣宗放宫女嫁人，卢渥选中的宫女，正巧就是在红叶上题诗的人。

花中四君子 梅、兰、竹、菊并称为"花中四君子"。

还珠 典出《后汉书·循吏传》，古时合浦盛产珍珠，但因地方官员贪污成风，珍珠都自动移去别的地方。后来孟尝做太守，革除贪污流弊，珍珠又回到合浦来了。故以"还珠"喻官吏为政清廉。杜牧《春日言怀寄虢州李常侍十韵》："今日还珠守，何年执戟郎？"

击楫中流 也作"中流击楫"。楫，船桨。出自《晋书·祖逖传》，东晋大将祖逖率部渡江，行至江中时，他敲着船桨发誓说，不收复中原，决不生还。后借指决心报效国家，收复失地。如宋人赵善括《满江红·辛卯生日》："颖脱难藏冲斗剑，誓清行击中流楫。"文天祥《贺赵侍郎月山启》："慨然有神州陆沉之叹，发而为中流击楫之歌。"又称"中流誓"，如陈亮《念奴娇·登多景楼》："正好长驱，不须反顾，寻取中流誓。"

鸡口牛后 《战国策·韩策一》："宁为鸡口，无为牛后。"比喻宁愿在局面小的地方当家做主，不愿在局面大的地方任人支配。

见背 背，离开。谓父母去世。李密《陈情表》："生孩六月，慈父见背。"

结草衔环 比喻至死感恩报德。“结草”出自《左传》，晋大夫魏武子临终前嘱咐儿子魏颗杀其爱妾殉葬，魏颗没有照办而把她嫁出去了。后来魏颗与秦将杜回作战，见一老人结草将杜回绊倒，后老人托梦称是那个再嫁之妾的父亲，特来报恩。“衔环”出自《续齐谐记》，东汉杨宝救了一只黄雀，后有黄衣童子以白环相赠，称当使其子孙位列三公，后果如其言。李密《陈情表》：“臣生当陨首，死当结草。”

精卫 古代神话中，炎帝的女儿在东海淹死，化为精卫鸟，每天衔西山的木石来填东海（见于《山海经·北山经》）。后来用精卫填海来比喻有深仇大恨，立志必报；也比喻不畏艰难，努力奋斗。

孔方兄 因旧时的铜钱中间有方形的孔，所以人们把钱称为孔方兄（含诙谐兼鄙视意）。

梨园 原是皇帝禁苑中的果木园圃。唐玄宗开元年间，将其作为教习歌舞的地方，且在这里培养出了大批优秀的音乐舞蹈表演人才，在历史上产生了深远的影响。因此，后世的戏曲班社常以“梨园”为其代称，戏曲艺人称“梨园弟子”。

连理 不同根的草木，枝干连生在一起。比喻恩爱夫妻。白居易《长恨歌》：“七月七日长生殿，夜半无人私语时。在天愿作比翼鸟，在地愿为连理枝。”人们把结婚称为“喜结连理”。

螟蛉 《诗经·小雅·小宛》：“螟蛉有子，蜾蠃负之。”蜾蠃是一种寄生蜂。蜾蠃常捕捉螟蛉存放在窝里，并产卵在它们体内，卵孵化后就拿螟蛉作食物。古人错以为蜾蠃养螟蛉为子，因把螟蛉作为义子的代称。

南冠 楚囚 指囚犯，楚人钟仪囚于晋，仍然戴南冠，弹奏南国音乐，范文子称赞这是君子之行。后来文人一般以此指代自己怀有节操的囚徒生活。如骆宾王《咏蝉》：“西陆蝉声唱，南冠客思深。”李白《流夜郎闻酺不预》：“北阙圣人歌太康，南冠君子窜遐荒。”

彭祖 传说中的故事人物，生于夏代，至殷末时已八百余岁，旧时把彭祖作为长寿的象征，以“寿如彭祖”来祝人长寿。

琴瑟 ①比喻夫妇感情和谐，亦作“瑟琴”。《诗经·小雅·常棣》：“妻子好合，如鼓瑟琴。”②比喻兄弟朋友的情谊。陈子昂《春夜别友人》：“离堂思琴瑟，别路绕山川。”

青衿 语出《诗经·郑风·子衿》：“青青子衿，悠悠我心。”毛传：“青衿，青领也，学子之所服。”因此用它指读书人。如杜甫《折槛行》：“青衿胄子困泥涂，白马将军若雷电。”也可作为贤士的代称。

青梅竹马 出自李白《长干行》：“郎骑竹马来，绕床弄青梅。同居长干里，两小无嫌猜。”后来用“青梅竹马”形容男女小的时候天真无邪，也指幼小时就相识的伴侣。

青鸟 《山海经·大荒西经》：“西有王母之山……有三青鸟，赤首黑目。”传说西王母曾遣青鸟前来给汉武帝报信，后因称传信的使者为“青鸟”。李商隐《无题》：“蓬山此去无多路，青鸟殷勤为探看。”

请缨 出自《汉书·终军传》，汉武帝派年轻的近臣终军出使南越，劝说其王归降。终军说：“愿受长缨，必羁南越王而致之阙下。”后用以喻杀敌报国。王勃《滕王阁序》：“无路请缨，等终军之弱冠。”

秋水 喻指眼睛，形容盼望的迫切。《西厢记》第三本第二折：“望穿他盈盈秋水，蹙损他淡淡春山。”春山，指眼眉。

三尺 ①也叫“三尺法”，是法律的代名词。古代把法律写在三尺长的竹简上，所以称“三尺法”。②指剑，剑约长三尺，故用为剑的代称。《汉书·高帝纪》：“吾以布衣提三尺，取天下。”

神器 指帝位、政权。《老子》第二十九章：“将欲取天下而为之，吾见其不得已。天下神器，不可为也。”

双鲤 代指书信。汉乐府《饮马长城窟行》：“客从远方来，遗我双鲤鱼。呼儿烹鲤鱼，中有尺素书。”后来即以双鲤借代远方来信。

岁寒三友 指松、竹、梅。松、竹经冬不凋，梅则耐寒开花，故有“岁寒三友”之称。

陶朱 春秋时越国大夫范蠡的别号。相传他帮助勾践灭吴后，离开越国到陶，善于经营生计，积累了很多财富，后世因此用“陶朱”或“陶朱公”来称富商。

问鼎 《左传·宣公三年》：“楚子伐陆浑之戎，遂至于雒，观兵于周疆。定王使王孙满劳楚子，楚子问鼎之大小、轻重焉。”夏商周三代以鼎为传国宝，楚子问鼎，有觊觎周室之意。后遂以“问鼎”比喻图谋帝王权位。

下榻 典出《后汉书·陈蕃列传》，徐稚为东汉名士，家贫躬耕，德行为世人景仰。陈蕃时为豫章太守，素来不接待宾客，专为徐稚设一榻，平时挂起，徐稚来访时才放下。因此后世有“下榻”的说法，指礼遇贤者或接待贵客，后借指住宿。王勃《滕王阁序》：“人杰地灵，徐孺下陈蕃之榻。”

献芹 也说“芹献”。《列子·杨朱》有一个故事说，从前有个人在乡里的豪绅前大肆吹嘘芹菜如何好吃，豪绅尝了之后，竟“蜇于口，惨于腹”。后来就用“献芹”谦称赠人的礼品菲薄，或所提的建议浅陋。

谢家 唐宋诗词常用“谢家”之典，所指意义主要有二：①用谢安、谢玄家事，意指人有风度。《世说新语·言语》载，谢安曾问子侄：为什么人们总希望自己的子弟好？侄子谢玄回答说：“譬如芝兰玉树，欲使其生于庭阶耳。”这是说，谢安子弟讲究举止风度，其服饰端庄大方，如芝兰玉树一般。故用其事指有风度的人。辛弃疾《沁园春·叠嶂西驰》：“似谢家子弟，衣冠磊落，相如庭户，车骑雍容。”②指山水诗人谢灵运之事。《宋书·谢灵运传》载，灵运于会稽山“修营别业，傍山带江，尽幽居之美”。后用此比喻居家的幽美。

咏絮 东晋谢道韫曾以“柳絮因风起”之句比拟雪花飞舞，叔父谢安大为赞赏。后以“咏絮”或“咏絮才”称女子善于吟咏。如《红楼梦》第五回“可叹停机德，堪怜咏絮才”中，“咏絮才”指的就是林黛玉非凡的吟诗才华。

虞美人 罂粟科，一年生丛生草本花卉，亦称丽春、寒牡丹。相传此花系西楚霸王项羽爱妾虞姬自刎后坟下碧血所化，故有闻“虞兮”歌而起舞之说。历代文人雅士歌咏此花，多涉及这一悲壮传说。辛弃疾《浪淘沙·赋虞美人草》：“不肯过江东，玉帐匆匆。至今草木忆英雄。”亦有英雄惜英雄之意。清代有人以虞姬口吻作诗曰：“君王意气尽江东，贱妾何堪入汉宫。碧血化为江边草，花开更比杜鹃红。”该诗角度新颖，情切动人。

月老 传说唐朝韦固月夜里经过宋城，遇见一位老人坐着翻检书本。韦固前往窥视，一个字也不认得，向老人询问后，才知道老人是专管人间婚姻的神仙，翻检的书是婚姻簿子。后来因此称媒人为月下老人或月老。

执牛耳 古代诸侯订立盟约，要每人尝一点牲血，主盟的人亲自割牛耳取血，故用“执牛耳”指盟主。后来指在某一方面居领导地位。

周公吐哺 形容求贤若渴，礼贤下士。据《史记》记载，周公吃饭时曾数次把饭从嘴里吐出来，唯恐因接待贤士迟慢而失掉人才。曹操《短歌行》：“周公吐哺，天下归心。”

逐鹿 《汉书·蒯通传》：“秦失其鹿，天下共逐之。”颜师古注引张晏曰：“以鹿喻帝位。”后来用逐鹿比喻群雄并起，争夺天下。

祝融 传说中楚国君主的祖先，为高辛氏帝喾的火正（掌火之官），以光明四海而称为祝融，后世祀为火神。因此，火灾又称为祝融之灾。

庄周梦蝶 典出《庄子·齐物论》，一日庄子梦到自己变为蝴蝶，悠然自得，醒而茫然：是庄周梦中变为蝴蝶，还是蝴蝶梦中变为庄周呢？以此说明物我为一、万物齐等的思想。后人用来借指迷惑的梦幻和变化无常的事物。如李商隐《无题》：“庄生晓梦迷蝴蝶，望帝春心托杜鹃。”

第四编 现代文阅读

语文科《考试大纲》对"现代文阅读"部分的要求：

一、必考内容

阅读一般论述类文章

1. 理解 B

(1)理解文中重要概念的含义

(2)理解文中重要句子的含意

2. 分析综合 C

(1)筛选并整合文中的信息

(2)分析文章结构，把握文章思路

(3)归纳内容要点，概括中心意思

(4)分析概括作者在文中的观点态度

二、选考内容

(一)文学类文本阅读

阅读鉴赏中外文学作品。了解小说、散文、诗歌、戏剧等文学体裁的基本特征及主要表现手法。文学作品的阅读鉴赏，注重审美体验。感受形象，品味语言，领悟内涵，分析艺术表现力；理解作品反映的社会生活和情感世界，探索作品蕴含的民族心理和人文精神。

1. 分析综合 C

(1)分析作品结构，概括作品主题

(2)分析作品体裁的基本特征和主要表现手法

2. 鉴赏评价 D

(1)体会重要语句的丰富含意,品味精彩的语言表达艺术

(2)欣赏作品的形象,赏析作品的内涵,领悟作品的艺术魅力

(3)对作品表现出来的价值判断和审美取向作出评价

3. 探究 F

(1)从不同的角度和层面发掘作品的意蕴、民族心理和人文精神

(2)探讨作者的创作背景和创作意图

(3)对作品进行个性化阅读和有创意的解读

(二)实用类文本阅读

阅读评价中外实用类文本。了解传记、新闻、报告、科普文章的文体基本特征和主要表现手法。准确解读文本,筛选、整合信息。分析思想内容、构成要素和语言特色,评价文本产生的社会功用,探讨文本反映的人生价值和时代精神。

1. 分析综合 C

(1)筛选并整合文中的信息

(2)分析语言特色,把握文章结构,概括中心意思

(3)分析文本的文体基本特征和主要表现手法

2. 鉴赏评价 D

(1)评价文本的主要观点和基本倾向

(2)评价文本产生的社会价值和影响

(3)对文本的某种特色作深度的思考和判断

3. 探究 F

(1)从不同的角度和层面发掘文本所反映的人生价值和时代精神

(2)探讨作者的写作背景和写作意图

(3)探究文本中的某些问题,提出自己的见解

第一部分 阅读基本知识

一、现代文阅读的含义

《普通高中语文课程标准》提出，发展独立阅读的能力。从整体上把握文本内容，理清思路，概括要点，理解文本所表达的思想、观点和感情。善于发现问题、提出问题，对文本能作出自己的分析判断，努力从不同的角度和层面进行阐发、评价和质疑。根据语境揣摩语句含意，运用所学的语文知识，帮助理解结构复杂、含意丰富的语句，体会精彩语句的表现力。能阅读论述类、实用类、文学类等多种文本。“论述类”文本是指以议论为主要表达方式，以阐述观点、说明道理、分析事实、辩驳旧说、介绍新见等为主要内容的文本，它包括时评、短论、书评、社科论文和自然科学论文等。实用类文本是指融合多种表达方式，以介绍人物的思想和历史，事物的发展历程，事件的发生、变化等为主要内容的文本。它包括访谈、调查报告、新闻、传记等。文学类文本即文学作品，它是指以语言文字为工具形象化地反映客观现实的艺术，包括戏剧、诗歌、小说、散文等。

二、阅读的本质、程序和规律

阅读是一种理解、吸收、鉴赏、评价和探究文章的思维过程，所谓理解，是指从一字一词到一句一语，再到一层一段，再到文章的中心思想及写作方法，都要理解正确，体会透彻。这就要具备字、词、句、段、篇等方面的知识。所谓吸收，是指接受文章中的先进思想、正确观点、事实材料、科学知识、语言词汇、写作技巧，以提高认识，增长知识，提高写作能力。所谓鉴赏，主要是指对文艺作品进行鉴别、欣赏，这就需要具备有关鉴别手段、审美感受、欣赏内容及欣赏方法方面的知识。所谓评价，是指对文章的思想观点、知识内容及表现形式方面的正误的判断，这就需要具备评价的标准、要求以及辩证分析方面的知识。所谓探究，是指对作品从不同的角度和层面发掘作品的丰富意蕴，探讨作品蕴含的民族心理和人文精神，对作品进行个性化阅读和有创意的解读。

完成这个思维过程，需要经过认知、分析、综合、理解、记忆、感受、判断的程序。认知是阅读的开始，要先感知文章，把握其表面意义。考试中，凡辨识文字的形、音、义的题都属这个阶段。分析是对所阅读材料的解剖，是阅读的深入，也是阅读的核心和关键。从词语到句子到段落层次，到中心思想，只有进行分析，才能综合归纳，达到理解的目的。近几年来的高考中，这类深层的内容理解题不断增加。记忆是吸收的前提，没记下就等于没吸收。高考通过阅读题考查课内知识的迁移，实际就是考记忆。感受是阅读中主观的体验，是鉴赏的基础，对修辞的体会就属这类题。判断是理性的认识，是评价的前提，凡归纳总结性的题就是考查这种能力的。感受和判断是对考生高层次的要求，近年来的高考中也常出现这样的题目。在这一过程中，关键是分析、理解。

落实这一程序，就要懂得阅读的具体步骤和规律。不同的文章虽有不同的阅读方法和侧重点，但所有的文章都有共同的阅读步骤和规律，这就是：认知文字，了解词语；找出结构，把握全局；总结内容，归纳中心；研究语法，探讨技巧；找出特色，定其高低。不管阅读什么体裁的文章都要经过这几个阶段，只是不同的文章，这几个阶段的具体内容不同罢了。这就需要掌握有关识字解词、分析结构、选材用材、把握段落、找中心句、分析句群、归纳中心、总结写作技巧、体味语言运用、进行鉴赏评价等方面的知识。在这当中，如何把握理解特定语境中字、词、句的深层含义，如何归纳段落大意，如何揭示文章的主旨这三个方面的方法技巧很重要。

三、不同文体的阅读方法

《普通高中语文课程标准》中所谓论述类、实用类、文学类文本的分类，大致着眼于文本的功用，若着眼于表达方式，则是记叙文、议论文、说明文三大常用文体。

阅读记叙文，要抓住记叙的要素、顺序、人称、结构、详略以及含蓄的语言、谋篇的技巧及叙议的结合等；说明文，要抓住说明的类别、特征、本质、科学性、条理性、准确性、鲜明性以及说明方法；议论文，要抓住议论的三要素以及论证结构、犀利的语言；散文，要先明确其属类，就其属类，或抓观点、看法，或抓形象、事理，或抓情感、态度，或抓寓意、哲理，然后透过其散形抓住其凝神，以掌握其本质；小说，要抓住小说的三要素，以人物形象为核心，分析其人物塑造的手法、情节发展变化的安排、环境描写的方法及作用，从而概括出典型人物的典型性格。

高考记叙文阅读题选用的是融记叙、描写、议论、说明、抒情多种表达方式于一体的复杂记叙文，考查的内容着重于关键字句的理解及其与段篇思想意义的内在联系，有的还要参照作品的历史背景才能理解。如果只是就词论词、就句论句、就段论段，就很难理解其中的深意，而必须吃透整个材料，体会渗透在字里行间的思想意义和艺术底蕴，这样才能作出圆满的解答。高考议论文阅读题选用的材料一般比较艰深，涉及社会科学、自然科学各个方面，以社会科学为主，内容丰富，哲理性强，有一定的时代性。因此解答这类试题，必须调动相关学科的知识积累，注意成文的历史背景。就考查内容本身来说，多半结构复杂，关系多向交叉，综合运用多种论证方法又灵活多变，如没有辩证分析的头脑，是不易理清的。高考说明文阅读题选用的往往是理论色彩较强、更接近议论的文章，篇长量大，内容丰富，又旁征博引，叙议兼具，结构复杂。阅读时，必须借助较强的逻辑思维能力，还要引进记叙文的阅读思路与方法。有的材料又含有数、理、化、史、地等其他学科的内容，这就要求考生具有较广泛的知识，平时须注意课外阅读。

四、几种常用的阅读方法

阅读的方法很多，而阅读的目的、对象、角度不同，方法也就有别。从速度上看，有速读、缓读；从数量上看，有全读、分读、跳读；从关联上看，有专项阅读、比较阅读、交叉阅读；从技巧上看，有搜寻性阅读、理解性阅读、评价性阅读、创造性阅读；等等。

对中学生来说，至少应掌握常用的几种阅读方法。精读，深入理解文章内容。略读，扩大阅读量。速读，力求在短时间内吸收较多的信息，适应高考的需要。搜寻性阅读，可以说是略读、速读、跳读、分读、精读的结合，先要通过略读了解文章大概内容，以便把握整体；再用速读、跳读迅速地找到需要的内容，然后针对该内容进行分读、精读，深入领会其深层含义，以作出解答，这是应考中为解决某一问题常用的办法。比较阅读，有各种比法：比同，可以寻找类似作品的共有规律；比异，可以找出各自的特点；整体比，可以观全貌；局部比，可以知特点；纵比，可以见规律；横比，可以知长短。掌握这些方法，对应考极有帮助。

下面介绍几种常用的阅读方法：

1. 十步读书法

用“十步读书法”自学语文，可以培养同学们的自学能力、自我检查能力和自我创造能力。“十步读书法”具体如下：

①查字典，扫清字词的语音语义障碍，朗读做到准确流畅；

②看注释，包括有些预习提示，帮助了解文学常识，有的还可以结合时代背景理解文章内容，弄清生词的读音、含义，并联系原文原句进行理解掌握；

③勾重点，包括编者提示的重点，文中重点词语、句子和段落，并要有自己的看法；

④划层次，从结构上分析文章内容，大体划分段落部分，看文章讲了几层意思，主要写了哪些内容；

⑤析技巧，要求能分析找出文章的一两个写作特点，能得到一点启示，有所借鉴；

⑥列提要，通过初步学习文章内容，写出一个阅读提要；

⑦勤思考，在新教材中主要指试做研讨类的题目，领会课文思想内容，理解结构和语言的运用；

⑧做练习，在新教材中试做练习类的题目，试做之后，看自己掌握课文知识的程度怎样，发现难点，做好记录，寻求解答；

⑨提疑问，一是课文中不理解的内容，二是对书本上的内容或观点的质疑；

⑩找相似，即寻找相似点，看是否能触类旁通。同一单元和同一体裁的文章，一般存在着某些相似之处，对待同类的知识，可以用同样的方法去学习掌握。

以上十步，①～⑥是自学，⑦⑧是自查，⑨⑩是自创。若能坚持做到，定能摆脱对课堂教学的依赖性，提高学习语文的能力。

2. 四遍八步阅读法

四遍八步阅读法是特级教师魏书生教给他的学生的一套自学课文的读书方法，经过多年的实践，效果显著，深受学生的欢迎。现简介如下：

四遍，就是一篇文章读四遍；八步，就是完成八项任务。

第一遍，跳读。每分钟达到1 500字或更多。完成第一步识记作者及了解文章梗概，第二步识记主要人、事、物或观点的任务。

第二遍，速读。每分钟1 000字。完成第三步复述内容，第四步理清结构层次的任务。

第三遍，细读。每分钟200字。完成第五步理解掌握字、词、句，第六步圈点摘要重要部分，第七步归纳中心思想的任务。

第四遍，精读。完成第八步分析写作特色的任务。

3. 比较阅读法

比较阅读指的是把内容或形式相近的或相对的两篇文章或一组文章放在一起，对比着阅读。用比较的方法进行文章阅读，不仅有助于深入理解课文、掌握基础知识，也有助于整理知识、建立起自己的语文知识结构，还可以帮助找到分析问题和研究问题的方法，养成良好的思维习惯，开发智力。比较的方法，可以说贯穿语文学习的全过程，适应于整个语文学习的各个环节。以下结合中学生的实际谈一谈比较阅读的各种方法。

(1)课文与原著相比较。

魏巍的《我的老师》是节选的。阅读之后，教师将原著找来让学生与课文进行比较阅读。通过比较，同学们体会到节选课文的主题与原著大不一样。课文只是写了一个老师，表现了师生之情；原著则是通过对三个不同类型的老师的描述，指出教师是个神圣的职业，教师对学生的一生影响深远，只有拥有一颗爱心的人，才配做一位称职的老师。同学们认为，原著的主题要博大深刻得多。

(2)同一作者的几篇课文比较。

鲁迅的文章在中学各年级的课本里都有。在低年级，从《从百草园到三味书屋》《社戏》《阿长与〈山海经〉》这三篇文章的比较阅读中，学生体会到作者热爱农村、热爱大自然的感情，看出作者从小就萌发了反对封建教育的思想，更看到作者对善良人的衷心祝愿。在高年级，从《故乡》《藤野先生》两篇文章的比较阅读中，看到作者强烈的反帝反封建的爱国思想。再联系低年级时学过的鲁迅的文章进行比较分析，就能看出，这种精神始终如一地贯穿在鲁迅不同时期的作品中；也能体会到，鲁迅作品中深刻、含蓄、沉郁的风格和他的战斗精神是一致的。

(3)不同作家的同一题材的文章相比较。

这类比较，目的在于让学生懂得：同一个题材，由于不同作者的不同的人生经历，不同的世界观、价值观，不同的感受，可以从不同的角度来选择自己需要的材料，进行不同的艺术处理，写出风采各异的文章来。比如，学习杨朔的《荔枝蜜》时，用课外材料秦牧的《蜂蜜与蜂刺》与之相比较：前者写蜜，写蜜蜂可贵的献身精神；后者写刺，写蜜蜂的誓死战斗精神。迥然不同的两篇文章，说的道理相距甚远，却同样令人信服，都收到了言近旨远的艺术效果。学习茅盾的《白杨礼赞》，可选用袁鹰的《白杨》作比较；学习胡适的《我的母亲》，可与邹韬奋的《我的母亲》作比较；等等。

(4)同一题材不同体裁的课文比较。

例如，学习杜甫的《春夜喜雨》和白居易的《钱塘湖春行》，可与朱自清的散文《春》作比较。这种比较，使学生懂得，不同体裁的作品，在表现同一题材，甚至是同一主题时，是要受各自体裁制约的。

(5)同一类型的人物形象的比较。

例如,将《孔乙己》和《范进中举》两篇文章中的人物作比较。同样是写封建科举制度下的旧知识分子形象,孔乙己是作者集中笔墨着力刻画的人物,突出表现他迂腐不堪、自命清高、自欺欺人的性格;范进虽在胡屠户的映衬下有些失色,但作者通过夸张幽默的语言,着重刻画了范进癫狂的丑态。两文都通过对人物的描绘揭露了封建科举制度的罪恶。

4. 回环阅读法

回环阅读法就是首先从整体入手到部分,然后再由部分回到文章整体。它与写作时的构思,也就是写作时的思路是完全一致的。

阅读时,第一步从整体入手,通读全文,抓住文章中心。先抓文题,弄清题意;次抓主要内容,看文章写了什么,怎样写的;再抓重点语句,看这些语句表达了作者什么思想感情;这样文章的中心就不难抓住了。第二步着眼到部分,层层深入地剖析文章的思想内容和写作特点。这一步要抓住两个环节:其一是依据文章中心,理清思路,分清层次;其二是依据中心,理解重点词语,这个环节是阅读的深化。重点词语是表达文章中心的外部标志之一,理解文章的重点词语,不仅可以加深理解文章的中心,还可以掌握文章的语言特点与风格。最后进一步由段至篇,回环到整体。前两步的阅读重点是弄清文章写了什么,又是怎样写的,这一步就要着重弄明白文章为什么这样写,这样谋篇布局、遣词造句有什么特点,它对表达文章中心起什么作用。

5. 复述阅读法

复述是用自己的语言来叙述文中所描写的人物、事件、情节、环境、主要的观点、精彩的片段等。

复述是用自己重新组织的语言来表达原文的某些内容,不能一成不变地照搬原文。

学习中经常采用的复述方法有:

①选择复述。由于训练或表演的需要,常常从不同的角度,精心选择文中有关的内容或语言表述中最精彩的部分复述。选择复述不但可以把分散在文中的材料挑选出来,而且可以按照复述者的意图把它们重新组织顺序复述,不一定按照课文原来的顺序,只要材料之间有一定的内在联系就可以了。选择复述选择什么内容比较自由,除景物描写、肖像描写外,还可选择名言警句、抒情语句,乃至细节描写和对话描写等。相似的、相反的、重复出现的都可以选择来比较复述。

②详细复述。复述的内容要基本接近原文。它既不同于背诵,又非毫无取舍,而是把原文中精彩的部分、优美的语句,细致地叙述出来。一般用于短文章。如果文章长,情节复杂,可以选择部分作详细复述。不同的文章,需根据内容和写作特点来确定详述的重点。详细复述可先列较详细的提纲,然后按照提纲复述。

③简单复述。用简单明了的语言,扼要地叙述文章的内容。复述时,不一定引用原文,但要能引用文中的关键性语句,因此要能迅速地把握文章的基本内容,分清主次。简单复述适用于较长的、内容复杂的文章。

④改变人称的复述。当原文是第一人称叙述时则改为以第三人称的方式复述,当原文是第三人称叙述时,则改用第一人称。这种复述,只要掌握人称叙述的特点就可做到。第一人称要以自叙的口吻,叙述自己的见闻感受,文中的景物描写变成亲眼所见,文中的心理活动变成内心独白。第三人称则要把原文中的内容变为客观的介绍与描写。

6. 背诵法

背诵就是熟读成诵。背诵是培养记忆力的一种有效方法。同时能加深理解,帮助运用。通过熟读、背诵,同学们可以逐步积累字、词、句、段、篇的知识,积累丰富的语言材料。

背诵的方法:

①形象法。想着作品里的具体形象和情景,好像投身其中,情景交融地背诵。背诵诗词常用此法。

②思路法。沿着作者的思路,找到作品的线索,按照内容的线索去背诵。

③重点词语法。勾出能引起记忆的重点词语，由一个重点词语就能联想起一两句话。记住几个重点词语，就能联想起一小段话。如果能先背出一大段中的重点词语，就有利于背诵这一大段的内容。

④分段背诵法。一般对篇幅较长的课文采用此法。把课文分成若干段，一段一段地逐段背诵，最后进行连接，达到全篇背诵。

⑤提示背诵法。背诵时为了避免次序颠倒，互相搅杂，遗漏内容，可以采取提示背诵法。先把内容分成几个方面，再往下排列大段、小段、要点，然后分别加上小标题，或者用各段的第一句话，或者起头的一两个字作为提示。这样就可以由少想到多，逐步扩展。

⑥抄写背诵法。一边抄课文一边背诵，抄写能够帮助记忆，因为抄写时手脑和谐地工作，再加上口头背诵，记忆的效果比较好。

背诵方法很多，因人而异，因材料而异。衡量标准是，采用某种方法，背诵某种材料能做到背得准确、迅速，记得牢靠，那么就是适宜的方法。

五、提高阅读能力的途径

阅读能力是一种非常复杂的综合能力，它包括认读、理解、筛选、归纳、概括和鉴赏等诸多能力。同时，这些能力又以语文、历史、政治等学科方方面面的知识为基础，内容包罗万象。从现代文阅读试题来看，综合性强，覆盖面广，有较大的思维坡度，既有对字、词、句的局部理解，也有对段、篇的整体把握，要求考生灵活运用字词、语法、修辞、文体知识、文学常识和其他方面的知识，综合运用各种阅读技巧。

(一)学好基础知识，掌握基本技能

要有较强的阅读能力，就必须学好基础知识，即从字的音、形、义到语法、修辞等方面的知识，这些知识掌握得越牢固，解答现代文阅读题也就越得心应手。因为，扎实的基础知识是阅读的根本，离开了扎实的基础知识，阅读能力就成了镜中花、水中月。较强的阅读能力，还要求同学们必须掌握现代文阅读题的基本答题技巧。所以，平时做阅读题时要注意积累，要学会领悟。

(二)树立整体意识，防止肢解文句

事物总是相互联系、互为依存的。文章也是如此，一篇文章中段与段之间、句与句之间也有密切的联系，所以阅读文章，不能离开语境孤立地看某词、某句、某段。整体感知是阅读的前提，通过通读，迅速了解文章的基本内容、文体、主旨等，这就对材料作了基本的定向把握，掌握了答题的主动权，为下一步解答局部性试题奠定了可靠的基础。反过来说，理解文章中的某个词或某句话究竟为何意，一定要紧扣全文的题旨，联系时代背景，弄清作者的写作意图，然后再联系上下文的语境指向作出定夺。

(三)提高阅读速度，掌握阅读技巧

阅读是传播信息的主渠道。由于社会飞速发展，科学技术的发展也日新月异，全世界每年出版的图书近50万种，所以现代生活要求我们准确而迅速地从书面材料中获取信息，否则就难以适应现代生活节奏。因此，阅读能力成为现代人必备的素质之一。从高考的角度来说，由于时间紧，内容多，不可能给考生充裕的时间去阅读、揣摩，因此提高阅读速度和阅读效率是对阅读能力的基本要求。要提高阅读速度，就要学会速读、跳读、浏览、筛选等阅读方法。正确的阅读方法是提高阅读效率的手段之一。

(四)建立相关的知识和能力系统

阅读文章要有文字、词汇、语法和修辞等方面的一般知识，以及运用这些知识理解文中关键词语、把握句意、分析语段的内部结构、归纳概括段意的能力。要具有阅读文章的基本知识，以及运用这些知识分辨文体，分析文章的结构层次，把握段与段、层与层之间的意义关联及过渡照应，理清作者思路，归纳中心思想的能力；还要具有一定的历史、政治、经济、自然科学等其他学科的知识和文学史、作者创作风格等方面的知识，以及利用这些知识作背景对文章进行深层分析、全面理解的能力。

第二部分 现代文阅读考点分析

一、理解文中重要概念的含义和方法

1. 理解文中重要概念的含义

所谓"文中"有两种含义，一是对文章全局的整体把握；二是指具体词语的上下文，即通常说的语境。在理解任何一个词语时，这两种含义在阅读分析过程中都必须同时起作用。

所谓"重要概念"，是指对表现文章的思想内容起着关键性作用的词语，是构建文章的基石。社科文、科技文中多指术语。所谓"含义"，是指这一概念（词语）在一定语境中与词典义相对的、具体的、动态的意义，即其特定内涵，包括概念意义、比喻意义、语境意义、指代意义等。语境是使用语言表达思想感情所形成的特定环境，词语的含义往往取决于上下文，故须结合语境理解重要概念的含义。

2. 关于语境

在阅读中，语境指的是语言环境，包括时间、地点、人物、对象、场合、题旨、上下文等。语境有广义和狭义之分，狭义的语境指对语意影响最直接的现实语境，如上下词、上下句、上下段、上下篇等。广义的语境，除现实语境外，还包括在特定时代、社会条件下，书面语交际的时间、场合、对象和话题的社会语境以及由作者和读者的文化修养、知识水平、生活经验、语言风格和方言基础等构成的个人语境。

3. 理解文中重要概念的方法

(1)理解词语的临时意义，辨析不同义项

每个词语都有基本意义，但为了需要，有时却产生临时意义。要准确理解临时意义，也要根据上下文来推断。它们往往是基本意义以外的，或与基本意义在词义、色彩、感情上有差别的意义。

(2)结合具体语境，理解词语隐含意义

词语作为文章的语言材料，每一个词语都与作者所要表达的思想、论证的道理、说明的事物密不可分。所以解题时，必须透过词语的表层含义去理解词语所蕴涵的文外含义，即言外之意、弦外之音。

(3)结合文体特点，理解词语的表达作用

不同的文体有不同的语言要求，不同的词语也会表现出不同的语言色彩。

说明文的语言具有客观性、准确性、科学性，它要求选用最恰当的词语，严密、简洁、恰如其分地把事物的特征、本质和规律性表达出来，它常运用术语和符号。

记叙文的语言具有形象性、简洁性、哲理性、抒情性，它常常用有强烈感情色彩的词语叙事、写人、绘景、状物、抒发情感。

议论文的语言富于概括性、严密性、论辩性，它要求用词精练、简洁而含义深刻。

准确、鲜明、生动、自然是对文学语言的基本要求。但富有艺术性的文学语言格外强调形象性，强调词语的丰富与凝练的统一，强调感情的流溢与含蓄的统一。真正有艺术感染力的语言，既能深刻反映事物特征与规律，又能体现出特殊的审美价值。

(4)理解概念间的关系

有些词语之间孤立地看似乎没什么关系，但在一定的上下文中就会有联系，这也需要我们注意。

比如句子中的复指关系就可以互相解释。在表示判断的"是"字句中，主语和宾语可以互相解释。如："作家依各自的原则输入语言信息，就会产生各自不同的语言指纹，即风格。"在这句话中"风格"和"语言指纹"可以互相解释。

(5)理解代词的含义

文章中的代词运用非常灵活，指代的范围极为广泛，它既能指代实词、短语、句子、语段，又能指代动植物及天上地下的任何事物，还能指代复杂的概念。

一般代词指代的内容，应从以下几个方面去把握：

①了解代词的用法。如“这”“这个”“这些”是近指，“那”“那个”“那些”是远指，“某”“某类”是不定指，等等。

②在具体的语境中，理解代词指代的具体内容，然后进行分析、概括。

③将所找出的指代内容代入原文，看是否合适。

4. 理解文中重要概念含义的主观题答题步骤

第一步：领会字面意义，明确词句难点。（要解释什么?）

第二步：根据字面意义，确定筛选标准。（要筛选什么?）

第三步：根据筛选标准，划出筛选范围。（到哪里筛选?）

第四步：逐一对照比较、初选相关词句。（是不是依据?）

第五步：根据题目角度，整理答案文字。（是怎样问的?）

二、理解文中重要句子的含意和方法

1. 理解文中重要句子的含意

哪些句子是“文中重要句子”?

所谓“重要句子”，是就它们在文中的作用而言的，一般指的是内容表达方面的作用，若不能准确理解这些重要句子的含意，也就不能准确把握文意。综观近几年高考试题，“重要句子”通常指以下几种语句：①表意比较含蓄，利于发挥的句子；②表现整个作品主题思想或脉络层次的关键性语句，即人们常说的“文眼”；③内涵较为丰富的语句，比较形象生动的句子；④文中的中心句、总结句、过渡句等；⑤比较容易理解错误的语句，如科技文中的长句子；⑥比较难理解的比喻句。

具体来说，“重要句子”主要包括以下 11 种：

①文眼句

它是既能揭示中心，又能提挈全文的传神性的重要句子。它是文脉的焦点，不仅可以使文章在外部结构形式上交织缝合在一起，而且能使文章内部意义贯通流畅。例如《荷塘月色》第一句：“这几天心里颇不宁静。”作者游荷塘也好，赏月色也好，忆江南也好，都是由这个文眼发端、扩散、整合的。

②主旨句

主旨句表明作者的写作目的，揭示文章的中心思想，是全文的核心、文章的灵魂，具有极强的概括力。文学性文章的主旨句在文末居多，议论性文章的则在开头居多。

③衔接句（过渡句）

有的语段（文章）有几层意思，衔接句既能起到结构上的起承转合作用，又归纳和提示了上下文内容。

④深化句

这类句子在语段中能起画龙点睛的作用，其位置多在语段末，表达方式多为议论。

⑤警策句

这类语句文字简练，内涵丰富，含意深刻。它是思想感情高度浓缩的结晶，不仅可以起到发人深省、动人心魄、催人奋进的作用，还具有被广泛移用的特点。例如《记念刘和珍君》中的一句：“沉默呵，沉默呵！不在沉默中爆发，就在沉默中灭亡。”

⑥精彩句

这类语句在绘景写人、抒情说理时，有独到的功力，它浸透着作者对事物的认识，饱含着作者遣词造句的精妙用意。领会这类语句既有助于对文意的理解，又能提高语言鉴赏水平。例如《荷塘月色》中以通感手法描写荷香的句子。

⑦含蓄句

语句的含蓄，往往是由于作者出于某种原因（如社会制约）、某种目的或表达的需要，故意不直

说，而运用双关、暗示的方法，把含意隐藏在语句中。含蓄句多运用比喻、借代等修辞含蓄地表达内容。对这类语句，不仅要理解它的表层含意，更重要的是理解它隐含的信息，并用明白的语言解释出来。

⑧难懂句

是指由于句子结构复杂或者内容深奥隐晦而不易理解的句子。这些句子比较难理解，也可能正是文章的难点所在。抓住这些语句，进行难点突破，对理解文章整体内容有较大帮助。

理解结构复杂的语句，如果是单句，就要先找准主干，是复句，就要抓住第一层次（偏正复句，则抓住正句），做到整体把握句意；再逐层分析单句的附加成分或复句的各个层次，从而理解含意；最后加以综合概括，归纳出句意。例如《在马克思墓前的讲话》中揭示马克思发现人类历史发展规律的长句。

对这类句子的理解，首先要明确句子难点，再结合语境分析句意。

⑨引用句

在文中引用名言名句，表现一定的思想内涵，其内涵也就是文段内容的概括。

⑩总结句

语段中的尾句或概括总结上文，或留下余地让人思索，或饱蘸笔墨抒发感情。这类句子是对文章内容和情感的收束。

⑪特色句

所谓特色句指的是那些结构上超常组合或运用了某种表达技巧的句子。正因其结构和表达的特殊而赋予了句子丰富的含义。如《荷花淀》中水生嫂见丈夫回来后种种反常的言行，便问道："怎么了，你？"这个主谓倒装句，其中蕴涵的情感更显丰富。《祝福》中四婶阻止祥林嫂摆福礼的两次呵斥，对其称呼的置前与放后之不同，表现出了四婶心情之急切程度的不同和对祥林嫂态度的变化。

此外，从出现的频率说，文中反复出现的句子也是重要句子。

2. 句子含意的种类

(1)概括意义：具有概括意义的句子，其含意是对某些文段或者全文的意义的概括。这些句子往往是文章的中心句、归结句。一般来说，作者对这些句子都会进行适当的阐发。要理解这些句子的含意，首先必须分析句子本身的修饰语的意义，然后抓住文段中解释说明或者论证这些句子的支撑句，探讨其具体含意。

(2)哲理意义：指文中简练的警句所表现出来的深刻含意。它们是作者人生经验的总结，显现出很强的思辨性和启发性。分析句子的哲理，必须紧紧抓住这个句子所在的文段，这个文段就是该警句生长的土壤。

(3)比喻意义：所谓比喻意义，就是作者使用比喻修辞格而产生的句子的临时含意。从考试的角度看，实际上就是要求考生分析比喻的喻体，准确把握比喻的本体意义。

(4)象征意义：所谓象征意义，是指象征的本体意义。分析具体形象的象征意义就是通过分析象征体和本体的相似之处，追寻其背后隐藏着的作者的真实本意。

(5)附加意义：作者运用双关等手法，使句子表面上是一个意思，而暗中隐藏着另一个意思，隐藏的意思才是作者真正想表达的意思，这就是句子的附加意义。

3. 理解文中重要句子的方法

(1)联系上下文推断文中句子的准确含意。

理解文中句子的含意，既要着眼于句子本身，又要着眼于全文。着眼于句子本身是唯物的观点，着眼于全文是辩证的观点。一个句子的准确含意是这个句子本身表现出的含意和上下文语境为其规定的深层含意的结合，二者又是统一的。可见要做到既唯物又辩证就必须根据上下文文意来把握句子的含意，即理解句子首先要理解文意。另外，句子在文中的位置，对理解句子的含意至关重要。如果要求理解的句子是总领句，就要结合其领起的范围把握其内涵；如果是总结句，就要结合其总结的范围加以分析；如果是过渡句，就要审视上下文，联系其承上启下的文字作分析。

(2)根据不同文体特点理解重要句子。

记叙文中侧重交代要素,叙述中穿插精彩的议论、抒情的语句,常是画龙点睛之笔;议论文中重要的语句常用来提出观点、得出结论以及表达精辟的论述;说明文中的重要语句是用来揭示事物的本质特征。

(3)运用逻辑知识来判定对句子的理解是否正确。

逻辑判断能力是辨别正确选项的基本能力。对理解文中重要句子的含意这一考点,高考试题常常设置几个在逻辑判断上有错误的干扰项,如偷换概念、扩大概念外延、颠倒句子前后逻辑关系等,或把"果"说成"因",把"因"说成"果",把"未然"说成"已然",把单方面说成多方面等。对这种考题的判断,要运用一定的逻辑思维。

(4)分析特殊句式及不同的修辞句的表达作用。

特殊句式是指相对主动句来说的被动句、相对长句来说的短句、相对肯定句来说的否定句、相对常式句来说的变式句。修辞句指设问句、反问句、排比句、对偶句、比喻句等,对这样的修辞句从近几年的考题来看,有三点要求:①能够在原文中识别出是运用何种修辞的语句;②能够分析原文中修辞句的表达效果;③比喻句表达的内容比较含蓄,要求能指出比喻句在原文中的比喻的本体内容。

(5)从分析句子的结构和句中关键词的含义入手来理解句意。

有许多句子,分析其结构,就可以把握句子的基本意思。对比较复杂的单句首先要抓主干,找准主、谓、宾,明确陈述对象;其次留心句子的修饰限制成分。对于复句要分清层次,可先找准第一层,然后要辨明关系,以分句间的关系来把握表达的中心。此外,也要善于借助句群管理来理解句子所表达的重点或中心。对句子的理解,要善于抓住句中的关键词语,结合上下文段,挖掘其语境意义,只要把句中的重要词语的含义搞清楚了,推知整句的意义就容易了。

(6)结合背景材料理解句子。

结合文章写作的时代背景,联系句子所在段落甚至整篇文章等语言背景来理解。

三、把握文意

(一)筛选并整合文中的信息

1. 认识"筛选并整合文中的信息"在阅读理解中的意义

所谓"信息",是指通过阅读而得到的知识、消息、情报或代表某些信息的词语、符号和数据等。"筛选并整合"是对文章进行有目的的分析综合,具体地说就是按照阅读要求对材料进行辨析、取舍,并重新加以组合。所以,"筛选并整合文中的信息",实际考查的是一种定向阅读能力。

现代社会,人们阅读文章的一个很重要的目的就是搜集信息。过去阅读文章比较注重文章本身,诸如分析文章段落大意、结构层次等,这种能力是需要的,但不是阅读能力的全部,它已经不能满足现代社会发展的需要。现代社会对阅读提出了新的要求,要求阅读者能够从文中辨别和筛选重要信息,抓住了文中的信息,也就找到了试题的答案。"筛选并整合文中的信息"主要是指筛选并整合文章或语段中的如下信息:(1)文章中的基本概念和新的知识;(2)对重要概念和知识进行解释或阐述的语句;(3)最能表达作者写作意图、观点和情感的语句等。

2. 理解重要信息的含义范围

(1)文章中的基本概念和最新知识。

这是一篇文章的主要价值所在,也是阅读中首先要关注的地方。有的文章,特别是自然科学类说明文,不仅提出反映信息的概念,而且还在文中对这些知识、概念作出解说。在许多文句中,略过那些无关的信息,辨别、筛选并整合对某一概念的准确解释和阐述,同样能反映捕捉信息的能力。

(2)对重要概念、知识进行阐释的语句和相关材料(资料)。

现代科技文章,不仅提出反映信息的概念,而且还在文章中对这些相关概念和研究结论进行解

说、分析和阐释。有时还会对不同的学术研究方式及结论进行比较分析，对有关材料进行辨别和评价，在文章中往往表现出阐述的多角度、全方位的复杂性，这是阅读的难点所在。因此，在阅读中一定要把握关键，具体辨别，认真筛选，抓住主要信息，把握本质特征。

(3)社会科学类、自然科学类文章和文学作品中集中表现文章主旨和有力地表明作者观点的句子。它们也应算作是重要信息。

这方面的信息一般隐含在文章的材料及作者相关的评说中，做题时一定要准确把握作者的基本观点，把握文章的主体内容与思想倾向，并要具备一定的抽象分析和归纳概括能力。

3. 高考测试中筛选整合信息的方法

(1)把握信息筛选的标准。

在现代文阅读中，明确筛选标准，具有至关重要的作用。筛选信息的标准，就是阅读的要求。这种要求在高考测试中，主要是通过题干表达出来的。有的要求从文章中直接筛选出所需要的信息；有的要求联系文章内容，在若干选项中判断是非；等等。对筛选的要求，应该在阅读作答之前认真准确地领会。领会要求越充分，筛选就越快；相反，对要求把握不准确，印象不深，势必要再回过头来查看要求，效率就低了。

(2)确认筛选信息的区间。

筛选信息的区间，有的可能涉及文中的几句话，也有的可能涉及一段甚至几段乃至全篇。所以，明确了筛选和整合的目的要求，就要确定筛选整合的范围，要在确定的范围内进行取舍。

(3)归纳、整合筛选范围内的内容材料，发掘其隐含信息。

有些信息，直接在筛选范围中摘录即可获得，但有的信息不是直接传递的，而需对该确定范围内的内容进行归纳、整合后方能获得。归纳、整合筛选范围内的内容应从该确定范围内的关键句意、层意入手，进而发掘出其隐含信息。

(4)根据阅读试题的要求，对筛选整理的信息一一辨别。辨别时要找准对应点，从语意重点，修饰限制语的范围、程度等角度去认真辨析。

(5)借助概括要点筛选信息。

需要说明的是，以上有关筛选信息的手段，不论是直接的还是间接的，很少有单独使用的时候，一般都是综合使用。各种阅读方法综合运用越熟练，筛选信息就越快。

4. 筛选信息的主要语言依据

对重要信息的筛选、判断，主要依据文中的一些指示语、概括语、情态语、主旨句、过渡句、标题用语和注解注释等来完成。

(1)指示语。

话语交际是在一定语境中进行的。许多语境特征，比如相关的人物、事物、时间、空间、人际关系、上下文的联系等，都会在话语中得到反映。反映这些语境特征的语言成分叫指示语。标示人物、事物的词语叫对象指示语；标示时间、空间的词语叫时空指示语；标示人际关系的词语叫社交指示语；标示上下文关系的词语叫语篇指示语。例如：

分析下面第二段文字中的“这样”与“这”指代的内容。

一生中能有这样两个发现，该是很够了。即使只能作出一个这样的发现，也已经是幸福的了。但是马克思在他所研究的每一个领域，甚至在数学领域，都有独到的发现，这样的领域是很多的，而且其中任何一个领域他都不是浅尝辄止。

他作为科学家就是这样。但是这在他身上远不是主要的。在马克思看来，科学是一种在历史上起推动作用的、革命的力量。

其中，“他作为科学家就是这样”就是指示语，这个题目让分析“这样”与“这”指代的内容，实际也是提取信息。分析要注意结合上下文的语境，“这样”所指的是上一段所表述的内容，那么作为科学家他有何特色呢，即上段“马克思在他所研究的每一个领域……而且其中任何一个领域他都不是浅尝辄止”。“这”指

代的具体内容，是紧承着“他作为科学家就是这样”而来的，若与“这样”指代同一内容，则不能与下文恰当地连接起来，显然，两个词指代的是不同的内容。由“在马克思看来，科学是一种在历史上起推动作用的、革命的力量”可知，他不仅仅是科学家，更主要的还是革命家，故“这”指的是“作为科学家”。

(2)概括语。

概括语是集中表现文章主要内容、主要思想的词语。例如：

《为了忘却的记念》一文回忆柔石，有这样的话：“他的家乡，是台州的宁海，这只要一看他那台州式的硬气就知道，而且颇有点迂……”这里的“硬气”“迂”，已经把柔石思想性格的特点概括出来了。

(3)情态语。

在文学作品中，经常遇到情态语，例如徐志摩的《再别康桥》一诗，开头一节说：“轻轻的我走了，/正如我轻轻的来；/我轻轻的招手，/作别西天的云彩。”而最后一节则说：“悄悄的我走了，/正如我悄悄的来；/我挥一挥衣袖，/不带走一片云彩。”由“轻轻的”变为“悄悄的”，这反映了诗人情绪脉络的变化。情态语在小说、散文、诗歌中经常出现。

(4)主旨句与过渡句。

主旨句是传达重要信息的，过渡句也同样起着传达重要信息的作用。其实，过渡句不仅显示着文章的脉络层次，也常常显示着主要的信息。

(5)标题用语。

注意文章的标题、副标题。绝大多数文章的标题及副标题起到了概括文章主旨、表达作者观点的作用，如契诃夫的《变色龙》，标题实际上暗示了警官奥楚蔑洛夫是个见风使舵、欺下媚上的走狗；再如司汤达的《红与黑》的副标题是“一个追求幸福的人”，它能帮助我们客观评价于连的所作所为。

(6)注解注释。

注解注释，或提示写作背景，或揭示主要内容，或表明人物关系，或指明出处、注音释义，对理解文章、解答问题起到举足轻重的作用。

当然，文章中还有很多地方值得我们注意，仅提出以上几点供同学们参考。在阅读过程中，最重要的是充分利用时间和有效信息，第一步就是上面讲的对重要词语、句子和其他信息的把握，这是在阅读现代文时首先会用到的阅读技巧。对关键词语、重点句子和其他重要信息的快速解读，有助于我们在迅速了解文章内容的同时，准确地对文章的段落和主题进行概括归纳，为阅读的下一步打下良好的基础。

(二)归纳内容要点，概括中心意思

1. 明确归纳与概括的基本要求

“概括要点”是现代文阅读要求具备的能力之一。“归纳内容要点，概括中心意思”在高考考查中主要是检测考生是否读懂所给文章。从能力的角度说是考查考生的分析综合能力。之所以把“内容要点”和“中心意思”分开表述，是因为“中心意思”是就全文内容的概括而言，“内容要点”则可以是对一段或几段内容的概括。

分析与归纳是一个问题的两个方面。分析是就概括的内容条分缕析，看看里面到底有些什么，有几层意思；而归纳是就具体的现象加以概括、抽象，得出几条内容、几点认识。

分析归纳文章的内容要点和中心意思，是从整体上把握文章的两个步骤，要求对具体内容加以概括，对繁杂内容加以梳理。所谓梳理，就是要理清顺序，抓住要点。对内容要点的分析归纳，要总览全文，不能拘泥于某些字句，要善于抓住中心句，理清各段之间的关系，归纳要做到全面、准确、简明。

文章的中心思想包含两个方面：一是文章内容的高度概括，一是作者借以表达思想的观点和写作意图。分析归纳中心思想必须对全文有整体把握，掌握整体和部分的关系，结合作者的写作意图，抓住本质进行概括，不能以偏赅全。

2. 把握归纳要点、概括中心的基本思路

概括，一般从主题的归纳入手。对中心思想的分析归纳，需要综合能力。分析、归纳阅读材料的中心思想是分析、综合能力的主要标志，它包括分析、归纳段落的意思、层次的意思和整篇文章的中心等。要准

确地分析、归纳中心思想，首先要弄懂句与句、段与段、层与层之间的关系，并通过分析，抓住各部分最主要的、最本质的东西，然后用自己的语言归纳出来。近几年高考试题多采用简答形式，要求考生用自己的语言准确简练地归纳出中心意思。字数不作要求，评分也开始开放、灵活、有弹性，鼓励学生创新。

“归纳内容要点，概括中心意思”这一考点在不同类型材料的阅读中，具体题型不同。在自然科学类材料阅读中，以客观题为主，要求判断某说法与原文是否一致；在社会科学类材料阅读中，以主观题为主，要求简述某方面（或部分）内容或按要求填空。在具体题目的解答中还必须注意以下几点：(1)结合文体特点。不同文体有不同的表达方式，相同的表达方式在不同文体中的作用也不同，如记叙文中的议论、抒情和议论文中的记叙各有其特殊作用，注意这些文体的区别，有助于理解、归纳文意。(2)充分挖掘题干隐含信息，找准文中相应的信息点，可以省时、少出错。特别是客观题，要与原文相关内容比较后再选择。(3)解答主观题在组织文字表述时，要紧扣题目要求，要有针对性，注意回答角度、词句来源（有的要求用文中原句，有的要求用自己的话）、字数限制等。(4)语言表达力求简明。

3. 归纳内容要点、概括中心意思的几种途径

(1)通读全文，了解文章的基本内容。读记叙文要搞清楚文中写的是什么人、记的是什么事，从分析人物和事件中探求中心思想。读议论文要抓住文章的中心论点。读说明文要弄清说明对象，领会文章的作用。

(2)分析文章结构。文章安排段落、层次是为了表达中心思想。段落划分出来了，段意归纳出来了，把各段意思概括起来，便能归纳概括出中心意思。

(3)分析文章的小标题或题目。

(4)分析文章的议论或抒情成分。记叙性文章特别是散文，作者常通过议论或抒情来表达自己的观点，抓住了这些观点，也就把握了中心意思。

(5)了解作者的写作背景、写作意图和相关材料，有助于概括中心意思。

(6)注意明示性的语言标志，抓住核心词语或句子来概括要点，注意与试题指令相关的句子、语段的层次结构特点，在分析结构关系的基础上概括要点。句子、语段的层次常呈现并列、因果、对照、总分等特点，理解了这些结构特点，就比较容易把握内容要点。

4. 归纳内容要点、概括中心意思的几个误区

(1)归纳不完整，有重要信息遗漏。

(2)分不清信息的主次，不能从整体上把握文章，归纳概括时没排除冗余信息，从而没抓住主要信息。

(3)归纳概括的角度不对。

(4)未摆脱“思维定式”，不是随文就理，而是想当然地把自己的观点当成作者的观点。有时任意拔高文章立意，强加文中没有的意义或主旨。

四、分析与推断

(一)分析文章结构，把握文章思路

1. 把握文章结构层次的含义

文章结构就是文章的构造，也就是作者根据自己对生活的理解和评价把文章的各部分组成一个统一体。从文章结构形式可以看出作者的构思过程，它是文章思路的具体体现。文章的结构包括两方面的内容：一是文章的体式和章节结构，如体裁形式结构、开头结尾、章节段落、过渡衔接、伏笔照应等，不同的体裁、结构形式不同；二是文章的内在联系和组织，如观点和材料、部分和整体等。阅读时只有把握住文章的思路，理清文章的层次，包括段与段之间以及段落内部的层次，才能真正理解文章。

文章结构是文章思路的体现。分析文章结构，实际上就是探索文章思路；把握住文章的思路，也就弄清了文章的结构。

给文章划分层次，是把握文章思想脉络的手段，也是理解文章的手段。文章的结构层次是受内容制约的，要想分清文章的层次，必须首先对全文有大体的了解，知道每一层次到底说的是什么、观点怎样，先从整体上把握全文，这是第一步。第二步是“因势利导，对症下药”。高考阅读题往往不从全篇出题，而是就一段或几段出题，或划分层次，或阐述层意，或分析句与句之间的关系、等等。这就要依据试题的范围分析题干，分析材料。一个句群的几个句子，首先要分清第一层次在哪里，这是关键。一般第一层次并不是太明显，这要结合句意和连接词语来判断。要分清是并列关系，还是转折关系；是递进关系，还是因果关系。第二步，分析假若第一层在这里，对理解本段意思有无影响，对强调重点有无影响。

2. 理清文章思路的基本方法

理清文章思路的一个有效办法是分析文章的构架。构架是思路的外在形式，构架理清了，思路也就清楚了。要解决文章构架与思路的问题，首先要了解文章的结构形式。我们可以从众多文章中寻找到它们在结构上的共性。从文章的结构可以看出文章的基本思路。

我们可以把文章按照文体来分类，从而把握不同文体文章的思路。

(1)快速分析议论文思路。

议论文的说理，是一个严密的逻辑思维过程。论证方法，着眼于论据和论点之间的关系；而论证结构显示的则是作者的论证思路，即论证展开的过程。一般说来，议论文总要先提出问题，然后再分析问题、解决问题。这一过程决定了议论文的基本结构形式，即引论、本论、结论三部分。引论提出中心论点，使读者明确本文所论“是什么”。本论多是运用可靠的事实或理论论据，从多方面论证中心论点，使读者明确“为什么”，是论证过程和论证方法的重心所在，是文章最重要的部分。结论指出解决办法，强调中心论点，或点明写作意图，使读者明白“怎么办”。

就一篇议论文的论证重心——本论部分而言，从论证的角度来看，其思路大致有三种：一是把中心论点分解成几个分论点，然后分别就分论点展开论述，这种结构为“并列式”；一种是围绕中心论点从正反两方面加以论述，两部分内容正反对照，这种结构为“正反对照式”；一种是就中心论点的阐述由浅入深，逐层剖析，最后得出结论或指出解决问题的办法，这种结构为“层进式”。

议论文的论证结构是由论述内容决定的，内容的丰富性决定了写法的不拘一格。

(2)快速分析记叙文思路。

记叙文篇章和段落的基本结构模式有以下三种：

①“总叙—分叙—结叙”型。文章开头先“总叙”，给人以完整的总印象；之后是“分叙”，“分叙”是分别叙述，或是按事情的发展分别叙述不同阶段的情况，或是按不同的事件一一叙述；最后是“结叙”，即总结性叙述。

②“总叙—分叙”型。即开头先总叙，给人以总的印象；再按事情的发展过程分别叙述不同阶段的情况，或按不同的事件一一叙述。

③“分叙—结叙”型。即按事情的发展过程叙述不同阶段的情况，或按不同事件分别叙述，然后再做结论性叙述。这种结论性叙述往往点明事件的本质和意义。

④“分叙—分叙”型。即既无开头的“总叙”，也无结尾的“结叙”，而是文章一开始即按事情的发展过程分别叙述不同阶段的情况，或按不同事件一一叙述。

(3)快速分析说明文思路。

说明文是非常重视逻辑性的，它的逻辑性体现在文章基本结构模式的规律性上。

说明文篇章和段落的基本结构模式有以下三种：

①“总说—分说—结说”型。这种结构模式是先对事物进行概括性的总体说明，给人一个完整的印象；再分别对事物的局部一一说明；最后，进行总结性说明。

②“总说—分说”型。即先对整体情况进行概括性说明，再分别对事物的几个局部(或方面)一一说明。

③“分说—结说”型。即先分别说明事物的不同方面(或局部),然后进行总结性说明。

(二)分析概括作者在文中的观点态度

1. 分析作者的观点态度

所谓作者的观点态度,是指作者在文章中表现出来的对具体事物的主观倾向,或赞同或反对,或喜爱或厌恶,或冷静或热情,带有鲜明的个人色彩。

作者观点态度的表达,因文体、风格不同及其他因素的影响而有差异。或明示,直接表达观点态度;或暗示,如取譬设喻,托物附丽,含蓄委婉地抒写感情倾向;或集中议论抒情,一目了然;或散见于字里行间,若隐若现。这就要求同学们掌握一定的文章学、修辞学知识,具备一定的理解、分析、概括和表达能力。

2. 分析观点态度的一般方法

具体分析可采用以下方法:(1)从分析文章内容入手。文章中的材料及其所表达的思想,表明了作者看问题的角度,一定程度上体现了作者的立场,而文章主旨有时更是直接体现了作者的观点和态度。(2)结合文体特点,抓住关键部位和重要语句。不同文体的结构特点不同,表现手法不同,表现作者观点态度的方式也不同。如议论文一般在开头或结尾,表现得相对鲜明;记叙文一般在叙事状物中(或之后),表现得相对曲折含蓄;说明文往往在比较说明或简短的点评中,表现得或明或暗。(3)注意标志性词语。对于分析作者在文中的观点态度而言,那些表现人物思想情感的词,如“认为”“以为”“感到”之类的词,是具有标志性的词,它们往往直接引领表明作者观点态度的句子,抓住它们就抓住了作者在文中的思想动态。(4)联系文章背景资料。背景资料包括作者一贯的思想观点、写作动机。有些文章,特别是文学作品,作者的观点态度表现得委婉含蓄(甚至有意曲折为文,言在此而意在彼),这时必须联系有关背景资料来帮助理解。(5)注意文章风格。

3. 分析观点态度的解题技巧

(1)从目的、启示处思考。

具体说来,在速读文章之后,分析自己的总体感觉:①作者为什么写这篇文章,他要告诉人们什么道理;②这篇文章使我们懂得了什么道理,给了我们什么有益的启示。

第一个问题需要客观分析,找出体现作者倾向性的议论的句子。第二个问题要寻找自我感觉,两者的结合点即文章的主旨,也就是作者的观点态度。除此之外,还可以运用概括主旨的一般规律来进行验证:①记叙文的主旨,往往是通过议论、抒情来画龙点睛的,如果是写人物的记叙文,应以人物性格作为主要依据;②议论文的主旨,往往在叙议中点明,在结论中重申;③说明文的主旨,在于介绍的主要内容及说明的主要内容。

(2)从隐含信息处思考。

一般说来,作者在文章中,总是力图通过作品来表露自己的某种观点、态度。或颂扬,或批评,或支持,或反对,或不遗余力,或有所保留。作者的观点态度,有时直抒胸臆,有时间接表达,有时集中于一处说,有时分散在多处说。要善于抓住作者提供的信息,利用试卷中的试题题干。任何试卷中的现代文阅读,其命题点都不是孤立的。即便是一道很小的题目,也必然与原文有着千丝万缕的内在联系,只不过这种联系或明或暗、或隐或显而已。它需要考生在通读文段之后,以清醒的头脑、分析的眼光,从上下文中加以辨析,或从原文的整体意向上思索、把握和透视。若能如此,则不难找到隐藏在文句中的答案,得出正确的选项或回答。

(三)根据文章内容进行推断和想象

1. 根据文章内容进行推断和想象的含义

所谓“根据文章内容进行推断和想象”,是指文章本身没有提供现成的结论,而要通过间接的推断得出结论。当然这个推断不是凭空得出的,而是根据文章的内容,有根有据地得出的。推断是一种带有创造性的思维活动,把“推断”列入《考试大纲》,这体现了由过去比较注重知识立意向以能力立意转变的命题思想。

推断和想象既有区别,又有联系。推断,就是推测断定,要求根据已知信息对事物的发展趋势作

出预测或对可能产生的结果进行判断。它属于逻辑思维，具有抽象性、严密性和理性色彩。想象，就是在原有表象（主要指语言文字的描述）基础上进行加工改造而创造出新形象。它属于形象思维，具有形象性、创造性和感性色彩。因此，新考点实质上增加了对考生思维方法的考查，要求考生能够运用逻辑思维、形象思维等多种不同的思维方法去思考问题，寻求答案。

推断和想象是在理解文意的基础上，从文章内容出发进一步推出新的判断，或发挥想象。它丰富了阅读的收获，显示了阅读中的创造性和能动性。要推断和想象必须真正读懂文章，把握文章观点，沿着文章已有的记述（无论是正面肯定，还是反面批判）往前推断，不可空穴来风，更不可只看选项本身有没有道理，不能认为有道理的选项就是正确选项。推断和想象还必须根据作者在行文中所实际流露出来的态度进行。

2. 推断和想象的类型

（1）根据文中的材料推出新的结论。

这实际上是运用原文所提供的材料，在原文允许的范围内，通过想象进行再创造，推出原文没有直接表述的观点，得出原文没有必要直接得出的结论，或者提出新的看法。

（2）根据文中的观点推出作者对相关问题的看法。

这一类推断比上一类推断要困难一些。困难主要表现在对作者在文中观点的准确把握，也表现为对“相关问题”的了解程度，还表现为一个联想和推理过程。

（3）根据语境推断和想象作品的相关要素。

这里所说的“相关要素”，可以是内容方面的，也可以是形式方面的，更多的则是两者结合的。譬如过去考过根据文意补写一个领起句，补写一个总结句，或者根据一首诗的具体描写和抒情，推断诗中所写是哪一类人，等等。这类推断的基本点是对文章或诗歌有准确的把握，还要分析上下文才能得出。

3. 推断和想象的误区

（1）无中生有。

根据原文内容捏造事实，无中生有，来一个似是而非的推断；或者来一个正确判断，但这一个判断不能从原文找到任何依据。

（2）强加因果。

把明明没有因果关系的说成是因果关系，或者把看似有因果关系的信息句，通过“技术”处理巧妙地结合在一起，使选择项所推断的原因或结论错误。

（3）因果颠倒。

把因错断为果，果错断为因，颠倒了两者之间的关系。

（4）弄错时态、模态。

无视原文信息中的“可能、大概、或许、差不多、将会”等限制语，把原文中尚未确定或还未实现的事情说成既成的事实，或者“已然”“未然”混淆，或者“或然”“必然”不分，以致以假当真，结论错误。

（5）断章取义。

命题者在设置选项时，故意脱离全篇内容，断章取义，架空分析。

4. 推断与想象的基本思路

（1）正确把握文章的内容和作者的观点态度是合理想象和准确推断的前提。想象和推断必须建立在正确把握文章的内容和作者的观点的基础上。

（2）想象和推断的角度很重要。角度把握准了，才能进行合理的想象和准确的推断。

（3）写人记事类作品中的想象和推断，一要符合情节发展的逻辑，二要符合作品中人物的性格特点，三要是“环境”所允许的。

（4）要善于抓住事物之间的关系来推断。如果是条件关系，就要能由条件推出结果。如果是因果关系，就要能由“前因”推出“后果”。但须注意不能强加因果关系，不能颠倒时间顺序。

(5)在进行推断时,要联系自己以往所掌握的相关知识。当文中没有信息或信息不足的情况下需要联系相关知识,如果文中有足够的信息就应该通过文中的信息进行推断。

(6)在进行推断时,要把文中的相关信息联系起来,作为推断的前提,由此得出结论。

(7)在进行推断时要注意利用文中的隐含信息。

五、评价与鉴赏

(一)文章的思想内容和表达技巧的含义

评价和鉴赏能力是阅读能力的最高层次。由于知识结构、文化水平和思维方式等方面的差异,人们的评价和鉴赏能力是不同的,存在着明显的差异。

评价、鉴赏能力属于创造性思维,即读者在读完作品以后产生的感想、评论、审美意识、价值或意义判断等。这时读者的思维已不只是停留在作品的内容上,而是把作品的内容与自己头脑中的知识、经验进行比较和推理,从而得出结论。

阅读中的评价、鉴赏能力是指对作品的评价、鉴别和欣赏的能力。这种能力直接关系到阅读的效果,是对认识是否达到理论高度的考查,它涉及对知识的理解、运用、分析、综合等行为的某种组合。所以,它是知识领域的最高阶段。每年的高考语文试题均有对这种能力的考查,且有一定的难度。《考试大纲》要求考生必须"具备初步的文学鉴赏能力"。这种初步的鉴赏能力包括两方面的内容:一是对文章内容的鉴赏;二是对文章形式的鉴赏。

对文章内容的鉴赏,一定要注意把握作者的思想观点,正确地分析文章的主题,理解作品的社会背景,理清文章的脉络和层次,了解作者的写作意图以及与作品有关的政治、历史、地理等常识。

文章的表达技巧,是指文章运用了哪些写作原则、规律和方法来表现文章的内容。具体来说,对文章表达技巧的鉴赏主要指:一是作者在表达方式运用上的技巧和文体知识运用上的技巧;二是修辞手法运用上的技巧和其他有关写作知识运用上的技巧。对文章的思想内容和表达技巧进行分析评价,也就是要求考生必须具备一定的鉴别和欣赏能力。

(二)评价和鉴赏思想内容和表达技巧的方法

1.评价和鉴赏要同识记、理解知识点联系起来

一些考查文学鉴赏能力的题目是定向的,它要求鉴赏的内容是明确的,鉴赏内容所依托的知识点是客观的。做文学鉴赏题时,一定要把它同我们熟知的具体知识点紧密结合,找准突破口,然后答题。

2.紧扣主旨,把课外知识同课内知识联系起来

3.把作者的观点、文章的主旨同写法结合起来

对任何一类试题的解答,都需要综合运用各种技巧。

4.把对内容的分析同筛选关键句和概括文意结合起来

(三)文学类文本与实用类文本的不同要求

对文章进行鉴赏和评价,文学类文本和实用类文本的要求有所不同。

1.文学类文本的鉴赏和评价要求:①体会重要语句的丰富含意,品味精彩的语言表达艺术;②欣赏作品的形象,赏析作品的内涵,领悟作品的艺术魅力;③对作品表现出来的价值判断和审美取向作出评价。

2.实用类文本的鉴赏和评价要求:①评价文本的主要观点和基本倾向;②评价文本产生的社会价值和影响;③对文本的某种特色作深度的思考和判断。

第三部分 文学类文本阅读

一、散文阅读

(一)散文阅读的一般方法

散文形式多样,变化无穷,因此,散文鉴赏比较困难。但是事物都有它的规律性,散文鉴赏也有一些大致的规律可循。以下介绍鉴赏散文的一般方法。

1.寻找线索

线索是散文组织安排材料的"纲"。阅读散文要紧紧抓住这条"纲",弄清散文组织安排材料的规律,从而沿着这条"纲"去分析文章的内容,明了作者的写作思路及其选材组材的意图。

散文中常见的线索有:

(1)情感 多见于抒情散文,在一些怀人叙事散文中也常常碰到。

(2)事理 偏重于内在逻辑性,多见于即事明理的议论散文。常常是作者从对事物的感受中提炼出来的一种观点,其他材料据此展开。

(3)事物 在托物言志、寄情于景的散文中,该事物既是线索,更是作者情感的寄托点,常常具有某种象征和寓意。

(4)时间 常为叙事散文所用。

(5)空间 写景类散文多属此类。随作者观察次序来结构文章,或移步换景,或定景换点。

2.认识"形体"

散文的"形体",一般地说,有两个方面的内容:一是指内容取材上的广阔性,选材可以是一个完整的生活情节,也可以是一个极小的生活片段;二是指它的结构机动灵活,它可以以一个中心思想为结构中心,组织不完整的人物活动及其他片段,也可以以特定的人物为中心,写出一个生活的侧面,还可以以情感为中心,联结一些与事件、片段相关的意境。我们阅读时,要把握作品取材和结构上的特征,领会作者的写作意图。

3.分析语言

散文的一大特色就是语言美。一篇好的散文,语言既凝练、优美,又自由、灵活。优美的散文,更是富于哲理、诗情、画意。杰出的散文家又各具不同的语言风格,鲁迅的散文语言精练深邃,茅盾的散文语言细腻深刻,郭沫若的散文语言气势磅礴,巴金的散文语言朴素优美,朱自清的散文语言清新隽永,冰心的散文语言委婉明丽,孙犁的散文语言质朴,刘白羽的散文语言奔放,杨朔的散文语言精巧。

4.进入意境

优美的散文可谓"无韵之诗",其意境可以与诗相媲美。阅读散文时,就要善于通过自身的感受,进入散文所描绘的意境中。

5.体会情感

情感是散文的精神,在鉴赏散文时,一定要注意体会散文的情感,以便激起心中的波澜,产生情感共鸣。

6.把握技巧

散文的技巧即散文的写作特色,包括谋篇布局、遣词造句等多方面的特色。善于把握散文的技巧,不仅可以帮助我们理解散文的内容,而且有助于提高我们写作散文的能力。

(二)散文阅读的解题方略

1.综观全篇,把握主旨

把握文章主旨首先要着眼于文章的整体,注意理清内部的相互关系,从宏观上居高临下地驾驭文章,领会文章的主旨。其次要看文章的作者、写作时间和文后的注释等。有选择题的从后面的选

项中揣测，不失为一种方法。

2. 理清脉络，划分层次

理清文章的脉络，再解答后面的问题，就如顺水行舟，事半功倍。有的考生走马观花地看一遍文章，似懂非懂就急于做题，往往是欲速则不达。

3. 归纳内容要点，概括中心思想

从寻找语段的中心句入手。文段的中心句常在段首或段尾。

从文章的结构层次入手，分析作者的行文思路，进而明确作者的写作重点和中心。分析语段时，还要注意从句与句之间的关系入手，明确句群所表达的重点。

注意合理运用分析归纳语段内容的基本方法：(1)摘录法，直接用语段的中心句作为答案；(2)摘要法，选用文中的关键语句，删繁去冗，使概括的语句简明、准确；(3)归纳法，要求在对原文内容理解的基础上，用自己的语言进行概括，一定要思路清晰、用语准确、抓住要点。

4. 把握作者在文中的观点和态度

统观全文，筛选出直接表现作者思想感情和观点态度的语句。这方面主要是抓“文眼”，找关键句和中心句。散文中，有些抒情性语句往往比较明显地表现了作者的观点和态度。

分析文章的中心内容，把握作者的基本观点和态度。作者写文章往往围绕一个中心来展开文章内容。因而阅读时，把握文章的中心内容是理解作者观点和态度的关键。有时还需要对文中各语段内容进行综合分析，进而把握好作者的观点态度。

结合作者的生平和思想，并联系作品的社会时代背景进行分析。这是分析和把握作者观点和态度的重要一环，不可忽视。

5. 评价文章的思想内容

(1)具体分析。分析和评价都必须紧密结合作品实际，避免离开作品进行漫无边际的分析，或把自己的猜测和没有有力证据的材料夸大。

(2)客观评价。对于作品中表现出来的思想内容和作者的观点态度，应给予客观而公正的评价，结合文学作品创作的艺术规律，对作品进行分析和评价，而不应依据个人的好恶随意评说。在具体评价时，社会时代背景、作者生平思想、作品创作实际，都是必须考虑的重要因素。

概括作者的观点和态度多用主观题型考查，组织答案时要注意：

一是抓住文章主要人物和关键语句；二是整合此前对作品中形象的分析，对结构和表现手法的揣摩；三是联系作品的时代背景和写作意图。

简答题的答题要素：一是审析题干，定准坐标；二是整体搜索，准确提取；三是理清脉络，优化组合；四是注意字数，不要过多或过少。

二、小说阅读

(一)小说阅读的主要内容

小说是通过完整的故事情节和典型环境的描写，塑造各种具有典型性格的人物，广泛地、多角度地反映社会生活的一种文学作品。

小说的阅读，有三点必须注意：第一，要了解小说所反映的社会背景，作品写作、发表时的社会背景及作者的写作意图，在此基础上领会小说所揭示的主题思想；第二，要认真分析人物形象，通过对有关描写方法的研究，剖析人物形象，理解典型环境中的典型性格，从而深入领会小说的思想和艺术；第三，要研究小说的故事情节、线索、结构是怎样为塑造形象、表达主题服务的。

1. 分析典型人物

塑造典型人物的方法之一是“杂取种种，合成一个”，使人物既具有独特性，又能集中某一类型的特征。这种“杂取种种，合成一个”的“综合”和虚构的能力越强，塑造的人物形象就越典型。塑造典型人物形象的方法之二是创造富有性格特征的人物语言。人物的对话、独白应符合人物的身份、教

养、经历，能透露出人物特定的思想观点、心理状态。

分析典型人物，既要分析典型人物与同类人物的共性，又要分析典型人物与同类人物的个性，着重分析典型人物的个性。分析典型人物，还要注意从人物的外貌、语言、动作、心理等描写中，概括出人物的思想性格，并注意人物间的相互关系、人物与环境的关系是如何间接表现人物性格的。

分析人物可从以下几个方面入手：

第一，注意人物外貌特征的描写。短篇小说一般侧重对人物外貌的某一主要特征进行描写，从而揭示人物性格。如《祝福》写祥林嫂的外貌，虽也涉及衣着、面色等内容，但重点却是写她的眼睛。抓住这一外貌特征进行分析，就不难认识到，在封建制度和封建礼教的重压之下，祥林嫂是怎样"想做奴隶而不得"而一步步走向死亡的。

第二，注意人物语言的个性化。短篇小说因为短，所以人物语言必须少而精，讲究个性化。如《祝福》四次写鲁四老爷说话，总计不过几十个字，却极有个性，极富表现力。分析时抓住鲁四老爷个性化的语言，就不难认识到他那种伪善、冷酷、自私的性格特征。

第三，注意人物行动的描写。人物性格和人物行动是统一的，行动细节的分析是把握人物性格的一个重要方面。如《药》写刽子手康大叔卖人血馒头的一系列动作，就传神地刻画出了他凶残贪婪的丑恶形象。

第四，注意人物的心理描写。心理描写直接揭示人的思想品质，如《项链》中对玛蒂尔德大段的心理描写，就揭示了她的小资产阶级的虚荣心。通过对心理描写的分析，能准确把握人物性格，进而了解小说主题。

第五，联系人物所处的环境来理解人物形象。环境决定和影响人物的性格，同时人物性格也对环境有一定的影响。注意分析环境与人物的关系，尤其要注意环境对人物性格的体现起着强化作用。如《药》的结尾描写坟场的自然环境，突出了悲凉的气氛，烘托出了老妇人失去亲人的悲哀。

第六，从故事情节和矛盾冲突入手，把握人物在诸多矛盾冲突中的行为、心理等，从而更好地理解人物性格。比如阿Q在"革命"问题上由主动转为被动的矛盾发展，具体表现为宣布革命、幻想革命、静修庵革命和幻想破灭的情节走向，读者从中可感受到人物命运的起伏。

第七，以发展的观点来分析人物。社会生活丰富多彩，社会关系错综复杂，因而社会中的人物性格往往是复杂的并且是发展变化的。如《荷花淀》中水生嫂等女性由家庭妇女成长为革命战士，其性格是发展变化的。

总之，人物的鉴赏可以从以下基本途径着手：

(1)从作者对人物的介绍和评价把握人物；

(2)从人物的语言、行动和心理描写分析人物；

(3)从人物活动的社会历史背景理解人物；

(4)从不同角度对人物作面面观：人物的外貌、行为、语言、心理、遭遇、所处的环境和地位、别人对他的态度。应该从文中的叙述内容中寻找分析的依据，要有描述和评价。

2. 分析故事情节

情节是叙事性文学作品中所描写的事件及其发展变化的过程，它由一系列具有矛盾冲突的具体事件组成。鉴赏情节时，一般从四个方面着手：首先，要看到情节对展示人物性格和发展人物性格的作用。生活中充满了矛盾和斗争，反映到小说里，也就产生了小说中的矛盾。矛盾的发生、发展、高潮、结局，就构成了情节。小说中的人物处在矛盾斗争当中，他们在对待矛盾、解决矛盾中展示他们的性格，也会在斗争中发展他们的性格。其次，要注意矛盾斗争的尖锐性。好的小说，不管是什么题材，不管情节是否曲折，都会把矛盾的尖锐性体现出来。矛盾的尖锐性，正表现了作者对生活认识的深刻性。再次，还应当看到矛盾斗争的真实性、合理性。小说中艺术地再现的生活中的矛盾，必须是生活中存在的或可能存在的，是真实的矛盾，它完全符合人物思想感情活动的规律，切合人物性格发展的轨迹。最后，也要看情节是否具有生动

性。生动的情节往往曲折多姿、复沓回旋，能扣人心弦、引人入胜，使主题表现得更鲜明，人物形象更突出。

分析故事情节可从以下几个方面入手：

一是理清结构。一般小说的情节大体由开端、发展、高潮、结局几部分组成，可以此为据划分层次。但如果有运用倒叙（如《祝福》）、插叙（如《故乡》）或省略某部分情节等特殊情况，则要注意。

二是寻找线索。线索是情节发展中的脉络，有时还是矛盾冲突的焦点。通过寻找线索，不仅有利于把握情节，有时也有利于抓住小说的矛盾冲突，便于把握主题。

三是抓住场面。情节是由场面组成的。有的小说情节较复杂，有的小说情节不连贯，在这种情况下，抓住场面分析就可以不受情节结构的限制，直接掌握作品的中心事件和主要矛盾。

以上几种方法，可选用一种，也可几种兼用。但不管是选用还是兼用，都要注意两点：①情节的发展变化是矛盾冲突发生、发展的体现，分析情节时必须抓住主要的矛盾冲突；②分析情节不是目的，而是手段，是为理解人物性格、把握小说主题服务的，所以，在分析情节的过程中，要随时注意理解、体会它对人物性格的形成及揭示小说主题的作用。

3. 分析典型环境

小说的环境描写，通常包括历史背景、时代氛围、人物关系、人情风俗以及自然景物等方面，概括言之，即自然环境与社会环境两方面。自然环境对人物的命运有时也有影响，但真正决定人物命运的往往是社会环境。如《祝福》中的祥林嫂和《荷花淀》中的水生嫂，其命运与性格迥然不同，就是因为她们处在两个截然不同的社会环境之中。

鉴赏环境时，注意从以下四个方面着手：

第一，社会环境往往有复合的因素，有几个因素就应分析出几个因素。如《装在套子里的人》在描写社会环境时，展开了矛盾的两个方面：一方面是专制主义的潮流，一方面是民主自由的潮流。

第二，分析社会环境应通过当事人的言行深入挖掘社会历史内涵。如《祝福》中表现封建贞节观念，主要让鲁四老爷作为这种观念的载体；表现迷信观念，主要让柳妈作为这种观念的载体。因此鉴赏时，我们就得从鲁四老爷的话语中看到封建礼教，从柳妈的话语中看到迷信观念。只有如此分析，才能从中看到作品所提出的社会问题。

第三，注意人物与环境的辩证关系。环境决定人物的命运及其性格，人物又能动地作用于环境。由人物在社会环境中的走向，可看出人物的思想性格。

第四，不断提高认识能力与分析能力。我们对社会、历史的认识越深刻，对作品中所描写的社会环境的认识也就越深刻。阅读分析作品时，应自觉地将作品中描写的社会环境与我们今天的社会环境加以比较，进而深刻认识作品中的社会环境。

4. 揣摩小说的语言

揣摩小说的语言，重点是体会重要语句的丰富含意，品味精彩语句的表现力。

(1)要细细咀嚼品味，发现那些不易看出的妙处。

有些词汇、句子好，比较明显，有一定欣赏能力的人都能看出来；有一些，则不易发现。要提高欣赏能力，就要用心去发现。例如《祝福》中"旧历的年底毕竟最像年底"一句，这是一个肯定陈述句，似乎也没有什么实在的信息，但实际上蕴涵了丰富的内容。用"旧历"而非辛亥革命后确定使用的公历，足见传统力量的顽固，主人公为封建礼教所吞噬，就有了其必然性，该句的深意就显露出来了。

(2)要联系语境，想象情景，欣赏个性化的语言。

无论叙述语言，还是人物语言，一字一句的妙处，全是因为它附着在一个有机的整体上。所以非联系语境、想象情景不可。同时，优秀的小说描写人物语言总是高度个性化的，因此欣赏人物语言，要听其言，想其人，知其心，还要看作者是怎么把握人物的身份个性，在什么场合让人物说出什么样的话来。如孙犁的《荷花淀》中水生嫂的语言，很符合她的身份、性格和时代特征："你总是很积极的""你走，我不拦你"。她的深明大义、爱家爱丈夫的形象通过几句简单的话跃然纸上。再看其他几个青年妇女

的语言："我不拖尾巴，可是忘下了一件衣裳""我有句要紧的话，得和他说说""哪里就碰得那么巧，我们快去快回来""我本来不想去，可是俺婆婆非叫我再去看看他——有什么看头啊！"三言两语，未见其人，只闻其声，但人物性格或伶俐乖巧，或质朴憨厚，或大胆直率，或扭捏羞涩，无不跃然纸上。同样是妇女，王熙凤的语言处处表现出她察言观色、机变逢迎的本领；而《边城》中翠翠的语言则表现出她的天真和对美好幸福生活的追求与憧憬。

(3)要领悟小说语言的言外之意，欣赏含蓄之美。

小说总是用形象说话，不把话说尽，意在不言之中，留给读者回味的余地、想象的空间。

(4)要琢磨落笔行文所体现出的作者的语言风格。

风格是从对小说语言的整体感受和相互比较中感知到的。小说的语言，相当明显地表现了作者的语言风格，而且对刻画人物性格、表现主题有十分重要的作用。沈从文的语言平实，充满乡土气息；鲁迅的语言凝练深刻；孙犁的语言充满诗情画意，散发着清新的泥土气息；而巴尔扎克的语言既幽默又深刻，入木三分地刻画出人物的性格。而概括风格，又有专门用语，大致有简洁与繁丰，含蓄与明快，朴实与绮丽，缜密与疏放，高雅与俚俗，庄重与谐谑，豪放与柔婉，雄浑与纤巧，等等。

5. 把握小说的主题

把握小说的主题，要从感受小说的艺术形象出发，联系作品的时代背景和作者的创作意图，进行具体分析，不能只是简单地记诵一些抽象概念。小说的主题有时是以明确的语言直接表达出来的，有时则要通过归纳判断来提取。而小说的主题融合了多种意义，包括情感意义、审美意义、形式意义等，这些要依赖于读者的直觉感受和领悟才能掌握。莫泊桑在《项链》中直接写道："人生是多么奇怪，多么变幻无常啊，极细小的一件事可以败坏你，也可以成全你！"真实地描写了下层社会的"小人物"玛蒂尔德由于虚荣心而导致的悲剧故事，并寄寓了作者对主人公深深的同情。不同的读者对此产生的感悟和理解是不一样的，这就给《项链》的主题赋予了多种意义。

6. 分析小说的表达技巧

正面描写与侧面衬托。在小说中塑造人物有两个最基本的技巧——让人物出场和不让人物出场。小说人物一旦在作品中露面，作者就要集中艺术力量去写活人物。小说的篇幅是有限的，但刻画人物性格的材料是无限的。要在小说创作中艺术地解决这一矛盾，作者的创造技巧就在于：首先他要确定作品要表现的人物特征(个性、行为、语言、思想等)，然后选择和提炼若干个材料(细节)去反复展示人物的这一特征。这些材料可以是时空不同但内涵相同的"同质异形"的细节。一个人物特征用两个以上同质异形的材料去反复表现，便构成了叙述延宕(或叫叙述重复)的艺术效果。

有时作者要让主要人物不出场，而写与他有关联的次要人物或有关联的细节，写次要人物在主要人物的行为的影响下产生的心灵震荡和命运转折，写在细节上留有的主要人物的影响和效果。这就是侧写和虚写的方法技巧。

多重突转与反跌对比。在小说情节有序组合和进行线性叙述时，作者为了实现小说情节的传奇性，总想让读者猜不到小说的下一个情节的内容和故事的结局，因此有意制造小说的两个情节之间发生相反突变的模式便得到作者的青睐。作者在使用这种情节模式和技法时，不仅让小说情节做一次突转，而且可以让情节连续突转好几次，使小说情节方向在突转了 180 度后，又突转了 180 度，有时甚至是连续突转几次。

叙述对比本来也是小说设计情节模式的最常用的技法，但不少作者却把它熟练地用成一种反跌对比的技巧。作者在小说中不是设置一重对比的情节，而是设置两重或两重以上的对比，让人物与人物、事件与事件发生交织错落的变化。欧·亨利的《警察与赞美诗》的艺术魅力就来自于这两重的反跌对比。主人公故意违规想让警察把他关进监狱以便度过一个温暖的冬天，但他连续几次违规都未获得成功，最后等他听见教堂里的钟声和歌声心里产生了忏悔、准备重新做人时，却被警察关进了监狱。想进监狱而屡不成功，不想进监狱准备重新做人时却被关进监狱——这就是情节的反跌对比。设置双重以上的对比技巧，使情节的容量和包含的哲理大大扩增，情节的可读性与传奇色彩得

到有力的强化。

(二)小说阅读的解题方略

1. 整体感知内容,把握小说情节

情节是小说的要素之一,人物形象的塑造、人物性格的展现与演变,都是在情节发展中完成的,小说的主题、作者的思想倾向也都是在情节发展的过程中逐渐清晰起来的。所以,阅读小说首先要感知作品内容,弄清楚故事发生的时间、地点、起因、发展、高潮、结局,有哪些矛盾,这些矛盾又是怎样解决的,等等。读《祝福》,应该透过其"倒叙"的外在结构形式,理顺祥林嫂生活的轨迹,即初到鲁镇—再到鲁镇—沦为乞丐—在痛苦中死去,并结合她的外貌、心理、精神的变化,这样小说的内容就会了然于胸了。

2. 分析人物形象,理解作品主题

一般情况下,理顺、理清了情节,大脑中对人物形象会有一个概括、笼统的印象;要让这个印象清楚、明晰、具体起来,还需要对小说中的具体描写,结合人物所处的社会环境,做由表及里、由现象到本质的合理的分析与推断。比如分析祥林嫂这一形象时,要注意如下几个问题:祥林嫂初到鲁镇只是"整天的做","食物不论,力气是不惜的"说明了什么?祥林嫂被强迫改嫁时"闹"得出格,怎样理解?祥林嫂为什么要花那么大的代价去捐门槛?捐门槛后祥林嫂有哪些变化?如何认识祥林嫂临死前的疑问?思考这些问题的过程其实就是走进人物内心世界、准确把握人物思想性格特征的过程。比如第一个问题,不能只是简单地理解为表现了祥林嫂的勤劳,还应联系相关情节,从祥林嫂逃离婆家到鲁镇这一"背景"来分析,其实她是想用拼命地劳作来让自己忘掉过去的经历,有很多的"麻醉自己"的成分。而祥林嫂被迫改嫁时的"反抗"也不是"勇敢"的表现,其实仍是贞节观念在起作用,她是不会有诸如人的权利与尊严的意识的。《祝福》不是为了表现祥林嫂的"勤劳"和"勇敢",而是写出了旧中国一个不能掌握自己命运、被迫害、被践踏的女性的悲惨命运。

理顺情节、把握人物形象,同时结合环境描写及写作背景,就可以对作品的主题有比较清晰的透析。《祝福》通过祥林嫂的悲剧,尤其是对祥林嫂所生活的社会环境——风俗、观念及她身边的人有意无意的"残害"的具体描写,再现了封建礼教是如何一步步吞噬勤劳、本分的祥林嫂的,从而揭露了封建礼教吃人的本质。

3. 运用想象推断,合理填充"空白"

任何一篇(部)优秀的小说都会给读者留下巨大的"空白",读者的想象和推断,能够丰富小说的思想和艺术内涵,这也是文学鉴赏的魅力所在。

揣摩作品的语言与艺术上的"精妙",是小说阅读不可或缺的一环。如谋篇布局、遣词造句、锤炼语言、对比衬托、侧面描写等,细细品味,才能咂摸出文学的韵味来。如鲁四老爷的"可恶,然而",阿Q刑场上的画圈,曹操华容道上的"三笑",葛朗台的临终一"抓"与"咽吋",真是耐人寻味,咀嚼不尽。如果能将这些凝缩的精华"泡"开,你就找到进入文学鉴赏的门径了。

4. 组织答案的具体方法

(1)引述。指题目的答案就是原文中的某一词语、短语或句子,只要把原文引述下来,写在规定的答题处就行了。如填空题。

(2)整合。是在弄懂题意的基础上,先确定答题的范围,再筛选出相关的语言信息,然后依据题目要求,对相关的语言信息实施重组。

(3)概括。是指根据题意,确定了答题的范围,但不能用文中现成的语言作答,必须用自己的语言加以概括。

(4)推断。是在答题时,充分运用材料信息,从一定角度切入选项,从而推断出准确答案。

三、剧本阅读

戏剧是一种综合性的舞台艺术,它借助文学、音乐、舞蹈、美术等艺术手段塑造舞台艺术形象,揭示社会矛盾,反映现实生活。这里说的戏剧是指剧本文学。剧本是戏剧的文学因素,它是舞台演出的依据和基础,适合舞台演出是它区别于其他文学体裁的基本特征。

剧本阅读的一般方法

1. 抓住戏剧冲突

戏剧冲突是构成情节的基础,是展示人物性格的重要手段。抓住戏剧冲突要注意:

(1)了解戏剧冲突的过程。一出戏里,人物众多,头绪纷繁,但从剧本严谨的结构中,不难看出戏剧冲突的过程。从戏剧冲突的过程中,可以看到人物的思想性格、人与人之间的矛盾纠葛及时代和社会的缩影。

(2)理解戏剧冲突的性质。了解了戏剧冲突,还应深入分析戏剧冲突,看看人与人之间的矛盾冲突是什么性质的,表达了什么样的主题。

2. 把握情节的发展脉络

优秀的戏剧都具有情节新颖、布局巧妙、开头与结尾精彩的特点。鉴赏戏剧时,要看它的情节是怎样展开的:有的反映生活事件完整、有始有终,如《龙须沟》;有的截取生活的某一个横断面,将戏剧冲突、人物和事件浓缩在这个片段中,如《雷雨》;有的以展示各种人物的生活命运和性格特征为主,人物众多,却没有明显突出的主角,主题在各种生活面面观中体现出来,如《茶馆》。

3. 分析人物性格

可以从以下几方面入手:

(1)分析剧本的情节安排。剧本常常借助某些误会和巧合,以其独特的、偶然的形式来反映社会生活的本质。因此,分析剧本中的人物性格,首先要了解剧本的情节安排,把握剧本的独特形式。

(2)分析戏剧冲突,尤其是高潮的突变过程。剧本中人物的性格是在戏剧冲突中不断变化发展的,尤其是在高潮部分。高潮在全剧中虽然只是短暂的一瞬,但这是体现人物思想性格最集中、最深刻的地方,因此,分析剧本中的人物性格,要注意在戏剧冲突尤其是在高潮的突变过程中去体会、去探索。

(3)分析剧本的台词。即要注意分析剧本中人物的对话、唱词、独白、旁白中的一些关键性语句,特别注意挖掘潜台词,看人物的语言符合人物的什么身份,表现了人物怎样的性格和思想感情。

(4)仔细体会舞台提示。即注意根据有关的时间、场所、布景、道具、服装、灯光以及人物表情、动作的提示,通过恰当的联想和想象,在头脑中再现整个戏剧的演出情景,从而把握全剧的内容及主题。

4. 体会台词的表现力

因为戏剧中的矛盾冲突、人物性格和人物内心活动,在演出时全靠动作和语言来表达,所以我们应该注意体会剧本台词的表现力。怎样体会呢?

(1)要根据人物身份,体会台词的个性化特点。剧本中人物说什么话,都与人物的阶级、职业、年龄、经历、生活处境、思想感情及习惯、爱好等有关,都能表达人物的思想,显示人物的性格。如《雷雨》第二幕中周朴园的盛气凌人、侍萍的抑郁平缓、鲁大海的直截了当等,都切合人物的身份。

(2)要抓住人物内心活动,体会台词的动作性。演员的表演手段主要是语言和动作,又尤以动作

为中心。但在剧本中，除了舞台提示部分有些动作说明外，台词是主要的构成部分。这样，就要求人物的台词必须具有强烈的动作性，也就是每句台词都产生于人物的性格冲突中，成为人物对矛盾的态度与反应的一种表露，并且能有力地冲击对方，使他采取新的行动更积极地投入到冲突中，从而推动情节发展。台词的动作性不仅体现为其对外部形体动作的伴随性，更体现为通过它可以了解人物的内部动作——活跃在内心的活动。

(3)要细心体会剧本中的潜台词。剧本的语言应是含蓄的、耐人寻味的，在台词之外还应有潜台词。潜台词的运用往往与比喻、双关、反语等多种修辞手法结合进行。怎样体会戏剧语言的潜台词呢？不外三点：①联系剧中人物的性格来体会。“言为心声”，什么人说什么话。②结合上下文的语言环境来体会。③抓住关键词语来体会。

附录一

戏剧冲突的特征、形态和类型

一、戏剧冲突的主要特征

1. 尖锐激烈。在戏剧中，一些平淡的矛盾往往被组织成有声有色、触目惊心的冲突，犹如两只山羊抵角，两只蟋蟀格斗，没有调和的余地。由于矛盾的双方都有足够的冲击力，冲突的最后爆发是格外猛烈的。如《雷雨》中所有的人物都卷入了冲突，虽然未动刀动枪，但人物之间的交锋却是惊心动魄的，最后矛盾达到一定程度终于全部爆发。

2. 高度集中。戏剧要在既定的时间和空间里表现社会矛盾，必须巧妙地把事件和人物集中组织在一起，使戏剧冲突鲜明突出。如《雷雨》中30年来两代人的矛盾冲突，集中在十七八个小时内展开，剧中场景凝聚在周家客厅和鲁家两处，犹如两军对垒。周家客厅中的旧家具勾连起30年前鲁侍萍与周朴园的纠葛，“闹鬼”一事又关联着蘩漪与周萍的往事。鲁侍萍与周朴园的纠葛在前，鲁大海与周朴园的冲突在后。《茶馆》纵贯几十年，将六七十个人物之间的冲突、六七十个人物与时代的冲突，全放在茶馆中表现，可谓高度集中。

3. 进展紧张。戏剧冲突必须扣人心弦，波澜起伏，使观众一直处于紧张的期待之中。如《窦娥冤》中的矛盾层层推进，先是蔡婆讨债被谋害，张氏父子趁势要挟，蔡婆的屈从引起窦娥的强烈反对；接着张驴儿误毒死自己的父亲，却嫁祸窦娥，窦娥临危不惧；再接着县官施刑，窦娥为了蔡婆而屈招，法场呼冤；窦娥鬼魂托梦，最后终于沉冤昭雪。在紧张的情节中，窦娥与蔡婆的冲突、窦娥与县官的冲突、窦娥与“天命”的冲突等，都充分地展现了出来。

4. 曲折多变。戏剧冲突往往是曲折复杂、变化多姿的。如《西厢记》情节并不复杂，但戏剧冲突却表现得委婉曲折、跌宕多姿。在张、崔婚姻问题上，忽而由喜转悲，忽而由悲转喜，多次显露转机，却又突然停止，因此曲折多变，让人绝无平淡之感。

二、戏剧冲突的表现形态

1. 人与人的冲突。即表现为人与人之间意志和性格的冲突，这是戏剧冲突的本质。意志冲突，是指人物间对立的目的和动机出现，交织成错综复杂的戏剧冲突。如《雷雨》中董事长周朴园与工人代表鲁大海的不同动机、封建家长周朴园和蘩漪的不同动机，构成阶级、家庭的冲突。在第二幕中，这种冲突已经面对面地展开：侍萍和周朴园旧恨加新怨，鲁大海被辞退和殴打，周萍拒绝蘩漪而要娶四凤，蘩漪扬言要下毒手，等等。性格冲突，是指人物间对待事物的态度、追求的理想、采取手段的不同所引起的冲突。人物性格越典型就越容易引起冲突。《茶馆》一剧，正是由精明善良的王利发、耿介正直的常四爷等许多性格各异的人物，在相互碰撞中引起冲突。意志冲突和性格冲突往往是紧密地结合在一起的，在戏剧中，不能截然分开。

2. 人物内心冲突。这种内心冲突往往使人物陷于不易摆脱的境地。在《雷雨》中，四凤和周萍都

是侍萍的亲生骨肉，要侍萍答应他们的结合，她是既难同意又无法道出真相的。儿女的要求使她处于进退两难的境地，她在内心深处展开了激烈的斗争。中国古代戏曲常常以抒发内心冲突的片段作为一出戏的重点。如《西厢记》"长亭送别"中，崔莺莺的大段抒情唱词，唱出了对往日相思的回忆和今日离别的愁苦，展示了她内心的矛盾：张生此去若不得官，他们就不能结合；若得官，又怕张生成为当权大户择婿的对象。这种愁苦之情反复激荡，充分表现了青年男女追求自由爱情和封建家长追逐名利之间的冲突。

3. 人物与环境的冲突。这种环境，既指自然环境，也指社会环境。在《牡丹亭》一折"惊梦"中，美好的自然景色，使杜丽娘惊喜万分，由此春情萌发，但处在为封建礼教所制约的现实环境中，是不被允许的，因此情与环境的不协调构成了戏剧冲突。《茶馆》则展示了维新运动失败后、北洋军阀混战之时和国民党统治时期这三个不同历史阶段中人物与社会环境的冲突，通过常四爷被逮捕和康顺子被出卖，表现市民、农民与清末统治阶级的冲突。

三、戏剧冲突的类型

戏剧冲突因剧作情节结构不同，往往呈现出不同类型。

1. 单一型。这类戏剧冲突的对立面自始至终基本不变，一贯到底，在一次次交锋中，冲突越来越激烈，最后终于爆发。如繁漪的对话已显示了矛盾，这是冲突的开始；第二幕中冲突正式展开；第三幕中冲突又进一步发展；第四幕中则以白刃相见，达到你死我活的地步。

2. 主次型。全剧有一个主要冲突，但这一冲突并非每场都出现，有时出现的是次要冲突。如《西厢记》中的主要冲突是自由婚姻和封建婚姻的冲突，具体表现为莺莺、张生和老夫人、郑恒的矛盾。但实际上全剧除了第二本第三折的"赖婚"、第四本第二折的"拷红"外，其他场次中老夫人的戏并不多。而张生、莺莺和红娘由于身份、处境、教养、个性不同，对封建礼教的态度亦有差异，所采取的反抗和挣脱束缚的方式也不同，因而不断发生冲撞和误会，由此构成强烈的喜剧效果。

3. 多样型。一些剧作由于没有贯穿到底而集中的戏剧情节，各场多由一系列人物的生活片段组成，它在众多人物的生活场景中，展示一个个分散的冲突，这些冲突统一在一个共同的主题之下。如《茶馆》，没有贯穿到底的情节，每幕之间相隔二十年左右，各种矛盾既不互相交织，又不连续发展。三幕表示了三个不同的历史时期，这三部分中各有不同的冲突，但各种冲突又都统一于葬送旧时代这一主题之下。

附录二

现代诗歌的鉴赏

现代诗歌的鉴赏任务：能通过分析诗歌的意象、语言艺术，认识诗歌表达的思想与感情；能鉴赏诗歌表达的方法、技巧、风格等；熟悉诗歌考查中的主观和客观题型，做选择题和分析表述题。

一、语言关

诗歌语言高度概括、凝练，极富意蕴，它常常违背一般的语法规范，比一般的文学语言具有更强的陌生感，诗行间常留下许多空白，显示出很强的跳跃性。正是这种跳跃性，容纳了诗歌更丰富的意象，从而在非常有限的篇幅里，构筑出使人耳目一新的诗歌意蕴。

但也正是这种语言特点，成为初学诗歌的同学的障碍，所以我们要先把握诗歌的语言特点，先过语言关。

诗歌语言艺术特点的形成，多半依靠具象词与抽象词的巧妙嵌合，即有意将抽象词与具象词搭配，构成一种既具体又模糊的虚实相交的境界，从而给读者提供追寻诗人个体感受的信息。如卞之琳的《断章》，其语言就生动地体现了这种特点："你站在桥上看风景，/看风景人在楼上看你；/明月装饰了你的窗子，/你装饰了别人的梦。"诗的表面平淡无奇：桥上有风景，于是你在看；你也构成了风景，于是别人也在看

你。在虚实中，让人体会到了画面所蕴涵的丰富的生与死、知与不知的宇宙人生的相对性哲理。“明月装饰了你的窗子，/你装饰了别人的梦”，“装饰”的是梦，这一语言的搭配极为巧妙，巧就巧在具象词与抽象词的组合，打破了语义的逻辑关系，构成了一种诗意的逻辑，从而大大扩充了诗歌语言的弹性，丰富了诗歌的表现内涵，又扩展了诗的表现范围，加深了诗的哲理性。

二、意象关

具有美的意象的诗，才能给读者以美感，能否创造出新颖独特的美的意象，是衡量诗歌成功与否的标志之一。鉴赏现代诗歌，也要过意象关，即从意象入手理解主旨和思想感情。意象的形成主要用赋、比、兴这三种方法，但只有用那些表面极不相关而实际又有联系的事物作意象或比喻，才能准确、有效地表现自己，根据这个原则产生的意象才能有惊人的离奇、新鲜和准确。这也就涉及诗歌所选定的意象与它所象征的意义之间的融合问题。舒婷的《祖国啊，我亲爱的祖国》营造出一组组含意深刻的意象：“我是你河边上破旧的老水车，/数百年来纺着疲惫的歌”，视觉“老水车”与听觉“疲惫的歌”相连，诗人用这种苍凉的意象开头，一下子将读者带入了一个极佳的诗歌欣赏状态，从地老天荒之中去感受那份震撼、那份深厚，数百年的历史沉寂一下子跳到了读者面前，开阔而雄浑，苍茫而深沉。“我是新刷出的雪白的起跑线；/是绯红的黎明/正在喷薄”，这些意象，让我们在最初的震撼过后，又恍然于它们所代表的强烈思想感情的复杂意义之中，从而使我们从艺术的视角感悟到了这首诗独具的审美情趣，感受到诗人内在的精神与诗的意象的一致性。因此，诗的解读离不开对意象本身的把握，诗的创造力、想象力，诗的一切生命力，就在意象的塑造上。读诗，必先读懂意象。

三、联系社会现实和诗人的身世处境

文学鉴赏有一种切入方法，叫“知人论世”，大意即了解作者和时代背景，这种方法对鉴赏现代诗歌同样重要。“歌诗合为事而作”，现代诗歌同样反映现代社会现实，同样为时代服务。郭沫若在1920年写的长诗《凤凰涅槃》就反映出五四运动冲击旧社会的汹涌澎湃的浪潮，表现了诗人当时与旧世界彻底决裂，扬弃旧我、再造新我的炽热思想感情。这种感情，正是五四时期彻底反帝、反封建的革命精神的体现。

四、体会意境

意境是诗人创造的再现现实生活的艺术境界，是诗人的主观情意和客观景物的完美融合。诗歌的主题通常是借助意境来表达的。意境是作者的思想感情和其描绘的生活图景融合而成的一种艺术境界。体味意境的方法是：抓住诗歌的画面和气氛，去理解、感受“此时”“此景”中“此人”的“此情”是什么。

如《水乡行》一诗：

水乡的路，水云铺。进庄出庄，一把橹。渔网作门帘，挂满树。走近才见，几户人家住。榴火自红，柳线舞。家家门前，锁一副。要找人，稻海深处。一步步，踏停蛙鼓。蛙声住，水上起暮雾。儿童解缆送客，一手好橹。

这首诗的描述顺序由远及近，进水乡、在水乡、出水乡。意境非常优美，村庄、渔网、榴树、杨柳、蛙鼓，绘出一幅生机勃勃的水乡风景图，渲染了一种宁静的气氛。

五、分析表现手法

表现手法是为勾勒形象、抒发感情、创造意境、显现内容服务的。它包括象征、以动写静、小中见大、虚实结合、托物言志等。

如顾城《远和近》一诗：

你，
一会儿看我，
一会儿看云。
我觉得，
你看我时很远，
你看云时很近。

前三句写“你”左顾右盼的行为，后三句写“我”的独特感觉。这种感觉是反常的，诗人在这里运用象征的手法，把心理距离与物理距离的对立形象地表现出来，体现了作者对人与人之间隔阂的失望以及对人与人之间美好关系的追求和向往。

第四部分 实用类文本阅读

一、新闻访谈类文本的阅读

(一)新闻访谈类文本的种类

1. 消息

(1)消息的概念和形式

消息是用概括性的叙述方式、简明扼要的文字,迅速及时地报道国内外具有新闻价值的新近发生的事实的一种新闻文体。用事实说话,是它最突出的特征。

常见的消息有以下几种形式:

①动态消息

它准确及时地报道国内外的最新事件和事件的最新变化等。通过简短的报道,让人们知道什么时间、在什么地方发生了什么事情,事件的前因后果如何,当事人是谁,等等。它是新闻中用得最广泛的一种形式。

②综合消息

它往往就一个中心问题作概括性的报道,反映全局性的情况、动向、成就、问题等,报道面广。

③评述性消息

评述性消息也叫记者述评,它往往抓住问题的某些本质方面夹叙夹议,既有事实的叙述,又有记者对事件的分析评论。

(2)消息的结构

比较完整的消息一般由标题、导语、主体、结尾等部分组成,但并非每一篇消息都必须有这几个部分。根据内容的需要,有的可以没有导语,有的可以没有结尾。特别是简讯,更不要求结构的完整性。

标题是消息的内容提要。有的新闻除了正题以外,前面还有引题(也称"肩题""眉题"),后面还有副题(或叫"辅题""子题")。一篇新闻,可以没有引题或副题,但不能没有正题。消息的标题要简明,要能概括新闻的主要内容。

导语,是消息的第一句话或第一个自然段。它要求用简明的语言把消息的主要内容告诉读者,重点突出,概括性强。导语写得好,能有力地突出主要内容,产生强大的吸引力,使人一眼能看出是怎么回事,并产生浓厚的兴趣,迫切希望看下去。有的导语前有电头,表明该消息的来源。

主体,是消息的中心部分。它要写明消息的主要内容,回答导语中提出的问题。材料的选用要点面结合,形象具体,切忌空泛议论。消息的主体结构形式主要有时序结构式、空间结构式、主次结构式和逻辑结构式,不论采用哪种结构形式,都要以清楚真实地报道新闻事件为目的。

结尾,可以是小结式的,将前面讲的东西归纳总结,以加深读者的印象;可以是清音有余式的,给读者留下思考的余地;可以是预示前景性的,提示事件的发展方向;也可以没有结尾。不论采用什么方法结尾,都要力求新鲜、自然,避免画蛇添足。

消息写作应注意实事求是,讲究实效,短小精悍,简明扼要,避免夸大其词、随意拔高、不切实际的不良文风。

2. 通讯

(1)通讯的概念和特点

通讯是一种运用多种表达方式,具体、生动、及时地报道具有新闻价值的人物、事件、情况和问题的新闻文体。

通讯的主要特点:

①容量大:较之消息,通讯可以反映更多、更具体的情况,把事件的来龙去脉交代得更详尽,篇幅

可以稍长。

②样式多：样式有访问记、专访、新闻小故事、特写、大特写、侧记、巡礼等。

③写法活：表现为结构的灵活多变，表达方式较消息更自由，语言形象生动。

(2)通讯的类型

通讯的类型一般有两种分法。一是按报道内容分，有人物通讯、事件通讯、工作通讯、风貌通讯。一是按报道形式分，有访问记、专访、特写、大特写、新闻小故事、集纳、巡礼、侧记、记者来信等。

(3)通讯的结构

通讯的结构方式通常有三种：

一是纵式结构。即按单纯的时间发展顺序、事物发展的顺序(包括递进、因果等)、作者对所报道事物认识发展的顺序、采访过程的先后顺序等来安排层次。

二是横式结构。即按空间变换或事物性质的不同方面来安排层次。常见的有：空间并列式。如新华社记者采写的《今夜是除夕》即属此类。文章开篇之后，分别写了五个地方的人们做着日常工作的情况：在中央电视台——不笑的人们；在长途电话大楼——传递信息和问候；在红十字急救站——救护车紧急出动；在北线阁清洁管理站——"城市美容师"的话；在妇产医院——新的生命诞生了。

性质并列式。即按新闻事实各个侧面之间的关系来安排材料。

群相并列式。即按不同人物及其事迹组织材料。

对比并列式。将正、反人物或事件并列，从对比中见主题。

三是纵横结合式结构。即将纵式和横式结合起来。此结构多用于事件复杂而时间跨度大、空间跨度广的通讯，如《为了六十一个阶级弟兄》等。此结构有纵横交叉式和蒙太奇式两种。

3. 特写

(1)特写的概念和特点

特写往往只是摄取新闻事件中最富表现力和特征的某些片段，通过多种表现手法做具有强烈情感冲击力的着力刻画，集中突出地表现新闻人物、事件或主题。

其最大特点是生动而集中地再现新闻场面或新闻人物，着力渲染和烘托气氛，强调对读者的感染力。

(2)特写的类型

特写包括人物特写、事件特写、场面特写、景物特写和工作特写五大类。

(3)特写的结构

特写的结构大体由导语、正文、结尾三部分组成。但在写作过程中比较灵活，不一定这三部分全有。

4. 时评

(1)时评的概念

时评是对当前发生的新闻或新闻中表现出的乃至隐藏的问题，发表自己的见解，或归纳总结出新的结论或观点。

(2) 时评的特点

以说理为主，或夹叙夹议，或先叙后议。其内容必须包括提出问题、确定的主题、完整的论述、合理的阐述、明确的结论。属于典型的议论文。

5. 访谈

(1)访谈的概念

因为某个人、某件事、某些问题去访问知情者、事件本人或专家，请他们对提出的问题进行解答，运用谈话纪实的方式进行报道的文章，就叫做访谈。

访谈的对象肯定是人，而访谈的内容可以是新闻事件或历史事件，也可以是人们普遍关心的社会问题，也可以是人物专访。

(2)访谈的特征

针对性、专题性、典型性。即访谈的目的性特别强，针对某事、某人、某个问题进行访谈；围绕一

个中心提问；访谈的人、事、问题具有典型意义。

(3)做好访谈的要点

对访谈的对象和内容有比较详细的了解；访谈主题要明确，提问要简明清晰而富有针对性；要有较好的提问技巧。

(二)新闻访谈类文本的阅读方法

在新闻访谈类文本中，相对来说，访谈、时评、特写比较容易被命题人选中来作为考试阅读的文本，而消息因其过于短小、通讯因其过于平淡，缺乏命题的立足点。

阅读新闻访谈类文本时，最值得注意的是，不管什么样的新闻文本，不管在报道新闻时是否表达了作者的观点，但都会体现出作者(报道者)的新闻立场。阅读时要努力读懂作者“想说的话”，准确理解作者的观点和倾向性，这有利于我们正确筛选文中信息，把握文本观点，评价文本价值，也有利于我们探究文本中的价值观和时代精神。

1. 新闻特写的阅读

新闻特写属于记叙文，它包含了记叙文的一些特点，阅读时我们可以借鉴小说阅读的一些基本方法，如重要词语与精彩语句的表现力、事件叙述的线索与作用、环境描写的方法与作用、人物形象的特征与刻画方法、材料细节的特点与作用、事件发展过程的特点与构思技巧等。

阅读特写类文章的关键在于把握文章中的人、事、物，把握事件叙述的线索与层次，把握文章的内容主旨和文本意义。

(1)把握文本的主要内容

首先，通过文本标题可以得到文本内容的主要信息，包括主要人物、主要事件，甚至是作者的观点态度；其次，通过阅读文本了解事件发生发展的起因、过程、结果、影响；第三，通过整体阅读归纳文本的大概意思，提取文章中心思想；第四，通过上下文来揣摩出一些重要词语和精彩语句在文中的含义、表现力和运用技法。

(2)把握文本的思路和结构

首先，找到事件叙述的顺序和线索；其次，划分事件发生发展的若干个阶段；第三，辨析叙述方法，领会作者布局的技巧和作用。

(3)探究文本的意义和价值

文本的意义体现在作者的写作意图，即通过这篇新闻特写，作者想反映什么，弘扬或批评什么；文本的价值主要体现在文本内容对现实生活有怎样的积极或消极的影响，是否具有指导或警示作用等。

2. 新闻时评的阅读

新闻时评属于典型的议论文，其结构基本上是列出某种新闻事件(现象)，从新闻中提出议论的问题，多角度多层次地分析问题存在的根源、实质与影响(积极或消极的)等，适当联系类似事件形成对某一现象(而不是单个案例)的讨论，最后形成明确的结论。

作为典型的议论文，其阅读方法与论说文阅读有相似之处。如把握文章主旨、筛选文中材料信息、把握论证结构、分析主要论证方法或语言表现手法、评价文本主要观点、探讨写作背景和意图、探究文本意蕴和价值等都与前面所学的现代文阅读有异曲同工之处。

新闻时评阅读的关键在于，一是把握文本的中心论点，即作者的观点态度；二是把握作者论证运用的相关材料；三是把握作者论证分析的思路和结构。

(1)把握文本的中心论点

把握文本的中心论点涉及“概括中心意思”“评价文本的主要观点和基本倾向”“从不同的角度和层面发掘文本所反映的人生价值和时代精神”“探讨作者的写作背景和写作意图”等多个考点。阅读时，一是要注意作者列出新闻事件后的提问，即文章要分析的问题，然后按图索骥去寻找答案，即作者的观点态度；二是通过分析作者的论证过程，看作者分析材料后得出的结论是什么；三是看文章结尾一两段，看作者是如何归纳总结自己的分析的，看其落脚点是在哪一种社会现象或人生态度上。

(3)把握论证的相关材料

这里主要涉及"筛选并整合文中的信息""分析文本的文体基本特征和主要表现手法"和"探究文本中的某些问题,提出自己的见解"三个考点。阅读时,一是要注意在材料前做好标记,正面的、反面的,现实的、古代的,举例的、引用的、比喻的等,一一标注;其次是要分析哪些材料证明哪一个观点(或者是驳斥对方观点的论据,或者是证明自己论点的材料);第三是材料运用时的一些方法,诸如引用、举例、比喻、排比、反问,或者是点面结合、正反结合、层层推进等;第四,对文本材料运用中可能存在的某些问题要多加留意。

(3)把握文本的思路和结构

这里主要涉及的是"分析文本的文体基本特征"和"把握文章结构"两个考点。阅读时,可以参照议论文写作的一般思维方式,从提出问题到分析问题,再到解决问题。要注意的是时评往往是针对一件事或一类现象,从事件或现象中分多个角度或层面来谈自己的看法,最后得出一个具有普遍社会意义或价值的结论,因此,时评的结构相对紧凑,思路不枝不蔓,比较容易把握。

3. 新闻访谈的阅读

阅读访谈类文章的关键是把握访谈的话题,理清访谈的线索,归纳访谈的内容,分析访谈的技巧,评价访谈的效果,探究访谈的价值。

(1)把握访谈的进程和各部分的内容

一篇完整的访谈纪实,一般会有多个问题,表面上会涉及多个方面,但采访者往往会紧紧围绕一个中心从不同的角度和层面来提问,因此,透过采访者的提问要迅速把握访谈的话题,以及涉及的不同侧面。

其次,通过阅读被访者的回答,归纳出其主要观点、立场、态度;并以此了解被访者的人生观、价值观,以及他对某个问题的建议或主张。

这里必然涉及整合文章内容、概括文章主旨、把握文章结构等考点,其解读和分析的方法与我们前面学习的阅读方法是一样的。

(2)分析访谈的表现手法

考查新闻访谈的表现手法不常见。访谈的表现手法一方面是针对提问者的技巧,一般有单刀直入式和旁敲侧击式两大类,细细划分,又可分为直问、趣问、推问、旁问、诱问、追问、反问、对比问等多种。另一方面是针对回答者的技巧,一般有引用、比喻、打比方、反问、反复等修辞技巧,还有开门见山表明态度,委婉含蓄呈现观点,层层推进揭示本质,顾左右而言他巧避锋芒等;在语言风格上有的朴实无华,有的浅显易懂,有的巧用俗语民谚,有的引述诗文,有的生动形象等。

(3)对访谈进行鉴赏评价

一是评价访谈者或被访谈者的主要观点和基本倾向。访谈者的观点和倾向一般体现在他的提问当中,从提问的用语和语气往往可以推测甚至判断出访谈者对问题的立场态度,尤其是从其连续提出的问题中可以找到他立场的脉络。而访谈对象的观点态度一般来说都相对清楚,都会在他的回答中比较明显地表达出来。要评价他们的观点或倾向,一是从整个访谈实录中找到他们列举的事例,分析其推理的逻辑性和科学性;二是联系实际,看他们的观点态度是否符合社会发展规律,是否符合公众的价值观和道德观,是否符合普世理念。

二是评价被访谈者的思想主张、性格特征和人格品质。通过阅读被访谈者的回答,我们可以了解他对问题的看法,了解他的生活态度和习惯,了解他对一些人生观和世界观的评价。透过这些,我们也可推测出他为人处世的态度与方法,他对待生活、事业、家人、朋友、爱好等的一些基本态度,从中可以反映出他的人生观和世界观,体现出他的思想主张、性格特征和人格品质。这里的难度在于如何从现象中归纳出本质性的东西。

三是评价访谈题材、内容和文中观点产生的社会价值和影响。一般来说,访谈的题材往往是大众所关注的人或者事,与当前整个社会或某一阶层有着息息相关的联系,因此,访谈势必会产生一定的社会价值(无论是正面的还是反面的),访谈者的观点或倾向往往对社会或某一阶层的人们有着一

定的影响。阅读评价时，需要联系当时的社会背景（现象），比照当时人们的价值观念，实事求是地分析评价文本对社会产生的积极或消极的影响，以及我们应当如何对待这些影响。

（三）新闻访谈类文本阅读的解题方略

由于新闻具有实用性的特点，因此新闻的学习目标更加强调应用能力和实践能力的形成。因此，复习时一定要牢固掌握有关新闻的基础知识，重视应用实践能力的训练和养成。

要熟练掌握各类新闻的基本特征和写作要求，包括表现手法、结构特征、语言特色等。

基本理解所学的每一篇新闻，包括对新闻事实的基本认识和评价。

可以选择一篇或几篇有代表性的新闻作品，运用所学知识，对挑选的作品从内容到形式，进行深入细致的分析练习，以检验学习效果，养成思考和探究的能力。

新闻文本阅读的具体方法如下：

1. 看标题，抓要素，整体把握新闻内容。

新闻标题是新闻主要内容的提要，通过对标题的揣摩，能辨出该文的记叙对象。是人物新闻还是事件新闻，是消息还是通讯。通过标题把握文本的对象和主要内容。新闻属于记叙类文体，离不开记叙的要素，所以，分析记叙五要素，可以帮助进一步把握新闻的主要内容。

2. 理清脉络，把握文章结构。

看清文章前后的联系，理清作者的行文思路，从而准确地划分全文的段落层次。消息一般都是采用“倒金字塔”式，这跟一般的记叙文不同。通讯就比较灵活多变，有顺叙、倒叙，或插叙、补叙等叙述方法。阅读时要特别注意。

3. 把握中心，把握主旨。

抓住关键句、中心句、过渡句去把握文本的中心内容，研究文本的主旨，揣摩作者的写作动机和感情态度。

4. 研究写作技巧，分析表现手法。

可以从叙述、描写、抒情、议论等表达方式，对比衬托、以小见大、烘托渲染、借景抒情等文学手段，锤炼词句及修辞手法等角度去考虑。

二、传记阅读

传记部分需要掌握传记的定义、类别以及不同类别传记的特点和写作要求，其中对不同类别传记的特点和写作要求的掌握和运用是学习的重点。

这里说的传记一般是指人物传记。人物传记在图书分类中属于历史类，因为它所记述描写的都是确实发生过的真人真事，但又往往具备文学作品的生动性、形象性和审美功效。因为它是在集中笔墨写人，所以往往能够刻画出鲜明的人物性格和生动的人物形象。因此，人物传记是一种以真实人物为写作对象的兼具文学性和历史性的作品体裁，是我们认识社会、历史和人生的最佳读物。

（一）传记阅读的一般方法

1. 联系背景，把握主要事实

人物传记作为一种独特的文学样式，有其自身的特点，因此在阅读过程中，应联系传主生活的时代背景和社会环境，把握作品所陈述的与社会进程以及传主个人成长相关的重要事实，了解具有典型意义的事件和细节，分析所陈述的客观事实与作者个人所持见解、观点之间的区别及联系，理解传记作者对传主及有关事实所作的分析和评价。通过具体的分析和深入的思考，能对影响传主成长的各种因素作出符合实际的分析，对其思想、品格及其功过作出客观公允的评价。

2. 重视鉴赏能力的培养

教材所选的传记篇目，每篇传记均各有特点，有的善于运用细节刻画人物形象，有的善于选择和运用典型材料表现人物精神，有的展示人物性格的多样性。通过广泛阅读，同学们一方面可以多角度地培养自己的鉴赏能力，另一方面也可以从中借鉴、掌握传记写作的多种样式。在学习的过程中，

同学们可以精读传记作品的若干精彩片段，欣赏、品味传记作品真实性与文学性相结合、哲理性与形象性相结合、思辨性与审美性相结合所产生的魅力，并以自己熟悉的人物（如父母、师长、朋友、同学）为对象，尝试写作人物传记，培养写作人物传记的能力。

3. 感悟一种思想

同学们在阅读人物传记的过程中，对传主的成长经历和心路历程有了比较深刻的认识和感悟，对于先天禀赋与后天环境、志向和命运、奋斗和机遇、挫折和成功、事业和爱情这些对于人生发展有重要意义的内容会有新的认识，同时借助自己的人生体验会对传主的思想、感情、品格、气质、成就等以及作者所持的态度作出评价。在这个过程中，同学们应积极汲取丰富的精神养料，从正反两个方面接受有益的启示，形成自我规划人生的意识和能力，同时也为自己的写作积累充盈的素材，使自己的人生因此而变得充实。

（二）传记阅读的解题方略

1. 要熟练掌握传记作品的基本特征和写作要求，包括表现手法、结构特征、语言特色等。

2. 要准确把握所学的传记作品，包括对传主的基本认识和评价，对作品和作者的基本认识和评价等。

3. 选择有代表性的传记作品，运用所学知识，对挑选的作品从内容到形式，从作品到作者，进行深入细致的分析练习，以检验学习效果，养成思考和探究的能力。

三、一般实用类文本的阅读技巧

（一）储备必要的文体知识

把握不同文体的表现手法及表达技巧，做到心中有数。

（二）在准确解读上下工夫

所谓“准确解读”，指的是在复杂的叙述材料中、在深刻的事理说明中，读懂读通作者所要表达的意思，全面、准确地把握文本信息。

（三）提高理性认知的能力

“访谈”“调查报告”等文本虽然在写法上可以综合多种表现手法，但它们的一大特点便是立足于事实，对事件的叙写在文本中占有较大的比重。诸多事件的背后究竟隐含着哪些“深层意蕴”“人生价值”“时代精神”，这是命题者不会轻易放过的。这里面就有个要善于透过现象看本质的问题，亦即需要我们用理性的认识去读懂文本。同样，“社科论文”“科学小品”是作者对某一专题深入研究之后写出的有自己独特见解的研究性文章，专业性、理论性较强。读这样的文本，既要看到文本在阐述见解时所运用的表现手法，更要看到作者对支撑观点成立的事理依据所作的阐述。这当中蕴涵着许多有待探究与阐发的问题，同样需要我们用理性的认识去加以判断。

（四）重视培养自己的实践能力与实践体验

“实用类文本”的应用性、实践性特点决定了高考命题不会回避对实践能力与实践体验的考查。因此我们在平时的训练中既要重视实践能力的培养，又要注重实践体验的归纳与积累，勇于、乐于参加社会实践活动。当然，这里所说的“实践体验”并非单指直接体验，多读报刊上的“实用类文本”所获得的间接体验同样也是一种很重要的体验。

（五）强化贴近文本、依文就意的意识

不论是分析综合，还是鉴赏评价，抑或是探究，都强调贴近文本，思维起于文本终于文本。超越文本地妄加发挥是不适宜的。而整体感知，说白了就是不要将文本的组成“要件”随意拆解，只见一斑而不见全豹，而要将其作为一个整体来读，综合全文信息进行分析、理解、评价。“访谈”“调查报告”“新闻”等文本，有可能除正文之外，会附加诸如“背景资料”“场外声音”等辅助性链接材料，阅读与解题时要善于将其与正文联系到一起进行信息的萃取、问题的提炼、价值的分析与意蕴的探究。

第五部分 论述类文本阅读

一、论述类文本的概念及特点

“论述类”文本一般以议论文的面目出现，以议论为主要表达方式，以阐述观点、说明道理、分析事实、辩驳旧说、介绍新见等为主要内容，包含时评、短论、书评、社会科学论文和自然科学论文等。由于论述类文章是常用文体，所以被列为必考文体。概括地讲，论述类文本有三个主要特征：(1)议论性较强；(2)观点鲜明；(3)材料涉及面广，材料几乎可以涉及所有学科。

二、论述类文本的三要素

论述类文本阅读除了要了解它的分类知识(时评、书评、短论、社科论文和自然科学论文)外，还要掌握论述类文本的三要素——论点、论据、论证。

论点 指作者在文中发表的观点。一般是一文一个中心论点，在整个论证过程中，紧紧围绕着这个论点来展开议论。

论点通常用判断句表达，也有找不到论点句的，这是潜在论点的写法。

中心论点下可以有若干个分论点，这些分论点是论证中心论点的。

论点在文本中的特点：

第一，从全文看，论点必然是能统摄全文的中心句(而不是某一段的中心句)。论点的表述形式往往是一个表示肯定或否定的判断句式，它必须是明确的表态性的句子。

第二，论点在文章中的位置。论点的提出，有时在文章的开头，这就是所谓的开宗明义、开门见山的写法。有时在文章的结尾，就是所谓的归纳全文、篇末点题、揭示论述中心的写法。不过，这种写法在明确表达论点时大多有“所以”“总而言之”“总之”“因此”“归根结底”等表总结性的词语。有时候在文章的中间，有时候文章标题就是全文论点。当然，也有少数议论文没有明确表明论点的语句，需由读者自己进行概括。

第三，一文一般只有一个中心论点。为了论述得更深刻，更有条理，常有支撑中心论点的分论点，中心论点与分论点的关系是统帅与被统帅的关系。

论据 用来证明论点的正确性、可行性的依据。

议论文中的论据可以分为两大类。一类是选用有代表性的事例、确凿的数据、可靠的史实等充当，称为事实论据；一类是人们公认为正确、可行的道理、格言、原理、定律等，称为事理论据。

论证 指的是用论据证明论点的过程和方法。

阅读议论文，还要理解文中的论证。一方面，要分析论证过程，分析论点跟论据之间的逻辑联系。另一方面要分析论证的方法，研究论证的技巧。

论证的方法可以分两大类：直接论证和间接论证。直接论证的方法主要有：例证法、引证法、对比法、因果论证法。间接论证的方法主要有：喻证法、类比法、归谬法等。直接反驳的方法有：反驳论点法、反驳论据法、反驳论证法。间接反驳的方法有：反证法、归真法。

论证的结构思路是沿着逻辑思维的过程展开的。段落与段落之间有清晰的逻辑关系，有的是并列关系，有的是递进关系，还有的段落关系是纵横结合的逻辑关系。

三、高考论述类文本材料的特点

1. 学术性强。

一是指它的专业性，二是指它的系统性。不论是经过命题者删改的文章还是命题者从原文中节选的片段，都是如此。

选文的这一特点给我们带来的阅读困难是可以克服的：其一，所选文章在写作上多是深入浅出；其二，命题者为我们阅读理解提供了一定的提示，如标出篇名、作者或写作时间、必要的注解。充分运用自己的知识背景和命题者提供的方便，读懂、读通这类文章不会很困难。

2. 品位高雅。

高考所选的论述类文本，其作者多为一流学者或作家，所论述的多为某一领域的重要问题，不仅有着作者的独到见解，而且有着丰富的文化底蕴，信息量大，语言也比较规范。同时这些文章又有着作者鲜明的个性风格。

3. 距离感大。

高考所选社科类论文写作年代一般比较早，今天的中学生读起来感到有些超越知识背景，同时表达习惯有差距，有的专业用语与今天不大一致。

4. 重点突出。

高考选作阅读测试材料的文章重点是文化教育和文学艺术两大类，主要是顾及高中生的知识背景和解读能力，尽可能减少一点解读的障碍。

四、论述类文本的阅读方法

阅读论述类文章宜采取三遍阅读法：

1. 读文审题，明确信息角度

第一遍阅读要求平心静气，全神贯注，采用逐句快读的方法，迅速抓住文中提供的重要信息，力争基本把握整体文意。阅读前可提出设问：文章对论述的问题有什么见解和主张？运用了哪些材料？阅读时要边读边画出关键词句。关键词主要包括文章阐述的重要概念术语，有重要意义的修饰语、限制语等。

“角度”是指从哪个方面发表对问题的见解或介绍对象的特点。文章有时有“角度性标志语”，如“为什么、怎样、如何、认为”等。同一个角度的文字往往集中在一起，即使有时没有这些语句，也可以根据句子、层次、段落等语言块的内容来概括。且试题的题干、选项也相应从一定的角度来设计，不仅读文时要注意，读题时也要明确。

2. 扣住问题，细心查找信息

读文和审题时角度意识强便于扣住目标，找到题目与原文对应的区域和文字，有方向地查找和深入理解。查找的方法有两个：

①投石探波法。将题干或选项表明目标的关键语句作为“石子”投到文章这个“水面”，以“石子”为圆心，由近及远，一圈圈一层层查找。一是找准信息区——在上文、在下文、在上下文、在一句子、在一层、在一段、在若干段落、在全文。二是找全信息点——同一个角度的信息有一点或若干点。

②借助“标志语”。除了要借助前面说的“角度性标志语”，还要借助“结构性标志语”，即表明层次、段落、角度、内容等的照应、转换、提起、总结性的语句，如首先、其次、此外、不过、但是、那么、所以、不仅、又、如前面所说的、在这种情况下、也、同时等。查找信息一定要细心、周全，尽可能不偏移

信息区，不漏掉信息点。

3. 文题比对，筛选判断信息

读文和查找阶段，对信息的理解、捕获不一定透彻、全面，将题目的题干、选项与原文对应文字仔细比对，是确定选项的最后一道“工序”，要特别注意。基本方法是“文题比对”。为了保证准确性，对每个选项可以进行两种处理。一是“投石探波”。（详见上文所述）二是“选项切片”，有些选项是比较长的句子，可将其拆解，切分成若干片段，逐一与原文对应的词语、句子所在的区域比对，看原文有没有相关的片段，看相关片段的信息是否与选项吻合；比对时除了要借助“角度性标志语”“结构性标志语”，还要注意表示范围、性质、程度等的词语，如更加、主要、所有、特别、可能等等。

最后，再看一下题目是要求选择“正确”的还是“不正确”的，检查答题思路是否与要求吻合。

五、论述类文本的解题步骤

1. 整体把握，微观勾画。

阅读完文章后，可提以下问题：本文论证的对象是什么？有什么新的观点？对今后有怎样的展望？作者对新观点的态度如何？然后迅速提取每一节的主要信息（关键词），理出全文脉络，把握主要内容。

2. 筛选判断，归纳表述。

在做主观题时，有寻找、锁定、提炼、表述的过程，根据题目要求（字数限制），对锁定的内容进行加工，既要出现原文重要语素，同时要加上自己的理解进行表述，并且使其语言规范，文气贯通（回读自己归纳表述的句子，检查是否有错别字和语病），能准确体现原文的中心，这就是我们需要的答案了。

3. 紧扣语境，把握内涵。

对考查准确理解文中词语或句子的问题，必须有语境意识，不能仅凭考生个人经验，要把问题带回文章中去。解题时首先要锁定答题范围，将选项对应原文区域依次核对，有分析、比较、选择的过程，首先排除明显错误的选项，然后分析剩下的选项及与之相关的语境，瞻前顾后，寻找有效信息，进行筛选，再次排除干扰选项，这样做题可以提高做题的准确率。

4. 了解设误，拨开迷雾。

论述类文章阅读题目，在设置选项上具有很大的迷惑性，综观近几年高考语文试卷，其干扰的设置方法主要有：

（1）程度深浅、范围大小有意混淆。阅读时要留心材料和选项中的“凡”“一切”“全”“都”等修饰词。

（2）偶然、必然，将然、已然有意混淆。原文中是“可能”有意说成“一定”，把“偶尔”说成“往往”“常常”，把设想的说成现实的。

（3）指代上的混淆，颠倒主客，偷换概念。

（4）肯定与否定、主要与次要关系上的混淆，无中生有，牵强附会。解答时要仔细对照原文，切忌主观臆断，望文生义。

（5）条件和结果、原因和结果的关系混淆、颠倒。要找到原文，关注关联词，理出合理的逻辑关系。

购买一流教育图书，请登录第一教育书店：http://www.firstedubook.com

金星教育
责任编辑：高　洁　刘天天
责任校对：杜红军
封面设计：张沭沉

智慧结晶　良师益友

——《基础知识手册》丛书简介

“疏枝立寒窗，笑在百花前。”《基础知识手册》丛书，是在1993年薛金星先生主编的《高中语文基础知识手册》引领下，逐渐发展壮大起来的，目前已发展成为涵盖小学、初中、高中三个学段的33个单品系列图书。她的服务宗旨是：全面全程、科学系统地满足学生从小学到初、高中阶段的不同需求。其追求的目标是：“一册在手，知识全有；一套在手，学习无忧；一旦拥有，爱不释手。”

“剑锋在磨砺，梅香从苦寒。”《基础知识手册》的成功，正是基于这种服务宗旨和崇高追求。自1993年面世以来备受广大一线师生的厚爱，年年畅销不衰。其根本原因在于薛先生从全国范围内聘请了一大批治学严谨、精益求精的专家、特教和名师，根据学生的不同需求和学科的不同特点，结合中高考及同步教学要求，字斟句酌、精雕细刻、精心著述、反复修订，从而确保了图书的高质量和学术的权威性。

“特立须独行，领异应标新。”《基础知识手册》匠心独运，风格别具。她既有全面系统、清晰准确的知识梳理和讲解，又有科学独到的规律总结；既有学科思想方法的启迪，又有实用管用的技巧点拨；既有同步学习的备查资料，又有中高考的方向指导。她内容丰富，资料翔实，知识准确；她方便快捷，随查随用，工具性强。

“会当凌绝顶，一览众山小。”目前《基础知识手册》的类似产品不少，但北京金星书业的《基础知识手册》销量却在市场上名列前茅。因为她是专家心智的结晶，是学生的良师，是教师的益友！

基础知识手册丛书

小学部分

小学语文基础知识手册
小学数学基础知识手册
小学英语基础知识手册

初中部分

初中作文基础知识手册
初中语文基础知识手册
初中数学基础知识手册
初中英语基础知识手册
初中物理基础知识手册
初中化学基础知识手册
初中生物基础知识手册
初中思想品德基础知识手册
初中历史基础知识手册
初中地理基础知识手册
初中数理化概念公式定理手册

高中部分

语文基础知识手册
数学基础知识手册
英语基础知识手册
物理基础知识手册
化学基础知识手册
生物基础知识手册
政治基础知识手册
历史基础知识手册
地理基础知识手册
高考英语词汇详解手册
中学生文化常识手册
文言文基础知识手册
高中古诗词曲鉴赏手册
高中作文基础知识手册
高中作文分类指导手册
议论文论点论据论证手册
高中理化生实验知识手册
中国学生错别字自测手册
高中数理化概念公式定理手册

ISBN 978-7-5303-2949-8
9 787530 329498 >
定价：32.80元